

IBM z/VSE  
バージョン 6 リリース 2



メッセージおよびコード  
第 3 卷



IBM z/VSE  
バージョン 6 リリース 2



メッセージおよびコード  
第 3 巻

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、693 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM z/Virtual Storage Extended (z/VSE) バージョン 6 リリース 2 (プログラム番号 5686-VS6) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本書は SC43-2944-00 の改訂版です。

資料のご注文方法については、<http://www.ibm.com/jp/manuals> の「ご注文について」をご覧ください。(URL は、変更になる場合があります)

また、FAX により、またはインターネット経由で送付することもできます。

Internet: [s390id@de.ibm.com](mailto:s390id@de.ibm.com)

FAX (Germany): 07031-16-3456

FAX (other countries): (+49)+7031-16-3456

なお、お寄せいただいたご意見は、弊社にて随時利用させていただきますので、ご承諾のうえご記入くださいますようお願い申し上げます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC34-2684-01

IBM z/VSE

Version 6 Release 2

Messages and Codes

Volume 3

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1999, 2017.

# 目次

本書について . . . . .	v
本書の構成 . . . . .	v
関連資料 . . . . .	v
メッセージの形式 . . . . .	vi
処置標識 . . . . .	vii
タイプ/オペレーター処置コード . . . . .	vii
メッセージ・テキスト構文 . . . . .	viii
メッセージを受け取った場合 . . . . .	ix
オンライン・メッセージ記述 . . . . .	ix

変更の要約 . . . . .	xi
-----------------	----

## 第 1 章 DFHnn 接頭部メッセージ (CICS Transaction Server for z/VS)

メッセージ ID . . . . .	1
DFH7nnn ID . . . . .	1
DFHccnnnn ID . . . . .	1
処置コード . . . . .	3
重大度コード . . . . .	3
情報の形式 . . . . .	4
XMEOUT パラメーター . . . . .	5
経路コード . . . . .	5
端末 ID . . . . .	5
異常終了コード挿入部分 . . . . .	6
ダンプ - . . . . .	6
用語 - . . . . .	6
VSE ユーザー異常終了コード . . . . .	6
DFH7xxx (DFHEXP) コマンド・レベル変換プログラム ム診断メッセージ . . . . .	8
DFHACxxxx メッセージ . . . . .	9
DFHAIxxxx メッセージ . . . . .	20
DFHAKxxxx メッセージ . . . . .	20
DFHAMxxxx メッセージ . . . . .	21
DFHAPxxxx メッセージ . . . . .	31
DFHBRxxxx メッセージ . . . . .	37
DFHCAxxxx メッセージ . . . . .	38
DFHCCxxxx メッセージ . . . . .	69
DFHCExxxx メッセージ . . . . .	72
DFHCPxxxx メッセージ . . . . .	78
DFHCRxxxx メッセージ . . . . .	88
DFHDDxxxx メッセージ . . . . .	90
DFHDFxxxx メッセージ . . . . .	90
DFHDXxxxx メッセージ . . . . .	121
DFHDLxxxx メッセージ . . . . .	123
DFHDMxxxx メッセージ . . . . .	124
DFHDSxxxx メッセージ . . . . .	127
DFHDUxxxx メッセージ . . . . .	129
DFHDXxxxx メッセージ . . . . .	138
DFHERxxxx メッセージ . . . . .	138
DFHEVxxxx メッセージ . . . . .	140

DFHEXxxxx メッセージ . . . . .	141
DFHFCxxxx メッセージ . . . . .	144
DFHFExxxx メッセージ . . . . .	182
DFHICxxxx メッセージ . . . . .	183
DFHIRxxxx メッセージ . . . . .	185
DFHJCxxxx メッセージ . . . . .	190
DFHKCxxxx メッセージ . . . . .	210
DFHKExxxx メッセージ . . . . .	211
DFHLDxxxx メッセージ . . . . .	217
DFHLMxxxx メッセージ . . . . .	220
DFHMCxxxx メッセージ . . . . .	222
DFHMExxxx メッセージ . . . . .	222
DFHMNxxxx メッセージ . . . . .	233
DFHPAxxxx メッセージ . . . . .	239
DFHPCxxxx メッセージ . . . . .	247
DFHPDxxxx メッセージ . . . . .	248
DFHPGxxxx メッセージ . . . . .	252
DFHPRxxxx メッセージ . . . . .	257
DFHRCxxxx メッセージ . . . . .	257
DFHRDxxxx メッセージ . . . . .	263
DFHRMxxxx メッセージ . . . . .	264
DFHRTxxxx メッセージ . . . . .	264
DFHRUxxxx メッセージ . . . . .	267
DFHSIxxxx メッセージ . . . . .	271
DFHSKxxxx メッセージ . . . . .	283
DFHSMxxxx メッセージ . . . . .	284
DFHSNxxxx メッセージ . . . . .	290
DFHSOxxxx メッセージ . . . . .	297
DFHSRxxxx メッセージ . . . . .	303
DFHSTxxxx メッセージ . . . . .	306
DFHSZxxxx (FEPI) メッセージ . . . . .	312
DFHTCxxxx メッセージ . . . . .	322
DFHTDxxxx メッセージ . . . . .	328
DFHTFxxxx メッセージ . . . . .	343
DFHTIxxxx メッセージ . . . . .	344
DFHTMxxxx メッセージ . . . . .	346
DFHTOxxxx メッセージ . . . . .	347
DFHTPxxxx メッセージ . . . . .	351
DFHTRxxxx メッセージ . . . . .	358
DFHTSxxxx メッセージ . . . . .	363
DFHUSxxxx メッセージ . . . . .	370
DFHWBxxxx メッセージ . . . . .	373
DFHWKxxxx メッセージ . . . . .	390
DFHXAxxxx メッセージ . . . . .	391
DFHXCxxxx メッセージ . . . . .	397
DFHXGxxxx (XRF 汎用) メッセージ . . . . .	406
DFHXMxxxx メッセージ . . . . .	420
DFHXOxxxx メッセージ . . . . .	429
DFHXSxxxx メッセージ . . . . .	431
DFHZCxxxx メッセージ . . . . .	438
DFHZExxxx メッセージ . . . . .	546

DFHZNxxxx メッセージ . . . . . 547

**第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE) . . . . . 557**

異常終了コード . . . . . 557

情報の形式 . . . . . 558

トランザクション異常終了コード . . . . . 558

システム・ダンプ・コード . . . . . 684

DHxx (DL/I DOS/VS) 異常終了コード . . . . . 685

01xx (変換プログラム) 異常終了コード . . . . . 685

02xx (DFHPD430) 異常終了コード . . . . . 686

03xx (DFHCSDUP) 異常終了コード . . . . . 686

04xx (外部 CICS インターフェース) 異常終了コード . . . . . 689

**特記事項 . . . . . 693**

プログラミング・インターフェース情報 . . . . . 695

商標 . . . . . 695

製品資料のご使用条件 . . . . . 695

**アクセシビリティ . . . . . 697**

支援機能の使用 . . . . . 697

資料の形式 . . . . . 697

---

## 本書について

「z/VSE メッセージおよびコード」の資料では、CICS Transaction Server for z/VSE のメッセージおよびコードについて説明しています。本書では、受け取ったメッセージあるいはコードに対してどのような処置をとる必要があるか (そのような処置がある場合) について説明しています。

メッセージおよびコードの説明は、接頭部別にセクションに分けられています。各節は接頭部のアルファベット順になっており、最初に数値接頭部があります。

---

## 本書の構成

本書は 3 巻からなり、以下のように分かれています。

表 1. z/VSE メッセージおよびコード

ボリューム	接頭部
IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻	接頭部 0- から 8- および A- から BSTxxxx のメッセージ、VSE/ 拡張機能コードと SVC エラー、z/VSE 対話式インターフェース・コード
IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻	接頭部 DIT- から VMCF- のメッセージ、VSE/VSAM 戻りコードとエラー・コード
IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 3 巻,	DFHxxxxnnn メッセージ (CICS® Transaction Server メッセージ)、CICS Transaction Server 異常終了コード

本書用に 3 つのバインダーが用意されています。これらのバインダーは、引き続き資料番号 SX33-9020 を使用してご注文いただけます。

---

## 関連資料

本書では、必要に応じて他の資料を参照する場合があります。

### **z/VSE ホーム・ページ**

z/VSE は、WWW 上にホーム・ページがあります。ホーム・ページでは、VSE 関連プロダクトやサービス、z/VSE の新機能、およびその他の VSE ユーザーにとって興味深い項目に関する最新情報が記載されています。

z/VSE ホーム・ページは、次のアドレスで見ることができます。

<http://www.ibm.com/systems/z/os/zvse/>

次のサイトで VSE ユーザーの例 (ZIP 形式) を検索することもできます。

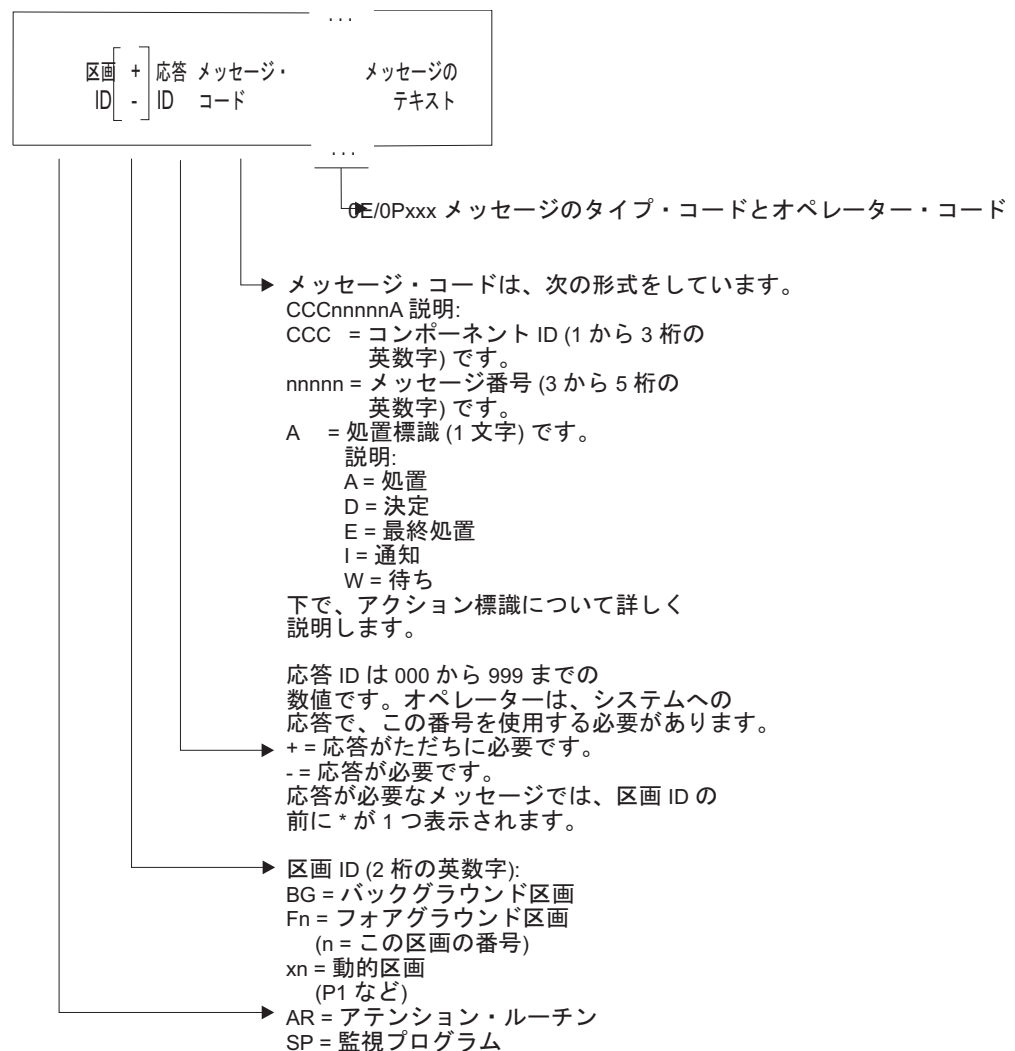
<http://www.ibm.com/systems/z/os/zvse/downloads/samples.html>

## z/VSE Knowledge Center

IBM Knowledge Center は IBM の技術情報の新しいホーム・ページです。z/VSE の資料も IBM Knowledge Center に含まれており、[http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSB27H/zvse\\_welcome.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSB27H/zvse_welcome.html) から見つけることができます。

### メッセージの形式

各メッセージは、区画 ID、応答 ID、メッセージ・コード、およびメッセージ・テキストから成っています。一般形式を以下に示します。



例えば、次のようなメッセージが出されたとします。

**F1 010 1V17A LST2 SUSPENDED FOR FORMS MOUNT**

これは、次のように解釈できます。

**F1** 前景 **1** の区画で実行されているプログラムがこのメッセージを出したことを示します。

**010** オペレーターの応答の応答 ID です。



1V VSE/POWER がこのメッセージを出したことを示します。

17 メッセージ番号です。

A オペレーターの応答が必要なことを示します。

#### LST2 SUSPENDED FOR FORMS MOUNT

メッセージ・テキストです。

上記の例では、オペレーターはリスト書き込み機能 LST2 を再始動するか、あるいは終了することで応答できます。

## 処置標識

処置標識は、必要な処置のタイプを指定するもので、以下のいずれかです。

### 処置標識

#### 意味

A = 処置：

オペレーターは続行する前に、例えば、磁気テープを取り付けたり、入出力装置の用意をするなどの処置を行う必要があります。

D = 決定：

オペレーターは続行する前に、論理決定を行う必要があります。

E = 最終処置：

オペレーターは即時に何かを行う必要はありませんが、最終的には行う必要があります。

I = 通知：

このようなメッセージは、(即時の) 応答を必要としません。これは、例えば、検出された条件あるいはジョブの完了についてオペレーターに通知します。しかし、ある特定の条件は、ジョブを正常に実行するため、あるいはシステムを再度完全に使用できるようにするために、訂正または除去する必要があります。多くの場合、それはオペレーターの仕事ではなく、システム・プログラマーまたはジョブの担当者の仕事です。

W = 待機：

ハードウェアまたはシステムの誤動作のため、システムは待ち状態に入っています。例えば、ハードウェア障害が生じた場合、IPL を介してシステムを再始動する前に、オペレーターはハードウェア・スイッチを設定するか、またはエラー・リカバリー・プログラムを実行する (あるいはその両方を行う) 必要がある場合もあります。

処置標識 A および D の場合、メッセージを出したプログラムは、通常は、オペレーターが応答を入力するまで、あるいは装置を作動可能にするなどの処置を行うまで待機します。

## タイプ/オペレーター処置コード

一部のカテゴリの監視プログラム・メッセージには、『t』(タイプ) と『o』(オペレーター処置コード) が示されます。次のような形式のメッセージの場合：

cccc t o (メッセージ・テキスト)

それらのメッセージの「t」および「o」の意味については、「cccc」メッセージのセクションの最初の部分を参照してください。

---

## メッセージ・テキスト構文

一部のメッセージ・テキストには、大括弧([ ])、中括弧({ })、または垂直バー(|)などのメタ・タグが含まれています。

これらのメタ・タグは以下のように読み取ります。

### [ ] (大括弧)

大括弧はオプション・テキストを囲みます。テキストを 1 回選択できます。または選択しないこともできます。

### { } (中括弧)

中括弧は、垂直バーで区切られたオプションを囲みます。1 つのオプションを選択する必要があります。

### | (垂直バー)

垂直バーは異なるオプションを区切ります。

例えば、次のようなメッセージ・テキストが出されたとします。

**PAGEABLE AREA [nnnK] TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE'  
COMMAND/OPERAND [{(JOB-|OUT-|NET-|XMT-|J+O-|N+X-)EXIT  
INCLUDED}]**

これは以下を意味します。

- PAGEABLE AREA TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND または
- PAGEABLE AREA TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (JOB-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (OUT-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (NET-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (XMT-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (J+O-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (N+X-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA nnnK TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND または
- PAGEABLE AREA nnnK TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (JOB-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA nnnK TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (OUT-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA nnnK TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (NET-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA nnnK TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (XMT-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA nnnK TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (J+O-EXIT INCLUDED) または
- PAGEABLE AREA nnnK TOO SMALL, INCREASE VALUE OF 'SIZE' COMMAND/OPERAND (N+X-EXIT INCLUDED)

---

## メッセージを受け取った場合

正しい応答がはっきり分からない場合には、必ずメッセージを調べてください。メッセージに示されている状況に以前に遭遇したことがない場合や、異なる処置が必要な場合があります。必ず、完全なメッセージの説明を読んでください。

その説明自体が完全ではないように思われる場合、メッセージが属する (サブ) コンポーネント・グループの冒頭を調べてください。一部のグループのメッセージは特定の規則に従っています。

例えば、コンポーネント **1** のメッセージは、4 番目の文字位置に変数数字 **n** を持つことがあります。これは、ジョブ制御ステートメントのエラー・フィールドを示すものです。

**OPxx** の一部のメッセージには、さらに補足情報が含まれています。その補足情報については、コンポーネント **0** のサブコンポーネント **P** を扱っているセクションの最初の部分で説明されています。

メッセージが繰り返し表示され、通常の操作を続けることができない場合には、「*z/VSE Guide for Solving Problems*」も参照してください。この資料では、問題の状態を説明し、可能な解決方法を示しています。

---

## オンライン・メッセージ記述

z/VSE コンソールを使用しているときには、次のいずれかを行うと、z/VSE メッセージおよびコードに示されているメッセージ記述をオンラインで表示することができます。

1. コンソール表示画面上のメッセージ番号の下にカーソルを移動して、EXPLAIN キーを押す。あるいは、
2. コマンド・フィールド (==>) にメッセージ番号を入力してから、EXPLAIN キーを押す。

重要 :

コマンド・フィールドにメッセージ番号を入力する場合、メッセージ記述で勧められている処置を行う前に、必ず 有効なメッセージ記述を入力したことを確認してください。入力した番号が有効でない場合、z/VSE は最も近い番号の説明を示す場合があります。そのメッセージに関する推奨された処置は、ユーザーの作業には正しくないことがあります。

メッセージ記述が別のメッセージを参照している場合には、最初の記述の中にあるそのメッセージ番号にメッセージを移動してから EXPLAIN キーを押すと、そのメッセージの記述を表示することができます。コマンド行に以下の適切な処置のいずれかを入力してから EXPLAIN キーを押せば、オンラインで VSE/VSAM 戻りコードを見することもできます。

- VSAMOPEN
- VSAMCLOS
- VSAMREQU
- VSAMXXCB

VSE/ESA 2.4 では、メッセージの説明でハードコピー資料を以前に参照していたようなメッセージには、いくつかのダミー・メッセージがそのメッセージ内に含まれていました。そのようなダミー・メッセージには、接頭部 VSE とその後に 5 桁の数字が付いています (例えば、VSE00001)。それらは、他のテキストを参照するためにメッセージの説明の中で使用されているものです。接頭部 VSE の付いたメッセージは、「IBM VSE/ESA メッセージとコード 第 1 巻」では説明されていません。

---

## 変更の要約

本書は、z/VSE バージョン 6 リリース 2 で実装された機能拡張および変更を反映するために更新されました。また、用語、細かな修正、および編集上の変更も含まれています。

- z/VSE 6.2 には IBM System z10 以上が必要です。
- Fast Service Upgrade (FSU):
  - z/VSE 6.2 へのアップグレードは、初期インストールまたは FSU を使用して行うことができます。
  - FSU は、z/VSE 6.1 システムからのアップグレード時にのみ使用できます。
  - z/VSE V5 から z/VSE V6 への FSU はできません。

z/VSE 6.1 以降、z/VSE は英語版でのみ提供されています。

z/VSE 6.1 には Architectural Level Set (ALS) が導入され、IBM System z10 以降が必要です。



---

## 第 1 章 DFHnn 接頭部メッセージ (CICS Transaction Server for z/VSE)

CICS の実行中は、CICS からいくつかのタイプのメッセージが出力されます。

- コンソール・メッセージは、システム・オペレーターに実行の進行状況を知らせたり、判断を要求します。
- 特定の CICS 提供サポート・プログラムは、端末オペレーターと直接通信を行います。
- CICS の管理モジュールおよびサポート・プログラムは、重要なイベントおよびエラーの発生を一時データ宛先、例えば、管理システム・マスター端末 (CSMT) に記録します。
- CICS メッセージ交換プログラム (DFHMSP) は、メッセージ交換応答を生成します (「CICS Supplied Transactions」で説明)。
- CICS は、情報マクロ注釈 (mnotes) をプログラマーに送信します (ここでは説明していません)。
- CICS ユーティリティー・プログラムによって作成されたメッセージ (例えば、DFH\$MOLS や DFHMNDUP など)。これらのメッセージは説明がなくても非常に分かりやすいため、ここでは説明していません。

---

### メッセージ ID

メッセージ ID には 2 つのタイプがあります。どちらも、IBM® 指定の CICS モジュールの接頭部「DFH」が付けられています。

#### DFH7nnn ID

これらのコードは、接頭部「DFH7」と 3 桁のメッセージ番号で構成されます。これらのコードは、コマンド・レベル変換プログラム /termc 処理プログラムによって出されたメッセージを示します。

#### DFHccnnnn ID

これらのコードは、接頭部「DFH」と 2 文字のコンポーネント ID (cc) と 4 桁のメッセージ番号 (nnnn) から構成されます。このコンポーネント ID は、メッセージを出すドメインまたはコンポーネントを示しています。以下に、コンポーネント ID とそれに関連するドメインおよびコンポーネントを示します。

AC	異常条件プログラム・コンポーネント
AI	自動インストール端末モデル・マネージャー (AITM)
AK	活動キーポイント・コンポーネント
AM	RDO 割り振りマネージャー
AP	アプリケーション・ドメイン
BR	3270 トランザクションへのブリッジング
CA	DFHCSDUP および EXEC CICS CREATE
CC	CICS カタログ・ドメイン (ローカルおよびグローバル)
CE	サインオン・プログラム・コンポーネント
CP	CPI 通信コンポーネント

## DFHnn 接頭部メッセージ

CR	ISC リモート・スケジューラー・コンポーネント
DD	ディレクトリー・マネージャー
DL	DL/I インターフェース・コンポーネント
DM	ドメイン・マネージャー・ドメイン
DS	ディスパッチャー・ドメイン
DU	ダンプ・ドメイン
DX	CICS データベース制御コンポーネント
ER	ユーザー・バックアウト・プログラム
EV	順次入出力コンポーネント
EX	外部 CICS インターフェース
FC	ファイル制御コンポーネント
FE	FE 端末テスト・プログラム・コンポーネント
IC	インターバル制御機能プログラム
IR	領域間コンポーネント
JC	オンライン・ジャーナル管理コンポーネント
KC	トランザクション/プロファイル・マネージャー
KE	カーネル・ドメイン
LD	ローダー・ドメイン
LM	ロック・マネージャー・ドメイン
MC	BMS メッセージ制御プログラム・コンポーネント
ME	メッセージ・ドメイン
MN	モニター・ドメイン
PA	パラメーター・マネージャー・ドメイン
PC	プログラム管理プログラム・コンポーネント
PD	印刷ダンプ出口ルーチン DFHPDX
PG	プログラム・マネージャー・ドメイン
PR	パートナー・リソース・マネージャー
RC	レポート・コントローラー
RD	RDO 割り振りマネージャー
RM	リカバリー・マネージャー
RT	ISC トランザクション・ルーティング・コンポーネント
RU	リカバリー・ユーティリティー・プログラム
SI	システム初期設定コンポーネント
SK	サブタスク制御プログラム・コンポーネント
SM	ストレージ・マネージャー・ドメイン
SN	サインオン・コンポーネント
SO	CICS ソケット・ドメイン
SR	システム・リカバリー・コンポーネント
ST	統計ドメイン
SZ	フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI)
TC	端末管理プログラム・コンポーネント
TD	一時データ・コンポーネント
TF	端末機能マネージャー
TI	タイマー・ドメイン
TM	システム終了プログラム・コンポーネント
TO	端末オブジェクト解決プログラム・コンポーネント
TP	BMS 端末ページ検索プログラム・コンポーネント
TR	トレース・ドメイン



<b>TS</b>	一時ストレージ管理プログラム・コンポーネント
<b>US</b>	ユーザー・ドメイン
<b>WB</b>	CICS Web インターフェース
<b>WK</b>	ウォーム・キーポイント・コンポーネント
<b>XA</b>	XRF 代替コンポーネント
<b>XC</b>	XRF CICS 可用性マネージャー
<b>XG</b>	XRF 汎用コンポーネント
<b>XM</b>	トランザクション・マネージャー
<b>XO</b>	XRF CICS 可用性マネージャー
<b>XS</b>	CICS セキュリティー・コンポーネント
<b>ZC</b>	端末管理実効ページ・セット・コンポーネント
<b>ZE</b>	TCP エラー・メッセージ書き込み機能コンポーネント
<b>ZN</b>	同期点コンポーネント

例：CICS メッセージ DFHAP0002 は、アプリケーション・ドメインから出され、2 文字の ID AP で識別されます。

## 処置コード

特定のメッセージ (例えば、DFHFC0922A) には、メッセージ番号の後に処置コードが続きます。この処置コードにより、メッセージがシステム・コンソールに表示されるときに必要な処置のタイプをオペレーターが知ることができます。使用される処置コードは以下のとおりです。

- A** 直ちに処置が必要です (例えば、テープの取り付けなど)。
- D** 直ちに判断が必要です (要求に対する応答、例えば、「GO」または「CANCEL」の入力)。
- E** 最終的に処置 - 処置は必要ですが、直ちに処置をとる必要はありません。
- I** 処置は必要ありません (メッセージ・ドメインによって出された場合には、MSGVLV=0 と指定すると、システム初期設定が指定変更され、これらのメッセージを抑制することができます)。

## 重大度コード

特定のメッセージ (特に、端末のオペレーターに対するメッセージ、および CICS ユーティリティから出されたメッセージと関連のあるメッセージ) には、重大度コードがあります。(例えば、DFHST0210 I など。) 重大度コードは、メッセージがエラーと関連があるかどうか、また、エラーと関連がある場合には、どの程度のエラーであるかをオペレーターに示すものです。使用される重大度コードは以下のとおりです。

- E** エラー。エラーが生じ、ユーザーが処置をとらなければ、CICS の処理を続行することはできません。
- I** 通知。処置は不要です。
- W** 警告。プログラム・ループなどのエラーが生じた可能性があります、CICS 処理は続行されます。
- S** 重大エラー。何らかの重大エラーが起きました。直ちに処置をとる必要があります。処置がとられるまで CICS の処理は中断されます。

## 情報の形式

各メッセージの情報は、以下の形式で示されます。

- メッセージ ID - DFHnnnnn または DFHccnnnnn などの形式
- メッセージ・テキスト - CICS で表示されたとおりにメッセージを構成する単語および挿入部分
- 説明 - メッセージが出される原因となった、あるいはメッセージが出された後のイベントの説明
- システムの処置 - CICS によってとられた、またはとられることになる処理
- ユーザーの処置 - ユーザー (コンソール、端末オペレーター、またはシステム・プログラマー) に対して推奨する処置
- 宛先 - メッセージの送信先になる装置またはログ。これは次のいずれかになります。
  - コンソール - CICS に接続された端末タイプ。(特に他に記載されていない限り、経路コードは 2 と 11 です。)
  - 端末エンド・ユーザー
  - SYSLST (システム・プリンター)
  - 次の一時データ・キューのいずれか 1 つ。

**CADL**

VTAM® リソース定義ログ

**CAIL** 自動導入端末モデル・マネージャー (AITM) ログ

**CCPI** 共通プログラミング・インターフェース通信 (CPI 通信) のメッセージ

**CDUL**

トランザクション・ダンプ・メッセージ

**CMIG**

現在サポートしていない機能の使用を報告するメッセージ用の移行ログ

**CRDI** インストール済みリソース定義用のログ

**CSDL** CEDA コマンド・ログ

**CSCS** サインオン/サインオフ・セキュリティー・ログ

**CSFL** ファイル割り振りメッセージと関連メッセージ

**CSKL** トランザクション定義およびプロファイル・リソース定義用のログ

**CSMT**

DFHTACP および DFHACP からの端末書き込みエラーおよび異常終了

**CSPL** プログラム・リソース定義用のログ

**CSRL** パートナー・リソース定義用のログ

**CSSL** 統計ログ

**CSTL** DFHTACP からの端末入出力エラー・メッセージ

**CSML**

サインオン/サインオフ・メッセージ

**CSNE** DFHZNAC から出された端末エラー・メッセージ

**CSPW**

CEPW メッセージ・ログ

**CSPA** レポート・コントローラー監査ログ

**CSZL** FEPI メッセージ・キュー

- モジュール - メッセージを送信する必要があると判断したモジュールの名前。  
(これは、メッセージを書き出すためのマクロ命令を出したモジュールと必ずしも同じとは限りません。)

## XMEOUT パラメーター

XMEOUT グローバル・ユーザー出口を駆動する可能性のあるメッセージには、XMEOUT パラメーターのリストが入っています。XMEOUT 出口を使用すると、メッセージ・ドメインを使用するメッセージの抑止または経路指定のやり直しをすることができます。

多くのコンソール・メッセージは、一時データ・キューに転送をすることができません。これらのメッセージには、すべての DFHTDnnnnn メッセージと、いくつかの DFHXMnnnnn および DFHUSnnnnn メッセージが含まれます。これについては、そのメッセージの注が説明の項で説明されています。

XMEOUT ユーザー出口のプログラミング情報については、「CICS Customization Guide」を参照してください。

## 経路コード

コンソール・メッセージは、複数のコンソール・タイプに送ることができます。特定のメッセージの送信先のコンソール・タイプは、経路コードによって決定されます。各経路コードは、1 つのコンソール・タイプにマッピングされます。CICS が通常使用する経路コードの意味は、次のとおりです。

コード 意味

- |   |  |
|---|--|
| 1 | マスター・コンソール処置 - オペレーターの処置を必要とするシステム状況における変更を示します。 |
| 2 | マスター・コンソール情報 - システム状況 (システム・デフォルト) における変化を示します。  |
| 3 | テープ・プール状況またはその他のテープ関連情報                          |
| 4 | 直接アクセス・プール状況またはその他の関連情報                          |
| 5 | テープ・ライブラリー情報                                     |
| 6 | ディスク・ライブラリー情報                                    |
| 7 | ユニット・レコード・プール情報                                  |
| 8 | テレプロセシング制御状況                                     |
| 9 | システム・セキュリティー検査                                   |

注: この経路コードは、画面上および SYSLOG 上でのオペレーターの応答を抑止します。

- |    |                  |
|----|------------------|
| 10 | システム・エラーまたは保守情報  |
| 11 | VSE ログ用のプログラマー情報 |

特に記載されていない限り、コンソール・メッセージの経路コードは「2」と「11」です。

## 端末 ID

メッセージによっては、メッセージ・テキストに端末 ID (*termid*) が含まれているものがあります。通常、これは 4 文字の ID として示されます。ただし、CICS

が端末を完全に識別できない場合 (例えば、システム間通信が行われている場合) には、その端末を所有しているシステムのアプリケーション ID (*applid*) が端末 ID の前に付けられます。

## 異常終了コード挿入部分

一部の CICS メッセージのトランザクション異常終了コードの挿入部分 (*abcode*) は、EXEC CICS ABEND 要求または DFHPC TYPE=ABEND マクロ要求のいずれも異常終了コードを指定していない場合には、'????' と表示されます。

## ダンプ

CICS のシステム異常終了が発生した場合、関連するデータ・セットが指定されていれば、通常はダンプを印刷することができます。印刷されたダンプを使って問題判別を行うことができます。

## 用語

次のいずれかの事象に関連して、「異常終了する」および「異常終了」という用語が、状況に応じて一般的な意味で使用されることがよくあります。

- VSE ABEND マクロの結果起こる CICS の終了。(「abend」という用語が使用されることもあります。)
- CICS トランザクション ABEND マクロの結果起こるトランザクション (タスク) の終了。

---

## VSE ユーザー異常終了コード

CICS システム、ユーティリティ、またはサブタスクの異常終了とともに出される DFH メッセージには、関連付けられた VSE ユーザー異常終了コードがあります。このコードの値は、対応する DFH メッセージの数字部分になります。したがって、DFH0305 のユーザー異常終了コードは 0305 ということになります。VSE 異常終了コードが出されても、関連付けられた CICS メッセージがない場合には、その問題は多くの場合 CICS から生じたものではありません。

ただし、VSE ユーザー異常終了コードとして可能な最大の値は 4095 であるため、4095 より大きな番号の DFH メッセージの場合には、VSE ユーザー異常終了コードは上記の規則に従わないこととなります。4095 よりも大きい番号を持つメッセージの異常終了コードのリストを、異常終了コード順ならびにメッセージ番号順に以下に示します。

異常終了コード順

0108 DFHCA5263	0185 DFHJC4530
0111 DFHJC4511	0190 DFHXG6450
0112 DFHJC4512	0191 DFHXG6451
0113 DFHJC4501	0192 DFHXG6452
0114 DFHJC4514	0193 DFHXG6453
0115 DFHJC4580	0194 DFHXG6454
0116 DFHJC4582	0195 DFHXG6440
0117 DFHJC4596	0196 DFHXG6441

0118 DFHJC4515	0197 DFHXG6442
0119 DFHJC4519	0198 DFHXG6443
0121 DFHCA5100	0200 DFHXA6540
0123 DFHCA5175	0201 DFHXA6541
0125 DFHCA5180	0202 DFHXG6444
0126 DFHCA5184	0203 DFHXG6430
0127 DFHCA5148	0204 DFHXA6530
0150 DFHER5724	0205 DFHXG6439
0151 DFHER5725	0206 DFHXG6415
0161 DFHAK5802	0207 DFHXA6523
0162 DFHAK5803	0209 DFHXG6427
0170 DFHPS5394	0210 DFHXA6528
0180 DFHJC4597	0213 DFHXG6524
0182 DFHJC4509	0214 DFHXA6580
0183 DFHJC4516	0220 DFHXO6714
0184 DFHJC4534	0221 DFHXO6715

## メッセージ ID 順

DFHAK5802 0161  
 DFHAK5803 0162  
 DFHJC4501 0113  
 DFHJC4509 0182  
 DFHJC4511 0111  
 DFHJC4512 0112  
 DFHJC4514 0114  
 DFHJC4515 0118  
 DFHJC4516 0183  
 DFHJC4519 0119  
 DFHJC4530 0185  
 DFHJC4534 0184  
 DFHJC4580 0115  
 DFHJC4582 0116  
 DFHJC4596 0117  
 DFHJC4597 0180  
 DFHPS5394 0170  
 DFHXA6523 0207  
 DFHXA6528 0210  
 DFHXA6530 0204  
 DFHXA6540 0200  
 DFHXA6541 0201  
 DFHXA6580 0214  
 DFHXG6415 0206  
 DFHXG6427 0209  
 DFHXG6430 0203  
 DFHXG6439 0205

DFHXG6440 0195  
DFHXG6441 0196  
DFHXG6442 0197  
DFHXG6443 0198  
DFHXG6444 0202  
DFHXG6450 0190  
DFHXG6451 0191  
DFHXG6452 0192  
DFHXG6453 0193  
DFHXG6454 0194  
DFHXG6524 0213  
DFHXO6714 0220  
DFHXO6715 0221  
DFHCA5100 0121  
DFHCA5148 0127  
DFHCA5175 0123  
DFHCA5180 0125  
DFHCA5184 0126  
DFHCA5263 0108  
DFHER5724 0150  
DFHER5725 0151

注:

1. VSE/POWER ジョブ・ログに示されているメッセージにはすべて、接頭部にタイム・スタンプとジョブ番号が付けられています。このため、メッセージによっては、そのメッセージ・テキストの文末が切り捨てられているものもあります。VSE/POWER ログ内のすべてのメッセージは VSE システム・ログに複写されているので、全メッセージ・テキストが必要な場合には VSE ログを参照してください。
2. ユーザー異常終了 0225 は、CICS での内部エラーです。バックアウト中に、空であるはずがないハッシュ・テーブルの項目が空であるとマークされたときに、DFHDTES によって出されます。これにより、CICS 領域の異常終了が起きます。異常終了が起きた場合、問題を解決するためのヘルプが必要となります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

---

## DFH7xxx (DFHEXP) コマンド・レベル変換プログラム診断メッセージ

診断メッセージは、アセンブラー言語、COBOL、C、または PL/I で書かれたプログラムの処理中に、コマンド・レベル変換プログラム (アセンブラー言語の場合は DFHEAPI $\theta$ 、COBOL の場合は DFHECPI $\theta$ 、C の場合は DFHEDPI $\theta$ 、PL/I の場合は DFHEPPI $\theta$ ) によって出される場合があります。アセンブラー言語メッセージは、変換プログラム出力ファイルにマクロの注記 (MNOTES) として挿入され、その変換プログラム出力ファイルを印刷するかアセンブルすることによって見ることができます。COBOL、C、および PL/I メッセージは SYSPRINT に送られます。

診断メッセージは、3 つのコンポーネントから成ります。メッセージ番号、重大度コード、およびメッセージ・テキストです。各メッセージは、DFH7nnnI c line text の形式で構成されています。

- *nnn* は番号です。
- *I* は通知メッセージ ID です。
- *c* は重大度コードです。
- *line* はエラーの行番号です。
- *text* はメッセージのテキストです。

アセンブラー言語、COBOL、C、および PL/I では、診断メッセージに重大度コードを割り当てることができます。この重大度コードは 1 つの文字によって表され、存在する場合はメッセージの中のメッセージ番号の直後で、メッセージ・テキストの直前に表示されます。重大度には 5 つのレベルがあります。アセンブラー言語および PL/I の重大度のレベルは、COBOL のレベルとは異なります。これらの言語のコードの意味および関連する戻りコードは、次のとおりです。

アセンブラー、C、または PL/I	戻りコード	COBOL
U = リカバリー不能	16	D = 災害
S = 重大	12	E = エラー
E = エラー	8	C = 条件付き
W = 警告	4	W = 警告
I = 通知	0	I = 通知

メッセージ・テキストはメッセージそのもので構成され、挿入部分が含まれることも含まれないこともあります。挿入部分はメッセージ・テキスト内にあり、実際のメッセージでは、診断メッセージの理由に関する特定の情報が示されます。ただし、すべての診断メッセージが挿入部分を必要とするわけではありません。

コマンド・レベル変換プログラムから出されるメッセージは、通常、説明がなくても分かるものです。DFH7000 はこのタイプのメッセージの例です。

---

#### DFH7000I LISTING FILE CANNOT BE OPENED

説明: リスト・データ・セットがオープンされませんでした。  
 システムの処置: コマンド・レベル変換プログラムは異常終了し、ダンプが作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDUMP オプションがアクティブな場合には、出力は SYSLIST に送られます。

ユーザーの処置: JCL を訂正するか、エラーの原因になっているものおよびオープンが妨げになっているものを判別します。  
 モジュール: DFHEAPI0 (アセンブラー言語の場合)、DFHECPI0 (COBOL の場合)、DFHEDPI0 (C の場合)、DFHEPPI0 (PL/I の場合)  
 宛先: コンソール

---

## DFHACxxxx メッセージ

---

**DFHAC2001** *date time applid* Transaction '*transid*' is not recognized. Check that the transaction name is correct.

説明: トランザクション *transid* は、インストール済みトランザクション定義として存在していないか、使用禁止になっているか、または無効文字が含まれています。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なトランザクション ID を入力してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *transid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2002** *date time applid* To use this transaction *transid* you must sign on or have the right security level.

説明: デフォルト・ユーザー ID を使用してサインオンされていますが、このユーザー ID は要求されたトランザクションへのアクセス権を持っていません。

システムの処置: CICS は、呼び出されたトランザクションの初期設定を行いません。他の処理は続行され、メッセージ DFHAC2003 が宛先 CSMT に送られます。

ユーザーの処置: 許可ユーザー ID を使用してサインオンを行います。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2003** *date time applid* **Security violation has been detected term id = termid, trans id = tranid, userid = userid.**

説明: ユーザー ID *userid* を持つオペレーターが、そのユーザーに許可されていない端末 *termid* でトランザクション *tranid* を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、呼び出されたトランザクションの初期設定を行いません。他の CICS 処理は続行され、メッセージ DFHAC2002 またはメッセージ DFHAC2033 のいずれかが端末オペレーターに送られます。

ユーザーの処置: 以前に出された CSCS ログ上のメッセージ DFHXS1111 内の *userid* を参照して、トランザクション *tranid* を呼び出そうとしている人の ID およびその目的を判断してください。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, userid*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2004** *time applid* **Transaction tranid has failed with abend AKCC. Resource backout was successful.**

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード AKCC で異常終了しました。

システムの処置: トランザクション (タスク) は除去されません。

ユーザーの処置: あとでトランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2005** *time applid* **Transaction tranid has failed with abend abcode.**

説明: トランザクション *tranid* は、INDOUBT(WAIT) または INDOUBT(COMMIT) とともに定義され、しかもパートナー APPC システムと通信が行われていました。明示的または暗黙的な同期点で、そのセッションが INDOUBT 時にセッション障害が発生しました。すぐに同期のやり直しが行われましたが、完了することができませんでした。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。指定変更されない限り、リモート・システムが使用可能なときには APPC 再同期の再試行が行われます。

ユーザーの処置: 異常終了コード *abcode* について詳しくは、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』を参照してください。必要な場合、異常終了の原因を取り除いた後で、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2006** *date time applid* **Transaction tranid program program name abend primary abcode at termid.**

説明: システムは、トランザクション *tranid* を実行することができませんでした。*termid* は、トランザクション *tranid* を開始した端末を識別しています。関連する端末がない場合、*termid* は『????』と表示されます。プログラム *programe* は最高レベル・プログラムで、インストール済みプログラム定義

から取り出されたものです。*abcode* は CICS 異常終了コードです。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 異常終了コード *abcode* の詳細および問題の解決方法については、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』を参照してください。コードが存在しない場合は、そのコードは EXEC CICS ABEND ABCODE (*abcode*) コマンドにより生成されたユーザー・コードです。このコマンドは、ユーザー・プログラムまたは IBM プログラム (例えば、プログラミング言語ライブラリー・モジュール) により出されます。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, primary abcode, termid*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2007** *date time applid* **Transaction tranid cannot run as CICS shutdown is in progress.**

説明: トランザクション *tranid* は、システム静止中には実行できません。

システムの処置: システムは静止モードになっています。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

ユーザーの処置: CICS が通常の実行モードになっているときにトランザクションを入力し直すか、トランザクション・リスト・テーブル (XLT) 内にこのトランザクション用の項目を入れてください。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2008** *date time applid* **Transaction tranid has been disabled and cannot be used.**

説明: 端末 *tranid* が使用禁止になっています。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* が使用不可になったことを、この分野の担当プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2009** *date time applid* **Invalid non-terminal transaction tranid.**

説明: トランザクション *tranid* が入力されました。このトランザクションに関連付けられた端末がありません。トランザクション *tranid* は使用禁止のトランザクションであるか、システム静止時に実行できないトランザクションである可能性があります。あるいは、無効なトランザクション ID が入力されている可能性もあります。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* が無効である理由を突き止めて、これを訂正してください。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid*



宛先: CSMT

---

**DFHAC2010** *time applid Transaction tranid is not executable on terminal termid.*

説明: トランザクション *tranid* の定義に指定したオプションと、端末 *termid* DFHTCT テーブル項目に指定したオプションとの間に矛盾が検出されました。例えば、トランザクション *tranid* が VTAM 端末の使用のために予約されているが、非 VTAM 端末から入力を受け取った場合がこれに該当します。

システムの処置: 入力を無視します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* を端末 *termid* から入力しなければならない場合は、DVSUPRT のインストール済みトランザクション定義の値が DFHTCT 項目と互換性があることを確認してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2012** *date time applid Remote transaction tranid cannot be run on the local system.*

説明: トランザクション *tranid* は、リモート・トランザクションとして指定されています。実行中の CICS システムに MRO/ISC が定義されていないか、トランザクション定義に指定されたリモート・システム名がローカル・システムの名前と同じであるため、トランザクションをリモート・システムへ経路指定する試みが失敗しました。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 次のことを確認してください。

- MRO/ISC サポートが正しく定義されているか。
- リモート・トランザクション定義が正しいか。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2014** *date time applid Transaction tranid is not executable because system sysid is not available.*

説明: トランザクション *tranid* は、リモート・トランザクションとして指定されています。リンクが使用できなくなっているために、トランザクションをリモート・システムへ経路指定する試みが失敗しました。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: リンクが使用可能になるまで待機します。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, sysid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2015** *date time applid Console consname has not been defined to CICS. Input is ignored.*

説明: コンソール名 *consname* のコンソール・オペレーターが、MSG コマンドで CICS 領域への修正を指示しましたが、

このコンソールの端末定義が CICS 領域にインストールされていません。

システムの処置: このコンソールからの MSG コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。このシステム・プログラマーは RDO を使用して、コンソールの名前に一致するコンソール定義を定義してインストールします。

システム・プログラマーは、DFHCONxx の CONSNMAME を指定して TERMINAL 定義を定義するか、プールの数を増やすことによってプールされたコンソールを使用することもできます。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, consname*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2016** *date time applid Transaction tranid cannot run because program program name is not available.*

説明: トランザクション *tranid* 用の初期プログラムが使用できないため、トランザクション *tranid* を実行することができません。考えられる原因は次のとおりです。

1. プログラムが欠落している。
2. インストール済みプログラム定義が欠落している。
3. プログラムは使用禁止になっている。
4. インストール済みトランザクション定義のプログラム名が無効である。
5. インストール済みトランザクションがリモートとして定義されているため、プログラム名はないが、リモート・システムの名前がローカル・システムの名前と同じである。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 説明 に示されているリストから、エラーの原因を判別してください。応答は、その理由によって次のように異なります。

1. プログラムを CICS プログラム・ライブラリーにロードする。
2. そのプログラム用にインストール済みプログラム定義を作成する。
3. プログラムを使用可能にする。
4. インストール済みトランザクション定義に有効なプログラム名を使用する。
5. 次のいずれか該当する処置を実行する。
  - このトランザクションのローカル・バージョンを使用する。
  - このトランザクションの正しいリモート・バージョンを使用する。
  - 正しいシステムにログオンし、トランザクションを再試行する。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2017** *date time applid Transaction tranid cannot run because terminal profile profname for the transaction is not available.*

説明: トランザクション *tranid* 用の端末プロファイルが使用できないため、このトランザクションを実行することができません。これは、端末プロファイルが定義されていないか、またはインストールされていないためです。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。  
 システムの処置: その他の処理を続行します。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーもしくはシステム管理担当者に知らせてください。  
 モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, profname*  
 宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2018** *date time applid An unrecognized Process Initialization Parameter (PIP) has been received in ATTACH for transaction tranid.*

説明: CICS が、無効な処理初期設定パラメーター (PIP) を持つ LU タイプ 6.2 付加ヘッダーを受け取りました。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。  
 システムの処置: CICS は、そのタスク生成要求を拒否します。  
 ユーザーの処置: 受け取られた PIP データとその関連汎用データ・ストリーム (GDS) ヘッダーを調べて、これらのパラメーターが無効である理由を判別してください。  
 モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*  
 宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2019** *date time applid Transaction tranid does not support unmapped conversations.*

説明: トランザクション *tranid* が、非マップ式会話にアクセスするために汎用データ・ストリーム (GDS) の使用を要求するタスク生成要求を受け取りましたが、トランザクション *tranid* が GDS インターフェースの使用をサポートしていません。  
 システムの処置: CICS は、そのタスク生成要求を拒否します。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。  
 ユーザーの処置: 付加ヘッダーを送り出したサブシステムを調べて、正しいトランザクションが要求されたかどうかを確認してください。要求が正しかった場合には、CICS トランザクション定義を調べてください。  
 モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*  
 宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2020** *time applid The conversation type requested by node netname was not recognized.*

説明: CICS が、TYPE=MAPPED または TYPE=UNMAPPED ではない付加ヘッダーで会話タイプ・フィールドを受け取りました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。  
 モジュール: DFHACP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2021** *time applid An unsupported Data Blocking Algorithm (DBA) field in the attach Function Management Header (FMH) has been received from node netname.*

説明: 受信した付加ヘッダーに、予約済みデータ・ブロック化アルゴリズム (DBA) フィールドの値が含まれていました。  
 システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。  
 モジュール: DFHACP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2022** *date time applid Transaction tranid has initiated an incorrect sync point level request.*

説明: 要求された *synclevel* がバインド要求で折衝された *synclevel* と一致しないか、あるいは *synclevel 2* が要求されたがログ名が交換されませんでした。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。  
 システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加ヘッダーを送り出したサブシステムを検査して、正しいトランザクションが要求されていることを確認してください。正しいトランザクションが要求されている場合には、CICS トランザクション定義を調べる必要があります。  
 モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*  
 宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2023** *time applid An invalid sync point level has been requested by node netname.*

説明: 付加ヘッダーで要求された同期レベルは、使用されたセッションでは無効です。  
 システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。付加ヘッダー内の同期レベルの値とバインドの値を比較する必要があります。  
 モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2024** *date time applid A request from node netname has invalid security parameters.*

説明: 受け取られた付加ヘッダーが、バインドに指定してある必要なセキュリティ・パラメーターと一致しませんでした。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。付加ヘッダー内の ACC 要件の値とバインドの値を比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2025** *time applid An invalid Unit of Work Identification (UOWID) has been supplied by node netname.*

説明: 受け取られた付加ヘッダーに、無効な作業単位 ID (UOWID) が入っていました。形式が間違っていたか、同期点レベルが UOWID を要求したときに UOWID が受け取られなかったかのいずれかです。会話相関子が必要なときにそれが指定されていない場合にも、このエラーが起きることがあります。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。UOWID/ 会話相関子の値と付加ヘッダー内の同期点レベルを比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2026** *time applid An invalid Function Management Header (FMH) has been supplied by node netname.*

説明: 付加ヘッダー内の長さフィールドが無効でした。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2027** *date time applid Transaction tranid does not support conversation restart.*

説明: CICS は、再始動を要求する LU タイプ 6.2 付加ヘッダーを受け入れません。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加ヘッダーを送り出したサブシステムを検査し、再始動が要求された理由を判別してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2028** *date time applid Transaction tranid cannot be used and has been ignored.*

説明: トランザクション・コード CSAC または CESC が端末から入力されました。これは許可されていません。

システムの処置: トランザクションが CSAC の場合、トランザクションは影響なく実行されます。トランザクションが CESC の場合、トランザクションは、異常終了コード ATOA で異常終了します。

ユーザーの処置: これらのトランザクションが端末から入力されていないことを確認してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2029** *date time applid Transaction tranid is not executable. The system specified by the dynamic routing program is unavailable.*

説明: トランザクション *tranid* が、リモートかつ動的なものとして指定されています。動的ルーティング・プログラムが指定したリモート・システムに、トランザクション *tranid* を動的にルーティングする試みが失敗しました。これは、リンクが使用できないためです。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: リンクが使用可能になるまで待機し、もう一度トランザクションの動的な経路指定を試みてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2030** *date time applid All sessions are busy. Please try again.*

説明: トランザクション *tranid* が、リモートかつ動的なものとして指定されています。すぐに使用できるセッションがないため、動的ルーティング・プログラムが指定したリモート・システムに、トランザクション *tranid* を動的にルーティングする試みが失敗しました。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セッションが使用可能になるまで待機し、もう一度トランザクションの動的な経路指定を試みてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2033** *time applid* **You are not authorized to use transaction *tranid*. Check that the transaction name is correct.**

説明: オペレーターが許可されていないトランザクション *tranid* を実行しようとしたか、または、別のトランザクションが、この端末用には許可されていないトランザクション *tranid* を開始しようとした。

システムの処置: その他の処理を続行します。メッセージ DFHAC2003 が CSMT に送られます。

ユーザーの処置: オペレーターがトランザクション *tranid* を実行しようとした理由を判別するか、許可されたトランザクション ID を入力してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2034** *time applid* **CICS Logic Error. An invalid error code has been passed to DFHACP. Transaction: *tranid* Terminal: *termid*.**

説明: 無効なエラー・コードが DFHACP に渡されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、トランザクション *tranid* は終了します。ダンプ・コードは AACA です。メッセージ DFHAC2035 が CSMT に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2035** *date time applid* **An invalid error code has been passed to DFHACP. Transaction *tranid* is terminated. Terminal *termid*.**

説明: 無効なエラー・コードが DFHACP に渡されました。システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、トランザクション *tranid* は終了します。トランザクション・ダンプが取られます。ダンプ・コードは AACA です。メッセージ DFHAC2034 が端末ユーザーに送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid*  
宛先: CSMT

---

**DFHAC2036** *date time applid* **Transaction *tranid* has failed with abend AKCC. Resource backout was successful.**

説明: トランザクション *tranid* が AKCC で異常終了しました。

システムの処置: トランザクション (タスク) は除去されません。

ユーザーの処置: あとでトランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2037** *date time applid* **Transaction *tranid* is not executable on terminal *termid*.**

説明: トランザクション *tranid* の定義用に指定したオプションと、端末 *termid* の DFHTCT テーブル項目用に指定したオプションとの間に矛盾が検出されました。例えば、トランザクション *tranid* が VTAM 端末の使用のために予約されているが、非 VTAM 端末から入力を受け取った場合がこれに該当します。

システムの処置: 入力を無視します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* を端末 *termid* から入力しなければならない場合は、DVSUPRT のインストール済みトランザクション定義の値が DFHTCT 項目と互換性があることを確認してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2038** *date time applid* **The conversation type requested by node *netname* was not recognized.**

説明: CICS が、TYPE=MAPPED または TYPE=UNMAPPED ではない付加ヘッダーで会話タイプ・フィールドを受け取りました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2039** *date time applid* **An unsupported Data Blocking Algorithm (DBA) field in the attach Function Management Header (FMH) has been received from node *netname*.**

説明: 受信した付加ヘッダーに、予約済みデータ・ブロック化アルゴリズム (DBA) フィールドの値が含まれていました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

**DFHAC2040** *date time applid* **An invalid sync point level has been requested by node netname.**

説明: 付加ヘッダーで要求された同期レベルは、使用されたセッションでは無効です。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。付加ヘッダー内の同期レベルの値とバインドの値を比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

**DFHAC2041** *date time applid* **An invalid Unit of Work Identification (UOWID) has been supplied by node netname.**

説明: 受け取られた付加ヘッダーに、無効な作業単位 ID (UOWID) が入っていました。形式が間違っていたか、同期点レベルが UOWID を要求したときに UOWID が受け取られなかったかのいずれかです。会話相関子が必要なときにそれが指定されていない場合にも、このエラーが起きることがあります。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。UOWID/会話相関子の値と付加ヘッダー内の同期点レベルを比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

**DFHAC2042** *date time applid* **An invalid Function Management Header (FMH) has been supplied by node netname.**

説明: 付加ヘッダー内の長さフィールドが無効でした。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

**DFHAC2043** *date time applid* **Transaction has been rejected - CICS system is being recovered. Please wait for completion of recovery.**

説明: CICS システムが XRF の引き継ぎまたは持続セッション再始動に続くセッションのリカバリー処理中に、トランザクションを開始する要求を受け取りました。このエラーは DFHZSUP によって検出され、これにより DFHACP がこのメッセージを出します。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: この端末に要求されるリカバリー通知に従って、システムはリカバリー・メッセージを送るか、この端末の `typeterm` 定義の `RECOVNOTIFY` オプションに指定されたリカバリー・トランザクションを開始します (詳細については、「CICS Resource Definition Guide」を参照)。

ユーザーの処置: ユーザーは、リカバリー通知を受け取った後で操作を続行することができます。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

**DFHAC2044** *date time applid* **An error occurred while trying to send SYNCPOINT ROLLBACK to terminal termid.**

説明: SYNCPOINT ROLLBACK 要求を送る試みが行われました。要求の送信元が非ゼロ戻りコードを受け取りました。

システムの処置: 端末 `termid` について ABORT 処理が開始されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースを使用して、SYNCPOINT ROLLBACK 要求からの戻りコードの値を見つけてください。IRC の場合、戻りコードの意味については、「CICS TS Data Areas」を参照してください。

モジュール: DFHZIS1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

宛先: CSMT

**DFHAC2047** *date time applid* **While performing an attach for node netname a security violation was detected.**

説明: セキュリティ問題のために、リモート・トランザクションのタスク生成要求が失敗しました。付加 FMH5 から抽出されたセキュリティ・フィールドが、リモート・システムのユーザーをサインオンするためにセキュリティ・ドメインに渡されましたが、サインオンが失敗しました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHSN1604 など、TDQ CSCS に書き込まれた直前のセキュリティ・メッセージを参照してください。直前のメッセージが発行されていなかった場合は、トレースを検査してサインオンが失敗した原因を判断してください。ユーザー ID、パスワード、またはプロファイルが付加 FMH5 に渡されたのであれば、それらが有効であるかどうかを確認してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

**DFHAC2050** *time applid* **An invalid function management header (FMH) has been supplied by node *netname*.**

説明: 付加ヘッダー内のアクセス・セキュリティ情報長さフィールドが無効です。

システムの処置: 無効な FMH5 を含む例外トレース項目が出されます。そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダーの妥当性を調べて、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAC2051** *date time applid* **An invalid Function Management Header (FMH) has been supplied by node *netname*.**

説明: 付加ヘッダー内のアクセス・セキュリティ情報の長さフィールドが無効でした。

システムの処置: 無効な FMH5 を含む例外トレース項目が出されます。そのタスク生成要求が拒否されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

**DFHAC2052** *time applid* **While performing an attach for node *netname* a security violation was detected.**

説明: 付加 FMH5 でパスワードが要求されましたが、そのパスワードが見つかりません。ユーザー ID は見つかりましたが、タスク生成で検査済み (AV) または持続サインオン先 (PV1) が指定されていないため、パスワードは存在するはずです。

システムの処置: 無効な FMH5 をトレースする例外トレース項目が出されます。そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加ヘッダーを送ったサブシステムを調べて、パスワードが送られなかった理由を調べてください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAC2053** *date time applid* **While performing an attach for node *netname* a security violation was detected.**

説明: 付加 FMH5 でパスワードが要求されましたが、そのパスワードが見つかりません。ユーザー ID は見つかりましたが、タスク生成で検査済み (AV) が指定されていません。システムの処置: 無効な FMH5 をトレースする例外トレース項目が出されます。そのタスク生成要求が拒否されます。ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加ヘッダーを送ったサブシステムを調べて、パスワードが送られなかった理由を調べてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

**DFHAC2054** *time applid* **You are not authorized to access this system.**

説明: リモート・システムに送り出された付加ヘッダーが、バインドに指定してある要求されたセキュリティ・パラメーターに一致しませんでした。

システムの処置: タスク生成要求はリモート・システムによって拒否され、セッションがアンバインドされます。リモート・システムは、CSMT のメッセージ DFHAC2055 および CSNE のメッセージ DFHAC4946 を出します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。タスク生成要求が失敗した理由を調べてください。診断情報についての詳細は、リモート・システムによって出される CSMT のメッセージ DFHAC2055 および CSNE のメッセージ DFHAC4946 を参照してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAC2055** *date time applid* **An attach request from node *netname* has sent BIND/FMH5 security data that is invalid.**

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、FMH 付加パラメーターにエラーがあります。バインド・セキュリティ標識が許可していないタスク生成パラメーターが存在しています。

システムの処置: タスク生成要求が拒否され、セッションがアンバインドされます。コンポーネント TF の例外トレース・ポイント (番号 1737) が出され、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) をトレースします。CSNE のメッセージ DFHAC4946 には、障害の原因を識別するのに便利なセンス情報があります。

ユーザーの処置: リモート・システムにあるエラーの原因を調べてください。例外トレース中の FMH5 を使用して、リモート・システムが無効なタスク生成要求を送信した理由を判別してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSMT

**DFHAC2056** *time applid* **You are not authorized to access this system.**

説明: リモート・システムに送られた付加ヘッダーが APPC プロトコルと一致しませんでした。  
 システムの処置: タスク生成要求はリモート・システムによって拒否され、セッションがアンバインドされます。リモート・システムは、CSMT にメッセージ DFHAC2057 および CSNE にメッセージ DFHZC4947 を生成します。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。タスク生成要求が失敗した理由を調べてください。診断情報についての詳細は、リモート・システムによって出される CSMT のメッセージ DFHAC2057 および CSNE のメッセージ DFHZC4947 を参照してください。  
 モジュール: DFHACP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAC2057** *date time applid* **While performing an attach for node netname a security violation was detected.**

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、FMH 付加パラメーターが APPC プロトコルと一致していません。  
 システムの処置: タスク生成要求が拒否され、セッションがアンバインドされます。コンポーネント TF の例外トレース・ポイント (番号 1737) が出され、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) をトレースします。メッセージ DFHZC4947 が出力されます。  
 ユーザーの処置: リモート・システムにあるエラーの原因を調べてください。例外トレース中の FMH5 を使用して、リモート・システムが無効なタスク生成要求を送信した理由を判別してください。CSNE のメッセージ DFHZC4947 には、障害の原因を識別するのに便利なセンス情報があります。

リモート・システムが旧リリースの CICS か、別のプラットフォームの CICS の場合、USEDFTUSER を設定しなければならない場合があります。  
 モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*  
 宛先: CSMT

**DFHAC2206** *time applid* **Transaction tranid has failed with abend abcode. Resource backout was successful. condmsg**

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。この異常終了の後、すべてのリカバリー可能リソースは正常にバックアウトされています。

*abcode* は、CICS トランザクション異常終了コードまたは CICS の ABEND ABCODE (*abcode*) コマンドによって生成されたユーザー異常終了コードです。このコマンドは、ユーザー・プログラムまたは IBM プログラム (例えば、プログラミング言語ライブラリー・モジュール) によって出されます。

可能な場合には、終了システムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに追加されます。  
 システムの処置: メッセージ DFHAC2236 がマスター端末オ

ペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了コード *abcode* を使用して、問題を診断してください。異常終了が、CICS 以外の IBM プログラム・プロダクトによって出された場合、この異常終了コードはその他のプロダクトのライブラリーに説明があります。

元の異常終了の原因を取り除いた後、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAC2207** *time applid* **Transaction tranid has failed with abend abcode. Resource backout was incomplete. condmsg**

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。リカバリー可能リソースに対する変更には、バックアウトできないものがありました。マスター端末オペレーターに送られたその他のメッセージが、より正確に障害を識別します。

可能であれば、終了するシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2237 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 詳細については、CSMT メッセージを調べてください。必要な場合、影響を受けたリソースを、オフラインでリカバリーするまで使用禁止にします。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAC2208** *time applid* **Transaction tranid has failed with abend abcode1. Resource backout has also failed with abend abcode2. condmsg**

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード *abcode1* で異常終了しました。

トランザクションにより変更されたリソースのバックアウト中に、リカバリー不能エラーが起きました。この結果、バックアウトは異常終了コード *abcode2* で失敗しました。

可能であれば、終了するシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2238 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。異常終了処理は、動的トランザクション・バックアウトが指定されていなかったものとして続けられます。

ユーザーの処置: 必要な場合、影響を受けたリソースを、オフラインでリカバリーするまで使用禁止にします。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAC2230** *date time applid Transaction tranid terminal  
termid not executed due to I/O error at  
session startup. message*

説明: 端末 *termid* のスタートアップ・プログラムに入出力エラーが発生したため、トランザクション *tranid* を実行することができませんでした。

システムの処置: トランザクション *tranid* は実行されません。

ユーザーの処置: 入出力エラーの原因を訂正してください。このエラーは、おそらく端末の電源がオンになっていないことによるものです。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid, message*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2236** *date time applid Transaction tranid abend  
secondary abcode in program program name  
term termid backout successful EXCI id =  
lexci\_id. condmsg*

説明: トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード *abcode* で異常終了しました。現行の作業単位で実行したローカル・システム内のリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

*tranid* が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、EXEC ID=*exci\_id* が追加されます。*exci\_id* は、'jobname.execname.syslogid' のように構成されており、EXCI クライアントを識別します。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID です。この表示は、リンクされた CICS システムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

リモート・トランザクションが失敗したために端末専有領域でこのメッセージが発行された場合、ローカル・システムにはバックアウトするリカバリー可能リソースがない場合があります。この場合、リモート・システムのリソースがバックアウトされたかどうかを通知する条件付きメッセージが表示されません。

システムの処置: 可能な場合、メッセージ DFHAC2206 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 問題の解決方法については、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。*abcode* が CICS 異常終了コードでない場合、これはユーザー・コードです。この場合、担当のプログラマーと相談してください。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, secondary*

*abcode, program name, termid, {1=EXCI id = }, exci\_id, condmsg*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2237** *date time applid Transaction tranid abend  
secondary abcode in program program name  
term termid backout failed EXCI id =  
lexci\_id. condmsg*

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。リカバリー可能リソースに対する変更の一部が、エラーのためバックアウトされませんでした。マスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られたその他のメッセージが、より正確に障害を識別します。

*transid* が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合だけ、EXCI ID=*exci\_id* がメッセージに追加されます。*exci\_id* は、'jobname.execname.syslogid' のように構成されており、EXEC クライアント・ジョブを識別します。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2207 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 詳細については、CSMT メッセージを調べてください。必要な場合、影響を受けたリソースを、オフラインでリカバリーするまで使用禁止にします。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, secondary abcode, program name, termid, {1=EXCI id = }, exci\_id, condmsg*

宛先: CSMT

---

**DFHAC2238** *date time applid Transaction tranid abend  
primary abcode in program program name  
term termid backout abended secondary  
abcode EXCI id = lexci\_id. condmsg*

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード *abcode1* で異常終了しました。トランザクションにより変更されたリソースのバックアウト中に、リカバリー不能エラーが起きました。この結果、バックアウト自体も、異常終了コード *abcode2* で失敗しました。

*transid* が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合だけ、EXCI ID=*exci\_id* がメッセージに追加されます。*exci\_id* は、'jobname.execname.syslogid' のように構成されており、EXEC クライアント・ジョブを識別します。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2208 が端末ユーザーに送られます。異常終了処理は、動的トランザクション・バックアウトが指定されていなかったものとして続けられます。

ユーザーの処置: 必要な場合、影響を受けたリソースを、オフラインでリカバリーするまで使用禁止にします。



モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, primary abcode, program name, termid, secondary abcode, {I= EXCI id =}, exci\_id, condmsg*

宛先: CSMT

**DFHAC2259** *date time applid Transaction tranid abend primary abcode in program program name term termid DFHPEP not linked.*

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。ユーザー作成のプログラム・エラー・プログラム (DFHPEP) へのリンクを試みたところエラーが発生しました。このエラーが、DFHPEP に制御を渡す妨げとなりました。

プログラム制御再始動に失敗したために CICS が異常終了した場合、このメッセージがシャットダウン時に表示されます。システムの処置: 失敗の理由に応じて、CICS は異常終了する場合と継続する場合があります。

ユーザーの処置: トランザクション異常終了コード *abcode* が、元のトランザクション・エラーの理由を示しています。

DFHPEP を呼び出すことができなかった理由を突き止めてください。使用不可になっている可能性があります。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, primary abcode, program name, termid*

宛先: CSMT

**DFHAC2260** *date time applid Transaction tranid disabled by DFHPEP.*

説明: 異常終了したトランザクション *tranid* が、使用禁止になりました。これは DFHPEP のユーザー・コードの結果か、あるいは、トランザクションが異常終了コード ASRD で異常終了し、しかも DISMACP=YES がシステム初期設定パラメーターに指定されていたこと (またはデフォルト) が原因です。トランザクション *tranid* をこれ以上使用することはできません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 異常終了の原因を訂正して、トランザクションを使用可能にしてください。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid*

宛先: CSMT

**DFHAC2261** *System sysid sent message (sense code ccccccc). 'tacbmsg'.*

説明: 異常終了したトランザクションが、システム *sysid* から否定応答および説明的な警告メッセージを受け取りました。メッセージ *tacbmsg* がリモート・システムから与えられました。システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: リモート・システムでの異常終了の原因を訂正して、トランザクションを実行し直してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAC2262** *date time applid System sysid sent message (sense code ccccccc). tacbmsg*

説明: 異常終了したトランザクションが、システム *sysid* から否定応答および説明的な警告メッセージを受け取りました。メッセージ *tacbmsg* がリモート・システムから与えられました。システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: リモート・システムでの異常終了の原因を訂正して、トランザクションを実行し直してください。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, ccccccc, tacbmsg*

宛先: CSMT

**DFHAC2263** *date time applid Transaction tranid abend primary abcode in program program name term termid DFHPEP has abnormally terminated.*

説明: トランザクション *tranid* が異常終了し、異常終了完了プログラム (DFHACP) がユーザー作成エラー・プログラム (DFHPEP) にリンクしました。エラー・プログラムも異常終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション異常終了コード *abcode* が、先に出されたトランザクション障害の原因を示しています。エラー・プログラム内の異常終了の原因を訂正し、トランザクションを実行し直してください。

モジュール: DFHACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, primary abcode, program name, termid*

宛先: CSMT

**DFHAC2603** *Syst.sense sysysense,termid,taskid, No authorization*

説明: オペレーターが、許可されていないトランザクションの実行を試みました。あるいは、オペレーターの権限がデフォルト・ユーザーの機能に設定されていたときに、1 より大きいセキュリティ値を持つトランザクションが要求されました。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 適切にサインオンを行うか、このトランザクションを入力して権限を確認します。詳細については、メッセージ DFHAC2002 およびメッセージ DFHAC2003 を参照してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAC2605** *Syst.sense sysysense,termid,taskid, Insufficient resource*

説明: システムは現時点でトランザクションを実行することができませんでした。

システムの処置: トランザクションは除去されます。

ユーザーの処置: あとでトランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHACP

## DFHAC2606 • DFHAK5802

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHAC2606 **Syst.sense** *systsense,termid,taskid*, **Function not executable**

説明: トランザクションがシステム静止時に有効でなかったか、トランザクションの使用が禁止されていました。  
システムの処置: システム処置は、エラーによって異なります。システム静止時の無効なトランザクションについては、メッセージ DFHAC2007 のシステムの処置を参照してください。

使用禁止になったトランザクションについては、メッセージ DFHAC2008 のシステムの処置を参照してください。  
ユーザーの処置: ユーザーの処置は、エラーによって異なります。

システム静止時の無効なトランザクションについては、メッセージ DFHAC2007 のユーザーの処置を参照してください。使用禁止になったトランザクションについては、メッセージ DFHAC2008 のユーザーの処置を参照してください。  
モジュール: DFHACP  
宛先: 端末エンド・ユーザー

---

## DFHAIxxxx メッセージ

---

### DFHAI0101I *applid* **AITM initialization has started.**

説明: これは、自動インストール端末モデル・マネージャー (AITM) 初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAIIN

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

説明: これは、自動インストール端末モデル *modelname* の動的置換のレコードが一時データ宛先で作成されたことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAIITM

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modelname*

宛先: CAIL

---

### DFHAI0102I *applid* **AITM initialization has ended.**

説明: これは、自動インストール端末モデル・マネージャー (AITM) 初期設定が完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAIIN

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHAI0202I *date time applid Terminal Model modelname* **has been installed.**

説明: これは、自動インストール端末モデル *modelname* の動的追加のレコードが一時データ宛先で作成されたことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAIITM

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modelname*

宛先: CAIL

---

### DFHAI0103I *applid* **AITM initialization has failed.**

説明: 自動インストール端末モデル・マネージャー (AITM) 初期設定が失敗しました。

システムの処置: メッセージ DFHSI1521 が出力され、初期設定が終了します。さらに別のドメインからエラー・メッセージが出力されることもあります。

ユーザーの処置: このエラーは、トレース項目によって識別されます。詳細については、DFHSI1521、ならびにこの他に出力されたエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAIIN

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHAI0203I *date time applid Terminal Model modelname* **has been discarded.**

説明: これは、自動インストール端末モデル *modelname* の動的削除のレコードが、DISCARD コマンドを使用して一時データ宛先で作成されたことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAIITM

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modelname*

宛先: CAIL

---

### DFHAI0201I *date time applid Terminal Model modelname* **has been re-installed.**

---

## DFHAKxxxx メッセージ

---

### DFHAK5801 *date time applid Activity keypoint number nnn at time*

説明: これは、活動キーポイント番号 *nnn* のタイム・スタンプ・メッセージです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAKP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, nnn, time*

宛先: CSMT

---

### DFHAK5802 *applid Activity keypoint abend*

説明: 活動キーポイント処理中に異常条件が発生しました。  
DFHAKP は、使用する CICS サービスのいずれかで異常終了を代行受信したときに、このメッセージを出します。  
システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。  
ユーザーの処置: この障害の原因について、先に出されたメッセージを調べてください。例えば、システム・ログが使用不可能であるかどうかを調べます。初めてキーポイントを取ろうとすると、このメッセージを出して異常終了を引き起こします。

障害の原因が明白ではない場合、CICS トレースを使用して、障害の時点で起動された CICS サービス、および出された異常終了コードを判別します。エラーおよび推奨処置については、異常終了の説明箇所をお読みください。  
モジュール: DFHAKP

XMEOUT パラメーター: *applid*

## DFHAMxxxx メッセージ

### DFHAM4800I New group *grpname* created.

説明: 新しいグループ *grpname* が CSD 上に作成されました。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHAM  
宛先: 端末エンド・ユーザー

### DFHAM4801I New list *lstname* created.

説明: 新しいリスト *lstname* が CSD 上に作成されました。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHAM  
宛先: 端末エンド・ユーザー

### DFHAM4802E *applid* name is an invalid name.

説明: コマンド内の名前 *name* が無効です。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: 有効な名前を指定してください。  
モジュール: DFHAM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

### DFHAM4803E *applid* Install failed because an existing definition for file *filename* could not be deleted.

説明: ファイル *filename* をインストールする試みが行われました。ファイル *filename* はすでに存在し、削除することはできません。この条件は、FCT 内または CSD 上の既存のファイル定義が、使用可能またはオープンとしてインストールされた場合に発生します。  
システムの処置: インストールは失敗します。  
ユーザーの処置: 問題を解決して、もう一度インストールを試みてください。  
モジュール: DFHAM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

### DFHAM4804E *applid* Invalid LIST name *lstname*.

宛先: コンソール

### DFHAK5803 *applid* Journal buffer too small for activity keypoint

説明: キーポイントを取っている間、ジャーナル・バッファが小さすぎたため、CICS は CICS テーブルの主要部分をシステム・ジャーナルに書き出すことができませんでした。  
システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。  
ユーザーの処置: システム・ジャーナル用に大きな BUFSIZE 指定を行って JCT を再アSEMBルし、CICS を再始動します。  
モジュール: DFHAKP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

説明: GRPLIST システム初期設定パラメーターに、RDO が受け入れられない文字を含むリスト名 *lstname* が指定されています。  
システムの処置: CICS は、「ENTER ALTERNATIVE NAME OR CANCEL」という要求を出します。  
ユーザーの処置: 有効なリスト名を入力するか、または「CANCEL」を入力し、GRPLIST システム初期設定パラメーターを訂正して、CICS を再初期設定してください。  
モジュール: DFHAM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *lstname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

### DFHAM4805E Unable to perform operation: *name* is locked to APPLID *applid*, OPID *opid* to prevent updating.

説明: 現時点で別のユーザーにロックされているグループまたはリストを、ロックまたは更新する試みが行われました。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: グループまたはリストがロックされていないときにコマンドを再入力してください。  
モジュール: DFHAM  
宛先: 端末エンド・ユーザー

### DFHAM4806E *applid* Group name *grpname* exists as a LIST name.

説明: GRPLIST システム初期設定パラメーターに、使用できないグループ名 *grpname* を含むリストが指定されています。同じ名前のリストがすでに CSD 内に存在しているため、このグループ名を使用することはできません。

注: 同じ名前のグループおよびリストは共存できません。

システムの処置: CICS は、「IS START-UP TO BE CONTINUED? REPLY GO OR CANCEL」という要求を出します。

「GO」と応答すると、CICS はリスト内のすべての有効な定義により初期設定されます。

ユーザーの処置: グループ *grpname* を必要としない場合には、「GO」を入力してください。

グループ *grpname* が不可欠な場合には、「CANCEL」を入力し、GRPLIST システム初期設定パラメーターを訂正して、

## DFHAM4808E • DFHAM4819E

CICS を再初期設定してください。次に CEDA トランザクションを使用して、誤ったリストを調べて訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *grpname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

### DFHAM4808E Object already exists in this group.

説明: グループ内にオブジェクトを定義する試みが行われましたが、同一名のオブジェクトがすでに存在しています。

システムの処置: ユーザーが重ね打ちできるように、CSD 上の定義が表示されます。

ユーザーの処置: 別のオブジェクト名を指定したコマンドを入力し直すか、または既存の定義を変更してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHAM4809E Date/time fields do not match (object updated by another user).

説明: CSD 上のオブジェクトの定義が、ユーザーが定義を変更している間に変更されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHAM4810E Object not found (deleted by another user).

説明: CSD 上のオブジェクトの定義が、ユーザーが定義を変更している間に削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 定義が削除された理由を突き止めてください。必要な場合、オブジェクトを再作成して更新します。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHAM4811E *applid name1* does not contain *name2*.

説明: 要求されたオブジェクト *name2* が、CSD 上のグループ *name1* 内に見つかりません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 定義が見つからない原因を判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name1*, *name2*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

### DFHAM4814E *applid* List name *listname* exists as a group name.

説明: GRPLIST システム初期設定パラメーターに、無効なリスト名 *listname* が指定されています。CICS は、同一名のグループがすでに CSD 内に存在するため、そのリストを見つけることができません。

注: 同じ名前のグループおよびリストは共存できません。

システムの処置: CICS は、「ENTER ALTERNATIVE

NAME OR CANCEL」という要求を出します。

ユーザーの処置: 有効なリスト名を入力するか、または「CANCEL」を入力し、GRPLIST システム初期設定パラメーターを訂正して、CICS を再初期設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *listname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

### DFHAM4815E Group *grpname* not found in this list.

説明: コマンドに入力された AFTER/BEFORE 名をこのリスト上で見つけることができません。ユーザーが EXPAND コマンドの結果を参照している間に、定義が削除された可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このリスト上に存在するグループ名でコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHAM4816E *applid* Unable to install group *grpname* - group not found.

説明: GRPLIST システム初期設定パラメーターに、使用できないグループ名 *grpname* を含むリストが指定されています。CICS は、このグループに属するものとして定義されたリソースがないため、グループ *grpname* を見つけることができません。

システムの処置: CICS は、「IS START-UP TO BE CONTINUED? REPLY GO OR CANCEL」という要求を出します。

「GO」と応答すると、CICS はリスト内のすべての有効な定義により初期設定されます。

ユーザーの処置: グループ *grpname* を必要としない場合には、「GO」を入力してください。

グループ *grpname* が不可欠な場合には、「CANCEL」を入力し、GRPLIST システム初期設定パラメーターを訂正して、CICS を再初期設定してください。次に CEDA トランザクションを使用して、誤ったリストを調べて訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *grpname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

### DFHAM4819E Group already exists in this list.

説明: グループはすでにリストに存在しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: グループが存在する原因を判別し、別のグループ名を使用してコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4820S Unable to perform request - CSD full.**

説明: CSD ファイル DFHCSD がいっぱいです。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: スペースを現在より多く使用できるときに、  
 コマンドを再入力してください。  
 モジュール: DFHAMP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4821S applid Unable to perform request - I/O error to CSD.**

説明: CICS 初期設定時に CSD ファイルにアクセスを行っているとき、エラーが発生しました。これは、おそらく CSD ファイルを含むディスクが正しく取り付けられなかったためと考えられます。  
 システムの処置: CICS は終了します。  
 ユーザーの処置: CICS 初期設定を再試行します。この問題が再発する場合は、おそらくハードウェアに障害があり、CSD ファイルのバックアップ・コピーをロードする必要があります。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4823S applid Unable to perform request - DFHCSD not open.**

説明: CSD ファイル (DFHCSD) がオープンされていません。  
 システムの処置: その他の処理を続行します。  
 ユーザーの処置: マスター端末オペレーターにファイルのオープンを依頼してください。DFHCSD は、システム初期設定パラメーターによって定義されています。CSD ファイルの定義方法についての詳細は、「*CICS System Definition and Operations Guide*」を参照してください。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4824S applid Unable to perform request - Insufficient function in file definition for DFHCSD.**

説明: 初期設定時に、CICS は GRPLIST システム初期設定パラメーターを見つけてましたが、DFHCSD のファイル定義項目にエラーがあったために、CSD ファイルにアクセスできませんでした。

このエラーの最大の原因としては、DFHCSD に対して CSDACC システム初期設定パラメーターが正しくコーディングされていないことが考えられます。詳細については、「*CICS System Definition and Operations Guide*」を参照してください。  
 システムの処置: CICS は終了します。  
 ユーザーの処置: 次の CICS 初期設定を行う前に、DFHCSD のシステム初期設定パラメーターのエラーを訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4825S applid Unable to perform request - File Control has returned an INVREQ response.**

説明: ファイル制御ファイル要求ハンドラー (DFHFCFR) が、入力されたコマンドをサポートするための十分な機能を持っていません。  
 システムの処置: コマンドは無視されます。  
 ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4826S applid Unable to perform request - CSD corrupted or not initialized.**

説明: 初期設定時に、CICS は GRPLIST システム初期設定パラメーターを見つけてましたが、次のいずれかの理由で CSD ファイルにアクセスできません。

1. CSD ファイルが初期設定されていない。
2. CSD 初期設定が正しく完了していない。
3. CSD ファイルが破壊されている。

システムの処置: CICS は終了します。  
 ユーザーの処置: 前に CSD ファイルを使用したことがなければ、オフライン・ユーティリティ DFHCSDUP を用いて CSD ファイルを初期設定し、ユーティリティからの出力リストを見て、初期設定が正しく完了したかどうかを調べてください。

以前に CSD ファイルを使用していた場合には、それが破壊されていることも考えられます。CSD ファイルのバックアップ・コピーをロードして、壊れたファイルの代わりにそれを使用してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4827S applid Unable to perform request - DFHCSD could not be installed.**

説明: 初期設定時に、CICS は GRPLIST システム初期設定パラメーターを見つけてましたが、ファイル制御が CSD ファイルをインストールできなかったため、CSD ファイルにアクセスできません。

システムの処置: CICS は終了します。  
 ユーザーの処置: 次の CICS 初期設定を行う前に、DFHCSD ファイルの定義に正しいシステム初期設定パラメーターを指定してあることを確認してください。

新しい SIT を必要に応じてアセンブルします。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4828E applid Group grpname not found.**

説明: コマンド内のグループ名 *grpname* を見つけることができません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 存在するグループ名を使用してコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *grpname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4829S applid Storage violation. CSD primary control record not updated.**

説明: CSD ファイルの 1 次レコードのストレージ内バージョンが壊されました。

システムの処置: CSD ファイルのバージョンは更新されず、しかも必ずしも影響を受けていません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4830E restype resname already exists in the target group.**

説明: ターゲット・グループ内に重複したものが見つかったため、COPY 操作を実行できません。

システムの処置: COPY コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: MERGE オプションまたは REPLACE オプションを使用して、このコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4831E The new name name is longer than the four characters allowed for restype names.**

説明: 指定された名前 *name* が 4 文字を超えるため無効です。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 有効な名前を入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4839E applid List listname not found.**

説明: CICS 初期設定に使用されるシステム初期設定テーブル (SIT) には、GRPLIST パラメーターが含まれていますが、CICS は CSD ファイル内に指名されたリスト *listname* を見つけることができません。

システムの処置: CICS は、「ENTER ALTERNATIVE NAME OR CANCEL」という要求を出します。

ユーザーの処置: 有効なリスト名を入力してください。

適当なユーザー定義リストがなかった場合には、GRPLIST=DFHLIST を指定して最小機能システムを初期設定して、CEDA トランザクションを使用して間違いのあるリストの

検討および訂正を行い、必要なグループをインストールし、適切なリストを再作成することができます。最後に、CICS を取り消し、GRPLIST システム初期設定パラメーターを訂正して、CICS を再初期設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *listname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4840W Group grpname not appended - group already exists in target list.**

説明: グループ *grpname* が、すでにターゲット・リストに存在します。

システムの処置: グループ定義は追加されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4841E applid Install failed because definition of restype resname is in use by task no. taskno (transaction id. tranid).**

説明: CICS 上にオブジェクト定義 *restype resname* をインストールする試みが行われましたが、タスク *taskno* によって読み取りロックがその定義上で保持されています。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: しばらくしてからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *restype*, *resname*, *taskno*, *tranid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4842E applid Install failed because restype resname is currently in use.**

説明: CICS システム上でオブジェクト定義 *restype resname* をインストールする試みが行われましたが、そのオブジェクト定義が使用中であったためインストールは失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: しばらくしてからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *restype*, *resname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4843W applid ttttttt nnnnnnnn is internally locked to OPID opid APPLID applid.**

説明: インストールを試みましたが、グループまたはリスト *tttttttt nnnnnnnn* が、CICS システム *applid* 上のオペレーター *opid* に内部的にロックされています。これは、CSD を複数の CICS 領域間で共用していて、しかもそのグループまたはリスト上の操作が完了していないとき、コールド・スタート時に発生した可能性があります。

システムの処置: インストールは続行されます。

ユーザーの処置: インストールされた定義がユーザーの要件に

対応しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHAMP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *ttttttt*, *nnnnnnnn*, *opid*, *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4844W** *restype resname1 in group grpname1 has the same name as a restype later in group grpname2.*

説明: CHECK コマンドが重複オブジェクト名を検出しました。

システムの処置: CHECK コマンドにはありませんが、これらの定義がインストールされた場合には、前の定義は無視されません。両方とも同じ CICS テーブルに属しており、このテーブルでは重複した項目は存在できないからです。

ユーザーの処置: 重複状態が存在する理由を突き止めて、必要な場合はこれを修正してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4845W** *restype1 resname1 referenced by restype2 resname2 in group grpname cannot be found.*

説明: CHECK コマンドが、トランザクション定義で、存在しないオブジェクト定義の参照を検出しました。

システムの処置: CHECK コマンドでは何も行われませんが、その定義がインストールされ、使用される場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: オブジェクト定義が見つけれられない理由を突き止めて、必要な場合はこれを修正してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4846W** *The xxxxxxxx of transaction tranid1 in group grpname duplicates that of transaction tranid2 in group grpname.*

説明: CHECK コマンドが、別のトランザクションと同じ別名を持つトランザクション定義を見つけました。

システムの処置: CHECK コマンドについては、システムの処置は発生しません。ただし、その定義をインストールし使用した場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 重複状態が発生する理由を突き止めて、必要な場合はこれを修正してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4847W** *RELOAD(YES) has been specified for program progname referenced by transaction tranid in group grpname.*

説明: CHECK コマンドが、RELOAD=YES が指定されたプログラムを参照するトランザクション定義を見つけました。

システムの処置: この定義をインストールした場合、CICS は、トランザクションによって呼び出された最初のプログラムに対してストレージを解放しません。

ユーザーの処置: RELOAD (NO) を指定してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4848W** *Program progname in group grpname specifies language RPG which is no longer supported on VSE.*

説明: CHECK コマンドが、RPG II プログラム定義を見つけました。RPG II は、CICS Transaction Server ではサポートされていません。

システムの処置: この定義をインストールした場合、プログラム言語は上書きされ、予期しない結果が起ります。

ユーザーの処置: 定義を変更または削除してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4849W** *NETNAME netname of {CONNECTION | TERMINAL} rsrcname1 in group grpname1 duplicates that of {CONNECTION | TERMINAL} rsrcname2 in group grpname2.*

説明: CHECK コマンドが NETNAME を持つ接続または端末定義を検出しました。これは、別の接続または端末定義で定義されている NETNAME と同じものです。

システムの処置: CHECK コマンドでは何も行われません。

ただし、同じ NETNAME を持つ、2 台の端末または端末と接続をインストールすることはできません。また、同じ NETNAME の複数の APPC リンク、同じ NETNAME の APPC リンクと LUTYPE6.1 リンク、あるいは同じ NETNAME の複数の IRC 接続を持つこともできません。

ユーザーの処置: 重複している名前がある理由を突き止めて、問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4850W** *Transaction ID tranid begins with 'C'. Such transaction IDs are reserved and may be redefined by CICS.*

説明: 文字 C で始まるトランザクションは予約されており、CICS によって再定義される場合があるため避けてください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 別のトランザクション ID を指定してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4852W** *restype name resname begins with 'DFH'. Such names are reserved and may be redefined by CICS.*

説明: DFH で始まる名前が指定されました。

システムの処置: 定義がインストールされている場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 「DFH」で始まる名前は予約されており、さらに CICS によって再定義される場合があります。「DFH」で始まる名前は避けてください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4855W DVSUPRT(VTAM) must be specified for PROFILE *profname* referenced by transaction *transid* in group *grpname*.**

説明: CHECK コマンドが、プロファイル *progname* 内に DVSUPRT(VTAM) が指定されていない CICS 提供トランザクション *transid* の定義を見つけました。

システムの処置: その定義をインストールし使用した場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: DVSUPRT(VTAM) を指定します。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4856W INBFMH(ALL) must be specified for PROFILE *profname* referenced by transaction *transid* in group *grpname*.**

説明: CHECK コマンドが、プロファイル *progname* 内に INBFMH(ALL) が指定されていない CICS 提供トランザクション *transid* の定義を見つけました。

システムの処置: この定義をインストールし使用した場合には、システムは異常終了コード AXFO を出して異常終了します。

ユーザーの処置: INBFMH(ALL) を指定します。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4858S applid Unable to perform request - DFHCSD not enabled.**

説明: GRPLIST システム初期設定パラメーターが指定されていますが、CSD ファイルが使用不可のため CICS はこの CSD ファイルを使用できません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: CSD ファイルを使用する場合、次の CICS 初期設定を行う前に、DFHCSD のシステム初期設定パラメーターおよび JCL が正しく指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4859S applid Unable to perform request - The value of the CSDSTRNO system initialization parameter is too small.**

説明: VSAM 文字列が不足していて、CEDA が続行できません。

システムの処置: CEDA コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 他の CEDA ユーザーがそれぞれのセッションを終了させるまで待つか、並行 CEDA トランザクションの 2 倍の数に CSDSTRNO 初期設定パラメーターの値を指定します。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4861W XTRANID of transaction *transid* in group *grpname* duplicates transaction ID *transid* in group *grpname*.**

説明: CHECK コマンドが、グループ *grpname* 内に、その XTRANID が前のトランザクション ID と重複するトランザクション *transid* を見つけました。

システムの処置: CHECK コマンドについては、システムの処置は発生しません。ただし、これらの定義がインストールされると別名は無視されます。

ユーザーの処置: 重複している名前がある理由を突き止めて、問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4862W transaction id *transid* in group *grpname* duplicates XTRANID of transaction *transid* in group *grpname*.**

説明: CHECK コマンドが、グループ *grpname* 内に、その XTRANID が前のトランザクション ID と重複するトランザクション *transid* を見つけました。

システムの処置: CHECK コマンドについては、システムの処置は発生しません。ただし、これらの定義がインストールされた場合には、メッセージ内の最初のトランザクションが無視されます。

ユーザーの処置: 重複している名前がある理由を突き止めて、問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4863I name is now locked. No group or list of that name exists.**

説明: LOCK コマンドは正常に実行されましたが、名前 *name* のグループまたはリストを CSD ファイル上に見つけられませんでした。

システムの処置: 名前がロックされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4864S applid Unable to perform operation - DFHCSD cannot be opened.**

説明: GRPLIST システム初期設定パラメーターが指定されていますが、次のいずれかの理由で CICS はこの CSD ファイルを使用できません。

1. スタートアップ JCL に CSD ファイルの定義 (DFHCSD) が入っていない。
2. CSD ファイルのファイル名またはデータ・セット名が、スタートアップ JCL に正しくコーディングされていない。
3. VSAM が、CSD ファイルをオープンできないものと診断した。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 問題を解決するための処置は、次のように原因によって異なります。

1. JCL を訂正する。



2. JCL を訂正する。
  3. システム・オペレーターのコンソール上の VSAM メッセージを調べ、VSAM エラーをすべて訂正する。
- モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4865S *applid* Unable to perform operation - DFHCSD currently accessed by another user.**

説明: GRPLIST システム初期設定パラメーターは指定されていますが、別の領域が CSD ファイルにアクセスしており、CSD クラスタが VSAM に対して SHAREOPTIONS(1) とし定義されているため、CICS はその CSD ファイルに対する読み取りアクセス権を得ることができません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この問題の再発を防ぐには、SHAREOPTIONS(2) を指定して CSD ファイルを再作成してください。詳細については、「CICS System Definition and Operations Guide」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4866E Unable to perform operation: name is IBM protected.**

説明: ユーザーが、「DFH」で始まるグループまたはリストの内容を変更しようと試みました。これらは、IBM により保護されています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: IBM 提供のグループまたはリストをコピーし、コピーしたグループまたはリストの変更を行うことができます。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4867E File name DFHCSD is reserved and must not be modified.**

説明: CSD を CSD 自体に定義することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: CSDxxxx システム初期設定パラメーターで DFHCSD を定義します。詳細については、「CICS System Definition and Operations Guide」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4868W The LSRPOOLID of the LSRPOOL *lsrname* in group *grpname* duplicates that of LSRPOOL *lsrname* in group *grpname*.**

説明: CEDA CHECK コマンドを呼び出すときに、グループ *grpname* 内に、別の LSRPOOL の LSRPOOLID と重複する LSRPOOL 定義 *lsrname* が見つかりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 重複している名前がある理由を突き止めて、問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4869E Single resource install of *restype resname* in group *grpname* is not allowed.**

説明: 単一リソース・インストールによる *restype resname* のインストールが許可されていません。このインストールは、グループ・インストールを介して行う必要があります。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: グループ *grpname* は、グループ・インストールを介してインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4870E *applid* Install failed for program *progrname* - language RPG is no longer supported under VSE.**

説明: システム初期設定テーブル (SIT) の GRPLIST パラメーターが、LANGUAGE(RPG) で定義されたプログラム *progrname* を含むグループが入ったリストを指定しています。RPG プログラムはサポートされなくなりました。

システムの処置: CICS の初期設定は続行されます。エラーになっている定義は無視されます。

ユーザーの処置: 正しい LANGUAGE 定義を使用して、プログラム *progrname* を定義し直してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *progrname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4871W *applid* File *filename* has been installed but set *filename* failed.**

説明: インストール済みファイル *filename* に対する DSNNAME および ENABLED の設定が失敗しました。

システムの処置: ファイルはインストールされていますが、その状態は設定されません。

ユーザーの処置: CEMT SET FILE コマンドを使用して、ファイルを設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *filename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4872S *applid* Unable to connect to CICS catalog.**

説明: DFHAMP が、端末インストールのための CICS カタログに接続することができませんでした。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4873S** *applid* Unable to disconnect the CICS catalog.

説明: DFHAM4873S が、端末インストールのための CICS カタログを切断することができませんでした。  
 システムの処置: CICS は終了します。  
 ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHAM4873S

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4875E** Unable to perform operation: *name* is currently being updated by APPLID *applid* OPID *opid* - please retry later.

説明: ユーザーが参照したグループ/リストの内容を、CEDA の別のユーザーが現在変更を行っているため、ユーザーが出したコマンドが実行されません。  
 システムの処置: コマンドは実行されません。  
 ユーザーの処置: もう一度コマンドを出してください。  
 モジュール: DFHAM4875E  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4876W** PARTNER *partnname* specifies NETNAME *netname* which is not found in any CONNECTION definition that specifies access method = VTAM.

説明: 現行グループ内に、指定されたパートナーの中で参照されるネット名のための VTAM 接続がありません。  
 システムの処置: その他の処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAM4876W  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4877W** PARTNER *partnname* specifies a NETNAME and PROFILE for which there is no common implied SESSIONS definition.

説明: パートナー定義内のネット名は関連する接続定義を意味し、したがって、セッション定義に関連付けられることになります。パートナー定義で参照されるプロファイル定義は、セッション定義と関連付けることができるモードネームを指定しません。  
 現行グループ内には、指定されたパートナー定義により暗黙指定される共通のセッション定義はありません。  
 システムの処置: その他の処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAM4877W  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4879W** Group *grpname* has been partially installed.

説明: グループ *grpname* に対して INSTALL コマンドを実行している間に、グループ内の一部の要素は正常にインストールされましたが、少なくとも 1 つが失敗しました。  
 システムの処置: 1 つまたは複数の要素のインストールが失敗した理由を示すメッセージが出されました。  
 ユーザーの処置: すでに出されたメッセージを使用し、インストールが失敗した理由を判別して問題を解決してください。  
 モジュール: DFHAM4879W  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4880S** *applid* Unable to perform operation - not allowed by file attributes for DFHCSD.

説明: DFHCSD の CSDACC システム初期設定パラメーターは、入力されたコマンドを CEDA が完了することを許可していません。CSDACC パラメーターは、ファイルに使用できるアクセス・タイプを指定します。これは以下のいずれかです。  
 READWRITE  
 READONLY

特定のコマンドを機能させるためには、アクセス・タイプを適切に設定する必要があります。  
 システムの処置: CEDA コマンドは無視されます。  
 ユーザーの処置: CSDACC システム初期設定パラメーターに指定した値を訂正してください。  
 モジュール: DFHAM4880S

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4881I** Group *name* deleted.

説明: グループ *name* が CSD から削除されました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: 削除されたグループがどのリストにも表示されていないことを確認してください。  
 モジュール: DFHAM4881I  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4882W** The {*TPNAME* | *XTPNAME*} of transaction *tranid* in group *grpname* duplicates the {*TPNAME* | *XTPNAME*} of transaction *tranid* in group *grpname*.

説明: CHECK コマンドが、別のトランザクションの *TPNAME* と一致する *XTPNAME* を持つトランザクションを見つけました。  
 システムの処置: CHECK コマンドについてシステムの処置は発生しませんが、これらの定義がインストールされると、メッセージ内の最初のトランザクションの *XTPNAME* または *TPNAME* が無視されます。  
 ユーザーの処置: 重複が存在する理由を突き止めてください。問題を解決するには、*TPNAME* または *XTPNAME* のいずれかの名前を変更します。  
 モジュール: DFHAM4882W  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4883I List listname deleted.**

説明: リスト *listname* が CSD から削除されました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: 削除されたリストが、GRPLIST システム初期設定パラメーターによって参照されていないことを確認してください。  
 モジュール: DFHAMP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4884S restype name resname is reserved by CICS.**

説明: リソース・タイプ *restype* 用に選択した名前 *resname* は CICS によって予約されており、ユーザーは定義することができません。  
 システムの処置: コマンドは拒否されます。  
 ユーザーの処置: *resname* を再定義して、コマンドを再びサブミットしてください。  
 モジュール: DFHAMP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4886I applid Installing list listname which matches specified generic list genlist.**

説明: GRPLIST システム初期設定パラメーターに、総称文字を含むリスト名 *genlist* が指定されています。CSD ファイルを検索時に、指定の総称リストと一致するリスト名 *listname* が見つかりました。  
 システムの処置: リスト名 *listname* はインストールされません。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *listname*, *genlist*  
 宛先: コンソール

**DFHAM4887I applid Unrecognized resource type found in the CSD file and has been ignored.**

説明: CICS が、認識されていないリソース・タイプ・コードを CSD レコード内で検出しました。認識されていないコードは、言語定義テーブルの中のいずれの機能コードとも一致していません。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

1. 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2. 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3. CSD マネージャー (DFHDMP) が、無効な CSD レコード・バッファーを DFHPUP に渡した。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: リソースは無視され、操作は続行されます。  
 ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

1. メッセージを無視します。

2. 実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。
  3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。
- モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4888I Group groupname removed from list listname.**

説明: DELETE コマンドの実行中に、グループ *groupname* が CSD から削除されました。その結果、リスト *listname* が更新され削除されたグループがリストから除去されました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4889S applid Unable to open DFHCSD for read/write access as CSD has been UPGRADED to CICS release cicsrel.**

説明: CSD ファイル DFHCSD をオープンしようとしたのですが、CSD の制御レコードには、それが CICS リリース *cicsrel* にアップグレードされたことが示されています。この CSD に対するデータ更新が失われないようにすることは、この CICS システムではできなくなりました。  
 システムの処置: コマンドは実行されません。  
 ユーザーの処置: この CICS システムで CSD への書き込みアクセスが必要ではない場合には、CSDACC システム初期設定パラメーターに READONLY の値を指定してください。書き込みアクセスが必要な場合には、CSD に対して必要な変更を *cicsrel* CICS システムから行ってください。  
 モジュール: DFHAMP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4897W applid The definition of {TCPIService} resourcename specified {STATUS=OPEN} but the open failed.**

説明: リソース名 *resourcename* を CICS システムにインストールしようとして成功しましたが、リソースをオープンすることができません。  
 システムの処置: 定義はインストールされています。  
 ユーザーの処置: 障害の原因を判別して、リソースをオープンしてください。  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*, {*TCPIService*}, *resourcename*, {*STATUS=OPEN*}

**DFHAM4903E** *applid* Install for TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* has failed because the service is open.

説明: サービスがオープンされていたため、TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* のインストールが失敗しました。  
 システムの処置: インストールは失敗します。  
 ユーザーの処置: サービスをクローズして、インストールを再試行してください。  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー  
 モジュール: DFHAMAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*tcipSERVICE*

**DFHAM4904W** *applid* Opening TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* has failed because port *portno* is already in use.

説明: 指定したポート番号が使用中のため、TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* のオープンが失敗しました。  
 システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0109 が、一時データ・キュー CSOO に出されます。  
 ユーザーの処置: 指定されたポート番号が使用中でないかどうかを検査してください。詳細については、メッセージ DFHSO0109 の説明を参照してください。  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー  
 モジュール: DFHAMAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*tcipSERVICE*、*portno*

**DFHAM4905E** *applid* Install failed for resource. Option *opt* is not available on this system.

説明: 現行の CICS システムは示されたオプション *opt* をサポートするよう構成されていないため、リソース *resource* のインストールが失敗しました。  
 システムの処置: インストールは失敗します。  
 ユーザーの処置: 示されたオプションをサポートするための適切なシステム初期設定パラメーターを指定して CICS システムを再構成します。その後で CICS を再始動してください。  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー  
 モジュール: DFHAMMDH

XMEOUT パラメーター: *applid*、*resource*、*opt*

**DFHAM4906W** *applid* Opening TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* has failed because port *portno* is not authorized.

説明: 指定したポート番号が許可されていないため、TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* のオープンが失敗しました。  
 システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0111 が一時データ・キュー CSOO に書き込まれます。  
 ユーザーの処置: 許可されているポートを選択します。詳細については、メッセージ DFHSO0111 の説明を参照してください。  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー  
 モジュール: DFHAMAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*tcipSERVICE*、*portno*

**DFHAM4907W** *applid* Opening TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* has failed because the IP address is not known.

説明: 指定した IP アドレスが認識されていないため、TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* が失敗しました。  
 システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0110 が、一時データ・キュー CSOO に書き込まれます。  
 ユーザーの処置: 認識されている IP アドレスを選択します。詳細については、メッセージ DFHSO0110 の説明を参照してください。  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー  
 モジュール: DFHAMAMP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*tcipSERVICE*

**DFHAM4908E** *applid* Install of DOCTEMPLATE *doctemplate1* failed because **TEMPLATENAME(*template*) already exists in DOCTEMPLATE *doctemplate2*.**

説明: 選択した **TEMPLATENAME** は文書テンプレート *doctemplate2* の完全名としてすでに使用中のため、DOCTEMPLATE *doctemplate1* のインストールが失敗しました。  
 システムの処置: インストールは失敗します。  
 ユーザーの処置: *doctemplate1* に別の **TEMPLATENAME** を選択するか、*doctemplate2* に対する文書テンプレート定義を廃棄してください。  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー  
 モジュール: DFHAMMDH

XMEOUT パラメーター: *applid*、*doctemplate1*、*template*、*doctemplate2*

**DFHAM4909E** *applid* Install of DOCTEMPLATE *doctemplate* failed. **LIBRARY(*library*) not found.**

説明: 選択した **LIBRARY(*library*)** が CICS の現行ジョブの JCL 内の VSE サブライブラリーの名前ではないため、DOCTEMPLATE *doctemplate* のインストールが失敗しました。*library* は、文書ハンドラー・ドメインが使用する文書テンプレートが入っている VSE サブライブラリーの名前でなければなりません。  
 システムの処置: インストールは失敗します。  
 ユーザーの処置: CICS の現行ジョブの JCL 内に存在する **LIBRARY** を選択するか、この CICS ジョブの LIBDEF ステートメントに必要なサブライブラリーを追加して、CICS を再始動します。  
 宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー  
 モジュール: DFHAMMDH

XMEOUT パラメーター: *applid*、*doctemplate*、*library*

---

**DFHAM4910E** *applid* Install of DOCTEMPLATE *doctemplate* failed. MEMBER(*membername*) not found in LIBRARY *library*.

説明: メンバー *membername* が VSE ライブラリー *library* 内に見つからなかったため、DOCTEMPLATE *doctemplate* のインストールが失敗しました。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: メンバー *membername* がテンプレート・ライブラリー内に存在していることを確認してから、これを参照する DOCTEMPLATE をインストールしてください。

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

モジュール: DFHAMDH

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *doctemplate*, *membername*, *library*

---

**DFHAM4912E** *applid* Install for TCPIP SERVICE *tcipservicename* failed because protocol parameter is missing.

説明: 必須のプロトコル・パラメーターがないため、TCIP SERVICE *tcipservicename* のインストールに失敗しました。この状態は、*tcipservicename* が CICS TS for z/VSE 2.2 より前のリリースで定義されていた場合に発生します。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: CICS TS for z/VSE 2.2 以降のシステムで TCIP SERVICE *tcipservicename* 定義を訂正してください。

CEDA ALTER *tcipservicename* を使用できます。あるいは、

---

## DFHAPxxxx メッセージ

**DFHAP0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。
- ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックがあった。

コード *aaa* は (該当する場合) 3 桁の 16 進 VSE システム完了コードです。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。*aaa* の後に続く 4 桁コード *bbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトのいずれかによって作成されたユーザー異常終了コードです。

X'*offset*' に値 X'X'FFFF' が入っている場合には、異常終了時にモジュール *modname* に制御があったことを意味しますが、プログラム状況ワード (PSW) はこのモジュールをアドレッシングしていませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないように

DFHCSDUP EXTRACT *tcipservicename* を使用して定義を取得して修正し、DFHCSDUP を使用して再度定義してください。

モジュール: DFHAMHP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *tcipservicename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

**DFHAM4916E** *applid* TCIP SERVICE *tcipservicename* has not been opened because the MAXSOCKETS limit has been reached.

説明: システム内のアクティブ・ソケット数が現行 MAXSOCKETS 値に等しいため、TCIP SERVICE *tcipservicename* はオープンされませんでした。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: MAXSOCKETS 設定が、通常のシステム負荷を処理するために十分かどうかを判別してください。十分である場合、これはソケットを使用する作業でのピークによって引き起こされた一時的な状態である可能性があり、作業負荷が減ってから CEMT を使用して TCIP SERVICE をオープンできることがあります。

モジュール: DFHAMHP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *tcipservicename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

---

ダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

VSE コード *aaa* がある場合には、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

*modname* 挿入部に値 ???? が入っている場合には、どのモジュールが異常終了したのか CICS が判別できなかったことを意味します。この場合、システム・ダンプを調べて、コードのどの区域がプログラム・チェックを発生させたのかを判別してください。

ユーザーは他のメッセージを調べて、このメッセージを出したモジュールが異常終了発生時に何をしていたかを判別してください。これらのメッセージから、どのプロダクトが異常終了コード *bbb* を出したのかを論理的に推測することができます。*bbb* が CICS コードとして識別された場合には、英数字または数値のいずれかになります。

## DFHAP0002 • DFHAP0003

- CICS コードが英数字 (例えば AKEA) の場合には、CICS トランザクション異常終了コードを表している。
- CICS コードが数値 (例えば、1310) の場合には、CICS メッセージを表している (例えば、DFHTS1310)。

ユーザーの異常終了コードが別のプロダクトからのコードである場合には、該当するメッセージおよびコードの資料を参照して、異常終了の原因を判別してください。

該当する資料における項目は、エラーの性質に関する手引きをユーザーに提供し、さらに該当するユーザーの処置に関する手引きについても提供していることがあります。

注: ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックが発生した可能性があります。この場合には、通常、プログラム・チェックの次に ASRA トランザクション異常終了または ASRB トランザクション異常終了が続き、さらにトランザクション・ダンプが作成されます。

ASRA 異常終了および ASRB 異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑制したい場合には、CEMT コマンドまたは EXEC CICS コマンドを使用して、ダンプ・テーブル内の項目にこれを指定する必要があります。システム・ダンプの抑止についての詳細は、「CICS System Definition and Operations Guide」で説明されています。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHABAB, DFHAFMT, DFHAPDM, DFHAPDN, DFHAPEX, DFHAPIQ, DFHAPJC, DFHAPNT, DFHAPSM, DFHAPST, DFHAPSI, DFHAPRM, DFHAPXM, DFHAPXME, DFHEDFE, DFHEISR, DFHICXM, DFHSAIQ, DFHSIPLT, DFHSRP, DFHSTDT, DFHSTFC, DFHSTJC, DFHSTLK, DFHSTLS, DFHSTSZ, DFHSTTD, DFHSTTM, DFHSTTR, DFHSTTS, DFHSUEX, DFHTDXM, DFHTMP, DFHTSUT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHAP0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。  
システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成されます (メッセージ内の *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

このメッセージが DFHAPEX または DFHSUEX から出され、しかも出口点が XDUREQ の場合には、再帰的なダンプを防ぐためにシステム・ダンプはとられません。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリ

ティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム管理者に知らせてください。この障害は、CICS 内に重大エラーがあることを示しています。ダンプ・テーブルで終了を要求していなければ、CICS を終了させることもできます。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHABAB, DFHAFMT, DFHAPDM, DFHAPDN, DFHAPEX, DFHAPJC, DFHAPRM, DFHAPSI, DFHAPSIP, DFHAPSM, DFHAPST, DFHAPTI, DFHAPTIM, DFHAPTIX, DFHAPXM, DFHAPXME, DFHERM, DFHEISR, DFHICXM, DFHPCPG, DFHSIPLT, DFHSTDT, DFHSTFC, DFHSTJC, DFHSTLK, DFHSTLS, DFHSTSZ, DFHSTTD, DFHSTTM, DFHSTTR, DFHSTTS, DFHSUEX, DFHSUZX, DFHTMP, DFHTDXM, DFHXCPA, DFHXSWM, DFHZCUT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHAP0003 *applid* Insufficient storage (code *X'code'*) in module *modname*.

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます (メッセージ内のコード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

DSA または EDSA のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージの制御についての詳細は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム定義の手引き」または「CICS

Customization Guide」を参照してください。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAPDM、DFHAPSIP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*

宛先: コンソール

**DFHAP0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

このメッセージが DFHAPEX または DFHSUEX から出され、しかも出口点が XDUREQ の場合には、再帰的なダンプを防ぐためにシステム・ダンプはとられません。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で測定) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からサポートを得てこの問題を解決してください。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAFMT、DFHAPDM、DFHAPDN、DFHAPEX、DFHAPIQ、DFHAPJC、DFHAPSM、DFHAPST、DFHAPSI、DFHAPRM、DFHAPXM、DFHAPXME、DFHEDFE、DFHEISR、DFHICXM、DFHSAIQ、DFHSIPLT、DFHSTDT、DFHSTFC、DFHSTJC、DFHSTLK、DFHSTLS、DFHSTSZ、DFHSTTD、DFHSTTM、DFHSTTR、DFHSTTS、DFHSUEX、DFHTDXM、DFHTSUT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*

宛先: コンソール

**DFHAP0005** *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). VSE Store Clock found inoperative.

説明: モジュール *module* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: ストア・クロックを調べて、それが正しく作動しているかどうか確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCUT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *modname*, *X'code'*

宛先: コンソール

**DFHAP0100** *applid* Suffixed module *modname* cannot be loaded. Enter new suffix, 'YES'(unsuffixed), 'NONE'(dummy), or 'CANCEL'

説明: AP ドメインの初期設定時に、接尾部の付いた CICS モジュールまたはテーブルをロードすることができませんでした。

システムの処置: AP ドメイン初期設定ルーチンは、オペレーターが次を入力するまで待機します。

- 代わりの 2 文字の接尾部を入力する。
- 「YES」を入力して、接尾部なしのバージョンを要求する。
- 「NONE」を入力して、プログラムまたはテーブルのダミー・バージョンをロードするように要求する。または、
- 「CANCEL」を入力する。

「CANCEL」を入力した場合、CICS は中核プロセスの終了時に異常終了します。

## DFHAP0101 • DFHAP0602

ユーザーの処置: 接尾部が正しいかどうかを確認してください。正しくない場合には、「システムの処置」で説明されている応答のいずれかを入力してください。

「CANCEL」を入力した場合には、該当するライブラリーにモジュールを追加することによってエラーを訂正してから CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIB1

XMEOUT パラメーター: *applid, modname*

宛先: コンソール

---

### DFHAP0101 *applid* Suffixed module *modname* cannot be loaded.

説明: AP ドメインの初期設定時に、接尾部の付いた CICS モジュールまたはテーブルをロードすることができませんでした。このメッセージは、前に出された DFHAP0100 メッセージに回答して CANCEL が指定された後、見つからなかったすべての接尾部可能モジュールについて出されます。

システムの処置: AP ドメイン初期設定は、中核ロード処理が終わるまで継続します。その後 CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 接尾部が正しいかどうかを確認してください。正しくない場合には、CICS の次の初期設定のために、SIT を訂正するか、または指定変更を介して正しい接尾部を指定してください。それ以外の場合には、モジュールを該当するライブラリーに追加することによってエラーを訂正してください。

モジュール: DFHSIB1

XMEOUT パラメーター: *applid, modname*

宛先: コンソール

---

### DFHAP0501 *date time applid* Program *progrname* has issued an ADDRESS CSA command that is no longer supported.

説明: プログラム *progrname* は、CSA をアドレッシングしようとした。この機能は現在はサポートされていません。戻されたアドレスは、現在取り出し保護がかけられています。このアドレスを参照しようとする、異常終了します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムからこのコマンドを除去してください。変換してコンパイルを行ってください。以前に戻されたアドレスへの参照をすべて除去してください。

モジュール: DFHEEI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, progrname*

宛先: CMIG

---

### DFHAP0601 *applid* Force purge of transaction id *trandid* transaction number *trannum* has been deferred because the transaction is executing post commit syncpoint processing.

説明: CICS が、トランザクションの強制除去の要求を受け取りました。強制除去されるトランザクションが、2 フェーズの

同期点の第 2 フェーズを処理している途中です。この時点で除去が受け入れられた場合、対象となるトランザクションは異常終了し、それによって CICS も U0408 で異常終了します。

トランザクションがこの状況にある場合には、トランザクションを除去することはできません。トランザクションが、この状態であるのはほんの短い間だけです。この後にトランザクションの強制除去を行おうとして、この条件が検出された場合、システムによって出される遅延異常終了を優先使用する場合があります。この場合、遅延除去が行われるよりも速く、システムからトランザクションが除去されることとなります。

システムの処置: CICS は、ターゲット・トランザクションの除去の保護が解除されるまで、除去を遅らせます。

ユーザーの処置: ターゲット・トランザクションがまだ終了していない場合は、少し間隔を置いて再び除去を試みてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAPXME

XMEOUT パラメーター: *applid, trandid, trannum*

宛先: コンソール

---

### DFHAP0602 *applid* Force purge of transaction id *trandid* transaction number *trannum* has been deferred because the transaction is executing transaction backout.

説明: CICS が、トランザクションの強制除去の要求を受け取りました。強制除去されるトランザクションが (前に起こったトランザクション異常終了あるいは同期点ロールバック要求の結果として) トランザクション・バックアウト処理を行っている途中です。この時点で除去が受け入れられた場合、対象となるトランザクションは異常終了して、CICS は U0405 で異常終了します。トランザクションがこの状況にある場合には、トランザクションを除去することはできません。トランザクションが、この状態であるのはほんの短い間だけです。この後にトランザクションの強制除去を行おうとして、この条件が検出された場合、システムによって出される遅延異常終了を優先使用する場合があります。この場合、遅延除去が行われるよりも速く、システムからトランザクションが除去されることとなります。

システムの処置: CICS は、ターゲット・トランザクションの除去の保護が解除されるまで、除去を遅らせます。

ユーザーの処置: ターゲット・トランザクションがまだ終了していない場合は、少し間隔を置いて再び除去を試みてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAPXME

XMEOUT パラメーター: *applid, trandid, trannum*

宛先: コンソール



---

**DFHAP0701** *applid* An abend (code *abcode*) has occurred in exit program *progrname* at exit point *xxxxxxx*.

説明: プログラム *progrname* に異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、プログラムにエラーがあるか、予期しないデータが入力されたか、またはストレージに書きが行われたことを意味しています。

このコードは、3桁の16進数VSEコード(該当する場合)と、次に続く4桁の英数字CICSコードから成ります。VSEコードは、システム完了コード(例えば、0C1)です。VSEコードが該当しない場合には、このフィールドは3つのハイフンで埋められます。CICSコードは、異常終了コード、またはCICSメッセージを表す番号です。(例えば、AKEAはCICS異常終了コードです。1310はメッセージDFHTS1310のことです。)

システムの処置: CICSはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、ゼロ戻りコードを出口点に戻します。CICSは、次のいずれかの場合以外はシステム・ダンプも作成します。

- ユーザーがダンプ・テーブル内でダンプを明示的に抑止した。
- 出口点がXDUREQである。再帰的なダンプを避けるためにダンプは取られません。

次のいずれかです。ダンプ・テーブル内にCICSが終了するように指定しない限り、CICSは続行されます。

または、たとえCICSが終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなのでCICSは終了します。この場合には、ゼロ戻りコードがCICS管理モジュールに返されます。

ユーザーの処置: ユーザー出口プログラム *progrname* に論理エラーがある可能性があります。EXEC CICS DISABLE コマンド内のEXITALLオペランドを使用して、すべての出口点からの出口プログラムを使用不可にしてからエラーを訂正してください。

ユーザー出口プログラムのコーディングのプログラミング情報については、「CICS Customization Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSUEX、DFHUEH

XMEOUT パラメーター: *applid*、*abcode*、*progrname*、*xxxxxxx*  
宛先: コンソール

---

**DFHAP0704** *applid* A possible loop has been detected in exit program *progrname* at exit point *xxxxxxx*.

説明: 出口プログラム *progrname* に制御があり、トランザクションに費やしたCPU時間が、ICVRで指定したCPU時間を超えてしまいました。おそらくループがあるものと思われます。

システムの処置: CICSは出口点でゼロ戻りコードに戻します。CICSは、次のいずれかの場合以外はシステム・ダンプも作成します。

- ユーザーがダンプ・テーブル内でダンプを明示的に抑止した。

- 出口点がXDUREQである。再帰的なダンプを避けるためにダンプは取られません。

ユーザーの処置: ユーザー出口プログラム *progrname* に論理エラーがあることが考えられます。EXEC CICS DISABLE コマンド内のEXITALLオペランドを使用して、すべての出口点からの出口プログラムを使用不可にしてからエラーを訂正してください。

ユーザー出口プログラムのコーディングについての詳細は、「CICS Customization Guide」を参照してください。

ループがないと思われる場合には、CEMT SET SYSTEM RUNAWAY() コマンドを使用してランナウェイ・タスクの時間間隔を長くすることができます。この点については、「CICS Supplied Transactions」で説明されています。

モジュール: DFHSUEX、DFHUEH

XMEOUT パラメーター: *applid*、*progrname*、*xxxxxxx*  
宛先: コンソール

---

**DFHAP0705W** *date time applid* The enable of task related user exit program *progrname* has caused CICS to force taskdataloc(below) for all transactions.

説明: タスクに関連したユーザー出口プログラム *progrname* が、TASKSTART オプションおよびLINKEDITMODE オプションで使用可能になり、*progrname* が AMODE 24 でリンク・エディットされました。これにより、このプログラムは例外なく AMODE 24 で呼び出されます。AMODE 24 タスク関連ユーザー出口プログラムを呼び出すことができるのは、呼び出しトランザクションが TASKDATALOC(BELOW) で定義されている場合だけです。

タスク開始のために AMODE 24 タスク関連ユーザー出口を使用可能にすることにより、ユーザーは、後続のすべてのトランザクションを TASKDATALOC(BELOW) で実行させるように CICS を強制しました。

システムの処置: CICSは継続しますが、この後のCICS実行については、CICSはすべてのトランザクションを TASKDATALOC(BELOW) で実行しようとしています。

ユーザーの処置: すべてのトランザクションが TASKDATALOC(BELOW) で実行されなければならない事態を避けるには、タスク関連ユーザー出口を変更して、タスク開始のために呼び出されたときに AMODE(31) を実行できるようにします。

呼び出し側が何であっても例外なく AMODE 31 で実行されるようにタスク関連ユーザー出口を変更するのが理想です。この場合には、出口プログラムを AMODE 31 属性でリンク・エディットすることができ、さらに LINKEDITMODE オプションで使用可能にできます。これにより、CICSはプログラムを例外なく AMODE 31 で呼び出します。

さらに、タスク関連ユーザー出口を変更して、どちらのアドレス・モードでも呼び出せるように変更することもできます。この場合、ユーザー出口は LINKEDITMODE オプションなしで使用可能にする必要があります。このことは、ユーザー出口がその呼び出し側のアドレス指定モードで呼び出されることを意味しています。タスク開始などのCICS呼び出しの場合、アドレス指定モードは常に AMODE 31 ですが、AMODE 24 のアプリケーションからの呼び出しに対してユーザー出口を

## DFHAP0706 • DFHAP1200

AMODE 24 で呼び出されるようにしたければ、そうすることもできます。

TASKDATALOC オプションの詳細については、「CICS Resource Definition Guide」を参照してください。

タスク関連ユーザー出口を使用可能にするときの LINKEDITMODE オプションのプログラミング情報については、「CICS Customization Guide」を参照してください。  
モジュール: DFHUEM

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, progname*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHAP0706** *applid* **A probable loop has been detected in task related user exit program *progname*.**  
説明: タスク関連ユーザー出口プログラム *progname* に制御権があり、トランザクションに費やした CPU 時間が、ICVR システム初期設定パラメーターで指定された値よりも長くなりました。おそらくループがあるものと思われまます。システムの処置: ユーザーがダンプ・テーブルで特にダンプを抑制していない限り、CICS はシステム・ダンプを行います。ユーザーの処置: タスク関連ユーザー出口プログラム *progname* に論理エラーがあることが考えられます。出口プログラムを使用不可にしてエラーを訂正してください。

タスク関連ユーザー出口プログラムのプログラミング情報については、「CICS Customization Guide」を参照してください。

ループがない場合には、CEMT SET SYSTEM RUNAWAY() コマンドを使用してランナウェイ・タスクの時間間隔を長くすることにより、この問題を回避することができます。この点については、「CICS Supplied Transactions」で説明されています。  
モジュール: DFHERM

**XMEOUT** パラメーター: *applid, progname*  
宛先: コンソール

---

**DFHAP0707** *applid* **An abend (code *abcode*) has occurred in task related user exit program *progname*.**  
説明: タスク関連ユーザー出口プログラム *progname* に異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、出口プログラムにエラーがあるか、予期しないデータが入力されたか、またはストレージに上書きが行われたことを意味しています。

このコードは、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、X'0C1') です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)  
システムの処置: CICS は、トレース・テーブルに例外項目を作成し、ダンプ・テーブルでダンプを特に抑制していない限りシステム・ダンプを行います。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。  
ユーザーの処置: タスク関連ユーザー出口プログラム *progname* に論理エラーがある可能性があります。タスク関連

ユーザー出口プログラムを使用不可にしてエラーを訂正してください。

タスク関連ユーザー出口プログラムのコーディングのプログラミング情報については、「CICS Customization Guide」を参照してください。  
モジュール: DFHERM

**XMEOUT** パラメーター: *applid, abcode, progname*  
宛先: コンソール

---

**DFHAP0801** *applid* **z/VSE Conversion Services are not available.**

説明: z/VSE 変換サービスが使用できないため、これらの変換サービスを使用して文字変換を行うことはできません。システムの処置: CICS を続行します。ユーザーの処置: なし。  
このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。z/VSE 変換サービスを CICS で使用する場合は、これらのサービスが z/VSE システムで使用可能になっていなければならず、モジュール DFHCCNVG が z/VSE 変換サービス・スタブ CUNLCNV にリンク・エディットされていなければなりません。  
モジュール: DFHCCNVG

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHAP0802** *applid* **Data conversion using CCSID *ccsid1* and CCSID *ccsid2* is not supported by this system.**

説明: CICS は一部の文字データを 1 つの CCSID エンコード方式から別の方式に変換する要求を受け取りました。この CCSID の組み合わせは、領域によって現在サポートされていません。システムの処置: 変換処理が失敗してデータは変換されません。ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHCCNVG

**XMEOUT** パラメーター: *applid, ccid1, ccid2*  
宛先: コンソール

---

**DFHAP1200** *applid* **A CICS request to the Language Environment for z/VSE has failed. Reason code *rc*.**

説明: CICS が Language Environment for z/VSE との通信を試みましたが、エラーのために、CICS が要求した機能を実行することができませんでした。システムの処置: システム初期設定時にエラーが発生した場合には、初期設定は続行されますが、Language Environment for z/VSE に対するサポートは行われません。ユーザーのアプリケーション・プログラム内にエラーが発生した場合には、トランザクションは異常終了します。ユーザーの処置: Language Environment for z/VSE の戻りコード *rc* の説明については、「IBM Language Environment for z/VSE, Debugging Guide and Run-Time Messages」を参照してください。

システム初期設定時にエラーが発生した場合には、Language Environment for z/VSE のモジュールおよびその環境によっ

てサポートされる言語に必要なモジュールが正しくインストールされたかどうかを調べてください。特に次の点について確認してください。

- インターフェース・モジュール CEECCICS が、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンに指定されたサブライブラリーに入れられている。
  - CSD 内の必須モジュールが定義されている。(それらのモジュールは、z/VSE® のサブライブラリー PRD2.SCEEBASE で提供されるファイル CEECCSD にリストされています。)
- モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター: *applid, rc*  
宛先: コンソール

---

#### DFHAP1203I *applid* Language Environment for z/VSE is being initialized.

説明: これは、CICS が Language Environment for z/VSE のサポートを初期設定中であることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

#### DFHAP1212 *date time applid* The program *program\_name* was defined as *language1* but CICS has redefined it as *language2*.

説明: ユーザーはプログラム *program\_name* を *language1* として定義しました。妥当性検査の間、CICS によって *language1* が *program\_name* に対して有効な言語でないと判断され、このプログラムは *language2* で再定義されました。

CICS は、プログラム言語を自動的に判別します。したがっ

---

## DFHBRxxxx メッセージ

---

#### DFHBR020I *date time applid* Transaction *transid* abend *abcode* in bridge exit *brexid* bridge transaction *bridge*

説明: ブリッジ出口 *brexid* は、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。

*abcode* は、CICS トランザクション異常終了コードまたは CICS の ABEND ABCODE (*abcode*) コマンドによって生成されたユーザー異常終了コードです。このコマンドは、ユーザー・プログラムまたは IBM プログラム (例えば、プログラミング言語ライブラリー・モジュール) によって出されます。

ブリッジ出口が終了呼び出しまたは異常終了呼び出しを処理していたときに異常終了が起きたのでなければ、この異常終了の結果、CICS が ABRQ 異常終了を出すことにもなります。この場合には、このメッセージに続いて DFHAC2236 異常終了メッセージが出されます。リカバリー可能リソースについての詳細は、そのメッセージを参照してください。

システムの処置: トランザクションが終了または異常終了処理

て、自動インストール出口を介してプログラムの言語を CICS に渡す必要はありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、通知メッセージです。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, program\_name, language1, language2*  
宛先: CSTL

---

#### DFHAP1213 *applid* An unexpected error has occurred during language initialization.

説明: CICS が、必要な言語インターフェース・モジュールの 1 つをロードしようとしたときエラーが検出されました。

CICS スタートアップの言語初期設定の段階で、CICS が必要なサポートを初期設定していたときに予期しないエラーが発生しました。おそらく、CICS はランタイム言語サポートを正しくインストールするための十分なストレージがないと判断したと考えられます。CICS が継続すると、アプリケーション・プログラムの実行は大幅に制限される可能性があります。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: この CICS メッセージの直前にオペレーティング・システムによって出されたエラー・メッセージがないかコンソール・ログを検査してください。オペレーティング・システムからメッセージが出されなかった場合は、CICS が継続するための十分なストレージがないことが考えられます。

DSALIM システム初期設定パラメーターで大きな値を指定して CICS を再始動する必要があります。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

のためのブリッジ出口を呼び出しているのでなければ、異常終了 ABRQ が出されます。

ユーザーの処置: 異常終了コード *abcode* を使用して、問題を診断してください。異常終了が、CICS 以外の IBM プログラム・プロダクトによって出された場合、この異常終了コードはその他のプロダクトのライブラリーに説明があります。

あるいは、ブリッジ出口プログラム *brexid* に論理エラーがある可能性もあります。

ブリッジ出口プログラムのコーディングに関するプログラミング情報については、「CICS Customization Guide」を参照してください。

モジュール: DFHBRIC、DFHBRMS、DFHBRSP、DFHBRTC、DFHBRXM、DFHBRRM

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, transid, abcode, brexid, bridge*  
宛先: CSMT

---

## DFHCAxxxx メッセージ

---

**DFHCA4916S** *applid* TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* has not been opened because the MAXSOCKETS limit has been reached.

説明: システム内のアクティブ・ソケット数が現行 MAXSOCKETS 値に等しいため、TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* はオープンされませんでした。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: MAXSOCKETS 設定が、通常のシステム負荷を処理するために十分かどうかを判断してください。十分である場合、これはソケットを使用する作業でのピークによって引き起こされた一時的な状態である可能性があり、作業負荷が減ってから CEMT を使用して TCPIP SERVICE をオープンできることがあります。

モジュール: DFHAMPT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *tcipSERVICE*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー。

---

**DFHCA5100S** *date time applid netname tranid* Severe error in module *modname*. Abend code: *abcode*

説明: CSD ユーティリティ・コマンドによって呼び出されたときに、モジュール *modname* で内部エラーが起きました。

システムの処置: オペレーティング・システム・ダンプが作成され、異常終了コード *abcode* が出され、処理は異常終了します。CSD ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: 問題の解決方法については、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS

Transaction Server for z/VSE)』で異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *netname*, *tranid*, *modname*, *abcode*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5101I** *command command* executed successfully.

説明: CSD ユーティリティ・コマンド *command* の実行が正常に完了しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5102I** Warning messages issued while processing *command command*.

説明: CSD ユーティリティが *command* コマンドの構文検査または実行時にメッセージを出しました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: 警告メッセージを見直して、ユーティリティの処理にどのような影響があったのかを判断してください。次に、さらに CSD ユーティリティ・ジョブをサブミットする必要があるかどうかを判断してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5103I** Error(s) occurred while processing *command command*.

説明: CSD ユーティリティが、ユーティリティ・コマンド *command* の構文エラーか、またはそのコマンド *command* の実行が正しく行われなかったことを検出しました。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行は終了します。

コマンドがユーティリティによって SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文のみについて調べられます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 構文エラーが原因でコマンドが失敗した場合は、コマンドを訂正してください。

コマンドが正しく実行されなかった場合には、前のエラーが原因になっている可能性があります。そのような状況では、DFHCA5275 などの関連したエラー・メッセージが出されているはずです。詳細については、それらのエラー・メッセージを参照してください。

すべてのエラーを訂正してから、もう一度 CSD ファイルをオープンしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5104W** Subsequent commands (except LIST) are not executed because of error(s) above.

説明: CSD ユーティリティ・プログラムは、エラーを検出した後、(メッセージ書き込み出口ルーチンによって提供された場合とは異なり) データ・ストリームから読み取ったそれ以降のすべてのコマンドの実行を停止します。ただし、後続コマンドの構文検査は続行されます。LIST コマンドは例外であって、1 次 CSD ファイルをオープンすることができる場合であれば、エラーの起こる前と同じように実行されます。

システムの処置: 後続の CSD ユーティリティ・コマンド (LIST を除く) は無視されます。

ユーザーの処置: 使用されたコマンドに構文エラーがないかどうかを検査し、あればそれを訂正してください。

DFHCSDUP がアクティブ処理を停止させる原因となった問題を識別する関連エラー・メッセージが存在するはずです。それらのメッセージは、メッセージ DFHCA5104 が出される前に DFHCSDUP 出力に現れるはずです。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5105W** *command* Command not executed because of previous error(s).

説明: データ・ストリームから読み取られて、前に処理されたコマンドで構文エラー (または実行エラー) が起こった場合には、それ以降のコマンド (LIST コマンドを除く) は実行されません。基本 CSD ファイルがオープンできない場合は、LIST コマンドも実行されません。

システムの処置: CSD ユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 前に処理されたコマンドに構文エラーまたは実行エラーがないかどうかを調べてください。

無効なコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5107I** Commands executed successfully: *nn*  
Commands giving warnings: *nn* Commands in error: *nn*

説明: CSD ユーティリティは、入力コマンドの処理を完了しました。

警告を与えているコマンドは、正常に実行された可能性も、あるいは正常に実行されなかった可能性もあります。

システムの処置: 通常の処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: エラーのあった CSD ユーティリティ・コマンドが実行された場合には、その結果が必要なものかどうかを判断してください。

必要なものではなかった場合には、コマンドを訂正し、別のジョブで再サブミットしてください。

実行されないコマンドがあった場合には、それらを再サブミットしなければなりません。(メッセージ DFHCA5108 を参照してください。)

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5108I** Commands not executed after error(s): *nn*

説明: CSD ユーティリティは、入力コマンドの処理を完了しました。エラーのために実行されなかったコマンドの数は、*nn* によって示されます。

システムの処置: 通常の処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: エラーのあるコマンドを訂正し、別のジョブでそれを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5109I** End of DFHCSDUP utility job. Highest return code was: *retcode*

説明: CSD ユーティリティ・ジョブが完了しました。

システムの処置: 制御は、呼び出し側、つまりオペレーティング・システムまたは呼び出し側プログラムのいずれかに戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5110W** Error found in 'PARM=' parameter data on EXEC job step. This data is ignored.

説明: DFHCSDUP ユーティリティを実行するための JCL 内の EXEC ジョブの PARM パラメーター値が正しくありません。

システムの処置: PARM パラメーターは無視されます。CSD が読み書き操作のためにオープンされます。

ユーザーの処置: エラーのある PARM 値を訂正してください。正しくない値については、ジョブ・ステップで見つけることができます。

PARM パラメーターのコーディング方法については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」で説明しています。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5114S** The {primary | secondary} CSD has not been initialized. Command not executed.

説明: CSD ユーティリティ・コマンド (INITIALIZE または SERVICE コマンド以外) を実行する前に、1 次 CSD ファイルを初期設定しておく必要があります。2 次 CSD ファイルが使用される場合にも、コマンドを処理する前に必ず初期設定しておかなければなりません。CICS は、これらのいずれかの規則に違反する試みが行われた場合、または CSD ファイルを初期設定する試みを正しく完了させることができなかった場合に、このメッセージを出してきます。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: CSD ファイルを初期設定してください。その前に、前回の初期設定の試みが失敗した理由を判断する必要があるかもしれません。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5115S** The primary CSD is already initialized. Command not executed.

説明: INITIALIZE コマンドまたは SERVICE コマンドが検出されましたが、1 次 CSD ファイルはすでに初期設定されていました。

システムの処置: INITIALIZE または SERVICE コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 正しい CSD ファイルが指定されたかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5116S** The primary CSD has been defined with an invalid key length. Processing is terminated.

説明: CSD ファイルが無効なキー長で VSAM に対して定義されているために、CSD ユーティリティは CSD ファイルを初期設定することができません。

システムの処置: CSD ファイルは初期設定されないままになり、どのようなユーティリティ・コマンドも処理されません。

ユーザーの処置: VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) を使用して、その CSD ファイルを削除してください。CSD クラスタを定義する JCL で、AMS 制御ステートメントを、KEYS(22 0) を指定するように変更します。この JCL

## DFHCA5117S • DFHCA5125S

を用いて CSD ファイルを再定義し、CSD ユーティリティ  
を用いてそれを再初期設定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5117S The primary CSD has been defined with an invalid record size. Processing is terminated.

説明: CSD ファイルが無効なレコード長指定によって VSAM に対して定義されていたため、CSD ユーティリティは CSD ファイルを初期設定することができません。

システムの処置: CSD ファイルは初期設定されないままになり、どのようなユーティリティ・コマンドも処理されません。

ユーザーの処置: VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) を使用して、その CSD ファイルを削除してください。CSD クラスタを定義する JCL で、AMS 制御ステートメントを、RECORDSIZE(100 500) を指定するように変更します。この JCL を用いて CSD ファイルを再定義し、CSD ユーティリティを用いてそれを再初期設定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5120I {primary | secondary} CSD opened; FILENAME: filename

説明: JCL に指定された VSAM データ・セットが正しくオープンされ、1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別されています。(処理されるユーティリティ・コマンドは、すべてが同一の 1 次 CSD ファイルを使用することになります。これに対し、個別の 2 次 CSD ファイルは、個別のユーティリティ・コマンドからアクセスすることができます。)

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5121S I/O error while opening {primary | secondary} CSD; FILENAME: filename

説明: JCL 内で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別された VSAM データ・セットの制御レコードを読み取っているとき、または書き込んでいるときに、入出力エラーが起きました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 失敗に終わったユーティリティ・コマンドを再試行してください。問題が続くようであれば、ユーザー独自のバックアップ手順で CSD ファイルをリストアします。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5122S VSAM error while opening {primary | secondary} CSD; FILENAME: filename

説明: JCL 内で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別されたデータ・セットをオープンしているときに、VSAM エラーが起きました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 詳細な情報および手引きについては、メッセ

ージ DFHCA5179 の VSAM 診断出力を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5123I {primary | secondary} CSD closed; FILENAME: filename

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイルとして使用された VSAM データ・セットが正しくクローズされ、必要に応じて制御レコードが更新されました。(1 次 CSD ファイルは、すべてのユーティリティ・コマンドが処理された後でクローズされます。これに対して、2 次 CSD ファイルは、それをオープンしたコマンドが終了した後でクローズされます。)

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5124S Processing terminated. Corrupted CSD control record detected while closing CSD; FILENAME: filename

説明: ストレージが破壊されているために、CSD ファイルをクローズするときの CSD 制御レコードの更新が妨げられています。

システムの処置: これ以降の CSD ユーティリティ・コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: DFHCSDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDUP からのダンプを入手してください。さらに、VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) の PRINT コマンドかまたは DFHCSDUP のコマンド LIST ALL のいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手も試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないため、エラーが容易に識別できます。

入手できる情報を使用して、エラーの原因を判別し、それらを訂正してください。

失敗した CSD ユーティリティ・コマンドを再サブミットしてください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5125S Error occurred while closing the CSD. File is full; FILENAME: filename

説明: CSD ユーティリティ・コマンドの処理の後、データ・セットをクローズする前に CSD 制御レコードが更新されます。

データ・セット filename がいっぱいであったため、更新は失敗しました。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: より大きなサイズのデータ・セットの新しい 1 次 CSD ファイルを初期設定してください。その後、VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) の IMPORT および EXPORT コマンドを用いて CSD ファイルを大きなデータ・セットにリストアしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5126S I/O error while closing the {Primary | Secondary} CSD; FILENAME: filename**

説明: VSAM データ・セット *filename* をクローズする前、CSD ファイルの制御レコードの読み書きをしているときに入出力エラーが起きました。

システムの処置: これ以上のユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 失敗したユーティリティ・コマンドを再サブミットしてください。問題が続くようであれば、ユーザー独自のバックアップ手順で CSD ファイルをリストアします。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5127S VSAM error while closing {Primary | Secondary} CSD; FILENAME: filename**

説明: JCL の中で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別されたデータ・セット *filename* をクローズしているときに、VSAM エラーが起きました。

システムの処置: これ以降の CSD ユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 詳細な情報および手引きについては、メッセージ DFHCA5179 の VSAM 診断出力を参照してください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5128S Processing terminated. {Primary | Secondary} CSD accessed by another user and could not be shared. FILENAME: filename**

説明: CSD クラスターが、コンカレント使用を制限する SHAREOPTIONS を指定して定義されています。オフライン・ユーティリティ・プログラムは、現在、CSD ファイルをオープンできません。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: CSD ファイルが再び使用可能になるまで (クラスターに関して定義されている SHAREOPTIONS ルールに従って) 待ってください。

注: LIST コマンドだけを実行したい場合には、`PARM=CSD(READONLY)` を指定することもできます。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5129S {Primary " Secondary} CSD filename has been upgraded to CICS release *cicsrel*.**

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイルであるデータ・セット *filename* をオープンしようとしたのですが、CSD の制御レコードには、それが CICS リリース *cicsrel* にアップグレードされたことが示されています。この CSD に対するデータ更新が失われるようにすることは、この CICS システムではできなくなりました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: ジョブ DFHCSDDUP で CSD への書き込みアクセスが必要でない場合には、`PARM=CSD(READONLY)` を

指定してジョブ DFHCSDDUP を再実行してください。しかし、ジョブ DFHCSDDUP で CSD への書き込みアクセスが必要な場合には、CICS のバージョン *cicsrel* の DFHCSDDUP を用いて CSD に対して必要な更新を行ってください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5130E Unable to locate module DFHCICS. Primary CSD not initialized.**

説明: DFHCICS モジュールがライブラリーから欠落しています。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されません。

ユーザーの処置: DFHCICS モジュールがライブラリーの中にあることを確認してください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5131I List listid created.**

説明: INITIALIZE コマンドが、IBM 保護リスト用のヘッダーを作成しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5132S Unable to create list listid**

説明: IBM 保護グループ用の CSD ファイルに新しいリスト *listid* を作成するため CSD マネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP を呼び出しているときに、INITIALIZE コマンドが失敗に終わりました。CSD ファイルが満杯であるか、または破壊されている可能性があります。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されません。

ユーザーの処置: CSD ファイルのためのデータ・セット・サイズが十分であるかどうかを調べてください。十分でない場合には、スペースを増やしてください。

スペースに十分余裕があり、しかも CSD ファイルが破壊されていると思われる場合には、IBM のサポートが必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5133S CSD contains one or more lists. No lists may be present on the CSD when the INITIALIZE command is issued.**

説明: INITIALIZE コマンドの実行中に、リストを作成するために CEDA トランザクションが使用されました。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されません。

ユーザーの処置: データ・セットを定義し直して、INITIALIZE コマンドをもう一度実行してください。CSD フ

## DFHCA5134S • DFHCA5145E

ファイルの初期設定が正常に完了するまで、CEDA トランザクションを使用してはなりません。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5134S Error occurred while adding group *grpname* to list *listid*

説明: グループ *grpname* の定義を IBM 保護リスト *listid* のメンバーとして CSD ファイルに書き込むための、CSD マネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP の呼び出しでエラーが発生しました。CSD ファイルが満杯であるか、または破壊されている可能性があります。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: CSD ファイルのデータ・セット・サイズを大きくして、INITIALIZE 要求を繰り返してください。これが失敗に終わった場合は、IBM からのサポートが必要となります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5135I Group *grpname* added to list *listid*

説明: グループ定義 *grpname* が、CSD ファイル上のリスト *listid* の中に正しく作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5136W Group *grpname* is already a member of list *listid*

説明: グループ *grpname* が、リスト *listid* の中にすでに存在しています。CICS では、重複した項目は作成されません。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5140I Total *xxxxxxx* definitions created: *nn*

説明: CICS は、CICS テーブルの移行の後にこのメッセージを出してきます。タイプ *xxxxxxx* の定義が *nn* 個、CSD ファイル上に作成されました。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5141S Unable to create new group *grpname*

説明: 移行中のテーブル内のデータ用に CSD ファイル上に新しいグループ *grpname* を作成するため CSD マネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP を呼び出しているときに、MIGRATE コマンドが失敗に終わりました。CSD ファイルが満杯であるか、壊されているか、または初期設定されてい

ない可能性があります。グループ名が無効である可能性があります。

システムの処置: MIGRATE コマンドの処理が中止されます。ユーザーの処置: TOGROUP パラメーターの中のグループ名を調べます。必要であれば、データ・セットのサイズを大きくして、INITIALIZE コマンドで CSD ファイルを初期設定し直してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5142E Command not executed. *lgrname* was not updated because of a previous update failure.

説明: リストまたはグループ *lgrname* を使用することができません。これは、DFHCSDUP オフライン・ユーティリティーによるリストまたはグループの更新が失敗して完了に至らなかったからです。

これは、おそらく前の DFHCSDUP の実行で発生したエラーです。

システムの処置: このコマンドは実行されません。ジョブ・ストリーム内の後続の DFHCSDUP コマンドの実行も抑止されます。

ユーザーの処置: DFHCSDUP VERIFY コマンドを使用して、このメッセージが作成されたときに検出された未完了フラグを除去してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5143I Group *grpname* created.

説明: 移行されているテーブル内のデータ用に新しい CSD グループ *grpname* が作成されました。

システムの処置: 移行が続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5144I Migration of table *table* in progress. Default group is *grpname*

説明: MIGRATE ユーティリティー・コマンドのパラメーターはすべて有効で、テーブルは正常にロードされました。

システムの処置: 移行が続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5145E Command not executed. *lgrname* has been locked by APPLID: *applid*, OPID: *opid* to prevent updating.

説明: リストまたはグループ *lgrname* を使用することができません。原因は、CEDA または CEDB トランザクションのユーザーが他のユーザーによる更新を防止する LOCK コマンドを強制したためです。

システムの処置: コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている



場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティは後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 指定された OPID および APPLID を使用してユーザーと交渉するか、またはロックされているグループの中の定義をコピーすることにより新しいグループまたはリストを作成してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5146E Command not executed. *lgnam* is currently being updated by APPLID:*applid*, OPID:*opid***

説明: リストまたはグループ *lgnam* を使用することができません。原因は次のとおりです。

- CEDA または CEDB トランザクションのユーザーが、現在コマンドを実行してリストまたはグループを更新している。
- CEDA または CEDB を使用したリストまたはグループの以前の更新が失敗して完了に至らなかった。

システムの処置: コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティは後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 失敗したコマンドの再試行を行うためにユーティリティ・ジョブを再サブミットしてください。抑止されている後続のコマンドを実行してください。

これで問題を解決できない場合には、DFHCSDUP VERIFY コマンドを実行して、このメッセージが作成されたときに検出された未完了フラグを除去してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5147E Command not executed. *lgnam* already exists as a {GROUP | LIST}**

説明: ターゲット・グループ (またはリスト) 用に選ばれた名前が、CSD ファイル上の既存グループまたはリストの名前と重複しています。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・グループ用に別の名前を選んでください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5148E Unable to get storage for {PPT | PCT | FCT | RDT | LD} table named *table***

説明: テーブル *table* を求める要求を満たすためのストレージが不足しています。

システムの処置: システムの処置は、指定されたテーブルによって次のように異なります。

**LD (言語定義テーブル)**

CSD ユーティリティは、どのコマンドを処理することもできず、終了して、ダンプが作成されます。

VSE ユーザー異常終了コードは 0327 です。

**PPT, PCT, FCT, および RDT**

CSD ユーティリティは、テーブルを移行させることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 追加のストレージを割り振ってください。

TCT のアセンブリとリンク・エディットが正しく行われた場合は、RDT はライブラリーの中にあるはずで、LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5149E Command not executed. *xxxxxxx* is IBM-protected.**

説明: ユーザーは、IBM 提供のグループまたはリスト (DFH で始まる名前のグループまたはリスト) への定義の追加を試みました。これは許可されていません。

システムの処置: CSD ユーティリティは、定義を作成しません。

ユーザーの処置: 入力コマンドまたは TCT ソース・データの名前を、DFH で始まらないターゲット・グループ (またはリスト) 名に変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5150W Parameter ignored. *xxxxxxx yyyyyyyy* was originally defined with *zzzzzzzz* (No longer supported)**

説明: 元のテーブル項目が作成されたとき、パラメーター *zzzzzzzz* が使用されました。このパラメーターは、オンライン・リソース定義 (RDO) ではサポートされていません。

*xxxxxxx* はリソース・タイプ、*yyyyyyyy* はリソース名です。

システムの処置: サポートされていないフィールドは、CSD ファイルに作成されるリソース定義には組み込まれません。(サポートされるフィールドは、すべて移行されます。)

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5151W OPTGRP parameter ignored. transaction *tranid* was originally defined with *parm* (No longer supported.)**

説明: 次のような場合に、このメッセージが出されます。

## DFHCA5152W • DFHCA5157W

1. TYPE=OPTGRP パラメーターで指定されたメッセージ・オプション・グループを参照する DFHPCT TYPE=ENTRY マクロ命令があり、しかも
2. TYPE=OPTGRP パラメーターが MSGPOPT パラメーターを指定している。

システムの処置: システムの処置は、TYPE=OPTGRP マクロに指定されたパラメーターによって異なります。

1. TYPE=OPTGRP マクロが MSGPREQ パラメーターを含んでおり、しかもこれが MSGPOPT パラメーターと同じオペランド値を指定している場合、MIGRATE コマンドは、MSGPREQ パラメーターに指定された属性を含んでいるプロファイルを作成します。MSGPOPT グループは無視されます。トランザクションはこのプロファイルを参照することになります。
2. TYPE=OPTGRP マクロが、MSGPOPT パラメーターを含んでいて、同等の MSGPREQ パラメーターがない場合、OPTGRP 定義は無視されます。トランザクションは、デフォルト値に設定された MSGINTEG、ONEWTE、PROTECT、および CHAINCONTROL を持つプロファイルを参照することになります。

ユーザーの処置: 処置は不要です。

オンライン・リソース定義およびマクロ・リソース定義のオプションの変更についての詳細は、「CICS Transaction Server for OS/390 マイグレーション・ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5152W Default profile DFHCICSx not found in the PCT

説明: DFHCICSx は、ユーザーのアセンブル済みの PCT に存在しなければならない、IBM 提供プロファイルの名前です。システムの処置: 必要な特性を持つ同等のプロファイルが、必要に応じて生成されます。このプロファイルは、トランザクション名から名前が生成され、CSD ファイルに移行された他のトランザクションによって使用されるかもしれません。

ユーザーの処置: 移行を行うために不可欠な処置は不要です。(生成された同等プロファイルの名前を変えることもできません。)

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5153W Assigned TASKREQ xxxxxxxx duplicates a transaction name and did not migrate

説明: TASKREQ でのみ識別されるトランザクションには、1 次トランザクション名が自動的に割り当てられます (例えば、TASKREQ X'7B' には「PF11」)。割り当てられた名前が、PCT 内の既存のトランザクション名と矛盾する場合には、TASKREQ で識別されるトランザクションに関するトランザクション定義は CSD ファイル上で作成されません。

システムの処置: このトランザクション項目は移行されません。

ユーザーの処置: 既存のトランザクションの名前と競合しない名前を用いて、CEDA トランザクションを使用して RDO でトランザクションを定義してください。それに適した既存プロ

ファイルがない場合には、ユーザーは CEDA を用いてプロファイルを作成する必要があります。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5154W Duplicate {PPT Entry | Transaction | Profile} name - this table entry is not migrated

説明: テーブル項目の名前が重複して、テーブルがアSEMBルされました。

システムの処置: 重複名を持つ 1 つのテーブル項目だけが CSD ファイルに移行されます。移行されるのは、テーブル項目の順序列のうちで最初に検出されるものです。

ユーザーの処置:

1. 移行によって作成されたグループを削除してください。重複名を持たないようにテーブルを再アSEMBルし、もう一度オフライン移行ルーチンをサブミットしてください。あるいは
2. CSD ファイルに移行されたデータを保持し、CEDA トランザクションを用いて、移行されなかったリソースを定義してください。固有の名前を用いるよう注意してください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5155W {PPT entry | Transaction | Profile} xxxxxxxx has same name as an IBM supplied definition in group grpname

説明: 移行されたテーブル項目名 xxxxxxxx が、INITIALIZE コマンドで作成した IBM 保護のグループ grpname の IBM 提供のリソース名と一致しました。

システムの処置: CICS はこの項目を通常通りに移行します。

ユーザーの処置: 必要なら、CEDA トランザクションを用いてリソースの名前を変更してください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5156W {PPT entry | Transaction | Profile} did not migrate. It's properties match an IBM-supplied definition in group grpname

説明: ユーザーのテーブル項目に定義されているリソースの特性が、IBM 保護のグループ grpname に入っている同じ名前の IBM 提供リソースの特性と同じでした。

システムの処置: ユーザーのリソースに関する項目は移行されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

---

### DFHCA5157W Generated profile profile not created. name duplicates an existing profile

説明: CSD ユーティリティーは、PROFILE の特性が、DFHCICST、DFHCICSA、DFHCICSV、または以前に生成されたプロファイルのいずれかの特性とは異なるトランザクションを移行するときには必ず、生成プロファイル profile を作成し

ます。生成プロファイルの名前は、トランザクション名から派生したものです。この名前が PCT 内の既存プロファイルの名前と同じである場合、ユーティリティはこのメッセージを出します。

システムの処置: 生成済みプロファイルは CSD ファイルに書き込まれません。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを使用して次のことを行ってください。

1. 固有のプロファイル名を持つ、トランザクションのプロファイルを定義します。さらに
2. 影響を受けるトランザクションが新しいプロファイルを使用するように PROFILE キーワードを変更します。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5158W Definition of xxxxxxxx defaulted to RESIDENT(YES) as RES=FIX|ALIGN|PGOUT is no longer supported**

説明: DFHPPT マクロに指定された RES=... パラメーターは、RDO では使用できません。

システムの処置: xxxxxxxx の RDO リソース定義は、属性 RESIDENT(YES) で作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5159I resource object defined in group grpname**

説明: CSD ユーティリティは、リソース定義を正しくグループに追加しました。ここで、

- *resource* はリソース・タイプ (PROGRAM、MAPSET、PARTITIONSET、TRANSACTION、PROFILE、TERMINAL、TYPETERM、SESSION、または CONNECTION) です。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5160W 'RES=' parameter ignored. Definition of xxxxxxx assumes RESIDENT(NO) as USAGE=MAP is specified**

説明: DFHPPT マクロに指定されたこの項目のパラメーターの組み合わせは無効です。

システムの処置: USAGE=MAP が想定されており、結果として得られる RDO MAPSET 定義は、属性 RESIDENT(NO) および USAGE(TRANSIENT) が指定されて作成されます。

ユーザーの処置: これが希望するものであり、CSD の中で正しいことを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5162I Transaction *tranid* uses profile *profile***

説明: RDO のトランザクションにはすべて対応するプロファイルがなければなりません。トランザクション *tranid* の PROFILE 特性は、DFHCICST、DFHCICSV、DFHCICSA、および生成プロファイルの特性と比較されます。プロファイル *profile* は、プロファイル特性が一致するので使用されます。

システムの処置: トランザクションは正常に移行され、そのための新しい生成プロファイルは作成されません。トランザクション特性リスト内の PROFILE フィールドには、一致するプロファイルの名前が入ります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5163I Transaction name *tranid* assigned to transaction identified by a TASKREQ**

説明: RDO のトランザクションにはすべて 1 次トランザクション名がなければなりません。以前に TASKREQ でのみ識別されたトランザクション *tranid* には、1 次トランザクション名が自動的に割り当てられます (例えば、TASKREQ X'7B' には PF11)。

システムの処置: トランザクションには派生名が与えられ、通常の方法で移行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5164W No definition of resource object created. This duplicates an existing definition in group *grpname***

説明: CSD ユーティリティは、CSD ファイルに定義を追加する前に、一致するキーをもつ CSD レコードを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: CSD ユーティリティは、このリソース定義を CSD ファイルには移行しません。(それがトランザクションである場合には、生成プロファイルも作成されません。) ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、固有の名前でリソースを定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5165S Processing is terminated. An error occurred while writing resource object to the CSD.**

説明: CSD ユーティリティが、CSD ファイルにオブジェクト *object* の定義を書き込むために DFHDMP を呼び出したとき、エラーが起きました。

CSD ファイルがいっぱいであるか、または壊れている可能性があります。

*resource* はリソースのタイプです。

システムの処置: CSD が満杯の場合、CSD ユーティリティ

はメッセージ DFHCA5176 を出してから終了し、メッセージ DFHCA5109 に 12 の戻りコードが示されます。

CSD が満杯でない場合、メッセージ DFHCA5175 が出され、CSD ユーティリティは異常終了します。通常は、このメッセージとともに、異常終了を説明する DFHCA5177、DFHCA5178、および DFHCA5179 のうちの 1 つまたは複数が出されます。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを使用して、エラーの原因と必要なユーザー処置を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5166E Disallowed character in resource name object

説明: CSD ファイル上に作成されたレコードの有効なキーを作成するためにモジュール DFHDMP を呼び出しましたが、失敗に終わりました。原因は、無効な文字が含まれているため、または移行したテーブル項目のリソース名が無効であるためです。resource はリソースのタイプ、object はオブジェクト名です。

システムの処置: この定義のための CSD レコードは作成されません。(それがトランザクションである場合には、生成プロファイルも作成されません。)

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、有効な名前前のリソースを定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5168S Table loaded from library member table is not a valid {PPT | PCT | FCT | RDT | TCT}.

説明: テーブル table のロードが終わると、移行ルーチンは、ロード開始点に続くデータ域の DFHVM 拡張部分にある VMNAME フィールドを検査します。VMNAME が有効なテーブルの名前(すなわち、DFHPPTxx または DFHPCTxx)でないと、このメッセージが作成されます。

システムの処置: MIGRATE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置:

1. テーブルがエラーなしでアセンブルされリンク・エディットされたことを確認してください。
2. 正しいテーブルがライブラリー内にあることを確認し、さらに MIGRATE コマンドの TABLE パラメーターが正しいことを確認してください。
3. PCT の場合、最初に配列される CSECT は DFHSCAN でなければなりません。PPT の場合、最初に配列される CSECT は SCAN でなければなりません。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5169S Processing is terminated. Table table was assembled for CICS release rrr. Reassemble for release sss.

説明: テーブル table のロードが終わると、移行ルーチンは、ロード開始点に続くデータ域の DFHVM 拡張部分にある VMVERS フィールドを検査します。このフィールドは、テ

ブルがアセンブルされたときの CICS リリース (rrr) を示しており、実行中の CICS システム (リリース sss) については無効です。

システムの処置: MIGRATE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: CICS の正しいリリース用にテーブルを再アセンブルしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5170S Processing is terminated. Table table is too large to migrate

説明: テーブル DFHxxxx 内の項目が多すぎるため、CSD ユーティリティはこのテーブルを移行することができません。

システムの処置: ユーティリティは、MIGRATE コマンドを実行せず、後続コマンドの実行も抑止します。

ユーザーの処置: テーブルをもっと小さなコンポーネントに分割し、それぞれのコンポーネントをアセンブルしてください。アセンブルされた各コンポーネントをそれぞれ別のテーブルとして CSD に移行してください。

注: 2000 個を超える項目を含んでいるテーブルを移行しようとしてはなりません。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5171E No definition for file DFHCSD created. The CSD should be defined in the SIT.

説明: CSD ユーティリティが、CSD の定義を CSD に移行する試みを検出しました。

システムの処置: CSD ユーティリティは、DFHCSD 用の定義を作成しません。通常のユーティリティ処理が続行され、ユーティリティ戻りコードは 8 に設定されます。

ユーザーの処置: CSD の定義を FCT から除去してください。CSD のユーザー定義を SIT に必ず追加してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5172W No definition for file file created. filetype files are not supported by RDO.

説明: CSD ユーティリティが、DAM または DL/I データ・セットの定義を CSD に移行する試みを検出しました。DAM および DL/I データ・セットは RDO によってサポートされていません。

システムの処置: 移行要求は無視されます。指定された DAM または DL/I データ・セットの定義は作成されません。通常のユーティリティ処理は続行されますが、ユーティリティ戻りコードは 4 に設定されます。

ユーザーの処置: DAM および DL/I データ・セットは、FCT を使用して CICS に定義する必要があります。すべての VSAM データ・セットの移行を完了した後で、TYPE=INITIAL マクロ上に MIGRATION=COMPLETE を指定して FCT を再アセンブルしてください。生成済み FCT は、非 RDO 環境の場合と同じように使用してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5173 SERVREQ=REUSE is ignored in the definition of file filename because it is not supported by RDO.**

説明: CSD ユーティリティは、SERVREQ=REUSE を指定した VSAM ファイル *filename* の定義の CSD への移行の試みを検出しました。RDO は、SERVREQ=REUSE 属性を指定したファイルをサポートしません。

システムの処置: ファイルの SERVREQ=REUSE 属性は無視され、ファイルは属性なしで CSD に移行されます。通常のユーティリティ処理は続行されますが、ユーティリティ戻りコードは 4 に設定されます。

CICS Transaction Server では、データ・セットをロードするために SERVREQ=REUSE を指定した別の FCT 項目を指定する必要もなく、空のファイルを受け入れます。SET FILE EMPTY コマンドは、再使用可能として定義されたデータ・セットに割り当てられたファイルに使用することができます。データ・セットはファイルが次にオープンされる際に空に設定されるように指定されます。ファイルが最初にロードされた後、CICS ファイル制御は、VSAM ロード・モードからファイルを取り出すために、ファイルのクローズおよび再オープンを内部的に取り扱います。

ユーザーの処置: インストール・システムから SERVREQ=REUSE ファイルの使用を除去してください。  
モジュール: DFHCSDUP  
宛先: SYSLST

---

**DFHCA5174W Processing is terminated. Command cannot be executed because 'PARM=CSD (READONLY)' was specified.**

説明: このコマンドは、読み取り/書き込みアクセスのために CSD をオープンするように要求します。ユーザーのジョブ・ステップは、DFHCSDUP ユーティリティ・ジョブ・ストリーム内で CSD の読み取り専用アクセスを指定しました。  
システムの処置: このコマンドは実行されません。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。  
ユーザーの処置: JCL を修正して、「PARM=CSD (READWRITE)」を指定するようにしてください。  
モジュール: DFHCSDUP  
宛先: SYSLST

---

**DFHCA5175S Processing is terminated. Unexpected response from function in CSD manager.**

説明: CSD マネージャー DFHDMP の呼び出しの結果、エラーが起きました。失敗した機能の名前は *function* です。  
システムの処置: DFHCSDUP は追加メッセージを出し、次に以下を実行します。

- CSD オープン/クローズ・エラーおよび CSD 満杯条件の場合は、正常終了する。あるいは、

- それ以外の場合には、すべて異常終了する。  
ユーザーの処置: CSD ファイルが正しく設定されているかどうかを確認してください。CSD ファイルを前のリリースから移行させた場合には、ブロック・サイズを 500 にまで増加させなければならなかったことに注意してください。必要なら、追加メッセージに示された診断を参照してください。  
モジュール: DFHCSDUP  
宛先: SYSLST

---

**DFHCA5176S Processing is terminated. CSD is full.**

説明: CSD ファイルを収容している VSAM データ・セットが満杯です。  
システムの処置: CSD ユーティリティ・コマンドの実行が終了します。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティは後続のコマンドの処理を試みます。

DFHCSDUP ユーティリティは、障害が起こったときに作成されていたグループについてシステム・ロックをかけたままにします。このロックは、CSD ユーティリティまたは CEDA トランザクションによるグループの処理の妨げとなります。  
ユーザーの処置: まず、DFHCSDUP VERIFY プロセスを使用して、部分的に作成されたグループに対するシステム・ロックを除去してください。それで RDO 処理が可能になり、グループ (または、不要な定義) を削除することができるようになります。

CSD ファイルの内容をリカバリーするには、より大きなデータ・セットを定義し、VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) コマンドを使用してください。通常は、満杯になった CSD ファイルからの REPRO 処理が可能ですが、それができない場合には、バックアップ・コピーを使用してください。(満杯になった CSD ファイルからの定義の転送は、FROMCSD オプションを指定した DFHCSDUP COPY コマンドを使用して行うことができます。)  
モジュール: DFHCSDUP  
宛先: SYSLST

---

**DFHCA5177S Processing is terminated. CSD I/O error occurred.**

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイル上の CSD レコードの READ または WRITE を実行しているときに、入出力エラーが起きました。  
システムの処置: DFHCSDUP は追加メッセージを出し、異常終了します。  
ユーザーの処置: ユーザー独自のバックアップから新しいデータ・セットに CSD ファイルをリストアしてください。または既存の定義をリストアするために INITIALIZE、COPY、および APPEND の各コマンドを使用して、新しい CSD ファイルを作成してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5178S Processing is terminated. Severe CSD error occurred.**

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイルにアクセスするために CSD マネージャー DFHDMP を実行しているときに、エラーが起きました。

システムの処置: DFHCS DUP は追加メッセージを出し、異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHCA5179 に示される VSAM 診断を参照してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5179S VSAM error. Return code = *nn* error code = *ddd*(*yy*) control block type = {RPL | ACB}**

説明: VSAM は、エラーが起こったときに以下の診断を戻しました。

- *nn* は、16 進数の VSAM 戻りコードです。
- *yy* は、16 進数の VSAM エラー・コードです (*ddd* は、その 10 進等価値です)。
- CONTROL BLOCK TYPE は、次のような関連エラー・コードのサブセットを指し示しています。
  - RPL = VSAM からの要求マクロ応答
  - ACB = OPEN/CLOSE 応答

エラー・コード:

- CONTROL BLOCK TYPE = RPL の場合、RPL 内の FDBK フィールド
- CONTROL BLOCK TYPE = ACB の場合、ACB 内の ERROR フィールド

システムの処置: CSD コーティリティーは、コマンドの処理を終了させ、ある状況では、オペレーティング・システム・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコードおよびエラー・コードの意味については、「IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」の『VSE/VSAM 戻りコードおよびエラー・コード』を参照してください。

これらの診断を解釈する際には、JCL の中で参照されているデータ・セットが存在していることを確認してください。そのデータ・セットを、別の領域で実行されている CICS が現在アクセスしているかどうか検査してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5180S Processing is terminated. Error occurred while CSD was being read by {SETBROWSE | GETNEXT} {SCANSETS | SCANOBJS}**

説明: LIST コマンドが CSD ファイル上のオブジェクトをスキャンするために DFHDMP を呼び出したとき、DFHDMP 機能の実行時にエラーが起きました。

システムの処置: CSD コーティリティーは終了し、VSE 異常終了コード 0325 が出されます。

ユーザーの処置: このエラーは報告する必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5181W No match found for generic {group | list} identifier xxxxxxxx**

説明: 総称名またはリスト名の指定された LIST コマンドが実行されましたが、CSD ファイル上には修飾するグループまたはリストがありません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5182W {group | list} xxxxxxxx does not exist.**

説明: LIST コマンドまたは DELETE コマンドは、あるグループまたはリストの名前を使用して実行されましたが、そのグループまたはリストは、1 次 CSD ファイルの中に存在しません。

システムの処置: その LIST コマンドまたは DELETE コマンドは処理されません。後続のコマンドは処理されます。

ユーザーの処置: 有効なグループ名またはリスト名を使用するよう LIST コマンドまたは DELETE コマンドを訂正してください。

CSD 更新が実行されている場合は、ユーザーの処置は必要ありません。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5183W {group | list} xxxxxxxx exists as a {group | list} name.**

説明: LIST コマンドまたは DELETE コマンドは、リスト名としてすでに使用されているグループ名、またはグループ名としてすでに使用されているリスト名を使用して実行されました。

システムの処置: その LIST コマンドまたは DELETE コマンドは処理されません。後続のコマンドは処理されます。

ユーザーの処置: 有効なグループ名またはリスト名を使用するよう LIST コマンドまたは DELETE コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5184S Processing is terminated. Invalid output from DFHPUP. Cannot format data for utility listing.**

説明: DFHCS DUP コーティリティー・プログラムに内部論理エラーがありました。逆変換された出力バッファ内のデータが無効です。長さコードが範囲外であったり、データ・フィールドの順序に誤りがあることも考えられます。データ・フィールドの 1 つまたは複数が無効になっている場合もあります。

システムの処置: CSD ユーティリティは終了し、VSE 異常終了コード 0326 が出力されます。

ユーザーの処置: このエラーは報告する必要があります。

DFHCSDDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDDUP からのダンプを入手してください。さらに、VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) の PRINT コマンドまたは DFHCSDDUP の LIST ALL コマンドのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手も試みてください。LIST は、どこでエラー (複数の場合もある) が発生したかを示します。LIST は印刷をやめるので、エラーがどこで発生したのかを簡単に識別できます。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5186W No resources defined in group *grpname* or no groups defined in list *lstid*

説明: LIST コマンドの実行時に、CSD ユーティリティは、CSD ファイル上にグループまたはリストのヘッダーを見つけましたが、それに対応するグループまたはリスト・エレメントが存在していません。

システムの処置: ユーティリティは LIST コマンドの処理を続けますが、メッセージに示されたグループまたはリストのエレメントの作表は行いません。

ユーザーの処置: DFHCSDDUP VERIFY ユーティリティを実行します。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5187I *resource* is locked, but is not the name of a group or list.

説明: CSD ユーティリティが、ロックされたリソースを検出しましたが、それはグループでもリストでもありません。これは、CEDA トランザクションまたは前のユーティリティ・ジョブの実行時に割り込みまたは障害が起こったことが原因です。ロックは作成されていましたが、それに関連するグループまたはリストがありません。

システムの処置: ユーティリティは、DFHCSDDUP VERIFY コマンドの正常な処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5188I {*group* | *list* | *reserved name*} *resource* is now available for use.

説明: DFHCSDDUP VERIFY コマンドは、リソースを CEDA トランザクションまたはオフライン・コマンドのために使用できないことを見つけました。この使用の可能性に関する制限は、使用の可能性に影響を与える先行コマンドの失敗によるものであり、現在は制限が取り除かれています。

システムの処置: VERIFY コマンドの通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5189I CSD VERIFY process completed successfully.

説明: DFHCSDDUP VERIFY コマンドが正常に処理され、CSD ファイル上のグループまたはリストに関連したすべての内部ロックが除去されています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5190S Command is not executed. Unable to get storage for service module *progname*

説明: DFHCSDDUP によってロードされて実行されることになっていたサービス・モジュール *progname* をロードするために使用できるストレージが不足しています。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行は終了します。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: ロード・モジュール *progname* に、十分なストレージが割り振られるようにしてください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5191I Service program *progname* is running.

説明: サービス・モジュール *progname* が正しくロードされ、そのモジュールの実行が開始されました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5192S Command is not executed. CSD service level *ttt* is incompatible with current service level *sss*

説明: DFHCSDDUP SERVICE コマンドに指定された LEVEL パラメーターが間違っているか、または CSD ファイルの正しくないバージョンが 2 次 (入力) CSD ファイルとして使用されています。

システムの処置: その SERVICE コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンす

ることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDDUP は後続のコマンドの処理を試みます。  
 ユーザーの処置: SERVICE コマンドは、CSD ファイルのサービス・レベルを 1 つだけ上のレベルにアップグレードすることができます。入力 CSD ファイルが意図されたものであること、LEVEL パラメーターの値が CSD ファイルの現行サービス・レベルより 1 だけ高い値であることを確かめてください。  
 モジュール: DFHCSDDUP  
 宛先: SYSLST

**DFHCA5193S Command is not executed. Service module *progname* is unable to upgrade CSD to target service level *ttt***

説明: DFHCSDDUP SERVICE コマンドに指定された LEVEL パラメーターは、CSD ファイルに適用されようとしているサービス・モジュール *progname* の状況と矛盾しています。  
 システムの処置: その SERVICE コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDDUP は後続のコマンドの処理を試みます。  
 ユーザーの処置: ここで適用されようとしているサービス・モジュール *progname* が、IBM 提供のサービス修正によって正しく更新されているかどうかを確認してください。(ターゲット・レベル *ttt* で SERVICE コマンドを処理できるように修正されていなければなりません。)  
 モジュール: DFHCSDDUP  
 宛先: SYSLST

**DFHCA5194I Upgrading service status of CSD from level *sss* to level *ttt***

説明: ロードされたサービス・モジュールは、CSD ファイルのサービス・レベル *sss* からサービス・レベル *ttt* への必要なアップグレードを行っています。  
 システムの処置: 通常の処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHCSDDUP  
 宛先: SYSLST

**DFHCA5195I Execution of service program *progname* complete.**

説明: ロードされたサービス・プログラム *progname* の実行が完了しました。制御は、CSD オフライン・ユーティリティー・プログラム DFHCSDDUP へ戻されています。  
 システムの処置: 通常の処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHCSDDUP  
 宛先: SYSLST

**DFHCA5196S Command is terminated. Error occurred while reading control secondary CSD record.**

説明: 指定された CSD ファイルで入出力エラーが起きました。  
 システムの処置: DFHCSDDUP SERVICE コマンドは終了します。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDDUP は後続のコマンドの処理を試みます。  
 ユーザーの処置: 出力 (1 次) CSD ファイル用に指定されたデータ・セットのサイズが十分に大きいことを確認して、コマンドを再試行してください。  
 モジュール: DFHCSDDUP  
 宛先: SYSLST

**DFHCA5197S Command is terminated. Unrecognized Control record encountered while secondary CSD was being read.**

説明: 2 次入力 CSD の制御レコードの内容が正しくありません。  
 システムの処置: DFHCSDDUP SERVICE コマンドは終了します。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDDUP は後続のコマンドの処理を試みます。  
 ユーザーの処置: 入力および出力用のデータ・セットが正しく定義されているかどうか、および JCL 内の 2 次 CSD ファイルの DLBL 名が SERVICE ユーティリティー・コマンド内の FROMCSD パラメーターに一致しているかどうかを確認してください。

問題が解消されなければ、IBM からのサポートが必要となります。最初に、DFHCSDDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDDUP からのダンプを入手してください。さらに、IDCAMS オプションまたは DFHCSDDUP LIST ALL オプションのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないで、簡単に識別できます。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDDUP  
 宛先: SYSLST



**DFHCA5198I CSD record modified for xxxxxxxx**

説明: CSD ファイル上のレコードに対して、指定された修正が行われました。

xxxxxxx はエレメント・タイプです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。変更されたレコードが GROUP または LIST 内のエレメントであれば、その日付、時刻フィールドが、出力 (1 次) CSD ファイルへコピーされるときに更新されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5199W Invalid field encountered in existing record for xxxxxxxx**

説明: エレメント xxxxxxxx に関して修正されようとしていた CSD レコードのフィールドの 1 つで、予期しない値が見つかりました。

システムの処置: 通常の処理が続けられ、無効なレコードは新しい (1 次) CSD ファイル上に未変更のまま残されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5200S date time applid netname tranid Command not executed. No valid language table was loaded.**

説明: コマンド分析プログラムは、RDO 言語テーブルが正しくロードされていなかったこと、またはそのテーブルに無効なデータが含まれていることを検出しました。

システムの処置: 分析プログラムは、どのコマンドも処理できないので終了します。

ユーザーの処置: RDO 言語テーブル (DFHEITSP) の正しいバージョンがプログラム・ライブラリーの中にあるかどうか検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid*

宛先: CSMT

**DFHCA5201S date time applid netname tranid 'command' command is not valid. Command not executed.**

説明: コマンド分析プログラムは、このコマンドを認識しません。

システムの処置: 分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, command*

宛先: CSMT

**DFHCA5202S date time applid netname tranid Incorrect syntax for 'command' command. Command not executed.**

説明: コマンドの構文が間違っています。

システムの処置: コマンド分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, command*

宛先: CSMT

**DFHCA5203W date time applid netname tranid Right parenthesis assumed after the value of 'xxxx'.**

説明: コマンドの構文が間違っています。右括弧が省略されたか、または 256 バイトを超えるキーワード値が指定されました。

システムの処置: コマンド分析プログラムは、右括弧があるかのようにそのコマンドを実行します。

ユーザーの処置: 分析プログラムによって適用された訂正により必要なコマンドが生成されたことを確認してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxx*

宛先: CSMT

**DFHCA5204E date time applid netname tranid Command not executed. 'xxxx' keyword is not valid.**

説明: キーワード xxxx は、このコマンド上では無効です。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxx*

宛先: CSMT

**DFHCA5205E date time applid netname tranid Command not executed. No value was specified for 'xxxx'.**

説明: オプション xxxx は不完全です。おそらく、ある値が省略されているためです。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxx*

宛先: CSMT

**DFHCA5206E date time applid netname tranid Command not executed. Duplicate specification of 'xxxx'.**

説明: オプション xxxx が単一コマンドに 2 回現れています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxx*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5207E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. 'xxxxxxx' does not require a value.**

説明: コマンド分析プログラムは、値を必要としないオプション *xxxxxxx* に値がコーディングされている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: コマンド分析プログラムはそのコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxxx*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5210E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. Invalid value was specified for 'xxxx'.**

説明: コマンド分析プログラムは、オプション *xxxx* に無効な値がコーディングされた入力コマンドを検出しました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxx*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5211E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. Operand delimiter 'x' was misplaced.**

説明: コマンド分析プログラムは、オプション区切り文字 *x* の場所が間違っている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: コマンド分析プログラムはそのコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 区切り文字を正しい位置に入れてください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, x*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5212E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. comptype 'string' is not uniquely identifiable.**

説明: あいまいな DFHCS DUP または CREATE コマンドが指定されました。

- *comptype* は、コマンドのコンポーネント・タイプです。

- *string* は実際のコンポーネントです。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。コマンドの障害に関する詳細については、一緒に出されるメッセージ DFHCA5213 を参照してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, comptype, string*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5213E** *date time applid netname tranid* **Specified input could be interpreted as match1 or match2**

説明: あいまいな DFHCS DUP または CREATE コマンドが指定されました。

- *input* は、あいまいな文字ストリングです

- *match1* および *match2* は、*input* について考えられる 2 つの解釈です。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, input, match1, match2*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5214W** *date time applid netname tranid* **keyword is an obsolete keyword. It is ignored.**

説明: コマンド分析プログラムは、古いキーワードがコーディングされた入力コマンドを検出しました。キーワードが、このリリースの CICS には無効なオプションを指定しています。

システムの処置: コマンド分析プログラムはこのキーワードを無視します。

ユーザーの処置: 結果として出されるコマンドが、このリリースの CICS において正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, keyword*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5216E** *restype resname* **is not in group group.**

説明: タイプ *restype* および名前 *resname* の存在しないリソースが ALTER コマンドで指定されました。

システムの処置: コマンドは実行されません。コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCS DUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5217E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. A closing bracket has been omitted from a description keyword.**

説明: DEFINE または CREATE コマンドの DESCRIPTION キーワードの右大括弧が抜けています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*netname*、*trandid*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5218I Altering Resourcetype Resourcename in group Groupname**

説明: 総称 ALTER コマンドの実行中に、CSD バッチ更新ユーティリティは、指定された総称リソース名または GROUP キーワード (あるいはその両方) と一致するものがないかどうか CSD ファイルをスキャンします。一致するたびにユーティリティはその要求を処理して、その結果の *resourcename* または *groupname* (あるいはその両方) をユーザーにそれぞれ知らせます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5219W No match found on CSD file for Resourcetype Resourcename group Groupname**

説明: ALTER コマンドは、総称リソースまたはグループ名 (あるいはその両方) を指定して実行されましたが、CSD ファイル上にこれに適したグループまたはリスト (あるいはその両方) が存在していません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5220E Command not executed. xxxxxxxx must be the first command.**

説明: CSD ユーティリティは、他のコマンドのあとに INITIALIZE コマンドを見つけました。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: INITIALIZE コマンドの位置が誤っていないかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5222E Command not executed. xxxxxxxx keyword was omitted or specified incorrectly.**

説明: 必要なキーワード *xxxxxxx* が CSD のユーティリティ・コマンドから欠落しています。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: キーワード *xxxxxxx* を指定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5223E Command not executed. xxxxxxxx keyword conflicts with xxxxxxxx keyword.**

説明: コマンドの構文が間違っています。矛盾するキーワードが指定されています。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドは無視されません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5224E Command not executed. value of xxxxxxxx is out of valid range.**

説明: CSD ユーティリティは、有効な範囲外の数値が値 *xxxxxxx* の数値としてコーディングされている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5225E Command not executed. Same name specified for 'to' and xxxxxxxx.**

説明: このメッセージは、以下の理由の 1 つにより出されました。

1. ユーティリティ COPY コマンドは、ソース・グループとターゲット・グループについて同じグループ名がコーディングされています。
2. APPEND コマンドは、ソース・リストとターゲット・リストについて同じリスト名がコーディングされています。
3. ADD コマンドは、同じグループ名とリスト名がコーディングされています。

システムの処置: CSD ユーティリティまたは CICS は、そのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 間違った名前 (複数の場合もある) を訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5227E Command not executed. Use of generic name conflicts with xxxxxxxx option.**

説明: CSD ユーティリティ・コマンドが、総称名 (つまり、アスタリスク (\*) または正符号 (+) を含む名前) を、総称名の使用と矛盾するオプションと併用しました。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5228E Command not executed. Only one resource-type keyword can be specified.**

説明: CSD ユーティリティは、入力コマンドに複数のリソース・タイプ・キーワードが指定されていることを見つけました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 1 つのリソース・タイプ・キーワードだけを参照するようにコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5229E Command not executed. xxxxxxxx is invalid because a resource-type keyword was specified.**

説明: CSD ユーティリティは、リソース・タイプのキーワード (例えば PROGRAM、TRANSACTION など) が無効な場合に、リソース・タイプのキーワードが指定された入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5230I ERASE command is obsolete. Use the DELETE command.**

説明: CSD ユーティリティは、廃止された ERASE コマンドを入力で検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、そのコマンドを DELETE コマンドとして処理します。

ユーザーの処置: 次からは、ERASE コマンドの代わりに DELETE コマンドを使用してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5231E Command not executed. xxxxxxxx is incompatible with the MIGRATE command for table-type tables.**

説明: 無効なテーブル・タイプまたはキーワード (またはその両方) を指定して MIGRATE コマンドを実行する試みが行われました。

システムの処置: CSD ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5232E Command not executed. xxxxxxxx parameter must not begin with 'DFH'.**

説明: CSD ユーティリティは MIGRATE コマンドの中の xxxxxxxx パラメーターに無効なテーブル名またはグループ名が入っていました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なテーブル名またはグループ名を指定して再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5233E Command not executed. xxx table type is not supported by RDO.**

説明: CSD ユーティリティは、RDO によってサポートされていない CICS テーブル・タイプを参照する TABLE パラメーターを検出しました。RDO は、プログラム、トランザクション、および端末定義 (RDT) をサポートします。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5234E Command not executed. command is not supported.**

説明: CSD ユーティリティは、入力の中に RDO によってサポートされていないコマンド *command* を検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5235E Command not executed. GROUP or LIST must be specified.**

説明: CSD ユーティリティは EXTRACT コマンドがサブミットされました。GROUP または LIST 名を EXTRACT コマンドで指定しなければなりません。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。このメッセージの次には DFHCA5104 が続きます。

ユーザーの処置: 有効な GROUP 名または LIST 名を追加して無効なコマンドを訂正し、ユーティリティ・ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5236I A user exit program has been specified on the entry linkage and on the userprogram keyword. The program specified on the entry linkage has been ignored.**

説明: EXTRACT ユーザー出口プログラムが、項目パラメーター・リストで指定され、さらに EXTRACT コマンドの USERPROGRAM キーワードで指定されました。

システムの処置: USERPROGRAM キーワードで指定されたプログラムが使用されます。

ユーザーの処置: 使用されているユーザー・プログラムが意図したものであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5240S Processing terminated. Error occurred while input utility command was being read.**

説明: 環境アダプター GETCARD ユーティリティが入力ユーティリティ・コマンドを読み取ることができません。

システムの処置: CSD ユーティリティは異常終了し、入力コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ユーティリティー・コマンドが正しく準備され、JCL の中で正しい位置に置かれているかどうか検査してください。また、出力データ・セット・スタートアップ・ジョブ・ストリームを定義する DLBL ステートメントが正しいかどうかについても検査してください。JCL の例については、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5241S Processing terminated. Invalid record length on input utility command data stream.

説明: CSD ユーティリティーは、SYSIPT データ・ストリームの中で正しく形式設定されていない入力を検出しました。

システムの処置: CSD ユーティリティーは、どのようなコマンドも処理できません。ユーティリティーは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティーの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: 出力データ・セット・データ・ストリームの形式が、固定長の 80 バイト・レコードに設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5242E Command not processed. Too many continuation records for input utility command.

説明: CSD ユーティリティーは、長すぎて、多くのレコードにまたがっている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このメッセージは、拒否されたコマンド内のエラー、または入力ストリーム内の前のコマンドか後続のコマンドの中のエラーによって出される場合があります。コマンドのエラーを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5251I resource object in group grpname is replaced.

説明: リソース定義がソース・グループとターゲット・グループの両方に存在しています。サブミットされた CSD ユーティリティー・コマンドに基づいて、ユーティリティーは、ターゲット・グループの定義をソース・グループからの定義と置き換えました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5252I resource object copied to group grpname.

説明: CSD ユーティリティーは、示されたグループにリソース定義を正しくコピーしました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5253E Group grpname not found in CSD file - FILENAME: filename

説明: CSD ユーティリティーは、DLBL *filename* に指定されている CSD 内の現存していないグループ *grpname* からの定義の検索を試みるコマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中のグループ名を訂正するか、または指定された CSD ファイルが正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5254E resource object already exists in the target group.

説明: CSD ユーティリティーは、同じ名前のオブジェクトの定義がすでに含まれているグループへ定義を追加しようとしたコマンドを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。

システムの処置: CSD ユーティリティーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中の名前を変更するか、または既存の定義の名前を変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

#### DFHCA5255E List xxxxxxxx not found in CSD file - FILENAME: filename

説明: CSD ユーティリティーは、DLBL *filename* に指定した CSD ファイル内に現存していないリストを参照する APPEND コマンドまたは REMOVE コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中のリスト名を訂正するか、または指定された CSD ファイルが正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5256E No resources defined in group *grpname*.**

説明: LIST コマンドの実行中に、CSD ユーティリティはエレメントの存在しないグループ・ヘッダーを CSD ファイル上で見つけました。

システムの処置: CSD ユーティリティは、LIST コマンドの処理を続けますが、上記グループのエレメントはリストしません。

ユーザーの処置: DFHCSDUP VERIFY ユーティリティを実行し、グループを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5257E Length of 'TO' prefix must be less than or equal to length of 'GROUP' prefix.**

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、バッチ更新ユーティリティは、TO キーワードに指定された総称グループの接頭部の長さが、総称 GROUP キーワードの接頭部よりも長いことを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、TO グループ名の切り捨てを防止するためこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5258I Copying group *grpname1* to *grpname2***

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、CSD バッチ更新ユーティリティは、総称 GROUP キーワードと一致するものがないか CSD ファイルをスキャンします。一致するものがあるたびに、ユーティリティは総称 TO キーワードを解決して、その結果の *grpname1* および *grpname2* をユーザーにそれぞれ知らせます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5259I Unrecognized resource type found in the CSD file and has been ignored.**

説明: CICS が、認識されていないリソース・タイプ・コードを CSD レコード内で検出しました。認識されていないコードは、言語定義テーブルの中のいずれの機能コードとも一致していません。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

1. 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2. 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3. CSD マネージャー (DFHDMP) が、無効な CSD レコード・バッファを DFHPUP に渡した。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: リソースは無視され、操作は続行されます。

ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去でき

れば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

1. メッセージを無視します。
2. 実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。
3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5261W RDT is empty. No VTAM resources in assembled table.**

説明: CSD ユーティリティは、RDO がサポートする端末またはセッション定義が含まれていない TCT、または TYPE=INITIAL 項目に MIGRATE=COMPLETE が指定された TCT を移行する試みを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、CSD 定義を作成しません。

ユーザーの処置: TCT ソース・コードに RDO がサポートする定義が含まれているかどうかを検査してください。含まれていれば、それが (MIGRATE=YES が指定されて) 正しくアセンブルされ、リンク・エディットされているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5262S Insufficient storage to build type-matching chain.**

説明: CSD ユーティリティの処理時に、TCT の移行で内部エラーが起きました。これは、TYPETERM 定義のためのストレージが不足していたためです。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

上記のいずれの場合にも、すでに移行された定義はそのまま CSD に残されます。

ユーザーの処置:

1. DFHCSDUP VERIFY ユーティリティを実行します。
2. 失敗に終わった MIGRATE コマンドによって作成されたグループを削除します。
3. ユーティリティの JCL でより大きな領域サイズを割り振って、コマンドを再試行します。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5263S Error in input RDT. Incorrect sequence of commands.**

説明: CSD ユーティリティの処理時に、TCT の移行で内部エラーが起きました。これは、アセンブルされたテーブルに異常なデータがあったために生じたエラーです。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

すでに移行された定義は、そのまま CSD に残されます。VSE ユーザー異常終了コードは 0308 です。

ユーザーの処置:

1. DFHCSDUP VERIFY ユーティリティを実行します。
2. 失敗に終わった MIGRATE コマンドによって作成されたグループを削除します。
3. 失敗に終わったテーブルのアセンブリー・リストを保存し、さらに (入手できる場合) DFHCSDUP ダンプを保存します。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5264W Resource object not defined. Group grpname not available.**

説明: TCT の移行の実行時に、CSD ユーティリティは、ターゲット・グループ *grpname* を入手できなかったために、リソース *object* を定義することができませんでした。ユーティリティは、理由を示すメッセージを前に出しています。

システムの処置: ユーティリティは、リソース *object* については定義を作成しません。通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: 元のメッセージをよく調べてください。必要なら、TCT ソース・コード内の TYPE=GROUP マクロをコーディングし直し、適当なグループ名を指定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5265W Action required to find a suitable TYPETERM for terminal termid.**

説明: TCT を移行させているときに、CSD ユーティリティは、対応する TYPETERM 定義を作成することができない端末定義を検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、端末定義を CSD ファイルに追加しますが、この装置に適当でない TYPETERM が参照されます。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて適当な TYPETERM を定義し、新しい TERMINAL を参照するように TYPETERM 定義を変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5266W sessions sessions not defined because of error in associated connection.**

説明: TCT の移行時にエラーが検出されました。セッションを移行しているときに、関連 CONNECTION が正常に定義されたかどうかを DFHCSDUP が検査します。正常に定義されていない場合には、DFHCSDUP がセッション定義を異常終了します。

システムの処置: 指定された SESSION リソースは CSD に移行されません。DFHCSDUP は、後続の TCT 項目の移行を続行します。

ユーザーの処置: MIGRATE ユーティリティからの出力リスト内の診断情報を使用して、CONNECTION 定義が失敗した理由を判別してください。その後 RDO を使用することにより、CONNECTION および SESSION を CSD に DEFINE することができます。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5267E resource object not migrated. Target group grpname is locked to APPLID applid OPID opid and cannot be updated at present**

説明: リソース *resource* をグループ *grpname* に入れることはできません。そのグループが現在 APPLID *applid* および OPID *opid* にロックされているからです。別のユーザーの操作が完了すれば、グループは再びアンロックされます。

システムの処置: ユーティリティは、後に出される DFHCA5274 メッセージ内に指定されたリソース用の定義を作成しません。通常のユーティリティ処理が続行され、ユーティリティ戻りコードは 8 に設定されます。

ユーザーの処置: ジョブを後で再サブミットするか、そのターゲット・グループについて別の名前を選択してください。グループがロックされたままの場合には、APPLID および OPID により識別されたユーザーと相談してください。明白な理由もないのにロックが設定されたままの場合には、VERIFY コマンドを出して、再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5268E resource object not migrated. grpname already exists as a list.**

説明: ターゲット・グループのために選択した名前が、CSD 上の既存の LIST の名前と重複しています。

システムの処置: ユーティリティは、後に出される DFHCA5274 メッセージ内に指定されたリソース用の定義を作成しません。通常のユーティリティ処理が続行され、ユーティリティ戻りコードは 8 に設定されます。

ユーザーの処置: ターゲット・グループ用に別の名前を選択して、FCT ソース内の該当する TYPE=GROUP マクロを変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5269E** *resource object not migrated. Group grpname is IBM protected.*

説明: 定義を IBM 提供のグループ (「DFH」で始まるグループ) に追加する試みが行われました。

システムの処置: ユーティリティーは、後に出される DFHCA5274 メッセージ内に示されたりソース用の定義を作成しません。通常のユーティリティー処理が続行され、ユーティリティー戻りコードは 8 に設定されます。

ユーザーの処置: 「DFH」で始まらない名前を持つ別のターゲット・グループを指定するように入力ソースを変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5270I** *{group | list} xxxxxxxx deleted from the CSD.*

説明: CSD ユーティリティーは、基本 CSD ファイルからグループまたはリストを正常に削除しました。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5271S** *Unable to delete {group | list} xxxxxxxx from the CSD.*

説明: CSD ユーティリティーの処理中に、CSD ファイルへのアクセス・エラーにより削除操作が失敗しました。

システムの処置: ユーティリティーは DELETE コマンドを処理しません。削除されるべきグループまたはリストが、CSD ファイルに残っています。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5272I** *resource object Deleted from group.*

説明: CSD ユーティリティーは、メッセージに名前が示されたりソースを正常に削除しました。

- *resource* はリソースのタイプです。

- *object* はオブジェクトの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5273W** *resource object is not in group grpname.*

説明: CSD ユーティリティーは、メッセージに名前が示されたグループに存在していないリソースを削除する試みを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。

- *object* はオブジェクトの名前です。

- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: ユーティリティーは DELETE コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: グループ名とリソース名が正しくコーディングされているかどうか検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5274W** *resource object not migrated. Group grpname is not available.*

説明: FCT の移行の実行時に、CSD ユーティリティーは、ターゲット・グループ *grpname* を入手できなかったために、リソース *resource* を定義することができませんでした。ユーティリティーは、このメッセージの前に、その理由を示すメッセージを出しています。

システムの処置: ユーティリティーは、メッセージに示されたりリソース *object* の定義を作成しません。通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: 元のメッセージをよく調べてください。必要であれば、FCT ソース内の TYPE=GROUP マクロを、適切なグループを指定するようにコーディングし直してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5275S** *Command not executed. Group grpname is not the member of list listname.*

説明: 実行中の REMOVE コマンドが、LIST *listname* のメンバーでない GROUP を指定しています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIPT データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、DFHCSDUP ジョブを再サブミットして、失敗に終わったコマンドおよび抑止された後続のコマンドのすべてを実行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5276I** *Group grpname removed from list listname.*

説明: REMOVE コマンドが、リスト *listname* からグループ *grpname* を正常に除去しました。

システムの処置: 通常の実行が続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST



**DFHCA5277I List list deleted from CSD.**

説明: リスト *listname* から最後のグループが除去されました。このため、リストは削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5280I Processing definitions from library member xxxxxxxx.**

説明: CSD ユーティリティは、メッセージに名前が示されたライブラリー・メンバーからデータを正常にロードしました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5281S Data loaded from library member xxxxxxxx is invalid.**

説明: CSD ユーティリティは、示されたライブラリー・メンバーからロードされたデータの中にエラーを見つけました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
  2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
  3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
  4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。
- ユーザーの処置: エラーを起こしたライブラリー・メンバーを含んでいるダンプを入手してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5282E Unable to get storage for library member xxxxxxxx.**

説明: ライブラリー・メンバー *xxxxxxx* をロードするためのストレージが不足しています。

システムの処置: ユーティリティは、示されたライブラリー・メンバーへのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: JCL EXEC ステートメントで

SIZE=DFHCSDUP を指定している場合には、ALLOC コマンドを使用して区画サイズを増やす必要があります。これを行う方法については、「z/VSE System Control Statements」で ALLOC コマンドの説明を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5283S RDL subcommand exceeds 1024 bytes:**

xxxxxxx.

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: CSD ユーティリティは異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5284E Error analyzing RDL subcommand:**

xxxxxxx.

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5285E Invalid verb in RDL subcommand:**

xxxxxxx.

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5286E Unable to create resource definition on CSD file, RDL subcommand: xxxxxxxx.**

説明: このメッセージは、表示された (切り捨てられた) コマンドの処理中に次のいずれかの理由で出されます。

1. CSD がいっぱいです (この場合、メッセージ DFHCA5175 とメッセージ DFHCA5176 がこのメッセージに伴います)。
2. CSD が読み取り専用として定義されています (この場合、メッセージ DFHCA5174 がこのメッセージに伴います)。
3. 移行中の TCT に、RDO が受け入れない名前の端末項目が入っています (この場合、メッセージ DFHCA5165 がこのメッセージに伴います)。
4. 前の更新命令が失敗したため、リストまたはグループが使用できません (この場合、メッセージ DFHCA5142 がこのメッセージに伴います)。
5. CSD ファイルを初期設定 (INITIALIZE) または更新 (UPGRADE) するために使用されるリソース定義リストに、無効なリソース名またはグループ名を持つ定義が入っています。
6. DFHCSDDUP に論理エラーが発生したか、またはロードされたテーブルに入っているデータに内部エラーが検出されました。

システムの処置: システムの処置は、メッセージが出された理由によって異なります。例えば次のとおりです。

1. TCT テーブルの移行が直ちに終了します。
2. UPGRADE コマンドまたは INITIALIZE コマンドの処理が終了します。
3. ユーティリティーは次の処理を試みます。
  - a. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
  - b. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
  - c. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
  - d. ユーティリティーの呼び出し側に制御を戻します。
4. コマンドは実行されず、ジョブ・ストリーム内の DFHCSDDUP コマンドの実行はこれ以上行われません。
5. 上記の (3) の場合と同じです。
6. 上記の (3) の場合と同じです。

いかなる場合でも、障害が発生した時点以前にこのコマンドにより作成されたすべての定義は CSD 上に残ります。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、メッセージが出された理由によって異なります。例えば次のとおりです。

1. メッセージ DFHCA5175 および DFHCA5176 を参照してください。
2. メッセージ DFHCA5174 を参照してください。
3. 端末の名前およびそれへのすべての参照を変更してください。メッセージ DFHCA5165 のユーザーの処置も参照してください。
4. メッセージ DFHCA5142 を参照してください。
5. これは、CICS 論理エラーです。下記の 6 の指示を参照してください。
6. これは、CICS 論理エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

い。障害の CICS バックグラウンド・トレースが、問題の診断に役立つ場合があります。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5287 EXTRACT terminated at user's request RC=retcode.**

説明: バッチ・ジョブが CSD ユーティリティー EXTRACT コマンドを出しました。ユーザー出口プログラムがレジスター 15 に非ゼロ値を戻したので、EXTRACT コマンドは終了しました。後続のメッセージは、ユーティリティーによって検出された問題がさらにあれば、それを示します。

システムの処置: ユーティリティー・コマンドの実行を終了します。このメッセージの次には DFHCA5104 が続きます。

ユーザーの処置: 与えられた戻りコード *retcode* およびユーザー出口プログラムの関連資料を使用して、ユーザー出口プログラムにより検出されたエラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCSDDUP

宛先: SYSLST

**DFHCA5501E date time applid netname tranid Command not executed. keyword must be specified.**

説明: キーワード *keyword* (コマンドに必要とされる) が省略されたか、または正しく指定されませんでした。正しく指定されなかった場合は、前に出ているメッセージからわかります。システムの処置: コマンド分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCCAP, DFHCSDDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, keyword*  
宛先: CSMT

**DFHCA5502W date time applid netname tranid xxxxxxxx implies yyyyyyyy.**

説明: CREATE コマンドまたは DEFINE コマンドで指定された値 *xxxxxxx* が、別の値 *yyyyyyyy* (通常のデフォルトではない) としてみなされるようになりました。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。ユーザーの処置: その結果生じたリソース定義が受け入れ可能かどうかを検査してください。このデフォルトを受け入れる場合は、他に処置を行う必要はありません。

結果として生じたデフォルト値を受け入れられない場合には、その定義を修正するか、または定義を削除してもう一度開始するかを決定しなければなりません。

モジュール: DFHCCAP, DFHCSDDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5503E date time applid netname tranid Command not executed. xxxxxx option conflicts with yyyyyyyy option and is ignored.**

説明: 同時には使用できない 2 つのオプション *xxxxxx* および *yyyyyyy* が指定されました。

システムの処置: コマンド分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5504E** *date time applid netname tranid Command not executed. Use of xxxxxxx option implies yyyyyyy option must be specified.*

説明: オプション xxxxxxx は、別の値 yyyyyyy を必要とします。

システムの処置: コマンド分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: yyyyyyy を指定してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5505W** *date time applid netname tranid Program DFHMSP requires a TWASIZE of at least 528.*

説明: メッセージ交換プログラム DFHMSP の DEFINE コマンドまたは CREATE TRANSACTION コマンドによって 528 バイトより小さい TWASIZE が与えられました。それを、その名前の CICS 提供プログラム用の定義とする場合には、正しく実行されません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid*  
宛先: CSMT

**DFHCA5506E** *date time applid netname tranid Command not executed. For xxxxxxx many options, including yyyyyyy, are meaningless.*

説明: 他のキーワードまたは値と矛盾するキーワードまたは値が指定されました。

システムの処置: コマンド分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5507E** *date time applid netname tranid Command not executed. xxxxxxx value must be greater than yyyyyyy value.*

説明: 他の値と矛盾する値が指定されました。xxxxxxx は yyyyyyy より大きくなければなりません。

システムの処置: コマンド分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5508E** *date time applid netname tranid Command not executed. xxxxxxx value must be less than or equal to yyyyyyy value.*

説明: 他の値と矛盾する値が指定されました。xxxxxxx は yyyyyyy 以下でなければなりません。

システムの処置: コマンド分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5509E** *date time applid netname tranid Command not executed. xxxxxxx name must not be the same as yyyyyyy name.*

説明: DEFINE または CREATE コマンド内の一部の値は、リソースの名前と同一であってはなりません。xxxxxxx の名前は、yyyyyyy と同一であってはなりません。

システムの処置: コマンド分析プログラムはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5510W** *date time applid netname tranid xxxxxxx names beginning with yyyyyyy are reserved and may be redefined by CICS.*

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはいけない名前の標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5511W** *date time applid netname tranid xxxxxxx name yyyyyyy is reserved and may be redefined by CICS.*

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはいけない名前の標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

## DFHCA5512W • DFHCA5519E

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyy*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5512W** *date time applid netname tranid* **Program name begins with 'DFH' but transaction name does not begin with 'C'.**

説明: CICS は、ユーザーが使用してはいけない命名規則を用いた標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCS DUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5513E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. The second value of xxxxxx must not be greater than the first.**

説明: キーワードのいくつかは対の値からなりますが、これらは基本的に最大値と最小値を示しています。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCS DUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5514E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. With SESSNAME there can only be one COUNT and its value must be 1.**

説明: DEFINE コマンドまたは CREATE SESSIONS コマンド内の SESSNAME の使用は、単一セッション (送信または受信のいずれか) を必要とすることを意味します。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCS DUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5515W** *date time applid netname tranid* **AUTOPAGE(NO) has been specified for a 3270 print device.**

説明: DEFINE コマンドまたは CREATE TYPETERM コマンドに、AUTOPAGE(NO)5516 および DEVICE(3270P) または DEVICE(LUTYPE3) があります。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCS DUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5516W** *date time applid netname tranid* **The values of DEVICE and SESSIONTYPE are equivalent to DEVICE(devtype) and have been replaced.**

説明: DEFINE コマンド CREATE TYPETERM コマンドに、有効であるものの現在使用されていない DEVICE および SESSIONTYPE の組み合わせがあります。

この DEVICE および SESSIONTYPE の組み合わせは、*devtype* に示されたより単純な同等の装置により置き換えられました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。「CICS Resource Definition Guide」で、同等な装置に関する詳細が説明されています。

モジュール: DFHCAP, DFHCS DUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, devtype*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5517E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. prefix and COUNT together make more than four characters.**

説明: SESSIONS 定義では、*prefix* パラメーター (SENDPFX または RECEIVEPFX) に、対応するカウントの値 (SENDCOUNT または RECEIVECOUNT) 以下の数値接尾部を追加してセッション名を生成します。セッション名は最大 4 文字であるため、セッションのカウントが 99 を超える場合、接頭部は 1 文字になります。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCS DUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, prefix*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5518W** *date time applid netname tranid* **XTRANIDS xxxxxxx are reserved and may be redefined by CICS.**

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP, DFHCS DUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5519E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. xxxxxxx value contains an invalid y.**

説明: DEFINE または CREATE コマンドにおけるすべての文字値は、(その値によって) 特定の文字が使用できなくなる規則に従っています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

「CICS Resource Definition Guide」で、DEFINE コマンドの構文の個々の属性におけるそれらの規則の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, y*  
宛先: CSMT

**DFHCA5520W** *date time applid netname tranid* **The value of DEVICE is equivalent to xxxxxxx and has been replaced.**

説明: DEFINE コマンドおよび CREATE TYPETERM コマンドには、有効であるものの現在使用されていない DEVICE 値があります。その DEVICE 値はこれに相当するより単純な DEVICE 値に置き換えられました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

「CICS Resource Definition Guide」で、それらの単純な同等の装置に関する詳細が説明されています。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx*  
宛先: CSMT

**DFHCA5521E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. xxxxxxx value yyyyyyyy is invalid.**

説明: 有効でない値 yyyyyyyy が、キーワード xxxxxxx に指定されました。この値は、例えば数値でない場合もあります。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5522E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. Length of xxxxxxx value is more than allowed.**

説明: DEFINE または CREATE コマンドにおけるすべての文字値には、長さの制限があります。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx*  
宛先: CSMT

**DFHCA5523E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. File DFHCSD must be defined in the SIT and not the CSD.**

説明: DFHCSD は、SIT ではなく、DEFINE または CREATE コマンドによって定義されました。これは許可されていません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

DFHCSD を SIT で定義してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid*  
宛先: CSMT

**DFHCA5524W** *date time applid netname tranid* **BMS route for console may cause unpredictable results if maps or TEXT(ACCUM) used on device.**

説明: 複数行マップまたは蓄積されたテキストをコンソールにルーティングすることはサポートされていません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされていないコンソール操作が使用不可になっていることを確認してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid*  
宛先: CSMT

**DFHCA5525W** *date time applid netname tranid xxxxxxx* **value is not valid, yyyyyyyy has been assumed.**

説明: 値 xxxxxxx が有効ではありません。値 yyyyyyyy とみなされました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx, yyyyyyyy*  
宛先: CSMT

**DFHCA5526E** *date time applid netname tranid xxxxxxx* **must have rows and columns specified.**

説明: xxxxxxx には、行と列を指定しておかなければなりません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, xxxxxxx*  
宛先: CSMT

**DFHCA5527E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. Remote options are ignored for programs starting with DFH.**

説明: CICS が、リモート属性を許可していない標準プログラムを提供しています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: プログラム定義からリモート属性を削除して、コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5528E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. Value of keyword is out of valid range.**

説明: メッセージに示されたキーワードに無効な値が与えられました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 有効なキーワード値を与えて、再試行してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, keyword*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5529E** *date time applid netname tranid keyword or keyword* **must be specified.**

説明: メッセージに示されたキーワードのいずれも指定されませんでした。リソースを定義するときは、これらのキーワードのいずれかを指定しなければなりません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 示されたキーワードのいずれかを指定し、再試行してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, keyword, keyword*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5530W** *date time applid netname tranid XTRANIDS ending with string* **are reserved and may be redefined by CICS.**

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, string*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5531W** *date time applid netname tranid XTRANIDS beginning with string* **are reserved and may be redefined by CICS.**

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, string*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5532E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. An invalid combination of rows and columns has been specified for ALTSCREEN.**

説明: 指定された値の 1 つがゼロで、もう 1 つが非ゼロです。この組み合わせは無効です。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 有効な組み合わせの ALTSCREEN の行と列が指定されていることを確認してください。有効な組み合わせについての詳細は、「CICS Resource Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, ALTSCREEN*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5533W** *date time applid netname tranid* **Specified keyword1 value is less than keyword2 value. The default value has been assumed.**

説明: *keyword2* の値と互換性のない値が *keyword1* に指定されました。

システムの処置: コマンド分析プログラムは、*keyword1* のデフォルト値を想定して、このコマンドを処理します。

ユーザーの処置: このリソース定義が受け入れ可能かどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, keyword1, keyword2*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5534W** **When you change the value of DEVICE many other values may be changed for you.**

説明: TYPETERM リソース定義の中の DEVICE を更新 (ALTER) するときに、バッチ更新ユーティリティーが、新しい DEVICE と合わない強制値を変更します。しかし、従属デフォルト値が変更されず、ここで値が合わなくなる可能性があります。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

詳細については、「CICS Resource Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5535E** *date time applid netname tranid* **Command not executed. restype name resname is reserved by CICS.**

説明: ユーザーは CICS が予約しているリソース名 *resname* をリソース・タイプ *restype* に指定しました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 別のリソース名を指定してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCS DUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, tranid, restype, resname*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5536W** *date time applid netname tranid keyword1 and keyword2 attributes are inconsistent if definition is being shared with a back-level release.*

説明: *keyword1* が *keyword2* に置き換えられました。しかし、*keyword1* は互換性のために保持されました。リソースの更新または作成後に、*keyword1* に指定された値と *keyword2* に指定された値に矛盾が生じました。

システムの処置: リソースは作成または更新されます。

ユーザーの処置: リソースをバックレベルのリリースと共用している場合、結果として生じるリソース定義が受け入れ可能であることを確認してください。共用していない場合は、メッセージを無視してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*netname*、*tranid*、*keyword1*、*keyword2*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5537W** *date time applid netname tranid Prefix allowed to default. Use of defaults is recommended for MRO sessions only.*

説明: LU6.1 または MRO セッション用の送信または受信接頭部にヌル値が受け入れられました。デフォルト値の '>' は送信セッション用に、'<' は受信セッション用に CICS によって提供されます。これらの値は、MRO セッション名のデフォルトの接頭部です。これらの接頭部は、LU6.1 セッションで使用することができますが、同じ接頭部を持つ MRO セッション名が使用されている場合は使用しないでください。多数のセッションが定義されている場合には名前が重複する可能性があります。

システムの処置: CICS は、これらの接頭部を使用してセッション名を生成します。

ユーザーの処置: これが LU6.1 セッションである場合は、別の接頭部を選択するようお勧めします。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*netname*、*tranid*  
宛先: CSMT

---

**DFHCA5538W** *date time applid netname tranid resource names starting with x may conflict with system sessions names.*

説明: リソース *resource* は、システム生成 SESSIONS 名に使用される可能性のある、*x* の文字で始まる名前を与えられています。

システムの処置: 定義が作成されます。

ユーザーの処置: リソースに与えられた名前と SESSIONS 名の間に矛盾がないことを確認してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*netname*、*tranid*、*resource*、*x*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5539S** *date time applid netname tranid keyword is not valid because it starts with the reserved character or string string.*

説明: キーワード *keyword* に与えた名前が、「C」または「DFH」などの予約された文字や文字列で始まっているために無効です。

システムの処置: 定義は作成されません。

ユーザーの処置: キーワードの名前を変更してください。

モジュール: DFHCAP

**XMEOUT** パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*netname*、*tranid*、*keyword*、*string*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5544S** *date time applid netname tranid Command not executed. DSNAME value 'dsname' is invalid. msg.*

説明: VSAM データ・セットの命名規則に従っていないため、DSNAME *dsname* は無効です。VSAM データ・セットの命名規則について詳しくは、「IBM z/VSE VSE 中央機能 VSE/VSAM コマンド」を参照してください。

システムの処置: 定義は作成されません。メッセージ中の挿入部 *msg* は、エラーの理由を示しています。それは次のいずれかです。

**INVALID CHARACTER *x* in DSNAME.**

文字 *x* は、有効な文字セット (A から Z、0 から 9、\$、@、#、.、および -) の中に含まれていません。

**INVALID SEGMENT LENGTH.**

名前セグメントはすべて 1 から 8 文字の範囲内でなければなりません。

**SEGMENT NAME STARTS WITH CHARACTER *x*.**

セグメント名は、英字または国別文字 (@ # \$) で始まっていないければなりません。

**DSNAME ENDS WITH A PERIOD.**

DSNAME の最後はピリオドにはなりません。

ユーザーの処置: メッセージに示された名前を訂正してください。

モジュール: DFHCAP、DFHCSDUP

**XMEOUT** パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*netname*、*tranid*、*dsname*、*msg*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5550W** *keyword1 implies keyword2. The default value has been assumed.*

説明: *keyword1* に、*keyword2* の値と互換性のない値が指定されました。

システムの処置: ユーティリティは *keyword1* を変更してデフォルト値を設定し、コマンドを処理します。

ユーザーの処置: このリソース定義が受け入れ可能かどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCAP

**XMEOUT** パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*netname*、*tranid*、*keyword1*、*keyword2*

宛先: CSMT

---

**DFHCA5600E Unable to get storage for module  
DFHCICS. Primary CSD has not been  
initialized.**

説明: モジュール DFHCICS をロードするためのストレージが不足しています。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されません。

ユーザーの処置: DFHCICS モジュールをロードするのに十分なストレージがあることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5601E Unable to load the {PPT | PCT | FCT |  
RDT | LD} table named table.**

説明: テーブル *table* をロードできません。

システムの処置: システムの処置は、テーブルのタイプによって異なります。

**LD** DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチン (与えられている場合) を呼び出します。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

**PPT, PCT, FCT, または RDT**

CSD ユーティリティは、テーブルをロードすることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムが出した先行メッセージを参照して、障害の理由を判別してください。

テーブルのアセンブリおよびリンク・エディットが正常に行われたなら、PPT、PCT、FCT、または RDT はライブラリー内にあるはずですが、LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5602E Unable to unload the {PPT | PCT | FCT |  
RDT | LD} table named table.**

説明: テーブル *table* をアンロードできません。

システムの処置: システムの処置は、テーブルのタイプによって異なります。

**LD** DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチン (与えられている場合) を呼び出します。

4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

**PPT, PCT, FCT, または RDT**

CSD ユーティリティは、テーブルをアンロードすることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムが出した先行メッセージを参照して、障害の理由を判別してください。

テーブルのアセンブリおよびリンク・エディットが正常に行われたなら、PPT、PCT、FCT、または RDT はライブラリー内にあるはずですが、LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5603E Unable to locate the {PPT | PCT | FCT |  
RDT | LD} table named table.**

説明: テーブル *table* を見つけ出すことができません。

システムの処置: システムの処置は、メッセージに示されたテーブルのタイプによって異なります。

**LD** DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチン (与えられている場合) を呼び出します。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

**PPT, PCT, FCT, または RDT**

CSD ユーティリティは、テーブルを見つけることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムが出した先行メッセージを参照して、障害の理由を判別してください。

テーブルのアセンブリおよびリンク・エディットが正常に行われたなら、PPT、PCT、FCT、または RDT はライブラリー内にあるはずですが、LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5604E Unable to obtain storage for the  
cross-reference table named table.**

説明: DFHCSDUP はテーブル *table* のストレージを獲得できませんでした。

システムの処置: DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合に



は、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。  
 ユーザーの処置: JCL EXEC ステートメントで  
 SIZE=DFHCSDUP を指定している場合には、区画サイズを増  
 やす必要があります。これを行う方法については、「z/VS  
 System Control Statements」で ALLOC コマンドの説明を参照  
 してください。  
 モジュール: DFHCSDUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHCA5605E Disallowed character in group or list name  
 object.**

説明: モジュール DFHDMP の呼び出しが、CSD ファイル上  
 に作成されるレコードのための有効なキーを構成するのに失敗  
 しました。これは、グループ名またはリスト名に無効な文字が  
 入っているためです。  
 システムの処置: この定義のための CSD レコードは作成され  
 ません。(それがトランザクションである場合には、生成プロ  
 ファイルも作成されません。)  
 ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、有効な  
 名前前のリソースを定義してください。  
 モジュール: DFHCSDUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHCA5606S Command is not executed. Unable to load  
 the service module progname.**

説明: ストレージが不足しているためにサービス・モジュール  
 progname をロードできません。  
 システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行は終了し  
 ます。ユーティリティがコマンドを SYSIPT データ・スト  
 リームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文  
 についてのみ検査されます。  
 ユーザーの処置: JCL EXEC ステートメントで  
 SIZE=DFHCSDUP を指定している場合には、区画サイズを増  
 やす必要があります。これを行う方法については、「z/VS  
 System Control Statements」で ALLOC コマンドの説明を参照  
 してください。その後、ユーティリティ・コマンドを再試行  
 してください。  
 モジュール: DFHCSDUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHCA5607S Command is terminated. An error occurred  
 while reading the first secondary CSD  
 record.**

説明: 2 次 CSD ファイル上で入出力エラーが起きました。  
 システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーテ  
 イリティーがコマンドを SYSIPT データ・ストリームから読み取  
 っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査  
 されます。  
 ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されてい  
 て、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DLBL 名が  
 SERVICE ユーティリティ・コマンドの FROMCSD パラメ  
 ーターに対応しているかどうかを検査してください。  
 モジュール: DFHCSDUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHCA5608S Command is terminated. An error occurred  
 while reading a secondary CSD record.**

説明: 2 次 CSD ファイル上で入出力エラーが起きました。  
 システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーテ  
 イリティーがコマンドを SYSIPT データ・ストリームから読み取  
 っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査  
 されます。  
 ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されてい  
 て、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DLBL 名が  
 SERVICE ユーティリティ・コマンドの FROMCSD パラメ  
 ーターに対応しているかどうかを検査してください。  
 問題が解消しない場合には、VSAM アクセス方式サービス・プ  
 ログラム (AMS) の PRINT コマンドかまたは DFHCSDUP  
 の LIST ALL コマンドのいずれかを使用して、CSD の印刷出  
 力の入手も試みてください。LIST は、どこでエラーが発生し  
 たかを示します。エラーは印刷されないので、簡単に識別でき  
 ます。  
 モジュール: DFHCSDUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHCA5609S Command is terminated. An error occurred  
 while writing a primary CSD record.**

説明: 1 次 CSD ファイルで入出力エラーが起きました。  
 システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーテ  
 イリティーがコマンドを SYSIPT データ・ストリームから読み取  
 っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査  
 されます。  
 ユーザーの処置: 十分に大きいデータ・セットが出力 (1 次)  
 CSD ファイルに指定されていることを確認して、コマンドを  
 再試行してください。  
 モジュール: DFHCSDUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHCA5611E Command not executed. parameter parameter  
 must begin with 'DFH'.**

説明: CSD ユーティリティ MIGRATE コマンドにおいて、  
 メッセージに示されたパラメーターに無効なテーブル名または  
 グループ名が入っていました。  
 システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しませ  
 ん。  
 ユーザーの処置: 有効なテーブル名またはグループ名を指定し  
 て MIGRATE コマンドを再サブミットしてください。  
 モジュール: DFHCSDUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHCA5612I resource object in group grpname is  
 unchanged.**

説明: リソース定義がソース・グループとターゲット・グル  
 ープの両方に存在しています。サブミットされた CSD ユー  
 ティリティ・コマンドに基づいて、ユーティリティは、ター  
 ゲット・グループのリソース定義を置き換えました。  
 システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5613E Unable to locate the library member member.**

説明: メンバーが、JCL で指定されたライブラリーにありません。

システムの処置: ユーティリティーは、ライブラリー・メンバー member へのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: メンバーがライブラリーに正しくリンク・エディットされていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5614E Unable to load the library member member.**

説明: DFHCS DUP は、ライブラリー・メンバー member をロードできませんでした。

システムの処置: ユーティリティーは、ライブラリー・メンバーへのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: メンバーがライブラリーに正しくリンク・エディットされていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5617S Command is terminated. An unrecognized type of record was encountered while secondary CSD was being read.**

説明: 入力 CSD レコードのレコード・タイプ・フィールドが無効です。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーティリティーがコマンドを SYSIPT データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DLBL 名が SERVICE ユーティリティー・コマンドの FROMCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

問題が解消しない場合には、VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) のコマンドかまたは DFHCS DUP の LIST ALL コマンドのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手も試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないの、簡単に識別できます。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5619W An Invalid value of the PAGESIZE parameter has been specified. The default value of 60 lines per page will be used.**

説明: PAGESIZE パラメーターに許可されている範囲 (4 から 9999) 外の値が指定されました。

システムの処置: デフォルト値としてページ当たり 60 行をとります。

ユーザーの処置: 今後は、有効な PAGESIZE 値を指定するようにしてください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5620E An Illegal Return Code (RC= ret-code) has been returned from the {Initialization | Get-Command | Termination} exit.**

説明: メッセージに示されているユーザー出口ルーチンが、許可されていない戻りコードを戻しました。

システムの処置: そのユーティリティー・コマンドの処理を終了します。出口は使用不可になっていません。

ユーザーの処置: メッセージに示された出口ルーチンを調べて、戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5621E A non-zero Return Code has been returned from the Put-Message Exit.**

説明: メッセージ書き出し出口ルーチンが、許可されていない戻りコードを戻しました。

システムの処置: そのユーティリティー・コマンドの処理が終了して、メッセージ書き出し出口が使用不可になります。

ユーザーの処置: メッセージ書き出し出口ルーチンを調べて、戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5622S The secondary CSD has been closed during clean-up processing following the interception of an ABEND.**

説明: DFHCS DUP 処理時に異常終了が起きました。2 次 CSD は、異常終了後の終結処理時にクローズされました。

システムの処置: そのユーティリティー・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: この問題に関する詳細については、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5623S The primary CSD has been closed during clean-up processing following the interception of an ABEND.**

説明: DFHCS DUP 処理時に異常終了が起きました。1 次 CSD は、異常終了後の終結処理時にクローズされました。

システムの処置: そのユーティリティー・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: この問題に関する詳細については、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCS DUP

宛先: SYSLST

---

**DFHCA5624S The Extract exit program has been unloaded during clean-up processing following the interception of an ABEND.**

説明: EXTRACT コマンドの処理時に異常終了が起きました。EXTRACT ユーティリティ・コマンドの USERPROGRAM キーワードで指定された抽出プログラムが、異常終了後の終結処理時にアンロードされました。

システムの処置: EXTRACT コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCSDDUP  
宛先: SYSLST

---

**DFHCA5625 The user program has passed an invalid FILENAME parameter for filename to DFHCSDDUP.**

---

## DFHCCxxxx メッセージ

---

**DFHCC0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in the {local | global} catalog, module modname**

説明: 異常終了またはプログラム・チェックがモジュール *modname* 内に発生しました。さらに、ローカル (DFHLCD) カタログまたはグローバル (DFHGCD) カタログ・ドメインのいずれかにも発生しているはずですが、これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます。ただし、現時点でトレースが使用可能な場合に限り、システム・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

説明: ユーザー・プログラムは、DFHCSD、SYSIPT または SYSLST のいずれかのパラメーターとして代替 *filename* を与えました。代替ファイル名は、空白で始まっているため無効です。

システムの処置: デフォルトのファイル名が代わりに使用されます。

ユーザーの処置: 有効な *filename* を渡すようユーザー・プログラムのパラメーター・リストを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: コンソール

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

それから、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、エラーが例えばプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはパーコレーションのいずれであるかがわかります。さらに、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されています。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCCC、DFHCCDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, X'*offset*', {1=*local*, 2=*global*}, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHCC0004 applid A possible loop has been detected in the {local | global} catalog at offset X'offset' in module modname**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'*offset*' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであっ

たとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCDM, DFHCCCC

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, {1=*local*, 2=*global*},

*X'offset'*, *modname*

宛先: コンソール

---

**DFHCC0100** *applid* **Global Catalog initialization failure.**  
{GENERATE ACB | OPEN ACB |  
GENERATE RPL | OPEN, SHOWCB.} **R15 =**  
**X'yy' VSAM error code = X'zz'**

説明: グローバル・カタログ初期設定時に VSAM エラーが発生しました。

示されている VSAM コードについては、「IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」の『VSE/VSAM 戻りコードおよびエラー・コード』に説明があります。

このメッセージの可能なバージョンには、次のテキストが含まれます。

- "GENERATE ACB"
- "GENERATE RPL"

GENCB が X'yy' で示された R15 の条件で失敗しました。

X'zz' コードに意味があるのは、X'zz' が GENCB マクロに応答して VSAM レジスター 0 によって戻されたエラー・コードであるとき、X'yy'が X'04' である場合だけです。

- "OPEN ACB"

OPEN が R15 の条件コード X'yy' で失敗しました。その後正常に SHOWCB が行われ、OPEN エラー・コードが X'zz' に入れられました。また、VSAM がオペレーター・コンソールおよびプログラマーのリストに書き込むメッセージも参照してください。

- "OPEN, SHOWCB"

OPEN が R15 の条件コード X'yy' で失敗しました。

その後 SHOWCB が行われて失敗し、SHOWCB からの R0 の戻りコードが X'zz' に示されます。また、VSAM がオペレーター・コンソールおよびプログラマーのリストに書き込むメッセージも参照してください。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 『VSE/VSAM 戻りコードおよびエラー・コ

ード』の「IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」でエラー・コードを調べて、そのエラーを訂正し、それから再試行してください。

それでも失敗する場合には、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, {1=GENERATE ACB,  
2=OPEN ACB, 3=GENERATE RPL, 4=OPEN, SHOWCB.},  
*yy*, *zz*

宛先: コンソール

---

**DFHCC0101 LOCAL CATALOG INITIALIZATION**  
**ERROR. {GENERATE ACB | OPEN ACB |**  
**GENERATE RPL | OPEN, SHOWCB.} R15 =**  
**X'yy' VSAM ERROR CODE = X'zz'**

説明: ローカル・カタログ初期設定時に VSAM エラーが発生しました。

示されている VSAM コードについては、「IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」の『VSE/VSAM 戻りコードおよびエラー・コード』に説明があります。

このメッセージの可能なバージョンには、次のテキストが含まれます。

- "GENERATE ACB"
- "GENERATE RPL"

GENCB が X'yy' で示された R15 の条件で失敗しました。

X'zz' コードに意味があるのは、X'zz' が GENCB マクロに  
応答して VSAM レジスター 0 によって戻されたエラー・  
コードであるとき、X'yy'が X'04' である場合だけです。

- "OPEN ACB"

OPEN が R15 の条件コード X'yy' で失敗しました。その後正常に SHOWCB が行われ、OPEN エラー・コードが X'zz' に入れられました。また、VSAM がオペレーター・コンソールおよびプログラマーのリストに書き込むメッセージも参照してください。

- "OPEN, SHOWCB"

OPEN が R15 の条件コード X'yy' で失敗しました。

その後 SHOWCB が行われて失敗し、SHOWCB からの R0 の戻りコードが X'zz' に示されます。また、VSAM がオペレーター・コンソールおよびプログラマーのリストに書き込むメッセージも参照してください。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が終了します。

ユーザーの処置: 『VSE/VSAM 戻りコードおよびエラー・コード』の「IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」でエラー・コードを調べて、そのエラーを訂正し、それから再試行してください。それでも失敗する場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

宛先: コンソール

**DFHCC0102 applid Global Catalog data set is already in use.**

説明: 先に出された DFHCC0100 メッセージに報告されている VSAM エラーは、おそらく別の CICS 領域で、グローバル・カタログがすでに使用されていることを示します。グローバル・カタログ・データ・セットは共有できません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この CICS の DFHGCD DLBL ステートメントが、すでに実行されている CICS ジョブとは別のグローバル・カタログ・データ・セットを指定していることを確認してください。

それでも CICS が失敗する場合は、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHCC0103 LOCAL CATALOG DATA SET IS ALREADY IN USE.**

説明: 先に出された DFHCC0101 メッセージに報告されている VSAM エラーは、おそらく別の CICS 領域で、ローカル・カタログがすでに使用されていることを示します。ローカル・カタログ・データ・セットは共有できません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この CICS の DFHLCD DLBL ステートメントが、すでに実行されている CICS ジョブとは別のローカル・カタログ・データ・セットを指定していることを確認してください。

それでも CICS が失敗する場合は、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

宛先: コンソール

**DFHCC0104 AN ABEND HAS OCCURRED DURING INITIALIZATION OF CATALOG DOMAIN IN MODULE DFHCCDM.**

説明: ローカル・カタログ (CC) ドメインの事前初期設定時に、DFHCCDM のリカバリー・ルーチンが制御を受け取りました。

システムの処置: ダンプ・コード KERNDUMP のシステム・ダンプがとられ、CICS が終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

宛先: コンソール

**DFHCC0200 applid VSAM error on the {local |global} catalog data set. VSAM return code in R15 = X'yy' RPL-FDBK=X'zz'.**

説明: カタログ VSAM 操作により、メッセージに示された VSAM エラーが出されました。

例外トレース、コード CC 2B60 または GC 2B60 も作成されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が終了します。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 可能な場合には、VSAM エラーを訂正して CICS を再始動してください。戻りコードの意味については、「*IBM z/VSE* メッセージおよびコード 第 2 巻」の『*VSE/VSAM* 戻りコードおよびエラー・コード』を参照してください。

これは CICS コードにエラーがある可能性を示しているので、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCCC

XMEOUT パラメーター: *applid*, {1=local, 2=global}, *yy*, *zz*

宛先: コンソール

**DFHCC0201 VSAM ERROR ON THE LOCAL CATALOG DATA SET, VSAM RETURN CODE IN R15 = X'yy' FDBK=X'zz'.**

説明: ローカル・カタログ VSAM 操作により、メッセージに示された VSAM エラーが出されました。

例外トレース、コード CC 2B60 または GC 2B60 も作成されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が終了します。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、VSAM エラーを訂正して CICS を再始動してください。戻りコードの意味については、「*IBM z/VSE* メッセージおよびコード 第 2 巻」の『*VSE/VSAM* 戻りコードおよびエラー・コード』を参照してください。

これは CICS コードにエラーがある可能性を示しているので、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCCC

宛先: コンソール

**DFHCC0202** *applid* The {local | global} catalog has started to use new secondary space allocation.

説明: カタログ・データ・セット DFHLCD および DFHGCD が定義されたときに、2 次スペースを指定することができません。このメッセージは、カタログが追加のスペース割り振りを使用し始めるときに出されます。

CICS ストレージの制御についての詳細は、「CICS System Definition and Operations Guide」を参照してください。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます。ただし、現時点でトレースが使用可能な場合に限りません。

ユーザーの処置: 原因としては 2 つ考えられます。

- システムが、あるループに入っている。このループは、カタログ・データ・セットに書き込むためのカタログの呼び出しを含むものです。システムが突然このメッセージを繰り返し出し始めた場合には、これが最も可能性のある原因と思われる。
- カタログが定義されたときにそのカタログに対して割り振られた 1 次スペースが不足している。次のいずれかの場合にこのメッセージが出されたときには、これが最も可能性のある原因と思われる。
  - CICS 初期設定時またはその直後にされた場合
  - このメッセージがごくまれにしか出されない場合（およびほとんど出されない場合）

ループの可能性のある他の症状を探して、適切に対応してください。ループが発生した場合には、次の CICS コールド・スタート時にシステム・プログラマーはカタログを再定義する必要があります。

CICS がループしていない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、次の CICS コールド・スタート時にこのデータ・セット用に割り振る 1 次スペースを大きくする必要があります。

モジュール: DFHCCCC

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, {1=local, 2=global}

宛先: コンソール

**DFHCC0203** *applid* The {local | global} catalog is full.

説明: メッセージに示されたカタログ・データセット (DFHLCD または DFHGCD) は満杯です。このエラーには、次の 2 つの理由が考えられます。

## DFHCExxxx メッセージ

**DFHCE3500** Unable to interpret keyword data. Sign-on is terminated.

説明: サインオン・トランザクションを呼び出すときに与えられたキーワード・データが無効です。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 正しい形式を使用して、サインオン・トランザクションを呼び出してください。正しい形式は次のとおりです。

- システムが、あるループに入っている。このループは、カタログ・データ・セットに書き込むためのカタログの呼び出しを含むものです。
- カタログが定義されたときにそのカタログに対して割り振られた 1 次スペースが不足している。このメッセージが CICS 初期設定中またはその直後にされた場合、これが主な原因です。

システムの処置: 初期設定中にエラーが起きると、システム・ダンプが生成されて、CICS は終了します。初期設定後にエラーが起きると、カタログ・サービスを呼び出したドメインが適切な処理を決定します。

ユーザーの処置: ループのその他の徴候がないか検査して、それに応じて処理してください。

CICS がループしていない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、次の CICS コールド・スタート時にこのデータ・セット用に割り振る 1 次スペースを大きくする必要があります。

CICS がループしている場合、これは、エラーが CICS コード内にあることを示します。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCCCC

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, {1=local, 2=global}

宛先: コンソール

**DFHCC0300** DFHCCUTL ERROR REPORT. ERROR {OPENING DFHLCD. | WRITING TO DFHLCD. R15 = X'yy' VSAM RPL FEEDBACK CODE = X'zz'.}

説明: ローカル・カタログ・データ・セット DFHLCD の初期設定が、結果として出されたジョブ出力に示された理由により失敗しました。

システムの処置: ジョブが終了します。

ユーザーの処置: VSAM コードの意味については、「IBM z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」の『VSE/VSAM 戻りコードおよびエラー・コード』を参照してください。

メッセージに示されたエラーの原因を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCCUTL

宛先: SYSLST

CESN USERID=*userid*, GROUPID=*groupid*,  
PS=*password*, NEWPS=*new\_password*,  
LANGUAGE=*language\_code*

CESN トランザクションの詳細については、「CICS Supplied Transactions」を参照してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3501** Invalid keyword. Sign-on is terminated.

説明: 入力したキーワードが無効でした。  
 システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。  
 ユーザーの処置: 1 から 8 文字の範囲内の有効な文字キーワードを使用してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3502 Your userid must be 1-8 characters. Sign-on is terminated.**

説明: USERID キーワードの値が 1 文字未満か、もしくは 8 文字を超えています。  
 システムの処置: サインオンは終了します。  
 ユーザーの処置: 有効なユーザー ID を使用してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3503 Your password must be 1-8 characters. Sign-on is terminated.**

説明: PS キーワードの値が 1 文字未満か、もしくは 8 文字を超えています。  
 システムの処置: サインオンは終了します。  
 ユーザーの処置: 有効なパスワードを使用してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3504 Your new password must be 1-8 characters. Sign-on is terminated.**

説明: NEWPS キーワードの値が 1 文字未満か、もしくは 8 文字を超えています。  
 システムの処置: サインオンは終了します。  
 ユーザーの処置: 有効な新しいパスワードを使用してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3506 Your groupid must be 1-8 characters. Sign-on is terminated.**

説明: GROUPID キーワードの値が 1 文字未満か、もしくは 8 文字を超えています。  
 システムの処置: サインオンは終了します。  
 ユーザーの処置: 有効なグループ名を使用してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3507 Your language code must be three characters. Sign-on is terminated.**

説明: LANGUAGE キーワードの値が 3 文字コードではありません。  
 システムの処置: サインオンは終了します。  
 ユーザーの処置: 有効な言語コードを使用してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3520 Please type your userid.**

説明: システムがユーザー ID を要求しています。  
 システムの処置: なし。  
 ユーザーの処置: ユーザー ID を入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3521 CICS sign-on. Please type your userid.**

説明: システムがユーザー ID を要求しています。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: ユーザー ID を入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3522 CICS sign-on. Please type your userid==>**

説明: システムがユーザー ID を要求しています。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: ユーザー ID を入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3523 Please type your password.**

説明: システムがパスワードを要求しています。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: パスワードを入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3524 Please type your password==>@@@@@@@**

説明: システムがパスワードを要求しています。  
 @@@@@@@@ は、パスワードを見えないようにするために CICS が提供している文字ストリングを表しています。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: パスワードを入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3525 Your password has expired. Please type your new password.**

説明: システムが新しいパスワードを要求しています。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: 新しいパスワードを入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3526 Your password has expired. Please type your new password==>@@@@@@@**

説明: システムが新しいパスワードを要求しています。  
 @@@@@@@@ は、新しいパスワードを見えないようにするために CICS が提供している文字ストリングを表しています。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: 新しいパスワードを入力してください。  
 モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3527 Use your magnetic (OPID) card or press ENTER to cancel.**

説明: 磁気カードが必要です。

システムの処置: システムは、OPID (磁気) カードを待ちます。

ユーザーの処置: バッジを与えるか、またはトランザクションを終了してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3528 Signon failed during SECLABEL checking.**

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が重大エラーを検出したために、サインオン要求が失敗しました。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために必要な情報および処置については、CSCS ログ上のメッセージ DFHSN1108 を参照してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3529 The ESM is currently not accepting signons. Please try later.**

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が静止状態にあったために、サインオン要求が失敗しました。静止状態にある場合には、特別なユーザーからのサインオン要求だけが受け入れられます。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: ESM は、おそらく ESM データベース保守を行うために静止状態にされました。保守が現在行われているかどうか、またそれにどれくらいかかるかを判別してください。保守が完了したときには、静止状態は ESM ではなくなくなり、これによりユーザーは CICS に対してサインオンすることができます。ESM が静止状態に入っていない場合には、この問題を解決するために必要な情報および処置について、CSCS ログ上のメッセージ DFHSN1108 を参照してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3530 Your userid is invalid. Please retype.**

説明: ユーザー ID が無効です。

システムがユーザー ID を要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3531 Your userid is invalid. Please retype==>**

説明: ユーザー ID が無効です。

システムがユーザー ID を要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3532 Your password is invalid. Please retype.**

説明: 入力したパスワードが無効でした。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なパスワードを入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3533 Your password is invalid. Please retype==>@@@@@**

説明: 入力したパスワードが無効でした。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なパスワードを入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3534 Your new password is invalid. Please retype.**

説明: 入力した新しいパスワードが無効でした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 有効なパスワードを入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3535 Your new password is invalid. Please retype==>@@@@@**

説明: 入力した新しいパスワードが無効でした。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なパスワードを入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3536 Invalid OPID. Please enter a valid card or press ENTER to cancel.**

説明: 入力した OPID が無効です。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なカードを入力するか、または ENTER を押してサインオンを取り消してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー



**DFHCE3537 Language is invalid. Please retype.**

説明: 入力した言語コードが無効です。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: 有効な言語コードを入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3538 Language is invalid. Please retype==>**

説明: 入力した言語コードが無効です。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: 有効な言語コードを入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3539 Please reenter the new password for verification.**

説明: ユーザーは、新規パスワードを新しいパスワード・フィールドに入力したので、新規パスワード・データを確認するために同じパスワードを再入力するように促されています。  
 システムの処置: システムは応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: 新規のパスワードをパスワード・フィールドに再入力してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3541 Security interface error (rc). Sign-on is terminated.**

説明: 外部セキュリティ・マネージャー内にエラーが検出されました。rc は、外部セキュリティ・マネージャーからの戻りコードです。  
 システムの処置: サインオンは終了します。  
 ユーザーの処置: マクロの戻りコードについての詳細は、該当する資料を参照してください。戻りコードはマクロ特有のもです。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3542 Sign-on is not allowed at this terminal. Your sign-on is ignored.**

説明: サインオン・トランザクションは、以下のいずれかの理由のため現行の端末で実行できません。

- 端末が、サインオンで変更できない事前設定のユーザー ID で定義されている。
- 端末は別の CICS 領域では端末のサロゲートであるが、サインオン・トランザクションが、CRTE トランザクションで設定されたセッション内で実行されていない。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。  
 ユーザーの処置: この端末でサインオン・トランザクションを使用しないでください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3543 You have cancelled your sign-on request. Sign-on is terminated.**

説明: OPID カードが要求されたときにユーザーが Enter を押したか、または 3270 端末装置で PF3 を押しました。  
 システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。  
 ユーザーの処置: サインオン・プロシーチャーを再試行してください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3544 Terminal authorization failed. Sign-on is terminated.**

説明: 外部セキュリティ・マネージャーは、サインオン要求に対して否定応答を出しました。  
 システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、CSCS ログ上のメッセージ DFHSN1118 を参照して、この問題を解決するのに必要な関連情報および処置を知る必要があります。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3545 Application authorization failed. Sign-on is terminated.**

説明: 外部セキュリティ・マネージャーは、サインオン要求に対して否定応答を出しました。  
 システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、CSCS ログ上のメッセージ DFHSN1119 を参照して、この問題を解決するのに必要な関連情報および処置を知る必要があります。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3546 Your signon {userid | group access} has been revoked. Signon is terminated.**

説明: 外部セキュリティ・マネージャーからの応答は、CICS にサインオンするために使用するユーザー ID、またはユーザー ID が入っているグループへのアクセスのいずれかが、システムによって取り消されたことを示しています。  
 システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。  
 ユーザーの処置: セキュリティ管理者に知らせてください。  
 モジュール: DFHSNP  
 宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3547 Security is not active. Sign-on cannot be performed.**

説明: CICS セキュリティ・システムが活動状態でなかったために、CICS システムへのサインオンの要求が拒否されました。

## DFHCE3548 • DFHCE3570

ユーザーは、CICS セキュリティーが活動状態の場合にのみ、CICS にサインオンすることができます。

CICS セキュリティー・システムは、システム初期設定パラメーター SEC=YES により活動状態になります。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNSP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHCE3548 *date time applid* Critical error has occurred in DFHNSP. Codes: 1,2,3,4,5.

説明: サインオン・プログラム DFHNSP がクリティカル・エラーのために異常終了しました。

エラーの原因とエラーの発生場所が 5 つのコードで示されます。

コード 1 は異常終了コードです。ASNA、ASNB、または ASNC のいずれかになります。

コード 2、3、4、および 5 は、IBM がエラーの原因を識別するのに役立つコードです。これらは、id\_location、EIBFRCODE、EIBRESP、および EIBRESP2 です。

システムの処置: DFHNSP は異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。通常、DFHAC2206 が出されますが、タスクに関連する端末がない場合は、DFHAC2236 が代りに出されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHAC2206 または DFHAC2236 を参照してください。DFHAC2236 が出された場合は、おそらく端末がないことが異常終了の原因と考えられます。

メッセージに示された異常終了コードを使用し、エラーの原因を突き止めて、とるべき処置の手順を決めてください。これにより、異常終了がユーザー・エラーによるものか、または CICS コードのエラーによるものかを判断することができます。(CICS コードのエラーは、異常終了コード ASNA によって示されます。)

エラーが CICS コードにあると考えられる場合は、問題を解決するにはさらに IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHNSP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*, 1, 2, 3, 4, 5

宛先: CSMT

---

### DFHCE3549 Sign-on is complete (Language language).

説明: ユーザーが CICS システムに正常にサインオンしました。

システムの処置: CICS がユーザー・トランザクションを受け取る準備が整っています。

ユーザーの処置: CICS トランザクションの必要に応じて端末を使用してください。

モジュール: DFHNSP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHCE3550 Sign-off option must be LOGOFF or GOODNIGHT. Sign-off is ignored.

説明: LOGOFF | GOODNIGHT 以外のオプションが検出されました。

システムの処置: サインオフ・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: サインオフを呼び出すときには正しいオプションを指定してください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHCE3551 *date time applid termid* DFHNSP has detected an invalid COMMAREA. It has been ignored. The data is lost.

説明: CESN トランザクションの処理中に、DFHNSP のものではない COMMAREA が DFHNSP に渡されました。これは、アプリケーションがヌルの *transid* (X'00000000') を指定して EXEC CICS RETURN TRANSID(...) COMMAREA(...) を出した結果である場合があります。transid のポインターが誤って設定されているか、またはそれがシステム設計の一部となっていることが原因である可能性があります。

システムの処置: DFHNSP は、CESN トランザクション処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージが、システム設計の一部として正しく出されているかどうかを調べてください。メッセージがシステム設計の一部である場合には、メッセージは無視できるエラーです。この端末での前のトランザクションを調べてください。

モジュール: DFHNSP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

宛先: CSMT

---

### DFHCE3560 Sign-off is not allowed at this terminal. Sign-off is ignored.

説明: サインオフ・トランザクションは、以下のいずれかの理由のため現行の端末で実行できません。

- 端末が、サインオフで変更できない事前設定のユーザー ID で定義されている。
- 端末は別の CICS 領域では端末のサロゲートであるが、サインオフ・トランザクションが、CRTE トランザクションで設定されたセッション内で実行されていない。

システムの処置: サインオフ・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: この端末でサインオフ・トランザクションを使用しないでください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHCE3570 Your groupid is invalid. Please retype.

説明: グループ ID が無効です。

システムはグループ ID を要求します。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なグループ ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP  
宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3571 Your groupid is invalid. Please retype==>**

説明: グループ ID が無効です。

システムはグループ ID を要求します。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なグループ ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3587 You cannot signon at this terminal at this time.**

説明: この時点でこの端末にサインオンすることはできません。SNSCOPE 初期設定パラメーターのため、一度に複数の端末にサインオンすることはできません。SNSCOPE 検査時に内部障害が起きると、ユーザーがすでに別の端末にサインオンしているかどうかを CICS が確認できないこととなります。システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。メッセージ DFHUS0120 がコンソールに書き込まれているはずです。詳細については、このメッセージの説明を参照してください。

ユーザーの処置: この問題を CICS システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3588 You are already signed on at another terminal. Signon cannot be performed.**

説明: 他の端末にすでにサインオンしているため、現行の端末でサインオンすることができません。CICS システムの SNSCOPE システム初期設定パラメーターは、一度に複数の端末にサインオンすることを許しません。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 他の端末からサインオフしてから、再びサインオンを行ってください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3589 The external security manager is inactive. Signon cannot be performed.**

説明: 外部セキュリティ・マネージャー・プログラムが活動状態でないため、サインオンできません。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャーが再び活動化してから、再びサインオンを行ってください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3590 Sign-off is complete.**

説明: ユーザーがシステムに対してサインオンを行うために CESN コマンドを出した場合には、サインオフが正常に行われたということです。ユーザーのサインオンが行われなかった場合に、CICS セキュリティーが活動状態であった場合 (SEC=YES システム初期設定パラメーター) には、メッセージ DFHSN1213 が CICS ログに書き込まれ、ユーザーがログオフしたがサインオフすることができなかったことが示されます。システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: この端末を CICS トランザクションに使用してください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3591 Sign-off is complete. LOGOFF option is invalid when using CRTE.**

説明: 端末はこの時点でサインオフされました。指定された LOGOFF オプションは、CRTE を使用するときには無効なので、無視されました。

システムの処置: CRTE を通してユーザーが接続している CICS システムをサインオフしました。

ユーザーの処置: CRTE を介してサインオフするときには、LOGOFF オプションを使用しないでください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3592 Sign-off is complete. GOODNIGHT option is invalid when using CRTE.**

説明: 端末はこの時点でサインオフされました。指定された GOODNIGHT オプションは、CRTE を使用するときには無効なので、無視されました。

システムの処置: CRTE を通してユーザーが接続している CICS システムをサインオフしました。

ユーザーの処置: CRTE を介してサインオフするときには、GOODNIGHT オプションを使用しないでください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHCE3598 date time applid Critical error has occurred in DFHSFP. Codes: 1,2,3,4,5.**

説明: サインオフ・プログラム DFHSFP がクリティカル・エラーのために異常終了します。

エラーの原因とエラーの発生場所が 5 つのコードで示されます。

コード 1 は異常終了コードです。これは ASFA、ASFB、または ASFC のいずれかです。

コード 2、3、4、および 5 は、IBM がエラーの原因を識別するのに役立つコードです。これらは、id\_location (16 進数)、EIBRCODE、EIBRESP、および EIBRESP2 です。

システムの処置: DFHSFP は異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。通常、DFHAC2206 が出されますが、タスクに関連する端末がない場合は、DFHAC2236 が代りに出されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHAC2206 または DFHAC2236 を参照してください。DFHAC2236 が出された場合は、おそらく端末がないことが異常終了の原因と考えられます。

メッセージに示された異常終了コードを使用し、エラーの原因を突き止めて、とるべき処置の手順を決めてください。これにより、異常終了がユーザー・エラーによるものか、または CICS コードのエラーによるものかを判断することができます。(CICS コードのエラーは、異常終了コード ASFA によって示されます。)

エラーが CICS コードにあると考えられる場合は、問題を解決するにはさらに IBM のサポートが必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSFP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, 1, 2, 3, 4, 5*  
宛先: CSMT

## DFHCPxxxx メッセージ

### DFHCP0101I *applid* CPI initialization has started.

説明: これは、CPI の初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 によって抑止することができます。

モジュール: DFHCPIN1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

### DFHCP0102I *applid* CPI initialization has ended.

説明: これは、CPI 初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 によって抑止することができます。

モジュール: DFHCPIN1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

### DFHCP0103I *applid* CPI initialization has failed.

説明: CPI は初期設定を正常に行えませんでした。

システムの処置: メッセージ DFHSI1522 がこのメッセージの後に続きます。CICS は、メッセージ DFHSI1522 に対するオペレーターの応答によって、終了するかまたは初期設定を続行します。

障害の検出時に例外トレース項目が書き込まれます。

CPI 初期設定によって呼び出される他の CICS コンポーネントも、メッセージを出すかまたはトレース項目を書き込む場合があります。

ユーザーの処置: CICS が CPI サポートなしに実行を継続できるかどうかを決定し、それに応じてメッセージ DFHSI1522 に応答してください。

CPI が初期設定に失敗した理由についても調べる必要があります。

モジュール: DFHCPIN1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

DFHCP0701I *date time applid tranid program name* **CPI-C verb verb used unrecognized CONVERSATION\_ID** *Conversation\_ID*.

説明: アプリケーション・プログラムが、CPI の呼び出しの 1 つにおいて、認識されない会話 ID を使用しました。これは次のことを意味します。

- アプリケーション・プログラムが、CMINIT (Initialize\_Conversation) verb または CMACCP (Accept\_Conversation) verb のいずれかを使用して会話を正しく作成しなかった。あるいは、
- アプリケーション・プログラムは、CPI によって間違って与えられた会話 ID を使用した。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: どちらのエラーが発生したかを判別し、それに応じてアプリケーション・プログラムを修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPIC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, verb, Conversation\_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0702I *date time applid tranid program name Conversation\_ID* **CPI-C verb verb was disallowed because of the conversation state state.**

説明: CPI 状態のマシンが状態エラーを検出しました。これは、会話がこの verb を出すには正しくない状態にあったことを意味します。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_STATE\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 「*Common Programming Interface Communications Reference*」で定義されている状態マシン、および CICS トレース情報を使用して、状態エラーを引き起こした CPI 呼び出し順序を判別してください。与えられているガイドラインに従ってアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPIC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, Conversation\_ID, verb, state*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0705I** *date time applid trandid program name*  
*Conversation\_ID invalid conversation\_type*  
**parameter (X'conv\_type') supplied on the**  
**CMSCT (Set\_Conversation\_Type) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSCT (Set\_Conversation\_Type) を無効な conversation\_type パラメーター値で呼び出しました。  
システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: 有効な conversation\_type パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSCT を修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCSA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, Conversation\_ID, X'conv\_type'*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0706I** *date time applid trandid program name*  
*conversation\_ID the supplied*  
**conversation\_type parameter of**  
**CM\_MAPPED\_CONVERSATION conflicts**  
**with the current setting of the fill**  
**characteristic CM\_FILL\_BUFFER.**

説明: アプリケーション・プログラムが以前に CMSF (Set\_Fill) verb を使用して fill 特性を設定したときに、そのアプリケーションが CM\_MAPPED\_CONVERSATION の conversation\_type パラメーターで CMSCT (Set\_Conversation\_Type) を呼び出しました。

これは、CPI では許可されていません。  
システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、こうした無効な組み合わせでこれらの 2 つの verb が使われないようにしてください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCSA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, conversation\_ID*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0707I** *date time applid trandid program name*  
*conversation\_ID the supplied*  
**conversation\_type parameter**  
**CM\_MAPPED\_CONVERSATION conflicts**  
**with the current setting of log\_data.**

説明: アプリケーション・プログラムが以前に CMSLD (Set\_Log\_Data) verb を使用して一部のログ・データを作成したときに、そのアプリケーションが CM\_MAPPED\_CONVERSATION の conversation\_type パラメーターで CMSCT (Set\_Conversation\_Type) を呼び出しました。

これは、CPI では許可されていません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、こうした無効な組み合わせでこれらの 2 つの verb が使われないようにしてください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCSA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, conversation\_ID*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0708I** *date time applid trandid program name*  
*conversation\_ID invalid deallocate\_type*  
**parameter (X'deallocate\_type') supplied on the**  
**CMSDT (Set\_Deallocate\_Type) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが無効な deallocate\_type パラメーターで CMSDT (Set\_Deallocate\_Type) を呼び出しました。  
システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: 有効な deallocate\_type パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSDT を修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCSB

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, conversation\_ID, X'deallocate\_type'*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0709I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID the supplied deallocate\_type*  
**parameter deallocate\_type conflicts with the**  
**current setting of the sync\_level**  
**characteristic sync\_level.**

説明: アプリケーション・プログラムが、*deallocate\_type* の *deallocate\_type* で、しかも *sync\_level* 特性が *sync\_level* に設定された状態で、CMSDT (Set\_Deallocate\_Type) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSB

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, deallocate\_type, sync\_level*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0710I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID invalid error\_direction*  
**parameter (X'error\_direction') supplied on the**  
**CMSED (Set\_Error\_Direction) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが無効な *error\_direction* パラメーターで CMSED (Set\_Error\_Direction) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: 有効な *error\_direction* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSED を修正してください。

モジュール: DFHPCPSC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, X'error\_direction'*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0711I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID invalid fill parameter (X'fill')*  
**supplied on the CMSF (Set\_Fill) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが、無効な充てん文字パラメーター *fill* で CMSF (Set\_Fill) を呼び出しました。  
 システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: 有効な充てん文字パラメーターを使用するよ

うアプリケーション・プログラム内の CMSF を修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, X'fill'*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0712I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID CMSF (Set\_Fill) call conflicts*  
**with the current conversation\_type of**  
**CM\_MAPPED\_CONVERSATION.**

説明: アプリケーション・プログラムは、*conversation\_type* が CM\_MAPPED\_CONVERSATION のときに CMSF (Set\_Fill) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0713I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID CMSLD (Set\_Log\_Data) call*  
**conflicts with the current conversation\_type**  
**of CM\_MAPPED\_CONVERSATION.**

説明: アプリケーション・プログラムは、*conversation\_type* が CM\_MAPPED\_CONVERSATION のときに CMSLD (Set\_Log\_Data) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSE

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0714I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID log\_data\_length*  
*(log\_data\_length) supplied on CMSLD*  
**(Set\_Log\_Data) verb is not in the range**  
**0-512.**

説明: アプリケーション・プログラムが、0 から 512 の範囲外の *log\_data\_length* パラメーターで CMSLD (Set\_Log\_Data) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。ユーザーの処置: 有効な *log\_data\_length* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSLD を修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSE

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, log\_data\_length*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0718I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID invalid mode\_name\_length*  
*parameter (mode\_name\_length) supplied on*  
*the CMSMN (Set\_Mode\_Name) verb.*

説明: アプリケーション・プログラムが、0 から 8 の範囲外の *mode\_name\_length* パラメーターで CMSMN (Set\_Mode\_Name) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。ユーザーの処置: 有効な *mode\_name\_length* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSMN を修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSF

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, mode\_name\_length*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0721I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID the partner\_lu\_name\_length*  
*(partner\_lu\_name\_len) supplied on the*  
**CMSPLN (Set\_Partner\_LU\_Name) verb is**  
**not in the range 1-17.**

説明: アプリケーション・プログラムが、1 から 17 の範囲外の *partner\_lu\_name\_length* パラメーターで CMSPLN

(Set\_Partner\_LU\_Name) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 1 から 17 の範囲内の

*partner\_lu\_name\_length* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSPLN を修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSG

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, partner\_lu\_name\_len*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0724I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID invalid*  
**prepare\_to\_receive\_type parameter**  
**(X'ptr\_type') supplied on the CMSPTR**  
**(Set\_Prepare\_To\_Receive\_Type) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが、無効な *prepare\_to\_receive\_type* パラメーターで CMSPTR

(Set\_Prepare\_To\_Receive\_Type) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: *prepare\_to\_receive\_type* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSPTR を修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSH

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, X'ptr\_type'*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0725I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID the supplied*  
**prepare\_to\_receive\_type parameter**  
**CM\_PREP\_TO\_RECEIVE\_CONFIRM is**  
**incompatible with the current setting of**  
**the sync\_level characteristic CM\_NONE.**

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSPTR

(Set\_Prepare\_To\_Receive\_Type) を、

CM\_PREP\_TO\_RECEIVE\_CONFIRM の

*prepare\_to\_receive\_type* パラメーターで、しかも *sync\_level* 特性を CM\_NONE に設定した状態で呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、  
この矛盾を取り除いてください。

「Common Programming Interface Communications Reference」  
で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明さ  
れています。

モジュール: DFHCP0726I

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, conversation\_ID*

宛先: CCPI

**DFHCP0726I** *date time applid trandid program name conversation\_ID invalid receive\_type parameter (X'receive\_type') supplied on the CMSRT (Set\_Receive\_Type) verb.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSRT (Set\_Receive\_Type) を無効な *receive\_type* パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード *CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK* とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: 有効な *receive\_type* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSRT を修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」  
で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCP0726I

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, conversation\_ID, X'receive\_type'*

宛先: CCPI

**DFHCP0727I** *date time applid trandid program name conversation\_ID invalid return\_control parameter (X'return\_control') supplied on the CMSRC (Set\_Return\_Control) verb.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSRC (Set\_Return\_Control) を無効な *return\_control* パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード *CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK* とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: 有効な *return\_control* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSRC を修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」  
で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCP0727I

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, program*

*name, conversation\_ID, X'return\_control'*

宛先: CCPI

**DFHCP0728I** *date time applid trandid program name conversation\_ID invalid send\_type parameter (X'send\_type') supplied on the CMSST (Set\_Send\_Type) verb.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSST (Set\_Send\_Type) を無効な *send\_type* パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード *CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK* とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: 有効な *send\_type* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSST を修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」  
で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCP0728I

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, conversation\_ID, X'send\_type'*

宛先: CCPI

**DFHCP0729I** *date time applid trandid program name conversation\_ID the supplied send\_type parameter CM\_SEND\_AND\_CONFIRM is incompatible with the current setting of the sync\_level characteristic CM\_NONE.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSST (Set\_Send\_Type) を、*CM\_SEND\_AND\_CONFIRM* の *send\_type* パラメーターで、しかも *sync\_level* 特性を *CM\_NONE* に設定した状態で呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード *CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK* とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

「Common Programming Interface Communications Reference」  
で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCP0729I

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, program name, conversation\_ID*

宛先: CCPI



---

**DFHCP0730I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID invalid sync\_level parameter*  
**(X'sync\_level') supplied on the CMSSL**  
**(Set\_Sync\_Level) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSSL (Set\_Sync\_Level) を無効な sync\_level パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: 有効な sync\_level パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSSL を修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, X'sync\_level'*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0731I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID the supplied sync\_level*  
**parameter CM\_NONE is incompatible with**  
**the current setting of the send\_type**  
**characteristic CM\_SEND\_AND\_CONFIRM.**

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSSL (Set\_Sync\_Level) を CM\_NONE の sync\_level パラメーターで呼び出しました。 send\_type は CM\_SEND\_AND\_CONFIRM です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0732I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID the supplied sync\_level*  
**parameter sync\_level is incompatible with**  
**the current setting of the deallocate\_type**  
**characteristic deallocate\_type.**

説明: アプリケーション・プログラムが CMSSL (Set\_Sync\_Level) を sync\_level の sync\_level パラメーターで

呼び出しました。 deallocate\_type は deallocate\_type です。  
 システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, sync\_level, deallocate\_type*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0733I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID the supplied sync\_level*  
**parameter CM\_NONE is incompatible with**  
**the current setting of the**  
**prepare\_to\_receive\_type characteristic**  
**CM\_PREP\_TO\_RECEIVE\_CONFIRM.**

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSSL (Set\_Sync\_Level) を CM\_NONE の sync\_level パラメーターで呼び出しました。

CM\_PREP\_TO\_RECEIVE\_CONFIRM は、prepare\_to\_receive\_type です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID*  
 宛先: CCPI

---

**DFHCP0734I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID tp\_name\_length parameter*  
**(tp\_name\_length) supplied on the CMSTPN**  
**(Set\_TP\_Name) verb is not in the range**  
**1-64.**

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSTPN (Set\_TP\_Name) を 1 から 64 の範囲外の tp\_name\_length パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な `tp_name_length` パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の `CMSTPN` を修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSM

**XMEOUT** パラメーター: `date`、`time`、`applid`、`trandid`、`program name`、`conversation_ID`、`tp_name_length`  
宛先: CCPI

**DFHCP0740I** *date time applid trandid program name* **No incoming conversation to accept.**

説明: 着信会話がないときに、アプリケーション・プログラムが `CMACCP` (`Accept_conversation`) を呼び出しました。  
システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード `CM_PROGRAM_STATE_CHECK` とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: 受け入れるための着信会話があることを確認してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPCAC

**XMEOUT** パラメーター: `date`、`time`、`applid`、`trandid`、`program name`  
宛先: CCPI

**DFHCP0741I** *date time applid trandid program name*  
**Duplicate call to CMACCP (Accept\_Conversation).**

説明: アプリケーション・プログラムが、`CMACCP` (`Accept_conversation`) を 2 回以上呼び出しました。  
システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード `CM_PROGRAM_STATE_CHECK` とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: `CMACCP` を 1 回だけ呼び出すようにアプリケーション・プログラムを修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPCAC

**XMEOUT** パラメーター: `date`、`time`、`applid`、`trandid`、`program name`  
宛先: CCPI

**DFHCP0742I** *date time applid trandid program name* **Session is not available for CPI-C as it is already in use by another process.**

説明: アプリケーション・プログラムが、別のプロセス (例えば、EXEC インターフェース DTP) のためのセッションをすでに使用しているときに、`CMACCP` (`Accept_conversation`) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに、戻りコード `CM_PRODUCT_SPECIFIC_ERROR` とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: アプリケーションがこのセッションで CPI のみを使用していることを確認してください。

モジュール: DFHPCPCAC

**XMEOUT** パラメーター: `date`、`time`、`applid`、`trandid`、`program name`  
宛先: CCPI

**DFHCP0743I** *date time applid trandid program name* **Unable to use CPI-C as this transaction was initiated by ATI.**

説明: アプリケーション・プログラムが、自動トランザクション開始 (ATI) によって開始された後で、`CMACCP` (`Accept_conversation`) を呼び出しました。これはサポートされていません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに、戻りコード `CM_PRODUCT_SPECIFIC_ERROR` とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: アプリケーションがこの制約事項を守っていることを確認してください。

モジュール: DFHPCPCAC

**XMEOUT** パラメーター: `date`、`time`、`applid`、`trandid`、`program name`  
宛先: CCPI

**DFHCP0747I** *date time applid trandid program name conversation\_ID* **CMCFM (Confirm) call conflicts with sync\_level CM\_NONE.**

説明: `sync_level` が `CM_NONE` に設定されているときに、アプリケーション・プログラムが `CMCFM` (`Confirm`) を呼び出しました。これは許可されていません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード `CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK` とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: こうした矛盾がこれ以上起こらないようにアプリケーション・プログラムを修正してください。

「*Common Programming Interface Communications Reference*」で、すべての CPI verb とそれと呼び出す方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPCM

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0749I** *date time applid tranid program name*  
**Unrecognized sym\_dest\_name**  
(*sym\_dest\_name*) **supplied on the CMINIT**  
(**Initialize\_Conversation**) **verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが CMINIT (Initialize\_Conversation) を呼び出しました。 *sym\_dest\_name* パラメーターは認識されません。  
システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: *sym\_dest\_name* パラメーターが正しくなるように、アプリケーション・プログラムおよびパートナー・リソース定義を修正してください。

「CICS Resource Definition Guide」で、パートナー・リソースの正しい使用方法が説明されています。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。  
モジュール: DFHCPIC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, sym\_dest\_name*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0750I** *date time applid tranid program name*  
**Unrecognized profile profile\_name supplied**  
**in partner resource sym\_dest\_name.**

説明: アプリケーション・プログラムが CMINIT (Initialize\_Conversation) を呼び出しました。与えられた *sym\_dest\_name* 内にあるプロファイルが認識されません。  
システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに、戻りコード CM\_PRODUCT\_SPECIFIC\_ERROR とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: *sym\_dest\_name* パラメーターが正しくなるように、アプリケーション・プログラムおよびパートナー・リソース定義を修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。

さらに、「CICS Resource Definition Guide」で、パートナー・リソース定義の詳細が説明されています。  
モジュール: DFHCPIC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, profile\_name, sym\_dest\_name*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0751I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID* **invalid requested\_length**  
**parameter requested\_length supplied on**  
**CMRCV (Receive).**

説明: アプリケーション・プログラムが、32767 を超える値の *requested\_length* パラメーターで CMRCV (Receive) を呼び出しました。  
システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: *requested\_length* パラメーターに有効な値を使用するようにアプリケーション・プログラムを修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、すべての CPI verb とそれを呼び出す方法の詳細が説明されています。  
モジュール: DFHCPCRI, DFHPCRW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, requested\_length*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0752I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID* **data passed on call to**  
**CMSSEND contains an invalid GDS record.**

説明: アプリケーション・プログラムが CMSSEND (Send\_Data) を呼び出しました。この呼び出しで渡されたデータに、無効な汎用データ・ストリーム (GDS) レコードが入っています。

注: このメッセージは、基本会話でのみ出されます。つまり、*conversation\_type* が CM\_BASIC\_CONVERSATION に設定されている場合です。  
システムの処置: このデータは送られません。

CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。  
ユーザーの処置: このパラメーターが正しくなるようアプリケーション・プログラムを修正してください。

「Common Programming Interface Communications Reference」で、GDS レコードの情報も含め、すべての CPI verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

「CICS Distributed Transaction Programming Guide」で、GDS レコードの補足情報が説明されています。  
モジュール: DFHCPCLR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID*  
宛先: CCPI

---

**DFHCP0753I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID* **invalid send\_length**  
**parameter send\_length supplied on CMSSEND**  
(**send\_data**).

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSSEND (Send\_Data) を、0 から 32767 バイトの範囲外の *send\_length*

パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_PARAMETER\_CHECK とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: send\_length パラメーターは、32767 バイトを超えてはなりません。0 から 32767 バイトの範囲内のデータを送るように CMSEND を修正してください。これにより、データは 2 つのチャンクで送られることになる場合があります。

「SAA CPI Reference」で、すべての CPI verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPN1、DFHPCPN2、DFHPCPN3、DFHPCPN4、DFHPCPN5

**XMEOUT** パラメーター: date、time、applid、trandid、program name、conversation\_ID、send\_length  
宛先: CCPI

**DFHCP0754I** date time applid trandid program name conversation\_ID data sent so far is currently in the middle of a GDS record so cannot send CMDEAL, CMCFM or CMPTR requests.

説明: このアプリケーションは基本会話を使用しています (つまり、conversation\_type 特性が CM\_BASIC\_CONVERSATION に設定されています。)

このアプリケーションが、最後の汎用データ・ストリーム (GDS) レコードに関連付けられたすべてのデータを送っていません。

しかし、このアプリケーションは以下のいずれかの要求を送ろうとしました。

- CMDEAL (割り振り解除)
- CMCFM (確認)、または
- CMPTR (受信準備)

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_STATE\_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。ユーザーの処置: 送信したデータを調べて、前の送信がエラーになった理由を判別してください。このエラーが、アプリケーションが最後のレコードを切り捨てたためによるものなのか、または長さフィールドの 1 つにエラーがあったために CPI がデータ・ストリームを誤って解釈してしまったのかを調べて、それに応じてアプリケーション・プログラムを修正してください。

「SAA CPI Reference」で、GDS レコードの情報も含め、すべての CPI verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

「CICS Distributed Transaction Programming Guide」で、GDS レコードの補足情報が説明されています。

モジュール: DFHCPCLR

**XMEOUT** パラメーター: date、time、applid、trandid、program name、conversation\_ID  
宛先: CCPI

**DFHCP0756** date time applid trandid program name conversation\_ID received an unrecognized sense\_code X'sense\_code' from the partner {program | program - /tp\_name.

説明: リモート・システムのパートナー・プログラムから受信されたセンス・コードは認識されませんでした。これは、次の 2 つの理由のうちのいずれかによります。

- プロトコル・エラー、または
- このパートナー・プログラムをこれ以降のリリースで実行していて、新しいセンス・コードが APPC 体系に追加されている。

システムの処置: CICS は、戻りコード

CM\_DEALLOCATE\_ABEND または

CM\_PROGRAM\_ERROR\_PURGING のいずれかとともにアプリケーション・プログラムに制御を戻します。戻りコードは、認識されないセンス・コードがエラーとして解釈されたか、それとも会話の異常終了として解釈されたかによって異なります。

注: tp\_name は、このメッセージがフロントエンド・システムで出されるときにのみ存在します。

ユーザーの処置: メッセージ内に示されたセンス・コードおよび 2 つの通信システムに関するユーザーの知識を活用して、エラーが上記の 2 つの状況のいずれであるかを判断してください。

エラーがプロトコル・エラーである場合は、問題解決のために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPCLR

**XMEOUT** パラメーター: date、time、applid、trandid、program name、conversation\_ID、X'sense\_code'、{2=program、1=program - /、tp\_name  
宛先: CCPI

**DFHCP0757I** date time applid trandid program name conversation\_ID unrecognized netname netname supplied for CMALLC (Allocate) verb.

説明: この会話用のセッションの割り振りが、認識されないネット名 netname のために失敗しました。

この値は、この会話用のパートナー・リソース内、または CPI の CMSPLN (set\_partner\_lu\_name) verb 上のいずれかで指定された partner\_lu\_name から派生した値です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PARAMETER\_ERROR とともに制御を戻します。

セッションの割り振りは行われません。

ユーザーの処置: 認識されるネット名を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPCLR

**XMEOUT** パラメーター: date、time、applid、trandid、program name、conversation\_ID、netname

宛先: CCPI

---

**DFHCP0758I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID unrecognized mode\_name*  
*mode\_name supplied for CMALLC (Allocate)*  
**verb.**

説明: この会話用のセッションの割り振りが、認識されないモードネーム *mode\_name* のために失敗しました。

この値は、この会話用のパートナー・リソースで指定されたプロファイル内、または CPI の CMSMN (Set\_mode\_name) verb 上のいずれかで指定された値です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PARAMETER\_ERROR とともに制御を戻します。

セッションの割り振りは行われません。

ユーザーの処置: 認識される *mode\_name* を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPCLR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, mode\_name*

宛先: CCPI

---

**DFHCP0759I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID invalid use of the SNA*  
*service TP X'tp\_name'*

説明: 会話制御ブロック (CPC) 内で指定されたトランザクション・プログラム (TP) が SNA サービス TP であるために、会話 *conversation\_id* 用のセッションの割り振りが失敗しました。これは許可されていません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PARAMETER\_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: このプログラムが異なる TP を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHPCAL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, X'tp\_name'*

宛先: CCPI

---

**DFHCP0760I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID an invalid partner\_lu\_name*  
*partner\_lu\_name was specified for the*  
**CMALLC (Allocate) verb.**

説明: セッションの割り振りが失敗しました。これは、会話制御ブロック (CPC) で指定された *partner\_lu\_name* が以下の規則に従っていないからです。

1. *partner\_lu\_name* は、次のいずれかの形式を取ります。
  - Netname (長さ 1 から 8 文字)、または
  - Network.netname (ここで、network と netname はそれぞれ長さが 1 から 8 文字)
2. ネット名およびネットワークはどちらも次の文字セットで構成されています。最初の文字は例外なく英字です。
  - A から Z

- a から z
- @
- \$
- #
- 0 から 9

注: 英小文字は英大文字に変換されます。

システムの処置: セッションの割り振りは行われません。

CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PARAMETER\_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: アプリケーションに応じて、*partner\_lu\_name* は、(sym\_dest\_name パラメーター内の CMINIT (initialize\_conversation) verb 上で指定された) パートナー・リソースまたは任意指定の CMSPLN (set\_partner\_lu\_name) verb のいずれかからきます。この値は、上記の規則に従って変更する必要があります。

モジュール: DFHPCAL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, partner\_lu\_name*

宛先: CCPI

---

**DFHCP0761I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID an invalid mode\_name*  
*mode\_name was specified for the CMALLC*  
**(Allocate) verb.**

説明: 会話 *conversation\_id* 用のセッションの割り振りが失敗しました。これは、会話制御ブロック (CPC) 内に指定された *mode\_name mode\_name* が認められていないためです。

システムの処置: セッションの割り振りは行われません。

CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PARAMETER\_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: 異なる *mode\_name* を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHPCAL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, mode\_name*

宛先: CCPI

---

**DFHCP0763I** *date time applid tranid program name*  
*conversation\_ID the mode\_name mode\_name*  
**specified for the CMALLC (Allocate) verb**  
**is unknown to VTAM.**

説明: 会話 *conversation\_ID* 用のセッションの割り振りが失敗しました。これは、会話制御ブロック (CPC) 内に指定された *mode\_name* がリモート・システムには知られているものの、VTAM には知られていないためです。

システムの処置: セッションの割り振りは行われません。

CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PARAMETER\_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: 異なる *mode\_name* を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPCLR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid,*

*program name, conversation\_ID, mode\_name*

宛先: CCPI

**DFHCP0764I** *date time applid tranid program name* **Partner Resource Manager is unavailable.**

説明: アプリケーション・プログラムが CMINIT (Initialize\_Conversation) を呼び出しましたが、(パートナー・リソース・テーブルへのアクセスを行えるようにする) パートナー・リソース・マネージャーが使用できません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに、戻りコード CM\_PRODUCT\_SPECIFIC\_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: まずメッセージ DFHPR0106 が CICS 初期設定中に出力されたかどうかを判別してください。出力されている場合には、そのメッセージに関して与えられている指示を参照してください。メッセージが出力されなかった場合には、CICS 所有のストレージ (静的ストレージ・アドレス・リスト、または PR 静的ストレージのいずれか) がオーバーレイされているようです。記憶保護違反の扱い方についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name*

## DFHCRxxxx メッセージ

**DFHCR4300** *date time applid* **Transaction tranid not executed on terminal termid on system sysid. Transaction invalid on that system**

説明: リモート・システム *sysid* でタスクをスケジュールするための要求が出されましたが、トランザクション *tranid* がシステム *sysid* で定義されていないため、その要求を実行することができませんでした。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* とトランザクション *tranid* がシステム *sysid* で定義されているかを確認してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid, sysid*

宛先: CSMT

**DFHCR4301** *date time applid* **Transaction tranid not executed on terminal termid on system sysid. Terminal invalid on that system**

説明: リモート・システム *sysid* でタスクをスケジュールするための要求が出されましたが、端末 *termid* がシステム *sysid* で定義されていないため、その要求を実行することができませんでした。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* とトランザクション *tranid* がシステム *sysid* で定義されているかを確認してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid, sysid*

宛先: CSMT

宛先: CCPI

**DFHCP0765I** *date time applid tranid program name conversation\_ID* **CPI-C verb verb was disallowed because of the BACKOUT-REQUIRED program state.**

説明: CPI 状態マシンが状態エラーを検出しました。 *verb verb* を BACKOUT-REQUIRED プログラム状態で出すことができません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM\_PROGRAM\_STATE\_CHECK とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: 与えられているガイドラインに従ってアプリケーション・プログラムを修正してください。「SAA CPI Reference」で、すべての CPI *verb* とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPIC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program name, conversation\_ID, verb*

宛先: CCPI

**DFHCR4302** *date time applid* **Transaction tranid not executed on terminal termid on system sysid. Schedule request failed on that system**

説明: リモート・システム *sysid* でタスクをスケジュールするための要求が出されましたが、その要求を実行できませんでした。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: リモート・システムのシステム定義テーブルを調べて、スケジューリング要求が受け入れられなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid, sysid*

宛先: CSMT

**DFHCR4310** *date time applid* **Request from system sysid to initiate transaction tranid on that system on terminal termid was not executed. Transaction invalid on this system.**

説明: リモート・システム *sysid* のトランザクション *tranid* を端末 *termid* で開始するように、そのリモート・システム *sysid* から要求されました。トランザクション *tranid* がこのシステムで定義されていないため、その要求を受け入れることができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* とトランザクション *tranid* が両方のシステムで定義されているかを確認してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sysid, tranid, termid*

宛先: CSMT

---

**DFHCR4311** *date time applid Request from system sysid to initiate transaction tranid on that system on terminal termid was not executed.*

**Terminal invalid on this system.**

説明: リモート・システム *sysid* のトランザクション *tranid* を端末 *termid* で開始するように、そのリモート・システム *sysid* から要求されました。端末 *termid* がこのシステムで定義されていないため、その要求を受け入れることができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* とトランザクション *tranid* が両方のシステムで定義されているかを確認してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sysid, tranid, termid*

宛先: CSMT

---

**DFHCR4312** *date time applid Request from system sysid to initiate transaction tranid on that system on terminal termid was not executed.*

**Schedule request failed**

説明: リモート・システム *sysid* のトランザクション *tranid* を端末 *termid* で開始するように、そのリモート・システム *sysid* から要求されました。スケジューリング要求が失敗したため、その要求を受け入れることができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ローカル・システムのシステム定義テーブルを調べて、スケジューリング要求が受け入れられなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sysid, tranid, termid*

宛先: CSMT

---

**DFHCR4314** *date time applid Request to initiate transaction tranid on remotely owned terminal termid has been purged. Request was not deliverable to system sysid within the ATI purge delay time interval.*

説明: トランザクション *tranid* を開始するための要求は、システム *sysid* に引き渡されませんでした。おそらく、システム *sysid* へのリンクが使用可能になっていなかったのが原因です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション開始要求を出してから、ATI 除去遅延時間間隔が経過するまでの間、システム *sysid* へのリンクが使用できるようになっていることを確認してください。

モジュール: DFHCRQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid, sysid*

宛先: CSMT

---

**DFHCR4315** *date time applid Request to initiate transaction tranid on remotely owned terminal termid has been purged. System sysid has not responded within the ATI purge delay time interval.*

説明: トランザクション *tranid* の開始要求がシステム *sysid* に送られました。システム *sysid* は、この要求を確認しましたが、以下の理由のため ATI 除去遅延時間間隔内に応答していませんでした。

- タスクが開始されたが異常終了した。または
- タスクがセキュリティー検査に失敗した。または
- システム *sysid* が異常終了して、この要求すべての明細が失われた。

システムの処置: システム *sysid* が最終的に応答しても、タスクは実行されません。

ユーザーの処置: システム *sysid* が応答しなかった理由を調べてください。

モジュール: DFHCRQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid, sysid*

宛先: CSMT

---

## DFHDDxxxx メッセージ

**DFHDD0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了が発生して、異常終了コード *aaa/bbbb* が出されました。

プログラム・チェック時のプログラム状況ワード (PSW) または異常終了は、CICS がモジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で実行していたことを示しています。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊により引き起こされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。システムの処置: ダンプ・テーブルの項目で指示しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとしています。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

それから、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、エラーが例えばプロ

グラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはパーコレーションのいずれであるかがわかります。さらに、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されています。

問題が解決できない場合は、IBM の支援が必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHDDDDM、DFHDDDDI、DFHDDLO、DFHDDBR

XMEOUT パラメーター: *applid*、*aaa/bbbb*、*X'offset'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHDD0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: ディレクトリー・ドメインが、CICS の他の部分から予期しないエラー応答を受け取りました。ディレクトリー・ドメインが要求した操作は、コード *X'code'* で説明されています。

CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとしています。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

- CICS のどこか他の部分から以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
- 症状ストリングを調べる。
- ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM の支援が必要になります。

手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHDDDDM、DFHDDDDI、DFHDDLO、DFHDDBR

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'code'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

## DFHDFxxxx メッセージ

**DFHDF0001** Data management facility is started.

説明: データ管理機能 (DMF) は、正常に初期設定を行いました。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0002** Data management facility is in the incorrect state. Enter 'CANCEL' to terminate, or 'GO' to continue.

説明: データ管理機能 (DMF) は、DMF の別のインスタンスがシステム内で活動状態である可能性があることを検出しました。これは許可されていません。

システムの処置: DMF は、オペレーターの応答を待ちます。

'CANCEL' が入力されると、DMF は終了して、戻りコード 12 を出します。'GO' が入力されると、DMF の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: DMF の別のインスタンスがシステム内で活動状態であるかどうかを検査してください。それがあれば、'CANCEL' を入力する必要があります。活動状態である DMF のインスタンスがなければ、'GO' または 'CANCEL' を入力することができます。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0003** Data management facility has been unable to establish the PC environment. Return code is *X'rc'* from macro *macro*.

説明: データ管理機能 (DMF) が PC 環境を作成しようとし



たとき、マクロ *macro* は戻りコード *rc* で失敗しました。  
システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: DMF は、マクロ SUBSID IDENTIFY を出して PC 環境を設定しますが、そのマクロは理由 *rc* のため失敗しました。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP.

宛先: コンソール

---

**DFHDF0004 Data management facility has been unable to create DMF control blocks. Return code is X'rc' from macro macro.**

説明: データ管理機能 (DMF) が、初期設定を正常に行うために必要な制御ブロックを作成しようとしたとき、マクロ *macro* は戻りコード *rc* で失敗しました。*macro* は次のいずれかです。

- DSPSERV、または
- ALESERV

注: *macro* が DSPSERV である場合、*rc* の形式は *xyyyyyyy* です。ここで、*xx* はレジスター 15 の値であり、*yyyyyy* はレジスター 0 に戻される理由コードです。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: マクロ *macro* が失敗した理由を判別し、そのエラーを訂正する処置をとってください。詳しい手順については、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0005 Invalid suffix specified for initialization table - suffix. Please enter a two character suffix, enter 'CANCEL' to terminate DMF, or enter 'ACCEPT' to continue with the default values.**

説明: このスタートアップで入力された接尾部 *suffix* が無効です。その理由は次のいずれかです。

1. 接尾部が長すぎる (3 文字以上)。
2. 不当文字を含んでいる。

システムの処置: DMF は、オペレーターの応答を待ちます。応答が 'CANCEL' である場合には、DMF は戻りコード 12 を出して終了します。応答が 'ACCEPT' である場合には、DMF はデフォルト値を用いて初期設定を続行します。その他の応答の場合には、DMF は、与えられた接尾部を持つスタートアップ・テーブルを使用して初期設定を続行しようとします。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. 接尾部が 2 文字を超えないようにして、接尾部を再入力する。
2. 有効な文字を使用した接尾部を再入力する。有効文字は、 '@'、'A' から 'Z'、および '0' から '9' です。
3. 'ACCEPT' を入力してデフォルトのスタートアップ値を受け入れる。
4. 'CANCEL' を入力して、この DMF の実行を終了する。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0006 Unable to find initialization table with suffix suffix. Please enter a two character suffix, enter 'CANCEL' to terminate DMF, or enter 'ACCEPT' to continue with the default values.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、次のいずれかの理由のため、接尾部 *suffix* を持つ初期設定テーブルをロードすることができませんでした。

1. そのテーブルが存在していない。または
2. そのテーブルは存在しているが、LIBDEF チェーン内のライブラリーに存在していない。

システムの処置: DMF は、オペレーターの応答を待ちます。応答が 'CANCEL' である場合には、DMF は戻りコード 12 を出して終了します。応答が 'ACCEPT' である場合には、DMF はデフォルト値を用いて初期設定を続行します。その他の応答の場合には、DMF は、与えられた接尾部を持つスタートアップ・テーブルを使用して初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. 適切な接尾部を持つテーブルを作成する。
2. 初期設定テーブルを含んでいるライブラリーが LIBDEF チェーンに組み込まれるようにする。
3. 別の接尾部を入力する。接尾部の文字は、 '@'、または 'A' から 'Z' および '0' から '9' の範囲内でなければなりません。
4. 'ACCEPT' を入力してデフォルトのスタートアップ値を受け入れる。
5. 'CANCEL' を入力して、この DMF の実行を終了する。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0007 This startup is using suffix suffix.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、接尾部 *suffix* を持つスタートアップ・テーブルを使用しました。

システムの処置: DMF の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0008 Data management facility has been unable to load program program.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、次の理由のため、プログラム *program* をロードすることができませんでした。

- プログラムが存在しない。
- プログラムは存在しているが、LIBDEF チェーン内のライブラリーに存在していない。
- プログラムをロードするのに十分な GETVIS ストレージが区画内にない。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. プログラムを含んでいるライブラリーが LIBDEF チェーンに組み込まれるようにする。
2. 区画サイズを増やす。

- DFHDFSIP 用の EXEC カードに SIZE パラメーターを指定する。適切な式は SIZE=DFHDFSIP です。
- この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0009 Data management facility has been unable to create the DMF anchor block.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、DMF アンカー・ブロックを保持するための十分な 31 ビット・システム GETVIS ストレージを獲得することができませんでした。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 31 ビット・システム GETVIS 域のサイズを増やしてください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0010 Invalid over-ride parameter has been specified. Please enter a two character suffix, enter 'CANCEL' to terminate DMF, or enter 'ACCEPT' to continue with default values.**

説明: SYSIPT データ・ストリームのこのスタートアップで入力されたオーバーライド・パラメーターが無効です。オーバーライドの有効な形式は、'SUFFIX=xx' です。

システムの処置: DMF は、オペレーターの応答を待ちます。応答が 'CANCEL' である場合には、DMF は戻りコード 12 を出して終了します。応答が 'ACCEPT' である場合には、DMF はデフォルト値を用いて初期設定を続行します。その他の応答の場合には、DMF は、与えられた接尾部のスタートアップ・テーブルを使用して初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

- 有効な文字を使用した新しい接尾部を入力する。接尾部の文字は、'@'、'A' から 'Z' の範囲、または '0' から '9' の範囲内のものでなければなりません。
- 'ACCEPT' を入力してデフォルト値を受け入れる。
- 'CANCEL' を入力して、この DMF の実行を終了する。
- SYSIPT データ・ストリームを訂正する。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0011 Data management facility was unable to initialize its lock manager. Reason is {INVALID\_FORMAT | INVALID\_FUNCTION | INVALID\_ANCHOR | DFGF\_GET\_FAILURE | GETVIS\_EXHAUSTED | PFI\_X\_FAILED}.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、ロック・マネージャー DFHDFLM を初期設定しようとした。ただし、以下のいずれかが発生しました。

INVALID\_FORMAT

これは、ロック・マネージャーに渡されたパラメータ

ー・リストが、ロック・マネージャー用の有効なパラメーター・リストではなかったことを示します。

INVALID\_FUNCTION

これは、ロック・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効な要求が含まれていたことを示します。

INVALID\_ANCHOR

これは、DMF アンカー・ブロックを検査できなかったことを示します。

DFGF\_GET\_FAILURE

これは、ストレージ獲得要求が失敗したことを示します。

GETVIS\_EXHAUSTED

これは、区画の GETVIS ストレージをこれ以上入手できないため、ストレージを求める要求が失敗したことを示します。

PFI\_X\_FAILED

これは、要求された区画の GETVIS ストレージが z/VSE によって PFI\_X できなかったことを示します。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

- 区画サイズを増やす。
- DFHDFSIP 用の EXEC カードに SIZE パラメーターを指定する。適切な式は SIZE=DFHDFSIP です。
- この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0012 Data management facility was unable to initialize its trace facility. Reason is {INVALID\_FORMAT | INVALID\_FUNCTION | INVALID\_ANCHOR | INVALID\_DFLM\_ANCHOR | DFGF\_GET\_FAILURE | DFLM\_GET\_FAILURE | DFLM\_DEFINE\_FAILURE | GETVIS\_EXHAUSTED | PFI\_X\_FAILED | DUPLICATE\_RESOURCE | TRACE\_INITIALIZED}.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、トレース機能 DFHDFTR を初期設定しようとした。ただし、以下のいずれかが発生しました。

INVALID\_FORMAT

これは、トレース・マネージャーに渡されたパラメーター・リストが、トレース・マネージャー用の有効なパラメーター・リストではなかったことを示します。

INVALID\_FUNCTION

これは、トレース・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効な要求が含まれていたことを示します。

**INVALID\_ANCHOR**

これは、DMF アンカー・ブロックを検査できなかったことを示します。

**INVALID\_DFLM\_ANCHOR**

これは、ロック・マネージャー・アンカー・ブロックを検査できなかったため、ロック・マネージャーの内部呼び出しを取り扱えなかったことを示します。

**DFGF\_GET\_FAILURE**

これは、ストレージ獲得要求が失敗したことを示します。

**DFLM\_GET\_FAILURE**

これは、ロック・マネージャーがロック用ストレージを獲得できなかったため、ロック・マネージャーの内部呼び出しを取り扱えなかったことを示します。

**DFLM\_DEFINE\_FAILURE**

これは、ロック・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**GETVIS\_EXHAUSTED**

これは、区画の GETVIS ストレージをこれ以上入手できないため、ストレージを求める要求が失敗したことを示します。

**PFIX\_FAILED**

これは、要求された区画の GETVIS ストレージが z/VSE によって PFIX できなかったことを示します。

**DUPLICATE\_RESOURCE**

これは、すでに定義されているリソースの定義が試みられたため、ロック・マネージャーの内部呼び出しを取り扱えなかったことを示します。

**TRACE\_INITIALIZED**

これは、トレース機能がすでに初期設定されていることを示します。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. 区画サイズを増やす。
2. DFHDFSIP 用の EXEC カードに SIZE パラメーターを指定する。適切な式は SIZE=DFHDFSIP です。
3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0013 Data management facility was unable to initialize its report facility. Reason is**  
{INVALID\_FORMAT | INVALID\_FUNCTION | INVALID\_ANCHOR | DFGF\_GET\_FAILURE | DFLM\_DEFINE\_FAILURE | GETVIS\_EXHAUSTED | PFIX\_FAILED}.

説明: データ管理機能 (DMF) は、レポート機能 DFHDFTR を初期設定しようとしていました。ただし、以下のいずれかが発生しました。

**INVALID\_FORMAT**

これは、レポート・マネージャーに渡されたパラメー

ター・リストが、レポート・マネージャー用の有効なパラメーター・リストではなかったことを示します。

**INVALID\_FUNCTION**

これは、レポート・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効な要求が含まれていたことを示します。

**INVALID\_ANCHOR**

これは、DMF アンカー・ブロックを検査できなかったことを示します。

**DFGF\_GET\_FAILURE**

これは、ストレージ・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**DFLM\_DEFINE\_FAILURE**

これは、ロック・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**GETVIS\_EXHAUSTED**

これは、区画の GETVIS ストレージをこれ以上入手できないため、ストレージを求める要求が失敗したことを示します。

**PFIX\_FAILED**

これは、要求された区画の GETVIS ストレージが z/VSE によって PFIX できなかったことを示します。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. 区画サイズを増やす。
2. DFHDFSIP 用の EXEC カードに SIZE パラメーターを指定する。適切な式は SIZE=DFHDFSIP です。
3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0014 Data management facility was unable to open the console report. Reason is**  
{INVALID\_FORMAT | INVALID\_FUNCTION | INVALID\_TOKEN | REPORT\_TITLE\_INVALID | REPORT\_HEADING\_INVALID | DFLM\_RESERVE\_FAILURE | DFLM\_RELEASE\_FAILURE | REPORT\_OPEN | IODEV\_OPEN}.

説明: データ管理機能 (DMF) は、コンソール・レポートをオープンしようとしていました。ただし、以下のいずれかが発生しました。

**INVALID\_FORMAT**

これは、レポート・マネージャーに渡されたパラメーター・リストが、レポート・マネージャー用の有効なパラメーター・リストではなかったことを示します。

**INVALID\_FUNCTION**

これは、レポート・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効な要求が含まれていたことを示します。

**INVALID\_TOKEN**

これは、レポート・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効なトークンが含まれていたことを示します。

**REPORT\_TITLE\_INVALID**

これは、レポート・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効なコンソール・レポート用の表題が含まれていたことを示します。

**REPORT\_HEADING\_INVALID**

これは、レポート・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効なコンソール・レポート用の見出しが含まれていたことを示します。

**DFLM\_RESERVE\_FAILURE**

これは、ロック・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**DFLM\_RELEASE\_FAILURE**

これは、ロック・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**REPORT\_OPEN**

これは、コンソール・レポートがすでにオープンされていたため、要求が失敗したことを示します。

**IODEV\_OPEN**

これは、コンソール装置がすでにオープンされていたため、要求が失敗したことを示します。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0015 Data management facility issued CALL function which failed. Response is X'rc'.**

説明: データ管理機能 (DMF) が CALL function を出したとき、それは戻りコード *rc* で失敗しました。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: CALL function が失敗した理由を判別し、そのエラーを訂正する処置をとってください。詳しい手順については、「*z/VSE System Macros Reference*」を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0016 Data management facility has loaded program phase, which has entry point X'entry\_address'.**

説明: データ管理機能 (DMF) は *phase* という名前のプログラムをロードしました。このプログラムには、*entry\_address* で示されている入り口点があります。このアドレスの高位ビットがオンの場合、プログラムは、アドレッシング・モード (AMODE) が 31 に設定されてリンク・エディットされています。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。これは単なる通知メッセージです。

モジュール: DFHDFSIP、DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF0017 Data management facility has been unable to create the cell pool storage.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、呼び出し可能セル・プール・ストレージを保持するための十分な 31 ビット・ストレージを区画の GETVIS 域から獲得することができませんでした。DMF は、24 ビット・ストレージからの GETVIS ストレージの割り振りを受け入れます。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: DMF が獲得できる区画の GETVIS のサイズを増やす必要があります。これは、次のいずれかの方法で行うことができます。

1. 区画でどれだけのプログラム・ストレージが割り振られるかを制御する SIZE パラメーターを小さくします。または
2. DMF が開始されている区画のサイズを増やします。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0018 Data management facility has been unable to acquire storage for DFHDFCR to use.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、DFHDFCR が読み取る SYSIPT パラメーターを保持するための十分な 24 ビット GETVIS ストレージを獲得することができません。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 区画サイズを増やすか、あるいは EXEC DFHDFSIP ステートメントの SIZE パラメーターを小さくすることにより、24 ビット GETVIS 域のサイズを増やしてください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0019 Data management facility has been unable to acquire storage for the statistics block.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、DMF 統計ブロックを保持するための十分な 31 ビット GETVIS ストレージを獲得することができませんでした。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 31 ビット GETVIS 域のサイズを増やしてください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0020 Data management facility has been unable to load phase DFHDFFM.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、ファイル・マネージャーのサブタスク・プログラム DFHDFFM をロードすることができませんでした。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0021 Data management facility has been unable to acquire storage for the File Manager sub task save area.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、ファイル・マネージャーのサブタスク保管域として使用するための十分な 24 ビット GETVIS ストレージを獲得することができませんでした。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 区画サイズを増やすか、あるいは EXEC DFHDFSIP ステートメントに小さくした SIZE パラメーターを指定するかいずれかにより、24 ビット GETVIS 域のサイズを増やしてください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0022 Data management facility has been unable to acquire storage for the File Manager Request Block. Shutdown will be forced to Immediate.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、ファイル・マネージャーの要求ブロックとして使用するための十分な 31 ビットまたは 24 ビット GETVIS ストレージを獲得することができませんでした。そのため、DMF は通常シャットダウンを完了することができません。

システムの処置: DMF は即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: 31 ビット GETVIS 域のサイズを増やしてください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0023 Data management facility has been unable to acquire storage for the abend handlers save areas.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、異常終了ハンドラーに必要な保管域を保持するための十分な 31 ビット GETVIS ストレージを獲得することができませんでした。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 31 ビット GETVIS 域のサイズを増やしてください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0024 Data management facility has calculated there is insufficient data space available.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、自分用のデータ・スペースを作成するための十分なデータ・スペースがないと見積もりました。DMF では、少なくとも 4 MB のデータ・スペースが

使用可能でなければなりません。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: SYSDEF DSPACE コマンドを使用して、使用可能なデータ・スペースを増やしてください。詳細については、「z/VSE System Control Statements」を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0025 Data management facility has created dataspace named *dspacename*, which is *dspacesize*M bytes in size.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、*dspacename* という名前のデータ・スペースを作成しました。そのデータ・スペースのサイズは *dspacesize* M バイトです。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。これは単なる通知メッセージです。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0026 Data management facility cannot continue - OS390 not specified on EXEC statement**

説明: データ管理機能 (DMF) では、正しく作動するために OS390 エミュレーションが必要です。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: EXEC DFHDFSIP ステートメントで OS390 を指定してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

---

**DFHDF0027 Data Management Facility has called the trace facility with the function call {START\_TRACE | PAUSE\_TRACE | RESUME\_TRACE} but this failed for reason {INVALID\_FORMAT | INVALID\_FUNCTION | INVALID\_ANCHOR | INVALID\_DFLM\_TOKEN | DFGF\_GET\_FAILURE | DFLM\_RESERVE\_FAILURE | DFLM\_RELEASE\_FAILURE | GETVIS\_EXHAUSTED | PFI\_FAILED | RESOURCE\_BUSY | TRACE\_ACTIVE | TRACE\_INACTIVE | TRACE\_PAUSED}.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、トレース機能呼び出しで、トレース状況をスタートアップ・テーブルで定義されている状況に設定しました。呼び出しは次のいずれかでした。

START\_TRACE

トレース機能を開始する。

PAUSE\_TRACE

トレース機能を一時的に中断する。

RESUME\_TRACE

トレース機能を再開する。

ただし、以下のいずれかが発生しました。

**INVALID\_FORMAT**

これは、トレース機能に渡されたパラメーター・リストが、有効なパラメーター・リストではなかったことを示します。

**INVALID\_FUNCTION**

これは、トレース機能に渡されたパラメーター・リストに、無効な要求が含まれていたことを示します。

**INVALID\_ANCHOR**

これは、DMF アンカー・ブロックを妥当性検査できなかったことを示します。

**INVALID\_DFLM\_TOKEN**

これは、ロック・マネージャーが、トレース機能ロックを表すロック・トークンを妥当性検査できなかったことを示します。

**DFGF\_GET\_FAILURE**

これは、ストレージ獲得要求が失敗したことを示します。

**DFLM\_RESERVE\_FAILURE**

これは、ロック・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**DFLM\_RELEASE\_FAILURE**

これは、ロック・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**GETVIS\_EXHAUSTED**

これは、区画の GETVIS ストレージをこれ以上入手できないため、ストレージを求める要求が失敗したことを示します。

**PFI\_X\_FAILED**

これは、区画の GETVIS ストレージ要求が z/VSE によって PFI\_X できなかったことを示します。

**RESOURCE\_BUSY**

これは、リソースがすでにロックされていることを示す応答とともに、トレース機能をロックするための内部要求が戻ったことを示します。

**TRACE\_ACTIVE**

これは、トレースがすでに活動状態であるとトレース機能が判別したことを示します。

**TRACE\_INACTIVE**

これは、トレースがすでに非活動状態であるとトレース機能が判別したことを示します。

**TRACE\_PAUSED**

これは、トレースがすでに休止状態であるとトレース機能が判別したことを示します。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0028 Data management facility trace status is set to status.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、トレースが *status* に設定されなければならないことがスタートアップ・テーブルで定義されており、これがすでに実施されていることを判別しました。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0029 Data management facility is about to take a SDUMPX. (Module modname).**

説明: データ管理機能 (DMF) は、即時シャットダウン要求に対する応答として SDUMPX 要求を出そうとしています。*modname* は、メッセージを出したモジュールを示します。システムの処置: DMF はシステム・ダンプをとります。ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。詳細については、関連ダンプおよびエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHDFABX, DFHDFPCX, DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0030 Data management facility SDUMPX complete. (Module modname).**

説明: データ管理機能 (DMF) は、SDUMPX 要求から適切な応答を受け取りました。*modname* は、メッセージを出したモジュールを識別しています。

システムの処置: DMF グローバル・トラップ・プログラム DFHDFTRP からダンプが要求されない限り、DMF は終了します。

ユーザーの処置: 必要ならシステム・ダンプを印刷してください。直前の VSE メッセージは、SYSDUMP ライブラリーを識別し、SYSDUMP ライブラリーのどのメンバーがダンプを含んでいるかを示しています。

モジュール:

DFHDFABX, DFHDFPCX, DFHDFSIP, DFHDFTR

宛先: コンソール

**DFHDF0031 DMF SDUMPX request failed. (Module modname) - reason.**

説明: メッセージ DFHDF0029 によって伝えられた CICS からの VSE SDUMPX 要求は、正常に完了しませんでした。考えられる失敗の理由 *reason* は、以下のとおりです。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' ONLY PARTIAL DUMP**

ダンプされるストレージ域の数が、1 つの SDUMPX 要求に許可されている最大数を超過しています。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' NO SYSDUMP LIBRARY**

DMF ジョブに SYSDUMP ライブラリーが定義されていません。DMF ジョブに関して VSE SYSDUMPC ジョブ制御オプションが有効である場合、ダンプは抑止されますが、そうでない場合には、ダンプは SYSLST にリダイレクトされます。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' SYSDUMP LIBRARY IS FULL**

DMF ジョブに定義されている SYSDUMP ライブラリーがいっぱいです。DMF ジョブに関して SYSDUMPC ジョブ制御オプションが有効である場合、ダンプは抑止されますが、そうでない場合には、ダンプは SYSLST にリダイレクトされます。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'**

VSE は、上記以外の何らかの理由のため、SDUMPX 要求を受け入れませんでした。X'nn' は 16 進 SDUMPX 戻りコードを示し、X'mm' は 16 進 SDUMPX 理由コードを示します。

システムの処置: DMF は、ダンプが成功したかのように続行されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、失敗の理由によって異なります。それらは、次のとおりです。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' ONLY PARTIAL DUMP**

VSE 問題判別方式を用いて、部分ダンプがとられた理由を判別してください。この戻りコードの説明については、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' NO SYSDUMP LIBRARY AVAILABLE**

DMF ジョブに SYSDUMP ライブラリーを定義し、それから SDUMPX 要求が再び出されるようにしてください。SYSDUMP ライブラリーの定義方法については、「z/VSE Diagnosis Tools」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' SYSDUMP LIBRARY IS FULL**

ダンプ・ライブラリーから一部のダンプを消去し、SDUMPX 要求が再び出されるようにしてください。SYSDUMP ライブラリーを削除、またはダンプをオフロードする方法については、「z/VSE Diagnosis Tools」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'**

ダンプが意図的に抑止されている場合には、処置は必要ありません。VSE SDUMPX ルーチンのエラーが原因でダンプが失敗した場合には、VSE 問題判別方式を使用してエラーを修正してから、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

モジュール:

DFHDFABX、DFHDFPCX、DFHDFSIP、DFHDFTR

宛先: コンソール

**DFHDF0032 Data management facility will not issue any SDUMPX macros in this run.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、この実行中には SDUMPX マクロを出しません。それは、STDOPT SYSDUMP=NO または // OPTION NOSYSDUMP のいずれも有効ではないためです。

障害を起こした場合には、SETDMF SHUTDOWN,IMMEDIATE 要求に対する応答として、あるいはグローバル・トラップ・プログラムからの要求に対する応答として、DMF は SDUMPX マクロを出します。それらの SDUMPX ダンプは、問題判別の助けとして使用することができます。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: SDUMPX ダンプをとる機能を持たせないで DMF を実行させてもよいなら、このメッセージは無視することができます。しかし、DMF が SDUMPX ダンプをとるようにさせたい場合には、DMF をシャットダウンし、それから DMF を開始させる JCL に // OPTION SYSDUMP を追加するか、もしくは STDOPT SYSDUMP=YES を使用して標準オプション

を変更した後、DMF を再始動してください。

OPTION および STDOPT ステートメントについての詳細は、「z/VSE System Control Statements」を参照してください。

SDUMPX マクロについての詳細は、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。

モジュール: DFHDFSIP

宛先: コンソール

**DFHDF0033 Data management facility has suppressed an SDUMPX macro. Module (modname).**

説明: データ管理機能 (DMF) は SDUMPX マクロを出そうとしましたが、システム・ダンプを抑止しました。これは、システム・ダンプが (グローバル・トラップ・プログラムの要求で) とられたばかりであるか、あるいは SYSDUMP オプションが有効ではないことを DMF が以前に検出していたためです。modname は、メッセージを出したモジュールを識別しています。

システムの処置: DMF はシステム・ダンプを抑止します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

DFHDFABX、DFHDFPCX、DFHDFSIP、DFHDFTR

宛先: コンソール

**DFHDF0034 Data Management Facility has been passed an invalid parm statement**

説明: データ管理機能 (DMF) が、EXEC DFHDFSIP ステートメントに PARM パラメーターを指定して開始されました。しかし、渡されたデータの形式が誤りでした。

システムの処置: DMF は、戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: DMF スタートアップ JCL の中のパラメーター値を訂正して、ジョブを再サブミットする必要があります。DMF のパラメーター値のコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHDFSIP

**DFHDF1001 Data management facility is ready for communication. At the prompt you may enter a DMF command, or request assistance by entering a '?'**

説明: オペレーターは、MSG pn コマンド (ここで、pn は DMF が実行されている区画を表す) を実行して、データ管理機能との通信を要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答がヌルの場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信は終了する。
  - 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
  - それ以外の場合には、要求された処置が実行される。
- ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. 次のリストから選んだコマンドを入力する。

- Display [O]
- Setdmf Active
- Setdmf Flush
- Setdmf Interval(mmss)
- Setdmf NOActive
- Setdmf NOTrace
- Setdmf SHutdown[,I]
- Setdmf Switch
- Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1002** Data management facility supports two operator commands: 'SETDMF' changes the state of the DMF system, 'DISPLAY' reflects the current state of the DMF system. To end communication with DMF at any time, enter EOB (End of Block). At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF).

説明: オペレーターは、オンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドを入力して、そのコマンドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[,I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1003** SETDMF changes the state of the DMF system as follows: 'ACTIVE' resumes recording, 'FLUSH' writes data to the current data set, 'INTERVAL' changes the DMF wakeup value, 'NOACTIVE' suspends recording, 'NOTRACE' suspends trace, 'SHUTDOWN' terminates DMF, 'TRACE' resumes trace and 'SWITCH' causes DMF to switch to another data set. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のコマンド SETDMF のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]



- Setdmf Active
- Setdmf Flush
- Setdmf Interval(mmss)
- Setdmf NOActive
- Setdmf NOTrace
- Setdmf SHutdown[I]
- Setdmf Switch
- Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1004** DISPLAY reflects the current state of the DMF system. Entered on its own it displays the current data set and its status. Entered with the operand 'O' it displays the current settings of DMF. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のコマンド DISPLAY のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。

3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。

4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。

- Display [O]
- Setdmf Active
- Setdmf Flush
- Setdmf Interval(mmss)
- Setdmf NOActive
- Setdmf NOTrace
- Setdmf SHutdown[I]
- Setdmf Switch
- Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1005** ACTIVE causes DMF to resume recording data in its data space. ACTIVE is only actioned if DMF is not currently in an active state. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド ACTIVE のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
  - 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
  - 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
  - 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
  - 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
  - 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
  - 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
  - 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
  - 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
  - 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
  - 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
  - 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
  - それ以外の場合には、要求された処置が実行される。
- ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

## DFHDF1006 • DFHDF1007

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?'を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?'とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1006** FLUSH causes DMF to write all records currently stored in its data space to the currently open data set. FLUSH will only be actioned when there is a data set available. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド FLUSH のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。

- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
  - それ以外の場合には、要求された処置が実行される。
- ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?'を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?'とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1007** INTERVAL(mmss) causes DMF to set the wakeup interval to the value in mmss. The wakeup interval is the minimum time that DMF will wait between writing data from the data space to the currently open data set. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド INTERVAL のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。

- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[,I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1008** NOACTIVE causes DMF to stop recording data in its data space. NOACTIVE is only actioned when DMF is currently in an ACTIVE state. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド NOACTIVE のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。

- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。

- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。

- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。

- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。

- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。

- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[,I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1009** NOTRACE causes DMF to stop gathering trace information. NOTRACE is only actioned when DMF trace is in an ACTIVE state. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド NOTRACE のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。

## DFHDF1010 • DFHDF1011

- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHUTDOWN[I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1010** SHUTDOWN causes DMF to terminate. Entered on its own, it causes DMF to stop recording data in its data space and write all data to the currently open data set before terminating. Entered with the optional 'I' parameter, it causes DMF to terminate immediately. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド SHUTDOWN のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。

- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHUTDOWN[I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1011** TRACE causes DMF to resume gathering trace information. TRACE is only actioned if the trace was in an INACTIVE state. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド TRACE のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。

- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[,I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1012** The command you have entered - *command* - could not be understood. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、コマンド *command* を入力しましたが、これは有効な DMF コマンドではありません。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。

- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[,I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF1013** The operand you have entered - *operand* - could not be understood. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、オペランド *operand* を入力しましたが、これは有効な DMF オペランドではありません。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

## DFHDF1014 • DFHDF1017

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

### DFHDF1014 The DMF Console file is not open, and so DMF is not able to handle communications.

説明: データ管理機能 (DMF) は、オペレーターとの通信に必要なコンソール・ファイルがクローズされており、そのためにオペレーターとの通信を続行できないことを判別しました。

システムの処置: DMF は、この通信要求を終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

### DFHDF1015 Data Management Facility Version X'version', the wake up interval is set to mm minutes, ss seconds, the trace status is status, the data space is named dspname, and the current recording state is state.

説明: データ管理機能 (DMF) は、現行設定値に関する情報を表示するようオペレーターから要求されました。

システムの処置: DMF は、現在の状況を表示し、続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

### DFHDF1016 Data Management Facility will terminate. Shutdown option is option.

説明: データ管理機能 (DMF) は、終了するようオペレーターから要求されました。さらに、オプション *option* が指定されたか、あるいはデフォルト値をとるようにされました。

システムの処置: DMF は、通常に終了するかまたは即時に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

### DFHDF1017 Data Management Facility has called the trace facility with the function call {START\_TRACE | PAUSE\_TRACE | RESUME\_TRACE | QUERY\_TRACE} but this failed for reason {INVALID\_FORMAT | INVALID\_FUNCTION | INVALID\_ANCHOR | INVALID\_DFLM\_TOKEN | DFGF\_GET\_FAILURE | DFLM\_RESERVE\_FAILURE | DFLM\_RELEASE\_FAILURE | GETVIS\_EXHAUSTED | PFI\_FAILED | RESOURCE\_BUSY | TRACE\_ACTIVE | TRACE\_INACTIVE | TRACE\_PAUSED}.

説明: データ管理機能 (DMF) は、そのトレース機能状況を変更するようオペレーターから要求されました。呼び出しは次のいずれかでした。

START\_TRACE  
トレース機能を開始する。

PAUSE\_TRACE  
トレース機能を一時的に中断する。

RESUME\_TRACE  
トレース機能を再開する。

QUERY\_TRACE  
トレース機能の状況を照会する。

ただし、以下のいずれかが発生しました。

**INVALID\_FORMAT**

これは、トレース機能に渡されたパラメーター・リストが、有効なパラメーター・リストではなかったことを示します。

**INVALID\_FUNCTION**

これは、トレース機能に渡されたパラメーター・リストに、無効な要求が含まれていたことを示します。

**INVALID\_ANCHOR**

これは、DMF アンカー・ブロックを妥当性検査できなかったことを示します。

**INVALID\_DFLM\_TOKEN**

これは、トレース機能を表すトークンが無効であったことを示します。

**DFGF\_GET\_FAILURE**

これは、ストレージ獲得要求が失敗したことを示します。

**DFLM\_RESERVE\_FAILURE**

これは、ロックを予約するためのロック・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**DFLM\_RELEASE\_FAILURE**

これは、ロックを解放するためのロック・マネージャーの内部呼び出しが、予期しない応答を戻したことを示します。

**GETVIS\_EXHAUSTED**

これは、区画の GETVIS ストレージをこれ以上入手できないため、ストレージを求める要求が失敗したことを示します。

**PFIX\_FAILED**

これは、要求された区画の GETVIS ストレージが z/VSE によって PFIX できなかったことを示します。

**RESOURCE\_BUSY**

これは、リソースがすでにロックされていることを示す応答とともに、トレース機能をロックするための内部要求が戻ったことを示します。

**TRACE\_ACTIVE**

これは、トレースがすでに活動状態であるとトレース機能が判別したことを示します。

**TRACE\_INACTIVE**

これは、トレースがすでに非活動状態であるとトレース機能が判別したことを示します。

**TRACE\_PAUSED**

これは、トレースがすでに休止状態であるとトレース機能が判別したことを示します。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1018 Data Management Facility trace status is now status.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、トレース状況を変更するようオペレーターから要求されました。トレースは、これで *status* に設定されました。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1019 Data Management Facility Trace is already Active.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、トレース機能を Active にするようオペレーターから要求されました。しかし、トレース機能はすでに活動状態です。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1020 Data Management Facility Trace is not Active.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、トレース機能を Notrace にするようオペレーターから要求されました。しかし、トレース機能はすでに活動状態ではありません。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1021 Data Management Facility Interval has been set to *mm* minutes, *ss* seconds.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、ウェイクアップ・インターバルを *mm* 分と *ss* 秒に設定しました。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1022 Data Management Facility currently has no open data sets.**

説明: このメッセージは、データ管理機能 (DMF) に出された DISPLAY コマンドに対する応答として出されます。しかし、現在、オープン・データ・セットはありません。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1023 Data Management Facility is currently using data set *dataset*.**

説明: このメッセージは、データ管理機能 (DMF) に出された DISPLAY コマンドに対する応答として出されます。DMF が使用している現在のオープン・データ・セットは *dataset* です。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1024 Data Management Facility was unable to change its recording status. Reason is {INVALID\_FORMAT | INVALID\_FUNCTION | INVALID\_STATUS}.**

説明: このメッセージは、SETDMF ACTIVE または SETDMF NOACTIVE コマンドに対する応答として出されます。データ管理機能 (DMF) は、記録状態を変更しようとした。ただし、以下のいずれかが発生しました。

**INVALID\_FORMAT**

これは、キュー・マネージャーに渡されたパラメーター・リストが、キュー・マネージャー用の有効なパラメーター・リストではなかったことを示します。

**INVALID\_FUNCTION**

これは、キュー・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効な要求が含まれていたことを示します。

**INVALID\_STATUS**

これは、記録状態を NOACTIVE に変更しようとするか (記録状態が直前に ACTIVE ではないとき)、または記録状態を ACTIVE に変更しようとした (記録状態が直前に NOACTIVE ではないとき) ことを示します。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. DISPLAY 0 を出して現在の記録状態を判別する。
2. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1025 Data Management Facility recording state has been set to *state*.**

説明: このメッセージは、データ管理機能 (DMF) に出された SETDMF ACTIVE または SETDMF NOACTIVE コマンドに対する応答として出されます。DMF の記録状態は *state* に設定されました。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1026 Data Management Facility has passed the request request to the File Manager.**

説明: このメッセージは、データ管理機能 (DMF) に出された SETDMF コマンドに対する応答として出されます。request は、Switch または Flush のいずれかである可能性があります。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1027 Data Management Facility has called the storage manager to acquire storage, but this has failed for reason {INVALID\_FORMAT | INVALID\_FUNCTION | SEVERE\_STORAGE\_ERROR | GETVIS\_EXHAUSTED | PFI\_X\_FAILED}.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、ファイル・マネージャーに渡す要求ブロック用のストレージを獲得するよう要求されました。ただし、以下のいずれかが発生しました。

**INVALID\_FORMAT**

これは、ストレージ・マネージャーに渡されたパラメーター・リストが有効なパラメーター・リストではなかったことを示します。

**INVALID\_FUNCTION**

これは、ストレージ・マネージャーに渡されたパラメーター・リストに、無効な要求が含まれていたことを示します。

**SEVERE\_STORAGE\_ERROR**

これは、DMF がリカバリーできないようなエラーが、ストレージ管理で起きたことを示します。

**GETVIS\_EXHAUSTED**

これは、区画の GETVIS ストレージをこれ以上入手できないため、ストレージを求める要求が失敗したことを示します。

**PFI\_X\_FAILED**

これは、要求された区画の GETVIS ストレージが z/VSE によって PFI\_X でできなかったことを示します。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: 以下が可能です。

1. 区画サイズを増やす。
2. DFHDFSIP 用の EXEC カードに SIZE パラメーターを指定する。適切な式は SIZE=DFHDFSIP です。
3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール



**DFHDF1028 SWITCH** causes DMF to close the currently open data set (if there is an open data set) and open the next suitable data set. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド SWITCH のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。

それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush
  - Setdmf Interval(mmss)
  - Setdmf NOActive
  - Setdmf NOTrace
  - Setdmf SHutdown[I]
  - Setdmf Switch
  - Setdmf Trace

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1029 DEBUG,ON** causes DMF to load DFHDFTRP which will now be called at every trace call. DEBUG,OFF causes DMF to stop calling DFHDFTRP and to delete the phase. At the prompt you may enter a DMF command, or request further assistance by entering a '?' followed by one of the commands (for example ?SETDMF'), or an operand (for example ?ACTIVE').

説明: オペレーターは、DMF のオペランド DEBUG のオンライン・ヘルプを表示するよう要求しました。

システムの処置: DMF は、オペレーターが DFHDF0000 に対して応答するのを待ち、それから次のいずれかの処置を実行します。

- 応答が EOB の場合 (Enter キーが押された場合)、DMF との通信を終了する。
- 応答が '?' の場合、メッセージ DFHDF1002 が表示される。
- 応答が '?SETDMF' の場合、メッセージ DFHDF1003 が表示される。
- 応答が '?DISPLAY' の場合、メッセージ DFHDF1004 が表示される。
- 応答が '?ACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1005 が表示される。
- 応答が '?FLUSH' の場合、メッセージ DFHDF1006 が表示される。
- 応答が '?INTERVAL' の場合、メッセージ DFHDF1007 が表示される。
- 応答が '?NOACTIVE' の場合、メッセージ DFHDF1008 が表示される。
- 応答が '?NOTRACE' の場合、メッセージ DFHDF1009 が表示される。
- 応答が '?SHUTDOWN' の場合、メッセージ DFHDF1010 が表示される。
- 応答が '?TRACE' の場合、メッセージ DFHDF1011 が表示される。
- 応答が '?SWITCH' の場合、メッセージ DFHDF1028 が表示される。
- 応答が '?DEBUG' の場合、メッセージ DFHDF1029 が表示される。

それ以外の場合には、要求された処置が実行される。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. Enter キーを押すことでヌル応答を入力して、DMF との通信を終了する。
2. '?' を入力して、オンライン・ヘルプ情報を表示する。
3. '?' とその後にコマンドまたはオペランドを入力して、そのコマンドまたはオペランドに関連したヘルプ情報を表示する。
4. 次のリストから選んだコマンドを入力する。
  - Display [O]
  - Setdmf Active
  - Setdmf Flush

- Setdmf Interval(mmss)
- Setdmf NOActive
- Setdmf NOTrace
- Setdmf SHutdown[,I]
- Setdmf Switch
- Setdmf Trace
- Setdmf Debug,ON|OFF

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1030 Data management facility was unable to perform the requested action. The reason is that the DEBUG facility is status.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、要求された DEBUG 機能を実行できませんでした。DEBUG 機能には、次のいずれかの *status* があることが検出されました。

- ALREADY ACTIVE、または
- NOT ACTIVE

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. DFHDFTRP の新しいバージョンを使用可能にしたいときには、SETDMF DEBUG,ON を入力した場合、SETDMF DEBUG,OFF を入力し、それに続けて SETDMF DEBUG,ON を入力する。
2. SETDMF DEBUG,OFF を入力した場合、さらに処置を行う必要はない。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1031 Data management facility has been unable to load phase DFHDFTRP.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、デバッグ機能プログラム DFHDFTRP をロードすることができませんでした。

システムの処置: DMF は続行されますが、DEBUG 機能を使用可能にはしません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1032 Data management facility has determined that phase DFHDFTRP has not been link edited with AMODE(31).**

説明: データ管理機能 (DMF) は、デバッグ機能プログラム DFHDFTRP をロードしましたが、そのプログラムは AMODE(31) が指定されてリンク・エディットされなかったことを判別しました。

システムの処置: DMF は続行されますが、DEBUG 機能を使用可能にはしません。

ユーザーの処置: AMODE(31) を指定して DFHDFTRP を再度リンク・エディットし、それから DEBUG,ON コマンドを DMF にもう一度出してください。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1033 DFHDFTRP Version *version*, assembled by *id*. Assembled at HH/MM=*hh/mm* on MM/DD=*mm/dd*. Latest PTF/APAR applied is *ptfno*.**

説明: データ管理機能 (DMF) はデバッグ機能プログラム DFHDFTRP をロードしました。これは、通知メッセージであり、プログラムのアセンブリー情報を表示しています。

- *id* は、USER または IBM のいずれかであり、だれがプログラムをアセンブルしたかを示します。
- *hh/mm* は、プログラムがアセンブルされた時刻 (24 時間表示の時間と分) です。
- *mm/dd* は、プログラムがアセンブルされた日付 (月と日) です。
- *ptfno* は、プログラムに適用された最新の APAR または PTF です (プログラムが IBM によってアセンブルされた場合)。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1034 Data management facility has been unable to acquire storage for the Global Work Area for DFHDFTRP.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、DMF デバッグ機能プログラム DFHDFTRP 用のグローバル作業域を保持するのに十分な 31 ビット GETVIS ストレージを入手することができませんでした。

システムの処置: DMF は続行されますが、デバッグ機能は使用可能にはされません。

ユーザーの処置: 31 ビット GETVIS 域のサイズを増やしてください。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1035 Data management Debug facility is now ON.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、デバッグ機能を正常に使用可能にしました。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

**DFHDF1036 Data management Debug facility is now OFF.**

説明: データ管理機能 (DMF) はデバッグ機能を終了しました。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFOCX

宛先: コンソール

---

**DFHDF2001 Data Management Facility has detected that no datasets are currently open. Data may be being lost. You should format a DMF dataset and issue SETDMF SWITCH as soon as possible.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、オープンされているデータ・セットが現在ないことを検出しました。このメッセージは DMF によって周期的に出されます。

システムの処置: DMF は続行されます。

ユーザーの処置: DFHDFOU を実行して、DMF が使用できるようデータ・セットを準備し、それから DMF がそのデータ・セットを用いてレコードの書き込みを開始するよう SETDMF SWITCH を入力してください。これを行わないと、レコードを収集するために DMF が使用するデータ・スペースは一杯になり、後でデータが失われる可能性があります。

モジュール: DFHDFIT

宛先: コンソール

---

**DFHDF2002 Data Management Facility has detected that an abend has occurred while in Cross Memory Mode.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、レコードが仮想記憶間モードで書き込まれているときに、異常終了が起きたことを検出しました。

システムの処置: DMF は、これ以上レコードが受け入れられないように状態を設定し、システム・ダンプをとり、さらにデータ・スペースにあるすべてのレコードを現在オープンされているデータ・セットに書き込むを試み、その後終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFIT

宛先: コンソール

---

**DFHDF2051 DMF Global trap exit has been disabled by DFHDFTRP.**

説明: データ管理機能 (DMF) のグローバル・トラップ出口プログラム (DFHDFTRP) が、その出口の使用禁止を要求しました。

システムの処置: DMF は、トラップ出口に再び入ることがないように、その使用を禁止します。

ユーザーの処置: DFHDFTRP がその使用禁止を要求した理由を判別して、その理由に応じた処置をとってください。グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHDFTR

宛先: コンソール

---

**DFHDF2052 DMF system dump requested by global trap exit DFHDFTRP.**

説明: ユーザーによりコーディングされたグローバル・トラップ出口プログラム (DFHDFTRP) が、その戻り処置設定値でシステム・ダンプを要求しました。

システムの処置: DMF はシステム・ダンプをとり、グローバル・トラップが活動状態になったまま続行されます。

ユーザーの処置: 要求されたダンプを分析してください。

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHDFTR

宛先: コンソール

---

**DFHDF2053 DMF abend requested by global trap exit DFHDFTRP.**

説明: データ管理機能 (DMF) のグローバル・トラップ出口プログラム (DFHDFTRP) が、DMF の終了を要求しました。

システムの処置: DMF は、トラップ出口に再び入ることがないようにその使用を禁止してから、システム・ダンプをとり、DMF は終了します。

ユーザーの処置: DFHDFTRP が DMF の終了を要求した理由を判別し、その理由に応じて処置をとってください。グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHDFTR

宛先: コンソール

---

**DFHDF2054 Program check occurred within global trap exit - DFHDFTRP now marked unusable by DMF.**

説明: トレース項目を作成した後で、データ管理機能 (DMF) のトレース機能はグローバル・トラップ出口プログラム (DFHDFTRP) を呼び出しました。DFHDFTRP の実行中にプログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: DMF は、現在活動状態の DFHDFTRP のバージョンに使用不可のマークを付けて、以後トレース機能の呼び出しのときにそれを無視します。その後、DMF はダンプをとり、実行を継続します。DMF からのトレース項目は引き続き作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、プログラム・チェックの原因を見つけてください。現在活動状態であっても使用することのできない DFHDFTRP を、DMF プログラム・ライブラリー内の新しいバージョンに置き換えるために、次のコマンドを出してください。

SETDMF DEBUG,ON (トラップの新しいバージョンを活性化する)

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHDFTR

宛先: コンソール

---

**DFHDF3001 Data set status report.**

説明: オペレーターは、データ管理機能のスタートアップ時にデータ・セット情報を表示するよう要求しました。このメッセージと一緒に、メッセージ DFHDF3002、いくつかの DFHDF3003 メッセージ、およびメッセージ DFHDF3004 が出されます。

システムの処置: データ管理機能は、要求されたデータ・セット状況情報を引き続きコンソールに書き込みます。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHDFFM  
宛先: コンソール

**DFHDF3002 Data Set Name Status Avail(%)**

説明: オペレーターは、データ管理機能のスタートアップ時にデータ・セット情報を表示するよう要求しました。このメッセージと一緒に、メッセージ DFHDF3001、いくつかの DFHDF3003 メッセージ、およびメッセージ DFHDF3004 が出力されます。

システムの処置: データ管理機能は、要求されたデータ・セット状況情報を引き続きコンソールに書き込みます。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHDFFM  
宛先: コンソール

**DFHDF3003 dataset\_name status usage**

説明: オペレーターは、データ管理機能のスタートアップ時にデータ・セット情報を表示するよう要求しました。

データ管理機能は、現在使用されている DMF スタートアップ・テーブルにリストされているデータ・セット 1 個につき 1 つの DFHDF3003 メッセージを作成します。情報は次のとおりです。

- *dataset\_name* はこのデータ・セットの名前です。
- *status* は次のいずれかです。

**NOTESDS**

データ・セットは VSAM ESDS データ・セットではありません。

**INVREC**

データ・セットは、十分に大きな最大レコード長で定義されていません。

**OPNFAIL**

データ・セットは、すべての必要な情報を抽出するためにオープンすることができませんでした。

**INIT**

ファイルはいつでも使用できます。

**PARTIAL**

ファイルは、DMF によって部分的に使用されていました。

**FULL**

ファイルは一杯であり、DMF が使用するためにはそれを空にする必要があります。

- *usage* は使用されたファイルのパーセンテージです。
- システムの処置: データ管理機能は、要求されたデータ・セット状況情報を引き続きコンソールに書き込みます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHDFFM  
宛先: コンソール

**DFHDF3004 Data set status report is complete.**

説明: オペレーターは、データ管理機能のスタートアップ時にデータ・セット情報を表示するよう要求しました。このメッセージと一緒に、メッセージ DFHDF3001、メッセージ DFHDF3002、およびいくつかの DFHDF3003 メッセージが出力されます。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHDFFM  
宛先: コンソール

**DFHDF3005 Data Management Facility dataset dataset\_name is open.**

説明: データ管理機能はデータ・セット *dataset\_name* をオープンしました。そのデータ・セットへのレコードの書き込み開始の準備ができています。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHDFFM  
宛先: コンソール

**DFHDF3006 Data Management Facility dataset dataset\_name is closed.**

説明: データ管理機能はデータ・セット *dataset\_name* をクローズしました。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: データ・セット *dataset\_name* 上のデータは、データ管理機能はそのデータ・セットを再利用できるように、これから DFHDFOU によって処理され、クリアされる必要があります。

モジュール: DFHDFFM  
宛先: コンソール

**DFHDF3007 Data Management Facility cannot find a dataset to open. Reply 'GO' to cause DMF to continue operating but without a dataset (data will still be recorded in the data space), or 'RETRY' to cause DMF to retry its attempt to open a data set**

説明: データ管理機能は、データ・セット名のリストを使い果たしたので、レコードを書き込むための適切な状態にあるデータ・セットを見つけることができません。

データ・セットは、データ管理機能が使用できるように、プログラム DFHDFOU を使用して準備する必要があります。使用するためのデータ・セットをデータ管理機能が見つけない場合には、データ・スペースがいっぱいになり、データが失われてしまう可能性があります。このメッセージと一緒に、メッセージ DFHDF0000 が出力されますが、そのメッセージに対しては応答する必要があります。

システムの処置: データ管理機能は、オペレーターの応答を待ちます。

ユーザーの処置: ここでデータ・セットの準備を行えない場合には、後続の DFHDF0000 メッセージに対して 'GO' と入力してください。準備できる場合には、データ・セットの準備をして、後続の DFHDF0000 メッセージに対して 'RETRY' と入力します。

モジュール: DFHDFFM  
宛先: コンソール

---

**DFHDF3009 Data Management Facility has been unable to build VSAM control block *control\_block*. The return code from VSAM for the GENCB request was X'*rc*'.**

説明: データ管理機能は、必要な VSAM 制御ブロックを構成しようとしたのですが、そのうちの 1 つが正常に作成されませんでした。

*control\_block* は次のいずれかです。

- ACB
- EXLST
- RPL

システムの処置: データ管理機能は、ダンプを作成して終了します。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. 区画サイズを増やす。
2. DFHDFSIP 用の EXEC カードに SIZE オペランドを指定する。適切な式は SIZE=DFHDFSIP です。
3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

---

**DFHDF3010 Data Management Facility has been unable to add a label for VSAM catalog *catalog\_name*. The return code from DFHEVSLV was X'*rc*'.**

説明: データ管理機能は、ユーザー提供のカタログ *catalog\_name* 用のラベルを追加しようとしたのですが、失敗しました。DFHEVSLV からの戻りコードは *rc* です。

*rc* は次のいずれかです。

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 0 | 正規応答                 |
| 2 | 要求が無効                |
| 3 | ラベル域にスペースなし          |
| 4 | 使用可能な GETVIS ストレージなし |
| 5 | DFHEVLBS の内部エラー      |
| 6 | サブエリアが利用不能           |
| 7 | サブエリアが無効             |
| 8 | アクセス方式が無効            |
| A | すでに割り振り済み            |
| B | アクセス方式が矛盾            |

システムの処置: データ管理機能は、ダンプを作成して終了します。

ユーザーの処置: 次の処置のいずれかを行ってください。

1. 区画サイズを増やす。
2. DFHDFSIP 用の EXEC カードに SIZE オペランドを指定する。適切な式は SIZE=DFHDFSIP です。
3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

---



---

**DFHDF3011 Data Management Facility has been unable to add a label for VSAM dataset *dataset\_name*. The return code from DFHEVSLV was X'*rc*'.**

説明: データ管理機能は、*dataset\_name* という名前のデータ・セット用のラベルを追加しようとしたのですが、失敗しました。DFHEVSLV からの戻りコードは *rc* です。

*rc* は次のいずれかです。

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 0 | 正規応答                 |
| 2 | 要求が無効                |
| 3 | ラベル域にスペースなし          |
| 4 | 使用可能な GETVIS ストレージなし |
| 5 | DFHEVLBS の内部エラー      |
| 6 | サブエリアが利用不能           |
| 7 | サブエリアが無効             |
| 8 | アクセス方式が無効            |
| A | すでに割り振り済み            |
| B | アクセス方式が矛盾            |

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

---

**DFHDF3012 Data Management Facility has been unable to delete a label for VSAM dataset *dataset\_name*. The return code from DFHEVSLV was X'*rc*'.**

説明: データ管理機能は、*dataset\_name* という名前のデータ・セット用のラベルを削除しようとしたのですが、失敗しました。DFHEVSLV からの戻りコードは *rc* です。

*rc* は次のいずれかです。

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 0 | 正規応答                 |
| 1 | DDNAME が存在しない        |
| 2 | 要求が無効                |
| 4 | 使用可能な GETVIS ストレージなし |
| 5 | DFHEVLBS の内部エラー      |
| 6 | サブエリアが利用不能           |
| 7 | サブエリアが無効             |
| 8 | アクセス方式が無効            |
| 9 | 正しくないデータ・セットの削除      |
| B | アクセス方式が矛盾            |

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

---

**DFHDF3013 Data Management Facility has been unable to find a suitable dataset to open.**

説明: データ管理機能は、データ・セットのリストにあるデータ・セットをオープンしようとしたのですが、適切なものを見つけないことができませんでした。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: DFHDFOU プログラムを使用してデータ・セッ

トを使用可能にし、要求を DMF に出してデータ・セットをオープンしてください。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3014 Data Management Facility has been asked to open a dataset but DMF already has an open dataset.**

説明: データ管理機能は、データ・セットをオープンするよう要求しましたが、すでにオープン・データ・セットがありません。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3015 Data Management Facility attempted to open dataset *dataset\_name* but this failed. The return code from VSAM for the OPEN request was X'*rc*'.**

説明: データ管理機能は、データ・セット *dataset\_name* をオープンしようとした。しかし、OPEN は、*rc* に示されている理由のため失敗しました。

示されている VSAM コードは、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で説明されています。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3016 Data Management Facility attempted to close dataset *dataset\_name* but this failed. The return code from VSAM for the CLOSE request was X'*rc*'.**

説明: データ管理機能は、データ・セット *dataset\_name* をクローズしようとした。しかし、CLOSE は、*rc* に示されている理由のため失敗しました。

示されている VSAM コードは、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で説明されています。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3017 Data Management Facility has been asked to close a dataset but DMF does not have an open dataset**

説明: データ管理機能は、データ・セットをクローズするよう要求されましたが、オープンされたデータ・セットはありません。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3018 Data Management Facility has been asked to reduce space in the data space, but there is no open dataset**

説明: データ管理機能は、データ・スペース内のスペースを減らすよう要求されましたが、データを書き込むことができるオープン・データ・セットがありません。

この状態では、データが失われてしまう可能性があります。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: DFHDFOU プログラムを使用して DMF データ・セットを準備し、SETDMF SWITCH 要求を出してデータ・セットがオープンされるようにしてください。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3019 Data Management Facility has been asked to flush the data from the data space, but there is no open dataset**

説明: データ管理機能は、データ・スペースのデータを VSAM データ・セットにフラッシュするよう要求されましたが、データを書き出すことができるオープン・データ・セットがありません。

この状態では、データが失われてしまう可能性があります。

システムの処置: データ管理機能は続行されます。

ユーザーの処置: DFHDFOU プログラムを使用して DMF データ・セットを準備し、SETDMF SWITCH 要求を出してデータ・セットがオープンされるようにし、それから SETDMF FLUSH 要求を出してください。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3020 Data Management Facility has been unable to acquire a buffer area. The reason code from DFHDFGF was X'*reason*'.**

説明: データ管理機能は、VSE/VSAM で使用するためのバッファ領域を獲得しようとしたが、失敗しました。DFHDFGF からの理由コードは *reason* でした。

*reason* は次のいずれかです。

- 1 - Invalid\_Format
- 2 - Invalid\_Function
- 3 - Severe\_Storage\_Error
- 4 - GETVIS\_Exhausted
- 5 - PFIX\_Failed

システムの処置: データ管理機能は、ダンプを作成して終了します。

ユーザーの処置: *reason* が 4 の場合には、次のいずれかの処置を行うことができます。

1. 区画サイズを増やす。
2. SIZE オペランドを EXEC DFHDFSIP ステートメントに指定する。適切な式は SIZE=DFHDFSIP です。

3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3021 An abend code X'abcode' has been detected by DFHDFFM.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、z/VSE 取り消しコード *abcode* の異常終了を検出しました。これは、DMF のファイル・マネージャー・サブタスクで起きました。

システムの処置: DMF がデータ・セットに記録していた場合には、そのデータ・セットはクローズされ、ファイル・マネージャー・サブタスクは CANCEL ALL マクロを出します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3022 A program check has been detected by DFHDFFM PC exit at DFHDFFM.**

説明: データ管理機能 (DMF) のファイル・マネージャー PC 出口が起動されました。これは、DMF のファイル・マネージャー・サブタスクで起きました。

システムの処置: DMF がデータ・セットに記録していた場合には、そのデータ・セットはクローズされ、ファイル・マネージャー・サブタスクは CANCEL ALL マクロを出します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFFM

宛先: コンソール

**DFHDF3023 Data Management Facility has processed the FLUSH request.**

説明: データ管理機能 (DMF) は FLUSH 要求を完了しました。これは、オペレーター・コマンドの結果、あるいは内部処理 (例えば、SHUTDOWN 処理中) の結果である可能性があります。

システムの処置: DMF は続行されます。

宛先: コンソール

モジュール: DFHDFFM

**DFHDF4001 Data management facility has determined that the Anchor Block is Invalid.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、異常終了ハンドラーを入力して、DMF アンカー・ブロックが無効であることを判別しました。

システムの処置: DMF は、SDUMPX を取り、DMF 区画の即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFABX

宛先: コンソール

**DFHDF4002 A Program Check has occurred in a message handling module.**

説明: データ管理機能 (DMF) はプログラム・チェックを検出しました。また、メッセージ・モジュール (DFHMEBM または DFHDFRM) で異常終了が起きたことも判別しました。

システムの処置: DMF は、SDUMPX を取り、DMF 区画の即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFABX

宛先: コンソール

**DFHDF4003 A program check has occurred at X'psw' in module modulename.**

説明: データ管理機能 (DMF) はプログラム・チェックを検出しました。また、モジュール *modulename* を指し示す *psw* に PSW が設定された状態で異常終了が起きたことも判別しました。

システムの処置: DMF は、SDUMPX を取り、DMF 区画の即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFABX

宛先: コンソール

**DFHDF4004 An abend code X'abcode' has been detected by DMF.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、z/VSE 取り消しコード *abcode* の異常終了を検出しました。

システムの処置: DMF は、SDUMPX を取り、DMF 区画の即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFABX

宛先: コンソール

**DFHDF4005 DMF has detected that a CANCEL ALL macro has been issued by the DFHDFFM sub-task.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、サブタスク (DFHDFFM) が CANCEL ALL マクロを出したことを検出しました。

システムの処置: DMF は、SDUMPX を取り、DMF 区画の即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFABX

宛先: コンソール

**DFHDF4006 Cancel code xxx (X'yy') detected by DMF.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、取り消しコード xxx (これと同等の 16 進数は yy です) が z/VSE によって出されたことを検出しました。取り消しコードについての説明は、

「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『VSE 拡張機能取り消しコード』を参照してください。

システムの処置: これは通知メッセージです。DMF は取り消しコードを処理しようとし、また後続の処置を説明するメッセージをさらに出します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDFABX

宛先: コンソール

**DFHDF5001 Data management facility has determined that the Anchor Block is Invalid.**

説明: データ管理機能 (DMF) は、異常終了ハンドラーを入力して、DMF アンカー・ブロックが無効であることを判別しました。

システムの処置: DMF は、SDUMPX を取り、DMF 区画の即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFPCX

宛先: コンソール

**DFHDF5002 A Program Check has occurred in a message handling module.**

説明: データ管理機能 (DMF) はプログラム・チェックを検出しました。また、メッセージ・モジュール (DFHMEBM または DFHDFRM) で異常終了が起きたことも判別しました。

システムの処置: DMF は、SDUMPX を取り、DMF 区画の即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFPCX

宛先: コンソール

**DFHDF5003 A program check has occurred at X'psw' in module modulename.**

説明: データ管理機能 (DMF) はプログラム・チェックを検出しました。また、モジュール *modulename* を指し示す *psw* に PSW が設定された状態で異常終了が起きたことも判別しました。

システムの処置: DMF は、SDUMPX を取り、DMF 区画の即時シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFPCX

宛先: コンソール

**DFHDF6001 Invalid keyword found**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は識別できないキーワードを読み取りました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、有効なキーワードを与える必要があります。有効なキーワードは以下のとおりです。

INDD  
OUTDD  
DATE  
START  
END  
END  
SID

DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

**DFHDF6002 ( expected**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は文字 ( を検出することを予期しましたが、それはありませんでした。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

**DFHDF6003 filename expected**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は *filename* のための値を検出することを予期しましたが、それはありませんでした。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST



**DFHDF6004** *OPTIONS expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は文字列 *OPTIONS* を検出することを予期しましたが、それはありませんでした。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

**DFHDF6005** *, expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は文字 *,* を検出することを予期しましたが、それはありませんでした。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

**DFHDF6006** *DUMP, CLEAR or ALL expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は文字列 *DUMP*、または *CLEAR*、または *ALL* を検出することを予期しましたが、それはありませんでした。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

**DFHDF6007** *) expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は文字 *)* を検出することを予期しましたが、それはありませんでした。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

**DFHDF6008** *filename too long*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、*filename* に指定された値の長さが 7 文字より長いことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

**DFHDF6009** *TYPE or NOTYPE expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は文字列 *TYPE* または *NOTYPE* を検出することを予期しましたが、それはありませんでした。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

**DFHDF6010** *yyyyddd expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、*DATE* パラメーターの *yyyyddd* 値の 1 つに指定された値が数値ではないことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6011 *hhmm expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、START または END パラメーターで指定された *hhmm* 値に指定された値が数値ではないことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6012 *cccc expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、SID パラメーター (システム ID) の *cccc* 値に指定された値が英数字ではないことを検出しました。英数字には、数字 (0 から 9) または文字 (a から z、A から Z) が含まれます。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6013 *Multiple DATE parameter found - ignored*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は複数の DATE パラメーターが指定されていることを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6014 *Multiple START parameter found - ignored*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は複数の START パラメーターが指定されていることを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6015 *Multiple END parameter found - ignored*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は複数の END パラメーターが指定されていることを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6016 *Type value expected*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、TYPE または NOTYPE パラメーターのリスト中に指定されたタイプ値の 1 つが数値ではないことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6017 *Type value too long*

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、TYPE または NOTYPE パラメーターのリスト中に指定されたタイプ値の 1 つが 4 桁以上の数字を含んでいることを判別しました。リスト中のそれぞれの値は最大 3 桁です。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、

SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。  
SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6018 Type value too large

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、TYPE または NOTYPE パラメーターのリスト中に指定されたタイプ値の 1 つが 255 を超えていることを判別しました。有効な値は 0 から 255 の範囲です。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6019 Second type value in range smaller than first type value

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、タイプ値の範囲の 2 番目の値に指定された値がその範囲の 1 番目の値より小さいことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6020 Date value is incorrect length

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、DATE パラメーターの日付値の 1 つが 7 桁ではないことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミ

ットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6021 Days value is greater than 366

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、DATE パラメーターの日付値の 1 つにおいて日数部分が 366 を超えていることを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6022 Days value is less than 1

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、DATE パラメーターの日付値の 1 つにおいて日数部分が 1 より小さいことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

#### DFHDF6023 Time value is incorrect length

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、START または END パラメーターで指定された時刻値が 4 桁ではないことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

---

**DFHDF6024 Hour value in specified time value is greater than 23**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、START または END パラメーターで指定された時刻値において時間部分が 23 を超えていることを判別しました。  
システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。  
SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。  
ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。  
モジュール: DFHDFOU  
宛先: SYSLST

---

**DFHDF6025 Minute value in specified time value is greater than 59**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、START または END パラメーターで指定された時刻値において分部分が 59 を超えていることを判別しました。  
システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。  
SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。  
ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。  
モジュール: DFHDFOU  
宛先: SYSLST

---

**DFHDF6026 SID value too long**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、SID に指定された値の長さが 4 文字より長いことを判別しました。  
システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。  
SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。  
ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。  
モジュール: DFHDFOU  
宛先: SYSLST

---

**DFHDF6027 SID value already exists - cccc**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、SID 値 *cccc* がすでに指定されていることを判別しました。  
システムの処置: DFHDFOU は、この SID 値を廃棄した後、続行されます。このエラーで DFHDFOU がファイルの処理を終了することはありませんが、重大エラーが起こらない限り、戻りコード 4 が設定されます。この戻りコードは、DFHDFOU の完了時に z/VSE に戻されます。  
ユーザーの処置: SYSIPT データ・ストリームから重複する SID パラメーターを除去する必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。  
モジュール: DFHDFOU  
宛先: SYSLST

---

**DFHDF6028 INDD filename already exists - filename**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、INDD 値 *filename* が INDD または OUTDD パラメーターのいずれかですでに指定されていることを判別しました。  
システムの処置: DFHDFOU は、この INDD パラメーターを廃棄した後、続行されます。このエラーで DFHDFOU がファイルの処理を終了することはありませんが、重大エラーが起こらない限り、戻りコード 4 が設定されます。この戻りコードは、DFHDFOU の完了時に z/VSE に戻されます。  
ユーザーの処置: SYSIPT データ・ストリームから重複するパラメーターを除去する必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。  
モジュール: DFHDFOU  
宛先: SYSLST

---

**DFHDF6029 OUTDD filename already exists - filename**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、OUTDD 値 *filename* が INDD または OUTDD パラメーターのいずれかですでに指定されていることを判別しました。  
システムの処置: DFHDFOU は、この OUTDD パラメーターを廃棄した後、続行されます。このエラーで DFHDFOU がファイルの処理を終了することはありませんが、重大エラーが起こらない限り、戻りコード 4 が設定されます。この戻りコードは、DFHDFOU の完了時に z/VSE に戻されます。  
ユーザーの処置: SYSIPT データ・ストリームから重複するパラメーターを除去する必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。  
モジュール: DFHDFOU  
宛先: SYSLST

---

**DFHDF6030 Syntax error has been detected. Run aborted.**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、処理の続行を妨げる構文エラーを検出しました。  
システムの処置: DFHDFOU は終了して、戻りコード 8 を z/VSE に渡すこととなります。

ユーザーの処置: このメッセージの前にエラー・メッセージが出されますが、それを用いてエラーを判別し、問題を訂正するのに役立ててください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

---

**DFHDF6031 Open failed for OUTDD filename - filename, rc = yyyy (decimal)**

説明: データの処理中に、DFHDFOU1 (DFHDFOU の一部) は、filename が指し示すファイルをオープンしようとしたのですが、オープン要求から戻りコード yyyy を受け取りました。システムの処置: DFHDFOU1 はデータの処理を続行しますが、(プログラムの後のほうで値の大きい戻りコードが設定されない限り) 戻りコード 8 を設定します。その戻りコードはジョブの終了時に z/VSE に渡されます。

ユーザーの処置: このメッセージと一緒に、接頭部 DFHEV を持つ通知メッセージがシステム・コンソールにさらに現れます。それらのメッセージを参照してさらに情報を得て、必要な処置を行ってください。

モジュール: DFHDFOU1

宛先: SYSLST

---

**DFHDF6032 OUTDD filename - filename - is defined as a VSAM ESDS data set**

説明: DFHDFOU1 (DFHDFOU の一部) は、filename が指し示すファイル ID について VSAM カタログを検査し、そのファイルが ESDS オブジェクトとして定義されていることを検出しました。DFHDFOU から出力ファイルはすべて、順次ファイルまたは SAM ESDS ファイルのいずれかでなければなりません。

システムの処置: DFHDFOU1 は、このファイルをオープンしようとしませんが、処理の可能なその他のファイルの処理を続行します。そして、(プログラムの後のほうで値の大きい戻りコードが設定されない限り) 戻りコード 8 を設定します。その戻りコードはジョブの終了時に z/VSE に渡されます。

ユーザーの処置: 原因は次のどちらかです。

1. filename の DLBL が正しくない VSAM オブジェクトを参照しているような JCL 内のエラー。この場合には、JCL を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。
2. filename が参照している VSAM オブジェクトの定義のエラー。この場合には、VSAM オブジェクトの VSAM 定義を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHDFOU1

宛先: SYSLST

---

**DFHDF6033 No DLBL or TLBL found for INDD filename - filename**

説明: DFHDFOU1 (DFHDFOU の一部) は、filename が指し示すファイルのラベル域を検査し、そのファイルの DLBL または TLBL が存在しないことを見つけました。

システムの処置: DFHDFOU1 は、このファイルをオープンしようとしませんが、処理の可能なその他のファイルの処理を続行します。そして、(プログラムの後のほうで値の大きい戻りコードが設定されない限り) 戻りコード 8 を設定します。その戻りコードはジョブの終了時に z/VSE に渡されます。

ユーザーの処置: filename の DLBL または TLBL がジョブ・ストリームに追加されるようにして、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHDFOU1

宛先: SYSLST

---

**DFHDF6034 Year less than 1900**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU は、DATE パラメーターに指定された値の 1 つにおいて年数部分が 1900 より小さいことを判別しました。

システムの処置: DFHDFOU は、ファイルの処理をせずに、SYSIPT 入力パラメーターの妥当性検査を続行します。

SYSIPT パラメーターの妥当性検査の後、重大エラーが後で検出されない限り、DFHDFOU は DFHDF6030 を出し、戻りコード 8 で z/VSE に戻ります。

ユーザーの処置: SYSIPT データを訂正し、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

---

**DFHDF6035 Unable to acquire storage for statistics block**

説明: DFHDFOU は、ランタイム統計を保持するためのストレージを区画 GETVIS から獲得しようとしたのですが、失敗しました。

システムの処置: DFHDFOU は、データを処理する前に、戻りコード 16 を出して終了します。

ユーザーの処置: プログラムが使用できる GETVIS のサイズを、次の方法で増やしてください。

1. より大きな区画で実行する。または
2. // EXEC DFHDFOU カード上の SIZE パラメーターを小さくする。

モジュール: DFHDFOU

宛先: SYSLST

---

**DFHDF6036 No DLBL or TLBL found for OUTDD filename - filename**

説明: DFHDFOU1 (DFHDFOU の一部) は、filename が指し示すファイルのラベル域を検査し、そのファイルの DLBL または TLBL が存在しないことを見つけました。

システムの処置: DFHDFOU1 は、このファイルをオープンしようとしませんが、処理の可能なその他のファイルの処理を続行します。そして、(プログラムの後のほうで値の大きい戻りコードが設定されない限り) 戻りコード 8 を設定します。その戻りコードはジョブの終了時に z/VSE に渡されます。

ユーザーの処置: filename の DLBL または TLBL がジョブ・ストリームに追加されるようにして、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHDFOU1

宛先: SYSLST

**DFHDF6037 Write failed for OUTDD filename - filename, exit exit\_name was driven**

説明: データ・セット *filename* の処理中に、DFHDFOU1 (DFHDFOU の一部) はレコードをファイルに書き込もうとしましたが、その処理中にエラーが起きて、出口 *exit\_name* が駆動されます。

システムの処置: DFHDFOU1 はデータの処理を続行しますが、(プログラムの後のほうで値の大きい戻りコードが設定されない限り) 戻りコード 4 を設定します。その戻りコードはジョブの終了時に z/VSE に渡されます。

ユーザーの処置: *exit\_name* は次のいずれかです。

- SYNAD (SYNAD 出口が起動されたことを示す)。この場合、これは誤長レコードまたはエクステント終了と同等です。ファイル *filename* にもっと大きなエクステントを定義してみて、ジョブを再サブミットしてください。問題が解決しない場合は、IBM の支援が必要になります。
- EODAD (EODAD 出口が駆動されたことを示す)。この場合、これは *filename* のデータ終了と同等であり、起こらないはずです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDFOU1

宛先: SYSLST

**DFHDF6038 An OUTDD parameter had an error and there was a request to clear an input file. Run aborted.**

説明: SYSIPT 入力パラメーターの処理中に、DFHDFOU1 は、OUTDD パラメーターのエラーを検出しました。さらに、OPTIONS(CLEAR) または OPTIONS(ALL) が指定されている状態で INDD パラメーターが検出されました。あるいは、INDD パラメーターが指定されておらず、デフォルト INDD パラメーターが使用されています。デフォルトは INDD (DUMPIN, OPTIONS(ALL)) です。

システムの処置: DFHDFOU1 は終了して、戻りコード 16 を z/VSE に渡すことになります。

ユーザーの処置: OUTDD パラメーターを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。DFHDFOU1 への入力パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHDFOU1

宛先: SYSLST

**DFHDF6039 INDD filename - filename - is defined as a VSAM file, but is not ESDS or SAM ESDS**

説明: DFHDFOU1 (DFHDFOU の一部) は、*filename* が指し示すファイル ID について VSAM カタログを検査した結果、オブジェクトが ESDS または SAM ESDS 以外のものとして定義されていることを検出しました。

システムの処置: DFHDFOU1 は、このファイルをオープンしようとしませんが、処理の可能なその他のファイルの処理を続行します。そして、(プログラムの後のほうで値の大きい戻りコードが設定されない限り) 戻りコード 8 を設定します。その戻りコードはジョブの終了時に z/VSE に渡されます。

ユーザーの処置: 原因は次のどちらかです。

- *filename* の DLBL が正しくない VSAM オブジェクトを参照しているような JCL 内のエラー。この場合には、JCL を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。
- *filename* が参照している VSAM オブジェクトの定義のエラー。この場合には、VSAM オブジェクトの VSAM 定義を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHDFOU1

宛先: SYSLST

**DFHDF6040 OUTDD filename - filename - is defined as a VSAM file, but is not ESDS or SAM ESDS**

説明: DFHDFOU1 (DFHDFOU の一部) は、*filename* が指し示すファイル ID について VSAM カタログを検査した結果、オブジェクトが ESDS または SAM ESDS 以外のものとして定義されていることを検出しました。

システムの処置: DFHDFOU1 は、このファイルをオープンしようとしませんが、処理の可能なその他のファイルの処理を続行します。そして、(プログラムの後のほうで値の大きい戻りコードが設定されない限り) 戻りコード 8 を設定します。その戻りコードはジョブの終了時に z/VSE に渡されます。

ユーザーの処置: 原因は次のどちらかです。

- *filename* の DLBL が正しくない VSAM オブジェクトを参照しているような JCL 内のエラー。この場合には、JCL を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。
- *filename* が参照している VSAM オブジェクトの定義のエラー。この場合には、VSAM オブジェクトの VSAM 定義を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHDFOU1

宛先: SYSLST

**DFHDF6041 Invalid parm statement passed to DFHDFOU. Run terminated.**

説明: DFHDFOU1 が、EXEC DFHDFOU ステートメントに PARM パラメーターを指定して開始されました。しかし、渡されたデータの形式が誤りでした。

システムの処置: DFHDFOU1 は、戻りコード 16 を出して終了します。

ユーザーの処置: DFHDFOU1 JCL の中の parm 値を訂正して、ジョブを再サブミットする必要があります。DFHDFOU1 のパラメーター値のコーディングについての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

宛先: SYSLST

モジュール: DFHDFOU1

## DFHHDxxxx メッセージ

**DFHHD001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性を意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHHDHDH, DFHHDHDM, DFHHDHSL

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*

**DFHHD002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。

コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。  
システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられません。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHHDHDH, DFHHDHDM, DFHHDHSL

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*

**DFHHD004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、起こりうるループが検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。そのため、ここではエラーではないことがあります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーターで指定したランナウェイ・タスク時間間隔（ミリ秒単位で測定）を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を指定しており、しかもモジュール *modname* がループしていると考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR システム初期設定パラメーターを大きくする必要があります。CEMT トランザクションを使用して、RUNAWAY 時間間隔を一時的に変更することができます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHDMTM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*

#### DFHHDH0100I *applid* Document domain initialization has started.

説明: これは、ドキュメント・ドメインの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

宛先: コンソール

モジュール: DFHHDHDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

#### DFHHDH0101I *applid* Document domain initialization has ended.

説明: これは、ドキュメント・ドメインの初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

宛先: コンソール

モジュール: DFHHDHDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

#### DFHHDH0105 *date time applid* Document template definition *doctemplate* has been added as {*LIBRARY-MEMBER* |*FILE* | *PROGRAM* | *TSQUEUE* | *TDQUEUE* | *EXITPGM*}(*resourcename*) with template name *templatename*.

説明: ドキュメント・テンプレート定義 *doctemplate* がドキュメント・ハンドラー・ドメインに正常に追加されました。テンプレート定義は、以下のリソースの 1 つである *resourcename* という名前のリソースにマッピングされます。

#### LIBRARY-MEMBER

*z/VSE* サブライブラリーのメンバー

FILE CICS ファイル

#### PROGRAM

CICS プログラム

#### TSQUEUE

CICS 一時ストレージ・キュー

#### TDQUEUE

CICS 一時データ・キュー

#### EXITPGM

そのプログラム自身の指定のテンプレートに書かれているユーザー置き換え可能プログラム

ドキュメント・テンプレートは、*templatename* というテンプレート名を割り当てられます。

システムの処置: この定義は CICS グローバル・カタログの中にカタログが作成され、CICS ウォーム・スタートでリストアされます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムは、これで、名前 *templatename* を使ってテンプレートを使用することができます。

宛先: CSDH

モジュール: DFHHDHDM

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *doctemplate*, {1=*LIBRARY-MEMBER*, 2=*FILE*, 3=*PROGRAM*, 4=*TSQUEUE*, 5=*TDQUEUE*, 6=*EXITPGM*}, *resourcename*, *templatename*

#### DFHHDH0106 *date time applid* Document template definition *doctemplate* has been deleted.

説明: ドキュメント・テンプレート定義 *doctemplate* がドキュメント・ハンドラー・ドメインから正常に削除されました。

システムの処置: この定義は CICS グローバル・カタログの中から削除され、CICS ウォーム・スタートでリストアされません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムは、今後は、名前 *templatename* を使ってテンプレートを使用できません。

宛先: CSDH

モジュール: DFHHDHDM

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *doctemplate*



---

## DFHDLxxxx メッセージ

---

**DFHDL3927 applid Program DFHDLRP cannot be found**

説明: DFHDLRP (DL/I 再始動用の CICS プログラム) を見つけることができません。

CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHDLRP を見つけることができません。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するために、CICS ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つで DFHDLRP が得られるようにしてください。

モジュール: DFHSIII

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHDL3928 applid DL/I restart failed**

説明: 必要なステップが失敗したため、CICS DL/I 再始動タスクは完了できませんでした。タスクは重要ないくつかのリカバリー操作を実行しましたが、異常終了コード ADLH を出してそれ自身は異常終了しました。

システムの処置: CICS は、DL/I 再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを書き込みます。

CICS は、2 つのメッセージをコンソールに送ります。1 つは DL/I 再始動タスクが検出したエラーを識別するものであり、もう 1 つは DFHDL3928 であり、タスクが失敗したことを知らせるものです。どちらのメッセージにも 3 番目のメッセージが続いており、CICS がダンプを作成して異常終了したことを知らせるか、または GO または CANCEL と応答するようユーザーに催促するものです。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHDLRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHDL3929 applid Program DFHDLBP cannot be found - DL/I databases cannot be backed out**

説明: DFHDLBP (DL/I バックアウト用の CICS プログラム) を見つけることができません。

CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHDLBP を見つけることができません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するために、CICS ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つで DFHDLBP が得られるようにしてください。

モジュール: DFHDLRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHDL3931I W applid DL/I support requested but there are no Journals defined**

説明: 開始された CICS システムは DL/I サポートを指定していますが、ジャーナルを定義していません。これは、システム初期設定パラメーターとして JCT=NO が指定されているためと思われます。

システムの処置: CICS を続行します。しかし、CICS またはトランザクションが失敗した場合には、CICS は、コミットされていない DL/I データベースの更新をバックアウトしません。

ユーザーの処置: これは、無視できる警告メッセージです。DL/I データベースの保全性を保ちたい場合には、CICS を終了し、少なくとも 1 つのシステム・ログを定義し、それから CICS を再始動してください。

モジュール: DFHDLRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHDL4540A applid DLI I/O ERROR ON DBD dbdname - ABEND requested**

説明: DLI がデータベース DBDNAME で入出力エラーを検出しました。SIT には DLIOER=ABEND が指定されています。

システムの処置: CICS は異常終了します。XRF が使用されている場合には、待機システムも終了します。

ユーザーの処置: オフライン DL/I ユーティリティを使用し、データベースをリカバリーし、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHJCP

XMEOUT パラメーター: *applid, dbdname*

宛先: コンソール

---

**DFHDL4541A applid DLI I/O ERROR ON DBD dbdname - database closed**

説明: DLI がデータベース DBDNAME で入出力エラーを検出しました。SIT には DLIOER=CONTINUE が指定されています。

システムの処置: DLI は、内部的にデータベースに入出力エラー停止のフラグを付けます。これにより、以後のアクセスを防ぎます。

ユーザーの処置: DLI STOP コマンドを使用して関連した ACB (1 つまたは複数) をクローズし、それからオフライン DL/I ユーティリティを使用するか、あるいは適切にリカバリー処置をとってデータベースをリカバリーしてください。DLI STRT コマンドを使用して、データベースを再始動してください。

モジュール: DFHJCP

XMEOUT パラメーター: *applid, dbdname*

宛先: コンソール

---

**DFHDL4542A applid Unable to record Database closed-I/O error on Global Catalog**

説明: CICS は、グローバル・カタログにデータベースの入出力エラーを書き込むことができません。

システムの処置: CICS は異常終了します。

## DFHDL4543A • DFHDM0003

ユーザーの処置: カタログに書き込めなかった理由を見つけ (おそらく、他のメッセージに入出力エラーが表示されています)、問題を訂正してください。  
モジュール: DFHJCP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHDL4543A** *applid* Unable to delete database stopped record in the Global Catalog

説明: CICS は、入出力エラー STOP レコードを削除するた

---

## DFHDMxxxx メッセージ

---

**DFHDM0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内に異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。ユーザーがダンプ・テーブル内に CICS が終了するように指定しない限り、CICS は続行されません。この処置は DFHDMIQ によってとられます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この処置は、DFHDMDM、DFHDMDS、および DFHDMWQ によってとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

それから、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはそれ以外のどれであるかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されることもあります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順につい

めにグローバル・カタログにアクセスしているとき、エラーを検出しました。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: カタログでの削除操作が失敗した理由 (他のメッセージで示されている入出力エラーである可能性があります) を調べて、その問題を訂正してください。

モジュール: DFHJCP

---

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

ては、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHDMDM、DFHDMIQ、DFHDMDS、DFHDMWQ

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHDM0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内の *code*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。ユーザーがダンプ・テーブル内に CICS が終了するように指定しない限り、CICS は続行されます。この処置は DFHDMIQ によってとられます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この処置は、DFHDMDM、DFHDMDS、および DFHDMWQ によってとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コード内にエラーがある可能性があることを示しています。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHDMDM、DFHDMIQ、DFHDMDS、DFHDMWQ

---

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHDM0003** *applid* Insufficient storage to satisfy GETMAIN (code *X'code'*) in module *modname*.

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出さ

れましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

このエラーは、16 MB 境界より上で発生しました。  
システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。ダンプ・テーブル内に CICS が終了するように指定しない限り、CICS は続行されます。この処置は、DFHDMIQ によってとられます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この処置は、DFHDMMDM と DFHDMWQ によってとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition and Operations Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM、DFHDMIQ、DFHDMWQ

XMEOUT パラメーター: *applid*、X'*code*'、*modname*  
宛先: コンソール

---

#### DFHDM0004 *applid* A possible loop has been detected at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内の X'*offset*' で、起こりうるループが検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。ダンプ・テーブル内に CICS が終了するように指定しない限り、CICS は続行されます。この処置は、DFHDMIQ によってとられます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この処置は、DFHDMMDM、DFHDMDS、および DFHDMWQ によってとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるため、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したラン

ナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。このことは、モジュール *modname* が終了し、CICS は続行されることを意味しています。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からサポートを得てこの問題を解決することが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHDMMDM、DFHDMIQ、DFHDMDS、DFHDMWQ

XMEOUT パラメーター: *applid*、X'*offset*'、*modname*  
宛先: コンソール

---

#### DFHDM0005 *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code X'*code*'). The Time-of-Day clock is invalid.

説明: モジュール *modname* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。時刻機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これはおそらくハードウェア・エラーです。まずストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、問題を解決するには IBM からのサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM、DFHDMWQ、DFHDMDS

XMEOUT パラメーター: *applid*、*modname*、X'*code*'  
宛先: コンソール

---

**DFHDM0101I applid CICS is initializing.**

説明: これは、通知メッセージです。

CICS 初期設定が開始されました。ドメイン (DM) マネージャーは、ローカル CICS カタログ DFHLCD 内に定義してある各ドメインごとに初期設定タスクを生成しようとしています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHDM0102I applid CICS is quiescing.**

説明: これは、通知メッセージです。

CICS の制御シャットダウンが開始されました。ドメイン (DM) マネージャーは、各 CICS コンポーネントごとに静止タスクを生成しようとしています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHDMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHDM0103 applid Unsuccessful quiesce of domain domain. CICS は終了します。**

説明: ドメインが静止に失敗しました。

システムの処置: CICS は終了します。例外トレースおよびダンプが、エラーのあるドメインによって出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDMDS

XMEOUT パラメーター: *applid, domain*

宛先: コンソール

**DFHDM0104 applid Unsuccessful load of program domain. CICS は終了します。**

説明: ドメイン (DM) マネージャーは、ローダーを呼び出して初期設定タスクのためにプログラムをロードしましたが、そのロードが失敗しました。CICS ジョブのための LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーにモジュールがないか、あるいは (メッセージ内に示されたモジュール名が適正でない CICS モジュールである場合) CICS カタログが破壊されている可能性があります。

システムの処置: CICS は終了します。ダンプ・テーブル内でダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード DM0104 のシステム・ダンプがとられます。

例外トレースがドメイン・マネージャーによって出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要

です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid, domain*

宛先: コンソール

**DFHDM0105 applid Unsuccessful initialization of domain domain. CICS は終了します。**

説明: ドメインが初期設定に失敗しました。

システムの処置: CICS は終了します。

診断が、エラーのあるドメインから出されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 診断を検討し、インストールに関連する問題に関して修正処置をとってください。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDMDS

XMEOUT パラメーター: *applid, domain*

宛先: コンソール

**DFHDM0106 applid The Domain Manager records on the CICS Catalog may have been corrupted.**

説明: ドメイン (DM) マネージャー・レコードをブラウズするために CICS カタログを呼び出しているときに、問題が検出されました。例えば、ドメイン・マネージャー・レコードが存在しない可能性があります。

このメッセージの後にメッセージ DFHDM0002 が続く場合があります。

システムの処置: たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: DFHCCUTL を使用してローカル CICS のカタログ DFHLCD を再初期設定し、CICS をコールド・スタートしてください。

それでも問題が解決しないようなら、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

## DFHDSxxxx メッセージ

**DFHDS0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

1. VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。
2. 次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。
3. モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。
4. モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDSAT, DFHDSBR, DFHSDM, DFHSDS2, DFHSDS3, DFHSDS4, DFHDSIT, DFHDSKE, DFHDSSM, DFHDSSR, DFHDSST, DFHDSTCB, DFHDSUE

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHDS0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。

コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。*code* が *X'0056'* の場合、CICS ではカーネル・ドメインのシステム・ダンプがとられます。これは抑止できません。それ以外の場合には、ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、CICS は通常のシステム・ダンプをとります。

次のいずれかとなります。ユーザーがダンプ・テーブル内に CICS が終了するように指定しない限り、CICS は続行されません。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

システム処置はコンテキストによって異なります。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: *code* が *X'0056'* の場合、グローバル・ユーザー出口 XMEOUT でこのメッセージを操作することはできません。

モジュール: DFHDSAT, DFHDSBR, DFHSDM, DFHSDS2, DFHSDS3, DFHSDS4, DFHDSIT, DFHDSKE, DFHDSSM, DFHDSSR, DFHDSST, DFHDSTCB, DFHDSUE

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHDS0003** *applid* **Insufficient storage (code X'code') in module modname.**

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード X'code' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。このエラーは、16 MB 境界より上で発生しました。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合は、問題は一時的なものである場合があります。その場合は、より多くのストレージが使用可能になると、自然に問題が解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA の全体のサイズ制限を増やしてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについて詳しくは、「CICS System Definition Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

この問題を完全に解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDSBR

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *modname*  
宛先: コンソール

**DFHDS0004** *applid* **A possible loop has been detected at offset X'offset' in module modname.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'offset' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、シ

ステム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるため、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で測定) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *module* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDSAT, DFHDSBR, DFHSDM, DFHSDS2, DFHSDS3, DFHSDS4, DFHDSIT, DFHDSKE, DFHSSM, DFHSSR, DFHSSST, DFHDSTCB, DFHDSUE

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'offset', *modname*  
宛先: コンソール

**DFHDS0005** *applid* **A hardware error has occurred (code X'code', module modname). The Time-of-Day clock is invalid.**

説明: モジュール *module* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード X'code' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これはおそらくハードウェア・エラーです。まずストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認し

てください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHDSTCB

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHDS0006** *applid* **Insufficient storage to satisfy GETMAIN (code *X'code'*) in module *modname*. VSE code *vscode*.**

説明: CICS GETMAIN 要求がモジュール *modname* によって出されましたが、十分なストレージがありません。

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

このエラーは、16 MB 境界より上または下で発生している可能性があります。どちらで発生しているかはコンテキストによります。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。ユーザーがダンプ・テーブル内に CICS が終了するように指定しない限り、CICS は続行されません。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

システム処置はコンテキストによって異なります。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合は、問題は一時的なものである場合があります。その場合は、より多くのストレージが使用可

能になると、自然に問題が解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

VSE 戻りコードの診断情報は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』で説明されています。

DSA または EDSA の全体サイズの限界を小さくするようにしてください。あるいは、CICS 区画のサイズが最大でない場合は、サイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition and Operations Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

この問題を完全に解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:  
DFHDSAT, DFHSDM, DFHSDS2, DFHSSR

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*, *vscode*  
宛先: コンソール

---

**DFHDS0101** *applid* **Dispatcher cannot enable the CICS post exit.**

説明: タスク指名プログラムは、CICS のポスト出口を使用可能にすることができませんでした。これは、CICS のポスト出口スタブが SVA 内がないことが原因と考えられます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS ポスト出口スタブ (DFHDSPEX) が SVA 内にあるかどうか確認してください。

モジュール: DFHSDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

## DFHDUxxxx メッセージ

**DFHDU0001** *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデ

ータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、

## DFHDU0002

または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

モジュール DFHDUDT の場合、(XDUREQ 出口でのユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止によって) ダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS の処理は続行されます。

モジュール DFHDUTM の場合には、システム・ダンプがとられます。このダンプは抑止できません。CICS 処理は続行されます。

モジュール DFHDUDU の場合には、システム・ダンプがとられます。このダンプは抑止できません。

CICS 処理は続行されます。

その他のモジュールの場合には、システム・ダンプがとられません。

CICS 処理は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードは、『z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻』のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

それから、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはパーコレーションのどれであるかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されることもあります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

異常終了がモジュール DFHDUDT か DFHDUTM で起きた場合には、ダンプ・テーブルが使用できなくなります。したがって、ダンプ・コードに関連するすべての EXEC API コマンドは失敗し、とられたダンプはすべて、特定のダンプ・コードについてダンプ・テーブルに書き込んだ情報ではなく、デフォルト情報 (例えば、CICS を終了するかどうか) を使用して処理されます。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、『CICS Problem Determination Guide』の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDUDT、DFHDUTM、DFHDUDU、DFHDUXD、DFHDUIO、DFHDUSU、DFHDUXW、DFHPCXDF、DFHSAXDF、DFHXDXDF、DFHXRDF、DFHTCXDF、DFHTRXDF、DFHFCXDF

XMEOUT パラメーター: *applid*、*aaa/bbbb*、*X'offset'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHDU0002** *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目の詳細については、『CICS Problem Determination Guide』を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。

モジュール DFHDUDT の場合、(XDUREQ 出口でのユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止によって) ダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS 処理は、CICS を終了させるようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

モジュール DFHDUTM の場合には、システム・ダンプがとられます。このダンプは抑止できません。CICS 処理は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、呼び出し側が CICS を終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

このメッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に使用しないとシステムを実行できない場合は、制御シャットダウンを実行して CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール DFHDUDT または DFHDUTM でエラーが発生した場合は、ダンプ・テーブルは使用できない可能性があります。したがって、ダンプ・コードに関連するすべての EXEC API コマンドは失敗し、とられたダンプはすべて (特定のダンプ・コードについてダンプ・テーブルに書き込んだ情報ではなく) デフォルト情報 (例えば、CICS を終了するかどうか) により処理されます。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、『CICS Problem Determination Guide』の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDUDT、DFHDUTM

---

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'code'*、*modname*  
宛先: コンソール



**DFHDU0004 applid A possible loop has been detected at offset X'offset' in module modname.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'offset' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

モジュール DFHDUDT の場合、(XDUREQ 出口でのユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止によって) ダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS の処理は続行されます。

モジュール DFHDUTM の場合には、システム・ダンプがとられます。このダンプは抑止できません。CICS 処理は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判別する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるため、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で測られます) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDUDT、DFHDUTM、DFHDUXD、DFHDIUIO、DFHDUSU、DFHDUXW、DFHPCXDF、DFHSAXDF、DFHXDXDF、DFHXRDF、DFHTCXDF、DFHTRXDF、DFHFCXDF

XMEOUT パラメーター: *applid*、X'offset'、*modname*

宛先: コンソール

**DFHDU0006 applid Insufficient storage to satisfy Getmain (code X'code') in module modname. VSE code vscode.**

説明: OS/390 GETMAIN がモジュール *modname* によって発行されましたが、要求を満たすだけの十分なストレージがありませんでした。

コード X'code' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。このエラーは、16 M 境界より上で発生しました。

コード *vscode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目は、トレース・テーブル内に作成され (メッセージ内のコード *code*)、システム・ダンプがとられません。このダンプは抑止できません。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合は、問題は一時的なものである場合があります。その場合は、より多くのストレージが使用可能になると、自然に問題が解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

問題がモジュール DFHDUTM にあるので、ダンプ・テーブルをブラウズするための EXEC API コマンドは実行されない可能性があります。または、ダンプ・テーブルへの追加が行われない可能性があります。

OS/390 GETMAIN 戻りコードの診断情報は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』で説明されています。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、CICS 区画のサイズが最大でない場合は、サイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHDUTM

宛先: コンソール

**DFHDU0102 applid DFHDIUIO could not be loaded. Transaction dump is inoperative.**

説明: CICS は、初期設定中にモジュール DFHDIUIO を見つけることができませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目が作成され、CICS はトランザクション・ダンプ機能が作動不能の状態に続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 例外トレース項目および他のすべての関連メッセージを利用して、モジュール DFHDIUIO を使用できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDUDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHDU0103 applid An abend has occurred during initialization of dump domain in module DFHDUDM.**

説明: ダンプ・ドメインの初期設定が失敗しました。  
システムの処置: CICS は終了します。

例外トレースおよびカーネル・ダンプが、ダンプ・ドメインによって出されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHDU0201 applid About to take SDUMP. Dumpcode: dumpcode, Dumpid: dumpid.**

説明: エラー (おそらく以前のメッセージによって伝えられた) により、CICS ダンプ (DU) ドメインの呼び出しが行われました。ダンプ・ドメインは、以下の条件が満たされている場合には、VSE SDUMP 機能呼び出し直前にこのメッセージを出します。

- SDUMPS に関してシステム初期設定パラメーター DUMP=YES が指定された。
- ダンプ・コード *dumpcode* 用のダンプ・テーブル項目が、システム SDUMP が必要であることを指定している。
- ダンプ・テーブル項目内のこのダンプ・コードのダンプ最大限度を超えていない。
- ユーザー出口 XDUREQ がこのダンプをとることを抑止しない。

ダンプ・コード *dumpcode* は、CICS 問題を識別する 8 文字のシステム・ダンプ・コードです。しかし、これらの文字の一部はブランクでも構いません。システム・ダンプ・コードは、DFH 接頭部を除いた CICS メッセージ番号です。

*dumpid* は、このダンプを識別する 9 文字の固有の文字列です。

システムの処置: ダンプが完了したとき、メッセージ番号 DFHDU0202 が出されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、*dumpcode* が示す CICS メッセージを参照して問題を解決してくれるはずです。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

**DFHDU0202 applid SDUMP complete.**

説明: このメッセージは、SDUMP が正常に完了した時点で出されます。

システムの処置: このダンプ用のダンプ・テーブル項目またはダンプ (DU) ドメインに対するダンプ呼び出しによって、CICS のシャットダウンを要求しない限り、処理が続行されます。

ユーザーの処置: 必要ならシステム・ダンプを印刷してください。直前の VSE メッセージは、SYSDUMP ライブラリーを識別し、SYSDUMP ライブラリーのどのメンバーがダンプを含んでいるかを示しています。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

**DFHDU0203I date time applid A transaction dump was taken for dumpcode: dumpcode, Dumpid: dumpid.**

説明: CICS トランザクションが異常終了し (おそらく前のメッセージによって伝えられている)、CICS ダンプ (DU) ドメインがトランザクション・ダンプをとりました。

ダンプ・コード *dumpcode* は、ダンプがトランザクション異常終了の結果として要求された場合には、通常は 4 文字の CICS トランザクション異常終了コードです。それは、EXEC CICS DUMP TRANSACTION 要求の DUMPCODE オペランドの値でもある場合があります。

ダンプ ID *dumpid* は、このダンプを識別する 9 文字の固有の文字列です。

システムの処置: トランザクション・ダンプは、現行の CICS ダンプ・データ・セット、すなわち DFHDMPA または DFHDMPB のいずれかに書き込まれます。

指定された異常終了コード用のダンプ・テーブル項目が終了を特に要求している場合には、CICS は終了することがあります。

ユーザーの処置: 必要ならトランザクション・ダンプを印刷してください。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, dumpcode, dumpid*

宛先: CDUL

**DFHDU0205 applid A system dump for dumpcode: dumpcode was suppressed by the reason.**

説明: エラー (おそらく前のメッセージによって示されている) により、CICS (DU) ダンプ・ドメインの呼び出しが行われましたが、理由 *reason* によりシステム・ダンプをとるのに失敗しました。理由 *reason* は、ダンプの抑止を引き起こした原因を示しています。

- XDUREQ ユーザー出口
- ダンプ・コード *dumpcode* についてのダンプ・テーブル・オプション
- グローバル・システム・ダンプ抑止オプション

ダンプ・コード *dumpcode* は、CICS 問題を識別する 8 文字のシステム・ダンプ・コードです。しかし、これらの文字の一部はブランクでも構いません。システム・ダンプ・コードは、DFH 接頭部を除いた CICS メッセージ番号です。

システムの処置: システム・ダンプは作成されません。ただし、このダンプ・コード用のダンプ・テーブル項目またはダンプ・ドメインの呼び出し側が CICS の終了を要求した場合には、CICS は終了します。

ユーザーの処置: このダンプ・コードにシステム・ダンプが必要な場合、メッセージで示された理由 *reason* に該当するユーザーの処置を実行してください。

- ユーザー出口 XDUREQ がダンプを抑制した場合には、この出口を非活動状態にするか、もしくはより永続的な方法として、ダンプを抑制しないようユーザー出口プログラムを変更する。
- ダンプ・テーブルがダンプを抑制した場合には、CEMT または CECI を使用して、ダンプ・コード *dumpcode* 用のダンプ・テーブル項目を表示して更新する。
- グローバル・システム・ダンプ抑制オプションによりダンプが抑制された場合には、システム初期設定パラメーター DUMP=YES を指定して、将来、システム・ダンプがとられるようにする。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

**DFHDU0206I** *date time applid A transaction dump for dumpcode: dumpcode was suppressed by the reason.*

説明: CICS トランザクションが異常終了し (これは、おそらく前のメッセージによって示されている)、CICS ダンプ (DU) ドメインが理由 *reason* によりトランザクション・ダンプをとるのに失敗しました。理由 *reason* は、ダンプが抑制された理由を示しています。

- XDUREQ ユーザー出口
- このダンプ・コードのダンプ・テーブル・オプション

ダンプ・コード *dumpcode* は 4 文字の CICS トランザクション異常終了コードです。

システムの処置: トランザクション・ダンプは作成されません。ただし、このダンプ・コード用のダンプ・テーブル項目またはダンプ・ドメインの呼び出し側で特に CICS の終了を要求している場合には、CICS は終了します。

ユーザーの処置: このダンプ・コードにトランザクション・ダンプが必要な場合には、メッセージで示された理由 *reason* に該当するユーザーの処置を実行してください。

- ユーザー出口 XDUREQ がダンプを抑制した場合には、この出口を非活動状態にするか、もしくはより永続的な方法として、ダンプが抑制されないようユーザー出口プログラムを変更する。
- ダンプ・テーブルがダンプを抑制した場合には、CEMT または CECI を使用して、ダンプ・コード *dumpcode* 用のダンプ・テーブル項目を表示して更新する。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, dumpcode, reason*  
宛先: CDUL

**DFHDU0207I** *date time applid Transaction and system dumps for dumpcode: dumpcode were suppressed by the reason.*

説明: CICS トランザクションが異常終了し (これは、おそらく前のメッセージによって示されている)、理由 *reason* により、CICS ダンプ (DU) ドメインがトランザクション・ダンプもシステム・ダンプもとりませんでした。理由 *reason* は、ダンプが抑制された原因を示しています。

- XDUREQ ユーザー出口
- このダンプ・コードのダンプ・テーブル・オプション

ダンプ・コード *dumpcode* は 4 文字の CICS トランザクション異常終了コードです。

システムの処置: トランザクション・ダンプもシステム・ダンプも作成されません。ただし、このダンプ・コード用のダンプ・テーブル項目またはダンプ・ドメインの呼び出し側で特に CICS の終了を要求している場合には、CICS は終了します。

ユーザーの処置: このダンプ・コードにトランザクション・ダンプまたはシステム・ダンプ (あるいはその両方) が必要な場合には、メッセージで示された理由 *reason* に該当するユーザーの処置を実行してください。

- ユーザー出口 XDUREQ がダンプを抑制した場合には、この出口を非活動状態にするか、もしくはより永続的な変更としてダンプが抑制されるようユーザー出口プログラムを変更する。
- ダンプ・テーブルがダンプを抑制した場合には、CEMT または CECI を使用して、ダンプ・コード用のダンプ・テーブル項目を表示して更新する。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, dumpcode, reason*  
宛先: CDUL

**DFHDU0210** *applid SDUMPX REQUEST FAILED - reason.*

説明: メッセージ DFHDU0201I によって伝えられた CICS からの VSE SDUMPX 要求は、正常に完了しませんでした。考えられる失敗の理由 (*reason*) は、次のとおりです。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' ONLY PARTIAL**

**DUMP.** ダンプされるストレージ域の数が、1 つの SDUMPX 要求に許可されている最大数を超過しています。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' NO SYSDUMP LIBRARY AVAILABLE**

CICS ジョブに SYSDUMP ライブラリーが定義されていません。VSE SYSDUMPC ジョブ制御オプションが有効である場合、ダンプは抑制されますが、そうでない場合には、ダンプは SYSLST にリダイレクトされます。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' SYSDUMP LIBRARY IS FULL**

CICS ジョブに定義されている SYSDUMP ライブラリーがいっぱいです。SYSDUMPC ジョブ制御オプションが有効である場合、ダンプは抑制されますが、そうでない場合には、ダンプは SYSLST にリダイレクトされます。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON = X'mm'**

VSE は、上記以外の何らかの理由のため、SDUMPX 要求を受け入れませんでした。X'nn' は SDUMPX 戻りコードを示し、X'mm' は SDUMPX 理由コードを示します。

**NOT AUTHORIZED IN CICS**

SDUMPX は、この CICS 実行に関して許可されていません。

**INSUFFICIENT STORAGE**

CICS は、SDUMPX 要求の実行中にストレージの OS/390 GETMAIN を出しました。この OS/390 GETMAIN は VSE により拒否されました。

**DFHDUSVC FESTAE FAILED. FESTAE RETURN CODE**

**X'nn'** CICS は、SDUMPX 要求の処理中に DFHDUSVC から OS/390 FESTAE 要求を出しました。この要求は VSE により拒否されました。

システムの処置: CICS は、ダンプが成功したかのように続行されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、障害が起きた原因 (*reason*) によって異なります。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' ONLY PARTIAL**

**DUMP.** 戻りコードを用いて、部分ダンプがとられた理由を判別してください。SDUMPX 戻りコード X'nn' の説明については、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' NO SYSDUMP LIBRARY AVAILABLE**

CICS ジョブに SYSDUMP ライブラリーを定義し、それから SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。SYSDUMP ライブラリーの定義方法については、「z/VSE Diagnosis Tools」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' SYSDUMP LIBRARY IS FULL**

ダンプ・ライブラリーから一部のダンプを消去し、SDUMP が再び出されるようにしてください。SYSDUMP ライブラリーを削除、またはダンプをオフロードする方法については、「z/VSE Diagnosis Tools」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'**

ダンプが意図的に抑止されている場合には、処置は必要ありません。SDUMPX ルーチンでのエラーのためにダンプが失敗した場合には、戻りコードを用いてエラーを修正し、それから SDUMPX 要求が再び出されるようにしてください。SDUMPX 戻りコード X'mm' および理由コード X'nn' の説明については、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。

**NOT AUTHORIZED IN CICS**

SDUMPX は CICS の初期設定時に無条件に許可され、CICS の実行中は許可されているので、この理由が表示されないはずですが。万一この理由が出された場合には、CICS AFCB (許可された機能制御ブロック) が誤って上書きされたものと思われる。

**INSUFFICIENT STORAGE**

十分な区画のストレージが OS/390 GETMAIN 要求で得られるようにしてください。

**DFHDUSVC FESTAE FAILED. FESTAE RETURN CODE**

**X'nn'** 戻りコードを用いて OS/390 FESTAE が失敗した理由を判別し、それから SDUMPX 要求が再び出されるようにしてください。OS/390 FESTAE の戻りコードについての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

**DFHDU0211 applid THE XDUREQ USER EXIT IS NOT CALLED FOR DUMPCODE dumpcode.**

説明: 重大なシステム・エラーが起きたため、システム・ダンプ *dumpcode* については XDUREQ ユーザー出口 (システム・ダンプを抑止できる) は呼び出されませんでした。

システムの処置: XDUREQ ユーザー出口は呼び出されません。

DFHDU0211 の後には、メッセージ DFHDU0201 (ダンプ *dumpcode* がとられたことを示す) か、またはメッセージ DFHDU0205 (ダンプ *dumpcode* が抑止されたことを示す) が表示されます。CICS が終了する場合は、メッセージ DFHDU0201 または DFHDU0205 に続いて、メッセージ DFHDU0309 が表示されます。

後続のシステム・ダンプのために、XDUREQ ユーザー出口が呼び出されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

**DFHDU0212 applid Requested transaction dump code dumpcode is invalid.**

説明: 要求されたトランザクション・ダンプ・コードに、印刷不能文字があるか、または先行ブランクあるいは組み込みブランクがあります。

システムの処置: トランザクション・ダンプは、ユーザー出口 XDUREQ によって抑止されない限り、作成されます。ただし、ダンプ統計はコミットされません。トランザクション・ダンプは、メッセージ DFHDU0203 が出されると完了します。無効なダンプ・コードは、ダンプ・ドメイン (DU) のトレース・ポイント X'0600' および X'0601' に示されています。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを印刷して、異常終了または EXEC CICS 要求が無効なダンプ・コードとともに出された理由を判断してください。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dumpcode*

宛先: コンソール

**DFHDU0302I applid Transaction Dump Data set dataset to be closed due to text-descr**

説明: このメッセージは、トランザクション・ダンプ・データ・セットに対してレコードの書き込みを行っているときに出力されます。*text-descr* は次のいずれかです。

- I/O ABEND
- TASK TIMEOUT
- TASK CANCEL

システムの処置: *text-descr* が I/O ABEND でない限り、なし。I/O ABEND の場合には、例外項目がトレース・テーブルに作成され、システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

I/O ABEND の場合には、通常、データ・セットの問題を識別

するの役に立つ VSE エラー・メッセージと一緒に出されま  
す。

問題が CICS の大きな破壊によるものではない場合には、ダン  
プ・データ・セットの正常に交換すれば、トランザクション・  
ダンプ環境は復元されます。正常に交換されない場合、  
XDUOUT ユーザー出口が活動状態の場合にのみトランザクシ  
ョン・ダンプ環境は使用可能です。

モジュール: DFHDUIO

XMEOUT パラメーター: *applid, dataset, text-descr*

宛先: コンソール

#### DFHDU0303I *applid Transaction Dump Data set dataset closed.*

説明: このメッセージは、次のいずれかの状態のときに出され  
ます。

- ダンプ・データ・セットをクローズする要求が、オペレータ  
ーによって出された。
- CICS システムがシャットダウンされた。
- ダンプ・データ・セットを交換する要求が、オペレーターに  
よって出された。
- トランザクション・ダンプ・データ・セットがいっぱいにな  
った。

メッセージ中の *dataset* は、クローズされるデータ・セットの  
名前を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

トランザクション・ダンプ・データ・セットの自動交換が活動  
状態でない場合には、トランザクション・ダンプ環境は、  
XDUOUT ユーザー出口が活動状態である場合にのみ使用でき  
ます。

自動交換が使用できる場合には、このメッセージに続いて、メ  
ッセージ DFHDU0304 と DFHDU0305 が出されます。これら  
は、データ・セット交換が正常に行われたことを示します。

交換が正常に行われなかった場合には、このメッセージに続い  
てメッセージ DFHDU0306 が出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター: *applid, dataset*

宛先: コンソール

#### DFHDU0304I *applid Transaction Dump Data set dataset opened.*

説明: このメッセージは、次のいずれかの状態が起こるときに  
出力されます。

- ダンプ・データ・セットをオープンする要求が、オペレータ  
ーによって出された。
- CICS システムが立ち上がった。
- ダンプ・データ・セットを交換する要求が、オペレーターに  
よって出された。
- ダンプ・データ・セット間での自動交換が実行されている。

メッセージ内の *dataset* は、オープンされているデータ・セッ  
ト名を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター: *applid, dataset*

宛先: コンソール

#### DFHDU0305I *applid Transaction Dump Data set switched to filename*

説明: このメッセージは、次のいずれかの状態が起きた場合に  
出されます。

- オペレーターが、ダンプ・データ・セットを交換するための  
コマンドを出した。
- ダンプ・データ・セットがいっぱいなので、ダンプ・デー  
タ・セット間で自動交換が行われている。

このメッセージの前には、必ずメッセージ DFHDU0304 が出  
されています。また、旧ダンプ・データ・セットがオープンに  
なっている場合には、メッセージ DFHDU0303 が出されてい  
ます。

メッセージ内の *filename* は、活動状態のトランザクション・ダ  
ンプ・データ・セットのファイル名 (DFHDMPA または  
DFHDMPB) を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 完了済みのダンプ・データ・セットを印刷ま  
たはコピーし、必要であれば、再度コマンド CEMT SET  
DUMP AUTO を出してください。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター: *applid, filename*

宛先: コンソール

#### DFHDU0306 *applid Unable to open Transaction Dump Data set dataset - text-descr*

説明: このメッセージは、トランザクション・ダンプ・デー  
タ・セットをオープンしようとするときに出されます。

*text-descr* は次のいずれかです。

##### OPEN ERROR

ダンプ・データ・セットをオープンする試みが行わ  
れ、異常終了出口が呼び出されました。この条件が  
起こると、通常、VSE システム・メッセージが表示  
されます。

##### INSUFFICIENT STORAGE

16 MB 境界より下のストレージを獲得するために、  
OS/390 GETMAIN が出されました。この要求は成  
功しませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成さ  
れます。

いずれの場合もトランザクション・ダンプ・データ・セットは  
オープンされません。XDUOUT 出口が活動状態でない限り、  
トランザクション・ダンプは操作不能です。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセ  
ージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 詳細については、関連した VSE メッセージ  
を参照してください。

モジュール: DFHDUIO

XMEOUT パラメーター: *applid, dataset, text-descr*

宛先: コンソール

**DFHDU0307 *applid* Module DFHUIO is unavailable.**

**Transaction dump is inoperative.**

説明: このメッセージは、ダンプ・データ・セットのオープンまたはクローズが行われたとき、またはダンプ・データ・セット間の交換が行われたときに出力されます。これは、初期設定時に CICS がモジュール DFHUIO を見つけることができなかったことをユーザーが忘れないようにするためです。CICS は初期設定時にメッセージ DFHDU0102 を出して、この条件に関してユーザーに警告します。

システムの処置: CICS は、トランザクション・ダンプ機能が操作不能のままに続行されます。

ユーザーの処置: 必要なら、メッセージ DFHDU0102 のユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHDU0308I *applid* CICS will terminate because the Dump Table entry for the transaction dump code: *dumpcode* specifies shutdown.**

説明: トランザクション・ダンプ・コード *dumpcode* のトランザクション・ダンプが要求されたが、関連付けられたダンプ・テーブル項目では CICS を終了することを指定している場合に、このメッセージは出力されます。

このメッセージは、その項目が、CICS の終了を要求したトランザクション・ダンプ・テーブル項目であったことを示しています。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 通常の方法でトランザクション・ダンプを処理してください。

ウォーム・スタートまたは緊急始動を行うと、明示的に定義されたダンプ・テーブル項目がカタログからリストアされます。*dumpcode* のダンプ・テーブル項目を明示的に定義してあった場合には、CEMT または EXEC API コマンドを使用して、必要に応じてそれを修正し、CICS が終了しないようにすることができます。

暗黙的に定義されたダンプ・テーブル項目は、カタログに記録されないで、リストアされません。コールド・スタートでは、CICS はカタログからダンプ・テーブルをリストアしません。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター: *applid, dumpcode*

宛先: コンソール

**DFHDU0309I *applid* CICS will terminate because the Dump Table entry for the system dump code: *dumpcode* specifies shutdown.**

説明: システム・ダンプ・コード *dumpcode* のシステム・ダンプが要求されたが、関連付けられたダンプ・テーブル項目では

CICS を終了することを指定している場合に、このメッセージが出力されます。

このメッセージは、その項目が、CICS の終了を要求したシステム・ダンプ・テーブル項目であったことを示しています。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 必要に応じて、システム・ダンプを印刷してください。

ウォーム・スタートまたは緊急始動を行うと、明示的に定義されたダンプ・テーブル項目がカタログからリストアされます。*dumpcode* のダンプ・テーブル項目が明示的に定義されている場合には、CEMT または EXEC API コマンドを使用してそれを修正し、CICS が終了しないようにすることができます。

暗黙的に定義されたダンプ・テーブル項目は、カタログに記録されないで、リストアされません。コールド・スタートでは、CICS はカタログからダンプ・テーブルをリストアしません。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

**DFHDU1601 DATA SET READ ERROR.**

説明: アクセス方式が読み取りエラーを示しました。最後の CICS 実行時に、ダンプ・データ・セットがオープンされていない可能性があります。

システムの処置: そのレコードはスキップされます。

ユーザーの処置: JCL が正しいことを確認してください。または、読み取りエラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHDU430

宛先: コンソール

**DFHDU1602 36 CONSECUTIVE UNIDENTIFIABLE RECORDS, DUMP UTILITY TERMINATED.**

説明: 識別レコードのコードまたは形式が誤っています。このエラーに関する最も一般的な理由は、次のとおりです。

- 正しくないデータ・セットが処理されている。
- ユーティリティーが処理しようとしているダンプ・データ・セットが、現在の CICS の実行で使用されているものではない。

後者の場合、エラーが発生する理由は、現在の実行でダンプが作成されなかったか、またはそのデータ・セットが交換されていたかのいずれかです。

システムの処置: レコードがスキップされ、実行は終了して戻りコード 8 が出力されます。

ユーザーの処置: 正しいデータ・セットが処理されていることを確認してください。または、ダンプ管理プログラム (DFHDCP) にエラーがないかどうかを調べてください。

2 つのダンプ・データ・セットが使用されている場合には、処理されているデータ・セットが現行の CICS 実行で以前に使用されたものかどうか検査してください。

モジュール: DFHDU430

宛先: コンソール

---

**DFHDU1603 NO DLBL CARD FOR {DUMP | PRINT}  
DATA SET {DFHDUMP | DFHPRNT},  
DUMP UTILITY TERMINATED.**

説明: ダンプまたは印刷データ・セットのオープンが正しく行われませんでした。

システムの処置: オープンが正しく行われなかったのがダンプ・データ・セットだった場合、システムは、このメッセージを印刷データ・セット上に印刷し、実行を終了して戻りコード 12 を出します。

印刷データ・セットのオープンが正しく行われなかった場合には、システムは、実行を終了して戻りコード 16 を出します。ユーザーの処置: JCL が、このメッセージに示されているファイル名に関して正しい場合には、データ・セットをオープンできない理由を判別してください。戻りコードは、DFHDU430 によって出されます。これらの戻りコードは、失敗したのがダンプなのか印刷データ・セットなのかを識別するだけです。

モジュール: DFHDU430  
宛先: コンソール

---

**DFHDU1604 END OF FILE ENCOUNTERED, LAST  
DUMP MAY BE INCOMPLETE.**

説明: ダンプ・データ・セットがいっぱいになりました。システムの処置: ダンプ・ユーティリティ・プログラム DFHDU430 は終了します。

ユーザーの処置: そのダンプが完全なものであるかどうか、またダンプの最後に不完全メッセージがないかどうかを調べてください。ダンプの最後に不完全メッセージがある場合には、データ・セット内の最後のダンプに必要なすべての情報が入っていない可能性があります。問題を再現させて、完全なダンプをとるように試みてください。ダンプがとられたときにダンプ・データ・セット自動交換が活動状態であった場合には、ダンプの完全なものが代替ダンプ・データ・セットに存在しています。

モジュール: DFHDU430  
宛先: SYSLST

---

**DFHDU1609 36 CONSECUTIVE INVALID READ  
ERRORS. DUMP UTILITY TERMINATED.**

説明: アクセス方式が、ダンプ・データ・セット内に 36 個の連続する無効なレコードが存在することを示しています。この問題の推定原因としては、ファイルの終わりのマーカーが無効であることが考えられます。この無効なマーカーにより、アクセス方式は、データ・セット内の最後のレコード以降を読み取ろうとしました。この問題は、以下の場合にも発生する可能性があります。

- DFHDU430 が、これまで CICS によってアクセスされたことのないデータ・セットで実行された。このデータ・セットには、無効なタイプのレコード形式が入っている可能性があります。
- DFHDU430 が、正しくないブロック・サイズとレコード形式で複写されたデータ・セットで実行された。

システムの処置: ダンプ・ユーティリティの実行は、DFHDU430 から戻りコード 8 を出して終了します。ユーザーの処置: アクセスが失敗した原因を判別して、それを

訂正してください。必要に応じてダンプを再作成してください。

モジュール: DFHDU430  
宛先: コンソール

---

**DFHDU1610 DUMP FORMATTING HAS  
ENCOUNTERED AN INVALID TRACE  
BLOCK. TRACE ENTRIES MAY BE LOST.**

説明: ダンプ・ユーティリティ・プログラム DFHDU430 が、トレース・データ・セットからトレース・レコードをコピーしているときに、エラーを検出しました。トレース・レコードは、定様式出力から省略されます。

システムの処置: DFHDU430 は、次のトレース・ブロックを読み取って、トレース・レコードの形式設定を続行しようとしています。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDU430  
宛先: コンソール

---

**DFHDU1611 FILE ERROR, FULL TRACE FAILED.  
DUMP FORMATTING WILL CONTINUE  
WITH ABBREVIATED TRACE.**

説明: NOTE マクロ内のエラーのため、ダンプ・ユーティリティ・プログラム DFHDU430 は、トレース・データが開始されたデータ・セットの位置を記録することができませんでした。そのため、形式設定 FULL でトレースを印刷するために省略形式のトレースを設定した後に、トレース・データの開始点に戻ることはできません。

システムの処置: トランザクション・ダンプの形式制御は、このダンプに関しては省略トレースでしか続行されません。

ユーザーの処置: 完全トレースだけがが必要な場合は、NOABBREV パラメーターを設定した DFHDU430 ジョブを再実行してください。必要でない場合は、ダンプの再作成を試みてください。この問題が再発する場合は、IBM の支援が必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDU430  
宛先: コンソール

---

---

## DFHDXxxxx メッセージ

---

**DFHDX8310I** *applid* Initiating catch-up tasks.

説明: キャッチアップ・トランザクション CXCUC が制御を受け取りました。

システムの処置: キャッチアップ・トランザクションが、特定の機能区域についてキャッチアップ・タスクを開始するところ

です。  
ユーザーの処置: なし。これは単なる「作業進行中」メッセージです。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHCXCU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHDX8311I** *applid* System initialized with XRF=NO.

**Catch-up transaction CXCUC took no action.**

説明: キャッチアップ・トランザクション CXCUC が呼び出されましたが、CICS システムは XRF=NO を指定していました。キャッチアップ機能は関係がありません。

システムの処置: キャッチアップ・トランザクションは、何も処置をとらずに正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCXCU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHDX8312I** *applid* Catch-up transaction failed to run program DFHZXCU. Catch-up is incomplete.

説明: 特定のアプリケーション ID が与えられた CICS システムで実行されているキャッチアップ・トランザクション CXCUC は、端末キャッチアップ・サービス・ルーチン DFHZXCU を呼び出すことができませんでした。

システムの処置: ルーチン DFHZXCU に関連したキャッチアップは実行されません。

活動 CICS システムおよび代替 CICS システムは続行されませんが、代替システムは引き継ぎが行われた場合にあまり効力を発揮しません。

ユーザーの処置: 端末から「CXCUC」を入力して再試行してください。エラーがなくなる場合には、ルーチン DFHZXCU が CICS ロード・ライブラリー内に存在するかどうか検査してください。

モジュール: DFHCXCU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHDX8313I** *applid* Catch-up transaction failed.

説明: 特定のアプリケーション ID が与えられた CICS システムで実行中のキャッチアップ・トランザクション CXCUC が、失敗しました。CXCUC は、エンド・ユーザーからのトランザクション要求に応答して実行されるか、または代替 CICS システムの出現に応答して活動 CICS システムにより自動的に実行されます。その目的は、端末に関する活動システムの状態を、代替システムに知らせることです。

システムの処置: CXCUC トランザクションは異常終了し、ダンプが作成され、トランザクション異常終了コード ACXA が出されます。

活動 CICS システムも代替 CICS システムも続行されますが、代替システムは引き継ぎの場合にはあまり効力を発揮しません。例えば、端末バックアップ・セッションが設定されない可能性があります。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 端末から「CXCUC」を入力して再試行してください。エラーがなくなる場合には、ダンプから問題を診断してください。

モジュール: DFHCXCU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

## DFHERxxxx メッセージ

---

**DFHER2813I** *applid* Program DFHRCEX cannot be found

説明: CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンで指定されたどのサブライブラリーからも DFHRCEX を見つけることができません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、LIBDEF 検索チェーンで指定されたサブライブラリーに DFHRCEX を入れてください。

モジュール: DFHDLBP、DFHTCBP、DFHUSBP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHER5721** *applid* DL/I data on DFHRSD, but no DL/I support on the system. Reply 'GO' or 'CANCEL'.

説明: DL/I バックアウト・データは再始動データ・セット DFHRSD 上に存在していますが、DL/I サポートは CICS の

この実行には組み込まれませんでした。(システム初期設定テーブル (SIT) に DLI=NO が指定されているか、またはそのように指定変更されています。)

システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。応答が「GO」である場合、再始動データ・セット上のすべての DL/I データは無視されます。応答が「CANCEL」の場合、ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: Reply 'GO' or 'CANCEL'.

モジュール: DFHDLBP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHER5722** *applid* Backout data present for following {PSB | DMB}(s), but they could not be scheduled: list. Reply 'GO' or 'CANCEL'.

説明: DL/I バックアウト・データは、リストされたプログラム仕様ブロック (PSB) またはデータ管理ブロック (DMB) については、再始動データ・セット上にありますが、問題の制御プ



ロックをスケジュールすることができません。  
 システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。  
 応答が「GO」である場合、問題の PSB 用の (または問題の DMB を参照している PSB 用の) 再始動データ・セット上のすべてのデータは無視されます。応答が「CANCEL」の場合、ダンプが作成され、CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: Reply 'GO' or 'CANCEL'.  
 モジュール: DFHDLBP  
 宛先: コンソール

---

**DFHER5723** *applid Unable to backout for PSB filename.*  
**Backout terminated. Reply 'GO' or 'CANCEL'.**

説明: メッセージに示されたプログラム仕様ブロック (PSB) *filename* のデータをバックアウトしようとしたとき、エラーが起きました。DL/I エラー出口ルーチンがあれば、制御が渡され、出口ルーチンは、スタートアップを取り消す機会をオペレーターに与えるべきだと判断しました。  
 システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。  
 応答が「GO」の場合、バックアウトは次のバックアウト・レコードで続行されます。応答が「CANCEL」の場合、ダンプが作成され、CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: Reply 'GO' or 'CANCEL'.  
 モジュール: DFHDLBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, filename*  
 宛先: コンソール

---

**DFHER5730** *applid User recovery beginning*

説明: 緊急再始動時に、CICS は、CICS モジュール DFHUSBP が処理を開始するときにこのメッセージを出します。DFHUSBP は、システム・ログ内のすべてのアクティブ・ユーザー・ジャーナル・レコードをユーザー出口 XRCINPT に与えます。(アクティブ・ユーザー・レコードとは、未了タスクに関連する、または JCRUTRID (ユーザー・ヘッダー) フィールドの最上位ビットが設定されている、すべてのユーザー・ジャーナル・レコードのことです。)  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHUSBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHER5731** *applid No active user records on the system log*

説明: 緊急再始動時に、CICS は、CICS モジュール DFHUSBP がシステム・ログ内にアクティブ・ユーザー・ジャーナル・レコードを見つけれない場合にこのメッセージを出します。(アクティブ・ユーザー・レコードは、未了タスクに関連したすべてのユーザー・ジャーナル・レコード、または JCRUTRID (ユーザー・ヘッダー) フィールドで高位ビットが設定されているすべてのユーザー・ジャーナル・レコードのことです。) DFHUSBP は、アクティブ・ユーザー・レコードをユーザー出口 XRCINPT に与えます。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHUSBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHER5732** *applid User recovery completed*

説明: 緊急再始動時に、CICS は、CICS モジュール DFHUSBP が処理を終了するときにこのメッセージを出します。DFHUSBP は、アクティブ・ユーザー・レコードをユーザー出口 XRCINPT に与えます。(アクティブ・ユーザー・レコードとは、未了タスクに関連する、または JCRUTRID (ユーザー・ヘッダー) フィールドの最上位ビットが設定されている、すべてのユーザー・ジャーナル・レコードのことです。)  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHUSBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHER5750** *applid DL/I backout beginning*

説明: 緊急再始動時に、CICS は、CICS モジュール DFHDLBP が処理を開始するときにこのメッセージを出します。(DFHDLBP は、未了タスクにより行われた DL/I データベースの変更をバックアウトします。未了タスクとは異常終了が前に起きたときに未了であったタスクのことです。)  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHDLBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHER5751** *applid No DL/I backout required*

説明: 緊急再始動時に、CICS は、バックアウトする必要のある DL/I データベースの変更を CICS モジュール DFHDLBP が見つけられないときに、このメッセージを出します。(DFHDLBP は、未了タスクにより行われた DL/I データベースの変更をバックアウトします。未了タスクとは異常終了が前に起きたときに未了であったタスクのことです。)  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHDLBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHER5752** *applid DL/I backout complete*

説明: 緊急再始動時に、CICS は、CICS モジュール DFHDLBP が処理を終了するときにこのメッセージを出します。(DFHDLBP は、未了タスクにより行われた DL/I データベースの変更をバックアウトします。未了タスクとは異常終了が前に起きたときに未了であったタスクのことです。)  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHDLBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHER5754** *applid* **Backout data present for following PSB(s) but no PDIR entry exists: psblist. Reply 'GO' or 'CANCEL'.**

説明: 緊急再始動時に、CICS は、PDIR (PSB ディレクトリ・リスト) に項目のない PSB (DL/I プログラム仕様ブロック) を必要とするバックアウト・レコードを検出しました。このエラーが起こる理由は、異常終了した前の CICS 実行時に使用されていたものとは異なる PDIR をユーザーが誤って使用していることであると思われます。

システムの処置: 「GO」と応答すると、CICS は未定義 PSB のレコードを無視し、再始動を続行します。「CANCEL」と応答するとシステム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 「CANCEL」と応答するのが安全策です。CICS を再始動する前に、PDIR を修正するか、あるいは SIT オプションまたはオーバーライドに正しい接尾部 PDIR を指定してください。

モジュール: DFHDLBP

宛先: コンソール

---

**DFHER5760** *applid* **Message and ISC state recovery beginning**

説明: 緊急再始動時に、CICS は、CICS モジュール DFHTCBP が処理を開始するときこのメッセージを出します。(DFHTCBP は、セッション再同期のときに使用できるように、端末メッセージとシステム間結合状態をリカバリーします。)

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCBP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHER5761** *applid* **No message or ISC state recovery required**

説明: セッション同期が影響を受けたときに前のシステム・リカバリーが行われませんでした。そのため CICS モジュール DFHTCBP はリカバリーを行う必要はありません。

(DFHTCBP は、セッション再同期のときに使用できるように、端末メッセージとシステム間結合状態をリカバリーします。)

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCBP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHER5762** *applid* **Message and ISC state recovery completed**

説明: CICS モジュール DFHTCBP は処理を終了しました。(DFHTCBP は、セッション再同期のときに使用できるように、端末メッセージとシステム間結合状態をリカバリーします。)

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCBP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHER5763** *applid* **Message and ISC state recovery failed. CICS logic error.**

説明: CICS モジュール DFHTCBP は失敗しました。システムの処置: CICS は終了して、異常終了コード ABP3 を出します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCBP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

## DFHEVxxxx メッセージ

---

**DFHEV1020S** *filename* **Logical Unit lunit is either invalid for this partition or is set to UA or IGN.**

説明: ファイル *filename* をオープンしようとしたとき、論理装置 *lunit* が有効でないか、あるいは DLBL に UA または IGN として定義されていないことが検出されました。

システムの処置: オープンが行われず、オープンを要求したモジュールに戻りコード 8 以上が戻されます。

ユーザーの処置: ファイルが UA または IGN として定義されているかどうか、ファイルの DLBL を検査してください。そのように定義されているなら、それを変更してジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHEVOP

宛先: コンソール

---

**DFHEV4020S** *filename* **PUT failed. Unsupported mode.**

説明: PUT LOCATE が必要なのか PUT MOVE が必要なのか判別できなかったため、ファイル *filename* の PUT 操作は失敗しました。

システムの処置: PUT の要求を行ったモジュールにエラーが返されます。

ユーザーの処置: エラーの処理は、PUT を要求したモジュールの責任です。ファイルは、PUT 操作にオープンされなかったか、あるいはストレージの上書きが行われました。追加のメッセージおよび異常終了がないかどうか検査してください。

モジュール: DFHEVPG

宛先: コンソール

---

**DFHEV4030S** *filename* **GET failed. Unsupported mode.**

説明: GET LOCATE が必要なのか GET MOVE が必要なのか判別できなかったため、ファイル *filename* の GET 操作は失敗しました。

システムの処置: GET の要求を行ったモジュールにエラーが返されます。

ユーザーの処置: エラーの処理は、GET を要求したモジュールの責任です。ファイルは、PUT 操作にオープンされなかったか、あるいはストレージの上書きが行われました。追加のメッセージおよび異常終了がないかどうか検査してください。

モジュール: DFHEVPG

---

宛先: コンソール

---

**DFHEV5010I CICS is busy. VSE MSG command has been rejected.**

説明: トランザクションを起動する 255 個の MSG コマンドが現在キューに入れられているため、CICS は MSG コマンドを受け入れることができません。

システムの処置: CICS は MSG コマンドを拒否します。

ユーザーの処置: MSG コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHEVAS

宛先: コンソール

---

**DFHEV9910W filename Unable to allocate storage for DTF.**

説明: DTF に必要なストレージを割り振ることができなかったため、ファイル *filename* の DTF の LE 作成が失敗しました。そのファイル用の DTF がいないため、そのファイルに関して入出力操作を行うことはできません。

システムの処置: 戻りコードを最小値 8 に設定して呼び出しモジュールに戻ります。

ユーザーの処置: エラーの処理は、OPEN を要求したモジュールの責任です。メッセージ DFHEV9920 を検査して LE 戻りコードを確認し、呼び出しモジュールからの追加メッセージおよび異常終了がないかどうか調べてください。

使用可能な GETVIS スペースが不十分である可能性があります。ジョブを再始動する前に、JCL EXEC ステートメントの SIZE パラメーターを設定するか (設定されていない場合)、あるいは区画のサイズを増やすことにより、GETVIS 域を増やしてください。

モジュール: DFHEVOP

宛先: コンソール

---

**DFHEV9920S filename DTF Builder failed: reason Error code: rc.**

説明: *reason* およびエラー・コード *rc* のため、ファイル *filename* の DTF の LE 作成が失敗しました。

システムの処置: Open は失敗し、戻りコードは最小値 8 に設定されます。

---

## DFHEXxxxx メッセージ

---

**DFHEX0001 An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred in module *modname*.**

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了 *aaa/bbbb* が、モジュール *modname* で発生しました。これは、外部 CICS インターフェース・コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

あるいは、予期しないデータが外部 CICS インターフェース呼び出しで渡されたか、ストレージが上書きされました。

コード *aaa* は、(該当する場合) 3 桁の 16 進 VSE システム完了コード *aaa* (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。*aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、(該当する場合) 外部 CICS インターフェースにより作成されたユーザー異常終了コードです。ユーザー異常終了コードが該当しない場合は、このフィールドは 4 つのハイフンで埋められます。

システムの処置: 例外項目が、外部 CICS インターフェース

ユーザーの処置: このファイルがなくても、続行することは可能です。オープンを要求しているプログラムは、このオープンの失敗を処理し、適切な処置を実行する必要があります。

LE 作成プログラムのエラー・コードを検査し、問題が再発するのを防ぐために必要な修正処置を実行してください。

モジュール: DFHEVOP

宛先: コンソール

---

**DFHEV9930S filename DCB does not have an associated DFHSIOCT Structure.**

説明: ファイル *filename* の DTF の作成を取り扱うコードが、そのファイルの定義にエラーがあるのを検出しました。DFHSIOCT 構造を見つけることができませんでした。

システムの処置: OPEN は失敗し、戻りコードは最小値 8 に設定されます。

ユーザーの処置: どのファイルのオープンが失敗するかによって、これは重大な問題となる場合もあれば、そうでない場合もあります。適切な処置を実行するのは、オープン要求を出したプログラムの責任です。

追加のメッセージおよび異常終了がないかどうか検査してください。

モジュール: DFHEVOP

宛先: コンソール

---

**DFHEV9941S filename Label is missing.**

説明: DLBL または TLBL のファイル名があらゆるラベル域で利用できないことが CICS によって判別されたため、ファイル *filename* の DTF のオープンが試行されませんでした。

システムの処置: DTF のオープンは試行されませんでした。

影響を受けるファイルはオープンされません。

ユーザーの処置: CICS ジョブ、ファイル: PK81745

PSFSDATA A1 Worldwide VM/ESA 会話型モニター・システム PARSTD/CLASSTD または STDLABEL のいずれかに、ファイルについての適切なラベル・ステートメントがあることを確認してください。

モジュール: DFHEVOP

宛先: コンソール

の内部トレース・テーブルに作成され、SDUMP がとられます。

外部 CICS インターフェースは現行要求を終了し、さらにほかの EXCI 要求が処理できるように整合性のとれた状態にリカバリしようとしています。EXCI CALL API を使用したアプリケーションの場合は、ESTAE\_INVOKED の REASON とともに EXCI\_SYSTEM\_ERROR の応答がアプリケーションに戻されません。EXCI EXEC API を使用したアプリケーションの場合は、呼び出しレベル ESTAE ルーチンが呼び出されたか EXEC レベル ESTAE ルーチンが呼び出されたかに応じて、ESTAE\_INVOKED または EXEC\_ESTAE\_INVOKED の EXEC\_RESP2 とともに、LINKERR の EXEC\_RESP がアプリケーションに戻されます。

ユーザーの処置: VSE コード *aaa* がある場合には、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

該当する場合には、詳細について、557 ページの『第 2 章 ト

## DFHEX0002 • DFHEX0110

ランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE) の異常終了コード *bbbb* の説明を参照してください。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXCPRH、DFHXCEIP

宛先: コンソール

---

### DFHEX0002 A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目が EXCI 内部トレース・テーブル内に作成されます (メッセージ内の X'*code*'). システム・ダンプがとられます。

これはクリティカル・エラーであり、EXCI 要求が終了します。外部 CICS インターフェースは、さらに他の EXCI 要求が出されるように整合性のとれた状態にリカバリーしようとし、EXCI CALL API を使用するアプリケーションの場合、アプリケーションに戻された EXCI\_REASON はエラーの理由を示します。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションの場合、RETCODE 域の EXEC\_RESP2 フィールドに理由が戻されます。

ユーザーの処置: この障害は、外部 CICS インターフェース・コードに重大エラーがあることを示します。EXCI 例外トレース項目についての詳細は、「*CICS Problem Determination Guide*」を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXCPRH、DFHXCEIP

宛先: コンソール

---

### DFHEX0003 A GETMAIN request in module *modname* (code X'*code*') has failed. Reason X'*rc*'.

説明: ストレージ要求がモジュール *modname* によって出されましたが、それは失敗して戻りコード *rc* が出されました。

コード X'*code*' は、要求が出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目が EXCI 内部トレース・テーブル内で作成されます (メッセージ内のコード X'*code*'). これはクリティカル・エラーであり、EXCI 要求が終了します。外部 CICS インターフェースは、さらに他の EXCI 要求が出されるように整合性のとれた状態にリカバリーしようとし、EXCI CALL API を使用するアプリケーションの場合、アプリケーションに戻された EXCI\_REASON は障害の位置を示します。

EXCI EXEC API を使用するアプリケーションの場合、RETCODE 域の EXEC\_RESP2 フィールドに障害の位置が戻されます。

EXCI\_REASON および 603 の EXCI\_RESP の場合、EXCI モジュール DFHXCPRH はさらに ESTAE 出口を駆動する異常終了 0410 を出します。メッセージ DFHEX0001 が出され、SDUMP がとられます。

EXCI\_REASON および 603 の EXCI\_RESP の場合、EXCI モジュール DFHXCPRH はさらに ESTAE 出口を駆動する異常終了 0410 を出します。メッセージ DFHEX0001 が出され、SDUMP がとられます。

ユーザーの処置: 「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』で VSE 戻りコード *rc* を調べてください。

理由が不十分なストレージである場合、バッチ EXCI ジョブの領域を大きくしてください。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXCPRH、DFHXCTRI

宛先: コンソール

---

### DFHEX0004 Jobname: *jobname*, Execname: *execname*, Syslogid: *syslogid*, Applid: *applid*.

説明: このメッセージはメッセージ DFHEX0001 に付随して出され、EXCI ジョブの接続先の *jobname*、*execname*、*syslogid*、および *applid* を提供します。挿入値が不明であるか、指定されていない場合、メッセージ挿入は Unknown となります。例えば、*execname* が EXCI ジョブで必須のものでなく、これが省略されて DFHEX0004 が出された場合は、*execname* の挿入値は Unknown になります。

システムの処置: DFHEX0001 のシステム処置に従います。

ユーザーの処置: DFHEX0001 のユーザーの処置に従ってください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHXCPRH、DFHXCEIP

---

### DFHEX0101 Unable to start interregion communication because DFHIRP services are down level.

説明: 使用されている DFHIRP のバージョンが、外部 CICS インターフェース (EXCI) モジュール DFHXCPRH のレベルよりも低いレベルです。

システムの処置: EXCI 割り振りパイプ要求が拒否され、戻りコードがバッチ・アプリケーションに戻されました。

ユーザーの処置: SVA 内の DFHIRP モジュールのレベルが、使用されている最新の CICS のバージョンのレベルと一致するように、そのモジュールのレベルを更新してください。

モジュール: DFHXCPRH

宛先: コンソール

---

### DFHEX0110 EXCI SDUMP has been taken. Dumpcode: *dumpcode*, Dumpid: *dumpid*.

説明: このメッセージは、外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCDMP によって出された VSE SDUMP が正常に完了した際に出されます。前のメッセージで示されるエラーによって、システム・ダンプをとるように DFHXCDMP が呼び出されました。

ダンプ・コード *dumpcode* は、外部 CICS インターフェースの問題を識別する 8 文字のシステム・ダンプ・コードです。システム・ダンプ・コードは、接頭部 DFH を除いた EXCI メッセージ番号です。

*dumpid* は、このダンプを識別する固有な 9 文字の文字列です。

システムの処置: EXCI 要求を終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、*dumpcode* によって示される EXCI メッセージを参照してください。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXCDMP

宛先: コンソール

#### DFHEX0112 SDUMPX request failed - reason X'nn'.

説明: 外部 CICS インターフェースから出された VSE SDUMPX 要求は正常に完了しませんでした。考えられる失敗の理由 (reason) は、次のとおりです。

##### ONLY PARTIAL DUMP

ダンプされるストレージ域の数が、1 つの SDUMPX 要求に許可されている最大数を超過しています。

##### NO SYSDUMP LIBRARY AVAILABLE

CICS ジョブに SYSDUMP ライブラリーが定義されていません。VSE SYSDUMPC ジョブ制御オプションが有効である場合、ダンプは抑止されますが、そうでない場合には、ダンプは SYSLST にリダイレクトされます。

##### SYSDUMP LIBRARY IS FULL

CICS ジョブに定義されている SYSDUMP ライブラリーがいっぱいです。VSE SYSDUMPC ジョブ制御オプションが有効である場合、ダンプは抑止されますが、そうでない場合には、ダンプは SYSLST にリダイレクトされます。

##### REJECTED BY VSE, REASON = X'nn'

ユーザーの処置 (例えば、CICS ジョブの OPTIONS ステートメントに NOSYSDUMP を指定したこと) のため、あるいは SDUMPX ルーチンにおける入力エラーまたは終了エラーのために、VSE は SDUMPX 要求を拒否しました。X'nn' は SDUMPX 理由コードです。

##### NOT AUTHORIZED FOR EXCI

SDUMPX は、外部 CICS インターフェースに対しては許可されていません。

##### INSUFFICIENT STORAGE

EXCI は、SDUMPX 要求の実行中にストレージに関して OS/390 GETMAIN を出しました。この GETMAIN は VSE により拒否されました。

システムの処置: EXCI は、ダンプが成功したかのように続行します。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、障害が起きた理由 (reason) によって異なります。

##### ONLY PARTIAL DUMP

VSE 問題判別方式を用いて、部分ダンプがとられた理由を判別してください。SDUMPX 戻りコードの説明については、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。

##### NO SYSDUMP LIBRARY AVAILABLE

CICS ジョブに SYSDUMP ライブラリーを定義し、それから SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。SYSDUMP ライブラリーの定義方法については、「z/VSE Diagnosis Tools」を参照してください。

##### SYSDUMP LIBRARY IS FULL

ダンプ・ライブラリーから一部のダンプを消去し、

SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。SYSDUMP ライブラリーを削除、またはダンプをオフロードする方法については、「z/VSE Diagnosis Tools」を参照してください。

##### REJECTED BY VSE, REASON = X'nn'

ダンプが故意に抑止されている場合には、処置は必要ありません。VSE SDUMPX ルーチンのエラーが原因でダンプが失敗した場合には、VSE 問題判別方式を使用してエラーを修正してから、SDUMPX 要求が再び出されるようにしてください。SDUMPX 理由コード X'nn' の説明については、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。

##### NOT AUTHORIZED FOR EXCI

SDUMPX が、EXCI の初期設定時に無条件に許可され、EXCI の実行中は許可されているので、この理由は表示されないはずですが、万一この理由が出された場合には、EXCI AFCB (許可された機能制御ブロック) は誤って上書きされたものと思われます。

##### INSUFFICIENT STORAGE

十分な区画のストレージが OS/390 GETMAIN 要求で得られるようにしてください。

モジュール: DFHXCDMP

宛先: コンソール

#### DFHEX0113 EXCI trace Initialization has failed.

説明: EXCI 初期設定時の外部 CICS インターフェース (EXCI) トレース機能の初期設定の試みが失敗しました。

システムの処置: EXCI 要求はトレース機能なしで続行されます。前のメッセージは障害の原因を識別します。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別するには、前のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHXCTRI

宛先: コンソール

#### DFHEX0114 Incorrect data has been passed for EXCI tracing causing a program check in DFHXCTRP.

説明: EXCI 内部トレース・テーブルに追加するために外部 CICS インターフェース (EXCI) トレース・モジュール DFHXCTRP に渡された一部のデータに対してアクセスが試みられたとき、プログラム・チェックが起きました。

このエラー原因は、トレース・プログラム DFHXCTRP がアクセスしようとしている、EXCI CALL API 要求で渡されたデータが誤っていることだと思われます。

システムの処置: EXCI 要求は終了し、システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、誤ったデータの原因を判別してください。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXCTRI

宛先: コンソール

**DFHEX0115 EXCI trace services have been disabled due to a previous error.**

説明: エラーが外部 CICS インターフェース (EXCI) トレース・モジュール DFHXCTRP 内で発生し、メッセージ DFHEX0001 によって示されました。エラーの原因が、DFHXCTRP に渡された誤りのあるデータにアクセスしたためではなく、DFHXCTRP でプログラム・チェックが起こったためである、とモジュール DFHXCTRI はエラーからリカバリーしようとする際に判断しました。

システムの処置: EXCI トレース機能はこれ以上エラーを防ぐことはできません。システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するには、DFHEX0001 メッセージおよび SDUMP を参照してください。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXCTRI

宛先: コンソール

**DFHEX0116 Program check occurred within global trap****exit - DFHXCTRA now marked unusable.**

説明: トレース項目を作成した後で、外部 CICS インターフェース (EXCI) トレース・プログラム DFHXCTRP が、EXCI フィールド開発グローバル・トラップ・プログラム DFHXCTRA を呼び出しました。DFHXCTRA の実行中にプログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: EXCI は、現在活動状態にある DFHXCTRA を使用不能としてマークを付け、この TCB のもとで行われるすべての後続の呼び出しについて、DFHXCTRP の後続の呼び出しで DFHXCTRA を無視します。EXCI 要求は終了し、システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、プログラム・チェックの原因を見つけてください。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHXCTRI

宛先: コンソール

**DFHFCxxxx メッセージ**

注: *opid* や *termid* などの標準メッセージ挿入部分が未定義または判別できない場合、挿入部分はダッシュで置き換えられます。

**DFHFC0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイのどれであるかがわかります。また、何らかの手引きが提供されることもあります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEFRM、DFHFCBF、DFHFCDN、DFHFCFR、DFHFCFS、DFHFCJL、DFHFCMT、DFHFCRL、DFHFCRM、DFHFCRP、DFHFCS、DFHFCST

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHFC0002** *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

問題の原因を突き止めるためには、例外トレース項目とその直前の項目を調べてください。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。エラー・コードが X'046A' である場合には、システム・ダンプは作成されません。それ以外の場合には、ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

モジュール *modname* が DFHFCBF である場合、このメッセージが出された後、CICS システムは異常終了し、ダンプが作成されます。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

このメッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に使用しないとシステムを実行できない場合は、制御シャットダウンを実行して CICS をダウンさせる必要があります。

メッセージに示されたモジュール *modname* が DFHFCBF である場合、ダンプを用いて、またこのメッセージの前に多分出されているメッセージも用いて問題を調べてください。問題を訂正し、START=AUTO を指定して CICS を再始動してください。CICS はこれを緊急再始動で解決します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEFRM、DFHFCBF、DFHFCDN、DFHFCDTs、DFHFCEI、DFHF CFR、DFHF CFS、DFHF CJL、DFHF CL、DFHF CM、DFHF CMT、DFHF CN、DFHF CRL、DFHF CRM、DFHF CRP、DFHF CSD、DFHF CST

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*', *modname*  
宛先: コンソール

**DFHFC0003** *applid* Insufficient storage (code X'*code*') in module *modname*.

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、(例えば、ドメイン・マネージャーからの) 関連終了メッセージに注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition and Operations Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHF CRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*', *modname*  
宛先: コンソール

**DFHFC0004** *applid* A possible loop has been detected at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'*offset*' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセー

ジ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるため、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、システム初期設定パラメーターとして ICVR=0 を宣言し、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了し、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くしてください。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM から援助が必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEFRM、DFHFCBF、DFHFCND、DFHFCFR、DFHFCFS、DFHFCJL、DFHFCMT、DFHFCRL、DFHFCRM、DFHFCRP、DFHFCSD、DFHFCST

XMEOUT パラメーター: *applid*、X'*offset*'、*modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0005 *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code X'*code*'). The Time-of-Day clock is invalid.**

説明: モジュール *modname* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDMD) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これはおそらくハードウェア・エラーです。まずストア・

クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からの援助が必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: XMEOUT パラメーター: *applid*、*modname*、X'*code*'

宛先: コンソール

---

**DFHFC0100I *applid* File Control initialization has started.**

説明: これは、ファイル制御の初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0101I *applid* File Control initialization has ended.**

説明: ファイル制御の初期設定が正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0102 *applid* File Control initialization has failed.**

説明: ファイル制御は、正しい初期設定に失敗しました。

システムの処置: メッセージ DFHSI1521 が出され、初期設定が終了します。

ユーザーの処置: このエラーはトレース項目によって識別できます。また、前に出されたメッセージによって識別される場合もあります。そのエラーに適切な処置をとってください。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0103 *applid* Required module *modname* could not be loaded.**

説明: ファイル制御は、モジュール *modname* を必要としています。このモジュールは LIBDEF 検索チェーンから欠落しているため、ロードすることができませんでした。

システムの処置: システムは終了し、システム・ダンプが作成され、コード FC0103 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: モジュール *modname* が LIBDEF 検索チェーンに含まれるようにしてください。

上記が問題の原因でない場合には、IBM からのサポートが必要



になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCIN1、DFHFCRP、DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*modname*

宛先: コンソール

#### DFHFC0104 *applid* Unexpected catalog error.

説明: ファイル制御は、カタログ (CC) ドメインに対して要求を出しましたが、失敗しました。これは、おそらくカタログ上の入出力エラーが原因です。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、コード FC0104 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: カタログ・ドメインから出されるメッセージから、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHFCRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHFC0105 *applid* Entry for file filename cannot be located in the CICS catalog.

説明: ファイル制御の初期設定時に、テーブル・マネージャーが AFCT 項目を FCT 項目にリンクしている間か、またはテーブル・マネージャーが FCT を DSNAME ブロックに接続するために FCT を探索している間に、エラーが発生しました。システムの処置: CICS 初期設定は異常終了し、トレース項目が作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: カタログに FCT 項目がない理由を調べてください。上記が問題の原因でない場合には、FCT を見つけることができない理由を判別してください。

モジュール: DFHFCRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*filename*

宛先: コンソール

#### DFHFC0106I *applid* Insufficient storage to satisfy GETMAIN request in module *modname*.

説明: ストレージ (SM) ドメインに、CICS 初期設定時に行われた GETMAIN 要求を満たすためのスペースが不足しています。

システムの処置: システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 によって抑止することができます。

モジュール: DFHFCRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*modname*

宛先: コンソール

#### DFHFC0107D *applid* Unable to load File Control table DFHFCTxx. Enter either an alternative suffix, or 'YES', or 'NO'.

説明: ファイル管理テーブル DFHFCTxx を、CICS のコールド・スタート時に LIBDEF 検索チェーンから見つけることができませんでした。

システムの処置: ファイル制御の初期設定は、このメッセージに対する応答を待ちます。

ユーザーの処置:

- このメッセージに対しては、1 文字または 2 文字の接尾部で応答して、ファイル制御に DFHFCTxx をロードさせるか、または
- 「YES」と応答して、接尾部なしの FCT をロードさせるか、または
- 「NO」と応答して、FCT なしでファイル制御を初期設定します。

モジュール: DFHFCRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*xx*

宛先: コンソール

#### DFHFC0108 *applid* Invalid reply to message DFHFC0107D. A 1 or 2 character suffix, or YES or NO is required

説明: メッセージ DFHFC0107 に対する応答が無効でした。この応答が長すぎたか、または無効文字が含まれていた可能性があります。

システムの処置: 再度メッセージ DFHFC0107 が出され、初期設定が応答を待ちます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFC0107 に対して応答してください。

モジュール: DFHFCRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHFC0109A *applid* Cold start specified when backout failure processing is incomplete. Data integrity is at risk.

説明: 直前に実行された CICS でバックアウト障害が検出されました。CICS は、影響を受けたデータ・セットをオフラインにしてリカバリーされるように、バックアウト障害を取り扱う処理を開始しました。しかし、この処理は、CICS が障害を起こしたときに完了していませんでした。CICS はコールド・スタートされたので、直前の CICS 実行からのバックアウト障害処理は完了していません。バックアウト障害処理が完了するように、CICS は緊急再始動を行うべきでした。CICS がコールド・スタートされた場合には、バックアウト障害処理は完了できません。ですから、オフライン・バックアウト・ユーティリティは実行できません。

システムの処置: 影響を受けた VSAM データ・セットが、CICS ファイルによってこれ以上アクセスされることがないように、そのデータ・セットには BACKOUT FAILED のマークが付けられます。

このメッセージの後に送られるメッセージ DFHFC0305 は、関

係している VSAM データ・セットを識別します。

ユーザーの処置: 影響を受けたデータ・セットをオフラインにして、データをリカバリーしてください。RECOVERY=ALL が指定されている場合、オフライン順方向リカバリー・ユーティリティと保存された順方向リカバリー・ログの両方を用いて、障害が起きた時点の状態までデータ・セットを順方向リカバリーさせることができます。この場合には、オフライン・バックアウト・ユーティリティを使用することはできません。整合性のあるポイントまでデータをリストアするための何らかの別の方法を使用する必要があります。データ・セットがリカバリーされた場合には、CEMT SET DSNAME NORMAL コマンドを使用してバックアウト障害状態をリセットし、CICS ファイルがそのデータ・セットをアクセスできるようにしてください。

モジュール: DFHFRCR

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHFC0110** *applid Error, a xxxx version of DFHFCTxx has been loaded.*

説明: DFHFRCR が、CICS リリース *xxxx* 用にアSEMBルされた DFHFCTxx をロードしました。前のリリースに対してアSEMBルされた FCT で CICS を実行することは有効ではありません。

システムの処置: ファイル制御の初期設定ならびに CICS コールド・スタートは終了します。

ユーザーの処置: 使用中の CICS リリース用に DFHFCTxx を再アSEMBルしてください。CICS をコールド・スタートする。

モジュール: DFHFRCR

XMEOUT パラメーター: *applid, xxxx, DFHFCTxx*

宛先: コンソール

**DFHFC0112** *applid Install of remote FCT entry filename failed. SYSID sysid, specified in the entry, is the local SYSID.*

説明: DFHFRCR が、アSEMBル済み FCT からファイル *filename* のインストールを試みましたが、このファイルは TYPE=REMOTE として定義されていましたが、指定された SYSIDNT *sysid* がこのローカル・システムのシステム ID であったため、このインストールは失敗しました。

システムの処置: ファイル *filename* はインストールされず、ファイル制御の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: FCT 内の *filename* の項目を調べて、その項目をローカル項目 (TYPE=FILE) にするか、または指定された SYSIDNT を訂正してください。

モジュール: DFHFRCR

XMEOUT パラメーター: *applid, filename, sysid*

宛先: コンソール

**DFHFC0200I** *date time applid File filename has been allocated to data set dataset.*

説明: このメッセージは、ファイル *filename* のデータ・セット *dataset* への動的割り振りに関するレコードを提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCN

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, filename, dataset*  
宛先: CSFL

**DFHFC0201I** *date time applid File filename has been deallocated.*

説明: このメッセージは、ファイル *filename* の動的割り振り解除に関するレコードを提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCN

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, filename*  
宛先: CSFL

**DFHFC0202I** *date time applid terminal userid tranid FCT entry for filename has been added.*

説明: このメッセージは、FCT 項目 *filename* の動的追加に関するレコードをシステムに提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFRCMT

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, filename*

宛先: CSFL

**DFHFC0203I** *date time applid terminal userid tranid FCT entry for filename has been deleted.*

説明: このメッセージは、FCT 項目 *filename* の動的削除に関するレコードを提供します。

このメッセージは、システムにすでに存在するファイルが RDO でインストールされている場合に出されます。このメッセージに続いて、新しいファイル定義が追加されたことを示すメッセージ DFHFC0202I が出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFRCMT

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, filename*

宛先: CSFL

**DFHFC0204I** *date time applid terminal userid tranid FCT entry for filename has been updated.*

説明: このメッセージは、OPEN、CLOSE、ENABLE および DISABLE 以外の FCT 項目の更新に関するレコードを提供します。

FCT 項目は、EXEC CICS SET FILE コマンドまたは CEMT SET FILE コマンドによって更新されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCTMT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, filename*

宛先: CSFL

**DFHFC0205I** *date time applid terminal userid tranid*  
**SHRCTL block for LSR pool *lsrpool* has been updated.**

説明: このメッセージは、SHRCTL ブロックの更新に関するレコードを提供します。

VSAM LSR プール 1 から 15 についての SHRCTL ブロックが存在し、これは LSRPOOL オブジェクトの RDO インストールによって更新されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, lsrpool*

宛先: CSFL

**DFHFC0206** *date time applid terminal userid tranid AFCT*  
**entry for filename has been added.**

説明: このメッセージは、リモート・ファイル *filename* の動的追加に関するレコードをシステムに提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAFMT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, filename*

宛先: CSFL

**DFHFC0207** *date time applid terminal userid tranid AFCT*  
**entry for filename has been deleted.**

説明: このメッセージは、リモート・ファイル *filename* の動的削除に関するレコードを提供します。

これは、システム内にすでに存在するリモート・ファイルが RDO を使用して削除される時に出力されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAFMT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, filename*

宛先: CSFL

**DFHFC0208I** *applid LSR pool lsr\_pool\_id is being built dynamically by CICS because the following are not defined: 'CI\_SIZE' 'STRINGS' 'MAXKEYLENGTH'. A delay is possible.*

説明: パラメーター (CI サイズ、ストリングおよび maxkeylength) のうちの 1 つまたは複数 LSR プールに関して定義されていない場合、CICS は、この LSR プールに割り振られたデータ・セットの VSAM カタログからの情報を使用して、サイズを計算します。

このメッセージの中で、CI\_SIZE は、LSRPOOL のリソース定義の中の DATA BUFFERS および INDEX BUFFERS に指定された値と関連があります。LSRPOOL の定義についての詳細は、「CICS Resource Definition Guide」を参照してください。

システムの処置: CICS は、LSR プール・サイズを計算するのに必要な情報を入手するために、VSAM SHOWCAT 要求を出します。いずれかのデータ・セットが移行されている場合、SHOWCAT は予想以上に時間がかかることがあります。

ユーザーの処置: SHOWCAT 処理が原因でかなりの遅延が生じる場合には、ユーザーは、移行済みのデータ・セットが再呼び出しされるのを待ち、LSR プール・サイズの計算が完了するのを待つ必要があります。将来、同様の問題が起こるのを避けたいなら、LSR プールを明示的に定義することを考慮してください。このメッセージには、欠落パラメーターが含まれていません。

通常は、遅延は生じません。その場合にはユーザーの処置は不要です。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHFCL

**XMEOUT** パラメーター: *applid, lsr\_pool\_id, 'CI\_SIZE', 'STRINGS', 'MAXKEYLENGTH'*

宛先: コンソール

**DFHFC0300** *applid (tranid termid) purge deferred due to incomplete I/O operation on VSAM file 'filename'.*

説明: FORCE を使用してトランザクションが除去されようとなりました。トランザクション *tranid* は、現在、VSAM ファイル *filename* での入出力操作の完了を待っています。termid は、このトランザクションを実行している端末を識別します。データ・セット名は、このメッセージに続いて出力されるメッセージ DFHFC0305 に示されます。

システムの処置: トランザクションは、入出力操作が完了するのを待ち、それから除去の実行が許可されます。これは、データ安全性が損なわれないようにするためです。入出力操作が完了すると、トランザクションは終了して、トランザクション異常終了コード AFCY が出力されます。

ユーザーの処置: トランザクションが数秒以内に終了しない場合には、入出力の待ちが本物である (例えば、別の CPC が DASD ボリュームを予約済みである) 可能性があります。この場合には、入出力状態が解除になってからもう一度試みてください。

## DFHFC0301 • DFHFC0305

あるいは、データの保全性を確保するために確実に CICS を終了させて緊急再始動をしなければならないようなシステム問題が生じている可能性があります。この場合には、CICS を終了し、緊急再始動を実行してください。

モジュール: DFHFCVR

XMEOUT パラメーター: *applid, tranid, termid, filename*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0301 *applid (tranid termid) purge deferred due to incomplete I/O operation on DAM file 'filename'.*

説明: FORCE を使用してトランザクションが除去されようとなりました。トランザクション *tranid* は、現在、VSAM ファイル *filename* での入出力操作の完了を待っています。 *termid* は、このトランザクションを実行している端末を識別します。データ・セット名は、このメッセージに続いて出されるメッセージ DFHFC0305 に示されます。

システムの処置: トランザクションは、入出力操作が完了するのを待ち、それから除去の実行が許可されます。これは、データ保全性が損なわれないようにするためです。入出力操作が完了すると、トランザクションは終了して、トランザクション異常終了コード AFCY が出されます。

ユーザーの処置: トランザクションが数秒以内に終了しない場合には、入出力の待ちが本物である (例えば、別の CPC が DASD ボリュームを予約済みである) 可能性があります。この場合には、入出力状態が解除になってからもう一度試みてください。

あるいは、データの保全性を確保するために確実に CICS を終了させて緊急再始動をしなければならないようなシステム問題が生じている可能性があります。この場合には、CICS を終了し、緊急再始動を実行してください。

モジュール: DFHFCBD

XMEOUT パラメーター: *applid, tranid, termid, filename*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0302 *applid (tranid termid) CICS terminating. Failure while waiting for I/O operation on VSAM file 'filename'.*

説明: トランザクション *tranid* が VSAM ファイルでの入出力操作の完了を待っているときに DISASTER タイプ・エラーが発生しました。この VSAM ファイルのファイル名およびデータ・セット名は、このメッセージの後に出力されるメッセージ DFHFC0305 に示されます。 *termid* は、このトランザクションを実行している端末を識別します。

システムの処置: CICS は、システム・ダンプ (ダンプ・コード FC0302) を作成して終了します。

ユーザーの処置: この問題は、前のエラーが原因になっていません。前に出されたメッセージおよび戻りコード (例えば、タスク指名プログラム・ドメインからのもの) および関連トレース項目およびダンプを調べてください。

問題がアプリケーションのエラーに結びつかない場合は、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCVR

XMEOUT パラメーター: *applid, tranid, termid, filename*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0303 *applid (tranid termid) CICS terminating. Failure while waiting for I/O operation on DAM file 'filename'.*

説明: トランザクション *tranid* が DAM ファイル *filename* に対する入出力操作の完了を待っているときに、DISASTER タイプ・エラーが発生しました。

*termid* は、このトランザクションを実行している端末を識別します。

システムの処置: CICS は、システム・ダンプ (ダンプ・コード FC0303) を作成して終了します。

ユーザーの処置: この問題は、前のエラーが原因になっていません。前に出されたメッセージおよび戻りコード (例えば、タスク指名プログラム・ドメインからのもの) および関連トレース項目およびダンプを調べてください。

問題がアプリケーションのエラーに結びつかない場合は、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCBD

XMEOUT パラメーター: *applid, tranid, termid, filename*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0304 *applid Dump taken in module\_name due to a file control OPEN/CLOSE error.*

説明: このメッセージは、DFHFCFS が OPEN 要求または CLOSE 要求を行った後に出力されます。この OPEN 要求または CLOSE 要求は、エラーのため完了しました。この特定のエラーは、別のメッセージによって識別されています。多くの場合、エラーを識別するメッセージは、このメッセージの前に表示されますが、エラーが共用リソース・プールの作成中に発生した場合には、このメッセージの後に表示されます。

この障害は、次のいずれかとして識別されます。

- 無効な要求 (OPEN でも CLOSE でもない) が送られた。
- サブタスク障害があった。
- 「DSNAME NOT FOUND」または「VSAM CATALOG DOMAIN NOT FOUND」以外のシステム障害があった。

- 共用リソース・プールの構築中に障害があった。

システムの処置: トレース項目が作成され、ダンプ・コード FC0304 のダンプがとられます。

ユーザーの処置: トレース項目およびダンプを調べて障害を見つけ出してください。

モジュール: DFHFCL, DFHFCLM, DFHFCLN

XMEOUT パラメーター: *applid, module\_name*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0305 *applid Message msgno file 'filename' dsname 'dataset'.*

説明: このメッセージは、メッセージ

DFHFC0109、DFHFC0300、DFHFC0302、または DFHFC0307 の後に出力されます。このメッセージは、これらのメッセージの

中に引用されている VSAM データ・セット名を識別していません。

このメッセージが DFHFC0109 の次に出された場合には、これは DFHFCRP から出されています。その場合、それは無関係なので、メッセージの中の *filename* は *unknown* に設定されません。

このメッセージが DFHFC0300 または DFHFC0302 の次に出された場合には、このメッセージは DFHFCVCR から出されています。

このメッセージが DFHFC0307 の次に出された場合には、このメッセージは DFHFCVCS から出されています。

システムの処置: 処理は、メッセージ DFHFC0109、DFHFC0300、DFHFC0302 または DFHFC0307 (該当するいずれかのもの) に指定された方法で続行されます。

ユーザーの処置: この情報を参照している前に出されたメッセージを見つけて、そのメッセージに関するユーザーの処置を行ってください。

モジュール: DFHFCRP、DFHFCVCR、DFHFCVCS

XMEOUT パラメーター: *applid*、*msgno*、*filename*、*dataset*

宛先: コンソール

---

#### DFHFC0306 *applid* Update via file *filename* rejected. Associated data set has failed backout.

説明: バックアウトに失敗したデータ・セットに関連したファイル *filename* を更新するタスクが試みられました。

データ保全性を確保するために、更新要求は拒否されました。システムの処置: タスクは異常終了し、異常終了コード AFC9 が出されます。そして例外トレースが作成されます。

ユーザーの処置: データ・セットを更新するためには、データ・セットをリカバリーする必要があります。詳細については、その前のバックアウト障害のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHFCVCS

XMEOUT パラメーター: *applid*、*filename*

宛先: コンソール

---

#### DFHFC0307 *applid* I/O error on file '*filename*', component code X'*code*'. File is temporarily disabled.

説明: VSAM ファイル *filename* を更新する要求の後で、VSAM によって入出力エラーが報告されました。

ファイルが LSR で指定されたので、VSAM は、要求を処理するために割り当てたバッファをまだ解放していません。したがって、CICS はこれらのバッファを解放するために特別な処置をとる必要があります。

ファイルに関連付けられたデータ・セット名は、次に出されるメッセージ DFHFC0305 にありますが、このエラーは別の場所で検出された可能性があります。このことは、コンポーネント・コード X'*code*' の値によって示されます。出される可能性のある値とそれに対応するエラーの場所は、次のとおりです。

- X'00' または X'01' - 基本クラスター
- X'02' または X'03' - 代替索引
- X'04' または X'05' - 更新セット

システムの処置: VSAM 出力バッファを解放するために、このファイルは静止状態にされ、クローズされた後、再オープンされます。このファイルは、クローズが正常に完了するまで、今後このファイルを使用するユーザーに対して

「UNENABLED」と表示し、このファイルを使用する要求に対して「NOTOPEN」と表示します。エラーを検出したアプリケーション要求は、「IOERR」応答を受け取ります。

ユーザーの処置: インストール・システムは、入出力エラーのための標準手順にしたがう必要があります。データ・セット名およびコンポーネント・コードは問題を識別するのに役立つ場合がありますが、この特定のメッセージに応答するために特別な処置がさらに要求されることはありません。

モジュール: DFHFCVCS

XMEOUT パラメーター: *applid*、*filename*、X'*code*'

宛先: コンソール

---

#### DFHFC0313I *applid* VSAM has returned an error with an RPL feedback - return code: X'*rc*' component code: X'*cc*' error code: X'*ec*' for file: *filename* and dsname: *dataset*. The data set may be out of synch with its Alternate Indices.

説明: VSAM が VSAM ファイル *filename* についてエラーを戻しました。アプリケーションは ILLOGIC 応答を戻されているはずですが、このことは、コンポーネント・コード X'*cc*' の値によって示されます。出される可能性のある値とそれに対応するエラーの場所は、次のとおりです。

- X'00' または X'01' - 基本クラスター
- X'02' または X'03' - 代替索引
- X'04' または X'05' - 更新セット

システムの処置: アプリケーションに ILLOGIC 応答が戻されます。

ユーザーの処置: このファイルに基づいて代替索引を削除、再定義、または再作成する必要があるかもしれません。

モジュール: DFHFCVCS

XMEOUT パラメーター:

*applid*、X'*rc*'、X'*cc*'、X'*ec*'、*filename*、*dataset*

宛先: コンソール

---

#### DFHFC0400 *applid* This CICS system is not authorized to provide shared access to data tables - reason code X'*code*'.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしていますが、他の CICS システムとのテーブルの共用を行うための準備をすることができませんでした。リソース名

DFHAPPL.*applid* への更新アクセスのセキュリティ検査が失敗したためです。理由コード X'*code*' の値は、セキュリティ検査の障害の理由についての詳細を示しています。この値は、X'*ffrraaaa*' の形式であり、*ff* は障害のあった許可検査を識別し、*rr* は SAF からのレジスター 15 の戻りコードを示し、*aaaa* は ESM 戻りコードです。SAF 戻りコードについての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本

## DFHFC0401 • DFHFC0408

セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

X'ff' の値は次のとおりです。

**X'01'** アクセスが AUTH セキュリティ検査によって拒否されました。

**X'02'** アクセスが、FASTAUTH セキュリティ検査によって拒否されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。ただし、権限が認められ、そのテーブルが次にオープンされるまで、他の CICS システムは、この CICS システムが作成したデータ・テーブルを共用することはできません。

ユーザーの処置: データ・テーブルに共用アクセスを行うために必要な権限が CICS にあるかどうかを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'*code*'

宛先: コンソール

---

**DFHFC0401** *applid* This CICS system is now authorized to provide shared access to data tables.

説明: CICS がデータ・テーブルをオープンしようとしています。許可検査が失敗し、そのためこの CICS システムが、他の CICS システムとデータ・テーブルを共用する準備を行えなかったため、以前にメッセージ DFHFC0400 が出されました。検査は再試行され、成功しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。特定の許可検査を受ければ、他の CICS システムは、このシステムのデータ・テーブルを共用することができますようになります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0406** *applid* This CICS system is not authorized for shared access to any data tables owned by the CICS system with applid *applid2* - reason code X'*code*'.

説明: リモート・ファイル・リソースについてのファイル要求が、メッセージに示されたアプリケーション ID を持つ CICS システムに渡されます。リモート・システムは、共用データ・テーブル・サーバーとして登録されましたが、リソース名 DFHAPPL.*applid2* (*applid2* はデータ・テーブル所有 CICS システムのアプリケーション ID) への読み取りアクセスのセキュリティ検査に失敗したため、このシステムがそのテーブルにアクセスすることはできません。理由コード X'*code*' の値は、バインド・セキュリティ検査の障害の理由についての詳細を示しています。この値の形式は X'*ffrraaaa*' であり、*ff* は失敗した許可検査を識別します。*rr* は、SAF からのレジスター 15 の戻りコードを示し、*aaaa* は ESM 戻りコードです。SAF 戻りコードについての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

X'ff' の値は次のとおりです。

**X'01'** アクセスが AUTH セキュリティ検査によって拒否されました。

**X'02'** アクセスが、FASTAUTH セキュリティ検査によって拒否されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。そして、認可が与えられるまで、指定のリモート・システムに向けられたこの要求およびこれ以降の要求を機能シップします。アクセスは約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: この CICS システムが、システム *applid2* の所有するデータ・テーブルにアクセスできなければならない場合には、外部セキュリティ・マネージャーの必要なセキュリティ定義を変更してください。

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *applid2*, X'*code*'

モジュール: DFHFCFS

宛先: コンソール

---

**DFHFC0407** *applid* This CICS system is now authorized for shared access to data tables owned by the CICS system with applid *applid2*.

説明: 以前に失敗してメッセージ DFHFC0406 で報告されたセキュリティ検査が、正常に行われました。このシステムは、アプリケーション ID *applid2* を持つ CICS システムが所有する共用データ・テーブルへのアクセスを試みるできるようになりました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。特定のリソース許可検査を受ければ、このシステムは、リモート CICS システムが所有する共用データ・テーブルにアクセスすることができます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *applid2*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0408** *applid* This CICS system is not authorized for shared access to remote file filename - reason code X'*code*'.

説明: メッセージに示されたリモート・ファイル・リソース (共用データ・テーブル) に対するファイル要求は、たった今処理されました。このシステムは、セキュリティ検査に合格しなかったため、そのテーブルに共用アクセスすることができませんでした。しかし、機能シップされたアクセスは同じように妨げられることはありませんでした。

理由コード X'*code*' の値は、ファイル・セキュリティ検査の失敗の理由についての詳細を示しています。この値は X'*ffrraaaa*' の形式で、*ff* はアクセスを拒否されたユーザー ID を識別し、*rr* は SAF からのレジスター 15 の戻りコードを示し、*aaaa* は ESM 戻りコードです。SAF 戻りコードについての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

X'ff' の値は次のとおりです。

- X'01'** 要求側システムの独自のユーザー ID は、リモート・ファイル *filename* への読み取りアクセスを拒否されました。
- X'02'** リモート・ファイル *filename* を持つ CICS システムのデフォルトのユーザー ID が、ファイルへの読み取りアクセスのセキュリティ検査で使用され、アクセスが拒否されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。そして、共用アクセスの使用認可が与えられるまで、指定されたリモート・ファイルへ向けられるこの要求およびこれ以降の要求を機能シッします。アクセスは約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: このシステムから指定のファイルへの共用アクセスが、意図されたものであるかどうかを確認してください。意図されたものであれば、理由コードで与えられた補足情報を参照して、セキュリティ定義または設定に対してどのような変更が必要であるかを判断してください。

ファイル・セキュリティ検査に使用されるユーザー ID を決定する規則についての説明は、「CICS Shared Data Tables Guide」を参照してください。

モジュール: DFHFCEI

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *filename*, *X'code'*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0409** *applid* This CICS system is now authorized for shared access to remote file *filename*.

説明: 以前に失敗してメッセージ DFHFC0408 で報告されたセキュリティ検査が、成功しました。このシステムで、指定されたテーブルに共用アクセスを行うことが可能になりました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *filename*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0410** *applid* Data table cannot be opened. Data table initialization has failed for reason *X'code'*.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしていますが、共用データ・テーブル・サービスを初期設定できませんでした。理由コード *X'code'* の値は、CICS が共用データ・テーブル・サービスを初期設定できなかった理由の詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'ffaaaa'* (*ff* は障害のタイプを識別する *X'80'* 未満の値で、*aaaa* はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、*X'axxxxx'* (*a* は異常終了のタイプを分類する *X'8'* 以上の値で、*xxxx* には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、*xxx* にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

*X'code'* < *X'80000000'* の場合、*X'ff'* の値は、以下のとおりです。

- X'01'** 予期しない障害が発生しました。このコードは、データ・テーブル SVC が予期しないエラーを検出すると報告されます。
- X'06'** エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト *X'aa0000'* は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。
- X'08'** VSE DSPSERV マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報は、レジスター 15 の戻りコードを含む 1 バイトと、その後に DSPSERV によって戻されるレジスター 0 の理由コードからの中央バイトを含む 2 バイトが続きます。
- X'09'** VSE ALESERV マクロによってエラーが戻されましたが、このマクロは、データ・スペースのアクセス・リスト項目、または 1 次アドレス・スペースへの参照のためのアクセス・リスト項目を作成するために呼び出されたものです。理由コード内の補足情報は、レジスター 15 の戻りコードを含む 1 バイトと、その後に障害のある要求を識別する ALESERV 機能コード (サービス・タイプ) および修飾子 (オプション) を含む 2 バイトが続いています。
- X'0E'** 共用データ・テーブル・サービスの使用の逐次化 (これにより、1 つのアドレス・スペースにつき 1 つの TCB のみがサービスを使用できるようになります) に失敗しました。補足情報の最初のバイトには、OS/390 ENQ 戻りコードが含まれています。

*X'code'* = *X'80000000'* の場合、*X'a'* の値は、以下の組み合わせになります。

- X'8'** 異常終了が検出されました。
- X'4'** ユーザー異常終了が検出されました。この場合、*xxx* には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、*xxx* に 16 進システム完了コードが入ります)。
- X'2'** 異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったために十分に分析することができませんでした。
- X'1'** 非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出力されます。これらのメッセージは、関連するテーブルでとられる処置を示しています。予期しないエラー (*X'ff'=X'01'*) の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

- X'01'** システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。
- X'06'** CICS SVC 呼び出しの障害の理由は、おそらくデータ・テーブル SVC モジュール DFHDTVC がロードできなかったことです。その場合には、戻りコード値は *X'02'* です。もしそうであるならば、DFHDTVC モジュールが SVA 内にあるかどうか

検査してください。モジュールが正しい場所にある場合は、ロードができなかった理由を調べてください。ディスク上にハードウェア障害がある場合があります。出される可能性の少ない別の戻りコードの値としては、X'06'があり、これは DFHDT SVC が再びリンク・エディットされ、再入可能としてマークされなかったことを意味します。

- X'08' 「z/VSE System Macros Reference」の VSE DSPSERV マクロの資料を参照して、理由コードの補足情報の部分で報告されるレジスター 0 とレジスター 15 の戻りコードを解釈してください。
- X'09' 理由コードで報告された機能コード (サービス・タイプ) および修飾子 (オプション) は、どの ALESERV 要求が行われていたかを判別するために使用することができます。VSE ALESERV の資料およびマクロを参照して、理由コードで報告された機能コード、修飾子、およびレジスター 15 の戻りコードを解釈してください。
- X'0E' これは、1 つのアドレス・スペースにおける OS/390 ENQ の制限数に達したことを示しているか、またはこの CICS アドレス・スペースで実行されている他の TCB が共用データ・テーブル・サービスの要求側としてすでに初期設定されていることを示している場合があります。
- = X'80' 異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*'

宛先: コンソール

---

**DFHFC0411** *applid* Data table cannot be opened. Data table initialization has failed owing to a storage failure - reason code X'*code*'.

説明: CICS がデータ・テーブルをオープンしようとしていますが、ストレージの獲得に失敗したため共用データ・テーブル・サービスを初期設定することができませんでした。理由コード X'*code*' の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、X'*ttnnnnnn*' であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。固定長ストレージ・ブロックの場合は、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'*tt*' の値は次のとおりです。

- X'01' データ・テーブル SVC によって使用される作業域のサブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されません。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'02' 共用データ・テーブル・サーバーによって使用されるローカル・ヘッダー・ブロックのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区

画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。

- X'03' データ・テーブル・ブロックのプールのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。
- X'04' ファイル・ブロックのプールのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。
- X'08' z/VSE データ・スペース・ストレージ。
- X'09' 領域アンカーのサブプール 252 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージはジョブ・ステップによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'11' ダミー・リカバリー・ブロックのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。
- X'12' DFHDTAM ロード・モジュールをロードするのに必要なサブプール 252 からのストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージはジョブ・ステップによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'13' データ・テーブル SVC によって使用されるパラメーター・リストのサブプール 230 (CICS キー) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'14' 新しい ALET リスト・セクションのサブプール 252 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージはジョブ・ステップによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出力されます。これらのメッセージは、関連するテーブルでとられる処置を示しています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。理由コードがプライベート・ストレージを示す場合は、CICS ジョブに指定された様々な領域サイズのパラメーターをもう一度考慮してください。ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとらなければならない場合があります。

理由コードがデータ・スペース・ストレージを示す場合は、この VSE システム内のデータ・スペースのサイズが IEFUSI インストール・システム出口の使用のために制限されているかどうか検査してください。

モジュール: DFHFCFS



XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0412** *applid* Data table cannot be opened. Data table initialization has failed owing to a module loading failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS は、データ・テーブルをオープンしようとしていますが、モジュールのロード障害のために共用データ・テーブル・サービスを初期設定することができませんでした。理由コード *X'code'* の値は、どのモジュールがロードされていたのか、そしてロードを行う際に何に障害が起きたのかについて詳細を示します。

理由コードの形式は *X'mfrraaaa'* であり、*m* はモジュールを識別し、*f* は障害のタイプを示すコードです。一部の障害については、*rr* には、失敗したマクロ呼び出しからのレジスター 15 の戻りコードが含まれ、*aaaa* に補足情報が含まれる場合があります。

*X'm'* の値は次のとおりです。

**X'1'** DFHDTFOR  
**X'2'** DFHDTAM  
**X'8'** DFHDTSAN

*X'f'* の値は次のとおりです。

**X'1'** OS/390 LOAD、OS/390 BLDL または DFHCSVQU マクロのいずれによってもモジュールは検出されませんでした。  
**X'2'** OS/390 LOAD マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報の 2 バイトの *X'aaaa'* には、OS/390 LOAD からの異常終了コードが含まれています。*X'rr'* は、レジスター 15 の理由コードです。  
**X'3'** DFHCSVQU マクロによってエラーが戻されました。*X'rr'* は、レジスター 15 の戻りコードです。  
**X'4'** OS/390 BLDL マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報の 2 バイトの *X'aaaa'* には、BLDL によって戻された R0 の理由コードが含まれています。  
**X'5'** モジュールは再入可能ではありません。  
**X'6'** モジュールの AMODE が間違っていました。  
**X'7'** モジュールの RMODE が間違っていました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出されます。これらのメッセージは、関連するテーブルでとられる処置を示しています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの 2 番目の 16 進数に示されている障害の理由によって異なります。

**X'1'** 最初の 16 進数を使用してどのモジュールが見つからなかったかを判別して、これが正しいライブラリーにあるかどうかを確認してください。  
**X'2'** 「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』を参照して、メッセージに示されている OS/390 LOAD の異常終了コードおよび理由コードを解釈してください。

障害の理由を説明する OS/390 LOAD からのメッセージがある場合もあります。

**X'3'** これは、DFHCSVQU マクロの実行時にエラーが起きたことを示します。このマクロは、z/VSE サブライブラリー内かまたは SVA 内のいずれかにあるプログラムを見つけだすのに使用されるものです。*X'code'* の 2 番目のバイトには、次のものが含まれる可能性があります。  
**X'8'** プログラムが見つからなかったか、または必要なときに SVA 内にありませんでした。  
**X'10'** 機能の実行時に内部障害が起きました。  
**X'14'** 機能の入力の妥当性検査を行っているときにエラーが検出されました。  
**X'4'** これは入出力エラーまたはストレージ割り振り障害を示します。「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照して、OS/390 BLDL 理由コード *X'code'* を解釈してください。  
**X'5'**, **X'6'**, **X'7'** 理由コードの最初の数字を使用して、モジュールの名前を判別し、そのモジュールの状況を検査してください。これらのエラーは、このモジュールが CICS で提供されたモジュールではないか、またはモジュールが破壊されたことを示します。  
モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0415** *applid* Remote data tables cannot be accessed. Shared data table initialization has failed for reason *X'code'*.

説明: CICS がリモート・ファイル・リソースにアクセスしようとしています。しかし、CICS がデータ・テーブル・サービスを初期設定することができないため、共用データ・テーブルでリモート・テーブルにアクセスすることができません。理由コード *X'code'* の値は、この CICS 領域が、共用データ・テーブル・サービスの要求側として機能するために必要な初期設定を実行することができない理由の詳細を提供します。

理由コードの形式は、*X'ffaaaaaa'* (*ff* は障害のタイプを識別する *X'80'* 未満の値で、*aaaaaa* はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起ったときは、*X'axxxxxrrr'* (*a* は異常終了のタイプを分類する *X'8'* 以上の値で、*rrrr* には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、*xxx* にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

*X'code'* < *X'80000000'* の場合、*X'ff'* の値は、以下のとおりです。

**X'01'** 予期しない障害が発生しました。このコードは、データ・テーブル SVC が起こりえないエラーを検出すると報告されます。  
**X'06'** エラーが CICS SVC によって戻されました。補足

情報の最初のバイト *aa0000* は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

**X'0E'** 共用データ・テーブル・サービスの使用の逐次化 (これにより、1 つのアドレス・スペースにつき 1 つの TCB のみがサービスを使用できるようになります) に失敗しました。補足情報の最初のバイトには、OS/390 ENQ 戻りコードが含まれています。

X'code' = X'80000000' の場合、X'a' の値は、以下の組み合わせになります。

- X'8'** 異常終了が検出されました。
- X'4'** ユーザー異常終了が検出されました。この場合、xxx には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、xxx に 16 進システム完了コードが入ります)。
- X'2'** 異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったために十分に分析することができませんでした。
- X'1'** 非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。初期設定は約 10 分後に再試行されます。予期しないエラー (X'ff'=X'01') の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

- X'01'** システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。
- X'06'** CICS SVC 呼び出しの障害の理由は、おそらくデータ・テーブル SVC モジュール DFHDTVC がロードできなかったことです。その場合には、戻りコード値は X'02' です。もしそうであるならば、DFHDTVC モジュールが SVA 内にあるかどうか検査してください。モジュールが正しい場所にある場合は、ロードができなかった理由を調べてください。ディスク上にハードウェア障害がある可能性があります。出される可能性の少ない別の戻りコードの値としては、X'06' があり、これは DFHDTVC が再びリンク・エディットされ、再入可能としてマークされなかったことを意味します。

**X'0E'** これは、1 つのアドレス・スペースにおける OS/390 ENQ の制限数に達したことを示しているか、またはこの CICS アドレス・スペースで実行されている他の TCB が共用データ・テーブル・サービスの要求側としてすでに初期設定されていることを示している場合があります。

= **X'80'** 異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code'

宛先: コンソール

---

**DFHFC0416** *applid* Remote data tables cannot be accessed. Shared data table initialization has failed owing to a storage failure - reason code X'code'.

説明: CICS がリモート・ファイル・リソースにアクセスしようとしています。しかし、ストレージの獲得に失敗したため、CICS は共用データ・テーブル・サービスを初期設定することができませんでした。理由コード X'code' の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、X'tnnnnnnn' であり、tt はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、nnnnnn は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'tt' の値は次のとおりです。

- X'02'** この CICS がデータ・テーブル要求側として機能するのに必要な共用データ・テーブル・ヘッダー・ブロックのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。
- X'09'** 領域アンカーのサブプール 252 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージはジョブ・ステップによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'0A'** 修飾されたサブシステム・ブロックのサブプール 241 (キー 0) からのシステム GETVIS ストレージ。このサブプールはシステム GETVIS で割り振られ、そのストレージはシステムによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'0E'** 接続ヘッダー・ブロックのサブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。初期設定は約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。

理由コードがプライベート・ストレージを示す場合は、CICS ジョブに指定された様々な区画サイズのパラメーターをもう一度考慮してください。VSE ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとらなければならない場合があります。

理由コードがシステム GETVIS ストレージを示す場合は、VSE システムの初期設定時の SET SDL ステートメントで指定されている GETVIS サイズを検討する必要があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code'

宛先: コンソール

**DFHFC0417** *applid* Remote data tables cannot be accessed. Shared data table initialization has failed owing to a module loading failure - reason code X'*code*'.

説明: CICS がリモート・ファイル・リソースにアクセスしようとしています。しかし、モジュールのロードが失敗したために CICS がデータ・テーブル・サービスを初期設定することができないので、共用データ・テーブルでリモート・テーブルにアクセスすることができません。

理由コード X'*code*' の値は、どのモジュールがロードされたのか、そしてロードを行う際に何に障害が起きたのかについて詳細を示します。

理由コードの形式は X'*mfraaaa*' であり、*m* はモジュールを識別し、*f* は障害のタイプを示すコードです。一部の障害については、*rr* には、失敗したマクロ呼び出しからのレジスター 15 の戻りコードが含まれ、*aaaa* に補足情報が含まれる場合があります。

X'*m*' の値は次のとおりです。

X'3' DFHDTAOR  
X'4' DFHDTVC

*f* の値は次のとおりです。

X'1' モジュールが OS/390 LOAD によって検出されませんでした。

X'2' OS/390 LOAD マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報の 2 バイトの X'*aaaa*' には、LOAD からの完了コードが含まれています。X'*rr*' には、レジスター 15 の戻りコードが含まれています。

X'5' モジュールは再入可能ではありません。

X'6' モジュールの AMODE が間違っていました。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。初期設定は約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの 2 番目の 16 進数に示されている障害の理由によって異なります。

X'1' 最初の 16 進数を使用してどのモジュールが見つからなかったかを判別して、これが正しいライブラリーにあるかどうかを確認してください。

X'2' 「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』の中の OS/390 LOAD マクロの資料を参照して、メッセージで報告された戻りコードおよび完了コードを解釈してください。障害の理由を説明する OS/390 LOAD からのメッセージがある場合もあります。

X'5'、X'6'

理由コードの最初の数字を使用して、モジュールの名前を判別し、そのモジュールの状況を検査してください。このエラーは、このモジュールが CICS で提供されたモジュールではないか、またはモジュールが破壊されたことを示します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*、X'*code*'

宛先: コンソール

**DFHFC0420** *applid* Shared access to data tables cannot be provided by this CICS system because it has not been registered as a shared data table server - reason code X'*code*'.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしたのですが、この CICS システムが共用データ・テーブル・サーバーとして登録されていないためにデータ・テーブルをオープンすることができませんでした。理由コード X'*code*' の値は、CICS システムを共用データ・テーブル・サーバーとして登録 (LOGON) できなかった理由の詳細を示します。

理由コードの形式は、X'*ffaaaaa*' (*ff* は障害のタイプを識別する X'80' 未満の値で、*aaaaa* はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、X'*axxxxxr*' (*a* は異常終了のタイプを分類する X'8' 以上の値で、*xxxxr* には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、*xxx* にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

X'*code*' < X'80000000' の場合、X'*ff*' の値は、以下のとおりです。

X'01' このコードは、データ・テーブル SVC が予期しないエラーを検出すると報告されます。

X'02' この領域と同じアプリケーション ID を持つ VSE イメージ内の他の領域が、共用データ・テーブル・サーバーとしてすでに登録 (ログオン) されています。

X'03' DFHDTRM がデータ・テーブル SVC に PC ベクトルの無効なアドレスを与えたか、または PC ベクトルが項目テーブル項目 (ETE) の無効な数を指定しています。後者の場合、X'*aaaaa*' には要求された ETE の数が含まれています。

X'06' エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト X'*aa0000*' は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

X'0D' 所定の時間に、指定のアプリケーション ID に関して 1 つの VSE システムにおいて 1 つのサーバーのみが活動状態になるように OS/390 ENQ を出したとき、障害が発生しました。補足情報の最初のバイトには、ENQ からの戻りコード X'*aa0000*' が含まれています。

X'10' 共用データ・テーブル接続のセキュリティチェック用の環境を作成しようとしたとき、セキュリティ環境がすでに設定されていることが検出されました。

X'11' CICS セキュリティ・ブロックの実際のバージョンと共用データ・テーブル・モジュール DFHDTXS をアセンブルする際に使用したバージョンの間に不一致があります。

X'*code*' = X'80000000' の場合、X'*a*' の値は、以下の組み合わせになります。

X'8' 異常終了が検出されました。

X'4' ユーザー異常終了が検出されました。この場合、*xxx* には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります

(ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、xxx に 16 進システム完了コードが入ります)。

- X'2'** 異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったために十分に分析することができませんでした。
- X'1'** 非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。
- システムの処置: CICS は正常に続行され、そのテーブルをローカル使用専用オープンしようとしています。予期しないエラー (X'ff'=X'01') の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。
- ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。
- X'01'** システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。
- X'02'** 同じ VSE イメージ内で共用データ・テーブル・サーバーとして機能する、指定のアプリケーション ID を持つ領域が複数あってはなりません。
- X'03'** このエラーは、システムの破壊が起きたこと、または CICS コードにエラーがあることを示す場合があります。
- X'06'** データ・テーブル SVC モジュール DFHDTSVC のロードと関連する CICS SVC エラーが発生しないように、サーバー初期設定は LOGON が出される前に完了させなければなりません。したがって、このエラーはおそらく論理の問題か、ユーザーのシステムの破壊を示しています。
- X'0D'** 「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照して、理由コードの補足情報の部分で報告されている OS/390 ENQ 戻りコードを解釈してください。
- X'10'** このエラーは、システムの破壊が起きたこと、または CICS コードにエラーがあることを示す場合があります。
- X'11'** このエラーは、PTF が必要なサービスが、基本 CICS および共用データ・テーブル・コードの両方に対して適用された場合にこれらのうちの 1 つだけが正しく更新されたか、あるいはシステムの破壊が発生したか、あるいは CICS 内にエラーがあることを示す場合があります。
- = **X'80'** 異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*'

宛先: コンソール

---

**DFHFC0421** *applid* Shared access to data tables cannot be provided by this CICS system because a storage failure has prevented it from registering as a shared data table server - reason code X'*code*'.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしていますが、そうすることができません。それは、ストレージの獲得に失敗したためにこの CICS システムを共用データ・テーブル・サーバーとして登録することができないからです。理由コード X'*code*' の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、X'*ttnnnnnn*' であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'*tt*' の値は次のとおりです。

- X'01'** データ・テーブル SVC LOGON 処理で使用される作業域のサブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'0A'** 修飾されたサブシステム・ブロックのサブプール 241 (キー 0) からのシステム GETVIS ストレージ。このサブプールはシステム GETVIS で割り振られ、そのストレージはシステムによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'0C'** サーバー・エレメントのサブプール 241 (キー 0) からのシステム GETVIS ストレージ。このサブプールはシステム GETVIS で割り振られ、そのストレージはシステムによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'0D'** セキュリティ・ブロックのサブプール 241 (キー 0) からのシステム GETVIS ストレージ。このサブプールはシステム GETVIS で割り振られ、そのストレージはシステムによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。

システムの処置: CICS は正常に続行され、そのテーブルをローカル使用専用オープンしようとしています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。

理由コードがプライベート・ストレージを示す場合は、CICS ジョブに指定された様々な区画サイズのパラメーターをおそらくもう一度考慮する必要があります。VSE ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとらなければならない場合があります。

理由コードがシステム GETVIS ストレージを示す場合は、VSE システムの初期設定時の SET SDL ステートメントで指定されている GETVIS サイズを検討する必要があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*'

宛先: コンソール

**DFHFC0422** *applid* Shared access to data tables cannot be provided by this CICS system because a module loading failure has prevented it from registering as a shared data table server - reason code X'code'.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしていますが、そうすることができません。それは、モジュールのロードが失敗したため、この CICS システムを共用データ・テーブル・サーバーとして登録することができないからです。

理由コード X'code' の値は、どのモジュールがロードされたのか、そしてロードを行う際に何に障害が起きたのかについて詳細を示します。

理由コードの形式は X'mfrraaaa' であり、m はモジュールを識別し、f は障害のタイプを示すコードです。一部の障害については、rr には、失敗したマクロ呼び出しからのレジスター 15 の戻りコードが含まれ、aaaa に補足情報が含まれる場合があります。

X'm' の値は次のとおりです。

X'5' DFHDTXS  
X'8' DFHDTSAN

X'f' の値は次のとおりです。

- X'1' モジュールが OS/390 LOAD によって検出されませんでした。
- X'2' OS/390 LOAD マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報の 2 バイトの X'aaaa' には、OS/390 LOAD からの異常終了コードが含まれています。X'rr' には、レジスター 15 の理由コードが含まれています。
- X'5' モジュールは再入可能ではありません。
- X'6' モジュールの AMODE が間違っていました。
- システムの処置: CICS は正常に続行され、そのテーブルをローカル使用専用オープンしようとします。
- ユーザーの処置: 処置は、理由コードの 2 番目の 16 進数に示されている障害の理由によって異なります。
- X'1' 最初の 16 進数を使用してどのモジュールが見つからなかったかを判別して、これが正しいライブラリーにあるかどうかを確認してください。
- X'2' 「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』を参照して、メッセージに示されている OS/390 LOAD の異常終了コードおよび理由コードを解釈してください。障害の理由を説明する OS/390 LOAD からのメッセージがある場合もあります。

X'5'、X'6'

理由コードの最初の数字を使用して、モジュールの名前を判別し、そのモジュールの状況を検査してください。このエラーは、このモジュールが CICS で提供されたモジュールではないか、またはモジュールが何らかの理由で破壊されたことを示します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*、X'code'

宛先: コンソール

**DFHFC0430** *applid* Data table open request for file *filename* has failed for reason X'code'.

説明: CICS はファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルを作成しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出力されます。これらのメッセージは、指定したテーブルでとられる処置を示しています。

ユーザーの処置: これは、内部エラーまたはシステムが破壊されたことを示します。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*、*filename*、X'code'

宛先: コンソール

**DFHFC0431** *applid* Data table open request for file *filename* has failed owing to a storage failure - reason code X'code'.

説明: CICS は、ファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルを作成しようとしたが、ストレージを獲得できなかったために失敗しました。16 MB 境界より上のストレージが十分ではありません。理由コード X'code' の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、X'ttnnnnnn' であり、tt はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、nnnnnn は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'tt' の値は次のとおりです。

- X'03' データ・テーブル・ブロックのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。
- X'04' ファイル・ブロックのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。
- X'05' バックアウト・セルのプールのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ (オープンされるファイルが、この CICS 実行において最初にオープンされるリカバリー可能ユーザー保守テーブルである場合に、プールは作成されます。) このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。
- X'06' テーブル項目記述子ブロックのプールのサブプール 0、またはテーブルをロードする際に使用する記述子ブロックのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。

## DFHFC0435

**X'07'** データ・テーブル索引ストレージのサブプール 0 からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われます。

**X'08'** z/VSE データ・スペースのデータ・テーブル・レコードのプールのストレージ。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出されます。これらのメッセージは、関連するテーブルでとられる処置を示しています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。

理由コードがプライベート・ストレージを示す場合は、CICS ジョブに指定された様々な区画サイズのパラメーターをおそらくもう一度考慮する必要があります。VSE ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとらなければならない場合があります。

理由コードがデータ・スペース・ストレージを示す場合は、この VSE システム内のデータ・スペースのサイズが SYSDEF DSPACE コマンドの使用によって制限されているかどうか検査してください。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *filename*, *X'code'*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0435 *applid* Data table access request for remote file *filename* has failed for reason *X'code'*.

説明: 要求側領域が、実行側領域の所有するリモート・ファイル *filename* への接続を確立しようとしているときに、エラーが発生しました。理由コード *X'code'* の値は、CICS がリモート・ファイルに接続できなかった理由についての詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'ffaaaaa'* (*ff* は障害のタイプを識別する *X'80'* 未満の値で、*aaaaaa* はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、*X'axxxxx'* (*a* は異常終了のタイプを分類する *X'8'* 以上の値で、*xxxx* には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、*xxx* にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

*X'code'* < *X'80000000'* の場合、*X'ff'* の値は、以下のとおりです。

**X'01'** 予期しない障害が発生しました。このコードは、データ・テーブル SVC が起こりえないエラーを検出すると報告されます。

**X'06'** エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト *aa0000* は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

**X'07'** データ・テーブル SVC によって戻された接続索引が、呼び出し側のモジュールによってサポートされる最大値 ( $2^{20} - 1$ ) を超えています。

**X'0A'** 実行側領域の所有するファイル・チェーンをスキャンしようとしたことが失敗しました。これは、チェーン

上に永続的に無効な項目 (チェーンに損傷が起きたことを示すもの) があるためです。

**X'0B'** この要求側 CICS 領域によるリモート・ファイルへの接続が、許可された最大値 ( $2^{32} - 1$ ) にすでに達しています。

**X'0C'** 要求側 CICS 領域による共用データ・テーブルへのすべての接続の詳細を記録するベクトルを拡張する必要がありますが、拡張を行うと 16 MB のサイズと等しくなるか 16 MB のサイズを超えてしまいます。

**X'0F'** サーバーの終了を逐次化しようとしたことが、OS/390 ENQ の数がアドレス・スペースの限界に達したため失敗しました。補足情報の最初のバイト *X'aa0000'* には、ENQ からの戻りコードが含まれます。

*X'code'* = *X'80000000'* の場合、*X'a'* の値は、以下の組み合わせになります。

**X'8'** 異常終了が検出されました。

**X'4'** ユーザー異常終了が検出されました。この場合、*xxx* には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、*xxx* に 16 進システム完了コードが入ります)。

**X'2'** 異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったため十分に分析することができませんでした。

**X'1'** 非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。共用テーブルの使用は約 10 分後に再試行されます。予期しないエラー (*X'ff'=X'01'*) の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

**X'01'** システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

**X'06'** データ・テーブル SVC モジュール DFHDT SVC のロードに関連する CICS SVC エラーが発生しないように、要求側初期設定は CONNECT が出される前に完了させなければなりません。したがって、このエラーはおそらく論理の問題か、ユーザーのシステムの破壊を示しています。

**X'07'** この要求側領域がアクセスしようとしている、他の領域によって所有される共用データ・テーブルが多過ぎるので、ユーザーのシステム構成を変更する必要があります。使用するリモート・ファイルの数を減らすか、要求側 CICS 領域を複数の小さな領域に分割する必要があります。

**X'0A'** これは、サーバー領域内のサブプール 0 ストレージの破壊を示します。

**X'0B'** これは、要求側領域に  $2^{32} - 1$  を超える数のリモート・ファイル定義が含まれ、これらのすべてがサーバ

一領域内の同じファイル参照しているか、またはストレージが破壊されたことを示します。

**X'0C'** X'07' の場合と同じ処置です。

**X'0F'** 「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照して、理由コードの補足情報の部分で報告されている OS/390 ENQ 戻りコードを解釈してください。

= **X'80'** 異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *filename*, *X'code'*

宛先: コンソール

**DFHFC0436** *applid* Data table access request for remote file *filename* has failed because of a storage failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS は、リモート・ファイル・リソース *filename* にアクセスしようとしたが、ストレージを獲得できなかったために失敗しました。

理由コード *X'code'* の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'tnnnnnn'* であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

*X'tt'* の値は次のとおりです。

**X'01'** モジュール DFHDTXS によって使用される作業域、またはデータ・テーブル SVC CONNECT 処理によって使用される作業域のサブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。

**X'0F'** 接続ベクトルのサブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。このサブプールは区画 GETVIS で割り振られ、ストレージは要求タスクによって所有されます。ストレージは取り出し保護が行われません。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。共用テーブルの使用は約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。

理由コードがプライベート・ストレージを示しているため、CICS ジョブに指定された様々な領域サイズのパラメーターをおそらくもう一度考慮する必要があります。VSE ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとらなければならない場合があります。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *filename*, *X'code'*

宛先: コンソール

**DFHFC0440** *applid* Data table close request for file *filename* has failed for reason *X'code'*.

説明: CICS はファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルをクローズしようとしたが、できませんでした。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。そのテーブルはクローズされたものとして処理されます。

予期しないエラー (*X'fff'=X'01'*) の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

**X'01'** システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

**X'06'** データ・テーブル SVC モジュール DFHDTXVC のロードと関連する CICS SVC エラーが発生しないように、サーバー初期設定は LOGON が出される前に完了させなければなりません。したがって、このエラーはおそらく論理の問題か、ユーザーのシステムの破壊を示しています。

**X'09'** 理由コードで報告された機能コード (サービス・タイプ) および修飾子 (オプション) は、どの ALESERV 要求が行われていたかを判別するために使用することができます。「z/VSE System Macros Reference」の VSE ALESERV の資料を参照して、理由コードで報告された機能コード、修飾子、およびレジスター 15 の戻りコードを解釈してください。

= **X'80'** 異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *filename*, *X'code'*

宛先: コンソール

**DFHFC0441** *applid* Data table close request for file *filename* has failed owing to a storage failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS は、ファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルをクローズしようとしたが、ストレージの解放が失敗したためクローズは失敗しました。

理由コードの形式は、*X'tnnnnnn'* であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

*X'tt'* の値は次のとおりです。

**X'14'** 新しい ALET リスト・セクションのサブプール 252 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。そのテーブルはクローズされたものとして処理されます。

ユーザーの処置: CICS ジョブに指定された様々な領域サイズ

## DFHFC0445 • DFHFC0490

のパラメーターをおそらくもう一度考慮する必要があります。  
VSE ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとらなければならない場合があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *X'code'*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0445 *applid* Data table disconnect request for remote file *filename* has failed for reason *code*.

説明: CICS はリモート・データ・テーブル *filename* から切断しようとしたのですが、切断できませんでした。

要求側領域が、実行側領域が所有するリモート・ファイル *filename* への接続を中断しようとしているときに、エラーが発生しました。理由コード *X'code'* の値は、CICS がリモート・ファイルから切断できなかった理由についての詳細を示します。

理由コードの形式は、*X'ffaaaaaa'* (*ff* は障害のタイプを識別する *X'80'* 未満の値で、*aaaaaa* はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、*X'axxxxxr'* (*a* は異常終了のタイプを分類する *X'8'* 以上の値で、*rrrr* には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、*xxx* にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

*X'code' < X'80000000'* の場合、*X'ff'* の値は、以下のとおりです。

**X'01'** 予期しない障害が発生しました。このコードは、データ・テーブル SVC が起こりえないエラーを検出すると報告されます。

**X'06'** エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト *aa0000* は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

*X'code' = X'80000000'* の場合、*X'a'* の値は、以下の組み合わせになります。

**X'8'** 異常終了が検出されました。

**X'4'** ユーザー異常終了が検出されました。この場合、*xxx* には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、*xxx* に 16 進システム完了コードが入ります)。

**X'2'** 異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったために十分に分析することができませんでした。

**X'1'** 非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このテーブルは、要求側の CICS システムから切断されたものとして処理されます。予期しないエラー (*X'ff' = X'01'*) の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられません。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

**X'01'** システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

**X'06'** データ・テーブル SVC モジュール DFHDTSVC のロードに関連する CICS SVC エラーが発生しないように、要求側の初期設定は DISCONNECT が出される前に完了させなければなりません。したがって、このエラーはおそらく論理の問題か、ユーザーのシステムの破壊を示しています。

**= X'80'** 異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *code*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0446 *applid* Data table disconnect request for remote file *filename* has failed because of a storage failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS はリモート・データ・テーブル *filename* から切断しようとしたのですが、ストレージの解放に失敗したため切断できませんでした。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このテーブルは、要求側の CICS システムから切断されたものとして処理されます。

ユーザーの処置: これは、内部エラーまたはシステムが破壊されたことを示します。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *X'code'*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0490 *applid* Unable to use data table for file *filename*.

説明: ファイル *filename* が関連するデータ・セットには、関連データ・テーブルがありますが、ストレージが不足しているため、CICS はそのテーブルのデータを使用することができません。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。テーブルからレコードを取り出せないため、ファイルへの読み取り専用アクセスのパフォーマンスは低下します。

ユーザーの処置: EDSA の外側の CICS 領域に十分なストレージがあることを確認してください。

詳しい手引きについては、「CICS Shared Data Tables Guide」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソール



**DFHFC0920** *applid* **Open of empty file filename failed.****VSAM codes** - *eeee,rrrr,cccc*

説明: CICS ファイル制御が VSAM ファイル *filename* にオープン・コマンドを出しましたが、このコマンドは VSAM 戻りコード *cccc* を出して失敗しました。CICS 内部エラー・コード *eeee* の値は 8509 で、*rrrr* はレジスター 15 の戻りコードです。

このオープンの失敗は、CICS が使用する前にファイルがロードされなかったことによるものと考えられます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* がクローズされたまま、しかもその状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

VSAM は、コンソール・エラー・メッセージを出します。

ユーザーの処置: CICS がアクセスする前に、ファイルがロードされたかどうか検査してください。この条件は、空のファイルを CICS に渡す際のユーザー・エラーの結果と考えられます。

VSAM 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid, filename, eeee, rrrr, cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0921** *applid* **Open of file fileid failed. Batch****backout needed. Error codes:** *eeee,cccc,dddd*

説明: 基本クラスター・ブロックの「バックアウト失敗」フラグがオンに設定されていることが検出されたため、ファイル *fileid* をオープンすることができませんでした。バッチ・バックアウト・ユーティリティを実行して基本クラスター・データを訂正する必要があります。その後、SET DSNAME(...) NORMAL コマンドでそのフラグをオフにする必要があります。

*eeee* の値は 8512 であり、これは CICS 内部エラー・コードを表します。

*cccc* および *dddd* の値は VSAM コードを表し、これらはゼロです。

システムの処置: ファイルはクローズされたままです。

ユーザーの処置: このファイルが CSD でない場合は、バッチ・バックアウト・ユーティリティを実行し、基本クラスター内のデータを検査し、それから SET DSNAME(...)

NORMAL コマンドを出してください。

そのファイルが CSD である場合は、バッチ・バックアウト・ユーティリティを実行し、CICS グローバル・カタログ (DFHGCD) を削除した後、それを再定義してください。そのようにした場合には、コールド・スタートしなければなりません。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *applid, fileid, eeee, cccc, dddd*

宛先: コンソール

**DFHFC0922A** *applid* **Base data set closed, batch backout needed for base dsname**

説明: このメッセージの前に、メッセージ DFHFC4600 と DFHFC4601、あるいはメッセージ DFHFC5712 と DFHFC5713 が出されています。それらのメッセージが出されているのは、この基本クラスター・データ・セットに行われたコミットされていない変更を、ファイル・バックアウトでバックアウトすることができなかったためです。

このデータ・セットに対してオープンされているファイルはすべて、これでクローズされました (あるいは「クローズ要求」状態にあります)。

特別な「終了」タイプの「バックアウト失敗」レコードがシステム・ジャーナルに書き込まれて、バッチ・バックアウト・ユーティリティにこの事実が知らされました。基本クラスター制御ブロックには、「バックアウト失敗」のフラグが付けられました。このフラグが CEMT または EXEC CICS SET DSNAME(base) NORMAL コマンドでリセットされるまで、この基本クラスター・データ・セットに対してファイルをオープンすることはできません。この時点で、システム・ログを交換し、それを保存し、コミットされていない変更を CICS とはオフラインの状態バックアウトすることができます。

システムの処置: システムは通常どおり続行されます。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE DSNAME FAILED コマンドを用いて、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態にあるか「バックアウト失敗中」状態にあるかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態 (データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている) になるまで待機してください。その後、システム・ログをオフライン・バックアウト・ユーティリティの実行の際に使用できるように、システム・ログを交換してそれを保存する必要があります。

モジュール: DFHFCBF

**XMEOUT** パラメーター: *applid, base dsname*

宛先: コンソール

**DFHFC0931** *applid* **OPEN of data table name failed for reason n.**

説明: CICS は、理由 *n* のため、ユーザー保守データ・テーブル *name* を OPEN することができませんでした。ここで、*n* には、次のいずれかの値が入ります。

- 1 データ・テーブル・サポート初期設定モジュール DFHDTINT をロードできませんでした。
- 2 DFHDTINT 以外のデータ・テーブル・サポート・モジュールをロードできませんでした。
- 3 データ・テーブルのソース・データ・セットが、KSDS 基本データ・セットではありません。
- 4 データ・テーブル OPEN モジュール DFHDTOC が失敗しました。

システムの処置: データ・テーブルはクローズされたままで、DISABLED になります。CICS 処理は続行されます。

## DFHFC0932 • DFHFC0936

ユーザーの処置: 適切なユーザーの処置は、以下に示すとおり、理由コード *n* によって異なります。

- 1 データ・テーブル機能がシステムにインストールされているかどうか、また DFHDTINT がライブラリー内に存在するかどうか検査してください。
- 2 モジュール DFHDTxxx のロードの失敗を示す VSE コンソール・メッセージを探してください。このモジュールがライブラリー内にあることを確認してください。
- 3 データ・テーブルが、意図したソース・データ・セットに関連付けられているかどうかを調べてください。
- 4 データ・テーブルおよびその他の機能を実行するために必要な合計ストレージが、VSE タスク用の合計専用区域を超えていないかどうか検査してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name*, *n*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0932 *applid* OPEN of data table *name* was incomplete for reason *n*.

説明: 理由 *n* のため、CICS は、CICS 保守データ・テーブルとして *name* を取り扱うことができませんでした。

システムの処置: データ・テーブルのソース・データ・セットは、アクセスのために通常の VSAM データ・セットとしてオープンされますが、主ストレージ・テーブルは作成されません。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 適切なユーザーの処置は理由コード *n* によって異なります。理由コードおよびそれらに該当するユーザーの処置のリストについては、メッセージ DFHFC0931 を参照してください。

このメッセージが出されても失われる機能はないので、緊急な処置はおそらく必要ありません。ただし、READ パフォーマンスには悪影響が出る可能性があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name*, *n*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0933 *applid* FREEMAIN failure detected during CLOSE of data table *name*.

説明: データ・テーブル *name* に関連したストレージを CICS が解放しようとしていたとき、OS/390 FREEMAIN が出されました。エラー応答 R15=4 が戻されました。CICS アドレス・スペースのストレージの一部が解放されませんでした。このエラーの原因は、おそらく、以前にデータ・テーブル制御域が上書きされたことです。

システムの処置: CICS はデータ・テーブル *name* をクローズします。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: この条件は、データ・テーブル機能に悪影響を及ぼすことはありません。しかし、問題が再発する場合には、このメッセージが表示されたらすぐに、システム・ダンプ (SDUMP) をとってください。ダンプをとる際に、例えば、CEMT PERFORM SNAP コマンドを使用します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name*

164 z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 巻

宛先: コンソール

---

### DFHFC0934 *applid* OPEN of data table *name1* was incomplete. Data table *name2* already open with same source.

説明: CICS は、データ・テーブル *name1* を CICS 保守データ・テーブルとして取り扱うことができませんでした。それは、そのソースとして使用されるデータ・セットが、CICS 保守データ・テーブル *name2* のソースとしてすでに使用されていたからです。

システムの処置: CICS は、アクセスのためにデータ・テーブルのソース・データ・セットを通常の VSAM データ・セットとしてオープンしますが、ファイル *name1* は、*name2* のオープンの結果作成された CICS 保守テーブルをアクセスすることができません。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: この不一致が生じた理由を調査してください。名前をつづりを誤ったか、あるいは複数のテーブルが並行してオープンされるよう意図しなかった可能性があります。あるいは、1 つのテーブルが、JCL、または RDO FILE リソース定義の DSNNAME パラメーター、または DFHFCT TYPE=CICSTABLE 項目のいずれかで設定された間違っただけのデータと関連付けられた可能性もあります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name1*, *name2*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0935 *applid* SHAREOPTIONS of the source for data table *name* allow inconsistencies between table and source.

説明: データ・テーブル *name* に関連付けられたソース・データ・セットの領域間 SHAREOPTION は 3 または 4 です。あるいは、SHAREOPTION は 2 で、このテーブルは読み取りアクセスのためだけにオープンされています。この VSE システム内の別のジョブが CICS に通知しないでソースを更新することが可能です。その結果、データ・テーブルはソース・データ・セットに一致しなくなる可能性があります。

システムの処置: データ・テーブルのオープンおよびロードは、正常に続行されます。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: SHAREOPTION が正しく指定されているか検査してください。

テーブルを所有する CICS システムによって変更が行われた場合にのみ、ソース・データ・セットの変更がデータ・テーブルに反映されることに注意してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0936 *applid* Initiation of loading of data table *name* has failed.

説明: データ・テーブル *name* についてのテーブル・ロード・トランザクションを開始する試みが失敗しました。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。この影響として、テーブルがいつでもロード中のように見え、そのためロード完了出口 XDTLC が呼び出されません。

その結果として、このテーブルは実際には要求時にロードされることとなります。これは、項目がテーブル内に作成されるのは、トランザクションが明示的にそのことを指示した場合に限ることを意味します。さらに別の結果として、ユーザー保守テーブルの場合、API 要求 (READ を除く) が例外なく LOADING 条件を引き起こすことにもなります。

ユーザーの処置: OPEN 要求のトレースならびにすべての関連メッセージとダンプによって障害の原因を判別した後で、訂正処置をとってください。テーブルはロードしないでオープンにしたままにするというシステムの処置は、ユーザーのアプリケーションに悪影響を及ぼす可能性があります。例えば、そのアプリケーションが、ロードの完了後すぐにユーザー保守テーブルを更新できることに依存する場合があります。その場合には、データ・テーブルのクローズおよび再オープンは即時応答として成功することがあります。ただし、問題が単にリソースの一時的な不足による場合に限りです。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name*

宛先: コンソール

**DFHFC0937** *applid* OPEN of *name1* as a data table was not possible. The file has been opened and will use data table *name2* which has the same source.

説明: CMT *name2* がすでに *name1* のファイル定義に指定されたソース・データ・セット用にオープンされているため、ファイル *name1* を CICS 保守データ・テーブル (CMT) としてオープンすることができませんでした。ただし、*name1* は、すでにオープンされている CMT にアクセスして共用データ・テーブル・サポートを利用することができます。

システムの処置: *name1* は、通常の CICS ファイルとしてオープンされており、したがって、可能な場合は常に既存データ・テーブル *name2* を自動的に使用します。

ユーザーの処置: 通常これは問題ではありませんが、データ・テーブル *name2* が、レコードの最大数およびデータ・テーブル・ユーザー出口の動作について要求どおりの特性になっているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *name1*, *name2*

宛先: コンソール

**DFHFC0940I** *date time applid* CICS data table load has started for data table *name*.

説明: データ・テーブル *name* に対するオープン要求が出されていること、ならびにそのデータ・テーブルをロードするタスクが生成されていることを、CICS ファイル制御が検出しました。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDTLXD

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *name*

宛先: CSFL

**DFHFC0941I** *date time applid* CICS data table load has completed successfully for data table *name*.

説明: データ・テーブル *name* をロードするために生成されたタスクが、そのロードを正常に完了しました。

システムの処置: 正常なロードを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態でユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDTLXD

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *name*

宛先: CSFL

**DFHFC0942E** *date time applid* CICS data table load has terminated abnormally for data table *name*, reason code = X'*xx*'.

説明: データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが理由コード X'*xx*' を受け取りました。ただし、X'*xx*' は次のいずれかの値です。

X'**FB**' CICS ファイル制御は、データ・テーブル・ロードを中止するよう要求しました。これは、例えばデータ・テーブルに対してクローズ要求が行われた場合に発生します。

X'**FD**' テーブル定義で指定した最大項目数を超える項目を、データ・テーブルに追加しようとしたため。

X'**FE**' 仮想記憶の不足が (DASD からの) 追加項目のサービスによって報告されました。これは、レコード用のストレージの獲得に失敗したためです。

システムの処置: ファイル制御がロードを中止するよう要求しない限り (理由コード X'**FB**'), ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。この出口に渡される UEPDTORC パラメーターの値は、ロードが異常終了をしたことを示しています。レコードはこれ以上データ・テーブルにロードされません。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。

このテーブルが CICS 保守テーブルである場合は、ユーザー出口がファイルのクローズ要求を出していなければ、API 要求を満たすために、データ・テーブルに追加されなかったレコードがソース・データ・セットから取り出されます。

このテーブルがユーザー保守テーブルである場合には、追加されなかったレコードへのアクセスを要求しても、「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。このテーブルがクローズされていた場合には、API 要求に対して「使用不可」を示す応答コードが出されます。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 適切なユーザーの処置は、その理由コードによって異なります。ユーザーの処置は次のとおりです。

X'**FB**' 処置は不要です。

X'**FD**' FCT 項目内の SIZE パラメーターまたは RDO FILE 定義内の MAXNUMRECS フィールドのいずれかを 사용하여、データ・テーブル用に指定したサイズを増やしてください。

X'**FE**' 16 MB 境界より上にある使用可能なストレージを増やしてください。

モジュール: DFHDTLTX

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, name, X'xx'*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSFL

**DFHFC0943E** *date time applid* CICS data table load has terminated abnormally for data table *name*, reason code = *X'xx'*.

説明: データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが、ソース・データ・セットのブラウズ中に、予期しない戻りコードを CICS ファイル制御から受け取りました。理由コード *X'xx'* は次のいずれかです。

**X'02'** ILLOGIC : 他のカテゴリーのいずれにも当てはまらない VSAM エラー。

**X'0C'** NOTOPEN : ファイルがクローズされて使用不可の状態であるか、あるいはまだオープンされていて使用中であるが、CLOSE 要求が出された。

**X'0D'** DISABLED : ファイルが使用不可の状態になっている。

**X'80'** IOERR : 入出力エラー。

システムの処置: ロードが異常終了したことを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態で、ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。レコードはこれ以上データ・テーブルにロードされません。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。

このテーブルが CICS 保守テーブルである場合は、ユーザー出口がファイルのクローズ要求を出していなければ、API 要求を満たすために、データ・テーブルに追加されなかったレコードがソース・データ・セットから取り出されます。

このテーブルがユーザー保守テーブルである場合には、追加されなかったレコードへのアクセスを要求しても、「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。このテーブルがクローズされていた場合には、API 要求に対して「使用できない」ことを示す応答コードが出されます。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: CICS ファイル制御からの戻りコードの理由を調べてください。理由コードについての詳細は、「CICS Application Programming Reference」の STARTBR および READNEXT コマンドの例外条件の説明を参照してください。

モジュール: DFHDTLTX

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, name, X'xx'*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSFL

**DFHFC0945E** *date time applid* CICS data table load has terminated abnormally for data table *name*.

説明: データ・テーブル *name* をロードしていた特別な CICS トランザクションが異常終了を検出しました。

システムの処置: この異常終了の原因に応じて、CICS はシステム・ダンプまたはトランザクション・ダンプのいずれかを作成します。

ロードが異常終了したことを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態で、ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。その後、CICS はロード・トランザクションを終了させて、異常終了コード AFCM を出し

ます。レコードはこれ以上データ・テーブルにロードされません。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。

このテーブルが CICS 保守テーブルである場合は、ユーザー出口がファイルのクローズ要求を出していなければ、API 要求を満たすために、データ・テーブルに追加されなかったレコードがソース・データ・セットから取り出されます。

このデータ・テーブルがユーザー保守テーブルである場合には、追加されていない任意のレコードに対するアクセスを要求しても、「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。このテーブルがクローズされていた場合には、API 要求に対して「使用不可」を示す応答コードが出されます。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 関連した CICS メッセージに関するシステム・ログを調べて、ロード・トランザクションによって検出された最初に出された異常終了を判別してください。最初に出された終了の原因に関する詳細については、異常終了コード AFCM の説明を参照してください。

システム問題の判別方法についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHDTLTX

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, name*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSFL

**DFHFC0946E** *date time applid* CICS data table load has terminated abnormally for data table *name*, a call to FCFR has failed for reason code = *n*.

説明: ソース・データ・セットをブラウズするためにファイル制御を呼び出している間に、データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1. FCFR からの応答は INVALID でした。
2. FCFR からの応答は DISASTER でした。
3. FCFR からの応答は PURGED でした。
4. FCFR が何らかの予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: ロードが異常終了したことを示すようパラメーター UEPDTORC が設定されて、ユーザー出口 XDTLC が呼び出されます (使用可能な場合)。その後、CICS はロード・トランザクションを終了させて、異常終了コード AFCM を出します。レコードはこれ以上データ・テーブルにロードされません。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。

このテーブルが CICS 保守テーブルである場合は、ユーザー出口がファイルのクローズ要求を出していなければ、API 要求を満たすために、データ・テーブルに追加されなかったレコードがソース・データ・セットから取り出されます。このデータ・テーブルがユーザー保守テーブルである場合には、追加されていない任意のレコードに対するアクセスを要求しても、「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。このテーブルがクローズされていた場合には、API 要求に対して「使用できない」ことを示す応答コードが出されます。

CICS 処理は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: ファイル制御が提供する診断情報を使用して、ドメイン呼び出しの失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDTLDX

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, name, n*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSFL

**DFHFC0947E** *date time applid CICS data table load has failed to close data table name, a call to FCFS has failed for reason code = n.*

説明: データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが、出口点 XDTLC で呼び出された出口プログラムの要求でファイルをクローズしようとしていたときに、失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1. FCFS からの応答は INVALID でした。
2. FCFS からの応答は DISASTER でした。
3. FCFS からの応答は PURGED でした。
4. FCFS は何らかの予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード AFCM を出します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 以前の問題がこのロードで発生したことがない限り、XDTLC 出口点で呼び出されたユーザー出口がそのファイルをクローズするよう要求することはほとんどありません。そのような以前の問題があれば、データ・テーブル *name* に関して出された可能性がある前のメッセージがあるかどうか調べて、その原因を判別してください。ファイル制御によって提供されている診断情報は、クローズ・ファイル呼び出しの障害を調べるのに使用することができます。

CICS 処理は続行されます。

メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。

モジュール: DFHDTLDX

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, name, n*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSFL

**DFHFC0948E** *date time applid CICS data table load for data table name has failed to free storage, a call to SMGF has failed for reason code = n.*

説明: データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが、ストレージを解放するためにストレージ・マネージャーを呼び出している間に、失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1. SMGF からの応答は INVALID でした。
2. SMGF からの応答は DISASTER でした。
3. SMGF からの応答は PURGED でした。
4. SMGF は予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード AFCM を出します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この条件は、データ・テーブル機能に悪影響を及ぼすことはありません。これは、境界より上の少量のストレージ (パラメーター・リストに使用されている) が、まだ解放されていないことを意味します。この状態が定期的に発生する場合には、ストレージ・マネージャー・ドメインによって提供された診断情報を使用して、ストレージ・マネージャーの FREEMAIN 呼び出しの失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDTLDX

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, name, n*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSFL

**DFHFC0950** *applid Warning. File filename Opened with VSAM SHROPT 3 or 4. CICS cannot prevent concurrent updates*

説明: VSAM 共用オプション 3 および 4 は、複数の領域からのデータ・セットの更新を可能にします。こうした状況下では、CICS は並行更新を防ぐことはできません。

このファイルは、共用オプション 3 または 4 で定義されているデータ・セットに対する更新を行うためにオープンされています。しかもこのファイルは、以下の自動ジャーナリング・オプションで定義されています。

次のいずれかになります。ファイルが FCT マクロを使用して定義されている場合には、JREQ=WU または WN です。

または、ファイルが RDO を使用して定義されている場合には、JNLADD = BEFORE、AFTER、または ALL です。

システムの処置: ファイルがオープンされ、警告メッセージが出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCN

XMEOUT パラメーター: *applid, filename*

宛先: コンソール

**DFHFC0951** *applid Open of file filename failed. DSNNAME not available from JCL or FCT*

説明: CICS は、ファイル *filename* のオープンを試みましたが、データ・セット名が JCL または FCT のいずれにも指定されていないために、そのオープンに失敗しました。

CICS ファイル制御がファイル *filename* をオープンしなかった理由は、次のとおりです。

1. 初期設定時に、スタートアップ JCL に DLBL ステートメントが入っておらず、さらに、
2. CICS のファイルの動的割り振りを可能にする DSNNAME パラメーターが FCT に入っていない。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* がクローズされたまま、しかもその状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: このトランザクションを再サブミットする前に、データ・セット名を JCL または FCT に与える必要があります。CEMT トランザクションまたは EXEC CICS SET コマンドを使用することによって、CICS の実行中に FCT に

名前を設定することができます。または、CEDA トランザクションを使用して FCT 項目の訂正および再インストールを行ってください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, filename*

宛先: コンソール

**DFHFC0952** *applid* Dynamic allocation of file *filename* failed. Return code *rrrr,cccc*

説明: ファイル *filename* のラベル定義を動的に追加しているときに、障害が起り、戻りコード *cccc* が戻されました。*rrrr* はレジスター 15 の追加戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、しかもその状態を UNENABLED にしたままで処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 戻りコードの意味は次のとおりです。

- 4 ラベルを追加できませんでした。追加戻りコードの意味は次のとおりです。
- X'0204' 使用可能な仮想記憶が不足している。
  - X'0238' 区画の一時ラベル・サブエリアがいっぱいである。
  - X'0410' このファイルのラベルは、すでにラベル域に存在している。
  - X'0438' このファイルのラベルは、ラベル域に存在していない。
  - X'0460' ラベル削除要求に指定されたファイル ID は正しくない。

最後の 3 つのコードについては、この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

- 10 z/VSE LABEL マクロ機能が失敗しました。この場合、追加戻りコードには次の 2 つのコンポーネントがあります。

- バイト 1 失敗した LABEL マクロ機能です。
- バイト 2 失敗した機能の LABEL マクロ戻りコードです。

上記のコードの意味については、「z/VSE IPL and Job Control Diagnosis Reference」を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, filename, rrrr, cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0953** *applid* Open or close of file *filename* failed. CICS logic error *eeee,cccc*

説明: ファイル *filename* をオープンまたはクローズする要求の処理中に、CICS はファイル制御サービス・プログラムの中に内部論理エラーを検出しました。*eeee* の値により、以下のようなエラーが示されます。

- 8105 DFHFCFS セットのベース *dsname* ブロックが失敗しました。*cccc* は DFHFCFS からの戻りコードです。
- 8302 DFHFCN への要求が、FCT 内にはないプールに関するものです。
- 8701 DFHFCN への要求が、OPEN でも CLOSE でもありません。
- 8704 DFHFCFL への要求が、BUILD でも DELETE でもありません。
- 8705 DFHFCFL への要求が、無効なプール番号 *cccc* に関するものです。
- 8706 DFHFCFL への要求が、FCT 内にはないプール番号 *cccc* に関するものです。
- 8707 DFHFCFL は、BLDVPRP パラメーターの作成に失敗しました。*cccc* はプール番号です。
- 8798 DFHFCN 内のオフセット *cccc* で OPEN 時の論理エラーが検出されました。

システムの処置: CICS は、タスクを異常終了させ、ダンプを作成します。そして、ファイル *filename* の状況は変えずに処理を続行します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、おそらく CICS 内の論理エラーです。ただし、ファイルのオープンまたはクローズを行っている間に CICS を即時シャットダウンで終了すると、このような論理エラーが通常の出来事として発生する可能性があることに注意してください。これは、CICS が、タスクの実行とは関係なしに即時に終了したためです。

CICS によって BLDVPRP マクロに関するパラメーターを計算しなければならない場合 (LSR プール定義を RDO LSRPOOL リソース定義にも DFHFCT TYPE=SHRCTL マクロにも指定しなかった場合) にも、このエラーが起きる可能性があります。この LSR プール内のファイルの VSAM カタログをアクセスしようとする試みはすべて失敗します。その他のメッセージは、個々のカタログの障害について出されます。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, filename, eeee, cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0955** *applid* Associated data set is *dataset*

説明: このメッセージは DFHFC0952 の後に出されます。このメッセージは、そのメッセージの中で示されている VSAM データ・セットを識別しています。

システムの処置: DFHFC0952 に指定された仕方では処理は続行されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFC0952 に関するユーザーの処置に従ってください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, dataset*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0956** *applid* Open of file *filename* failed. VSAM catalog error. Return code - *eeee,cccc*

説明: VSAM データ・セット *filename* をオープンするために VSAM カタログを読み取っているときに、CICS ファイル制御は、SHOWCAT マクロから戻りコード *cccc* を受け取りました。値 *eeee* は、DFHFCN からのエラー・コードです。これらのエラー・コードは、以下のとおりです。

- 8112 経路の AIX® を求めた SHOWCAT が失敗しました。
- 8113 ベースのデータ・コンポーネントを求めた SHOWCAT が失敗しました。
- 8116 経路のベースを求めた SHOWCAT が失敗しました。
- 8117 アップグレード・メンバーを求めた SHOWCAT が失敗しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、システム・ダンプを作成し、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, filename, eeee, cccc*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0958** *applid* Open of file *filename* failed. VSAM resource usage conflict with open file

説明: CICS は、ファイル *filename* をオープンしませんでした。これは、アクセス方式制御ブロック (ACB) が、別の ACB が指定した (同一の基本クラスターのためにすでにオープンされている) バッファ/ストリング・リソース (NSR プールまたは LSR プール) とは異なるバッファ/ストリング・リソースを指定していることを、CICS が検出したためです。

VSAM は、同一のバッファ/ストリング・リソースを使用する ACB に限って、同一の基本クラスターのためにオープンされた種々の ACB に対して保全性を提供します。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、システム・ダンプを作成し、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 正しいバッファ/ストリング・リソースを判別し、FCT を変更してください。

あるいは、FCT に DSNSHR=UPDATE を指定して、ファイルを読み取り専用でオープンした場合には、保全性が損なわれる危険がないため、CICS は異なるバッファ/ストリング・リソースの使用を許可します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, filename*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0959** *applid* Open or close of file *filename* failed. CICS detected an error. Return code - *eeee,cccc*

説明: CICS は、VSE サブタスクのオープンまたはクローズが失敗したため、ファイル *filename* をオープンまたはクローズしませんでした。この障害の原因としては、以下のことが考えられます。

- VSE は、VSAM または VSE コードの障害のため、タスクの異常終了を試みた。
- サブタスク・コード内の CICS 論理障害。
- サブタスクが終了した後、CICS のシャットダウン時に、トランザクションはファイルのオープンまたはクローズを試みた。

*cccc* は DFHSCP からの戻りコードです。 *eeee* の値は次のとおりです。

- 8801 RDJFCB 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 8802 ALLOCATE 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 8803 ESTAEX 出口によってインターセプトされた DFHSTSK サブタスク内の異常終了による DFHSCP 障害
- 8804 DAM OPEN 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 8805 OPEN VSAM 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 8806 SHOWCAT 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 8807 VSAM GET 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 8808 DAM CLOSE 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 8809 VSAM CLOSE 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 880A DEALLOCATE 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 880C VSAM OPEN 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 880D VSAM CLOSE 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 880D ALLOCATE 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 880E DEALLOCATE 呼び出し時の DFHSCP の障害
- 8816 FCL RDJFCB 呼び出し時の DFHSCP の障害

システムの処置: CICS は、タスクを異常終了させ、システム・ダンプをとり、ファイル *filename* の状況を変更しないまま処理を続行します。

DFHSCP からの戻りコードが 001C である場合、動的に割り振られたデータ・セットは割り振り解除されない可能性があり、LSR プールは削除されない可能性があります。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、おそらく CICS かまたは別の IBM プログラムの論理エラーです。ただし、ファイルのオープンまたはクローズを行っている間に CICS を即時シャットダウンで終了すると、このような論理エラーが通常の出来事として発生する可能性があることに注意してください。これは、CICS が、タスクの実行とは関係なしに即時に終了したためです。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

## DFHFC0960 • DFHFC0964

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *eeee*, *cccc*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0960 *applid* Open of file *filename* failed. Unable to build its LSR pool *n*. Return code - *cccc*

説明: CICS は、ファイル *filename* の FCT 項目で指定されたローカル共用リソース (LSR) プールの作成を VSAM に要求しました。しかし、VSAM は要求を完了することができませんでした。*n* はプール番号であり、*cccc* は VSAM BLDVRP の戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* がクローズされたまま、しかもその状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

注: 初めてこのエラーが発生すると、CICS は、処理を続行する前にシステム・ダンプを作成します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: BLDVRP 戻りコードの意味については、「VSE/VSAM User's Guide and Application Programming」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *n*, *cccc*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0961 *date time applid* Calculation of LSR pool *n* parameters incomplete. Filename *filename* has no DSNAME

説明: ローカル共用リソース (LSR) プール *n* のためのパラメーターを動的に計算しているときに、CICS は、DSNAME の存在していない FCT 項目 (FCT 項目に DSNAME がないか、または DLBL ステートメントが CICS スタートアップ・ジョブ・ストリーム内に存在してしないかのいずれか) を見つけました。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

DSNAME がないと、CICS は、VSAM カタログを使用してファイル属性を判別することができません。したがって、LSR 計算では、CICS は FCT 項目の STRNO パラメーターで指定された文字列の数を使用します。

ユーザーの処置: 各 FCT 項目が、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリーム内のその DATASET 名に対応する DLBL ステートメントまたは DSNAME のいずれかを備えていることを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *n*, *filename*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

### DFHFC0962 *date time applid* Calculation of LSR pool *n* parameters incomplete for file *filename*. VSAM catalog access error. Return code - *cccc*

説明: CICS が、ローカル共用リソース (LSR) プール *n* のためにパラメーターを動的に計算しているときに、VSAM SHOWCAT または (IKQVCAT による) VSAM カタログ探索が失敗して、戻りコード *cccc* が出されました。ファイル *filename* に対するパラメーターが不完全です。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* のためのこれまでに累積された LSR パラメーターをそのまま維持して、処理を続行します。ただし、これ以降は、ファイル *filename* のための LSR パラメーターの計算は行われません。

失敗した VSAM 要求およびその戻りコードを識別する例外トレース項目がとられます。

ユーザーの処置: SHOWCAT 戻りコードの意味については、「VSE/VSAM User's Guide and Application Programming」を、カタログ探索の戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『IDCAMS コード』を参照してください。

このエラーは、VSAM カタログが破壊されたことを示しています。カタログをリストアできない場合は、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCL

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *n*, *filename*, *cccc*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

### DFHFC0963 *applid* LSR pool *n* not deleted. Code - *cccc*

説明: CICS は、ローカル共用リソース (LSR) プール *n* の削除を VSAM に要求しました。要求の処理中に、VSAM DLVRP マクロが失敗して戻りコード *cccc* が出されました。( *cccc* は、VSAM DLVRP の戻りコードです。)

システムの処置: CICS は、システム・ダンプをとり、プールがまだ存在している状態で処理を続行します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: DLVRP 戻りコードの意味については、「VSE/VSAM User's Guide and Application Programming」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *n*, *cccc*

宛先: コンソール

---

### DFHFC0964 *applid* Open of file *filename* failed. VSAM codes - *eeee*,*rrrr*,*cccc*

説明: CICS ファイル制御が、VSAM ファイル *filename* に対してオープンを出しました。オープンは失敗し、VSAM 戻りコード *cccc* が出されました。*eeee* には 8502 の値が入り、これは CICS 内部エラー・コードを表しています。*rrrr* はレジスター 15 にある戻りコードを表しています。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズにし



て、しかもその状態を UNENABLED にしたままで処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: VSAM は、コンソール・エラー・メッセージを出すはずですが、VSAM メッセージ、および CICS メッセージ内の VSAM 戻りコードを使用して、問題を解決してください。

VSAM 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *eeee*, *rrrr*, *cccc*

宛先: コンソール

#### DFHFC0965 *applid* Open of DAM file *filename* failed

説明: CICS ファイル制御は、BDAM ファイル *filename* に対してオープンを出しました。オープンが失敗しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズにして、しかもその状態を UNENABLED にしたままで処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: DAM は、コンソール・エラー・メッセージを出しているはずですが、問題を解決する方法についての詳細は、DAM メッセージを参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソール

#### DFHFC0966 *applid* Open of file *filename* failed. Unable to position ESDS. Error codes: *eeee*,*rrrr*,*cccc*

説明: VSAM ESDS ファイル *filename* を出力用にオープンする前に、CICS ファイル制御は、データ終了相対バイト・アドレス (RBA) を正しく判別することができませんでした。位置決め処理時に、CICS では、次のどのステップも実行することができますが、そのそれぞれのステップに失敗することも考えられます。

- どの VSAM カタログがそのファイルを所有しているかを判別する。
- 基本クラスターを制御インターバル (CI) 処理のためにオープンする。
- ファイルの中の最後の CI を読み取る。
- ファイルの中のデータ終了を判別する。
- 基本クラスターをクローズする。
- 基本クラスターを動的に割り振り解除する。

メッセージ内の値 *eeee* は、次のように、エラーまたは障害の起こった機能を示しています。

**8503** 基本クラスターのオープン。 *rrrr* は、レジスター

15 内の VSAM 戻りコードです。 *cccc* は、VSAM ACB 内のエラー・フィールドです。

**8504** 最後の制御インターバル (CI) の読み取り。 *rrrr*

は、レジスター 15 内の VSAM 戻りコードです。

*cccc* は、VSAM RPL 内の FDBK フィールドです。

**8505** スパン・レコードの最後の CI の中間。

**8506** 基本クラスターのクローズ。 *rrrr* は、レジスター 15 内の VSAM 戻りコードです。 *cccc* は、VSAM ACB 内のエラー・フィールドです。

**8507** CI を取得するためのストレージが不十分。

**8508** 基本の動的割り振り。 *rrrr* は、レジスター 15 内の VSE 戻りコードです。 *cccc* は VSAM 戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* がクローズされたまま、しかもその状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

CICS ファイル制御は、VSAM ESDS をオープンする際、制御インターバル処理を使用します。したがって、データ・セットに対して ACCESS(CONTROL) を指定しているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *eeee*, *rrrr*, *cccc*

宛先: コンソール

#### DFHFC0967 *applid* Error detected while closing file *filename* - VSAM codes *rrrr*,*cccc*

説明: CICS ファイル制御が、VSAM ファイル *filename* に対してクローズを出しました。クローズは失敗し、VSAM 戻りコード *cccc* が出されました。 *rrrr* はレジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: CICS 処理を続行します。VSAM がアクセス方式制御ブロック (ACB) をクローズしているはずなので、CICS はファイル *filename* にクローズのマークを付けます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコード *cccc* および前に出された VSAM コンソール・メッセージを利用して、問題の原因を判別してください。

VSAM 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *rrrr*, *cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0968** *applid* Close of DAM file *filename* failed

説明: CICS ファイル制御が、DAM ファイル *filename* に対してクローズを出しました。クローズが失敗しました。

システムの処置: CICS は続行し、ファイル *filename* はオープンされたままです。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: DAM は、コンソール・エラー・メッセージを出しているはずですが、DAM メッセージを使用して、問題を解決してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソール

**DFHFC0969** *applid* Close of file *filename* failed. CICS logic error - 8799 *rrrr*,*cccc*

説明: ファイル *filename* をクローズしようとしていたとき、CICS は、ファイル制御サービス・プログラムに内部論理エラー 8799 を検出しました。*cccc* は、エラーが発生した DFHFCN 内のオフセットです。

システムの処置: CICS は、タスクを異常終了させ、システム・ダンプをとり、ファイル *filename* の状況を変更しないまま処理を続行します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *rrrr*, *cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0970** *applid* Warning. Recoverable file *filename*, Opened with VSAM SHAROPT 3 or 4. CICS cannot ensure integrity

説明: リカバリー可能な VSAM ファイル *filename* を更新のためにオープンするときに、CICS は、このファイルが SHAREOPTION 3 または 4 で定義されていることを検出しました。このオプションは、複数の領域からの更新を許すものです。CICS は、このメッセージを出して、データの保全性を保証できないことを警告します。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をオープンして、処理を続行します。

ユーザーの処置: データの保全性が損なわれても構わない場合には、ユーザーの処置は不要です。

データの保全性が損なわれることが計画に入っておらず、それを受け入れることができない場合には、CICS を取り消して、別の SHAREOPTION でファイル *filename* を定義し直してから再始動してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソール

**DFHFC0971** *applid* Open of file *filename* warning. In positioning ESDS. Error codes: *rrrr*,*cccc*

説明: VSAM ESDS ファイル *filename* を出力のためにオープンする前に、CICS ファイル制御はデータ終了相対バイト・アドレス (RBA) を判別する必要がありました。位置決め処理には、DLBL 名 DFHESDS に対する基本クラスターの動的割り振りおよび動的割り振り解除が含まれていました。この割り振り解除が失敗しました。

VSAM 戻りコードは *cccc* であり、*rrrr* はレジスター 15 内の追加戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をオープンして、処理を続行します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *rrrr*, *cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0972** *applid* Open of file *filename* failed. VSAM catalog entry not found, return code - 8111 *cccc*

説明: VSAM ファイル *filename* をオープンしているときに、CICS ファイル制御が、JCL または FCT 内に与えられたファイル名を使用して VSAM カタログからの情報の検索を試みました。この最初の検索は失敗し、SHOWCAT マクロから VSAM 戻りコード *cccc* が戻されました。8111 は、CICS ファイル制御内のどこでエラーが検出されたかを示しています。システムの処置: CICS は、ファイル *filename* がクローズされたまま、しかもその状態を UNENABLED にしたまま、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: おそらく DSNNAME が FCT に正しく指定されていないはずですが、DSNNAME が正しく指定されている場合には、「VSE/VSAM User's Guide and Application Programming」で SHOWCAT 戻りコードの説明を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0973** *applid* Dynamic deallocation of file *filename* failed. Return code - *rrrr*,*cccc*

説明: ファイル *filename* をクローズしているときに、CICS ファイル制御は、VSE ラベル域からラベルを削除しようとした (割り振り解除)。この試みは失敗し、戻りコード *cccc* が戻されました。*rrrr* は、レジスター 15 内の追加戻りコードです。

システムの処置: ファイルはクローズされますが、割り振られたままの状態、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセー

ジ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: ユーザーが FCT 内の DSNNAME を変更し、同一の CICS の実行でそのファイルを再オープンすると、CICS は元のデータ・セットをオープンします。

戻りコードの意味は次のとおりです。

4 ラベルは削除できませんでした。追加戻りコードの意味は次のとおりです。

- X'0204' 使用可能な仮想記憶が不足している。
- X'0238' 区画の一時ラベル・サブエリアがいっぱいである。
- X'0410' このファイルのラベルは、すでにラベル域に存在している。
- X'0438' このファイルのラベルは、ラベル域に存在していない。
- X'0460' ラベル削除要求に指定されたファイル ID は正しくない。

最後の 3 つのコードについては、この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

10 z/VSE LABEL マクロ機能が失敗しました。この場合、追加戻りコードには次の 2 つのコンポーネントがあります。

- バイト 1 失敗した LABEL マクロ機能です。
- バイト 2 失敗した機能の LABEL マクロ戻りコードです。

上記のコードの意味については、「z/VSE IPL and Job Control Diagnosis Reference」を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, filename, rrrr, cccc*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0974** *date time applid* Calculation of LSR pool *n* parameters incomplete for file *filename*. VSAM catalog inconsistency - 0000

説明: ファイル *filename* のためにローカル共用リソース (LSR) パラメーターを動的に計算しているときに、VSAM SHOWCAT マクロから通常の戻りコードが与えられたことと、検索の対象となるものが論理的に正しくないことを CICS は検出しました。 *n* はプール番号であり、0000 はエラーのあった VSAM オブジェクト・タイプです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* のためのこれまでに累積された LSR パラメーターをそのまま維持して、処理を続行します。ただし、これ以降は、ファイル *filename* のための LSR パラメーターの計算は行われません。

ユーザーの処置: このエラーは、VSAM カタログが破壊され

たことを示しています。カタログをリストアできない場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, n, filename, 0000*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHFC0975** *applid* LSR pool *n* already exists

説明: CICS は、ローカル共用リソース (LSR) プール *n* の作成を VSAM に要求しました。しかし、このプールはすでに存在しています。

システムの処置: CICS の処理を続行します。既存のプールが不適当なものであれば、後続のファイルの OPEN は失敗します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: プールの作成時刻および削除時刻について、システム・コンソール・ログおよび LSR 統計データを調べてください。ログの場合には、プールの削除に失敗しなかったかどうか調べてください。(このエラーに関する最も単純でよく見られる原因としては、以前にプール *n* を削除しようとして失敗したことが考えられます。)

モジュール: DFHFCL

XMEOUT パラメーター: *applid, n*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0976** *applid* File *filename* not opened. DSNNAME = DUMMY

説明: DLBL ステートメント内の DSNNAME が DUMMY であったため、CICS はファイル *filename* をオープンできませんでした。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* がクローズされたまま、しかもその状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCN

XMEOUT パラメーター: *applid, filename*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0977** *applid* Open of file *filename* failed. VSAM catalog error. Return code - *eeee,cccc*

説明: CICS が、ファイル *filename* をオープンして、VSAM カタログから情報を検索していたとき、カタログ探索機能は失敗して戻りコード *cccc* を出しました。*eeee* は次のような DFHFCN 戻りコードです。

8114 (IKQVCAT による) 索引またはデータに関するカタログ探索が失敗しました。

8115 (IKQVCAT による) 基本クラスターに関するカタログ探索が失敗しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* がクローズされたまま、しかもその状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトラ

ンザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『IDCAMS コード』を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *eeee*, *cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0978** *applid* Open of file *filename* failed. VSAM catalog error. Return code - *eeee*

説明: CICS がファイル *filename* をオープンして、VSAM カタログから情報を検索していたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチン (DFHFCN) は CICS 論理エラーを検出しました。 *eeee* は、以下のとおりです。

**8118** 経路についての VSAM カタログ項目に、その最初の関連としての基本クラスターまたは AIX がありません。

**8119** AIX に関する VSAM カタログ項目に、データの関連または基本クラスターの関連のいずれかが欠落しています。

**811A** 基本クラスターに関する VSAM カタログ項目に、データの関連または索引の関連が欠落しています。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* がクローズされたまま、しかもその状態を UNENABLED にしたまま、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: ファイル *filename* 用の VSAM LISTCAT リストを入手してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *eeee*

宛先: コンソール

**DFHFC0979** *date time applid* LSR pool *n* parameters incomplete for file *filename* Entry not found. RC - *rrrr*

説明: VSAM ローカル共用リソース (LSR) パラメーターを動的に計算しているときに、CICS は、ファイル *filename* に関する FCT 項目のデータ・セット名を使用して、VSAM カタログから情報の検索を試みました。しかし、カタログ・アクセスは失敗し、SHOWCAT マクロから VSAM 戻りコード *rrrr* が出されました。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、LSR プールの計算には、ファイル *filename* に関するパラメーターを使用しません。

ユーザーの処置: このファイルについて JCL を正しく指定していることと、このファイルを取容しているカタログが JCL に含まれていることを確認してください。こうした検査を行ってもエラーがはつきりしない場合には、「VSE/VSAM User's Guide and Application Programming」で SHOWCAT 戻りコード *rrrr* の意味を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *n*, *filename*, *rrrr*

宛先: CSMT

**DFHFC0980** *applid* Open of base for file *filename* failed. CICS logic error *eeee,cccc*

説明: ファイル *filename* についてレコード挿入が要求されたときに使用された経路の VSAM ESDS ベースをオープンしようとしていたときに、CICS が内部論理エラーを検出しました。 *eeee* は、以下のとおりです。

**8E01** DFHFCM への要求が、OPEN でも CLOSE でもありません。

**8E99** オフセット *cccc* における DFHFCM 処理中の論理エラー。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、トランザクションを異常終了させます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *eeee*, *cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0982** *applid* Open of base for file *filename* failed. VSAM codes - *rrrr,cccc*

説明: ファイル *filename* についてレコード挿入が要求されたときに使用された経路の VSAM KSDS ベースをオープンしようとしていたときに、CICS ファイル制御が OPEN コマンドを出しました。しかし、その OPEN は失敗し、ACB から VSAM エラー・コード *cccc* が出されました。 *rrrr* は、レジスター 15 内の VSAM 戻りコードです。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、トランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: VSAM は、コンソール・エラー・メッセージを出します。VSAM メッセージ、および CICS メッセージ内の VSAM 戻りコードを使用して、問題を解決してください。

VSAM 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

モジュール: DFHFCM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *rrrr*, *cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0983** *applid* Close of base for file *filename* failed. CICS logic error *eeee,cccc*

説明: ファイル *filename* についてレコード挿入が要求されたときに使用された経路の VSAM KSDS ベースをクローズしようとしていたときに、CICS はエラーを検出しました。 *eeee* は、以下のとおりです。

**8E05** VSAM ベースをクローズするための DFHFCM における失敗。 *cccc* は、VSAM ACB からのエラー・コードです。

システムの処置: CICS は、ベースをオープンしたままでシステム・ダンプをとり、処理を続行します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCM

XMEOUT パラメーター: *applid, filename, eeee, cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0986** *applid* Open of base for file *filename* failed.  
CICS detected error *eeee,cccc*

説明: CICS は、ファイル *filename* のベースをオープンまたはクローズさせませんでした。それは、レコード挿入が要求されたときに使用された経路の KSDS (VSAM キー順データ・セット) ベースをオープンまたはクローズしているときに、オープン/クローズ VSE サブタスクが失敗したためです。

この障害の原因としては、以下のことが考えられます。

- VSE は、VSAM または VSE コードの障害のため、タスクの異常終了を試みた。
- サブタスク・コード内の CICS 論理障害。
- サブタスクが終了した後、CICS のシャットダウン時に、トランザクションはファイルのオープンまたはクローズを試みた。

*cccc* は DFHSKP からの戻りコードです。 *eeee* の値は次のとおりです。

**8E11** DFHFCM ALLOCATE 呼び出しでの DFHSKP の障害

**8E12** DFHFCM OPEN 呼び出しでの DFHSKP の障害

**8E13** DFHFCM CLOSE 呼び出しでの DFHSKP の障害

**8E14** DFHFCM DEALLOCATE 呼び出しでの DFHSKP の障害

システムの処置: CICS は、タスクを異常終了させ、システム・ダンプをとり、処理を続行します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、おそらく CICS かまたは別の IBM プログラムの論理エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCM

XMEOUT パラメーター: *applid, filename, eeee, cccc*

宛先: コンソール

**DFHFC0987** *applid* Open of file *filename* failed: Not available for type of processing. VSAM codes - 0008, 00A8

説明: CICS が VSAM ファイル *filename* のオープンを試みたときに、その OPEN は失敗して、メッセージ・テキストに示される VSAM 戻りコードを出しました。障害の理由としては、データ・セットを CICS 領域内の別の ACB または別の領

域が使用中であること、もしくは VSAM 共用オプションが OPEN を許可するのに必要な共用レベルを禁止していることが考えられます。

システムの処置: CICS は、ファイルをクローズにしたままで、しかもその状態を UNENABLED にして、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このデータ・セットを別のユーザーが使用している場合には、それが解放されるまで待ってから OPEN を再試行してください。

問題が再発したがそれを解決ができない場合、IBM からのサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, filename*

宛先: コンソール

**DFHFC0988** *applid* Open of file *filename* failed. This data set type is not supported by CICS.

説明: ファイル *filename* をオープンしようとしたのですが、ファイルが、CICS によってサポートされていないタイプのデータ・セットを参照したので、ファイルのオープンは失敗しました。

CICS ファイル制御は、VSAM KSDS、ESDS および RRDS データ・セット、KSDS および ESDS データ・セットによる経路、および DAM データ・セットのオープンをサポートします。それ以外のデータ・セットはサポートされません。例えば、CICS は、VSAM VRDS データ・セットのオープンをサポートしません。

システムの処置: CICS は、*filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: おそらく DSNNAME がファイル定義に正しく指定されていないはずです。ファイル定義を訂正してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid, filename*

宛先: コンソール

**DFHFC0990** *applid* Open of file *filename* failed. Recovery specified, but the path is not in the upgrade set. Base data set *dsname*

説明: 更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE または UPDATE の設定) のために、(代替索引による VSAM 経路に関連付けられた) リカバリー可能なファイルをオープンしようとした。しかし、代替索引がベースの更新セットに入っていませんでした。CICS はこの条件を検出し、ファイルをオープンしようとしません。

代替索引がベースの更新セットにない場合には、このベースを介して行われたすべての更新は、代替索引に反映されないこととなります。したがって、この経路を介して行われた更新は、データの保全性を損なう可能性があります。

RECOVERY=ALL または RECOVERY=BACKOUTONLY が、経路の FCTE 項目上または基本データ・セット上で指定された場合、経路のオープンは失敗することに注意してください。

この基本データ・セットは、コールド・スタート以降、そのファイルに対する更新のためにオープンされる最初のファイルのリカバリー属性をとりまします。これらの属性はデータ・セット上で効力を保ち、ファイルのオープン時に FCT 項目およびデータ・セット間で整合性検査が実行されます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして使用不可の状態では処理を続行します。

ユーザーの処置: データ・セットをオフラインにして、UPGRADE オプションを使用して代替索引を再定義してください。BLDINDEX ジョブを実行して、基本データ・セットに関して代替索引を最新のものにしてから、ファイルのオープンを再試行してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *dsname*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0991** *applid* Open of file *filename* failed. Recovery attributes conflict with those on the VSAM data set - *cccc*. Base data set *dsname*

説明: 更新処理 (SERVREQ=ADD, DELETE, または UPDATE 設定) のために、ファイル *filename* のオープンを試みました。CICS は、ファイルのリカバリー属性が、VSAM 基本データ・セットで有効なリカバリー属性と一致していないことを検出しました。データ保全性を維持するために、このファイルはオープンされませんでした。

このデータ・セットは、コールド・スタート以降、そのファイルに対する更新のためにオープンされる最初のファイルのリカバリー属性をとりまします。コード *cccc* は見つかった不整合を識別します。このコードは、以下の値をとりまします。

**8514** ファイルもデータ・セットも RECOVERY=ALL が指定されていますが、指定されている順方向リカバリー・ログが異なります。

**8515** このデータ・セットには、RECOVERY=BACKOUTONLY または RECOVERY=NONE が指定されていて、ファイルが RECOVERY=ALL を使用してオープンしようとしています。

**8516** このデータ・セットには、RECOVERY=NONE が指定されています。このファイルは、RECOVERY=BACKOUTONLY でオープンしようとしています。

**851B** ファイルが RECOVERY=NONE または BACKOUTONLY を指定しました。VSAM データ・セットには RECOVERY=ALL が指定されています。

**851C** ファイルが RECOVERY=NONE を指定しました。VSAM データ・セットには、BACKOUTONLY が指定されています。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして使用不可の状態では処理を続行します。

ユーザーの処置: 同じ VSAM データ・セットを参照しているファイルに、それぞれ同じリカバリー属性が指定してあることを確認してください。

CEDA ALTER FILE コマンドを使用して FCT 項目を変更し、そのグループを再インストールしてください。あるいはファイルの FCT マクロを変更してください。この再アセンブルされた FCT が有効になるのは、次の CICS コールド・スタート時だけであることに注意してください。

ユーザーは、CEMT SET DSNAME REMOVE コマンドまたは EXEC CICS SET DSNAME REMOVE コマンドを出すことにより基本データ・セットのためのリカバリー属性設定を取り消すことができます。これにより基本クラスター・ブロックが削除され、この VSAM データ・セット用の前のリカバリー設定値のレコードも CICS に残りません。このデータ・セットに対して次にオープンされる最初のファイルにより、新しい基本クラスター・ブロックが作成されます。ファイルを更新処理のためにオープンした場合には、このファイルのリカバリー属性は、基本クラスター・ブロックに複写されます。

同じ VSAM データ・セットを参照していても、バックアウトリカバリー属性が異なるファイルを持ちたい場合には、グローバル・ユーザー出口 XFCNREC を使用してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *cccc*, *dsname*

宛先: コンソール

---

**DFHFC0996** *date time applid* {Open | Close | Enable | Disable} of file *filename* suppressed due to intervention of User Exit.

説明: メッセージに示されたファイルに対して、オープン要求、クローズ要求、使用可能要求、または使用不可要求が出されました。CICS ファイル制御のグローバル・ユーザー出口点 XFCNSREQ で使用可能になっている出口プログラムが、CICS に対して、要求を実行しないように指示しました。

システムの処置: 出されている要求が、使用可能、使用不可、クローズ要求である場合、ファイルの状態は変更されません。つまり、要求が出される前と同じ状態です。

要求がオープン要求の場合には、ファイルが、クローズされた使用不可状態になっていない限り、変更されないままの状態になります。この状態では、そのオープン要求は暗黙のオープン要求になる場合があります (つまり、ファイルがファイル API 要求の一部としてオープンされます)。暗黙オープン要求の場合、ファイル状態は、ファイル API 要求が停止すること、および NOTOPEN 条件がアプリケーションに返されることを確実にするために、クローズ、使用不可に変更されます。

ユーザーの処置: このコマンドが抑止されている理由を調べてください。これはインストール・システムによってそれぞれ異なります。

モジュール: DFHFCFS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=Open, 2=Close, 3=Enable, 4=Disable}, filename*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHFC0998** *applid* **User exit XFCNREC is causing file filename to be opened even though a file recovery inconsistency of type X'code' exists. CICS cannot guarantee data integrity for base data set dsname**

説明: 更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE または UPDATE) のためにファイル *filename* のオープンが試みられました。CICS は、このファイルのバックアウト・リカバリ属性が、VSAM 基本データ・セットのバックアウト・リカバリ属性と一致しないことを検出しました。CICS では、通常、不整合が検出されるとオープンは失敗します。ただし、ユーザー出口 XFCNREC で実行されるプログラムは、不整合が検出された場合でもオープンを続行できるよう指示しています。CICS は、関連データ・セットのデータ保全性を保証できなくなりました。コード X'code' は、不整合を識別し、次のいずれかの値を取ります。

**X'8516'** このデータ・セットには、RECOVERY=NONE が指定されています。このファイルは、RECOVERY=BACKOUTONLY でオープンしようとしています。

**X'851C'** ファイルが RECOVERY=NONE を指定しました。VSAM データ・セットには、BACKOUTONLY が指定されています。

このデータ・セットに関するこれ以降の RECOVSTATUS の INQUIRE は、NOTRECOVERABLE 応答を戻します。データ・セットは、次に CEMT SET DSNAME REMOVE、EXEC CICS SET DSNAME REMOVE コマンド、あるいはコールド・スタートが行われるまで、リカバリ不能のマークが付けられます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をオープンし、ファイル定義のリカバリ設定値を使用して、バックアウト・ログを実行するかどうかを判別し、処理を続行します。  
ユーザーの処置: このデータ・セットについて、バックアウト・リカバリ属性の不整合を無視してよいかどうかを確認してください。

バックアウト・リカバリ属性の不整合を無視してはいけない場合は、同じ VSAM データを参照している複数のファイルに、同じリカバリ属性があるかどうかを確認してください。無視してもよい場合には、CEDA ALTER FILE コマンドを使用して FCT 項目を変更し、グループを再インストールするか、またはファイルの FCT マクロ定義を変更してください。この再アセンブルされた FCT が有効になるのは、次の CICS コールド・スタート時だけであることに注意してください。

基本データ・セットに設定したリカバリ属性を取り消すには、CEMT SET DSNAME REMOVE コマンドまたは EXEC CICS SET DSNAME REMOVE コマンドを実行してください。これにより基本クラスター・ブロックが削除され、この VSAM データ・セット用の前のリカバリ設定値のレコードも CICS に残りません。このデータ・セットに対して次にオープンされる最初のファイルにより、新しい基本クラスター・ブ

ックが作成されます。ファイルを更新処理のためにオープンした場合には、このファイルのリカバリ属性は、基本クラスター・ブロックに複写されます。  
モジュール: DFHFCN

**XMEOUT** パラメーター: *applid, filename, X'code', dsname*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC0999** *applid* **Open of BASE for file filename failed. CICS logic error eeee,cccc**

説明: ファイル *filename* についてレコード挿入が要求されたときに使用された経路の VSAM KSDS ベースをオープンしようとしていたときに、CICS はエラーを検出しました。eeee は、以下のとおりです。

**8E03** LABEL マクロ要求の失敗 (ファイルの GETLBL)  
**8E06** LABEL マクロ要求の失敗 (カタログの GETLBL)

cccc は LABEL マクロの戻りコードです。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、トランザクションを異常終了させます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: LABEL マクロの戻りコード cccc の診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『システム機能戻りコード』を参照してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCM

**XMEOUT** パラメーター: *applid, filename, eeee, cccc*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC2813** *applid* **Program DFHRCEX cannot be found.**

説明: これは破滅的なエラーです。DC リンクは、FC 初期設定時に DFHRCEX にリンクできませんでした。

システムの処置: CICS セットアップは、異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHRCEX を見つけられない理由を調べてください。

モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC4600** *applid* **DTB failed - Batch backout needed after base data set closed. Trans=transid File=filename Task=taskid.**

説明: DTB (動的トランザクション・バックアウト) は、トランザクション・コード *transid* を処理するタスク *taskid* によってファイル *filename* を介して VSAM データ・セットに行われたコミットされていない変更を、バックアウトすることができませんでした。

このメッセージの後に、関係する基本クラスター/経路データ・セット名を含んでいるメッセージ DFHFC4601 が出力されま

## DFHFC4601 • DFHFC4603

す。基本クラスター制御ブロックには、「バックアウト失敗中」のフラグが付けられました。このフラグが CEMT または EXEC CICS SET DSNNAME(base) NORMAL コマンドでリセットされるまで、この基本クラスター・データ・セットに対してファイルをオープンすることはできません。これに関するメッセージ DFHFC4602 が CSFL に送られます。

注: CICS に定義されているファイルの固定長と一致しないレコードがデータ・セットで検出された場合にも、このメッセージが出される可能性があります。

システムの処置: システムは通常どおり続行されます。  
ユーザーの処置: 関係する基本クラスター/経路データ・セット名を知らせるメッセージ DFHFC4601、およびこのデータ・セットに対してオープンされているすべてのファイルがいつクローズされたかを知らせるメッセージ DFHFC0922A が出されるのを待つ必要があります。その後、CEMT INQUIRE DSNNAME FAILED コマンドを出して、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態または「バックアウト失敗中」状態にあるかどうかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態(データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている)になるまで待機してください。その後、システム・ログをオフライン・バックアウト・ユーティリティの実行の際に使用できるように、システム・ログを交換してそれを保存する必要があります。

バックアウト障害の原因が、CICS に定義されているファイルの固定長と一致しない長さのレコードがデータ・セット上にあることである場合には、データ・セットをスキャンして、ファイルの固定長とは異なる長さを持つすべてのレコードを見つけ、それらを正しく調整してください。

モジュール: DFHDBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, tranid, filename, taskid*  
宛先: コンソール

---

### DFHFC4601 *applid Base=base dsname Path=path dsname*

説明: このメッセージは、動的トランザクション・バックアウト (DTB) がバックアウトを実行できなかった基本クラスターおよび経路データ・セット名を知らせます。このメッセージは、関係しているトランザクション・コード、ファイル名、およびタスク番号を知らせるメッセージ DFHFC4600 の後に出されます。

システムの処置: システムは通常どおり続行されます。  
ユーザーの処置: トランザクション・コード、ファイル名、およびタスク番号についての詳細は、メッセージ DFHFC4600 を参照してください。

このデータ・セットに対してオープンされているすべてのファイルがいつクローズされたかを知らせるメッセージ DFHFC0922A が出されるのを待つ必要があります。それから、CEMT INQUIRE DSNNAME FAILED コマンドを用いて、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態にあるか「バックアウト失敗中」状態にあるかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態(データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている)になるまで待機してください。その後、システム・ログをオフ

ライン・バックアウト・ユーティリティの実行の際に使用できるように、システム・ログを交換してそれを保存してください。

モジュール: DFHDBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, base dsname, path dsname*  
宛先: コンソール

---

### DFHFC4602 *date time applid DTB failed - Batch backout needed after base data set closed.*

**Trans=tranid File=filename Task=taskid.**

説明: このメッセージは、一時データ・キュー CSFL に送られるという点を除けば、メッセージ DFHFC4600 と同じです。メッセージ DFHFC4600 の場合はコンソールへ送られます。

動的トランザクション・バックアウト (DTB) は、トランザクション・コード *tranid* を処理するタスク *taskid* によってファイル *filename* を介して VSAM データ・セットに行われたコミットされていない変更を、バックアウトすることができませんでした。このメッセージの後に、関係する基本クラスター/経路データ・セット名を含んでいるメッセージ DFHFC4603 が出されます。基本クラスター制御ブロックには、「バックアウト失敗中」のフラグが付けられました。このフラグが CEMT または EXEC CICS SET DSNNAME(base) NORMAL でリセットされるまで、この基本クラスター・データ・セットに対してファイルをオープンすることはできません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関係する基本クラスター/経路データ・セット名を知らせるメッセージ DFHFC4603、およびこのデータ・セットに対してオープンされているすべてのファイルがいつクローズされたかを知らせるメッセージ DFHFC0922A が出されるのを待つてください。それから、CEMT INQUIRE DSNNAME FAILED コマンドを用いて、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態にあるか「バックアウト失敗中」状態にあるかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態(データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている)になるまで待機してください。その後、システム・ログをオフライン・バックアウト・ユーティリティの実行の際に使用できるように、システム・ログを交換してそれを保存する必要があります。

モジュール: DFHDBP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, filename, taskid*  
宛先: CSFL

---

### DFHFC4603 *date time applid Base=base dsname Path=path dsname*

説明: このメッセージは、動的トランザクション・バックアウト (DTB) がバックアウトを実行できなかった基本クラスターおよび経路データ・セット名を知らせます。

このメッセージは、関係しているトランザクション・コード、ファイル名、およびタスク番号を知らせるメッセージ DFHFC4602 の後に出されます。メッセージ DFHFC4601 はコンソールに送られます。

システムの処置: システムは通常どおり続行されます。



ユーザーの処置: 関係しているトランザクション・コード、ファイル名、およびタスク番号についての詳細は、メッセージ DFHFC4602 を参照してください。

このデータ・セットに対してオープンされているすべてのファイルがいつクローズされたかを知らせるメッセージ DFHFC0922A が出されるのを待つ必要があります。それから、CEMT INQUIRE DSNAME FAILED コマンドを用いて、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態にあるか「バックアウト失敗中」状態にあるかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態(データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている)になるまで待機してください。その後、次のことを行う必要があります。

1. CEMT SET JOURNAL (01) ADVANCE を用いてシステム・ログを交換する。
  2. ログを保存する。
  3. バッチ・バックアウト・ユーティリティを実行する。
- モジュール: DFHDBP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, base dsname, path dsname*  
宛先: CSFL

---

**DFHFC4604** *applid* DTB failed for DAM data set.  
**Trans=tranid File=filename Task=taskid.**

説明: DTB (動的トランザクション・バックアウト) は、トランザクション *tranid* によってファイル *filename* を介して DAM に行われたコミットされていない変更を、バックアウトすることができませんでした。

システムの処置: システムは通常どおり続行されます。  
ユーザーの処置: CEMT SET FILE CLOSED を用いて、DAM データ・セットに対してオープンされているすべてのファイルをクローズし、コミットされていない変更をオフラインでバックアウトしてください。  
モジュール: DFHDBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, tranid, filename, taskid*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC4605** *date time applid* DTB failed for DAM data set. **Trans=tranid File=filename Task=taskid.**

説明: DTB (動的トランザクション・バックアウト) は、トランザクション *tranid* によってファイル *filename* を介して DAM に行われたコミットされていない変更を、バックアウトすることができませんでした。

システムの処置: システムは通常どおり続行されます。  
ユーザーの処置: CEMT SET FILE CLOSED を用いて、DAM データ・セットに対してオープンされているすべてのファイルをクローズし、コミットされていない変更をオフラインでバックアウトしてください。  
モジュール: DFHDBP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, filename, taskid*  
宛先: CSFL

---

**DFHFC5707** *applid* Backout data present for file *filename* but no FCT entry exists.

説明: 緊急再始動時に、テーブル・マネージャーは、CICS グローバル・カタログからリストアップされたファイル *filename* を FCT の中から見つけることができませんでした。  
システムの処置: CICS は、バックアウトする必要のあるその他のファイルが FCT から欠落しているかどうかを検査し、それらに関してこのメッセージを出します。これは、データ保全性に影響を与える重大エラーなので、CICS はメッセージ DFHFC0002 を出して異常終了し、ダンプを作成します。  
ユーザーの処置: 緊急再始動時に FCT をリストアップするのに使用されたグローバル・カタログか、またはバックアウト・レコードを提供するログが破壊されました。

ダンプを用いて、この障害の原因を調べて訂正し、それから緊急再始動を再実行してください。  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, filename*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC5708D** *applid* Error while opening file *filename*.  
**Reply 'GO' or 'CANCEL'.**

説明: CICS は、ファイル *filename* のオープン時にエラーを検出しました。

システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。応答が「GO」の場合、初期設定出口は制御を与えられます。戻ったなら、処理は続行されます。応答が「CANCEL」の場合、CICS はダンプを作成し、VSE ユーザー異常終了 0143 を出して、異常終了します。  
ユーザーの処置: Reply 'GO' or 'CANCEL'.  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, filename*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC5712** *applid* Backout failed. Batch backout needed after base d/s closed. **Trans=tranid File=filename Task=taskid.**

説明: 緊急再始動時に、ファイル・バックアウトは、トランザクション・コード *tranid* を処理するタスク *taskid* によってファイル *filename* を介して VSAM データ・セットに行われたコミットされていない変更を、バックアウトすることができませんでした。

このメッセージの後に、関係する基本クラスター/経路データ・セット名を含んでいるメッセージ DFHFC5713 が出されず。基本クラスター制御ブロックには、「バックアウト失敗中」のフラグが付けられました。このフラグが CEMT または EXEC CICS SET DSNAME(base) NORMAL でリセットされるまで、この基本クラスター・データ・セットに対してファイルをオープンすることはできません。  
システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関係する基本クラスター/経路データ・セット名を知らせるメッセージ DFHFC5713、およびこのデータ・セットに対してオープンされているすべてのファイルがいつク

## DFHFC5713 • DFHFC5715

ローズされたかを知らせるメッセージ DFHFC0922A が出されるのを待ってください。

それから、CEMT INQUIRE DSNAME FAILED コマンドを用いて、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態にあるか「バックアウト失敗中」状態にあるかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態(データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている)になるまで待機してください。その後、システム・ログをオフライン・バックアウト・ユーティリティの実行の際に使用できるように、システム・ログを交換してそれを保存してください。

モジュール: DFHFBCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, tranid, filename, taskid*  
宛先: コンソール

---

### DFHFC5713 *applid Base=base dsname Path=path dsname*

説明: このメッセージは、緊急再始動時にファイル・バックアウトが実行されなかった基本クラスターおよび経路データ・セット名を知らせます。

このメッセージは、関係しているトランザクション・コード、ファイル名、およびタスク番号を知らせるメッセージ

DFHFC5712 の後に出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このデータ・セットに対してオープンされているすべてのファイルがいつクローズされたかを知らせるメッセージ DFHFC0922A が出されるのを待ってください。

それから、CEMT INQUIRE DSNAME FAILED コマンドを用いて、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態にあるか「バックアウト失敗中」状態にあるかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態(データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている)になるまで待機してください。その後、システム・ログをオフライン・バックアウト・ユーティリティの実行の際に使用できるように、システム・ログを交換してそれを保存する必要があります。

モジュール: DFHFBCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, base dsname, path dsname*  
宛先: コンソール

---

### DFHFC5714 *date time applid Backout failed. Batch backout needed after base d/s closed. Trans=tranid File=filename Task=taskid.*

説明: このメッセージは、一時データ・キュー CSFL に送られるという点を除けば、メッセージ DFHFC5712 と同じです。メッセージ DFHFC5712 はコンソールへ送られます。

緊急再始動時に、ファイル・バックアウトは、トランザクション・コード *tranid* を処理するタスク *taskid* によってファイル *filename* を介して VSAM データ・セットに行われたコミットされていない変更を、バックアウトすることができませんでした。

このメッセージの後に、関係する基本クラスター/経路データ・セット名を知らせるメッセージ DFHFC5715 が出されず。基本クラスター制御ブロックには、「バックアウト失敗中」のフラグが付けられました。このフラグが CEMT または EXEC CICS SET DSNAME(base) NORMAL でリセットされるまで、この基本クラスター・データ・セットに対してファイルをオープンすることはできません。

システムの処置: システムは通常どおり続行されます。

ユーザーの処置: 関係する基本クラスター/経路データ・セット名を知らせるメッセージ DFHFC5715、およびこのデータ・セットに対してオープンされているすべてのファイルがいつクローズされたかを知らせるメッセージ DFHFC0922A が出されるのを待ってください。

それから、CEMT INQUIRE DSNAME FAILED コマンドを用いて、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態にあるか「バックアウト失敗中」状態にあるかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態(データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている)になるまで待機してください。その後、システム・ログをオフライン・バックアウト・ユーティリティの実行の際に使用できるように、システム・ログを交換してそれを保存する必要があります。

モジュール: DFHFBCBP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, filename, taskid*  
宛先: CSFL

---

### DFHFC5715 *date time applid Base=base dsname Path=path dsname*

説明: このメッセージは、一時データ・キュー CSFL に送られるという点を除けば、メッセージ DFHFC5713 と同じです。メッセージ DFHFC5713 はコンソールへ送られます。

このメッセージは、緊急再始動時にファイル・バックアウトがバックアウトを実行できなかった基本クラスターおよび経路データ・セット名を知らせます。

このメッセージは、関係しているトランザクション・コード、ファイル名、およびタスク番号を知らせるメッセージ

DFHFC5714 の後に出されます。

システムの処置: システムは通常どおり続行されます。

ユーザーの処置: このデータ・セットに対してオープンされているすべてのファイルがいつクローズされたかを知らせるメッセージ DFHFC0922A が出されるのを待ってください。

それから、CEMT INQUIRE DSNAME FAILED コマンドを用いて、その他のデータ・セットが「バックアウト失敗」状態にあるか「バックアウト失敗中」状態にあるかを検査してください。いずれかのデータ・セットが「バックアウト失敗中」の状態である場合は、「バックアウト失敗」の状態(データ・セットに対してオープンされたファイルが、すべてクローズされている)になるまで待機してください。その後、システム・ログをオフライン・バックアウト・ユーティリティの実行の際に使用できるように、システム・ログを交換してそれを保存する必要があります。

モジュール: DFHFBCBP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, base dsname, path dsname*  
宛先: CSFL

---

**DFHFC5716** *applid* **Backout failed for DAM data set.**  
**Trans=trandid File=fileid Task=taskid.**

説明: 緊急再始動時に、ファイル・バックアウトは、トランザクション *trandid* によってファイル *filename* を介して DAM データ・セットに行われたコミットされていない変更を、バックアウトすることができませんでした。  
システムの処置: システムは通常どおり続行されます。  
ユーザーの処置: DAM データ・セットに対してオープンされているすべてのファイルをクローズし、コミットされていない変更をすべてオフラインでバックアウトする必要があります。  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, trandid, fileid, taskid*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC5717** *date time applid* **Backout failed for DAM data set. Trans=trandid File=filename Task=taskid.**

説明: このメッセージは、一時データ・キュー CSFL に送られるという点を除けば、メッセージ DFHFC5716 と同じです。メッセージ DFHFC5716 はコンソールへ送られます。緊急再始動時に、ファイル・バックアウトは、トランザクション *transaction* によってファイル *filename* を介して DAM データ・セットに行われたコミットされていない変更を、バックアウトすることができませんでした。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: DAM データ・セットに対してオープンされているすべてのファイルをクローズしてください。コミットされていない変更をオフラインでバックアウトしてください。  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, trandid, filename, taskid*  
宛先: CSFL

---

**DFHFC5718** *applid* **A failure has occurred while processing the restart data set during file backout processing.**

説明: 再始動データ・セット (DFHRSD) で重大な問題が発生しました。これは、通常、CONNECT、START BROWSE、GETNEXT、または DELETE コマンドが失敗したときに起こります。  
システムの処置: システムは、トレース項目およびダンプを作成します。CICS の再始動は異常終了します。  
通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: ダンプとトレース項目を用いて、再始動データ・セットの問題を調べてください。  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC5719** *date time applid* **A failure has occurred while processing the restart data set during file backout processing.**

説明: 再始動データ・セット (DFHRSD) で重大な問題が発生しました。これは、通常、CONNECT、START BROWSE、GETNEXT、または DELETE コマンドが失敗すると起こります。  
システムの処置: システムは、トレース項目およびダンプを作成します。CICS の再始動は異常終了します。  
ユーザーの処置: ダンプとトレース項目を用いて、再始動データ・セットの問題を判別してください。  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*  
宛先: CSFL

---

**DFHFC5740I** *applid* **File backout beginning.**

説明: 緊急再始動時に、CICS は、CICS モジュール DFHFCBP が処理を開始するときに、このメッセージを出します。DFHFCBP は、未完了タスク (すなわち、前に起きた異常終了のときに完了しなかったタスク) によって行われたリカバリ可能ファイルへの変更をバックアウトします。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC5741I** *applid* **No file backout required.**

説明: 緊急再始動時に、CICS は、バックアウトする必要のあるリカバリ可能ファイルへの変更を CICS モジュール DFHFCBP が検出しなかったときに、このメッセージを出します。DFHFCBP は、未完了タスク (すなわち、前に起きた異常終了のときに完了しなかったタスク) によって行われたリカバリ可能ファイルへの変更をバックアウトします。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHFC5742I** *applid* **File backout complete.**

説明: 緊急再始動時に、CICS は、CICS モジュール DFHFCBP が処理を終了するときにこのメッセージを出します。DFHFCBP は、未完了タスク (すなわち、前に起きた異常終了のときに完了しなかったタスク) によって行われたリカバリ可能ファイルへの変更をバックアウトします。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHFCBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

**DFHFC5804** *applid* File CLOSE failed during CICS termination. File ' filename'.

説明: 順序正しい CICS 終了時にファイル *filename* をクローズしようとしたのですが、失敗しました。このメッセージは、単にこのファイルをクローズできなかったという警告として作成されます。データの保全性は維持されています。

システムの処置: CICS の終了を続行します。

ユーザーの処置: この障害の再発を回避するために、このファイルがクローズされなかった理由を、終了時に出された他の DFHFCxxxx メッセージから判別してください。

モジュール: DFHFCSD

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソール

**DFHFC5820** *applid* Any files that are still open against the base data set may need to be closed. File *filename*, data set *dsname*.

説明: ファイル *filename* は、動的に割り振られたデータ・セット *dsname* をオープンする最初のファイルでした。このフ

ァイルは、クローズされ、同じ基本データ・セットに対して 1 つまたは複数のファイルがオープンされたままになります。しかし、これらのファイルのどれかが 2 次エクステントを必要とする場合、その要求は、CICS ILLOGIC エラー (X'08BA0000') を出して失敗します。

システムの処置: クローズ処理は通常どおり完了します。

ユーザーの処置: 発生する可能性があるこの問題を避けるために、基本データ・セットに対してオープンされたままのファイルをクローズして再オープンすることをお勧めします。データ・セットの関連についてよく分からない場合には、上記の基本データ・セットに対して LISTCAT を実行し、すべての関連データ・セットのリストを作成してください。どのファイルが影響を受けるかを識別するためには、CEMT INQ FILE(\*) を使用します。ファイルをすべてクローズして再オープンする必要があります。その際に、例えば、CEMT SET FILE(file name) CLOSE および CEMT SET FILE(file name) OPEN を使用します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *dsname*

宛先: コンソール

**DFHFExxxx** メッセージ**DFHFE3301** Transaction complete

説明: フィールド開発トランザクション CSFE によって呼び出されたフィールド開発プログラム DFHFEP が完了しました。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFEP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHFE3302** Invalid debug request

説明: フィールド開発トランザクション CSFE によって呼び出されたフィールド開発プログラム DFHFEP は、デバッグ要求に構文エラーを見つけたか、あるいは、インストールしたトランザクション定義オプションが無効であることを見つけました。

システムの処置: タスクは終了します。

ユーザーの処置: 構文エラーまたは無効なインストール済みトランザクション定義オプションがないかどうかを検査してください。エラーを訂正して、要求を入力し直してください。

モジュール: DFHFEP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHFE3303** Invalid trace option

説明: フィールド開発トランザクション CSFE によって呼び出されたフィールド開発プログラム DFHFEP は、トレース要求 (ZCQTRACE) の中に構文エラーを見つけた。

システムの処置: タスクは終了します。

ユーザーの処置: 構文エラーがないかどうかを調べてください。エラーを訂正して、要求を入力し直してください。

モジュール: DFHFEP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHFE3304** Enter PRINT for character set, END to terminate. All other data will be echoed.

説明: このメッセージは、CSFE トランザクションを開始したときに端末に送られます。このメッセージは、フィールド開発プログラム DFHFEP にどんな処置を要求するかを技術員に尋ねます。

システムの処置: タスクは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 文字セットを表示するには、PRINT を入力してください。

モジュール DFHFEP を終了するには、END を入力してください。

入力した他のすべてのデータは、画面に表示されます。

モジュール: DFHFEP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHFE3307** Invalid option specified in request

説明: フィールド開発トランザクション CSFE によって呼び出されたフィールド開発プログラム DFHFEP が、要求で指定されたオプションの中の 1 つにエラーを見つけた。指定されたオプションが見つからなかった (例えば、無効なトランザクション定義) か、またはそれが無効なタイプだったかのいずれかです。CSFE は、要求を完了しないで終了します。

システムの処置: タスクは終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、要求を再入力してください。

モジュール: DFHFEP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHFE3308** Program DFHTRAP is not available - global trap not activated

説明: CICS は、CICS フィールド開発トランザクション要求 CSFE DEBUG,TRAP=ON の実行時に、グローバル・トラップ出口プログラム DFHTRAP を見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS は、グローバル・トラップが非活動状態のままに続行されます。

ユーザーの処置: DFHTRAP が処理プログラム・テーブル内に定義され、プログラム・ライブラリー内で使用可能になっているかどうかを確かめてください。グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHFEP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

#### DFHFE3309 Global trap DFHTRAP is unusable following program check in exit

説明: グローバル・トラップ出口 (CSFE DEBUG,TRAP=ON) を活動状態にするためにフィールド開発 (FE) トランザクション要求を実行しているときに、FE プログラム DFHFEP は、グローバル・トラップ出口プログラム DFHTRAP がすでに活動状態になっているものの、使用不能のマークが付けられていることを見つけました。これは、このトラップを最後に使用したときに、プログラム・チェックが DFHTRAP に発生したためです。このエラーについては、メッセージ DFHTR1001 に詳細に記されています。

システムの処置: CICS は、グローバル・トラップで使用不能のマークが付けられたまま続行されます。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHTR1001 を参照してください。現在活動状態になっているが使用できない DFHTRAP のバージョンを CICS プログラム・ライブラリーからの新しいバージョンに置き換えるには、次の順序でコマンドを出してください。

CSFE DEBUG,TRAP=OFF

(現行トラップを非活動化する)

CEMT SET PROGRAM(DFHTRAP) NEWCOPY  
(CICS が認識しているディスク・トラップを更新する)

CSFE DEBUG,TRAP=ON

(トラップの新しいバージョンを活動化する)

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHFEP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

#### DFHFE3310 applid Program DFHTRAP is not available - global trap not activated.

説明: CICS は、CICS フィールド開発トランザクション要求 CSFE DEBUG,TRAP=ON の実行時に、グローバル・トラップ出口プログラム DFHTRAP を見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS は、グローバル・トラップが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: DFHTRAP が処理プログラム・テーブル内に定義され、プログラム・ライブラリー内で使用可能になっているかどうかを確かめてください。グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHFEP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

## DFHICxxxx メッセージ

---

#### DFHIC0002 applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'code' は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

このメッセージが再発するか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、サポートが必要です。CICS を制御シャットダウンでダウンさせ、ダンプおよびメッセージ内で識別されたモジュールが送る関連メッセージ

を収集してください。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEIIC

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *modname*

宛先: コンソール

---

#### DFHIC0200 date time applid Automatic transaction restart for transaction tranid has failed.

説明: 開始した非端末トランザクションが異常終了して、自動トランザクション再始動がユーザー置き換え可能モジュール DFHREST を介して要求されました。CICS がトランザクションを再始動しようとしたときに、重大エラーが発生しました。

システムの処置: メッセージ DFHAP0002 が、再始動の失敗の原因となった重大エラーに対してダンプとともに出されます。再始動が要求されたトランザクションの異常終了は続行されます。トランザクションは自動的に再始動されません。

ユーザーの処置: 最初の重大エラーが起きた理由を調べてください。詳細については、メッセージ DFHAP0002 を参照してください。必要であれば、トランザクションを手動で再始動してください。

モジュール: DFHICXM

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *tranid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

#### DFHIC0310 date time applid Unable to attach transaction

- *tranid to terminal - termid*

説明: 以下の結果として、端末 *termid* でトランザクション *tranid* を開始しようとした。

- START コマンド、または
- DFHIC TYPE=PUT マクロ、または
- DFHIC TYPE=INITIATE マクロ

この試みは拒否されました。原因としては、トランザクションの開始が試みられた時点では、その端末がシステムで認識されていなかった可能性がまず第一に考えられます。

このメッセージは、以下の場合にも出されます。

- アプリケーション所有領域 (AOR) 内で、AOR 内にリモート端末項目として存在する端末に START コマンドが出されたが、リモート端末と関連のある宛先システム ID が定義されていない場合
- バイブライン装置、または ATI 要求に適格でないその他の装置に対して START コマンドが出された場合

システムの処置: この要求は、システムから削除されます。

ユーザーの処置: 有効な端末名が指定されているかどうかを確認してください。名前が有効であった場合は、トレース (入手できる場合) を調べて、その試みが拒否された理由を判別してください。

モジュール: DFHICP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, termid*

宛先: コンソール

---

**DFHIC0360** *date time applid* **An attempt to establish security for userid *userid* has failed. Transaction *tranid* cannot be started without a terminal. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: ユーザー ID *userid* に関してセキュリティを確立しようとしたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

時間配列要求 (EXEC CICS START コマンドなど) が、トランザクション *tranid* を端末なしで開始させるために、セキュリティをユーザー ID に関して確立することを要求しました。システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。トランザクション開始の試行が失敗しました。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

CICS または外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって、追加の情報を提供するメッセージがさらに作成される場合があります。

モジュール: DFHICXM

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*

宛先: CSCS

---

**DFHIC0801** *applid* **CICS time altered from *hh.mm.sss* to *hh.mm.sss* - date *ddddddd* - relative day *rrr***

説明: このコンソール・メッセージは、オペレーティング・システムで維持されている時刻がロールバックされたとき (例えば、オペレーティング・システム時刻機構が真夜中にゼロにリセットされたとき) に印刷されます。各部の説明は、以下のとおりです。

- *hh.mm.sss* は、時、分、および 10 分の 1 秒を表します。
  - *ddddddd* は、システム初期設定テーブルにおいて DATFORM パラメーターによって指定された形式での現行日を表します。
  - *rrr* は、CICS が開始された日からの日数を表します。
- システムの処置: CICS は、その条件を認識し、CICS 自体の時刻がオペレーティング・システムの時刻と一致するように調節しました。
- ユーザーの処置: なし。
- モジュール: DFHTAJP

XMEOUT パラメーター: *applid, hh.mm.sss, hh.mm.sss, dddddddd, rrr*

宛先: コンソール

---

**DFHIC0802** *applid* **System clock inoperative. External action required**

説明: CICS の実行は、プロセッサ時刻機構の継続作動に依存しています。この警告メッセージは、時刻調整プログラムの実行中に、システムがその時点でプロセッサ時刻機構の障害を検出した場合、コンソール・オペレーターへ送信されます。時刻機構の使用が何らかの理由で不可にされている場合には、コンソール・オペレーターが直ちに訂正処置 (可能な場合) をとる必要があります。

システムの処置: この条件が検出された後に、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 時刻機構を使用可能な状態にしたり、それを使用不可にできるのは、コンソール・オペレーターです。時刻機構が使用不可にされていた場合には、直ちに使用可能な状態にする必要があります。

モジュール: DFHTAJP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

## DFHIRxxxx メッセージ

**DFHIR2122** *date time applid Intersystem session recovery.*  
**Database changes found to be synchronized. Original failure details:**  
**Time=***time*. **Remote system=***sysid*.  
**Intersystem terminal=***termid*.  
**Transaction=***trandid*. **Task number=***taskno*.  
**Operator terminal=***termid*. **Operator=***operid*.  
**Unit of work ID=***uowid*

説明: システム間セッション・リカバリー時にエラーが発生しましたが、現在は正常にリカバリーされ、再同期も行われました。このメッセージは、通常、メッセージ DFHZN2101 の後に出されます。(同期点処理時の重大なときにセッションが失敗した場合、その失敗の時点でメッセージ DFHZN2101 が出されていることがあります。)

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCRR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid*  
宛先: CSMT

**DFHIR2123** *date time applid Intersystem session recovery.*  
**Data base changes found to be out of sync. Original failure details: Time=***time*.  
**Remote system=***sysid*. **Intersystem terminal=***termid*. **Transaction=***trandid*. **Task number=***taskno*. **Operator terminal=***termid*.  
**Operator=***operid*. **Unit of work ID=***uowid*

説明: このメッセージは、メッセージ DFHZN2101 の後に出されます。元のエラー情報が相互参照を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・データベースおよびリモート・データベースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHCRR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid*  
宛先: CSMT

**DFHIR2124** *date time applid Intersystem session recovery.*  
**Error when data base changes may be out of sync. Original failure details: Time=***time*.  
**Remote system=***sysid*. **Intersystem terminal=***termid*. **Transaction=***trandid*. **Task number=***taskno*. **Operator terminal=***termid*.  
**Operator=***operid*. **Unit of work ID=***uowid*

説明: このメッセージは、メッセージ DFHZN2101 の後に出されます。セッション・リカバリー時に、システムは、データベースの変更が同期をはずしているかどうかを判別できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要なデータベース照会を行い、変更の同期がとれているかを調べてください。同期がとれていない場合は、適切なユーザー定義の処置を実行して、データベースを再同期化してください。

モジュール: DFHCRR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid*  
宛先: CSMT

**DFHIR2321** *applid MRO/IRC Communication being Terminated. Session(s) with the following Netname(s) are still Active:*

説明: CICS が、MRO/IRC 通信をクローズしようとしています。このメッセージの後には、通常、まだ活動中である各セッションのネット名が続き、また、EXCI セッションの場合は、さらにジョブ名、ステップ名、procname、このセッション上で通信しているバッチ・プログラムの ID が続きます。

EXCI セッションの場合は、GENERIC のネット名は総称パイプを示します。メッセージに出てくるバッチ・ジョブ情報については、少なくとも 1 つの DPL 要求がこのセッションで出されていなければなりません。

システムの処置: CICS は、残りのセッションがクローズするのを引き続き待ちます。このメッセージは、30 秒の間隔で、または最後のセッションがクローズするまで繰り返し出されず。

ユーザーの処置: なし。ただし、クローズ終了までの遅延が異常に長い場合には、処置が必要です。その場合には、セッション (複数の場合もある) がまだ活動状態になっている理由を調べてください。セッション (複数の場合もある) がクローズできるように適切な処置をとってください。

モジュール: DFHZDSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

**DFHIR3747** *applid CONNECTION connid with protocol(EXCI) has been connected to by a NON-BATCH system. Connection set out of service.*

説明: CICS 接続がプロトコル EXCI を指定して定義され、非バッチ・システムによって接続が行われました。

このメッセージの説明としては、次の 2 つがあげられます。

- 非バッチ・システムが間違ったターゲット接続定義と通信しようとしている。
- ターゲット接続定義が、EXCI 接続として誤って定義されている。

システムの処置: CICS は、接続を停止状態にします。

ユーザーの処置: 関連接続定義を調べて訂正し、サービス状態に戻してください。

モジュール: DFHCRRNP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, connid*  
宛先: コンソール

**DFHIR3750** *applid Unable to stop interregion communication session during startup recovery.*

説明: スタートアップ・リカバリー処理時に領域間通信セッションを停止する異常終了が発生した結果、要求が受信されまし

た。この要求は失敗に終わりました。

システムの処置: セッションはアクティブのままです。

ユーザーの処置: セッションを停止させなければならない場合には、再 IPL をしなければならないことがあります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3751** *applid* Unable to stop interregion communication session during shutdown.

説明: シャットダウン処理時に、領域間通信セッションを停止する要求が (システム終了、異常終了、またはマスター端末によって) 受信されました。この要求は失敗に終わりました。

システムの処置: セッションはアクティブのままです。

ユーザーの処置: セッションを停止させなければならない場合には、再 IPL をしなければならないことがあります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3760** *applid* Unable to break lines with interregion communication. (Modname: *modname*)

説明: 領域間セッションをシャットダウンするための要求が出されました。これにより、モジュール DFHZCX は、CICS と領域間通信プログラムとの間の関連を終了させるための要求を領域間通信プログラムに対して出しましたが、その要求は、システム・エラーのために失敗に終わりました。

システムの処置: 実行中のすべてのバッチ (EXCI クライアント) プログラムが待ち状態で残っており、取り消さなければなりません。このシステムと通信中のすべての (他の CICS システムの) CICS タスクも待ち状態で残っています。これらの他の CICS システムは、CEMT SET CONNECTION(*sysid*) OUTSERVICE PURGE を出さなければなりません。ここで、*sysid* は、DFHIR3760 の発行先となるシステムの CONNECTION 名です。また、(現行または後続の CICS セッションの) 領域間セッションを再始動しようとしても失敗します。

ユーザーの処置: これ以降もバッチ CICS 領域間通信を実行するためには、再 IPL しなければなりません。根源的な問題を解決するためにはサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZIS2、DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*modname*

宛先: コンソール

**DFHIR3762** *date time applid* Inter-region activity now complete

説明: CEMT SET INTERREGION COMMUNICATION (IRC) CLOSED 要求がマスター端末で出されました。IRC セッションは完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*

宛先: CSMT

**DFHIR3765** UNABLE TO STOP INTERREGION COMMUNICATION SESSION AFTER SYSTEM ABEND.

説明: 領域間セッションを停止させるための要求が (システムの終了、異常終了、またはマスター端末で) 受け取られました。この要求は失敗に終わりました。

システムの処置: セッションはアクティブのままです。

ユーザーの処置: セッションを停止させなければならない場合には、再 IPL をしなければならないことがあります。根源的な問題を解決するためにはサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRC

宛先: コンソール

**DFHIR3767** *applid* The interregion startup program DFHCRSP is not present.

説明: IRC セッションを開始するには、モジュール DFHCRSP が必要であるのに、CICS プログラム・ライブラリーから欠落しているか、またはインストール済みプログラム定義がありません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: DFHCRSP 定義 (グループ DFHISC) のインストールまたはモジュール DFHCRSP の提供、あるいはその両方を行ってください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3771** *applid* Unable to start interregion communication because ESTAEX macro failed.

説明: CICS は、OS/390 ESTAEX マクロを出しましたが、それが正常に実行されませんでした。おそらく、ESTAEX 制御ブロック (SCB) 用のストレージを使用することができなかったためです。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: ESTAEX の障害の原因を訂正してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール



**DFHIR3772** *applid Error while attempting to start interregion communication.*

説明: CICS では、IRC セッションがすでに開始されていることがわかりました。その前のセッションを停止できなかったことが原因と考えられます (メッセージ DFHIR3760 と DFHIR3765 を参照)。

注: このセッションは外見上は開始していますが、使用可能な状態ではありません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 別の IPL を行ってください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3773** *applid Unable to start interregion communication because the APPLID option has a blank value.*

説明: (DFHTCT TYPE=INITIAL, DFHSIT オーバーライドの *applid* のデフォルト値を使用しなければならないか、またはヌル値でない値を使用しなければならないかのいずれかです。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: *applid* 値を訂正してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3775** *applid Unable to start interregion communication because short on storage.*

説明: IRC セッションを開始するためには主ストレージが必要ですが、ストレージが使用できません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: ストレージの条件が好転するまで待つから、マスター端末で CEMT SET IRC OPEN コマンドを出してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3776** *applid Unable to start interregion communication because another CICS system of the same name is active.*

説明: ある CICS システムが、そのアプリケーション ID 値によって指定されました。2 つの CICS システムが同じアプリケーション ID 値を持っている場合、領域間通信 SVC ではその 2 つのシステムを区別することができません。

注: この状態は、前の領域間通信 (IRC) セッションを停止することができなかった場合に発生することがあります (メッセージ DFHIR3760 を参照)。この場合に、IRC SVC は、新セッションが (停止させることのできなかった) 旧セッションと矛盾していたとみなします。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 各 CICS システムにそれぞれ別の総称アプ

リケーション ID を使用してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3777** *applid The interregion communication table is full.*

説明: 領域間通信 SVC のユーザー・テーブルがいっぱいです。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 実行中のバッチ共用プログラムの数が少なくなったときに、CEMT SET IRC OPEN をマスター端末から入力してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3778** *applid Insufficient storage is available for interregion communication blocks.*

説明: IRC 制御ブロックのために使用できるシステム GETVIS ストレージが不十分です。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 十分なストレージが使用できるようにしてください。VSE SVA コマンドを使用して、システム GETVIS 域のサイズを増やしてください。SVA コマンドの詳細については、「z/VSE System Control Statements」を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3779** *applid Insufficient storage is available for interregion communication subsystem blocks.*

説明: IRC に必要な制御ブロックのためのストレージが不十分です。ストレージは、CICS 領域から取る必要がありますが、CICS DSA 以外からでなければなりません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 十分なストレージが使用できるようにしてください。CICS 区画のサイズを増やすか、あるいは CICS DSA のサイズを小さくして、多くのプログラム GETVIS を割り振ってください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3780** *applid Unable to start interregion communication. Return code=X'retcode', Reason code=X'rsncode'.*

説明: CICS は、それ自身を領域間通信 (IRC) サービスのユーザーとして設定することを試みましたが、その試みは失敗に終わりました。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 戻りコード (エラー修飾子が含まれていることがある) および理由コード (ある場合) は、可能性のあるエラーの数に対応します。戻りコード、エラー修飾子、および理由コードの完全なリストについては、「CICS TS Data Areas」の『領域間制御ブロック (IRC)』を参照してください。(戻りコード、エラー修飾子および理由コードすべての名前は、それぞれ IRERR、IRERQ および IRRSN で始まります。) 以下の要件を満たしていることを確認してください。

- 適切なレベルの機能を提供する DFHIRP のコピーは、共用仮想記憶域 (SVA) 内にある。
- CICS がオペレーティング・システム・サブシステムとして定義されている。
- 領域が CICS 領域間プログラム (IRP) ヘログオンするのを妨げるような SURROGAT セキュリティー違反がなかった。

これらのすべての条件が満たされているときに、このメッセージが出された場合には、IBM からのサポートが必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'retcode'*, *X'rsncode'*

宛先: コンソール

**DFHIR3781** *applid* Unable to start interregion communication because task CSNC cannot be attached.

説明: CSNC または DFHCRNP の定義がインストールされていないか、DFHCRNP が、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに見つかりませんでした。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: CSNC または DFHCRNP を使用可能にしてください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3783** *date time applid* Transaction *transid* *termid* - Connected transaction abended with message *xxxx*

説明: トランザクション *transid* は、MRO リンクを通じて、別の CICS システム内のトランザクションに接続されています。接続先のトランザクションがこのメッセージで異常終了したために、ローカル・トランザクションも異常終了しました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: 接続先のトランザクションで発生した異常終了の原因を修正してください。

モジュール: DFHZCX

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *transid*, *termid*, *xxxx*

宛先: CSMT

**DFHIR3784** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module DFHCRR. Connection *connname* (if non-blank) has been set out of service.

説明: モジュール DFHCRR 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。これは AP DD21 ZIS2 EVENT IRC などの定様式トレース項目に示されます。

戻りコードが 208 (IRERRGM8) の場合、この問題は、CICS 区画間でのデータ転送中にバッファに使用できるシステム GETVIS の量に関する、システム全体の内部制限に達したことが原因です。戻りコード 208 は、例えば AICA アベンドなど、1 つ以上の CICS 区画でのスローダウン (これにより転送バッファ・ストレージを再利用のためにタイミング良く解放できなくなります) から生じる一時的な問題である可能性があります。

システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成されます (メッセージ内の *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。エラー時点で処理中の接続 *connname* (ある場合) は、サービス休止に設定され、エラーが繰り返して発生することを防ぎます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: CICS を続行するために、接続を再び機能するように設定できる場合があります。この問題を解決するために IBM の支援が必要な場合は、進め方について「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRR

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHIR3785** *applid* Interregion control task CSNC abend. Interregion activity will be abnormally terminated.

説明: CSNC が異常終了します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。CICS は、このシステムと現在通信している他の CICS 領域内のすべてのタスク (外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用している非 CICS ジョブを含む) も異常終了させます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

この異常終了の後には、この CICS システム内で IRC を使用することはできなくなります。IRC を使用する前に CICS を再始動する必要があります。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHIR3786** *applid Unable to start interregion communication because module DFHSCTE could not be found.*

説明: IRC モジュール DFHIRP が DFHSCTE をロードしようとしたが、そのモジュールが SVA の中にありませんでした。

システムの処置: 領域間通信セッションは開始されません。

ユーザーの処置: DFHSCTE が使用可能であることを確かめてください。

モジュール: DFHSIJ1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHIR3787** *applid Unable to start inter-region communication because there are no IRC entries in the system.*

説明: 有効な MRO 接続がインストールされていません。

システムの処置: 領域間通信は開始されません。

ユーザーの処置: IRC が必要な場合、適切な MRO 接続とセッションの定義をインストールしてください。MRO 接続およびセッションの定義についての詳細は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA 資源定義の手引き」を参照してください。IRC が必要ではない場合、システム初期設定オプション IRCSTRT=NO を指定して実行してください。

モジュール: DFHSIJ1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHIR3788** *date time applid Unexpected failure (return code=X'retcode', reason code=X'rsnocode') trying to establish connection to system sysid*

説明: システム *sysid* が通信に使用可能であるにもかかわらず、CICS はこのシステム *sysid* に対してリンクを確立することができませんでした。

領域間通信 SVC によって戻される戻りコード X'*code*' は、以下のいずれかです。

- |     |  |
|-----|--|
| 12  | 2 次 - 1 次コンバーターが失敗しました。                  |
| 68  | 2 次システムが 1 次 LCB 内にありません。                |
| 92  | 接続先のシステムがログオンされていません。                    |
| 100 | CSB ストレージの GETVIS が失敗しました。               |
| 104 | 2 次システムが 1 次 LCB 内にありません。システムは定義されていません。 |
| 108 | 1 次 CCB がありません。接続があるか定義を調べてください。         |
| 112 | 2 次システムが静止モードです。                         |

戻りコード (エラー修飾子を含んでいる場合がある) および理由コードの完全なリストについては、「CICS TS Data Areas」の領域間制御ブロック (IRC) を参照してください。(戻りコード、エラー修飾子および理由コードすべての名前は、それぞれ IRERR、IRERQ および IRRSN で始まります。)

このメッセージが出された理由としては、メッセージが表示されるシステムの *applid* が、システム *sysid* で定義されているシステム項目上のいずれの NETNAME とも一致していなかったことが考えられます。

システムの処置: 接続は確立されません。既存の接続には、影響はありません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: *applid* または NETNAME の不一致が発生した場合には、そのエラーを訂正して再試行してください。

不一致がエラーの原因でない場合は、IBM のサポートが必要になるかもしれません。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, X'retcode', X'rsnocode', sysid*  
宛先: CSMT

---

**DFHIR3789** *date time applid SEND/RECEIVE mismatch between TCT system entries for this system and system sysid*

説明:

- このシステムにおけるシステム *sysid* 用の TCT 項目に定義されている送信セッションの数が、システム *sysid* におけるこのシステム用の TCT 項目に定義されている受信セッションの数と一致しません。または
- このシステムにおけるシステム *sysid* 用の TCT 項目に定義されている受信セッションの数が、システム *sysid* におけるこのシステム用の TCT 項目に定義されている送信セッションの数と一致しません。

システムの処置: 可能な限り多くのセッションが確立されます。

ユーザーの処置: 一方または両方の DFHTCT 項目を変更してください。

モジュール: DFHCRNP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid*  
宛先: CSMT

---

**DFHIR3790** *date time applid Unable to connect to system sysid for security reasons*

説明: このシステムに関する、システム *sysid* の DFHTCT 項目内の TYPE=SYSTEM 項目に、このシステムの実外部セキュリティ ID と一致しない SECURITYNAME オペランドが入っていたか、もしくは、その ID が IRC に認識されていませんでした。

システムの処置: 接続は確立されません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム *sysid* を担当するシステム・プログラマーに相談してください。

モジュール: DFHCRNP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid*  
宛先: CSMT

---

**DFHIR3791** *applid* Unable to start interregion communication because ISC=NO has been specified.

説明: ISC=NO が指定されているため、IRC 機能は使用できません。

システムの処置: 領域間通信セッションは開始されません。  
 ユーザーの処置: ISC システム初期設定パラメーターに NO 以外の値を指定して実行してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHIR3794** *date time applid* Interregion usage of VSE system GETVIS storage has reached *nnnn* bytes for this IPL

説明: この IPL で CICS 領域間通信機能によって (領域間バッファ用)にこれまで使用した VSE システム GETVIS の最大バイト数は、*nnnn* です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZCX

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, nnnn*

宛先: CSMT

---

**DFHIR3796** *date time applid* Transaction *trandid* *termid* *termid* - A connected transaction sent issue abend with following message: *xxxxxx*

説明: トランザクション *trandid* が、MRO リンクを介して、別の CICS システムのトランザクションに接続されました。この別のトランザクションがメッセージと共に ISSUE-ABEND フローを送信しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この中に含まれたメッセージの情報を調べて、状況を判断し、とるべき処置を決定してください。

モジュール: DFHZIS1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, termid, xxxxxx*

---

## DFHJCxxxx メッセージ

---

**DFHJC0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。

あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

**190** z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 巻

宛先: CSMT

---

**DFHIR3798** *applid* IRC Not Started. Unable to load Interregion Communication Work Exit DFHIRW10.

説明: 領域間通信初期設定の一部として、内部作業出口機構の確立が試行されました。この試みは失敗しました。

この失敗の原因として最も考えられるのは、領域間通信作業出口モジュール DFHIRW10 を SVA 内に配置することができないことです。このモジュールは SVA 内にロードする必要があります。

システムの処置: 領域間通信機能を (DFHSIT の IRCSTRT オペランド、IRCSTRT システム初期設定オーバーライドまたは CEMT SET IRC OPEN コマンドで) 開始しようとしたが、失敗しました。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 領域間通信作業出口モジュール DFHIRW10 が SVA にロードされるようにしてください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHIR3799** *applid* Unable to start interregion communication because DFHIRP services are down level.

説明: 使用中の DFHIRP のバージョンが、領域間通信の使用を要求している呼び出し側のレベルより低くなっています。システムの処置: 領域間通信セッションは開始されません。ユーザーの処置: IRC が必要である場合は、SVA 内の DFHIRP モジュールのレベルを更新して、使用中の最新の CICS バージョンのレベルに一致するようにしてください。IRC が必要ではない場合、システム初期設定パラメーター IRCSTRT=NO を指定して実行してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび

SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHJCRM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

#### DFHJC0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHJCRM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

#### DFHJC0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。その場合には、ここではエラーではないことがあります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHJCRM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

#### DFHJC29001 DFHTEOF UTILITY.

説明: これは、通知メッセージです。DFHTEOF ユーティリティが実行を開始しました。

システムの処置: プログラムは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

#### DFHJC29011 DFHTEOF COMPLETED, ON SIGNAL THAT TAPE WAS ALREADY INTACT.

説明: DFHTEOF ユーティリティが CICS 初期設定で呼び出されました。これは正常に完了しました。これは、直前のシャットダウン時にテープがクローズされていることが知られていたため、「高速再始動」経路がとられたことを示します。

## DFHJC2902I • DFHJC2907I

テープは上書きされませんが、入力ができるよう逆方向に配置されています。

システムの処置: プログラムは終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

---

### DFHJC2902I UNABLE TO ALLOCATE STORAGE. DFHTEOF TERMINATES ABNORMALLY.

説明: ストレージ要求が出されたとき、このプログラムが使用できるストレージがありませんでした。

システムの処置: プログラム実行は異常終了し、異常終了コード 2902 が出されます。

ユーザーの処置: 領域サイズを増やして、再実行してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

---

### DFHJC2903I UNABLE TO OPEN LOG VOLUME.

説明: OPEN マクロが出されましたが、それはジャーナルのオープンに失敗しました。

システムの処置: プログラム実行は異常終了し、異常終了コード 2903 が出されます。

ユーザーの処置: データ定義名 DFHTAPE の DLBL ステートメントが欠落していないか検査してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

---

### DFHJC2904D DO YOU WANT TO SWAP JOURNAL VOLUMES? REPLY 'Y' OR 'N'.

説明: ジャーナル・ボリュームのラベルを検査しているとき、否定応答が受信されました。

システムの処置: 応答が「Y」の場合、プログラムは現行ボリュームをクローズし、別のジャーナル・ボリュームを要求します。

応答が「N」の場合、プログラム実行は異常終了し、メッセージ DFHJC2915 が出されます。

ユーザーの処置: 正しくないボリュームが取り付けられていて、別のボリュームを取り付ける必要がある場合には、「Y」と応答してください。そうでない場合には、「N」と応答してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

---

### DFHJC2905I eeee ERROR ON PREVIOUS RECORD - NEXT RECORD LABEL VALID.

説明: ジャーナルのラベルが妥当性検査されているときに、エラー eeee が発生しました。しかし、次の順次ラベル・レコードは有効でした。eeee は次のいずれかです。

- DATA CONVERSION
- WORD COUNT ZERO
- OVERRUN
- DATA CHECK
- EQUIPMENT CHECK
- BUS-OUT CHECK
- INTERVENTION RQ
- COMMAND REJECT

システムの処置: タスクはラベル情報を書き込み、メッセージ DFHJC2909 を出して処理をさらに続けるかどうかを尋ねます。

ユーザーの処置: 処理を続けるかどうかを決定してください。決定に応じてメッセージ DFHJC2909 に応答してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

---

### DFHJC2906I VOLUME LABEL VERIFICATION.

説明: このメッセージは、ボリューム・ラベルが検査中であり、後に続くメッセージ DFHJC2907 および DFHJC2909 に対してオペレーターの決定が必要であることを示します。

システムの処置: プログラムは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

---

### DFHJC2907I LABEL INFORMATION - VOLUME NUMBER yyddd/nnn/nnn RUN time1 BLOCK time2.

説明: このメッセージは、オペレーターに調査が要求されているラベル・レコードのフィールドを表示します。オペレーターがそれらのフィールドの調査を要求されている状況は、先行メッセージに示されています。これは、次のことを検査するために行う必要があります。

- 正しいボリュームがオープンされている。
- 論理的つながりが失われていない。
- 論理的つながりは、予期されているポイントで終了している。

yyddd はこのボリュームの作成日であり、nnn はその日とその実行におけるボリューム順序番号であり、time1 は実行が開始された時刻であり、time2 はブロックがテープに書き込まれた時刻です。どちらの "時刻" フィールドも形式は hh:mm:ss です。

ジャーナルが DMF 形式である場合、実行の開始に関する詳細は入手できません。したがって、date および time1 フィールドは、このリールの最初のブロックが書き込まれたときに作成されて表示されます。

注: ボリューム作成日、実行開始時刻、およびブロック出力時刻は、すべてが同じ日を指し示しているわけではありません。

システムの処置: ボリューム検査が進行中の場合、メッセージ DFHJC2908 が出されます。レコード・ラベル検査が進行中の場合、メッセージ DFHJC2912 が出されます。

ユーザーの処置: 表示されたラベル情報を調べ、それに応じて、メッセージ DFHJC2908 またはメッセージ DFHJC2912 に応答してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2908D IS MOUNTED VOLUME VALID - 'Y' OR 'N'.**

説明: このメッセージは、取り付けられたジャーナル・ボリュームの検査に言及しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。応答が「Y」の場合、有効なジャーナル・レコードの最後の位置に関して処理が続行されます。

応答が「N」の場合、ボリューム交換が行われます。

ユーザーの処置: ラベル情報が有効な場合には、「Y」と応答してください。ラベル情報が無効な場合には、「N」と応答してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2909D CONTINUE PROCESSING? REPLY 'Y' or 'N'.**

説明: このメッセージは、入出力エラーが生じて、次のラベル・レコードが有効である場合に、メッセージ DFHJC2905 の後に出されます。

システムの処置: システムは応答を待ちます。応答が「Y」の場合、データ終了が検出されるまで処理は続行されます。

応答が「N」の場合、プログラム DFHTEOF の実行は終了します。

ユーザーの処置: 処理を続行する場合には、「Y」と応答してください。処理を終了する場合には、「N」と応答してください。

注: これがシステム・ログの場合、リカバリー処理時にエラーが繰り返される可能性があります。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2910I AN I/O ERROR HAS OCCURRED. DFHTEOF TERMINATES ABNORMALLY.**

説明: メッセージ DFHJC2909 に対して否定応答が出されました。

システムの処置: プログラムの実行は異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2911I RECORD LABEL VERIFICATION.**

説明: このメッセージは、レコード・ラベルが検査中であることを示します。このメッセージは、次のいずれかの状態のときに出されます。

1. レコード・ラベルが、ボリューム上の最初のラベル・レコードと一致しない。
2. 装置チェック・エラーが連続して生じた。
3. 「ハード」エラーが生じた。これは、(3480 の場合) 読み取りヘッドが良好データの最後を過ぎたことを意味します。

システムの処置: 障害が起こる前のレコードのデータを示したメッセージ DFHJC2907 が出されます。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHJC2907 を参照してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2912D IS THE JOURNAL RECORD LABEL VALID? REPLY 'Y' OR 'N'.**

説明: このメッセージは、メッセージ DFHJC2907 の後に出されます。このメッセージは、プログラム DFHTEOF が検出した最後の有効レコード・ラベルの検査を要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。応答が「Y」の場合、ファイル終わり (EOF) のマークがテープ・ボリュームに書き込まれ、プログラムは終了します。

応答が「N」の場合、プログラム実行は異常終了します。

ユーザーの処置: ラベル情報が正しい場合には、「Y」と応答してください。そうでない場合には、「N」と応答してください。

注: ラベル情報は、そのデータを、前に表示されたボリューム、ならびにこのデータを作成した実行が終了したときの既知の時刻と比較すれば、検査することができます。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2913I NEGATIVE RESPONSE TO RECORD LABEL VERIFICATION. DFHTEOF TERMINATES ABNORMALLY.**

説明: このメッセージは、メッセージ DFHJC2912 に対する応答が否定応答であるときに出されます。

システムの処置: プログラムの実行は異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2914I END-OF-DATA OCCURRED. LAST RECORD LABEL VERIFICATION FOLLOWS.**

説明: データ終了条件が見つかりましたが、(DFHJC2926 が示していなければ) エラーは検出されませんでした。

システムの処置: DFHTEOF が CICS 初期設定で呼び出されている場合には、このメッセージの後に DFHJC2901 が続きます。DFHTEOF がバッチ・ユーティリティとして実行されている場合には、このメッセージの後に DFHJC2907 が続きます。

ユーザーの処置: このメッセージに関する限り、なし。しかし、この後に続くメッセージに関しては、ユーザー処置が必要な場合があります。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2915D IS THE CORRECT VOLUME MOUNTED? REPLY 'Y' OR 'N'.**

説明: データ終了が見つかったとき、最後のレコードのラベル情報が、検査のためにコンソールに書き込まれます。

システムの処置: システムは応答を待ちます。応答が「Y」の場合、プログラムは終了します。応答が「N」の場合、ボリュ

ームを交換する機会が与えられます。

ユーザーの処置: 正しいボリュームが取り付けられている場合には、「Y」と応答してください。正しくないボリュームが取り付けられている場合には、「N」と応答してください。

注: 最初に正しくないボリュームが取り付けられていたような場合には、ボリュームを交換する機会が与えられます。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2916I AN UNRECOVERABLE I/O ERROR HAS OCCURRED. DFHTEOF TERMINATES ABNORMALLY.**

説明: 装置チェックまたは装置例外以外のエラーが、ジャーナル・ボリュームで検出されました。

システムの処置: それ以上の処理は中断され、プログラムの実行は異常終了します。

ユーザーの処置: ハードウェアの誤動作があった可能性があります。問題を訂正してもらった後、プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2917I INCORRECT REPLY *x*.**

説明: 処置メッセージに対する応答として、正しくない応答文字 *x* が受信されました。

システムの処置: プログラムは、この正しくない応答を受け取ったメッセージを再度出します。

ユーザーの処置: 正しい応答を再入力してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2918I NEGATIVE RESPONSE TO VOLUME VERIFICATION. DFHTEOF TERMINATES ABNORMALLY.**

説明: ボリューム・ラベル検査に関して、否定応答を受け取りました。ボリュームの交換は必要ではありません。

システムの処置: プログラムの実行は異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2919I END-OF-DATA. EITHER NO VOLUME LABEL, OR INVALID VOLUME MOUNTED.**

説明: ボリューム・ラベルの検査時に、検査が実行される前に、データ終了条件が見つかりました。これは、通常、正しくないボリュームが取り付けられていたことを示します。

システムの処置: メッセージ DFHJC2919 が出された後、ボリュームを交換するための DFHJC2904 が出されます。

ユーザーの処置: 「Y」と応答して正しいボリュームを取り付けるか、あるいは「N」と応答してプログラムを終了してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2920I NEGATIVE RESPONSE AFTER END-OF-DATA OCCURRED. DFHTEOF TERMINATES ABNORMALLY.**

説明: データ終了 (EOD) が見つかった後、ボリュームのラベル検査およびボリュームの交換に関して、否定応答を受け取りました。

システムの処置: プログラムの実行は異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2921I I/O ERROR DURING WRITE. DFHTEOF TERMINATES ABNORMALLY.**

説明: 出力処理を可能にするためにダミー・レコードを書き込んでいるとき、入出力エラーが起きました。このため、CLOSE マクロ命令の実行時に (出力データ・セットの場合と同様に)、ファイル終わりマークが書き込まれます。

システムの処置: DFHJC2921 がオペレーター・コンソールに書き込まれ、プログラム実行は異常終了します。

ユーザーの処置: DFHTEOF を再実行し、別の磁気テープ装置を使用してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2922I UNABLE TO OPEN 3480 JOURNAL VOLUME FOR REPOSITIONING.**

説明: 3480 テープでデータ・セットの中断終了が識別された後、DFHTEOF は、データ・セットを正しく位置付けてクローズするために、その装置を再オープンしようとしてしました。しかし、OPEN は失敗しました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2923I ERROR READING 3480 JOURNAL VOLUME FOR REPOSITIONING.**

説明: 最後に書き込まれたレコードが 3480 テープで識別された位置の後で、DFHTEOF は、データ・セットを正しく位置変更してクローズするためにその装置をオープンしました。しかし、DFHTEOF は、重大エラーか、または前の分析スキャン時に見られなかったテープ・マークを検出しました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ハードウェアの誤動作があった可能性があります。プログラムを再サブミットしてください。再び失敗した場合には、ハードウェアの誤動作がないか検査し、それを訂正してもらってください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール



**DFHJC2924I FIRST RECORD ON THIS TAPE IS NOT FORMATTED AS A JOURNAL LABEL**

説明: 一部の予期された定数フィールドおよびバック 10 進フィールドが最初のブロック読み取りで見つからなかったため、取り付けられたボリュームの検査が失敗しました。

システムの処置: 別のボリュームで試みるために DFHJC2904 が出されます。

ユーザーの処置: 非ジャーナル・テープがおそらく誤って取り付けられています。正しいジャーナルを取り付けてください。

あるいは、正しいボリュームが取り付けられていた場合には、それは破壊されているか、上書きされている可能性があります。データが失われた可能性がないかどうか調査し、その状態のリカバリーを試みてください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2925I I/O ERRORS OCCURRED - NO RECORDS READ.**

説明: ボリュームの検査時に、入出力エラーが起きて、最初の 2 つのブロックの読み取りができませんでした。これは、通常、正しくないボリュームまたは損傷したボリュームが取り付けられていたことを示します。

システムの処置: 上記のメッセージが出された後、ボリュームを交換するためのメッセージ DFHJC2904 が出されます。

ユーザーの処置: 「Y」と応答して正しいボリュームを取り付けるか、あるいは「N」と応答してプログラムを終了してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2926I ERROR FOUND ADJACENT TO FINAL TAPEMARK. ONE RECORD WILL BE ELIMINATED.**

説明: DFHTEOF がジャーナルのラベルをスキャンしているときに、エラーが起きました。次の順次読み取りにより、「装置例外」が戻されました。装置例外はデータ・セットの正しく配置された最後のテープ・マークを示しているが、最後のデータ・ブロックが読み取り不能であることが、おそらく原因と考えられます。

システムの処置: タスクは、データ・セットを、障害のあるものの前のブロックで論理的に終了しているものとして取り扱います。タスクは、ジャーナルを位置付けて、障害のあるブロックの前のポイントでクローズしようとしています。

ユーザーの処置: ユーザー処置は不要ですが、一部のデータが永続的に失われた可能性があることに注意してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2927I ERROR FOUND AT BEGINNING OF DATASET. INPUT IS RE-TRIED.**

説明: データ・セットの最初の読み取りの試みでエラーが検出されました。DFHTEOF は、データ・セットをもう一度読み取るとうとします。

システム・ログの場合には、再始動がまだ成功する重要な機会があります。それは、逆方向読み取りは必ずしもテープの先頭に達するわけではないからです。

システムの処置: DFHTEOF は、2 回目の読み取り時に何を検出するかに応じて、分析を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー処置は不要ですが、一部のデータが失われる可能性があることに注意してください。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC2928I DFHTEOF COMPLETED, LEAVING mmmmmmm BLOCKS IN PLACE.**

説明: DFHTEOF ユーティリティは正常に完了しましたが、直前のシャットダウンでテープをクローズできませんでした。DFHTEOF は、テープをスキャンして最後のレコードを見つけ、最後のレコードの後ろにファイル終わりマーカを置きます。DFHTEOF は、読み取られたブロックの数をカウントします。この数は、mmmmmm で示されています。

システムの処置: DFHTEOF は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTEOF

宛先: コンソール

**DFHJC4500 applid nn of mm journals successfully opened**

説明: これは、システム初期設定時に出される通知メッセージです。どちらの挿入部も 2 桁の数字です。

注: このメッセージは、MSGLVL=0 で抑止することができます。SIT またはオペレーター・オーバーライドのいずれかで START=LOGTERM がこの実行にコーディングされているときにも、このメッセージは出されません。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJCKOJ

XMEOUT パラメーター: *applid*, *nn*, *mm*

宛先: コンソール

**DFHJC4501 applid CICS {System Log | Journal nn} not available - initial open failure**

説明: ジャーナル *nn* は、システム初期設定時に出力のためにオープンできませんでした。

システムの処置: ジャーナル管理テーブル (JCT) 項目に CRUCIAL オプションと一緒にジャーナルが指定されている場合、CICS はダンプを作成し、VSE ユーザー異常終了コード 0113 を出して終了します。

そうでない場合には、CICS 実行は続行され、実行の期間中、ジャーナルは使用できません。

ユーザーの処置: 正しい JCL が与えられていることを確認してください。ディスク・ジャーナルの場合、データ・セットが正しく事前形式設定されていたか検査してください。詳しくは、「CICS System Definition and Operations Guide」を参照してください。

エラーがなくなる場合には、データ破損の可能性を示すメ

## DFHJ4502 • DFHJ4506

ッセージが以前に出されていないか検査してください。それでもエラーが再発する場合、別の装置を割り振ってください。

モジュール: DFHJCKOJ

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, {1=System Log, 2=Journal, *nn*, }

宛先: コンソール

---

**DFHJ4502** CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL *nn*}  
MOUNT SCRATCH VOLUME ON *cuu*  
FOR OUTPUT. {REPLY YES WHEN  
AVAILABLE}

説明: メッセージに示されたボリュームまたはスクラッチ・ボリュームは取り付けられ、メッセージに示されたジャーナルの出力を受け取るためにオープンされます。

*nn* はジャーナルを示し、*cuu* は磁気テープ装置のアドレスです。

「REPLY 'YES' WHEN AVAILABLE」という文は、PAUSE オプションが JCT に指定されている場合にのみ、このメッセージの一部として出されます。

システムの処置: PAUSE オプションがジャーナル管理テーブル (JCT) に指定されている場合、スクラッチ・ボリュームが使用可能であることを示すために、このメッセージに対してオペレーターが「YES」と応答するのをシステムは待ちます。

オペレーティング・システムの OPEN 要求は、このメッセージと一緒に (または応答が要求される場合には肯定応答の後に) 出されます。OPEN が成功したとき、または応答が要求される場合には肯定応答の後に、メッセージ DFHJ4503 が出されます。

ユーザーの処置: アドレッシングされた装置にテープを取り付け、準備してください。ボリュームは、ジャーナル *nn* に関して出力レコードを受け取ります。

処置をとることを遅らせないでください。遅らせると、他のジャーナルの OPEN または CLOSE (あるいはその両方) が延期される可能性があります。

モジュール: DFHJCOCP

宛先: コンソール経路コード 2、3、および 11

---

**DFHJ4504** CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL *nn*}  
MOUNT ON *cuu* FOR INPUT: {LATEST  
OUTPUT VOLUME | NEXT VOLUME (IF  
ANY) | PREVIOUS VOLUME (IF ANY)}

説明: CICS では、ジャーナル・ボリューム *nn* を装置 *cuu* に取り付ける必要があります。LATEST、NEXT、および PREVIOUS は、CICS が割り振った外部ラベルが意味している順序を指し示します。(メッセージ DFHJ4503 を参照してください。) 外部ラベルは、特定の CICS 実行での日付順およびボリューム順序番号順になっています。

システムの処置: このメッセージの後には必ずメッセージ DFHJ4505 が続いており、これに対して YES または NO と応答する必要があります。

ユーザーの処置: 適切なラベル付きのテープ・リールがまだ取り付けられていない場合には、それを見つけてください。ボリュームがすでに取り付けられていて、装置の準備ができてい

場合には、それに触れないでください。それ以外の場合には、ボリュームを取り付けるだけにし、装置の準備はしないでください。それから、メッセージ DFHJ4504 の後に必ず出されるメッセージ DFHJ4505 に応答してください。

モジュール: DFHJCOCP

宛先: コンソール経路コード 2、3、および 11

---

**DFHJ4505** CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL *nn*}  
REPLY 'YES' IF VOLUME AVAILABLE,  
OR 'NO' IF NOT

説明: このメッセージと一緒にメッセージ DFHJ4504 が出されますが、これはジャーナル・テープ・ボリュームを入力用に取り付けよう要求します。

システムの処置: 応答が「YES」の場合、CICS はオペレーティング・システム OPEN 要求を出します。応答が「NO」の場合は、CICS によりボリューム・エラー状況が要求トランザクションに戻されます。

ユーザーの処置: ボリュームが見つまっている場合には「YES」と応答してください。それが見つからない場合、あるいは存在しないボリューム・ラベルに関する要求である場合には、「NO」と応答してください。YES と応答した後に、ボリュームがすでに取り付けられていて装置に準備されているのでない限り、ボリュームを磁気テープ装置に取り付ける準備をしてください (メッセージ DFHJ4506 を参照してください。) この処置は速やかに行ってください。さもないと他のジャーナルのオープン/クローズ処理に遅れが生じることがあります。

モジュール: DFHJCOCP

宛先: コンソール経路コード 2、3、および 11

---

**DFHJ4506** CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL *nn*} {*label*}  
{LATEST OUTPUT VOLUME NOW  
CLOSING BUT REMAINING ON |  
UNLOADING FROM | VOLUME FOR  
INPUT (BUT NEVER USED), UNLOADING  
CUU=*cuu*}

説明: メッセージに示されたジャーナル・テープ・ボリュームがクローズされました。テープが装置からアンロードされている場合には、CICS が以前に割り振った外部ラベル情報 (メッセージ DFHJ4503 を参照) が与えられます。

システムの処置: これは、メッセージ・テキストが示す処置です。つまり、テープは、アドレスが示された装置からアンロードされるか、または装置上に残ります。

ユーザーの処置: テープがアンロードされる場合には、メッセージ・テキストに示されているように物理ラベルをそれに貼り付けてください。このラベルは、CICS が後で取り付けを要求する際に言及する場合がある外部ラベルです (メッセージ DFHJ4504 参照)。

テープがアンロードされない場合には、テープと装置をそのままにしてください。(ただし、テープを除去することになっている場合、例えば、別のシステムで読み取ることになっている場合は別です。)

モジュール: DFHJCOCP

宛先: コンソール経路コード 2、3、および 11

---

**DFHJC4507** *applid* CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL nn}  
{PRIMARY | SECONDARY} DATA SET  
ABOUT TO RECEIVE OUTPUT ON *cuu*.  
REPLY 'Ynn{A | B}' WHEN AVAILABLE

説明: メッセージに示されているジャーナル・ディスク・データ・セットが、出力によって上書きされようとしています。このジャーナルについては、ジャーナル管理テーブル (JCT) 項目内で PAUSE オプションが指定されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 休止機構の詳細記述は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。データ・セットからデータ・セットをコピー (保存) するためのインストール操作手順がすべて完了したことを確認し、それからメッセージの要求に「{YnnA|B}」と応答してください。他のジャーナルのオープン処理またはクローズ処理が延期されないよう、応答を遅らせないでください。

モジュール: DFHJCOCP

宛先: コンソール

---

**DFHJC4508** *applid* CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL nn}  
{PRIMARY | SECONDARY} DATA SET  
NOW RECEIVING OUTPUT ON *cuu*

説明: 上記のジャーナル・ディスク・データ・セットが使用 (上書き) されようとしています。

*applid* は、このメッセージを出す CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

システムの処置: メッセージに示されているジャーナル *nn* のデータ・セットが、出力用の現行ボリュームになります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJCOCP

宛先: コンソール

---

**DFHJC4509** *applid* The Global Catalog control record cannot be updated

説明: グローバル CICS カタログで制御レコードを読み取りまたは書き込み中に、エラーが起きました。レコードは、最新ボリューム通し番号およびタイム・スタンプが更新中でした。直前のメッセージは、グローバル・カタログに問題がある理由を示している可能性があります。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。カタログの問題を訂正してください。

モジュール: DFHJCO

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHJC4510I** *applid* All open journals now closed

説明: CICS が実行を終了中であるときに、通知メッセージが出されました。

システムの処置: システム終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJCSDJ

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHJC4511** *applid* Link to a journal control transient failed

説明: CICS は、以下のジャーナル管理一時プログラムのいずれかをプログラム・ライブラリーから見つけることができませんでした (DFHJCO、DFHJCC、DFHJCEOV、DFHJCIOE、または DFHJCI)。

システムの処置: CICS 実行は終了して、ダンプが作成されません。VSE ユーザー異常終了コードは 0111 です。

ユーザーの処置: ジャーナル管理を使用不可の状態にして CICS を再始動するか、または上記のすべてのプログラムがプログラム・ライブラリーにあることを確認してください。

モジュール: DFHJCP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHJC4512** *date time applid* CICS {System Log | Journal nn} no longer available - output volume-switch failure

説明: クローズ/オープンの操作順序を実行して、自動的に新しいジャーナル出力ボリュームに交換されるようにしようとしていたとき、CICS ジャーナル・タスクが無効応答コードが受け取りました。メッセージ内の *applid* は、メッセージを出した CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

システムの処置: ジャーナルが、そのジャーナル管理テーブル (JCT) 項目で JOUROPT=CRUCIAL が指定されている場合には、CICS 実行は異常終了して、ダンプが作成されます。VSE ユーザー異常終了コードは 0112 です。

ジャーナルが不可欠 (CRUCIAL) でない場合には、実行は続行され、実行の期間中ジャーナルは使用できません。ジャーナルのジャーナル・タスクは異常終了して、CICS 異常終了コード AJCB が出されます。

ユーザーの処置: CICS が終了した場合には、CICS を再始動してください。システム・エラーのデバッグの担当者に、その条件を知らせてください。その条件は起きないはずのものであり、オペレーティング・システムまたは装置のオープン/クローズの障害のためか、あるいは CICS エラーが原因である可能性があります。

詳細については、異常終了コード AJCB を参照してください。

モジュール: DFHJCEOV

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, {1=System Log, 2=Journal, nn, }

宛先: CSMT

---

**DFHJC4513** *date time applid* CICS {System Log | Journal nn} no longer available - output I/O error

説明: メッセージに示されているジャーナル・データ・セットで、リカバリー不能の出力時入出力エラーが起きました。メッセージ内の *applid* は、メッセージを出した CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

システムの処置: メッセージに示されたジャーナルのジャーナ

## DFHJ4514 • DFHJ4517

ル・タスクは異常終了して、異常終了 AJCA が出されました。CICS は続行されますが、実行の残りの部分の間、ジャーナルは使用できないままです。

メッセージ DFHJ4513 の後には必ずメッセージ DFHJ4517 が続きます。JOUROPT=CRUCIAL が指定されている場合、端末オペレーターを促すメッセージ DFHJ4518 も出されます。そしてジャーナルを用いようとするトランザクションは、異常終了して、異常終了 AJCR が出されます。

ユーザーの処置: ジャーナル・データ・セット保全の責任者に知らせてください。エラーがなくなる場合には、別の装置かデータ・セットをジャーナルに割り振ってください。

詳細については、異常終了コード AJCA を参照してください。

モジュール: DFHJCIOE

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, {1=System Log, 2=Journal, nn, }*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

### DFHJ4514 *applid* Journal Control subtask has abnormally terminated

説明: ジャーナル管理がオープン/クローズ要求およびコンソール通信のために使用したオペレーティング・システム・サブタスク DFHJCOCP は、異常終了しました。サブタスクは、単純なオープン処理またはクローズ処理しか実行しません。この異常終了は、オペレーティング・システムの障害か、装置の障害か、または CICS エラーのために起きた可能性があります。

システムの処置: 通常シャットダウンの最終終了段階のときにサブタスクの異常終了が起きた場合、CICS はジャーナリングをシャットダウンし、通常シャットダウンが続行されます。

最終終了段階以外のときにサブタスクの異常終了が起きた場合、CICS はジャーナリングをシャットダウンしようとし、それから異常終了して VSE ダンプが作成されます。VSE ユーザー異常終了コードは 0114 です。

ユーザーの処置: CICS を再始動してください。エラーがすぐに再び起こる場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHJCBSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHJ4515 *applid* Unable to note open of System Log by DFHTEOF on DFHGCD data set

説明: テープのファイル終わり処理のためにシステム・ログをオープンするために DFHTEOF を付加する前に、DFHSIC1 は、CICS グローバル・カタログ (DFHGCD) 内のシステム・ログ制御レコードの更新/書き込みを行おうとします。この更新/書き込み操作は失敗しました。

このメッセージの前に、モジュール DFHCCCC によって出される別のコンソール・メッセージが出されていることがあり、このコンソール・メッセージはグローバル・カタログ書き込みエラーの理由を示します。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: グローバル・カタログ書き込みエラーの理由を示す、DFHCCCC が出すコンソール・メッセージが前に出されていないか探してください。DFHCCCC 呼び出しに対する応答コードも、トレース・テーブルの中か、またはダンプ内の DFHCCCC パラメーター・リスト内にあります。

モジュール: DFHSIC1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHJ4516 *applid* Unable to note {Open | Close | Status} of a journal on CICS Global Catalog

説明: システム・ログまたはユーザー・ジャーナルがオープンまたはクローズされましたが、その後にジャーナルの状況を更新または CICS グローバル・カタログ (DFHGCD) に書き込もうとする試みが失敗しました。

問題のレコードは、システム・ログ制御レコード (これは、後でテープからの緊急再始動を行う場合に影響します) か、またはディスク・ジャーナルの保全性にとって重要な「エクステント状況」である可能性があります。

OPEN が挿入されている場合、メッセージは DFHJCO によって出されたものです。

CLOSE が挿入されている場合、メッセージは DFHJCC によって出されたものです。

STATUS が挿入されている場合、メッセージは DFHJCP によって出されたものです。

このメッセージの前に、モジュール DFHCCCC によって出される別のコンソール・メッセージが出されていることがあり、このコンソール・メッセージはグローバル・カタログ書き込みエラーの理由を示します。

システムの処置: CICS はダンプをとり、異常終了して、VSE 異常終了コード 0183 が出されます。

ユーザーの処置: グローバル・カタログ書き込みエラーの理由を示す、DFHCCCC が出すコンソール・メッセージが前に出されていないか探してください。DFHCCCC 呼び出しに対する応答コードも、トレース・テーブルの中か、またはダンプ内の DFHCCCC パラメーター・リスト内にあります。

モジュール: DFHJCO, DFHJCC, DFHJCP

XMEOUT パラメーター: *applid, {1=Open, 2=Close, 3=Status}*

宛先: コンソール

---

### DFHJ4517 *date time applid* A non-immediate shutdown of CICS should be initiated

説明: CICS は、DFHJ4513 の後にこのメッセージを出します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ジャーナルがデータのセキュリティにとって重要である場合には、CICS を通常どおりクローズしてください。

モジュール: DFHJCIOE

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4518D** *date time applid* Reply 'YES' to acknowledge message DFHJC4517

説明: ジャーナル管理テーブル (JCT) の中に、使用できないジャーナルが Jouropt=CRUCIAL で指定されている場合、CICS は DFHJC4517 の後にこのメッセージを出します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 「YES」と応答して、メッセージ

DFHJC4513 および DFHJC4517 を受け取ったことを知らせてください。

モジュール: DFHJCIOE

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4519** *applid* Program DFHJCbsp is not available

説明: システム初期設定時に、CICS はジャーナル管理モジュール DFHJCbsp を見つけることができず、そのためジャーナリングを初期設定することができません。

システムの処置: CICS は異常終了して、VSE ユーザー異常終了コード 0119 が出されます。

ユーザーの処置: DFHJCbsp が、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーのメンバーであることを確認してください。

モジュール: DFHJCKOJ

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHJC4520** *applid* Required module *modname* could not be loaded.

説明: モジュール *modname* はジャーナル管理に必要です。このモジュールは LIBDEF 検索チェーンから欠落しているのので、ロードすることができませんでした。

システムの処置: システムは終了し、システム・ダンプが作成されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: モジュール *modname* が LIBDEF 検索チェーンに含まれるようにしてください。

上記が問題の原因でない場合には、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHJCRP

XMEOUT パラメーター: *applid, modname*

宛先: コンソール

**DFHJC4522** FILENAME *filename* HAD A PERMANENT I/O ERROR.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティが DLBL ステートメント *filename* に定義されたデータ・セットを処理しているときに、リカバリー不能な入出力エラーが起きました。システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: 出力データ・セットでエラーが起こって、もう一度実行しようとする場合には、異なるボリュームを参照するように DLBL ステートメントを変更して、ジョブを再サブミットしてください。可能であれば、リカバリーのために元のボリュームをオフラインにしてください。

エラーが入力データ・セットで起きた場合には、おそらく、正

しくない形式 (例えば、固定形式) のファイルを読み取ったことが原因と思われます。DFHJUP は、それぞれの論理レコードの最初の 2 バイトのレコード記述子ワードを妥当性検査し、それが負かまたは 31,757 よりも大きい場合、それは終了して、このメッセージが出されます。それ以外の場合、それは実際の入出力エラーである可能性があります。リカバリーするためには、欠陥のあるボリュームのバックアップ・コピーを持っていない限りなりません。バックアップ・ボリュームを参照するように DLBL ステートメントを変更して、ジョブを再実行することができます。欠陥ディスクのバックアップ・コピーをとってあった場合には、IBM ユーティリティを使用し、欠陥トラックにフラグを付けて代替トラックを指し示すことによって、ディスクをリカバリーさせることができます。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

**DFHJC4523** PROCESSING IS BEING TERMINATED FOR THIS OPTION.

説明: これは、OPTION カードのための処理が完了したときに CICS ジャーナル印刷ユーティリティによって出される通知メッセージです。言及されているカードは、SYSLST 上のこのメッセージの前にある最後の OPTION カードです。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは次のオプションの処理を続行します。

ユーザーの処置: OPTION カードとこのメッセージの間に他のメッセージが現れなかった場合は、正常な終了です。他のメッセージが出されていた場合には、それらを調べて、終了が正常であったのか、または異常であったのかを判別してください。異常終了が起こった場合には、他のメッセージ (複数の場合もある) で通知されたエラーを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

**DFHJC4524** INVALID CONTROL CARD FORMAT.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、入力 CONTROL カードの中でエラーを検出しました。このカードは、SYSLST 上のこのメッセージの前の行に表示されています。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、無効なカードを無視して、標準のデフォルト値を想定します。

ユーザーの処置: 実行の出力が望んでいるものと異なっていた場合には、無効なカードを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

**DFHJC4525** INVALID CARD TYPE.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、1 桁目から始まる次のいずれかの文字列を含んでいない入力カードを読み取りました。

「CONTROL」、「OPTION」、「\*」、または「END」

この無効カードは、SYSLST 上のこのメッセージの前の行に表示されています。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、無効なカードを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: ジョブが失敗に終わったり、出力が望みのもの

と異なっていた場合には、無効なカードを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

#### DFHJC4526 INVALID OPTION CARD OR PRIOR ERROR.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、OPTION カードの中でエラーを検出したか、または前にエラーがあったためにそのカードを無視しました。そのカードは、このメッセージの前の行に表示されます。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、そのカードを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: ジョブが失敗に終わったり、出力が望みのものと異なっていた場合には、エラーを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

#### DFHJC4527 END OF JOB.

説明: これは、CICS ジャーナル印刷ユーティリティが正常に終了したときにそのユーティリティによって出されるジョブ終了通知メッセージです。エラーが検出された可能性があります。異常終了を引き起こすほど重大なものではありませんでした。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは正常に終了します。

ユーザーの処置: すべてのオプションが正常に完了したかどうかを調べてください。正常に完了しなかったものがあつた場合には、まだ必要なオプションのために別のジョブをサブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

#### DFHJC4528 NO OPTION CARDS SUPPLIED.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、1 つの CONTROL カードについて、次のことを検出しました。

1. OPTION カードがまったく与えられていない。または、
2. OPTION カードのすべてにエラーが含まれている (このメッセージよりも前に出されたメッセージで通知されている)。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、OPTION カードがなければ、CONTROL カードの処理は実行しません。

ユーザーの処置: 必要とするオプションのための正しい OPTION カードを与えて、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

#### DFHJC4529 UNABLE TO OPEN INPUT FILE.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、このメッセージの前に表示されている CONTROL カードと関連した入力データ・セットをオープンすることができませんでした。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、次の入力カードで処理を続行します。

ユーザーの処置: JCL を検査してください。標準ラベルを持たないデータ・セットの場合には、データ・セット制御ブロック (DCB) パラメーターが与えられているか検査してください。JCL エラーを見つけた場合には、それを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

#### DFHJC4530 ELEMENT LIST ERROR.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、入力ファイルを処理しているときにエラーを検出しました。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは処理を終了して、VSE ユーザー異常終了コード 0185 が出されます。

ユーザーの処置: これは、通常、前のエラーによって起こります。そのエラーについては、メッセージが出されています。前のエラーについて何らかのエラー・メッセージが表示されている場合には、必要な訂正をして、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

#### DFHJC4531 END OF FILE ON INPUT.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティが、現行入力ファイル上の EOF に達しました。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、このメッセージが SYSLST 上に出される前に、CONTROL カードの処理を完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

#### DFHJC4532 OPTION COMPLETE.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、SYSLST 上のこのメッセージの前の OPTION カードの処理を完了しました。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、次の OPTION カードで処理を続行します。あるいは、END カードの前に他のオプションがなかった場合には、現在の制御カードのための処理を完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

#### DFHJC4533 UNABLE TO OPEN OUTPUT FILE.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、SYSLST 上に表示されているこのメッセージの前の最後の CONTROL カードに関連した出力データ・セットをオープンすることができませんでした。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティの処理は、この CONTROL カードについては終了し、次の CONTROL カードを使って続行されます。  
 ユーザーの処置: JCL を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。  
 モジュール: DFHJUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHJC4534 NO ELEMENT LIST ADDRESS.**

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティの処理時に、エレメント・リストを作成しているときにエラーが起きました。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティの処理は、このエレメント・リストについては終了し、さらに異常終了して VSE ユーザー異常終了コード 0184 が出されます。  
 ユーザーの処置: これは、ジャーナル印刷ユーティリティ DFHJUP 内の内部エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHJUP  
 宛先: SYSLST

---

**DFHJC4535 date time applid The JACD cannot be initialized. Journal journalno will use 'PAUSE' instead of 'AUTOARCH'.**

説明: ジャーナル・アーカイブ制御データ・セット (JACD) のオープンの問題が原因で、アーカイブを初期設定することができませんでした。メッセージに示されているジャーナルは、PAUSE を使用してジャーナル・データ・セットを制御します。

システムの処置: ジャーナル・データ・セットの状況は JACD 内に含まれているので、ジャーナル・データ・セットの状況がどのようなものかを判別することができません。CICS は、すべてのジャーナル・データ・セットをアーカイブする必要があると想定して、メッセージ DFHJC4583 または DFHJC4586 を出します。

ユーザーの処置: まず、DFHJC4583 または DFHJC4586 (どちらか出されたもの) に応答してください。それから、障害の理由が調査されて訂正されるまで、データ・セットが再利用される前に、PAUSE オプションは CPU コンソール・オペレーターからの応答を要求します。これにより、データ・セットが再利用される前に、オペレーターには (バッチ・ジョブを使用して) そのデータ・セットをコピーする機会が与えられます。

PAUSE に関する詳細は、「CICS Recovery and Restart Guide」で説明されています。

問題が起きた最大の原因としては、次のものが考えられます。

- JACD の JCL が欠落しているか、正しくない。この場合には、VSE はエラー・メッセージを出します。
- 制御インターバル (CI) サイズが 512 バイトと等しくない。この場合、メッセージ DFHJC4564 が出されます。
- JACD をアクセスしているときに、入出力エラーが起きた。これはハードウェア・エラーと考えられます。

問題を見つけないことができない場合、トレースをオンにして再実行し、エラーの原因を識別してください。問題を訂正したな

ら、CICS が再始動される前に、必要に応じてすべてのジャーナル・データ・セットがアーカイブされるようにし、JACD を再定義してください。

モジュール: DFHJCRP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, journalno*  
 宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4536 date time applid I/O error while modname was accessing JACD. Journal journalno using 'PAUSE' instead of 'AUTOARCH'.**

説明: ジャーナル・アーカイブ制御データ・セットのアクセスを試みているときに、入出力エラーが起きました。モジュール *modname* により、このメッセージが出されました。

ジャーナル *journalno* は PAUSE を使用してジャーナル・データ・セットを制御します。

システムの処置: ジャーナル・データ・セットの状況を判別できないため、CICS は、すべてのジャーナル・データ・セットをアーカイブする必要があると想定して、メッセージ DFHJC4583 または DFHJC4586 を出します。

ユーザーの処置: DFHJC4583 または DFHJC4586 のうちどちらか出されたものに応答してください。障害の理由が調査されて訂正されるまで、データ・セットが再利用される前に、PAUSE オプションは CPU コンソール・オペレーターからの応答を要求します。これにより、データ・セットが再利用される前に、オペレーターには (バッチ・ジョブを使用して) そのデータ・セットをコピーする機会が与えられます。PAUSE に関する詳細は、「CICS Recovery and Restart Guide」で説明されています。

この問題は、おそらくハードウェア・エラーが原因と考えられます。関連した VSAM エラー・メッセージがないか注意してください。トレースがオンの場合、直前の要求の流れに従い、エラーが起きた場所を識別できます。トレースがオンではなく、エラーを検出することができない場合には、トレースをオンにして再実行する必要があります。そのようにすれば、VSAM 戻りコードが与えられ、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』でそれを調べることができます。エラーを訂正したなら、必要に応じてすべてのジャーナル・データ・セットがアーカイブされるようにし、CICS が再始動される前に JACD を再定義してください。

モジュール: DFHJCO, DFHJCC, DFHJCKOJ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modname, journalno*  
 宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4538 date time applid Error acquiring storage. Cannot submit archive for journal journalno datasetid.**

説明: ストレージ・マネージャー・ドメインにより、重大エラーが検出されました。このエラーが何であるかを示すメッセージがこの前にコンソールに示されているはずですが、このジャーナルのアーカイブ・ジョブはサブミットされません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーの原因を示している前のメッセージに示されている処置をとってください。その後、ジャーナル・データ・セット *journalno* のためのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットしてください。

## DFHJ4539 • DFHJ4542D

DFHJACDU ユーティリティの UPDATE 機能を使用して、ジャーナル・データ・セットの状況を READY に設定してください。これを行う方法についての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJ4539** *date time applid insert disagrees with the information on the JACD for journal data set journalno datasetid.*

説明: これは、CICS 初期設定時に出される警告メッセージです。insert は、DSNAME かまたは ARCHJCL のいずれかです。ジャーナル管理アーカイブ・データ・セット (JACD) のロード時に、ジャーナル・データ・セット (DSNAME) の CICS JCL かまたは JCT 内の ARCHJCL パラメーターのいずれかが、JACD 上のこのジャーナル・データ・セット用に保持されているデータと異なっていました。ジャーナル・データ・セット名 (DSNAME) または ARCHJCL パラメーターのいずれか該当するものが、メッセージに示されます。JACD は、この新しい情報を反映するように更新され、状況は READY に設定されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: これが予期された結果であれば必要ありません。このメッセージは、CICS の最後の使用以降に、だれかがジャーナル・データ・セットの DLBL ステートメントまたは JCT 内の ARCHJCL パラメーターを変更したことを意味しています。それは予期していないことであるなら、CICS を停止してそれを元に戻し、必要な変更を行い、再始動することができます。

このことを行った場合、属性を再度変更したことになるので、メッセージ DFHJ4539 が再度出されることに注意してください。また、このデータ・セットがオープンされていた場合、CICS の終了時にアーカイブがサブミットされるはずですが、

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, insert, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJ4540** *date time applid There was an error opening JACD. Journal archiving is not active.*

説明: ジャーナル・アーカイブ制御データ・セット (JACD) のオープン中にエラーが起きました。これが VSAM オープン・エラーである場合には、VSAM オープン・エラー・メッセージに詳細が示されています。

システムの処置: CICS の初期設定は続行されます。ジャーナル・アーカイブを使用しているそれぞれのジャーナルが初期設定を試みるので、メッセージ DFHJ4535 が出され、ジャーナルは PAUSE モードを使用します。

ユーザーの処置: CICS を早めに停止するかどうかの決定を下す必要があります。オープン障害の理由を調べ、CICS を再始動する前に、それを訂正してください。必要に応じて、すべてのジャーナル・データ・セットがアーカイブされるようにしてください。その後、JACD を削除してから再定義してください。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJ4541** *date time applid Journal journalno JACD records disagree with the journal data sets. datasetid1 is now READY. The status of datasetid2 is unaltered.*

説明: 初期設定時に、ジャーナル・アーカイブ制御データ・セット (JACD) 上の情報が実際のジャーナル・データ・セットと調和していないことが検出されました。

システムの処置: CICS は、JACD 上の情報ではなく、ジャーナル・データ・セット上の情報にしたがってログ記録を開始します。最初に使用されるデータ・セットが READY に設定されます。その他のデータ・セットの状況はそのままです。

ユーザーの処置: このメッセージは、JACD 上の情報がジャーナル・データ・セット上の情報と調和していないことを示しています。ジャーナルがアーカイブの一部として再形式設定されている場合には、このことはあり得ます。両方のデータ・セットの状況が正しく、すべてのアーカイブが完全であることを確認してください。状況が正しくない場合には、DFHJACDU を更新しなければならないことがあります。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid1, datasetid2*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJ4542D** *date time applid Journal data set journalno datasetid is not ready. Reply 'GO' or 'SUBMIT'.*

説明: CICS は、ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* を使用したいが、それはまだアーカイブされていませんでした。

システムの処置: オペレーターの応答を待ちます。

ユーザーの処置: 処置としては、3 つの方法が考えられます。

- 実行されているアーカイブ・ジョブまたは実行されようとしているアーカイブ・ジョブがある場合、それが正常に完了するまで待ち、それから GO と応答してください。
- サブミットされているアーカイブ・ジョブまたはサブミットされようとしているアーカイブ・ジョブがない場合、SUBMIT を入力してジャーナル・データ・セットをアーカイブしてください。このことが起きた後、メッセージ DFHJ4544 が出されます。

これは、直前のアーカイブ・ジョブが失敗したことを意味するという点に注意してください。この原因を調べることができます。このサブミットされたジョブが失敗した、または現在失敗している場合、いくつかの説明が考えられます。以下に例を示します。

- ジョブ・ストリーム内にユーザー提供プログラムがある場合、それらがジョブの出力に影響を与えている可能性がある。
- ジョブ制御エラーの可能性がある。
- ジャーナル・データ・セットを READY に設定するジョブ・ステップが、ジョブに含まれていない可能性がある。
- POWER® キューが非常に長く、ジョブがまだ開始されていない可能性がある。



- 何らかの理由で、アーカイブ・ジョブを実行できない、または実行したくない場合、ジャーナル・データ・セットの状況は、DFHJACDU ユーティリティの UPDATE 機能を実行することで READY に設定することができます。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4543D** *date time applid Journal data set journalno datasetid is still not ready. Reply 'GO' or 'SUBMIT'.*

説明: メッセージ DFHJC4542、DFHJC4543 または DFHJC4544 に対して「GO」が入力されたが、ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* はまだアーカイブされていませんでした。

システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。

ユーザーの処置: ユーザー応答は、メッセージ DFHJC4542 の場合と同じです。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4544D** *date time applid Reply 'GO' when the archive completes or 'SUBMIT' if it has to be resubmitted.*

説明: このメッセージは、DFHJC4542、DFHJC4543、または DFHJC4544 のいずれかに対する「SUBMIT」応答の後に出力されます。アーカイブ・ジョブがサブミットされます。この段階で、CICS はサブミットされたアーカイブ・ジョブが正常に完了したかどうかを知りません。このメッセージ (DFHJC4544) は、CICS がこのことを知ることができるように出力されます。システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。ユーザーの処置: アーカイブ・ジョブが正常に完了した場合には、「GO」と応答してください。正常に完了しなかった場合には、「SUBMIT」と応答してください。ジョブが引き続き失敗し、このメッセージが再び出されるなら、メッセージ DFHJC4542 の場合のユーザー処置に従ってください。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4545** *date time applid Journal data set journalno datasetid is READY. Archive not submitted.*

説明: このメッセージは、DFHJC4542、DFHJC4543、または DFHJC4544 に対する「SUBMIT」応答の後に出力されます。SUBMIT が要求されたが、ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* は READY 状況です。このデータ・セットのためのアーカイブ・ジョブは、完了したばかりだと思われる。

システムの処置: CICS は続行され、ジャーナル・データ・セットをオープンします。

ユーザーの処置: SUBMIT が正しいメッセージまたはジャーナルに関するものかどうか検査してください。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4547** *date time applid DFHJASP could not be loaded. No journal archiving can be performed.*

説明: DFHJASP は、CICS 初期設定時にロードに失敗しました。CICS は DFHJASP を見つけることができませんでした。これは、DFHJASP が、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリー内になかったためと思われます。

システムの処置: CICS の初期設定は続行されます。ジャーナル・アーカイブは、ジャーナル・データ・セットの再利用を制御しますが、アーカイブの実行依頼は実行されません。CICS がアーカイブ・ジョブをサブミットしようとする時、メッセージ DFHJC4548 が出力されます。

ユーザーの処置: DFHJASP を CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに追加してください。DFHJASP は、この CICS 実行では使用できません。DFHJASP を使用するには、CICS を停止してから再始動してください。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4548** *date time applid DFHJASP is not active. Archive for journal journalno datasetid will not be submitted.*

説明: DFHJASP が活動状態でないため、アーカイブ・ジョブをサブミットできませんでした。このメッセージの後に、通常、DFHJC4543 が続きます。

システムの処置: アーカイブ・ジョブはサブミットされません。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: DFHJASP が活動状態でない理由を調べてください。理由としては、DFHJASP が CICS 初期設定時にロードされなかったことが考えられます。このことを示すメッセージ DFHJC4547 が出力されます。この問題を解決する手引きについては、メッセージ DFHJC4547 の説明を参照してください。

アーカイブ・ジョブを手操作でサブミットし、DFHJACDU ユーティリティの UPDATE 機能を使用して、ジャーナル・データ・セットの状況を READY に設定してください。この点については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」で説明されています。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4549** *date time applid* **Error acquiring storage during initialization. Journal archiving not active.**

説明: ストレージ・マネージャー・ドメインにより、重大エラーが検出されたので、ジャーナル・アーカイブは開始できませんでした。このエラーが何であるかを示すメッセージがこの前にコンソールに示されているはずですが。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: エラーの原因を示した直前のメッセージに示されている処置をとってください。CICS のこのセッションでは、ジャーナル・アーカイブを使用することはできません。この CICS 実行のために十分なストレージを割り振っていないため、CICS はストレージ不足です。

モジュール: DFHJAP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4550** *date time applid* **Error while opening VSE source library. Archive for journalno datasetid not submitted.**

説明: アーカイブ JCL を含んでいる VSE ソース・ライブラリーをオープンできませんでした。このメッセージは、アーカイブがサブミットされるたびに出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: オープン・エラーの理由を調べて訂正してください。ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のためのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットしてください。この原因としては、ソース・ライブラリーの LIBDEF が正しくないか、または欠落していることが考えられます。

データ・セットはアーカイブ操作ごとに再オープンされるので、(例えば、ハードウェア・エラーがある場合) CICS の実行中にこのエラーを訂正することが可能であることがあります。そうでない場合には、問題を解決する際に、CICS をいったん終了して再始動する必要があります。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4551** *date time applid* **Connection to VSE/POWER RDR queue failed. Archive for journalno datasetid not submitted.**

説明: VSE/POWER RDR キューへの必要な接続をオープンできませんでした。このメッセージは、アーカイブ・ジョブがサブミットされるたびに出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: オープン・エラーの理由を調べて訂正してください。ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のためのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットしてください。

この接続はアーカイブ操作ごとに再オープンされるので、(例えば、ハードウェア・エラーがある場合) CICS の実行中にこのエラーを訂正することが可能であることがあります。そうでない

場合には、問題を解決する際に、CICS をいったん終了して再始動する必要があります。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4552** *date time applid* **Member y could not be found in the source library search chain. Archive for journalno datasetid not submitted.**

説明: 区画用の VSE ソース・ライブラリー検索チェーンからメンバー *y* を見つけようとしていたとき、エラーが起きました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: FIND エラーの理由を調べて訂正してください。ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のためのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットしてください。

このエラーの理由としては、アーカイブ・ジョブ用の骨組み JCL を含んでいるソース・ライブラリー内にメンバー *y* が存在しないか、あるいは 'LIBDEF SOURCE,SEARCH=' ステートメントが正しいライブラリーを含んでいないことが考えられます。JCT パラメーター ARCHJCL のコーディングが正しくないか、メンバーがソース・ライブラリーに正しくない仕方ではカタログが作成されているためである可能性があります。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, y, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4553** *date time applid* **Archive job submitted for journalno datasetid.**

説明: ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のためのアーカイブ・ジョブがサブミットされました。

システムの処置: このジョブは POWER キューに送られます。CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4554** *date time applid* **JCL error building archive submission job. Archive for journalno datasetid not submitted.**

説明: 記号置換のときに、位置 72 を超えた JCL ステートメントが作成されましたが、そのステートメントは継続できませんでした。その JCL ステートメントは無効です。CICS は、エラー条件の位置まで JCL を部分的に作成しました。

システムの処置: DFHJASP は、これまでに行われた JCL の内容すべてを VSE/POWER RDR キューに出力します。

ユーザーの処置: CICS によって送られた JCL からの出力を調べて、オーバーフロー条件が起きた理由を調査してください

い。この JCL 内の最後のステートメントが、無効なオーバーフローを引き起こしたものになります。おそらく、ステートメント内の句読記号が省略されたものと思われる。

エラーをオンラインで訂正してください。次に DFHJASP が VSE ソース・ライブラリーからアーカイブ JCL を読み取る際には、更新された JCL を読み取ります。しかし、ユーザーは、ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のためのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットする必要があります。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4555** *date time applid I/O error reading VSE source library member y. Archive for journalno datasetid not submitted.*

説明: アーカイブの実行依頼時に、アーカイブ・ジョブのための骨組み JCL を含んでいる VSE ソース・ライブラリーから読み取っているとき、入出力エラーが検出されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 入出力エラーの理由を調べてください。この原因としてハードウェア・エラーが考えられます。

ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のためのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットしてください。

問題がなくなる場合、トレースをオンにして再実行し、エラーの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, y, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4556** *date time applid Error acquiring storage. Archive for journalno datasetid not submitted.*

説明: ストレージ・マネージャー・ドメインにより、重大エラーが検出されたので、ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のアーカイブはサブミットできません。このエラーが何かを示す関連したコンソール・メッセージが出されているはずです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 前のメッセージに示された処置をとってから、ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のためのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットしてください。

**DFHJACDU** ユーティリティの UPDATE 機能を使用して、ジャーナル・データ・セットの状況を READY に設定してください。UPDATE 機能の使用についての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4557** *date time applid Error writing to VSE/POWER RDR queue. Archive for journalno datasetid not submitted.*

説明: アーカイブの実行依頼時に、VSE/POWER RDR キューへ書き込んでいるとき入出力エラーが検出されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 入出力エラーの理由を調べてください。この原因としてハードウェア・エラーが考えられます。

ジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* のためのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットしてください。

問題がなくなる場合、トレースをオンにして再実行し、エラーの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, journalno, datasetid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4558** *date time applid XPCC FUNC=IDENT failed, R15=return\_code, IJBXRETC=ijbxretc*

説明: XPCC FUNC=IDENT が失敗しました。このメッセージは、DFHJASP 初期設定時に出されます。

システムの処置: ジョブの実行依頼サポートは、CICS セッションの残りの部分では使用不可になります。

ユーザーの処置: メッセージに示されている XPCC R15 戻りコードおよび XPCCB IJBXRETC に基づいて、エラーの理由を調べてください。可能な R15 および IJBXRETC 戻りコードのリストについては、「z/VSE System Macros Reference」の MAPXPCCB マクロを参照してください。それぞれのジャーナル・データ・セットごとのアーカイブ・ジョブを手操作でサブミットしてください。

問題が解決されると、自動的にアーカイブ・ジョブの実行依頼が再び行われるように、CICS はいったん終了してから再始動する必要があります。

モジュール: DFHJASP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, return\_code, ijbxretc*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHJC4559** **THERE WAS AN ERROR WHILE OPENING DFHJACD.**

説明: ジャーナル・アーカイブ制御データ・セット (JACD) をオープンすることができませんでした。

システムの処置: ジョブは終了して、条件コード 16 が出されます。

ユーザーの処置: 条件コード 16 は、これが重大エラーであることを示します。エラーを訂正しないまま、これ以上続行してはなりません。オープン・エラーの理由を調べてください。VSAM メッセージが出されて VSAM 戻りコードが戻されます。戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

モジュール: DFHJACDU

宛先: SYSLST

**DFHJ4560 THERE HAS BEEN A PARAMETER ERROR xxxx**

説明: 無効パラメーターが DFHJACDU に渡されました。メッセージの中の xxxx は、エラーのタイプを示しています。システムの処置: ジョブは終了して、条件コード 16 が出されます。

ユーザーの処置: 条件コード 16 は、これが重大エラーであることを示します。エラーを訂正しないまま、これ以上続行してはなりません。無効パラメーターを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJACDU

宛先: SYSLST

**DFHJ4561 I/O ERROR ACCESSING JOURNAL DATA SET journalno datasetid. THE VSAM RETURN CODE IS rc**

説明: ジャーナル・アーカイブ・データ・セット (JACD) 上のジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* をアクセス中に、入出力エラーが起きて、VSAM 戻りコード *rc* が戻されました。

システムの処置: ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: 入出力エラーの理由を調べて訂正してください。VSAM 戻りコードの意味は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

モジュール: DFHJACDU

宛先: SYSLST

**DFHJ4562 NO DATA HAS BEEN FOUND FOR JOURNAL DATA SET journalno datasetid**

説明: ジャーナル・アーカイブ制御データ・セット (JACD) 上にジャーナル・データ・セット *journalno datasetid* に関するデータがありませんでした。このプログラムには 3 つの機能 (LIST、CHECK、および UPDATE) があります。

機能が LIST の場合、ジャーナル・データ・セット A のデータが見つかりましたが、予期されたジャーナル・データ・セット B のデータは見つかりませんでした。JACD 内にエラーがあります。

初期設定時に CICS が取り消された場合に、これが起こる可能性があります。AUTOARCH オプションが指定されてジャーナル・データ・セットが JCT にコーディングされていた場合、問題は、次の CICS 初期設定時に自動的に解決されます。AUTOARCH が必要であるが、それがコーディングされていない場合には、この状態は問題ではなく、さらに調査する必要はありません。

機能が CHECK かまたは UPDATE である場合、問題の原因として 2 つの可能性ががあります。ユーザーがジャーナル・データ・セットを指定していた場合には、問題は単にユーザー・エラーである場合があります。

ジョブが CICS ジャーナル・アーカイブによってサブミットされた場合、おそらく、ジョブ・サブミットとジョブ・サブミットの間エラーが起きました。CICS がジョブのサブミットを要求したとき、ジャーナル・データ・セット情報は存在してい

ましたが、この情報はそれ以降破棄されていました。

JACD が無許可で使用された場合にも、このメッセージは出される可能性があります。

システムの処置: 状況に応じて、3 つのシステム処置が考えられます。

- CICS にはこのエラーがない可能性があります (例えば、別の CPC のチャンネルに障害がある場合)。この場合には、CICS は前と同様に続行されます。
- CICS にはまだこのエラーがない可能性があります (例えば、問題が検出される前に、ジャーナル・データ・セットを交換した可能性があります)。この場合には、エラーが検出されるまで、CICS は前と同様に続行されます。
- CICS にこのエラーがある可能性があります。その場合には、自動アーカイブは続行されない可能性があります。CICS は、PAUSE のフォールバック位置に行きます。その後、CICS のこの区域から種々のメッセージが生成される可能性があります。

ユーザーの処置: データが欠落している理由を調べて訂正してください。正しいジャーナル・データ・セットが指定されているか検査してください。その後、CHECK に依存していたジョブ・ステップを手操作で実行してください。あるいは、これが UPDATE ジョブだった場合には、それに依存するジョブ・ステップはもうないと思われるので、さらに処置をとる必要はありません。

モジュール: DFHJACDU

宛先: SYSLST

**DFHJ4563 THERE WAS AN ERROR WHILE OPENING DFHJAPRT FILE.**

説明: DFHJAPRT をオープンしようとしているときに、エラーが起きました。このメッセージは、通常、VSE メッセージと一緒に出されます。

システムの処置: ジョブは終了して、条件コード 16 が出されます。

ユーザーの処置: 条件コード 16 は、これが重大エラーであることを示します。問題を訂正しないまま、これ以上続行してはなりません。エラーの詳細は、一緒に出される VSE メッセージを参照してください。DLBL ステートメントが欠落していないか検査してください。

モジュール: DFHJACDU

宛先: コンソール

**DFHJ4564 date time applid The JACD control interval size is not 512 bytes.**

説明: これは、制御インターバル・サイズが 512 バイトではないジャーナル・アーカイブ・データ・セット (JACD) があるために生じた OPEN エラーです。

システムの処置: JACD はクローズされ、ジャーナル・アーカイブはこの CICS セッションでは非活動状態になります。

AUTOARCH が指定されているジャーナルには、メッセージ DFHJ4535 が出されます。

CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 正しいインターバル・サイズで JACD を再定義してください。

モジュール: DFHJAP、DFHJACDU

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4565 NO DATA HAS BEEN FOUND FOR JOURNAL(S) *journalno***

説明: ユーザーによりジャーナルをリストするよう要求されましたが、ジャーナル活動データ・セット (JACD) 内に見つかりませんでした。JACD にはジャーナル *journalno* のデータがありませんでした。このエラーは、LIST 機能でエラーが見つかったときに出されます。

完全な JACD をリストするよう要求された場合、このメッセージは、見つからなかったすべてのジャーナルについて出されます。JACD の特別なジャーナルが要求された場合、このメッセージは見つからなかった指定のジャーナルについて出されます。

システムの処置: ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: データが欠落している理由は、ユーザー・エラーと思われる。自動アーカイブを使用するすべてのジャーナルについて作成された項目を検査してください。

モジュール: DFHJACDU

宛先: コンソール

---

**DFHJC4566 *applid* Journal Archive failure whilst waiting for I/O operation on DFHJACD to complete.**

説明: トランザクションが VSAM ファイル DFHJACD に対する入出力操作の完了を待っているときに、DISASTER タイプ・エラーが発生しました。これは、IOFB アドレスが無効であるか、または CICS 内に内部エラーがあるためと思われる。

システムの処置: 応答コード、理由コード、EXCPAD パラメーター・リストの最初の 12 バイト、および IOFB の最初の 16 バイトを含んでいる例外トレース項目が作成され、システム・ダンプがとられます。呼び出し側には、入出力エラーを示す戻りコードが戻されます。

ユーザーの処置: この問題は、前のエラーが原因になっています。前に出されたメッセージおよび戻りコード (例えば、タスク指名プログラム・ドメインからのもの) および関連トレース項目およびダンプを調べてください。

問題がアプリケーションのエラーに結びつかない場合は、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHJAP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHJC4571 AN ERROR (CODE X'*code*') HAS OCCURRED IN THE USER EXIT PROGRAM.**

説明: ユーザー出口プログラム内にエラーが検出されました。コード *code* は、DFHJUP へ出口プログラムからレジスター 15 で戻された値です。ジャーナル印刷ユーティリティーは、残りの OPTION カードを処理せずに終了します。

ユーザーの処置: ユーザー出口プログラムのエラーを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSLST

---

**DFHJC4583 *applid* CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL *nm*} {PRIMARY | SECONDARY} DATA SET (FILENAME=DFHJ*nm*x) READY TO BE COPIED. REPLY 'Y*nm*x' WHEN COPIED.**

説明: JOUROPT=PAUSE が、ディスク・ジャーナル *nm* の JCT 項目に指定されています。CICS は、メッセージに示されているジャーナルのデータ・セットをクローズしました。ここで、それを (必要ならば、例えば順方向リカバリーのために) コピーする必要があります。*applid* は、このメッセージを出す CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。要求されている応答は、次のとおりです。

- *nm* は、メッセージからのジャーナル番号です。
- *x* は、1 次データ・セットの場合には A、2 次データ・セットの場合には B です。

システムの処置: CICS は、要求された応答を受け取るまで、メッセージに示されたデータ・セットを出力用に再利用しません。正しくない応答を入力すると、CICS はメッセージ DFHJC4586 を出します。

CICS がメッセージに示されたデータ・セットを出力用に再利用しようとする前に、ユーザーが正しい応答を入力しなければ、CICS はメッセージ DFHJC4584 を出します。ユーザーが元の DFHJC4583 メッセージに対して正しく応答するまで、ジャーナル *nm* を使用するタスクは遅延させられます。

単一データ・セット・ジャーナルの場合、CICS は、ジャーナル・データ・セットがいっぱい有的时候にはそれをクローズし、メッセージ DFHJC4583 および DFHJC4584 を出します。

ユーザーの処置: 必要ならば、ディスク・データ・セットをコピーしてください。コピーが完了したら (あるいは、コピーしない場合には、即時に) 「Y*nm*x」と応答してください。それぞれのジャーナルごとに、出されたメッセージの順にメッセージに対して応答してください。

モジュール: DFHJCO

宛先: コンソール

---

**DFHJC4584 *applid* AWAITING 'Y*nm*x' REPLY BEFORE SWITCHING TO CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL *nm*} {PRIMARY | SECONDARY} DATA SET.**

説明: このディスク・データ・セットについては、以前にメッセージ DFHJC4583 が出されました。応答を受け取りませんでした。*applid* は、このメッセージを出す CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

システムの処置: ジャーナルを使用するタスクはすべて、メッセージ DFHJC4583 に対する「Y*nm*x」応答を受け取るまで、延期されます。

ユーザーの処置: DFHJC4583 の場合のユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHJCO

宛先: コンソール

---

**DFHJC4586** *applid* CICS {SYSTEM LOG | JOURNAL nn}  
{PRIMARY | SECONDARY} DATA SET IS  
NOT READY. PLEASE REPLY Ynnx WHEN  
READY.

説明: メッセージ DFHJC4583 に対して正しくない応答が入力されました。その意味については、メッセージ DFHJC4583 を参照してください。ジャーナル・アーカイブ制御データ・セット (JACD) でのエラーが原因で、おそらくメッセージに示されたジャーナルは AUTOARCH から PAUSE へ切り替えられたばかりです。これはメッセージ DFHJC4536 によって示されています。

システムの処置: CICS は、要求された応答を受け取るまで、メッセージに示されたデータ・セットを再利用しません。

ユーザーの処置: できるだけ早く (またはコピーを行わない場合には即時に)、「Ynnx」と応答してください。

モジュール: DFHJCO、DFHJCP

宛先: コンソール

---

**DFHJC4587** *date time applid* Unable to invoke Journal  
exit DFHXJCO

説明: ジャーナル出口 DFHXJCO の DFHPC リンクが失敗しました。

システムの処置: 要求を出したタスクは異常終了して、異常終了コード AJCH が出され、トランザクション・ダンプが作成されます。初期設定時に、システム・ログがオープンされているときにこのエラーが起きた場合には、初期設定を完了できず、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: これはおそらくセットアップ・エラーです。DFHXJCO がプログラム・ライブラリーにあることを確認してください。

モジュール: DFHJCO

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4588** *applid* Journal Exit {DFHXJCC | DFHXJCO}  
has abnormally terminated with abend  
code *abcode*.

説明: ユーザー置き換え可能モジュール (URM) で異常終了が起きました。活動状態の HANDLE ABEND コマンドがありません。メッセージ・テキストに DFHXJCO が含まれている場合には、これは DFHJCO によって出されたものです。

DFHXJCC が含まれている場合には、これは DFHJCC によって出されたものです。この異常終了コードは、URM 内の異常終了と関係しています。

システムの処置: 要求を出したタスクは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。初期設定時に、システム・ログがオープンされているときにこのエラーが起きた場合には、初期設定を完了できず、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: これはおそらく、URM 内のプログラミン  
グ・エラーが原因と思われる。出された異常終了コードを用いて、エラーの理由を判別してください。これは、ハンドル・コマンドのない条件が起きた結果である可能性があります。このような場合には、デフォルト処置がとられて、トランザクションは異常終了します。URM 内で無効な EXEC コマンドが使用された可能性もあります。ジャーナル URM 内で許されている EXEC コマンドのリストは、「CICS Customization Guide」を参照してください。

モジュール: DFHJCC、DFHJCO

---

XMEOUT パラメーター: *applid*、{1=DFHXJCC、  
2=DFHXJCO}、*abcode*

宛先: コンソール

---

**DFHJC4589** *date time applid* Unable to invoke Journal  
exit DFHXJCC

説明: ジャーナル出口の DFHPC リンクが失敗しました。システムの処置: 要求を出したタスクは異常終了して、異常終了コード AJCH が出され、トランザクション・ダンプが作成されます。初期設定時に、システム・ログがオープンされているときにこのエラーが起きた場合には、初期設定を完了できず、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: これはおそらくセットアップ・エラーです。DFHXJCC が、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの中にあることを確認してください。

モジュール: DFHJCC

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHJC4596** JOURNAL DATA SET NOT INITIALIZED  
- I/O ERROR OCCURRED.

説明: ジャーナル・データ・セットが初期設定されません。

入出力エラーが発生しました。

システムの処置: ユーティリティ・プログラム DFHJCJFP の実行は異常終了して、ダンプが作成されます。VSE ユーザー異常終了コードは 0117 です。

ユーザーの処置: このエラーが引き続き再発する場合は、システム・エラーのデバッグ担当者に状況を知らせ、ダンプを渡してください。

モジュール: DFHJCJFP

宛先: コンソール

---

**DFHJC4597** JOURNAL DATA SET NOT INITIALIZED  
- UNABLE TO OPEN FILE. CHECK DLBL  
SUPPLIED.

説明: ジャーナル・データ・セットが初期設定されません。

ファイルをオープンできません。

システムの処置: ユーティリティ・プログラム DFHJCJFP の実行は異常終了します。

ユーザーの処置: DLBL、EXTENT、および ASSGN ステートメントが与えられており、それらが正しいことを確認してから、ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHJCJFP

宛先: コンソール

---

**DFHJC4598** JOURNAL DATA SET NOT INITIALIZED  
- INSUFFICIENT SPACE HAS BEEN  
ALLOCATED.

説明: ジャーナル・データ・セットが初期設定されませんでした。形式設定ユーティリティ・プログラム DFHJCJFP は、ジャーナル・データ・セットに関して EXTENT ステートメントで割り振られたスペースは、CICS ジャーナリング要件には不十分であることを見つけました。

システムの処置: ユーティリティ・プログラム DFHJCJFP の実行は異常終了し、完了コード 16 が出されます。

ユーザーの処置: 条件コード 16 は、これが重大エラーであることを示します。エラーを訂正しないまま、これ以上続行してはなりません。

ジャーナル・データ・セット用の EXTENT ステートメントで指定するトラック数またはブロック数を増やしてください。必要最小サイズは、CKD 装置を使用する場合にはトラック数が 3 であり、FBA 装置を使用する場合にはブロック数が 200 です。割り振りスペースは隣接している必要があります。ジャーナル・データ・セットの必要サイズの判別についての詳細は、「CICS System Definition and Operations Guide」を参照してください。

モジュール: DFHJCJFP

宛先: コンソール

#### DFHJC4599 JOURNAL DATA SET INITIALIZED -

*nnnnn* {TRACKS | BLOCKS} FORMATTED.

説明: CICS ジャーナル形式設定ユーティリティー・プログラムはこの通知メッセージを出し、メッセージに示された数のトラック/ブロックが、CICS ディスク・ジャーナル出力データ・セット用として正しく事前初期設定されたことを示しています。

システムの処置: ユーティリティーは処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJCJFP

宛先: コンソール

#### DFHJC5610 *date time applid* DFHJCP DMF problem *n*

説明: JCP は DFHASV を呼び出して、DFHSMFEW マクロを出します。戻りコードは *n* であり、次のような意味があります。

コード	意味
1	DMF レコードが 32KB より大きい。
2	レコードが CICS レコードではない。
3	おそらく、CICS SVC が使用不可であるため、ページの固定化もページの解放も実行できない。
5	ストレージが不十分である。DMF への書き込みを行うにはストレージが十分ではありません。

システムの処置: 要求は無視されます。CICS を続行します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。ユーザーは、ジャーナルがデータ管理機能へ向けられることを JCT で指示しました (JCT JTYPE=SMF)。これは DFHASV でしかサポートされていません。JCT は VSE 上でアセンブルする必要があります。

モジュール: DFHJCP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, n*

宛先: CSMT

#### DFHJC6100 FORMAT TAPE.

説明: テープ形式設定プログラム (DFHFTAP) の実行が開始されました。

システムの処置: プログラムは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFTAP

宛先: SYSLST

#### DFHJC6101 UNABLE TO OPEN MESSAGE DATASET.

説明: おそらく DLBL ステートメントが与えられていないため、SYSOUT メッセージ・データ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: プログラム DFHFTAP の実行は異常終了します。

ユーザーの処置: 適切な DLBL ステートメントを与えて、プログラムを再実行してください。

モジュール: DFHFTAP

宛先: コンソール

#### DFHJC6102 UNABLE TO ALLOCATE WORKING STORAGE. DFHFTAP TERMINATES ABNORMALLY.

説明: このプログラムが使用できるストレージがありませんでした。

システムの処置: プログラムの実行は異常終了します。

ユーザーの処置: 区画サイズを大きくし、再実行してください。

モジュール: DFHFTAP

宛先: SYSLST

#### DFHJC6103 UNABLE TO OPEN LOG VOLUME. DFHFTAP TERMINATES ABNORMALLY.

説明: おそらく DLBL ステートメントが与えられていないため、オペレーター・ログ・データ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: プログラムの実行は異常終了します。

ユーザーの処置: 適切な DLBL ステートメントを与えて、プログラムを再実行してください。

モジュール: DFHFTAP

宛先: SYSLST

#### DFHJC6104I DISCONTINUED PROCESSING ON LOG VOLUME DUE TO xxxxxxxx ERROR, PROGRAM PROCEEDING TO NEXT VOLUME.

説明: ログ・ボリュームの初期設定時にエラーが起きました。このためボリュームは拒否されました。このメッセージの後にメッセージ DFHJC6110 が続きます。

システムの処置: メッセージ DFHJC6110 が出されて、さらにログ・ボリュームを形式設定するかどうかを尋ねます。

ユーザーの処置: 同時に出されたアクセス方式メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHFTAP

宛先: コンソール

#### DFHJC6105 UNRECOVERABLE I/O ERROR OCCURRED. DFHFTAP TERMINATES ABNORMALLY.

説明: 入出力装置でハードウェア・エラーが起きましたが、リカバリーができませんでした。

システムの処置: プログラムの実行は異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

## DFHJC6107I • DFHKC030I

モジュール: DFHFTAP  
宛先: SYSLST

---

### DFHJC6107I LOG VOLUME FORMATTED.

説明: ログ・ボリュームが正常にフォーマットされました。  
システムの処置: ボリュームはクローズされ、メッセージ DFHJC6110 が出されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHFTAP  
宛先: コンソール

---

### DFHJC6110D MORE VOLUMES TO BE FORMATTED. REPLY 'Y', 'N' or 'VOLUME SERIAL NUMBER'.

説明: メッセージ DFHJC6107I の後にこのメッセージが出されて、さらにログ・ボリュームを形式設定するかどうかを尋ねます。  
システムの処置: 応答が Y の場合、次のログ・ボリュームがオープンされます。N の応答があると、プログラムは終了します。  
ユーザーの処置: さらにログ・ボリュームを形式設定する場合には「Y」と応答し、そうでない場合には「N」と応答してくだ

---

## DFHKCxxxx メッセージ

---

### DFHKC0102 *date time applid terminal userid tranid* PFT entry for *profname* has been added.

説明: これは監査ログ・メッセージであり、プロファイル項目 *profname* が INSTALL コマンドを使用して CICS プロファイル・テーブル (PFT) に追加されたことを示しています。

*terminal* は、INSTALL コマンドが入力された端末の端末 ID またはネット名です。

*userid* は、INSTALL コマンドを実行しているオペレーターのユーザー ID です。

*tranid* は、INSTALL コマンドを実行するために使用するトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKCQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, profname*

宛先: CSKL

---

### DFHKC0104 *date time applid terminal userid tranid* PFT entry for *profname* has been deleted.

説明: これは監査ログ・メッセージであり、プロファイル項目 *profname* が DISCARD コマンドを使用して CICS プロファイル・テーブル (PFT) から削除されたことを示しています。

*terminal* は、DISCARD コマンドが入力された端末の端末 ID またはネット名です。

*userid* は、DISCARD コマンドを実行しているオペレーターのユーザー ID です。

*tranid* は、DISCARD コマンドを実行するために使用するトランザクションです。

さい。ラベル付きテープの場合は、次のボリューム通し番号で応答することもできます。

モジュール: DFHFTAP

宛先: コンソール

---

### DFHJC6111 INVALID REPLY *x*

説明: メッセージ DFHJC6110 に対する応答が Y でも N でもなく、応答は *x* でした。

システムの処置: メッセージ DFHJC6110 が再び出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFTAP

宛先: コンソール

---

### DFHJC6199 *nnnn* VOLUME(S) FORMATTED - FORMAT TAPE ENDED.

説明: このメッセージは、ジョブの終了時に出されます。

*nnnn* はフォーマットされたボリュームの数です。

システムの処置: そのプログラムは終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFTAP

宛先: SYSLST

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKCQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, profname*

宛先: CSKL

---

### DFHKC0106 *date time applid terminal userid tranid* PFT entry for *profname* has been replaced.

説明: これは監査ログ・メッセージであり、プロファイル項目 *profname* が、INSTALL コマンドを使用して CICS プロファイル・テーブル PFT の中で置換されたことを示しています。

*terminal* は、INSTALL コマンドが入力された端末の端末 ID またはネット名です。

*userid* は、INSTALL コマンドを実行しているオペレーターのユーザー ID です。

*tranid* は、INSTALL コマンドを実行するために使用するトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKCQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, profname*

宛先: CSKL

---

### DFHKC0301 *applid* Program DFHKCRP cannot be found.

説明: トランザクション・マネージャのリカバリー・プログラムが使用できません。CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHKCRP を見つけることができません。



システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。  
 ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHKCRP を入れてください。  
 モジュール: DFHKCQ

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHKC0302** *applid* Transaction Manager restart failed.  
 Reason - *rc*.

説明: CICS は、トランザクション・マネージャーの初期設定中に、次のステップをリストされている順序で実行します。

- 1 プログラム管理テーブル・ディレクトリーを作成する。
- 3 DFHCCP を使用して、RSD カタログからトランザクション定義を除去する。(前の実行からのコールド・スタート)
- 4 DFHRCP を使用して、リカバリー・ファイルからトランザクション定義を除去する。(システム・ログを使用した実行の後のコールド・スタート)
- 5 DFHCCP を使用して、RSD カタログからトランザクション定義をリストアする。(ウォーム・スタートまたは緊急再始動)
- 6 DFHRCP を使用して、リカバリー・ファイルからトランザクション定義をリカバリーする。(緊急再始動)
- 8 DFHCCP を使用して、RSD カタログからプロファイル定義を除去する。(前の実行からのコールド・スタート)

- 9 DFHRCP を使用して、リカバリー・ファイルからプロファイル定義を除去する。(システム・ログを使用した実行の後のコールド・スタート)
- 10 DFHCCP を使用して、カタログからプロファイル定義をリストアする。(ウォーム・スタートまたは緊急再始動)
- 11 DFHRCP を使用して、リカバリー・ファイルからプロファイル定義をリカバリーする。(緊急再始動)

トランザクション・マネージャーの再始動が、理由 *rc* のために失敗しました。ここで、*rc* は、正常に完了しなかったジョブ・ステップを示します。その後のステップは行われていません。

システムの処置: CICS は、DFHKCRP が実行されているタスクを終了させて、AKCB 異常終了コードを出し、メッセージ DFHSI1521 を出します。

ユーザーの処置: CICS AKCB トランザクション・ダンプ内のトレースを調べて、DFHKCRP 情報が実行されているタスクのヒストリーを見て、障害の正確な原因に関する詳しい情報を入手してください。

モジュール: DFHKCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *rc*  
 宛先: コンソール

---

## DFHKExxxx メッセージ

**DFHKE0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順について

## DFHKE0002 • DFHKE0005

ては、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHKEDD、DFHKEDS、DFHKEGD、DFHKETI

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHKE0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

このメッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に使用しないとシステムを実行できない場合は、制御シャットダウンを実行して CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHKEDD、DFHKEGD、DFHKEIN

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHKE0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるため、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHKEDD、DFHKEDS、DFHKEGD、DFHKETI

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHKE0005 *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.

説明: モジュール *modname* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。これは、おそらくハードウェア・エラーです。まずストア・クロック機構を調べて正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHKETI  
宛先: コンソール

---

**DFHKE0006** *applid* **Insufficient storage to satisfy Getmain (code X'code') in module modname. VSE code vscode.**

説明: OS/390 GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありませんでした。

コード X'code' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *vscode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

VSE 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

DSA または EDSA の全体のサイズ制限を小さくするようにしてください。あるいは、CICS 区画のサイズが最大でない場合は、サイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition and Operations Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。  
モジュール: DFHKEIN

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'code', *modname*, *vscode*  
宛先: コンソール

---

**DFHKE0101** *applid* **UNABLE TO OBTAIN SUBSYSTEM STATUS. CICS WILL TERMINATE.**

説明: CICS 初期設定の一部は、VSE 許可状態で行う必要があります。カーネルは、この状態を取得できませんでした。

これは、CICS と VSE の間のインターフェースの内部エラーを示します。

システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHKESIP  
宛先: コンソール

---

**DFHKE0102** *applid* **UNSUCCESSFUL PRE-INITIALIZATION OF domain DOMAIN. CICS WILL TERMINATE.**

説明: ドメインを事前初期設定することに失敗しました。そのため、システムは終了します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

この問題が CICS 初期設定において早い時期に発生したので、原因としては、ストレージがかなり不足しているか、またはローカル・カタログの破壊が考えられます。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。ダンプがとられている場合、障害を起こしたドメインが出した例外トレースを使用して、この問題を調べてください。ダンプがとられていない場合は、障害が発生したドメインから発行された先行メッセージで、このエラーの理由が説明されていないかを確認してください。

この問題を解決するには支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHKETCB  
宛先: コンソール

---

**DFHKE0103** *applid* **LOAD FOR DFHEIVD1 IN MODULE DFHKETCB FAILED WITH RETURN CODE code. CICS WILL TERMINATE.**

説明: カーネルは、失敗した DFHEIVD1 に対して OS/390 LOAD を出しました。

コード *code* は OS/390 LOAD 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。  
ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

問題を解決するには、LOAD 戻りコード *vscode* を用いて、LOAD が失敗した理由を判別してください。OS/390 LOAD 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHKETCB  
宛先: コンソール

---

**DFHKE0105** *applid* DFHEVAS LOAD FAILED WITH RETURN CODE *code*. CICS WILL TERMINATE.

説明: DFHEVAS のロードが失敗しました。CICS が初期設定を行うためには、DFHEVAS がロードされている必要があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。こうした状況で CICS がこのメッセージを出した場合には、CICS はデフォルトの *applid* の値として DBDCCICS をとります。

システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 戻りコードは、VSE CDLOAD マクロからきます。これらのコードのリストは、「z/VSE System Macros Reference」の CDLOAD マクロの説明に示されています。失敗の理由を訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

---

**DFHKE0106** *applid* DFHEVAS INITIALIZATION FAILED WITH RETURN CODE *code*. CICS WILL TERMINATE.

説明: DFHEVAS の初期設定が失敗しました。CICS が初期設定を行うためには、DFHEVAS が初期設定されている必要があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。こうした状況で CICS がこのメッセージを出した場合には、CICS はデフォルトの *applid* の値として DBDCCICS をとります。

システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

このエラーの最大の原因としては、区分 GETVIS の不足が考えられます。戻りコード 40、42、43、80、81、および 200 は、16 MB 境界より上からの GETVIS の獲得に関する問題を、戻りモード 41 および 201 は 16 MB 境界より下からの GETVIS 獲得に関する問題を示します。

GETVIS の不足が原因ではない場合、問題の解決には IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

---

**DFHKE0107** *applid* CICS INITIALIZATION IS NOT SUPPORTED ON THIS LEVEL OF OPERATING SYSTEM.

説明: オペレーティング・システムのリリース・レベルが、CICS の実行に必要な前提条件リリース・レベルより前のものであることが検出されました。

システムの処置: CICS DFHSIP フェーズは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 前提条件となるオペレーティング・システム・リリース・レベル以上をインストールしてください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

---

**DFHKE0201** *applid* ABOUT TO TAKE SDUMP. DUMPCODE: *dumrcode*, DUMPID: *dumpid*. (MODULE *modname*).

説明: 事前初期設定時または終了時のエラー (おそらく前のメッセージにより出されている) により、カーネル・ドメインがダンプをとることになり、その結果 VSE SDUMP 機能を出す直前にこのメッセージが出されます。

ダンプ・コード *dumrcode* は、8 文字のダンプ・コード「KERNDUMP」です。

ダンプ識別名 *dumpid* は、文字列「0/0000」です。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: ダンプが完了すると、メッセージ番号 DFHKE0202 が出されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。詳細については、関連ダンプおよびエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHKEDD、DFHKEDS、DFHKEGD、

DFHKEIN、DFHKESTX

宛先: コンソール

---

**DFHKE0202** *applid* SDUMP COMPLETE. (MODULE *modname*).

説明: このメッセージは、SDUMPX が正常に完了した時点で出されます。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 必要ならシステム・ダンプを印刷してください。直前の VSE メッセージは、SYSDUMP ライブラリーを識別し、SYSDUMP ライブラリーのどのメンバーがダンプを含んでいるかを示しています。

モジュール: DFHKEDD、DFHKEDS、DFHKEGD、

DFHKEIN、DFHKESTX

宛先: コンソール

---

**DFHKE0210** *applid* SDUMP REQUEST FAILED. (MODULE *modname*) - *reason*.

説明: メッセージ DFHKE0201 によって伝えられた CICS からの VSE SDUMPX 要求は、正常に完了しませんでした。考えられる失敗の理由 *reason* は、以下のとおりです。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' ONLY PARTIAL DUMP**

ダンプされるストレージ域の数が、1 つの SDUMPX 要求に許可されている最大数を超過しています。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' NO SYSDUMP LIBRARY**

CICS ジョブに SYSDUMP ライブラリーが定義されていません。CICS ジョブに関して VSE SYSDUMPC ジョブ制御オプションが有効である場合、ダンプは抑止されますが、そうでない場合には、ダンプは SYSLST にリダイレクトされます。

214 z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 巻

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'**  
**SYSDUMP LIBRARY IS FULL**

CICS ジョブに定義されている SYSDUMP ライブラリーがいっぱいです。CICS ジョブに関して SYSDUMPC ジョブ制御オプションが有効である場合、ダンプは抑止されますが、そうでない場合には、ダンプは SYSLST にリダイレクトされます。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'**

VSE は、上記以外の何らかの理由のため、SDUMPX 要求を受け入れませんでした。X'nn' は 16 進 SDUMPX 戻りコードを示し、X'mm' は 16 進 SDUMPX 理由コードを示します。

**NOT AUTHORIZED IN CICS**

SDUMPX は、この CICS 実行に関して許可されていません。

**INSUFFICIENT STORAGE**

CICS は、SDUMPX 要求の実行中にストレージの OS/390 GETMAIN を出しました。GETMAIN は VSE により拒否されました。

**DFHDUSVC FESTAE FAILED. FESTAE RETURN CODE X'nn'**

CICS は、SDUMPX 要求の処理中に DFHDUSVC から OS/390 FESTAE 要求を出しました。FESTAE は VSE により拒否されました。

**DFHDUSVC FUNCTION INVALID**

CICS は、SDUMPX 要求の処理中に DFHDUSVC を呼び出しました。DFHDUSVC に渡された機能は無効でした。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスしません。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、ダンプが成功したかのように続行されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、失敗の理由によって異なります。それらは、次のとおりです。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' ONLY PARTIAL DUMP**

VSE 問題判別方式を用いて、部分ダンプがとられた理由を判別してください。この戻りコードの説明については、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' NO SYSDUMP LIBRARY AVAILABLE**

CICS ジョブに SYSDUMP ライブラリーを定義し、それから SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。SYSDUMP ライブラリーの定義方法については、「z/VSE Diagnosis Tools」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'**  
**SYSDUMP LIBRARY IS FULL**

ダンプ・ライブラリーから一部のダンプを消去し、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。SYSDUMP ライブラリーを削除、またはダンプをオフロードする方法については、「z/VSE Diagnosis Tools」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'**

ダンプが意図的に抑止されている場合には、処置は必要ありません。VSE SDUMPX ルーチンのエラーが原因でダンプが失敗した場合には、VSE 問題判別方式を使用してエラーを修正してから、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

**NOT AUTHORIZED IN CICS**

この理由は表示されないはずですが、なぜなら、SDUMP は CICS 初期設定時に無条件に許可され、CICS 実行中ずっと許可されているはずだからです。万一この理由が出された場合には、CICS AFCEB (許可された機能制御ブロック) が誤って上書きされたものと思われる。

**INSUFFICIENT STORAGE**

十分な区画のストレージが OS/390 GETMAIN 要求で得られるようにしてください。

**DFHDUSVC FESTAE FAILED. FESTAE RETURN CODE X'nn'**

VSE 問題判別方式を使用して OS/390 FESTAE 障害を修正し、それから SDUMP が再び出されるようにしてください。FESTAE 戻りコードについての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

**DFHDUSVC FUNCTION INVALID**

CICS DAFPB (ダンプ許可機能パラメーター・ブロック) が、おそらく誤って上書きされました。

システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中である場合には、CICS を終了するかどうかを決定しなければなりません。

実行の継続を決定し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することができます。

この問題を解決するには、ダンプおよび関連メッセージをすべて集めて、IBM サポート・センターに連絡してください。

IBM サポートのために情報を用意する方法については、「CICS Problem Determination Guide」で説明されています。この処理に精通していない場合には、IBM サポートに連絡する前に、この手引きを参照してください。

モジュール: DFHKEDD、DFHKEDS、DFHKEGD、DFHKEIN、DFHKESTX  
 宛先: コンソール

**DFHKE0301** *applid* Insufficient storage to satisfy Getmain in module *modname*. VSE code *vsecode*.

説明: カーネル (KE) ドメインがカーネル・スタック・ストレージに対して OS/390 GETMAIN を出しましたが、要求を満たすためのストレージが不足していました。

コード *vsecode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォ

## DFHKE0302 • DFHKE1800

ルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。トレース (TR) ドメインの呼び出し自体がカーネル・スタック・ストレージを必要とするので、例外項目はトレース・テーブル内に作成されません。  
ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

GETMAIN 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。さらにシステム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、カーネル・スタック・ストレージがどのように使用し尽くされているかを見てください。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition and Operations Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHKESGM  
宛先: コンソール

---

### DFHKE0302 *applid* Freemain of stack storage failed in module *modname*. VSE code *vsecode*.

説明: カーネル (KE) ドメインがカーネル・スタック・ストレージに対して OS/390 FREEMAIN を出しましたが、間違った戻りコードが戻されました。

コード *vsecode* は OS/390 FREEMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。トレース (TR) ドメインの呼び出し自体がカーネル・リンケージを必要とするので、例外項目はトレース・テーブル内に作成されません。  
ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

FREEMAIN 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHKEDS  
宛先: コンソール

---

### DFHKE0303 *applid* A RECURSIVE ABEND HAS BEEN DETECTED BY THE KERNEL DOMAIN.

説明: カーネル (KE) ドメインが、異常終了からのリカバリーの試行中に、現行タスクが繰り返し異常終了していることを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。トレース (TR) ドメインがループ原因になる場合があるため、例外項目はトレース・テーブル内に作成されません。

ユーザーの処置: 与えられたダンプを使用してカーネル・エラー・テーブルを調べて、失敗したタスクの初期の異常終了を診断してください。

216 z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 巻

モジュール: DFHKERRI  
宛先: コンソール

---

### DFHKE0999 *applid* VSE HAS CALLED DFHKESTX WITH NO SDWA. ABEND CODE X'*code*'.

説明: VSE が CICS ESTAE タイプのリカバリー・ルーチン DFHKESTX の呼び出しを行いました。これはシステム診断作業域 (SDWA) を提供しませんでした。DFHKESTX はリカバリーを続行することができません。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: モジュール DFHKESTX がシステム・ダンプを作成し、次の ESTAE ルーチンにエラーをパーコレートします。これは潜在的に重大エラーです。CICS は処理を続行しますが、エラー・パーコレーションの結果を保留します。

ユーザーの処置: 異常終了コード X'*code*' は、CICS ESTAE が呼び出された理由です。どのプロダクトが異常終了を起したかを知る必要があります。通常、そのコードは、VSE システム完了コード (例えば、0C1) です。ただし、異常終了は CICS によって出された可能性もあり (例えば、異常終了 1596)、または他の製品によって出された可能性もあります。

これに関する診断情報が少ないため、異常終了の理由を示すメッセージを参照してください。異常終了コードに関する適切な資料の項目は、エラーに関する手引きをユーザーに提供し、さらに適切なユーザーの処置に関する手引きについても提供しています。

SDWA が渡されず、リカバリーが試行されなかった理由としては、おそらくストレージの不足があげられます。このストレージの不足は、異常終了自体にも影響を与えている可能性があります。

モジュール: DFHKESTX  
宛先: コンソール

---

### DFHKE1799 *applid* TERMINATION OF CICS IS COMPLETE.

説明: このメッセージは、CICS が終了したときに出されます。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 制御はオペレーティング・システムに返されます。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHKESIP  
宛先: コンソール

---

### DFHKE1800 *applid* ABNORMAL TERMINATION OF CICS IS COMPLETE.

説明: CICS は、異常終了するときこのメッセージを出します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォ

ルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
システムの処置: CICS の異常終了が続行されます。カーネルは、ユーザー 1800 異常終了を出すことにより、オペレーティング・システムに制御を返します。

異常終了を引き起こした最初のエラーにより、ダンプが作成された可能性もあります。このメッセージに伴う特定のダンプは作成されません。

ユーザーの処置: ダンプが作成された場合、ダンプを調べてエ

ラーの原因を判別してください。「CICS Problem Determination Guide」を使用して、問題の判別に役立ててください。

ダンプが作成されなかった場合には、その他の CICS メッセージ、VSE メッセージ、および異常終了コードを調べて、問題の原因の判別に役立ててください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

## DFHLDxxxx メッセージ

**DFHLD0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

プログラム・チェック時のプログラム状況ワード (PSW) または異常終了は、CICS がモジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で実行していたことを示しています。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊により引き起こされた可能性があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供したシステム・ダンプおよび前に出力されたすべての診断情報を使用して、プログラム・チェックまたは異常終了の原因を調べてください。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであった

かがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHLDDM、DFHLDDMI、DFHLDDL、DFHLDDL1、DFHLDDL2、DFHLDDL3、DFHLDNT、DFHLDST

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*

宛先: コンソール

**DFHLD0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: ローダーが、CICS のどこか他の部分またはオペレーティング・システム・サービスから予期しないエラー応答を受け取りました。ローダーが要求した操作は、*X'code'* で記述されています。

CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとしします。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1. CICS のどこか他の部分から以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2. 症状ストリングを調べる。
3. ダンプを調べる。

モジュール: DFHLDDM、DFHLDDMI、DFHLDDL、DFHLDDL1、DFHLDDL2、DFHLDDL3、DFHLDNT、DFHLDST

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*

宛先: コンソール

**DFHLD0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS がコード実行ループと思われるものを検出しました。実行が中断したとき、プログラム状況ワード (PSW) は、次の命令アドレスがモジュール *modname* のオフセット *X'offset'* にあることを示しました。

システムの処置: ダンプ・テーブル・オプションで CICS が特に終了しないように指定しない限り、CICS は終了して、システム・ダンプが作成されます。

## DFHnn 接頭部メッセージ

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS 制御ブロックの破壊、または予期したイベントの完了不可を引き起こす可能性のあるエラー状態が以前に存在したかどうかを調べてください。以前にエラーが存在した形跡がない場合には、IBM のサポートを得て問題を解決する必要があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHLDDM、DFHLDDMI、DFHLDL、DFHLDL1、DFHLDL2、DFHLDL3、DFHLDNT、DFHLDDST

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'offset'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHLD0101I *applid* CICS nucleus module *modname* not found.

説明: CICS ローダー (LD) は、SVA から、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームに指定された LIBDEF 検索チェーンからもモジュール *modname* のコピーを見つけることができませんでした。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目により特に禁止されていない限り、システム・ダンプがとられ、CICS 実行は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの次には、モジュール *modname* が欠落しているために機能の可用性が低下していることをユーザーに通知する 1 つまたは複数のメッセージが出されます。

SVA、または CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーン内のサブライブラリー (あるいはその両方) にモジュール *modname* のコピーがあるようにしてください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター: *applid*、*modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHLD0102 *applid* Unable to declare gate *ff* for module *modname*.

説明: その初期設定の一部として、CICS ローダーがモジュール *modname* に対してドメイン・ゲート *ff* を定義しようとしたが、間違った応答を受け取りました。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目により特に禁止されていない限り、システム・ダンプがとられ、CICS 実行は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS 内の内部エラーを診断します。以前のエラーが CICS を損傷状態のままにしていたかどうかを調べてください。以前に重大エラーが存在した形跡がない場合には、IBM のサポートを得て問題を解決する必要があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター: *applid*、*ff*、*modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHLD0103I *applid* Module Storage Compression OFF. All modules are USAGE=TRANSIENT.

説明: このメッセージの前に、通常、メッセージ DFHLD0101 またはメッセージ DFHLD0102 のいずれかが出され、ローダー (LD) ドメインがその動的プログラム・ストレージ圧縮機能を初期設定できなかったことを示しています。

システムの処置: CICS 実行は続行されますが、すべての非常駐アプリケーション・プログラムは USAGE=TRANSIENT オプションを指定して定義されたかのように処理されます。したがって、これらのプログラムは、使用カウントがゼロに達したと同時にストレージから削除されます。

一部の機能については、トランザクションの実行中にプログラムを 1 回だけではなく何回もロードできるので、結果的に性能が低下する可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージ DFHLD0101 またはメッセージ DFHLD0102 のいずれかによって診断された、モジュール DFHLDNT に関して以前に発生した問題の原因を調べてください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

### DFHLD0104I *applid* Module Statistics are not being collected.

説明: このメッセージの前に、通常、メッセージ DFHLD0101 またはメッセージ DFHLD0102 のいずれかが出され、ローダー (LD) ドメインがその統計収集モジュールを初期設定できなかったことを示しています。

システムの処置: CICS 実行は続行されますが、モジュール統計は集められません。

ユーザーの処置: メッセージ DFHLD0101 またはメッセージ DFHLD0102 のいずれかによって診断された、モジュール DFHLDDST に関して以前に発生した問題の原因を調べてください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

### DFHLD0105 *applid* Restart of Loader Option Block (LOB) failed. System defaults in use.

説明: CICS ローダーの初期設定により、ローカル・カタログからリカバリーしたローダー・オプション・ブロック (LOB) 内に 1 つまたは複数の無効なパラメーターが検出されました。

これは、CICS ローカル・カタログ (DFHLCD) の破壊が起きたことを示している可能性があります。

システムの処置: ダンプ・テーブル・オプションにより特に禁止されていない限り、システム・ダンプがとられ、CICS 実行は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: DFHLCD の破壊の可能性を調べてください。ローカル・カタログに破壊の可能性がある場合は、再初期設定して CICS ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHLDDM

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール



**DFHLD0107I** *applid modname1 is unable to locate module modname2 in the SVA. LIBDEF search chain version of module will be used.*

説明: ユーザーがシステム初期設定パラメーター SVA=YES を指定しました。モジュール *modname2* は、RDO により USESVACOPY(YES) として定義されているか、あるいは CICS PCLASS=SYSTEM モジュールです。CICS は、SVA から *module2* を見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS 実行は、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンからモジュール *modname2* を見つけようとして、続行されます。

ユーザーの処置: 次のいずれかを実行してください。

- モジュール *modname2* が必要であり、そのモジュールが SVA 適格である場合には、そのモジュールを SVA にロードしてください。(CICS モジュールの SVA 適格については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。)
- システム初期設定パラメーターとして PRVMOD=*modname2* をコーディングしてください。これにより、CICS はそのモジュールを見つめようとして SVA を探索することはなくなります。
- システム初期設定パラメーターとして SVA=NO をコーディングしてください。これにより、CICS はモジュールを見つめようとして SVA を探索することはなくなります。

モジュール: DFHLDDMI、DFHLDL1

XMEOUT パラメーター: *applid*、*modname1*、*modname2*

宛先: コンソール経路コード 11

**DFHLD0108I** *applid The maximum of 32767 entries that CICS allows on a BLDL has been exceeded.*

説明: ウォーム・リスタートまたは緊急再始動時に、ローダー・ドメインが OS/390 BLDL に適格なモジュールを 32767 より多く検出しました。

システムの処置: BLDL マクロ呼び出しが出され、最初の 32767 個のモジュールが位置指定され、残りは無視されます。CICS 初期設定は正常に続行されます。

初期設定時に位置指定されていなかったモジュールを、モジュールが初めて使用されるときに、CICS は位置指定しようとするので、これは問題ではありません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHLD0109** *applid Insufficient storage to satisfy GETMAIN request by DFHLDSVC.*

説明: CICS ローダーは、CICS 初期設定時に OS/390 GETMAIN 要求を出しました。これは、ローダー監視プログラム・サービスの制御ブロック用として 16 MB 境界より下の VSE 区画ストレージを獲得するためです。しかし、使用可能になっているストレージがこの要求を満たすのに不十分です。

システムの処置: CICS は続行されますが、アクセス可能なのは SVA 常駐モジュールだけです。

ユーザーの処置: OS/390 GETMAIN 要求を満たすために、16 MB 境界より下の区画ストレージが十分に使用できるよう

にしてください。これは、それらの要求を満たすために、システム初期設定パラメーター DSALIM のサイズを小さくして、16 MB 境界より下のストレージをさらに解放することを意味するかもしれません。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHLD0201** *applid Corrupt Loader load structure detected at X'address'. Module marked as unavailable.*

説明: CICS ローダー要求の実行時に、ローダーが、ストレージ・アドレス *address* の制御ブロック・タイプ *tttt* に無効フィールドを検出しました。

システムの処置: ダンプ・テーブル・オプションにより特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、実行は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS モジュール、制御ブロック、ローカル・カタログ、またはグローバル・カタログにそれぞれ破壊の可能性がないか調べてください。

モジュール: DFHLDL1

XMEOUT パラメーター: *applid*、*load,X'address'*

宛先: コンソール

**DFHLD0202** *applid Loader SVC svc request failed due to shortage of free storage in the region.*

説明: ローダー・ドメインは、その CICS SVC サービス・ルーチン DFHLDSVC に対して要求を出しましたが、フリー・ストレージが不足していたために、この要求の実行が失敗しました。要求のタイプは、*svc* により示されます。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目により特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは実行を続行します。ローダー・サービスを要求するタスクは、異常終了コード APCT が出されて異常終了するか、もしくは PGMIDERR 条件が出されます。

ユーザーの処置: DSA または EDSA の全体サイズの限界と、CICS 区画のサイズの釣り合いをとることによって、十分なフリー・ストレージを確保してください。

モジュール: DFHLDL1

XMEOUT パラメーター: *applid*、*svc*

宛先: コンソール

**DFHLD0203** *applid Loader SVC svc request failed due to I/O errors processing the LIBDEF search chain.*

説明: ローダー・ドメインがその CICS SVC サービス・ルーチン DFHLDSVC に対して要求を出しましたが、LIBDEF 検索チェーンの処理中に起きた入出力エラーのため、この要求の実行が失敗しました。要求のタイプは、*svc* により示されます。

ユーザーの処置: 検出された入出力エラーの原因を調べてくだ

さい。VSE システム・コンソール・ログには、アクセス方式または入出力サブシステムのメッセージの形で、問題に関する詳しい情報が入っている可能性があります。システム・ダンプ内の (全トレースからの) ローダー・ドメイン例外トレース項目は、通常、入出力エラーが発生したモジュールを識別します。

モジュール: DFHLDL1

XMEOUT パラメーター: *applid*, *svc*  
宛先: コンソール

---

**DFHLD0204** *applid* Bad Loader PDB for module *modname* recovered from the {*Local* | *Global*} catalog. Corruption suspected.

説明: モジュール *modname* 用のローダー定義レコード PDB が、スタートアップ時にローカル・カタログ (DFHLCD) また

はグローバル・カタログ (DFHGCD) のいずれかから読み取られ、そのなかに無効なデータが入っていることがわかりました。

システムの処置: 特にダンプを抑止しない限り、システム初期設定は終了し、システム・ダンプが作成されます。システム・ダンプを抑止すると、モジュール定義は無視されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージに示されたカタログ・データ・セットが破壊されておらず、しかも CICS ジョブが使用できることを確認してください。

モジュール: DFHLDL1, DFHLDL2

XMEOUT パラメーター: *applid*, *modname*, {1=*Local*, 2=*Global*}

宛先: コンソール

---

## DFHLMxxxx メッセージ

**DFHLM0001** *applid* An abend (code *abcode*) has occurred at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *abcode* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがある場合には、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHLMMDM, DFHLMDS, DFHLMIQ, DFHMLML

XMEOUT パラメーター: *applid*, *abcode*, X'*offset*', *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHLM0002** *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHLMMDM、DFHLMDS、DFHLMQI、DFHLMMLM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*X'code'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHLM0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるため、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行することを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。モジュール: DFHLMMDM、DFHLMDS、DFHLMQI、DFHLMMLM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*X'offset'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHLM0006** *applid* Insufficient storage to satisfy Getmain (code *X'code'*) in module *modname*. VSE code *vsecode*.

説明: OS/390 GETMAIN がモジュール *modname* によって発行されましたが、要求を満たすだけの十分なストレージがありませんでした。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

このエラーは、16 MB 境界より上で発生しました。

コード *vsecode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

VSE 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合は、問題は一時的なものである場合があります。その場合は、より多くのストレージが使用可能になると、自然に問題が解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA の全体サイズの限界を小さくするようにしてください。あるいは、CICS 区画のサイズが最大でない場合は、サイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、

「*CICS Transaction Server for VSE/ESA* システム定義の手引き」または「*CICS Performance Guide*」を参照してください。モジュール: DFHLMMDM、DFHLMDS、DFHLMQI、DFHLMMLM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*X'code'*、*modname*、*vsecode*  
宛先: コンソール

## DFHMCxxxx メッセージ

### DFHMC4000 CICS SYNAD EXIT TAKEN FOR *dscname*, INPUT MSG TRUNCATED.

説明: このメッセージは、SYNAD 出口が入力キューに対してとられるときに出力されます。*dscname* は DSCNAME を表しています。

システムの処置: データ制御ブロック (DCB) はクローズされて、再びオープンされます。データは、指定されたブロック・サイズに合わせて切り捨てられてから、ユーザーに渡されません。

ユーザーの処置: ブロック・サイズを大きくするか、または入力長の長さを短くしてください。

モジュール: 問題は VSE データ管理によって判別されます。このメッセージは、端末管理テーブル (TCT) 内で生成された CICS 提供の SYNAD ルーチンから出力されます。

宛先: コンソール

### DFHMC4001I *date time applid* Error purge delay inoperative, {*transid* | *invalid req* | *unexpected*} error

説明: 除去遅延トランザクション CSPQ の開始時に、エラー戻りコードがインターバル制御機能プログラム (ICP) から受信されました。

この戻りコードの原因には、次のものがあります。

- TRANSID エラー
- INVALID REQ エラー
- UNEXPECTED エラー

システムの処置: 除去遅延は、CICS のこの実行について操作をしません。ダンプがとられます。

ユーザーの処置:

- TRANSID エラーの場合、トランザクション CSPQ を定義してください。
- INVALID REQ の場合、ICP は INITIATE 要求に回答して INVALID REQUEST 戻りコードを戻してきました。これが発生した理由を判別して、問題を訂正してください。
- UNEXPECTED エラーの場合、ICP は INITIATE 要求に回答して認識されないエラー・コードを戻してきました。そのエラー・コードは、ダンプ内のプログラム DFHMCP のラベル MCPINERR にあります。これが発生した理由を判別して、問題を訂正してください。

モジュール: DFHMCP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, {1=*transid*, 2=*invalid req*, 3=*unexpected*}*

宛先: CSMT

## DFHMExxxx メッセージ

### DFHME0001 *applid* An abend (code *xxx/yyyy*) has occurred at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。

コード *xxx/yyyy* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード (例えば AKEA) または CICS メッセージを表す番号です (例えば、1310 は CICS メッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。このエラーは重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了はメッセージ (ME) ドメイン内の各国語モジュールに影響するので、CICS は自動的に終了しません。しかし、これらのモジュールなしにシステムを実行するべきでないとは判断した場合には、CICS をダウンさせる必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コ

ード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。このコードにより、エラーが、例えばプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはパコーレションのいずれであるかがわかります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEDM, DFHMEME, DFHMESR

宛先: コンソール

### DFHME0002 *applid* An error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。

コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 間違った戻りコードがメッセージ (ME) ドメインの呼び出し側に送られました。ドメイン・マネージャー DFHDMDM が呼び出しを行った場合には、CICS はドメイン・マネージャーによって終了させられ、そのことを示すメッセージが出力されます。しかし、メッセージがメッセージ・ドメイン・モジュールによって出力された場合には、CICS を続行させることができます。

例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。このエラーは重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセー

ジ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは CICS コード内の重大エラーを示しているため、システム・プログラマーに連絡してください。その影響はこれらの状況によって、重大な場合も重大でない場合もあります。例えば、メッセージが 1 回しか出されず、しかもドメイン・マネージャーが CICS を終了していない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。ただし、メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS メッセージを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEDM, DFHMEME, DFHMESR, DFHMEWT

宛先: コンソール

---

**DFHME0004 applid A possible loop has been detected at offset X'offset' in module modname.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'offset' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。この状態はエラーでない可能性があります。また、仮にエラーであったとしても、重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。ICVR システム初期設定パラメーターに非ゼロの値を指定した場合、CICS はランナウェイ・タスクを除去します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このエラーはメッセージ生成に影響し、メッセージ (ME) ドメインは自動的に CICS を終了しません。ユーザーは、この問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部のトランザクションが CPU 時間をたくさん使用することがあるので、このメッセージは、長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。通常、CICS は、ランナウェイ・タスクと考えられるタスクを終了します。タスクが、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超えたとき、この終了が行われます。

ICVR=0 を宣言している場合、タスクがループに入ったと考えられるときには、ユーザーはタスクを自分で終了する必要があります。CEMT トランザクションを使用してタスクを除去してください。

CICS がこのタスクを除去し、しかもユーザーがそれをランナウェイではないと判断した場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHMEDM, DFHMESR, DFHMEME

宛先: コンソール

---

**DFHME0006 applid Insufficient storage to satisfy GETMAIN (code X'code') in module modname. VSE code vsecode.**

説明: OS/390 GETMAIN がモジュール *modname* によって発行されましたが、要求を満たすだけの十分なストレージがありませんでした。コード X'code' は、エラーが発生したコードの場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *vsecode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目が、コード X'code' でトレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。このエラーは重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。しかし、このエラーがストレージの一般的な問題を示している場合には、CICS はストレージ・マネージャーによって異常終了させられる可能性があります。このことを示すメッセージが出されます。

DFHMEDM の場合に GETMAIN が失敗したときには、戻りコードがドメイン・マネージャー DFHMDM に送られ、CICS はドメイン・マネージャーによって終了させられます。このことを示すメッセージが出されます。

メッセージ・ドメイン DFHMEME の場合に GETMAIN が失敗したときには、4 つのいずれかで起こる可能性があります。コード X'code' は、以下のとおり、どの GETMAIN が失敗したのかを示しています。

コード 意味

X'0340' -

TD メッセージの形式設定時

メッセージは出されません。

X'0341' -

メッセージの作成時

メッセージは出されません。

X'0342' -

ユーザー出口パラメーターの作成中

メッセージは元の宛先に出されます。

X'0343' -

英語でのメッセージの再作成時

再作成済みの英語のメッセージは出されません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了した場合には、ストレージ・マネージャーまたはドメイン・マネージャーからの関連終了メッセージ、および提案されたユーザーの処置に注意してください。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、CICS 区画のサイズが最大でない場合は、サイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。

問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、ストレージをもっと使用できるようになれば、問題も自然に解

## DFHME0102 • DFHME0106

決されます。CICS がまだ実行されており、CICS メッセージの全セットがなくても済む場合には、続行して、適当な時間にCICS をダウンさせることもできます。

VSE 戻りコード *vsecode* の診断情報は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』にあります。

モジュール: DFHMEMD、DFHMEME

宛先: コンソール

---

### DFHME0102 *applid* An error (code X'*code*') has occurred in module *modname* while producing message *msgno*.

説明: 重大エラーが検出され、メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* を出すことができませんでした。コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 戻りコードがメッセージ (ME) ドメインの呼び出し側に送られますが、メッセージ・ドメイン・モジュールによって呼び出しが行われたので、CICS は続行されます。

例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。このエラーは重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは CICS コード内に重大エラーがあることを示しているため、システム・プログラマーに連絡してください。しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。例えば、メッセージが 1 回しか出されず、メッセージ *msgno* なしでも実行できる場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせることができます。

ただし、メッセージが繰り返し出されたり (繰り返されるたびに別のメッセージ番号 *msgno* が出される)、あるいはすべての CICS メッセージを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEBU、DFHMEIN、DFHMEWT、DFHMEME

宛先: コンソール

---

### DFHME0105 *applid* Insufficient storage to load module *modname*.

説明: OS/390 LOAD が失敗しました。使用可能なストレージが不足していたので、メッセージ言語モジュール *modname* をロードできませんでした。この言語モジュールは、特定言語のメッセージ用の NATLANG システム初期設定パラメーターで定義されているか、あるいはデフォルトの言語モジュールです。

デフォルトの言語は、例外なく、一時データ・キューおよびコンソールに送られるメッセージに使用されます。(ただし、2 バイト言語であってはなりません。2 バイト言語の場合はメッセージは英語でコンソールに送られます。) デフォルト言語モジュールをロードできない場合には、メッセージを送ることができません。端末装置では、デフォルト言語または別の選択言語でメッセージを受け取ることができます。選択された言語モジュールをロードできなかった場合には、端末メッセージは代わりにデフォルト言語を使用します。システムの処置: ダンプを特にダンプ・テーブル内で抑止しない限り、トレース・テーブルに例外項目が作成され、ダンプがとられます。これは重大な問題ではない可能性があるため、(たとえダンプ・テーブル内で終了するよう指定されていても) デフォルト言語モジュールをロードできない場合でない限り、CICS は終了しません。

欠落しているモジュールがデフォルト言語モジュールでない場合には、CICS は、端末へのメッセージにデフォルト言語を使用します。デフォルト言語モジュールをロードできない場合には、戻りコードがドメイン・マネージャーに送られ、CICS はドメイン・マネージャーによって終了させられます。ユーザーの処置: デフォルト言語が有効で、これが受け入れ可能な場合には、CICS をダウンさせる必要はありません。(または、もっと都合のよい時間に CICS をダウンさせることもできます。)

デフォルト言語が有効で、これを受け入れられない場合、またはデフォルト言語モジュール自体が欠落している場合には、DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてください。あるいは、CICS 区画のサイズがまだ最大になっていない場合には、それを大きくしてみてください。

さらに、ストレージから不要な言語モジュールを削除することによって、もっとストレージのスペースを確保することができます。これを行うためには、CICS をダウンさせ、不要な言語コードを NATLANG システム初期設定パラメーターから除去し、それから CICS を再始動させてください。

注: 決してデフォルト言語モジュールを SIT から削除しないでください。

モジュール: DFHMEMD

宛先: コンソール

---

### DFHME0106 *applid* Module *modname* could not be loaded. REGISTER 1 = X'*nnnnnnnn*' and REGISTER 15 = X'*nnnnnnnn*'.

説明: メッセージ言語モジュール *modname* をロードすることはできません。このモジュールをロードできない理由は、レジスター 1 および 15 の内容により示されます。これらは、VSE によって戻されます。レジスター 1 および 15 には、OS/390 LOAD 異常終了コードおよび理由コードがそれぞれ入ります。システムの処置: 欠落しているモジュールがデフォルト言語モジュールでない場合には、CICS は、メッセージにデフォルト言語を使用します。

デフォルト言語モジュールが欠落している場合には、戻りコードがドメイン・マネージャーに送られて、CICS は終了します。

ダンプを特にダンプ・テーブル内で抑止しない限り、トレース・テーブルに例外項目が作成され、ダンプがとられます。こ

これは重大な問題ではない可能性があるので、(たとえダンプ・テーブル内で終了するよう指定されていても) デフォルト言語モジュールをロードできないのでない限り、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: デフォルト言語が有効で、しかも受け入れ可能な場合には、CICS をダウンさせる必要はありません。または、いつか都合のよい時間にダウンさせることもできます。

デフォルト言語が有効であるが、これを受け入れられない場合、あるいはデフォルト言語モジュール自体が欠落している場合には、『z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻』のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』を調べて、メッセージに示されている OS/390 の異常終了コードおよび理由コードを解釈してください。これらの戻りコードは、モジュールをロードできない理由を示しています。

モジュール: DFHMEDM

宛先: コンソール

---

#### DFHME0107 *applid Module modname cannot be found in the library.*

説明: メッセージ・ロード・モジュール *modname* は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーにはありませんでした。このロード・モジュールは、メッセージ用の言語モジュールです。この言語モジュールは、特定言語のメッセージ用の NATLANG システム初期設定パラメーターで定義されているモジュールか、またはデフォルトの言語モジュールです。

デフォルトの言語は、例外なく一時データ・キューおよびコンソールに送られるメッセージに使用されます。(ただし、2 バイト言語であってはなりません。その場合はメッセージは英語でコンソールに送られます。) デフォルト言語モジュールが欠落していると、メッセージは送ることができません。

端末装置では、デフォルト言語または別の選択言語でメッセージを受け取ることができます。選択された言語モジュールが欠落している場合には、端末メッセージは代わりにデフォルト言語を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これは重大な問題ではない可能性があるため、たとえこれをダンプ・テーブル内で指定したとしても、(たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても) デフォルト言語モジュールが欠落していない限り、CICS は即時には終了しません。

欠落しているモジュールがデフォルト言語モジュールでない場合には、CICS は、メッセージにデフォルト言語を使用します。デフォルト言語モジュールが欠落している場合には、戻りコードがドメイン・マネージャーに送られて、CICS は終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、ライブラリー内または SIT 内に問題があるために発生した可能性があります。デフォルト言語が有効で、しかも受け入れ可能な場合には、CICS をダウ

ンさせる必要はありません。または、いつか都合のよい時間にダウンさせることもできます。

この欠落しているモジュールを間違ったライブラリーに入れたか、または正しいライブラリー内で間違ったモジュール名またはつづりを誤ったモジュール名を使用している可能性があります。

デフォルト言語が有効であるが、これを受け入れることができない場合には、欠落しているモジュールを CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーにリンクしてください。これを実行するには、CICS をダウンさせる必要があります。

また、NATLANG システム初期設定パラメーターで正しくない言語コード、またはつづりを誤った言語コードが使用された可能性もあります。この場合は、CICS をダウンさせて、ユーザーが選択した言語コードをシステム初期設定パラメーターとして再インストールして、CICS を再始動してください。

この言語モジュールを必要としなくなったら、次の適当な機会に NATLANG システム初期設定パラメーターからその言語モジュールを削除する必要があります。

デフォルト言語モジュールが欠落している場合には、CICS はドメイン・マネージャーによって終了させられます。この場合、障害がライブラリー内または SIT のいずれにあるのかを突き止めて、該当する手順に従う必要があります。

モジュール: DFHMEDM

宛先: コンソール

---

#### DFHME0108 *applid Message msgno cannot be found in module modname.*

説明: メッセージ *msgno* が本来なら渡されるべきですが、メッセージ言語モジュール *modname* の内に見つけれませんでした。

このモジュールは、ユーザーにより SIT で指定された各国語モジュールであり、選択された言語でメッセージを示します。システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これは重大なエラーではない可能性があるため、ダンプ・テーブル内で終了するよう指定した場合でも、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合もありますし、メッセージ番号 *msgno* なしで実行を続行するようユーザーが決定する場合もあります。CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーン内のどこかに保守が適用される前の古いバージョンの DFHMET1x メッセージ・モジュールがある場合には、このメッセージは、保守が CICS メッセージ・ドメインに適用された後に現れることに注意してください。

たった今保守を適用して、このメッセージが現れたなら、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーン内の他のサブライブラリーにメ

## DFHME0109 • DFHME0112

ッセージ・モジュールの古いバージョンがないか調べて、それを除去してください。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

---

### DFHME0109 *applid* Message set *setname* could not be found in module *modname* while producing message *msgno*.

説明: メッセージ・セット *setname* が、メッセージ言語モジュール *modname* の中に見つかりませんでした。

*setname* は、CICS メッセージ内の DFH の後の最初の 2 文字 (例えば、LD または 21) であり、その後にメッセージ番号が続きます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これは重大なエラーではない可能性があるため、ダンプ・テーブル内で終了するよう指定した場合でも、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ番号 *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

---

### DFHME0110 *applid* Optional insert *ii* is missing for message *msgno*.

説明: 任意指定の挿入部 *ii* がメッセージ・ドメインの呼び出し時に要求されましたが、メッセージ定義テンプレート内に見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS は ??? を持つメッセージを、欠落している挿入部分 *ii* の代わりに渡します。

例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これは重大なエラーではない可能性があるため、ダンプ・テーブル内で終了するよう指定した場合でも、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEBU

宛先: コンソール

---

### DFHME0111 *applid* Insert *ii* is missing for message *msgno*.

説明: メッセージ *msgno* に挿入部 *ii* が必要とされています。挿入部が見つかりませんでした。システムの処置: CICS は ??? を持つメッセージを、欠落している挿入部分 *ii* の代わりに渡します。

例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。このエラーは重大ではないので、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードしたことを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大エラーがあることを示しています。しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEBU

宛先: コンソール

---

### DFHME0112 *applid* Insert number *ii* is invalid for message *msgno* (code X'*code*').

説明: メッセージ (ME) ドメインの呼び出し時に与えられた挿入部 *ii* が無効でした。例えば、4 バイトを超える長さの 10 進数の挿入部である可能性があります。

コード X'*code*' は、無効な挿入部を一意的に識別します。システムの処置: CICS は ??? を持つメッセージを、無効な挿入部 *ii* の代わりに渡します。

コード X'*code*' を持つ例外項目がトレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これは重大なエラーではない可能性があるため、ダンプ・テーブル内で終了するよう指定した場合でも、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードし



たことを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* を作成しないで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEBU

宛先: コンソール

---

#### DFHME0113 *applid* Incorrect parameters used in call to DFHMEME for message *msgno*.

説明: メッセージ *msgno* に関してメッセージ (ME) ドメインの呼び出しが、無効な組み合わせのパラメーターで行われました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードしたことを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大エラーがあることを示しています。しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

---

#### DFHME0114 *applid* There are no destinations specified for message *msgno*.

説明: 宛先 *destid* が、メッセージ *msgno* のメッセージ言語モジュール内に指定されていませんでした。このエラーは、メッセージ言語モジュールが破壊されているか、もしくは正しいリリース・レベルにない場合に発生する可能性があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、シ

ステム・ダンプがとられます。このエラーは重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードしたことを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大エラーがあることを示しています。しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* を作成しないで続行するようユーザーが決定する場合もあります。問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、メッセージ *msgno* なしでシステムの実行を続行することができます。

問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

---

#### DFHME0115 *applid modname* Message module for language *language* not found. The default module *modnameb* is used.

説明: 各国語 *language* 用のメッセージ言語モジュール *modname* を、使用可能なモジュールのリストから見つけることができません。CICS プログラムが特定言語のメッセージをメッセージ・ドメインから呼び出すが、そのメッセージ・ドメインがその言語のメッセージを見つけない場合に、それは見つかりません。

該当するメッセージ言語モジュールの LOAD が初期設定時に失敗したために、メッセージ言語モジュールを使用できない可能性があります。この場合には、その失敗した LOAD に関する前に出されたメッセージがあるはずですが、あるいは、端末定義で指定された言語またはユーザー ID 定義が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されていなかったか、または間違っていて指定されていたために、このモジュールを使用できない可能性もあります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これは重大なエラーではない可能性があるため、ダンプ・テーブル内で終了するよう指定した場合でも、CICS は終了しません。

モジュール *modname* 内の言語 *language* で表示されなければならないすべてのメッセージは、代わりにシステム・デフォルト言語 *modnameb* で表示されます。

ユーザーの処置: メッセージに関するデフォルト言語の使用が受け入れ可能か否かによって、ユーザーの処置も異なります。受け入れ可能な場合には、都合のよい時がくるまで処置を遅らせることができます。端末定義またはユーザー ID 定義が問題の原因なら、それらを変更する必要があるかもしれません。

デフォルト言語の使用が受け入れられない場合、しかもモジュール *modname* が初期設定時にロードに失敗した場合には、スタートアップ時に出された LOAD の失敗に関する該当するメッセージに記述してある処置をとってください。

受け入れることができる場合には、CICS をダウンさせ、NATLANG システム初期設定パラメーターで言語 *language* を指定し、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

#### DFHME0116 *applid (Module:modname) CICS symptom string for message msgno is symstring.*

説明: 起こりうる CICS エラーの結果として、メッセージ *msgno* が出されました。

症状ストリング *symstring* が作成され、IBM サポートのための追加の診断情報が提供されました。

システムの処置: このメッセージは、メッセージ *msgno* を伴い、システム処置には影響しません。システム処置は、メッセージ *msgno* で説明されているとおりです。

ユーザーの処置: メッセージ *msgno* のユーザーの処置を参照してください。これには、このエラーが IBM サポートに報告するほど重大かどうかを判断するのに必要な情報が提供されています。

モジュール: DFHMEME

XMEOUT パラメーター: *applid, modname, msgno, symstring*

宛先: コンソール

#### DFHME0117 *applid The Message User Exit point*

##### XMEOUT is unavailable for message *msgno*.

説明: メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* を処理していたときに、メッセージ・ユーザー出口点 'XMEOUT' を使用することができませんでした。これはおそらく、CICS 初期設定で呼び出しが早すぎたためです。KERNERROR の応答が、ユーザー出口 DFHAPEX を呼び出すプログラムからメッセージ (ME) ドメインに戻されました。

システムの処置: このエラーは重大エラーではないので、メッセージ (ME) ドメインは処理を続行します。メッセージ (ME) ドメインが作成しようとしていたメッセージ *msgno* は、メッセージ・ユーザー出口によって抑止も再経路指定もされません。その代り、メッセージ *msgno* について定義された元の宛先に出されます。

ユーザーの処置: なし。エラーが初期設定であまりにも早く発生したため、メッセージ *msgno* を抑止することはできません。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

#### DFHME0118 *applid An error has occurred when calling the Message User Exit for message msgno.*

説明: メッセージ (ME) ドメインが DFHAPEX から間違った応答を受け取りました。DFHAPEX は、メッセージ・ユーザー出口を呼び出したプログラムです。

システムの処置: このエラーは重大エラーではないので、メッセージ (ME) ドメインは処理を続行します。メッセージ・ド

メインが作成しようとしていたメッセージ *msgno* は、メッセージ・ユーザー出口によって抑止も再経路指定もされず、元の宛先に出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、メッセージ・ユーザー出口内で起こりうるエラーを示しています。メッセージ・ユーザー出口プログラムが正しく動作していることを確認してください。

ただし、プログラム DFHAPEX インターフェースを呼び出すユーザー出口が破壊されている可能性があります。DFHAPEX は例外トレース項目を出してエラーがあることを示しますが、メッセージ・ドメインを介して DFHAPEX 自体のエラー・メッセージを出すことはできません。なぜなら、エラー・メッセージを出すと CICS がループに入ってしまうからです。ループに入ってしまった場合には、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

#### DFHME0119 *applid Message msgno has an invalid {Destination | User Exit | Message Identification} component.*

説明: メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* の定義の中に無効なコンポーネントを検出しました。メッセージ言語モジュールは破壊されているか、もしくは間違ったりリリース・レベルにあります。

システムの処置: ME ドメインは、例外トレース項目を作成し、処理を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 正しいレベルのメッセージ言語モジュールを使用していることを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大エラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ番号 *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。この問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、このメッセージなしでシステムの実行を続行することができます。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

#### DFHME0120I *applid Message msgno has been rerouted to its original destination.*

説明: メッセージ・ドメイン・ユーザー出口点 XMEOUT が、CICS の静止中または終了中に、一時データ (TD) キューへのメッセージ *msgno* の経路指定を試みました。CICS シャットダウンの開始後は、元の宛先に TD キューがある場合に

は、メッセージは、TD キュー以外へは再経路指定できません。  
 システムの処置: メッセージは、元の宛先に再経路指定されます。

ユーザーの処置: なし。XMEOUT ユーザー出口のプログラミング情報については、「CICS Customization Guide」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

XMEOUT パラメーター: *applid*、*msgno*

宛先: コンソール

---

**DFHME0121** *applid* The {first | second} attempt at formatting message *msgno*, TD queue *queuename* has failed - {Invalid DBCS format | Unknown error}.

説明: このメッセージ (ME) ドメインは、(一時データ・キュー *queuename* あての) メッセージ *msgno* を作成しようとしていました。しかし、メッセージ形式設定ルーチン DFHMEFO から無効な応答が戻されました。このエラーは、メッセージ挿入部またはメッセージ・テキストのいずれかにある無効な DBCS 文字によるものです。定義時に、ミスマッチのシフトアウト文字およびシフトイン文字がないかどうか、このメッセージ・テキストは検査されます。しかし、例えば 2 バイト・メッセージ挿入部が正しく与えられていない場合には、メッセージに隣接するシフトイン文字およびシフトアウト文字が表示されることがあります。

メッセージ (ME) ドメインは、まず、メッセージの 120 バイト・セグメントへの形式設定を試みます。しかし、一時データ・キューが異なるキュー長で定義された場合には、その新しいキュー長を使用してもう一度形式設定が実行されます。(したがって、メッセージの形式設定時における最初または 2 番目の試みの理由ということになります。)

システムの処置: ダンプがとられます。メッセージ・ドメインは、形式設定されたメッセージを出しません。例外トレース項目は、形式設定ルーチン DFHMEFO によって作成されません。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合があります。問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、メッセージ *msgno* なしでシステムの実行を続行することができます。問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

---

**DFHME0122** *applid* The Message User Exit has returned invalid route code information for message number *msgno*.

説明: メッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* の宛先として無効な経路コードを設定しました。有効

な経路コードは、番号 1 から 28 です。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは、無効な経路コードを無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* について定義された元の宛先をとりま

す。  
 ユーザーの処置: ユーザーのメッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* に対して有効な経路コード情報を設定しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

---

**DFHME0123** *applid* The Message User Exit has returned invalid TD queue information for message number *msgno*.

説明: メッセージ・ユーザー出口プログラムは、メッセージ *msgno* の宛先として無効なキュー名を設定しました。有効なキュー名は、4 文字の英数字から成ります。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは、無効なキュー名を無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* について定義された元の宛先をとりま

す。  
 ユーザーの処置: ユーザーのメッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* に対して有効なキュー名情報を設定しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

---

**DFHME0124** *applid* TD is unavailable for writing message *msgno* to TD queue *queuename*.

説明: メッセージ (ME) ドメインが、一時データ・キュー *queuename* にメッセージ *msgno* を出力しようとしていました。しかし、まだ一時データ (TD) が使用可能になっていません。この状態は、CICS 初期設定の初期段階で発生する場合があります。

システムの処置: メッセージは失われます。

ユーザーの処置: このエラーの影響はあまり深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合があります。問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、メッセージ *msgno* なしでシステムの実行を続行することができます。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

---

**DFHME0125** *applid* The Message User Exit has returned an invalid return code *rc* for message *msgno*.

説明: メッセージ・ユーザー出口がメッセージ *msgno* を処理していたときに、0 でも 4 でもない戻りコード *rc* を戻しました。(戻りコード 4 は、メッセージを抑止することを示しています。)

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは通常どおり処理を続行し、このメッセージの抑止も再経路指定も行いません。その代りメッセージ定義域は、最初からメッセージ言語モジュールに定義されていたかのようにメッセージを出します。

ユーザーの処置: ユーザーのメッセージ・ユーザー出口プログラムが正しく作動していて、しかも正しい戻りコードをメッセージ (ME) ドメインに戻していることを確認してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

#### DFHME0128 *applid* Message *msgno* has an invalid route code.

説明: コンソール・メッセージを出すルーチンが、メッセージ *msgno* に関連付けられた無効な経路コードを検出したので、コンソール・メッセージを出すことができませんでした。有効な経路コードは、1 から 28 の番号です。

このエラーは、コンソール・メッセージ DFHSUWT を出すルーチンに渡される際に経路コードが破壊された場合に限り発生します。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは例外トレース項目を出します。メッセージ *msgno* は出されません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

#### DFHME0129 *applid* Unable to format console message *msgno* as it contains invalid DBCS characters.

説明: コンソール・メッセージ *msgno* の形式設定を試みたルーチンは、このコンソール・メッセージに無効な 2 バイト (DBCS) 文字が入っていたために、それを実行することができませんでした。例えば、隣接するまたはアンマッチのシフトイン文字およびシフトアウト文字は、DBCS テキスト・ストリング内では無効です。

メッセージに挿入部があり、それが、例えばシフトインおよびシフトアウト文字を含んでいて、その間に 2 バイト文字が入っていない場合に、この状態は発生します。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは処理を続行しますが、メッセージ *msgno* は形式設定できないので出されません。メッセージ形式設定ルーチン DFHMEFO が例外トレース項目を出します。コンソール・メッセージ DFHSUWT を出すルーチンも、例外トレース項目を出します。

ユーザーの処置: 端末から入力したメッセージ挿入部として使用できる 2 バイト情報が、正しく入力してあることを確認してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

#### DFHME0130 *applid* Message *msgno* has an invalid descriptor code.

説明: コンソール・メッセージを出すルーチンが、メッセージ *msgno* に関連付けられた無効な記述子コードを検出したので、コンソール・メッセージを出すことができませんでした。有効な記述子コードは、1 から 16 の番号です。

このエラーは、記述子コードが、コンソール・メッセージ DFHSUWT を出すルーチンに渡される際に破壊された場合に限り発生します。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは例外トレース項目を出します。メッセージ *msgno* は出されません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

#### DFHME0131 *applid* Unable to calculate length of message *msgno* due to message table corruption, code(*code*).

説明: メッセージ言語モジュールが破壊された可能性があるために、メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* の長さを計算することができません。

システムの処置: 戻りコードがメッセージ (ME) ドメインの呼び出し側に送られます。メッセージ *msgno* は出されません。

ユーザーの処置: 正しいレベルのメッセージ・データ・モジュールを使用していることを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ番号 *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、メッセージ *msgno* なしでシステムの実行を続行することができます。

この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

#### DFHME0132 *applid* The User's Message Exit program has failed while processing message *msgno*

説明: ユーザーのメッセージ出口プログラムがループに入っているか、またはプログラム・チェックで失敗しました。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは処理を続行し、メッセージ *msgno* をその元の宛先に出します。プログラム DFHAPEX を呼び出しているユーザー出口は、例外トレース項目を出して、ユーザーのメッセージ出口プログラムが失敗したことを示しています。しかし、メッセージ (ME) ・ドメインを

介して DFHAPEX 自体のエラー・メッセージを出すことはできません。なぜなら、エラー・メッセージを出すと、CICS がループに入ってしまうからです。

ユーザーの処置: メッセージ出口プログラムを使用不可にし、プログラムが正しく作動していることを確認してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

**DFHME0133** *applid* Message *msgno* could not be found in module DFHMEMGT.

説明: メッセージ・ドメインが、それ自体のエラー・メッセージの 1 つを出して、そのメッセージ・ドメインにエラーが発生したことを示そうとしました。しかし、メッセージ・ドメインは、それ自体の内部メッセージ・テーブル DFHMEMGT 内に、出そうとしたメッセージを見つけることはできませんでした。

システムの処置: トレース・テーブル内に、メッセージ・ドメインにより例外項目が作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これは重大なエラーではない可能性があるため、ダンプ・テーブル内で終了するよう指定した場合でも、CICS は終了しません。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。

問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSUME

宛先: コンソール

**DFHME0134** *applid* Message *msgno* has been truncated because it was too long.

説明: メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* の出力を試みましたが、そのメッセージが長すぎたため、切り捨てました。メッセージ *msgno* はオペレーターへの会話メッセージであり、最大サイズである 119 文字を超えました。

システムの処置: ME ドメインは、メッセージを出す前にそれを 119 バイトに切り捨てます。例外トレース項目が作成され、ダンプがとられますが、処理は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、*msgno* のメッセージ・テーブル内の定義が正しくないこと、またはそのメッセージに提供された挿入部により、会話メッセージに課されたサイズ制限を超えたことを示します。切り捨てられたメッセージから十分な情報が得られる場合には、エラーの影響はそれほど重大ではありません。必要に応じて、問題の解決に都合が良いときまで、このメッセージなしでシステムの実行を続行することができます。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

**DFHME0135** *applid* The default language *language* specified in the SIT NATLANG parameter is invalid. It has been defaulted to E.

説明: デフォルトの言語は、NATLANG システム初期設定パラメーターの先頭文字です。デフォルト言語 *language* は、有効な CICS 言語接尾部のリストにありません。

システムの処置: CICS はデフォルト言語の E (米国英語) で続行します。

ユーザーの処置: デフォルト言語の E を使用したくない場合は、NATLANG システム初期設定パラメーターの先頭文字を、別の有効な CICS 言語接尾部に変更してください。有効な CICS 言語接尾部については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHMESR

宛先: コンソール

**DFHME0136** *applid* Message *msgno* is missing from national language module *modname*. Searching the English message table for the message text.

説明: 各国語モジュール *modname* 内に *msgno* メッセージが見つからないため、指定の言語でこのメッセージを出すことができません。

この原因としては、メッセージ *msgno* を含んでいる PTF がモジュール *modname* に適用されていないことが考えられます。その場合には、欠落したメッセージのテキストは、英語のメッセージ・テーブル DFHMET1E 内にあります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。メッセージ・ドメインは、英語のメッセージ・テーブル内でそのメッセージを探します。そのメッセージが英語のメッセージ・テーブル内にもなかった場合には、メッセージ DFHME0108 が出され、続いてシステム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージの後にメッセージ DFHME0108 が出た場合は、CICS コードにエラーがあります。IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

**DFHME0137** *applid* Message *msgno* cannot be rerouted to a transient data destination by the message user exit XMEOUT.

説明: XMEOUT を介してメッセージ *msgno* を一時データ宛先に再経路指定できません。それは、再経路指定により、CICS がループに入ったためです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ出口により戻されたキュー宛先を無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* に定義された元の宛先をとります。

ユーザーの処置: メッセージ・ユーザー出口プログラムを変更して、メッセージ *msgno* が一時データ宛先に再経路指定され

## DFHME9993I • DFHME9999I

ないようにしてください。メッセージ・ドメインが未再経路指定標識を出口に渡すので、出口プログラムは、特定のメッセージを再経路指定することが有効かどうかを調べることができません。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

---

### DFHME9993I UNABLE TO DETERMINE LENGTH OF MESSAGE *msgno* - response reason

説明: メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ DFH *msgno* を、メッセージ・テーブルから見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMGPME

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHME9994I UNABLE TO RETRIEVE MESSAGE *msgno* - response reason

説明: メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ DFH *msgno* をメッセージ・テーブルから検索できませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMGPME

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHME9996I MESSAGE PARAMETER LIST ERROR - CHECK PLIST

説明: メッセージ生成処理のためのパラメーター・リストが無効です。

システムの処置: CICS は続行されますが、エラーが起こったメッセージは出されません。

ユーザーの処置: そのメッセージの DFHMGT 項目が正しく作成されていることを確認してください。

モジュール: DFHMGP00

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHME9997I MESSAGE FIND ERROR - CHECK THE MESSAGE MODULE

説明: 出そうとしているメッセージは、メッセージ生成処理において、このメッセージ・セットの DFHMGT テーブル項目内に検出できませんでした。

システムの処置: CICS は続行されますが、エラーが起こったメッセージは出されません。

ユーザーの処置: 適切な DFHMGT テーブル内に、そのメッセージ番号の項目が存在することを確認してください。

モジュール: DFHMGP00

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHME9998I MESSAGE NUMBERS GREATER THAN 9999 ARE INVALID

説明: 出そうとしているメッセージのメッセージ番号が、9999 より大きい番号です。メッセージ番号は 1 から 9999 の範囲でなければなりません。

システムの処置: CICS は続行されますが、エラーが起こったメッセージは出されません。

ユーザーの処置: メッセージ番号を再定義してください。

モジュール: DFHMGP00

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHME9999I THE MESSAGE INDEX MODULE 'DFHMGT' IS MISSING

説明: メッセージ生成処理は、出そうとしているメッセージの DFHMGT テーブル内に、索引モジュールを検出できません。これは、宛先がコンソールまたは一時データ・キューであると定義されたメッセージを、端末エンド・ユーザー・メッセージとして出そうとした場合に起こります。

システムの処置: CICS は続行されますが、エラーが起こったメッセージは出されません。

ユーザーの処置: 出されるメッセージの宛先が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHMGP00

宛先: 端末エンド・ユーザー

## DFHMNxxxx メッセージ

**DFHMN0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーがあることを示しています。他にも、予期しないデータが入力されたか、またはストレージが上書きされたことが考えられます。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、エラーが、例えばプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイのいずれであるかがわかります。さらに、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されています。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMNDM、DFHMNMN、DFHMNSR、DFHMNST、DFHMNSU、DFHMNTI、DFHMNUE

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, X'*offset*', *modname*  
宛先: コンソール

**DFHMN0002** *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。

コード X'*code*' は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem

Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *module* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMNDM、DFHMNMN、DFHMNTI、DFHMNSR、DFHMNST、DFHMNSU、DFHMNTI、DFHMNUE

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'*code*', *modname*  
宛先: コンソール

**DFHMN0003** *applid* Insufficient storage to satisfy Getmain (code X'*code*') in module *modname*.

説明: モジュール *modname* による要求を満たすための十分なストレージがありません。

コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーです。

DFHMNDM がこのメッセージを出した場合には、たとえダンプ・テーブル内で CICS が終了しないよう指定されていても、CICS は終了します。

DFHMNMN または DFHMNST のいずれかがこのメッセージを出した場合には、例外トレースおよびシステム・ダンプがとられ、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させら

れた場合には、関係のある終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからのもの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合は、問題は一時的なものである場合があります。その場合は、より多くのストレージが使用可能になると、自然に問題が解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHMNDM, DFHMNMN, DFHMNST

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHMN0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるため、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で測定) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要で。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHMNDM, DFHMNMN, DFHMNSR,

DFHMNST, DFHMNSU, DFHMNTI, DFHMNUE

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHMN0005** *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.

説明: モジュール *modname* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。  
システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられません。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これはおそらくハードウェア・エラーです。まずストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMNDM, DFHMNMN, DFHMNST, DFHMNUE

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *modname*, *X'code'*  
宛先: コンソール

---

**DFHMN0101** *applid* DMF error - DMF return code *X'rc'*.

説明: モニター・ドメイン許可サービス・ルーチンが DFHSMFEW マクロを出して、レコードを CICS データ管理機能 (DMF) データ・ハンドラーに書き込み、非ゼロ戻りコードを検出しました。

システムの処置: この要求は無視され、DMF レコードは失われます。例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。CICS 操作は続行されます。

同じエラー条件が継続して発生する場合には、これらのエラー・メッセージは抑止されますが、トレースは続行されます。異なるエラー条件が発生した場合、またはメッセージが最後に出されて以来、ゼロの戻りコードが受け取られた場合に、メッセージは再発行されます。

ユーザーの処置: 戻りコード *X'rc'* の詳しい説明については、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」の DFHEWTM マクロの説明を調べてください。  
モジュール: DFHMNSU

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'rc'*  
宛先: コンソール



**DFHMN0103I applid Monitoring control table for suffix 'xx' not found.**

説明: 接尾部 xx に関するモニター管理テーブルが、LIBDEF 検索チェーンに記述されたサブライブラリーにありませんでした。この接尾部は、MCT システム初期設定パラメーターに指定されています。

システムの処置: 制御がパラメーター・マネージャーに戻され、オペレーターと対話が行えるようになります。これ以降の処置は、どのオプションが PARMERR システム初期設定パラメーターに指定されているかによって異なります。オペレーターは別の接尾部を入力するか、またはシステム初期設定を続行することができます。

初期設定がオーバーライドなしで続行される場合、モニター・ドメインはデフォルトのモニター管理テーブルを使用します。ユーザーの処置: このエラーには、3 つの原因が考えられます。

- モニター管理テーブルが、LIBDEF 検索チェーンに記述されたサブライブラリー内にない。
- モニター管理テーブル名のつづりが誤っていた。
- 正しくない接尾部がスタートアップ時に使用された。

正しい接尾部が指定されていて、しかも LIBDEF 検索チェーンに記述されているサブライブラリーに、指定されたモニター管理テーブルのコピーが入っていることを確認してください。

接尾部に誤りがあり、PARMERR=INTERACT が指定されている場合には、オペレーターは代わりの接尾部を入力するよう促されます。

接尾部に誤りがあり、PARMERR=IGNORE が指定してある場合には、モニター・ドメインはデフォルトのモニター管理テーブルを使用します。

モニター管理テーブルが欠落しているかまたはつづりが誤っていて、しかもこれを再インストールしたい場合には、CICS を終了する必要があります。モニター管理テーブルを関係のあるサブライブラリーに再アセンブルしてください。

モジュール: DFHMNSR

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xx*

宛先: コンソール

**DFHMN0104 applid Monitoring Control Table with suffix 'xx' required for restart not found.**

説明: モニター・ドメインは、最後の CICS 実行からモニター管理テーブルの接尾部 xx を決定しましたが、LIBDEF 検索チェーンに記述されたサブライブラリー内のモニター管理テーブルを探し出すことができませんでした。また、指定変更接尾部が指定されていません。

CICS のこれ以降の実行では、SIT で接尾部が変更されるまで、引き続きメッセージに示されている接尾部が使用されません。

システムの処置: 初期設定は、デフォルトのモニター管理テーブルを使用して、モニター・ドメインで続行されます。

ユーザーの処置: LIBDEF 検索チェーンに記述されたサブライブラリーに、指定されたモニター管理テーブルのコピーが入っていることを確認してください。モニター管理テーブルが欠落している場合には、それは削除されたに違いありません。テー

ブルを再インストールしたい場合には、CICS を終了させる必要があります。モニター管理テーブルを関係のあるライブラリーに再アセンブルしてください。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xx*

宛先: コンソール

**DFHMN0105I applid Using default Monitoring Control Table.**

説明: モニター・ドメインは、デフォルトのモニター管理テーブルの設定値で初期設定を行っています。これは次のいずれかの場合に発生します。

1. ユーザーが MCT=NO を指定した場合
2. メッセージ DFHMN0104 の後
3. メッセージ DFHMN0103 またはメッセージ DFHMN0106

が出されたが訂正の処置はとられなかった場合

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHMN0106 applid Unable to read the catalog record for the Monitoring Domain.**

説明: モニター・ドメインが、モニター・クラスの状態、および CICS の最後の実行時にモニター・ドメインが実行されていたときのモニター管理テーブルの接尾部の再設定を試みしました。しかし、CICS グローバル・カタログ (DFHGCD) からレコードを正常に読み取ることができませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

システム初期設定は、与えられたシステム初期設定パラメーターで続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: (例えば、VSAM または VSE から) 出されたダンプまたは他の診断メッセージを使用して、エラーの原因を調べてください。

入出力エラーによって生じた問題の場合には、前に出された CICS メッセージがあるはずです。このメッセージに関するユーザーの処置に従ってください。

問題が無効なデータ長によって生じた場合には、トレース・テーブル内の例外トレース項目があるはずです。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHMN0107 applid Unable to update the catalog record for the Monitoring Domain.**

説明: モニター・ドメインが、モニター・クラスの状態、または CICS グローバル・カタログ内のモニター管理テーブル接尾

部のいずれかの更新を試みましたが、この要求を正常に完了することができませんでした。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、CICS 操作は更新値で続行されます。再始動が行われた場合、更新は保管されないで、CICS の次の実行は更新が適用される前に記録された値で再始動されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: (例えば、VSAM または VSE から) 出されたダンプまたは他の診断メッセージを使用して、エラーの原因を調べてください。

入出力エラーによって生じた問題の場合には、前に出されたカタログからの CICS メッセージがあるはずですが、このメッセージに関するユーザーの処置に従ってください。

問題が無効なデータ長によって生じた場合には、トレース・テーブル内に例外トレース項目があります。

モジュール: DFHMNSU

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHMN0108I *applid* Using Monitoring Control Table suffix 'xx'.

説明: この CICS 実行については、接尾部 *xx* の付いたモニター管理テーブルが使用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHMNDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *xx*

宛先: コンソール

#### DFHMN0109I *applid* CICS Monitoring is active.

説明: CICS モニター機能は、CICS のこの実行について現在活動状態になっています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHMNDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHMN0110I *applid* CICS Monitoring is inactive.

説明: CICS モニター機能は、CICS のこの実行について、現在非活動状態になっています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHMNDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHMN0201S Invalid parameter. The equals sign is missing.

説明: 等号を含まない SYSIPT パラメーターが検出されました。等号は、モニター辞書ユーティリティーがサポートするすべてのキーワードについて必須です。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 等号を持たない SYSIPT キーワードを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。DFHMNDUP キーワードの構文についての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

#### DFHMN0202S Invalid parameter. MCT incorrectly specified

説明: MCT= キーワードの等号の後に 2 文字のオペランドまたは 1 つの区切り文字が必要です。しかし、そのいずれもありませんでした。2 文字のオペランドは、ロードする MCT の接尾部として処理されます。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: MCT= キーワードを、有効なオペランドまたは区切り文字を使用して訂正してください。

特定の MCT から作成された辞書レコードが不要な場合には、等号の後にブランクまたはコンマを指定するか、あるいは MCT=NO を指定して、デフォルト MCT イメージを使用することができます。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

#### DFHMN0203S Invalid parameter. SYSID must be four characters or less.

説明: 4 文字を超える SYSID、またはオペランドを持たない SYSID キーワードが指定されました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 最高 4 文字までの有効な SYSID を指定してください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

#### DFHMN0204S Invalid parameter. GAPPLID must be eight characters or less.

説明: 8 文字を超える総称 APPLID (GAPPLID)、またはオペランドを持たない GAPPLID キーワードが指定されました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 最高 8 文字までの有効な GAPPLID を指定してください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHMN0205S Invalid parameter. SAPPLID must be eight characters or less.**

説明: 8 文字を超える特定の APPLID (SAPPLID) が指定されました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 最高 8 文字までの有効な SAPPLID を指定するか、または SAPPLID を指定しないことによって SAPPLID がデフォルトとして GAPPLID をとるようにしてください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHMN0206S Invalid parameter. DATE must be of format yyddd or yyyyddd.**

説明: 日付が正しく指定されていません。これには、3 つの理由が考えられます。

- 指定された日付が正しい形式 yyddd または yyyyddd ではない。
- 日付に非数値文字が含まれている。
- 「ddd」が 1 から 366 の範囲内に入っていない。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 日付が形式「yyddd」または「yyyyddd」になっていて、しかもこれらの値が有効であることを確認してください。

DATE がデフォルトとして現行日をとるようにしたい場合には、このパラメーターを指定しないでください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHMN0207S Invalid parameter. TIME must be of format hhmmss.**

説明: 時間が正しく指定されていません。これには、3 つの理由が考えられます。

- 6 文字を超える文字が指定された。
- 指定した値に非数値の文字が含まれている。
- 時間 (hh)、分 (mm)、または秒 (ss) が、有効範囲外の値になっている。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 指定した時間が形式「hhmmss」になっていて、しかもこれらの値が有効であることを確認してください。

TIME がデフォルトとして現行時間をとるようにしたい場合には、このパラメーターを指定しないでください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHMN0208S Invalid parameter. Keyword is unknown.**

説明: SYSIPT パラメーターが処理され、認識されないキーワードが含まれているのが見つかりました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 認識されないキーワードの名前を変更してください。サポートされるキーワードの完全なリストは、CICS 操作およびユーティリティーの手引きを参照してください。また、SYSIPT データ・セット内のどのキーワードの前にもブランクがないことを確認してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHMN0209S No SYSIPT parameters have been specified.**

説明: JCL 内に SYSIPT パラメーターが指定されていません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: SYSIPT パラメーターが JCL にあるかどうかを調べてください。SYSIPT がないか、またはパラメーターを持っていない場合、DFHMNDUP パラメーターのコーディングについて、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

---

**DFHMN0210S applid Load for MCT has failed. MCT cannot be found. A dump will be provided.**

説明: DFHMNDUP が LIBDEF 検索チェーンから「DFHMCTxx」のロードを試みました。ここで、「xx」は MCT= キーワードで提供される接尾部です。この MCT は、LIBDEF 検索チェーン内にありませんでした。

システムの処置: ジョブ・ステップは異常終了して、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: MCT 接尾部が正しくて、しかもこの接尾部を含むサブライブラリーがそのジョブ・ステップのための LIBDEF 検索チェーンに入っていることを確認してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: コンソール

---

**DFHMN0211S Storage obtain for control blocks has failed.**

説明: ユーティリティー・グローバル・ストレージを求める要求が失敗しました。区画内には、16 MB 境界より下に使用可能なストレージが十分にありません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: VSE 区画内で使用できるストレージを増やして、再び試してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

**DFHMN0212S Storage obtain for output record has failed.**

説明: 32KB レコード・バッファ・ストレージ用のストレージを求める要求が失敗しました。区画内には、16 MB 境界より下に、使用可能なストレージが十分にありません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: VSE 区画内で使用できるストレージを増やして、再び試してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

**DFHMN0214S Invalid parameter. Missing delimiter detected.**

説明: DFHMNDUP パラメーター構文では、キーワード/オペランドの対を、コンマまたはブランク・スペースの形式の区切り文字で分離する必要があります。区切り文字がキーワード/オペランドに欠落しています。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: SYSIPT データ・セットが、1 行に複数のパラメーターが入るようにコーディングされている場合には、各パラメーターの間にブランクまたはコンマが 1 つ入っていることを確認してください。SYSIPT データ・セットが、1 行に 1 つのパラメーターしか入らないようにコーディングされている場合には、そのパラメーターがブランクまたはコンマで終わっていることを確認してください。DFHMNDUP パラメーターの構文についての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

**DFHMN0215S Mandatory SYSIPT parameter(s) missing.**

説明: 2 つの必須パラメーターは、総称 APPLID (GAPPLID) および VSE システム識別名 (SYSID) 用のパラメーターです。これらの 2 つのパラメーターが指定されておらず、しかもデフォルトもありません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 以下について指定してください。

- DFHMNDUP が辞書レコードを作成する予定の CICS システムの総称アプリケーション ID
- 処理する予定のモニター・パフォーマンス・クラス・レコードを作成したシステムの VSE システム識別名

DFHMNDUP パラメーターの構文についての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

**DFHMN0216S Invalid parameter. JOBNAME must be eight characters or less.**

説明: 8 文字を超えた JOBNAME が指定されています。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 8 文字以下の有効な JOBNAME を指定して

ください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

**DFHMN0217S Invalid parameter. JOBDATE must be of format yyddd or yyyyddd.**

説明: JOBDATE パラメーターが正しく指定されていません。これには、3 つの理由が考えられます。

- 指定された日付が正しい形式 yyddd または yyyyddd ではない。
- 非数字が指定されている。
- 日数の「ddd」が、1 から 366 の範囲内がない。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: JOBDATE が「yyddd」または「yyyyddd」の形式の有効な文字で構成されていることを確認してください。

JOBDATE がデフォルトとして現行日をとるようにしたい場合には、このパラメーターを指定しないでください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

**DFHMN0218S Invalid parameter. JOBTIME must be of format hhmmss.**

説明: JOBTIME パラメーターが正しく指定されていません。これには、3 つの理由が考えられます。

- 6 文字を超えて指定されている。
- 非数字が指定されている。
- 時間 (hh)、分 (mm)、または秒 (ss) が、有効範囲外の値になっている。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: JOBTIME が「hhmmss」の形式の有効な文字で構成されていることを確認してください。

JOBTIME がデフォルトとして現行時間をとるようにしたい場合には、このパラメーターを指定しないでください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

**DFHMN0219S Invalid parameter. USERID must be eight characters or less.**

説明: 8 文字を超えた USERID が指定されています。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 8 文字以内の有効な USERID を指定してください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSLST

**DFHMN0220 DFHMNDUP CANNOT OPEN THE SYSLST FILE.**

説明: SYSLST DLBL ステートメントが欠落しているか、または正しく定義されていないため、SYSLST ファイルがオープンできません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: SYSLST DLBL ステートメントが正しく定義されていることを確認してください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: コンソール

**DFHMN0221 DFHMNDUP CANNOT OPEN THE SYSIPT FILE.**

説明: SYSIPT DLBL ステートメントが欠落しているか、または正しく定義されていないため、SYSIPT ファイルがオープンできません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: SYSIPT DLBL ステートメントが正しく定義されていることを確認してください。詳細については、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: コンソール

**DFHPAxxxx メッセージ****DFHPA0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.**

説明: 予期せぬプログラム・チェック、または異常終了コード aaa/bbbb のオペレーティング・システム異常終了が、モジュール modname のオフセット X'offset' で発生しました。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊が原因である場合があります。

コード aaa/bbbb は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの applid にアクセスできない場合があります。このような状態で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの applid 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: このシステム異常終了コードについて特に抑止しない限りシステム・ダンプがとられます。さらに、ダンプ・テーブルを介して終了が要求されていない限り、システムは操作を続行しようとします。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうかが決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール modname が、ユーザーの CICS システムの実行に

不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール modname を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPAGP、DFHPADM、DFHPAIO

XMEOUT パラメーター: applid、aaa/bbbb、X'offset'、modname  
宛先: コンソール

**DFHPA0002 applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.**

説明: モジュール modname 内にエラーが検出されました。

コード X'code' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの applid にアクセスできない場合があります。このような状態で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの applid 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられません。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール

## DFHPA0004 • DFHPA1103

*modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPADM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*', *modname*  
宛先: コンソール

---

### DFHPA0004 *applid* A possible loop has been detected at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'*offset*' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージで示された CICS モジュールが終了し、CICS が続行することを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem

Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPADM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*offset*', *modname*

宛先: コンソール

---

### DFHPA1100 *applid* OVERRIDE PARAMETERS FROM JCL EXEC STATEMENT: *parm*

説明: CICS 初期設定中にこのメッセージが表示され、CICS ジョブ用の JCL EXEC ステートメントの PARM パラメーターから取得される SIT の指定変更を示します。パラメーター・ストリング *parm* に 40 文字以下の文字が含まれる場合は、このメッセージに示されます。それ以外の場合は、このメッセージの後の DFHPA1927 メッセージに示されます。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

---

### DFHPA1101 *applid* DFHSITxx IS BEING LOADED.

説明: これは、CICS 初期設定時に表示される通知メッセージです。

*xx* (存在する場合) は、使用中の SIT に関する 1 文字ないし 2 文字の接尾部を表しています。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

### DFHPA1102 *applid* OVERRIDE PARAMETERS FROM SYSIPT:

説明: このメッセージは、SYSIPT データ・セットから取得された SIT 指定変更値が表示される前に、CICS 初期設定中に表示されます。このメッセージの後に、SYSIPT レコードの実際の内容を示す一連の DFHPA1927 メッセージが出されます。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

---

### DFHPA1103 *applid* END OF FILE ON SYSIPT.

説明: これは、CICS が SYSIPT データ・セットの最後に達したときに表示される通知メッセージです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状

況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: システム初期設定を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHPAIO  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1104** *applid* SPECIFY ALTERNATIVE SIT PARAMETERS, IF ANY, AND THEN TYPE '.END'.

説明: 「CONSOLE」または「CN」が、CICS JCL の EXEC ステートメント上のパラメーター入力ストリーム、または SYSIPT データ・セット内のいずれかに検出された場合、このプロンプト・メッセージは、パラメーター (PA) マネージャーがコンソール指定変更値を受け入れる準備が整ったときに表示されます。  
 システムの処置: システム初期設定プログラムは、オペレーターからの応答を待ちます。  
 ユーザーの処置: 必要なパラメーターの変更を入力して、コマンドで区切ってください。「.END」を入力して応答を終了してください。  
 モジュール: DFHPAIO  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1105** *applid* CONTINUE SPECIFYING SIT PARAMETERS AND THEN TYPE '.END'.

説明: SIT 指定変更値をコンソール上に入力している間に、このプロンプト・メッセージは、前の行が「.END」で終わらなかった場合に、もっと指定変更値を要求するために表示されます。  
 システムの処置: システム初期設定プログラムは、オペレーターにより指定変更パラメーターがさらに入力されるのを待ちます。  
 ユーザーの処置: 必要なパラメーターの変更を引き続き入力して、コマンドで区切ってください。「.END」を入力して応答を終了してください。  
 モジュール: DFHPAIO  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1106** *applid* MODULE DFHSITxx COULD NOT BE LOADED. SPECIFY NEW SUFFIX, 'NONE'(UNSUFFIXED) OR 'CANCEL'.

説明: PA ドメイン初期設定時に、接尾部 *xx* を持った SIT をロードすることができませんでした。  
 初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: PA ドメイン初期設定ルーチンは、オペレーターが、別の 1 文字ないし 2 文字の接尾部を入力するか、接尾部なしの SIT を要求するために YES を入力するか、または CANCEL を入力するのを待ちます。CANCEL が入力されると、CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: 接尾部が正しいかどうかを確認してください。正しくない場合には、正しい接尾部を入力するか、もしくは「YES」を入力して接尾部なしのものにしてください。それ以外の場合には「CANCEL」を入力して、(モジュールを該当するライブラリーに追加することにより) エラーを修正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHPADM  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1107** *applid* A level VERSION OF MODULE DFHSITxx WAS LOADED. CICS CAN ONLY INITIALIZE WITH THE CURRENT LEVEL SIT.

説明: PA ドメイン初期設定時に、接尾部 *xx* およびリリース・レベル *level* の SIT がロードされました。このバージョンは現行 CICS コードと互換性がないので、CICS は異常終了します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: エラーを訂正するには、現行の CICS レベルで SIT を再アセンブルしてください。新しいリリースに必要な場合がある SIT の変更の手引きについては、「CICS Transaction Server for OS/390 マイグレーション・ガイド」を参照してください。その後で CICS の再始動を行ってください。

他にも、システムが間違った SIT を指し示している場合があります。この 2 番目の問題を訂正するには、立ち上げ JCL を調べて、「SIT=」指定変更が正しいことを確認してください。システム初期設定パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS System Definition Guide」を参照してください。さらに、ライブラリー検索順序を調べて、はぐれた SIT (知らないうちに存在する可能性がある) を除去してあるか、または名前を変更してあることを確認してください。  
 モジュール: DFHPADM  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1108** *applid* DFHSITxx HAS BEEN LOADED. (GENERATED AT MM/DD= mm/dd HH/MM= hh/mm).

説明: これは、CICS 初期設定時に表示される通知メッセージです。これは、ロードされたシステム初期設定テーブルが生成された日時を表示します。  
 • *xx* は、使用される SIT の接尾部です。  
 • *mm/dd* は、その SIT が生成された日付 (月日) です。  
 • *hh/mm* は、その SIT が生成された時刻 (24 時間表示の時と分) です。  
 システムの処置: CICS の初期設定を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHPADM  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1901** *applid modname* COULD NOT BE FOUND. CICS IS TERMINATED.

説明: DFHPASYL または DFHPAIO のいずれかのロードを試みている間に、エラーが発生しました。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

## DFHPA1902 • DFHPA1909

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: ロードに失敗したモジュールの問題を訂正してください。

例えば、モジュール *modname* が、CICS により使用されるプログラム・ライブラリーの中に実際に存在するかどうかを調べてください。JCL を調べて、正しい名前、正しいライブラリー、およびライブラリー内の正しいメンバーが使用されていることを確認してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

### DFHPA1902 *applid* UNABLE TO OPEN SYSIPT DATA SET. CICS IS TERMINATED.

説明: SYSIPT データ・セットのオープンを試みている間に、エラーが発生しました。これは、SYSIPT データ・セットが存在しない場合に発生します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SYSIPT データ・セットが存在しており、しかもそれが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

---

### DFHPA1903 *applid* ERROR WHILE READING FROM SYSIPT DATA SET. CICS IS TERMINATED.

説明: SYSIPT データ・セットからのレコードの読み取りを試みている間に、エラーが発生しました。これは、SYSIPT データ・セットが破壊されたか、または正しく定義されていない場合 (例えば、論理レコード長 LRECL が 80 で定義されていない場合) に、発生する可能性があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SYSIPT データ・セットの問題を訂正してください。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

---

### DFHPA1907 *applid* SIT DATA *data* IS INVALID FOR KEYWORD *keyword*. KEYWORD IS IGNORED.

説明: このメッセージは、SIT のキーワードまたは SIT 指定変更値のいずれかについて指定されたデータが無効である場合、しかも PARMERR=IGNORE オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。

- *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

- *data* は無効なデータのことです。

システムの処置: このキーワードは無視されます。CICS は、エラーになっているキーワードを使用しないで初期設定を試みます。

ユーザーの処置: CICS の再始動を行う前に、SIT 内または CICS 入力 JCL 内のいずれかに指定されているキーワードについて有効な値を指定して、エラーを訂正してください。この実行方法については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

---

### DFHPA1908 *applid* SIT DATA *data* IS INVALID FOR KEYWORD *keyword*. CICS IS TERMINATED.

説明: このメッセージは、SIT のキーワードまたは SIT 指定変更値のいずれかについて指定されたデータが無効である場合、そして PARMERR=ABEND オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。

- *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

- *data* は無効なデータのことです。

このメッセージは、キーワード MCT 用のデータがエラーになっている場合にのみ出されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: CICS の再始動を行う前に、SIT 内または CICS 入力 JCL 内のいずれかに指定されているキーワードについて有効な値を指定して、エラーを訂正してください。この実行方法については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

---

### DFHPA1909 *applid* SIT DATA *data* IS INVALID FOR KEYWORD *keyword*. RESPECIFY KEYWORD AND DATA.

説明: このメッセージは、SIT のキーワードまたは SIT 指定変更値のいずれかについて指定されたデータが無効である場合、そして PARMERR=INTERACT オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に出されます。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

- *data* は無効なデータのことです。

注: PARMERR=INTERACT は、無効なキーワード・データのためのデフォルトの処置です。

システムの処置: CICS は、オペレーターがコンソール上で訂正済みキーワードおよびデータを指定変更値として入力するのを待ってから、この指定変更値の分析を行います。

ユーザーの処置: 訂正済み SIT キーワードおよびデータをコンソール上で入力するか、または「END」を入力してパイパスするか、または単にブランク行を入力してください。この実行方法については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPAGP



宛先: コンソール

---

**DFHPA1910** *applid* SIT OVERRIDE *keyword* IS NOT RECOGNIZED. OVERRIDE IS IGNORED. (MODULE *modname*).

説明: このメッセージは、入力指定変更パラメーター・ストリームに指定されているキーワードが無効で、しかも PARMERR=IGNORE オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に出されます。挿入部 *keyword* は無効なキーワードのことで、

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: キーワードが無視され、CICS はエラーのキーワードを使用しないで初期設定を試みます。  
 ユーザーの処置: 指定されたキーワードが正しいことを確認し、CICS の次の初期設定を行う前に、訂正したキーワードで CICS 入力 JCL を更新してください。  
 モジュール: DFHPADM、DFHPAGP  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1911** *applid* SIT OVERRIDE *keyword* IS NOT RECOGNIZED. CICS IS TERMINATED.

説明: このメッセージは、入力指定変更パラメーター・ストリームに指定されているキーワードが無効で、しかも PARMERR=ABEND オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。挿入部 *keyword* は無効なキーワードのことで、

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: SIT 指定変更値内に有効なキーワードを指定することによりエラーを訂正して、CICS を再始動してください。この実行方法については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。  
 モジュール: DFHPADM  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1912** *applid* SIT OVERRIDE *keyword* IS NOT RECOGNIZED. SPECIFY CORRECT SIT OVERRIDE.

説明: このメッセージは、入力指定変更パラメーター・ストリームに指定されているキーワードが無効で、しかも PARMERR=INTERACT オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に出されます。挿入部 *keyword* は無効なキーワードのことで、  
 PARMERR=INTERACT は、無効な SIT 指定変更値のためのデフォルトの処置であることに注意してください。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: CICS は、オペレーターがコンソール上で訂

正済み指定変更値を入力するのを待ってから、この指定変更値の分析を行います。

ユーザーの処置: 訂正済み SIT 指定変更値をコンソール上で入力するか、または「.END」を入力してバイパスするか、または単に空白行を入力してください。

モジュール: DFHPADM  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1913** *applid* INVALID DATA HAS BEEN DETECTED FOR SIT OVERRIDE *keyword* BY MODULE *modname*. OVERRIDE IS IGNORED.

説明: このメッセージは、次のような状態の場合に出されません。

- SIT 指定変更のために与えられたデータが構文上無効であり、かつ PARMERR=IGNORE システム初期設定パラメーターが指定されている場合。挿入部 *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードを示します。
- PARMERR=INTERACT が指定されているが、ユーザーが前の無効な SIT キーワードまたは値を訂正しようと試みている場合に、無効なデータへの応答として。この場合には、メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 がこのメッセージの次に表示され、最初に出されたエラーに対する訂正を入力するよう催促します。
- 無効なデータが、コンソールから入力できない (そのため、コンソールとの対話で訂正することができない) キーワードに関して PARM または SYSIPT で渡されたとき、PARMERR=INTERACT が指定されている場合。これは通常、セキュリティ・キーワードに当てはまります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: キーワードが無視され、CICS はエラーのキーワードを使用しないで初期設定を試みます。  
 ユーザーの処置: 指定された値が正しいことを確認し、CICS の次の初期設定を行う前に、訂正したキーワードで CICS 入力 JCL を更新してください。  
 モジュール: DFHPADM、DFHPAGP  
 宛先: コンソール

---

**DFHPA1914** *applid* INVALID DATA HAS BEEN DETECTED FOR SIT OVERRIDE *keyword*. CICS IS TERMINATED.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更値のために指定されたデータが構文上無効で、しかも PARMERR=ABEND オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。

挿入部 *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードを示します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。  
 システムの処置: CICS は異常終了します。

## DFHPA1915 • DFHPA1919

ユーザーの処置: SIT 指定変更値内に有効なキーワードの値を指定することによりエラーを訂正して、CICS を再始動してください。この実行方法については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

### DFHPA1915 *applid* INVALID DATA HAS BEEN DETECTED FOR SIT OVERRIDE *keyword*. RESPECIFY THE OVERRIDE.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更のために指定されたデータが構文上無効であるか、または 2 ギガバイト以上の数値である場合に表示されます。これは、PARMERR=INTERACT オプションが SIT 内に、または指定変更として指定されている場合にのみ表示されます。

挿入部 *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードを示します。

注: PARMERR=INTERACT は、無効な SIT 指定変更値のためのデフォルトの処置です。

システムの処置: CICS は、オペレーターがコンソール上で訂正済み指定変更値を入力するのを待ってから、この指定変更値の分析を行います。

ユーザーの処置: 訂正済み SIT 指定変更値をコンソール上で入力するか、または「.END」を入力してバイパスするか、または単に空白行を入力してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

### DFHPA1916 *applid* SIT OVERRIDE DATA *data* IS OUT OF RANGE FOR KEYWORD *keyword*. OVERRIDE IS IGNORED.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更値に与えられたデータが有効な範囲外で、しかも PARMERR=IGNORE オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。

- *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードのことです。
- *data* は無効なデータのことです。

システムの処置: このキーワードは無視されます。CICS は、エラーになっているキーワードを使用しないで初期設定を試みます。

ユーザーの処置: 指定された値が正しいことを確認し、CICS の次の初期設定を行う前に、訂正したキーワードで CICS 入力 JCL を更新してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

---

### DFHPA1917 *applid* SIT OVERRIDE DATA *data* IS OUT OF RANGE FOR KEYWORD *keyword*. CICS IS TERMINATED.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更値に指定されたデータが有効な範囲外で、しかも PARMERR=ABEND オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。

- *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

- *data* は無効なデータのことです。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SIT 指定変更値内に有効なキーワードの値を指定することによりエラーを訂正して、CICS を再始動してください。この実行方法については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

---

### DFHPA1918 *applid* SIT OVERRIDE DATA *data* IS OUT OF RANGE FOR KEYWORD *keyword*. RESPECIFY THE OVERRIDE.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更値に指定されたデータが有効な範囲外で、しかも PARMERR=INTERACT オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。

- *keyword* は、データがエラーになっているキーワードのことです。

- *data* は無効なデータのことです。

注: PARMERR=INTERACT は、無効な SIT 指定変更値のためのデフォルトの処置です。

システムの処置: CICS は、オペレーターがコンソール上で訂正済み指定変更値を入力するのを待ってから、この指定変更値の分析を行います。

ユーザーの処置: 訂正済み SIT 指定変更値をコンソール上で入力するか、または「.END」を入力してバイパスするか、または単に空白行を入力してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

---

### DFHPA1919 *applid* SPECIFIED DATA IS INCORRECT. ALL SUBSEQUENT OVERRIDES ON THIS LINE IGNORED.

説明: キーワードの無効値が、メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 が出された後で入力されました。CICS は、無効な値に続く指定変更値を分析することができません。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 を使用して、引き続き訂正済み指定変更値を入力するよう催促します。

ユーザーの処置: 訂正済みの SIT 指定変更値を入力し、データがそのキーワードの有効範囲内にあることを確認してください。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することはできません。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1920I** *applid* SIT KEYWORD *keyword* AND ALL  
SUBSEQUENT OVERRIDES ON THIS  
LINE IGNORED.

説明: メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 に応答して、無効なキーワードが入力されました。CICS は、無効な値に続く指定変更値を分析することができません。

挿入部 *keyword* は無効なキーワードのことです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 を使用して、引き続き訂正済みキーワードを入力するよう催促します。

ユーザーの処置: 訂正済みの SIT 指定変更値を入力してください。その際、キーワードが有効であることを確認してください。

この実行方法については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

このメッセージは、SIT パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができません。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1921** *applid* PLEASE SPECIFY THE REQUIRED  
SIT SUFFIX, OR SPECIFY  
'NONE'(UNSUFFIXED).

説明: システム初期設定テーブル (SIT) は、CICS が初期設定を行うために必要な情報を保持しています。これは、事前初期設定時にロードされます。ユーザーは 1 文字または 2 文字の接尾部を指定して、どちらの SIT をロードするかを識別します。接尾部なしのデフォルト SIT を使用するには、「SIT=NO」と応答します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システムは、指定された SIT (見つけられた場合) をロードし、使用します。それ以外の場合には、ユーザーは有効な接尾部を入力するよう催促されます。

ユーザーの処置: このメッセージに応答して「SIT=xx」を入力してください。ここで、xx は使用される SIT 接尾部を表しています。(「NO」の接尾部により、接尾部なしの SIT をシステムにロードさせます。)

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1922I** *applid* SPECIAL KEYWORD *keyword* HAS  
BEEN REPEATED AND IS IGNORED.

説明: 2 つの特殊なキーワードがあり、それぞれに省略形があります。最初のキーワードは SYSIPT で、省略形は SI です。2 番目のキーワードは CONSOLE で、省略形は CN です。これらのキーワードは、SYSIPT データ・ストリームおよびコンソールからそれぞれ SIT 指定変更値を読み取るように CICS に対して指示します。

システムは、これらのキーワードの 1 つに重複を見つけました。JCL を修正する必要があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 指定された特殊なキーワードの 2 番目のものを削除することにより、JCL を訂正してください (CICS システム初期設定パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS System Definition Guide」を参照してください。)

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することはできません。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1923I** *applid* SPECIAL KEYWORD *keyword* HAS  
BEEN DEFINED OUT OF CONTEXT.

説明: 2 つの特殊なキーワードがあり、それぞれに省略形があります。最初のキーワードは SYSIPT で、省略形は SI です。2 番目のキーワードは CONSOLE で、省略形は CN です。これらのキーワードは、SYSIPT データ・ストリームおよびコンソールからそれぞれ SIT 指定変更値を読み取るように CICS に対して指示します。

SYSIPT は、SYSIPT データ・ストリームまたはコンソールのいずれからも指定することができません。CONSOLE は、コンソールから指定することができません。

システムが、上記で説明した状態のいずれかにある指定キーワード *keyword* を検出しました。したがって、JCL は修正する必要があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 指定されている特殊キーワードを除去することにより JCL を訂正してください。(CICS システム初期設定パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS System Definition Guide」を参照してください。)

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することはできません。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

---

**DFHPA1924I** *applid* INITIALIZATION PARAMETER  
*parm1* EXCEEDS *parm2*. BOTH ARE  
 DEFAULTED. (MODULE *modname*).

説明: 次の 2 つの状態のうちのいずれかが起きました。

- パラメーター *parm1* が、指定変更により、パラメーター *parm2* より大きく設定された。
- パラメーター *parm1* は、SIT マクロで、ある特定レベルに設定されたが、パラメーター *parm2* は、パラメーター *parm1* より小さくなるよう指定変更で変更された。

いずれの場合も、この条件は無効です。したがって、デフォルト値が両方のパラメーターに適用されます。

システムの処置: 両方のパラメーターがそれぞれのデフォルト値に設定され、システム初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: CICS の次の立ち上げのために *parm2* が *parm1* よりも大きくなるように、システム初期設定パラメーターを変更してください。(システム初期設定パラメーターのコーディングについての詳細は、「CICS System Definition Guide」を参照してください。)

CICS 初期設定は、デフォルト値で続行されます。その後、ユーザーは、CICS 提供のトランザクションを使用してデフォルト値を変更することができます。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することはできません。

モジュール: DFHPADM、DFHPAGP

宛先: コンソール

---

**DFHPA1926** *applid* A MISSING DELIMITER HAS BEEN  
 DETECTED FOR OVERRIDE *keyword*  
 (MODULE *modname*).

説明: SIT 指定変更値 *keyword* に与えられたデータが、正しく区切られていませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SYSIPT データ・セットのデータにオープンまたはクローズの区切り文字を入力することによって、データ・セット内の指定済み指定変更値を訂正してください。

CICS を再始動してください。

キーワード *keyword* の必須区切り文字については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1927** *applid text*

説明: このメッセージは、CICS 初期設定中に表示され、DFHSIT マクロにコーディングされたシステム初期設定パラメーターを指定変更するパラメーターを示します。このメッセージがメッセージ DFHPA1100 の後に出される場合、*text* は、JCL EXEC ステートメントからの PARM パラメーターの内容を示します。このメッセージがメッセージ DFHPA1102 の後に出される場合、*text* は、SYSIPT データ・セットから読み取られたレコードの内容を示します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

---

**DFHPA1928** *applid* IF XRF=YES, THE GENERIC AND  
 SPECIFIC APPLIDS MUST BE  
 DIFFERENT. CICS IS TERMINATED.

説明: XRF CICS システムでは、総称 *applid* および特定の *applid* を定義する必要があります。これらは固有なものでなければなりません。

このメッセージは、これらの両方の *applid* (SIT 指定変更値として定義されている) が XRF 環境内で同一であることがわかった場合に表示され、CICS は終了します。

このメッセージは、総称 *applid* のみが定義された場合にも表示されません。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 総称および特定の *applid* の両方を SIT 指定変更値として定義することにより、エラーを訂正してください。これらが固有であることを確認してください。これを行う方法についての詳細は、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1930** *applid* CSDFRLOG=*nm* HAS BEEN  
 IGNORED AS CSDRECOV=ALL HAS  
 NOT BEEN SPECIFIED.

説明: 順方向リカバリー・ログ値を CSDFRLOG キーワードに指定した場合、CSDRECOV キーワードには値 ALL を指定する必要があります。しかし、指定変更パラメーター・ストリームが SIT 値を指定変更したために、この要件が満たされませんでした。

システムの処置: 初期設定の続行を可能にするために、CSDFRLOG 値は無視されました。CSDFRLOG が無視されたために、入力 JCL に定義してある CICS CSD は順方向リカバリー・ロギングに関して適格ではありません。

ユーザーの処置: 次の CICS の初期設定を行う前に、CSDFRLOG キーワードおよび CSDRECOV キーワードに正しい値を与えて CICS 入力 JCL を更新してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1931** *applid keyword* IS A SECURITY KEYWORD  
 AND CANNOT BE ENTERED AT THE  
 CONSOLE. THE KEYWORD IS IGNORED.

説明: SIT 指定変更値がコンソールから入力されましたが、これは一連のセキュリティー・システム初期設定パラメーターのメンバーであると思われます。セキュリティー・システム初期設定パラメーターは、コンソールからは入力できません。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS はセキュリティー SIT 指定変更値を無視し、初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: CICS 入力 JCL を更新して、次の CICS の

初期設定の前に、セキュリティ・キーワードが SIT、SYSIPT  
または PARM に含まれるようにしてください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1932** *applid* A PSDINT VALUE GREATER THAN  
ZERO WAS SPECIFIED WITH XRF=YES.  
PSDINT HAS BEEN RESET TO 0.

説明: オプションの対立が検出されました。ユーザーは、  
PSDINT システム初期設定パラメーターに非ゼロ値を指定し  
て、持続セッション・サポートを要求しました。このパラメー  
ターは、持続セッションの遅延間隔を設定するために使用され  
ます。しかし、ユーザーは XRF=YES を指定することによっ  
て、XRF サポートも要求しました。持続セッション・サポー  
トと XRF は、同時に指定することはできません。

システムの処置: PSDINT 値はデフォルトとして 0 をとります。  
CICS は XRF サポートで続行を試みます。

ユーザーの処置: 次回の CICS の初期設定を行う前に、  
PSDINT=0 または XRF=NO のいずれかになるようにシステム  
初期設定パラメーターを変更してください。詳細については、  
「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1935** *applid keyword* IS A SECURITY KEYWORD.  
THIS KEYWORD AND ALL  
SUBSEQUENT KEYWORDS ON THIS  
LINE ARE IGNORED.

説明: SIT 指定変更値がコンソールから入力されましたが、こ  
れは一連のセキュリティ・システム初期設定パラメーターの  
メンバーであると思われます。セキュリティ・システム初期  
設定パラメーターは、コンソールからは入力できません。  
CICS は、セキュリティ・キーワードに続く指定変更値を分  
析することができません。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザー  
の *applid* にアクセスできない場合があります。このような状  
況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォ

ルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、セキュリティ SIT 指定変更  
値、およびこれ以降この行に入力されるすべての指定変更値を  
無視します。初期設定を続行します。

ユーザーの処置: CICS 入力 JCL を更新して、次の CICS の  
初期設定の前に、セキュリティ・キーワードが SIT、SYSIPT  
または PARM に含まれるようにしてください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

**DFHPA1940** *applid* WRONG VERSION OF CICS SVC  
MODULE DFHCSVC IN SVA.

説明: CICS は、CICS SVC モジュール DFHCSVC を妥当性  
検査しましたが、それは CICS のこのリリースには正しくない  
バージョンです。CICS は、正しいバージョンの DFHCSVC  
がないと機能できません。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: DFHCSVC の正しいバージョンを SVA に  
インストールすることでエラーを訂正してから、CICS を再始  
動してください。この実行方法については、「CICS System  
Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

---

**DFHPA1945** *applid sitname* MUST BE LINK-EDITED  
WITHOUT THE SVA OPTION. CICS IS  
TERMINATED.

説明: システム初期設定テーブル *sitname* は、SVA オプショ  
ンが指定されてリンク・エディットされました。このオプショ  
ンは、CICS がそれを読取専用ストレージにロードすることを  
意味します。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: SVA オプションを指定しないで、システム  
初期設定テーブルをもう一度連係する必要があります。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

---

## DFHPCxxxx メッセージ

---

**DFHPC0401** *applid Abend abcode* issued by *yyy* task.

説明: CICS が、CICS トランザクション異常終了コード  
*abcode* を出して異常終了しました。*yyy* は、例えば TCP (端末  
管理) のように、タスクを識別するものです。

タスクの異常終了が、システム・タスクに対して要求されまし  
た。システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。  
システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。  
ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abcode*  
の説明を参照してください。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター: *applid*、*abcode*、*yyy*

宛先: コンソール

---

**DFHPC0402** *applid* Error with kernel error code *errorcode*  
has occurred while processing transaction  
abend *abcode* in transaction *tranid*

説明: トランザクション異常終了の処理中に、プログラム・チ

ェック、異常終了、ループ、または 2 番目のトランザクション  
異常終了が起こり、CICS は最初のトランザクション異常終了  
を完了することができません。

システムの処置: CICS 処理は終了します。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部処理における重大エラー  
です。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手  
順については、「CICS System Definition Guide」の第 4 部を  
参照してください。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター: *applid*、*errorcode*、*abcode*、*tranid*

宛先: コンソール

---

**DFHPC0405** *applid* Abend *abcode2* has been issued while  
processing abend *abcode1* for the same task,  
transaction *tranid*.

説明: トランザクション *tranid* が異常終了コード *abcode1* を  
出して異常終了しました。CICS がトランザクション *tranid*  
をバックアウトしているときに、別の異常終了 (すなわち、

*abcode2*) が起こりました。そのため、CICS は、先に起こった異常終了 *abcode* を正しく処理できませんでした。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 異常終了 *abcode1* が起こった原因を調べてください。CICS 異常終了処理内のエラーが原因となっている可能性もあります。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *abcode2*, *abcode1*, *tranid*

宛先: コンソール

#### DFHPC0408 *applid* Abend *abcode* has been issued during post commit processing, transaction *tranid*.

説明: トランザクション *tranid* のコミット後の処理中に、トランザクションが異常終了 *abcode* を出しました。トランザクションのコミット後の処理中に異常終了が起きたということは、リソース・マネージャーが同期点処理を正しく行えず、そのためデータの整合性が不確かであるということを意味します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abcode* の説明を参照してください。

モジュール: DFHABAB

## DFHPDxxxx メッセージ

#### DFHPD0101 Pointer to xxxxxxxx at offset X'offset' is invalid.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロック (そのアドレスは、形式設定されたばかりのブロックのオフセット *offset* である) を指すポインターが無効です。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 要求された区域を指すポインターが破壊されているか、ポインターが初期化されていなかったか、またはアドレスは有効でもその区域がダンプに存在しなかったかのいずれかです。後者では、この区域が問題を診断する上で不可欠である場合には、欠落した区域を含む新規のダンプを得る必要があります。

ストレージがダンプ内に存在し、ポインターがそのアドレスで初期設定されているが、ストレージが CICS コードによって参照されていないということもあります。ダンプ内のこのアドレスのストレージをブラウズして、この点を検査することができます。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0102 Pointer to xxxxxxxx at offset X'offset' is zero.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロック (そのアドレスは、形式設定されたばかりのブロック内のオフセット *offset* である) を指すポインターがゼロです。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: この区域は破壊されているか、もしくは正しく設定されていません。ゼロ値が有効である可能性もあります。これはダンプ収集の環境やタイミングによります。例えば、ゼロ値はブロックが初期設定される前には有効です。

モジュール: DFHPD430

XMEOUT パラメーター: *applid*, *abcode*, *tranid*

宛先: コンソール

#### DFHPC0409 *applid* Abends *abcode2* and *abcode3* have been issued while processing abend *abcode1* for the same task, transaction *tranid*.

説明: タスクは異常終了し、異常終了コード *abcode1* が出されました。この異常終了の処理中に、そのタスクは異常終了コード *abcode2* および *abcode3* の順序で (CICS コードで) さらに 2 回異常終了しました。永続異常終了ループに入っている可能性があります。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abcode1* の説明を参照してください。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS System Definition Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *abcode2*, *abcode3*, *abcode1*, *tranid*

宛先: コンソール

宛先: SYSLST

#### DFHPD0103 xxxxxxxx address X'address' is invalid.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックのアドレス *address* が無効です。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 要求された区域を指すポインターが破壊されているか、ポインターが初期化されていなかったか、またはアドレスは有効でもその区域がダンプに存在しなかったかのいずれかです。後者では、この区域が問題を診断する上で不可欠である場合には、欠落した区域を含む新規のダンプを得る必要があります。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0104 Address of xxxxxxxx is zero.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックのアドレスがゼロです。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: この区域は破壊されているか、もしくは正しく設定されていません。ゼロ値が有効である可能性もあります。これはダンプ収集の環境やタイミングによります。例えば、ゼロ値はブロックが初期設定される前には有効です。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0105 A loop has been detected. xxxxxxxx at address X'address' already encountered.

説明: 形式設定プログラムは、重複したアドレスがないかどうかを調べることにより、破壊された制御ブロック連鎖によるループが生じないようにします。アドレス *address* のブロック

xxxxxxx がすでに検出され、すでに形式設定されていた可能性があります。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: すでに処理されている同じタイプの制御ブロックのチェーン・フィールドを調べてください。それが原因ではない場合、例えば、ブロックが初期設定される前にこれが起きたときには、これはダンプ収集のタイミングによって問題が引き起こされた可能性があります。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0106 An error has occurred while formatting

xxxxxxx.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックの形式設定時にエラーが発生しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: そのブロックのデータを形式設定していなかった場合には、そのブロック・アドレスが無効だったことが考えられます。この場合には、メッセージ DFHPD0101 を参照してください。

ブロックの一部が正常に形式設定されている場合には、制御ブロックの長さが正しくないことが考えられます。長さが上書きされている場合があります。これが、問題に対する手掛かりになる可能性があります。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0107 Eyecatcher for xxxxxxxx at X'address' is invalid.

説明: アドレス address のタイプ xxxxxxxx の制御ブロックの目印フィールドの値が正しくありません。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 目印が上書きされた理由または制御ブロックが正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0108 Unable to start browse of xxxxxxxx.

説明: タイプ xxxxxxxx のテーブルのブラウズを開始しようとしたときに、エラーが発生しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、テーブル・マネージャー (TMP) の制御ブロックが無効であることが考えられます。問題のテーブルの TMP 制御ブロックを検査してください。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0109 Unable to get next entry in xxxxxxxx table.

説明: タイプ xxxxxxxx のテーブルの次の項目にアクセスしようとしたときに、エラーが発生しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、テーブル・マネージャー (TMP) の制御ブロックが無効であることが考えられます。問題のテーブルの TMP 制御ブロックを検査してください。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0110 Unable to access data for xxxxxxxx

説明: 対話式問題制御システム (IPCS) サービス・ルーチン ADPLMEMA が、ダンプ内の制御ブロック xxxxxxxx に関して要求されたデータを見つけることができませんでした。

システムの処置: ダンプの形式設定は、データがないことによって影響を受けたセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 要求された区域を指すポインターが破壊されているか(そのこと自体が問題に対する手掛かりになるかもしれませんが)、またはアドレスは有効でもその区域がダンプに存在しなかったかのいずれかです。後者では、この区域が問題を診断する上で不可欠である場合には、欠落した区域を含む新規のダンプを得てください。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0111 Pointer to xxxxxxxx at offset X'offset' is zero.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロック (そのアドレスは、形式設定されたばかりのブロック内のオフセット offset である) を指すポインターがゼロです。

システムの処置: ダンプの形式設定は、ゼロ・ポインターにより影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、ダンプがとられたときにその区域がゼロだったことを示す通知メッセージです。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0112 Address of xxxxxxxx is zero.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックのアドレスがゼロです。

システムの処置: ダンプの形式設定は、ブロックによって影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、ダンプがとられたときにその区域にアドレスが含まれていなかったことを示す通知メッセージです。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0113 This block has already been processed.

説明: 見出し行が印刷されたばかりのこのブロックが、ダンプのこのセクションですでに形式設定されていました。

システムの処置: このブロックはもう一度形式設定され、起こりうる制御ブロック・チェーン・ループによって影響を受ける可能性のあるすべてのセクションはスキップされます。

ユーザーの処置: これまで処理された制御ブロック内のチェーン・フィールドを検査してください。これが、問題に対する手

掛かりになる可能性があります。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0114 Invalid keyword *keyword*

説明: CICS430 verb のキーワード *keyword* は無効です。

システムの処置: このキーワードは無視されます。

ユーザーの処置: キーワードを訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0115 CICS job not found.

説明: ダンプ形式設定プログラムは、CICS を見つけようとしてダンプを探索しましたが、見つかりませんでした。

システムの処置: 形式設定は終了します。このメッセージの後にメッセージ DFHPD0120 が続きます。

ユーザーの処置: ダンプが正しいものであること、ダンプに必要なデータ域が含まれていることを確認してください。CICS 初期設定時の非常に早い時期にダンプがとられた場合、ダンプを形式設定するダンプ形式設定プログラムのために初期設定された制御ブロックが十分にない可能性があります。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0117 An error has occurred while formatting

xxxxxxx.

説明: タイプ xxxxxxx のブロックの形式設定時にエラーが発生しました。

次のいずれかです。ユーザーがストレージを獲得しようとしたが、ストレージは参照されませんでした。参照されないストレージは、ダンプ内に存在することはできません。

または、ブロック・アドレスが無効です。

または、制御ブロックの長さが正しくありません。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このブロックに対してデータが形式設定されていない場合には、このストレージが参照されていないか、またはブロック・アドレスが無効です。ブロック・アドレスが無効だった場合には、メッセージ DFHPD0101 を参照してください。

ブロックの一部が正常に形式設定されている場合には、制御ブロックの長さが正しくないことが考えられます。長さが上書きされている場合があります。これが、問題に対する手掛かりになる可能性があります。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0119 Duplicate keyword *keyword* found. Value *value* accepted

説明: DFHPD430 のキーワード *keyword* がすでに検出されています。

システムの処置: メッセージに指定された値 *value* は、キーワード *keyword* に以前に指定されたすべての値を指定変更します。処理は、新しい値 *value* で続行されます。

ユーザーの処置: VSE Info/Analysis (INFOANA) の DATA

ステートメントで指定されている重複キーワードを除去してください。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0120 CICS dump analyzer exit is terminating.

説明: CICS 出口が終了中です。

システムの処置: 出口が、要求された機能を実行しないで VSE Info/Analysis (INFOANA) に戻ります。前に出されたメッセージには、この理由が示されています。

ユーザーの処置: どのような処置が必要かを判別するには、ダンプ上のこのメッセージの直前のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0121I Formatting control blocks for job *jobname*

説明: これは、ダンプがとられた CICS システムのジョブ名を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0122I End of dump for job *jobname*

説明: これは、CICS 印刷ダンプ出口からの出力の最後を示します。

システムの処置: なし。形式設定ジョブがちょうど完了したところです。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0123 A program check has occurred while processing keyword *keyword*

説明: メッセージに示されているキーワードの処理時にプログラム・チェックが起きました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

このメッセージの最大発生可能回数は、5 回であることに注意してください。6 度目のプログラム・チェックが発生した場合、ダンプ形式設定プログラムは異常終了し、ユーザー異常終了コード 212 が出されます。

ユーザーの処置: このメッセージが出されると、ダンプが作成されます。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPD430

宛先: SYSLST

#### DFHPD0124 Storage violation detected at X'*address*'. Leading SAA is invalid.

説明: アドレス X'*address*' のユーザー記憶素子の最初の 8 バイトのストレージ・アカウンティング域 (SAA) が無効であることがわかりました。しかし、後書き SAA は有効です。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けた



すべてのセクションをスキップした後で続行されます。  
 ユーザーの処置: ストレージが上書きされた理由または正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。  
 モジュール: DFHPD430  
 宛先: SYSLST

---

**DFHPD0125 Storage violation detected at X'address'.  
 Trailing SAA is invalid.**

説明: アドレス X'address' のユーザー記憶素子の最初の 8 バイトのストレージ・アカウント領域 (SAA) が無効であることがわかりました。しかし、先行 SAA は有効です。  
 システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。  
 ユーザーの処置: ストレージが上書きされた理由または正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。  
 モジュール: DFHPD430  
 宛先: SYSLST

---

**DFHPD0126 Storage violation detected at X'address'.  
 Leading and trailing SAAs are invalid.**

説明: アドレス X'address' のユーザー記憶素子の最初と最後の 8 バイトのストレージ・アカウント領域 (SAA) が無効です。  
 システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。  
 ユーザーの処置: ストレージが上書きされた理由または正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。  
 モジュール: DFHPD430  
 宛先: SYSLST

---

**DFHPD0127 Storage violation detected at X'address'.  
 Leading and trailing SAAs differ.**

説明: アドレス X'address' のユーザー記憶素子の最初と最後の 8 バイトにあるストレージ・アカウント領域 (SAA) は有効ですが、それらが一致しません。  
 システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。  
 ユーザーの処置: ストレージが上書きされた理由または正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。  
 モジュール: DFHPD430  
 宛先: SYSLST

---

**DFHPD0128 Invalid data length X'length' specified for  
 address X'address'.**

説明: オフライン・ユーティリティ DFHPD430 は、システム・ダンプの形式設定を行っている間に、無効な長さ X'length' のデータ・ブロックを求める要求を検出しました。  
 システムの処置: ダンプの形式設定は、通常、このエラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コード内にエラーがある可能性を示しています。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHPD430  
 宛先: SYSLST

---

**DFHPD0129 CICS Domain Anchor Blocks not found for  
 AFCB. Scan will continue.**

説明: ダンプ・フォーマッターが TCB チェーン内の CICS ダンプの検出を試みましたが、失敗しました。スキャンは続行されます。これは、DFHPD430 が CICS ドメイン・アンカー・ブロックのアドレスをカーネル・グローバル・ストレージ内に見つけることができなかったためです。この原因としては、次のものが考えられます。

- TCB チェーン上の誤った TCB をスキャンした。スキャンは続行されます。
- カーネル・グローバル・ストレージが上書きまたは解放されている。
- ダンプが CICS 初期設定で早期にとられたため、カーネル・グローバル・ストレージがまだ設定されていなかった。

システムの処置: このメッセージの後にメッセージ DFHPD0120 が続くのは、重大な問題の場合のみです。  
 ユーザーの処置: 重大エラーである場合には、元のエラーを再現し、ダンプ・フォーマッターを再実行できる有効なシステム・ダンプを作成してください。

問題が再発する場合には、IBM のサポートが必要になります。ダンプ・フォーマッターからの sysprint 出力を集めて、関係のあるすべてのメッセージを書き留めてください。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHPD430  
 宛先: SYSLST

---

**DFHPD0131 CICS job jobname is for CICS version  
 version1. CICS INFOANA exit is for CICS  
 version version2.**

説明: ダンプ形式設定プログラムが処理しようとしている CICS ジョブ jobname は、CICS バージョン version1 の下で実行されましたが、INFOANA 出口プログラムは、CICS バージョン version2 と一緒に配布されたプログラムでした。  
 システムの処置: ダンプ形式設定プログラムは終了します。  
 ユーザーの処置: CICS バージョン version1 用のダンプ形式設定プログラムを使用して、その CICS ジョブのダンプ形式設定を再試行してください。  
 モジュール: DFHPD430  
 宛先: SYSLST

## DFHPGxxxx メッセージ

**DFHPG0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性を意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが書き込まれた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDMD) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPGAI, DFHPGAQ, DFHPGDD, DFHPGDM, DFHPGEX, DFHPGHM, DFHPGIS, DFHPGLD, DFHPGLK, DFHPGLU, DFHPGPG, DFHPGRP, DFHPGST, DFHPGXM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, X'*offset*', *modname*

宛先: コンソール

**DFHPG0002** *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'*code*') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDMD) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPGAI, DFHPGAQ, DFHPGDD, DFHPGDM, DFHPGEX, DFHPGHM, DFHPGIS, DFHPGLD, DFHPGLK, DFHPGLU, DFHPGPG, DFHPGRP, DFHPGST, DFHPGXM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*', *modname*

宛先: コンソール

**DFHPG0004** *applid* A possible loop has been detected at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'*offset*' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDMD) によ

って CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHPGAI、DFHPGAQ、DFHPGDD、DFHPGDM、DFHPGEX、DFHPGHM、DFHPGIS、DFHPGLD、DFHPGLK、DFHPGLU、DFHPGPG、DFHPGRP、DFHPGST、DFHPGXM

XMEOUT パラメーター: *applid*、X'offset'、*modname*  
宛先: コンソール

#### DFHPG0101 *date time applid terminal userid tranid PPT entry for progname has been added.*

説明: これは、プログラム項目 *progname* が、CEDA INSTALL または EXEC CICS CREATE コマンドを使用して PPT に追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*terminal*、*userid*、*tranid*、*progname*  
宛先: CSPL

#### DFHPG0102 *date time applid terminal userid tranid PPT entry for progname has been deleted.*

説明: これは、プログラム項目 *progname* が、CEMT または EXEC CICS DISCARD コマンドを使用して PPT から削除されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*terminal*、*userid*、*tranid*、*progname*  
宛先: CSPL

#### DFHPG0103 *date time applid terminal userid tranid PPT entry for progname has been replaced.*

説明: これは、プログラム項目 *progname* が、CEDA INSTALL または EXEC CICS CREATE コマンドを使用して PPT 内で置換されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*terminal*、*userid*、*tranid*、*progname*  
宛先: CSPL

#### DFHPG0104 *date time applid Program progname is defined with DATALOCATION(ANY) but is linkedited with AMODE(24).*

説明: プログラム項目 *progname* がロードされました。これは (RDO を使用して、またはプログラム自動インストールによって) DATALOCATION(ANY) で定義されていますが、AMODE(24) でリンク・エディットされています。SET オプションを使用して EXEC CICS コマンドによりプログラムへ戻されるアドレスは、16 MB 境界を超えるため AMODE(24) プログラムによるアクセスができないことがあります。

この定義は、プログラムが AMODE(31) でリンク・エディットされている別のプログラムヘストレージを渡すことができるときに、受け入れられます。「CICS Resource Definition Guide」の DATALOCATION の説明を参照してください。

定義された後、このメッセージは、プログラムが初めてロード

## DFHPG0201 • DFHPG0203

されるとき、リンクされるとき、または XCTL されるときに出されます。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGLD、DFHPGLE、DFHPGLK、DFHPGLU、DFHPGPG、DFHPGXE、DFHPGEX

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, progname*

宛先: CSPL

---

**DFHPG0201** *date time applid terminal userid tranid Program autoinstall exit urmname indicated that program progname should not be added to the PPT.*

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール出口は、プログラムがインストールできないことを示す戻りコードを設定しました。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal,*

*userid, tranid, urmname, progname*

宛先: CSPL

---

**DFHPG0202** *date time applid terminal userid tranid Program autoinstall exit urmname has abended with code abcode. The program autoinstall function has been disabled.*

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム自動インストール出口プログラムは、コード *abcode* で異常終了しました。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。自動インストール機能は使用不可になります。

ユーザーの処置: プログラム自動インストールなしで処理を続行するか、または自動インストール出口プログラムのエラーを訂正し、CEMT SET AUTOINSTALL コマンドを使用して自動インストール機能を再び使用可能にしてください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal,*

*userid, tranid, urmname, abcode*

宛先: CSPL

---

**DFHPG0203** *date time applid terminal userid tranid Program autoinstall exit urmname failed, reason: reason. The program autoinstall function has been disabled.*

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム自動インストール出口プログラムが正しく定義されていないか、またはロード・ライブラリーに見つかりません。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
- *reason* は次のいずれかです。
  - Program not defined (プログラムが定義されていない)
  - Program not enabled (プログラムが使用可能でない)
  - Program not loadable (プログラムがロード可能でない)
  - Remote program (リモート・プログラム)
  - AMODE error (AMODE エラー)
  - Invalid COMMAREA (COMMAREA が無効)
  - Recursion in autoinstall exit (自動インストール出口における再帰)

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC CICS コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。自動インストール機能は使用不可になります。

ユーザーの処置: プログラム自動インストールなしで処理を続行するか、または問題を訂正し、CEMT トランザクションまたは SPI コマンドを使用して自動インストール機能を再び使用可能にしてください。次のように適切な処置をとって問題を訂正してください。

**Program not defined** (プログラムが定義されていない)

自動インストール出口プログラムをインストールしてください。

**Program not enabled** (プログラムが使用可能でない)

自動インストール出口プログラムの状況をリセットしてください。

**Program not loadable** (プログラムがロード可能でない)

自動インストール出口プログラムがロード・ライブラリーにあることを確認してください。

**Remote program** (リモート・プログラム)

自動インストール出口プログラムがローカル・プログラムとして定義されていることを確認してください。

**AMODE error** (AMODE エラー)

自動インストール出口プログラムが AMODE 31 であることを確認してください。

**Invalid COMMAREA (COMMAREA が無効)**

プログラム自動インストール出口プログラムが COMMAREA を別のプログラムに渡す場合に、COMMAREA が正しく渡されることを確認してください。

**Recursion in autoinstall exit**

自動インストール・ユーザー置き換え可能モジュールが、定義されていない別のプログラムのリンク、XCTL、またはロードを試みました。自動インストールは自動インストール出口では試みることはできません。参照先のプログラムが、RDO を使用して定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, urmname, reason*  
宛先: CSPL

---

**DFHPG0204** *date time applid terminal userid tranid*  
**Autoinstall for program progname failed.**  
**Program autoinstall model modelname is not defined.**

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール用に選択されたモデルが定義されていません。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC CICS コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 自動インストール機能用のモデルとして使用されるすべてのプログラムが定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, progname, modelname*  
宛先: CSPL

---

**DFHPG0205** *date time applid terminal userid tranid*  
**Invalid value: value returned by program autoinstall exit urmname for field fieldname.**

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム自動インストール出口はプログラム定義フィールドに対して無効値を戻したか、または共通域を経由して戻りコードを戻しました。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
  - *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
  - *value* は戻り値です。これが無効であるか、または指定されたロード属性とモデル・プログラムのロード・タイプとの間に対立がある可能性があります。プログラム・タイプが共用である場合は、ロード属性は常駐でなければなりません。
- システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC CICS コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 自動インストール出口プログラムによって戻されたデータが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, value, urmname, fieldname*  
宛先: CSPL

---

**DFHPG0206** *date time applid terminal userid tranid*  
**Autoinstall for program progname failed.**  
**Programs starting with 'DFH' cannot be defined as remote programs.**

説明: リモート属性でリンク、XCTL、ロード、または出口処理を行っている間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、そのプログラムは文字 'DFH' で始まっています。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC CICS コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 'DFH' で始まるプログラム用に選択された自動インストール・モデル・プログラムがローカル・プログラムとして定義されていること、およびプログラム自動インストール出口プログラムによってリモート属性が指定されていないことを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, progname*  
宛先: CSPL

---

**DFHPG0207** *date time applid terminal userid tranid*  
**Autoinstall for program progname failed.**  
**The program name is not valid.**

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム名に無効文字が含まれています。各部の説明は、以下のとおりです。

## DFHPG0208 • DFHPG0211

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
- *trandid* は、メッセージを出したトランザクションです。システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。 EXEC CICS コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。ユーザーの処置: プログラム名が有効であることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, trandid, progname*  
宛先: CSPL

---

### DFHPG0208 *date time applid terminal userid trandid* **Autoinstall for program progname failed.**

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、定義のインストールが失敗しました。 AMODE/RMODE の組み合わせが無効であるか、またはロード属性とタイプの組み合わせが無効であるかのいずれかです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *trandid* は、メッセージを出したトランザクションです。システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。 EXEC CICS コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: AMODE と RMODE が互換性があること、さらにプログラム・タイプが共用である場合には、プログラム属性が常駐として指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, trandid, progname*  
宛先: CSPL

---

### DFHPG0209 *date time applid terminal userid trandid PPT* **entry for progname has been autoinstalled using model modelname.**

説明: これは、プログラム項目 *progname* が、AUTOINSTALL 機能によりモデル *modelname* を使用して PPT に追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。

各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。

- *trandid* は、メッセージを出したトランザクションです。システムの処置: システムは正常に続行されます。ユーザーの処置: なし。モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, trandid, progname, modelname*  
宛先: CSPL

---

### DFHPG0210 *date time applid terminal userid trandid PPT* **entry for progname has been system autoinstalled.**

説明: これは、プログラム項目 *progname* が、システム AUTOINSTALL 機能により PPT に追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。

各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
- *trandid* は、メッセージを出したトランザクションです。システムの処置: システムは正常に続行されます。ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, trandid, progname*  
宛先: CSPL

---

### DFHPG0211 *date time applid terminal userid trandid* **Autoinstall for program progname failed. Program autoinstall model modelname is disabled.**

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール用に選択されたモデルは使用不可です。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーの ID です。
- *trandid* は、メッセージを出したトランザクションです。システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。 EXEC CICS コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 自動インストール機能用のモデルとして使用されるすべてのプログラムが使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, trandid, progname, modelname*  
宛先: CSPL

## DFHPRxxxx メッセージ

**DFHPR0101I** *date time applid* **The table entry for partner *ptrnname* has been replaced.**

説明: これは、パートナー・リソース・マネージャーが、パートナー *ptrnname* 用の既存のテーブル項目を新しいテーブル項目に置き換えたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPRPT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, ptrnname*

宛先: CSRL

**DFHPR0102I** *date time applid* **The table entry for partner *ptrnname* has been added.**

説明: パートナー・リソース・マネージャーは、パートナー *ptrnname* 用の新しいテーブル項目を追加しました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPRPT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, ptrnname*

宛先: CSRL

**DFHPR0103I** *date time applid* **The table entry for partner *ptrnname* has been deleted.**

説明: これは、パートナー・リソース・マネージャーが *ptrnname* パートナーのテーブル項目を削除したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPRPT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, ptrnname*

宛先: CSRL

**DFHPR0104I** *applid* **Partner resource manager initialization has started.**

説明: パートナー・リソース・マネージャーの初期設定が開始されました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPRIN1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHPR0105I** *applid* **Partner resource manager initialization has ended.**

説明: パートナー・リソース・マネージャーの初期設定は正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、SIT パラメーターの *MSGLVL=0* で抑止することができます。

モジュール: DFHPRIN1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHPR0106I** *applid* **Partner resource manager initialization has failed.**

説明: パートナー・リソース・マネージャーの初期設定が失敗しました。

システムの処置: このメッセージの後にメッセージ

DFHSI1522 が出力されます。CICS は、メッセージ DFHSI1522 に対するオペレーターの応答によって、終了するか、または初期設定を続行します。障害の検出時に例外トレース項目が書き込まれます。パートナー・リソース・マネージャーの初期設定処理によって呼び出された他の CICS コンポーネントも、メッセージを出したり、またはトレース項目を書き込む場合があります。

ユーザーの処置: CICS がパートナー・リソース・マネージャーなしで実行を続行することができるかどうかを判断し、それにしたがってメッセージ DFHSI1522 に応答してください。

例外トレース項目に含まれるデータを手始めに、パートナー・リソース・マネージャーが初期設定に失敗した理由についても調べる必要があります。

モジュール: DFHPRIN1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

## DFHRCxxxx メッセージ

**DFHRC5301** *applid* **FAILED TO INITIALIZE POWER INTERFACE.**

説明: POWER への NOTIFY パスをオープンしようとしたのですが、失敗しました。

システムの処置: システム・スプーリングの初期設定は続行されません。

ユーザーの処置: POWER プログラムが使用可能であり、作動中であることを確認してください。複数の CICS システムが実行中である場合、POWER が使用している名前を調べてそれらのシステムを識別してください。それらの名前形式は SYSCICx です。ここで、x は SPOOL システム初期設定パラメーターで指定されています。x はデフォルトとして "A" をとります。x の値は、POWER と一緒に実行されているそれ

ぞれの CICS システムごとに異なっていることを確認してください。

モジュール: DFHCXPA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRC5302** *applid* **AUDIT LOG CSMT IS FULL, LOGGING DISCONTINUED.**

説明: 監査ファイル CSMT への書き込みが CEMS または CEOS によって試みられました。この試みによって、NOSPACE 条件が設定されました。

システムの処置: CSMT に対するログギングは中断されます。ユーザーの処置: CSMT への監査の書き込みは、このファイルが処理されて空になった後に続行されます。

モジュール: DFHCXPA

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRC5311I *applid* CXPB is terminating because a return code of X'*return\_code*' has been received from an OPEN,ANY request**

説明: トランザクション CXPB は、OPEN,ANY 要求から戻りコード *return\_code* を受け取りました。

システムの処置: 異常終了コード APTP でトランザクション・ダンプが出されます。CICS は続行されますが、レポート・コントローラーの印刷装置はもはや開始できなくなります。これは、CXPB トランザクションが、VSE/POWER が開始要求を渡す CICS インターフェースであるためです。

ユーザーの処置: 作成されたダンプを使用して、戻りコードが CXPB へ戻された理由を分析してください。必要な処置をとってから、CICS 提供トランザクション CEMS 間の接続を再確立してください。CEMS の使用の手引きについては、

「CICS Report Controller User's Guide」を参照してください。問題の性質によっては、EXEC CICS START TRANSID(CXPB) コマンドを実行して、CICS と VSE/POWER との間の接続を再開することもできます。

接続を再確立するこうした試みが失敗した場合には、CICS を再始動して、VSE/POWER との接続を再確立する必要があります。

モジュール: DFHCXPB

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*return\_code*'

宛先: コンソール

**DFHRC5312I *applid* CXPB is terminating because abend code *abend\_code* has been detected**

説明: トランザクション CXPB は、異常終了コード *abend\_code* を検出しました。

システムの処置: 異常終了コード APTQ でトランザクション・ダンプが出されます。CICS は続行されますが、レポート・コントローラーの印刷装置はもはや開始できなくなります。これは、CXPB トランザクションが、VSE/POWER が開始要求を渡す CICS インターフェースであるためです。

ユーザーの処置: 作成されたダンプを使用して、異常終了コードが出された理由を分析してください。必要な処置をとってから、CICS 提供トランザクション CEMS のオプション 5 を入力することで、CICS と POWER との間の接続を再確立する必要があります。CEMS の使用の手引きについては、「CICS Report Controller User's Guide」を参照してください。

問題の性質によっては、EXEC CICS START TRANSID(CXPB) コマンドを実行して、CICS と VSE/POWER との間の接続を再開することもできます。

接続を再確立するこうした試みが失敗した場合には、CICS を再始動して、VSE/POWER との接続を再確立する必要があります。

モジュール: DFHCXPB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *abend\_code*

宛先: コンソール

**DFHRC5366 *applid* System spooling interface initialization program DFHPSIP not present.**

説明: CICS は、DFHPSIP へのリンクを試みましたが、その試みは失敗しました。これは、DFHPSIP が CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーになかったためです。

システムの処置: CICS は、システム・スプーラーの初期設定を終了します。

ユーザーの処置: DFHPSIP を、CICS ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに入れてください。

モジュール: DFHPSBP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRC5440 *operid* *tranid* *yy.ddd* *hh.mm.ss* REPORT *reportid* CHANGED xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.**

説明: レポート特性が、CEOS または CEMS を使用して変更されました。

システムの処置: この変更を記述する監査レコードを作成してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEMSRE

宛先: CSPA

**DFHRC5441 AUDIT LOG CSPA IS FULL, NOW LOGGING TO CSMT.**

説明: 監査ファイル CSPA への書き込みが CEOS または CEMS によって試みられました。この試みによって、NOSPACE 条件が起きました。

システムの処置: CSMT へのレコードの書き込みが試みられ、この警告メッセージがオペレーター・コンソールへ送られます。ファイルが処理されて空になった後、CSPA への監査が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEMSRE

宛先: コンソール

**DFHRC5443 *operid* *tranid* *yy.ddd* *hh.mm.ss* PRINTER *reportid* CHANGED xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.**

説明: 印刷装置特性が、CEOS または CEMS を使用して変更されました。

システムの処置: この変更を記述する監査レコードを作成してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEMSPR

宛先: CSPA

**DFHRC5444 AUDIT LOG CSPA IS FULL, NOW LOGGING TO CSMT.**

説明: 監査ファイル CSPA への書き込みが CEOS または CEMS によって試みられました。この試みによって、NOSPACE 条件が起きました。

システムの処置: CSMT へのレコードの書き込みが試みられ、この警告メッセージがオペレーター・コンソールへ送られます。ファイルが処理されて空になった後、CSPA への監査が続行されます。



ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHEMSPR  
宛先: コンソール

---

**DFHRC5446** *operid tranid yy.ddd hh.mm.ss* **REPORT**  
*reportid* **CHANGED** *xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx*.

説明: レポート特性が、CEOS または CEMS を使用して変更されました。  
システムの処置: この変更を記述する監査レコードを作成してください。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHEMSJB  
宛先: CSPA

---

**DFHRC5447** **AUDIT LOG CSPA IS FULL, NOW LOGGING TO CSMT.**

説明: 監査ファイル CSPA への書き込みが CEOS または CEMS によって試みられました。この試みによって、NOSPACE 条件が起きました。  
システムの処置: CSMT へのレコードの書き込みが試みられ、この警告メッセージがオペレーター・コンソールへ送られます。ファイルが処理されて空になった後、CSPA への監査が続行されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHEMSJB  
宛先: コンソール

---

**DFHRC5458** *date time applid TASK taskno* **TERMINAL**  
*termid - REPORT reportid at DESTINATION*  
*destid is not printable. Report is now held.*  
*time date*

説明: CICS レポート・コントローラー書き込み機能タスク (CEPW) が取り扱えない形式のレポートを印刷する試みが行われました。  
システムの処置: そのレポートは、レポート・コントローラー書き込み機能タスクによって拒否され、POWER 後処置 "Y" で保留にされます (ERRPRT)。  
ユーザーの処置: オペレーティング・システム管理者と一緒に検査し、レポート・コントローラー書き込みタスクによって管理されていない印刷装置で報告書を印刷するように、スケジュールを変更してください。  
モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

**DFHRC5459** *date time applid TASK taskno* **TERMINAL**  
*termid - REPORT reportid is not format*  
*compatible with device at DESTINATION*  
*destid. Report is now held.*

説明: CICS レポート・コントローラー書き込み機能タスク (CEPW) が取り扱えない形式のレポートを印刷する試みが行われました。例えば、T3270 NOCONV レポートを SCS 印刷装置で印刷する試み、または SCS NOCONV レポートを 3270 印刷装置で印刷する試みが行われました。  
システムの処置: そのレポートは、レポート・コントローラー書き込み機能タスクによって拒否され、POWER 後処置 "Y" で保留にされます (ERRPRT)。  
ユーザーの処置: レポートをスケジュール変更して、レポートと互換性のある形式の装置で印刷を行ってください。

モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

**DFHRC5460** *date time applid TASK taskno* **TERMINAL**  
*termid - REPORT reportid AT*  
**DESTINATION** *destid* **requires FORMS**  
*formid to be loaded. Ensure that the line*  
*counter is correctly set for the new*  
**stationary.**

説明: レポート・コントローラー書き込み機能タスクは、次のレポートを印刷装置上で印刷するために、用紙変更が必要であることを検出しました。  
システムの処置: 書き込み機能タスクは、用紙変更が完了したことが確認されるまで待ちます。  
ユーザーの処置: 要求された用紙を印刷装置に取り付け、行カウンタを適切な値に変更してください。その後、CEMS/CEOS の印刷装置オペレーター・コマンドを使用して印刷装置を再開してください。  
モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

**DFHRC5461** *date time applid TASK taskno* **TERMINAL**  
*termid* **LINEUP REQUEST FOR REPORT**  
*reportid at DESTINATION* *destid is not*  
**format compatible. Request rejected.**

説明: ラインアップがサポートされていない形式のレポートに関して、ラインアップ要求が行われました。  
システムの処置: ラインアップはこの報告書に対して出されません。  
ユーザーの処置: CEMS/CEOS 印刷装置オペレーター・コマンドを用いて印刷装置を再始動してください。  
モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

**DFHRC5462** *date time applid TASK taskno* **TERMINAL**  
*termid - forms load request for report*  
*reportid at DESTINATION* *destid has been*  
**fulfilled.**

説明: レポート・コントローラー書き込み機能タスクは、直前の用紙装てん要求の後、印刷再開コマンドを受け取ったことを確認しています。  
システムの処置: 書き込み機能タスクは、メッセージに示されたレポートの印刷をこれから開始します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

**DFHRC5463** *date time applid TASK taskno* **TERMINAL**  
*termid - REPORT reportid at DESTINATION*  
*destid has started printing.*

説明: レポート・コントローラー書き出しプログラムは、示された報告書の印刷を開始したときの日付と時刻を通知しています。  
システムの処置: 書き込みタスクは、メッセージに示されたレポートの印刷を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPA

**DFHRC5464** *date time applid TASK taskno TERMINAL  
termid - REPORT reportid AT  
DESTINATION destid has finished printing.*

説明: レポート・コントローラー書き出しプログラムは、示された報告書の印刷を終了したときの日付と時刻を通知しています。

システムの処置: 書き込みタスクは、入手できる次のレポートを処理します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPA

**DFHRC5465** *date time applid TASK taskno TERMINAL  
termid - REPORT reportid at DESTINATION  
destid had a mapping failure, for MAP  
mapid within MAPSET mapsetname. Report  
is now held.*

説明: MAP 形式レポートを印刷する際に、CICS は SEND MAP コマンドからのエラー応答を戻したか、またはレポート・コントローラー書き込み機能タスク (CEPW) の異常終了を試みました。

システムの処置: そのレポートは、レポート・コントローラー書き込み機能タスク (CEPW) によって拒否され、POWER 後処置 "Y" で保留にされます (ERRPRT)。

ユーザーの処置: CICS の補助トレースが実行されている間に、レポートを再印刷するようスケジュール変更してください。レポートの印刷を試みた後、補助トレース・ファイルをクローズして印刷してください。次に、トレース内の失敗したタスクの最後の SEND MAP 項目を見つけて、失敗の理由を調べてください。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

**DFHRC5466** *date time applid TASK taskno TERMINAL  
termid - ESCAPE PROGRAM progid could  
not be located for the ESC report reportid  
at DESTINATION destid. Report is now  
held.*

説明: 示されたエスケープ・プログラムへのリンクが失敗しました。

システムの処置: そのレポートは、レポート・コントローラー書き込み機能タスクによって拒否され、POWER 後処置 "Y" で保留にされます (ERRPRT)。

ユーザーの処置: CICS 補助トレースを入手して、リンクの失敗の理由を判別してください。レポートは、問題が修正された後に印刷されるようスケジュール変更することができます。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

**DFHRC5467** *date time applid TASK taskno TERMINAL  
termid - ESCAPE PROGRAM progid  
RESPONSE: RETURN CODE = X'nn' TEXT  
= xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx. REPORT reportid  
AT DESTINATION destid IS NOW HELD.*

説明: 示されたエスケープ・プログラムが非ゼロの戻りコードを戻しました。

システムの処置: そのレポートは、レポート・コントローラー書き込み機能タスク (CEPW) によって拒否され、POWER 後

処置 "Y" で保留にされます (ERRPRT)。

ユーザーの処置: エスケープ・プログラムにより、戻りコードとテキストが与えられます。それらを用いて問題を診断および修正した後、レポートを印刷するためにスケジュール変更してください。

モジュール: DFHPSOP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, taskno, termid, progid, X'nn', xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx, reportid, destid*  
宛先: CSPW

**DFHRC5468** *date time applid TASK taskno TERMINAL  
termid - A severe interrupt on the device at  
DESTINATION destid has caused the  
printer task to terminate. (REPORT reportid  
was being printed).*

説明: メッセージに示された装置で印刷している間に、重大な割り込みが発生しました。

システムの処置: POWER との通信が中断されます。書き込み機能タスクは終了して、異常終了コード APSM または APSN が出力されます。異常終了コード APSM の場合、印刷装置も停止状態にされます。報告書の状況は、PRINTFAIL オプションおよび元の POWER 後処理によって異なります。

ユーザーの処置: 割り込みの原因を訂正し、印刷装置を再始動してください。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

**DFHRC5469** *date time applid TASK taskno TERMINAL  
termid - An interrupt on the device at  
DESTINATION destid has caused the  
printer task to pause.*

説明: メッセージに示された装置での印刷割り込みにより、CICS の書き込み機能タスクは割り込みが消去されるまで休止することになりました。

システムの処置: 書き込みタスクは休止状態で待ちます。

ユーザーの処置: 割り込みの理由を修正し、CEMS/CEOS を用いて印刷装置を再始動してください。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

**DFHRC5470** *date time applid TASK taskno TERMINAL  
termid - Request to facilitate the device at  
DESTINATION destid for system spooling  
has been rejected. The CICS Report  
Controller is not activated or is quiescing.*

説明: オペレーティング・システム・スプーラーに対して CICS 端末を代理印刷装置として使用するよう要求が出されましたが、レポート・コントローラーが活動化されていないか、あるいは CICS シャットダウンの一部として静止中です。

システムの処置: 書き込みタスクはシステムの状況を検出し、自らをクローズします。

ユーザーの処置: CICS が再初期設定された後に、印刷装置の開始要求を再試行してください。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

---

**DFHRC5471** *date time applid TASK taskno TERMINAL termid - ESCAPE REPORT reportid at DESTINATION destid has had an error while building the report for data transmission. The report is now held.*

説明: エスケープ形式レポートを作成中に、CICS は WRITEQ TS コマンドからのエラー応答を戻しました。システムの処置: そのレポートは、レポート・コントローラー書き込み機能タスク (CEPW) によって拒否され、POWER 後処置 "Y" で保留にされます (ERRPRT)。ユーザーの処置: CICS の補助トレースが実行されている間に、レポートを再印刷するようスケジュール変更してください。レポートの印刷を試みた後、補助トレース・ファイルをクローズして印刷してください。次に、トレース内の失敗したタスクの最後の WRITEQ TS 項目を見つけて、失敗の理由を調べてください。  
モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

**DFHRC5478 SETUP COMPLETE.**

説明: オペレーターが印刷装置上の用紙セットアップを要求し、セットアップ処置が完了しました。システムの処置: 書き込みタスクはオペレーターの処置を待ちます。ユーザーの処置: オペレーターは、印刷を再開するために PGO コマンドを出すか、セットアップをやり直すために PSETUP コマンドを出してください。  
モジュール: DFHPSPIO  
宛先: コンソール

---

**DFHRC5479 SETUP PRINTER printerid WITH FORMS formid.**

説明: レポート・コントローラー書き込みタスク (CEPW) は、印刷装置 *printerid* の用紙 *formid* を変更する必要があると検出しました。システムの処置: 書き込みタスクは PGO または PSETUP コマンドを待ちます。ユーザーの処置: オペレーターは、印刷装置の用紙を変えて PGO または PSETUP コマンドを出してください。  
モジュール: DFHPSPIO  
宛先: コンソール

---

**DFHRC5480 applid Report Controller recovery failed for REPORT - reportid.**

説明: 緊急再始動中に、レポート・コントローラーは上記の報告書をオープンできません。システムの処置: 報告書はスキップされます。ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHPSBP

XMEOUT パラメーター: *applid, reportid*  
宛先: コンソール

---

**DFHRC5481 applid Report Controller backout program - DFHPSBP - missing.**

説明: 緊急再始動中に、レポート・コントローラーは、バックアウト・プログラムをロードすることができませんでした。システムの処置: 報告書のリカバリーはスキップされます。

ユーザーの処置: CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHPSBP が含まれていることを確認してください。  
モジュール: DFHPSP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHRC5482 applid Report Controller waiting for POWER connection.**

説明: システム初期設定時に、レポート・コントローラーは、POWER から NOTIFY PATH CONNECTION への応答を受け取りませんでした。システムの処置: システムは 30 秒間待ってメッセージを再び出します。ユーザーの処置: POWER が使用可能かどうかを調べてください。  
モジュール: DFHPSPIO

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHRC5483 date time applid TASK taskno TERMINAL termid - this terminal is not authorized to print REPORT reportid. The report is now held.**

説明: RSL でレポートを印刷することが試みられましたが、選択された印刷装置はそれにアクセスする許可を与えられていません。システムの処置: そのレポートは、レポート・コントローラー書き込み機能タスク (CEPW) によって拒否され、POWER 後処置 "Y" で保留にされます (ERRPRT)。ユーザーの処置: レポートの DESTINATION および CLASS を、許可されている印刷装置のそれらと一致するように変更し、その後、もう一度その印刷を要求してください。  
モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

**DFHRC5484 date time applid TASK taskno TERMINAL termid - this terminal has received an immediate stop request while printing REPORT reportid. The report is now held.**

説明: オペレーターによる停止要求のため、レポートの印刷は早めに終了しました。システムの処置: そのレポートは、レポート・コントローラー書き込み機能タスク (CEPW) によって拒否され、POWER 後処置 "Y" で保留にされます (ERRPRT)。ユーザーの処置: 報告書を、使用可能な印刷装置で印刷するために、再スケジュールすることができます。  
モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

**DFHRC5485 date time applid TASK taskno TERMINAL termid - this terminal, serving DESTINATION destid has been stopped.**

説明: 印刷装置が、オペレーターの要求により停止しました。システムの処置: 印刷装置は停止します。ユーザーの処置: オペレーターが印刷装置の開始を要求するまで、これ以降レポートはこの印刷装置では印刷されません。

## DFHRC5486 • DFHRC5493

モジュール: DFHPSOP  
宛先: CSPW

---

### DFHRC5486 *applid* AUDIT LOG *CPSA/CSPW* IS FULL, NOW LOGGING TO CSMT.

説明: 監査ログ *CPSA* または *CSPW* への書き込みが *CEPV* によって試みられました。この試みによって、*NOSPACE* 条件が起きました。

システムの処置: *CSMT* へのレコードの書き込みが試みられ、この警告メッセージがオペレーター・コンソールへ送られます。ファイルが空になった後、*CPSA* または *CSPW* への監査が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPSOP

宛先: コンソール

---

### DFHRC5487 *date time applid TASK taskno* TERMINAL *termid* - ERROR CODE *X'nn'* occurred whilst attempting to send data to this device.

説明: メッセージに示された端末への印刷が試みられているときに、エラーが発生し、それによってレポート・コントローラー *NEP* が駆動されました。

システムの処置: エラーが重大エラーでない場合には、印刷装置は *PAUSED* 状況になります。エラーが重大エラーである場合には、書き込み機能タスクは異常終了し、端末は強制的に使用できない状態にされることがあります。

ユーザーの処置: エラー・コードは、端末異常条件回線記入項目 (*TACLE*) のオフセット '8' のコードです。このコードの可能な値については、「*CICS Data Areas*」の *TACLE* の説明を参照してください。重大エラーでない場合、*CEMS/CEOS* オペレーターは印刷の再開を要求できます。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

---

### DFHRC5488 *date time applid TASK taskno* TERMINAL *termid* - load of *FCB phasename* for REPORT *reportid* at *DESTINATION destid* failed. The report will be printed using the default FCB.

説明: 印刷されるレポートは、メッセージに示されている *FCB* フェーズの中のチャンネル指定に従って形式設定される予定でした。このフェーズをロードできませんでした。

システムの処置: 報告書は、デフォルト *FCB* を使用して印刷されます。

ユーザーの処置: *FCB* フェーズをロードできなかった理由を判別して、その障害を訂正してください。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

---

### DFHRC5489 *date time applid TASK taskno* TERMINAL *termid* - an error occurred switching *EPC* on/off the architected capability is now disabled.

説明: 印刷装置には、早期印刷完了 (*EPC*) 機能がインストールされていますが、その機能を *ON* または *OFF* にしようとしたとき、*CICS* はエラー条件を検出しました。

システムの処置: *EPC* がインストールされていない印刷装置

を使用して *RCF* 印刷タスクを続行します。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別し、訂正してください。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

---

### DFHRC5490 *applid* UNABLE TO LOAD *RCF MESSAGE* MODULE *module*

説明: *CEMS* または *CEOS* は、レポート・コントローラー (*RCF*) のメッセージ・モジュール *module* のロードに失敗しました。 *module* の形式は *DFHPSEx* です。ここで、*x* は *RCF* が呼び出されたときに使用中の各国語を指定します。例えば、「*E*」は英語を指定し、「*K*」は漢字を指定し、「*G*」はドイツ語を指定し、「*C*」は中国語を指定します。

システムの処置: トランザクション *CEMS* または *CEOS* は、*CICS* に戻ります。

ユーザーの処置: *module* が *PPT* 内およびグループ *DFHRCF* 内にあるかどうか検査してください。もしなければ、指定されている各国語に関して *RCF* が正しくインストールされていない可能性があります。「*CICS System Definition Guide*」を参照してください。

モジュール: DFHEMS00

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

### DFHRC5491 *date time applid TASK taskno* TERMINAL *termid* - this terminal, serving DESTINATION *destid* has been started.

説明: 宛先 *destid* の印刷装置は、タスク *taskno* に関して、オペレーター要求により端末 *termid* で正常に開始されました。

システムの処置: 印刷装置は、タスク *taskno* に関してレポートを処理する準備ができています。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

---

### DFHRC5492 *date time applid TASK taskno* TERMINAL *termid* - this terminal, serving DESTINATION *destid* has been released due to time-out.

説明: 宛先 *destid* の印刷装置は、*SPOOLPRTO* タイムアウト期間が満了したため、タスク *taskno* により解放されました。

システムの処置: 印刷装置はタスク *taskno* から解放され、他のタスクが使用できる状態になりました。印刷装置は、他の作業が実行できるようになると、解放後直ちに、次の作業のために自動的に再始動を始めます。

ユーザーの処置: 印刷装置があまりに頻繁にタイムアウトになるようであれば、関連した *RDO TERMINAL* 定義の *SPOOLPRTO* に指定する値を増やすことを考慮してください。印刷装置のタイムアウト期間の設定に関する詳細については、「*CICS 資源定義の手引き*」を参照してください。

モジュール: DFHPSOP

宛先: CSPW

---

### DFHRC5493 *date time applid TASK taskno* TERMINAL *termid* - truncation of records for REPORT *reportid* at *DESTINATION destid* has occurred.

説明: 印刷装置バッファの容量を超えたため、報告書

*reportid* のレコードが宛先 *destid* で切り捨てられました。  
 システムの処置: レポートは印刷されますが、形式設定時に、破壊された可能性があります。  
 ユーザーの処置: スプール・レコードが、印刷装置のバッファ

一容量、またはキャリッジ幅 (レポートが形式設定される場合) を決して超えないようにしてください。  
 モジュール: DFHPSOP  
 宛先: CSPW

---

## DFHRDxxxx メッセージ

---

### DFHRD0101 *date time applid terminal userid tranid* INSTALL PROGRAM(*progrname*)

説明: プログラム *progrname* が、ユーザー *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, progrname*  
 宛先: CRDI

### DFHRD0102 *date time applid terminal userid tranid* INSTALL MAPSET(*mapsetid*)

説明: マップ・セット *mapsetid* が、ユーザー *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, mapsetid*  
 宛先: CRDI

### DFHRD0103 *date time applid terminal userid tranid* INSTALL PARTITIONSET(*partitionsetid*)

説明: 区分セット *partitionsetid* が、ユーザー *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, partitionsetid*  
 宛先: CRDI

### DFHRD0104 *date time applid terminal userid tranid* INSTALL TRANSACTION(*transid*)

説明: トランザクション *transid* が、ユーザー *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, transid*  
 宛先: CRDI

### DFHRD0105 *date time applid terminal userid tranid*

### INSTALL PROFILE(*profilid*)

説明: プロファイル *profilid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, profilid*  
 宛先: CRDI

### DFHRD0106 *date time applid terminal userid tranid* INSTALL FILE(*fileid*)

説明: ファイル *fileid* が、ユーザー *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, fileid*  
 宛先: CRDI

### DFHRD0107 *date time applid terminal userid tranid* INSTALL LSRPOOL(*lsrpoolid*)

説明: *Lsrpool* *lsrpoolid* がユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, lsrpoolid*  
 宛先: CRDI

### DFHRD0108 *date time applid terminal userid tranid* INSTALL PARTNER(*partner\_name*)

説明: パートナー *partner\_name* が、ユーザー *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, partner\_name*  
 宛先: CRDI

### DFHRD0109 *date time applid terminal userid tranid* INSTALL TRANCLASS(*tranclassid*)

説明: トランザクション・クラス *tranclassid* が、ユーザー

userid によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, trandid, tranclassid*

宛先: CRDI

**DFHRD0119 I** *date time applid terminal userid trandid*  
**INSTALL DOCTEMPLATE**(*doctemplate-name*)

説明: DOCTEMPLATE *doctemplate-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CRDI

## DFHRMxxxx メッセージ

**DFHRM0101** *applid* **A severe error (code X'code') has occurred in module DFHSPP.**

説明: CICS は、モジュール DFHSPP 内に重大エラーを検出しました。

システムの処置: これがクリティカル・エラーである場合、(たとえダンプ・テーブルで CICS が終了しないよう指定されていても) CICS は終了し、ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制していない限り、システム・ダンプがとられてダンプ・コード RM0101 が出されます。エラーがクリティカル・エラーでない場合には、トランザクションは終了し、異常終了コード ASPM が出され、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSPP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, X'code'*

宛先: コンソール

**DFHRM0102** *applid* **A severe error (code X'code') has occurred in module DFHDBP.**

説明: CICS は、モジュール DFHDBP 内に重大エラーを検出しました。

システムの処置: これはクリティカル・エラーです。CICS は、(CICS が終了しないようダンプ・テーブル内で指定されていても) 終了します。ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制

モジュール: DFHAMP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, trandid, doctemplate-name*

**DFHRD0120 I** *date time applid terminal userid trandid*  
**INSTALL TCPISERVICE**(*tcpip-service-name*)

説明: TCPISERVICE *tcpip-service-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CRDI

モジュール: DFHAMP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, trandid, tcpip-service-name*

しない限り、システム・ダンプがとられ、ダンプ・コード RM0102 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDBP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, X'code'*

宛先: コンソール

**DFHRM0103** *date time applid* **Transaction trandid has been backed out during task detach.**

説明: タスクの終了時の暗黙同期点で、バックアウトが行われました。リソース・マネージャーのいずれかが、同期点要求に対してバックアウトで応答する場合に、これが起こります。

このメッセージは、CSMT ログに送られ、端末には送られません。それは、この時点において、端末はすでにタスクから切り離されているためです。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: すべてのローカル・リソースおよびリモート・リソースが同期化されるようにユーザー定義の処置をとってください。

モジュール: DFHSPP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, trandid*

宛先: CSMT

## DFHRTxxxx メッセージ

**DFHRT4401** *time applid* **No transaction identification specified. Please try again.**

説明: 端末オペレーターは、このトランザクションの ID を入力していません。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 有効なトランザクション ID を入力してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4402** *time applid* **You cannot use a Program Function key to start transactions on other systems.**

説明: プログラム・ファンクション・キーの使用により、経路

指定トランザクション (CRTE) を用いて別のシステムでトランザクションを開始することはできません。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 有効なトランザクション ID を入力してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4403** *time applid* **The routing session to system sysid has been terminated. Further transactions will not be routed to the connected system.**

説明: ルーティング・セッションが終了しました。後続のトランザクション ID は、接続されたシステムに送られません。システムの処置: CICS 処理は、システム *sysid* への接続を行わずに続行されます。

ユーザーの処置: システム *sysid* を使用する必要がある場合には、ルーティング・セッションが終了した理由を調べてください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4404** *time applid* **Please change format of request to CRTE**  
**SYSID=XXXX,TRPROF=YYYYYYYY.**

説明: ルーティング・トランザクション CRTE に対する要求に、誤った構文が含まれていました。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 正しい構文を使用して、ルーティング・トランザクション CRTE に対する要求を入力し直してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4405** *time applid* **System sysid cannot be found. Please check that you have used the correct system name.**

説明: システム *sysid* が、CICS に対して定義されていません。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 正しいシステム名を使用したかどうかを検査してください。正しいシステム名を指定して要求を入力し直すか、または CICS に対してシステム *sysid* を定義してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4406** *time applid* **System sysid is not in service or is released.**

説明: システム *sysid* は現在使用されていないか、または解放されていません。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。ルーティング・セッションは、接続が利用不能になる前に確立されていた場合は、ユーザーが CANCEL を入力するまで有効なままです。その入力の前に接続が使用できるようになった場合は、トランザクションは再び経路指定されます。このメッセージが初期 CRTE コマンドに対する応答として出された場合は、有効なルーティング・セッションはなく、後続の端末入力についてはルーティングは試みられません。

ユーザーの処置: システム *sysid* が使用可能になるまで待機してください。既存のルーティング・セッションを終了するには、CANCEL を入力してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4407** *time applid* **This system does not include support of Intersystem Communication.**

説明: このシステムは、システム間通信に対するサポートなしで生成されています。

システムの処置: CICS 処理は、システム間通信のサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: システム間通信をサポートするシステムを生成してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4408** *time applid* **Terminal termid is not of the type supported by routing transaction transid.**

説明: ルーティング・トランザクションが、使用されている端末のタイプをサポートしていません。

システムの処置: CICS 処理は、端末 *termid* に対するサポートがないまま続行されます。

ユーザーの処置: 経路指定トランザクションがサポートしているタイプの端末 (すなわち、3270 ディスプレイ端末またはコンソール) を使用してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4409** *time applid* **The routing session to system sysid has been started.**

説明: 経路指定セッションが開始されました。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4410** *time applid* **System sysid is unavailable. The routing session to it is terminated.**

説明: システムが使用不能になったため、ルーティング・トランザクションが終了しました。後続のトランザクション ID は、接続されたシステムに送られません。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 適切であれば、システム *sysid* への経路指定セッションが使用可能になったときに、トランザクションを再入力してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4411** *time applid* **The Communication Profile cannot be found.**

説明: このメッセージの宛先となる端末から呼び出されたトランザクションについて指定されたプロファイルが、CICS に対して定義されていません。

システムの処置: CICS は、トランザクションの初期設定を停止します。

ユーザーの処置: CICS に対して通信プロファイルを定義し

て、トランザクションの呼び出しをやり直してください。プロファイルの定義方法についての詳細は、「CICS Distributed Transaction Programming Guide」を参照してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4412** *time applid* **The transaction code is not defined on the remote system.**

説明: リモート CICS システムに経路指定されたトランザクション識別が、リモート・システムにおいてインストール済みトランザクション定義になっていません。CICS は、このメッセージをトランザクション識別が入力された端末に送ります。

このメッセージは、ローカル・システムの DFHAC2001 と類似しています。

システムの処置: CICS は、トランザクションの初期設定を停止します。

ユーザーの処置: 有効なトランザクション ID を入力するか、またはトランザクションをリモート・システムにインストールしてください。

モジュール: DFHZTSP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4413** *time applid* **The transaction has been disabled on the remote system.**

説明: リモート CICS システムへ経路指定されたトランザクションが、リモート・システムのインストール済みトランザクション定義で使用不可になっています。CICS は、このメッセージをトランザクション識別が入力された端末に送ります。

このメッセージは、ローカル・システムの DFHAC2008 と類似しています。

システムの処置: CICS は、トランザクションの初期設定を停止します。

ユーザーの処置: リモート・システム上のトランザクションを使用可能にしてください。

モジュール: DFHZTSP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4414** *time applid* **Transaction tranid cannot run. CICS shutdown is in progress in the remote system.**

説明: トランザクション *tranid* が、静止されつつあったリモート CICS システムに経路指定されました。CICS は、このメッセージをトランザクション識別が入力された端末に送ります。

このメッセージは、ローカル・システムの DFHAC2007 と類似しています。

システムの処置: リモート CICS システムは、静止を続行します。

ユーザーの処置: リモート CICS システムが通常の実行モードのときに、トランザクションを再入力してください。

モジュール: DFHZTSP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4415** *time applid* **Transaction CXRT was invoked directly by terminal input. This is not allowed.**

説明: 内部 CICS トランザクション用に予約されているトランザクション・コード CXRT が端末から入力されました。

システムの処置: トランザクションは実行されますが、何の結果も生じません。

ユーザーの処置: トランザクション・コード CXRT を端末から入力してはなりません。

モジュール: DFHCRT

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4416** *date time applid* **Abend abcode has occurred in the Dynamic Routing Program**

説明: 動的ルーティング・プログラムが異常終了して、異常終了コード *abcode* が出されました。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 異常終了コードは、トランザクション異常終了コードかユーザー異常終了コードのいずれかです。まず、異常終了コードを 557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。

そのコードが CICS トランザクション異常終了コードでない場合には、それはユーザー異常終了コードです。この分野を担当するプログラマーに説明を求めてください。

モジュール: DFHAPRT

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, abcode*

宛先: CSMT

**DFHRT4417** *date time applid* **Abend abcode in DFHAPRT - Dynamic routing program must be AMODE=31.**

説明: 動的ルーティング・プログラムが AMODE(31) でなかったために、CICS は動的ルーティング・プログラムに連係できませんでした。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 動的ルーティング・プログラムを再コンパイルおよび再アセンブルして、AMODE(31) にリンク・エディットしてください。

モジュール: DFHAPRT

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, abcode*

宛先: CSMT

**DFHRT4418** *date time applid* **Abend abcode in DFHAPRT - Dynamic routing program PPT entry not found.**

説明: CICS は、動的ルーティング・プログラムの PPT 項目を見つけないことができませんでした。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: DTRPGM システム初期設定パラメーターまたは EXEC CICS SET SYSTEM DTRPROGRAM(*program name*) コマンドで指定された動的ルーティング・プログラムが、正しく CICS に定義されていることを確かめてください。

モジュール: DFHAPRT



XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, abcode*  
宛先: CSMT

---

**DFHRT4419** *date time applid* **Abend abcode in DFHAPRT**  
**- Fetch for dynamic routing program failed.**

説明: CICS は、動的ルーティング・プログラムをロードすることができませんでした。  
システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。  
ユーザーの処置: DTRPGM システム初期設定パラメーターまたは EXEC CICS SET SYSTEM DTRPROGRAM(*program name*) コマンドで指定された動的ルーティング・プログラムが、正しく定義されていることを確かめてください。さらに、CICS がアクセスできるロード・ライブラリーに、動的経路指定プログラムが入っていることを確認してください。  
モジュール: DFHAPRT

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, abcode*  
宛先: CSMT

---

**DFHRT4420** *date time applid* **Abend abcode in DFHAPRT**  
**- Link to the dynamic routing program failed.**

説明: 動的ルーティング・プログラムへのリンクから予期しない戻りコードが戻されました。  
システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHAPRT

---

## DFHRUxxxx メッセージ

---

**DFHRU2800I** *applid* **DFHRUP completed**

説明: リカバリー・ユーティリティ・プログラムが処理を完了しました。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHRU2801** *applid* **I/O error reading the system log.**  
**DFHRUP terminates abnormally.**

説明: DFHRUP がシステム・ログを読み取ろうとしていたとき、緊急再始動時に識別されないエラーが起きました。  
システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。  
ユーザーの処置: システム・ログを調べて、DFHRUP が逆方向読み取りを完了する前に EOF (ファイル終わり) マーカーを検出したかどうか検査してください。これは、DFHRUP によるジャーナル・エクステントでの折り返しが原因である可能性があり、おそらく同期点または活動キーポイントが欠落しています。

DFHRUP が EOF マーカーを検出しなかった場合には、物理テープまたはディスクのエラーがないか調べてください。  
モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, abcode*  
宛先: CSMT

---

**DFHRT4421** *date time applid* **Unable to Delete remote Terminal termid that is connected to system sysid.**

説明: *termid* のリモート端末定義、システム *sysid* に削除のフラグが付けられましたが、DELETE が失敗したため、トランザクションを開始できませんでした。これは、端末上でトランザクションがループしていることを示している場合があります。  
システムの処置: ユーザー・トランザクションが異常終了し、異常終了コード AZTI が出力されます。  
ユーザーの処置: 詳細については、関連した DFHZCxxxx メッセージを参照してください。訂正すれば、トランザクションを再び実行することができます。  
モジュール: DFHZTSP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, sysid*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHRT4480** *time applid* **The CSSF transaction is no longer supported. Please use CEF.**

説明: ユーザーが CSSF トランザクションの実行を試みしました。CSSF トランザクションは、CRTE 取り消し処理のために CICS によってのみ内部的に呼び出されます。  
システムの処置: トランザクションは終了します。  
ユーザーの処置: CEF トランザクションを使用してサインオフしてください。  
モジュール: DFHRTC  
宛先: 端末エンド・ユーザー

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHRU2802** *applid* **Log record invalid. DFHRUP terminates abnormally.**

説明: ジャーナル・データ・セットに項目が含まれていないか、あるいは読み取られたジャーナル・レコードが、緊急再始動の行われている最後の CICS 実行と関連した一連のレコードの一部ではありませんでした。これがディスク・ボリュームである場合には、循環条件が起きた可能性があり、システムを再始動するための十分なデータが収集されませんでした。(これは、通常、システム・ログ用にスペースが十分にディスクで割り振られなかったときに起きます。)  
システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。  
ユーザーの処置: 正しいジャーナル・ボリュームが取り付けられているかどうかを調べてください。

これがテープ・ボリュームであり、DFHTEOF が実行されなかった場合には、DFHTEOF を実行してテープ・ボリュームのファイル終わりを見つけてください。

これがディスク・ボリュームである場合には、レコードがログ記録された時間よりも長い間、同期点をささずにシステム内に存在したタスクがないか検査してください。AKPFREQ システム初期設定パラメーターに指定された値がゼロより大きい検査してください。緊急再始動を実行できない場合には、

## DFHRU2803 • DFHRU2806

START=AUTO ではなく START=COLD を指定してください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHRU2803 *applid* Failure detected on open of the system log. DFHRUP terminates abnormally.

説明: このメッセージは、DFHRUP によって出されるジャーナル管理に対する 3 つのマクロ呼び出しのうちの 1 つから生じるエラーによって出されることがあります。

1. GETJCA,OPEN,VOL=FIRST
  - JCA ストレージを求める GETMAIN が失敗した可能性があります。
  - 初期オープン処理は、どれが現行ログ・データ・セットになるかを確かめるためにログ・データ・セットを調べ、その後最後に書き込まれたレコードを探すのですが、これが何らかの理由により失敗した可能性があります。
2. OPEN,INPUT,VOL=CURRENT
  - メインの入力用オープン処理は、DFHRUP による読み取りの準備のためにログを位置付けるものですが、これが失敗しました。
3. OPEN,INPUT,VOL=PREVIOUS
  - 前に使用されたデータ・セットのオープンが失敗しました。

メッセージが出された理由として、以下のことが考えられます。

1. 最後の CICS 実行以降にシステム・ログが再形式設定された。
2. システム初期設定パラメーター AKPFREQ がゼロに指定されていたため、最後の CICS 実行は活動キープポイントをログに書き込まなかった。
3. 緊急再始動中に DFHRUP がシステム・ログを逆方向に読み取り、データ・セットの先頭に達したので別のログ・データ・セットをオープンしようとしたが別のログ・データ・セットがない。(直前の実行のときに、CICS ログ記録は、ログ・データ・セットの最後からその先頭に折り返しました。)
4. CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームは、必要はすべての DLBL ステートメントを含んではない。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: どのマクロ呼び出しがこのメッセージの原因となったかについて判別を試みてください。これを行うには、おそらくダンプおよびトレース・テーブルを参照する必要があります。

要求情報 (おそらく応答コードも) を入手する JCA、およびログの JCT 項目も見つけて、その状況情報を得てください。DFHJUP を用いてログ・データ・セットを印刷して、その内容を調べる必要もあるかもしれません。

上に説明した理由のいずれかが当てはまるならば、以下に示すような処置をとってください。

1. CICS をコールド・スタートする。

2. 将来、緊急再始動を行えるようにしたい場合には、AKPFREQ を非ゼロ値に変更して、CICS をコールド・スタートする。
3. この問題の再発、および今後の緊急再始動の失敗を防ぐために、ログ・データ・セットのサイズを増やすか、あるいはもう 1 つのログ・データ・セットを作成する。それから CICS をコールド・スタートする。
4. 欠落している DLBL ステートメントをスタートアップ・ジョブ・ストリームに追加して、緊急再スタートアップを再試行する。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHRU2804 *applid* Unable to allocate storage. DFHRUP terminates abnormally.

説明: ストレージ・マクロに対する応答としてストレージが割り振られませんでした。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 領域サイズを増やして、再実行してください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHRU2805 *applid* Unrecoverable I/O error on the system log. DFHRUP terminates abnormally.

説明: システム・ログ・ボリュームで、ファイル終わり (EOF) または読み取りエラー以外のエラーが起きました。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 緊急再始動を再実行してください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHRU2806 *applid* No storage available for TBO record. DFHRUP terminates abnormally.

説明: トランザクション・バックアウト (TBO) データ域用にストレージを割り振ろうとしましたが、失敗しました。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 領域サイズを増やして、再実行してください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2807** *applid* Error occurred writing stats to transient data.

説明: CICS リカバリー・ユーティリティ・プログラム (DFHRUP) は、統計を一時データ宛先 CSSL へ書き込むために出された DFHTD TYPE=PUT マクロからの正規応答 (NORESP) を入手しませんでした。

システムの処置: CICS は、統計データの書き込みを終了しますが、緊急再始動は続行されます。

ユーザーの処置: 宛先管理テーブル (DCT) を調べ、どの装置上に CSSL が保持されているのかを判別してください。その装置に存在する問題を訂正してください。統計データが必要な場合には、緊急再始動を取り消し、エラーを訂正した後に CICS を再始動してください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2808** *applid* I/O error writing backout data to the restart data set. DFHRUP terminates abnormally.

説明: プログラムが再始動データ・セットにバックアウト・データ・レコードを書き込んでいる間に、入出力エラーが起きました。このメッセージが出されたのは、再始動データ・セットがいっぱいであるためです。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 再始動データ・セットを別のエクステンツに再割り振りするか、あるいは必要ならば、再始動データ・セットのサイズを増やしてください。データ・セットは、コールド・スタートの場合のように形式設定する必要があります。

このメッセージが緊急再始動時に出された場合には、さらに多くのスペースを再始動データ・セットに割り振り、引き続き緊急再始動が行えるようにするため、次のことを行ってください。

1. DFHRSD で VSAM REPRO を実行する。
2. DELETE/DEFINE プロシージャを使用して元の再始動データ・セットを大きくする。
3. REPRO を使用してデータを DFHRSD に再ロードする。

この後、START=AUTO により緊急再始動が起動されるはずですが。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2809** *applid* I/O error writing control tables to the restart data set. DFHRUP terminates abnormally.

説明: プログラムが、再始動データ・セットに管理テーブルを書き込んでいるとき、入出力エラーが起きました。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 再始動データ・セットを別のエクステンツに再割り振りするか、あるいは必要ならば、再始動データ・セッ

トのサイズを増やしてください。データ・セットは、コールド・スタートの場合のように形式設定してください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2811** *applid* Recovery control restart failed

説明: 必要なステップが失敗したために、CICS リカバリー管理再始動タスクを完了させることができませんでした。タスクは重要ないくつかのリカバリー操作を実行しましたが、異常終了コード ARCA を出して異常終了しました。

システムの処置: CICS は、リカバリー管理再始動タスクのトランザクション・ダンプを書き込みます。その後、CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

CICS は、2 つのメッセージをコンソールへ送ります。1 つは、リカバリー管理再始動タスクによって検出されたエラーを識別するものであり、もう 1 つは、タスクが失敗に終わったことを示す DFHRU2811 です。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHRCP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2812** *applid* Program DFHRCP cannot be found

説明: CICS リカバリー管理再始動プログラム (DFHRCP) を見つけることができません。

CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHRCP を見つけることができません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンの中のサブライブラリーに DFHRCP を入れてください。

モジュール: DFHRCP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2814** *applid* I/O error on restart data set, VSAM return codes are RF=nn, FDBK=mm

説明: 再始動データ・セットの読み取りまたは書き込み中に、VSAM エラーが起きました。nn はレジスター 15 の中の戻りコードであり、mm は要求パラメーター・リスト (RPL) の中のフィールドバック・フィールドの値です。

システムの処置: このメッセージがシャットダウン時に出され、CICS が START=AUTO で再始動された場合には、緊急始動が行われます。

ユーザーの処置: メッセージ内のコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

モジュール: DFHRCP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*nm*、*mm*

宛先: コンソール

**DFHRU2815** *applid* Program DFHUSBP cannot be found. User backout processing cannot be performed

説明: CICS は、プログラム DFHUSBP が見つからないため、ユーザー・バックアウト処理を行うことができません。

CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHUSBP を見つけることができません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHUSBP を入れてください。

モジュール: DFHRCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2816** *applid* Exit program *progname* is not available

説明: ユーザー定義のグローバル出口プログラム *progname* は、定義されていないか、使用不可か、またはプログラム・ライブラリーから欠落しています。

システムの処置: CICS は、リカバリー管理再始動タスクを異常終了させ、トランザクション異常終了コード ARCB が出されます。そして、CICS が異常終了します。

ユーザーの処置: プログラム *progname* を使用可能にしてください。

モジュール: DFHRCEX

XMEOUT パラメーター: *applid*、*progname*

宛先: コンソール

**DFHRU2818A** *applid* Unable to browse DL/I entries on the CICS Global Catalog

説明: DL/I 状況レコードについてのグローバル・カタログ・ブラウザで、無効な戻りコードが検出されました。グローバル・カタログは破壊されています。

システムの処置: 実行は異常終了します。

ユーザーの処置: グローバル・カタログとローカル・カタログの両方を再形式設定してから、システムをコールド・スタートしてください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2820I** *applid* DFHRUP in progress

説明: CICS リカバリー・ユーティリティ・プログラムが実行を開始しました。

システムの処置: CICS リカバリー処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2821** *applid* Storage Allocation error. DFHRUP abnormally terminates.

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインへの要求でエラーが起きました。エラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、そして (おそらく) システム・ダンプを与えているはずで。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 元のエラーを検出したドメインからの関連したメッセージを参照してください。それには、詳しい情報や手引きが示されています。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHRU2830** *applid* Unable to find the start of unit of work record on the system log for task *taskid*, transaction *trandid* on terminal *termid*.

説明: タスク *taskid* を完全にリカバリーすることができません。これは、CICS がシステム・ログ上の作業単位レコードの始まりを見つけないためです。これは、通常、システム・ログの循環条件 (システムを再始動するための十分なデータが収集されない状態) によって引き起こされます。これは、次のような場合に起こります。

- システム・ログ用にディスクで十分なスペースが割り振られなかった。
- システム・ログ・データ・セットの交換が早めに行われた。
- タスクが、遅れている外部イベントを待っている。

システムの処置: 処理を続行します。このメッセージは、十分にリカバリーできないそれぞれのタスクごとに出されます。その後、メッセージ DFHRU2839 が出されます。

ユーザーの処置: タスクを手動でリカバリーする際に必要になる可能性があるため、メッセージの詳細を書き留めておいてください。詳しい手引きについては、メッセージ DFHRU2839 を参照してください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*taskid*、*trandid*、*termid*

宛先: コンソール

**DFHRU2831** *applid* Unable to find the committed output message record on the system log for terminal *termid*.

説明: 端末 *termid* へのコミット済み出力メッセージの肯定応答を CICS は受け取りませんでした。メッセージはシステム・ログ内に見つかりません。これは、通常、循環条件 (システムを再始動するための十分なデータが収集されない状態) によって引き起こされます。これは次のような場合に起こります。

- システム・ログ用にディスクで十分なスペースが割り振られなかった。
- システム・ログ・データ・セットの交換が早めに行われた。

システムの処置: 処理を続行します。リカバリーの終了時に

メッセージ DFHRU2839 が出されます。

ユーザーの処置: メッセージと端末を手動でリカバリーする際に必要になる可能性があるため、メッセージの詳細を書き留めておいてください。詳しい手引きについては、メッセージ DFHRU2839 を参照してください。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *termid*

宛先: コンソール

**DFHRU2839D *applid* Emergency restart failed to complete.  
Do you wish to continue? Reply 'Yes' or 'No'.**

説明: 1 つまたは複数のメッセージ DFHRU2830 および DFHRU2831 で報告された理由のため、緊急再始動は正常に行われませんでした。

システムの処置: CICS はメッセージに対する応答を待ちます。

ユーザーの処置: 「Yes」または「No」と応答してください。

- 正しいシステム・ログがロードされたことを確信しており、DFHRU2830 および DFHRU2831 メッセージで報告されたリカバリー問題の数が少ない場合には、「Yes」と応答してください。「Yes」と応答した場合、必要とされる手動によるリカバリーの量はかなり少なくなります。

「Yes」を選択した場合、完全にリカバリーできるすべての作業単位がリカバリーされ、さらにメッセージ DFHRU2830 で報告された完全にはリカバリーしないすべての作業単位が部分リカバリーされます (一部のデータが使用可能である場合)。

対応するスケジュール・レコードのない活動 DL/I レコードが見つかった場合、作業単位はリカバリーされず、メッセージ DFHRU2830 で報告されます。活動 DL/I レコードとそれに対応するスケジュール・レコードが見つかった場合、作業単位は完全にリカバリーされます。つまり、アクティブ DL/I 作業単位は、完全にリカバリーされるか、まったくリカバリーされないかのいずれかです。

保存されたシステム・ログ・テープから報告済みメッセージに関連したレコードを検索して、これらのリカバリーを手操作で完了することを考慮してください。

- 正しいシステム・ログがリカバリーされたかどうか確信がない場合、個別のリカバリー問題 (メッセージ DFHRU2830 および DFHRU2831 で報告されたもの) が多数ある場合、あるいはシステムの状況がよく分からない場合には、「No」と応答してください。

「No」と応答すると、トランザクションはリカバリーされず、メッセージ DFHRU2802 がこのメッセージの後に发出されます。

この問題が再発する可能性を小さくするために、以下のことを検討してください。

- 同期点処理

トランザクションは、一連の作業単位に分割することができ、それぞれの作業単位は障害の後にリカバリーされるリソースの範囲を明確に定めます。アプリケーション・プログラム全体にわたって適切な地点で多くの SYNCPOINT 呼び出しを出すことにより、これを最小にしてください。

- システム初期設定パラメーター AKPFREQ

AKPFREQ=0 を指定すると、キーポイント処理はオフにされ、試みられるリカバリーはすべて失敗します。

- システム・ログ・サイズ

システム・ログは、最も古い作業単位の実行中にログに記録されたすべてのログ・データを保持できるほど十分大きくなければならず、適切な場合には、すべてのコミット済み出力メッセージを受け取るときまでに拡張する必要があります。

システム・ログには、完全な活動キーポイントが保存されていなければなりません。

モジュール: DFHRUP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

## DFHSIxxxx メッセージ

**DFHSI0101 *applid* Storage error while restoring DWE warm start data.**

説明: CICS は、直前のウォーム・キーポイントの間にカタログに保管された据え置き作業エレメント (DWE) を作成しようとしました。ストレージ (SM) 管理機能ドメインの呼び出しが失敗しました。DWE リカバリーができません。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 前に出されている SM ドメイン・メッセージを参照して、GETMAIN の失敗の原因を判別してください。

CICS は、AUTO または COLD で再始動する必要があります。

モジュール: DFHSI1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI0102 *applid* Error reading DWE warm start data.**

説明: CICS は、直前のウォーム・キーポイントの間にカタログに保管された据え置き作業エレメント (DWE) を作成しようとしました。カタログに保管されている次の DWE を検索するための呼び出しが失敗しました。このメッセージは、カタログが破壊されていることを示しています。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 前に出されているカタログ (CC) マネージャー・メッセージを参照して、カタログ処理のエラーの原因を判別してください。

CICS は、カタログが信頼できないため、コールド (COLD) スタートする必要があります。

モジュール: DFHSI1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI0103** *applid Error chaining a DWE onto a {LU6.1 | LU6.2} owner.*

説明: CICS は、直前のウォーム・キーポイントの間にカタログに保管された据え置き作業エレメント (DWE) のコピーを作成しました。その後、CICS はそれを適切な制御ブロックにチェーニングしようとしたが、制御ブロックが見つかりませんでした。再始動では、チェーニングを正常に行うために必要な情報がすべては生成されませんでした。

DWE が LU6.1 タイプである場合には、それを所有する制御ブロックは DWE で示されている TCTTE です。

DWE が LU6.2 タイプである場合には、それを所有する制御ブロックは、DWE で示されているリカバリー単位記述子 (URD) 番号です。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS は、ウォーム (WARM) リスタートが信頼できないためコールド (COLD) リスタートを行う必要があります。

モジュール: DFHSIII

XMEOUT パラメーター: *applid*, {1=LU6.1, 2=LU6.2}

宛先: コンソール

**DFHSI0104** *applid Catalog error while restoring URDP warm start data.*

説明: CICS は、直前のウォーム・キーポイントでカタログに保管された URDP (リカバリー単位記述子ポインター) を読み取ろうとしました。

カタログに保管されている次の URDP を検索するための呼び出しが失敗しました。このメッセージは、カタログが破壊されていることを示しています。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 前に出されているカタログ (CC) マネージャー・メッセージを参照して、カタログ処理のエラーの原因を判別してください。

CICS は、カタログが信頼できないため、コールド (COLD) スタートする必要があります。

モジュール: DFHSIII

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI0105** *applid Error locating terminal tttt for URDP processing.*

説明: CICS は、端末 *tttt* 用に URDP (リカバリー単位記述子ポインター) エレメントを再び連鎖しようとした。端末 *tttt* が見つかりませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS は、カタログが信頼できないため、コールド (COLD) スタートする必要があります。

モジュール: DFHSIII

XMEOUT パラメーター: *applid*, *tttt*

宛先: コンソール

**DFHSI0106** *applid Error terminal tttt has no LUC extension.*

説明: CICS は、端末 *tttt* 用に URDP (リカバリー単位記述子ポインター) エレメントを再び連鎖しようとした。端末 *tttt* には LUC 拡張子がありませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS は、カタログが信頼できないため、コールド (COLD) スタートする必要があります。

モジュール: DFHSIII

XMEOUT パラメーター: *applid*, *tttt*

宛先: コンソール

**DFHSI0914I** *applid Unable to initiate transaction CSFU. Files will not be opened at initialization.*

説明: モジュール DFHSIJ1 は、トランザクション CSFU を開始することができませんでした。CSFU がインストール済みトランザクション定義でないか、もしくは DFHFUCU がインストール済みプログラム定義でないためです。

システムの処置: CICS は、初期設定時にいかなるファイルもオープンしません。初期設定時にオープンするものとしてファイル管理テーブル (FCT) にファイルが定義されている場合は、CICS は、最初の参照時にそのファイルをオープンします。

ユーザーの処置: トランザクション CSFU とプログラム DFHFUCU を実行できるようにしてください。DFHLIST のグループ DFHOPCLS には、ファイルのオープンとクローズ (初期設定時だけでなく動的にも) に必要なすべての定義が入っています。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1250** *applid VSAM error processing SHOWCAT for intrapartition data set dsetname R15=xxxx.*

説明: 区画内データ・セット *dsetname* の SHOWCAT 処理中に、VSAM がエラーを検出し、戻りコード *xxxx* を出しました。

システムの処置: CICS は、ダンプを作成して、異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 「VSE/VSAM User's Guide and Application Programming」で戻りコードを確認し、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSID1

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dsetname*, *xxxx*

宛先: コンソール

**DFHSI1499** *applid Unable to acquire special storage.*

説明: CICS 初期設定の一環として、取り出し保護サブプールからストレージの領域の獲得が試みられます。この試みが失敗しました。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、ユーザーのオペレーション

グ・システムに重大な問題があることを示しています。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSIB1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1500** *applid element startup is in progress for CICS Transaction Server Version version*

説明: これは、*element* のスタートアップが進行中であることを示す通知メッセージです。

*Element* は、CICS トランザクション・サーバー・バージョン *version* の一部です。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは抑止できません。

モジュール: DFHAPSIP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*element*、*version*

宛先: コンソール

**DFHSI1501I** *applid Loading CICS nucleus.*

説明: これは、CICS の中核がロードされていることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIB1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1502I** *applid CICS startup is {Cold | Warm | Emergency | Logterm}.*

説明: CICS の初期設定時に再始動のタイプが判別され、そのタイプがこのメッセージによってオペレーターに伝えられます。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、{1=Cold、 2=Warm、 3=Emergency、 4=Logterm}

宛先: コンソール

**DFHSI1503I** *applid Terminal data sets are being opened.*

説明: これは、端末データ・セットがオープンされていることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIF1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1504** *applid Error reading URD warm start control data.*

説明: CICS は、再始動データ・セット (DFHRSDD) 内にある URD (リカバリー単位記述子) ウォーム・スタート制御情報を読み取ることができませんでした。通常、このメッセージの前

に、VSAM 戻りコードを示すメッセージが出されます。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: 再始動データ・セット内の問題を訂正してください。問題を訂正できない場合は、コールド・スタートまたは緊急再始動を行う必要があります。

モジュール: DFHSIII1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1506** *applid Unable to OPEN the global catalog.*

説明: 初期設定時に、CICS はグローバル・カタログ・データ・セット (DFHGCD) に対して OPEN を出しましたが、OPEN は失敗しました。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: OPEN の障害の理由については、前に出された VSAM メッセージを調べてください。START=AUTO を指定する場合、またはジャーナル・サポート付きシステムを定義する場合には、JCL でグローバル・カタログ・データ・セットを与えなければならないことに注意してください。

モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1508** *applid Error reading AID warm start control data.*

説明: CICS は、再始動データ・セット (DFHRSDD) 内にある AID (自動開始記述子) ウォーム・スタート制御情報を読み取ることができませんでした。通常、このメッセージの前に、VSAM 戻りコードを示すメッセージが出されます。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: 再始動データ・セット内の問題を訂正してください。問題を訂正できなければ、コールド・スタートまたは緊急再始動を行う必要があります。

モジュール: DFHSIII1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1509** *applid Error reading ICE warm start control data.*

説明: CICS は、再始動データ・セット (DFHRSDD) 内にある ICE (インターバル制御エレメント) ウォーム・スタート制御情報を読み取ることができませんでした。通常、このメッセージの前に、VSAM 戻りコードを示すメッセージが出されます。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: 再始動データ・セット内の問題を訂正してください。問題を訂正できなければ、コールド・スタートまたは緊急再始動を行う必要があります。

モジュール: DFHSIII1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1510I** *applid Journal control subtask is being attached/entered.*

説明: これは、ジャーナル管理 OPEN/CLOSE オペレーティング・システム・サブタスクが生成されようとしていることを示す通知メッセージです。

## DFHSI1511I • DFHSI1525

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIH1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1511I *applid* Installing group list *grplist*.

説明: グループ・リスト *grplist* がインストールされようとしています。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIH1

XMEOUT パラメーター: *applid*, *grplist*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1514I *applid* DL/I initialization started.

説明: これは、データ言語 /I (DL/I) 初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIH1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1516I *applid* Opening journal data sets.

説明: これは、ジャーナル・データ・セットがオープンされようとしていることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑制することができます。

モジュール: DFHRCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1517 *applid* Control is being given to CICS.

説明: 制御が CICS に与えられようとしていることを示す通知メッセージです。

*applid* は、このメッセージを出す CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1518 *applid* No control record on global catalog data set. Cold start forced.

説明: グローバル・カタログ・データ・セットに制御レコードがありませんでした。このメッセージが出されるのは、グローバル・カタログ・データ・セットが最初に使用されるときだけです。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: グローバル・カタログ・データ・セットが最初に使用される場合には、このメッセージが出されることが予期されます。しかし、グローバル・カタログ・データ・セット

内に直前の CICS 実行からの情報が含まれていなければならない場合には、CICS を取り消して、この矛盾の理由を調べる必要があります。

モジュール: DFHSIC1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1519I *applid* The interregion communication session was successfully started.

説明: これは、領域間通信 (IRC) セッションが正常に開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1521 *applid* CICS unable to continue for reasons given above.

説明: 1 つまたは複数の重大エラーがあるために、CICS の初期設定を続行することができません。このメッセージの前に、エラーを記述する 1 つまたは複数のメッセージが出されています。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 問題の判別とそれらの解決方法についての手引きは、このメッセージの前に出されたいずれかのメッセージを参照してください。エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIH1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1522D *applid* Restart errors reported above. Reply 'GO' or 'CANCEL'.

説明: このメッセージの前に、1 つまたは複数のエラー・メッセージが出されています。CICS は低下モードでのみ初期設定を続行することができます。

システムの処置: このメッセージに対する応答に応じて CICS は、終了するかまたは低下モードで初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 報告されたエラーとそれらの影響を考慮して、CICS を低下モードで続行させるかどうかを判断してください。続行させる場合には、「GO」と応答してください。それ以外の場合には、「CANCEL」と応答してください。エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIH1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1525 *applid* Control record on DFHGCD data set invalid.

説明: CICS は、グローバル・カタログから制御レコードを読み取ることができません。

このメッセージは、システム・ログ・データ・セットがジョブ制御テーブル (JCT) から欠落している場合にも出されます。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

ユーザーの処置: システム・ログ・データ・セットが欠落して



いる場合、システム・ログ・データ・セットを生成して、緊急再始動を試みてください。

システム・ログ・データ・セットが欠落していないか、または緊急再始動が失敗した場合には、コールド・スタートを実行してください。

モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1527** *applid* **Cannot open DFHGCD data set.  
Cold start will be forced when CICS  
restarted.**

説明: コールド・スタート時に、CICS はグローバル・カタログをオープンできませんでした。これは、グローバル・カタログがスタートアップ・ジョブ・ストリームに定義されていないためか、VSAM エラー (前に出されている VSAM エラー・メッセージを参照してください) が原因であると思われます。CICS はグローバル・カタログに書き込みができないため、次回 CICS を起動する際にはコールド・スタートしか行えません。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: この CICS 実行が異常終了した場合には、緊急再始動を行うことはできません。こうしたリスクを許容できる場合には、CICS を続行させてください。許容できない場合には、CICS を取り消して、ジョブ・ストリームに定義されている使用可能なグローバル・カタログを使って再始動してください。

モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1528** *applid* **CSA record on DFHGCD data set  
invalid.**

説明: CICS は、共通システム域 (CSA) ウォーム・スタートの制御レコードをグローバル・カタログから読み取ろうとしましたが、それが無効であることを検出しました。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されません。

ユーザーの処置: 緊急再始動を実行してください。

モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1530** *applid* **Purge of non-executable ATI request  
inoperative.**

説明: CICS は、自動トランザクション開始 (ATI) 除去遅延間隔よりも長い時間受け入れられなかった ATI 要求をシステムから削除する CRSQ タスクを、開始することができません。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: ATI の除去が必要な場合には、次の CICS の初期設定時に CRSQ タスクが使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHSI11

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1531** *applid* **Terminal control incompatibility.**

**macro** **VTAM return code: *retcode* error code:  
*errcode* (modname: DFHZRPL).**

説明: CICS が端末管理の初期設定時に矛盾を見つけました。

*macro* は、失敗した VTAM マクロの名前です。

*retcode* は、レジスター 15 内の VTAM 16 進戻りコードです。

*errcode* には、レジスター 0 の内容が含まれ、この内容は、関連する 16 進数のエラー・コードです。

VTAM 戻りコード *retcode* および VTAM エラー・コード *errcode* についての詳細は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照してください。

この矛盾は、(おそらくデフォルトにより) VTAM=YES が SIT に指定されているものの、VTAM マクロの GENCB および SHOWCB を使用できないことが原因と考えられます。

システムの処置: このメッセージを出した後、システム・ダンプが作成され、CICS システム初期設定が異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この VTAM 戻りコードとエラー・コードを使用して、VTAM マクロ *macro* 内での失敗の原因を判別してください。VTAM 戻りコードの診断情報については、

「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照してください。エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *macro*, *retcode*, *errcode*

宛先: コンソール

**DFHSI1533** *applid* **modname loaded at X'address'.**

説明: これは、CICS がアドレス *address* においてモジュール *modname* をロードしたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAPSIP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *modname*, *address*

宛先: コンソール

**DFHSI1534** *applid* **Unable to link to program DFHAMP  
- GRPLIST parameter ignored.**

説明: DFHAMP プログラムは、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも見つけることができません。GRPLIST パラメーターを処理できないので、このパラメーターは無視されます。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: DFHAMP プログラムが CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーにあるか確認してください。

モジュール: DFHSI11

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1535** *applid* **Severe error detected in DFHAMP - CICS is terminating.**

説明: GRPLIST パラメーターの処理中に重大エラーが検出されました。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: これは、おそらく DFHAMP での論理エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。

手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1536D** *applid* **GRPLIST grplist does not exist. Enter alternative name, 'GO' or 'CANCEL'.**

説明: グループ・リスト *grplist* を CSD ファイル上に見つけることができません。

システムの処置: CICS は応答を待ちます。CANCEL と応答すると、CICS は終了します。GO と応答すると、CICS は指定された GRPLIST を無視して次のものをインストールしようとし、有効なリスト名を指定すると、CICS 初期設定は続行され、リストがインストールされます。

ユーザーの処置: 「GO」、「CANCEL」、または有効な GRPLIST を入力してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター: *applid*, *grplist*

宛先: コンソール

**DFHSI1537D** *applid* **GRPLIST grplist does not exist. Enter alternative name or 'CANCEL'.**

説明: グループ・リスト *grplist* を CSD ファイル上に見つけることができません。

システムの処置: CICS は応答を待ちます。CANCEL と応答すると、CICS は終了します。有効なリスト名を指定すると、CICS 初期設定は続行され、リストがインストールされます。

ユーザーの処置: 「CANCEL」または有効な GRPLIST を入力してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター: *applid*, *grplist*

宛先: コンソール

**DFHSI1538D** *applid* **Install GRPLIST Errors. Is startup to be continued - Enter 'GO' or 'CANCEL'.**

説明: GRPLIST を CICS 初期設定時にインストールしている間に、DFHAMP にエラーが検出されました。一緒に出されるメッセージがエラーの性質について説明しています。

システムの処置: CICS は応答を待ちます。CANCEL と応答すると、CICS は終了します。GO と応答すると、CICS の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: これらのエラーについての詳細は、関連するメッセージを参照してください。GO または CANCEL と応答してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1539** *applid* **Error attaching the CESC (Terminal Timeout) transaction.**

説明: 代替 XRF 領域の初期設定中に、CESC トランザクションが開始に失敗しました。CICS は初期設定を続行しますが、引き継ぎがタイムアウトにならなかった後も、端末はサインオンされたままです。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は初期設定を続行します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、トランザクションを開始することができなかった理由を調査してください。システムのストレージが不足していたか、またはトランザクションが使用不能であったなどの理由が考えられます。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1543** *applid* **Time-Of-Day clock inoperative.**

説明: システム初期設定で、CICS 用の時刻機構の値を設定することができませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されません。

ユーザーの処置: 時刻機構は、CICS 実行の範囲外にあって、使用を禁止されている場合があります。時刻機構を使用できるようにして、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1545** *applid* **Unable to OPEN ACB for restart data set.**

説明: CICS は、再始動データ・セット (DFHRSD) に OPEN を出しましたが、OPEN は失敗しました。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されません。

ユーザーの処置: OPEN の障害の理由については、前に出された VSAM メッセージを調べてください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1546** *applid* **Control record on DFHGCD data set invalid.**

説明: CICS は、グローバル・カタログ (DFHGCD) から制御レコードを読み取ろうとしましたが、それが無効であることを検出しました。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されません。

ユーザーの処置: コールド・スタートを実行してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI1549** *applid* **Logic error when building TCT module list.**

説明: モジュール DFHZCA、ZCB、ZCP、ZCW、ZCX、ZCY、ZCZ、および ZCXR の形式が、期待どおりに設定されていないか、または TCT が正しく生成されていませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージの理由としては、以下のことが考えられます。

1. リストされたモジュールは VTAM 機能なしで生成されたが、システム初期設定テーブル (SIT) は VTAM=YES を指定している。
2. TCT には、ACCESSMETHOD=VTAM が含まれていないのに、システム初期設定テーブル (SIT) では、VTAM=YES が指定されている。
3. リストされたモジュールの入り口点が正しくない。
4. リストされた各モジュール内のモジュール・リストが正しくない。

理由 1 または 2 が当てはまる場合には、エラーを訂正してください。それ以外の場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI1550** *applid* **A severe error has occurred while making a domain domain call with response (X'reason') and reason (X'reason').**

説明: 指定されたドメインから予期しないエラーが戻されました。応答と理由コードが示されます。

システムの処置: 障害のあるドメインが前に診断を受けていない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム管理者に知らせてください。この障害は、CICS 内に重大エラーがあることを示しています。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSIII

XMEOUT パラメーター: *applid, domain, X'reason', X'reason'*

宛先: コンソール

---

**DFHSI1551** *applid* **The CICS region userid *userid* is not authorized to use the PLTPIUSR parameter userid *userid*. Initialization cannot continue, so CICS is terminated.**

説明: CICS 領域に対するジョブ制御ステートメントに指定されたユーザー ID は、PLTPIUSR システム初期設定パラメーターに指定されたユーザー ID の使用を許可されていません。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: PLT 処理に対して正しいユーザー ID が指定されていることを確認してください。

CICS 領域用のユーザー ID に、必要な許可があることを確認してください。セキュリティー管理者の支援が必要になる場合があります。

必要な訂正が行われたら、CICS ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHSIII

XMEOUT パラメーター: *applid, userid, userid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI1552** *applid* **Userid *userid* specified for the PLTPIUSR parameter has not been defined correctly to the external security manager (ESM). SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: PLTPIUSR 初期設定パラメーターに指定されたユーザー ID が、正しく定義されていません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。ユーザーの処置: PLT 処理用に適したユーザー ID が指定されていること、および外部セキュリティー・マネージャー (ESM) の定義が正しく指定されていることを確認してください。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティー・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティー・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

CICS または外部セキュリティー・マネージャー (ESM) によって、追加の情報を提供するメッセージがさらに作成される場合があります。

エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIII

XMEOUT パラメーター: *applid, userid, X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*

宛先: コンソール

**DFHSI1556** *applid* SKRP {A | F}x disabled due to extension of PGRET value.

説明: 初期設定オプションとして与えられた PGRET 値により、すべての単一キー検索値が設定し直されました。メッセージに示された値が 16 バイトを超えています。x には、A の場合は 1 から 3 の値、F の場合は 1 から 12 の値が示されます。

システムの処置: メッセージに示されているキー (それぞれ PA1 から PA3 および PF1 から PF12) の使用が禁止になります。

ユーザーの処置: コンソールを使用して初期設定指定変更値を入力できることが (PARM によって) 指定されていれば、PGRET または SKRxxxx (あるいはその両方) の初期設定オプションを入力し直すことができます。

モジュール: DFHPASY

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, {1=A, 2=F}, x

宛先: コンソール

**DFHSI1558** *applid* Program progname cannot be found.

説明: プログラム *progname* は、CICS の初期設定を正しく行うために不可欠なものです。スタートアップ・ジョブ・ストリームで指定されたグループ・リストにより参照されるグループ内に定義されていませんでした。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: このプログラムが、スタートアップ・ジョブ・ストリームで指定されたグループ・リストにより参照されるグループ内に定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHSIJ1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *progname*

宛先: コンソール

**DFHSI1559** *applid* Profile DFHCICSE cannot be found.

説明: DFHCICSE プロファイルは、CICS の初期設定を正しく行うために不可欠なものです。しかし、これがスタートアップ・ジョブ・ストリームで指定されたグループ・リスト内に定義されていませんでした。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: DFHCICSE プロファイルが、スタートアップ・ジョブ・ストリームで指定されたグループ・リスト内に定義されていることを確認してください。DFHCICSE の定義は、CICS システム定義 (CSD) ファイル上の DFHSTAND グループ内に与えられています。

モジュール: DFHXCPA, DFHSIJ1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1560** *applid* Time-Of-Day clock inoperative.

説明: システム初期設定で、CICS 用の時刻機構の値を設定することができませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されます。

ユーザーの処置: 時刻機構は、CICS 実行の範囲外にあって、使用を禁止されている場合があります。時刻機構を使用できるようにして、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1561D** *applid* Startup time earlier than shutdown time. Reply 'WAIT' or 'CANCEL'.

説明: CICS がウォーム・スタートされようとしています。スタートアップ用の時刻機構が、直前のウォーム終了で記録された時刻機構値と比較されます。これら 2 つの値が、15 秒より多く異なっています。シャットダウンとスタートアップの両方の時刻機構値は、ストア・クロック (STCK) 命令を使用して取得されます。次の点に注意してください。

1. 種々のリソース・マネージャーは、時刻機構の値が減少しないことを前提としている。
2. CICS がある CPC で実行されていたのに、別の CPC で再始動される場合にのみ問題が生じる。

システムの処置: 応答が「CANCEL」である場合、CICS は異常終了して、ダンプが提供されます。応答が「WAIT」である場合、CICS スタートアップは最大 15 秒間まで遅らされ、その後、時刻機構の値がもう一度比較されます。

ユーザーの処置: 時刻機構は、CICS に使用される可能性があるすべての CPC で同期化されている必要があります。それが行われていないと、CICS に対して次のような影響があります。

1. START=STANDBY が SIT で指定されている場合、引き継ぎが遅らされる可能性がある。
2. CICS が緊急始動されると、予測不能なエラーが起こる可能性がある。

モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1562** *applid* Unable to initialize application domain statistics.

説明: CICS 初期設定時に、アプリケーション・ドメイン (AP) 統計制御モジュール DFHSII1 の初期設定が行われている間に、エラーが検出されました。CICS の AP コンポーネントで問題が発生した可能性があります。

システムの処置: 例外トレース項目がトレース・テーブル内に作成され、CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このエラーは、CICS のカーネル (KE) ドメインによって検出された以前のエラーのために発生した可能性があります。KE ドメインから出された DFHKExxxx で始まる以前のメッセージ、接頭部 KE を持つ CICS トレース・テーブル項目、およびダンプを探してください。これらは、エラーのタイプととるべき処置を示します。

KE コンポーネントによって以前にエラーが検出されていない場合には、DFHSII1 は例外項目をトレース・テーブル内に作成し (id=X'0700')、CICS を異常終了させ、コード=1562 を出し、システム・ダンプが作成されます。この場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1563** *applid* System log entry not present in JCT.

説明: システム・ログ用の項目が JCT にはありませんでした。次のいずれかの理由のため、項目が必要です。

1. DLI が要求された (DLI=YES)。
2. 緊急再始動が必要である。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、メッセージが出された理由によって異なります (説明の中の番号を参照してください)。

1. システム・ログ項目を用意する。
2. システム・ログ項目および正しいログを用意して、緊急再始動を実行する。あるいは データベースの同期がとれていない可能性があるので、START=COLD を指定する。

モジュール: DFHSIB1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1564** *applid* Program DFHSTP failed.

説明: 緊急再始動時に、メッセージ DFHSI1588 に対して CANCEL 応答が入力されました。CICS システム初期設定プログラムはシステム終了プログラムにリンクされました。それは CICS を終了させたはずですが、そうではなく、制御をシステム初期設定プログラムに戻しました。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、内部 CICS エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSI11

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1565** *applid* Program DFHSTP cannot be found.

説明: CICS 初期設定時に、ユーザーの CANCEL 要求が出されましたが、CICS システム終了プログラムを見つけることができませんでした。CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHSTP をつけることができません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHSTP を入れてください。

モジュール: DFHSI11

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1566** *applid* Unable to establish JCT entries.

説明: システム初期設定時に、CICS グローバル・カタログ (DFHGCD) から JCT 項目を設定しようとしたとき、CICS はエラーを検出しました。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS カタログおよびジャーナル管理テーブル (JCT) を検査してください。

モジュール: DFHSIC1、DFHJCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1572** *applid* Unable to OPEN VTAM ACB - RC=xxxxxxx ACB Code=yy.

説明: システムの初期設定時に、VTAM ACB のオープンを試みているときにエラーが起きました。RC=xxxxxxx は、レジスター 15 にある VTAM エラー・コードです。yy は、16 進数の ACB の内容です。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: ACB エラー・フィールドの値および戻りコードに関する詳細については、「VTAM プログラミング」を参照してください。

これらの値と戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。

取り消すか続行するかを決定してください。(このメッセージは、VTAM を立ち上げる前に CICS を立ち上げたときに出来ます。)

この CICS 実行中に VTAM 端末を使用したいときには、VTAM を活動化させなければなりません。VTAM ACB は、CEMT SET VTAM OPEN コマンドによってオープンすることができます。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター: *applid*, xxxxxxxx, yy

宛先: コンソール

**DFHSI1573** *date time applid* Terminal Control is unavailable due to an unsupported access method.

説明: バージョン 3 以前の VTAM のリリースは、CICS のこのリリースではサポートされていません。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アクセス方式を更新してください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1574** *applid* TCTUA Subpool not added in DFHZRPL. CICS initialization cannot continue.

説明: ストレージ・マネージャーがサブプールの追加を試みて失敗しました。VTAM 以外の端末に関連した TCTUA が使用できるようサブプールを追加しようとしているときに、モジュール DFHZRPL が失敗しました。サブプールは必要なとき

## DFHSI1575 • DFHSI1581

に存在していなければならないので、これは重大エラーです。  
システムの処置: サブプールの追加を試みた CICS システムの初期設定が異常終了します。サブプールを追加できない場合には、CICS を正しく実行することはできません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

### DFHSI1575 *applid* Getmain failed for TCTUA subpool in module DFHZRPL. CICS initialization cannot continue.

説明: TCTUA サブプールが使用できるようストレージを GETMAIN しようとしているときに、モジュール DFHZRPL が失敗しました。このサブプールはすでに追加されていますが、そのためのストレージがまだありません。これは重大エラーです。  
システムの処置: 初期設定の手順の途中で、GETMAIN 障害が早すぎたため、CICS 初期設定を続行することができません。GETMAIN の実行を試みて失敗した CICS システムが終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

### DFHSI1576 *applid* Unable to find VTAM ACB.

説明: システムの初期設定時に、VTAM ACB の検出を試みていたときにエラーが起きました。  
システムの処置: CICS は初期設定を続行しますが、VTAM は使用できません。  
ユーザーの処置: VTAM サポートが必要でない場合には、このメッセージは無視してかまいません。

システムに VTAM がインストールしてある場合には、VTAM=NO がシステム初期設定パラメーターとして指定されていないことを確かめてください。VTAM=YES が指定されている場合には、自分のシステムで現在 VTAM が使用できない理由を調べてください。  
モジュール: DFHSIF1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

### DFHSI1578D *applid* PLTPI specified cannot be found. Reply 'GO' or 'CANCEL'.

説明: プログラム・リスト・テーブル (PLT) が CICS プログラム・ライブラリー内に存在していないために、初期設定後プログラム・リスト・テーブル (PLTPI) を見つけることができません。

システムの処置: 応答が「CANCEL」の場合には、CICS は終了します。応答が「GO」の場合には、PLT は処理されずに処理が続行されます。

ユーザーの処置: 「GO」または「CANCEL」と応答してください。

モジュール: DFHSIPLT

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1579D *applid* Module *modname* - PLT program *programe* not found. Reply 'GO' or 'CANCEL'.

説明: このメッセージは、初期設定後プログラム・リスト・テーブル (PLTPI) に定義されているプログラムを見つけれないことを示しています。

初期設定の最初の PLT フェーズ (DFHSI1) の間にこのメッセージが出された場合には、そのプログラムは CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーにも存在していません。

このメッセージが、初期設定後 PLT フェーズ (DFHSI1) の間に出された場合には、プログラムはインストール済みプログラム項目ではないか、あるいは CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーにも見つからなかったかのいずれかです。

*modname* は、どのモジュールがそのメッセージを出したかを示します。*programe* は、見つけれなかったプログラムの名前です。

システムの処置: 応答が「CANCEL」の場合には、CICS は終了します。応答が「GO」の場合には、そのプログラムはバイパスされます。

ユーザーの処置: 「CANCEL」または「GO」と応答してください。

モジュール: DFHSIPLT

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *modname*, *programe*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1580D *applid* PLTPI program *program-name* has abended, code *abcode*. Reply 'GO' or 'CANCEL'.

説明: PLT プログラム *program-name* が異常終了して、異常終了コード *abcode* が出されたとき、CICS は初期設定プログラム・リスト・テーブル (PLT) を処理中でした。

システムの処置: 応答が「CANCEL」の場合には、CICS は終了します。応答が「GO」の場合には、そのプログラムはバイパスされます。

ユーザーの処置: 「CANCEL」または「GO」と応答してください。

モジュール: DFHSIPLT

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *program-name*, *abcode*

宛先: コンソール

---

### DFHSI1581 *applid* Journaling specified, but initialization programs not present

説明: システム初期設定テーブル (SIT) ではジャーナリングを指定していますが、ジャーナル初期設定プログラムはインストール済みプログラム定義として存在していません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。  
 ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。CICS 提供のグループ DFHJRNL を (オンライン・リソース定義 (RDO) を使用して) インストールすることにより、ジャーナリングに必要なすべてのトランザクション項目およびプログラム項目を生成することができます。  
 モジュール: DFHRCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSI1584** *applid* System log positioning subtask attach failure.

説明: システム初期設定で、システム・ログ (DFHTEOF) を位置付ける CICS サブタスクを生成しようとしたが、ATTACH は失敗しました。ATTACH が失敗した理由としては、許可されているサブタスクの最大数を超過したことが最も考えられます。許可されているサブタスクの最大数は 15 です。  
 システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が異常終了します。  
 ユーザーの処置: サブタスクの最大数を超過しなかったか検査してください。エラーを訂正して、CICS を再始動してください。  
 モジュール: DFHSIC1

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSI1585** *applid* System log positioning subtask abend

説明: 緊急再始動時に、システム・ログ・テープ (DFHTEOF) を位置変更する CICS サブタスクが異常終了しました。  
 システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が異常終了します。  
 ユーザーの処置: 可能な場合には、エラーを訂正して CICS を再始動してください。可能でない場合には CICS をコールド・スタートしてください。  
 モジュール: DFHRCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSI1586** *applid* Recovery utility program not present

説明: 緊急再始動時に、システム初期設定プログラム (SIP) はリカバリー・ユーティリティ・プログラム (DFHRUP) を見つけることができませんでした。  
 システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が異常終了します。  
 ユーザーの処置: DFHRUP が CICS プログラム・ライブラリー内にあることを確認してください。ない場合には、CICS をコールド・スタートしてください。  
 モジュール: DFHRCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSI1587** *applid* Unable to link to program DFHAKP.

説明: CICS 実行の初期キーポイントをとろうとしたとき、CICS は活動キーポイント・プログラム (DFHAKP) にリンクすることができませんでした。一般に、DFHAKP は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーから欠落しています。

このエラーの理由として、他にも次のようなことが考えられません。

- 動的ストレージ域 (DSA) が十分に大きくない。
- グループ DFHAKP が、GRPLIST システム初期設定パラメーターに指定されたどのグループ・リストにも含まれていない。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。  
 ユーザーの処置: DFHAKP が、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーにあるか確認してください。

それがすでにある場合には、DSA が十分大きいか検査してください。それが小さすぎる場合には、DSALIM 初期設定パラメーターに指定されているサイズを大きくしてください。  
 モジュール: DFHSI1

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSI1588D** *applid* Is startup to be continued? Reply 'GO' or 'CANCEL'.

説明: このメッセージは、緊急再スタートアップの完了後、または CICS スタートアップ時にエラーが発生した時に現れることがあります。

システムの処置: 「GO」と応答すると、CICS は初期設定を続行します。「CANCEL」と応答すると、緊急再始動が完了した場合に CICS は正常にシャットダウンするか、あるいは初期設定時にエラーが起きた場合に CICS は異常終了してダンプが作成されます。

ユーザーの処置: Reply 'GO' or 'CANCEL'.

モジュール: DFHSI1

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSI1589D** *applid* VTAM is not currently active.

説明: VTAM が活動状態ではないため、CICS 初期設定で VTAM アクセス方式制御ブロック (ACB) を OPEN することができません。

システムの処置: これが代替システムである場合は、CICS は 15 秒間待った後、無期限に OPEN を再試行します。

これが代替システムではない場合は、CICS は初期設定の残りを続行します。Open VTAM Retry (オープン VTAM 再試行) トランザクション COVR がタスク生成され、OPEN の再試行が 5 秒ごとに 10 分間繰り返されます。

ユーザーの処置: 代替システムの場合には、VTAM が起動中であることを確認してください。VTAM が起動中でなければ、この代替システムを取り消すことができます。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1590** *applid XRF alternate cannot proceed without VTAM.*

説明: CICS 初期設定で、VTAM アクセス方式制御ブロック (ACB) を OPEN することができません。ACB エラー・コードは、前に出されているメッセージ DFHSI1572 の中で見つけることができます。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。  
ユーザーの処置: DFHSI1572 を参照し、その情報を使用して、エラーの原因を解決してください。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1592** *applid CICS applid not (yet) active to VTAM.*

説明: VTAM が、アプリケーション ID を認識しないので (VTAM エラー X'5A'), CICS 初期設定で VTAM アクセス方式制御ブロック (ACB) を OPEN することができません。これは、(例えば、SIT 指定変更の) アプリケーション ID の値にユーザー・エラーがあるか、またはアプリケーション ID を含んでいるアプリケーション・サブエリアが VTAM 内で活動状態にない可能性があります。また、VTAM がまだ起動中である可能性もあります。この場合には、VTAM の初期設定が完了した時点で、この問題は自然に訂正される可能性があります。

システムの処置: これが代替 CICS の場合には、15 秒間待った後で、OPEN をいつまでも再試行し続けます。代替 CICS でない場合には、CICS は残りの初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 代替システムの場合には、VTAM が起動中であることを確認してください。VTAM が起動中であれば、必要なアプリケーション・サブエリアが VTAM 内で活動状態にあることを確認してください。活動状態にある場合には、この代替を取り消しても構いません。これが代替ではない場合は、CICS が初期設定されたときに CEMT を使用して OPEN を再試行することができます。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1594** *applid A xxxx level of module progname is being loaded.*

説明: このシステムは、CICS トランザクション・サーバー・プロダクトの CICS の現行レベルに対してアセンブルされなかったレベルのモジュール *progname* を、ロードしています。レベル *xxxx* は、使用するモジュールのレベルを示します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: モジュール *progname* の旧レベルの使用が有効であるかを確認してください。通常は、使用する CICS の現行レベルに合わせてモジュールを再アセンブルする必要があります。

モジュール: DFHAPSIP

XMEOUT パラメーター: *applid, xxxx, progname*

宛先: コンソール

**DFHSI1595S** *applid Failure to create a special purpose storage subpool - CICS will be terminated.*

説明: CICS 初期設定時に特別の目的のストレージ・サブプールを割り振ろうとしましたが、それは失敗しました。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSIDZ

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1596** *applid Nucleus module progname cannot be located.*

説明: 中核をロードする際に、CICS ライブラリー内に中核モジュール *progname* が検出できませんでした。

システムの処置: AP ドメイン初期設定ルーチンは、残りの中核モジュールをロードする試みを続行します。すべての中核モジュールのロードを試みた後、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 欠落したモジュール *progname* を適切なライブラリーに追加して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHAPSIP, DFHSID1

XMEOUT パラメーター: *applid, progname*

宛先: コンソール

**DFHSI1597** *applid VTAM=YES invalid with a non VTAM TCT - VTAM=NO forced.*

説明: ロードされた TCT が ACCESSMETHOD=VTAM でアセンブルされなかったものの、VTAM=YES が SIT で指定されました。

システムの処置: CICS は VTAM サポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: VTAM を使用するには、TCT を ACCESSMETHOD=VTAM を指定してアセンブルするか、または DY の接尾部を持つ CICS 提供の TCT 使用してください。

モジュール: DFHZINT

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSI1599** *applid CICS Partition size insufficient to initialize transient data.*

説明: ストレージ・マネージャーのサブプールの作成を試みて失敗したか、またはストレージを獲得する試みが失敗したため、一時データ初期設定が失敗しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が異常終了します。

ユーザーの処置: システム・ダンプを使用して、どの DSA が小さすぎるのか判別してください。状況に応じて、DSALIM または EDSALIM システム初期設定パラメーターに指定されたサイズを大きくしてください。

モジュール: DFHSID1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール



---

**DFHSI1600S UNABLE TO LOAD CICS SYSTEM  
INITIALIZATION MODULE DFHSIP31.  
CDLOAD FAILED. R15=X'xxxx'**

説明: CICS は、システム初期設定モジュール DFHSIP31 をロードすることができませんでした。

レジスター 15 内のコード (X'xxxx') は、CDLOAD マクロからの戻りコードです。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: CDLOAD 戻りコードの意味については、「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。このコードを使用して、ロードが失敗した原因を判別してください。

モジュール: DFHSIP

宛先: コンソール

---

**DFHSI2810 applid CANCEL reply received. CICS is terminating.**

説明: CANCEL 応答が受信されました。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 前のメッセージを参照して、行う処置を決めてください。

モジュール: DFHSI1, DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI2813 applid Program DFHRCEX cannot be found.**

説明: CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHRCEX を見つけることができません。

システムの処置: CICS 初期設定が終了し、ダンプが提供されます。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHRCEX を入れてください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI8420I applid About to link to PLT programs during the second stage of initialization.**

説明: 初期設定の第 2 段階で、PLTPI システム初期設定パラメーターに定義したユーザー PLT プログラムに、CICS がリンクしようとしています。

システムの処置: 制御は、ユーザー PLT プログラムに渡されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIPLT

---

## DFHSKxxxx メッセージ

---

**DFHSK1101I applid General purpose subtask terminated abnormally - system completion code= X'xxxx'**

説明: DFHSKP によって生成されたサブタスクが異常終了しました。

システムの処置: CICS は低下モードで続行されます。

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI8424I applid Control returned from PLT programs during the second stage of initialization.**

説明: 制御が CICS に戻されて、システム初期設定が続行されます。

システムの処置: 制御は CICS に戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI8430I applid About to link to PLT programs during the third stage of initialization.**

説明: 初期設定の第 3 段階で PLTPI SIT パラメーターに定義したユーザー PLT プログラムに、CICS がリンクしようとしています。

システムの処置: 制御は、ユーザー PLT プログラムに渡されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI8434I applid Control returned from PLT programs during the third stage of initialization.**

説明: 制御が CICS に戻されて、システム初期設定が続行されます。

システムの処置: 制御は CICS に戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSI9000I applid CICS system initialization is complete.**

説明: CICS が初期設定を正常に終了し、アプリケーションによる使用の準備ができました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。これは、通知メッセージです。

このメッセージは抑止できません。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

ユーザーの処置: サブタスクが失敗した理由を調べてください。xxxx はオペレーティング・システム完了コードです。

モジュール: DFHSKP

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'xxxx'

宛先: コンソール

**DFHSM1102I** *applid* Unable to attach general purpose subtask - system return code= X'xxxx'

説明: DFHSM がオペレーティング・システム・サブタスクの生成を試みました。この ATTACH は失敗しました。  
システムの処置: CICS は低モードで続行されます。  
ユーザーの処置: タスク生成が失敗した原因を突き止めてください。xxxx はオペレーティング・システム完了コードです。  
モジュール: DFHSM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'xxxx'

宛先: コンソール

**DFHSM1103I** *applid* ESTAEX macro failed in general purpose subtask - system return code= X'xxxx'

説明: 汎用サブタスクが OS/390 ESTAEX マクロを出しました。xxxx は VSE からの非ゼロ応答です。  
システムの処置: CICS は低モードで続行されます。  
ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

ESTAEX 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHSM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'xxxx'

宛先: コンソール

**DFHSM1104I** *applid* General purpose subtask terminated because error threshold has been reached

説明: 汎用サブタスクが、その独自のコードを実行中に、何回かにわたって障害を起こしました。CICS がこのタスクを終了させました。

システムの処置: CICS は低モードで続行されます。  
ユーザーの処置: サブタスクが失敗した理由を調べてください。

モジュール: DFHSM

XMEOUT パラメーター: *applid*

**DFHSMxxxx** メッセージ**DFHSM0001** *applid* An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性を意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成さ

宛先: コンソール

**DFHSM1106I** *applid* Unable to authorize a general purpose subtask - RC=*nn*

説明: CICS サブタスク・プログラムは、VSE サブタスクの TCB に対して CICS 許可を与えるための CICS SVC を出しました。SVC は、エラー応答コード *nn* を戻してきました。可能な *nn* の値およびこれらの意味は、次のとおりです。

<i>nn</i>	意味
01	SVC サービスは許可されません。
02	DFHASV のロードに失敗しました。
03	CICS SVC の内部エラーです。
04	CICS SVC の内部エラーです。RB 検査は失敗しました。
10	DFHAUTH TYPE=CHECK マクロが失敗しました。
14	無効な TCB アドレスが DFHASV に渡されました。
18	DFHAUTH TYPE= サブタスク AFCB ストレージが失敗しました。
1C	サブタスク AFCB ストレージのための GETMAIN が失敗しました。
20	メインタスク AFCB バージョンは CICS 1.7 以前です。
24	メインタスク AFCB バージョンが、使用中の SVC バージョンに対して大きすぎます。

その他 SVC は、「CICS System Definition Guide」で説明されているとおりに定義およびインストールされていません。

システムの処置: CICS を続行します。CICS SVC は、汎用サブタスクによって再度呼び出された場合に失敗する可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージ内の応答コードを使用して、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHSM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *nn*

宛先: コンソール

れます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび

SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSMAD, DFHSMAR, DFHSMCK, DFHSMMDM, DFHSMGF, DFHSMCCI, DFHSMCC2, DFHSMMF, DFHSMMG, DFHSMPPQ, DFHSMPP, DFHMSR, DFHSMST, DFHMSU, DFHMSY

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHSM0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

例外トレース・ポイント ID の *X'code'* およびその中に含まれ

るデータは、「CICS Trace Entries Handbook」で説明されています。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSMAD, DFHSMAR, DFHSMCK, DFHSMGF, DFHSMCC2, DFHSMMF, DFHSMMG, DFHSMPPQ, DFHSMPP, DFHSMSCP, DFHMSR, DFHSMST, DFHMSU, DFHMSY

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHSM0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSMCCI, DFHSMST

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHSM0006** *applid* **Insufficient storage to satisfy  
Getmain (code X'code') in module modname.  
VSE code vscode.**

説明: モジュール *modname* が、ストレージを獲得しようとしていましたが、要求を満たすほど十分なストレージがありませんでした。

コード X'code' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *vscode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。  
システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます (コード X'code')。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

例外トレース・ポイント ID の X'code' およびその中に含まれるデータは、「CICS Trace Entries Handbook」で説明されています。

GETMAIN 戻りコードの診断情報は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で説明されています。

CICS 動的ストレージ域 (DSA) の限界を小さくするか、または VSE 区画サイズを大きくしてみてください。CICS DSA は、CEMT 発信端末コマンドに DSALIM および EDSALIM パラメーターを使用して、動的に変更することができます。区画サイズを大きくするには、CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *modname*, *vscode*  
宛先: コンソール

**DFHSM102** *applid* **A storage violation (code X'code') has  
been detected by module modname.**

説明: モジュール *modname* により記憶保護違反が検出されました。コード X'code' は、記憶保護違反のタイプを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられません。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ストレージ・リカバリーを (システム初期設定パラメーター STGRCVY=YES を指定することにより) 使用可能にした場合、CICS は記憶保護違反の修理を試みます。それ以外の場合には、ストレージは変更されないままとなります。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 例外トレース・ポイント ID の X'code' を使用して、記憶保護違反の原因を調べてください。例外トレース・ポイント ID およびその中に含まれるデータは、「CICS Trace Entries Handbook」で説明されています。

モジュール: DFHSMAR, DFHSMCK, DFHSMGF, DFHSMCM2, DFHSMMF

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *modname*  
宛先: コンソール

**DFHSM103** *applid* **A storage violation (code X'code') has  
been detected by the storage violation trap.  
Trap is now inactive.**

説明: 記憶保護違反が記憶保護違反トラップによって検出されました。このトラップは、システム初期設定パラメーター CHKSTSK または CHKSTRM を介して、もしくは CSFE トランザクションを介して使用可能にすることができます。コード X'code' は、検出された記憶保護違反のタイプを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: CICS は、記憶保護違反トラップを使用禁止にします。例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ストレージ・リカバリーを (システム初期設定パラメーター STGRCVY=YES を指定することにより) 使用可能にした場合、CICS は記憶保護違反の修理を試みます。それ以外の場合には、ストレージは変更されないままとなります。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

注: CICS がストレージを修理できたとしても、記憶保護違反トラップは非活動状態のまま存在します。  
ユーザーの処置: 例外トレース・ポイント ID の X'code' を使用して、記憶保護違反の原因を調べてください。例外トレース・ポイント ID およびその中に含まれるデータは、「CICS Trace Entries Handbook」で説明されています。  
モジュール: DFHSMCK

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'code'*

宛先: コンソール

---

**DFHSM0113I** *applid* Storage protection is not active.

説明: これは、ストレージ保護が要求されておらず、この CICS の実行についてはストレージ保護が実施されないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。ストレージ保護は、システム初期設定パラメーター STGPROT=YES を指定することで使用可能にできます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSM0114** *applid* Storage protection was requested but the support is not available. Storage protection is not active.

説明: ストレージ保護が要求されましたが、この CICS の実行についてはストレージ保護が実施されないことを示す通知メッセージです。これは、必要なハードウェアまたはオペレーティング・システム (あるいは両方) のサポートが使用できないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSM0115I** *applid* Storage protection is active.

説明: これは、ストレージ保護が要求され、そのため、この CICS の実行についてストレージ保護が実施されることを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSM0120I** *applid* Reentrant programs will not be loaded into read-only storage.

説明: これは、この CICS の実行について、読み取り専用プログラムが、読取専用ストレージにロードされないことを示す通知メッセージです。これは、RENTPGM=NOPROTECT がシステム初期設定パラメーターとして指定されたためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

故意にプログラムを上書きする必要がない限り (例えば、テスト中にブレイクポイントを設定するため)、

RENTPGM=NOPROTECT を指定してはなりません。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHSM0122I** *applid* Limit of DSA storage below 16MB is *dsalimitK*.

説明: このメッセージは、16 MB 境界より下の動的ストレージ域 (DSA) の限界 *dsalimit* を示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*、*dsalimit*

宛先: コンソール

---

**DFHSM0123I** *applid* Limit of DSA storage above 16MB is *edsalimitM*.

説明: このメッセージは、16 MB 境界より上の動的ストレージ域 (DSA) の限界 *edsalimit* を示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*、*edsalimit*

宛先: コンソール

---

**DFHSM0127** *applid* Insufficient storage to allocate requested size for DSA limit storage below 16MB (*dsalimitK*).

説明: CICS は、16 MB より下の DSA ストレージの最大 *dsalimit* を求める要求を出しましたが、失敗しました。

システムの処置: 要求されたサイズがデフォルトよりも大きい場合には、CICS は、DSALIM パラメーターにデフォルトのサイズを使用して要求を出し直します。

要求されたサイズがデフォルト以下である場合は、ストレージ・マネージャーによりトレース・テーブルに例外項目が作成されます。エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し側) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーは、CICS を終了させます。その場合、そのことを示すメッセージが出されます。ユーザーの処置: DSALIM システム初期設定パラメーターが正しく指定されていることを確認してください。

CICS 区画サイズが十分大きいことを確認してください。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*、*dsalimit*

宛先: コンソール

---

**DFHSM0128** *applid* **Insufficient storage to allocate requested size for DSA limit storage above 16MB (dsalimitM).**

説明: CICS は、16 MB より上の DSA ストレージの最大 *dsalimit* を求める要求を出しましたが、失敗しました。  
 システムの処置: 要求されたサイズがデフォルトよりも大きい場合には、CICS は、EDSALIM パラメーターにデフォルトのサイズを使用して要求を出し直します。

要求されたサイズがデフォルト以下である場合は、ストレージ・マネージャーによりトレース・テーブルに例外項目が作成されます。エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHDMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し側) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーは、CICS を終了させます。その場合、そのことを示すメッセージが出されます。  
 ユーザーの処置: EDSALIM パラメーターが正しく指定されていることを確認してください。

CICS 区画サイズが十分大きいことを確認してください。  
 モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dsalimit*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSM0129** *applid* **Insufficient storage to allocate default size for DSA limit storage below 16MB (dsalimitK).**

説明: メッセージ DFHSM0127 が出された後、CICS は DSALIM システム初期設定パラメーターのデフォルト・サイズまで要求ストレージを減らしましたが、それでも要求は失敗しました。  
 システムの処置: ストレージ・マネージャーは、トレース・テーブル内に例外項目を作成します。

エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHDMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し側) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーは、CICS を終了させます。その場合、そのことを示すメッセージが出されます。  
 ユーザーの処置: 詳細については、DFHSM0127 を参照してください。

CICS 区画サイズが十分大きいことを確認してください。  
 モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dsalimit*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSM0130** *applid* **Insufficient storage to allocate default size for DSA limit storage above 16MB (dsalimitM).**

説明: メッセージ DFHSM0128 が出された後、CICS は EDSALIM システム初期設定パラメーターのデフォルト・サイズまで要求ストレージを減らしましたが、それでも要求は失敗しました。  
 システムの処置: ストレージ・マネージャーは、トレース・テーブル内に例外項目を作成します。

エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHDMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し側) に送られます。そ

の後、ドメイン・マネージャーは、CICS を終了させます。その場合、そのことを示すメッセージが出されます。  
 ユーザーの処置: 詳細については、DFHSM0128 を参照してください。

CICS 区画サイズが十分大きいことを確認してください。  
 モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dsalimit*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSM0131** *applid* **CICS is under stress (short on storage below 16MB).**

説明: このメッセージは、16 MB より下の動的ストレージ域 (DSA) 内のストレージ域が不足しているときに出力されます。1 つの DSA 内の最大のフリー域が、その DSA 用に内部で定義されたクッションのサイズよりも小さいか、または連続するフリー・ストレージが不十分なために延期されたトランザクションが少なくとも 1 つあるかのいずれかです。  
 システムの処置: イベントを記録するために、トレース・テーブル内に例外項目が作成されます。

CICS は操作を継続しますが、例えば新しいタスクの開始率を下げたり、現在使用中でないプログラムの入ったストレージを解放して、状態を緩和するための手段をとります。  
 ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、その問題が続く場合には、(可能であれば) DSALIM システム初期設定パラメーターの値を大きくするか、またはユーザーの CICS システムの 16 MB より下のストレージ要件を小さくすることができます。これを行う方法についての詳細は、「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSMDSY

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSM0132** *applid* **CICS is no longer short on storage below 16MB.**

説明: メッセージ DFHSM0131 により報告されたストレージ不足状態は解消されました。  
 システムの処置: CICS を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHSMDSY

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

---

**DFHSM0133** *applid* **CICS is under stress (short on storage above 16MB).**

説明: 16 MB 境界より上の動的ストレージ域 (DSA) の 1 つでストレージ域が不足しています。1 つの DSA 内の最大のフリー域が、その DSA 用に内部で定義されたクッションのサイズよりも小さいか、または連続するフリー・ストレージが不十分なために延期されたトランザクションが少なくとも 1 つあるかのいずれかです。  
 システムの処置: イベントを記録するために、トレース・テーブル内に例外項目が作成されます。

CICS は操作を継続しますが、例えば新しいタスクの開始率を下げたり、現在使用中でないプログラムの入ったストレージを解放して、状態を緩和するための手段をとります。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、その問題が続く場合には、(可能であれば) EDSALIM システム初期設定パラメーターの値を大きくするか、または 16 MB 境界より上の CICS システムのストレージ要件を小さくすることができます。この方法に関する手引きについては、「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHSM0134 *applid* CICS is no longer short on storage above 16MB.

説明: メッセージ DFHSM0133 により報告されたストレージ不足状態は解消されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHSM0135 *applid* Insufficient storage to allocate the requested size of *dsasizeK* for the *dsaname*.

説明: CICS は、*dsaname* についての要求サイズ *dsasize* を割り振ろうとしましたが、その要求を満たすためのストレージが十分ありません。SIT 指定変更で指定された 16 M 境界より下の動的ストレージ域 (DSA) サイズは、256K (またはトランザクション分離が有効な場合、UDSA については 1M) の倍数に切り上げられ、SIT 指定変更で指定された 16 M 境界より上の DSA サイズは 1M の倍数に切り上げられたはずであることに注意してください。

システムの処置: エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し側) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーは、CICS を終了させます。その場合、そのことを示すメッセージが出されません。

ユーザーの処置: xDSASZE パラメーターで指定された値を小さくするか、または xDSALIM パラメーターで指定された値を大きくしてください。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dsasize*, *dsaname*

宛先: コンソール

#### DFHSM0136I *applid* The size of the *dsaname* was specified as *dsasizeK*.

説明: これは、動的ストレージ域 (DSA) *dsaname* のサイズ *dsasize* を示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dsaname*, *dsasize*

宛先: コンソール

#### DFHSM0300 DFHSMUTL ERROR REPORT

説明: これは、ローカル・カタログ・ストレージ・マネージャー・ドメインのサブプール・レコード操作プログラム DFHSMUTL からのレポートです。数行にわたってレポートに書き込まれる場合があります。

#### DFHSM0300 DFHSMUTL REPORT

レポート・ヘッダー。

#### ADD SUBPOOL=xxxxxxx PROCESSED SUCCESSFULLY

ADD SUBPOOL=xxxxxxx が正常に処理されました。

#### DEL SUBPOOL=xxxxxxx PROCESSED SUCCESSFULLY

DEL SUBPOOL=xxxxxxx が正常に処理されました。

#### FOUND DFHLCD RECORD SMSUBPOL=xxxxxxx

LST コマンドによりサブプール・レコードが検出されました。

#### ERROR OPENING DFHLCD

ローカル・カタログ・データ・セットをオープン中にエラーが起きました。そのプログラムは終了しません。

#### UNRECOGNISED VERB xxx IN INPUT

許可されているのは ADD、DEL および LST だけです。そのステートメントは無視されます。

#### UNRECOGNISED OPERAND xxxxxxxx IN INPUT

許可されているのは ADD SUBPOOL=xxxxxxx または DEL SUBPOOL=xxxxxxx だけです。そのステートメントは無視されます。

#### ERROR PROCESSING 'ADD SUBPOOL=xxxxxxx'. R15 = X'yy'. RPL FEEDBACK CODE = X'zz'.

ADD SUBPOOL=xxxxxxx コマンドの処理中に VSAM エラーが起きました。VSAM コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。そのプログラムは終了します。

#### ERROR PROCESSING 'DEL SUBPOOL=xxxxxxx'. R15 = X'yy'. RPL FEEDBACK CODE = X'zz'.

DEL SUBPOOL=xxxxxxx コマンドの処理中に VSAM エラーが起きました。VSAM コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。そのプログラムは終了します。

#### END OF DFHSMUTL REPORT

レポートのトレーラー。

システムの処置: 説明を参照してください。

ユーザーの処置: エラーが報告された場合、原因を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHSMUTL

宛先: SYSLST

## DFHSNxxxx メッセージ

**DFHSN0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性を意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードの説明を 557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSNUS、DFHSNAS、DFHSNPU、DFHSNSU、DFHSNTU、DFHSNXR 0

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHSN0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in program *progname*.

説明: CICS が、モジュール *progname* の実行中に重大エラーを検出しました。このエラーは、例外トレース・ポイント ID *code* に関連したエラーです。CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: サインオンを出しているタスクは異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSNUS、DFHSNAS、DFHSNPU、DFHSNSU、DFHSNTU、DFHSNXR

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *progname*  
宛先: コンソール

**DFHSN0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、



CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、この問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSNUS、DFHSNAS、DFHSNPU、DFHSNSU、DFHSNTU、DFHSNXR

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'offset'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHSN1100** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid in group groupid is complete.*

説明: 端末 *portname* はサインオンされました。これでこの端末には、グループ *groupid* 内でユーザー ID *userid* のセキュリティ属性が与えられました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *portname* のユーザーは、グループ *groupid* 内でこのユーザー ID に使用できる CICS トランザクションを使用できるようになりました。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、{*1=netname*、*2=console*、*3=terminal*}、*portname*、*userid*、*groupid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1101** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname has failed. User userid not recognized.*

説明: ESM に知られていないユーザー ID *userid* が指定されて、端末 *portname* からサインオンが出されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: これが、調査を必要とするセキュリティの違反を意味する場合以外は、そのユーザー ID が ESM に認識されるように、セキュリティ管理者に連絡してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、{*1=netname*、*2=console*、*3=terminal*}、*portname*、*userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1102** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed. Password not recognized.*

説明: 間違ったパスワードが指定されて、端末 *portname* からサインオンが出されました。

これはおそらく、パスワードのつづりが誤っているか、またはパスワードがこのユーザー ID には無効であるためです。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、{*1=netname*、*2=console*、*3=terminal*}、*portname*、*userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1103** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed. OID card damaged or not authorized.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが、無許可のまたは損傷のあるオペレーター識別 (OID) カードが使用されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、{*1=netname*、*2=console*、*3=terminal*}、*portname*、*userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1104** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed. New password not allowed.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出され、パスワードを外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が許可しない値に変更しようとした。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、{*1=netname*、*2=console*、*3=terminal*}、*portname*、*userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1105** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid requires a password.*

説明: パスワードを指定せずに端末 *portname* からサインオンが出されました。ユーザー *userid* にはパスワードが必要であるため、サインオンは拒否されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、{*1=netname*、*2=console*、*3=terminal*}、*portname*、*userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1106** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid requires a new password.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) はそのパスワードの有効期限が切れたことを示しています。

これはセキュリティ違反を意味するものではありません。これは、ESM パスワードの有効期限が切れたことを示す正規応答です。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

## DFHSN1107 • DFHSN1116

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1107** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid requires an OID card.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) がオペレーター識別 (OID) カードの使用を必要とすることを示しているときにそれが使用されませんでした。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。  
ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には別です。  
モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1108** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'), ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出され、それは外部セキュリティ・マネージャー (ESM) に拒否されました。  
システムの処置: サインオン要求は拒否されます。  
ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。  
モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid, X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1112** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because the terminal has preset security.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されました。この端末は、固定セキュリティ属性で CICS に対して定義されました。これは、サインオンはサポートしません。  
システムの処置: サインオン要求は拒否されます。  
ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。  
モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1113** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because the terminal was already signed on.*

説明: まだ以前のサインオンがこの端末に対して有効である間に、端末 *portname* からサインオンが出されました。  
システムの処置: サインオン要求は拒否されます。  
ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には別です。  
モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1114** *date time applid Signon by user userid has failed because there is no terminal associated with the requesting task.*

説明: 端末を使用しないで開始されたタスクからユーザー *userid* によりサインオンが出されました。  
システムの処置: サインオン要求は拒否されます。  
ユーザーの処置: 端末に関連付けられていないタスクからサインオンが出された理由を調べてください。  
モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1115** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed. Signon is not allowed at a surrogate terminal except by use of the CRTE transaction.*

説明: CICS は、代理端末装置のサインオンをサポートしません。ただし、CRTE ルーティング・セッション時に行った場合を除きます。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: ユーザーがトランザクション・ルーティングを介してサインオンの使用を試みている理由とその方法について調べてください。  
モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1116** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because the national language to be used is not supported in this run of CICS.*

説明: 指定された各国語は、有効な IBM 各国語として認識されました。しかし、この言語は CICS 初期設定に対して有効な各国語として指定できないか、または CICS は現行の実行においてこの言語を指定して初期設定されていません。  
使用するよう CICS で初期設定できる各国語リストについて

は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: サインオンは失敗します。

ユーザーの処置: 使用するように CICS で初期設定された各国語で、サインオンを再試行してください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1117** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because an invalid national language was selected.*

説明: 指定された言語が IBM 各国語として認識されないため、サインオンは失敗しました。

システムの処置: サインオンは失敗します。

ユーザーの処置: 正しい言語の値でもう一度サインオンを試みてください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1118** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because the user is not authorized to use the terminal.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが失敗しました。このユーザーは、この端末の使用許可を持っていません。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、そのユーザーが端末 *portname* の使用を許可されているか調べてください。

特に、その日時にユーザーがシステムにアクセスすることが可能であるのか、およびその日時にその端末を使用することが可能であるのかを調べてください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1119** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because the user is not authorized to use application applname.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが失敗しました。このユーザーは、このアプリケーション *applname* の使用許可を持っていません。

- XRF を使用する場合は、*applname* は、APPLID システム初期設定パラメーターの第 1 オペランドとして指定された総称アプリケーション ID です。
- それ以外の場合は、*applname* は APPLID システム初期設定パラメーターの単一オペランドとして指定されたアプリケーション ID です。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、そのユーザーがアプリケーション *applid* の使用を許可されているか調べてください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, portname, userid, applname*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1120** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because the {userid | group access} has been revoked.*

説明: ユーザー ID またはそれを含む ESM グループへのユーザーのアクセスが、ESM によって取り消されました。これは通常、無効なパスワードでサインオンを繰り返し試みた結果生じます。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡し、取り消されたユーザー ID を再び許可してもらうか、グループへのユーザー・アクセスをリストアしてもらってください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, portname, userid, {1=userid, 2=group access}*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1129** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because the user is already signed on elsewhere.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが、そのユーザーはすでに、SNSCOPE システム初期設定パラメーターの現行の設定により課された制限のもとでサインオンされています。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザーが現行のサインオンの有効範囲内に 2 回サインオンを試みた理由を調べてください。

SNSCOPE パラメーターについての詳細は、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1130** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid failed because the userid was not found in the specified group.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが失敗しました。ユーザー ID が指定されたグループ内にはないか、またはこのユーザーがサインオン後に関連付けられるように指定されたグループが ESM に知られていません。

## DFHSN1131 • DFHSN1212

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。  
ユーザーの処置: 指定されたグループ ID が正しいか調べてください。正しい場合は、セキュリティー管理者に連絡し、このグループが適切に定義されていること、およびこのユーザーがこのグループに接続されていることを確認してください。  
モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1131** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because security is not active in this CICS region.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが失敗しました。これは、この CICS 領域が、セキュリティーを活動状態にせずに実行されているためです。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1132** *date time applid Signon at terminal termid by user userid has failed because the terminal is a session.*

説明: 端末 *termid* からサインオンが出されましたが、端末はセッションです。セッションのセキュリティー属性は、有効な FMH-5 付加ヘッダーが受信されたときのみ変更されます。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザーがセッションにサインオンの使用を試みている理由とその方法について調べてください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1133** *date time applid Signon at {netname |console | terminal }portname by user userid has failed because of an error during SNSCOPE checking.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されました。SNSCOPE 初期設定パラメーターのため、一度に複数の端末にサインオンすることはできません。SNSCOPE 検査時に内部障害が起きると、ユーザーがすでに別の端末にサインオンしているかどうかを CICS が確認できないこととなります。同時 OS/390 ENQ 要求の限界に達したため、障害が起きました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。メッセージ DFHUS0120 がコンソールに書き込まれているはずですが。詳細については、このメッセージの説明を参照してください。  
ユーザーの処置: この問題を CICS システム・プログラマーに報告してください。

SNSCOPE パラメーターについての詳細は、「*CICS System Definition Guide*」を参照してください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1200** *date time applid Signoff at {netname |console | terminal }portname by user userid is complete. tt transactions entered with nn errors.*

説明: 端末 *portname* はサインオフされました。この端末は、現在、デフォルトのセキュリティー属性を持っています。

*nn* は、発生したエラーの数を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid, tt, nn*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1211** *date time applid Signoff at terminal termid has failed because the terminal is a session.*

説明: 端末 *termid* からサインオフが出されましたが、端末はセッションです。セッションのセキュリティー属性は、有効な FMH-5 付加ヘッダーが受信されたときのみ変更されます。

システムの処置: サインオフ要求は拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザーがセッションにサインオフの使用を試みている理由とその方法について調べてください。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1212** *date time applid Signoff at {netname |console | terminal }portname has failed because the terminal has preset security.*

説明: 端末 *portname* からサインオフが出されましたが、その端末は固定セキュリティー属性で CICS に対して定義されているので、サインオフをサポートしません。

システムの処置: サインオフ要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティー違反を意味する場合には別です。

モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1213** *date time applid* **Signoff at {netname | console | terminal }portname has failed because the terminal was not signed on.**

説明: 前のサインオンが実行されていないときに、端末 *portname* からサインオフが出されました。  
 システムの処置: サインオフ要求は拒否されます。  
 ユーザーの処置: なし。ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には別です。  
 モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, portname*  
 宛先: CSCS

---

**DFHSN1214** *date time applid* **An attempted signoff has failed because there was no terminal associated with the requesting task.**

説明: 端末を使用しないで開始されたタスクからサインオフが出されました。  
 システムの処置: サインオフ要求は拒否されます。  
 ユーザーの処置: 端末に関連付けられていないタスクからサインオフが出された理由を調べてください。  
 モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*  
 宛先: CSCS

---

**DFHSN1215** *date time applid* **Signoff at {netname | console | terminal }portname has failed. Signoff is not allowed at a surrogate terminal except by use of the CRTE transaction.**

説明: CICS は、代理端末装置のサインオフをサポートしません。ただし、CRTE ルーティング・セッション時に行った場合を除きます。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: ユーザーがトランザクション・ルーティングを介してサインオフの使用を試みている理由とその方法について調べてください。  
 モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, portname*  
 宛先: CSCS

---

**DFHSN1300** *date time applid* **An attempt to reschedule BMS pages for operator *opid* at {netname | console | terminal }portname has failed following a timeout. Pages on temporary storage queue *X'hexqueueid'* may require cleanup.**

説明: オペレーター *opid* が、BMS ページの表示中に端末 *netname* でタイムアウトになりました。CICS は、オペレーターが再びサインオンしたときに使用できるように、それらのページのスケジュール変更を試みましたが、失敗しました。  
 これらのページは、一時ストレージ・キュー *hexqueueid* にあ

ります。このキューは、明示的に廃棄されるまで存在し続けます。

システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: まだこのデータを表示する必要がある場合は、BMS ページを作成した処理と同じ処理を繰り返してください。  
 モジュール: DFHSNTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, opid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, X'hexqueueid'*  
 宛先: CSCS

---

**DFHSN1400** *date time applid* **Session signon for session *session* by user *userid* is complete.**

説明: 2 つの CICS システムは接続済みで、MRO/ISC セッションにはユーザー *userid* のセキュリティ権限が与えられています。  
 システムの処置: MRO/ISC セッションがサインオンされません。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHSNSU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, session, userid*  
 宛先: CSCS

---

**DFHSN1401** *date time applid* **Session signon for session *session* by user *userid* has failed. SAF codes are (*X'safresp', X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp', X'esmreas'*).**

説明: ユーザー *userid* がサインオンを試みましたが、MRO/ISC サインオンは、メッセージに示された理由により失敗しました。  
 システムの処置: このセッションはサインオンされません。  
 ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。  
 モジュール: DFHSNSU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, session, userid, X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*  
 宛先: CSCS

---

**DFHSN1410** *date time applid* **Session signon for session *session* with default security attributes is complete.**

説明: 2 つの CICS システムは接続済みで、MRO/ISC セッションにはデフォルト・ユーザーのセキュリティ権限が与えられています。

## DFHSN1500 • DFHSN1606

システムの処置: MRO/ISC セッションがサインオンされま  
す。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNSU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, session*

宛先: CSCS

---

**DFHSN1500** *date time applid* **Session signoff for session  
session is complete. tt transactions entered  
with nn errors.**

説明: MRO/ISC セッションはサインオフされます。

*nn* は、発生した異常終了の数を示しています。

システムの処置: セッションからセキュリティ権限が除去さ  
れます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNSU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, session, tt, nn*

宛先: CSCS

---

**DFHSN1501** *date time applid* **Session signoff for session  
session has failed. SAF codes are  
(X'safresp',X'safreas'). ESM codes are  
(X'esmresp',X'esmreas').**

説明: MRO/ISC サインオフが試みられましたが、メッセージ  
に示された理由により失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される  
応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部  
セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答  
および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE  
REQUEST=VERIFY または RACROUTE

REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メ  
ッセージ内の応答および理由コードの意味については、

「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション  
『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキ  
ュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してく  
ださい。

モジュール: DFHSNSU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, session,*

*X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*

宛先: CSCS

---

**DFHSN1604** *date time applid* **Attach header signon at  
terminal termid by user userid has failed.  
SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM  
codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: ユーザー *userid* は、接続セキュリティの暗黙のサイ  
ンオンに失敗しました。

システムの処置: 接続は失敗します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される  
応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部  
セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答  
および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE

REQUEST=VERIFY または RACROUTE

REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メ  
ッセージ内の応答および理由コードの意味については、

「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション

『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキ  
ュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してく  
ださい。

モジュール: DFHSNUS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, userid,*

*X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*

宛先: CSCS

---

**DFHSN1605** *date time applid* **Attach header signon at  
terminal termid has failed. SAF codes are  
(X'safresp',X'safreas'). ESM codes are  
(X'esmresp',X'esmreas').**

説明: ローカル・ユーザー・セキュリティのための暗黙のサイ  
ンオンが失敗しました。

システムの処置: 接続は失敗します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される  
応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部  
セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答  
および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE  
REQUEST=VERIFY または RACROUTE

REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メ  
ッセージ内の応答および理由コードの意味については、

「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション

『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキ  
ュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してく  
ださい。

モジュール: DFHSNUS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid,*

*X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*

宛先: CSCS

---

**DFHSN1606** *date time applid* **Attach header signoff at  
terminal termid has failed. SAF codes are  
(X'safresp',X'safreas'). ESM codes are  
(X'esmresp',X'esmreas').**

説明: ユーザーは接続セキュリティの暗黙のサインオフに失  
敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される  
応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部  
セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答  
および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE  
REQUEST=VERIFY または RACROUTE

REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メ  
ッセージ内の応答および理由コードの意味については、

「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション

『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキ  
ュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してく  
ださい。

モジュール: DFHSNUS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1800** *date time applid Signon at {netname | console | terminal }portname by preset user userid in group groupid is complete.*

説明: 事前設定セキュリティ端末 *portname* に指定されたユーザー *userid* が、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) にサインオンしました。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティ属性が、この端末に対して出されるすべてのセキュリティ要求で使用されます。

端末はこのユーザー ID で、その持続期間全体にわたって事前設定されたことになります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNPU

---

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, portname, userid, groupid*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1801** *date time applid Signon at {netname | console | terminal }portname by preset user userid has failed. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').*

説明: 事前設定セキュリティ端末 *portname* に指定されたユーザー *userid* が、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) にサインオンすることができませんでした。

システムの処置: サインオン要求は拒否され、端末を使用することはできません。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

## DFHSOxxxx メッセージ

---

**DFHSO0001** *applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.*

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性を意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) で

モジュール: DFHSNPU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid, X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1850** *date time applid Signoff at preset {netname | console | terminal }portname is complete.*

説明: 事前設定セキュリティ端末 *portname* が、削除されている途中でサインオフされました。この端末のセキュリティは除去されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNPU

---

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, portname*  
宛先: CSCS

---

**DFHSN1851** *date time applid Signoff at preset {netname | console | terminal } portname has failed. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').*

説明: 事前設定セキュリティ端末 *portname* は、削除されている途中でサインオフはできませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHSNPU

---

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*  
宛先: CSCS

す。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコード

## DFHnn 接頭部メッセージ

がこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*

---

### DFHSO0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSODM, DFHSOL, DFHSOCK, DFHSORD, DFHSOIS

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*

---

### DFHSO0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、起こりうるループが検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

(XDUREQ 出口のユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑制により) 特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS の処理は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は CPU 時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。その場合には、エラーはないことがあります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーターで指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* の実行が終了し、CICS は続行することを意味します。

システム初期設定パラメーター ICVR=0 を指定しており、しかもモジュール *modname* がループしていると考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR システム初期設定パラメーターの値を大きくする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をクローズする必要があります。CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、IBM のサポートが必要になることがあります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSOCK, DFHSOSE

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*



**DFHSO0100I** *applid* Sockets domain initialization has started.

説明: これは、ソケット・ドメインの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター: *applid*

**DFHSO0101I** *applid* Sockets domain initialization has ended.

説明: これは、ソケット・ドメインの初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター: *applid*

**DFHSO0102** *applid* date time A Language Environment Callable Service error (code X'code') has occurred on receipt of a severe TCP/IP return code; the TCPIP SERVICE *tcpipSERVICE* on port *portnumber* at IP address *ipaddress* will be closed.

説明: DFHSOCK でエラーが検出されました。このエラーの原因は、TCP/IP から受け取った重大戻りコードです。

システムの処置: 例外項目 X'code' がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを要求しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

指定された IP アドレスのポート *portnumber* で

TCPIP SERVICE *tcpipSERVICE* がシャットダウンされました。これが完了すると、メッセージ DFHSO0108 が出されます。

ユーザーの処置: 例えば TCP/IP がシャットダウンされている場合、このエラーが返されると考えられます。どのサービス・ルーチンが呼び出されたか、戻された戻り値が何であったかは例外トレース項目から分かります。エラーの原因を特定するには、「TCP/IP for VSE Messages」を参照してください。

TCPIP SERVICE *tcpipSERVICE* はクローズされ、TCP/IP 領域が再始動された後、TCPIP SERVICE は再オープンされます。この時点で、通常の作業を TCPIP SERVICE で再開することができます。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *date*, *time*, X'code', *tcpipSERVICE*, *portnumber*, *ipaddress*

**DFHSO0103** *applid* ENCRYPTION=*level* is not available on this system.

説明: ENCRYPTION=*level* システム初期設定パラメーターが指定されていましたが (ここで、*level* は STRONG または NORMAL です)、それを実装するために必要なサポートが SSL にインストールされていません。

システムの処置: ソケット・ドメインの初期設定は失敗し、CICS は終了します。

ユーザーの処置: TCP/IP SSL のバージョンが要求されるレベルをサポートしていることを確認してください。

この機能が利用できない場合、ENCRYPTION=NORMAL を指定しなければなりません。これがデフォルトです。

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *level*

**DFHSO0104** *applid* Secure sockets program *pgmname* could not be loaded. Secure Sockets Layer is not available.

説明: SSL を実装するために必要なプログラム・モジュール *pgmname* をロードできませんでした。

システムの処置: システムの初期設定を続行しますが、SSL のサポートは使用可能になりません。

ユーザーの処置: このメッセージの前にメッセージ

DFHSO0103 が出されている場合、ENCRYPTION=NORMAL を指定して CICS を再始動してください。

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *pgmname*

**DFHSO0105** *applid* ENCRYPTION=*level* is not available on this system. ENCRYPTION=WEAK is used instead.

説明: ENCRYPTION=NORMAL システム初期設定パラメーターが指定されていますが、それを実装するために必要なサポートが TCP/IP を介してシステムにインストールされていません。

システムの処置: ENCRYPTION=WEAK に対応する、低いレベルの暗号化を使用します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *level*

**DFHSO0106** *date time applid* A Language Environment Callable Service error (code X'code') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。

コード X'code' は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられません。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコード

がこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードまたは呼び出された言語環境プログラムの呼び出し可能サービス・ルーチンにエラーの可能性を示しています。どのサービス・ルーチンが呼び出されたか、戻された戻り値が何であったかは例外トレース項目から分かります。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSOO  
モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, X'code', modname*

**DFHSO0107** *date time applid TCPIPService tcpipService*  
**has been opened on port portnumber at IP address ipaddress.**

説明: 指定された IP アドレスのポート *portnumber* で TCPIPService *tcpipService* がオープンされました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CSOO

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tcpipService, portnumber, ipaddress*

**DFHSO0108** *date time applid TCPIPService tcpipService*  
**on port portnumber at IP address ipaddress**  
**has been closed.**

説明: 指定された IP アドレスのポート *portnumber* で TCPIPService *tcpipService* がクローズされました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CSOO

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tcpipService, portnumber, ipaddress*

**DFHSO0109** *date time applid The TCPIPService*  
*tcpipService*  
**could not be opened because the**  
**port portnumber is already in use on the IP**  
**address ipaddress .**

説明: このメッセージは、TCPIPService のオープンが完了できなかったときに出されます。指定されたポート番号が IP アドレスと組み合わせられてすでに使用中です。デフォルトでは、TCP/IP は、任意の一時点では、ポート上で 1 つのサーバ

ーだけが *listen* を続けることができます。

具体的には、このメッセージは、TCP/IP バインド呼び出しが戻りコード EADDRINUSE を戻して失敗したときに出されま

す。  
システムの処置: TCPIPService はオープンされず、クローズされたままです。TCP/IP バインド呼び出しからの戻り値を詳述した例外トレース項目が書き込まれます。EXEC API を使って TCPIPService をオープンに設定するアプリケーションは RESP(INVREQ) RESP2(9) を受信します。

ユーザーの処置: 失敗した TCPIPService と同じポート番号、同じ IP アドレスを使って他の TCPIPService がオープンされていないかを検査してください。そのポートを使って他の TCPIPService がオープンされている場合、新規の TCPIPService をオープンする前に以前の TCPIPService をクローズしなければなりません。

要求されたポートを他の TCPIPService が使用していないければ、そのポートですでに *listen* を続けている TCP/IP サーバートとして別の z/VSE が活動している可能性があります。すでに使用中のポートで TCPIPService をオープンしようとすると、失敗します。この TCPIPService には、使用されていないポートを選択してください。

z/VSE システムに複数の TCP/IP スタックがあれば、TCPIPService 定義に他のスタックの IP アドレスを指定することができます。このようにすると、複数の TCPIPService のそれぞれを同じポート番号を使ってインストールすることができます。

宛先: CSOO

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tcpipService, portnumber, ipaddress*

**DFHSO0110** *date time applid The TCPIPService*  
*tcpipService*  
**cannot be opened on the IP**  
**address ipaddress because the address is**  
**unknown to TCP/IP.**

説明: 定義に指定されている IP アドレスが TCP/IP にとって未知なので、TCPIPService のオープンが失敗しました。

このメッセージは、TCP/IP バインド呼び出しが戻り値 EADDRNOTAVAIL を戻して失敗したときに出されます。

システムの処置: IP アドレスは、TCP/IP が認識する有効なアドレスでなければなりません。システムに IP アドレスが 1 つしかない場合、TCPIPService 定義の IP アドレス・フィールドはブランクのままにしてもよいし、文字列 INADDR\_ANY を記入してもかまいません。このようにすると、バインドはシステムのデフォルト IP アドレスを使用します。別のアドレスを使用するには、有効なアドレスを指定しなければなりません。

ユーザーの処置: TCPIPService 定義に指定されているアドレスがシステムの TCP/IP で認識されるかどうかを検査してください。

宛先: CSOO

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tcpipService, ipaddress*

---

**DFHSO0111** *date time applid* **Opening the TCPIP SERVICE tcpip service has failed because the region userid is not authorized to bind to port portnumber.**

説明: 領域のユーザー ID が、指定されたポート番号を使用する権限がないので、TCPIP SERVICE のオープンが失敗しました。

このメッセージは、TCP/IP バインド呼び出しが戻り値 EPERM を戻して失敗したときに出されます。  
 システムの処置: TCPIP SERVICE はオープンされません。アプリケーションが EXEC API を使って TCPIP SERVICE をオープンしようとした場合、アプリケーションは RESP(INVREQ) RESP2(3) 値を受け取ります。  
 ユーザーの処置: CICS 領域のユーザー ID は、指定されたポートをオープンする権限がなければなりません。  
 宛先: CSOO  
 モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tcpip service, portnumber*

---

**DFHSO0112** *date time applid* **TCPIP SERVICE tcpip service cannot be opened because TCPIP status is not OPEN.**

説明: TCPIP が現在オープンされていないので、TCPIP SERVICE のオープンが失敗しました。SIT に TCPIP=NO が指定されていたか、または CEMT または SPI コマンドを使って、TCPIP が動的にクローズされました。  
 システムの処置: TCPIP SERVICE はオープンされません。アプリケーションが EXEC API を使って TCPIP SERVICE をオープンしようとした場合、アプリケーションは RESP(INVREQ) RESP2(4) 値を受け取ります。  
 ユーザーの処置: TCPIP をオープンし、TCPIP SERVICE を再オープンしてください。  
 宛先: CSOO  
 モジュール: DFHSORD

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tcpip service*

---

**DFHSO0113** *applid* **The IP address ip\_address cannot be resolved to a host name by the gethostbyaddr function.**

説明: CICS は TCP/IP 機能 gethostbyaddr を出して IP アドレス ip\_address をホスト名に解決しようとしたが、その呼び出しが失敗しました。  
 システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。CICS は、これ以降の要求でネーム・サーバーにアクセスしようとし続けます。  
 ユーザーの処置: gethostbyaddr 機能は、IP アドレスをホスト名に解決するためには、通常、ネーム・サーバーの逆ルックアップを実行します。しかし、CICS がネーム・サーバーに連絡できない場合、またはネーム・サーバーがホスト名と IP アドレスの正しいマッピングを知らない場合、これは失敗します。

SET DNS1 コマンドによって TCP/IP に定義されたネーム・サーバーが有効で、正しく応答しているかを確認してください。TCP/IP にネーム・サーバーが正しく定義されているならば、管理者に連絡して、IP アドレスのルックアップがなぜ失敗したかを判別してください。

宛先: コンソール  
 モジュール: DFHSOIS  
 宛先: コンソール  
 モジュール: XMEOUT パラメーター: *applid, ip\_address*

---

**DFHSO0114** *date time applid* **The socket listener cannot attach the transaction transaction, the TCPIP SERVICE tcpip service will be closed.**

説明: TCP/IP listener タスクがクライアントから接続を受け取りましたが、TCPIP SERVICE 定義に関連付けられているトランザクションの接続が失敗しました。この関連トランザクションがインストールされていないか、または TCPIP SERVICE 定義が誤ったトランザクションを指定している可能性があります。  
 システムの処置: 接続が到着したポートで定義されている TCPIP SERVICE はクローズされます。そのクライアントに受け入れられたソケットはクローズされます。  
 ユーザーの処置: トランザクションの接続がなぜ失敗したのか判別してください。エラーを訂正して、TCPIP SERVICE を再オープンしてください。  
 宛先: CSOO  
 モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, transaction, tcpip service*

---

**DFHSO0115** *date time applid* **CICS has registered the group name groupname with Work Load Manager. The TCP/IP host name genericname will become available for DNS connection optimization.**

説明: ドメイン・ネーム・サービス (DNS) の接続最適化のためにグループ名がワークロード・マネージャーに登録されました。これは、名前が文字 'D' で始まる TCPIP SERVICE がオープンされたときに行われます。新しい総称 TCP/IP ホスト名は、CICS システムにアクセスするためにクライアントが使用するためと、この名前のグループ名に登録してある他のものすべてが使用できます。  
 システムの処置: メッセージに示されたグループ名を DNS の接続最適化のために登録するために、CICS はワークロード・マネージャーのマクロ IWMSRSRG を出しました。これは、TCPIP SERVICE の名前が 'D' で始まる時のみ行われます。ワークロード・マネージャーの登録は、特定のグループ名に関して 1 回だけ行われます。複数の TCPIP SERVICES が同じグループ名を定義していても、登録は 1 回行われるだけです。

登録されるグループ名は、TCPIP SERVICE の名前の一部と、その TCPIP SERVICE に定義されているトランザクションを組み合わせて作られます。名前のドット '.' 以降の文字が、トランザクション ID に連結されてグループ名が生成されます。例えば、TCPIP SERVICE の名前が D1.CICS であって、それがトランザクション IIOP を定義されているものとします (IIOP トランザクションは、CICS が提供する CIOR トランザクションの別名です)。生成されるグループ名は 'CICSIIOP' です。TCPIP SERVICE の名前にドットが含まれない場合、トランザクション ID だけが使われます。例えば、TCPIP SERVICE の名前が 'DYNWEB' であって、トランザクションが WWW の場合、グループ 'WWW' が登録されます。

登録されたグループ名は、シスプレックスの TCP/IP ドメイン内の新規名前になります。シスプレックス内の複数の CICS

システムがそれぞれ同じグループ名で登録されているとき、DNS サーバーはグループ名を、ワークロード・マネージャーを使って、関連システムの IP アドレスの 1 つに解決します。戻される IP アドレスは、ワークロード・マネージャーのロード・バランシング規則に基づいて選ばれた、最も適格なシステムの IP アドレスです。例えば、シスプレックス内の 2 つの OS/390® システムが `mvs1.plex.hursley.ibm.com` と `mvs2.plex.hursley.ibm.com` であるとし、それぞれのシステムで、CICS がグループ名 `cicssiop` で登録されているものとします。新しい名前 `cicssiop.plex.hursley.ibm.com` が DNS ネーム・サーバー・テーブルに動的に追加されます。クライアントの TCP/IP アプリケーションは、具体的な OS/390 イメージの名前ではなく、この名前を使用します。クライアントが DNS を使ってこの名前を IP アドレスに解決すると、最も適格なシステムの IP アドレスが得られます。DNS はシステムの登録と登録解除を動的に認識するので、追加 CICS システムを必要に応じて登録し、グループ名に関して戻される利用可能な IP アドレスのリストを拡張することができます。システムに障害が起ると、その IP アドレスは、それが登録されていたすべてのグループに関する関連アドレスの DNS サーバーのリストから削除されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は必要ありません。

宛先: CSOO

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, groupname, genericname*

---

**DFHSO0116** *date time applid* CICS has de-registered the group name *groupname* with Work Load Manager.

説明: グループ名がワークロード・マネージャーから登録解除されました。この CICS システムは、今後、メッセージに示されたグループ内の接続最適化で使用されません。これは、名前が文字 'D' で始まる TCPIP SERVICE がクローズされたときに行われます。

システムの処置: グループ名を登録解除するためにワークロード・マネージャー IWMSRDRS 呼び出しが行われます。これにより、このグループ名に関連付けられている DNS サーバー・テーブルからシステムの IP アドレスが除去されます。

オープン中の 2 つ以上の TCPIP SERVICE が同じグループ名を共用している場合、WLM の登録解除は、最後の TCPIP SERVICE がクローズされたときに行われるだけです。

ユーザーの処置: ネーム・サーバーが使用可能であるかどうかを検査してください。

宛先: CSOO

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, groupname*

---

**DFHSO0117** *applid* Unable to determine the TCP/IP host name. Language Environment return code *X'retcode'*, reason code *X'rc'*. TCP/IP services are unavailable.

説明: 言語環境プログラムが、Listener 初期設定時の `gethostname` 呼び出しに対して、ゼロ以外の戻りコードまたは理由コードを戻しました。

システムの処置: Listener の初期設定は終了します。CICS 領域はそれの TCP/IP インターフェースをオープンしません。

ユーザーの処置: `gethostname` が失敗した理由を判別してくだ

さい。メッセージ・テキストで示される戻りコードおよび理由コードについては、資料「TCP/IP for VSE Messages」の中で説明しています。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *applid, X'retcode', X'rc'*

---

**DFHSO0119** *applid* Unable to register service *servicename* for WLM DDNS on host *hostname*.

説明: TCPIP SERVICE を活動化していたとき、ソケット・ドメインが TCP/IP ネーム・サーバーを見つけることができませんでした。ネーム・サーバーがないと、CICS は、WLM DDNS への登録に必要な情報を入手することができません。

システムの処置: TCPIP SERVICE の活動化は続行されますが、このサービスは WLM DDNS に登録されません。

ユーザーの処置: ネーム・サーバーがなぜ見つからなかったかを判別してください。このメッセージの前にメッセージ DFHSO0113 が出されている可能性があります。ネーム・サーバーが活動化されたら、TCPIP SERVICE を再インストールしてください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター: *applid, servicename, hostname*

---

**DFHSO0120** *applid numtcbs* TCBS are initialized for SSL processing.

説明: 指定された数 (*numtcbs*) の TCB が接続され、CICS 用の SSL の処理を行うように初期設定されました。

システムの処置: CICS は、*numtcbs* 個の同時 SSL セッションを扱うことができます。

ユーザーの処置: なし。

宛先: コンソール経路コード 2 および 10

モジュール: DFHSOISE

XMEOUT パラメーター: *applid, numtcbs*

---

**DFHSO0121** *applid* No TCBS have been initialized for SSL processing. Secure Sockets Layer has been deactivated.

説明: TCP/IP SSL を扱うためには、CICS は少なくとも 1 つの TCB が正しく初期設定されている必要がありますが、どれも初期設定できませんでした。

システムの処置: CICS は SSL セッションを扱うことができず、そのため、SSL(YES) または SSL(CLIENTAUTH) を指定する TCPIP SERVICE をオープンしようとする試みは失敗します。

ユーザーの処置: CICS アドレス・スペースの区画サイズが、CICS SSL を初期設定するには小さすぎることが考えられます。区画サイズを大きくして CICS を再始動してください。

宛先: コンソール経路コード 2 および 10

モジュール: DFHSOISE

XMEOUT パラメーター: *applid*

---

**DFHSO0122** *date time applid* **SSL request from ipaddr on TCPIP SERVICE(service) rejected because of insufficient TCBS.**

説明: アドレス *ipaddr* とクライアントからの SSL との接続が TCPIP SERVICE(service) で受信されましたが、その要求を処理するための使用可能な TCB がありませんでした。

システムの処置: その接続のためのソケットはクローズされます。クライアントは、応答は SSL で暗号化されるものと期待しているのに、SSL サービスが提供できないので、メッセージはクライアントに送られません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合、このアプリケーションで別の CICS を始動することを検討してください。

宛先: CSOO

モジュール: DFHSE

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ipaddr, service*

---

**DFHSO0126W** *applid* **An attempt to create a socket has failed because the MAXSOCKETS limit has been reached.**

説明: *tcPIP* ソケットを作成しようとしたのですが、システム内のオープン・ソケット数が現行 MAXSOCKETS 値を超えたため、失敗しました。

システムの処置: ソケットはオープンされず、失敗が報告されます。

ユーザーの処置: この動作が望ましくない場合は、SIT で MAXSOCKETS 値を変更してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFH SOCK

XMEOUT パラメーター: *applid*

---

**DFHSO0130** *date time applid* **A TCPIP accept call has failed. The TCPIP SERVICE *tcPIPservice* on port *portnumber*, at IP address *ipaddress* will be closed. The values returned are *bpx\_return\_value* (*bpx\_return\_value*), *bpx\_return\_code* (*bpx\_return\_code*), and**

## DFHSRxxxx メッセージ

---

**DFHSR0001** *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset X'*offset*' in program *progname*.**

説明: プログラム *progname* で異常終了 (ABEND) またはプログラム・チェックが起きました。異常終了またはプログラム・チェックの起きたとき、記憶保護が活動状態であり、CICS が USER キーで実行していました。

コード *aaa* は、3 桁の 16 進数 VSE システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。*aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトにより出されたユーザー異常終了コードです。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

システムの処置: エラーの詳細を示す例外トレース項目が作成されます。ダンプ・テーブル内でそのダンプ・コードのダンプ

***bpx\_reason\_code* (*bpx\_reason\_code*).**

説明: TCP/IP ACCEPT 呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: 例外トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。CICS が終了するダンプ・テーブルで特にダンプを要求しない限り、システム・ダンプはとられません。指定された IP アドレスのポート *portnumber* で TCPIP SERVICE *tcPIPservice* がシャットダウンされました。このシャットダウンが完了すると、メッセージ DFHSO0108 が出されます。

TCP/IP によってレポートされる戻り値、戻りコード、および理由コードが表示され、診断を支援します。

ユーザーの処置: ACCEPT 障害の理由を判別してください。

メッセージ・テキストで示される戻りコードおよび理由コードについては、「z/OS UNIX System Services Messages and Codes」の *asynCIO* (BPX1AIO) 呼び出し可能サービスの説明の中で説明しています。システム・コンソールを確認して TCP/IP によって出されたメッセージを調べ、指示されるリカバリー処置をとってください。TCPIP SERVICE *tcPIPservice* はクローズされ、TCP/IP の問題が解決された後、クローズされた TCPIP SERVICE は再オープンされます。

宛先: コンソール

モジュール: DFH SOCK

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ipaddress, tcPIPservice, portnumber*

---

**DFHSO0150** *applid* **ENCRYPTION=*level* was specified, but is no longer supported, STRONG is assumed.**

説明: ENCRYPTION=WEAK または

ENCRYPTION=NORMAL を指定した SIT を使用して CICS が開始されました。これらのレベルはどちらもサポートされていません。

システムの処置: CICS は ENCRYPTION=STRONG が指定されたものと想定します。

ユーザーの処置: SIT の ENCRYPTION パラメーターを ENCRYPTION=STRONG に変更し、再生成してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHSE

XMEOUT パラメーター: *applid, level*

---

を特に抑止しない限り、システム・ダンプ SR0001 がとられます。

CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行し、トランザクションを異常終了させます。トランザクション異常終了コードは ASRA、ASRB、または ASRD です。

ユーザーの処置: 実行キーが USER キーであった場合には、*modname* は、おそらくカスタマー・アプリケーション・プログラムです。このプログラムを検討して、エラーを訂正してください。

最初に、VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプ

ログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

このエラーが、CICS DSA を上書きしようとしたために起きた OC4 プログラム・チェックであった場合には、例外トレース項目は、そのプログラムが上書きしようとした DSA を示すことに注意してください。この場合には、メッセージ DFHSR0622 の説明も参照してください。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。

実行キーが USER であるときに、ASRA、ASRB および ASRD 異常終了の前に作成されるシステム・ダンプを抑制したい場合には、ダンプ・テーブル内でシステム・ダンプ・コード SR0001 の項目にそのことを指定する必要があります。CEMT コマンドか EXEC CICS コマンドのいずれかを使用してください。これについての詳しい手引きは、「CICS System Definition Guide」で説明されています。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *progname*  
宛先: コンソール

#### DFHSR0601 *applid* Program interrupt occurred with system task *taskid* in control

説明: システム・タスクでプログラム・チェックが検出されました。*taskid* は、フィールド TCAKCTTA に設定されたシステム・タスク ID (TCP, III など) です。

システムの処置: CICS が異常終了し、プログラム・チェックのカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0601 が作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、プログラム・チェックの原因を判別してください。このプログラム・チェックの原因としては、CICS モジュールでのエラーか、ユーザー作成 PLT プログラムでのエラーが考えられます。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *taskid*  
宛先: コンソール

#### DFHSR0602 *applid* Program interrupt routine has been entered while processing program interrupt for same task

説明: プログラム・チェックが発生しました。別のプログラム・チェックが発生したときに、CICS がタスクの異常終了処理を開始して、異常終了コード ASRA が出されました。これは反復的な状況の可能性があるので、DFHSRP は CICS を終了させます。

システムの処置: CICS が異常終了し、各プログラム・チェックのカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0602 が作成されます。

ユーザーの処置: 最初のプログラム・チェックが発生した場所と理由を突き止めるようにしてください。原因としては、アプリケーション・プログラム内のエラーがまず第一に考えられます。2 回目のプログラム・チェックは、タスクを終了している

間の CICS エラーが原因である可能性があります。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

#### DFHSR0603 *applid* Program interrupt has occurred

説明: プログラム・チェックが発生しましたが、システム初期設定テーブル内に、またはスタートアップ時にオペレーターにより SRT=NO が指定されているので、CICS はリカバリーを試みませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、プログラム・チェックのカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0603 が作成されます。

ユーザーの処置: まず、SRT=NO の指定が正しいかどうかを調べてください。正しくない場合には、「CICS System Definition Guide」で説明されているようにそれを変更してください。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

#### DFHSR0605 *applid* Error from KE Domain - DFHSRP initialization

説明: モジュール DFHSRP が、CICS の初期設定段階で重大エラーを検出しました。エラーが検出され、訂正されるまで、リカバリー機能はおそらく実行できません。

システムの処置: CICS が異常終了し、システム・ダンプ SR0605 が作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、(可能なら) 問題の原因を判別し、これを訂正するためにとるべき処置を決定してください。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

#### DFHSR0606 *applid* Abend (code *aaa/bbbb*) has been detected.

説明: DFHSRP は、CICS が完全に処理することのできない異常終了を検出しました (例えば、SRT で異常終了コードが見つからないなど)。この場合、異常終了したのは、単にトランザクションではなく CICS システムです。

コード *aaa* は、3 桁の 16 進数 VSE システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。*aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトにより出されたユーザー異常終了コードです。システムの処置: CICS は異常終了します。異常終了コードに応じて、システム・ダンプ (ダンプ・コード SR0606) がとられて、このメッセージが出されることがあります。例外トレー

ス項目が作成され、異常終了のカーネル・エラー・データを提供します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、異常終了を判別し、その原因を調べてください。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*

宛先: コンソール

---

#### DFHSR0612 *applid* Abend recovery has been entered by same task

説明: オペレーティング・システム異常終了が発生しました。別のオペレーティング・システム異常終了が起きたときに、CICS が、異常終了コード ASRB を出して、タスクの異常終了を開始しました。これは反復的な状況の可能性があるので、DFHSRP は CICS を終了させます。

システムの処置: CICS が異常終了し、各オペレーティング・システム異常終了のカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0612 が作成されます。

ユーザーの処置: 2 番目のオペレーティング・システム異常終了の原因としては、XSRAB 出口で実行されているグローバル・ユーザー出口プログラム内のエラーが考えられます。これはグローバル・ユーザー出口で、SRT で異常終了コードが見つかったときに呼び出すことができます。そのようなプログラムが実行されていた場合には、2 回目の異常終了の原因を調べて、再発を防止する処置をとってください。

XSRAB 出口で実行中のグローバル・ユーザー出口プログラムが、ループ (ランナウェイ) 状態に入った場合、または認識されない XPI 呼出し (カーネル・エラー) を出した場合には、このメッセージも出されることに注意してください。2 番目の例外トレース項目が、これを診断するのに役立ちます。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

#### DFHSR0613 *applid* Abend has occurred with system task *taskid* in control

説明: システム・タスクでオペレーティング・システム異常終了が検出されました。 *taskid* は、フィールド TCAKCTTA に設定されたシステム・タスク ID (TCP、III など) です。

システムの処置: CICS が異常終了し、オペレーティング・システム異常終了のカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0613 が作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、異常終了の原因を判別

し、それを訂正するための処置を取ってください。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *taskid*

宛先: コンソール

---

#### DFHSR0615 *applid* Program interrupt has occurred in recovery task

説明: オペレーティング・システム異常終了が発生しました。プログラム・チェックが発生したときに、CICS はタスクの異常終了処理を開始して、異常終了コード ASRB が出されました。DFHSRP は CICS を終了させます。

システムの処置: CICS が異常終了し、オペレーティング・システム異常終了のカーネル・エラー・データとプログラム・チェックを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0615 が作成されます。

ユーザーの処置: このプログラム・チェックの原因としては、XSRAB 出口で実行中のグローバル・ユーザー出口プログラム内のエラーがまず第一に考えられます。これはグローバル・ユーザー出口で、SRT で異常終了コードが見つかったときに呼び出すことができます。そのようなプログラムが実行されていた場合には、プログラム・チェックの原因を判別して、これを訂正してください。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

#### DFHSR0618 *applid* An illegal macro call or reference to the CSA or TCA has caused the abend which follows

説明: 現在はサポートされていないアセンブラー・マクロが入ったユーザー・プログラムか、あるいは CICS TCA または CSA を正しくない仕方参照するユーザー・プログラムが実行されていました。このエラーは、0C4 プログラム・チェックとして示されます。

システムの処置: 次のいずれかです。トランザクションが異常終了し、異常終了コード ASRD が出されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHAP0001 または DFHSR0001 が出されます。このメッセージには、エラーのあるプログラムの名前と、エラーが起きたそのプログラムへのオフセットが示されます。

または、これはクリティカル・エラーであり、CICS は終了します。このメッセージに続いてメッセージ DFHSR06xx が出され、終了の理由を示します。

ユーザーの処置: このプログラムを検討して、エラーを訂正してください。

エラーがモジュール DFHUEHC 内にある場合は、UEPCSA および UEPTCA が使用されていないことを確認してください。これらは取り出し保護ストレージを参照するからです。

問題判別に関する注意事項については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHSR0622** *applid* An attempt to overwrite the *dsaname* has caused the abend which follows

説明: 0C4 プログラム割り込み (記憶保護例外) が起こりました。CICS は、0C4 の原因を DSA *dsaname* 内のストレージの上書きの試みと診断しました。*dsaname* は、CDSA、RDSA、UDSA、ECDSA、ERDSA、または EUDSA のいずれかです。

*dsaname* が CDSA または ECDSA である場合:

CICS は、記憶保護を活動状態にして実行中です。したがって、CDSA と ECDSA の両方に CICS キー・ストレージが含まれています。これらは、USER キーで実行されているユーザー・プログラムから、書き込み保護されています。0C4 が起きた最大の原因としては、次のものが考えられます。

- CICS キーで実行されるプログラムが、CDSA または ECDSA 内の CICS キー・ストレージのアドレスを、ユーザー・キーで実行されるユーザー・プログラムに渡し、このユーザー・プログラムがこのストレージに書き込みを行おうとした。
- ユーザー・キーで実行されるプログラムにエラーがあり、このプログラムが誤って CDSA または ECDSA 内の CICS キー・ストレージに書き込みを行おうとした。
- ユーザー・キーで実行されるユーザー・プログラムが、故意に CDSA または ECDSA 内の CICS キー・ストレージに書き込みを行おうとした。

*dsaname* が ERDSA または RDSA である場合:

CICS は、記憶保護を活動状態にして実行されている場合もあり、そうでない場合もあります。ERDSA または RDSA に含まれるのは、再入可能 CICS とユーザー・プログラムだけです。

RENTPGM=PROTECT がシステム初期設定パラメーターとして指定された場合は、ERDSA または RDSA は、CICS キーとユーザー・キーの両方で実

行されるプログラムから書き込み保護されています。RENTPGM=NOPROTECT の場合、ERDSA または RDSA はユーザー・キーで実行されるユーザー・プログラムからのみ、書き込み保護されています。

0C4 が起きた最大の原因としては、次のものが考えられます。

- ERDSA または RDSA にあるユーザー・プログラムが、そのプログラム固有のストレージを修正しようとした (つまり、そのプログラムは再入可能ではありません)。
- ユーザー・プログラムにエラーがあり、そのプログラムが誤って ERDSA または RDSA 内のプログラム・ストレージを上書きしようとした。

システムの処置: 次のいずれかです。トランザクションが異常終了し、異常終了コード ASRA が出されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHAP0001 または DFHSR0001 が出されます。このメッセージには、エラーのあるプログラムの名前と、エラーが起きたそのプログラムへのオフセットが示されます。さらに、プログラム、オフセット、実行キーおよび問題の DSA を示す例外トレース項目が取られます。

または、これはクリティカル・エラーであり、CICS が終了します。このメッセージに続いてメッセージ DFHSR06xx が出され、終了の理由を示します。

ユーザーの処置: 原因と *dsaname* に応じて、次のいずれかを行ってください。

- プログラム中のエラーをすべて訂正する。
- プログラムが CICS キーで実行されるように、プログラム・リソース定義を変更する。
- SVA オプションを指定してリンク・エディットを行わないことによりプログラムが ERDSA にロードされていないことを確認する。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dsaname*

宛先: コンソール

**DFHSTxxxx** メッセージ**DFHST0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

注: DFHSTUP モジュールの場合は *applid* がありません。コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コー

ド、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

モジュール DFHSTST および DFHSTTI については、ダンプがとられ、収集間隔は 24 時間に設定されます。メッセージ DFHST0101 も出されます。

モジュール DFHSTDM については、処置は、ドメイン (DM) マネージャーが使用する初期設定エラー処置の値によって異なります。通常の処置では、CICS は終了し、ダンプが作成されます。

モジュール DFHSTUE については、処理が続行されます。

モジュール DFHSTWR、DFHSTRD、および DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール) については、ジョブ・ステップは終了し、ダンプが作成されます。



すべてのモジュールの場合に、ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

それから、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはパーコレーションのどれであるかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されることもあります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI、DFHSTUE、DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール)、DFHSTWR、DFHSTRD

XMEOUT パラメーター: *applid*、*aaa/bbbb*、*X'offset'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

#### DFHST0002 *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'*code*') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられません。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されてい

た機能の重要度によって異なります。

CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI、DFHSTUE

XMEOUT パラメーター: *applid*、X'*code*'、*modname*  
宛先: コンソール

---

#### DFHST0003 *applid* Insufficient storage to satisfy GETMAIN (code X'*code*') in module *modname*.

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

このエラーは、16 MB 境界より上で発生しました。システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます (メッセージ内のコード X'*code*')。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合は、問題は一時的なものである場合があります。その場合は、より多くのストレージが使用可能になると、自然に問題が解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください

い。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSTDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHST0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

DFHSTUP モジュールの場合は *applid* は含まれないことに注意してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

モジュール DFHSTST および DFHSTTI については、システム・ダンプがとられ、収集間隔は 24 時間に設定されます。メッセージ DFHST0101 も出されます。

モジュール DFHSTDM については、処置は、ドメイン (DM) マネージャーが使用する初期設定エラー処置の値によって異なります。通常の処置では、CICS は終了し、ダンプが作成されます。

モジュール DFHSTUE については、処理が続行されます。

モジュール DFHSTWR、DFHSTRD、および DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール) については、ジョブ・ステップは終了し、ダンプが作成されます。

すべてのモジュールの場合に、ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間をかなり使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポ

ートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI、DFHSTUE、DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール)、DFHSTWR、DFHSTRD

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHST0005** *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.

説明: STCK マシン語命令の実行の結果、非ゼロ条件コードが出されました。

システムの処置: システム・ダンプがとられ、間隔の収集は取り消されました。メッセージ DFHST0102 も出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、おそらくハードウェア・エラーです。まずストア・クロック機構を調べて正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行ってください。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。モジュール: DFHSTST、DFHSTDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *modname*, *X'code'*  
宛先: コンソール

---

**DFHST0101I** *applid* The Statistics Domain has set the collection interval to 24 hours.

説明: 問題が統計 (ST) ドメインによって検出されたか、もしくは統計 (ST) ドメインに戻されました。結果として、収集間隔は最大値に設定されました。1 日の終わりの収集時間は変更されません。

問題を説明しているメッセージが、エラーになっているモジュールによってすでに出されています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 元の問題の解決の手引きについては、関連したメッセージを参照してください。

問題が解決されたなら、CEMT SET STATISTICS コマンドを出して間隔をリセットしてください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHST0102I** *applid* The Statistics Domain has cancelled interval collections.

説明: 問題が統計 (ST) ドメインによって検出されたか、もしくは統計 (ST) ドメインに戻されました。問題を説明しているメッセージが、エラーになっているモジュールによってすでに出されている可能性があります。

この問題の発生頻度を減らすために、間隔の収集が取り消されました。1 日の終わりの収集時間は変更されません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 元の問題の解決の手引きについては、関連したメッセージを参照してください。

関連したメッセージが出されていない場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHST0103 *applid* A DMF error has occurred with return code X'rc'.

説明: DMF が統計 (ST) ドメインに戻り、DFHSMFEW マクロからのエラー戻りコード X'rc' が出されました。

システムの処置: 他の CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードの意味についての詳細は、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHSTST

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'rc'

宛先: コンソール

#### DFHST0201S An attempt to open the statistics data set has failed.

説明: DFHSTUP が、アンロードされた DMF データ・セットをオープンしようとして失敗しました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: ジョブの JCL が正しいかどうかを確認してください。DFHSTUP ユーティリティーを実行するための JCL のサンプル・セットは、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」にあります。

間違った JCL が問題の原因ではない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTRD

宛先: SYSLST

#### DFHST0202S A read error on the statistics data set has occurred

説明: アンロードされた DMF データ・セット上で読み取りエラーが検出されました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。まず、ジョブの JCL が正しいかどうかを調べてください。DFHSTUP ユーティリティーを実行するための JCL のサンプル・セットは、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」にあります。ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHSTRD

宛先: SYSLST

#### DFHST0203W The statistics data set is empty.

説明: アンロードされた DMF データ・セットを最初に読み取ろうとしたときにファイルの終わり条件が検出されたか、またはアンロードされた DMF データ・セットにどの CICS システムからの CICS 統計も含まれていませんでした。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了します。

ユーザーの処置: 原因としては、DMF データ・セットをアンロードする JCL 内のエラーが最も考えられます。まず、JCL が正しいかどうかを検査してください。DMF データ・セットをアンロードするための JCL のサンプル・セットは、「CICS 操作およびユーティリティーの手引き」にあります。正しい DMF データ・セットをアンロードしたかどうかとも検査してください。ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHSTIN

宛先: SYSLST

#### DFHST0204S Invalid record id *recid* encountered on the statistics data set.

説明: アンロードされた DMF データ・セットで無効なレコード ID *recid* が検出されました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: アンロードされた DMF データ・セットに統計レコードが入っているかどうかを検査してください。

CICS 統計レコードは、SMF レコード・タイプ 110 のサブタイプ 2 です。詳細については、「CICS Data Areas」を参照してください。

DMF データ・セットに統計レコードが入っている場合には、問題の最大の原因として DMF データ・セットが破壊されていることが考えられます。DMF データ・セットをもう一度アンロードして、DFHSTUP ユーティリティーを再実行してください。問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール)

宛先: SYSLST

#### DFHST0206S An invalid parameter (*parameter*) has been specified for the DFHSTUP utility.

説明: SYSIN データ・セットに指定された 1 つ以上のパラメーターが間違っています。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了します。

ユーザーの処置: メッセージで示されたエラーのあるパラメーターを訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSLST

#### DFHST0207W An incomplete data record has been encountered on the statistics data set.

説明: アンロードされた DMF データ・セットからのレコード入力は、このデータ・セットに含まれるデータが不完全であることを示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不完全なデータ・レコードが検出されたということは、CICS の実行にエラーがあったに違いありません。これは例外トレースを引き起こすことになり、さらにダンプが出されることになるはずですが。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール)

宛先: SYSLST

**DFHST0208S An attempt to open the SYSIPT data set has failed.**

説明: DFHSTUP が、SYSIPT データ・セットをオープンしようとして失敗しました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: ジョブの JCL が正しいかどうかを確認してください。DFHSTUP ユーティリティを実行するための JCL のサンプル・セットは、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」にあります。

間違った JCL が問題の原因ではない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTRD

宛先: SYSLST

**DFHST0209S A read error on the SYSIPT data set has occurred.**

説明: SYSIPT データ・セット上で読み取りエラーが検出されました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

問題を解決するには、ダンプおよびすべての関連メッセージを集めて、読み取りが失敗した理由を判別してください。ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHSTRD

宛先: SYSLST

**DFHST0210I No statistics are available for applid applid.**

説明: アンロードされた DMF データ・セット内には、アプリケーション ID *applid* の統計データ・レコードが存在しません。これは、

- アプリケーション ID *applid* が不明である。または、
- 間違った DMF データ・セットをアンロードした。または、
- そのアプリケーション ID *applid* が統計を持たない COLLECTION TYPE= パラメーターを指定した。または、
- アプリケーション ID *applid* について CICS 統計レコードが書き込まれていない。

システムの処置: ジョブ・ステップを続行します。

ユーザーの処置: 正しいアプリケーション ID を指定してあるかどうか検査してください。必要なら、正しいアプリケーション ID を指定し直してください。

正しい DMF データ・セットをアンロードしたかどうかを検査してください。必要なら、正しい DMF データ・セットをアンロードしてください。

正しいアプリケーション ID を指定し、正しい DMF データ・セットをアンロードした場合には、アプリケーション ID *applid* に関する統計データ・レコードはありません。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSLST

**DFHST0211S Processing terminated. Getmain failed with a short on storage condition.**

説明: 作業用ストレージを獲得している間に、DFHSTUP ユーティリティが OS/390 GETMAIN マクロからエラーを検出しました。その原因は、DFHSTUP が使用可能なストレージを使い果たしたことにあります。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: DFHSTUP ユーティリティを実行するために使用された EXEC JCL コマンドに正しいサイズを指定したかどうか検査してください。DFHSTUP ユーティリティを実行するための JCL のサンプル・セットは、「CICS 操作およびユーティリティの手引き」にあります。

あるいは、DFHSTUP ジョブが実行される区画のサイズを増やしてください。

モジュール: すべての DFHSTUP モジュール

宛先: SYSLST

**DFHST0213S Processing terminated. Error detected by DFSORT. Check DFSORT messages.**

説明: DFSORT ユーティリティがエラーを検出して、DFHSTUP ユーティリティが終了しました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: DFSORT メッセージ・データ・セットを調べて、DFSORT ユーティリティの障害の理由を示すメッセージがないかどうか探してください。DFSORT が出すメッセージの詳細は、「DFSORT アプリケーション・プログラミングの手引き」で説明されています。

DFSORT エラー・メッセージを分析した後、適切な修正処置をとり、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSLST

**DFHST0214S Processing terminated. Failure to obtain system time and date.**

説明: DFHSTUP ユーティリティは、CICS カーネルからシステム時刻および日付を入手することができませんでした。システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSLST

**DFHST0216W An incompatible statistics record version number version, was detected by module module.**

説明: 統計レコードのバージョン番号は、DFHSTUP ユーティリティが予期しているバージョン番号と互換性がないことを、統計ユーティリティ・プログラムが検出しました。

システムの処置: 無効なバージョン番号の入っている統計レコ

ードは無視されます。その直後の、同じタイプのもので、しかも無効なバージョン番号が入っている統計レコードも無視されます。処理を続行します。

ユーザーの処置: DMF データ・セットのダンプを入手してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: すべての DFHSTUP モジュール  
宛先: SYSLST

#### DFHST0217S An attempt to open the DFHSTWK data set has failed.

説明: 非要約統計処理の際、DFHSTWK データ・セットのオープンを試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWK データ・セットが指定されているかどうか、およびデータ・セットの属性が正しいかどうか確認してください。

モジュール: DFHSTU17、DFHSTSOX、DFHSTUSO  
宛先: SYSLST

#### DFHST0218S A write error has occurred on the DFHSTWK data set.

説明: 非要約統計処理の際、DFHSTWK データ・セットへの書き込みを試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWK データ・セットが指定されていること、データ・セットの属性が正しいこと、およびデータ・セットの大きさが十分であることを確認してください。

モジュール: DFHSTU17、DFHSTSOX、DFHSTUSO  
宛先: SYSLST

#### DFHST0219S A read error has occurred on the DFHSTWK data set.

説明: 非要約統計処理の際、DFHSTWK データ・セットからの読み取りの試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWK データ・セットが指定されていること、データ・セットの属性が正しいこと、およびデータ・セットの大きさが十分であることを確認してください。

モジュール: DFHSTU17、DFHSTSOX、DFHSTUSO  
宛先: SYSLST

#### DFHST0220S An attempt to open the DFHSTWK data set has failed.

説明: 要約統計処理の際、DFHSTWK データ・セットのオープンの試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWK データ・セットが指定されているかどうか、およびデータ・セットの属性が正しいかどうか検査してください。

モジュール: DFHST17X  
宛先: SYSLST

#### DFHST0221S A write error has occurred on the DFHSTWK data set.

説明: 要約統計処理の際、DFHSTWK データ・セットへの書き込みの試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWK データ・セットが指定されていること、データ・セットの属性が正しいこと、およびデータ・セットの大きさが十分であることを確認してください。

モジュール: DFHST17X  
宛先: SYSLST

#### DFHST0222S A read error has occurred on the DFHSTWK data set.

説明: 要約統計処理の際、DFHSTWK データ・セットからの読み取りの試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWK データ・セットが指定されていること、データ・セットの属性が正しいこと、およびデータ・セットの大きさが十分であることを確認してください。

モジュール: DFHST17X  
宛先: SYSLST

#### DFHST0223I There are no data table statistics to report.

説明: 現在処理中のデータに、データ・テーブルとしてアクセスされるファイルのための統計レコードが含まれている場合は、「Data Table Requests Information」という、DFHSTUP レポートのファイル・サブセクションには、形式設定済みの情報のみが含まれています。このメッセージは、統計レポートのこのセクション内にデータ・テーブル統計がないことをユーティリティ・プログラムが検出した際に、DFHSTUP レポートに書き込まれます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: DFHSTUP レポートにデータ・テーブル統計があることが予期される場合以外は、何の処置もとりません。この場合、処理しようとしている統計が扱う時間枠内で、データ・テーブル機能が使用されていることを確認してください。

## DFHST0224S • DFHSZ4005E

モジュール: DFHSTU17、DFHST17X  
宛先: SYSLST

---

### DFHST0224S UNABLE TO LOAD STATISTICS INITIALIZATION MODULE DFHSTU31. LOAD FAILED. R15=X'xxxx'.

説明: DFHSTUP は、統計初期設定モジュール DFHSTU31  
をロードすることができませんでした。

レジスター 15 内のコード (X'xxxx') は、VSE LOAD マクロ  
からの戻りコードです。

システムの処置: DFHSTUP は終了します。

ユーザーの処置: LOAD 戻りコードの意味については、  
「z/VSE System Macros Reference」を参照してください。この  
コードを使用して、ロードが失敗した原因を判別してくださ  
い。

モジュール: DFHSTUP

宛先: コンソール

---

### DFHST0225S Processing terminated. Unable to load phase SORT. Return code from LOAD was X'rc'.

説明: フェーズ SORT がロードされようとしたが、これ  
は失敗しました。DFHSTUP ユーティリティは終了しま  
す。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了し  
ます。

ユーザーの処置: rc は、VSE LOAD 要求からの戻りコードで  
す。

rc の最も一般的な値は 4 です。これは、ジョブに指定された  
LIBDEF PHASE 検索チェーンに DFSORT/VSE フェーズ  
SORT (またはそれと同等のもの) がなかったことを意味しま  
す。

戻りコードの理由の詳細は、「z/VSE System Macros  
Reference」で説明されています。

LOAD エラーの理由を分析した後、適切な修正処置をとり、ジ  
ョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSLST

---

## DFHSZxxxx (FEPI) メッセージ

---

### DFHSZ4001I date time applid FEPI initialization has started.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース  
(FEPI) を初期設定中です。

これは、CSZI トランザクション - FEPI - の実行が開始され  
たことを意味します。システム初期設定パラメーター FEPI を  
YES に設定すると、CSZI は CICS システム初期設定の一部と  
して開始されます。

FEPI=YES を指定した場合に CICS 初期設定時にこのメッセ  
ージが表示されないときには、CSZI の開始が失敗しました。こ  
の理由として最も普通に考えられるのは、GRPLIST システム  
初期設定パラメーターによって指定されたリストに、グループ  
DFHFEPI が含まれていないことです。

メッセージ DFHSZ4001 の後にメッセージ DFHSZ4002 が  
出されない場合は、FEPI の開始は失敗しました。この場合、メ  
ッセージ DFHSZnnnnn が出されてエラーを示します。

システムの処置: FEPI 初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: date, time, applid

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

### DFHSZ4002I date time applid FEPI initialization has ended.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース  
(FEPI) の初期設定が終了しました。

システムの処置: EXEC CICS FEPI コマンドが使用可能にな  
ります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: date, time, applid

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

### DFHSZ4003I date time applid FEPI termination complete.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース  
(FEPI) が終了しました。

メッセージ DFHSZnnnnn がメッセージ DFHSZ4003 の前に出  
されて、FEPI が終了した原因を示すことがあります。

システムの処置: EXEC CICS FEPI コマンドが使用不能にな  
ります。

ユーザーの処置: メッセージが示す問題を解決してから CICS  
を再始動してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: date, time, applid

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

### DFHSZ4004E date time applid FEPI cannot be started: FEPI=YES not specified in the SIT.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース  
(FEPI) を開始できません。これは、FEPI システム初期設定パ  
ラメーターを NO (FEPI が必要ないことを示します) に設定し  
たためです。

通常、このメッセージは、ユーザーが FEPI トランザクシ  
ョン (CSZI) を手動で開始しようとしたが、それを実行するた  
めの正しい環境を設定しなかったことを意味します。

システムの処置: FEPI トランザクションは実行されませ  
ん。

ユーザーの処置: CICS システムに FEPI が必要な場合には、  
システム初期設定パラメーター FEPI=YES を指定して CICS  
を再始動してください。FEPI トランザクションを手動で開  
始する必要はありません。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: date, time, applid

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

### DFHSZ4005E date time applid FEPI cannot be started: FEPI

is already active, in state X'ssssssss'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を開始できません。これは、FEPI がシステム内ですでに活動状態になっているためです。

通常、このメッセージは、ユーザーが FEPI トランザクション (CSZI) を実行して FEPI の新しいインスタンスを手動で開始しようとしたが、何らかの理由により前の FEPI のインスタンスが失敗して「active」標識がエラーのまま残されたことを示します。

考えられる FEPI 状態 (X'ssssssss') は以下のとおりです。

状態 意味

X'00000002'

FEPI は初期設定中です。

X'00000003'

FEPI は活動中です。

X'00000004'

CICS が通常シャットダウンされるため、FEPI は終了します。

X'00000005'

CICS が即時シャットダウンされるため、FEPI は終了します。

X'00000006'

CICS が異常シャットダウンされるため、FEPI は終了します。

システムの処置: 新しい FEPI のインスタンスの開始要求が拒否されます。

ユーザーの処置: 前の FEPI のインスタンスが失敗したことを状態が示唆している場合には、CICS を再始動して問題を解決する必要があります。FEPI トランザクションを手動で開始する必要はありません。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, X'ssssssss'*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

**DFHSZ4006E** *date time applid FEPI initialization failed: enqueue failure, code X'rr'*.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を初期設定できません。これは、FEPI 待機名 SZENQRMI で待機を試みて失敗したためです (FEPI がすでにシステム内で活動中であることを示します)。FEPI 初期設定は、このシステムに別の FEPI のインスタンスがないようにするために、このエンキューを出します。

通常、このメッセージは、FEPI トランザクション (CSZI) を手動で開始しようとしたが、前の CSZI のインスタンスがまだ実行中であることを意味します。

考えられる X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

コード 意味

X'31' SZENQRMI で重複する待機を試みました。

X'32' エンキュー処理中に障害が発生しました。

システムの処置: 別の FEPI のインスタンスの開始要求が拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, X'rr'*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

**DFHSZ4007E** *date time applid FEPI initialization failed: storage ADD\_SUBPOOL failure for subpool pppppppp, reason X'rr' response X'ee'*.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を開始できません。これは、FEPI で使用するための、メッセージに示されたストレージ・サブプールの作成が失敗したためです。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由 意味

X'01' サブプールに使用できるストレージが不足しています。

X'03' 無効な固定長でサブプールが要求されました。

X'04' 無効な境界合わせでサブプールが要求されました。

X'05' エLEMENTの無効な先頭の番号でサブプールが要求されました。

X'06' 無効な名前でサブプールが要求されました。

X'08' 要求されたサブプールがすでに存在しています。

X'11' ストレージ・マネージャーへのアクセスが拒否されました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01' 要求が正常に完了しました。

X'02' 例外応答が生成されました。

X'03' 災害時応答が生成されました。

X'04' 無効な応答が生成されました。

X'05' カーネル・エラーが検出されました。

X'06' 要求が除去されました。

システムの処置: FEPI 初期設定が終了します。EXEC CICS FEPI コマンドは使用できません。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: ユーザーがとれる処置は、ストレージが不足しているとき、再始動時に CICS が使用できるストレージを大きくすることだけです。

その他のすべてのエラーはシステム障害です。システム・プログラマーに問い合わせてください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, X'rr', X'ee'*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

**DFHSZ4008E** *date time applid FEPI initialization failed: Non-runaway task setting failure, reason X'rr' response X'ee'*.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を初期設定できません。FEPI は長期実行中のトランザクション (CSZI) なので、ランナウェイ・タスク・タイムアウト

## DFHSZ4009E • DFHSZ4011E

トの対象であってはなりません。これを防止する要求が失敗しました。

X'rr' (障害の理由) は、必ず X'00' です。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01' 要求が正常に完了しました。

X'02' 例外応答が生成されました。

X'03' 災害時応答が生成されました。

X'04' 無効な応答が生成されました。

システムの処置: FEPI 初期設定が終了し、EXEC CICS FEPI コマンドは使用できなくなります。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: date, time, applid, X'rr', X'ee'

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

### DFHSZ4009E date time applid FEPI initialization failed: change-priority failure, response X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を初期設定できません。これは、FEPI のトランザクション (CSZI) のディスパッチング優先順位の変更が失敗したためです。

FEPI はトランザクションとして実行されるので、高い優先順位が必要です。このディスパッチング優先順位を設定する要求が失敗しました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01' 要求が正常に完了しました。

X'03' 災害時応答が生成されました。

X'04' 無効な応答が生成されました。

X'05' カーネル・エラーが検出されました。

システムの処置: FEPI 初期設定が終了し、EXEC CICS FEPI コマンドは使用できなくなります。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: date, time, applid, X'ee'

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

### DFHSZ4010E date time applid FEPI initialization failed: SZ TCB swap failure, response X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、通常、CICS SZ TCB のもとで実行されます。QR TCB のもとで実行される FEPI トランザクション (CSZI) を、SZ TCB のもとに転送しようとして失敗しました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01' 要求が正常に完了しました。

X'02' 例外応答が生成されました。

X'03' 災害時応答が生成されました。

X'04' 無効な応答が生成されました。

X'05' カーネル・エラーが検出されました。

システムの処置: FEPI 初期設定が終了し、EXEC CICS FEPI コマンドは使用できなくなります。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: SZ TCB は、初期の CICS 初期設定の一部として作成されます。コンソール・ログを検査して、TCB 作成障害を示すメッセージが生成されなかったかどうかを調べてください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター: date, time, applid, X'ee'

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

### DFHSZ4011E date time applid FEPI storage GETMAIN failed in subpool NB, reason X'rr' response X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、NIB が使用するための SZSPFCNB ストレージ・サブプールのストレージを獲得しようとしたましたが、失敗しました。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由 意味

X'01' 要求に対するストレージが不足しています。

X'02' 無効なサブプール・トークンが与えられました。

X'04' エレメントの無効な長さが要求されました。

X'05' エレメントの長さを指定していません。

X'08' ストレージ・サブプールへのアクセスが拒否されました。

X'11' 無効な初期イメージが提供されました。

X'12' ストレージ・マネージャーに異常終了が発生しました。

X'13' ストレージ・マネージャーにループが検出されました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01' 要求が正常に完了しました。

X'02' 例外応答が生成されました。

X'03' 災害時応答が生成されました。

X'04' 無効な応答が生成されました。

X'05' カーネル・エラーが検出されました。

X'06' 要求が除去されました。



これらすべての応答は、システム・エラーが発生したことを示します。

システムの処置: 例外トレース項目が生成されます。

FEPI は、要求を再試行することにより、このエラーからのリカバリーを試みます。ただし、複数回の発生を防止する処置はとりません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合には、再始動する前に、CICS システムのダンプをとってください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZZNG)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, X'rr', X'ee'*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

**DFHSZ4012E** *date time applid FEPI storage GETMAIN*  
**failed in subpool DA, reason X'rr' response X'ee'.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、一般使用のために SZSPVDA ストレージ・サブプールのストレージの獲得を試みましたが、その要求は失敗しました。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由	意味
X'01'	要求に対するストレージが不足しています。
X'02'	無効なサブプール・トークンが与えられました。
X'04'	エレメントの無効な長さが要求されました。
X'05'	エレメントの長さを指定していません。
X'08'	ストレージ・サブプールへのアクセスが拒否されました。
X'11'	無効な初期イメージが提供されました。
X'12'	ストレージ・マネージャーに異常終了が発生しました。
X'13'	ストレージ・マネージャーにループが検出されました。

X'ee' の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答	意味
X'01'	要求が正常に完了しました。
X'02'	例外応答が生成されました。
X'03'	災害時応答が生成されました。
X'04'	無効な応答が生成されました。
X'05'	カーネル・エラーが検出されました。
X'06'	要求が除去されました。

これらの応答はすべて、システム・エラーが発生したことを示します。

システムの処置: 例外トレース項目が生成されます。

FEPI は、要求を再試行することにより、このエラーからのリカバリーを試みます。ただし、複数回の発生を防止する処置はとりません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合には、

再始動する前に、CICS システムのダンプをとってください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZZAG)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, X'rr', X'ee'*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

**DFHSZ4013E** *date time applid FEPI storage GETMAIN*  
**failed in subpool RP, reason X'rr' response X'ee'.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、RPL が使用するための SZSPPCRП ストレージ・サブプールのストレージを獲得しようとして失敗しました。要求は失敗しました。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由	意味
X'01'	要求に対するストレージが不足しています。
X'02'	無効なサブプール・トークンが与えられました。
X'04'	エレメントの無効な長さが要求されました。
X'05'	エレメントの長さを指定していません。
X'08'	ストレージ・サブプールへのアクセスが拒否されました。
X'11'	無効な初期イメージが提供されました。
X'12'	ストレージ・マネージャーに異常終了が発生しました。
X'13'	ストレージ・マネージャーにループが検出されました。

X'ee' の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答	意味
X'01'	要求が正常に完了しました。
X'02'	例外応答が生成されました。
X'03'	災害時応答が生成されました。
X'04'	無効な応答が生成されました。
X'05'	カーネル・エラーが検出されました。
X'06'	要求が除去されました。

これらの応答はすべて、システム・エラーが発生したことを示します。

システムの処置: 例外トレース項目が生成されます。

FEPI は、要求を再試行することにより、このエラーからのリカバリーを試みます。ただし、複数回の発生を防止する処置はとりません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合には、再始動する前に、CICS システムのダンプをとってください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZZRG)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, X'rr', X'ee'*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

**DFHSZ4014E** *date time applid FEPI storage FREEMAIN failed in subpool DA|NB|RP, reason X'rr' response X'ee'.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、SZSPxxxx ストレージ・サブプールのストレージを解放しようとした。要求は失敗しました。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由	意味
X'02'	無効なサブプール・トークンが与えられました。
X'03'	解放するエレメントのアドレスが無効です。
X'06'	エレメントの無効な長さが指定されました。
X'07'	エレメントの長さを指定していません。
X'08'	ストレージ・サブプールへのアクセスが拒否されました。
X'10'	指定したストレージ・サブプールが空でした。
X'12'	ストレージ・マネージャーに異常終了が発生しました。
X'13'	ストレージ・マネージャーにループが検出されました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答	意味
X'01'	要求が正常に完了しました。
X'02'	例外応答が生成されました。
X'03'	災害時応答が生成されました。
X'04'	無効な応答が生成されました。
X'05'	カーネル・エラーが検出されました。
X'06'	要求が除去されました。

これらの応答はすべて、システム・エラーが発生したことを示します。

システムの処置: 要求は拒否され、再試行は行われません (おそらく、後でアクセスできないストレージが残されます)。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZZFR)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, X'rr', X'ee'*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

**DFHSZ4015I** *date time applid FEPI {normal | immediate | forced} termination has started.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) がシャットダウン要求を確認しました。終了を開始します。

FEPI が終了を完了すると、メッセージ DFHSZ4003 が出力されます。

FEPI は、CICS シャットダウン要求 (CEMT PERFORM SHUTDOWN など) に対する応答の場合のみ、終了します。CICS シャットダウンのタイプによっては、DFHSZ4015 メッセージが 2 回以上出されることになる場合があります。

システムの処置: ある特定の EXEC CICS FEPI コマンドが、FEPI の終了時に使用不能になります。

正常終了では、FEPI リソースを使用するすべてのトランザクションは、FEPI 自体が終了する前に終了することができません。ただし、新たに FEPI リソースを使用することができません。

即時終了では、FEPI 機能の使用は即時に停止されますが、通信機能は制御シャットダウンが行われます。

強制終了では、FEPI 機能の使用が即時に停止され、通信機能のシャットダウンが可能な限り即時に行われます (多数の VTAM メッセージが出される場合があります)。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDP)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=normal, 2=immediate, 3=forced}*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

**DFHSZ4099E** *date time applid FEPI ended abnormally.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が異常終了しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。すべての EXEC CICS FEPI コマンドが使用不能になります。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSZL

---

**DFHSZ4101I** *date time applid FEPI node nnnnnnnnn installed, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードを正常にインストールしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnnn, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4102W** *date time applid FEPI node nnnnnnnnn installation failed, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードをインストールすることができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI INSTALL NODE コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, rrr, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4103I** *date time applid FEPI node nnnnnnnn discarded, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードを正常に廃棄しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDN)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4104I** *date time applid FEPI node nnnnnnnn discard scheduled, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードの廃棄操作をスケジュールしました。

システムの処置: 処理を続行します。このノードは、非活動状態になったときに廃棄されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4105W** *date time applid FEPI node nnnnnnnn discard failed, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードを廃棄することができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DISCARD NODE コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, rrr, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4106I** *date time applid FEPI pool pppppppp (with property set yyyyyyyy) installed, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプールを正常にインストールしました。このプールは、メッセージに示された登録情報セットの特性を持っています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, yyyyyyyy, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4107W** *date time applid FEPI pool pppppppp (with property set yyyyyyyy) installation failed, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプールをインストールすることができません。このプールは、メッセージに示された登録情報セットの特性を持っています。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI INSTALL POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, yyyyyyyy, rrr, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4108I** *date time applid FEPI pool pppppppp discarded, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプールを正常に廃棄しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR DG)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4109I** *date time applid FEPI pool pppppppp discard scheduled, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプールの廃棄操作をスケジュールしました。

システムの処置: 処理を続行します。このプールは、非活動状態になったときに廃棄されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4110W** *date time applid FEPI pool pppppppp discard failed, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたプールを廃棄することができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DISCARD POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, rrr, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4111I** *date time applid FEPI target tttttttt installed, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットを正常にインストールしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttttttt, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4112W** *date time applid FEPI target tttttttt installation failed, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたターゲットをインストールすることができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI INSTALL TARGET コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttttttt, rrr, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4113I** *date time applid FEPI target tttttttt discarded, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットを正常に廃棄しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDT)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttttttt, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4114I** *date time applid FEPI target tttttttt discard scheduled, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットの廃棄操作をスケジューリングしました。

システムの処置: 処理を続行します。このターゲットは、非活動状態になったときに廃棄されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttttttt, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4115W** *date time applid FEPI target tttttttt discard failed, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたターゲットを廃棄することができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DISCARD TARGET コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttttttt, rrr, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4116I** *date time applid FEPI property set yyyyyyyyyy installed, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示された登録情報セットを正常にインストールしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, yyyyyyyyyy, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4117W** *date time applid FEPI property set yyyyyyyyyy installation failed, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示された登録情報セットをインストールすることができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI INSTALL PROPERTYSET コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, yyyyyyyyyy, rrr, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4118I** *date time applid FEPI property set yyyyyyyyyy discarded, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示された登録情報セットを正常に廃棄しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, yyyyyyyyyy, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4119W** *date time applid FEPI property set yyyyyyyy  
discard failed, code rrr, for transaction  
xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示された登録情報セットを廃棄することができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DISCARD PROPERTYSET コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, yyyyyyyy, rrr, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4120I** *date time applid FEPI node nnnnnnnn added  
to pool pppppppp, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードをメッセージに示されたプールに正常に追加しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, pppppppp, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4121W** *date time applid FEPI node nnnnnnnn not  
added to pool pppppppp, code rrr, for  
transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたノードをメッセージに示されたプールに追加することができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI ADD POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, pppppppp, rrr, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4122I** *date time applid FEPI node nnnnnnnn deleted  
from pool pppppppp, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードをメッセージに示されたプールから正常に削除しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, pppppppp, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4123W** *date time applid FEPI node nnnnnnnn not  
deleted from pool pppppppp, code rrr, for  
transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたノードをメッセージに示されたプールから削除することができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DELETE POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, pppppppp, rrr, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4124I** *date time applid FEPI target tttttttt added to  
pool pppppppp, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットをメッセージに示されたプールに正常に追加しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tttttttt, pppppppp, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4125W** *date time applid FEPI target tttttttt not added  
to pool pppppppp, code rrr, for transaction  
xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたターゲットをメッセージに示されたプールに追加することができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI ADD POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tttttttt, pppppppp, rrr, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4126I** *date time applid FEPI target tttttttt deleted  
from pool pppppppp, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットをメッセージに示されたプールから正常に削除しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tttttttt, pppppppp, xxxx*

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4127W** *date time applid FEPI target ttttttt not deleted from pool pppppppp, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたターゲットをメッセージに示されたプールから削除することができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DELETE POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。  
 モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, ttttttt, pppppppp, rrr, xxxx*  
 宛先: CSZL

---

**DFHSZ4128W** *date time applid FEPI delete from pool pppppppp failed, code rrr, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたプールでの削除操作を行うことができません。コード *rrr* は理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DELETE POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。  
 モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, rrr, xxxx*  
 宛先: CSZL

---

**DFHSZ4151I** *date time applid Unsolicited data received for FEPI pool pppppppp target ttttttt node nnnnnnnn. Transaction xxxx started.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についての非送信請求データを受信し、このデータを処理するメッセージに示されたトランザクションを開始しました。

システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBUN)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, ttttttt, nnnnnnnn, xxxx*  
 宛先: CSZL

---

**DFHSZ4152I** *date time applid Begin-session processing required for FEPI pool pppppppp target ttttttt node nnnnnnnn. Transaction xxxx started.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたトランザクションを開始することにより、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてのセッション開始処理を呼び出しました。

システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBSI)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, ttttttt, nnnnnnnn, xxxx*  
 宛先: CSZL

---

**DFHSZ4153I** *date time applid STSN processing required for FEPI pool pppppppp target ttttttt node nnnnnnnn. Transaction xxxx started.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたトランザクションを開始することにより、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についての STSN 処理を呼び出しました。

システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBST)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, ttttttt, nnnnnnnn, xxxx*  
 宛先: CSZL

---

**DFHSZ4154W** *date time applid FEPI session setup in pool pppppppp to target ttttttt and node nnnnnnnn failed with a reason code of X'rrrrrrr'. Setup will be retried later.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてのセッション・セットアップ時に、エラーを検出しました。このエラーを記述した理由コード (エラー・コードまたはセンス・コード) についての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照してください。

システムの処置: 処理が続行されます。短い間隔をあけてから、使用可能であれば別のノードを使用して、セッション・セットアップが再試行されます。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBLO)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, ttttttt, nnnnnnnn, X'rrrrrrr'*  
 宛先: CSZL

---

**DFHSZ4155W** *date time applid FEPI session in pool pppppppp to target ttttttt and node nnnnnnnn ended with a reason code of X'rrrrrrr'.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてこの VTAM イベントを検出しました。このイベントを記述した理由コード (エラー・コードまたはセンス・コード) についての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。このメッセージの理由コードはゼロで

あることがあります。ゼロの理由コードを持つメッセージが出されないようにしたい場合には、XMEOUT グローバル・ユーザー出口を使用してそれを抑止するようお勧めします。  
モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBLO)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, tttttttt, nnnnnnnn, X'rrrrrrrr'*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4156I** *date time applid* End-session processing required for FEPI pool *pppppppp* target *tttttttt* node *nnnnnnnn*. Transaction *xxxx* started.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたトランザクションを開始することにより、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてのセッション終了処理を呼び出しました。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBFT)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, tttttttt, nnnnnnnn, xxxx*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4157W** *date time applid* FEPI session setup in pool *pppppppp* to target *tttttttt* and node *nnnnnnnn* failed with a reason code of *X'rrrrrrrr'*. Setup will not be retried.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてのセッション・セットアップ時に、エラーを検出しました。このエラーを記述した理由コード (エラー・コードまたはセンス・コード) についての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照してください。この接続についてのセッションのセットアップが数回失敗しました。  
システムの処置: 処理は続行されますが、この接続についてのセッション・セットアップは再試行されません。  
ユーザーの処置: ありませんが、オペレーターが介入してその接続を使用可能にする必要がある場合があります。  
モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBLO)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp, tttttttt, nnnnnnnn, X'rrrrrrrr'*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4158W** *date time applid* The VTAM OPEN request for FEPI node *nnnnnnnn* failed with a reason code of *X'rrrrrrrr'*. This operation will be retried.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードについての VTAM OPEN 処理時に、エラーを検出しました。

考えられる *X'rrrrrrrr'* の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

コード 意味

**X'00000000'**

VTAM TPEND が起きて、エラー・コード 0 が出されました。

**X'00000004'**

VTAM TPEND が起きて、エラー・コード 4 が出されました。

**X'00000008'**

VTAM TPEND が起きて、エラー・コード 8 が出されました。

**X'0000000C'**

VTAM SETLOGON が失敗しました。

その他の値

VTAM OPEN が失敗して、エラー・コードが与えられました。

これらのエラー・コードについての説明は、「VTAM プログラミング」を参照してください。

システムの処置: 処理は続行され、そのノードについての VTAM OPEN が、短い間隔をあけて繰り返されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRIO)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, X'rrrrrrrr'*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4159W** *date time applid* The VTAM OPEN request for FEPI node *nnnnnnnn* failed with a reason code of *X'rrrrrrrr'*. This operation will not be retried.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードについての VTAM OPEN 処理時に、エラーを検出しました。理由コードは、VTAM OPEN 操作で戻されるエラー・コードです。これらのエラー・コードについての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照してください。

システムの処置: 処理は続行され、そのノードについての VTAM OPEN は繰り返されません。

ユーザーの処置: ありませんが、オペレーターが介入してそのノードを使用可能にする必要がある場合があります。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRIO)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn, X'rrrrrrrr'*  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4201I** *date time applid* FEPI node *nnnnnnnn* now has status {*INSERVICE* | *OUTSERVICE* | *GOINGOUT*}, {*ACQUIRED* | *RELEASED* | *ACQUIRING* | *RELEASING*}.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) ノードの状況が、EXEC CICS FEPI SET NODE または CEMT SET FENODE コマンドによって変更されました。現在は、上記のとおりです。

システムの処置: 処理を続行します。

## DFHSZ4202I • DFHTC1011

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRIW)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, nnnnnnnn*,  
{1=INSERVICE、2=OUTSERVICE、3=GOINGOUT},  
{4=ACQUIRED、5=RELEASED、6=ACQUIRING、  
7=RELEASING}  
宛先: CSZL

---

**DFHSZ4202I** *date time applid FEPI pool pppppppp now has status {INSERVICE | OUTSERVICE | GOINGOUT}*.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) プールの状況が、EXEC CICS FEPI SET POOL または CEMT SET FEPOOL コマンドによって変更されました。現在は、上記のとおりです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRIW)

## DFHTCxxxx メッセージ

---

**DFHTC1001** *applid Terminal control initialization failed (modname)*.

説明: 必要なステップが失敗したため、CICS 端末管理再始動タスクを完了させることができませんでした。このタスクでは、必要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体が異常終了して、コード ATC1 が出力されました。

システムの処置: CICS は、端末制御再始動タスクのトランザクション・ダンプを作成します。CICS は、2 つのメッセージをコンソールへ送ります。1 つは、端末管理再始動タスクによって検出されたエラーを識別するものであり、もう 1 つは、タスクが失敗に終わったことを示す DFHTC1001 です。これらのメッセージに続いて、ダンプが作成されて CICS が異常終了したことを示すか、あるいは GO または CANCEL の応答を要求する 3 番目のメッセージが出力されます。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出力されることもあります。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。「GO」と応答した場合には、CICS の処理は続行されますが、端末管理は行われません。「CANCEL」と応答した場合には、CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSIII1、DFHTCRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid, modname*

宛先: コンソール

---

**DFHTC1002** *applid Unable to link to program DFHTCRP*.

説明: CICS 端末管理リカバリー・プログラム DFHTCRP が

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, pppppppp*,  
{1=INSERVICE、2=OUTSERVICE、3=GOINGOUT}

宛先: CSZL

---

**DFHSZ4203I** *date time applid FEPI target tttttttt now has status {INSERVICE | OUTSERVICE | GOINGOUT}*.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) ターゲットの状況が、EXEC CICS FEPI SET TARGET または CEMT SET FETARGET コマンドによって変更されました。現在は、上記のとおりです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRIW)

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tttttttt*,  
{1=INSERVICE、2=OUTSERVICE、3=GOINGOUT}

宛先: CSZL

使用できません。CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHTCRP を見つけることができません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHTCRP を入れてください。

モジュール: DFHSIII1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTC1003** *applid Program DFHTCBP cannot be found - message recovery cannot be performed*

説明: CICS 端末管理バックアウト・プログラム DFHTCBP が使用できません。CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHTCBP を見つけることができません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHTCBP を入れてください。

モジュール: DFHTCRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTC1011** *applid Unable to load modname*

説明: CICS コールド・スタート時に、CICS は CICS モジュール *modname* を PC LOAD できませんでした。これは、そのモジュールがライブラリーから欠落しているためと思われる。

システムの処置: CICS の初期設定が続行されます。ただし、たとえ初期設定が完了したとしても VTAM リソースの初期設定は、モジュール *modname* の機能に応じて、何らかの点で正しくないものとなります。

ユーザーの処置: CICS が初期設定を完了した場合には、



VTAM リソースの処理は無効になります。CICS を取り消して、モジュール *modname* を使用できるようにし、それから CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *modname*

宛先: コンソール

#### DFHTC1012 *applid* Failure in installing VTAM resources

説明: コールド・スタート時に、CICS は TCT マクロによって定義されたすべての VTAM リソースをインストールすることはできませんでした。CICS は、インストールできなかったリソースを識別する他のメッセージ (複数の場合もある) を出しました。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: アンインストールされたリソースが必須なものであった場合には、RDO を使用してそれを使用できるようにするか、または CICS を取り消してください。このメッセージの理由としては、以下のことが考えられます。

- DFHTCT アセンブリーの出力が破壊されている。または
- CICS が前にエラー・メッセージ、例えば、DFHTC1011 などを出している。または
- CICS コードに論理エラーが含まれている。

CICS にエラーがあると思われる場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHTC1013 *applid* Restore failed for xxxxxx

説明: ウォーム・リスタートまたは緊急再始動時に、CICS は、リソース xxxxxx をリストアできませんでした。

システムの処置: CICS の初期設定が続行されます。そのリソースが DFHTCT マクロで定義されている場合には、CICS は、DFHRDTxx の処理時にそれをコールド・スタートしようとしします。

ユーザーの処置: リソース xxxxxx がシステムに必須のものであるにもかかわらずコールド・スタートされない場合には、CICS を取り消してください。この問題は、おそらく CICS の論理エラーによって起こる考えられます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, xxxxxx

宛先: コンソール

#### DFHTC1015 *applid* TCT load module contains obsolete entries

説明: CICS の初期設定時に、TCT ロード・モジュール DFHTCTxx (xx は接尾部です) に、このリリースの CICS 用のアセンブリー・マクロによって生成されなかった項目が含まれていることが判明しました。このテーブルを使用することはできません。

システムの処置: 立ち上げは中止されます。

ユーザーの処置: 正しくない TCT 接尾部が指定または暗黙指定されたか、または間違っレベルの CICS マクロで TCT がアセンブルされたかのどちらかです。別の接尾部を指定するか、または正しいマクロに対してアセンブルされた TCT を使って、立ち上げを再試行してください。

モジュール: DFHAPSIP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHTC1022 *applid* Error for XRF tracking record - Type: *type* - Key: *key*

説明: XRF 追跡時にエラーがあったために、リソースに対する変更の追跡が失敗しました。このリソースのタイプは *type* であり、キー *key* に関連しています。

*type* は追跡レコード・タイプを表しています。これは次のいずれかになります。

TCT CONTENTS

ZCP SESSIONS

*key* は TCTTE 階層内のオブジェクトの位置です。

システムの処置: 関連したリソースが、正しくない状態にあるか、欠落しているか、もしくは引き継ぎ終了時に削除されていませんでした。

ユーザーの処置: この名前の付いたリソースが重要なものであるかどうかを判別して、問題を解決できるかどうかを判断してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *type*, *key*

宛先: コンソール

#### DFHTC1023 *applid* Logic error in tracking condition

説明: XRF 追跡中に、設計意図上起こりえない条件が検出されました。挿入部は、検査される条件のうちのどれが検出されたかを示しています。

1. ブロードキャスト・メッセージは、追跡時のみ受け入れられます。DFHTCRP の GETMSG ルーチンは、ブロードキャスト・メッセージと、フィールド GETMSPEC 内の ID と一致する ID を持つメッセージだけを受け入れます。このフィールドは、追跡時のみ設定されます。
2. ヌル・キーを持つブロードキャスト・メッセージ。ヌル・キー・レコードは、そのレコードが到着する先のキャッチアップ・ストリームが完全であることを示します。これは、活動側が通常の (ウォーム) シャットダウンを行ったばかりのときには、ブロードキャスト追跡ストリームにしか起こりません。

システムの処置: 当該メッセージは無視されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *condition*

宛先: コンソール

**DFHTC1024I** *applid* XRF takeover while catching up.

説明: このメッセージを出した代替 CICS は開始されたばかりです。活動 CICS は、代替 CICS が活動 CICS の TCT リソースに関するすべての情報を取得する前に、失敗しました。欠落している情報タイプまたは不完全な情報タイプについての詳細は、メッセージ DFHTC1034 から DFHTC1036 を参照してください。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: さらに出されるメッセージがないかどうか注意してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTC1034I** *applid* TCT contents incomplete. Will read catalog.

説明: DFHTC1024 がこのメッセージの背景情報を提供します。活動 CICS は、代替 CICS が活動システムの TCT 内にある追跡可能なリソースのすべてについて定義を取得する前に失敗しました。この時点では、欠落している定義がある場合もあります。ただし、活動システム内の CICS カタログには、再始動データ・セット内の、より完全な 1 組の定義が入っている場合もあります。これらの定義が、ウォーム・リスタートまたは緊急再始動の場合と同様に、読み取られることになりません。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: CICS カタログの読み取り中に、エラーが発生しないか注意してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTC1035E** *applid* Session states may be incorrect

説明: DFHTC1024 がこのメッセージの背景情報を提供します。活動 CICS は、代替 CICS が活動システムの TCT 内にある追跡可能なリソースのすべてについてセッション状態を取得する前に失敗しました。この時点では、正しくない状態になっている場合もあります。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: 旧活動システムで獲得された一部の論理装置 (LU) については、引き継ぎの後にならないように準備をしてください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTC1036I** *applid* Unimplemented tracking-type incomplete: *xxxx*

説明: DFHTC1024 がこのメッセージの背景情報を提供します。活動 CICS は、まだ実施されていない種類のリソースに関するすべての情報が代替 CICS に送られる前に失敗しました。そのような情報は廃棄されたと思われるので、これによって重大な結果にいたることはありません。ただし、このような

状況は、旧活動システムと現在のシステムとの間にレベル互換性がないことを示しています。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: 暗黙のレベル非互換性が存在しているか、または予想されるかを判別してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール

**DFHTC1040I** *applid* *nnnn* Terminal control tracking records received.

説明: 代替 CICS が待機中であり、その CICS が *nnnn* の端末管理追跡メッセージを活動 CICS から受信しました。

システムの処置: トレースが続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *nnnn*

宛先: コンソール

**DFHTC1041I** *applid* Terminal control tracking started.

説明: 代替 CICS が初期設定中であり、それが活動システムからのメッセージをちょうど受け入れ始めるところです。メッセージ DFHTC1044 が短時間のうちに表示されるはずですが。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTC1042I** *applid* Waiting for terminal control tracking to drain.

説明: 代替システムが引き継ぎを行っている最中であり、そのシステムが活動システムからの追跡レコードの残りのいくつかを処理しているところです。処理を完了させるために引き継ぎが中断され、その間、このメッセージが 15 秒おきに出されます。これはエラーである可能性があります、特にこのメッセージが異常に何回も繰り返し出される場合はそうです。原因としては、VTAM の UNBIND 処理の遅延や、CICS 論理エラーなどが考えられます。システムはこのメッセージを 2 回出してから、メッセージ DFHTC1046 で述べられているように、未解決の追跡活動をフラッシュします。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTC1046 を探してください。

モジュール: DFHZXQO

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTC1043I** *applid* Terminal control tracking ended - *nnnn* records received.

説明: XRF 代替システムが引き継ぎを行っています。障害を起こしている活動システムからの最後の端末管理追跡レコードは受信済みで、現在処理されているところです。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *nmn*  
宛先: コンソール

#### DFHTC1044I *applid* Terminal control catch-up started.

説明: XRF 代替システムが待機の準備を行っているところです。この代替システムは、自分が開始される前にインストールまたはバインド (またはその両方) が行われた端末管理リソースについての情報が入った最初のメッセージを、活動システムから受信しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

#### DFHTC1045I *applid* Terminal control catch-up complete.

説明: XRF 代替システムが待機中です。この代替システムは、自分が開始される前に活動システムでインストールまたはバインド (またはその両方) が行われた端末管理リソースについて自分が必要とするすべての端末管理情報を、今ちょうど受信したところです。

システムの処置: 通常のトレースが続行されます。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

#### DFHTC1046I *applid* Flushing terminal control tracking.

説明: 代替システムが引き継ぎを行っている最中であり、そのシステムが活動システムからの追跡レコードの残りのいくつかを処理しているところです。メッセージ DFHTC1042 が 2 回出されました。DFHZXQO が未解決の活動の制御されたフラッシュを行っています。

システムの処置: CICS は、中断を解放する試みの際に、2 秒ごとに 1 つの未解決な処置を通知します。システム・ダンプがとられるのは最初の処置に対してだけです。

ユーザーの処置: この処理は、エラーまたは予測しない状況が発生したときに限って行われます。問題が再発するような場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXQO

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

#### DFHTC1047I *applid* Higher node missing. Record dropped for key

説明: XRF 代替システムが活動 CICS から追跡メッセージを受信しました。しかし、この端末用の関連システム項目が存在しないか、または再始動データ・セットにある端末カタログ・レコードの順序が間違っているかのいずれかです。(その中

で、エラーのあるその端末は関連システム項目の前にきています。)

*key* は TCTTE 階層内のオブジェクトの位置です。このような状況は、活動システムが自分の追跡メッセージをすべて送信することができない場合に起こります。その結果、システム項目が送信されないことがあります。

システムの処置: トレース・メッセージは廃棄されます。したがって、関連した処置 (INSTALL または LOGON) は行われません。

ユーザーの処置: CAVM メッセージ・データ・セットが十分な大きさであることを確認してから、代替システムを再始動してください。活動 CICS ジョブが正しい再始動データ・セットを参照しているかどうか検査してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *key*  
宛先: コンソール

#### DFHTC1060 *applid* Insufficient storage (code FCF7) in module DFHTCRP.

説明: ストレージの要求をモジュール DFHTCRP で満たすことができませんでした。この特定のエラーは、コード FCF7 によって識別されます。これは、動的ストレージ域 (DSA) のサイズが小さすぎることを意味します。

システムの処置: 端末制御初期設定が終了して、システム・ダンプが作成され、メッセージ DFHTC1001 が出されます。

ユーザーの処置: 最小サイズの DSA 内からでも十分なストレージを確保できるはずなので、これは CICS 内の論理エラーを意味している可能性があります。DSA サイズの限界を増やしてみてください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

#### DFHTC1575 *applid* No TCT entry for termid

説明: このメッセージは、システムの初期設定において、一致する端末管理テーブル (TCT) 項目のないウォーム・スタート・レコードが読み取られたときに出力されます。termid は、欠落している TCT 名です。

システムの処置: そのレコードを無視します。

ユーザーの処置: TCT termid が必要とされた場合には、システムの初期設定を取り消す必要があります。端末 termid について一致する TCT 項目が存在していることを確認してから再試行してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *termid*  
宛先: コンソール

**DFHTC2501 Msg too long, please resubmit**

説明: 端末オペレーターがこの READ について予期された量以上のデータをキー入力しました。

システムの処置: 進行中のトランザクションが終了します。

ユーザーの処置: TRANSACTION HAS BEEN ABENDED というメッセージが出たあとで、端末をリセットし、トランザクションを再始動してください。

モジュール: DFHTACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTC2506** *date time applid Output event rejected return code zz {on line w/term | at term }termid, trans }trandid, rel line=}rr,time*

説明: 出力操作が試行されましたが、入出力ルーチンにより停止され、SAM 戻りコード zz が出されました。READ または WRITE マクロ命令の後で異常条件を検出した場合には、操作は開始されず、制御は、READ または WRITE マクロ命令に続く命令でユーザー・プログラムに戻されます。

システムの処置: 回線はサービス休止状態に置かれます。

ユーザーの処置: シャットダウン時にシステム・ダンプが出され、エラーが文書化されていることを確かめてください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, zz, {1=on line w/term, 2=at term }, termid, {1=, trans }, trandid, {1=, rel line=}, rr, time*

宛先: CSMT

---

**DFHTC2507** *date time applid Input event rejected return code zz {on line w/term | at term }termid, trans }trandid, rel line=}rr,time*

説明: 入力操作が試行されましたが、入出力ルーチンにより停止され、SAM 戻りコード zz が出されました。READ または WRITE マクロ命令の後で異常条件を検出した場合には、操作は開始されず、制御は、READ または WRITE マクロ命令に続く命令でユーザーのプログラムに戻されます。

システムの処置: 回線はサービス休止状態に置かれます。

ユーザーの処置: シャットダウン時にシステム・ダンプが出され、障害が文書化されていることを確かめてください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, zz, {1=on line w/term, 2=at term }, termid, {1=, trans }, trandid, {1=, rel line=}, rr, time*

宛先: CSMT

---

**DFHTC2511** *date time applid Invalid write request {on line w/term | at term }termid, trans }trandid, rel line=}rr,time*

説明: このメッセージは、次のいずれかが発生した場合に出されます。

1. トランザクションが、現在入力状況にある端末機能に対して、書き込み要求を出しました。

2. トランザクションが、ファイル終わり (EOF) 条件を受け取る前に、パッチ伝送中の 3735 に対して書き込み要求を出しました。

システムの処置: その書き込み要求は実行されず、トランザクションは異常終了します。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、発生した条件によって異なります。条件については次のとおりです。

1. トランザクションが、入力状況の端末に対して書き込み要求を出さないようにしてください。
2. 3735 パッチ・トランザクションが、必ず EOF 条件を受け取ってから最初の書き込み要求を出すようにしてください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=on line w/term, 2=at term }, termid, {1=, trans }, trandid, {1=, rel line=}, rr, time*

宛先: CSTL

---

**DFHTC2513** *date time applid Output length zero {on line w/term | at term }termid, trans }trandid, rel line=}rr,time*

説明: 書き込み操作で、TIOATDL 内のデータ長が正の値ではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラム内のゼロまたは負のデータ長指定を訂正してください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=on line w/term, 2=at term }, termid, {1=, trans }, trandid, {1=, rel line=}, rr, time*

宛先: CSMT

---

**DFHTC2514** *date time applid No output area provided {on line w/term | at term }termid, trans }trandid, rel line=}rr,time*

説明: トランザクション *trandid* が端末 *termid* で書き込みを要求しました。しかし、その TCTTEDA フィールドの初期設定は行われませんでした。

システムの処置: その書き込み要求は実行されず、トランザクションは異常終了します。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: トランザクション *trandid* が必要なストレージを取得して、TCTTEDA フィールドの初期設定を行うことを確認してください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=on line w/term, 2=at term }, termid, {1=, trans }, trandid, {1=, rel line=}, rr, time*

宛先: CSTL

---

**DFHTC2515** *date time applid Output area exceeded {on line w/term | at term }termid{, trans }trandid{, rel line=}rr,time*

説明: 端末入出力域 (TIOA) が、データとキャリア制御文字の両方を入れるのに十分な大きさではありません。

システムの処置: その書き込み要求は実行されません。(可能であれば) その端末書き込みストレージは解放され、トランザクションは異常終了します。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムが TIOATDL の値を TIOA GETMAIN サイズよりも大きく設定しないように、訂正してください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=on line w/term, 2=at term }, termid, {1=, trans }, trandid, {1=, rel line=}, rr, time*

宛先: CSTL

---

**DFHTC2521** *date time applid Undetermined unit error {on line w/term | at term }termid{, trans }trandid{, rel line=}rr,time*

説明: 端末 *termid* が定義した回線で (装置チェック、装置例外、または否定応答以外の) 入出力エラーが発生しました。

システムの処置: 端末 *termid* と関連した回線は使用されなくなります。

ユーザーの処置: このエラーのために SAM が生成したシステム・コンソール・ログ・メッセージを調べてください。装置エラーを訂正してください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=on line w/term, 2=at term }, termid, {1=, trans }, trandid, {1=, rel line=}, rr, time*

宛先: CSMT

---

**DFHTC2536** *date time applid Link to DFHTEP from DFHTACP failed because {module DFHTEP is not AMODE 31 | module DFHTEP could not be loaded | there is no PPT entry for program DFHTEP}.*

説明: 非 VTAM 端末のエラーの処理中に、CICS が、ユーザー置き換え可能モジュール DFHTEP への関係を試みました。関係は失敗しました。メッセージ DFHTC2538 で説明されている 1 つ以上のデフォルトの処置がとられました。

システムの処置: DFHTACP が設定したデフォルト処置がとられます。

ユーザーの処置: とられたデフォルト処置についての説明は、メッセージ DFHTC2538 を参照してください。

以下の解決策が考えられます。

- DFHTEP が AMODE 31 で関係されていることを確認してください。
- DFHTEP が LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つに含まれていて、正しい名前を持っていることを確認してください。

- モジュール DFHTEP の PPT 項目が存在し、有効であることを確認してください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=module DFHTEP is not AMODE 31, 2=module DFHTEP could not be loaded, 3=there is no PPT entry for program DFHTEP}*

宛先: CSMT

---

**DFHTC2537** *date time applid Abend abcode has occurred in module DFHTEP.*

説明: 非 VTAM 端末のエラーの処理中に、ユーザー置き換え可能モジュール DFHTEP に関係が行われ、プログラムが異常終了して *abcode* が出されました。メッセージ DFHTC2538 で説明されている 1 つ以上のデフォルトの処置がとられました。

システムの処置: 呼び出しモジュール DFHTACP に制御が戻されます。DFHTACP は、DFHTEP が呼び出される前に設定されたデフォルトの処置を復元します。それから処置がとられます。

ユーザーの処置: とられたデフォルト処置についての説明は、メッセージ DFHTC2538 を参照してください。

最初に出されたエラーについての詳細は、異常終了コード *abcode* を参照してください。問題を解決するには、異常終了コード *abcode* で示されたユーザーの処置に従ってください。

モジュール: DFHTACP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, abcode*

宛先: CSMT

---

**DFHTC2538** *date time applid I Default actions actions have been taken for message number related message.*

説明: 非 VTAM 端末のエラーの処理時に問題が発生し、メッセージ *msgno* が出されました。とられる可能性のあるすべてのデフォルト処置についての説明を以下に示します。

アクション

意味

**LINEOS**

回線を使用停止状態にする。

**NONPRGT**

除去不可能なタスク

**TERMOS**

端末を使用停止状態にする。

**ABENDT**

端末上のタスクを異常終了させる。

**ABORTWR**

書き込みを打ち切り、端末ストレージを解放する。

**SIGNOFF**

エラーのある端末のサインオフ・プログラムを呼び出す。

システムの処置: システム処置は、メッセージ *related message* に示されています。

ユーザーの処置: メッセージ *related message* のユーザーの処置の項に示されている手引きに従ってください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, actions, related message*

宛先: CSMT

---

**DFHTC8510** *date time applid SNA protocol violation detected in query response at termid termid*

説明: CICS が、装置 *termid* からの照会応答に SNA プロトコルの違反を検出しました。

---

## DFHTDxxxx メッセージ

**DFHTD0001** *applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.*

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。TS1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

それから、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、エラーが、例えばプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイのいずれであるかがわかります。さらに、ユーザーの処置に関する何らかの手引きを提供してくれます。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

システムの処置: DFHQRY は、影響を受けることなく実行されます。

ユーザーの処置: 無効な照会応答が CICS に送られた理由を突き止めてください。

モジュール: DFHQRY

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

宛先: CSMT

---

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAPTD

XMEOUT パラメーター: *applid, aaa/bbbb, X'offset', modname*

宛先: コンソール

---

**DFHTD0002** *applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.*

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このエラーの重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAPTD

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*

宛先: コンソール

**DFHTD0003** *applid* **Insufficient storage (code X'code') in module modname.**

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます (コード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関係のある終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからのもの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAPTD

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*

宛先: コンソール

**DFHTD0004** *applid* **A possible loop has been detected at offset X'offset' in module modname.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるた

め、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で測定) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要で、手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAPTD

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*

宛先: コンソール

**DFHTD0005** *applid* **A hardware error has occurred (module modname, code X'code'). The Time-of-Day clock is invalid.**

説明: モジュール *modname* の実行中にエラーが発生しました。

ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (コード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これはおそらくハードウェア・エラーです。まずストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

## DFHTD0006 • DFHTD0102A

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAPTD

XMEOUT パラメーター: *applid*, *modname*, X'*code*'

宛先: コンソール

---

### DFHTD0006 *applid* Insufficient storage to satisfy Getmain (code X'*code*') in module *modname*. VSE code *vsecode*.

説明: モジュール *modname* が、ストレージを獲得しようとしたましたが、要求を満たすほど十分なストレージがありませんでした。

コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *vsecode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。  
システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます (コード X'*code*'). ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関係のある終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからのもの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合は、問題は一時的なものである場合があります。その場合は、より多くのストレージが使用可能になると、自然に問題が解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

GETMAIN 戻りコード *vsecode* の診断情報は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』で説明されています。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHAPTD

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*', *modname*, *vsecode*

宛先: コンソール

---

### DFHTD0100I *applid* Transient Data initialization has started.

説明: これは、一時データの初期設定が開始されたことを通知するメッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTD0101I *applid* Transient Data initialization has ended.

説明: これは、一時データ初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTD0102A *applid* Transient Data initialization has failed.

説明: 一時データ初期設定が失敗しました。

一時データ初期設定タスクの異常終了後に DFHTDRP にある SETXIT ルーチンに入りました。

システムの処置: 以後 CICS の初期設定を妨げるような重大エラーがない限り、初期設定時にどのようなエラーが他に発生したかによって、CICS は 2 つのメッセージのいずれかを出します。

DFHSI1521 が出された場合には、CICS 初期設定が終了します。DFHSI1522 が出された場合には、低下モードで CICS 初期設定を続行するか、または終了するかを決定してください。ユーザーの処置: 前のコンソール・メッセージを調べてください。そのなかの 1 つで、一時データ初期設定が失敗した理由を説明しているはずです。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール



**DFHTD0103I** *applid* **Transient Data initialization has been suspended pending takeover.**

説明: これは、引き継ぎの保留中に、一時データ初期設定が中断されたことを示す通知メッセージです。

一部の一時データ初期設定は、CICS が待機モードで動作している間に実行することができます。しかし、残りの初期設定は、引き継ぎが完了するまで実行することができません。なぜなら、一時データ・セット (DFHCXRF データ・セットを除く) は、受動的に共用していると想定されているからです。  
システムの処置: システム初期設定を続行します。  
ユーザーの処置: なし。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTD0104I** *applid* **Transient Data initialization has been resumed following takeover.**

説明: これは、一時データ初期設定が引き継ぎに続いて再開されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTD0180** *applid* **Unexpected response (code X'response') and reason (code X'reason') from a dfhxxzym call.**

説明: モジュール DFHTDA は、ドメイン *xx* の *dfhxxzym* 呼び出しに失敗した後は、処理を続行することができません。

応答 (コード X'response') および理由 (コード X'reason') は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xxyy\_response* および *xxyy\_reason*)。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0180 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDA

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'response', X'reason', *dfhxxzym*

宛先: コンソール

**DFHTD0181** *applid* **Unexpected response (code X'response') and reason (code X'reason') from a dfhxxzym call.**

説明: モジュール DFHTDB は、ドメイン *xx* の *dfhxxzym* 呼び出しに失敗した後は、処理を続行することができません。

応答 (コード X'response') および理由 (コード X'reason') は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xxyy\_response* および *xxyy\_reason*)。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0181 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'response', X'reason', *dfhxxzym*

宛先: コンソール

**DFHTD0182** *applid* **Unexpected response (code X'response') and reason (code X'reason') from a dfhxxzym call.**

説明: モジュール DFHTDRP は、ドメイン *xx* の *dfhxxzym* 呼び出しに失敗した後は、処理を続行することができません。

応答 (コード X'response') および理由 (コード X'reason') は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xxyy\_response* および *xxyy\_reason*)。

システムの処置: これはクリティカル・エラーです。

CICS は、ダンプを作成して、異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'response'*, *X'reason'*,  
*dfhxxyym*  
宛先: コンソール

---

**DFHTD0183** *applid Unexpected response (code X'response') and reason (code X'reason') from a dfhxxyym call during processing of intrapartition queue queue.*

説明: 区画内一時データ・キュー *queue* のトリガー・レベルに達しました。

モジュール DFHTDB は、ドメイン *xx* の *dfhxxyym* 呼び出しの応答の後に、関連したトランザクションを開始することができませんでした。

応答 (コード *X'response'*) および理由 (コード *X'reason'*) は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xyyy\_response* および *xyyy\_reason*)。

関連したトランザクションの開始は失敗しました。  
システムの処置: これは、おそらく CICS 論理エラーです。

その後一時データ・キューへ書き込むたびにトランザクションの開始が試みられますが、失敗します。ただし、このメッセージは、最初にエラーが検出されたときのみ出されます。

CICS はダンプを作成して、処理を続行します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDB

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'response'*, *X'reason'*,  
*dfhxxyym*, *queue*  
宛先: コンソール

---

**DFHTD0240** *applid Queue queue (DLBL name dlblname) is full.*

説明: DLBL 名 *dlblname* の区画外キュー *queue* へこれ以上データを書き込むことができません。

システムの処置: EXEC CICS WRITEQ TD コマンドの処理時にシステム異常終了が発生した場合には、NOSPACE 条件が戻されます。

EXEC CICS SET TDQUEUE CLOSED コマンドの処理時にシステム異常終了が発生した場合には、データ・セットはクローズされなくて、IOERR 条件が戻されます。

2 回目のデータ・セットをクローズする試みは成功することに注意してください。

ユーザーの処置: CICS を再始動する前に、データ・セットにより多くのスペースを割り振ることを検討してください。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDEXP に含まれているコードからの DFHTDA

---

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *queue*, *dlblname*  
宛先: コンソール

---

**DFHTD0242** *applid An abend has been detected during processing for queue queue (DLBL name dlblname).*

説明: 区画外キュー *queue* (つまり、DLBL 名 *filename* のデータ・セット) での処理時にシステム異常終了が発生しました。  
システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0242 のシステム・ダンプがとられません。

これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、CICS は終了しないで、IOERROR 条件が戻されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDEXP に含まれているコードからの DFHTDA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *queue*, *dlblname*  
宛先: コンソール

---

**DFHTD0244** *applid An I/O error has occurred during an output operation to an extrapartition dataset for queue queue. (DLBL name = dlblname).*

説明: キュー *queue* 上の区画外データ・セット *dlblname* に対する出力操作の処理時に、入出力エラーが発生しました。

このメッセージは、サンプル集 DFHTDEXP に含まれているコードからのモジュール DFHTDA によって出されます。  
システムの処置: IOERR 条件が戻されます。後続の書き込み要求には、IOERR が戻されます。  
ユーザーの処置: CEMT を使用してデータ・セット *dlblname* をクローズしてください。後続のオープンの後にも入出力エラーがなくなる場合には、おそらくこのデータ・セットを異なったボリュームに再割り振りする必要があります。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *queue*, *dlblname*  
宛先: コンソール

---

**DFHTD0245** *applid* **NOSPACE condition on a PUT to the intrapartition data set (DLBL name *dlblname*). The RBA of the next CI would have exceeded 2 gigabytes.**

説明: DLBL 名 *dlblname* の区画内一時データ・セットへ書き込もうとされましたが、NOSPACE 条件のため失敗しました。CICS はデータ・セットを拡張しようとしたが、次の制御インターバル (CI) (追加された場合) の相対バイト・アドレス (RBA) が 2 ギガバイト (x'7FFFFFFF') を超えたようです。システムの処置: システムは正常に続行されます。ユーザーの処置: 不要な一時データ・キューを区画内データ・セットから削除してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dlblname*

宛先: コンソール

---

**DFHTD0246** *applid* **An I/O error has occurred during an input operation to an extrapartition dataset for queue *queue*. (DLBL name = *dlblname*).**

説明: キュー *queue* 上の区画外データ・セット *dlblname* に対する入力操作の処理時に、入出力エラーが発生しました。このメッセージは、サンプル集 DFHTDEXP に含まれているコードからのモジュール DFHTDA によって出されます。システムの処置: IOERR 条件が戻されます。後続の書き込み要求には、IOERR が戻されます。ユーザーの処置: CEMT を使用してデータ・セット *dlblname* をクローズしてください。後続のオープンの後にも入出力エラーがなくなる場合には、おそらくこのデータ・セットを異なったボリュームに再割り振りする必要があります。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDA

XMEOUT パラメーター: *applid*, *queue*, *dlblname*

宛先: コンソール

---

**DFHTD0340** *applid* **Transaction *tranid* initiated when the trigger level is reached for Transient Data queue *queue* is defined as REMOTE. The transaction initiation has failed.**

説明: 一時データ・キュー *queue* のトリガー・レベルに達しました。キューに関連付けられたトランザクションはリモートですが、これはトリガー・トランザクションについては無効です。したがって、トランザクションの開始は失敗しました。システムの処置: エラーを訂正するまで、一時データ・キューに対して以後書き込みを行うたびに、トランザクションを開始する試みがさらに行われますが、これは失敗します。しかし、ログがメッセージで一杯にならないように、このメッセージは、エラーを最初に検出したときのみ出されます。ユーザーの処置: 次のいずれかの適切な処置をとってください。

- DCT 内のトランザクション ID が間違っている場合:

- DCT を修正して、キューのトランザクション ID をローカルのトランザクション ID と交換し、再アセンブルするか、または、
- EXEC CICS SET TDQUEUE(*queue*) ATITRANID(*tranid*) を使用して、キューのトランザクション ID をローカルのトランザクション ID と交換する。詳細については、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム・プログラミング解説書」を参照してください。
- トランザクション定義が間違っている場合には、CEDA を使用してトランザクション定義を修正し、トランザクションをローカルにします。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *tranid*, *queue*

宛先: コンソール

---

**DFHTD0341** *applid* **Transaction *tranid* associated with the trigger level for Transient Data queue *queue* has not been initiated.**

説明: 一時データ・キュー *queue* のトリガー・レベルに達しました。システム・セットアップでのエラーのために関連トランザクションの開始が失敗しました。システムの処置: エラーを訂正するまで、一時データ・キューに対して以後書き込みを行うたびに、トランザクションを開始する試みがさらに行われますが、これは失敗します。しかし、ログがメッセージで一杯にならないように、このメッセージは、エラーを最初に検出したときのみ出されます。ユーザーの処置: DCT 内のキューの定義を検査してください。キューには、キューに関連付けられたトランザクションがなければなりません。そのトランザクションは既存のもので、ローカルとして定義され、しかもインストール済みであるものです。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *tranid*, *queue*

宛先: コンソール

---

**DFHTD0342** *applid* **Transaction *tranid* associated with the trigger level for Transient Data queue *queue* has not been scheduled.**

説明: 一時データ・キュー *queue* のトリガー・レベルに達しました。システム・セットアップでのエラーのために、関連トランザクションのスケジューリングが失敗しました。システムの処置: エラーを訂正するまで、一時データ・キューに対して以後書き込みを行うたびに、トランザクションをスケジューリングする試みがさらに行われますが、これは失敗します。しかし、ログがメッセージで一杯にならないように、このメッセージは、エラーを最初に検出したときのみ出されます。

## DFHTD0343 • DFHTD0361

ユーザーの処置: 次の点について検査し、必要なら修正を加えてください。

- キューには、キューに関連付けられたトランザクションがなければなりません。そのトランザクションは既存のもので、ローカルとして定義され、しかもインストール済みであるものです。リモート属性がトランザクション定義に設定されていなかったため、トランザクションはローカルでした。しかし、動的 parm はそれがリモートである可能性を示していました。
- SYSTEM または TERMINAL の DESTFAC (宛先機構) については、指定された機構が必ず存在し、任意の必要なシステム・リンクがインストール済みでしかも使用可能でなければなりません。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid, tranid, queue*

宛先: コンソール

---

### DFHTD0343 *date time applid* Automatic transaction restart for transaction *tranid* processing TD queue *queue-name* has failed.

説明: TD トリガー・レベルに達したときに接続されたトランザクションが異常終了しようとしており、このトランザクションの自動トランザクション再始動がユーザー置き換え可能モジュール DFHREST を介して要求されました。CICS がトランザクションを再始動しようとしたときに、重大エラーが発生しました。

システムの処置: 再始動の失敗の原因となった重大エラーに関して、メッセージ DFHAP0002 が出され、ダンプがとられます。再始動が要求されたトランザクションの異常終了は続行されます。トランザクションは自動的に再始動されません。

この TD キューに対する次の TD 要求が受信され、トリガー・レベルに達したか、または超えたときに、システムはトリガー・レベル・トランザクションを再接続しようとします。ユーザーの処置: 最初の重大エラーが起きた理由を調べてください。詳細については、メッセージ DFHAP0002 を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDXM

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, queue-name*

宛先: コンソール

---

### DFHTD0360 *applid* Logical I/O error occurred during a GET request to the intrapartition data set (DLBL name *dlblname*); VSAM return codes are R15=X'*retcode*', FDBK=X'*fdbkcode*'.

説明: 論理入出力エラーが発生したために、DLBL 名 *dlblname* の区画内データ・セットからの制御インターバルの読み取りが失敗しました。retcode は、レジスター 15 の中の戻りコードで、fdbkcode は、要求パラメーター・リスト (RPL) の

フィードバック・フィールドの値です。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0360 のシステム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。メッセージ内のコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid, dlblname, X'retcode', X'fdbkcode'*

宛先: コンソール

---

### DFHTD0361 *applid* Logical I/O error occurred during a PUT request to the intrapartition data set (DLBL name *dlblname*); VSAM return codes are R15=X'*retcode*', FDBK=X'*fdbkcode*'.

説明: 論理入出力エラーが発生したために、DLBL 名 *dlblname* の区画内データ・セットへの制御インターバルの (再)書き込みが失敗しました。retcode は、レジスター 15 の中の戻りコードで、fdbkcode は、要求パラメーター・リスト (RPL) のフィードバック・フィールドの値です。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0361 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ内のコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid, dlblname, X'retcode', X'fdbkcode'*

宛先: コンソール

---

**DFHTD0362** *applid* Physical I/O error occurred during a GET request to the intrapartition data set (DLBL name *dlbname*); VSAM return codes are R15=X'*retcode*', FDBK=X'*fdbkcode*'.

説明: 物理入出力エラーが発生したために、DLBL 名 *dlbname* の区画内データ・セットからの制御インターバルの読み取りが失敗しました。 *retcode* は、レジスター 15 の中の戻りコードで、*fdbkcode* は、要求パラメーター・リスト (RPL) のフィードバック・フィールドの値です。  
 システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0362 のシステム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: メッセージ内のコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

VSAM によって生成された物理エラー・メッセージのコピーが、システム・ダンプ内の (いずれかの) 一時データ VSAM エラー・メッセージ域 (1 つまたは複数) に表示されます。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*、*dlbname*、X'*retcode*'、X'*fdbkcode*'

宛先: コンソール

---

**DFHTD0363** *applid* Physical I/O error occurred during a PUT request to the intrapartition data set (DLBL name *dlbname*); VSAM return codes are R15=X'*retcode*', FDBK=X'*fdbkcode*'.

説明: 物理入出力エラーが発生したために、DLBL 名 *dlbname* の区画内データ・セットへの制御インターバルの (再)書き込みが失敗しました。 *retcode* は、レジスター 15 の中の戻りコードで、*fdbkcode* は、要求パラメーター・リスト (RPL) のフィードバック・フィールドの値です。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0363 のシステム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: メッセージ内のコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照してください。

VSAM によって生成された物理エラー・メッセージのコピーが、システム・ダンプ内の (いずれかの) 一時データ VSAM エラー・メッセージ域 (1 つまたは複数) に表示されます。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*、*dlbname*、X'*retcode*'、X'*fdbkcode*'

宛先: コンソール

---

**DFHTD0380** *applid* Illegal attempt to read control interval 0 for the intrapartition data set (DLBL name *dlbname*).

説明: 区画内データ・セット内の制御インターバル 0 は、一時データ管理情報に予約済みです。アプリケーション・プログラム要求のために一時データ処理により決められたとおりにキューのデータを保持するように、残りの制御インターバルが割り振られます。

DLBL 名 *dlbname* の区画内データ・セットの制御インターバル 0 を読み取ろうとする無効な試みが行われました。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0380 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 各区画内 DCTE には、*dlbname* の区画内データ・セットに関連付けられた相対バイト・アドレス (RBA) であるポインターが入っています (キューが空でない場合)。

さらに、(最初のもは別として) 割り振られた各制御インターバルには、キュー制御レコードだけでなく 1 つ以上のユーザー・レコードが入っています。このキュー制御レコード (制御インターバル内の最初のもの) には、キュー用のデータの入った次の制御インターバルのための順方向チェーン・ポインターまたは RBA が入っています。

いずれの場合も、一時データは、RBA が区画内データ・セット内のレコード境界をアドレッシングすると想定しています。

この想定はいくつかの形で違反になる可能性があります。違反のタイプは、次の方法で判断します。

- 区画内データ・セットの制御インターバル印刷
- アクセス方式サービス・プログラムの使用
- システム・ダンプの使用

違反のタイプには次のものがあります。

- THE WRONG INTRAPARTITION DATA SET WAS USED - 間違ったデータ・セットを使用した場合、つまり、この CICS のスタートアップに使用したデータ・セットを前の CICS のスタートアップに使用していなかった場合には、DCTE 内のほとんどの RBA が区画内データ・セット内のレコード境界をアドレッシングしない可能性があります。CICS は再始動できますが、一時データはコールド・スタートする必要があります。
- THE INTRAPARTITION DATA SET WAS ALTERED - レコードを移動した場合 (おそらくデータ・セット圧縮による

り)には、制御インターバル 0 に複数のレコードが含まれ、しかも DCTE 内のほとんどの RBA が区画内データ・セット内のレコード境界をアドレッシングしない可能性があります。CICS は再始動できますが、一時データはコールド・スタートする必要があります。

- A DCTE WAS CORRUPTED - DCTE が破壊された場合には、区画内データ・セット内のレコード境界をアドレッシングしない RBA は、1 つないし 2 つだけである可能性が高くなります。問題のプログラムを識別するために、特殊トラップを必要とする場合があります。

CICS の再始動を行うことができます。一時データの緊急再始動により、RBA はシステム・ログおよび区画内データ・セットから再構築されることとなります。

注：エラーの発生からその検出までの間に活動キーポイントがとられた場合、一時データをコールド・スタートする必要があることがわかることがあります。

- AN I/O BUFFER WAS CORRUPTED - 入出力バッファが破壊された場合には、DCTE 内の RBA の 1 つが入出力バッファ内のレコード境界をアドレッシングしない可能性が高くなります。問題のプログラムを識別するために、特殊トラップを必要とする場合があります。

CICS の再始動を行うことができます。一時データの緊急再始動により、RBA はシステム・ログおよび区画内データ・セットから再構築されることとなります。

注：入出力バッファの内容が、エラーの発生からその検出までの間に区画内データ・セットに書き込まれた場合には、一時データをコールド・スタートする必要があることが分かります。

- A CICS LOGIC ERROR OCCURRED この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注：このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール： サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dlblname*

宛先: コンソール

---

#### DFHTD0381 *applid* Invalid attempt to (re)write control interval 0 for the intrapartition data set (DLBL name *dlblname*).

説明： 区画内データ・セット内の制御インターバル 0 は、一時データ管理情報用に予約済みです。アプリケーション・プログラム要求のために一時データ処理により決められたとおりにキューのデータを保持するように、残りの制御インターバルが割り振られます。

DLBL 名 *dlblname* の区画内データ・セットの制御インターバル 0 を (再)書き込みしようとする無効な試みが行われました。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブル

で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0381 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 を参照してください。

注：このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dlblname*

宛先: コンソール

---

#### DFHTD0382 *applid* The output pointer for queue *qqqq* does not match the contents of the intrapartition data set (DLBL name *dlblname*).

説明： キュー *qqqq* の出力ポインターは、DLBL 名 *dlblname* の区画内データ・セットのレコード境界をアドレッシングしません。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0382 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 を参照してください。

注：このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *qqqq*, *dlblname*

宛先: コンソール

---

#### DFHTD0383 *applid* The input pointer for queue *qqqq* does not match the contents of the intrapartition data set (DLBL name *dlblname*).

説明： キュー *qqqq* の入力ポインターは、DLBL 名 *dlblname* の区画内データ・セットのレコード境界をアドレッシングしません。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0383 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *qqqq*, *dlblname*

宛先: コンソール

**DFHTD0384** *applid* A forward chain pointer for queue *qqqq* does not match the contents of the intrapartition data set (DLBL name *dlblname*).

説明: キュー *qqqq* の順方向チェーン・ポインターは、DLBL 名 *dlblname* の区画内データ・セットに関して無効です。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0384 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *qqqq*, *dlblname*

宛先: コンソール

**DFHTD0385** *applid* Invalid attempt to allocate/deallocate CI 0 for the intrapartition data set (DLBL name *dlblname*).

説明: 区画内データ・セット *dlblname* 内の制御インターバル (CI) 0 は、一時データ管理情報用に予約済みです。アプリケーション・プログラム要求のために一時データ処理により決められたとおりにキューのデータを保持するように、残りの制御インターバルが割り振られます。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0385 のシステム・ダンプがとられます。

これはクリティカル・エラーです。CICS が終了しないようダンプ・テーブル内で指定したとしても、CICS は終了します。ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 のユーザーの処置も参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: サンプル集 DFHTDSUB に含まれているコードからの DFHTDB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dlblname*

宛先: コンソール

**DFHTD1210** *applid* DCT index in error, *xxxx* failed

説明: 操作 *xxxx* (CREATEINDEX、ADD、LOCATE、または GETNEXT) の実行中に、CICS は宛先管理テーブル (DCT) 索引内にエラーを検出しました。このエラーの理由として最も可能性が高いのは、次のいずれかです。

- 記憶保護違反。アプリケーション・プログラムが索引を上書きしました。
  - CICS 論理エラー CICS テーブル・マッピング・プログラム DFHTMP が、索引を正しく作成しませんでした。
- システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出力され、メッセージ DFHSI1522 が出力されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

「CICS Data Areas」は、TMDEL および TMSKT の見出しの部分で DCT 索引項目の形式を示しています。ダンプの中からこれらの項目を探して、無効なデータを見つけてください。こうすることによって、問題が生じた原因が記憶保護違反であるか CICS であるのかを判断することができます。

エラーがストレージ違反であり、トレース機能が活動化されている場合は、DFHTDP による DCT へのアクセスで正常に行われなかったものをトレースから見つけてください。次に、その前に最後に成功したアクセスを見つけてください。これにより、これら 2 つのアクセスの間に実行中であったプログラムに検索範囲が狭まります。それらのプログラムを調べて、ストレージ違反を起こしたエラーを見つけてください。

トレースが活動化されていなかった場合でも、エラーを再現することができる場合には、トレースを活動化し、エラーを再現して、上記の処置をとってください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール

**DFHTD1211** *applid* DCT in error

説明: CICS は、DCT 内に破壊されたデータを検出しました。

CICS 初期設定時に、テーブル管理プログラム (DFHTMP) は、宛先管理テーブル (DCT) への索引リンクを設定しましたが、それは有効な形式に設定されました。

初期設定後に、DCT が、ほぼ間違いなくアプリケーション・プログラムによって上書きされました (記憶保護違反)。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザク

## DFHTD1212 • DFHTD1215

ションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSH1522 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSH1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

トレース機能が活動化されていたと想定して、DFHTDRP による DCT への正常に行われなかったアクセスをトレースから見つけてください。次に、その前に最後に成功したアクセスを見つけてください。これにより、これら 2 つのアクセスの間に実行中であったプログラムに検索範囲が狭まります。

トレースが活動化されていなかった場合でも、エラーを再現することができる場合には、トレースを活動化し、エラーを再現して、上記の処置をとってください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTD1212 *applid* Unrecognizable entry found in the DCT

説明: 初期設定時に、CICS は、宛先管理テーブル (DCT) 内で認識できない項目を見つけました。これは、ロードされた DCT にエラーがあることを意味します - DFHDCT マクロが正しくコーディングされていないか、またはマクロ・アセンブリの出力が破壊されているかのいずれか。

システムの処置: CICS は、認識できない DCT 項目およびそれ以降のすべての DCT 項目を無視して、初期設定を続行します。

ユーザーの処置: CICS がどれだけ多くの DCT 項目を無視したかによって異なりますが、初期設定されたこの CICS の実行では、ほとんどすべての一時データ宛先を使用することができる場合もあれば、限られたわずかな一時データ宛先しか使用できない場合もあります。CICS を終了させるべきか否かを判断しなければなりません。問題を永続的に解決するには、無効な DCT 項目を取り除くか、または置き換えてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTD1213 *applid* Duplicate entry for xxxx found in the DCT

説明: 初期設定時に、CICS は宛先管理テーブル (DCT) 内に宛先 xxxx の重複項目を検出しました。それらの項目は実際に重複しているか、あるいは一方の項目に正しくない宛先名が含まれているかのいずれかです。

システムの処置: CICS は、重複 DCT 項目を無視し、初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 最初に、無視した項目なしで CICS を続行するかどうかを決めてください。その項目が実際の重複項目でなければ、重要な宛先がないまま実行することになる可能性があります。この問題を永続的に解決するには、重複項目を DCT から除去するか、またはその宛先名を訂正してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール

---

### DFHTD1214 *applid* No entry for xxxx found in the DCT

説明: ウォーム・リスタートまたは緊急再始動時に、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) は、宛先 xxxx のカタログまたはリカバリー・レコードを読み取りました。しかし、DCT には宛先 xxxx の項目が入っていません。CICS が異常終了したときに使用されていたものとは異なる DCT を使用している可能性が十分に考えられます。

システムの処置: CICS はそのレコードを無視し、初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 最初に、欠落している一時データ宛先がないまま CICS を続行するかどうかを決めてください。その宛先はリカバリーされず、この実行ではアクセスできません。一番安全な処置は、CICS を取り消し、正しい DCT を使用してさらに緊急再始動を実行することです。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール

---

### DFHTD1215 *applid* Conflicting entry for xxxx found in the DCT

説明: ウォーム・スタート時に、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) は、宛先 xxxx のカタログまたはリカバリー・レコードを読み取りました。しかし、宛先 xxxx の宛先管理テーブル (DCT) 項目が、レコード内の宛先定義と矛盾しています。CICS が終了したときに使用されていたものとは異なる DCT を使用していると考えられます。

システムの処置: CICS はそのレコードを無視し、初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 最初に、無視したレコードなしで CICS を続行するかどうかを決めてください。CICS を続行しない場合には、CICS を取り消し、正しい DCT を使用して再始動してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール



**DFHTD1216** *applid* Loop starting with indirect entry  
xxxx found in the DCT

説明: 初期設定時に、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) は、宛先管理テーブル (DCT) 項目 xxxx で始まる間接ポインタのチェーンに従い、そのチェーンがエンドレスであることを検出しました。

システムの処置: CICS は、項目 xxxx 内の間接ポインタをゼロに設定し、初期設定を続行します。

ユーザーの処置: TYPE=INDIRECT として定義されたすべての DCT 項目を検査してください。間違った項目 (複数の場合もある) を訂正してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール

**DFHTD1220** *applid* Unrecognizable entry found in a  
DCT catalog record

説明: ウォーム・スタート時に、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) は、認識できない項目を含んでいる一時データ・カタログ・レコードを読み取りました。正しくないデータ・セットをスタートアップ・ジョブ・ストリームに指定した可能性があります。

システムの処置: CICS は、ダンプを作成して、異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 説明 (正しくない JCL など) を見つけることができない場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTD1221** *applid* DCT not restored, xxxx failed

説明: ウォーム・スタート時に、操作 xxxx (CONNECT、STARTBROWSE、GETNEXT、ENDBROWSE、または DISCONNECT) を実行している途中で、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) が宛先管理テーブル (DCT) カタログ内でエラーを検出しました。

このエラーの原因として、カタログ・データ・セット内の入出力エラー、または CICS モジュール DFHCCCC 内の論理エラーが考えられます。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSI1522 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセー

ジ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

カタログ・データ・セットの入出力エラーを判別し、これらを訂正してください。カタログ・データ・セットをリストアできない場合、または DFHCCCC に CICS 論理エラーがあるかもしれないと思われる場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール

**DFHTD1222** *applid* Unrecognizable entry found in a  
CSM catalog record

説明: CICS は、CSM (制御インターバル状態マップまたは一時データ・ビットマップ) の DFHRSD カタログ・レコードで認識できない項目を検出しました。前回の CICS シャットダウン時にエラーが起き、CSM の上書きが行われた可能性があります。

システムの処置: CICS は、ダンプを作成して、異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTD1223** *applid* CSM not restored, xxxx failed

説明: 操作 xxxx (CONNECT、STARTBROWSE、GETNEXT、ENDBROWSE、または DISCONNECT) を実行しているときに、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) は、制御インターバル状態マップ (一時データ・ビットマップ) のカタログ・レコードでエラーを検出しました。

このエラーの原因として、カタログ・データ・セット内の入出力エラー、または CICS モジュール DFHCCCC 内の論理エラーが考えられます。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSI1522 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO また

は CANCEL と応答してください。

カタログ・データ・セットの入出力エラーを判別し、これらを訂正してください。カタログ・データ・セットをリストアできない場合、または DFHCCCC に CICS 論理エラーがあるかもしれないと思われる場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール

#### DFHTD1230 *applid* Unrecognizable entry found in a DCT recovery record

説明: CICS は、宛先管理テーブル (DCT) のリカバリー・レコード内で認識できない項目を検出しました。

システムの処置: CICS は、ダンプを作成して、異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHTD1231 *applid* DCT not recovered, *xxxx* failed

説明: 操作 *xxxx* (CONNECT、STARTBROWSE、GETNEXT、ENDBROWSE、または DISCONNECT) を実行しているときに、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) は、DCT のリカバリー・レコード内のエラーを検出しました。

このエラーの原因としては、リカバリー・データ・セット内の入出力エラー、または CICS モジュール DFHRCF 内の論理エラーが考えられます。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSH1522 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSH1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

リカバリー・データ・セットをリストアできない場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xxxx*

宛先: コンソール

#### DFHTD1232 *applid* CSM not recovered, {Forward Chain | Record Offset} in error for *qname*

説明: 区画内一時データ・セット (DFHNTRA) の CI ストレージ・マップをリカバリーしようとしていたとき、順方向チェーンまたはレコード・オフセットのエラーが発生しました。フィールド *qname* には、リカバリーできなかった一時データ・キューの名前が示されます。

このエラーの理由としては、区画内データ・セットのデータが破壊されていること、または区画内データ・セット上の入出力エラーが考えられます。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSH1522 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSH1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

区画内データ・セットをリストアできない場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, {1=Forward Chain, 2=Record Offset}, *qname*

宛先: コンソール

#### DFHTD1260 *applid* No DLBL statement for intrapartition data set *dblname*

説明: DLBL ステートメントが与えられていなかったため、CICS は区画内データ・セット *dblname* をオープンできません。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSH1522 が出されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSH1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

CICS JCL を修正して、区画内データ・セット (DFHNTRA) を定義する DLBL ステートメントを追加してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dblname*

宛先: コンソール

**DFHTD1261** *applid* Intrapartition data set *filename* not defined as VSAM ESDS

説明: 区画内データ・セット *filename* が VSAM ESDS として定義されていないため、CICS はそれをオープンできません。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出力され、メッセージ DFHFS1522 が出力されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFS1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

区画内データ・セットを VSAM ESDS として再作成してから、CICS を再始動してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソール

**DFHTD1262** *applid* Intrapartition data set *filename* not formatted

説明: 区画内データ・セット *filename* が形式設定されていません (それは空です)。一時データがコールド・スタートされるときに、初期形式設定が行われます (必要な場合)。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出力され、メッセージ DFHFS1522 が出力されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFS1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

次の始動時に CICS をコールド・スタートしてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソール

**DFHTD1263** *applid* Invalid control record for Intrapartition data set *filename*

説明: 区画内データ・セット *filename* が区画内一時データ用に初期設定されませんでした。この理由としては、VSAM エクスポートおよびインポートによってデータが破壊されたことが考えられます。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出力され、メッセージ DFHFS1522 が出力されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFS1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

区画内データ・セットを再初期設定してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*

宛先: コンソール

**DFHTD1271** *applid* VSAM error processing SHOWCB for intrapartition data set *filename*, R15=*retcode*

説明: VSAM は、区画内データ・セット *filename* の SHOWCB 処理時にエラーを検出し、VSAM 戻りコード *retcode* を戻しました。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出力され、メッセージ DFHFS1522 が出力されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFS1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

VSAM 戻りコード *retcode* を、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *retcode*

宛先: コンソール

**DFHTD1272** *applid* VSAM error processing OPEN for Intrapartition data set *filename*, R15=*retcode*, RC=*errorcode*

説明: VSAM は、区画内データ・セット *filename* の OPEN 処理時にエラーを検出しました。 *retcode* は VSAM 戻りコードであり、 *errorcode* は VSAM エラー・コードです。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出力され、メッセージ DFHFS1522 が出力されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFS1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

VSAM 戻りコードおよびエラー・コードを、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *retcode*, *errorcode*

宛先: コンソール

**DFHTD1273** *applid* VSAM error processing CLOSE for intrapartition data set *filename*, R15=*retcode*

説明: VSAM は、区画内データ・セット *filename* の CLOSE 処理時にエラーを検出しました。 *retcode* は VSAM 戻りコードです。

## DFHTD1274 • DFHTD1279

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSI1522 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

VSAM 戻りコードを、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *retcode*

宛先: コンソール

---

### DFHTD1274 *applid* VSAM error processing PUT for intrapartition data set *filename*, R15=*retcode*, RC=*errorcode*

説明: VSAM は、区画内データ・セット *filename* の PUT 処理時にエラーを検出しました。 *retcode* は VSAM 戻りコードであり、 *errorcode* は VSAM エラー・コードです。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSI1522 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

VSAM 戻りコードおよびエラー・コードを、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *retcode*, *errorcode*

宛先: コンソール

---

### DFHTD1275 *applid* VSAM error processing GET for intrapartition data set *filename*, R15=*retcode*, RC=*errorcode*

説明: VSAM は、区画内データ・セット *filename* の GET 処理時にエラーを検出しました。 *retcode* は VSAM 戻りコードであり、 *errorcode* は VSAM エラー・コードです。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSI1522 が出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』を参照して、戻りコードとエラー・コードを調べてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *filename*, *retcode*, *errorcode*

宛先: コンソール

---

### DFHTD1278 *applid* An error occurred during initialization of intrapartition queue *queuename* for userid *userid*. ATI for non-terminal transactions has been deactivated for this queue.

説明: 自動トランザクション開始の区画内キューの初期設定中に、一時データの初期設定でユーザー ID *userid* のエラーを検出しました。

指定されたユーザー ID は、一時データ・トリガーによって開始された非端末トランザクション用のこの CICS ジョブによる使用には有効ではありません。

このエラーの原因を示すメッセージが前に出されていることがあります。

システムの処置: 一時データの初期設定は続行されます。

区画内キューが端末なしで定義された場合、キューの自動トランザクション開始が非活動化されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

ユーザー ID が無効である場合は、区画内キューのリソース定義に指定されているユーザー ID を訂正してください。

ユーザー ID が有効である場合は、区画内キューのトリガーによって開始された非端末トランザクションがそれを使用できることを確認してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *queuename*, *userid*

宛先: コンソール

---

### DFHTD1279 *applid* Unexpected response (code X'*response*') and reason (code X'*reason*') from a *dfhxxyyym* call.

説明: モジュール DFHTDRP が、ドメイン *xx* の *dfhxxyyym* 呼び出しの失敗を検出しました。

応答 (コード X'*response*') および理由 (コード X'*reason*') は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xxyy\_response* および *xxyy\_reason*)。

これは CICS 論理エラーによるものである可能性があります。

システムの処置: 一時データの初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: 前に出たメッセージと、ドメイン *xx* により作成されたダンプを参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'response'*, *X'reason'*, *dfhxxyym*

宛先: コンソール

---

**DFHTD1280** *applid* An attempt to establish security has failed for userid *userid*. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: ユーザー ID *userid* のセキュリティを確立しようとしたのですが、この試みは、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により拒否されました。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

## DFHTFxxxx メッセージ

---

**DFHTF0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性を意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。エラーが重要な XM ドメイン・モジュール内で発生した場合、状況によっては、CICS は直ちに終了します。

CICS または外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって、追加の情報を提供するメッセージがさらに作成される場合があります。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *userid*, *X'safresp'*, *X'safreas'*, *X'esmresp'*, *X'esmreas'*

宛先: コンソール

---

**DFHTD1290** *applid* Program DFHTDRP cannot be found.

説明: CICS は、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) にリンクできません。

CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHTDRP を見つけることができません。

システムの処置: 一時データの初期設定は異常終了します。

CICS は初期設定を続行し、取り消されない限り、一時データのサポートなしで実行されます。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHTDRP を入れてください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHTDX

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTFIQ, DFHZSUP, DFHTFRF, DFHTFAL

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHTF0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。エラーがクリティカル・エラーである場合、状況によっては、CICS は直ちに終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要性によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTFIQ, DFHZSUP, DFHTFRF, DFHTFAL

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

## DFHTIxxxx メッセージ

**DFHTI0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *module* 内で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

**344** z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 卷

---

**DFHTF0100** *date time applid nnnn* AIDs canceled for terminal *termid*. *nnnn* AIDs remain.

説明: 端末 *termid* をキューイングしている AID が取り消されました。これは端末が削除されたためか、または SPI あるいは CEMT SET TERMINAL(*termid*) CANCEL コマンドの結果です。この操作の後に残っているすべての AID も、このメッセージに列挙されます。CICS SET TERMINAL のプログラミング情報については、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム・プログラミング解説書」を参照してください。同等の CEMT コマンドについては、「CICS Transaction Server for VSE/ESA CICS 提供のトランザクション」を参照してください。

システムの処置: 端末をキューイングしている AID として表された要求は、システムから除去されました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHALP

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *nnnn*, *termid*, *nnnn*  
宛先: CSMT

---

**DFHTF0101** *date time applid nnnn* AIDs {canceled | force-canceled} for connection *conname*. *nnnn* AIDs remain.

説明: 接続 *conname* をキューイングしている AID が、取り消しまたは強制取り消しされました。これは、接続の再インストールのためか、SPI または CEMT SET CONNECTION(*conname*) CANCEL あるいは FORCECANCEL コマンドの結果です。この操作の後に残っているすべての AID も、このメッセージに列挙されます。システムの処置: 接続をキューイングしている AID として表された要求は、システムから除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHALP

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *nnnn*, {1=canceled, 2=force-canceled}, *conname*, *nnnn*  
宛先: CSMT

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られません。この場合、CICS は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 卷」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for

z/VSE』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTISR、DFHTIDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHTI0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成されます (メッセージ内の *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム管理者に知らせてください。この障害は、CICS 内に重大エラーがあることを示しています。ダンプ・テーブルで終了を要求していなければ、CICS を終了させることもできます。CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTIMF

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHTI0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

ユーザーの処置: CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTISR、DFHTIDM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHTI0005** *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.

説明: モジュール *modname* の実行中にエラーが発生しました。ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定されていない限り、可能なら CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。まず、ストア・クロックを調べて、それが正しく作動しているかどうか確認して

ださい。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS

*Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHTISR、DFHTIDM

XMEOUT パラメーター: *applid*、*modname*、*X'code'*  
宛先: コンソール

## DFHTMxxxx メッセージ

**DFHTM1703** *applid product is being terminated by userid  
userid in transaction tranid[at netname | at  
terminal ]terminal.*

説明: このメッセージは、PERFORM SHUT IMMEDIATE 要求の後で出されます。

システムの処置: 終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*product*、*userid*、*tranid*、{1=  
*at netname*、2= *at terminal* }、*terminal*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHTM1707I** *applid Program DFHWKP cannot be found.  
No warm keypoint taken.*

説明: CICS モジュール DFHWKP を CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも見つけることができないため、CICS はウォーム・キーポイントをとることができません。

システムの処置: CICS は、制御をユーザー・フェーズ 1 PLT プログラムに渡します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTM1709I** *applid About to link to PLT programs.*

説明: DFHSTP が、システム初期設定テーブル内のユーザー PLT プログラムの PLTSD パラメーターにリンクしようとしているところです。

システムの処置: 制御は、ユーザー PLT プログラムに渡されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTM1710I** *applid Control returned from PLT programs.*

説明: 制御が DFHSTP に戻されて、システム初期設定が続行されます。

システムの処置: 制御は DFHSTP に戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTM1711I** *applid About to link to phase 2 PLT  
programs.*

説明: DFHSTP が、PLTSD システム初期設定パラメーターで

定義されたフェーズ 2 PLT プログラムにリンクしようとしています。

システムの処置: CICS は、制御をフェーズ 2 ユーザー PLT プログラムに渡します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTM1712I** *applid Control returned from phase 2 PLT  
programs.*

説明: CICS が制御を DFHSTP に戻して、システム・シャットダウンを続行できるようにします。

システムの処置: CICS は、制御を DFHSTP に戻します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTM1715** *applid product is being quiesced by userid  
userid in transaction tranid[at netname | at  
terminal ]terminal.*

説明: このメッセージは、PERFORM SHUT 要求の後で出されます。

システムの処置: CICS の静止が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*product*、*userid*、*tranid*、{1=  
*at netname*、2= *at terminal* }、*terminal*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHTM1752** *applid PLT - program progname not  
available.*

説明: シャットダウン用に指定したプログラム・リスト・テーブル (PLT) には、プログラム *progname* が入っていますが、次のいずれかが起きたために、CICS がそのプログラムにリンクすることができません。

- プログラムの実行可能コピーがストレージに入れられませんでした。

- プログラムのインストール済み定義が使用不能です。

- プログラムのインストール済み定義はありません。

システムの処置: プログラム *progname* を実行せずに、CICS の終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 次の実行時に、PLT に指定されたそれぞれのプログラムが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに含まれているか検査し、またプログラムが定義されて使用可能にされていることを確認してください。

モジュール: DFHSTP



XMEOUT パラメーター: *applid*、*progrname*  
宛先: コンソール

---

**DFHTM1780** *applid* Abend has occurred while processing program *progrname* during termination, code=*abcode*.

説明: シャットダウン用のプログラム・リスト・テーブル (PLT) に指定されたプログラム *progrname* が異常終了しました。 *abcode* は CICS トランザクション異常終了コードです。システムの処置: 制御は、PLT に指定された次のプログラムに渡され、調査できるよう CICS ダンプが提供されます。ユーザーの処置: エラーについての詳細は、CICS トランザクション異常終了コードを 557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。プログラム *progrname* の訂正を試みてください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*、*progrname*、*abcode*  
宛先: コンソール

---

**DFHTM1781** *applid* CICS shutdown cannot complete because some non-system user tasks have not terminated.

説明: このメッセージは、CICS セッションのシャットダウン時に出され、1 つ以上の CICS タスクがまだ活動状態にあるため CICS の正常な終了は妨げられていることを示します。システムの処置: CICS シャットダウンは、アクティブ・タスク (1 つまたは複数) が正常に終了するまで待機します。ユーザーの処置: どの CICS タスクがまだ実行中であるかを、例えば、CEMT INQUIRE TASK コマンドを使用して判別し、それらを終了させるために必要なステップを実行してください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHTM1782I** *applid* All non-system tasks have been successfully terminated.

説明: このメッセージは、以前に終了を妨げたすべてのアクティブ・タスクをユーザーが正常に終了させた後、CICS セッションのシャットダウン時に出されます。

システムの処置: CICS のシャットダウンは正常に続行されません。

ユーザーの処置: なし。

---

## DFHTOxxxx メッセージ

---

**DFHTO6000E** *date time applid* The definition for TERMINAL *termdef* refers to an undefined TYPETERM *termtype*.

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は存在しない TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照している

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHTM1783** *applid* CICS shutdown cannot complete because a system task which prevents normal shutdown has not terminated.

説明: このメッセージは、CICS セッションのシャットダウン時に出され、CICS システム・トランザクション CLS1 がまだ活動状態にあるため、CICS の正常な終了が妨げられていることを示します。

システムの処置: CICS シャットダウンは、アクティブ・タスクが正常に終了されるまで待機します。

ユーザーの処置: CLS1 トランザクションを遅らせているもの (例えば他の CICS ジョブや停止したシステムなど) を判別し、その状態を解決するために必要な処置をとってください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHTM1797** *applid* System termination program has abended.

説明: CICS の終了処理を行っているときに、CICS システム終了プログラム (DFHSTP) が異常終了しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: DFHSTP が終了した理由を調べてください。問題が解決できない場合は、IBM の支援が必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHTM1798** *applid* Requested dump in progress.

説明: このメッセージは、CICS の終了時に、要求されたダンプが開始される前に出されます。

システムの処置: CICS がシステム・ダンプを作成し、シャットダウンが続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

TERMINAL 定義 (*termdef*) を検出しました。

システムの処置: TERMINAL はインストールされません。

ユーザーの処置: TERMINAL 定義を訂正するか、または上記の TYPETERM を定義してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*termdef*、*termtype*  
宛先: CSMT

---

**DFHTO6001E** *date time applid* **The definition for pooled TERMINAL termdef refers to an undefined TYPETERM termtype.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、存在しない TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照している TERMINAL 定義 (*termdef*) を検出しました。  
 システムの処置: TERMINAL はインストールされません。  
 ユーザーの処置: TERMINAL 定義を訂正するか、または上記の TYPETERM を定義してください。  
 モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termdef, termtype*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTO6002E** *date time applid* **The definition for SESSIONS sesdef refers to an undefined CONNECTION condef.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、存在しない CONNECTION 定義 (*condef*) を参照している SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しました。  
 システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。  
 ユーザーの処置: SESSIONS 定義を訂正するか、または上記の CONNECTION を定義してください。  
 モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sesdef, condef*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTO6003E** *date time applid* **TERMINAL termdef specifies CONSNAM but refers to TYPETERM termtype which does not specify DEVICE=CONSOLE.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、CONSNAM=*name* と一緒に指定された TERMINAL 定義 *termdef* が DEVICE=CONSOLE の指定なしの TYPETERM 定義 *termtype* を参照していることを検出しました。  
 システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)  
 ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。  
 モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termdef, termtype*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTO6004E** *date time applid* **TERMINAL termdef does not specify CONSNAM but refers to TYPETERM termtype which specifies DEVICE=CONSOLE.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、

CONSNAM の指定されていない TERMINAL 定義 (*termdef*) が、DEVICE=CONSOLE の指定されている TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照していることを検出しました。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termdef, termtype*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTO6005E** *date time applid* **PRINTER or ALTPRINTER for TERMINAL termdef is invalid for the DEVICE specified in TYPETERM termtype.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、PRINTER または ALTPRINTER (あるいはその両方) の指定されている TERMINAL 定義 (*termdef*) が 3270、3275、3270P、LUTYPE2、または LUTYPE3 のいずれの DEVICE も指定していない TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照していることを検出しました。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termdef, termtype*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTO6006E** *date time applid* **PRINTERCOPY or ALTPRINTCOPY for TERMINAL termdef is invalid for the DEVICE specified in TYPETERM termtype.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、互換性のない TERMINAL および TYPETERM 定義を検出しました。この TERMINAL 定義 *termdef* は、PRINTERCOPY または ALTPRINTCOPY (あるいはその両方) を指定しましたが、LUTYPE2 または LUTYPE3 装置を指定した TYPETERM 定義 *termtype* を参照しています。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termdef, termtype*  
 宛先: CSMT

---

---

**DFHTO6007E** *date time applid* **AUTINSTMODEL YES|ONLY for TERMINAL termdef is invalid for the DEVICE specified in TYPETERM termtype.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、AUTINSTMODEL=[YES|ONLY] を指定した TERMINAL 定義 (*termdef*) を検出しましたが、これは、DEVICE=3614|TLX|TWX を指定した TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照しているか、または PIPELINE 端末でした。システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができません。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termdef, termtype*  
宛先: CSMT

---

**DFHTO6009E** *date time applid* **The definition for SESSIONs sesdef refers to CONNECTION condef which specifies a different PROTOCOL.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しましたが、これは、異なる PROTOCOL を指定した CONNECTION 定義 (*condef*) を参照していました。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。ユーザーの処置: SESSIONS または CONNECTION 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sesdef, condef*  
宛先: CSMT

---

**DFHTO6010E** *date time applid* **The definition for SESSIONs sesdef must specify PROTOCOL LU61 as it refers to an MRO CONNECTION condef.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、LU61 の指定されていない SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しましたが、この定義が ACCESSMETHOD=IRC (MRO) を指定した CONNECTION 定義 (*condef*) を参照していました。システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。ユーザーの処置: SESSIONS または CONNECTION 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sesdef, condef*  
宛先: CSMT

---

**DFHTO6011E** *date time applid* **SESSIONs sesdef must specify both SENDCOUNT and RECEIVECOUNT as it refers to an MRO CONNECTION condef.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしようとしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、SENDCOUNT=0 または RECEIVECOUNT=0 のいずれかを指定した SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しましたが、この定義は、ACCESSMETHOD=IRC (MRO) を指定した CONNECTION 定義 (*condef*) を参照していました。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。ユーザーの処置: SESSIONS または CONNECTION 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sesdef, condef*  
宛先: CSMT

---

**DFHTO6012** *date time applid* **The CICS global catalog dataset is not available. RDO function is restricted.**

説明: コールド (COLD) スタートのための初期設定時に、CICS はグローバル・カタログ・データ・セット (DFHGCD) を見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS の処理は続行されるものの、RDO 機能に対して次のような制約が生じます。

- TYPETERM 定義は、これを参照する TERMINAL 定義と同一グループ内になければなりません。
- MODEL 定義を保管することができないため、AUTOINSTALL は使用できません。

ユーザーの処置: これ以降の CICS の実行で RDO 機能に対する上記の制約をなくしたい場合には、グローバル・カタログ・データ・セットを作成し、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの DFHGCD DLBL ステートメントを使用して CICS がそれを使用できるようにしてください。

モジュール: DFHTORP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*  
宛先: CSMT

---

**DFHTO6013E** *date time applid* **No SESSIONs definition refers to CONNECTION condef.**

説明: 初期設定の時の GRPLIST のインストール時、GROUP の CEDA INSTALL の実行時、あるいは CEDA CHECK コマンドまたは EXEC CICS CREATE コマンドの実行時に、有効な SESSIONS 定義のない CONNECTION 定義が検出されました。これは INDIRECT または REMOTE 接続関係の場合にだけ有効です。

システムの処置: CONNECTION はインストールされません。

失敗の原因が 1 つ以上の無効な SESSIONS 定義である場合は、CICS は正しくない定義を識別する別のメッセージを出します。原因が SESSIONS 定義がないことによる場合は、これが唯一のメッセージになります。

ユーザーの処置: 状況に応じて CONNECTION 定義を訂正するか、SESSIONS 定義を作成するか、あるいは既存の

SESSIONS 定義 (複数の場合も) を訂正してください。  
モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, condef*  
宛先: CSMT

**DFHTO6014E** *date time applid* **POOL is required for  
TERMINAL *termdef* as it refers to  
TYPETERM *typedef* which specifies  
SESSIONTYPE=PIPELINE.**

説明: 端末のインストールが試みられました。その端末の TYPETERM は SESSIONTYPE=PIPELINE を指定していたが、その端末定義は POOL を指定していませんでした。  
システムの処置: CICS 初期設定は続行されますが、TERMINAL *termdef* はインストールされません。  
ユーザーの処置: TERMINAL 定義または TYPETERM 定義を訂正してください。  
モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termdef, typedef*  
宛先: CSMT

**DFHTO6015E** *date time applid* **TRANSACTION for  
TERMINAL *termdef* is invalid for the  
DEVICE specified in TYPETERM *typedef*.**

説明: TRANSACTION を指定した TERMINAL 定義をインストールしようとしたが、その定義は装置 APPC を指定する TYPETERM を参照していました。  
システムの処置: CICS 初期設定は続行されますが、TERMINAL *termdef* はインストールされません。  
ユーザーの処置: TERMINAL 定義または TYPETERM 定義を訂正してください。  
モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termdef, typedef*  
宛先: CSMT

**DFHTO6016E** *date time applid* **The MRO CONNECTION  
condef is referenced by more than one  
SESSIONs definition, including *sesdef*.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、ACCESSMETHOD=IRC を指定した CONNECTION 定義 *condef* を検出しましたが、それはこの定義が MRO 接続であることを意味しています。この CONNECTION は複数の SESSIONS 定義によって参照され、そのうちの 1 つが *sesdef* でした。MRO 接続を持つ (MRO 接続を参照する) SESSIONS 定義は 1 つだけです。この CONNECTION を参照する他の SESSION 定義名は、このメッセージが次に出力されたときにその中にリストされます。  
システムの処置: CONNECTION 定義はインストールされません。  
ユーザーの処置: CONNECTION 定義または SESSIONS 定義を訂正してください。  
モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, condef, sesdef*  
宛先: CSMT

**DFHTO6017E** *date time applid* **REMOTESYSTEM for  
TERMINAL '*termid*' is invalid for the  
DEVICE specified in TYPETERM '*typeterm*'.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS はリモートとして定義されている CONSOLE を検出しました。これは無効なオプションです。  
システムの処置: CONSOLE はインストールされません。  
ユーザーの処置: リモートとして定義された CONSOLE を訂正してください。  
モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, typeterm*  
宛先: CSMT

**DFHTO6018E** *date time applid* **TERMINAL '*termid*' refers to  
TYPETERM '*typeterm*' which has an invalid  
ALTSCREEN.**

説明: TYPETERM 定義は、無効な ALTSCREEN を含んでいます。ALTSCREEN には、2 つのコンポーネント、すなわち幅および高さがあります。これらのコンポーネントの 1 つはゼロで、もう 1 つは非ゼロです。この組み合わせは無効です。初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、TERMINAL 定義にこの問題があるのを検出しました。  
システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。  
ユーザーの処置: 参照されている TYPETERM を訂正するか、または TERMINAL 定義内で別の TYPETERM を参照してください。有効な ALTSCREEN 値についての詳細は、「CICS Resource Definition Guide」を参照してください。  
モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, typeterm*  
宛先: CSMT

**DFHTO6019E** *date time applid* **User *userid* is not authorized  
to install TERMINAL *tttt* with preset  
security.**

説明: ユーザー *userid* が端末 *tttt* をインストールしようとしたが、ユーザー ID の権限が不足していました。これは、TERMINAL が事前設定セキュリティを備えているためです (TERMINAL *tttt* の定義が USERID 値を指定しています)。事前設定セキュリティを持つリソースをインストールするには、特殊な許可を必要とします。  
システムの処置: リソース・セキュリティ違反メッセージが、CSCS 一時データ・キューならびにシステム・コンソールに記録されます。リソースはインストールされません。CICS を続行します。  
ユーザーの処置: このリソースをインストールするには、次のいずれかを行ってください。

- CESN トランザクションを使用して、事前設定セキュリティを持つ端末をインストールすることを許可されているユーザー ID でサインオンする。
- ユーザー *userid* に対して、事前設定セキュリティを持つ端末をインストールする許可を与えるようにセキュリティ管理者に依頼する。
- リソース定義から USERID 指定を除去して、事前設定セキュリティを持たないリソースをインストールする。

モジュール: DFHTOATM

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, userid, tttt*

宛先: CSMT

---

**DFHTO6020E** *date time applid* SESSIONS *sesdef* refers to single-session CONNECTION *condef* but has an invalid MAXIMUM option specified.

説明: *condef* は単一セッションとして定義されているので、SESSIONS 定義 *sesdef* の MAXIMUM オプションに指定された値は、CONNECTION 定義 *condef* と互換性がありません。このことは、初期設定での GRPLIST のインストール時、GROUP の CEDA INSTALL 時やまたは CHECK コマンドを出した後、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドの間に、*sesdef* が *condef* を参照したときに検出されました。

SESSION 定義が単一セッション CONNECTION 定義を参照している場合には、MAXIMUM オプションの値は (1,0) でなければなりません。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには 2 つの方法があります。

- CEDA あるいは CSD パッチ更新ユーティリティー DFHCS DUP のいずれかを使用して、MAXIMUM(1,0) と指定して SESSIONS 定義を訂正する。
- 単一セッションではなくなるように、SINGLESESS=NO を指定して CONNECTION 定義を再定義する。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sesdef, condef*

宛先: CSMT

---

**DFHTO6025E** *date time applid* The definition for LU6.1 SESSIONS *sesdef* specifies a send or receive count with no prefix.

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、送信接頭部なしの送信カウントまたは受信接頭部なしの受信カウントを指定している LU6.1 SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しました。LU6.1 には、必ず接頭部を指定しなければなりません。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: メッセージに示されている定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sesdef*

宛先: CSMT

## DFHTPxxxx メッセージ

---

**DFHTP4101** Cannot reset from temporary paging to autopaging.

説明: ある端末が、その状況を一時ページング状況から自動ページング状況へリセットするよう要求しました。しかし、その端末はページング端末として定義されているか、またはこのメッセージに、オペレーターが除去する必要があることを示すマークが付けられています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末が除去端末として定義されている場合には、マスター端末プログラムを使用して、端末の状況を変更してください。

メッセージに上記のようなマークが付けられている場合には、オペレーターはこのメッセージを除去する必要があります。そうすれば、システムは自動的に状況を自動ページングにリセットします。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4103** Attempting to PURGE, COPY or CHAIN, but no pages are currently connected to this terminal.

説明: 現在、この端末に対して生成されたタスクはありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4104** A paging request was received but there are no pages for display.

説明: CICS ページング・コマンド (CSPG) またはページング要求がトランザクション状況の端末から入力されましたが、その端末で表示すべきページがありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4102** *nmmn* messages are queued for immediate delivery.

説明: オペレーターは、*nmmn* 個のメッセージをページ検索コマンド・キューを介して送達するように要求しました。

システムの処置: このオペレーターまたは端末についてキューイングされているメッセージのカウントが表示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

---

**DFHTP4105** The specified message is not recognized.

説明: 端末オペレーターは、メッセージ ID を用いて特定のメッセージ (現在もしくは次に使用可能メッセージ以外) を検索または除去しようとしていました。指定したメッセージが存在しな

いか、またはこの端末を宛先とするものではありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4106 You are not allowed to RETRIEVE or PURGE this message.**

説明: 端末オペレーターは、メッセージ ID を用いて特定のメッセージ (現在もしくは次に使用可能メッセージ以外) を検索または除去しようとしていました。指定されたメッセージは、このオペレーター ID を宛先としていません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4107 Chain value chain is less than 1 or greater than the level of chaining allowed.**

説明: ページ検索コマンドによって指示されたチェーンの値 *chain* が 1 よりも小さいか、またはその端末でのチェーンのレベルよりも大きくなっています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4108 Requested page pageno does not exist (it is less than 1 or more than the number of pages in the message).**

説明: ページ検索コマンドによって指示されたページ *pageno* が 1 よりも小さいか、またはメッセージのページ数よりも大きくなっています。これは、例えば、最初のページの後に前のページを要求したり、最後のページの後に次のページを要求することによって起こります。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: ページング・セッションは、有効なページ値を使用して続行することができます。表示された最後の有効なページが、そのまま現行ページとなります。例えば、表示されている最後の有効ページを呼び戻すためには、現在のページを取得するために用いるページ検索コマンドを使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4109 The requested command command was not recognized. Check that you have the correct value.**

説明: トランザクション CSPG が端末から入力されましたが、その後続くものはページング・コマンドとして識別できません。 *command* は、CSPG の後に続く最初の 4 個の非ブランク文字を表します。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4110 function is not valid. Page RETRIEVE function must be A, C, L, N, P, Q, or a number.**

説明: *function* によって表されているページ検索機能が、A、C、L、N、P、Q、または、前に + (正符号) か - (負符号) の付く数値のいずれかになっていません。

関数 意味

**A** その端末を宛先とし、その端末に表示されているすべての論理メッセージ

**C** 現行 (レベル) の論理メッセージ

**L** 最後のページ

**N** 次のページ

**P** 前のページ

**Q** この端末を宛先とするすべての論理メッセージの ID を表示 (照会) します。メッセージのセキュリティが行われている場合には、その ID が表示されるのは、サインオンが行われたオペレーターに関するオペレーター ID およびクラスが、メッセージの中のオペレーター ID およびクラスと一致したときだけです。ID は、1 から 6 桁の 16 進数から成っており、任意にメッセージの表題も含まれています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なページ検索機能を使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4111 function is not valid. Page PURGE function must be A, B, C, H, or R.**

説明: *function* によって表されているページ除去機能が、A、B、C、H、または R のいずれかになっていません。関数は次の意味を持ちます。

関数 意味

**A** その端末を宛先とし、その端末に表示されているすべての論理メッセージ

**B** その端末に表示されている論理メッセージ、およびその論理メッセージに連鎖されたすべての論理メッセージ

**C** 現行 (レベル) の論理メッセージ

**H** その端末に表示されている基本論理メッセージに連鎖されたすべての論理メッセージ

**R** 端末への即時送達 (経路指定) のためにキューイングされているすべての論理メッセージ

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なページ除去機能を使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4112 The terminal identifier termid is unknown or is not supported.**

説明: *termid* で示されている端末 ID が存在しないか、または、基本マッピング・サポート (BMS) ではサポートされていません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効な端末 ID を使用してください。

モジュール: DFHTPR  
宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4113** *date time applid msgno termtype pageno I/O*  
**error on MCR or Page (MODULE NAME:**  
*modname).*

説明: メッセージ制御レコード (MCR) またはメッセージのページを検索しようとしているときに、一時ストレージ入出力エラーが起きました。 *msgno* は、メッセージ番号を 16 進数で表したものです。 *termtype* は、端末タイプです。 *pageno* は、MCR についてエラーが起こったのであればゼロとなり、それ以外の場合はページ番号となります。示されているメッセージまたはページは、この端末と他の端末のいずれかまたは両方から失われている可能性があります。

システムの処置: ページが自動ページング端末で表示されている場合には、次のページがあれば、それが表示されます。次のページがなければ、処置は行われません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, msgno, termtype, pageno, modname*  
宛先: CSMT

---

**DFHTP4114** **You must purge messages from the terminal before issuing a new transaction.**

説明: メッセージが端末に表示されているときに、オペレーターがページング・コマンドで古いデータを入力しました。そのデータは、エラーがあるか、または新しいトランザクションを開始するためのものかのいずれかでした。しかし、端末上のメッセージの少なくとも 1 つに、新しいトランザクションを開始する前にオペレーターが特別にそのメッセージを除去しなければならぬというマークが付いています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: この端末 (T/A) に表示されているすべてのメッセージを除去するか、またはチェーン・コマンドを使用して希望するトランザクションをチェーニングさせてください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4115** **You must purge the message from your terminal to continue.**

説明: トランザクションが端末にページを表示しています。このトランザクションを続けるためには、オペレーターはこのメッセージを除去しなければなりません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 現行メッセージ (T/C) を除去してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4116** **Your message request cannot be done while another message is being displayed.**

説明: メッセージが表示されているときに、オペレーターが、別の特定のメッセージ (例えば P/1,xxx) に対する要求を入力したか、または表示されるのを待っているメッセージ (P/Q) のメッセージ ID を要求しました。CICS は、他のメッセージが表示されている間は、この要求を処理することができません。xxx は、表示されるのを待っているメッセージのうちの 1 つのメッセージ ID です。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要であれば、端末にメッセージが表示されていないときに要求を入力し直してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4117** **Purge display % after viewing.**

説明: 3270 のオペレーターが、表示されるのを待っているメッセージ ID の表示を要求しました。これに対する応答は、一時ストレージに保管される 1 ページまたは複数ページとして構成されるので、他のページ・メッセージと同様にそれを表示することができます。% はページ番号標識です。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 見終わったら、メッセージを除去してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4118** **An ID error occurred while retrieving a Message Control Record (MCR) or Message Page. Message bmsid, terminal type termtype, page pageno.**

説明: CICS は、ID エラーが出されたときに、一時ストレージからメッセージのページ *pageno* を検索しようとしていました。

あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、ID エラーが出されたときにメッセージ制御レコード (MCR) の検索を試みていた可能性があります。この原因としては、メッセージがスケジュールまたは保管された後に一時ストレージがコールド・スタートされていたことが考えられます。そうでない場合は、メッセージはすでに除去されています。

挿入部 *bmsid* は BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。挿入部 *termtype* は、端末タイプを識別します。

システムの処置: メッセージまたはページが脱落している可能性があります。その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4119 An invalid request on Message Control Record (MCR) or Page Retrieval has occurred. Message *bmsid*, terminal type *termtype*, page *pageno*.**

説明: 一時ストレージ無効要求エラーが起きたとき、CICS はメッセージのページ *pageno* の保管または検索を試みていました。あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、一時ストレージ無効エラーが出されたときに、メッセージ制御レコード (MCR) の保管または検索を試みていた可能性があります。

メッセージまたはページが脱落している可能性があります。原因としては、一時ストレージがロードされていなかったことが考えられます。*bmsid* は、BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。*termtype* は端末タイプです。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・プログラムがロードされていることを確かめてください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4120 Unable to interpret input. Please try again.**

説明: オペレーターが、解釈できないデータを入力しました。

システムの処置: 入力は無視されます。

ユーザーの処置: 入力が既存の条件のもとで有効であることを確認してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4121 An I/O error occurred while retrieving a message control record or message page. Message *bmsid*, terminal type *termtype*, page *pageno*.**

説明: 一時ストレージ入出力エラーが起きたとき、CICS は、メッセージのページ *pageno* を検索しようとしていました。あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、一時ストレージ入出力エラーが発生したときに、メッセージ制御レコード (MCR) の保管または検索を試みていた可能性があります。

メッセージまたはページが脱落している可能性があります。*bmsid* は、BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。*termtype* は端末タイプです。

システムの処置: ページが自動ページング端末で表示されている場合には、次のページがあれば、それが表示されます。次のページがなければ、処置は行われません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4122 Requested purge completed successfully.**

説明: CICS は、その端末から要求されたページ除去機能を完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4123 Terminal is now Autopaging.**

説明: 端末オペレーターは、一時的にページング状況にある端末を自動ページング状況にリセットすることを CICS に要求しました。

システムの処置: そのメッセージ内の残りのページが表示されます。残されたページがなく、自動的に除去することができる場合は、そのメッセージは除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4124 Page copied from terminal *termid* (Message number *msgno*).**

説明: このメッセージは、表示されるのを待っているメッセージ (P/Q) の表示の中に現れ、複写されたページを識別します。*msgno* は複写されたページのメッセージ番号であり、*termid* は、そのメッセージがキューイングされている端末です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4126 *msgno* has been copied.**

説明: このメッセージは、別の端末へコピーする要求に対する応答として出されます。*msgno* は、表示されているメッセージのメッセージ番号です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4127 *nnnn* must be a number. Please try again.**

説明: 文字 *nnnn* は無効です。システムは、ページまたはチェーン番号には 10 進数、メッセージ番号には 16 進数を予期していました。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: ページング・コマンドを再入力してください。有効な番号を使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

---



**DFHTP4128** *command is undefined for page retrieval.*

説明: オペレーターは、ページ検索 (PR) セッションが開始された後に PA または PF キーを押しましたが、そのキーについては、PR コマンドが SIT の中に定義されていませんでした。

システムの処置: コマンドは無視されます。表示状況ビットは変更されません。

ユーザーの処置: 問題の PR コマンドが、SIT に定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4130** *You have used an unrecognized logical device. The valid names are xxx,yyy.*

説明: 無効な論理装置簡略記号を含んでいるページング・コマンドが入力されました。xxx,yyy,... は、要求された論理メッセージのための有効な論理装置簡略記号を示しています。

システムの処置: 入力は廃棄され、他の処理が続行されます。

ユーザーの処置: メッセージにリストされているものから論理装置簡略記号を選択し、ページング・コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4131** *Requested page cannot be copied to that terminal.*

説明: オペレーターが、外部形式を参照するページを端末にコピーしようとしたのですが、

- 外部形式をサポートしない端末、または
- 外部形式をサポートしてはいるが、複写元の端末とページ幅が異なるかそれよりもページの行数の少ない端末

システムの処置: ページング要求は無視されます。

ユーザーの処置: 次のいずれかが該当する方の処置を実行してください。

- 問題のページを、外部形式の設定をサポートする端末へコピーする。
- 参照されている形式を非外部形式にする。
- 問題のページを、外部形式の設定をサポートし、コピー元の端末と同じページ・サイズの端末へコピーする。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4132** *No pages have been built for this partition.*

説明: これは、ページ検索セッション時に出される通知メッセージです。このメッセージは、ページが作成されていない画面の区画に現れます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 影響を受けた区画で表示が予期されていないかぎり、処置は不要です。表示が予期されている場合には、オペレーターまたはアプリケーションのエラーがないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4133** *date time applid bmsid termtype pageno ID error on MCR or page.*

説明: CICS は、ID エラーを受け取ったときに、メッセージのページ *pageno* を検索しようとしていました。あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、ID エラーを受け取ったときに、メッセージ制御レコード (MCR) の検索を試みている可能性があります。メッセージまたはページが脱落している可能性があります。

この原因としては、メッセージがスケジュールまたは保管された後に一時ストレージがコールド・スタートされたか、あるいはメッセージがすでに除去されていたことが考えられます。

*bmsid* は、BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。 *termtype* は端末タイプです。システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, bmsid, termtype, pageno*

宛先: CSMT

**DFHTP4134** *date time applid bmsid termtype pageno Invalid request on MCR or page.*

説明: CICS は、一時ストレージ無効要求エラーが発生したときに、メッセージのページ *pageno* の保管または検索を試みしていました。あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、一時ストレージ無効要求エラーを受け取ったときに、メッセージ制御レコード (MCR) の保管または検索を試みている可能性があります。メッセージまたはページが脱落している可能性があります。

原因としては、一時ストレージがロードされていなかったことが考えられます。

*bmsid* は、BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。 *termtype* は端末タイプです。システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・プログラムがロードされていることを確かめてください。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, bmsid, termtype, pageno*

宛先: CSMT

**DFHTP4150** *date time applid ID error on MCR.*

説明: 遅延送達メッセージの処理時に、一時ストレージ識別エラーが起きました。このメッセージは、すべての宛先端末について失われます。おそらく、メッセージが最初にスケジュールされていた後で、一時ストレージがコールド・スタートされたと考えられます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

**DFHTP4151** *date time applid I/O error on MCR.*

説明: 遅延送達メッセージの処理時に、一時ストレージ入出力エラーが起きました。このメッセージは、すべての宛先端末について失われます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

**DFHTP4152** *date time applid Invalid request on MCR.*

説明: 遅延送達メッセージの処理時に、一時ストレージ無効要求エラーが起きました。このメッセージは、すべての宛先端末について失われます。システムが一時ストレージなしで初期設定されたものと考えられます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: システムが一時ストレージありで初期設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

**DFHTP4160** *date time applid Message msgno purged as undeliverable from nnnn terminal(s).*

説明: *msgno* の番号をもつメッセージが端末で表示されるのを待っていました。しかし、これらの端末の *nnnn* 台は使用されていないために、そのメッセージを表示することができません。このメッセージは、マスター端末オペレーターに送られます。

システムの処置: システム・パフォーマンスの低下を避けるために、インストール・システムで定めた時間よりも長い間待っているメッセージは除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, msgno, nnnn*

宛先: CSMT

**DFHTP4161** *Message msgno was not delivered. It was purged from terminal(s) termid. Message title was title.*

説明: *msgno* の番号を持つメッセージは、システムが定義した時間制限内に送達されなかったために、除去されました。

*title* はメッセージ *msgno* の表題ですが、これはそのメッセージに表題がある場合に限り表示されます。*termid* は、メッセージが除去された端末です。

システムの処置: メッセージはシステムから除去されます。

メッセージを引き渡す試みはこれ以上行われません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPQ

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHTP4162** *date time applid nnnn BMS system messages purged as undeliverable from error notification terminal.*

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) のシステム・メッセージ (例えば、DFHTP4161) がエラー通知端末で表示されるのを待っていました。しかし、その端末の状況がメッセージの状況と一致していないか、または通信量が過剰な状態であったために、メッセージを表示することができません。

*nnnn* は除去された BMS システム・メッセージの数であり、*termid* はエラー通知端末の ID です。

システムの処置: システムのパフォーマンスに影響が及ばないようにするために、設置場所で指定された時間よりも長く待っているメッセージは除去されます。

ユーザーの処置: メッセージを表示できるように端末の状況を変更するか、または CICS システム初期設定時に除去遅延時間を延長してください。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, nnnn*

宛先: CSMT

**DFHTP4164** *date time applid termid cannot accept message DFHTP4161. It is undefined or does not support paging.*

説明: *termid* は、メッセージを送達することができなかった場合に通知を受け取るように指定された端末の ID です。しかし、この *termid* が、現在、TCT の中に存在していないか、または BMS がサポートする端末として定義されていません。

このメッセージに続いて、エラー通知を含むメッセージ DFHTP4161 が出されます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージに続いて出されるメッセージ DFHTP4161 の内容を端末 *termid* に知らせてください。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

宛先: CSMT

**DFHTP4165** *Undeliverable messages are being purged. The terminal is available for use.*

説明: このメッセージは、宛先 CSMT に送られます。また、トランザクション CSPQ が親端末から開始された場合には、その端末にも送られます。プログラム DFHTPQ が、配信不能と考えられるすべてのメッセージを除去するために、時間指定で開始されています。

システムの処置: 非端末タスクが開始され、配信不能なメッセージは除去されます。

ユーザーの処置: なし。端末が使用可能であることを示すために、このメッセージがその端末に表示されます。

モジュール: DFHTPQ

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHTP4166** *date time applid* **BMS has received an error return code *retcode* from CICS macro {TS PURGE | BMS TEXTBLD | BMS PAGEOUT | TS PUT}.**

説明: BMS は、CICS システム・マクロ要求を出した後、エラー戻りコードを受け取りました。 *retcode* は戻りコードであり、*macro* はマクロ要求です。  
 システムの処置: 通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「[CICS Problem Determination Guide]」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHTPQ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, retcode, {1=TS PURGE, 2=BMS TEXTBLD, 3=BMS PAGEOUT, 4=TS PUT}*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTP4170** *date time applid* **Request from system *sysid* to route message number *msgno* to terminal *termid* was not executed.**

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。その要求を実行できませんでした。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: 2 つのシステムの TCT が矛盾していないことを確認してください。  
 モジュール: DFHTPS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, msgno, termid*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTP4171** *date time applid* **Request from system *sysid* to route message number *msgno* to terminal *termid* was not executed. Terminal not valid.**

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。このシステムで端末 *termid* が定義されていないため、要求を実行できませんでした。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: 2 つのシステムの TCT が矛盾していないことを確認してください。  
 モジュール: DFHTPS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, msgno, termid*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTP4172** *date time applid* **Request from system *sysid* to route message number *msgno* to terminal *termid* was not executed. Terminal not supported by BMS.**

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。端末

*termid* は BMS でサポートされないタイプであるため、その要求を実行することができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの TCT が矛盾していないことを確認してください。

モジュール: DFHTPS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, msgno, termid*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTP4173** *date time applid* **Request from system *sysid* to route message number *msgno* to terminal *termid* was not executed. Invalid LDC specified.**

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。LDC の指定が無効であったため、要求を実行することができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの TCT が矛盾していないことを確認してください。

モジュール: DFHTPS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, msgno, termid*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTP4174** *date time applid* **Message routing has failed for terminal *termid*. The *termid* was invalid or could not be located.**

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。この要求は、端末 *termid* が無効であるか、または検出できないために、実行することができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの TCT が矛盾していないことを確認してください。

モジュール: DFHTPS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid*  
 宛先: CSMT

---

**DFHTP4180** *date time applid* **Terminal *termid* specified as error terminal for message *msgno* from system *sysid* invalid and ignored.**

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を指定する要求で、メッセージが送達されなかった場合には端末 *termid* へ通知することを指定した要求を、システム *sysid* から受け取りました。端末 *termid* は端末管理テーブルの中で定義されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの TCT が矛盾していないことを確認してください。

モジュール: DFHTPS

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *termid*, *msgno*, *sysid*

宛先: CSMT

---

**DFHTP4190** Please enter your data again in the partition containing the cursor.

説明: 端末オペレーターは、予定された入力区画以外の区画からデータを入力しました。 予期された入力区画が活動化されま

した (つまり、その区画にカーソルが移動しました)。 端末オペレーターはその区画でデータを入力し直す必要があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末オペレーターが正しい区画にデータを入力するのを確認してください。

モジュール: DFHPHP

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

## DFHTRxxxx メッセージ

**DFHTR0001** *applid* An abend (code *abcode*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *abcode* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。 VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。 VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。 1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』で調べてください。

次に、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTRSR, DFHTRPT, DFHTRDM, DFHTRFT

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *abcode*, *X'offset'*, *modname*

宛先: コンソール

---

**DFHTR0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

CICS 例外トレース項目の詳細については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (コード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

このメッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に使用しないとシステムを実行できない場合は、制御シャットダウンを実行して CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTRSR

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*

宛先: コンソール

---

**DFHTR0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'*

で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTRSR、DFHTRPT、DFHTRDM、DFHTRFT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*

宛先: コンソール

---

#### DFHTR0101 STORAGE FOR INTERNAL TRACE TABLE NOT AVAILABLE -TRACE INOPERATIVE.

説明: CICS 初期設定時に、ストレージが最低許容量の内部トレース・テーブル・サイズ (16 KB) さえも満たすことができませんでした。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 初期設定のこの初期段階で VSE からたった 16 KB さえも取得できないということは、CICS の他の区域ならびに他のシステム機能も動作に必要なストレージを獲得できないことを意味します。したがって、システムは完全には初期設定を行うことができません。考えられる解決方法は、CICS 区画のサイズを増やすことです。

モジュール: DFHTRDM

宛先: コンソール

---

#### DFHTR0102 REQUESTED TRACE TABLE SIZE NOT AVAILABLE.

説明: CICS は、内部トレース・テーブル・ストレージを得るための変数タイプ VSE GETMAIN を出しました。このメッセージは、(TRTABSZ キーワードに) 指定された上限量を手でできなかったこと、しかし少なくとも下限量の 16K は獲得できたことを示しています。

このメッセージに続いて出されるメッセージ DFHTR0103 に、獲得した実サイズが示されています。

システムの処置: CICS は、メッセージ DFHTR0103 で示されたサイズの内部トレース・テーブルで続行されます。

ユーザーの処置: 処置としては、3 つの方法が考えられます。

- 減らしたテーブル・サイズで CICS を実行させることが適当と思われる場合には、それを実行してください。
- CICS が使用できる領域サイズを増やした後でシステムを終了して初期設定をし直してください。
- システムが初期設定されたなら、CETR を用いて必要な値までテーブル・サイズを増やしてください。

モジュール: DFHTRDM

宛先: コンソール

---

#### DFHTR0103 TRACE TABLE SIZE IS nnK.

説明: CICS 初期設定時に獲得した内部トレース・テーブルのテーブル・サイズは、*nn* KB です。

これは、SIT の TRTABSZ キーワードで指定されたサイズと同じか、もしくはコンソール上でこのメッセージの前にメッセージ DFHTR0101 または DFHTR0102 が出されています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTRDM

宛先: コンソール

---

#### DFHTR0104 *applid* No buffer storage available for auxiliary trace data set. Auxiliary trace is inoperative.

説明: 4KB 出力バッファ用には使用できるストレージが不足していたために、補助トレースを開始する試みが失敗しました。

システムの処置: ダンプ・コード TR0104 の CICS システム・ダンプがとられます。その後、CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 使用できるストレージがそれほど少ない理由を判別し、可能なら再試行してください。

モジュール: DFHTRDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

#### DFHTR0105 AUXILIARY TRACE DATA SET *dataset* COULD NOT BE OPENED - AUXILIARY TRACE INOPERATIVE.

説明: 補助トレースを開始するか、または補助トレース・エクステンションを切り替える試みが失敗しました。これは、SAM に対するデータ・セット *dataset* のオープン要求が失敗したためです。

システムの処置: 2 つの状況があります。

- (エクステントの切り替えとは異なり) 補助トレースを開始させる明示的な要求の後でエラーが発生した場合には、ダンプ・コード TR0105 の CICS システム・ダンプがとられます。その後、CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。
- 補助トレースがすでに活動状態のとき (つまり、補助トレースが開始されたときの明示切り替え要求、または自動切り替えが活動状態になっているエクステント終了) にエラーが発生した場合、ダンプ・コード KERNDUMP の SDUMP がとられます。このタイプのダンプは、ダンプ・テーブルを使用した抑止または修正の対象にはなりません。

ユーザーの処置: データ・セット *dataset* の DLBL ステートメントが存在しているかどうか検査してください。

存在している場合には、システム・ダンプを形式設定して、TR ドメイン情報を調べてください。補助トレース・データ・セットに関する DCB が存在しているはずですが、これを使用して、オープン障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHTRSR, DFHTRSU

宛先: コンソール

**DFHTR0106** *applid* DFHTRAO could not be loaded.  
Auxiliary trace is inoperative.

説明: CICS モジュール DFHTRAO (補助トレース・データ・セットへの書き込みに使用される) をロードできないために、補助トレースを開始する試みが失敗しました。

システムの処置: ローダー・ドメイン (LD) が必要に応じてメッセージおよびダンプを出すはずですが、CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、関連したローダー・ドメイン・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTR0107** ABEND X'*abcode*' ON AUXILIARY TRACE DATA SET *dataset* - AUXILIARY TRACE STOPPED.

説明: 補助トレース・データ・セット *dataset* での順次入出力操作の実行中にエラーが検出されました。

3 桁の異常終了コードが X'*abcode*' として示されています。システムの処置: CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 異常終了コード X'*abcode*' については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』を参照してください。

モジュール: DFHTRAO

宛先: コンソール

**DFHTR0108** I/O ERROR ON AUXILIARY TRACE DATA SET *dataset* - AUXILIARY TRACE STOPPED.

説明: 補助トレース・データ・セット *dataset* に対する順次入出力操作の実行中に、エラーが検出されました。

システムの処置: CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 同時に出されている VSE メッセージを用いて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHTRAO

宛先: コンソール

**DFHTR0109** AUXILIARY TRACE DATA SET *dataset* FULL -AUXILIARY TRACE HAS BEEN STOPPED.

説明: 補助トレース・データ・セット *dataset* がいっぱいです。自動切り替えが活動状態になっていないので、補助トレースが停止されました。

システムの処置: CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: これで、補助トレース・データ・セット *dataset* を、印刷ルーチン DFHTU430 で処理することができなくなります。

モジュール: DFHTRSU

宛先: コンソール

**DFHTR0110** AUXILIARY TRACE DATA SET *dataset1* FULL - SWITCHING TO *dataset2*.

説明: 補助トレース・データ・セット *dataset1* がいっぱいです。自動切り替えを要求するために、データ・セット *dataset2* 上で補助トレースが続行されています。

システムの処置: CICS は、データ・セット *dataset2* 上で補助トレース活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 必要ならデータ・セット全体を処理してください。

モジュール: DFHTRSU

宛先: コンソール

**DFHTR0112** *applid* Bad data passed for tracing to module *modname*.

説明: 内部トレース・テーブルまたは補助トレース・データ・セットに追加するためにトレース (TR) ドメインに渡された一部のデータが原因で、このデータにアクセスしようとしたときに、プログラム・チェックが起きました。

これは、CICS システム・コードによって行われた要求か、あるいは API または XPI を介してユーザー・プログラムが行った要求の結果である可能性があります。

システムの処置: ダンプ・コード TR0112 のシステム・ダンプがとられます。

このメッセージが DFHTRPT によって出された場合、ダンプには、DFHTRPT に渡されたエラーのあるパラメーター・リストを含んでいる例外トレース項目 (ポイント ID TR0102) が入っています。

このメッセージが DFHTRFT によって出された場合、ダンプには DFHTRFT に渡されたエラーのあるパラメーター・リストを含んでいる例外トレース項目 (ポイント ID TR0402) が入っています。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 解釈された例外トレース項目を調べて、呼び出しと項目の ID を出したドメインを判別してください。それから、妥当な値が入っているかどうかを調べるために、デー

タ *n* フィールド内に指定されたアドレスおよび長さを見てください。障害は、トレース呼び出しのためにこれらのフィールドを設定するモジュールの中にあります。

モジュール: DFHTRPT、DFHTRFT

XMEOUT パラメーター: *applid*、*modname*

宛先: コンソール

---

**DFHTR0113** *applid* Auxiliary trace is being started on data set *dataset*.

説明: 補助トレースを開始する要求が正常に処理されました。トレース・レコードがデータ・セット *dataset* に書き込まれています。

システムの処置: CICS は、補助トレースが活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター: *applid*、*dataset*

宛先: コンソール

---

**DFHTR0114** AN ABEND HAS OCCURRED DURING INITIALIZATION OF TRACE IN MODULE *modname*.

説明: トレース (TR) ドメインの事前初期設定時に、モジュール *modname* のリカバリー・ルーチンが制御を受け取りました。これは、モジュール *modname* にプログラム・チェックが発生したことを示しています。

この条件には、3 つの原因が考えられます。

- 主ストレージでモジュールが上書きされた。
- モジュールが、残りの CICS モジュールのレベルと互換性がない。
- モジュール内にエラーがある。

システムの処置: ダンプ・コード KERNDUMP のシステム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

このメッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に使用しないとシステムを実行できない場合は、制御シャットダウンを実行して CICS をダウンさせる必要があります。

ダンプを使用して、この条件の原因を判別してください。

モジュール: DFHTRDM、DFHTRSR

宛先: コンソール

---

**DFHTR0115** AN ABEND HAS OCCURRED IN THE AUXILIARY TRACE MODULE DFHTRAO.

説明: モジュール DFHTRAO のリカバリー・ルーチンが制御を受け取りました。

これは、DFHTRAO 内でプログラム・チェックまたは VSW 異常終了が発生したことを示しています。

この条件には、3 つの原因が考えられます。

- 主ストレージで DFHTRAO が上書きされた。
- DFHTRAO が、残りの CICS モジュールのレベルと互換性がない。
- DFHTRAO 内にエラーがある。

システムの処置: ダンプ・コード KERNDUMP のシステム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール DFHTRAO が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべてのモジュール DFHTRAO を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

ダンプを使用して、この条件の原因を判別してください。

モジュール: DFHTRAO

宛先: コンソール

---

**DFHTR0116** AN ABEND HAS OCCURRED IN THE TRACE SUBROUTINES MODULE DFHTRSU.

説明: トレース・ドメイン・モジュール DFHTRSU に属するリカバリー・ルーチンが制御を受け取りました。

これは、そのモジュール内でプログラム・チェックまたは異常終了が発生したことを示しています。

この条件には、3 つの原因が考えられます。

- 主ストレージで DFHTRSU が上書きされた。
- DFHTRSU が、残りの CICS モジュールのレベルと互換性がない。
- DFHTRSU にエラーがある。

システムの処置: ダンプ・コード KERNDUMP のシステム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール DFHTRSU が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

## DFHTR0117 • DFHTR1003

メッセージが繰り返し出されたり、あるいはモジュール DFHTRSU を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

ダンプを使用して、この条件の原因を判別してください。

モジュール: DFHTRSU

宛先: コンソール

---

### DFHTR0117 *applid* Auxiliary trace on data set *dataset* has been stopped.

説明: 補助トレース・データ・セット *dataset* への CICS トレースを停止するためのオペレーター要求またはアプリケーション・プログラム要求が、正常に処理されました。

システムの処置: CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: これで、補助トレース・データ・セット *dataset* を、印刷ルーチン DFHTU430 で処理することができます。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dataset*

宛先: コンソール

---

### DFHTR0118 *applid* Auxiliary trace is being switched from *dataset1* to *dataset2*.

説明: 補助トレースが活動状態のときに補助トレース・データ・セット上でエクステントを切り替えるためのオペレーター要求またはアプリケーション・プログラム要求が処理されました。

システムの処置: CICS は、最初に指定されたデータ・セット *dataset1* 上でのトレースを停止し、2 番目に指定されたデータ・セット *dataset2* でのトレースを再開します。

ユーザーの処置: これで、最初に指定された補助トレース・データ・セット *dataset1* は、印刷ルーチン DFHTU430 によって処理することができます。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター: *applid*, *dataset1*, *dataset2*

宛先: コンソール

---

### DFHTR1000 *applid* CICSabend requested by global trap exit DFHTRAP in module *modname*.

説明: フィールド開発グローバル・トラップ出口プログラム (DFHTRAP) が CICS の終了を要求しました。

システムの処置: CICS は、トラップ出口を使用不可にしてその出口に再入力が行われないようにしてから CICS を終了します。

ユーザーの処置: DFHTRAP がシステム終了を要求した理由を判別し、それにしたがって処置をとってください。グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHTRPT, DFHTRFT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *modname*

宛先: コンソール

---

### DFHTR1001 *applid* Program check occurred within global trap exit - DFHTRAP now marked unusable by module *modname*.

説明: トレース項目を作成した後で、CICS トレース・ドメイン (TR) が、フィールド開発グローバル・トラップ出口プログラム (DFHTRAP) を呼び出しました。DFHTRAP の実行中にプログラム・チェックが起きました。

システムの処置: CICS は、現在活動状態の DFHTRAP のバージョンに使用不可のマークを付けて、以後 TR ドメインの呼び出しのときにそれを無視します。それから、CICS は、システム・ダンプ・コード TR1001 のダンプをとり、実行を続行します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、プログラム・チェックの原因を見つけてください。現在活動中であっても使用することができない DFHTRAP のバージョンを、CICS プログラム・ライブラリーからの新しいバージョンに置き換えるために、次の順序でコマンドを出してください。

CSFE DEBUG,TRAP=OFF (現行トラップを非活動化する)

CEMT SET PROGRAM(DFHTRAP) NEWCOPY (CICS にとって既知のトラップ・ディスク・アドレスを更新する)

CSFE DEBUG,TRAP=ON (トラップの新しいバージョンを活動化する)

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHTRPT, DFHTRFT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *modname*

宛先: コンソール

---

### DFHTR1002 *applid* Program DFHTRAP is not available - global trap not activated

説明: CICS の初期設定での TRAP=ON SIT キーワードまたは指定変更値の処理時に、CICS がフィールド開発グローバル・トラップ出口プログラム DFHTRAP を活動状態にすることができませんでした。これは、ほぼ間違いなく DFHTRAP がプログラム・ライブラリーに存在しないためです。

システムの処置: CICS は、ダンプ・コード TR1002 のシステム・ダンプをとり、グローバル・トラップが活動状態になっていないまま続行されます。

ユーザーの処置: DFHTRAP が RDO に定義されており、プログラム・ライブラリーで使用可能になっていることを確認してください。

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHTRDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTR1003 *applid* CICS system dump requested by global trap exit DFHTRAP in module *modname*.

説明: ユーザーによりコーディングされたグローバル・トラップ出口プログラム (DFHTRAP) が、その戻り処置設定値でシステム・ダンプを要求しました。

システムの処置: CICS は、ダンプ・コード TR1003 のシステム・ダンプをとり、グローバル・トラップが活動状態のまま続行されます。



ユーザーの処置: 要求されたダンプを分析してください。

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHTRPT、DFHTRFT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *modname*

宛先: コンソール

#### DFHTR3001 ERROR IN OPENING DFHAXPR FILE.

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU430 は、印刷出力を受け取るように定義されたデータ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: DFHTU430 ジョブの中の DFHAXPR の DLBL ステートメントを正しいものにするか、DLBL ステートメントを除去して DFHTU430 が出力を SYSLST に書き込めるようにしてください。

モジュール: DFHTRPRA

宛先: コンソール

#### DFHTR3002 ERROR IN OPENING DFHAUXT FILE.

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU430 は、処理される予定であった補助トレース・データ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: DFHTU430 ジョブに、正しい DFHAUXT の DLBL ステートメントが存在するようにしてください。

モジュール: DFHTRPRA

宛先: コンソール

#### DFHTR3003 ERROR IN OPENING DFHAXPM FILE.

## DFHTSxxxx メッセージ

#### DFHTS0100I *applid* Temporary Storage initialization has started.

説明: これは、一時ストレージ初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

#### DFHTS0101I *applid* Temporary Storage initialization has ended.

説明: 一時ストレージ初期設定は正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU430 は、パラメーター入力データ・セット DFHAXPM をオープンできませんでした。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: DFHTU430 ジョブの中の DFHAXPM の DLBL ステートメントを正しいものにするか、その DLBL ステートメントを除去し、SYSIPT または EXEC ステートメントの PARM キーワードを使用して入力パラメーターを指定してください。

モジュール: DFHTRPRA

宛先: コンソール

#### DFHTR3010 ERROR IN TRACE DATA - ENTRIES MAY HAVE BEEN LOST.

説明: 形式化されているトレース・ブロックに、無効な長さフィールドまたは無効なポインター・フィールド (またはその両方) が入っています。トレース・テーブルが誤って上書きされた場合に生じる可能性があります。

システムの処置: トレース形式設定コードは、ブロックをスキップして、有効な項目を探そうとします。探し出された有効な項目は印刷されます。残りのデータは無視されます。

ユーザーの処置: 内部トレース・テーブルの上書きが生じた理由を判別してください。

印刷出力内のこのメッセージの直前および直後のトレース項目は、間違いがあると仮定して見る必要があります。これらのトレース項目には、間違ったデータが入っている可能性があります。または、この時点で全体的に見て 1 つ以上の項目が欠落している可能性もあります。

モジュール: DFHTRFPB

宛先: SYSLST

#### DFHTS0102I *applid* About to format the temporary storage data set (*numc*is control intervals).

説明: 一時ストレージは新規のデータ・セットでコールド・スタートが行われました。このメッセージは、データ・セットの形式設定が開始されたときに出力され、形式設定される制御インターバルの数 *numc*is を示します。

システムの処置: CICS を続行します。メッセージ

DFHTS0101I は、一時ストレージの初期設定が完了すると出されます。データ・セットが大きいと形式設定にかなりの時間がかかることがあることに注意してください。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *numc*is

宛先: コンソール

#### DFHTS1300 *applid* Clock is not in set state, reply 'RETRY', 'GO' or 'CANCEL'.

説明: プロセッサのストア・クロックの STCK 値が、直前の実行時にキーポイント処理された値よりも現時点では小さい

## DFHTS1301 • DFHTS1306

か、あるいはストア・クロック自体が使用不可の状態であるかまたは設定されていません。

システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。  
ユーザーの処置: クロックを設定して続行するか、または取り消してください。このメッセージに対して「GO」と応答すると、CICS は一時ストレージのコールド・スタートで初期設定されます。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1301 *applid* {READ | WRITE} Error detected by temporary storage. RPL feedback area is X'yyyyyy'.

説明: 一時ストレージで入出力エラーが検出されました。次のいずれかです。

- タスクが一時ストレージ・データ・セットにアクセスしているときに、ハードウェア・エラーが検出された。または、
- VSAM がその要求の中に論理エラーを検出した。原因としては、データ・セットが正しく定義されていないことが考えられます。

システムの処置: 入出力エラー戻りコードがアプリケーション・プログラムに戻されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・データ・セットの定義が正しいか確認してください。

一時ストレージの問題を扱う際の詳しい手引きについては、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, {1=READ, 2=WRITE}, X'yyyyyy'

宛先: コンソール

---

### DFHTS1302 *applid* I/O error on temporary storage data set attempting to emergency restart

説明: 一時ストレージ・データ・セットでリカバリー不能入出力エラーが起きました。

システムの処置: 緊急再始動プロセスは異常終了して、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 問題を訂正した後、緊急再始動を試みるか、あるいは一時ストレージのコールド・スタートで CICS の初期設定を行ってください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1303 *applid* No storage available for temporary storage control blocks

説明: 使用可能なストレージが不十分だったため、緊急再始動時のストレージの割り振りの試みは失敗しました。

システムの処置: 緊急再始動処理は異常終了し、ダンプが出されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ストレージ・マネージャ

ー・ドメイン統計を調べてください。動的ストレージ域 (DSA) のサイズを増やさなければならない可能性があります。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1304 *applid* Clock is not in set state, reply 'RETRY', 'GO' or 'CANCEL'.

説明: プロセッサのストア・クロックの STCK 値が、直前の実行時にキーポイント処理された値よりも現時点では小さいか、あるいはストア・クロック自体が使用不可の状態であるかまたは設定されていません。

システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。  
ユーザーの処置: クロックを設定して続行するか、または取り消してください。メッセージ DFHTS1304 に対して「GO」と応答すると、CICS は一時ストレージのコールド・スタートで初期設定されます。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1305 CURRENT STCK VALUE LESS THAN TEMPORARY STORAGE RECORD STCK VALUE. REPLY 'GO' OR 'CANCEL'.

説明: プロセッサのストア・クロック (STCK) 値が、現時点では、直前の実行時に記録された値よりも小さくなっています。

システムの処置: CICS が一時ストレージをコールド・スタートさせるか (「GO」の応答の場合)、あるいは緊急再始動プロセスが終了して (「CANCEL」の応答の場合) ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クロックを設定して続行するか、または取り消してください。「GO」の応答の場合、一時ストレージのコールド・スタートで CICS が初期設定されます。

モジュール: DFHTSRP

宛先: コンソール

---

### DFHTS1306 *applid* Restart has been terminated by request from operator.

説明: このメッセージは、メッセージ DFHTS1304、DFHTS1305、および DFHTS1308 のいずれかでの CANCEL 応答に対して出されます。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTS1307** *applid* Interval control element not recoverable.

説明: 一時ストレージの緊急再始動時にインターバル制御エレメント (ICE) をスケジュールしようとしたのですが、失敗しました。

再始動の後、ICE に関連した端末がシステムに認識されていないことが理由として考えられます。

他にも、ICE が、緊急再始動時に削除された自動インストール済み TCTTE 用のものであることも理由として考えられます。削除が行われたのは、AIRDELAY システム初期設定パラメーターにゼロが指定されたためです。これは、自動インストール済み TCTTE が即時に削除されることを意味しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTS1308** TEMPORARY STORAGE DATA ADDRESS NOT RECOVERABLE. REPLY 'GO' OR 'CANCEL'.

説明: 一時ストレージの緊急再始動時に、リカバリー可能データ識別 (DATAID) に関連付けられたデータがデータ・セットに見つかりませんでした。

TSAGE が TST 生成で非ゼロとして指定されている場合、このメッセージが出されたことは妥当である可能性があります。その場合には、与えられた TS キューに関して、緊急再始動により、TSAGE で指定された値の前に作成された TS レコードの一部または全部がリカバリーされなかった可能性があります。オペレーターが緊急再始動の続行を許可し、レコードの一部だけしかリカバリーされなかった場合には、リカバリーされなかったレコードにアクセスしようとするトランザクションに IOERR が戻されます。しかし、TS レコードは、トランザクションによって正常に除去することができます。

オペレーターが緊急再始動の続行を許可し、キュー内のどのレコードもリカバリーされなかった場合には、そのキューにアクセスしようとするトランザクションには QIDERR が戻されます。

システムの処置: システムは、GO かまたは CANCEL の応答を待ちます。

「GO」と応答すると、見つけることができないデータはリストアされません。その他のデータはすべてリストアされます。

リストアされないデータの DATAID は、一時データ宛先 CSSL に書き込まれます。それぞれの DATAID ごとに、次のような形式の実際の識別を引用したメッセージ行が書き込まれます。

DFHTSR dataid - UNRECOVERABLE TEMP STRG DATAID

「CANCEL」と応答すると、システムは異常終了し、メッセージ DFHTS1306 が出力されます。

ユーザーの処置:

1. 取り消して、エラーの原因を判別してください。

2. データなしで CICS の初期設定を行ってください。
3. 一時ストレージのコールド・スタートで CICS を初期設定してください。

モジュール: DFHTSRP

宛先: コンソール

**DFHTS1309** *applid* Temporary storage is being cold started

説明: このメッセージは、メッセージ DFHTS1304 またはメッセージ DFHTS1305 での「GO」応答に対して出されます。システムの処置: CICS は、一時ストレージをコールド・スタートします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTS1310** *applid* Temporary storage data set does not match bit map

説明: CICS は、一時ストレージ・データ・セット制御インターバル (CI) 内の未使用スペースを再獲得するための圧縮時に、CI 内のレコード、装置テーブル、およびビットマップの間に互換性がないことを見つけました。

一時ストレージ・プログラム DFHTSP は、新しい一時ストレージ・レコード用の隣接スペースを残すために、CI 内の有効レコードすべてを左に移動させようとしています。それは最初に、一時ストレージ共通域 (TSCOM) を使用して、書き込もうとしているレコード用の十分な余裕が CI にあるかどうか検査します。余裕があっても、CI の最後に十分な隣接するスペースがない場合には、CI を左から右へスキップして、それぞれのレコードがそのまま有効かどうかを判別します。

バッファの最初の引き渡し時に、レコードが有効であることを検出した場合、DFHTSP はフラグ TSCIREQD をレコードの中で 1 に設定します。レコードが必要でなくなったなら、DFHTSP は TSCIREQD をゼロに設定します。また、このとき、DFHTSP は、圧縮が行われた後の位置を反映させるために、必要なレコードのディスク・アドレスを更新します。

2 回目にバッファを渡すとき、DFHTSP はレコードを左に移動させて、連続したフリー・スペースを右に残しておきます。システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するために、次の事項を調べてください。

- 正しいデータ・セットが使用されたかどうか。
- DFHTEMP の CISIZE が、CICS の実行と実行の間に変更されていないかどうか (CISIZE がすでに変更されていた場合には、一時ストレージはコールド・スタートされていないかればなりません。)

エラーの原因に関係なく、この時点で一時ストレージをコールド・スタートする必要があります。

## DFHTS1311 • DFHTS1315

上書きが行われた場合には、IBM サポート・センターに連絡して、トラップを書き込む際のサポートを得て原因を検出してください。

レコードの長さが、バッファの最後を超えと思われるほど長い場合には、CICS は異常終了してメッセージ DFHTS1310 が出されることに注意してください。そのような場合には、バッファの長さは VSAM CI サイズ (TSACSZ) と同じです。これが生じた場合には、その長さが正しくない理由を判別してください。(この問題の最大の原因としては、CI がディスクに書き込まれる前のオーバーレイが考えられます。)

オーバーレイが起きている場合には、IBM のサポートを得る必要があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1311 *applid* Temporary storage data set is full and cannot be extended

説明: 一時ストレージ・データ・セットがいっぱいです。

CICS は、その拡張に失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・データ・セット用にスペース割り振りを増やす必要があるか検討してください。

モジュール: DFHTSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1312I PROGRAM DFHTSRP CANNOT BE FOUND.

説明: CICS は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも一時ストレージ再スタートアップ・プログラム DFHTSRP を見つけることができません。

システムの処置: CICS は、一時ストレージ再始動タスクを異常終了させます。CICS は、別のメッセージを出して、GO または CANCEL と応答するよう求めます。

ユーザーの処置: 2 番目のメッセージに対して「GO」と応答すると、CICS は処理を続行しますが、一時ストレージのサポートはありません。「CANCEL」と応答した場合には、CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHTSRP を入れてください。

モジュール: DFHTSP

宛先: コンソール

---

### DFHTS1313 *applid* Temporary storage restart failed.

説明: 必要なステップに失敗したため、CICS 一時ストレージ再始動タスクを完了させることができません。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されたものの、タスクそれ自体はコード ATSA で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、一時ストレージ再始動タスクに關

するトランザクション・ダンプを作成します。

CICS は、2 つのメッセージをコンソールに送ります。1 つはこのメッセージであり、もう 1 つは一時ストレージ再始動タスクによって検出されたエラーを識別するものです。2 つのメッセージの後には、CICS が異常終了してダンプが作成されたことを知らせるか、GO または CANCEL と応答するように促す、3 つ目のメッセージが続きます。元のエラーの性質に従って、他のシステム・コンポーネントからメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。

「GO」と応答すると、CICS は処理を続行しますが、一時ストレージのサポートはありません。

CANCEL と応答すると、CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1314 *applid* Program DFHTSUT cannot be loaded.

説明: 一時ストレージ・ユニット・テーブル・プログラム DFHTSUT をロードできませんが、これはそのプログラムが利用不能なためと思われます。CICS が、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーからも DFHTSUT を見つけることができない場合には、そのプログラムを使用することはできません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーに DFHTSUT を入れてください。

モジュール: DFHTSIP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1315 *applid* The temporary storage data set has exceeded the maximum number of control intervals supported.

説明: 一時ストレージ書き込み要求の際に、一時ストレージ・データ・セットに新たな制御インターバルを追加する試みが行われました。一時ストレージ・データ・セットには、すでに最大数のサポートされている制御インターバルが含まれており、拡張することはできません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・データ・セットに対する制御インターバル・サイズを増加させる必要があるかどうか考慮してください。一時ストレージ・データ・セットの定義に関する手引きについては、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHTSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTS1317** *applid* No DSA storage available below the line for temporary storage control blocks.

説明: 境界より下の使用可能なストレージが不十分だったため、緊急再始動時のストレージの割り振りの試みは失敗しました。

システムの処置: 緊急再始動処理は異常終了し、ダンプが出されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ストレージ・マネージャー・ドメイン統計を調べてください。動的ストレージ域 (DSA) のサイズを増やさなければならない可能性があります。  
モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTS1324** *applid* Temporary storage byte map cannot be restored.

説明: 一時ストレージ・バイト・マップが CICS グローバル・カタログ (DFHGCD) からリストアされているときに、エラーが起きました。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TS1324 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

ダンプを使用して、カタログ問題の原因を判別してください。

一時ストレージの問題を扱う際の詳しい手引きについては、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。  
モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTS1325** *applid* Temporary storage unit tables cannot be restored.

説明: 一時ストレージ・ユニット・テーブルを CICS グローバル・カタログ (DFHGCD) からリストアしているときに、エラーが起きました。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TS1325 のシステム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

ダンプを使用して、カタログ問題の原因を判別してください。

一時ストレージの問題を扱う際の詳しい手引きについては、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。  
モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTS1340** *applid* No DLBL statement provided for temporary storage data set.

説明: DLBL ステートメントが与えられていなかったため、CICS は補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) をオープンできません。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIG1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTS1341** *applid* VSAM error processing SHOWCAT for temporary storage data set.

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) の SHOWCAT 処理時に、VSAM がエラーを検出しました。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIG1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTS1342** *applid* Invalid VSAM definition for temporary storage data set.

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) が VSAM ESDS として定義されていないため、CICS はそれをオープンできません。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIG1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHTS1362** *applid* Temporary storage data set not formatted

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) が形式設定されていません。データ・セットが空です。初期形式設定が必要な場合には、一時ストレージがコールド・スタートされるときに行われます。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

ユーザーの処置: DFHTS1313 を参照してください。エラー

## DFHTS1363 • DFHTS1375

を訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1363 *applid* Invalid control record for temporary storage data set

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) が一時ストレージ用に初期設定されていませんでした。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

ユーザーの処置: DFHTS1313 を参照してください。エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1371 *applid* VSAM error processing SHOWCB for temporary storage data set, RC=*retcode*

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) の SHOWCB 処理時に、VSAM がエラーを検出しました。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: DFHTS1313 を参照してください。

VSAM SHOWCB 戻りコード *retcode* を、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *retcode*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1372 *applid* VSAM error processing OPEN for temporary storage data set, R15=*retcode*, RC=*errorcode*

説明: 補助一時ストレージ・データ・セットの OPEN 処理時に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は、戻りコードとエラー・コードを示します。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

VSAM OPEN 戻りコード *retcode* およびエラー・コード *errorcode* を、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *retcode*, *errorcode*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1373 *applid* VSAM error processing CLOSE for temporary storage data set, R15=*retcode*, RC=*errorcode*

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) の CLOSE 処理時に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は、戻りコードとエラー・コードを示します。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

VSAM CLOSE 戻りコード *retcode* とエラー・コード *errorcode* を、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *retcode*, *errorcode*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1374 *applid* VSAM error processing PUT for temporary storage data set, R15=*retcode*, RC=*errorcode*

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) の PUT 処理時に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は、戻りコードとエラー・コードを示します。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

VSAM PUT 戻りコード *retcode* とエラー・コード *errorcode* を、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。

モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *retcode*, *errorcode*

宛先: コンソール

---

### DFHTS1375 *applid* VSAM error processing GET for temporary storage data set, R15=*retcode*, RC=*errorcode*

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) の GET 処理時に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は、戻りコードとエラー・コードを示します。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

VSAM GET 戻りコード *retcode* とエラー・コード *errorcode* を、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。  
 モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *retcode*, *errorcode*  
 宛先: コンソール

#### DFHTS1376 *applid* VSAM error processing MODCB for temporary storage data set, R15=*retcode*

説明: 補助一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) の MODCB 処理時に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は戻りコードを示します。  
 システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクを異常終了します。このため、メッセージ DFHTS1313 がコンソールに送られます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

VSAM MODCB 戻りコード *retcode* とエラー・コード *errorcode* を、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VSE/VSAM コード』で調べてください。  
 モジュール: DFHTSRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *retcode*  
 宛先: コンソール

#### DFHTS1377 *applid* Error during temporary storage backout, operation failed

説明: 緊急再始動時に、CONNECT、STARTBROWSE、または GETNEXT 操作 (*operation* で示されている) を実行しているとき、一時ストレージ・バックアウト・プログラム DFHTSBP がリカバリー管理要求から好ましくない応答を受け取りました。これは、入出力エラーが原因と思われます。  
 システムの処置: CICS はそのタスクを終了して異常終了コード ABP2 を出し、また一時ストレージ再始動が失敗したことを示すメッセージ DFHTS1313 を出します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

ダンプを使用して、失敗の原因を判別してください。

一時ストレージの問題を扱う際の詳しい手引きについては、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。  
 モジュール: DFHTSBP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *operation*  
 宛先: コンソール

#### DFHTS1378 *applid* Logic error during temporary storage backout

説明: 緊急再始動時に、一時ストレージ・バックアウト・プログラムは論理エラーを検出しました。  
 システムの処置: CICS はそのタスクを終了して異常終了コード ABP3 を出し、また一時ストレージ再始動が失敗したことを示すメッセージ DFHTS1313 を出します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHTS1313 を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHTSBP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

#### DFHTS1379 *applid* Temporary storage MVCL failed with destructive overlap

説明: 一時ストレージと他のデータのやりとりが失敗しました。その理由としては、CICS に渡される区域のサイズと使用されるデータ長が矛盾していたということが考えられます。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS システム・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: これは一時ストレージ処理の内部論理エラーと思われます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHTSP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

#### DFHTS1380 *applid* Severe error occurred while waiting for I/O to the temporary storage data set to complete.

説明: CICS タスクは、一時ストレージ・データ・セットの入出力が完了するのを待っていましたが、その待ち状態は予期しない理由のため失敗しました。このメッセージは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。  
 システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。  
 ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHTSP

XMEOUT パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

**DFHTS1576 applid Temporary storage format error**

説明: CICS が VSAM 要求パラメーター・リスト (RPL) の作成を試みているときに、VSAM マクロ GENCB からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTSIP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHTS1599 applid Partition size insufficient to initialize CICS.****DFHUSxxxx メッセージ****DFHUS0001 applid An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset X'*offset*' in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性のあることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプ

説明: 初期設定時に、CICS は自分自身の制御ブロック用の十分なストレージを得ることができませんでした。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DSALIM または EDSALIM システム初期設定パラメーターの値を状況に応じて大きくして、CICS が使用できるようさらに多くのストレージを割り振ってください。システム・ダンプと併せて「CICS Data Areas」を使用すれば、関係のある制御ブロックの場所、サイズ、および数に関する情報を得ることができます。

モジュール: DFHTSIP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

ログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHUSAD、DFHUSDM、DFHUSFL、DFHUSIS、DFHUSST、DFHUSXM

XMEOUT パラメーター: *applid*、*aaa/bbbb*、X'*offset*'、*modname*

宛先: コンソール

**DFHUS0002 applid A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'*code*') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性のあることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に



実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHUSAD、DFHUSDM、DFHUSFL、DFHUSIS、DFHUSST、DFHUSXM

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'code'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

#### DFHUS0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれ

がランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHUSAD、DFHUSDM、DFHUSFL、DFHUSIS、DFHUSST、DFHUSXM

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'offset'*、*modname*  
宛先: コンソール

---

#### DFHUS0006 *applid* Insufficient storage to satisfy Getmain (code *X'code'*) in module *modname*. VSE code *vsecode*.

説明: モジュール *modname* が出したストレージ要求を満たすための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *vsecode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます (コード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関係のある終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからのもの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

GETMAIN 戻りコードの診断情報は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』で説明されています。

## DFHnn 接頭部メッセージ

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、区画全体のサイズがまだ最大になっていない場合には、それを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHUSDM、DFHUSAD

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*', *modname*, *vsecode*  
宛先: コンソール

---

**DFHUS0050** *applid* The default *userid* *userid1* cannot be used by this CICS job with region *userid* *userid2*.

説明: システム初期設定パラメーター DFLTUSER に指定されたデフォルトのユーザー ID を、この CICS ジョブは使用することができません。

この CICS ジョブの領域ユーザー ID は、DFLTUSER システム初期設定パラメーターに指定されているユーザー ID の使用を許可されていません。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: デフォルトのユーザー ID と、CICS 領域のユーザー ID が正しいことを確認してください。

両方のユーザー ID が正しい場合は、必要な許可を取得し、CICS 領域ユーザー ID がデフォルトのユーザー ID を使用できるようにしてください。セキュリティ管理者の支援が必要になる場合があります。

前にジョブによって作成されたメッセージがあり、追加情報が示されていることもあります。

モジュール: DFHUSDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *userid1*, *userid2*  
宛先: コンソール

---

**DFHUS0120** *applid* An error occurred when performing SNSCOPE checking for a sign on request.

説明: SNSCOPE 検査の一部として出された OS/390 ENQ が失敗しました。戻りコードは、31 ビット・システム GETVIS が使い果たされたことを示しています。

システムの処置: ダンプ・テーブルでこのダンプ・コードのダンプを特に使用可能にしていない限り、システム・ダンプは抑止されます。サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 使用可能な 31 ビット・システム GETVIS の量を増やしてください。これを行う方法については、「z/VSE System Control Statements」で SVA コマンドの説明を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHUSAD、DFHUSFL

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHUS0150** *applid* An attempt to establish security has failed for *userid* *userid* in group *groupid*, {*no terminal*, | *netname* | *console* }*portname* *applid* *applid*. Unable to initialize the transaction *tranid*. SAF codes are (X'*safresp*',X'*safreas*'). ESM codes are (X'*esmresp*',X'*esmreas*').

説明: 端末またはコンソール *portname* およびアプリケーション *applid* に対して許可されているリソース・アクセスに関して、グループ *groupid* のユーザー ID *userid* のセキュリティを確立する試みがなされました。この試みは、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により拒否されました。

トランザクション *tranid* を初期設定することはできません。システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。トランザクションの初期設定の試みは失敗しました。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

CICS または外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって、追加の情報を提供するメッセージがさらに作成される場合があります。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHUSXM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *userid*, *groupid*, {*99=no terminal*, *1=netname*, *2=console* }, *portname*, *applid*, *tranid*, X'*safresp*', X'*safreas*', X'*esmresp*', X'*esmreas*'  
宛先: コンソール

---

**DFHUS0200** *date time* *applid* User *userid* in group *groupid* at *netname* | at *console* }*portname* has been timed out.

説明: グループ *groupid* のユーザー *userid* (該当する場合は、端末 *portname* の) は、この CICS システムから除去されました。このユーザー ID が使用されないでいる期間が、USRDELAY システム初期設定パラメーターに指定された期間を超えたためです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: USRDELAY システム初期設定パラメーターについての詳細は、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHUSDM

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *userid*, *groupid*, {*1= at netname*, *2= at console* }, *portname*  
宛先: CSCS

## DFHWBxxxx メッセージ

**DFHWB0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWBWB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*

**DFHWB0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

- 4643—DFHWBST を呼び出したときに使用した形式が無効です。
- 4644—DFHWBST を呼び出したときに使用した機能が無効です。
- 4647—Web 状態管理機能は、新規の状態ブロックを作成するときに Web 状態トークン・ディレクトリーを更新できませんでした。
- 4654—Web 状態管理機能は、ガーベッジの収集時に Web 状態トークン・ディレクトリーをブラウザできませんでした。
- 4652—Web 状態管理機能は、Web 状態データのロックを実行できませんでした。
- 4653—Web 状態管理機能は、Web 状態データのアンロックを実行できませんでした。
- 4683—DFHWBTC を呼び出したときに使用した形式が無効です。
- 4684—DFHWBTC を呼び出したときに使用した機能が無効です。
- 4685—LE/370 事前初期設定済み環境からエラーが戻されました。
- 4686—CICS Web 3270 エミュレーターの呼び出しが失敗しました。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWBST, DFHWBTC

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*

**DFHWB0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、起こりうるループが検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。通常、この問題に関する症

状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されないときは、この問題を解決するために IBM のサポートがさらに必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWBST、DFHWBTC

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'offset'*、*modname*

---

**DFHWB0006** *applid* **Insufficient storage to satisfy Getmain (code *X'code'*) in module *modname*. VSE code *vsecode*.**

説明: モジュール *modname* によって OS/390 GETMAIN が出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありませんでした。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *vsecode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

VSE 戻りコード *vsecode* の診断情報は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コード

および SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』にあります。

DSA または EDSA の全体のサイズ制限を小さくするようにしてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「*CICS Transaction Server for VSE/ESA* システム定義の手引き」または「*CICS Performance Guide*」を参照してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWBST

XMEOUT パラメーター: *applid*、*X'code'*、*modname*、*vsecode*

---

**DFHWB0100** *date time applid tranid* **The CICS Web Support program cannot link to program DFHWBBLI. EIBRESP: *eibresp*. EIBRESP2: *resp2val*. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. [TCPIP SERVICE: *tcipSERVICE*]**

説明: 別名プログラムが EXEC CICS LINK を使用しましたが、プログラム DFHWBBLI にリンクできませんでした。システムの処置: リンクは中止されます。Web ブラウザーに HTTP 応答コードの 500 (内部サーバー・エラー) が戻されます。この別名プログラムは異常終了コード AWBL で異常終了します。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを使って、プログラム DFHWBBLI の定義およびインストールが正しく行われているかを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*tranid*、*eibresp*、*resp2val*、*hostaddr*、*clientaddr*、[*tcipSERVICE*]

---

**DFHWB0101** *date time applid tranid* **The CICS Web Support alias program DFHWBA detected a failure in program DFHWBBLI. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. [TCPIP SERVICE: *tcipSERVICE*]**

説明: プログラム DFHWBBLI がこの別名プログラムにエラー応答を戻しました。

システムの処置: 要求は中止されます。プログラム DFHWBBLI によって戻されるエラー応答が HTTP 応答に入られて Web ブラウザーに戻されます。

**403** 要求に関連付けられているユーザー ID は、要求したコンバーター・プログラムまたは要求したサーバー・プログラムを呼び出す権限がありません。

**404** CICS が、要求されたプログラムを見つけることができなかったので、コンバーター・プログラムまたはサーバー・プログラムとのリンクは失敗しました。

**500** コンバーター・プログラムまたはサーバー・プログラムとのリンクは、予期しないエラーが起きて失敗しました。

- 503 コンバーター・プログラムまたはサーバー・プログラムとのリンクは以下のいずれかの理由で失敗しました。
- サーバー・プログラムが「リモート」として定義されているが、このプログラムとのリンクが SYSID エラーで失敗したので、リモート接続が正しく定義されていないか、または活動状態になっていない。
  - コンバーター・プログラムまたはサーバー・プログラムとのリンクが ROLLEDBACK 応答で失敗した。

この別名プログラムは異常終了コード AWBM で異常終了します。

ユーザーの処置: プログラム DFHWBBLI と、それが呼び出すプログラムを検査してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, hostaddr, clientaddr, [tcpiplibservice]*

---

**DFHWB0102** *date time applid tranid* **The CICS Web Support alias program has received an incorrect response on a call made to CICS during alias initialization. EIBRESP: eibresp EIBRESP2: resp2val. [TCPIPSERVICE: tcpiplibservice]**

説明: この別名プログラムは、別名の初期設定時に CICS に対して行った呼び出しで予期しない応答を受け取りました。  
システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード AWBI で異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, eibresp, resp2val, [tcpiplibservice]*

---

**DFHWB0103** *date time applid tranid* **The CICS Web Support alias program has received an error response (code X'code') on a call made to CICS during alias initialization. [TCPIPSERVICE: tcpiplibservice]**

説明: この別名プログラムがこの要求の START データを見つけることができなかったか、または START データが無効でした。エラー応答コード X'code' は、どのエラーが発生したかを一意的に識別する例外トレース・ポイント id です。コード '4565'X は START データが欠落していることを意味し、コード '4566'X は START データが無効であったことを意味します。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード AWBF で異常終了し、トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: 別名プログラム DFHWBA は、CICS Web

サポートによって開始された別名トランザクションに対してのみ使用されます。ユーザー作成のアプリケーションは、別名トランザクションに渡されるデータが期待される形式になっていないので、別名トランザクションを開始すべきではありません。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, X'code', [tcpiplibservice]*

---

**DFHWB0106** *date time applid tranid* **The CICS Web Support program DFHWBA has detected an error. [TCPIPSERVICE: tcpiplibservice]**

説明: 別名プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード AWBH で異常終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, [tcpiplibservice]*

---

**DFHWB0108** *date time applid tranid* **The CICS Web Support alias program has detected an abend. Host IP address: hostaddr. Client IP address: clientaddr. [TCPIPSERVICE: tcpiplibservice]**

説明: 別名プログラムが異常終了を検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード AWBK で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, hostaddr, clientaddr, [tcpiplibservice]*

---

**DFHWB0109I** *applid* **Web domain initialization has started.**

説明: これは、Web ドメイン初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWBDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

**DFHWB0110I** *applid* Web domain initialization has ended.

説明: Web ドメインの初期設定は正常に完了しました。  
 システムの処置: CICS の初期設定を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。  
 宛先: コンソール  
 モジュール: DFHWBDM

XMEOUT パラメーター: *applid*

**DFHWB0111** *applid* WB Domain initialization failed.

**Reason Code:** X'*rc*'.

説明: CICS の Web ドメイン初期設定は、理由コード *rc* で失敗しました。

システムの処置: CICS の初期設定は続行されます。CICS Web 環境のコンポーネントをこれ以降呼び出しても、その呼び出しは失敗します。

ユーザーの処置: 理由コード *rc* を使用して、初期設定が失敗した理由を判別してください。次の理由が考えられます。

- 1 Web アンカー・ブロックのためのストレージを取得できませんでした。
- 5 状態管理機能アンカー・ブロックのためのストレージを取得できませんでした。
- 6 状態トークン・ディレクトリーの作成が失敗しました。
- 7 状態管理に必要なサブプールを追加できませんでした。
- 8 HTTP バッファーに必要なサブプールを追加できませんでした。
- 9 Web 状態管理機能のロックの追加が失敗しました。
- A 3270 バッファーに必要なサブプールを追加できませんでした。
- B Web 要求クラスの初期設定が失敗しました。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWBDM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*rc*'

**DFHWB0114** A non-HTTP request has been received by an HTTP service. The request has been rejected. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcpipSERVICE*.

説明: CICS Web サポートは、HTTP TCPIP SERVICE に対する非 HTTP 要求または SSL 要求を受け取りました。

システムの処置: 要求は拒否されます。

ユーザーの処置: TCPIP SERVICE 定義を、送信されている要求のタイプに適合するように修正してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXM

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *hostaddr*, *clientaddr*, {1=、2= TCPIP SERVICE: }, *tcpipSERVICE*

**DFHWB0117** *date time applid trandid* The CICS Web Support program DFHWBBLI has received a corrupt parameter list from the converter program *program\_name* during {Decode | Encode} processing. [TCPIP SERVICE: *tcpipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBBLI はデコードまたはエンコード処理中にコンバーター・プログラム *program\_name* からエラー応答を受け取り、受け取り中のパラメーター・リストが壊れていました。

システムの処置: クライアントにエラー・メッセージが送られ、例外トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: 使用されているコンバーター・プログラムが正しいことを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *program\_name*, {4=Decode, 5=Encode}, [TCPIP SERVICE]

**DFHWB0118** *date time applid trandid* The CICS Web Support program DFHWBBLI has detected an error. [TCPIP SERVICE: *tcpipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBBLI がエラーを検出しました。  
 システムの処置: システム・ダンプがとられます。トランザクションは異常終了コード AWBR で異常終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, [TCPIP SERVICE]

**DFHWB0119** *date time applid trandid* The CICS Web Support program DFHWBBLI has been started incorrectly. [TCPIP SERVICE: *tcpipSERVICE*]

説明: 初期設定情報の妥当性検査を行っているときにプログラム DFHWBBLI がエラーを検出しました。原因は、このプログラムが正しく始動されなかったことが考えられます。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了コード AWBQ で異常終了します。

ユーザーの処置: プログラムが一時データ・トリガー・レベルで始動されなかったか、または CECI ユーザーによって始動されなかったかを検査してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, [TCPIP SERVICE]

---

**DFHWB0120** *date time applid tranid* The CICS Web Support program DFHWBBLI cannot link to program *program\_name*. EIBRESP: *eibresp* EIBRESP2: *resp2val*. [TCPIPSERVICE: *tcpiptime*]

説明: プログラム DFHWBBLI が EXEC CICS LINK を使用しましたが、所定のプログラムにリンクすることができず、EIB 応答が戻されました。  
 システムの処置: リンクは中止されます。  
 ユーザーの処置: プログラム定義が正しいことを確認してください。  
 宛先: CWBO  
 モジュール: DFHWBBLI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program\_name, eibresp, resp2val, [tcpiptime]*

---

**DFHWB0121** *date time applid tranid* The CICS Web Support program DFHWBBLI encountered an error during Decode processing in the converter program. Response code: *respcode*, reason code: *reasoncode*. [TCPIPSERVICE: *tcpiptime*]

説明: コンバーター・プログラムのデコード機能がエラーを戻しました。  
 システムの処置: クライアントにエラー・メッセージが送られます。  
 ユーザーの処置: 挿入される応答コードは、コンバーター・プログラムから戻される応答コードです。挿入される理由コードは、コンバーター・プログラムから戻される理由コードです。

これらのフィールドに CICS が定義している値は、コピーブック DFHWBUCD の中で定義されています。応答コードに CICS が定義している値は次のとおりです。

0	OK
4	例外
8	与えられたデータが無効
16	災害

理由コードに CICS が定義している値は次のとおりです。

1	セキュリティ障害
2	クライアント・データが壊れている

ユーザーは分析機能から戻される応答コードおよび理由コードに独自の値を定義することができますが、その値は、CICS が提供するコピーブック DFHWBUCD に定義されている値以外でなければなりません。

戻された応答コードと理由コードを調べて、エラーの原因を判別してください。

宛先: CWBO  
 モジュール: DFHWBBLI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program, respcode, reasoncode, [tcpiptime]*

---

**DFHWB0122** *date time applid tranid* The CICS Web Support program DFHWBBLI encountered an error during Encode processing in the converter program. Response code: *respcode*, reason code: *reasoncode*. [TCPIPSERVICE: *tcpiptime*]

説明: コンバーター・プログラムのエンコード機能がエラーを戻しました。  
 システムの処置: クライアントにエラー・メッセージが送られます。  
 ユーザーの処置: 挿入される応答コードは、コンバーター・プログラムから戻される応答コードです。挿入される理由コードは、コンバーター・プログラムから戻される理由コードです。

これらのフィールドに CICS が定義している値は、コピーブック DFHWBUCD の中で定義されています。応答コードに CICS が定義している値は次のとおりです。

0	OK
4	例外
8	与えられたデータが無効
16	災害

理由コードに CICS が定義している値は次のとおりです。

1	セキュリティ障害
2	クライアント・データが壊れている

ユーザーは分析機能から戻される応答コードおよび理由コードに独自の値を定義することができますが、その値は、CICS が提供するコピーブック DFHWBUCD に定義されている値以外でなければなりません。

戻された応答コードと理由コードを調べて、エラーの原因を判別してください。

宛先: CWBO  
 モジュール: DFHWBBLI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, program, respcode, reasoncode, [tcpiptime]*

---

**DFHWB0123** *date time applid tranid* The CICS Web Support program DFHWBA1 has detected an error. [TCPIPSERVICE: *tcpiptime*]

説明: プログラム DFHWBA1 がエラーを検出しました。  
 システムの処置: システム・ダンプがとられます。トランザクションは異常終了コード AWBR で異常終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

宛先: CWBO  
 モジュール: DFHWBA1

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, [tcpiptime]*

---

**DFHWB0124** *date time applid tranid* The CICS Web Support program DFHWBA1 has been started incorrectly. [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: 初期設定情報の妥当性検査を行っているときにプログラム DFHWBA1 がエラーを検出しました。原因は、このプログラムが正しく始動されなかったことが考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了コード AWBQ で異常終了します。

ユーザーの処置: プログラムが一時データ・トリガー・レベルで始動されなかったか、または CECI ユーザーによって始動されなかったかを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBA1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0125** *date time applid tranid* The CICS Web Support program DFHWBBLI has detected an abend issued by the program *program*. [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBBLI が、要求を処理していたプログラムによる異常終了を検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは制御を呼び出し元に戻します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0126** *date time applid tranid* The CICS Web Support program DFHWBBLI has detected an abend issued by Encode in converter program *program*. [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBBLI が、エンコード処理中に要求を処理していたプログラムによる異常終了を検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは制御を呼び出し元に戻します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0127** *date time applid tranid* The CICS Web Support program DFHWBBLI has detected an abend issued by Decode in converter program. [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBBLI が、デコード処理中に要求を

処理していたコンバーター・プログラムによる異常終了を検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは制御を呼び出し元に戻します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0128** *date time applid tranid* An error has been detected by program *program*. [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBBLI がエラーを検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは制御を呼び出し元に戻します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, program, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0130** *date time applid tranid* No state token passed to program DFHWBLT. [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBLT が、期待していた状態トークンを渡されませんでした。

システムの処置: トランザクションはコード AWC2 で異常終了し、例外トレース項目 410C が書き込まれます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBLT

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0131** *date time applid tranid* An error code X'code' occurred in DFHWBLT while accessing the Web state data for this transaction. [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: Web ブリッジ出口プログラム DFHWBLT が、このトランザクション用に保持されている Web 状態データにアクセスしようとしていたときにエラーを検出しました。

システムの処置: 例外トレース項目が、トレース・テーブル内にコード X'code' を使って作成されます。ブリッジ出口が CWI 別名トランザクションとのパートナー関係を確立しようとしていた場合には、トランザクションは異常終了コード AWC1 で異常終了します。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* を使用して、障害の理由を判別してください。



- 4106 関連付けられた CWI 別名トランザクションとのパートナー関係を確立できません。
- 4107 DFHWBTL のこのインスタンスと、それに関連付けられた CWI 別名トランザクションの間のパートナー関係を終了させるための呼び出しが失敗しました。
- 4108 DFHWBTL のこのインスタンスに関連付けられた CWI 別名トランザクションを待つための呼び出しが失敗しました。
- 4109 DFHWBTL のこのインスタンスに関連付けられた CWI 別名トランザクションを再活動化するための呼び出しが失敗しました。
- 4116 DFHWBTL のこのインスタンスを中断するための呼び出しが失敗しました。
- 4112 このトランザクションの状態データを更新するための呼び出しが失敗しました。
- 4113 このトランザクションの状態データを検索するための呼び出しが失敗しました。
- 4114 DFHWBTL のこのインスタンスに関連付けられている別名タスクが、必要な状態になっていませんでした。
- 411B DFHWBTL のこのインスタンス用の状態データを放棄するための呼び出しが失敗しました。

このエラーの原因は、Web 状態データのタイムアウト間隔を超えてしまい、関連の状態データが削除されたことが最も考えられます。状態データのタイムアウト間隔が適切な値に設定されているかを確認してください。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, X'code', [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0132** *date time applid tranid* **Program DFHWBTL terminated due to storage problems.**  
[TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: DFHWBTL から出されたストレージの GETMAIN が失敗しました。ストレージがないので、処理を続行できません。

システムの処置: トランザクションはコード AWC5 で異常終了し、例外トレース項目 410D が書き込まれます。

ユーザーの処置: このエラーが繰り返し起きる場合、CICS システムのストレージのセットアップを調べる必要があるかもしれません。CICS ストレージの制御についての詳細は、「CICS Customization Guide」を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0133** *date time applid tranid* **Error X'code' occurred during CICS Web 3270 transaction processing.** [TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBTTA が、Web ブリッジ・トランザクションを接続しようとしていたときにエラーを検出したか、または Web 3270 ブリッジ出口プログラム DFHWBTL が内部エラーを検出しました。

システムの処置: トランザクションは HTTP クライアントに内部サーバー・エラー (HTTP 応答 500) を戻します。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* は、この障害に対応する CICS トレース項目を識別します。この項目から Web ブリッジ・トランザクションのトランザクション ID、さらはその特性を判別することができます。

CICS トレース出力を収集してください。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTTA, DFHWBTL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, X'code', [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0134** *date time applid tranid* **Error X'code' occurred resolving the AID from HTTP forms data in the CICS Web terminal translation application.** [TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBTTA が、Web ブラウザーから戻された HTTP フォーム・データからアテンション ID を解決することができません。DFHWBTTA は HTTP フォーム・データを、この要求の宛先である CICS 端末向けトランザクションに必要な、正しい 3270 形式に変換します。アテンション ID (AID) はこの形式では必須部分です。HTTP フォーム・データの中で、CICS Web サポートが定義した命名規則に合った、AID を表すための *name=value* ペアが見つからないので、DFHWBTTA は、端末向けトランザクションに AID 値を戻すことができません。

システムの処置: DFHWBTTA は HTTP クライアントに内部サーバー・エラー (HTTP 応答 500) を戻し、端末向けトランザクションとの交換を終了させます。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* は、この障害に対応する CICS トレース項目を識別します。HTTP フォーム・データはトレース・データとして生成されます。CICS トレース出力を収集してください。HTTP フォーム・データを調べて、Web ブラウザーから何が戻されたかを判別してください。Web ブラウザーが HTML フォームをサブミットしたのはどの HTML 入力タイプによるものであるかを識別してください。HTTP フォーム・データが壊れていることが問題の原因かもしれません。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTTA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, X'code', [tcipSERVICE]*

**DFHWB0135** *date time applid tranid Error X'code' occurred resolving the next transaction identifier from HTTP forms data in the CICS Web terminal translation application.*

[TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBTTA が、Web ブラウザーから戻された HTTP フォーム・データから次のトランザクション ID を解決することができません。DFHWBTTA は HTTP フォーム・データを変換し、実行する次のトランザクションの ID を取り出します。HTTP フォーム・データの中で、CICS が定義した命名規則に合った、次のトランザクション ID を表すための name=value ペアが見つからないので、DFHWBTTA は、どの端末向けトランザクションを開始すべきかを判別できません。

システムの処置: DFHWBTTA は HTTP クライアントに内部サーバー・エラー (HTTP 応答 500) を戻します。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* は、この障害に対応する CICS トレース項目を識別します。HTTP フォーム・データはトレース・データとして生成されます。CICS トレース出力を収集してください。HTTP フォーム・データを調べて、Web ブラウザーから何が戻されたかを判別してください。

HTTP フォーム・データが壊れていることが問題の原因かもしれません。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTTA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, X'code', [tcipSERVICE]*

**DFHWB0136** *date time applid tranid An error code X'code' has occurred as a result of the Web State Garbage Collection process.*

[TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: プログラム DFHWBTLT が、このトランザクション用に保持されている Web 状態データにアクセスしようとしていたときにエラーを検出しました。トランザクション待ち時間がガーベッジ収集の制限を超えて、状態ブロックがガーベッジ収集処理によって削除されました。

システムの処置: このエラーが DFHWBTLT 内で起きた場合、アプリケーションに TERMERR 条件が戻され、処理は続行されます。このエラーが DFHWBTTA 内で起きた場合、ブラウザーにエラー応答が送られ、処理は続行されます。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* を使用して、どのモジュールがエラーを受け取ったかを判別してください。

**4108** このエラーは DFHWBTLT 内で発生しました。

**420B** このエラーは DFHWBTTA 内で発生しました。

このエラーの原因は、Web 状態データのガーベッジ収集間隔を超え、関連した状態データが削除されたことです。状態データ用のガーベッジ収集間隔が適切な値に設定されているかを確認してください。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTLT, DFHWBTTA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, X'code', [tcipSERVICE]*

**DFHWB0137** *date time applid tranid An error code X'code' occurred in DFHWBTTA while accessing the Web state data for this transaction.*

[TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: Web 端末変換アプリケーション・プログラム DFHWBTTA が、このトランザクション用に保持されている Web 状態データにアクセスしようとしていたときにエラーを検出しました。

システムの処置: 例外トレース項目が、トレース・テーブル内にコード *X'code* を使って作成されます。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* を使用して、障害の理由を判別してください。

**4203** 関連付けられた CWI 別名トランザクションとのパートナー関係を確立できません。

**4204** 関連付けられた CWI 別名トランザクションとのパートナー関係を初期設定できません。

**4205** DFHWBTTA のこのインスタンスに関連付けられている別名タスクが、必要な状態になっていませんでした。

**4206** DFHWBTTA のこのインスタンス用の状態データを作成するための呼び出しが失敗しました。

**4207** DFHWBTTA のこのインスタンス用の状態データを破棄するための呼び出しが失敗しました。

**4208** DFHWBTTA のこのインスタンス用の状態データを検索するための呼び出しが失敗しました。

**4209** 関連付けられたトランザクションと DFHWBTTA の間に確立されているパートナー関係を切断するための呼び出しが失敗しました。

**420A** DFHWBTTA のこのインスタンスに関連付けられた CWI 別名トランザクションを再活動化するための呼び出しが失敗しました。

**420B** DFHWBTTA のこのインスタンスに関連付けられた CWI 別名トランザクションを待つための呼び出しが失敗しました。

**420C** DFHWBTTA のこのインスタンスと、それに関連付けられた CWI 別名トランザクションの間のパートナー関係を終了させるための呼び出しが失敗しました。

**4213** このトランザクションの状態データを更新するための呼び出しが失敗しました。

このエラーの原因は、Web 状態データのタイムアウト間隔を超えてしまい、関連の状態データが削除されたことが最も考えられます。状態データのタイムアウト間隔が適切な値に設定されているかを確認してください。この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTTA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, X'code', [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0150** *date time applid tranid* **The CICS HTML template manager could not locate template *template\_name* in the HTML template data set. [TCPIPSERVICE: *tcpipSERVICE*]**

説明: CICS HTML テンプレート管理機能 DFHWBTL が HTML データ・セットの中でテンプレート名 *template\_name* を見つけられませんでした。

システムの処置: 3270 と HTML 間変換はこのテンプレートなしで実行することはできないので、CICS はアプリケーションに TERMERR 条件を戻します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このテンプレートがテンプレート・ライブラリの中に存在していることを確認してください。HTML テンプレートの作成方法については、「CICS 外部インターフェース・ガイド」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, template\_name, [tcpipSERVICE]*

---

**DFHWB0151** *date time applid tranid* **The CICS Web Support 3270 emulation code was unable to process the data it was passed. [TCPIPSERVICE: *tcpipSERVICE*]**

説明: 3270 データ・ストリームを HTML に、さらにその逆に変換する CICS Web サポート・ルーチンがエラーを検出しました。これは、おそらく、EXEC CICS SEND コマンドで無効な 3270 データ・ストリームが渡されたか、またはブラウザが、EXEC CICS RECEIVE コマンドへの応答として扱うことができないデータを戻したことが原因です。

システムの処置: トランザクションはコード AEIP (INVREQ) で異常終了します。Web 状態管理コードが異常終了したタスクに関して整理されるとき、そのコードからさらにメッセージが出されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CEDX またはトレースを使ってエラーになったデータを見て、送信しているアプリケーションを訂正してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBTC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid, [tcpipSERVICE]*

---

**DFHWB0152** **The request receiver SOCB notify gate is unable to attach transaction *transaction*.**

説明: ソケット・ドメインは、PROTOCOL HTTP または USER を指定した TCPIP サービスに対する要求を受け取りました。しかし、モジュール DFHWSO 内のソケット通知ゲートが、TCPIP サービス定義で指定されたトランザクションに接続できませんでした。

システムの処置: 例外トレース・ポイント 0B07 が出されません。

ユーザーの処置: TCPIP サービス内の定義と、指定されたトランザクションを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWSO

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, client\_ip\_addr, tcpipSERVICE, transaction*

---

**DFHWB0153** *clientaddr tcpipSERVICE* **The web asynchronous socket receive failed with an IO error.**

説明: 未処理の非同期ソケット受信要求が入出力エラーで終了したため、Web ソケット通知ゲートがアクション・コード ERROR で駆動されました。

システムの処置: 例外トレース・ポイント 0B05 が出されません。ソケットはクローズされ、要求は終了します。

ユーザーの処置: このポート上で入出力エラーが発生した理由を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWSO

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, client\_ip\_addr, tcpipSERVICE*

---

**DFHWB0360** *date time applid* **An attempt to establish security for userid *userid* has failed. Transaction *tranid* cannot be started. SAF codes are (*X'safresp',X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp',X'esmreas'*). Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPSERVICE: *tcpipSERVICE***

説明: ユーザー ID *userid* に関してセキュリティを確立しようとしたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

トランザクション *tranid* を開始するためには、CICS Web 接続処理は、ユーザー ID *userid* に関して、TCPIPSERVICE *tcpipSERVICE* 用に指定された分析機能 URM によってこのトランザクションに選択されているとおりにセキュリティが確立される必要があります。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。トランザクション開始の試行が失敗しました。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE

REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「OS/390 MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「External Security Interface (RACROUTE) Macro Reference for MVS and VM」に説明があります。コードの説明について、これらの資料を参照してください。

CICS または外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によ

って、追加の情報を提供するメッセージがさらに作成される場合があります。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *userid*, *trandid*, *X'safresp'*, *X'safreas'*, *X'esmresp'*, *X'esmreas'*, *hostaddr*, *clientaddr*, *tcpiplibservice*

**DFHWP0361** *date time applid* An attempt to attach a CICS Web alias transaction for userid *userid* has failed because the user is not authorized to execute transaction *trandid*.  
**Host IP address:** *hostaddr*. **Client IP address:** *clientaddr*. **TCPIPLSERVICE:** *tcpiplibservice*

説明: ユーザー ID *userid* によってトランザクション *trandid* を開始しようとしたが、その試みが拒否されました。

CICS Web 接続処理は、ユーザー ID *userid* がトランザクション *trandid* を実行する権限がないので、トランザクション ID *trandid* の処理を開始できませんでした。*trandid* は、TCPIPLSERVICE *tcpiplibservice* 用に指定された分析機能 URM によって、この HTTP 要求のために選択されたものです。

システムの処置: トランザクション *trandid* の接続は失敗し、処理が続行されます。

ユーザーの処置: 分析機能 URM がなぜトランザクション *trandid* を選択したかを調べるか、または許可トランザクション ID を選択するように分析機能 URM を変更してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *userid*, *trandid*, *hostaddr*, *clientaddr*, *tcpiplibservice*

**DFHWP0362** *date time applid* CICS Web alias transaction *trandid* could not be started due to an unexpected error. **Host IP address:** *hostaddr*. **Client IP address:** *clientaddr*. **TCPIPLSERVICE:** *tcpiplibservice*

説明: トランザクション *trandid* を開始しようとしたが、予期しないエラーのためにその接続は失敗しました。

CICS Web 接続処理は、予期しないエラーのために、トランザクション ID *trandid* の処理を開始できませんでした。

システムの処置: トランザクション *trandid* の接続は失敗し、処理が続行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *hostaddr*, *clientaddr*, *tcpiplibservice*

**DFHWP0500I** *date time applid trandid* CICS Web Support enable processing is complete. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: 「使用可能にする」処理が正常に完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CWBO

モジュール: DFHWPBM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *hostaddr*

**DFHWP0551** *date time applid trandid* The CICS Web Support server controller detected an abend ACN1 processing a request from client *clientaddr*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: 着信データにデータ変換を行おうとしてプログラム DFHCCNV を呼び出した後、HTTP 呼び出し元がエラーを検出しました。

システムの処置: DFHCCNV テーブルが定義されていないと、CICS Web サポートは着信データにデータ変換を行うことができません。CICS Web サポートの「例外使用禁止」が開始されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: DFHRPL ライブラリー連結の中のライブラリーの 1 つに有効な DFHCCNV テーブルがリンク・エディットされていることを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *clientaddr*, *hostaddr*

**DFHWP0723** *date time applid trandid* The CICS Web analyzer program returned an error response. **Program name:** *progname*. **RESPONSE:** *response*. **REASON:** *reason*. **Host IP address:** *hostaddr*. **Client IP address:** *clientaddr*. **[TCPIPLSERVICE:** *tcpiplibservice*]

説明: CICS Web 接続処理は、要求の通常処理の一部として、必要な処置を調整するためにユーザー置き換え可能分析機能呼び出します。このプログラムは RESPONSE 値と REASON 値を戻します。CICS 提供のサンプル分析機能が使用されている場合、RESPONSE コード値として戻される値は次のとおりです。

0	OK
4	例外
8	無効
12	災害

REASON コード値として戻される値は次のとおりです。

1	着信 HTTP 要求の URL が短すぎます。
2	HTTP 要求の URI に "/" 文字がありません。
3	この要求に関して受信するデータがまだあります。
4	コンバーター・プログラム名の長さが 1 バイト未満か、8 バイトを超えています。

- 5 別名トランザクション ID の長さが 1 バイト未満か、4 バイトを超えています。
- 6 サーバー・プログラム名の長さが 1 バイト未満か、8 バイトを超えています。
- 7 この要求で照会ストリング・データとして渡されたユーザー・トークンが無効です。
- 8 この要求で渡された URL が無効です。

ユーザーは分析機能から戻される応答コードおよび理由コードに独自の値を定義することもできますが、その値は、CICS が提供するコピーブック DFHWBUCD に定義されている値以外でなければなりません。

このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスはメッセージの中で "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: メッセージ内の RESPONSE および REASON コード値を調べて、エラーの原因を判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, progname, response, reason, hostaddr, clientaddr, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0724** *date time applid tranid CICS Web attach processing detected an error linking to the codepage conversion module DFHCCNV.*  
**Host IP address:** *hostaddr. Client IP address:* *clientaddr. [TCPIPSERVICE: tcipSERVICE]*

説明: プログラム DFHCCNV へのリンクでエラーが起きたため、CICS Web 接続処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, hostaddr, clientaddr, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0725** *date time applid tranid CICS Web attach processing detected an error linking to the analyzer user replaceable module progname.*  
**Host IP address:** *hostaddr. Client IP address:* *clientaddr. [TCPIPSERVICE: tcipSERVICE]*

説明: 分析機能ユーザー置き換え可能モジュール (URM) へのリンクでエラーが起きたため、CICS Web 接続処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。tcipSERVICE はオープンされたままですが、使用できません。

ユーザーの処置: 指定されたプログラムが正しくインストールされていて、CICS に定義されていることを確認してください。ユーザー置き換え可能モジュール (URM) が CEMT を使うか、または SPI コマンドを使って動的に設定された場合、そのモジュールが CICS に定義されていて使用可能になっていること、または自動インストールがアクティブならば、そのモジュールがライブラリーに入っていることを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, progname, hostaddr, clientaddr, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB0726** *date time applid tranid CICS Web attach processing cannot link to the analyzer user replaceable program. No analyzer specified.*  
**Host IP address:** *hostaddr. Client IP address:* *clientaddr. [TCPIPSERVICE: tcipSERVICE]*

説明: 処理中の要求に関連付けられている TCPIP SERVICE に関して何も指定されていないので、CICS Web 接続処理は分析機能ユーザー置き換え可能モジュール (URM) を呼び出すことができません。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CEMT SET TCPIP SERVICE を使って URM パラメーターに分析機能名を指定してください。保管されている定義を変更するには CEDA を使用します。CICS Web TCPIP SERVICE (トランザクション ID として CWXN が指定されている TCPIP SERVICE です) 用の URM 名は、URM キーワードに有効な分析プログラム名を指定しなければなりません。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, hostaddr, clientaddr, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWP0727** *date time applid tranid CICS Web Support attach processing could not attach the requested alias transaction tranid. Userid: userid. Host IP address: hostaddr. Client IP address: clientaddr. [TCPIP SERVICE: tcpip service]*

説明: Web 接続処理が、要求された別名トランザクション ID *tranid* を持つ新規タスクを生成することができませんでした。クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は異常終了コード AWB2 で終了します。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。ユーザーの処置: 分析機能ユーザー置き換え可能プログラムで提供される別名トランザクション ID が CICS に対して定義されていることを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, tranid, userid, hostaddr, clientaddr, [tcpip service]*

---

**DFHWP0728** *date time applid tranid CICS Web attach processing detected a storage error within the Web receive module DFHWPBSR. Host IP address: hostaddr. Client IP address: clientaddr. [TCPIP SERVICE: tcpip service]*

説明: プログラム DFHWPBSR 内でストレージ・エラーが起きたため、CICS Web 接続処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、クライアントの要求を処理するストレージが不足していることが最も考えられます。この障害は、EDSA のサイズ制限を大きくする必要があることを表している可能性があります。EDSA のストレージ制限は、EDSALIM システム初期設定パラメーターで指定します。EDSALIM の詳細については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, hostaddr, clientaddr, [tcpip service]*

---

**DFHWP0729** *CICS Web attach processing detected an abend in the analyzer user replaceable module progname. Host IP address: hostaddr. Client IP address: clientaddr. TCPIP SERVICE: tcpip service.*

説明: 分析機能ユーザー置き換え可能モジュールで異常終了が発生したため、CICS Web 接続処理はクライアント要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。

ユーザーの処置: 指定されたプログラムが正しいことを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, progname, hostaddr, clientaddr, {1=, 2=TCPIP SERVICE: tcpip service}*

---

**DFHWP0730** *date time applid tranid CICS Web attach processing encountered an internal error while processing a client request. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr. [TCPIP SERVICE: tcpip service]*

説明: 内部エラーが起きたため、CICS Web 処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ

DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, clientaddr, hostaddr, [tcpip service]*

---

**DFHWP0731** *date time applid tranid CICS Web attach processing detected an HTTP header longer than 32767 bytes. Host IP address: hostaddr. Client IP address: clientaddr. [TCPIP SERVICE: tcpip service]*

説明: HTTP 要求を受信中に、DFHWPBSR が、要求のヘッダー・データが、現在サポートされている最大の 32767 バイトを超えたことを検出しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: Web 要求ブロックを含むトレース項目 0418 が出力されます。HTTP ヘッダー・データの長さは、*user\_data\_offset* フィールドから推定することができます。

ユーザーの処置: 入力された HTTP 要求を調べて、許可された制限内になるようにヘッダー情報の長さを減らしてください。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid,*

*hostaddr, clientaddr, [tcpiptime]*

**DFHWB0732** *date time applid trandid* CICS Web attach processing encountered a sockets I/O error while receiving a client request. Client IP address: *clientaddr*. Host IP address: *hostaddr*. [TCPIP SERVICE: *tcpiptime*]

説明: ソケット入出力エラーが起きたため、CICS Web 処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: Web エラー・プログラム DFHWBEP が起動されますが、クライアントにエラー応答を送ることはできません。要求を打ち切ります。

ユーザーの処置: 関連のソケット・ドメイン・エラー・メッセージがないか検査してください。発生したエラーに関する詳細がそのメッセージに示されているかもしれません。このエラーは、CICS が要求を処理し終える前にユーザーが Web ブラウザを終了させたために起きた可能性があります。この問題が再発する場合、TCP/IP ネットワークに問題があるかもしれません。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, clientaddr, hostaddr, [tcpiptime]*

**DFHWB0734** CICS Web attach processing failed because the SSL handshake with the client has failed. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcpiptime*.

説明: アドレス *ipaddr* のクライアントからの Secure Sockets Layer 接続が TCPIP SERVICE(service) で受信されましたが、SSL ハンドシェイクに失敗しました。

システムの処置: その接続のためのソケットはクローズされず。クライアントは、応答は SSL で暗号化されるものと期待しているのに、SSL サービスが提供できないので、メッセージはクライアントに送られません。ハンドシェイク失敗の理由が、前の DFHSO0123 メッセージに表示されている可能性があります。

ユーザーの処置: DFHSO0123 メッセージが CICS 構成エラーを示している場合は、それを修正してください。それ以外の場合、問題はクライアント・エラーであると考えられるため、無視してもかまいません。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, hostaddr, clientaddr, {1=, 2= TCPIP SERVICE: }, tcpiptime*

**DFHWB0736** The method in the received HTTP request is not implemented by the server. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcpiptime*.

説明: CICS Web サポートは、通常の要求処理の一環として、要求の HTTP バージョンとサーバーでサポートされている HTTP バージョンで提供されるメソッドを検査します。CICS でサポートされる HTTP バージョンは、サーバー・アプリケーションが稼働しているバージョンによって異なります。また、メソッドは有効でも提供されたヘッダーのいずれかが正しくない場合、CICS はこのエラーを報告することがあります。これは、CICS がそのメソッドを実装できないことを意味します。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: 要求内のメソッドを、使用中の HTTP バージョンおよびサーバー・アプリケーションが稼働できるバージョンでサポートされるメソッドに修正してください。サーバーのバージョンは HTTP 応答で提供されています。メソッドが正しい場合は、要求で提供されたすべてのヘッダーが正しいことを確認してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, hostaddr, clientaddr, tcpiptime*

**DFHWB0737** CICS Web support has detected that the version of the incoming HTTP request is higher than the version that CICS supports. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcpiptime*.

説明: CICS Web サポートは、通常の要求処理の一環として、着信 HTTP 要求のバージョンを検査します。これが CICS でサポートされるバージョンより上位で、メソッドが認識されない場合、要求は拒否されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: HTTP 応答内のバージョンを調べて、サポートされる HTTP バージョンを判別してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, trandid, hostaddr, clientaddr, tcpiptime*

**DFHWB0738** CICS Web support has detected that the incoming HTTP request has a version that is at least HTTP/1.1 but has no host header. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcpiptime*.

説明: CICS Web サポートは、通常の要求処理の一環として、着信 HTTP 要求のバージョンを検査します。これが HTTP/1.1 以上で、ホスト・ヘッダーがない場合、要求は仕様準拠していないため、拒否されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: ホスト・ヘッダーを追加してから、要求を再発行してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, hostaddr, clientaddr, tcpipSERVICE*

**DFHWB0739 An invalid EXPECT header has been received. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPSERVICE: *tcpipSERVICE*.**

説明: EXPECT ヘッダーの処理中に、CICS は値が 100-continue ではないことを検出しました。

システムの処置: 要求は HTTP/1.1 ステータス 417 Expectation Failed で拒否されます。

ユーザーの処置: HTTP/1.1 クライアントを修正してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, clientaddr, tcpipSERVICE*

**DFHWB0740 An HTTP/1.0 client has sent an EXPECT header which is not supported. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPSERVICE: *tcpipSERVICE*.**

説明: EXPECT ヘッダーの処理中に、CICS はクライアントが HTTP バージョン 1.1 を使用していないことを検出しました。

システムの処置: 要求は HTTP/1.0 ステータス・コード 400 Bad Request で拒否されます。

ユーザーの処置: HTTP クライアントを修正してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, clientaddr, tcpipSERVICE*

**DFHWB0741 An HTTP socket receive request has timed out. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPSERVICE: *tcpipSERVICE*.**

説明: このメッセージについて以下の 2 つの理由が考えられます。

- クライアントからデータを受信中に CICS がタイムアウトになった。
- CICS が EXPECT: ヘッダーに対する応答で 100 Continue ヘッダーを送信した。

ところが、クライアントがメッセージ本体を送信する前に、要求がタイムアウトになりました。

システムの処置: 以下の原因が考えられます。

- TCPIPSERVICE の SOCKETCLOSE パラメーターの値が小さすぎる。
- クライアントが正しくない Content-Length ヘッダーを送信した。

- クライアントが要求の本体を送信していない。

ユーザーの処置: 以下の解決策が考えられます。

- TCPIPSERVICE の SOCKETCLOSE パラメーターの値を大きくします。
- HTTP クライアントを修正します。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, clientaddr, tcpipSERVICE*

**DFHWB0742 Conversion of HTTP header failed. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPSERVICE: *tcpipSERVICE*.**

説明: インバウンド HTTP ヘッダーの変換が失敗したため、CICS Web 処理は要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題に関する症状ストリングを含むメッセージ DFHME0116 が作成されるはずですが。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するために、例外トレース項目が役立つことがあります。役立たなければ、この問題を解決するために IBM の支援が必要になる場合があります。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これが問題判別に役立ちます。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, hostaddr, clientaddr, {1= , 2= TCPIPSERVICE: }, tcpipSERVICE*

**DFHWB0743 The CICS Web character set code page is invalid. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPSERVICE: *tcpipSERVICE*.**

説明: CICS Web 文字セット・コード・ページが無効であるため、CICS Web 処理は要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題に関する症状ストリングを含むメッセージ DFHME0116 が作成されるはずですが。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するために、例外トレースが役立つことがあります。役立たなければ、この問題を解決するために IBM の支援が必要になる場合があります。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これが問題判別に役立ちます。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, hostaddr, clientaddr, {1= , 2= TCPIPSERVICE: }, tcpipSERVICE*



---

**DFHWB0744 The CICS Web host code page is invalid.**  
**Host IP address:** *hostaddr*. **Client IP address:**  
*clientaddr*. **TCPIPSERVICE:** *tcipSERVICE*.

説明: CICS Web ホスト・コード・ページが無効であるため、CICS Web 処理は要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題に関する症状ストリングを含むメッセージ DFHME0116 が作成されるはずです。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するために、例外トレースが役立つことがあります。役立つなければ、この問題を解決するために IBM の支援が必要になる場合があります。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これが問題判別に役立ちます。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *hostaddr*, *clientaddr*, {1= , 2= *TCPIPSERVICE*: }, *tcipSERVICE*

---

**DFHWB0745 Conversion of user data failed. Host IP address:** *hostaddr*. **Client IP address:**  
*clientaddr*. **TCPIPSERVICE:** *tcipSERVICE*.

説明: インバウンド・ユーザー・データの変換が失敗したため、CICS Web 処理は要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題に関する症状ストリングを含むメッセージ DFHME0116 が作成されるはずです。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するために、例外トレース項目が役立つことがあります。役立つなければ、この問題を解決するために IBM の支援が必要になる場合があります。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これが問題判別に役立ちます。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *hostaddr*, *clientaddr*, {1= , 2= *TCPIPSERVICE*: }, *tcipSERVICE*

---

**DFHWB0746 The maximum length of data that can be received has been exceeded. Client IP address:** *clientaddr*. **TCPIPSERVICE:**  
*tcipSERVICE*.

説明: クライアントによって送信されたデータ量が、TCP/IP サービスで定義された限度を超えました。

システムの処置: 要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 以下の 2 つの原因が考えられます。

- TCPIPSERVICE の MAXDATALEN パラメーターの値が小さすぎる。

- クライアントにエラーがある。

以下の 2 つの解決策があります。

- TCPIPSERVICE の MAXDATALEN パラメーターの値を大きくします。
- HTTP クライアントを修正します。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *clientaddr*, *tcipSERVICE*

---

**DFHWB0747 A Content-Length and Transfer-Encoding conflict has been detected. Client IP address:** *clientaddr*. **TCPIPSERVICE:**  
*tcipSERVICE*.

説明: クライアントが、Content-Length ヘッダーと Transfer-Encoding ヘッダーを含む要求を送信しました。

システムの処置: 要求は拒否されます。

ユーザーの処置: クライアントを修正してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *clientaddr*, *tcipSERVICE*

---

**DFHWB0748 An invalid Chunk Size header has been received. Client IP address:** *clientaddr*.  
**TCPIPSERVICE:** *tcipSERVICE*.

説明: クライアントが、無効なチャンク・サイズ・ヘッダーを含む要求を送信しました。有効な値は 0 から 9、A から F で、最大長は 8 文字です。

システムの処置: 要求は拒否されます。

ユーザーの処置: クライアントを修正してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *clientaddr*, *tcipSERVICE*

---

**DFHWB0749 An invalid Trailer has been received. Client IP address:** *clientaddr*.  
**TCPIPSERVICE:** *tcipSERVICE*.

説明: 長さが 32767 バイトを超えるトレーラーが要求に含まれています。

システムの処置: 要求は拒否されます。

ユーザーの処置: クライアントを修正してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *clientaddr*, *tcipSERVICE*

**DFHWP0750 HTTP warning request header received.**

**Warning:** *warnvalue*. **Host IP address:** *hostaddr*. **Client IP address:** *clientaddr*.

説明: CICS Web サポートが、着信 HTTP 要求で警告ヘッダーを受信しました。この内容は、監査目的でこのメッセージに書き込まれたものです。

システムの処置: 要求の処理は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 警告を確認し、処置が必要かどうかを判断してください。

宛先: CWBW

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *warnvalue*, *hostaddr*, *clientaddr*, *tcpipSERVICE*

**DFHWP0751 A precondition specified by an If-Unmodified-Since header has failed.**

**Client IP address:** *clientaddr*.  
**TCPIPSERVICE:** *tcpipSERVICE*.

説明: 要求に If-Unmodified-Since ヘッダーが含まれており、前提条件が失敗しました。CICS が動的コンテンツまたは静的コンテンツ (文書テンプレート) を返す場合、どの If-Unmodified-Since 前提条件も満たされることが想定されます。

システムの処置: 要求は HTTP/1.1 412 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *clientaddr*, *tcpipSERVICE*

**DFHWP0754 An invalid Chunk has been received.**

**Client IP address:** *clientaddr*.  
**TCPIPSERVICE:** *tcpipSERVICE*.

説明: クライアントがチャンク要求を送信しましたが、チャンクは予期された CRLF 文字で終了していません。

システムの処置: 要求は拒否されます。

ユーザーの処置: クライアントを修正してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *clientaddr*, *tcpipSERVICE*

**DFHWP0756 The host on the received HTTP request is invalid. Client IP address: clientaddr.**

**TCPIPSERVICE:** *tcpipSERVICE*.

説明: CICS が受信した HTTP 要求のホストが無効です。

システムの処置: 要求は拒否されます。

ユーザーの処置: クライアントを修正してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWPBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *trandid*, *clientaddr*, *tcpipSERVICE*

**DFHWP1007 applid Initializing CICS Web environment.**

説明: CICS Web 3270 環境を初期設定するためにモジュール DFHWPBIP が呼び出されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWPBIP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

**DFHWP1008 applid CICS Web environment initialization is complete.**

説明: CICS Web 3270 環境が初期設定されて、Web 関連の作業を処理する準備が整いました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWPBIP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

**DFHWP1009 applid CICS Web environment initialization failed. Reason Code: X'rc'.**

説明: CICS Web 3270 環境の初期設定は、理由コード *rc* で失敗しました。

システムの処置: CICS の初期設定は続行されます。CICS Web 環境のコンポーネントをこれ以降呼び出しても、その呼び出しは失敗します。

ユーザーの処置: 理由コード *rc* を使用して、初期設定が失敗した理由を判別してください。次の理由が考えられます。

- 1 Web アンカー・ブロックのためのストレージを取得できませんでした。
- 3 モジュール DFHWPBST のロードが失敗しました。
- 4 モジュール DFHWPBTC のロードが失敗しました。
- 5 状態管理機能アンカー・ブロックのためのストレージを取得できませんでした。
- 6 状態トークン・ディレクトリーの作成が失敗しました。
- 7 状態管理に必要なサブプールを追加できませんでした。
- 8 HTTP バッファーに必要なサブプールを追加できませんでした。
- 9 WBST ロックの追加が失敗しました。
- A モジュール DFHWPBIP のロードが失敗しました。

理由コード 1 から 9 は DFHWPBIP で発生します。理由コード A は DFHWSIJ1 で発生します。

宛先: コンソール

モジュール: DFHWPBIP、DFHWSIJ1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'rc'*

---

**DFHWB1020** *date time applid CICS Web State Manager could not find state data for state token*  
*token for a {destroy | retrieve | store}*  
**request.** [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: CICS Web 状態管理機能が状態トークン *token* 用の状態データを見つけることができなかつたか、または与えられた状態トークン *token* が存在しません。

システムの処置: Web 状態管理機能は、要求された状態データを破棄、更新、または検索できません。例外トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: 与えられた状態トークン *token* が正しいことを確認してください。使用中の CICS 領域上では、このエラーの原因は、Web 状態管理機能が状態データをアクセスする前に、Web ガーベッジ収集プロセスによって状態データが廃棄されたことが最も考えられます。システム初期設定の「WEBDELAY」パラメーターが適切な値であるかを確認してください。Web ガーベッジ収集間隔および Web 端末タイムアウト間隔の値の設定については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBST

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, token,*  
*{1=destroy, 2=retrieve, 3=store}, [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB1021** *date time applid CICS Web State Manager could not find state data for state token*  
*token in order to perform the {initialize*  
*partnership | make partnership | break*  
*partnership | trigger partner | wait for partner*  
*| query partner | terminate partnership}*  
**request for task number taskid, CICS unit**  
**of work id X'cuowid'.** [TCPIPSERVICE:  
*tcipSERVICE*]

説明: CICS Web 状態管理機能は、与えられた状態トークン *token* が存在しないので、状態トークン *token* 用の状態データを見つけることができませんでした。実行中のタスクはタスク番号 *taskid* であり、関連の CICS 作業単位 ID は *cuowid* です。

システムの処置: そのため、Web 状態管理機能は、実行中のタスクに対して、要求されたパートナー関係の機能を実行することができません。例外トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: 与えられた状態トークン *token* が正しいことを確認してください。使用中の CICS 領域上では、このエラーの原因は、Web 状態管理機能が実行中のタスク用に状態データをアクセスする前に、Web ガーベッジ収集プロセスによって状態データが廃棄されたことが最も考えられます。システム初期設定の「WEBDELAY」パラメーターが適切な値であるかを確認してください。Web ガーベッジ収集間隔および Web 端末タイムアウト間隔の値の設定については、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBST

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, token,*

*{1=initialize partnership, 2=make partnership, 3=break partnership, 4=trigger partner, 5=wait for partner, 6=query partner, 7=terminate partnership}, taskid, X'cuowid', [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB1100 E** *date time applid The CICS Web Support received data from the user application that is longer than expected.*

説明: 環境変数プログラムがユーザー・アプリケーションからデータを受信しました。しかし、受信したデータが予期したよりも長いものでした。

システムの処置: 例外トレース・ポイント 4623 が書き込まれます。環境変数プログラムは異常終了コード AWB7 で異常終了します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムから CICS に送られたデータを調べてください。

宛先: コンソール経路コード 2 および 12、および一時データ・キュー CWBO

モジュール: DFHWBENV

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHWB1200** *date time applid tranid The CICS Web Support analyzer program set parameter*  
**WBRA\_USER\_DATA\_LENGTH to more**  
**than the maximum. Program name:**  
*progname. RESPONSE: response. REASON:*  
*reason. Host IP address: hostaddr. Client IP*  
**address: clientaddr. Data offset: X'dataoffset'.**  
**Data length: X'datalength'. Buffer length:**  
*X'bufferlength'.* [TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*]

説明: Web 接続処理は、要求の通常処理の一部として、必要な処置を調整するためにユーザー置き換え可能分析機能呼び出します。このプログラムは、HTTP 要求のユーザー・データ部分の長さをパラメーター *WBRA\_USER\_DATA\_LENGTH* に入れて渡され、それを変更することができます。しかし、変更された値が、データ・バッファ内の使用可能なスペースを表す許容最大値より大きい値です。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: パラメーター

*WBRA\_USER\_DATA\_LENGTH* を最大値より大きくしないように分析プログラムを変更してください。データ・オフセットとデータ長の合計がバッファ長を超えてはなりません。

宛先: CWBO

モジュール: DFHWBXN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid,*  
*progname, response, reason, hostaddr, clientaddr,*  
*X'dataoffset', X'datalength', X'bufferlength', [tcipSERVICE]*

---

**DFHWB1525** *date time applid tranid The CICS Web Support connection manager received an unexpected response from CICS.*

説明: 接続管理機能が CICS コマンドに対して予期しない応答を受信しました。これは論理エラーです。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。

宛先: CWBO および端末エンド・ユーザー

モジュール: DFHWBC01

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tranid*

**DFHWB1551** *date time applid* The CWBC Transaction is no longer used to manage CICS Web resources.

## DFHWKxxxx メッセージ

**DFHWK0101** *applid* Storage manager failure for DWE Warm Restart.

説明: ウォーム・キーポイントで、LU6.1 および APPC セッションの据え置き作業エレメント (DWE) の保管を処理しています。

カタログに DWE を書き込むために使用されるバッファが失敗しました。前に出されているストレージ (SM) 管理機能ドメイン・メッセージは、失敗の原因を示しています。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、前に出されている SM ドメインのメッセージを参照してください。

AUTO 再始動または COLD CICS 再始動を実行してください。

モジュール: DFHWKP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHWK0102** *applid* Too large a DWE for warm restart - AUTO START should be performed.

説明: ウォーム・キーポイントで、LU6.1 および APPC セッションの据え置き作業エレメント (DWE) の保管を処理しています。DWE が大きすぎて保管できないことが検出されました。

DWE はカタログに保管されますが、そのため最大レコード・サイズの制約が生じてきます。許可される最大サイズは、DFHDWEDS DSECT の中のフィールド DWEMAXLN に指定されています。詳細については、「*CICS Data Areas*」を参照してください。

システムの処置: これ以上 DWE は保管されません。

ウォーム・キーポイント処理が失敗したことを示すようカタログが更新されます。次の自動スタートは、強制的に緊急再始動にされます。

ユーザーの処置: その緊急再始動に備えて適切な処置をとってください。

モジュール: DFHWKP

XMEOUT パラメーター: *applid*

説明: CICS 提供のトランザクション CWBC を実行しようとした。このトランザクションは、今では、CICS Web リソースを管理するために使われていません。

システムの処置: なし。処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS Web リソースの管理方法についての詳細は、*CICS Internet and External Interfaces Guide* および *Resource Definition Guide* を参照してください。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

宛先: CWBO および端末エンド・ユーザー

モジュール: DFHWBC01

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

宛先: コンソール

**DFHWK0103I** *applid* LUC resync required.

説明: 再同期を必要とする未解決の LUC リカバリー単位記述子 (URD) があります。

システムの処置: CICS のシャットダウンは続行されます。

ユーザーの処置: 未解決の再同期作業が、シャットダウン時に存在していました。CICS の再始動時に、再同期を開始するための適切な処置をとってください。

モジュール: DFHWKP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHWK0104I** *applid* External resource manager resync required.

説明: 再同期を必要とする未解決の RMI リカバリー単位記述子 (URD) があります。

システムの処置: CICS のシャットダウンは続行されます。

ユーザーの処置: 未解決の再同期作業が、シャットダウン時に存在していました。AUTO スタートによって CICS を再始動して緊急再始動を行い、未確定の状態を復元してください。

モジュール: DFHWKP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHWK0105I** *applid* Warm keypoint successful.

説明: キーポイント処理が正常に行われました。

システムの処置: シャットダウンが続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWKP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

## DFHXAxxxx メッセージ

### DFHXA6521I *applid* CICS shutdown initiated by CEBT event

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。

システムの処置: CICS は正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRCF

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

### DFHXA6526I *applid* MESSAGE RECEIVED FOR UNSUPPORTED QUEUE X'*queue*'.

説明: このメッセージは CAVM タスクから出されます。16 進数名 X' *queue*' のキューに関して追跡メッセージが出されました。しかし、CICS はこのキューを認識していません。

システムの処置: CICS の処理は続行されますが、キュー X' *queue*' の追跡メッセージは無視されます。

ユーザーの処置: XRF に関して、活動 CICS システムおよび代替 CICS システムが同じ機能レベルにあるかどうか検査してください。

両方の CICS システムが同じレベルにある場合には、活動 CICS システムが代替システムにデータを書き込んだ理由を調べてください。

キュー名が破壊されていないことを確かめてください。

モジュール: DFHXRB

宛先: コンソール

### DFHXA6528I *applid* Unable to link to program *progrname*

説明: このメッセージは CICS タスクから出されます。CICS がプログラム *progrname* にリンクできません。

システムの処置: システム・ダンプが作成されて、CICS は異常終了コード 0210 で異常終了します。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、CICS がプログラム *program* にリンクできない理由を判別してください。

メッセージに示されたプログラムが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリの中にあることを確認してください。 *progrname* が欠落している場合には、プログラムのコピーをとってライブラリの中に入れてください。さらに、動的ストレージ域用に十分なストレージ域が使用できることを確認してください。

モジュール: DFHXRE

XMEOUT パラメーター: *applid*, *progrname*

宛先: コンソール

### DFHXA6530 *applid* START=STANDBY specified. CICS start-up is terminated because XRF=NO is specified

説明: START=STANDBY と XRF=NO を同時に指定することはできません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: オペランド START と XRF の矛盾した値を訂正してください。

モジュール: DFHSC1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

### DFHXA6540I XRF HAS FAILED. ERROR NUMBER *nm* ON XRF MESSAGE DATA SET IN CONTROL INTERVAL WITH RBA HEX'*xx*'.

説明: XRF メッセージ・マネージャーが、メッセージ・データ・セット内の、ここに示された制御インターバルの内容の問題を検出しました。このメッセージに含まれているエラー番号 *nm* は、次の値のうちいずれか 1 つをとります。

- 01 CI には XRF メッセージ・マネージャー制御レコードが含まれていない。
- 02 XRF メッセージ制御レコードには、現在の読み取り周期数よりも小さい周期数が入っている。
- 03 XRF メッセージ・マネージャーが、予定した個所でメッセージ・レコード境界を見つけられなかった。
- 04 XRF メッセージ順序番号エラーが存在する。
- 05 CIDEF が無効である (例えば、フリー域の長さが負数)。
- 06 RDF 内の長さが、メッセージ・レコード・ヘッダーの長さよりも小さいか、またはメッセージ・レコード・ヘッダー内のデータ長と矛盾している。
- 07 レコードの終わりが、CIDEF のデータ長フィールドで定義されたデータ域の外側にある。

システムの処置: 代替システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: 活動システムと代替システムが XRF 監視用に使用しているデータ・セットの対が同一のものであるかどうかを検査してください。同一であれば、これは、CICS エラーであることはほぼ確実であり、代替システムまたは活動システム (あるいはその両方) に影響を及ぼします。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWMRD

宛先: コンソール

### DFHXA6541I XRF HAS FAILED. THE XRF MESSAGE READER IN THE ALTERNATE SYSTEM HAS FALLEN TOO FAR BEHIND.

説明: 代替システムが、活動 CICS が生成するメッセージについていけなくなっています。循環メッセージ・データ・セット内のその読み取り位置が、アクティブ・システムによって「重ね」られています。

システムの処置: 代替システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: 代替システムの遅延の理由を調べて、これを訂正してください。メッセージ・データ・セットが小さすぎて、十分なバッファ操作ができないか、あるいはメッセージ・データ・セットがアクティブ CPC (アクティブ CICS とは限りません) によって予約されている可能性があります。

モジュール: DFHWMRD

宛先: コンソール

**DFHXA6560A applid TERMINATION COMMAND****FAILED: command.**

説明: 活動 CICS を終了させるために引き継ぎ時に代替 CICS によって出されたコマンドが失敗しました。VSE は、プログラム制御のもとで出されたシステム・オペレーター・コマンド *command* を無効として拒否しました。

システムの処置: メッセージ DFHXA6581 または DFHXA6582 も表示されます。代替 CICS は、活動 CICS のジョブの終了を検出するために処理を続行します。

ユーザーの処置: 活動 CICS のジョブが終了することを確認してください。メッセージ DFHXA6581 およびメッセージ DFHXA6582 を参照してください。問題判別には、コンソール・ログのハードコピーが必要になる場合があります。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

**DFHXA6561D applid WHEN ACTIVE JOB****'powerjobname,powerno' ENDS REPLY 'JOB' OR WHEN CPC 'powersysid' HAS FAILED REPLY 'CPC'.**

説明: 引き継ぎの試行時に、メッセージを出した CICS システムは、別の CPC 上で実行されているジョブ *powerjobname* が終了したかどうかを判別することができませんでした。これは、次のいずれかの理由によります。

- CICS が、メッセージに示されたジョブを取り消すためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを出すことができませんでした。この場合、メッセージ DFHXA6560、DFHXA6569、または DFHXA6570 が作成されています。
- CICS が取り消しコマンドを正常に出しましたが、そのジョブが、初期設定パラメーター XRFTODI で指定された期間以後もまだ実行されているようです。

*powerjobname* が活動 CICS である場合、*powerjobname* が終了するまで引き継ぎは続行できません。

システムの処置: システムは応答を待ちます。その間、メッセージを出した CICS システムは処理を続行して、ジョブの終了を検出します。

応答が未処理のうちに終了が検出された場合には、このメッセージは削除されて、メッセージ DFHXA6564 が表示されません。この場合は、応答はもはや必要ありません。

応答が「JOB」の場合には、CICS 自体が終了を検出したかのように処理が続行されます。

応答が「CPC」の場合にもこの状態は発生しますが、同時に CPC がこの時点で操作不能であることを示す内部レコードが作成されます。メッセージに示された CPC 上で実行されているジョブにこのメッセージを出し、まだ応答を待っている他の代替 CICS は、障害の起きた CPC の内部レコードを検出することになります。その後で、これらの代替システムは、未解決の応答を削除して、メッセージ DFHXA6563 を出します。

ユーザーの処置: オペレーターは、次のいずれかを行ってください。

- POWER ジョブ番号 *powerno* を持つジョブ *powerjobname* が終了したことを確認してから、「JOB」と応答する。

- VSE システム ID *powersysid* を持つ CPC がこの時点で操作不能であることを、例えばその CPC 上で SYSTEM RESET を選択して確認し、その後「CPC」と応答する。

CICS が上記の説明通り、随時このメッセージを削除する場合には、処置は必要ありません。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

**DFHXA6562D applid WHEN ACTIVE JOB****'powerjobname,powerno' ENDS REPLY 'GO.'**

説明: 代替 CICS による引き継ぎは、次のいずれかの理由のため続行できません。

1. 代替 CICS は、活動 CICS のジョブを終了するためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを出しましたが、失敗しました。メッセージ DFHXA6560 が出されました。
2. 活動 CICS のジョブを終了するためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを出したとき、活動 CICS のジョブが終了するためにかかった時間が、システム初期設定パラメーター XRFTODI で指定された期間を超過しました。

活動 CICS のジョブは、代替 CICS と同じプロセッサ上で開始されました。

メッセージに示された POWER ジョブ名および POWER ジョブ番号を持つ活動 CICS のジョブが終了するまで、引き継ぎは続行できません。

システムの処置: 代替 CICS は応答を待ちますが、活動 CICS のジョブの終了を検出するためにその処理を続行します。このメッセージに対する応答が未処理の間に活動 CICS のジョブの終了が起きた場合には、このメッセージは削除され、メッセージ DFHXA6564 が表示されて、引き継ぎが続行されます。この場合、応答は不要です。応答として GO が入力された場合には、引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: この応答がまだ未解決の間に、メッセージに示されたジョブの終了が起きた場合には、メッセージは削除されます。システム・オペレーターによる処置は不要です。この場合、メッセージ DFHXA6564 が表示されます。メッセージに示されたジョブ名および POWER ジョブ番号を持つ活動 CICS のジョブが終了することを確認してください。終了が起きたとき、メッセージ DFHXA6564 が表示されていないければ、GO と応答してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

**DFHXA6563I applid ACTIVE JOB 'powerjobname,powerno' ENDED DUE TO FAILURE OF CPC****'powersysid'.**

説明: VSE システム ID *powersysid* を持つ CPC が失敗し、そのためにジョブ名 *powerjobname* および POWER ジョブ番号 *powerno* を持つ活動 CICS のジョブが終了したとみなされることを、代替 CICS が引き継ぎ時に検出しました。

システムの処置: 代替 CICS は、引き継ぎ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHWTI  
宛先: コンソール

---

**DFHXA6564I** *applid* TERMINATION OF ACTIVE JOB  
'*powerjobname,powerno*' DETECTED.

説明: 引き継ぎ時に、代替 CICS は、メッセージに示された POWER ジョブ名および POWER ジョブ番号を持つ活動 CICS のジョブが終了したことを検出しました。  
システムの処置: 代替 CICS は、引き継ぎ処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHWTI  
宛先: コンソール

---

**DFHXA6566I** *applid modname* NOT LINK-EDITED  
REENTERABLE.

説明: モジュール *modname* (現在使用中の CLT) は、SVA 属性でリンク・エディットされていないことが検出されました。  
システム初期設定オプション CLT=xx は、この代替 CICS が現在使用している CLT の接尾部を指定します。  
システムの処置: さらにメッセージが出されて、CICS がとる処置が説明されます。  
ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。  
モジュール: DFHWTI  
宛先: コンソール

---

**DFHXA6567I** *applid APPLID applid2* NOT FOUND IN  
*modname*.

説明: モジュール *modname* (この代替 CICS が現在使用している CLT) は、アプリケーション ID *applid2* を含んでいないことが検出されました。  
システムの処置: さらにメッセージが出されて、CICS がとる処置が説明されます。  
ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。  
モジュール: DFHWTI  
宛先: コンソール

---

**DFHXA6568I** *applid JOBNAME jobname* NOT FOUND IN  
*modname*.

説明: CLT は、この代替 CICS のアプリケーション ID に関連したジョブ名 *jobname* を含んでいないことが検出されました。  
*jobname* は、引き継ぎ時に、活動 CICS のジョブを取り消すために代替 CICS が使用したはずのジョブ名です。  
システムの処置: さらにメッセージが出されて、CICS がとる処置が説明されます。  
ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。  
モジュール: DFHWTI  
宛先: コンソール

---

**DFHXA6572I** *applid* UNABLE TO LOAD *modname*.

説明: このメッセージを出した代替 CICS が使用できるような CLT によって定義されたモジュール *modname* を、ロードすることができません。  
システムの処置: 代替 CICS によってさらにメッセージが出され、取られる処置について説明されます。  
ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。  
モジュール: DFHWTI  
宛先: コンソール

---

**DFHXA6573I** *applid* LOAD MODULE *modname* IS NOT  
VALID.

説明: この CICS システムが使用できるように CLT が定義したモジュール *modname* は無効です。  
システムの処置: 代替 CICS によってさらにメッセージが出され、取られる処置について説明されます。  
ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。  
モジュール: DFHWTI  
宛先: コンソール

---

**DFHXA6574I** *applid* ERROR FOUND WITH DFHCLTxx.

説明: このメッセージを出した代替 CICS が、CLT のロードができないか、もしくは CLT の内容に関して検査を行いエラーを見つけました。指定された CLT がこれ以降の引き継ぎ時に使用された場合、その引き継ぎは正常に行われない場合があります。新規または訂正済み CLT を使用可能にして、これを引き継ぎ時にロードすることができます。  
システムの処置: 処理を続行します。  
ユーザーの処置: 代替 CICS のジョブが活動 CICS の引き継ぎを実行できる許可を持っているかどうかを確認してください。許可されていない場合には、該当する処置をとってください。

この代替 CICS が前に出したメッセージを見つけてください。そのメッセージには、CLT エラーの詳細が示されています。

この代替 CICS で正しい CLT が使用できるようにするために必要な、適切なソース・コードの編集、アセンブリーおよびリンク・エディットのタスクを実行してください。

モジュール: DFHWTI  
宛先: コンソール

---

**DFHXA6576I** *applid* CLT PROCESSING NOT POSSIBLE  
OWING TO ERROR IN DFHCLTxx.

説明: 引き継ぎ時に、このメッセージを出した代替 CICS が CLT の内容に関して検査を行い、エラーを見つけました。

前のメッセージがこのエラーを示しています。

システムの処置: CLT 内のコマンドは、この代替 CICS によっては出されません。他の引き継ぎ処理が続行されます。  
ユーザーの処置: 代替 CICS のジョブが活動 CICS の引き継ぎを実行できる許可を持っているかどうかを検査してください。許可を持っていない場合は適切な処置を取ってください。

この引き継ぎが正常に行われるようにするためには、システ

## DFHXA6577D • DFHXA6578D

ム・オペレーターは、XRF 複合体内の活動 CICS のジョブと代替 CICS のジョブを実行ならびに調整する必要があります。

CLT を訂正するのに必要なソース・コードの編集、アセンブリおよびリンク・エディット・タスクを実行してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

---

```
DFHXA6577D applid NOT AUTHORIZED TO CANCEL
'powerjobname,powerno' ON CPC 'powersysid'.
IF OK AND ENDED, RELPY 'JOB' OR
'RPC'.
```

説明: メッセージを出している代替 CICS が、指定された活動 CICS のジョブの引き継ぎを試みています。CLT で引き継ぎを完全に許可するために必要なデータを見つけることができませんでした。これは、代替がテーブルをロードできないか、あるいは *powerjobname* が見つからないためです。

- 活動 CICS で、CLT 内にありません。あるいは
- CLT が無効であるためです。

さらに出されるメッセージでは、CLT でのエラーを示しているか、CLT が無効である理由を明確にしています。

さらに、代替 CICS による引き継ぎは、次のいずれかの理由のため続行できません。

1. 現在使用中の CLT の中に欠落している情報があるため、代替 CICS は、活動状態の CICS を終了させるための適切なシステム・オペレーター・コマンドを作成できません。CLT エラーを示すメッセージが前に出されています。
2. 代替 CICS は、活動 CICS のジョブを終了するためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを出しましたが、失敗しました。メッセージ DFHXA6560 が出されました。
3. 活動 CICS のジョブを終了するためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを出したとき、活動 CICS のジョブが終了するまでにかかった時間が、システム初期設定パラメーター XRFTODI で指定された期間を超過しました。

活動 CICS のジョブは、代替 CICS とは異なるプロセッサ上で開始されました。以下が行われるまで、引き継ぎを続行できません。

1. POWER ジョブ名 *powerjobname* および POWER ジョブ番号 *powerno* を持つ活動 CICS のジョブが終了するまで。
2. POWER システム ID *powersysid* を持つプロセッサが作動不能になるまで。

システムの処置: メッセージを出している CICS は CANCEL を出すことはできないものの、XRF 制御データ・セットを介して、引き継ぎ要求について活動状態の CICS システムにアラートを出そうとします。ほとんどの場合、これによって活動状態のシステムは終了の実行を開始します。

代替 CICS は応答を待ちますが、活動 CICS のジョブの終了を検出するためにその処理を続行します。

このメッセージに対する応答が未処理の間に活動 CICS のジョブの終了が起きた場合には、このメッセージは削除され、メッセージ DFHXA6564 が表示されて、引き継ぎが続行されます。この場合、応答は不要です。

応答として JOB が入力された場合には、引き継ぎが続行されます。

応答として CPC を入力すると、引き継ぎは続行されますが、プロセッサが操作不能であることを示す内部レコードがこの時点で作成されます。このメッセージを出し、応答を待っているその他の CICS システムで、その活動 CICS のジョブが指定されたプロセッサ上で実行されていたものは、障害を起したプロセッサの内部レコードを検出します。その後で、これらの代替システムは、未解決の応答を削除して、メッセージ DFHXA6563 を出し、引き継ぎを続行します。

ユーザーの処置: 代替 CICS のジョブが活動 CICS の引き継ぎを実行できる許可を持っているかどうかを確認し、持っていないければ適切な処置をとってください。この応答がまだ未解決の間に、メッセージに示されたジョブの終了が起きた場合には、メッセージは削除されます。システム・オペレーターによる処置は不要です。この場合、メッセージ DFHXA6564 が表示されます。

引き継ぎを実行する代替 CICS システムがほかにない場合には、次のことを行ってください。

1. メッセージに示されたジョブ名および POWER ジョブ番号を持つ活動 CICS のジョブが終了することを確認してください。これは、次のステップに移る前に行う必要があります。
2. 終了が起きたとき、メッセージ DFHXA6564 が表示されていないければ、JOB と応答してください。

引き継ぎを実行する代替 CICS が複数存在する場合には、それぞれの DFHXA6561 メッセージに上記のように応答するか、あるいは次のことを行ってください。

1. メッセージに示された POWER システム ID (*powersysid*) を持つプロセッサが、この時点で作動不能であることを確認してください。例えば、システム・オペレーターは、関連するプロセッサでシステム・リセットを選択することができます。これは、次のステップに移る前に行う必要があります。
2. CPC と応答してください。

CLT の訂正に必要な該当ソース・コードの編集、アセンブリ、およびリンク・エディットの作業を行ってください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

---

```
DFHXA6578D applid NOT AUTHORIZED TO CANCEL
'powerjobname,powerno'. IF OK AND ENDED,
REPLY 'GO'.
```

説明: メッセージを出している代替 CICS が、メッセージに示された活動 CICS のジョブの引き継ぎを試みっていますが、使用中の CLT には、引き継ぎを完全に許可するために必要な内容が入っていません。これは、代替がテーブルをロードできないか、あるいは *powerjobname* が見つからないためです。

- 活動 CICS で、CLT 内にありません。あるいは
- CLT が無効であるためです。

さらに出されるメッセージでは、CLT でのエラーを示しているか、CLT が無効である理由を明確にしています。



さらに、代替 CICS による引き継ぎは、次のいずれかの理由のため続行できません。

1. 代替 CICS は、活動 CICS のジョブを終了するためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを出しましたが、失敗しました。メッセージ DFHXA6560 が出されました。
2. 活動 CICS のジョブを終了するためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを出したとき、活動 CICS のジョブが終了するまでに掛かった時間が、システム初期設定パラメーター XRFTODI で指定された期間を超過しました。

活動 CICS のジョブは、代替 CICS と同じプロセッサ上で開始されました。

POWER ジョブ名 *powerjobname* および POWER ジョブ番号 *powerno* を持つ活動 CICS のジョブが終了するまで、引き継ぎは続行できません。

システムの処置: メッセージを出している CICS は CANCEL を出すことはできないものの、XRF 制御データ・セットを介して、引き継ぎ要求について活動状態の CICS システムにアラートを出そうとします。ほとんどの場合、これによって活動状態のシステムは終了の実行を開始します。

代替 CICS は応答を待ちますが、活動 CICS のジョブの終了を検出するためにその処理を続行します。

このメッセージに対する応答が未処理の間に活動 CICS のジョブの終了が起きた場合には、このメッセージは削除され、メッセージ DFHXA6564 が表示されて、引き継ぎが続行されます。この場合、応答は不要です。

GO と応答すると、引き継ぎは続行されます。

ユーザーの処置: 代替 CICS のジョブが活動 CICS の引き継ぎを実行できる許可を持っているかどうかを確認し、持っていない場合は適切な処置をとってください。

この応答がまだ未解決の間に、メッセージに示されたジョブの終了が起きた場合には、メッセージは削除されます。システム・オペレーターによる処置は不要です。この場合、メッセージ DFHXA6564 が表示されます。

メッセージに示されたジョブ名および POWER ジョブ番号を持つ活動 CICS のジョブが終了することを確認してください。終了が起きたとき、メッセージ DFHXA6564 が表示されていなければ、GO と応答してください。

CLT を訂正するのに必要な適切なソース・コードの編集、アセンブリー、およびリンク・エディット・タスクを実行してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

---

#### DFHXA6580I PROGRAM LOGIC ERROR DETECTED.

説明: CICS XRF CAVM 処理の続行を妨げる内部エラーが検出されました。

この時点で処理されていた CAVM サービスによって、CICS は、異常終了する場合としない場合があります。

サービスを処理するための CAVM タスクは、異常終了しました。

診断: レジスター 2 は、DFHWTI グローバル・ストレージ用の基底レジスターです。このストレージは、目印フィールド WTISTOR で始まります。このストレージの形式は、ソース・メンバー DFHWTI の DSECT WSTORAGE に定義されています。

グローバル・ストレージに複写された DFHWTI 要求引数は、フィールド WGLODATA から始まります。

ソース・メンバー DFHWTADS は、グローバル・ストレージ引数の形式を定義します。

フィールド WGLLOCA には、DFHWTI 内のルーチン用の最初のレジスター保管域のアドレスが収められています。

レジスター 4 は、DFHWTI 内の各ルーチン用のローカル・ストレージの基底レジスターです。その形式は、書式 WLOCxxx の名前を持つ DSECT 内に定義されています。ただし、xxx は、ルーチンの短い名前です (ルーチン名のリストについては下記を参照してください)。

これらの DSECT は、ソース・メンバー DFHWTI の中にあります。最初のハーフワードは、ルーチンの内部戻りコードです。内部戻りコードに使用される値は、PRD1.BASE のソース・メンバー DFHWTADS 中のフィールド WTARRC で定義された DFHWTI 要求の理由コードと同じです。

さらに、形式 X'40nn' の内部戻りコードが使用されます。X'40F0' は、「内部論理エラー」変数名 RCLOGERR です。

これと同じ形式を持つその他の内部戻りコードは、ローカル・ストレージ DSECT 内に定義してあります。

CAVM 監視プログラム状態サービスの DFHWTI 要求タイプは、DFHWTI 初期設定および終了ルーチン、フィールド名 WWTIREQ、ソース・メンバー DFHWTI 内の DSECT WLOCWTI に関連付けられたローカル・ストレージに複写されます。

レジスター 6 は、DFHWTI 内の各ルーチン用の基底レジスターです。このレジスターは、設定された場合、ルーチンの完全名 (以下のルーチン名のリストを参照) の目印フィールドの直後の位置を指し示します。

レジスター 13 は、DFHWTI 内のルーチンに対してローカルなレジスター保管域のための基底レジスターです。これらの保管域の形式は、最初のフルワードにルーチンの短い名前 (名前のリストを参照) が入っていることを除けば、標準の VSE 形式と同じです。これらの保管域は、ルーチンへの入り口に設定され、戻り時にゼロにされる逆方向ポインターおよび順方向ポインターを使用する標準的な方法で連鎖されています。

レジスター保管域の物理的な位置は、ルーチンに対してローカルなストレージよりも前になります。

ルーチンが CLT をアクセスする必要がある場合は、CLT のアドレスはそのルーチンのローカル・ストレージ内にあります。CLT アドレスのフィールド名の書式は、WxxxCLTA です。ただし、xxx はルーチンの短い名前です。

システムの処置: 一般に、この CICS ジョブが出した CAVM 要求は失敗します。失敗がこの CICS ジョブによる処理に及

ばす影響については、この後に出されるメッセージを参照してください。

CAVM XRF 監視プログラム状態処理は、システム異常終了コード 0214 で VSE 異常終了を出し、VSE SDUMP ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために、ジョブ出力およびコンソール・ログを保存してください。

SDUMP を使用して、レジスター 6 またはレジスター保管域チェーン・フィールドからエラーを検出した DFHWTI ルーチンを見つけてください。

ルーチンのローカル・ストレージに現在設定されている内部戻りコードを見つけてください。

理由コード値、ローカル・ストレージおよびグローバル・ストレージの残っている内容を使用して、ルーチンによってとられた処置の原因の判別を試みてください。

PRINT NOGEN オプションを指定してアセンブルされた CLT のアセンブリー・リストが必要になる場合もあります。

ルーチン名 長い名前は、次のものについて使用されます。

- ルーチン入り口点の名前
- ルーチン入り口目印

短い名前は、次のものについて使用されます。

- ルーチン・レジスター保管域目印
- ルーチン・ローカル・ストレージ・フィールド名の 2 から 4 番目の文字
- ルーチン・ローカル・ストレージ DSECT 名の 5 から 7 番目の文字
- ルーチン・ラベルの 1 から 3 番目の文字

ルーチンには次のものがあります。

長い名前 短い名前

TIPENTRY

TIP

OATERM

OAT

OAWAIT

OAW

VERCLT

VCL

CLPENTRY

CLE

CLPROC

CLP

OPCLT OCL

CHECKT

CHT

OPCDATA

OPC

INQPWR

IPW

MUVENTRY

MUV

1. 標準の DFHVM フィールドを持つモジュール入り口点

2. モジュールの先頭を入り口点として持ち、かつローカル・ストレージに SIJSTOR を使用するサブタスク

エラーの診断の詳しい手引きについては、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

#### DFHXA6581I applid FAILED IN XPCC-IDENT OR CONNECT. R15=X'r15', IJBXRETC=X'retcode'.

説明: 代替 CICS は、VSE/POWER (オペレーティング・システム・スプーラー) への区画間接続を確認しようとして失敗しました。r15 はレジスター 15 の内容です。retcode は VSE XPCC マクロからの戻りコードです。

システムの処置: 通常、この CICS XRF ジョブによって出された CAVM 要求は失敗します。この CICS XRF ジョブによる処理への影響については、後で出されるメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 戻りコードおよびレジスター 15 の内容の意味については、「VSE/POWER 適用業務プログラミング」を参照してください。以下のいずれかの理由のために、障害が発生する場合があります。

- システムに関して POWER が開始されなかった。
- POWER がまだ VSE に接続されていなかった。
- VSE に、制御ブロックをセットアップするストレージがない。
- CICS に内部エラーがある。

戻りコードおよび出された他のメッセージを調べた後でも、まだ問題を解決できなければ、この問題を完全に解決するために IBM のサポートが必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

#### DFHXA6582I applid UNEXPECTED OUTCOME OF XPCC-SEND R15=X'r15', IJBXRETC=X'retcode', PXPFBKCD=X'powercode'.

説明: 代替 CICS は DISPLAY コマンドを VSE スプーラー POWER に送り、活動ジョブの情報を要求しました。要求は失敗しました。r15 はレジスター 15 の内容です。retcode は、VSE マクロ XPCC からの戻りコードです。powercode は、フィールド PXPFBKCD 内の POWER フィードバック・コードです。

システムの処置: CICS XRF ジョブは取り消されます。

ユーザーの処置: このエラーは起こらないはずのものであり、呼び出しの形式設定が間違っているか、あるいは POWER または XPCC 内の障害を意味しています。戻りコードおよびレジスター 15 の内容の意味については、「VSE/POWER 適用業務プログラミング」を参照してください。

この問題を解決するためには IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

---

**DFHXA6583I applid CANNOT LOCATE DFHCDDAN IN SVA.**

説明: CICS は、同じ CPC 内の他の CICS システムが共有している情報をアクセスしようとしていました。この試みは失敗しました。それは、共用データ用の SVA 内のアンカーとして働くモジュール DFHCDDAN が、ロードできなかったか、または非共用ストレージ内にあることが分かったためです。

システムの処置: CICS は実行を続行します。共用データに関するこの問い合わせ (またはこれ以降の問い合わせ) は、「該当データなし」の場合として取り扱われます。

ユーザーの処置: このエラーは、システム・セットアップのエラーを意味します。DFHCDDAN が存在していて、SVA 適格モジュールとして定義されていることを確認してください。それでも障害が取り除くことができない場合には、問題を解決するために IBM からのサポートが必要になります。手順につ

いては、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

---

**DFHXA6599I applid STATE CHANGE WORK ELEMENT GETVIS FAILURE**

説明: CAVM によって出された 16 MB 境界より上の作業エレメント・ストレージを求める GETVIS 要求は失敗しました。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: CICS 区画のサイズを大きくするか、または CICS ジョブの EDSALIM システム初期設定パラメーターに指定されるサイズを小さくすることにより、16 MB 境界より上の使用可能な区画 GETVIS の量を増やしてください。

モジュール: DFHXRB

宛先: コンソール

---

## DFHXCxxxx メッセージ

---

**DFHXC6455I SVC GETVIS FAILED IN XRF SIGNOFF**

説明: CAVM サインオフ・コンポーネントが出した SVC ストレージ要求は失敗しました。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 使用可能な GETVIS が使い果たされている場合には、区画のサイズを増やすか、あるいは EDSALIM システム初期設定パラメーターの値を小さくしてください。

使い果たされているわけではない場合には、問題は CICS 論理エラーが原因と思われるので、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWSSOF

宛先: コンソール

---

**DFHXC6456I SVC GETVIS FAILED IN XRF SIGNON**

説明: CAVM サインオン・コンポーネントが出した SVC ストレージ要求は失敗しました。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 使用可能な GETVIS が使い果たされている場合には、区画のサイズを増やすか、あるいは EDSALIM システム初期設定パラメーターの値を小さくしてください。

使い果たされているわけではない場合には、問題は CICS 論理エラーが原因と思われるので、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

---

**DFHXC6457I SVC GETVIS FAILED IN XRF SIGNON**

説明: CAVM サインオン・コンポーネントが出した SVC ストレージ要求は失敗しました。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 使用可能な GETVIS が使い果たされている場合には、区画のサイズを増やすか、あるいは EDSALIM システム初期設定パラメーターの値を小さくしてください。

使い果たされているわけではない場合には、問題は CICS 論理

エラーが原因と思われるので、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

---

**DFHXC6600I applid CAVM DATA SET INITIALIZATION FAILED.**

説明: CICS ジョブは、CAVM へのサインオンを試みましたが、そのサインオン要求は失敗しました。これは、CAVM データ・セットを正しく初期設定できなかったためです。これは次のいずれかによるものです。

- データ・セット形式設定サブタスクが処理を 2 分以内に完了しなかった。これが起こる可能性があるのは、他の CPC 内で実行されているジョブ (CICS とは限らない) から出される LOCK が原因で、CAVM データ・セットの DASD ボリュームまたは VSAM カタログが長い時間アクセス不能のままになる場合です。
- CAVM データ・セットの 1 つが別の CICS ジョブによってすでに形式設定されているものの、もう一方のデータ・セットが空であるか、あるいはデータ・セットの別のユーザーと競合しているためにそのデータ・セットをオープンできないことを、SIGNON が見つけた。SIGNON は、もう一方の CICS ジョブがデータ・セットの形式設定を終了するのを待ちましたが、5 分間たっても形式設定は終了しませんでした。これが起こる可能性があるのは、データ・セットの形式設定中に CICS ジョブが障害を起こした場合です。先に出されたメッセージで報告された特定のエラーのために、データ・セット初期設定の正常終了が失敗しました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 必要なら JCL を訂正するか、あるいは CAVM データ・セットを再定義して、CICS ジョブを再サブミットしてください。CAVM データ・セットについては、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6603I** *applid* CAVM DATA SET *dsname* IS INVALID.

説明: CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしたが、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6604I** *applid* CAVM DATA SET *dsname* MUST BE A VSAM ESDS.

説明: CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしたが、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6605I** *applid* CI SIZE OF PAIRED CAVM DATA SETS MUST BE EQUAL.

説明: CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしたが、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6606I** *applid* CI SIZE OF CAVM DATA SET *dsname* MUST BE AT LEAST 4K.

説明: CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしたが、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6608I** *applid* I/O ERROR ACCESSING CAVM DATA SET *dsname* DURING SIGNON.

説明: CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットにアクセスしようとしたが、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6609I** *applid* CAVM DATA SET *dsname* IS OF THE WRONG TYPE OR ITS FORMAT IS INCOMPATIBLE WITH THIS CODE LEVEL.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。しかし、CAVM は、データ・セット制御レコード中の情報が本来の使用法に一致していないか、あるいは互換性のないレベルの CAVM コードによってそこに入れられたことを検出しました。これが起きるのは次のような場合です。

- *dblname* DFHXCTL を持つデータ・セットが空になっておらず、しかもそのデータ・セットが、CAVM メッセージ・データ・セット以外のもののためにすでに使用されているか、もしくは、互換性のないレベルの CAVM コードによってすでに使用されている。
- *dblname* DFHXMSG を持つデータ・セットが空になっておらず、しかもそのデータ・セットが、CAVM メッセージ・データ・セット以外のもののためにすでに使用されているか、もしくは、互換性のないレベルの CAVM コードによってすでに使用されている。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6610I** *applid* CAVM DATA SET *dsname* DOES NOT BELONG TO THE GENERIC APPLID SPECIFIED AT SIGNON.

説明: CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。しかし、サインオン要求で指定された総称アプリケーション ID が CAVM データ・セットの制御レコード内に保管されている総称アプリケーション ID と一致していないことを、データ・セットが最初に形式設定されたときに、CAVM が見つけました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

---

**DFHXC6611I applid CAVM DATA SETS DO NOT  
FORM A VALID PAIR.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。しかし、CAVM は、データ・セットの最初の形式設定のときに 2 つのデータ・セットの制御レコード内に入れられたタイム・スタンプが一致していないことを見つめました。2 つの CAVM データ・セットが最初に使用されたときに、それらのデータ・セットが単一の CICS ジョブによって 1 対のものとして使用されていない限り、この問題が起きます。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

---

**DFHXC6618I applid SPACE ALLOCATED TO CAVM  
DATA SET dsname IS INADEQUATE.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は、CAVM データ・セットをフォーマットしようとしています、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

---

**DFHXC6620I applid SIGNON IS WAITING TO LOCK  
OR ACCESS A CAVM DATA SET.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM にサインオンを出しました。CAVM が CAVM 制御データ・セットを LOCK しようとしているか、あるいは制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セットをアクセスしようとしています、かなり長い時間にわたって、要求されたリソースが使用不能のままになっているか、または未解決の入出力要求が完了していないかのいずれかが起きています。同一の CAVM データ・セットを使用していて、かつサインオン要求、サインオフ要求または引き継ぎ要求を実行している別の CICS ジョブが、正常な LOCK 要求を出した後に入出力の遅延などによって停止されていない限り、この LOCK の試みが失敗することはありません。

システムの処置: 短い遅延の後に、このメッセージを出した CICS ジョブは、LOCK マクロを出し直すか、または未解決の入出力が完了したかどうかを検査するかのいずれかを行います。要求されたリソースがこの時点で利用可能になっているか、あるいは入出力要求が完了していれば、正常な処理が続行されます。そうでない場合には、このメッセージが再び出されます。

ユーザーの処置: 原因がプロセッサの障害である場合には、VSE コマンドの UNLOCK を出してください。UNLOCK コマンドの形式は次のとおりです。

UNLOCK SYSTEM=sysid

ここで、*sysid* は作動不能プロセッサのプロセッサ ID です。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

---

**DFHXC6621I applid CAVM SIGNON CANNOT  
PROCEED BECAUSE POWER IS EITHER  
NOT RUNNING OR NOT RESPONDING  
TO JOB STATUS ENQUIRIES.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM にサインオンを出しました。この要求を処理するためには、CAVM は制御データ・セット中の項目で識別されるジョブの状況を知っている必要がありますが、メッセージ・テキストに示された理由のために、この情報を得ることができません。システムの処置: 1 分間の遅延の後に、このメッセージを表示した CICS ジョブは、失敗したジョブの状況照会を出し直します。このときに要求が正常に完了すれば、正常な処理が続行されます。そうでない場合には、このメッセージが再び出されます。

ユーザーの処置: POWER が実行されていない場合、可能ならそれを再始動してください。それ以外の場合には、この条件が存続していれば、ジョブ状況照会に対する応答を妨げている問題の訂正を試みてください。場合によっては、単に POWER を停止させてから再度始動するだけで、希望する効果が得られる場合もあります。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

---

**DFHXC6622I applid ERROR IN INQUIRE HEALTH EXIT  
DURING SIGNON.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブは、CAVM に対して SIGNON を出しましたが、INQUIRE HEALTH 出口 (DFHXRC) がサインオン処理時に呼び出されたときに、この出口によって CAVM に戻された戻りコードが非ゼロであることを見つけました。このメッセージが出された場合は例外なく、CAVM または CICS 内に内部エラーがあることを意味しています。

システムの処置: CAVM SIGNON は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

---

**DFHXC6623I applid CAVM SIGNON IMPOSSIBLE AT  
PRESENT BECAUSE ANOTHER JOB HAS  
SIGNED ON WITH THE SAME SPECIFIC  
APPLID.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 誤った特定の APPLID が新しいジョブとして要求されたり、競合するジョブが誤って開始されない限り、処置は不要です。これらのいずれかに該当する場合は、適切な訂正を加えるか、または競合するジョブを取り消した後に、失敗した CICS ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6624I applid CAVM SIGN ON ABANDONED  
BECAUSE THIS PARTITION IS NOT  
RUNNING UNDER POWER**

説明: これは、区画へのサインオンを試みているときに、CAVM タスクによって出された通知メッセージです。これは、CICS の設定が正しく行われていないことを示しています。その理由は、後で行われる引き継ぎの正しい操作では、区画が POWER の制御下になければならないためです。

システムの処置: CICS は初期設定を中止します。後続のメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: セットアップを訂正してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6625I applid CAVM SIGNON IMPOSSIBLE  
BECAUSE CAVM DATA SETS ARE  
UNUSABLE.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6620 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6626D applid POSSIBLE CAVM SIGNON  
CONFLICT. IS JOB *powerjobname*, *powerno*  
RUNNING ON SYSTEM *powersysid*? REPLY  
'YES' OR 'NO'.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが CAVM への SIGNON を出しましたが、CAVM がこの要求を受け入れても安全であるかどうかを決めるためには、オペレーターの援助が必要です。CAVM は、制御データ・セットが、以下のすべての条件を満たしているジョブを参照していることを検出しました。

- POWER は、このジョブがまだ実行中であると考えている。
- POWER の判断が正しい場合は、現行のサインオン要求は拒否されなければならない。なぜなら、このジョブの存在が、現行のサインオン要求と競合するからです。
- このジョブは、サインオンを試みている CICS ジョブと同一の CPC 内で実行されていない。

- このジョブの監視信号が存在していない。

このような状況は、競合ジョブが実行されていた CPC が障害を起こしたために生じた可能性があります。その場合には、CAVM は、サインオン要求を拒否する別の理由を見つけない限り、この要求を拒否できません。このメッセージを表示したジョブが CICS 活動ジョブである場合、競合ジョブは、別の活動ジョブか、または引き継ぎを開始した代替ジョブです。このメッセージを表示したジョブが CICS 代替ジョブである場合、競合ジョブは、別の代替ジョブです。競合ジョブの POWER ジョブ名、ジョブ ID、およびシステム ID は、メッセージ・テキストに示されています。

システムの処置: CICS ジョブは応答を待ちます。

ユーザーの処置: このメッセージを表示したジョブが CICS 活動ジョブである場合には、次の場合に限って NO と応答してください。

1. メッセージ・テキストで示されたジョブが実行中ではないことが確実である場合。ジョブが実行されていた CPC のシステム・リセットを実行して、ジョブが確かに実行されていないことを確認しなければならない場合もあります。  
および
2. このメッセージを出したジョブが、自分の CAVM サインオン要求を続行して、CICS 活動ジョブになる必要がある場合。

上記以外の場合は、YES と応答してください。

このメッセージを表示したジョブが CICS 代替ジョブであるときは、次の場合に限って NO と応答してください。

1. メッセージ・テキストで示されたジョブが実行中ではないことが確実である場合。ジョブが実行されていた CPC のシステム・リセットを実行して、ジョブが確かに実行されていないことを確認しなければならない場合もあります。  
および
2. そのメッセージを出したジョブが、自分の CAVM サインオン要求を続行して、CICS 代替ジョブになる必要がある場合。

上記以外の場合は、YES と応答してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6627I applid CAVM SIGNON IMPOSSIBLE  
BECAUSE THIS JOB IS CURRENTLY  
SIGNED ON OR WAS ONCE AN ACTIVE  
SYSTEM.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このメッセージは、内部エラーが起きたことを示します。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

---

**DFHXC6628I** *applid* CAVM SIGNON IMPOSSIBLE AT PRESENT BECAUSE CONFLICTING JOB(S) HAVE NOT YET SIGNED OFF OR TERMINATED.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 新しいジョブに対して間違った START オプションが要求されたか、または競合するジョブ (複数の場合もある) が誤って始動された場合を除いて、処置は不要です。これらのいずれかに該当する場合は、適切な訂正を加えるか、または競合するジョブを取り消した後に、失敗した CICS ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

---

**DFHXC6629I** *applid* CAVM SIGNON IMPOSSIBLE BECAUSE REQUESTING JOB AND SIGNED-ON JOB(S) DO NOT SHARE POWER.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対してサインオンを出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ジョブ名が固有であることを確認してから、失敗したジョブおよび取り消す必要のあるジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

---

**DFHXC6630I** *applid* TAKEOVER REJECTED BECAUSE LAST ACTIVE SIGNED OFF NORMALLY.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

---

**DFHXC6631I** *applid* TAKEOVER REJECTED BECAUSE LAST ACTIVE INSTANCE NUMBER DOES NOT MATCH THAT SPECIFIED.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。この CICS 代替ジョブが前の CICS 活動ジョブからの引き継ぎを試みることをすでに決定した後に、新しい CICS 活動ジョ

ブが CAVM にサインオンした場合に、このエラーが起きます。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

---

**DFHXC6632I** *applid* NON PRE-EMPTIVE TAKEOVER REJECTED BECAUSE LATEST ACTIVE VERSION NUMBER DOES NOT MATCH THAT SPECIFIED.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

---

**DFHXC6633I** *applid* NON PRE-EMPTIVE TAKEOVER REJECTED BECAUSE A TAKEOVER IS ALREADY IN PROGRESS.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

---

**DFHXC6634I** *applid* TAKEOVER REJECTED BECAUSE NECESSARY TOD CLOCK DIFFERENCE INFORMATION IS NOT AVAILABLE.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。このエラーは、次の条件の両方が満たされない限り、起きることはありません。

- CICS 活動ジョブおよび代替ジョブが、互いに異なる CPC 内で実行されている。
- それぞれの TOD 刻時機構の相互間の時間差の最大可能値を推定するために必要とされる短時間 (1 分未満) の間に、活動ジョブの監視信号を代替ジョブが観察する機会を得られないうちに、TAKEOVER が試みられた。

これらの CPC の TOD 時刻機構相互間の時間差が分かっている限り、引き継ぎを行うことはできません。なぜなら、現在の TOD 時刻機構の表示が、旧 CICS 活動ジョブが終了したときの TOD 時刻機構の表示 (このジョブが実行されていた CPC 内で観察されたもの) よりも後になるまでは、正常な CICS 処理を再開することはできないからです。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6635I applid TAKEOVER PROCESSING  
TERMINATED BECAUSE ANOTHER  
BACKUP HAS STARTED A PRE-EMPTIVE  
TAKEOVER.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出し、この要求が受け入れられました。しかし、TAKEOVER が完了する前にメッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6636I applid TAKEOVER PROCESSING  
TERMINATED BECAUSE STATUS OF  
ACTIVE JOB CANNOT BE DETERMINED.**

説明: CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出し、この要求が受け入れられました。しかし、DFHWTI によって提供された CAVM サービスの使用中にエラーが検出されたために、引き継ぎ処理を完了することができませんでした。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 問題判別については、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。コンソール・ログおよびジョブ出力が必要になる場合があります。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6637I applid TAKEOVER IS WAITING TO  
RESERVE OR ACCESS THE CAVM  
CONTROL DATA SET.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが、CAVM に対して TAKEOVER 要求を出しました。CAVM は、この要求を処理するために CAVM 制御データ・セットを LOCK またはアクセスしようと試みていますが、かなり長い時間にわたって、要求されたリソースが使用不可能のままとなっているか、または未解決の入出力要求が完了していないかのいずれかが起きています。同一の CAVM データ・セットを使用していて、かつ SIGNON、SIGNOFF、または TAKEOVER 要求を実行している別の CICS ジョブが、正常な LOCK 要求を出した後に入出力の遅延などによって停止されていない限り、この LOCK の試みが失敗することはありません。

システムの処置: メッセージ DFHXC6620 を参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6620 を参照してください。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6638I applid NOTIFY RC= retcode - text**

説明: CICS ジョブが、NOTIFY 出口 (DFHXR) により CAVM に戻された戻りコードが非ゼロであることを検出しました。メッセージには、実際の戻りコード値 *retcode* (または 99 よりも大きい値) と、エラー発生時に処理中であったイベントのタイプを示すテキストが含まれています。このメッセージが出された場合は例外なく、CAVM または CICS 内に内部エラーがあるか、あるいはコードまたはデータが破壊されていることを意味しています。

システムの処置: 処理は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6640I applid ALL STATUS WRITERS ARE IN I/O  
WAIT.**

説明: CICS ジョブが、制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セットに対して出された自分の最新状況の書き込みの完了に長い時間を要していることを見つけた。これが起こる可能性があるのは、他の CPC 内で実行されていたジョブ (CICS とは限りません) が出した LOCK が、両方の CAVM データ・セットの DASD ボリュームを一時的にアクセス不能にした場合です。

システムの処置: CICS ジョブは、そのジョブの状況書き込みの 1 つが完了するまで、この警告メッセージを一定の間隔で出し直します。その間にも、CICS ジョブは、状況書き込みの完了に依存しないすべての処理の実行を継続します。このメッセージを表示したジョブが CICS 活動ジョブであり、かつこの条件が十分長い時間継続している場合には、代替ジョブ (このジョブは別の CPC 内で実行されているので、CAVM データ・セットを読み取ることができるものと仮定して) が活動システムの監視信号の停止したことを通知するときに、予期しない引き継ぎが開始されてしまう危険があります。

ユーザーの処置: このメッセージが、他には問題が生じていないように思える CICS 活動ジョブによって出された場合は、対応する代替ジョブに適切なコマンドを出して、そのジョブが不必要な引き継ぎを開始しないようにしておくことをお勧めします。メッセージ DFHXC6620 も参照してください。

モジュール: DFHWSSW

宛先: コンソール

**DFHXC6641I applid STATUS WRITE I/O ERROR ON  
dsname**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セットのいずれかに対して自分の最新状況を書き込んでいるときに、入出力エラーを検出しました。

システムの処置: CICS ジョブが、自分の最新状況を制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セットのいずれかに正常に書き込める場合には、処理は続行されます。さらに、エラー条件が一時的なものであったことが考えられるため、障害を起こしたデータ・セットへの書き込みが、後で試みられる可能性があります。両方のデータ・セットが同時に使用不能になっ



たときは、CAVM タスクが異常終了します。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。  
 モジュール: DFHWSSW  
 宛先: コンソール

---

**DFHXC6642I** *applid* ALL STATUS READERS ARE IN I/O WAIT.

説明: CICS ジョブは、自分のパートナー・システムの最新の可用性状況を入手するために制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セットに対して自分が出した読み取りが、両方も完了に時間を要することを見つめました。  
 システムの処置: CICS ジョブは、状況読み取りの 1 つが完了するまで、間隔を置いてこの警告メッセージを出し直します。その間にも、CICS ジョブは、状況読み取りの完了に依存しないすべての処理の実行を継続します。このメッセージを表示したジョブが CICS 代替ジョブである場合は、活動ジョブが障害を起こしたときに引き継ぎが開始されない危険があります。なぜなら、この代替ジョブは活動ジョブの監視信号が停止したことを検出できないからです。  
 ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6620 を参照してください。  
 モジュール: DFHWSSR  
 宛先: コンソール

---

**DFHXC6643I** *applid* STATUS READ I/O ERROR ON *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セットのいずれかからパートナー・システムの最新の可用性状況を読み取っているときに、入出力エラーを検出しました。*dsname* はこのデータ・セットの名前です。  
 システムの処置: 処理は続行されますが、エラーの起きたシステムがパートナーの状況の変化を検出できない可能性があるため、XRF 機能は低下します。さらに、エラー条件が一時的なものであったことも考えられるため、障害を起こしたデータ・セットからの読み取りが後で試みられる可能性があります。このエラーが代替システムで、引き継ぎ要求の処理中に起きている場合には、引き継ぎは正常に実行されません。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。  
 モジュール: DFHWSSR  
 宛先: コンソール

---

**DFHXC6644I** *applid* NOTIFY RC= *retcode* - *text*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブは、NOTIFY 出口 (DFHXRB) により CAVM に戻された戻りコードが非ゼロであることを見つけました。メッセージには、実際の戻りコード値 *retcode* (または 99 よりも大きい値) と、エラー発生時に処理中であったイベントのタイプを示すテキストが含まれています。このメッセージが出された場合は例外なく、CAVM または CICS 内に内部エラーがあるか、あるいはコードまたはデータが破壊されてしまっていることを意味しています。  
 システムの処置: 処理は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。  
 モジュール: DFHWSSR  
 宛先: コンソール

---

**DFHXC6645I** *applid* ERROR IN INQUIRE HEALTH EXIT.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブは、INQUIRE HEALTH 出口 (DFHXRC) から CAVM に戻された戻りコードが非ゼロであることを見つけました。このメッセージは、CAVM または CICS 内に内部エラーがあるか、あるいはコードまたはデータが破壊されてしまっていることを意味しています。  
 システムの処置: 処理は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。  
 モジュール: DFHWSTI  
 宛先: コンソール

---

**DFHXC6649I** *applid* SIGNOFF IS UNABLE TO LOCK THE CAVM CONTROL DATA SET.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNOFF 要求を出したか、あるいは CAVM タスクの異常終了によって SIGNOFF 処理が暗黙的に呼び出されました。CAVM は、要求を処理するために CAVM 制御データ・セットを LOCK しようと試みましたが、要求されたリソースがかなり長時間にわたって利用不能になったままでした。同一の CAVM データ・セットを使用していて、かつ SIGNON、SIGNOFF、または TAKEOVER 要求を実行している別の CICS ジョブが、正常な LOCK 要求を出した後に入出力の遅延などによって停止されていない限り、この LOCK の試みが失敗することはありません。  
 システムの処置: CAVM タスクは、この CICS ジョブがサインオフしたことを示すために、CAVM データ・セットの更新を行わずに終了します。この CICS ジョブがこの後に出すメッセージがあれば、それも参照してください。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHWSSOF  
 宛先: コンソール

---

**DFHXC6650I** *applid* A SEVERE ERROR HAS OCCURRED DURING CAVM PROCESSING. CODE = *code*

説明: このメッセージを出した CICS XRF ジョブは、CAVM 処理時に、予期しなかった重大エラーを検出しました。メッセージ内のコード *code* は、エラーおよびそのエラーを検出した CAVM モジュールの両方を識別するものです。これらは次のとおりです。

DFHWSRTR によって検出されるエラー (00XX)

- 0001 SIGNON、SIGNOFF または TAKEOVER 要求のパラメーター・ブロックが無効である。
- 0002 CAVM タスク指名プログラムに、タスク指名の対象となる作動可能プロセスおよび待機の対象となる外部イベントが何もない。

## DFHXC6650I

DFHWSSN1 によって検出されるエラー (10XX)

**1001** CAVM タスクの ATTACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。

DFHWSSN2 によって検出されるエラー (20XX)

**2001** SIGNON パラメーター・ブロック内の機能コードが無効である。

**2002** SIGNON パラメーター・ブロック内の機能修飾子が無効である。

**2003** SIGNON パラメーター・ブロック拡張の長さが正しくない。

**2004** 要求された監視間隔が正数ではない。

**2006** 状態管理レコードの読み取り中に、非同期 VSAM GET または CHECK から非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

**2007** 状態管理レコードの更新中に、非同期 VSAM PUT または CHECK から非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

**2008** 監視信号が存在するかどうかの検査を開始させる要求から非ゼロ戻りコードが戻されている。

**2009** 監視信号が存在するかどうかの検査を完了させる要求から予期しなかった戻りコードが戻されている。

**200A** 監視信号が存在するかどうか調べるために状況 CI を読み取り中に、非同期 VSAM GET または CHECK から非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

**200B** 監視信号が存在するかどうかを調べるためのルーチンが、状況 CI の順序番号が減少していることを検出した。

**200C** 状況 CI の更新のために状況 CI を読み取っているときに、非同期 VSAM GET または CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

**200D** 状態管理レコードの内容に変化があったが、そのセキュリティ・カウントは未変更のままである。

**200E** 制御データ・セット内の状況 CI を更新中に、非同期 VSAM PUT または CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

**200F** LOCK マクロから予期しない戻りコード (>4) が戻されている。考えられる原因としては、LOCK ファイルのオーバーフロー、入出力エラー、および種々の論理エラーがあります。

**2010** RPL 内の OPTCD を UPD に変更する VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

**2011** RPL 内の ACB アドレスを変更する VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

**2013** DFHWTI から予期しない戻りコードが戻されている。

**2014** 要求された POWER ジョブ STATUS 照会機能から予期しない戻りコードが戻されている。

DFHWSSN3 によって検出されるエラー (30XX)

**3001** RPL を作成する VSAM GENCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3002** ACB の長さを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3003** RPL の長さを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3004** ACB OPEN エラー・コードを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3005** ACB CI サイズおよび RBA データを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3006** CAVM データ・セットの高使用頻度の RBA が空であるはずがないときに、その RBA がゼロになっている。

**3007** CAVM データ・セットから制御 CI を読み取っているときに、非同期 VSAM GET から非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3008** ACB 内の STRNO を変更する VSAM MODCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3009** LOCK マクロから予期しない戻りコードが戻されている。

**300A** サブタスクが CAVM データ・セットの新しい対を形式設定するための ATTACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。

**300B** CAVM データ・セットの新しい対の処理中に発生した内部論理エラー。

**300C** オープンされている ACB と関連するデータ・セットが ESDS であるかどうかをテストする VSAM TESTCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**300D** データ・セットの形式設定の最中に、ACB CI サイズおよび RBA データを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**300E** CAVM データ・セットの新しい対を形式設定しているときに、同期 VSAM PUT から非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

**300F** ACB を作成する VSAM GENCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3010** ACB CI サイズおよび RBA データを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**3011** RPL 内の ACB アドレスを変更する VSAM MODCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

DFHWSSOF によって検出されるエラー (40XX)

**4001** RPL (複数) を作成する VSAM GENCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。

**4003** 状態管理レコードを読み取ろうとしているときに、VSAM MODCB マクロまたは同期 GET から非ゼロ戻りコードが戻されているか、あるいは、タイマー出口によって入出力要求が除去された。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

- 4007 状態管理レコードに、この CICS XRF ジョブの無効な重複項目が入っている。
- 4008 状態管理レコード内におけるこの CICS ジョブの記述の位置は、SMDR1NDX の現行値と矛盾している。
- 4009 制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セット内でこの CICS XRF ジョブが持つ状況 CI の対の順序番号は等しいが、非ゼロである。
- 400A LOCK マクロから予期しない戻りコードが戻されている。
- 400B 制御データ・セットを LOCK しようとする試みが何回も繰り返されたが、LOCK できなかった。
- 400C 状況 CI を更新しようとして試みているときに VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されたか、または同期 PUT から戻りコード 4 が戻された。
- 400D 状態管理レコードを更新しようとしているときに、VSAM MODCB マクロまたは同期 GET から非ゼロ戻りコードが戻されているか、あるいは、タイマー出口によって入出力要求が除去された。(入出力エラーによって発生する場合があります。)
- DFHWSSR によって検出されるエラー (50XX)
- 5001 RPL を作成する VSAM GENCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。
- 5002 アクティブ・ジョブがサインオフまたは終了した後で、アクティブ・ジョブの状況 CI がまだ変更中であることを、代替ジョブが検出した。(このエラーは、活動ジョブおよび代替ジョブが共通の POWER ジョブ・キューを共用していない無効な XRF 構成によって発生する場合があります。2 番目のジョブが CAVM にサインオンしたときにはこの問題が見つからなかったのは、最初のジョブの監視信号を検出できなかったためです。)
- 5003 XRF パートナー・ジョブの状況 CI 内の順序番号が減少した。
- 5004 制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セット内で活動ジョブが持つ状況 CI の対の順序番号が等しいが非ゼロであることを、代替ジョブが検出した。
- 5005 いま読み取った状況 CI 中のタイム・スタンプから計算されたアクティブ・ジョブと代替ジョブの TOD 刻時機構の差の下限の予測値が、この差の上限の既存の予測値より大きくなっている。
- 5006 いま読み取った状況 CI 中のタイム・スタンプから計算されたアクティブ・ジョブと代替ジョブの TOD 刻時機構の差の上限の予測値が、この差の下限の既存の予測値より小さくなっている。
- 5007 制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セット内でこの XRF パートナー・ジョブが持つ状況 CI の対の順序番号は等しいが、非ゼロである。
- 5008 XRF パートナー・ジョブの状況 CI 内の順序番号が、この時点では、前に監視された値と矛盾している。
- 5009 XRF パートナー・ジョブの状況 CI 内のインスタンス番号およびバージョン番号が、この時点では、共通状況域内の対応する値よりも小さい。
- 500A XRF パートナー・ジョブの状況 CI 内のインスタンス番号およびバージョン番号には、変更が加えられていないが、ジョブ状況標識は「サインオフ」から「サインオン」に変更された。
- 500B 本来この時点では共通状況域に入っているはずのない XRF パートナーに関する有効なデータが、共通状況域に入っているようである。
- 500C 共通状況がすでにすべてのパートナーで利用可能になっているときに、別の XRF パートナー・ジョブ用に共通状況が使用可能であることを示そうと試みた。
- 500D 制御データ・セットとメッセージ・データ・セットの両方から続けてアクティブ・ジョブの状況 CI を読み取ろうとしたときに、代替ジョブで入出力エラーが検出された。
- 500E 引き継ぎ中に、アクティブ・ジョブの状況 CI の 1 つを読み取ろうとしたときに、代替ジョブで入出力エラーが検出された。
- 500F 非同期 GET の VSAM CHECK からの論理エラー戻りコードが戻されている。
- 5010 非同期 VSAM GET からの非ゼロ戻りコードが戻されている。
- 5011 おそらくメッセージ伝送に問題があるために、この代替ジョブが活動ジョブによって無効にされた。これは、メッセージ・データ・セットが小さすぎる場合にも起こることがあります。この場合には、メッセージ・データ・セットのサイズを大きくし、代替 CICS の更新が活動 CICS の更新により上書きされる前に、代替 CICS が更新を適用できるようにしてください。
- DFHWSSW によって検出されるエラー (60XX)
- 6001 非同期 PUT の VSAM CHECK からの論理エラー戻りコードが戻されている。
- 6002 制御データ・セットとメッセージ・データ・セットの両方に続けてこのジョブの状況 CI を書き込もうとしたときに、入出力エラーが検出された。
- 6003 非同期 VSAM PUT からの非ゼロ戻りコードが戻されている。
- 6004 「状況書き込み完了」イベント・マスクが壊れている。
- 6005 WSAGINDX が破壊されている。
- 6006 RPL を作成する VSAM GENCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。
- 6007 このジョブの状況 CI のうちの 1 つの順序番号が、制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セット内で破壊されている。
- DFHWSTKV によって検出されるエラー (80XX)
- 8001 RPL を作成する VSAM GENCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。
- 8002 引き継ぎを試みている代替ジョブがすでに引き継ぎロックを保持していることを、状況管理レコードが示している。
- 8003 引き継ぎを試みている代替ジョブが活動ジョブの

- SIGNOFF によって解放されたリソースをすでに保持していることを、状況管理レコードが示している。
- 8004** 引き継ぎを試みている代替ジョブが活動ジョブの終了によって解放されたリソースをすでに保持していることを、状況管理レコードが示している。
- 8005** 引き継ぎを行っている代替ジョブが活動ジョブの SIGNOFF によって解放されたリソースをすでに獲得した後で、DFHWTI が、活動ジョブの終了を確認しようとしているときにエラーを検出した。
- 8006** 活動ジョブの SIGNOFF によって解放されたリソースをこの代替ジョブがすでに獲得した後で、別の代替ジョブがプリエンティブの引き継ぎを開始させた。
- 8007** 活動ジョブの終了によって解放されたリソースに関連したタイム・スタンプを更新することができない。これは、この代替ジョブが活動ジョブの SIGNOFF によって解放されたリソースをすでに獲得した後で、予期しなかった問題が TOD 刻時機構差のデータに関して発生したためです。
- 8009** 状況管理レコードの非同期 GET の VSAM CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)
- 800B** 状況管理レコードの非同期 PUT の VSAM CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)
- 800C** QUIESCE ルーチン内の状況管理レコードを読み取る非同期 VSAM GET からの非ゼロ戻りコードが戻されている。
- 800D** QUIESCE ルーチン内の状況管理レコードの非同期 GET の VSAM CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)
- 800E** RPL 内の OPTCD を UPD に変更する VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。
- 800F** RPL 内の OPTCD を NUP に変更する VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

- 8010** LOCK マクロから予期しない戻りコードが戻されている。
- 8011** DFHWTI に対して XRF 要求を出すためにサブタスクを生成するルーチンに、無効な要求コードが渡された。
- 8012** DFHWTI に対して XRF 要求を出すためのサブタスクの ATTACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。
- 8013** サブタスクの DETACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。

システムの処置: メッセージ DFHXC6650 の中のコードと等しい理由コードを持つ ABEND が出されます。その結果、CICS XRF ジョブは異常終了します。この CICS XRF ジョブによって出される後続のメッセージがあれば、それも参照してください。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSRTR, DFHWSSN1, DFHWSSN2, DFHWSSN3, DFHWSSOF, DFHWSSR, DFHWSSW, DFHWSTKV

宛先: コンソール

---

#### DFHXC6651I *applid* CAVM HAS DETECTED AN INVALID REQUEST.

説明: CAVM に渡されるパラメーター・ブロックが無効であるか、または要求が適切な時期に行われていないことを、CAVM が見つけました。

システムの処置: 理由コード 1 を持つ ABEND が出されます。その結果、CICS ジョブは異常終了します。この CICS ジョブによって後に出されたメッセージがあれば、それも参照してください。

ユーザーの処置: 障害を起こした CICS ジョブを再始動して、インストール・システムのシステム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHWSRTR

宛先: コンソール

---

## DFHXGxxxx (XRF 汎用) メッセージ

### DFHXG6215 *applid progname operation failure, response code cccc cccc keyrange: rrrrf. | key: lkey*

説明: テーブル作成サービス (DFHTBSS) は、グローバル・カタログ (DFHCCCC) に関する操作に失敗しました。

失敗に終わった操作はメッセージに示されます。それは DELETE、WRITE\_NEXT、START\_WRITE、または END\_WRITE の各要求のいずれかになります。

- *cccc cccc* は、カタログ・ドメインからの応答および理由コードです。
- *rrrf* は、カタログ・ドメインに渡された内部 RQ トークンです。
- *key* は、WRITE または DELETE 操作の場合のみメッセージに現れ、通常、CICS がグローバル・カタログで記録に失敗したリソースの名前が含まれています。

これは通常は内部 CICS エラーですが、シャットダウンの際に発生することもあります。それは、あるタスクが通常シャット

ダウンを開始し、その直後に別のタスクが即時シャットダウンを開始した場合です。これは、即時シャットダウンにより、通常シャットダウン・タスクで使用されているリソースがクローズされるためです。

これは、グローバル・カタログが大規模なグループのインストールを行うだけの大きさが大きい場合にも起こります。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: グローバル・カタログのサイズを検査してください。必要に応じてより大きなカタログを再定義してください。

あるいは、このメッセージは CICS の即時シャットダウンが原因で出された可能性もあります。まだ休止していないタスクが、シャットダウン処理により除去されたサービスヘアクセスしようとして異常終了することがあるからです。

モジュール: DFHTBSS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*progname*、*operation*、*cccc*、*cccc*、*rrrr*、{1=、2= *key*:}、*key*  
宛先: コンソール

---

**DFHXG6400I** *applid* **Signing on to the CAVM as active with generic APPLID genericid**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CICS 可用性マネージャー (CAVM) に活動システムとしてサインオンしようとしていることを示すものです。メッセージの挿入部分には総称アプリケーション ID が入れられます。  
システムの処置: CICS 初期設定は、サインオン要求が処理されるまで延期されます。

通常、この遅延が重要な意味を持つことはありません。この遅延が重要な意味を持つ場合には、CAVM によってメッセージが作成され、理由が示されます。  
ユーザーの処置: なし。

注: 代替 CICS システムが、活動システムと同時に CAVM データ・セットをオープンしようとする (メッセージ DFHXA6500I が出されます)、遅いほうのシステムに関して VSAM オープンの試みの際に 2 つの VSE VSAM オープン・エラー・メッセージが表示されます。これらのメッセージの形式は次のとおりです。

```
4228I FILE DFHXMSG OPEN ERROR X'A8'.....
4228I FILE DFHXCTL OPEN ERROR X'A8'.....
```

影響を受けた CICS は短い間隔の後にオープンを再試行するので、これらのメッセージは無視することができます。最初のシステムのオープンが正常終了し、データ・セットが共有状況のままにされた場合には、この試みは成功します。  
モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*genericid*  
宛先: コンソール

---

**DFHXG6401I** *applid* **Sign on to the CAVM as active accepted**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオン要求 (メッセージ DFHXG6400 を参照) を CAVM が受け入れたことを示しています。

システムの処置: CICS 初期設定が再開されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHXG6402I** *applid* **Sign on to the CAVM as active rejected**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオン要求が CAVM によって拒否されたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6400 を参照してください。) CAVM によってメッセージが生成され、要求を拒否した理由が示されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。  
ユーザーの処置: エラーを訂正してください。  
モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

---

**DFHXG6403I** *applid* **Sign on of specificid to the CAVM as alternate detected.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、指定された代替 CICS が CAVM にサインオンしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: 代替 CICS にキーポイント・データを送るために、トランザクション CXCU が生成されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*specificid*  
宛先: コンソール

---

**DFHXG6404I** *applid* **Signing off normally from the CAVM.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CAVM から正常にサインオフしようとしていることを示します。

システムの処置: CICS の終了は、サインオフ要求が処理されるまで延期されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXRF  
宛先: コンソール

---

**DFHXG6405I** *applid* **Sign off normal from the CAVM accepted.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオフ要求が CAVM によって受け入れられたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6404 を参照してください。)

システムの処置: CICS の終了を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXRF  
宛先: コンソール

---

**DFHXG6406I** *applid* **Sign off normal from the CAVM rejected.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CAVM から異常にサインオフしようとしていることを示します。

システムの処置: CICS の終了は、サインオフ要求が処理されるまで延期されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXRF  
宛先: コンソール

**DFHXG6407I applid Sign off normal from the CAVM detected.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、代替 CICS が CAVM からサインオフしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6408I applid Signing off abnormally from the CAVM.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオフ要求が CAVM によって受け入れられたことを示すものです。

システムの処置: CICS の終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6409I applid Sign off abnormal from the CAVM accepted.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオフ要求が CAVM によって受け入れられたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6408 を参照してください。)

システムの処置: CICS の終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6410I applid Sign off abnormal from the CAVM rejected.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオフ要求が CAVM によって拒否されたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6408 を参照してください。)

CAVM によってメッセージが生成され、要求を拒否した理由が示されます。

システムの処置: CICS の終了を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、CAVM が作成したメッセージを参照してください。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6411I applid Sign off abnormal from the CAVM detected.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、代替 CICS が CAVM からサインオフしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: システムは、通常の処理を続行します。た

だし、活動 CICS が失敗しても、引き継ぎは行われないので注意してください。

ユーザーの処置: 異常なサインオフが生じた理由を判別してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6415I applid CICS is being taken over. Execution will be terminated.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、代替 CICS からの引き継ぎ要求を CAVM が受け入れたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6416I applid APPARENT FAILURE OF ALTERNATE CICS DETECTED.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、代替 CICS が障害を起こしているように見えることが CICS に通知されたことを示すものです。システムの処置: システムは、通常の処理を続行します。ただし、活動 CICS が失敗した場合、引き継ぎは行われられない可能性があることに注意してください。

ユーザーの処置: 代替 CICS の見かけの障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHXRSP

宛先: コンソール

**DFHXG6417I applid Recovery of alternate CICS detected.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、メッセージ DFHXG6416 で報告された見かけの障害から代替 CICS がリカバリーしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: システムは、通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6422I applid Sign off normal from the CAVM assumed.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、CICS が、代替 CICS が CAVM からサインオフしたことを想定していることを示すものです。

これが出される可能性があるのは、活動 CICS が CPC 1 上で実行されていて、しかも次のいずれかが行われている場合です。

1. 代替 CICS が CPC 2 上で開始される。または、

2. CPC 2 が初期プログラム・ロードをし直される。または、
  3. 代替 CICS が CPC 2 上で再始動される。
- システムの処置: CICS 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

**DFHXG6423I** *applid* CAVM failure detected. CICS cannot continue as active.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、CAVM が障害を起こしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

障害の理由を示すメッセージが CAVM によって作成されません。  
 システムの処置: CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: エラーを訂正してください。  
 モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

**DFHXG6427I** *applid* Terminal control restart task has failed. CICS execution will be terminated.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、端末管理再始動タスクが障害を起こしたことを示します。そのために、CICS は活動システムとしても代替システムとしても続行できなくなりました。

障害の理由を示すメッセージが、端末管理再始動タスクによって作成されます。  
 システムの処置: CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: エラーを訂正してください。  
 モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

**DFHXG6429I** *applid* Transaction CXCU cannot be attached.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、CICS がトランザクション CXCU を生成できないことを示しています。そのために、CICS は、追跡メッセージの伝送を開始できません。CXCU を生成できない場合には、引き継ぎに悪影響が現れます。これは以下の場合に発生する可能性があります。

1. CXCU が CICS に定義されていない。または
2. CICS のストレージが不足している。

システムの処置: CICS は、一定の時間間隔で CXCU の生成を試みます。  
 ユーザーの処置: RDO を使用して CXCU をインストールするか、またはストレージの不足を解消してください。  
 モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

**DFHXG6430** *applid* START=LOGTERM specified. CICS start-up is terminated because XRF=YES is specified

説明: 矛盾したシステム初期設定パラメーター START=LOGTERM および XRF=YES が指定されています。  
 システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが作成されません。  
 ユーザーの処置: 矛盾を解決してください。  
 モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

**DFHXG6432** *applid* Unable to open restart data set. CICS startup will be terminated because XRF=YES is specified.

説明: CICS は、再始動データ・セットに関して OPEN を出しましたが、OPEN は失敗しました。  
 システムの処置: CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: OPEN の障害の理由については、前に出された VSAM メッセージを調べてください。  
 モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

**DFHXG6433** *applid* System log not defined in JCT. CICS startup will be terminated because XRF=YES is specified.

説明: XRF=YES を指定する場合には、システム・ログを指定しなければなりません。  
 引き継ぎの後、代替 CICS は、活動 CICS が行った未完了の変更をバックアウトします。このためには、アクティブ・システムと代替システムの両方にシステム・ログを定義しておかなければなりません。  
 システムの処置: CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: システム・ログを定義してください。

注: XRF=YES を指定する場合には、システム・ログを DISK2 として定義しなければなりません。  
 モジュール: DFHSIC1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*  
 宛先: コンソール

**DFHXG6434** *applid* System log not defined as DISK2 in JCT. CICS startup will be terminated because XRF=YES is specified.

説明: XRF=YES を指定する場合には、システム・ログを DISK2 として定義しなければなりません。XRF=YES オプションは、TAPE1、TAPE2、または DISK1 として定義されたシステム・ログとは互換性がありません。  
 システムの処置: CICS は異常終了します。  
 ユーザーの処置: システム・ログを DISK2 として定義し直してください。  
 モジュール: DFHSIC1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6439I *applid* CICS startup is terminated for reasons given above.**

説明: これは、CICS のスタートアップが終了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、システム・コンソールに送信された先行メッセージを参照してください。

モジュール: DFHSIC1

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6440I I/O ERROR ON XRF MESSAGE DATA SET. RPL ADDRESS = X'xx'.**

説明: VSAM が、XRF メッセージ・データ・セットに物理的な入出力エラーがあることを報告しました。アドレス X'xx' は、エラーを報告した VSAM RPL のアドレスです。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: 新たな一対の監視データ・セットを使用して、活動 CICS システムおよび代替 CICS システムの両方を再始動することが必要です。診断のために、エラーが報告された時点で使用中であった RPL のアドレスがメッセージによって示されます。RPL は、関連した VSAM メッセージ領域を持っています。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6441I LOGICAL ERROR ON XRF MESSAGE DATA SET. VSAM FEEDBACK DATA = X'xx'.**

説明: VSAM が、XRF メッセージ・データ・セットの論理的なエラーを報告しました。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: これは、CICS システム内のエラーです。

診断のために、このエラーの VSAM フィードバック・データがメッセージに示されます。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6442I INTERNAL ERROR IN XRF MESSAGE MANAGER.**

説明: CICS メッセージ・マネージャーが維持する要求連鎖が不整合な状態になっています。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWMQS

宛先: コンソール

**DFHXG6443I INTERNAL ERROR IN XRF SURVEILLANCE COMPONENT.**

説明: XRF 監視コンポーネント中のルーチンに対して正しくない内部呼び出しが実行されました。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWCCS

宛先: コンソール

**DFHXG6444I VSAM REQUEST REJECTED FOR XRF MESSAGE DATA SET.**

説明: XRF メッセージ・データ・セットに対して出された VSAM PUT 要求または GET 要求が拒否されました。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6445I XRF MESSAGE DATA SET FORMATTING STARTED.**

説明: この XRF メッセージ・データ・セットは新しいものなので、事前に形式設定しておかなければ、活動システムから代替システムにメッセージを渡すためにこの XRF メッセージ・データ・セットを使用することはできません。

システムの処置: 通常のサービスが続行されます。

ユーザーの処置: 活動システムから代替システムにメッセージを送れるようになるまでには、メッセージ・データ・セットのサイズに応じて、多少の遅延が生じます。代替システムの始動は、対応するメッセージ DFHXG6446 を受け取るまで据え置くほうがよいかもしれません。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6446I XRF MESSAGE DATA SET FORMATTING COMPLETED.**

説明: XRF メッセージ・データ・セットの形式設定が完了しました。これで、活動システムから代替システムにメッセージを渡すためにこの XRF メッセージ・データ・セットを使用することができます。

システムの処置: 通常のサービスが続行されます。

ユーザーの処置: なし。メッセージ DFHXG6445 を参照してください。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6447I NON CRUCIAL XRF MESSAGE(S) DISCARDED.**

説明: XRF メッセージ・データ・セットが満杯です。代替システムがまだ読み取っていないメッセージを上書き代替システムを無効化する代わりに、一部のメッセージが廃棄されます。



システムの処置: 通常のサービスが続行されます。

ユーザーの処置: この状態は、メッセージ DFHXA654I の説明で示されている状況と同様の状況で発生することがあります。この時点では代替システムはまだ無効にはなっていませんが、無効になる可能性は高く、訂正処置が必要になります。詳しい手引きについては、メッセージ DFHXA654I を参照してください。

モジュール: DFHWMWR

宛先: コンソール

#### DFHXG6450I GETVIS FAILED IN XRF SURVEILLANCE.

説明: CICS 監視コンポーネントによって出された SVC ストレージ要求が失敗しました。この要求は、CICS タスクまたは XRF タスクのいずれかの下で出された可能性があります。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 使用可能な GETVIS が使い果たされている場合には、区画のサイズを増やすか、あるいは EDSALIM システム初期設定パラメーターの値を小さくしてください。

使い果たされているわけではない場合には、問題は CICS 論理エラーが原因と思われるので、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWCCS

宛先: コンソール

#### DFHXG6451I GETVIS FAILED IN XRF SURVEILLANCE.

説明: CICS 監視コンポーネントによって出された SVC ストレージ要求が失敗しました。この要求は、CICS タスクまたは XRF タスクのいずれかの下で出された可能性があります。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 使用可能な GETVIS が使い果たされている場合には、区画のサイズを増やすか、あるいは EDSALIM システム初期設定パラメーターの値を小さくしてください。

使い果たされているわけではない場合には、問題は CICS 論理エラーが原因と思われるので、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWLGET

宛先: コンソール

#### DFHXG6452I INTERNAL ERROR IN XRF SURVEILLANCE.

説明: XRF LIFO ストレージ・マネージャーによって行われた整合性検査が失敗しました。この障害は、CICS タスクまたは XRF タスクのいずれかの下での実行中に起こった可能性があります。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWLFRE

宛先: コンソール

#### DFHXG6453I INTERNAL ERROR IN XRF SURVEILLANCE.

説明: XRF 処理マネージャーによって行われた整合性検査が失敗しました。処理が、正しくない内部ロック要求を出しています。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWDWAT

宛先: コンソール

#### DFHXG6454I PROGRAM CHECK IN XRF SURVEILLANCE. PSW = X'psw'. ADDRESS OF SAVE AREA = X'savearea'.

説明: プログラム・チェックが発生し、そこから XRF プロセスがリカバリーすることができませんでした。

システムの処置: SDUMP が作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: これは、CICS システム内のエラーです。プログラム・チェックが起きた PSW をメッセージが示します。詳細な情報は、ダンプ内に保存されています。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHWDSRP

宛先: コンソール

#### DFHXG6460I applid UNABLE TO LOAD TERMINAL SWITCHING PROGRAM progname. CDLOAD FAILED. R15= retcode.

説明: DFHWSPX は、CDLOAD を使用して、XSWITCH システム初期設定パラメーターに指定された端末切り替えプログラムをロードしようとした。このロードは失敗し、戻りコード *retcode* が戻されました。

*retcode* は、CDLOAD マクロからの戻りコードです。

システムの処置: 端末切り替えサブタスクは終了します。

ユーザーの処置: CDLOAD 戻りコードの意味については、「z/VSE *System Macros Reference*」を参照してください。このコードを使用して、ロードが失敗した原因を判別してください。

モジュール: DFHWSPX

宛先: コンソール

#### DFHXG6461I applid ERROR RETURNED BY TERMINAL SWITCHING PROGRAM. OPCODE= opcode RC= retcode

説明: DFHWSPX は、XSWITCH システム初期設定パラメーターで指定された端末切り替えプログラムを呼び出しました。このプログラムは非ゼロ戻りコードを与えました。

システムの処置: 戻りコードが 4 より大きい場合、端末切り替えプログラムは終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードは、XSWITCH システム初期設定

## DFHXG6475 • DFHXG6480I

パラメーターで指定されたユーザー作成プログラムからのものです。

モジュール: DFHWSPX

宛先: コンソール

---

### DFHXG6475 *applid iii* Backup simlogon(s) abandoned

説明: XRF 代替システムが引き継ぎ中で、セッション・トレース要求の最後のいくつかを処理しています。

CICS は待機セッション用の SIMLOGON を出しましたが、VTAM は、まだログオン要求を CICS の VTAM ログオン出口へ戻していません。

メッセージ DFHXG6480 が 2 回出されているので、ログオンは表示されないものと CICS は想定しました。

処理は正常に続行されます。しかし、バックアップ SIMLOGON を現在保留にしているセッションの状態は、CICS の初期設定の終了時点では予測不能です。

再接続プロセスがこれらのセッションを正常に BIND しようと試みます。

システムの処置: 通常の引き継ぎ処理が続行されます。

ユーザーの処置: CSTL ログおよび CICS トレースを集める必要があります。

モジュール: DFHZXST

XMEOUT パラメーター: *applid, iii*

宛先: コンソール

---

### DFHXG6476I *applid XRF catch-up abandoned - all XRF alternates signed off*

説明: XRF 代替システムが存在していないために、XRF キャッチアップ・トランザクションの実行が中止されました。障害を起こした代替システムから、メッセージがいくつか出されている可能性があります。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHXG6477I *applid Generic and Specific Ids have same value*

説明: CICS システムが、XRF 複合体を表す VTAM USERVAR の再割り当てをするコマンドを出しました。これによって、今後は XRF 複合体へのログオン要求はこの CICS に向けられます。ただし、このシステムは XRF 1 次システムであり、特定 ID 値は、XRF 複合体の総称 ID と同じです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。ただし、アプリケーション ID を使用するときは、特別な注意を払う必要があります。つまり、CICS システムを参照するのか、あるいは XRF 複合体を参照するのかを明確にする必要があります。

モジュール: DFHZXSTS

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHXG6479 *applid Modify USERVAR issued unsuccessfully. Return code nn*

説明: CICS システムが、XRF 複合体を表す VTAM USERVAR を再割り当てするコマンドを出すのに失敗しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の戻りコードの診断情報については、「VTAM プログラミング」を参照してください。

システム・オペレーターは、CICS に代わってコマンドを出すことができます。その形式は次のとおりです。

```
F proc,USERVAR,ID=generic-id,VALUE=specific-id
```

各部の説明は、以下のとおりです。

- 「proc」は、VTAM のプロシージャー名です。
- 「generic-ID」は、複合体全体の VTAM アプリケーション ID です。
- 「specific-ID」は、新規 CICS の VTAM アプリケーション ID です。

USERVAR を変更できない場合には、総称 ID の値を指定されたエンド・ユーザーのログオンが引き続き旧特定アプリケーション ID に送られて、予測不能な結果を招くことになります。

(ただし、新しいシステムの特典 ID を指定したログオンは、その新しいシステムに経路指定されることになります。)

モジュール: DFHZXSTS

XMEOUT パラメーター: *applid, nn*

宛先: コンソール

---

### DFHXG6480I *applid Waiting for backup simlogon processing to drain*

説明: XRF 代替システムが引き継ぎ中で、セッション・トレース要求の最後のいくつかを処理しています。

CICS は待機セッション用の SIMLOGON を出しましたが、VTAM は、まだログオン要求を CICS VTAM ログオン出口に戻していません。

このメッセージは、引き継ぎが停止されている 20 秒の間に 5 秒間隔で出されます。

これは、VTAM エラーまたは CICS 論理エラーのいずれかが発生したことを示しています。

システムの処置: このメッセージが 2 回出されてから、メッセージ DFHXG6475 が出されます。

ユーザーの処置: このメッセージが繰り返し表示される場合には、CICS または VTAM の障害を示す他の形跡を探してください。

モジュール: DFHZXQO

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6481I** *applid* Autoconnect delayed for *hh* hours,  
*mm* minutes, *ss* seconds.

説明: CICS が、次のいずれかを行うために、再接続トランザクション CXRE の実行を、*hh* 時間、*mm* 分、*ss* 秒の時間間隔分だけ延期しました。

- CICS のスタートアップ後に AUTOCONNECT 端末を獲得するため。または
- XRF 引き継ぎ後に端末セッションを獲得し直すため。

遅延の値 (*hh* 時間、*mm* 分、*ss* 秒) は、AUTCONN システム初期設定パラメーターからとられています。

XRF 引き継ぎの場合には、引き継ぎ時に保留されていた待機 BIND の数から値は計算されます。この余分な間隔によって、XRF 以外のセッションが CXRE によって接続し直される前に、XRF 可能端末の切り替えを行うことが可能になります。システムの処置: 通常の処理を続行します。ユーザーの処置: なし。モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター: *applid*、*hh*、*mm*、*ss*  
宛先: コンソール

**DFHXG6482** *applid* Unable to issue SETLOGON HOLD  
(*reqcode*,*reg15*,*reg0*)

説明: このメッセージが出されるのは、VTAM SETLOGON START が初期設定時に失敗した場合か、または VTAM ログオンのルーティング変更の準備の際に、このシステム (現在 XRF 引き継ぎを行っている) が、これ以上ログオン要求を送ってこないように VTAM に要求しようとした場合です。この試みは失敗し、失敗の詳細がメッセージに次のように表示されます。最初の挿入部は、次のうちのいずれかです。

- 「S」: SETLOGON START 要求が失敗した。
- 「H」: SETLOGON HOLD 要求が失敗した。

2 番目および 3 番目の挿入部は、それぞれ、障害が起きた時点のレジスター 15 およびレジスター 0 の値です。

上記の値の解釈については、「VTAM プログラミング」を参照してください。

メッセージ DFHSI1517 が出される前に CICS に届いたログオンは、有効であっても拒否されることがあります。システムの処置: 通常の処理を続行します。ユーザーの処置: メッセージを注意して読んでください。モジュール: DFHZXSTS

XMEOUT パラメーター: *applid*、*reqcode*、*reg15*、*reg0*  
宛先: コンソール

**DFHXG6483I** *applid* This will be the last pass.

説明: 再接続トランザクション CXRE が、最後に行われる (再) 接続の対象となっていた VTAM 端末およびセッションをスキャンしようとしています。見つかったものはすべてメッセージ DFHXG6486 にリストされます。システムの処置: 処理を続行します。ユーザーの処置: メッセージ DFHXG6486 にリストされた

VTAM 端末またはセッションに重要なものがあれば、このパスの結果それらが正常に接続されているかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZXRE

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

**DFHXG6484I** *applid* Autoconnect processing now  
complete.

説明: 再接続トランザクション CXRE が、すべての VTAM 端末およびセッションをスキャンしたところです。(再) 接続を行う必要があったものがすべて接続されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZXRE

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

**DFHXG6485** *applid* Unable to schedule  
Autoconnection/Reconnection process.

説明: CICS 初期設定が再接続処理をスケジュールしようと試みましたが、CICS が DFHPC TYPE=LINK 呼び出しを拒否したため、スケジュールできませんでした。

理由については、後続のメッセージ DFHXG6487 または DFHXG6488 を参照してください。

システムの処置: 再接続処理は実行されません。

ユーザーの処置: 個々の端末を望ましい状態にリストアするには、CEMT を使用する必要があります。  
モジュール: DFHZOPA

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

**DFHXG6486I** *applid termid* may not be acquired after  
takeover

説明: 再接続トランザクション CXRE は、最後の実行を行っているところですが、前に CICS が障害を起こした実行時と同じ状況でまだバインドされていない端末/セッション *termid* を見つけました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の端末識別名 *termid* を記録し、以前の再接続の試みが失敗した理由を調べてください。例えば、端末が物理的に交換されていない可能性があります。問題を明らかにした後で、CEMT は個々の端末を獲得するために使用することができます。

モジュール: DFHZXRE0

XMEOUT パラメーター: *applid*、*termid*  
宛先: コンソール

**DFHXG6487** *applid Unexpected IC/PC error code X'code'.*  
**Module** *modname*

説明: 再接続トランザクション CXRE をスケジュールまたはスケジュール変更できませんでした。これは、DFHIC TYPE=INITIATE または DFHPC TYPE=LINK が、コード X'code' で拒否されたためです。これは CICS 論理エラーが原因です。

このメッセージは、以下のいずれかに続いて出されます。

- DFHXG6485 (CICS が CXRE をスケジュールできなかった場合)
- DFHXG6489 (CICS が CXRE をスケジュール変更できなかった場合)

システムの処置: CICS のとる処置は、エラーが CXRE のスケジュール時に起こったか、CXRE のスケジュール変更時に起こったかにより異なります。

CICS がとる処置に関する詳細については、DFHXG6485 または DFHXG6489 のいずれかのシステム処置を参照してください。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1、DFHZOPA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、X'code'、*modname*

宛先: コンソール

**DFHXG6488** *applid Required transaction CXRE is not defined to CICS. Module* *modname*

説明: 再接続トランザクション CXRE をスケジュール変更することができませんでした。これは、必要なトランザクション・コードに現在はインストール済みトランザクション定義がないか、または必要なプログラムにインストール済みプログラム定義がないかのいずれかです。

このメッセージは、DFHXG6489 または DFHXG6485 の後に outされます。

システムの処置: 再接続トランザクションの現行の実行が最後の実行です。見つかった端末およびセッションのすべてについてメッセージ DFHXG6486 が outされます。

ユーザーの処置: 端末を再接続する場合には、問題を訂正してください。

モジュール: DFHSIJ1、DFHZOPA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*modname*

宛先: コンソール

**DFHXG6489** *applid Unable to schedule Autoconnection / Reconnection transaction CXRE. Module* *modname.*

説明: 再接続トランザクション CXRE が、それ自体をスケジュール変更しようと試みましたが、CICS インターバル制御機能が DFHIC TYPE=INITIATE 呼び出しを拒否したために、スケジュールすることはできませんでした。

このメッセージの次には、DFHXG6487 または DFHXG6488

のいずれかが続きます。これらのメッセージには、エラーの原因の詳細が示されます。

システムの処置: 再接続トランザクションの現行の実行が最後の実行です。見つかった端末およびセッションのすべてについてメッセージ DFHXG6486 が outされます。

ユーザーの処置: 後続のメッセージを参照してください。個々の端末を獲得するには、CEMT を使用する必要があるかもしれません。

モジュール: DFHSIJ1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*modname*

宛先: コンソール

**DFHXG6490I** *applid Reconnecting VTAM session - pass* *number xxxx*

説明: XRF 引き継ぎが行われたすぐ後に、制御が CICS に与えられました。パス番号 *xxxx* に関して、障害が起きた活動システム内でセッション中であった論理装置の獲得処理を開始しようとする再接続トランザクション CXRE が開始されたところ outです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS が端末およびセッションを再接続しようとするときに発生するエラー・メッセージを書き留めてください。

モジュール: DFHZXRE0

**XMEOUT** パラメーター: *applid*、*xxxx*

宛先: コンソール

**DFHXG6491** *applid Logic error during session tracking.*  
**REASON** *rcode terminal/session event*

説明: XRF セッションの追跡で、設計エラーによると思われる予期しない状況が起きました。理由コード (*rcode*) は、次のいずれかです。

- 1 POST が呼び出されましたが、端末またはセッションに保留中の処置はありません。

挿入部分:

- 端末またはセッションの名前

- 2 不良要求値を使って DFHZXST が呼び出されました。

- 4 トレース・メッセージ作成のためのキーを取り出すことができません。

挿入部分:

- 端末またはセッションの名前
- 追跡されるイベントのコード

以下は、DFHSUSX の場合のみ有効です。

- X'01' - サインオン・データの送信
- X'02' - サインオン・データの送信 (キャッチアップ)
- X'03' - サインオン・データの受信

以下は、DFHZXST の場合のみ有効です。

- X'F1' - BIND
- X'F2' - LOGON データの解放
- X'F3' - UNBIND

- 5 送信トレース・メッセージを取り出すことができません。

挿入部分：

- 端末またはセッションの名前
  - 追跡するイベントのコード (上記の 4 を参照)
- 6 トレース・メッセージで示されたセッションを見つけることができません。

挿入部分：

- 端末またはセッションの名前
  - 追跡するイベントのコード (上記の 4 を参照)
- 7 追跡メッセージ内で指定された正しくない項目

挿入部分：

- 端末またはセッションの名前
  - 追跡するイベントのコード (上記の 4 を参照)
- 8 トレース・メッセージに不良要求コードがあります。

挿入部分：

- 端末またはセッションの名前
  - 不良要求コード (有効な DFHZXST コードについては上記の 4 を参照)
- 10 待機 BIND をスケジュールできません。

挿入部：

- 端末またはセッションの名前

システムの処置： 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置： メッセージを注意して読んでください。バックアップへ引き継がれるとすれば、リソースと状態が正しくない可能性があります。これらのメッセージの多くが出されている場合には、より一般的な問題が起きている可能性があります。

モジュール： DFHSUSX、DFHZXST

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *rcode*, *terminal/session*, *event*

宛先: コンソール

---

**DFHXG6492I** *applid* XRF catch-up logic error reason length

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、おそらく CICS 設計エラーが原因で起こったと考えられる予期せぬ状況を検出しました。最初の挿入部で示される理由は、次のいずれかです。

- 1 カタログ・レコードの内部的な長さの値が正しくありません。
- 2 カタログ・レコード形式のエラー。キーが入る余地がありません。
- 3 カタログ・レコード形式のエラー。キーの長さが 16 を超えています。
- 4 カタログ・レコードが長すぎて、バッファーに入りきりません (変数 CUBUFFER)。必要な長さが 2 番目の挿入部に示されます。
- 5 予期しない ABEND または EXEC CICS コマンドからの応答
- 6 カタログ・レコード形式のエラー。リソース・マネージャー接頭部がありません。

システムの処置: 上記の 1、2、3、および 6 の場合、正常な処理を続行します。

4 の場合、DFHZXCU が異常終了して、異常終了コード AZXB が出されます。5 の場合、DFHZXCU が異常終了して、異常終了コード AZXA が出されます。

ユーザーの処置: メッセージを注意して読んでください。代

替 CICS へ引き継がれるとすれば、リソースと状態が正しくない可能性があります。このメッセージが多く出るようであれば、より広範な問題がある可能性があります。

モジュール: DFHZXCU

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *reason*, *length*

宛先: コンソール

---

**DFHXG6493** *date time applid* XRF tracking record could not be sent *xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx*  
(Module: *modname*)

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、XRF メッセージ・マネージャーから好ましくない戻りコードを取得したために、活動 CICS の正しいコピーを取得するために代替 CICS が必要とするレコードを送ることができませんでした。挿入部 (内部的な診断情報) は、次のとおりです。

1. WMSRETC

DFHWMS 戻りコード。(この戻りコードの値および意味については、「CICS Data Areas」の XRF CICS マネージャー要求インターフェース・ブロック (WMSPS) リストを参照してください。)

2. WMSREASN

DFHWMS 理由コード。(この理由コードの値および意味については、「CICS Data Areas」の XRF CICS マネージャー要求インターフェース・ブロック (WMSPS) リストを参照してください。)

3. XTR-KEY-VALUE は追跡レコードのキーです。

4. XTR-ID はレコード ID です。ただし、

- ゼロ = 追跡
- 非ゼロ = キャッチアップ

5. XTR-TYPE はレコード・タイプです (DFHZXTR を参照)。ただし、

- X = 追跡制御
- C = TCT 内容
- S = ZCP セッション追跡
- U = サインオン・データ

メッセージは、モジュール *modname* から出されます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージを注意して読んでください。代替 CICS へ引き継がれるとすれば、リソースと状態が正しくない可能性があります。これらのメッセージの多くが出されている場合には、より一般的な問題が起きている可能性があります。

モジュール: DFHZXCU、DFHZXST、DFHTCRP、DFHTBSSP、DFHSUSX

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *xxxx*, *xxxx*, *xxxx*, *xxxx*, *xxxx*, *modname*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHXG6494I** *date time applid* XRF session state catch-up ended

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど完了したところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS が、それ自体をバインドまたはアンバイ

## DFHXG6495I • DFHXG6501I

ンドされたセッション状態に関して最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

---

### DFHXG6495I *date time applid XRF session state catch-up started*

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど開始しようとするところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS が、それ自体をバインドまたはアンバインドされたセッション状態に関して最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

---

### DFHXG6496I *date time applid XRF TCT contents catch-up ended*

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど完了したところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS が、それ自体を TCT の内容に関して最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

---

### DFHXG6497I *date time applid XRF TCT contents catch-up started*

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど開始しようとするところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS が、それ自体を TCT の内容に関して最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

---

### DFHXG6498I *date time applid XRF catch-up ended*

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど完了したところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS がそれ自体を最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

---

### DFHXG6499I *date time applid XRF catch-up started*

説明: 新たにサインオンされた代替 CICS が自分自身を最新のものにすることができるようにするためのメッセージを、XRF キャッチアップ・プログラムがちょうど送り始めようとするところです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*

宛先: CSMT

---

### DFHXG6500I *applid Signing on to the CAVM as alternate with generic APPLID genericid*

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CICS 可用性マネージャー (CAVM) に代替システムとしてサインオンしようとしていることを示しています。メッセージの挿入部分には総称アプリケーション ID が入れられます。

システムの処置: CICS 初期設定は、サインオン要求が処理されるまで延期されます。通常、この遅延が重要な意味を持つことはありません。この遅延が重要な意味を持つ場合には、CAVM によってメッセージが作成され、理由が示されます。ユーザーの処置: なし。

注: 活動 CICS システムが、代替システムと同時に CAVM データ・セットをオープンしようとする (メッセージ DFHXG6400I が出されます)、遅いほうのシステムに関して VSAM オープンの試みの際に 2 つの VSE VSAM オープン・エラー・メッセージが表示されます。これらのメッセージの形式は次のとおりです。

```
4228I FILE DFHXMSG OPEN ERROR X'A8'.....  
4228I FILE DFHXCTL OPEN ERROR X'A8'.....
```

影響を受けた CICS は短い間隔の後にオープンを再試行するので、これらのメッセージは無視することができます。最初のシステムのオープンが正常終了し、データ・セットが共有状況のままにされた場合には、この試みは成功します。

モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid, genericid*

宛先: コンソール

---

### DFHXG6501I *applid Sign on to the CAVM as alternate accepted*

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオン要求が CAVM によって受け入れられたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6500 を参照してください。)

システムの処置: CICS 初期設定が再開されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6502I** *applid* Sign on to the CAVM as alternate rejected

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオン要求が CAVM によって拒否されたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6500 を参照してください。) CAVM によってメッセージが生成され、要求を拒否した理由が示されます。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6503I** *applid* Sign on of *specifid* to the CAVM as active detected.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、指定された活動 CICS が CAVM にサインオンしたことが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *specifid*

宛先: コンソール

**DFHXG6507I** *applid* Sign off normal from the CAVM detected.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、活動 CICS が CAVM からサインオフしたことが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: CICS 処理は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6511I** *applid* Sign off abnormal from the CAVM detected.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、活動 CICS が CAVM からサインオフしたことが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: とられる処置は、引き継ぎオプションの現行値によって異なります。この値は、システム初期設定テーブルに指定されています。値を変更するには、CEBT SET TAKEOVER コマンドを使用します。引き継ぎオプションの現行値が AUTOMATIC または MANUAL のいずれかである場合は、引き継ぎ要求が CAVM に渡されることになります。ユーザーの処置: ユーザーの処置は (ある場合には)、インストール・システムによって異なります。

モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6512I** *applid* Takeover request passed to the CAVM

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CAVM に引き継ぎの開始を要求しようとしていることを示します。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6513I** *applid* Takeover request accepted by the CAVM

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、引き継ぎ要求 (メッセージ DFHXG6512 を参照) を CAVM が受け入れたことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6514I** *applid* Takeover request rejected by the CAVM

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、引き継ぎ要求 (メッセージ DFHXG6512 を参照) を CAVM が拒否したことを示しています。CAVM によってメッセージが生成され、要求を拒否した理由が示されます。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6516I** *applid* Apparent failure of active CICS detected.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、活動 CICS が障害を起こしていると思われることが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: とられる処置は、引き継ぎオプションの現行値によって異なります。この値は、システム初期設定テーブルに指定されています。値を変更するには、CEBT SET TAKEOVER コマンドを使用します。引き継ぎオプションの現行値が AUTOMATIC である場合は、引き継ぎ要求が CAVM に渡されます。現行値が MANUAL の場合には、メッセージ DFHXG6518 がコンソールに送られます。

ユーザーの処置: 活動 CICS の見かけの障害が起きた理由を判別してください。

モジュール: DFHXRSP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6517I applid Recovery of active CICS detected.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、メッセージ DFHXG6516 で報告された見かけの障害から活動 CICS がリカバリーしたことが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6518D applid APPARENT FAILURE OF ACTIVE CICS DETECTED. REPLY 'TAKEOVER' OR 'IGNORE'**

説明: これは、CICS タスクから出された処置メッセージです。このメッセージは、活動 CICS の現行値が障害を起こしたように思われる場合に出されます。

システムの処置: 応答が「TAKEOVER」の場合には、CICS が CAVM に引き継ぎを開始するように要求します。

応答が「IGNORE」の場合には、CICS は次のうちのいずれかを想定します。

- 活動 CICS システムが見かけの障害からリカバリーする。
- 活動 CICS システムが再始動される。
- 引き継ぎを開始するのに CEPT PERFORM TAKEOVER コマンドが使用される。

これ以降に発生するイベントは、メッセージ DFHXG6518 に対してユーザーの処置は必要ないことを意味する場合もあります。その例は次のとおりです。

- メッセージ DFHXG6516 で報告された見かけの障害から活動 CICS システムがリカバリーしたことが CICS に通知される場合には、メッセージ DFHXG6517 および DFHXG6519 がコンソールに送られる。
- 活動 CICS システムが CAVM から異常なサインオフをしたと CICS に通知される場合には、メッセージ DFHXG6511 および DFHXG6519 がコンソールに送られる。
- メッセージ DFHXG6516 で報告された見かけの障害から活動 CICS がリカバリーすると同時に引き継ぎが (代替 CICS システムから) 開始される場合には、メッセージ DFHXG6513 および DFHXG6539 がコンソールに送られてくる。

ユーザーの処置: 活動 CICS に起きた見かけの障害の理由を調べてください。可能な場合には障害を取り除いて、適切な応答を行ってください。

モジュール: DFHXRSP

宛先: コンソール

**DFHXG6519I applid The reply to message DFHXG6518 is assumed to be IGNORE.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、ユーザーがメッセージ DFHXG6518 に応答することを CICS がもはや必要としていないことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6520I applid CICS shutdown initiated by CAVM event.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。次のような状況で、CICS によって開始されるシャットダウンが起こります。

1. 活動 CICS が CAVM から正常なサインオフを行ったことが CICS に通知された場合。メッセージ DFHXG6507 がコンソールに送られます。
2. 活動 CICS が「インプレース」で再始動されたことが CICS に通知された場合。メッセージ DFHXG6511 がコンソールに送られます。
3. 活動 CICS が CAVM から正常にサインオフしたと CICS が想定した場合。メッセージ DFHXG6522 がコンソールに送られます。

システムの処置: CICS は正常に終了します。ただし、(活動) CICS が障害を起こした場合には、引き継ぎは行われないことに注意してください。

ユーザーの処置: (代替) CICS を再始動することを考慮してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6522I applid Sign off normal from the CAVM assumed.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、CICS が、活動 CICS が CAVM からサインオフしたと想定したことを示しています。これが出される可能性があるのは、代替 CICS が CPC 1 上で実行されていて、しかも次のいずれかが行われる場合です。

1. 活動 CICS が CPC 2 上で始動される。
2. CPC 2 が再初期設定される。
3. 活動 CICS が CPC 2 上で再始動される。

システムの処置: CICS 処理は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6523I applid CAVM failure detected. CICS cannot continue as Alternate.**

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、CAVM が障害を起こしたことが CICS に通知されたことを示すものです。障害の理由を示すメッセージが CAVM によって作成されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

モジュール: DFHXRSP



XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHXG6524I** *applid* CAVM error detected. CICS cannot continue as Alternate.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、代替システムとして CICS が続行できないようなエラーを CAVM が検出したことが CICS に通知されたことを示しています。

これが該当するようなケースとしては、例えば、活動 CICS によって生成されたメッセージに代替 CICS がついていけないている場合です。

障害の理由を示すメッセージが CAVM によって作成されません。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHXG6539I** *applid* The reply to message DFHXG6518 is assumed to be TAKEOVER.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。このメッセージは、ユーザーがメッセージ DFHXG6518 に応答することを CICS がもはや必要としていないことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHXG6680I** *applid* TIME-OF-DAY CLOCK DIFFERENCE IS AT LEAST *sss* SECONDS.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。活動 CICS システムおよび代替 CICS システムは別々の CPC 上で実行されており、代替 CPC の時刻機構は活動 CPC の時刻機構より進んでいます。引き継ぎが起こった場合には、代替 CPC の時刻機構が活動 CPC の時刻機構よりも遅くなるまで、CICS 処理の一部を延期しなければなりません。CAVM は、時刻機構差の下限を見積もりましたが、その差は、少なくとも 15 秒です。このメッセージには、見積もられた時刻機構差が示されています。CAVM によって処理される監視信号の数が増えるにつれて、この下限が変化する可能性があることに注意してください。この状況は、活動 CICS 開始の最初の 3 つから 5 つの監視信号が処理される間に発生する可能性があります。経過時間は約 10 秒です。必要に応じて、このメッセージが繰り返されることになります。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: それぞれの時刻機構をできるだけ正確に同期化してください。これらの差が大きい場合には、引き継ぎの時間が増える可能性があることに注意してください。

モジュール: DFHXRSP

宛先: コンソール

---

**DFHXG6681I** *applid* TIME-OF-DAY CLOCK DIFFERENCE IS AT MOST *sss* SECONDS.

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。活動 CICS システムおよび代替 CICS システムは別々の CPC 上で実行されており、代替 CPC の時刻機構は活動 CPC の時刻機構より進んでいます。引き継ぎが起こった場合には、代替 CPC の時刻機構が活動 CPC の時刻機構よりも遅くなるまで、CICS 処理の一部を延期しなければなりません。CAVM は時刻機構差の上限を見積もりましたが、その差は少なくとも 15 秒です。このメッセージには、見積もられた時刻機構差が含まれています。CAVM によって処理される監視信号が増えるにつれて、この上限が変化する可能性があることに注意してください。必要に応じて、メッセージ DFHXG6681 が繰り返されることとなります。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: それぞれの時刻機構をできるだけ正確に同期化してください。これらの差が大きい場合には、引き継ぎの時間が増える可能性があることに注意してください。

モジュール: DFHXRSP

宛先: コンソール

---

**DFHXG6682I** *applid* XRF clock synchronization started

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。代替 CPC の時刻機構は活動 CPC の時刻機構よりも進んでいるため、時刻に依存する処理を延期する必要があります。そのような処理は、活動ジョブが終了したときの活動 CPC の時刻機構よりも代替 CPC の時刻機構が遅くなるまで、延期されます。

システムの処置: 一部の CICS 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: それぞれの時刻機構をできるだけ正確に同期化してください。これらの差が大きい場合には、引き継ぎの時間が増える可能性があることに注意してください。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHXG6683I** *applid* XRF clock synchronization ended

説明: これは、CICS タスクから出された通知メッセージです。代替 CPC の時刻機構は、この時点では、活動 CPC の時刻機構よりも遅れているため、時刻に依存する処理を再開することができます。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

## DFHXMxxxx メッセージ

**DFHXM0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性が あることを意味します。あるいは、予期しないデータが 入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。エラーが重要な XM ドメイン・モジュール内で発生した場合、状況によっては、CICS は直ちに終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、詳しい手引きについて CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMDB、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMMD、DFHXMER、DFHXMFD、DFHXMIC、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMQC、DFHXMMP、DFHXMSP、DFHXMMA、DFHXMMD、DFHXMME

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHXM0002** *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。

コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。  
システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられません。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。エラーがクリティカル・エラーである場合、状況によっては、CICS は直ちに終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性が あることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMDB、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMMD、DFHXMER、DFHXMFD、DFHXMIC、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMQC、DFHXMMP、DFHXMSP、DFHXMMA、DFHXMMD、DFHXMME

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHXM0004** *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

(XDUREQ 出口のユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑制により) 特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS の処理は続行されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は多くの CPU 時間を使用することがあるた

め、このメッセージは長時間実行中の機能が原因で発生した可能性があります。したがって、エラーは存在しない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* の実行が終了し、CICS は続行することを意味します。

ICVR=0 を指定しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、IBM のサポートが必要になることがあります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXMAT, DFHXMDB, DFHXMCL, DFHXMDD, DFHXMMD, DFHXMER, DFHXMFD, DFHXMIIQ, DFHXMLD, DFHXMQD, DFHXMQC, DFHXMMP, DFHXMMSR, DFHXMMA, DFHXMMD, DFHXMME

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHXM0101** *date time applid terminal userid tranid*  
**TRANSACTION definition entry for *transname* has been added.**

説明: これは、トランザクション定義項目 *transname* を、INSTALL コマンドを使用してシステムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
  - *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
  - *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
- システムの処置: システムは正常に続行されます。  
ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMMD

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *terminal*, *userid*, *tranid*, *transname*  
宛先: CSKL

---

**DFHXM0103** *date time applid terminal userid tranid*  
**TRANSACTION definition entry for *transname* has been deleted.**

説明: これは、トランザクション定義項目 *transname* を、CEMT または EXEC CICS DISCARD コマンドを使用してシステムから削除したことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
  - *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
  - *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
- システムの処置: システムは正常に続行されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXMDD

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *terminal*, *userid*, *tranid*, *transname*  
宛先: CSKL

---

**DFHXM0105** *date time applid terminal userid tranid*  
**TRANSACTION definition entry for *transname* has been replaced.**

説明: これは、トランザクション・クラス定義項目 *transname* を、CEDA INSTALL または EXEC CICS CREATE コマンドを使用してシステム内で置き換えたことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
  - *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
  - *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
- システムの処置: システムは正常に続行されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXMMD

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *terminal*, *userid*, *tranid*, *transname*  
宛先: CSKL

---

**DFHXM0110** *date time applid* **Transaction definition *transid1* has been installed with the same REMOTENAME and REMOTESYSTEM as existing definition *transid2*.**

説明: トランザクション定義 *transid1* が、トランザクション定義 *transid2* と同じ REMOTENAME および REMOTESYSTEM を指定してインストールされました。

この CICS システムが、あるトランザクションを、両方の定義の REMOTESYSTEM として指定された CICS システムへ経路指定し、そのトランザクションが、*transid1* および *transid2* の REMOTENAME として指定されたトランザクション ID の EXEC CICS START 要求を出した場合、CICS はその START 要求を満たすために、*transid1* と *transid2* のいずれかをローカル・システム上でタスク生成することができます。システムの処置: トランザクション定義 *transid1* のインストールは正常に続行されます。

リモート・システムで、メッセージの説明で述べられたように EXEC CICS START 要求が出された場合、CICS は *transid2* ではなく、*transid1* をローカル・システム上でタスク生成します。

ただし、CICS は、ウォーム再始動または緊急再始動の後に必ずしも同じようにこのあいまいさを解決するわけではありません。

ユーザーの処置: リモート・システムで正しいトランザクションがタスク生成されるため、通常、この状態により問題が起きることはありません。ただし、ローカル・システムでは正しいトランザクションがタスク生成されていない可能性があり、それは次のような状態として表れます。

- 矛盾した統計がローカル・システムで累積される。
- START 要求をリモート・システムへ戻す際に、誤った TRPROF が使用される。
- CEMT INQUIRE TASK は、ローカル・システムで実行中のトランザクションの組として、誤ったものを表示する。

これらは必ずしも問題であるとは限りませんが、このシステムのリモート・トランザクションの定義を検査して、定義が誤っているということのないようにしたほうがよいでしょう。

説明で述べられたようにリモート START 要求が出され、CICS がローカル・システムでどのトランザクションをタスク生成するのかが問題になる場合は、タスク生成させないトランザクション定義を修正して再インストールしてください。これにより、あいまいな点が除去されます。

モジュール: DFHXMXXD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, transid1, transid2*

宛先: CSMT

**DFHXM0111** *date time applid Catalog failure while processing {INSTALL | SET | DISCARD} request for transaction definition transid.*

説明: トランザクション定義 *transid* のインストール、設定、または廃棄要求の処理の際、カタログを変更中にエラーが発生しました。

システムの処置: 要求は通常どおり続行されます。

カタログに発生したエラーによっては、CICS のウォーム再始動または緊急再始動が試みられた場合に、重大な問題になることがあります。その場合には、カタログ・ドメインにより、問題の概要を説明するメッセージが出されます。

あるいは、問題はトランザクション定義 *transid* のイメージが含まれているカタログ・レコードに限定されたものであり、以下の問題はウォーム再始動または緊急再始動の際にのみ発生するという可能性もあります。

**INSTALL**

これが再インストールである場合は、トランザクション定義の古いバージョンがリカバリーされます。インストールである場合は、トランザクション定義はリカバリーされません。

**SET** SET により要求された変更はリカバリーされません。代わりにトランザクション定義が、SET 要求が出される前の状態にリカバリーされます。

**DISCARD**

現在は廃棄されているにもかかわらず、トランザクション定義が再始動の際にリカバリーされます。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。次に CICS を再始動するときに、コールド・スタートを実行して問題を解決することを考慮してください。コールド・スタートが

適切でなく、かつ問題がトランザクション定義 *transid* のみに限られる場合は、前述のそれぞれの場合の影響を除去してください。

例えば、

**INSTALL**

再始動の後にトランザクション・クラス定義を再インストールします。

**SET** CICS が再始動した後に SET コマンドを出し直します。

**DISCARD**

CICS が再始動した後に DISCARD コマンドを出し直します。

再始動の後もカタログの問題が続くようであれば、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXMDD, DFHXMXXD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=INSTALL, 2=SET, 3=DISCARD}, transid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHXM0112** *date time applid The install of transaction definition transid1 has removed ALIAS alias of transid2.*

説明: トランザクション定義 *transid1* が、ALIAS *alias* を指定してインストールされました。しかし、ALIAS *alias* は現在、トランザクション定義 *transid2* を呼び出します。

システムの処置: *transid1* のインストールは、通常どおり続行されます。

ALIAS *alias* は、以前のトランザクション定義 *transid2* ではなく、*transid1* を呼び出すようになりました。

ユーザーの処置: トランザクション定義 *transid2* の ALIAS が除去されることが、予期していたものである場合は、処置は必要ありません。しかし、トランザクション定義 *transid2* は CSD で修正され、この別名を指定しなくなります。

誤って ALIAS が除去された場合には、トランザクション定義 *transid2* を再インストールして、その ALIAS を復元してください。トランザクション定義 *transid1* は CSD で修正され、この ALIAS を指定しなくなります。

モジュール: DFHXMXXD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, transid1, alias, transid2*

宛先: CSMT

**DFHXM0113** *date time applid The install of transaction definition transid1 has removed TASKREQ taskreq of transid2.*

説明: トランザクション定義 *transid1* が、TASKREQ *taskreq* を指定してインストールされました。しかし、TASKREQ *taskreq* は、現在、トランザクション定義 *transid2* を呼び出します。

システムの処置: *transid1* のインストールは、通常どおり続行されます。

TASKREQ *taskreq* は、以前のトランザクション定義 *transid2* ではなく、*transid1* を呼び出すようになりました。

ユーザーの処置: トランザクション定義 *transid2* の TASKREQ が除去されることが、予期していたものである場合は、処置は必要ありません。しかし、トランザクション定義 *transid2* は CSD で修正され、この TASKREQ を指定しなくなります。

誤って TASKREQ が除去された場合には、トランザクション定義 *transid2* を再インストールして、その TASKREQ を復元してください。トランザクション定義 *transid1* は CSD で修正され、この TASKREQ を指定しなくなります。

モジュール: DFHXMxD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, transid1, taskreq, transid2*  
宛先: CSMT

---

**DFHXM0114** *date time applid* **The install of transaction definition *transid1* has removed XTRANID X'*xtranid*' of *transid2*.**

説明: トランザクション定義 *transid1* が、XTRANID *xtranid* を指定してインストールされました。しかし、XTRANID *xtranid* は、現在、トランザクション定義 *transid2* を呼び出します。

システムの処置: *transid1* のインストールは、通常どおり続行されます。

XTRANID *xtranid* は、以前のトランザクション定義 *transid2* ではなく、*transid1* を呼び出すようになりました。

ユーザーの処置: トランザクション定義 *transid2* の XTRANID が除去されることが、予期していたものである場合は、処置は必要ありません。しかし、トランザクション定義 *transid2* は CSD で修正され、この XTRANID を指定しなくなります。

誤って XTRANID が除去された場合には、トランザクション定義 *transid2* を再インストールして、その XTRANID を復元してください。トランザクション定義 *transid1* は CSD で修正され、この XTRANID を指定しなくなります。

モジュール: DFHXMxD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, transid1, X'*xtranid*', transid2*  
宛先: CSMT

---

**DFHXM0115** *date time applid* **The install of transaction definition *transid1* has removed TPNAME *tpname* of *transid2*.**

説明: トランザクション定義 *transid1* が、TPNAME *tpname* を指定してインストールされました。しかし、TPNAME *tpname* は現在、トランザクション定義 *transid2* を呼び出します。

システムの処置: *transid1* のインストールは、通常どおり続行されます。

TPNAME *tpname* は、以前のトランザクション定義 *transid2* ではなく、*transid1* を呼び出すようになりました。

ユーザーの処置: トランザクション定義 *transid2* の TPNAME が除去されることが、予期していたものである場合は、処置は必要ありません。しかし、トランザクション定義 *transid2* は CSD で修正され、この TPNAME を指定しなくなります。

誤って TPNAME が除去された場合には、トランザクション定

義 *transid2* を再インストールして、その TPNAME を復元してください。トランザクション定義 *transid1* は CSD で修正され、この TPNAME を指定しなくなります。

モジュール: DFHXMxD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, transid1, tpname, transid2*  
宛先: CSMT

---

**DFHXM0116** *date time applid* **PROGRAM parameter missing from transaction definition *transid*. PROGRAM is required because REMOTESYSTEM is the same as the local system.**

説明: トランザクション定義 *transid* が、PROGRAM パラメーターを指定せずにインストールされました。

REMOTESYSTEM がローカル・システムに等しいと指定してこれは定義されているので、このシステムでトランザクションを実行する場合は、プログラムが必要です。

システムの処置: *transid* のインストールは、通常どおり続行されます。リンク先のプログラムがないため、トランザクション *transid* を実行しようとしても、すべて失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージは、通知メッセージです。トランザクション *transid* がこのシステムで実行されなくても、問題はありません。実行できるようにする場合は、*transid* の定義を修正してから再インストールする必要があります。

このトランザクションが実行できないのに、なぜトランザクション定義がインストールされたのかを調べたいことがあるかもしれません。この理由として、このトランザクションが、いくつかの異なる CICS システムの間で共用されている RDO グループに定義されているということが考えられます。例えば *transid* は、次に示す 1 組の定義における TTT1 である可能性があります。この定義は、このローカル・システム C1CB へのトランザクション・ルーティングを実施するために使用されるものです。

トランザクション	リモート・システム	リモート・ネーム	プログラム
TTT1	C1CB	TTT2	-
TTT2	-	-	PROGA

この例で、トランザクションがこのシステムで同じ名前を持つようにすれば、1 つの定義で十分です。

トランザクション	リモート・システム	リモート・ネーム	プログラム
TTT1	C1CB	TTT1	PROGA

モジュール: DFHXMxD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, transid*  
宛先: CSMT

---

**DFHXM0201** *date time applid terminal userid tranid* **TRANCLASS definition entry for *trancode* has been added.**

説明: これは、トランザクション・クラス定義項目 *trancode* を、INSTALL コマンドを使用してシステムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

## DFHXM0203 • DFHXM0212

- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
  - *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
- システムの処置: システムは正常に続行されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXMCL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, tranclassname*  
宛先: CSKL

---

**DFHXM0203** *date time applid terminal userid tranid*  
**TRANCLASS definition entry for**  
*tranclassname* **has been deleted.**

- 説明: これは、トランザクション・クラス定義項目 *tranclassname* を、DISCARD コマンドを使用してシステムから削除したことを示す監査ログ・メッセージです。
- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
  - *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
  - *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
- システムの処置: システムは正常に続行されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXMCL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, tranclassname*  
宛先: CSKL

---

**DFHXM0205** *date time applid terminal userid tranid*  
**TRANCLASS definition entry for**  
*tranclassname* **has been replaced.**

- 説明: これは、トランザクション・クラス定義項目 *transname* を、INSTALL コマンドを使用してシステム内で置き換えたことを示す監査ログ・メッセージです。
- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
  - *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
  - *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
- システムの処置: システムは正常に続行されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHXMCL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, terminal, userid, tranid, tranclassname*  
宛先: CSKL

---

**DFHXM0211** *date time applid* **Catalog failure while**  
**processing {INSTALL | SET | DISCARD}**  
**request for tranclass definition** *tranclassname*.

説明: トランザクション・クラス定義 *tranclassname* のインストール、設定、または廃棄要求の処理の際、カタログを変更中にエラーが発生しました。

**424** z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 卷

システムの処置: 要求は通常どおり続行されます。

カタログに発生したエラーによっては、CICS のウォーム再始動または緊急再始動が試みられた場合に、重大な問題になることがあります。その場合には、カタログ・ドメインにより、問題の概要を説明するメッセージが出されます。

あるいは、問題はトランザクション・クラス定義 *tranclassname* のイメージが含まれているカタログ・レコードに限定されたものであり、以下の問題はウォーム再始動または緊急再始動の際にのみ発生するという可能性もあります。

### INSTALL

これが再インストールである場合は、トランザクション・クラス定義の古いバージョンがリカバリーされません。インストールである場合は、トランザクション・クラス定義はリカバリーされませんでした。

**SET** SET により要求された変更はリカバリーされません。代わりにトランザクション・クラス定義が、SET 要求が出される前の状態にリカバリーされません。

### DISCARD

現在は廃棄されているにもかかわらず、トランザクション・クラス定義が再始動時にリカバリーされました。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。問題を完全に解決するためには、次に CICS を再始動するときにコールド・スタートを実行することを考慮してください。コールド・スタートが適切でなく、かつ問題がトランザクション・クラス定義 *tranclassname* のみに限られる場合は、それぞれの症状を個別に解決することができます。

例:

### INSTALL

CICS が再始動された後にトランザクション・クラス定義を再インストールします。

**SET** CICS が再始動した後に SET コマンドを出し直します。

### DISCARD

CICS が再始動した後に DISCARD コマンドを出し直します。

再始動の後もカタログの問題が続くようであれば、問題を解決するために IBM のサポートを得なければならない場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXMCL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=INSTALL, 2=SET, 3=DISCARD}, tranclassname*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHXM0212** *applid* **Transaction** *transid* **has been attached**  
**with unknown tranclass** *tranclassname*.

説明: トランザクション *transid* がたった今タスク生成されました。これはトランザクション・クラス *tranclassname* に属するように定義されていますが、*tranclassname* は存在しません。

このメッセージは、トランザクション *transid* が不明なトラン

ザクション・クラスを指定してタスク生成された最初のときのみ出されます。

システムの処置: トランザクション *transid* のタスク生成は通常どおり続行されますが、どのトランザクション・クラスのスケジューリング制約にも規制されません。

ユーザーの処置: トランザクション *transid* をトランザクション・クラス *tranclassname* に属させたい場合は、そのトランザクション・クラスをインストールしてください。そうでなければ、*transid* のトランザクション定義を状況に応じて修正し、再インストールしてください。

CEDA CHECK コマンドを使用すると、トランザクション定義により参照されるトランザクション・クラスのそれぞれが、同じスタートアップ GRPLIST 内に定義されていることを確認することができます。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHXMQC

XMEOUT パラメーター: *applid*, *transid*, *tranclassname*

宛先: コンソール

---

#### DFHXM0213 *applid* Insufficient storage for system attach of transaction *transid*.

説明: トランザクション *transid* のタスク生成のために新しいタスクを作成するための、十分なストレージがありません。

新しいタスクに必要なストレージの大部分は DSA ストレージから獲得されるので、CICS は DSA の 1 つでおそらくストレージ不足になります。

システムの処置: そのタスク生成要求は待機させられます。後で使用可能なストレージが増えたときに、再試行されます。再試行されたタスク生成が失敗した場合は、成功するまで待機と再試行が繰り返されます。

ユーザーの処置: CICS のストレージが不足している場合は、メッセージ DFHSM0133 も出されます。この条件の解決方法については、そのメッセージを参照してください。

メッセージ DFHSM0133 が出されていない場合は、VSE ストレージの不足が原因です。その場合は、システムの EDSALIM を下げて、使用可能なストレージの量を増やすことを考慮してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHXMAT

XMEOUT パラメーター: *applid*, *transid*

宛先: コンソール

---

#### DFHXM0301 *date time applid* An attempt to link to the user-replaceable transaction restart program (DFHREST) has failed for task number *tasknum*. Transaction restart is not performed for transaction *tranid*.

説明: 再始動可能トランザクションが異常終了し、トランザクション・マネージャーはユーザー置換可能トランザクション再

始動プログラム (DFHREST) にリンクしようとしたのですが、失敗しました。考えられる理由は次のとおりです。

- DFHREST が定義されていない (かつ自動インストールされていない)。

- DFHREST は、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのどのサブライブラリーにも存在していない。

- DFHREST が AMODE(24) を指定してリンクされた。

システムの処置: トランザクションは再始動されません。

ユーザーの処置: 問題をそのままにしておくと、DFHREST へのリンクが失敗するたびにメッセージが出されます。そうならないようにするには、DFHREST が正しく定義され、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーにそれが含まれるようにしてください。

ユーザー置換可能プログラムについての詳細は、「CICS Customization Guide」を参照してください。

モジュール: DFHXMATA

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *tasknum*, *tranid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

#### DFHXM0302 *applid* An abend *abcode* occurred in the user-replaceable transaction restart program (DFHREST) under task number *tasknum*. Transaction restart is not performed for transaction *tranid*.

説明: 再始動可能トランザクションが異常終了し、トランザクション・マネージャーはユーザー置換可能トランザクション再始動プログラム (DFHREST) にリンクしました。DFHREST は異常終了しました。

システムの処置: トランザクションは再始動されません。

ユーザーの処置: 問題をそのままにしておくと、DFHREST が異常終了するたびにメッセージが出されます。そうならないようにするには、DFHREST の問題を修正し、それが正しく定義され、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーにそれが含まれるようにしてください。

ユーザー置換可能プログラムについての詳細は、「CICS Customization Guide」を参照してください。

モジュール: DFHXMATA

XMEOUT パラメーター: *applid*, *abcode*, *tasknum*, *tranid*

宛先: コンソール

---

#### DFHXM0303 *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred while initializing task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*. Terminal *termid* has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。このタスクの基本機能は端末です。その端末にはメッセージが送られることはなく、CICS がこの端末を使用することもできません。トランザクション・マネージャーは、CICS を

終了せずに、CICS の実行を続行し、タスクを延期することにより保全性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックやエンキューなど)、できるだけ早く CICS を取り消してください。 そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。 ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。 エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。 通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

タスクの端末基本機能は、CICS が取り消されるまで、CICS が使用することはできません。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0304 で延期されます。

ユーザーの処置: このタスクに関連した端末を解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。 このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。 タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。 この問題を解決するには IBM の支援が必要です。 手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXM0304

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *tasknum*, *trandid*, *termid*

宛先: コンソール

---

**DFHXM0304** *applid* A severe error (code X'code') has occurred while initializing task number *tasknum* with transaction identifier *trandid*. Transient data queue *tdqueue* has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *trandid* での初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。 このタスクの基本機能は一時データ・キューです。 TD キューは、CICS が終了するまで、別のタスクを生成しません。 トランザクション・マネージャーは、CICS を終了せずに、CICS の実行を続行し、タスクを延期することにより保全性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックやエンキューなど)、できるだけ早く CICS を取り消してください。 そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。 ダ

ンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。 エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。 通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0305 で延期されます。

ユーザーの処置: このタスクに関連した TD キューを解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。 このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。 タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。 この問題を解決するには IBM の支援が必要です。 手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHXM0305

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *tasknum*, *trandid*, *tdqueue*

宛先: コンソール

---

**DFHXM0305** *applid* A severe error (code X'code') has occurred while initializing task number *tasknum* with transaction identifier *trandid*. The interval control element has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *trandid* での初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。 このタスクの基本機能はインターバル制御エレメントです。 ICE に関連したすべての開始データは、検索されません。 トランザクション・マネージャーは、CICS を終了せずに、CICS の実行を続行し、タスクを延期することにより保全性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックやエンキューなど)、できるだけ早く CICS を取り消してください。 そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。 ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。 エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。 通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。



タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0306 で延期されます。

ユーザーの処置: ICE を破棄する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。すべての開始データは、リカバリー不能でない限り、削除されるまで一時ストレージに残ります。リカバリー不能である場合は、次回の CICS のコールド再始動または緊急再始動の際に消滅します。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXM0306

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'code', *tasknum*, *tranid*  
宛先: コンソール

---

**DFHXM0306** *applid* A severe error (code X'code') has occurred while initializing task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*.  
**The task is suspended indefinitely.**

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。このタスクには、基本機能は設定されていません。トランザクション・マネージャーは、CICS を終了せずに、CICS の実行を続行し、タスクを延期することにより保全性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックやエンキューなど)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0306 で延期されます。

ユーザーの処置: タスクを破棄する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXM0306

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'code', *tasknum*, *tranid*  
宛先: コンソール

---

**DFHXM0307** *applid* A severe error (code X'code') has occurred while terminating task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*.  
**The terminal termid has not been released.**  
**The task is suspended indefinitely.**

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での終了が失敗しました。タスクを異常終了させたり、その端末基本機能へメッセージを送ることはできません。トランザクション・マネージャーは、CICS を終了せずに、CICS の実行を続行し、タスクを延期することにより保全性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックやエンキューなど)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

タスクの端末基本機能は、CICS が取り消されるまで、使用することはできません。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0307 で延期されます。

ユーザーの処置: このタスクに関連した端末を解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXM0307

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'code', *tasknum*, *tranid*, *termid*  
宛先: コンソール

---

**DFHXM0308** *applid* A severe error (code X'code') has occurred while terminating task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*.  
**The transient data queue tdqueue has not been released. The task is suspended indefinitely.**

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での終了が失敗しました。タスクの異常終了はできません。このタスクの基本機能は一時データ・キューです。TD キ

## DFHXM0309 • DFHXM0310

ューは、CICS が終了するまで、別のタスクを生成しません。トランザクション・マネージャーは、CICS を終了せずに、CICS の実行を続行し、タスクを延期することにより保全性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックやエンキューなど)、できるだけ早く CICS を取り消してください。 そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。 ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。 エラーを検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとりません。 通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0310 で延期されます。

ユーザーの処置: このタスクに関連した一時データ・キューを解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。 このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。 この問題を解決するには IBM の支援が必要です。 手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

注: このメッセージを一時データ・キューに転送しないでください。

モジュール: DFHXM0310

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *tasknum*, *trandid*, *tdqueue*  
宛先: コンソール

---

**DFHXM0309** *applid* A severe error (code X'code') has occurred while terminating task number *tasknum* with transaction identifier *trandid*. The interval control element has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *trandid* での終了が失敗しました。 タスクの異常終了はできません。このタスクの基本機能はインターバル制御エレメントです。 トランザクション・マネージャーは、CICS を終了せずに、CICS の実行を続行し、タスクを延期することにより保全性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックやエンキューなど)、できるだけ早く CICS を取り消してください。 そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。 ダ

ンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。 エラーを検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとりません。 通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0310 で延期されます。

ユーザーの処置: このタスクに関連した ICE を破棄する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。 すべての開始データは、リカバリー不能でない限り、削除されるまで一時ストレージに残ります。リカバリー不能である場合は、次の CICS のコールド再始動または緊急再始動の際に消滅します。 このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。 この問題を解決するには IBM の支援が必要です。 手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXM0310

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *tasknum*, *trandid*  
宛先: コンソール

---

**DFHXM0310** *applid* A severe error (code X'code') has occurred while terminating task number *tasknum* with transaction identifier *trandid*. If the task had a principal facility, it has been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *trandid* での終了が失敗しました。 タスクの異常終了はできません。トランザクション・マネージャーは、CICS を終了せずに、CICS の実行を続行し、タスクを延期することにより保全性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックやエンキューなど)、できるだけ早く CICS を取り消してください。 そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。 ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクに基本機能があった場合、それが解放されました。それが端末であった場合は、その端末は CICS により使用できるはずですが、

タスクは無期限に延期されます。 エラーを検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとりません。 通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0310 で延期されます。

ユーザーの処置: このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXMTA

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'code', *tasknum*, *tranid*  
宛先: コンソール

#### DFHXM0501 *applid* CICS cannot satisfy request for MXT. Value *mxtvalue* has been used instead.

説明: MXT に入力した値をシステムが処理することができません。 *mxtvalue* は、タスク・ストレージとして CICS が獲得できる最大値です。

この場合、必要なタスク・ストレージの大部分は CICS DSA から獲得されます。

システムの処置: システムは MXT 値 *mxtvalue* で稼働を継続します。

ユーザーの処置: MXT に入力した最初の値が正しく入力してあるかどうかを確認してください。この値が間違っていて入力してある場合には、CEMT を使用して MXT 値を修正してください (値を大きくすることは、通常はできません)。MXT には現在、ユーザー・タスクのみが含まれているので、以前のリリースと同じ大きさの値に設定する必要はないことを覚えておいてください。

この値 *mxtvalue* が受け入れ可能な場合には、処置は必要ありません。

この値が *mxtvalue* 小さすぎる場合には、CICS 以外のどのプログラムがこの領域内で実行されているのかを調べてください。ストレージの制約を緩めるには、システムの DSALIM または EDSALIM を大きくして、CICS が独自に使用できるストレージを増やしてください。初期設定時のストレージ割り振りについての詳細は、「CICS System Definition Guide」を参照してください。

モジュール: DFHXMSR

XMEOUT パラメーター: *applid*, *mxtvalue*  
宛先: コンソール

#### DFHXM0502 *applid* A catalog failure has occurred while

## DFHXOxxxx メッセージ

#### DFHXO6700 OPTION STARTING *xxx* HAS ILLEGAL SYNTAX.

説明: オプション *xxx* の構文が正しくありません。  
システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA  
宛先: コンソール

#### saving the MXT setting.

説明: 要求された MXT の設定を保管中に、カタログにエラーが発生しました。

システムの処置: 要求された MXT の変更要求は、通常どおり続行されます。

カタログに発生したエラーによっては、CICS のウォーム再始動または緊急再始動が試みられた場合に、重大な問題になることがあります。その場合には、カタログ・ドメインにより、問題の概要を説明するメッセージが出されます。

あるいは、問題は MXT 値を含んでいるカタログ・レコードに限られ、ウォーム再始動または緊急再始動の際にリカバリーされないだけである可能性もあります。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。次に CICS を再始動するときに、SIT に指定された必要な MXT 値で、コールド・スタートを実行することを考慮してください。コールド・スタートが適切でない場合は、MXT を SIT 指定変更値として追加して、必要な MXT 値を指定してください。

モジュール: DFHXMSR

XMEOUT パラメーター: *applid*  
宛先: コンソール

#### DFHXM0503 *applid* CICS cannot support minimum MXT value of *minmxt*. CICS は終了します。

説明: 重大なストレージ不足により、CICS は最小 MXT 値 *minmxt* を満たせるだけのタスク・ストレージすら獲得することができません。

CICS は、*minmxt* 個のユーザー・タスクがなければ、実用的な作業を実行することはできません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: これだけ小さな数のユーザー・タスクを CICS がサポートできないほどストレージが不足している理由を調査してください。

ストレージの制約を緩めるには、システムの DSALIM または EDSALIM を大きくして、CICS が独自に使用できるストレージを増やしてください。初期設定時のストレージ割り振りについての詳細は、「CICS 導入の手引き」を参照してください。

モジュール: DFHXMSR

XMEOUT パラメーター: *applid*, *minmxt*  
宛先: コンソール

#### DFHXO6701 OVERSEER GETVIS FAILURE - PROGRAM TERMINATING

説明: 読み取り/書き込み制御ブロック用の GETVIS ストレージを取得しようとしているときに、非ゼロ戻りコードを受け取りました。

システムの処置: 制御プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: 制御ジョブに使用できる区画 GETVIS を増やしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6702 OVERSEER PARAMETER CHECK FAILURE - PROGRAM TERMINATING.**

説明: 制御プログラムに渡されたパラメーター・ストリングが無効であるか、またはパラメーター・ストリングが制御プログラムに渡されていません。

システムの処置: 制御プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: パラメーター・ストリングを訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6703 UNABLE TO SET UP AUTHORIZED FACILITY.**

説明: 制御プログラムが必要とする許可済み機能を初期設定するためのストレージが足りません。

システムの処置: 制御プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: REGION パラメーターが十分な大きさを持つようにしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6705 option OPTION IS MISSING.**

説明: オプション *option* を省略することはできません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6706 CYTIM OPTION MUST BE IN RANGE 20 TO 32767.**

説明: CYTIM オプションは、20 から 32767 の範囲になければなりません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6707 VALUE OF option OPTION IS LONGER THAN 5 DIGITS.**

説明: 与えられた数値オプションの値は、5 桁を超えてはなりません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6708 VALUE OF option OPTION IS NON-NUMERIC.**

説明: オプション *option* の値は数値でなければなりません。システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6709 VALUE OF option OPTION IS LONGER THAN 8 CHARACTERS.**

説明: オプション *option* の値は 8 文字を超えてはなりません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6710 VALUE OF OPTION option IS NEITHER Y NOR N.**

説明: オプション *option* の値は、Y (はい) または N (いいえ) のいずれかでなければなりません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6711 option OPTION IS NO LONGER SUPPORTED.**

説明: CICS 制御プログラムを実行するためのジョブ制御ステートメントの 1 つに、オプション *option* が指定されました。このオプションは以前のリリースの CICS ではサポートされていましたが、もはやサポートされていません。

システムの処置: オプション *option* は無視されます。制御プログラムはパラメーター分析を続行します。

ユーザーの処置: 冗長なオプション *option* をジョブから除去してください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6712 option IS AN INVALID OPTION KEYWORD.**

説明: メッセージに示されたキーワード *option* は無効オプションです。

システムの処置: オプション *option* は無視されます。

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6713 OVERSEER CDLOAD ERROR - PROGRAM TERMINATING.**

説明: DFHWOSA は、CDLOAD DFHWOSB を試みたか、またはユーザー制御プログラムの CDLOAD を試みました。このロードは失敗しました。

システムの処置: 制御プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: 制御プログラムが使用できる区画 GETVIS を増やしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

**DFHXO6714 AN ABEND HAS BEEN DETECTED. OVERSEER WILL TERMINATE.**

説明: 制御プログラム内の AB STXIT プロシージャが起動されました。

システムの処置: DFHWOSM FUNC=TERM が実行され、制御ジョブは終了して、VSE ユーザー異常終了コード 220 が出力され、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、異常終了の原因を調べてください。

モジュール: DFHWOSB

宛先: コンソール

**DFHXO6715 A PROGRAM CHECK HAS BEEN DETECTED. OVERSEER WILL TERMINATE.**

説明: 制御プログラムの PC STXIT プロシージャが起動されました。

システムの処置: DFHWOSM FUNC=TERM が実行され、制御ジョブは終了して、VSE ユーザー異常終了コード 221 が出力され、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、異常終了の原因を調べてください。

モジュール: DFHWOSB

宛先: コンソール

**DFHXSxxxx メッセージ****DFHXS0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性のあることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャ DFHDMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for

z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHXSAD, DFHXSCL, DFHXSADM, DFHXSFL, DFHXSIS, DFHXSLS, DFHXSPP, DFHXSRC, DFHXSST, DFHXSXM

XMEOUT パラメーター: *applid*, *aaa/bbbb*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHXS0002 applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.**

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャ DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセー

ジ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHXSAD、DFHXSCL、DFHXSADM、DFHXSFL、DFHXSIS、DFHXSLSU、DFHXSPPW、DFHXSRC、DFHXSST、DFHXSXM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*code*', *modname*

宛先: コンソール

---

#### DFHXS0004 *applid* A possible loop has been detected at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'*offset*' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当

な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHXSAD、DFHXSCL、DFHXSADM、DFHXSFL、DFHXSIS、DFHXSLSU、DFHXSPPW、DFHXSRC、DFHXSST、DFHXSXM

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'*offset*', *modname*

宛先: コンソール

---

#### DFHXS0006 *applid* Insufficient storage to satisfy Getmain (code X'*code*') in module *modname*. VSE code *vsecode*.

説明: OS/390 GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありませんでした。

コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *vsecode* は OS/390 GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます (コード X'*code*'). ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し表示されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

GETMAIN 戻りコードの診断情報は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』で説明されています。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム定義の手引き」または「CICS TS パフォーマンスの手引き」を参照してください。

モジュール:

DFHXSAD、DFHXSCL、DFHXSADM、DFHXSFL、DFHXSIS、  
DFHXSLSU、DFHXSPPW、DFHXSRC、DFHXSST、DFHXSXM

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*, *vsecode*  
宛先: コンソール

**DFHXS0200I** *date time applid* External security  
initialization has been successfully tracked.

説明: 活動 CICS システムで (CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して) 実行された外部セキュリティ初期設定が、XRF 代替システムで追跡され、正常に完了しました。  
システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHXSWM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*  
宛先: コンソール

**DFHXS0201I** *date time applid* External security  
initialization has been tracked, and has  
failed with return code *X'xx'* and reason  
code *X'yy'*.

説明: CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して、活動 CICS システムで外部セキュリティ初期設定が実行されました。

外部セキュリティ初期設定が、XRF 代替システムで追跡されましたが、戻りコード *xx* および理由コード *yy* で失敗しました。

*xx* および *yy* は、外部セキュリティ・マネージャーによりレジスター 15 およびレジスター 0 に入れられた値です。  
システムの処置: CICS は、XRF 代替システムのシステム・ダンプを提供し、セキュリティ初期設定の追跡を続行します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この代替システムのセキュリティの特性が、活動システムの特性ともはや一致しません。この代替システムをシャットダウンして、引き継ぎ時にセキュリティを再作成するか、またはその不一致を受け入れてください。

メッセージ内の戻りコードを使用して、セキュリティ初期設定が失敗した理由を判別してください。

コードが無効である場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXSWM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *X'xx'*, *X'yy'*  
宛先: コンソール

**DFHXS0202** *date time applid* An attempt to track external  
security initialization has failed, tracking  
data could not be sent.

説明: 外部セキュリティ初期設定が、(CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して) 活動 CICS システムで実行されました。

追跡データを送ることができなかったために、その初期設定は

代替システムで追跡されませんでした。

システムの処置: CICS は、活動システムのシステム・ダンプを提供し、セキュリティ初期設定の追跡を続行します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この代替システムのセキュリティの特性が、活動システムの特性ともはや一致しくなくなります。この代替システムをシャットダウンして、引き継ぎ時にセキュリティを再作成するか、またはその不一致を受け入れてください。  
モジュール: DFHXSWM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*  
宛先: CSCS

**DFHXS0203** *date time applid* An attempt to track external  
security initialization has failed, tracking  
data could not be received.

説明: 外部セキュリティ初期設定が、(CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して) 活動 CICS システムで実行されました。

追跡データを送ることができなかったために、外部セキュリティ初期設定は代替システムで追跡されませんでした。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

システムの処置: CICS は、活動システムのシステム・ダンプを提供し、セキュリティ初期設定の追跡を停止します。  
ユーザーの処置: この代替システムのセキュリティの特性が、活動システムの特性ともはや一致しません。この代替システムをシャットダウンして、引き継ぎ時にセキュリティを再作成するか、またはその不一致を受け入れてください。  
モジュール: DFHXSWM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*  
宛先: CSCS

**DFHXS0204** *date time applid* An attempt to track external  
security initialization has failed, tracking  
data was corrupted.

説明: 外部セキュリティ初期設定が、(CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して) 活動 CICS システムで実行されました。

外部セキュリティ初期設定は代替システムで追跡されましたが、追跡データが転送中に破壊されました。

システムの処置: CICS は、代替システムのシステム・ダンプを提供し、セキュリティ初期設定の追跡を停止します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この代替システムのセキュリティの特性が、活動システムの特性ともはや一致しません。この代替システムをシャットダウンして、引き継ぎ時にセキュリティを再作成するか、またはその不一致を受け入れてください。

モジュール: DFHXSWM

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*  
宛先: CSCS

**DFHXS1100I applid Security initialization has started.**

説明: これは、セキュリティ・ドメインの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター

MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHXSADM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXS1101I applid Security initialization has ended.**

説明: これは、セキュリティ・ドメインの初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター

MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHXSADM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXS1102I applid Security is inactive.**

説明: これは、セキュリティが活動状態でないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター

MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHXSADM

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHXS1103I applid Default security for userid *dftuser* has been established.**

説明: CICS は、デフォルト・ユーザー ID *dftuser* のためにセキュリティ環境を確立しました。

システムの処置: ほかにユーザー ID が確立されていない場合は、常に外部セキュリティ・マネージャーによりこのユーザー ID に割り当てられた権限が、CICS リソース検査で使用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXSADM

XMEOUT パラメーター: *applid, dftuser*

宛先: コンソール経路コード 2、9、および 11

**DFHXS1104 applid Default security could not be established for userid *dftuser*. The security domain cannot continue, so CICS is terminated. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: CICS は、デフォルト・ユーザー ID *dftuser* のためにセキュリティ環境を確立できませんでした。セキュリティ・ドメインは、デフォルト・ユーザーなしで続行することは

できません。システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=VERIFY 操作が失敗した理由を判別してください。その後で、障害のあるデフォルト・ユーザーのエラーを訂正して CICS を再始動するか、または、異なるデフォルト・ユーザー ID を指定して CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSADM

XMEOUT パラメーター: *applid, dftuser, X'safresp', X'safreas', X'esmresp', X'esmreas'*

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

**DFHXS1105 applid Resource profiles for class *classname* have been built.**

説明: クラス *classname* のセキュリティ・リソース・プロファイルは、外部セキュリティ・マネージャーにより、正常にストレージへロードされました。

システムの処置: プロファイルは、この後のリソース検査で、メッセージに示されたクラスのリソースへのユーザーのアクセス権限を判別するために使用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXSRC

XMEOUT パラメーター: *applid, classname*

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

**DFHXS1106 applid Resource profiles could not be built for class *classname*. CICS is terminated. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: クラス *classname* のセキュリティ・リソース・プロファイルは、外部セキュリティ・マネージャーがストレージへロードできませんでした。システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=LIST マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

プロファイルの作成は、次のいずれかにより要求されました。

- セキュリティ・ドメインの初期設定
- CEMT コマンド PERFORM SECURITY REBUILD
- EXEC CICS PERFORM SECURITY REBUILD コマンドを呼び出すユーザー提供トランザクション

システムの処置: 信頼性のあるリソース・セキュリティを提供することができないため、CICS は終了します。



ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=LIST 操作が失敗した理由を判別してください。外部セキュリティ・マネージャーの問題を修正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSRC

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *classname*, *X'safresp'*, *X'safreas'*, *X'esmresp'*, *X'esmreas'*

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

---

**DFHXS1107** *applid* Partner-LU profiles for class APPCLU have been built.

説明: クラス APPCLU のパートナー LU プロファイルは、外部セキュリティ・マネージャーにより、正常にストレージへロードされました。

システムの処置: プロファイルは、この後の LU6.2 セッション (その CONNECTION 定義が BINDSECURITY(YES) を指定しているもの) のバインド権限検査に使用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXSRC

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

---

**DFHXS1108** *applid* Partner-LU profiles could not be built for class APPCLU. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: クラス APPCLU のパートナー LU プロファイルは、外部セキュリティ・マネージャーが正常にストレージへロードできませんでした。そのため CICS には、APPCLU セキュリティ・プロファイルがありません。システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=LIST マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

プロファイルの作成は、次のいずれかにより要求されました。

- 端末管理の VTAM サポートの初期設定
- CEMT コマンド SET VTAM OPEN
- CEMT コマンド PERFORM SECURITY REBUILD
- EXEC CICS SET VTAM OPEN コマンドを呼び出すユーザー提供トランザクション
- EXEC CICS PERFORM SECURITY REBUILD コマンドを呼び出すユーザー提供トランザクション

システムの処置: 障害が発生したのが CICS 初期設定か PERFORM SECURITY REBUILD の際である場合は、CICS は終了します。障害が発生したのが SET VTAM OPEN の際である場合は、VTAM ACB はクローズされ、CICS は続行します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=LIST 操作が失敗した理由を判別してください。外部セキュリティ・マネージャーの

問題を修正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSIS, DFHXSRC

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *X'safresp'*, *X'safreas'*, *X'esmresp'*, *X'esmreas'*

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

---

**DFHXS1109** *applid* APPC PROFILE *profile* COULD NOT BE AUDITED. SAF CODES ARE (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM CODES ARE (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: パートナー LU 検査の監査要求が、プロファイル *profile* で失敗しました。

APPC セッションのスタートアップの際に、各パートナーはもう片方の妥当性を検査することができます。この妥当性検査処理の際に、システムは次のことを行います。

- 外部セキュリティ・マネージャーから、関係のある APPCLU プロファイルを検索する。
- セッション・キーがまだ使用可能かどうかを検査する。
- このプロファイルと妥当性検査に関連する監査レコードをデータ管理機能 (DMF) に書き込むように、外部セキュリティ・マネージャーに要求する。

監査対象のイベントは次のとおりです。

- セッション・パートナーの妥当性検査が正しく行われたかどうか
- セッション・パートナーが妥当性検査に失敗したかどうか
- セッション・キーが 5 日以内に有効期限が切れるかどうか
- 検索されたプロファイルが『ロック』されているかどうか
- セッション・キーが空またはすべてゼロであるかどうか
- セッション・キーが有効期限切れになっているかどうか

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=AUDIT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

システムの処置: CICS システムはこのイベントの影響を受けず、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=AUDIT 操作が失敗した理由を判別してください。外部セキュリティ・マネージャーの問題を訂正してから、該当する場合はセキュリティの再作成を実行してください。

モジュール: DFHXSXB

宛先: コンソール経路コード 9

---

**DFHXS1110** *applid* Security is requested, but the external security manager is inactive.

説明: この領域のセキュリティが要求されましたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) は非活動状態でした。

SEC システム初期設定パラメーターは YES と指定されているか、またはデフォルト値のままになっています。ESM が活動

## DFHXS1111 • DFHXS1113

状態でなければ、CICS はセキュリティー・マネージャーを初期設定することができません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: システムに ESM がインストールされている場合は、CICS を開始する前に、それが活動状態であることを確認してください。インストールされていない場合は、システム初期設定パラメーターとして SEC=NO を指定し、セキュリティーなしで CICS を再始動します。SEC パラメーターは、コンソール指定変更として入力できないことに注意してください。

モジュール: DFHXSIS

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール経路コード 1、9、10、および 11

---

**DFHXS1111** *date time applid tranid* **Security violation by user *userid* at *netname* | at console | portname for resource *resource* in class *classname*. SAF codes are (X'*safresp*',X'*safreas*'). ESM codes are (X'*esmresp*',X'*esmreas*').**

説明: リソース・クラス *classname* のリソース *resource* に対する許可検査を実行しているときに、CICS はユーザー *userid* によるセキュリティー違反を検出しました。

違反したユーザー ID が VTAM 端末でサインオンされている場合は、句『at *netname* *portname*』により、違反の生じたネット名が示されます。違反したユーザー ID がコンソールでサインオンされている場合は、句『at console *portname*』により、違反の生じたコンソール名が示されます。違反したユーザー ID がサインオンされていないか、あるいは非端末タスクである場合は、エントリー・ポートは利用不能なので、このメッセージには示されません。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティー・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=FASTAUTH または RACROUTE REQUEST=AUTH マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティー・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

ユーザーが LOGMESSAGE(LOG) オプションを指定して EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを使用したときにも、CICS はこのメッセージを出します。

システムの処置: CICS は、以下のいずれかの条件の場合は除いて、無効なアクセスを要求するタスクを異常終了させます。

- このコマンドが EXEC CICS HANDLE NOTAUTH コマンドの有効範囲内で出された場合
- このコマンドが EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドの結果として出された場合

ユーザーの処置: セキュリティー違反に注意してください。

モジュール: DFHXSRC

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *tranid*, *userid*, {1= at *netname*, 2= at console }, *portname*, *resource*, *classname*, X'*safresp*', X'*safreas*', X'*esmresp*', X'*esmreas*'

宛先: CSCS

---

**DFHXS1112** *applid* **The CICS region *userid* and *groupid* could not be determined. SAF codes are (X'*safresp*',X'*safreas*'). ESM codes are (X'*esmresp*',X'*esmreas*').**

説明: CICS は、この CICS 領域のユーザー ID およびグループ ID を判別することができませんでした。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティー・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティー・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 外部セキュリティー・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=EXTRACT 操作が失敗した理由を判別してください。その後で、障害のある領域のユーザー ID およびグループ ID のエラーを訂正して CICS を再始動するか、または、異なるユーザー ID およびグループ ID を指定して CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSIS

XMEOUT パラメーター: *applid*,

X'*safresp*', X'*safreas*', X'*esmresp*', X'*esmreas*'

宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

---

**DFHXS1113** *applid* **The region *userid* cannot access system transaction *tranid*. CICS will terminate. SAF codes are (X'*safresp*',X'*safreas*'). ESM codes are (X'*esmresp*',X'*esmreas*').**

説明: この CICS システムの領域ユーザー ID は、システム・トランザクション *tranid* をタスク生成する許可を得ていません。CICS 要件として、領域ユーザー ID はこのトランザクションにアクセスできなければなりません。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティー・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=FASTAUTH または AUTH マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティー・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: CICS 領域ユーザー ID に、必要なすべての CICS システム・トランザクションへのアクセスを許可する

か、または必要な権限を持つ別の領域ユーザー ID を指定してください。(必要なトランザクションは、「CICS TS セキュリティーの手引き」で『カテゴリー 1』のトランザクションとして説明されています。)

その後で CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSRC

**XMEOUT** パラメーター: *applid, tranid, X'safresp', X'safreas', X'esmpresp', X'esmpreas'*  
宛先: コンソール経路コード 2、9、10、および 11

---

**DFHXS1201** *date time applid* **The password supplied in the verification request for userid *userid* was invalid. This occurred in transaction *tranid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: ユーザー検査に、無効なパスワードが提供されました。システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを与えるか、あるいはセキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。誤ったパスワードを与え続けると、このユーザー ID は、外部セキュリティ・マネージャーにより取り消されることがあります。取り消されたユーザー ID は、セキュリティ管理者しか復元できません。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, userid, netname*  
宛先: CSCS

---

**DFHXS1202** *date time applid* **The password supplied in the verification request for userid *userid* has expired. This occurred in transaction *tranid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: ユーザー検査に、有効期限切れのパスワードが提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: CICS サインオン処理、EXEC CICS CHANGE PASSWORD API、あるいはその他の使用可能な方法で、パスワードを変更してください。あるいはセキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, userid, netname*  
宛先: CSCS

---

**DFHXS1203** *date time applid* **The userid supplied in the verification request for userid *userid* is revoked. This occurred in transaction *tranid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: ユーザー検査に、取り消されたユーザー ID が提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, userid, netname*  
宛先: CSCS

---

**DFHXS1205** *date time applid* **The userid *userid* supplied in a verification request is not defined in the ESM. This occurred in transaction *tranid* at netname *netname*.**

説明: ユーザー検査に、未定義のユーザー ID が提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, netname*  
宛先: CSCS

---

**DFHXS1211** *date time applid* **The password supplied in a change password request for userid *userid* was invalid. This occurred in transaction *tranid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: パスワード変更処理に、無効なパスワードが提供されました。

システムの処置: 外部セキュリティ・マネージャーは、VSE コンソールにもメッセージを出す場合があります。

CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを与えるか、あるいはセキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。誤ったパスワードを与え続けると、このユーザー ID は、外部セキュリティ・マネージャーにより取り消されることがあります。取り消されたユーザー ID は、セキュリティ管理者しか復元できません。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, userid, netname*  
宛先: CSCS

---

**DFHXS1213** *date time applid* **The userid supplied in a change password request for userid *userid* is revoked. This occurred in transaction *tranid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

## DFHXS1214 • DFHXS1216

説明: パスワード変更要求の際に、取り消されたユーザー ID が提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: ユーザー ID を復元してもらって、使用できるようにする必要があります。セキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, userid, netname*

宛先: CSCS

---

**DFHXS1214** *date time applid* **The new password supplied in a change password request for userid *userid* was not accepted. This occurred in transaction *tranid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: パスワード変更要求の際に、無効な新規パスワードが提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 適切な新規パスワードを選択して再試行してください。必要な場合は、セキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, userid, netname*

宛先: CSCS

---

**DFHXS1215** *date time applid* **The userid *userid* supplied in a change password request is not defined in the ESM. This occurred in**

**transaction *tranid* at netname *netname*.**

説明: パスワード変更要求の際に、未定義のユーザー ID が提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, netname*

宛先: CSCS

---

**DFHXS1216** *date time applid* **The userid *userid* supplied in a change password request has a revoked connection to the default group in the ESM. This occurred in transaction *tranid* at netname *netname*.**

説明: パスワード変更要求の際に提供されたユーザー ID は、デフォルト・グループへの ESM 接続において取り消されています。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, userid, tranid, netname*

宛先: CSCS

---

## DFHZCxxxx メッセージ

VTAM の SYNAD 出口および LERAD 出口に入ったために生成されるメッセージには、VTAM RETURN CODE *xxyy* というテキストが付加されます。ここで、*xx* は VTAM リカバリー処置戻りコード、*yy* は VTAM 固有のエラー戻りコードで、いずれも RPL のフィールドから取られます。

システムまたはユーザーのセンス・データが受け取られたために生成されるメッセージには、SENSE RECEIVED *xxyy zzzz* というテキストが付加されます。ここで、*xx* は VTAM システム・センス情報バイト、*yy* は VTAM システム・センス修飾バイトです。また、*zzzz* は 2 バイトのユーザー・センス情報を表しています。

*xx, yy, および zzzz* の値は、16 進数で示されています。VTAM システムのセンス情報バイト *xx* は、以下のいずれかの値になります。

*xx* 意味

**X'00'** ユーザー・センス・データのみ (*zzzz* を参照)

**X'08'** 要求の拒否

**X'10'** 要求エラー

**X'20'** 状態エラー

X'40' 要求ヘッダー (RH) 使用エラー

X'80' 経路エラー

*yy* の意味については、「SNA Formats」を参照してください。

有益なフィードバックを使用できない場合には、*sense* という文字は DFHZCxxxx メッセージには含まれません。

一部の DFHZCxxxx メッセージ上の *instance* フィールドは、IBM 内部使用専用のものです。

---

**DFHZC0001** *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性を意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 VSE コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。VSE コードは、システム完了コード (例えば、0C1) です。VSE コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDMD) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

VSE コードがあるならば、それを「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 異常終了コード』で調べてください。

次に、CICS 異常終了コードを、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

*code* についての詳細は、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZGBM、DFHZGCA、DFHZGCC、DFHZGCN、DFHZGDA、DFHZGPC、DFHZGRP、DFHZGSL、DFHZGUB

XMEOUT パラメーター: *applid*、*aaa/bbbb*、X'*offset*'、*modname*  
宛先: コンソール

---

**DFHZC0002** *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'*code*') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDMD) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZGCA、DFHZGCC、DFHZGCN、

DFHZGDA、DFHZGPC、DFHZGRP、DFHZGSL、DFHZGUB

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHZC0003** *applid* **Insufficient storage (code *X'code'*) in module *modname*.**

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます (メッセージ内のコード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを押し止さない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム定義の手引き」または「CICS TS パフォーマンスの手引き」を参照してください。  
モジュール: DFHTCRP、DFHZGRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHZC0004** *applid* **A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを押し止さない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) によって CICS が終了させられる場合があります。このことを示すメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了しなかった場合は、CICS をダウンさせるほど問題が重大かどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設

定パラメーター (ICVR はミリ秒単位で計測) で指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'offset'*, *modname*  
宛先: コンソール

**DFHZC0101** *date time applid* **A predatory takeover has forced VTAM to allow another application to open the ACB which CICS was using.**

説明: 強制的な引き継ぎが起きています。これは、CICS システムと同じアプリケーション ID を持つジョブが初期設定していることを意味します。これにより、ネットワークの引き継ぎが開始されます。この処理の通常の一部として、VTAM によって TPEND 出口が駆動されます。

システムの処置: VTAM セッションに関するすべての要求は異常終了し、セッションがクローズされます。そして、CICS 領域と同じアプリケーション ID を使用しているアプリケーションによって VTAM ACB がオープンされます。新しいシステムでは、持続セッションがリカバリーされます。

ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZNCA

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSNE

**DFHZC0110** *date time applid* **The LU6.2 NIB and the TCTTE/BIND data for session *sessid* did not match during a persistent sessions restart. Reason code *X'n'*.**

説明: 持続セッションの再始動時に、ノード初期設定ブロック (NIB) が、VTAM によって CICS に渡されました。CICS は NIB とセッション TCTTE を一致させようとした。理由コードで、両者が一致しない原因がわかります。

理由 解説

- 1 単一/並列セッションの指示が一致しなかった。
- 2 LU タイプが一致しなかった。
- 3 LU タイプおよび単一/並列セッションが一致しなかった。

システムの処置: TCTTE を持つ持続セッションを一致させる試みが失敗しました。セッションはアンバインドされます。CICS はこのセッションを無視し、次のセッションがある場合はそれを続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは、VTAM が渡した NIB

に一致する、適当なグローバル・カタログ・レコードがないことを意味します。また、正しくないグローバル・カタログが CICS のこの初期設定に使用されているか、カタログ・レコードが破壊されていることも示しています。使用されているグローバル・カタログが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHZGPC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sessid, X'n'*  
宛先: CSNE

**DFHZC0111** *date time applid No session TCTTE is available to match sysid sysid for modename modename because VTAM has returned more NIBs than the CNOS session limit values require.*

説明: 持続セッションの再始動時に、現行 CNOS セッション限界値の要求を上回るノード初期設定ブロック (NIB) を、VTAM が戻しました。CICS が失敗したときに、高いセッション限度からより低いセッション限度へと CNOS が進行中であったことが原因と考えられます。

システムの処置: NIB 機能の処理は終了し、セッションはアンバインドされます。CICS はこのセッションを無視し、次のセッションがある場合はそれを続行します。

このような状況になっても、リストアされた CICS には何の影響もありません。最後にカタログが作成された CNOS 値がリストアされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGPC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sysid, modename*  
宛先: CSNE

**DFHZC0112** *date time applid No TCTME was found for sysid sysid modename modename during a persistent sessions restart.*

説明: 持続セッションの再始動時にエラーが起きました。VTAM は、メッセージに示されたモードネームを含む NIB を CICS に渡しましたが、CICS は対応する TCTME を見つけることができませんでした。

システムの処置: NIB を TCTTE と突き合わせる試みが終了し、セッションはアンバインドされます。

システム・ダンプが作成されます。

このモードグループに関係ない CNOS 値はリストアされますが、メッセージに示されたモードグループはリカバリーすることができません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZGPC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sysid, modename*  
宛先: CSNE

**DFHZC0120I** *applid VTAM sessions persisted for a COLD start. Sessions terminated. Inquires issued icount, sessions persisting spcount, sessions terminated stcount.*

説明: CICS はコールド・スタートで初期設定されていますが、VTAM セッションの中にはゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から持続しているものがあります。

CICS は、持続セッションをすべて終了しようとしていました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *icount* は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。
- *spcount* は、持続 VTAM セッションの数を示します。
- *stcount* は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSESS マクロで終了したセッションの数を示します。これは、*spcount* の値と同じでなければなりません。同じでない、持続セッションのリカバリーはおそらく失敗しました。前に出されたメッセージで理由が分かります。

前にメッセージが出されていない場合は、アクティブ・セッションの数を示す VTAM INQUIRE カウント・マクロから得られたカウントが、VTAM が持続させていたセッションの数と同じではなかった可能性があります。これは、問題ありません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター: *applid, icount, spcount, stcount*  
宛先: コンソール

**DFHZC0121I** *applid VTAM sessions persisted for a WARM start. Sessions terminated. Inquires issued icount, sessions persisting spcount, sessions terminated stcount.*

説明: CICS は WARM スタートで初期設定されていますが、VTAM セッションの中には、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から予想外に持続しているものがあります。

CICS は、持続セッションをすべて終了しようとしていました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *icount* は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。
- *spcount* は、持続 VTAM セッションの数を示します。
- *stcount* は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSESS マクロで終了したセッションの数を示します。これは、*spcount* の値と同じでなければなりません。同じでない、持続セッションのリカバリーはおそらく失敗しました。前に出されたメッセージで理由が分かります。

前にメッセージが出されていない場合は、アクティブ・セッションの数を示す VTAM INQUIRE カウント・マクロから得られたカウントが、VTAM が持続させていたセッションの数と同じではなかった可能性があります。これは、問題ありません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 直前の実行の JOBLOG を調べて、WARM

シャットダウンにもかかわらずセッションが持続している理由を判別してください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *icount*, *spcount*, *stcount*

宛先: コンソール

**DFHZC0122I** *applid* VTAM sessions persisted for an EMERGENCY, XRF=YES start. Sessions terminated. Inquires issued *icount*, sessions persisting *spcount*, sessions terminated *stcount*.

説明: CICS は EMERGENCY スタートで初期設定されています。しかし、XRF = YES が指定されており、VTAM セッションの中には、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から予想外に持続しているものがあります。

CICS は、持続しているセッションをすべてクローズしようとしてしました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *icount* は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。
- *spcount* は、持続 VTAM セッションの数を示します。
- *stcount* は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSESS マクロで終了したセッションの数を示します。これは、*spcount* の値と同じでなければなりません。同じでない、持続セッションのリカバリーはおそらく失敗しました。前に出されたメッセージで理由が分かります。

前にメッセージが出されていない場合は、アクティブ・セッションの数を示す VTAM INQUIRE カウント・マクロから得られたカウントが、VTAM が持続させていたセッションの数と同じではなかった可能性があります。これは、問題ありません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: XRF と持続セッションを混合しないでください。XRF を使用したい場合は、COLD スタートを行ってください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *icount*, *spcount*, *stcount*

宛先: コンソール

**DFHZC0123I** *applid* VTAM sessions persisted when OPEN VTAM ACB issued. Sessions terminated. Inquires issued *icount*, sessions persisting *spcount*, sessions terminated *stcount*.

説明: CICS の実行中に VTAM ACB がオープンされましたが、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から持続している VTAM セッション、もしくは VTAM ACB のクローズ中にも持続していた VTAM セッションがありました。

持続しているセッションは終了しました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *icount* は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。
- *spcount* は、持続 VTAM セッションの数を示します。

- *stcount* は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSESS マクロで終了したセッションの数を示します。これは、*spcount* の値と同じでなければなりません。同じでない、持続セッションのリカバリーはおそらく失敗しました。前に出されたメッセージに理由が説明されています。

前にメッセージが出されていない場合は、アクティブ・セッションの数を示す VTAM INQUIRE カウント・マクロから得られたカウントが、VTAM が持続させていたセッションの数と同じではなかった可能性があります。これは、問題ありません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *icount*, *spcount*, *stcount*

宛先: コンソール

**DFHZC0124I** *applid* VTAM sessions persisted for an EMERGENCY start. Inquires issued *icount*, sessions persisting *spcount*, sessions terminated *stcount*, sessions OPNDSTed *socount*, sessions in error *secount*.

説明: CICS は EMERGENCY スタートで初期設定されていましたが、VTAM セッションの中に、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から持続しているものがあります。

持続しているセッションは、それぞれリストアされたか、終了しました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *icount* は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。
- *spcount* は、持続 VTAM セッションの数を示します。これは、VTAM INQUIRE OPTCD=COUNTS マクロから得られるもので、以下の 3 つのフィールドの合計と等しくなるはずです。

3 つのフィールドの合計と等しくない場合は、INQUIRE が報告したアクティブ・セッションの数が、実際に持続しているセッションの数と同じでないことが考えられます。これは、問題ありません。ただし、このカウントが以下の 3 つのフィールドと等しくないことに加えて、メッセージが DFHZGRP から前もって出されていると、持続セッションのリカバリーが失敗した可能性があります。この場合、前もって出されたメッセージで理由が分かります。

- *stcount* は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSESS マクロで終了したセッションの数を示します。OPNDST 障害が NIBLIST 全体にわたって起きた場合 (メッセージ DFHZC0129 を参照)、NIBLIST 内のセッションは終了しました。このカウントはそれらのセッションを含んでいます。
- *socount* は、OPNDST OPTCD=RESTORE マクロで CICS が正常にリストアした VTAM セッションの数を示します。
- *secount* は、CICS がリストアできなかったセッションの数を示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *icount*, *spcount*, *stcount*,

*socount*, *secount*



宛先: コンソール

---

**DFHZC0125** *date time applid netname persistent session will be terminated. sense ((instance) Module name: {DFHZGRP})*

説明: CICS は EMERGENCY スタートで初期設定されていましたが、VTAM セッションの中に、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から持続しているものがあります。

しかし、*netname* の NETNAME を持つセッションは、メッセージ中の *instance* によって示される以下の理由の 1 つにより、終了します。AP 例外トレース項目が、それぞれの *instance* について以下のように作成されます。

インスタンス

- |   | ポイント ID | および説明   |
|---|---------|---|
| 1 | X'FB21' | APPC セッションをリカバリーするための十分なストレージがない。                 |
| 2 | X'FB22' | 端末セッションをリカバリーするための十分なストレージがない。                    |
| 3 | X'FB25' | 同じ NETNAME を持つ NIB および TCTTE の LU TYPE が同じではなかった。 |

システムの処置: 上記のポイント ID を持つ AP 例外トレースが出されます。セッションは終了し、CICS は続行されません。

ユーザーの処置: メッセージが出された場所を例外トレース・ポイントで識別し、どのような処置を取るかを判断してください。

モジュール: DFHZGRP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, sense, instance, {1=DFHZGRP, 2=DFHZGRP, 3=DFHZGRP}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC0126I** *applid No VTAM sessions persisted for an EMERGENCY restart.*

説明: CICS は EMERGENCY スタートで初期設定されていましたが、直前の CICS 実行時から持続している VTAM セッションはありませんでした。次の理由が考えられます。

- 直前の実行時に持続が指定されていなかった。
- CICS が ACB オープンによって破損したが、セッションは使用されていなかった。
- PSDI 値の有効期限が切れていた。
- セッションが持続するかどうかを、DFHZGRP が判断するより先にエラーが起きた。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

**DFHZC0127** *applid Cannot reestablish persisting sessions - VTAM ACB is closed. Code: X'code'. Module name: module*

説明: ACB がクローズしていたか、すべてのセッションをリストアまたは終了する前にオペレーターの処置によって ACB がクローズされようとしていたにもかかわらず、VTAM ACB

がオープンされ、CICS が VTAM 持続セッションを処理しています。

システムの処置: CICS は VTAM ACB のクローズを継続し、VTAM サポートなしで実行されます。

ユーザーの処置: オペレーターが ACB をクローズした理由を判断してから、VTAM なしで継続するか、ACB を動的にオープンするか、または CICS を正常にシャットダウンし再始動してください。

X'code' は、ACB がクローズしているときの VTAM マクロが診断したか、またどこでその診断が出されたかを判断する AP 例外トレース項目です。

モジュール: DFHZGRP、DFHZGUB

**XMEOUT** パラメーター: *applid, X'code', module*

宛先: コンソール

---

**DFHZC0128** *applid Cannot reestablish persisting sessions - VTAM not responding. Module name: module*

説明: CICS が VTAM 持続セッションを処理しています。しかし、CICS は VTAM マクロを出し、応答を 5 分間待ちました。

システムの処置: スタートアップ中にこのようなことが起きると、CICS は終了します。動的オープン中に起きると、VTAM ACB はクローズし、CICS は VTAM なしで続行されます。

どちらの場合も、このメッセージに関してダンプがとられます。

ユーザーの処置: すぐに CICS を再始動することもできますが、持続セッションのタイムアウトを待ってから CICS を再始動することもできます。

この問題が再発する場合には、VTAM が、(メッセージが DFHZGRP によって出された場合) INQUIRE または OPNDST マクロに対して、または (メッセージが DFHZGUB によって出された場合) CLSDST または TERMSESS マクロに対して応答していない理由を突き止める必要があります。

どのマクロが応答していないかを判断するには、ダンプの TCP セクションを調べ、PS\_RPL とラベル付けされた PS POOL 内の RPL を見てください。最初の RPL は INQUIRE または OPNDST が使用するもので、次の 10 個は CLSDST または TERMSESS が使用するものです。

モジュール: DFHZGRP、DFHZGUB

**XMEOUT** パラメーター: *applid, module*

宛先: コンソール

---

**DFHZC0129** *applid VTAM OPNDST RESTORE failed. All sessions in the NIBLIST will be terminated instead. RTNCD,FDB2: X'rc',X'fd'. Code: X'code'*

説明: CICS は EMERGENCY 再始動中に VTAM 持続セッションを処理していますが、OPNDST OPTCD=RESTORE マクロへの応答の中で、VTAM によって *rc,fd* の RTNCD,FDB2 が戻されました。

システムの処置: AP 例外トレース項目 X'code' が作成されます。

ダンプ・テーブル内でダンプが特に抑制されていない限り、このような問題が初めて起きたときにシステム・ダンプがとられます。

## DFHZC0130 • DFHZC0136

CICS は、NIBLIST 内のセッションをすべてリストアする代りに、終了しようとしています。

ユーザーの処置: この問題が初めて起きたときに取られたダンプまたは例外トレース項目、および「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するのに必要な処置を判別してください。

モジュール: DFHZGRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'*rc*', X'*fd*', X'*code*'

宛先: コンソール

---

### DFHZC0130 *applid* VTAM INQUIRE PERSESS failed. Cannot restore any persisting sessions.

**RTNCD,FDB2:** X'*rc*',X'*fd*'. **Code:** X'*code*'

説明: CICS は VTAM 持続セッションを処理していますが、INQUIRE OPTCD=PERSESS マクロへの応答の中で、VTAM によって *rc,fd* の RTNCD,FDB2 が戻されました。

システムの処置: AP 例外トレース項目 X'*code*' が作成されません。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

初期設定中にこのような問題が起きると、CICS は終了します。

ACB の動的オープン中に起きると、CICS は ACB をクローズし、VTAM なしで実行が継続されます。

PSDI 値がタイムアウトになるか、VTAM オペレーター・コマンドが出されてセッションが終了するまで、セッションは持続します。

ユーザーの処置: ダンプまたは例外トレース項目、および「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

初期設定時に問題が起こった場合には、エラーの訂正を試みながらスタートアップを再試行するか、あるいは PSDI 値の時間が満了するまで待つてから CICS を再始動してください。

ACB の動的オープン中にこのような問題が起きた場合は、コマンドをもう一度出して VTAM ACB をオープンするか、PSDI 値の時間が満了するのを待つてからコマンドをもう一度出してください。

モジュール: DFHZGRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'*rc*', X'*fd*', X'*code*'

宛先: コンソール

---

### DFHZC0131 *date time applid netname termid* VTAM OPNDST RESTORE failed.

説明: CICS は VTAM 持続セッションを処理しており、NIBLIST に対して OPNDST OPTCD=RESTORE を出しました。しかし、*netname*、および *termid* のセッションまたは端末 ID で識別される NIB は正常にオープンできませんでした。この理由としては、INQUIRE OPTCD=PERSESS が出された後に VTAM オペレーターがセッションを終了したことが考えられます。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 通常の方法でセッションを再オープンしてください。

モジュール: DFHZGRP

**444** z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 巻

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *netname*, *termid*

宛先: CSNE

---

### DFHZC0132 *applid* VTAM INQUIRE PERSESS failed. Cannot restore some persisting sessions. Network only partially restored.

**RTNCD,FDB2:** X'*rc*',X'*fd*'. **Code:** X'*code*'

説明: CICS は VTAM 持続セッションを処理していますが、後続の INQUIRE OPTCD=PERSESS マクロへの応答の中で、VTAM によって *rc,fd* の RTNCD,FDB2 が戻されました。システムの処置: AP 例外トレース項目 X'*code*' が作成されません。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS は、部分的なネットワークで続行されます。セッションには使用可能なものとそうでないものがあります。使用可能になっていないものも、PSDI 値がタイムアウトになるか、VTAM オペレーターが失敗したセッションを終了すれば使用できます。

ユーザーの処置: ダンプまたは例外トレース項目、および「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

ネットワークのかなりの部分が利用可能な場合は、PSDI 値が満了するのを待つてか、VTAM オペレーター・コマンドを使用してセッションを終了してください。

ネットワークが使用できない場合は、VTAM ACB をいったんクローズしてから再オープンするか、または CICS を再始動してください。

モジュール: DFHZGRP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, X'*rc*', X'*fd*', X'*code*'

宛先: コンソール

---

### DFHZC0133A *applid* Persistent session recovery failed.

説明: CICS の初期設定中に、VTAM 持続セッションを処理する試みが失敗しました。理由は、前に出されたメッセージで分かります。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 前に出されたメッセージと例外トレース項目を調べて、障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHSII1

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHZC0136 *applid* PSDI value indicated persistence but the run time VTAM does not support persistent sessions.

説明: PSDI 値は非ゼロです。これは、CICS 障害が起きても VTAM セッションが持続するよう指定しています。しかし、このリリースの VTAM では、持続セッションはサポートされていません。

システムの処置: CICS は PSDI 値を 0 に設定し、持続セッションのサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: CICS の持続セッション・サポートを利用するためには、もっと上位レベルの VTAM を使用する必要があります。

VTAM の旧リリースの使用時にこのメッセージが出されるのを防ぐには、PSDINT システム初期設定パラメーターをゼロに設定してください。EXEC CICS SET VTAM コマンドの使用時には、省略するか、PSDINTERVAL オペランドにゼロの値を指定してください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHZC0137** *applid* PSDI value indicated persistence but the TCT assemble time VTAM does not support persistent sessions.

説明: PSDI 値は非ゼロです。これは、CICS 障害が起きても VTAM セッションが持続するよう指定しています。ただし、持続セッションをサポートできないリリースの VTAM に対して、DFHTCTxx がアセンブルされました。

システムの処置: CICS は PSDI 値を 0 に設定し、持続セッションのサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: CICS の持続セッション・サポートを利用するためには、正しいレベルの VTAM に対して TCT を再アセンブルしてください。

VTAM の旧リリースの使用時にこのメッセージが出されるのを防ぐには、PSDINT システム初期設定パラメーターをゼロに設定してください。EXEC CICS SET VTAM コマンドの使用時には、省略するか、PSDINTERVAL オペランドにゼロの値を指定してください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHZC0140** *applid* SETLOGON PERSIST failed.  
RTNCD,FDB2: X'rc',X'fd'. Code: X'code'

説明: CICS が VTAM ACB をオープンしていたか、オペレーター・コマンドからの PSDI 値を設定していたか、あるいは WARM シャットダウンを行っていました。CICS は、VTAM コマンド SETLOGON OPTCD=PERSIST または OPTCD=NPERSIST を出そうと試みましたが、しかし、VTAM は *rcfd* の RTNCD,FDB2 を戻しました。システムの処置: AP 例外トレース項目 *code* が作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

ACB がオープンされていた場合、VTAM セッションは持続されず、PSDI 値は 0 に設定されます。

PSDI 値をオペレーターがちょうど変更していたか、終了中にちょうど変更されていた場合には、CICS と VTAM の双方に対して値は変更されません。

VTAM シャットダウンの最中で、まだクローズしていないセッションがあるときにこの問題が起きると、セッションは VTAM スタートアップ時に存在している場合がありますが、その後終了します。

ユーザーの処置: ダンプかまたは例外トレース項目 *code* を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

モジュール: DFHZGSL

XMEOUT パラメーター: *applid*, X'rc', X'fd', X'code'

宛先: コンソール

**DFHZC0144** *date time applid sysid termid* Synclevel 2 conversation started by *netname* before Exchange Lognames, and following a persistent sessions restart. *sense* ((*instance*))  
Module name: {DFHZGDA}

説明: 持続セッションが再始動された後、CICS は、ログ名の交換の処理が完了する前に、ネット名 *netname* を持つパートナーから同期レベル 2 の会話の付加 FMH5 を受け取りました。

システムの処置: センス・コード 08640001 の

deallocate(Abend) が、この会話に対して出されます。

ユーザーの処置: ログ名の交換が完了するまで、さらに他の APPC の同期レベル 2 の会話をパートナーが開始してはなりません。交換ログ名が完了したかどうかを判別するために、CEMT を使用して接続の状況を照会してください (詳細については、「CICS Transaction Server for VSE/ESA CICS 提供のトランザクション」を参照してください)。

モジュール: DFHZGDA

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *sysid*, *termid*, *netname*, *sense*, *instance*, {1=DFHZGDA}

宛先: CSNE

**DFHZC0145** *date time applid netname termid* Synclevel 2 APPC conversation started before Exchange Lognames completed. Error occurred executing Deallocate(Abend). *sense* ((*instance*))  
Module name: {DFHZGDA}

説明: *netname* を持つ APPC セッション *termid* が、CICS 持続セッションの再始動中に持続していました。パートナーは、ログ名交換処理が完了する前に、新しい同期レベル 2 の会話を開始しました。CICS は、この会話に対して Deallocate(Abend) を出そうと試みましたが、

Deallocate(Abend) は、以下のメッセージ内の *instance* が示す理由のため、完了することができませんでした。

インスタンス

解説

- 01 DFHZGDA が、チェーン有限状態マシンによって、予期しない状態のときに呼び出された。
- 02 DFHZGDA が、ブラケット有限状態マシンによって、予期しない状態のときに呼び出された。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 持続セッションの再始動後のセッションの状態を判別することはできません。この状態をリセットするため、セッションが非活動化されます。その後、セッションは再活動化されます。

ユーザーの処置: セッションの再活動化がうまくいかなかった場合は、CSNE ログを検査して、新しい BIND が失敗した理由を示しているメッセージを見つけてください。VTAM オペレーターが、セッションを使用できない状態にしている可能性があります。

モジュール: DFHZGDA

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *netname*, *termid*, *sense*, *instance*, {1=DFHZGDA, 2=DFHZGDA}

宛先: CSNE

---

**DFHZC0146** *date time applid VTAM session for termid successfully recovered following a persistent sessions restart sense ((instance) Module name: {DFHZXRC})*

説明: CICS が、持続セッションの再始動後に、端末 *termid* の VTAM 持続セッションをリストアしました。

APPC セッションの場合のこれと同等のメッセージは、DFHZC0156 です。

システムの処置: リカバリー通知がこの端末に指定されていると、リカバリー・メッセージが送信されるか、リカバリー通知時に実行されるよう要求されたトランザクションが開始されます。

ユーザーの処置: 必要であれば、NEP をコーディングして、もともとこのセッションの TYPETERM 定義で指定されていたリカバリー通知オプションを上書きしてください。詳細については、「CICS Transaction Server for VSE/ESA 資源定義の手引き」および「CICS Transaction Server for VSE/ESA カスタマイズの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHZXRC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, sense, instance, {1=DFHZXRC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC0147** *date time applid sysid termid Error occurred recovering persisting session. sense ((instance) Module name: {DFHZGDA})*

説明: エラーのため、緊急再始動が行われても持続していた APPC 会話のリカバリーが失敗しました。

*termid* の端末 ID を持つセッションが終了します。この理由および対応する AP 例外トレース項目は、メッセージ内の *instance* によって示されています。

インスタンス

ポイント ID および説明

- 1 X'FB79' ブラケット状態が無効なため、SEND が実行されなかった。
- 2 X'FB7B' セッションのリカバリーのための十分なストレージがなかった。
- 3 X'FB76' リカバリー状況バイト TCTE\_PRSS に予期しない値が含まれている。
- 4 X'FB7A' ブラケット状態が無効なため、RECEIVE が実行されなかった。
- 5 X'FB78' 持続セッションのリカバリー中に、予期しないセンスを受け取った。

システムの処置: 上記のポイント ID を持つ AP 例外トレースが出されます。セッションは終了し、CICS は続行されません。

ユーザーの処置: ストレージが足りないためにリカバリーが失敗した場合は、DSA または EDSA のサイズ限界を上げてみてください。これを行う方法についての詳細は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム定義の手引き」を参照してください。

その他のインスタンスが起こった場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZGDA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, termid, sense, instance, {1=DFHZGDA, 2=DFHZGDA, 3=DFHZGDA, 4=DFHZGDA, 5=DFHZGDA}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC0148** *date time applid sysid termid VTAM send or receive failed during persistent sessions recovery. sense ((instance) Module name: {DFHZGDA})*

説明: 持続セッションの再始動後のセッション・リカバリーの一部として、CICS が VTAM SEND または RECEIVE を出しました。VTAM 要求は失敗し、セッションは不明の状態になります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するためには、CSNE ログ内の関連した DFHZCnnnn メッセージを参照してください。このメッセージによって、VTAM 要求の失敗に関するさらに詳しい診断情報が得られます。

モジュール: DFHZGDA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, termid, sense, instance, {1=DFHZGDA, 2=DFHZGDA}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC0149** *date time applid termid Connection failure occurred during a persistent sessions restart sense ((instance) Module name: {DFHZNSP})*

説明: 持続セッションの再始動中に、CICS の直前のインスタンス中に出されたセッション開始要求が失敗したという通知を、CICS が受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZNSP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, sense, instance, {1=DFHZNSP}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC0150** *date time applid termid Error processing the session state data returned after a persistent sessions restart. sense ((instance) Module name: {DFHZXRC})*

説明: 端末 *termid* の VTAM セッションは CICS 持続セッションの再始動中も持続していましたが、VTAM によって戻されたセッション状態データの処理中にエラーが起きました。その理由は、メッセージ内の *instance* によって以下のように示されます。

## インスタンス

## 解説

- 01 DFHZXRC が無効な要求によって呼び出された。
- 02 TCTTEDA に、予期されたアドレスの代りにヌル文字が含まれている。
- 03 予約済み
- 04 VTAM によって渡されたデータのベクトル・キーが正しくない。
- 05 vector\_29 データの長さが短すぎる。
- 06 識別できない終結処置が検出された。
- 07 識別できないリカバリー・オプションが検出された。
- 08 RECOVPTION(NONE) に対する終結処置が無効。RECOVPTION(MESSAGE) に対する終結処置が無効。
- 10 RECOVPTION(TRANSACTION) に対する終結処置が無効。
- 11 予約済み。
- 12 DFHZXRC が、LU6 セッションを処理しよう駆動された。
- 13 XRF または持続セッションのリカバリーが進行状態にない。DFHZXRC の呼び出しがエラー。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 持続セッションの再始動後のセッションの状態を判別することはできません。この状態をリセットするため、セッションが終了します。APPC 以外のセッションが再始動されます。

ユーザーの処置: セッションの再始動がうまくいかなかった場合は、CSNE ログを検査して、新しい BIND が失敗した理由を示しているメッセージを見つけてください。VTAM オペレーターが、セッションを使用できない状態にしている可能性があります。

モジュール: DFHZXRC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, sense, instance, {1=DFHZXRC, 2=DFHZXRC, 3=DFHZXRC, 4=DFHZXRC, 5=DFHZXRC, 6=DFHZXRC, 7=DFHZXRC, 8=DFHZXRC, 9=DFHZXRC, 10=DFHZXRC, 11=DFHZXRC, 12=DFHZXRC, 13=DFHZXRC}*  
宛先: CSNE

**DFHZC0155** *date time applid sysid termid Error occurred during processing of session state data returned after restart of persisting session. sense ((instance) Module name: {DFHZXPS})*

説明: CICS 持続セッション再始動中も VTAM APPC セッション *sysid termid* は持続していましたが、OPNDST OPTCD=RESTORE の後に VTAM によって戻されたセッション状態データの処理中にエラーが起きました。

エラーをさらに調査する必要がある場合は、ダンプがとられません。

前の問題でダンプがすでにとられている場合、またはセッションの持続を許可できないような問題として知られているものである場合には、ダンプはとられません。その例としては、CICS の終了時にこのセッションでのバインド・セキュリティ

ー処理が完了していない場合があります。

この理由および対応する AP 例外トレース項目は、メッセージ内の *instance* に示されています。

## インスタンス

## ポイント ID および説明

- 1 X'FBFD'
- 拒否接続処理時に、DFHZGDA の呼び出しが行われたが、DFHZGDA は無効な形式または無効な機能のその呼び出しを拒否した。
- 2 X'FBFD'
- 拒否接続処理時にエラーが起きた。セッションは不明状態です。
- 3 X'FBD2'
- TCTE\_PRSS 状況バイトは 0 に設定されたが、拒否接続処理は行われていなかった。このセッション状態は、DFHZXPS に入るには無効です。
- 4 X'FBE4'
- DEALLOCATE ABEND 処理時にエラーが起きた。これは DFHZGDA によって処理されているはずなので、ダンプはとられませんが、セッションは終了します。
- 5 X'FBD2'
- TCTE\_PRSS バイト (持続セッション状況バイト) には、DFHZXPS へ入る際に不明値が入っていた。
- 6 X'FBE6'
- TCTE\_PRSS\_CV29\_PTR (VTAM によって戻されるデータを指すポインター) には、DFHZXPS に入る際にゼロが入っていた。
- 7 X'FBD3'
- VTAM から戻された CV29 データの長さは、DFHZXPS へ入る際にゼロであった。
- 8 X'FBD4'
- VTAM によって戻された BIS フロー・データは、BIS RQE1 が受け取られたことを示したが、アウトバウンド BIS フローはそれと矛盾していた。
- 9 X'FBD4'
- VTAM によって戻された BIS フロー・データは、BIS RQE3 が受け取られたことを示したが、アウトバウンド BIS フローはそれと矛盾していた。
- 10 X'FBD4'
- VTAM によって戻された BIS フロー・データは、BIS フローが受け取られなかったことを示したが、アウトバウンド BIS フローはそれと矛盾していた。
- 11 X'FBD4'
- VTAM から戻された BIS フロー・データは認識されなかった。
- 12 X'FBD5'
- VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、このセッションがコンテンション勝者である場合に認識されなかった要求を示した。

13	X'FBD5'	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、X'088B' 否定応答が送信されたことを示したが、セッションが終了中であることを示すものは何もなかった。このセッションはコンテンション勝者です。	DFHZXPS は、VTAM によって戻された CV29 データから最後のフローの方向を判別できなかった。(このセッションは 1 次でした。)
14	X'FBD5'	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、このセッションがコンテンション勝者である場合に認識されなかった応答を含んでいた。	25 X'FBD8'
15	X'FBD5'	VTAM から戻された送信権要求フロー・データは認識されなかった。このセッションはコンテンション勝者です。	26 X'FBD8'
16	X'FBD5'	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、このセッションがコンテンション敗者である場合に認識されなかった要求を含んでいた。	27 X'FBD8'
17	X'FBD5'	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、X'088B' 否定応答を含んでいたが、セッションが終了中であることを示すものは何もなかった。このセッションはコンテンション敗者です。	28 X'FBD8'
18	X'FBD5'	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、このセッションがコンテンション敗者である場合、認識されなかった応答を含んでいた。	29 X'FBD9'
19	X'FBD5'	VTAM から戻された送信権要求フロー・データは認識されなかった。このセッションはコンテンション敗者です。	30 X'FBD9'
20	X'FBD8'	VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはアウトバウンド要求でした。)	31 X'FBDA'
21	X'FBD8'	VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはインバウンド要求でした。)	32 X'FBDA'
22	X'FBD8'	VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはアウトバウンド応答でした。)	33 X'FBDA'
23	X'FBD8'	VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはインバウンド応答でした。)	34 X'FBDA'
24	X'FBD9'	VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはインバウンド応答でした。)	35 X'FBDA'
			36 X'FBDA'

	最後のインバウンド・フローは、このブラケットに対するものではない応答であった。(このセッションは2次であり、現行ブラケットを開始しませんでした。)		最後のフローは、識別できなかったコマンドに送られる肯定応答アウトバウンドであった。
37	X'FBDA'	52	X'FBDC'
	最後のフローは肯定応答アウトバウンドであり、直前の要求に対するものではなかった。	53	最後のフローは、BIS フロー・データと調和していない BIS に送られる否定応答アウトバウンドであった。
38	X'FBDB'		X'FBDD'
	最後のフローは、識別できなかったインバウンド LUSTAT コマンドであった。	54	最後のフローは、識別できなかったコマンドに対するアウトバウンド否定応答であった。
39	X'FBDB'		X'FBE1'
	最後のフローは、送信権要求分析ルーチンによって処理されなかったインバウンド RTR であった。	55	フローさせる最後の要求は SIGNAL (急送フロー) であったが、CV29 通常フロー・データ域には通常フロー・データが現れない。
40	X'FBDB'		X'FBE1'
	最後のフローは、識別できなかったインバウンド・コマンドであった。	56	最後のフローは SIGNAL 要求 (急送フロー) であった。しかし、通常フロー・データの分析では、可能ではない両側での送信が示されている。(アウトバウンド・フローは EC と一緒にありました。)
41	X'FBDB'		X'FBE1'
	最後のフローは、識別できなかったアウトバウンド LUSTAT コマンドであった。	57	最後のフローは SIGNAL 要求 (急送フロー) であった。しかし、通常フロー・データの分析では、可能ではない両側での送信が示されている。(アウトバウンド・フローはチェーン内にありました。)
42	X'FBDB'		X'FBD5'
	最後のフローは、送信権要求分析ルーチンによって処理されなかったアウトバウンド RTR 要求であった。	58	TCTTE 内の tctewin/tctelse ビットが正しく設定されなかった。
43	X'FEDB'		X'FBDF'
	最後のフローは、識別できなかったアウトバウンド・コマンド要求であった。	59	現行トランザクションを ABEND させるための DFHZGDA の呼び出しが必要であることが CV29 データの分析で示されたとき、セッションは CS モードではない。
44	X'FBDC'		X'FBE7'
	最後のフローは、BIS フロー・データで処理されなかった BIS に対するインバウンド応答であった。	60	DFHZGDA に対する SEND_FMH7 呼び出しは、invalid_format または invalid_function で拒否された。
45	X'FBDD'		DFHZGDA での重大エラーのため、DFHZGDA に対する SEND_FMH7 呼び出しは拒否された。
	最後のフローは、識別できなかったコマンドに対するインバウンド肯定応答であった。	61	DFHZGDA に対する RECEIVE_FMH7 呼び出しは、invalid_format または invalid_function で拒否された。
46	X'FBDA'		X'FBE7'
	最後のフローは、LUSTAT コマンドに対するインバウンド応答であったが、対応するアウトバウンド要求がなかった。	62	DFHZGDA での重大エラーのため、DFHZGDA に対する RECEIVE_FMH7 呼び出しは拒否された。
47	X'FBDA'		X'FBE0'
	最後のフローは、識別できなかった LUSTAT 要求に対するインバウンド否定応答であった。	63	DFHZXPS の内部論理エラー。DFHZGDA に対して呼び出しが行われようとするときの入力パラメーターが無効です。
48	X'FBDC'	64	X'FBE5'
	最後のフローは、BIS フロー・データに現れなかった BIS 要求に送られる否定応答であった。		
49	X'FBDD'		
	最後のフローは、識別できなかったコマンドに送られる否定応答であった。		
50	X'FBDC'		
	最後のフローは、BIS フロー・データと調和していない BIS に送られる肯定応答アウトバウンドであった。		
51	X'FBDD'		

ENTRY=DFHZRST1 を指定した DFHTCPCL の呼び出しから、無効な戻りコードが戻された。

65 X'FBDE'

tcte\_bid\_status バイトは、認識されない値を含んでいた。

システムの処置: ポイント ID を持つ AP 例外トレースが出力されます。再始動後のセッションの状態を判別することはできません。この状態をリセットするため、セッションが終了します。その後、セッションは再始動されます。04 を除くすべてのインスタンスについて、システム・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: セッションの再始動がうまくいかなかった場合は、CSNE ログを検査して、新しい BIND が失敗した理由を示しているメッセージを見つけてください。VTAM オペレーターが、セッションを使用できない状態にしている可能性があります。

モジュール: DFHZXPS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, termid, sense, instance, {1=DFHZXPS, 2=DFHZXPS, 3=DFHZXPS, 4=DFHZXPS, 5=DFHZXPS, 6=DFHZXPS, 7=DFHZXPS, 8=DFHZXPS, 9=DFHZXPS, 10=DFHZXPS, 11=DFHZXPS, 12=DFHZXPS, 13=DFHZXPS, 14=DFHZXPS, 15=DFHZXPS, 16=DFHZXPS, 17=DFHZXPS, 18=DFHZXPS, 19=DFHZXPS, 20=DFHZXPS, 21=DFHZXPS, 22=DFHZXPS, 23=DFHZXPS, 24=DFHZXPS, 25=DFHZXPS, 26=DFHZXPS, 27=DFHZXPS, 28=DFHZXPS, 29=DFHZXPS, 30=DFHZXPS, 31=DFHZXPS, 32=DFHZXPS, 33=DFHZXPS, 34=DFHZXPS, 35=DFHZXPS, 36=DFHZXPS, 37=DFHZXPS, 38=DFHZXPS, 39=DFHZXPS, 40=DFHZXPS, 41=DFHZXPS, 42=DFHZXPS, 43=DFHZXPS, 44=DFHZXPS, 45=DFHZXPS, 46=DFHZXPS, 47=DFHZXPS, 48=DFHZXPS, 49=DFHZXPS, 50=DFHZXPS, 51=DFHZXPS, 52=DFHZXPS, 53=DFHZXPS, 54=DFHZXPS, 55=DFHZXPS, 56=DFHZXPS, 57=DFHZXPS, 58=DFHZXPS, 59=DFHZXPS, 60=DFHZXPS, 61=DFHZXPS, 62=DFHZXPS, 63=DFHZXPS, 64=DFHZXPS, 65=DFHZXPS}*  
宛先: CSNE

**DFHZC0156** *date time applid sysid VTAM APPC session termid successfully recovered following a persistent sessions restart. sense ((instance) Module name: {DFHZXPS})*

説明: 持続セッションの再始動後、CICS が *sysid termid* の VTAM APPC 持続セッションをリストアしました。

APPC 以外のセッションの場合のこれと同等のメッセージは、DFHZC0146 です。メッセージ DFHZC0146 に適用される RECOVNOTIFY オプションは、APPC セッションには適用できないことに注意してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXPS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, termid,*

*sense, instance, {1=DFHZXPS, 2=DFHZXPS}*

宛先: CSNE

**DFHZC0157** *date time applid sysid VTAM APPC session termid could not be recovered following a persistent sessions restart. The session will be unbound.sense ((instance) Module name: {DFHZXPS})*

説明: 持続セッションの再始動後、CICS は、*sysid termid* の APPC 持続セッションをリストアできませんでした。これには、3 つの理由が考えられます。

1. CICS が障害を起こしたとき、BIND 処理は完了していませんでした。
2. CICS が障害を起こしたとき、セッションの再同期は進行中であった。
3. VTAM によって戻されたセッションのリカバリー・データは、複数の解釈が可能であった。

TCTTE と TIOA が参考だけのために出力されます。

システムの処置: セッションはいったんアンバインドされてから、再バインドされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXPS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, termid, sense, instance, {1=DFHZXPS}*

宛先: CSNE

**DFHZC0160** *date time applid tranid CNOS changes for modename modename to node netname connection sysid are incomplete.*

説明: CICS は、APPC 接続 *sysid* 上のモードネーム *modename* に対するセッション数変更 (CNOS) コマンドの実行を 2 回試みましたが、モード・グループに対して他の活動が行われているため、このコマンドは失敗しました。このような失敗は、非常に混み合っているモード・グループにのみ起こりません。CNOS 要求の処理中に、1 つまたは複数のセッションの状態が変更されました。

CNOS コマンドが出された原因として考えられるのは、接続の獲得、接続の解放、もしくは、このシステムまたは接続されたシステムにある特定のモードネームに対する要求などです。接続されたシステムが CICS でない場合は、そのシステムに固有のコマンドが使用された可能性があります。

システムの処置: モード・グループは、2 度目の変更の試みの後の状態のままになります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE MODENAME コマンドを使用して、モード・グループの現在の状態を判別してください。このコマンドを使用すると、CNOS が正常に完了した際に予期されるモード・グループを表示することができます。これは、このコマンドが、使用可能なアクティブ・セッションのデータを表示するだけであるためです。CICS は、敗者セッションの CNOS 値で問題が起きた可能性があります。これは、CEMT を使用しても明らかにはなりません。値が必要なものと異なっている場合は、元のコマンドを出し直してください。  
モジュール: DFHZGCA



**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, modename, netname, sysid*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC0161** *date time applid tranid* **CNOS command for modename modename to node netname connection sysid has failed with code X'code'.**

説明: CICS が、APPC 接続 *sysid* 上のモードネーム *modename* に対するセッション数変更 (CNOS) コマンドの実行を試みている間に、エラーが起きました。障害コード X'code' は、以下のいずれかです。

**X'FBA2'** *modename* 用のロック・マネージャー・ロックを作成する要求が失敗した。

**X'FBA3'** CICS が、CNOS 折衝会話にセッションを割り振ることができなかった。

**X'FBA6'** *modename* 用のロック・マネージャー・ロックを取得する要求が失敗した。

**X'FBAA'**  
*modename* が検出されなかったか、予約名 SNASVCMG または CPSVCMG のどちらかで定義されていた。

**X'FBAB'**  
*sysid* が認識されているが、接続としては認識されていない。

**X'FBAC'**  
指定された接続 *sysid* にモード・グループがない。これは、ストレージの上書きが原因である可能性があります。

**X'FBAD'**  
指定された接続 *sysid* 上の最初のモード・グループにセッションがない。これは、ストレージの上書きが原因である可能性があります。

**X'FBAF'**  
CNOS 応答についての受信コマンドが失敗した。

**X'FBB1'** CNOS コマンドまたは CNOS 応答についての送信コマンドが失敗した。

**X'FBB2'** 単一セッション接続のセッションを検出できなかった。これは、ストレージの上書きが原因である可能性があります。

**X'FBB3'** *sysid* が接続名として認識されていない。

**X'FBB4'** 接続が、CNOS をサポートするように CICS に定義されていない。これは、ストレージの上書きが原因である可能性があります。

システムの処置: CICS は、ID が AP xxxx の例外トレースを作成します。ここで xxxx は、メッセージ内のコードを表します。CICS は、X'FBA2'、X'FBA3'、X'FBA6'、X'FBAF'、および X'FBB1' を除くすべての障害コードについてシステム・ダンプをとります。要求を完了せずに、CICS は続行されます。タスクは異常終了しません。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 以下のように、エラー・コードによって異なります。  
**X'FBA2'** 先に出されているロック・マネージャーのコンソール・メッセージに関して示されている手引きに従ってください。

**X'FBA3'** セッションがすべてふさがっている場合は、その内の 1 つを使用可能にして、再試行してください。

**X'FBA6'** 先に出されているロック・マネージャー・メッセージに関して示されている手引きに従ってください。

**X'FBAA'**  
モードネームを訂正して要求を出し直してください。

**X'FBAB'**  
接続名を訂正して要求を出し直してください。

**X'FBAC'**  
ストレージの問題に関する詳しい手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。

**X'FBAD'**  
X'FBAC' の場合と同様です。

**X'FBAF'**  
接続されたシステム、またはそのシステムへのリンクが障害を起こしました。出された他のメッセージを参照して、理由を判別してください。

**X'FBB1'** X'FBAF' の場合と同様です。

**X'FBB2'** X'FBAC' の場合と同様です。

**X'FBB3'** 接続名を訂正して要求を出し直してください。

**X'FBB4'** X'FBAC' の場合と同様です。

モジュール: DFHZGCN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, modename, netname, sysid, X'code'*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC0162** *date time applid tranid* **CNOS transaction for connection sysid has failed with code X'code' subcode X'subcode'.**

説明: セッション数変更 (CNOS) トランザクション・プログラム DFHZLS1 が正常に完了しませんでした。エラー・コード X'code' は、以下のいずれかです。

**X'FB92'** データ、もしくは接続されたシステムからの接続フローによって、トランザクションが IC 要求として開始されなかった。挿入部 *subcode* は XMIQ\_START\_CODE からの開始コードです。

**X'FB93'** トランザクションがデータを使用して開始されたが、データは検出されなかった。

**X'FB94'** トランザクションがデータを使用して開始されたが、そのデータは正しいパラメーター・リストの形式に合っていないかった。

**X'FB95'** トランザクションが正しい形式のパラメーター・リストを使用して開始されたが、その機能コードは無効だった。

**X'FB96'** トランザクションが、接続されたシステムからの接続によって開始されたが、CNOS データがなかった。

**X'FB97'** トランザクションが、接続されたシステムからの接続によって開始されたが、関連データは CNOS コマンドではなかった。

システムの処置: CICS は例外トレースを作成します。また、開始が無効だった場合を除いて、システム・ダンプがとられません。タスクは終了します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 以下のように、エラー・コードによって異なります。

**X'FB92'** トランザクションは、端末でトランザクション ID を入力して開始されたと考えられます。これは許可されていません。

**X'FB93'** ダンプを分析して、IC がデータを検出できなかった理由を判別してください。

**X'FB94'** ダンプを分析して、データがどのようなものかを判別してください。

**X'FB95'** ダンプを分析して、データがどのようなものかを判別してください。

**X'FB96'** ダンプを分析して、使用可能なデータがない理由を判別してください。

**X'FB97'** ダンプを分析して、データが接続によって正しく送信されなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZLS1

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, sysid, X'code', X'subcode'*

宛先: CSNE

**DFHZC0199** CICS has recovered after a system failure. Execute recovery procedures. { Already signed on. | Please sign on. }

説明: CICS の持続セッションが再始動された後、関連した VTAM セッションが正常にリカバリーされました。

RECOVNOTIFY(MESSAGE) が装置の TYPETERM で指定されている場合 (「CICS Transaction Server for VSE/ESA 資源定義の手引き」を参照)、またはノード・エラー・プログラムに指定されている場合 (「CICS Transaction Server for VSE/ESA カスタマイズの手引き」を参照)、これは CICS によって出されるデフォルト・メッセージです。

RECOVNOTIFY(MESSAGE) が使用されている場合は、CICS 提供のサンプル・マップ・セット DFHXMSG を、インストール・リカバリー要件に合うように調整することをお勧めします。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合はサインオンを行い、必要なリカバリー処置をとってください。

モジュール: DFHZNAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHZC0200** *applid* An attempt by the COVR transaction to OPEN VTAM has failed with return code X'*retcode*'; CICS will retry.

説明: COVR トランザクションが EXEC CICS SET VTAM OPEN を試みましたが、その操作は失敗して、OPEN ACB から戻りコード *retcode* が出されました。

システムの処置: CICS を続行します。COVR トランザクションは、5 秒ごとにこの操作を再試行します。このメッセージは、操作が成功するか 10 分経過するまで、1 分ごとに出力されます。10 分経過すると、メッセージ DFHZC0201 が出力されます。

ユーザーの処置: VTAM を使用できない理由を調べてください。

モジュール: DFHZCOVR

**XMEOUT** パラメーター: *applid, X'retcode'*

宛先: コンソール

**DFHZC0201** *applid* An attempt by the COVR transaction to OPEN VTAM has failed with return code X'*retcode*'; the COVR transaction will terminate.

説明: COVR トランザクションが EXEC CICS SET VTAM OPEN を繰り返し試みましたが、失敗しました。OPEN ACB が、戻りコード *retcode* を出しました。

システムの処置: CICS を続行します。COVR トランザクションは終了し、SET VTAM OPEN は再試行されません。

ユーザーの処置: VTAM を使用できない理由を調べてください。

モジュール: DFHZCOVR

**XMEOUT** パラメーター: *applid, X'retcode'*

宛先: コンソール

**DFHZC2102I** *date time applid* Intersystem session recovery. Data base changes found to be synchronized. Original failure details: *time, Remote system=sysid, Intersystem terminal=termid, Transaction=tranid, Task number=taskno, Operator terminal=termid, Operator=operid, Unit of work ID=uowid ((instance) Module name {DFHZRSY | DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSEX})*

説明: システム間セッション・リカバリーが正常に行われました。システム間セッション・リカバリー時にエラーが発生しましたが、現在は正常にリカバリーされ、再同期も行われました。このメッセージは、通常、メッセージ DFHZN2101 (これは、障害の起きた時点で出された可能性があります) の後に出されます。これが出されるのは、同期点処理時の重要な時点でセッションの障害が起きた場合です。

セッションでの次のインバウンド・フローを待っている保留のリカバリー単位記述子 (URD) がある場合、同期点処理時にもこのメッセージが出されることがあります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZRSY, DFHZSEX, DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, instance, {1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY, 3=DFHZSEX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

**DFHZC2103E** *date time applid* Intersystem session recovery. Data base changes found to be out of sync. Original failure details: *time, Remote system=sysid, Intersystem terminal=termid, Transaction=tranid, Task number=taskno, Operator terminal=termid, Operator=operid, Unit of work ID=uowid ((instance) Module name {DFHZRSY | DFHZSCX | DFHZSEX})*

説明: このメッセージは、メッセージ DFHZN2101 の後に出されます。元のエラー情報が相互参照を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・データベースおよびリモート・データベースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHZRSY、DFHZSEX、DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, instance, {1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY, 3=DFHZSEX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2104E** *date time applid Intersystem session recovery error when data base changes may be out of sync. Original failure details: time. Remote system=sysid. Intersystem terminal=termid. Transaction=tranid. Task number=taskno. Operator terminal=termid. Operator=operid. Unit of work ID=uowid ((instance) Module name {DFHZRSY | DFHZSCX | DFHZSEX})*

説明: セッション・リカバリー時にデータベース変更の同期がとれていないかどうかをシステムが見つけれなかった場合、メッセージ DFHZN2101 の後にこのメッセージが出されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要なデータベース照会を行い、変更の同期がとれているかを調べてください。同期がとれていない場合は、適切なユーザー定義の処置を実行して、データベースを再同期化してください。

モジュール: DFHZRSY、DFHZSEX、DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, instance, {1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY, 3=DFHZSEX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2106E** *date time applid Intersystem session recovery. suspended changes now being committed. Original failure details: Time= time. Remote system=sysid. Intersystem terminal=termid. Transaction=tranid. Task number=taskno. Operator terminal=termid. Operator=operid. Unit of work ID=uowid ((instance) Module name {DFHZRSY | DFHZSCX | DFHZSEX})*

説明: これは、システム間セッションのリカバリー時に、メッセージ DFHZN2105 に続いて出される通知メッセージです。このメッセージは、リモート・システムが同期点を完了し、それに応じてローカル変更をコミット中であることを示します。システムの処置: システムは、ローカル変更をコミットし、アンロックを行います。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZRSY、DFHZSEX、DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, instance,*

*{1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY, 3=DFHZSEX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2107E** *date time applid Intersystem session recovery. Suspended changes now being backed out. Original failure details: Time= time. Remote system=sysid. Intersystem terminal=termid. Transaction=tranid. Task number=taskno. Operator terminal=termid. Operator=operid. Unit of work ID=uowid ((instance) Module name {DFHZRSY | DFHZSCX | DFHZSEX})*

説明: このメッセージは、システム間セッション・リカバリー時に、メッセージ DFHZN2105 に続いて出されるメッセージです。これで、リモート・システム *sysid* が作業単位を完了しなかったことが確認されました。ローカル変更はそれに応じてバックアウトされています。

システムの処置: システムは、ローカル変更をバックアウトし、アンロックを行います。

ユーザーの処置: 必要であれば、割り込まれたトランザクション *tranid* を再始動してください。

モジュール: DFHZRSY、DFHZSEX、DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, instance, {1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY, 3=DFHZSEX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2108E** *date time applid Intersystem session recovery. Error while local recoverable changes are suspended. Original failure details: Time= time. Remote system=sysid. Intersystem terminal=termid. Transaction=tranid. Task number=taskno. Operator terminal=termid. Operator=operid. Unit of work ID=uowid ((instance) Module name {DFHZRSY | DFHZSCX | DFHZSEX})*

説明: このメッセージは、システム間セッション・リカバリー時に、メッセージ DFHZN2105 に続いて出されるメッセージです。再同期は失敗しました。したがって、リモート・システム *sysid* がコミットされたかバックアウトされたかはまだ確認できません。

システムの処置:

- 延期されている変更に対するロックが解放されて、ユーザー・トランザクションがアクセスできるようになります。
- 関連した延期されている開始コマンドがある場合、それは時期尚早な処置が行われずに取り消されます。

ユーザーの処置: 割り込まれたトランザクションによって行われたローカル変更およびリモート変更が有効になったかどうかを知るために、データを調べてください。整合性をリストアするために必要な変更を行ってください。

モジュール: DFHZRSY、DFHZSEX、DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, instance, {1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY, 3=DFHZSEX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

**DFHZC2114E** *date time applid termid tranid* A SEND response failed during receive-any processing. *sense* ((*instance*) Module name: {DFHZRAC})

説明: 受信不特定 RPL で出された SEND 応答が失敗したか、VTAM に受け入れられませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: ログ内の後続のメッセージには、失敗した理由が示されています。詳しい情報および手引きについては、このメッセージを参照してください。  
モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRAC, 2=DFHZRAC}*  
宛先: CSNE

**DFHZC2115** *applid termid* Potential CICS hang detected following a SEND to node *netname*, CID *X'cid'*. Investigation is required. ((*instance*) Module name: {DFHZRAC})

説明: CICS が VTAM SEND マクロを出して応答を送信しましたが、応答が完了したという通知は受信されませんでした。この SEND 操作が完了するまで、限られた受信不特定 RPL の内の 1 つは使用不能のままです (受信不特定 RPL の数は、RAPOOL システム初期設定パラメーターによって定義されています)。

これは重大な状況です。このようにして、受信不特定 RPL がすべて使用不能になってしまうと、CICS は VTAM からの新しい要求を受け入れることができなくなってしまいます。同じように、使用可能な受信不特定 RPL の数を減らすと、端末のパフォーマンスおよびトランザクションのスループットに悪影響を与える可能性があります。

さらに、RPL の停止中は、CICS のシャットダウンを正常に完了することができない場合もあります。

CID とは、セッションが確立されたときに割り当てられた、32 ビットの VTAM 通信 ID です。

システムの処置: CICS は、SEND 操作の完了をモニターし続けます。これが発生するまで、CICS は約 3 分間隔でこのメッセージを出します。

ユーザーの処置: このような問題は、通常、SEND の完了を妨げているネットワーク内の障害が原因です。セッションおよび関連する論理装置を検査して、VTAM が SEND 要求を完了するのを妨げるようなエラー条件が起こっていないことを確認してください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター: *applid, termid, netname, X'cid', instance, {1=DFHZRAC}*

宛先: コンソール

**DFHZC2117E** *date time applid termid tranid* Data received on pipeline session exceeds RAIA size. ((*instance*) Module name: {DFHZRAC})

説明: CICS が、受信不特定 RPL に割り振られた初期入出力域よりも大きいパイプライン・セッションでデータを受け取りました。受信不特定入力域 (RAIA) の大きさは、RAMAX システム初期設定パラメーターで指定されます。

システムの処置: CICS は、データを送信したセッションを終了し、停止状態であることを示すマークを付けます。また CICS は、このセッションから開始された実行トランザクションを異常終了させようとしています。

ユーザーの処置: パイプライン・セッションに指定される最大の (CINIT からの) RUSIZE と少なくとも等しくなるように、RAMAX システム初期設定パラメーターの値を増やしてください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, instance, {1=DFHZRAC}*  
宛先: CSNE

**DFHZC2118** *applid* Receive Any stall for *netname* *netname*.

説明: すべての CICS 受信不特定 RPL が追加されましたが、それぞれについての TCTTE は VTAM 端末またはセッションからの応答を待っています。すべての受信不特定 RPL は、TCP タスク (CSTP) の 10 のディスパッチについて停止されました。このメッセージは、この状態にあるそれぞれのセッションに対して出されます。VTAM セッションは、CICS が送った BID や SHUTD などのコマンドに応答しませんでした。これは、通常、プロトコル・エラーによって起こります。

システムの処置: CICS は、システム初期設定パラメーター RAPOOL=(n,FORCE) が指定されて実行されていないので、CICS VTAM の活動はコマンドのいずれかが完了するまで延期されます。

ユーザーの処置: *netname* が示すセッションの 1 つまたはそれ以上に対して VTAM コマンド V NET,INACT,ID=*netname*,I を出して、受信不特定 RPL の解放を試みてください。注: セッションが LU6.2 の場合には、上記のコマンドは VTAM のパートナー・アプリケーション ID を非活動状態にします。

停止を引き起こした CICS 端末管理コマンドがなぜ完了しなかったかを調査してください。パートナーまたは装置からのプロトコル・エラーが原因である場合には、プロトコル・エラーの訂正を試みてください。

システム初期設定パラメーター RAPOOL で指定されている受信不特定 RPL の数を増やすことを考慮してください。例えば、古いデフォルト 2 を使用していたなら、それを新しいデフォルト 50 に増やしてください。

RAPOOL の値を変更してもまだこのメッセージが出されるなら、システム初期設定パラメーター RAPOOL=(n,FORCE) を指定して CICS を実行することを考慮してください。そのようにすると、問題になっているセッションまたは端末すべてに

CLSDST を出して、受信不特定 RPL をもう一度出すことが試みられます。

モジュール: DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *netname*

宛先: コンソール

**DFHZC2119E** *date time applid termid tranid* LUSTAT  
received on pipeline session incorrectly  
requests a definite response. ((instance)  
Module name: {DFHZRAC})

説明: CICS は、パイプライン・プロトコルに違反するパイプライン・セッションでデータを受け取りました。確定応答を要求するデバイスから LUSTAT SENSE 08310000 'Device Powered Off' を受け取りましたが、EXC 応答のみが許可されています。

システムの処置: CICS は、データを送信したセッションを終了し、停止状態であることを示すマークを付けます。また CICS は、このセッションから開始された実行トランザクションを異常終了させようとしています。

ユーザーの処置: プール・パイプライン端末がプロトコルに違反する理由を判別してください。

モジュール: DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *termid*, *tranid*, *instance*, {1=DFHZRAC}

宛先: CSNE

**DFHZC2300** *applid* Recovery action requested for  
connection *sysid*.

説明: 接続に問題がある可能性があるため、XZIQUE グローバル・ユーザー出口プログラムが CICS によって呼び出されました。グローバル・ユーザー出口が使用した戻りコード UERCAKLL は、接続上のスルーポイントが異常に低く、例外的な処置が必要であることを示しています。接続のパフォーマンスの低下の原因として、以下が考えられます。

- 受信側の応答が不十分であった。
- 送信側の負荷が増大した。

このような条件は断続的なものです。続いて、接続がリカバリされたことを示すメッセージ DFHZC2301 が出されることがあります。

システムの処置: CICS は、接続の使用を求める未解決の (キューイングされた) 要求を持つすべてのトランザクションを取り消します。

ユーザーの処置: 接続のパフォーマンスの低下の原因を調べてください。そして、接続されたシステムの可用性および条件を検査してください。

モジュール: DFHZISP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *sysid*

宛先: コンソール

**DFHZC2301I** *applid* Connection *sysid* operating normally  
following recovery action.

説明: この接続に関してメッセージ DFHZC2300 が出されました。接続はリカバリされ、正常に働いています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZISP

**XMEOUT** パラメーター: *applid*, *sysid*

宛先: コンソール

**DFHZC2302** *applid* SETLOGON start command rejected

説明: CICS は、OPEN VTAM ACB が正しく実行された後に SETLOGON START コマンドを出しました。SETLOGON START コマンドは、次の場合には、拒否されます。

- CICS OPEN VTAM ACB は正常に実行されたが、その後 VTAM が異常終了した。
- CICS OPEN VTAM ACB は正常に実行されたが、SETLOGON START コマンドを満足させられるだけの十分なシステム・ストレージがなかった。
- CICS OPEN VTAM ACB は正常に実行されたが、その後 VTAM が VTAM HALT QUICK コマンドによって終了させられた。

システムの処置: CICS 初期設定時にエラーが発生した場合、システム・ダンプがとられて、CICS は異常終了し、U2302 異常終了コードが出されます。

CEMT または EXEC CICS SET VTAM OPEN の結果としてエラーが起こると、CICS は、異常終了コード ATC2 とトランザクション・ダンプを出して、タスクを異常終了させ、VTAM ACB がクローズされます。

ユーザーの処置: VTAM 戻りコードは、システム・ダンプまたはトランザクション・ダンプ内の、TCTVRVRA からアドレッシングされた RA プール内の最初の RPL の RTNCD-FDBK2 内で見つけることができます。

「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を使用して、エラーの原因およびそれを訂正するのに必要な処置を判別してください。

エラーを訂正した後に、CICS を再初期設定するか (異常終了コード U2302 の場合)、または異常終了コード ATC2 についての指示に従ってください。

モジュール: DFHZSLS

**XMEOUT** パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHZC2303** *applid* No storage available when initiating  
RECEIVE-ANY's. Code: X'code'

説明: 受信不特定入出力域を獲得しようとしている間に、SETLOGON START VTAM コマンドは、ストレージが使用できないことを見つけました。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。例外項目 *code* がトレース・テーブルに作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

## DFHZC2304 • DFHZC2309

メッセージ DFHZC0133 が出されます。

ユーザーの処置: RAMAX システム初期設定パラメーターのサイズを小さくしてください。

詳細については、「CICS TS パフォーマンスの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*

宛先: コンソール

---

### DFHZC2304 *applid* RECEIVE-ANY command rejected.

Code: *X'code'*

説明: このメッセージは、初期設定中または動的オープン中に ACB がオープンされた場合に出されます。DFHZGRP は、VTAM RECEIVE-ANY を開始していましたが、VTAM のストレージが不足していたか、VTAM HALT QUICK コマンドが出されました。

システムの処置: 例外項目 *code* がトレース・テーブルに作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS の初期設定中にエラーが起きると、CICS はメッセージ DFHZC0133 を出して終了します。

CEMT または EXEC CICS SET VTAM OPEN の結果エラーが起きると、CICS は VTAM ACB をクローズします。

ユーザーの処置: VTAM 戻りコードは RPL の中の RTNCD-FDBK2 内にあります。RPL は、例外トレース項目 *code*、またはシステム・ダンプ内の TCTVRVRA からアドレスングされた RA プールにあります。

「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を使用して、エラーの原因およびそれを訂正するのに必要な処置を判別してください。

エラーの訂正後、CICS を初期設定し直すか、VTAM ACB を再オープンしてください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'code'*

宛先: コンソール

---

### DFHZC2305I *applid* Termination of VTAM sessions beginning

説明: CICS または VTAM の終了処理が行われているか、または VTAM ACB の動的クローズが要求されました。

システムの処置: すべての CICS-VTAM セッションはクローズされ、ACB がクローズされます。終了が正常なものでない場合には、活動トランザクションが異常終了します。

ユーザーの処置: VTAM が活動状態である場合には、マスター端末オペレーター・コマンド CEMT SET VTAM OPEN を使用して、通信を再開することができます。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

---

### DFHZC2307 *applid* CICS VTAM ABNORMALLY QUIESCING (*modname*).

説明: VTAM ストレージの不足以外の理由で、RPL 要求が TCTTE トークンなしで完了しました。

システムの処置: CICS が ACB の FORCECLOSE を実行します。

モジュール DFHZRAC とモジュール DFHZSYX の両方がこの条件を検出する可能性があるため、CICS はこのメッセージを 2 回出すこともあります。

ユーザーの処置: VTAM が再始動されたときに、CEMT SET VTAM OPEN を出してください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZSYX

宛先: コンソール

---

### DFHZC2308 *applid* TCP Task WAIT failed. Unexpected response from DSSR WAIT\_OLDW call (RESPONSE *X'xx'*, REASON *X'yy'*).

説明: TCP タスクの待機が失敗しました。TCP タスク指名プログラム・モジュール DFHZDSP が、DSSR WAIT\_OLDW 呼び出しから、応答コード *X'xx'* および理由コード *X'yy'* で、予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: CICS は、異常終了コード U1800 で異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TCP タスク待機の失敗の原因を判別してください。そして、他の付随するエラー・メッセージと関連しているダンプ、もしくはタスク指名プログラム・ドメインによって出された可能性がある例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHZDSP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *X'xx'*, *X'yy'*

宛先: コンソール

---

### DFHZC2309 *applid* Recovery action requested for connection *sysid* using mode group *modename*.

説明: 接続に問題がある可能性があるため、XZIQUE グローバル・ユーザー出口プログラムが CICS によって呼び出されました。グローバル・ユーザー出口が使用した戻りコード UERCAKLM は、接続上のスループットが異常に低く、例外的な処置が必要であることを示しています。接続のパフォーマンスの低下の原因として、以下が考えられます。

- 受信側の応答が不十分であった。
- 送信側の負荷が増大した。

このような条件は断続的なものです。続いて、モードグループがリカバリーされたことを示すメッセージ DFHZC2310 が出されます。

システムの処置: CICS は、このモードグループの使用を求める未解決の (キューイングされた) 要求を持つすべてのトランザクションを取り消します。

ユーザーの処置: モードグループのローパフォーマンスの原因を調べてください。そして、接続されたシステムの可用性および条件を検査してください。

モジュール: DFHZISP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *sysid*, *modename*

宛先: コンソール

**DFHZC2310I** *applid* Connection *sysid* using mode group *modename* operating normally following recovery action.

説明: このモードグループに関して、メッセージ DFHZC2309 が出されました。モードグループはリカバリーされ、正常に操作が行われています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZISP

XMEOUT パラメーター: *applid*, *sysid*, *modename*

宛先: コンソール

**DFHZC2312** \*\*\* WELCOME TO CICS \*\*\*

説明: これは、VTAM LU のための CICS のデフォルトの日常業務開始メッセージです。代わりに GMTEXT がシステム初期設定パラメーターとして指定されるか、typeterm 定義ログオン・メッセージ (LOGONMSG) が NO に設定されるまで、このメッセージが表示されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIT

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHZC2316** *applid* VTAM ACB is closed

説明: CICS と VTAM が切断されました。考えられる原因は次のとおりです。

- CICS が終了中である。
- VTAM が終了中である。
- CICS マスター端末オペレーターが、以下のコマンドを使用した。

```
CEMT SET {VTAM CLOSED|IMMCLOSE|FORCECLOSE}
```

システムの処置: VTAM ACB はクローズされます。

ユーザーの処置: VTAM が終了していなければ、マスター端末オペレーター・コマンドを用いて VTAM との接続を再確立することができます。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター: *applid*

宛先: コンソール

**DFHZC2318** *applid* The autoinstall user program *progrname* is not enabled. Module *modname*.

説明: VTAM ACB をオープンしているときに、CICS は、SIT に指定された自動インストール・ユーザー・プログラム *progrname* のインストール済みプログラム定義が存在していないことを検出しました。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 自動インストールを使用したければ、SIT に指定された自動インストール・ユーザー・プログラム *progrname* のインストール済みプログラム定義を作成してください。

モジュール: DFHSIJ1, DFHZOPA

XMEOUT パラメーター: *applid*, *progrname*, *modname*

宛先: コンソール

**DFHZC2319** *applid* Unable to close VTAM ACB RC=*xx* error code=*yy*

説明: VTAM ACB CLOSE 要求が失敗しました。

システムの処置: ACB がクローズされているかのように扱われて、CICS は継続します。(実際にはクローズされていません。)

ユーザーの処置: 戻りコードおよびエラー・コードについての説明は、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照してください。

戻りコード *xx* は、レジスター 15 内の VTAM 戻りコードです。エラー・コード *yy* は、ACB エラー・フラグ

「ACBERFLG」になります。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター: *applid*, *xx*, *yy*

宛先: コンソール

**DFHZC2320** CORRUPTED TCTTE ADDRESS FOUND DURING SHUTDOWN.

説明: DFHTC CTYPE=LOCATE マクロが、VTAM のシャットダウン中にエラー指示を戻しました。これは、おそらくテーブル管理制御ブロックのオーバーレイによって、TCTTE チェーンが破壊されたことを意味します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHZSHU

宛先: コンソール

**DFHZC2350A** *date time applid* CICS Terminal Control shutdown threshold (*mm* minutes) exceeded. Sessions still active: *sesslist* (*instance*)  
Module name: {DFHZSHU}

説明: CICS はネットワークのシャットダウンを試みましたが、許可された時間枠内に完了しませんでした。この時間枠(端末管理シャットダウン待機しきい値)は、TCSWAIT システム初期設定パラメーターによって指定されます。

このメッセージでは、*mm* は TCSWAIT の値を表し、*sesslist* は停止している VTAM 端末の最初の 10 個 (10 個あれば) の VTAM ネットワーク名を表します。

システムの処置: CICS は、このメッセージを CSNE 一時データ・キューと、オペレーティング・システム・コンソールの両方に出します。このメッセージは、オペレーターへの書き込み (WTO) メッセージ記述子コード 2 とともに、オペレーティング・システム・コンソールに出されます。これは、オペレーターが削除するまで、メッセージがオペレーティング・システムによって保留になっている (つまり、画面がロールオフされない) ことを意味します。停止しているそれぞれの VTAM セッションごとに、メッセージ DFHZC2351 も出されます。DFHZC2351 は、セッションのさらに詳しい情報を示しますが、CSNE 一時データ・キューにのみ出されます。CICS が、セッションで FORCECLOSE を試みるか (詳細については、メ

## DFHZC2351 • DFHZC2352

メッセージ DFHZC2351 を参照)、CICS 端末管理シャットダウンが正常なものとして継続されます。

DFHZNAC (ノード異常条件プログラム) は、このメッセージ (DFHZC2350) を処理しません。このため、インストール・システムの DFHZNEP (ノード・エラー・プログラム) で条件を代行受信することはできません。ただし、DFHZC2351 は DFHZNAC によって処理され、インストール・システムの DFHZNEP で代行受信できる、ということに注意してください。

ユーザーの処置: メッセージを書きとめ、CONTROL E (または K E) システム・コマンドを使用しているオペレーティング・システム・コンソールからそのメッセージを削除してください。詳しい手引きについては、メッセージ DFHZC2351 を参照してください。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, mm, sesslist, instance, {1=DFHZSHU}*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSNE

---

**DFHZC2351** *date time applid termid netname* **Session still active after TC shutdown threshold expired.**  
**Reason: {01 Request in progress | 02 Task still active | 03 Waiting for SHUTC | 04 Waiting for BIS | 05 Waiting for UNBIND | 06 Waiting for RTR | 07 BID in progress | 08 Other TC work pending | 99 Undetermined} sense ((instance) Module name: {DFHZSHU})**

説明: CICS はネットワークのシャットダウンを試みましたが、許可された時間枠内に完了しませんでした。この時間枠 (端末管理シャットダウン待機しきい値) は、TCSWAIT システム初期設定パラメーターによって指定されます。このメッセージは、時間枠を過ぎても活動状態にある (シャットダウンされていない) VTAM 端末に、それぞれ出されます。

メッセージの中の *termid* および *netname* は、それぞれ CICS 端末 ID と、中断状態の端末の VTAM ネットワーク名です。メッセージ内で中断の理由を表しているのは、以下の内の 1 つです。

- 01 要求が進行中である。
- 02 タスクがまだ活動状態である。
- 03 SHUTC を待っている。
- 04 BIS を待っている。
- 05 UNBIND を待っている。
- 06 RTR を待っている。
- 07 BID が進行中である。
- 08 他の TC 作業が保留になっている。
- 99 未判別

システムの処置: CICS がセッションで FORCECLOSE を試みるか、CICS 端末管理シャットダウンが通常どおり継続されます。CICS が FORCECLOSE を行うかどうかは、以下によって異なります。

- TCSACTN システム初期設定パラメーターのコーディング、および

- インストール・システムの DFHZNEP (ノード・エラー・プログラム) がこの条件を処理する方法

以下の条件のいずれかに当てはまる場合:

- TCSACTN=UNBIND であり、この処置が DFHZNEP で変更されない場合
- TCSACTN=NONE であり、この処置が DFHZNEP によって FORCECLOSE (UNBIND) に変更される場合

CICS 端末管理は VTAM CLSDST を出し、SNA UNBIND コマンドを送信します。どちらの条件も当てはまらない場合は、特に処置はとられません。

注: CLSDST は、あらゆる環境で実行されるとは限りません。このメッセージによって報告される最初の 10 個の端末 (10 個あれば) は、メッセージ DFHZC2350 にも含まれています。ユーザーの処置: 端末の状態を検査してください。そして、関連する DFHZC3437 メッセージに CLSDST が含まれているかどうか調べてください。DFHZC3437 に CLSDST が含まれていないか、含まれていても CLSDST がまだ完了していない場合は、CICS の外部で適切な処置をとり、端末をシャットダウンしてください。

適度な間隔をおいても、まだ端末管理シャットダウンが完了しない (メッセージ DFHZC2316 が表示されない) 場合は、以下の処置の内の 1 つを行ってください。

- CICS/VTAM ACB を FORCECLOSE する。
- CICS CEMT PERFORM SHUTDOWN IMMEDIATE を実行する。
- オペレーティング・システム・コンソールから CICS ジョブを取り消す。

警告: 他に適当な処置が見つからないときにのみ、以上の処置を行ってください。

端末がシャットダウンされない原因は、CICS よりも、端末装置またはネットワークの問題だと考えられます。

シャットダウン処理中に、メッセージ DFHZC2350、DFHZC2351、および DFHZC2352 が出されるのが早すぎたり遅すぎたりした場合は、適切なステップを経て、CICS を今後稼働する際に TCSWAIT システム初期設定パラメーターを変更してください。いったん CICS で初期設定してしまうと、TCSWAIT は変更できません。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname, {1=01 Request in progress, 2=02 Task still active, 3=03 Waiting for SHUTC, 4=04 Waiting for BIS, 5=05 Waiting for UNBIND, 6=06 Waiting for RTR, 7=07 BID in progress, 8=08 Other TC work pending, 99=99 Undetermined}, sense, instance, {1=DFHZSHU}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2352** *date time applid sysid netname* **Intersystem parallel connection still active after TC shutdown threshold expired. ((instance) Module {DFHZSHU}).**

説明: CICS はネットワークのシャットダウンを試みましたが、許可された時間枠内に完了しませんでした。この時間枠



(端末管理シャットダウン待機しきい値) は、TCSWAIT システム初期設定パラメーターによって指定されます。このメッセージは、時間枠を超えてまだ活動状態 (シャットダウンされていない) にある各接続 (LU タイプ 6.1 および LU タイプ 6.2、ただし LU タイプ 6.2 単一セッション APPC 端末は除く) での最初の VTAM システム間並列セッションに関して出されます。

メッセージの中の *sysid* および *netname* は、それぞれ CICS システム ID と、中断状態の接続の VTAM ネットワーク名です。

システムの処置: CICS 端末管理シャットダウンは通常どおりに続きます。端末と異なり (メッセージ DFHZC2351 を参照)、端末管理は中断状態の並列接続上では FORCECLOSE を行いません。DFHZNAC (ノード異常条件プログラム) は、このメッセージを処理しません。このため、インストール・システムの DFHZNEP (ノード・エラー・プログラム) で条件を代行受信することはできません。このメッセージによって報告される並列接続は、メッセージ DFHZC2350 に含まれていません。

ユーザーの処置: 接続の状態を検査してください。そして、この CICS システムの外側で適切な処置をとり、接続をシャットダウンしてください。

シャットダウン処理中に、メッセージ DFHZC2350、DFHZC2351、および DFHZC2352 が出されるのが早すぎたり遅すぎたりした場合は、適切なステップを経て、CICS を今後稼働する際に TCSWAIT システム初期設定パラメーターを変更してください。いったん CICS で初期設定してしまうと、TCSWAIT は変更できません。

モジュール: DFHZSHU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, netname, instance, {1=DFHZSHU}*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSNE

---

**DFHZC2400E** *date time applid termid tranid Error not supported. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})*

説明: CICS が VTAM から予期しないエラー・コードを受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: CICS は、セッションを終了します。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 症状ストリングを使用し、必要な場合はさらにトランザクション・ダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSYX, 2=DFHZSYX, 3=DFHZSYX, 4=DFHZSYX, 5=DFHZSYX,*

*6=DFHZSYX, 7=DFHZSYX, 8=DFHZSYX, 9=DFHZSYX, 10=DFHZSYX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2401E** *date time applid termid tranid RPL Active. sense ((instance) Module name: {DFHZRVL | DFHZRVS | DFHZSDA | DFHZSDL | DFHZSDR | DFHZSDS | DFHZSES | DFHZSKR})*

説明: CICS は、現在活動状態の要求パラメーター・リスト (RPL) を使用して、VTAM サービスの要求を試みました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: CICS は、セッションを終了します。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 症状ストリングを使用して、必要ならさらにトランザクション・ダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZRVS、DFHZSDA、DFHZSDR、DFHZSDS、DFHZSES、DFHZSDL、DFHZRVL、DFHZSKR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRVS, 2=DFHZSDA, 3=DFHZSDL, 4=DFHZSDS, 5=DFHZSES, 6=DFHZSKR, 7=DFHZRVL, 8=DFHZSDR, 9=DFHZRVL, 10=DFHZRVL, 11=DFHZRVL, 12=DFHZSDL}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2402I** *date time applid termid tranid netname VTAM has returned error on synchronous receive. sense ((instance) Module name: {DFHZRAS})*

説明: VTAM は、受信不特定の低速処理で DFHZRAS によって出された同期受信が正常に完了しなかったことを示しました。これは、CICS のセッションの状態の見方と VTAM のそれとの間かなりの不一致があることを示しています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 要求は無視されます。CICS は、関連セッション TCTTE を CSNE 一時データ宛先に出力します。VTAM により戻された RPL は、例外トレース項目 AP FCA2 に含まれています。

ユーザーの処置: 例外トレース項目内のこの RPL をもとにして、VTAM がエラーを引き起こした理由を判別してください。

モジュール: DFHZRAS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZRAS}*

宛先: CSNE

**DFHZC2403E** *date time applid termid tranid Bind failure.*  
*sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})*

説明: セッションを確立する試みが失敗しました。その理由は、おそらく、装置への物理経路が見つからないか、またはその装置が存在していないかもしくは正しく定義されていないか、または装置がバインドを拒否したためです。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

このセッションが LU62 セッションまたは LU61 セッションで、パートナー LU がセンス・バイト X'08350000' を送信しており、かつ oooo が BIND 内の NETNAME のオフセットである場合は、パートナー LU が適当なセッションを検出できなかったことを表します。

センス・バイトが X'08010000' である場合は、パートナー LU が接続の自動インストールに失敗した可能性があります。

システムの処置: ノードとの通信を確立することができないので、以前に作成された制御ブロックを解放するために VTAM CLSDST マクロが出されます。ノードは使用できない状態にされている可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージに示された VTAM センス・コードを利用して、障害の原因を判別してください。該当する場合には、ノード名がネットワーク制御プログラム/仮想記憶 (NCP/VS) 生成デックに含まれていることを確認し、不良通信回線の可能性について調べてください。

センス・バイトが X'0835oooo' (ここで、oooo は BIND 内の NETNAME のオフセットを表す) だった場合は、パートナー LU が適当なセッションを検出できていません。パートナー LU が CICS である場合は、DFHZC2411 のパートナー LU のログ、および同じセッションに関する直前のメッセージを調べてください。セッションが検出されなかった理由が示されているはずですが。

LU62 自動インストールが使用中で、センス・バイトが X'08010000' である場合は、メッセージ DFHZC2411 およびメッセージ DFHZC69xx についてパートナー LU のログを調べてください。これらのメッセージには、接続を自動インストールできなかった理由が示されているはずですが。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSYX}*

宛先: CSNE

**DFHZC2404E** *date time applid termid tranid VTAM*  
**Detected Logic Error.** *sense ((instance)*  
**Module name: {DFHZLEX})**

説明: VTAM が要求の中にエラーを検出しました。要求が不完全であったか、または実行不可能でした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS は、ノード (CLSDST) との通信を中断し、生成されたすべてのタスクを異常終了させて、そのノードを使用できない状態にして、トランザクション・ダンプを作成します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 並行して実行されているすべてのアプリケーション・プログラムが適切なアドレス可能性を有していることを確認し、それによって、TCITTE または RPL といった CICS 制御ブロックの変更を防止してください。このメッセージが通常のシステム実行時に出された場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

このメッセージは、VTAM が終了している場合にも発生する可能性があります。こうした条件の下では、深刻な問題ではないので、処置は通常必要ありません。

モジュール: DFHZLEX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZLEX, 2=DFHZLEX, 3=DFHZLEX, 4=DFHZLEX, 5=DFHZLEX, 6=DFHZLEX}*

宛先: CSNE

**DFHZC2405E** *date time applid termid tranid Node netname*  
**not activated.** *sense ((instance) Module name:*  
**{DFHZSIM | DFHZSIX | DFHZSYX})**

説明: ネットワーク・オペレーターによってノードが活動化されなかったか、または非活動化されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。そのノードとの通信を停止させるための VTAM CLSDST マクロが出され、内部 LOGON が妨げられます。

引き継ぎ時にこのメッセージが出される場合には、最初の試行後、1、2、4、または 8 分の間隔で獲得が再試行されます。これにより、手操作で介入する必要があるセッション用に時間を与えることができ、獲得が成功します。

ユーザーの処置: ノードをネットワークで使用する前に、VTAM VARY コマンドを使用して、そのノードを活動化してください。

問題のノードが、以前総称アプリケーション ID (VTAM 用語では USERVAR) として使用されていたことが考えられます。VTAM オペレーター・コマンド DISPLAY USERVAR を使用して、今回がこのケースに当てはまるかどうかを調べてください。このケースに当てはまる場合は、MODIFY USERVAR,OPTION=DELETE,ID=node を使用して USERVAR を削除することができます。

モジュール: DFHZSYX, DFHZSIX, DFHZSIM

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZSIM, 2=DFHZSIM, 3=DFHZSIM, 4=DFHZSIM, 5=DFHZSIM, 6=DFHZSYX, 7=DFHZSYX, 8=DFHZSYX, 9=DFHZSIX, 10=DFHZSYX, 11=DFHZSYX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2406E** *date time applid termid trandid* **Terminate self command received. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})**

説明: 論理装置 (LU) がセッションの終了を要求しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: そのノードとの通信を停止するために、VTAM CLSDST マクロが出されました。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2407E** *date time applid termid trandid* **Permanent channel failure. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})**

説明: ネットワーク制御プログラム/仮想記憶 (NCP/VS) がネットワーク・オペレーターによってシャットダウンされたか、または異常終了しました。あるいは、チャンネルに障害が起きました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 論理装置との通信が中断されたために、VTAM によって以前に作成された制御ブロックを解放するための VTAM CLSDST マクロが出されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: 与えられたダンプを利用して、考えられる NCP/VS またはチャンネルの問題を調べてください。  
 モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX, 2=DFHZSYX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2408E** *date time applid termid trandid* **Apparent VTAM Error. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})**

説明: VTAM は、それ自体の処理中にエラーを検出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ノードはサービス休止状態に置かれます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: センス・データを使用して、エラーの性質を判別してください。  
 モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX, 2=DFHZSYX, 3=DFHZSYX, 4=DFHZSYX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2409I** *date time applid termid trandid* **VTAM Recovered Node. LOSTERM Error Code X'xx'. sense ((instance) Module name: {DFHZLTX})**

説明: VTAM は、ノードとの通信を正常に再確立しました。LOSTERM 出口に入る理由が xx に示されます。この xx の値は、以下のいずれかになります。

値	意味
0	ダイヤルインでのダイヤル切断
4	ダイヤルアウトでのダイヤル切断
0C	即時非活動化
14	無条件自己終止
1C	セグメント化エラー
20	条件付き自己終止
24	BUFLIM 値の超過

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、通信を再確立し、ノードを使用できる状態にします。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHZLTX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, X'xx', sense, instance, {1=DFHZLTX, 2=DFHZLTX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2410E** *date time applid termid trandid* **Node Unrecoverable. VTAM LOSTERM Error Code X'xx'. sense ((instance) Module name: {DFHZLTX})**

説明: ノードとの通信は割り込まれたので、VTAM は通信を再確立することはできません。LOSTERM 出口に入る理由が、エラー・コード X'xx' に示されます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: ノード用に以前に作成された制御ブロックを解放するために、VTAM CLSDST マクロが出されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: エラー・コードについての説明は、「VTAM プログラミング」を参照してください。  
 モジュール: DFHZLTX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, X'xx', sense, instance, {1=DFHZLTX, 2=DFHZLTX, 3=DFHZLTX, 4=DFHZLTX}*  
 宛先: CSNE

**DFHZC2411E** *date time applid termid tranid nodeid*  
**attempted invalid logon. sense ((instance)**  
**Module name: {DFHACP | DFHZATA |**  
**DFHZLGX | DFHZSCX | RESERVE})**

説明: ノード *nodeid* は、CICS にログオンしようとした  
 が、このログオンは無効です。

このメッセージが DFHZATA によって出されると、CICS は  
 端末または接続の自動インストールに失敗します。

インスタンス *instance* は、以下のいずれかです。

- 1 適切な TCTTE が検出できないか、またはセッション  
 の TCTTE が存在しません。メッセージ内の  
*nodeid* は、「ネット名」とその後続く 8 個のブラ  
 ンクまたは 8 個のドットとして表示されます。この  
 メッセージが出されたのは、バインドがモードネーム  
 を含んでいなかったためです。
- 2 接続は獲得されませんでした。
- 3 ログオンが、接続セッション限度を超えたようです。
- 4 システムが終了中のため、自動インストールが許可さ  
 れません。
- 5 VTAM ACB がクローズ中のため、自動インストー  
 ルが許可されません。
- 6 ISC サポートが存在しません。
- 7 BIND 不良およびユーザー出口不良といった理由の  
 ため、DFHZATA によって使用されました。
- 8 リストアされた TCTTE アドレスと NIBSEARCH  
 で検出されたアドレスが一致しません。
- 9 システムが終了中です。
- 10 VTAM が終了中です。
- 11 適切な TCTTE が存在しない SCIP 出口によって  
 APPC BIND が受け取られました。モードグループ  
 が SNASVCMG ではなかったため、自動インストー  
 ルは続行できませんでした。要求は、センス 0805  
 0000 で拒否されます。
- 12 予約済み。
- 13 RPL にアドレスが存在しません。
- 14 LU6.1 は自動インストールを行うことができませ  
 ん。
- 15 ISC サポートが存在しません。
- 16 モードネームが存在しないか、または予約名  
 SNASVCMG です。
- 17 セッションがバインドされていません。
- 18 この番号は使用されません。
- 19 LU が使用可能ではありません。通常、これは、  
 XRF 代替 CICS です。
- 20 同じネット名を持つ別の CINIT が到着しました。
- 21 CATA 異常終了のためにログオンが拒否されまし  
 た。

センス・データの意味については、438 ページの  
 『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

??????? が *nodeid* フィールドの後半に表示されている場合  
 は、BIND には無効な長さが指定された SESSION  
 QUALIFIER あるいは MODENAME が含まれている可能性が  
 あります。

システムの処置: ログオンは拒否されます。その拒否がダミ  
 ーの TCTTE を通じて DFHZSCX から出されたものである場  
 合は、失敗した BIND および拒否されたときのセンス・コー  
 ドをメッセージの一部として印刷する試みが行われます。

ユーザーの処置: インスタンス番号を使用して、試みたログオ  
 ンが拒否された理由を判別し、適切な処置をとってください。

モジュール: DFHACP、DFHZATA、DFHZLGX、DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid,*  
*nodeid, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX,*  
*3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX,*  
*7=DFHZATA, 8=DFHZLGX, 9=DFHZLGX, 10=DFHZLGX,*  
*11=DFHZSCX, 12=RESERVE, 13=DFHZLGX,*  
*14=DFHZLGX, 15=DFHZLGX, 16=DFHZLGX,*  
*17=DFHZLGX, 18=DFHZLGX, 19=DFHZLGX,*  
*20=DFHZLGX, 21=DFHACP}*

宛先: CSNE

**DFHZC2412E** *date time applid termid tranid* **Receive any**  
**request failed. sense ((instance) Module**  
**name: {DFHZRAC})**

説明: VTAM に対する受信不特定要求は失敗に終わりました。  
 VTAM は終了しました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: VTAM RPL 制御ブロックが、目で見て調べ  
 ることができるように、CSMT ログに記録されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセ  
 ージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 受信不特定要求が失敗に終わった理由を判別  
 してください。まず最初に、VTAM RPL が変更されたかどう  
 かを調べてください。変更された場合は、その変更が何らかの  
 問題を引き起こした可能性があるかどうかを調べてください。  
 明らかなエラーがあれば、それらを訂正してください。問題判  
 別時に「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクシ  
 ョン『VTAM コード』を参照すると、センス・データを解釈  
 するのに役立ちます。

モジュール: DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid,*  
*sense, instance, {1=DFHZRAC, 2=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC2413E** *date time applid termid tranid nodeid CLSDST*  
**failed. sense ((instance) Module name:**  
**{DFHACP | DFHZATA | DFHZLGX})**

説明: *nodeid* で示されているノードに対する CLSDST 要求が  
 失敗に終わりました。VTAM がこの要求のために十分なス  
 ペースを持っていなかったものと思われる。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: これ以降、そのノードとの通信は開始されま  
 せん。

ユーザーの処置: VTAM のストレージの問題またはエラー・  
 メッセージが示されていないかどうかを、CSNE、CSMT、およ

び CSTL の各ログで調べてください。入出力の問題を示しているメッセージがないかどうか調べてください。

モジュール: DFHACP、DFHZATA、DFHZLGX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, nodeid, sense, instance, {1=DFHZATA, 2=DFHZLGX, 3=DFHACP}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2414E** *date time applid termid trandid* **Temporary VTAM Storage Problem. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})**

説明: VTAM のストレージ不足のため、VTAM 要求が失敗しました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 失敗した VTAM 要求は、VTAM が受け入れ可能になるまで再試行されます。

ユーザーの処置: この条件が繰り返し起こり、問題の原因となっている場合には、VTAM 作業用バッファ・ストレージを大きくしてください。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2415E** *date time applid termid trandid* **Node netname out of service. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: ノード *nodeid* でノード・エラー条件が起きました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのノードを使用できない状態にします。

ユーザーの処置: センス・データを使用して、エラーの性質を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, netname, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2416E** *date time applid termid trandid* **VTAM is halting. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})**

説明: SIMLOGON 要求または OPNDST 要求の処理が進行中であるときに、ネットワーク・オペレーターによって VTAM HALT コマンドが入力されました。インスタンス番号は、どのような停止のタイプが要求されたのかを示しています。

- 1 正常シャットダウン
- 2 即時シャットダウン

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: VTAM ネットワークは、それ以上の要求を

防止するために静止します。ノードはサービス休止状態になります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX, 2=DFHZSYX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2417E** *date time applid termid trandid* **VTAM Inactive to TCB. sense ((instance) Module name: {DFHZCLS | DFHZCLX | DFHZOPN | DFHZOPX | DFHZRAC | DFHZRLP | DFHZRST | DFHZRVL | DFHZRVS | DFHZRVX | DFHZSDA | DFHZSDL | DFHZSDR | DFHZSDS | DFHZSES | DFHZSIM | DFHZSIX | DFHZSKR | DFHZSLX | DFHZSYX | DFHZTAX})**

説明: CICS はその VTAM ACB をオープンしなかったか、または VTAM が停止しました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: VTAM ネットワークは静止させられ、これ以降の要求が妨げられ、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: VTAM がネットワーク・オペレーターによって停止されたのではない場合は、出されたダンプを使用して問題を判別してください。

モジュール: DFHZSYX、DFHZCLS、DFHZCLX、DFHZOPN、DFHZOPX、DFHZRAC、DFHZRLP、DFHZRST、DFHZRVL、DFHZRVS、DFHZRVX、DFHZSDL、DFHZSDR、DFHZSDS、DFHZSES、DFHZSIM、DFHZSIX、DFHZSKR、DFHZSLX、DFHZTAX、DFHZSDA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZOPX, 2=DFHZCLS, 3=DFHZOPN, 4=DFHZRLP, 5=DFHZRST, 6=DFHZRVS, 7=DFHZRVX, 8=DFHZSDA, 9=DFHZSDL, 10=DFHZSDS, 11=DFHZSES, 12=DFHZSIM, 13=DFHZSKR, 14=DFHZSLX, 15=DFHZRAC, 16=DFHZCLX, 17=DFHZRVL, 18=DFHZSDR, 19=DFHZSIX, 20=DFHZTAX, 21=DFHZOPX, 22=DFHZSYX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2418E** *date time applid termid trandid* **Unknown command in RPL. sense ((instance) Module name: {DFHZSEX})**

説明: CICS SESSIONC 出口ルーチンによって、VTAM 要求パラメーター・リスト (RPL) の中に未知のコマンドが検出されました。RPL アドレスが無効であるか、または RPL が変更されていることが考えられます。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは

異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

CLSDST が出されてノードとの通信が停止し、ノードはサーブス休止状態になります。

ユーザーの処置: まず、VTAM RPL に無効なアドレスがあるかどうかを調べてください。アドレスが有効である場合には、RPL が変更されていないかどうかを調べてください。変更された場合は、その変更が何らかの問題を引き起こした可能性があるかどうかを調べてください。明らかなエラーがあれば、それらを訂正してください。問題判別時に「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照すると、センス・データを解釈するのに役立ちます。

モジュール: DFHZSEX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSEX, 2=DFHZSEX}*

宛先: CSNE

**DFHZC2419E** *date time applid termid trandid Unknown command in RPL. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZSLX | DFHZSSX})*

説明: 送信データ・フロー同期出口ルーチンによって、要求パラメーター・リスト (RPL) の中に未知のコマンドが検出されました。RPL アドレスが無効であるか、または RPL が変更されていることが考えられます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

そのノードとの通信を停止させるための VTAM CLSDST マクロが出され、そのノードは使用されなくなります。

ユーザーの処置: まず最初に、VTAM RPL が無効なアドレスを持っていないかどうかを調べてください。アドレスが有効である場合には、RPL が変更されていないかどうかを調べてください。変更された場合は、その変更が何らかの問題を引き起こした可能性があるかどうかを調べてください。明らかなエラーがあれば、それらを訂正してください。問題判別時に「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照すると、センス・データを解釈するのに役立ちます。

モジュール: DFHZSSX, DFHZSLX, DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSSX, 2=DFHZSLX, 3=DFHZRAC, 4=DFHZRAC, 5=DFHZRAC, 6=DFHZRAC, 7=DFHZRAC, 8=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC2420E** *date time applid termid trandid Unknown command in RPL. sense ((instance) Module name: {DFHZSAX})*

説明: 送信データ・フロー非同期出口ルーチンによって、RPL の中に未知のコマンドが検出されました。RPL アドレスが無効であるか、または RPL が変更されていることが考えられます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

そのノードとの通信を停止させるための VTAM CLSDST マクロが出され、そのノードは使用されなくなります。

ユーザーの処置: まず最初に、VTAM RPL が無効なアドレスを持っていないかどうかを調べてください。アドレスが有効である場合には、RPL が変更されていないかどうかを調べてください。変更された場合は、その変更が何らかの問題を引き起こした可能性があるかどうかを調べてください。明らかなエラーがあれば、それらを訂正してください。問題判別時に「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照すると、センス・データを解釈するのに役立ちます。

モジュール: DFHZSAX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSAX}*

宛先: CSNE

**DFHZC2421E** *date time applid termid trandid Unsupported command received. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRLP | DFHZRVX})*

説明: 未知のコマンドまたは要求が検出されたか、RPL に論理装置 (LU) 状況が含まれています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 無効なコマンドまたは要求が検出された場合、未解決の送信および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出され、ノードとの通信が停止します。

ISC セッションの場合には、各ノードで互換性のないセッション・タイプを指定すると、このエラーが起こることがあります。(例えば、あるノードで SESSIONTYPE=SEND が指定され、他のノードで SESSIONTYPE=FASTRECV が指定される場合。)

RPL に論理装置 (LU) 状況が含まれる場合には、DFHZC2461、DFHZC2462、DFHZC2464、DFHZC2465、または DFHZC2466 メッセージの 1 つが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセー

ジ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 無効なコマンドまたは要求は、CICS、VTAM または LU6 セッションに接続されたシステム内の、指定された端末定義あるいはセッションの定義が矛盾しているか、またはエラーがあることを示しています。これらの定義が、装置またはセッション特性に関して一貫性があり、正しいかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX、DFHZRLP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRLP, 2=DFHZRLP, 3=DFHZRVX, 4=DFHZRVX, 5=DFHZRAC, 6=DFHZRAC, 7=DFHZRAC, 8=DFHZRAC, 9=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2422E** *date time applid termid tranid ZCP Logic Error. sense ((instance) Module name: {DFHZARL | DFHZDET | DFHZERH | DFHZEV1 | DFHZEV2 | DFHZNAC | DFHZOPN | DFHZRAC | DFHZRVS | DFHZSDS | DFHZSIM | DFHZSKR | DFHZSLX | DFHZSSX})*

説明: 端末の処理時に、CICS は DFHZCP の中で無効な内部状態を検出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去され、そのタスクは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。そのノードは使用できない状態にされ、TCTTE、RPL、および処置フラグが、デバッグの目的で CSMT 宛先に記録されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。TCTTE が変更されていないければ、ダンプを使用して、エラーの原因を突き止めてください。

何がうまくゆかなかったのかを探る手掛かりを得るには、CSMT ログに印刷されたデバッグ・データを調べると役立ちます。

モジュール: DFHZARL、DFHZDET、DFHZERH、DFHZEV1、DFHZEV2、DFHZOPN、DFHZRAC、DFHZRVS、DFHZSDS、DFHZSIM、DFHZSKR、DFHZSLX、DFHZNAC、DFHZSSX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZDET, 2=DFHZSIM, 3=DFHZSIM, 4=DFHZERH, 5=DFHZERH, 6=DFHZERH, 7=DFHZERH, 8=DFHZERH, 9=DFHZERH, 10=DFHZERH, 11=DFHZERH, 12=DFHZERH, 13=DFHZERH, 14=DFHZNAC, 15=DFHZERH, 16=DFHZERH, 17=DFHZERH, 18=DFHZERH, 19=DFHZSDS, 20=DFHZEV1, 21=DFHZEV1, 22=DFHZOPN, 23=DFHZOPN, 24=DFHZRVS, 25=DFHZRVS, 26=DFHZSKR, 27=DFHZSSX, 28=DFHZSLX, 29=DFHZSLX,*

*30=DFHZRAC, 31=DFHZRAC, 32=DFHZRAC, 33=DFHZRAC, 34=DFHZRAC, 35=DFHZRAC, 36=DFHZRAC, 37=DFHZRAC, 38=DFHZRAC, 39=DFHZARL, 40=DFHZARL, 41=DFHZEV2, 42=DFHZEV2, 43=DFHZRAC, 44=DFHZRAC, 45=DFHZOPN}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2423E** *date time applid termid tranid Attempted to send unsupported command. sense ((instance) Module name: {DFHZSDS})*

説明: データを同期的に送信するための要求が不完全でした。この理由としては、次のものが考えられます。

1. TCTTE が変更された。
2. 論理エラーが検出された。
3. TCTTE が誤って送信同期キュー上に置かれた。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ノードとの通信は、VTAM CLSDST マクロが発行されて終了します。

ユーザーの処置: 上記に記された理由 1 から 3 の場合には、並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。

論理エラー (2) の疑いがある場合には、VTAM RPL が破壊されていないかどうかを検査してください。それでも問題が解決できない場合は、IBM の支援が必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSDS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSDS}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2424E** *date time applid termid tranid SESSIONC command request invalid. sense ((instance) Module name: {DFHZSES})*

説明: SESSIONC 要求が不完全であるか、または無効です。この理由としては、次のものが考えられます。

1. TCTTE が変更された。
2. そのコマンド要求ビットが不完全である。DFHZSES は、データ通信開始 (SDT) コマンドがないかどうか TCTEISDT を検査し、順序番号セットおよびテスト (STSN) コマンドがないかどうか TCTEISTS を検査し、CLEAR コマンドがないかどうか TCTEICLR を検査します。これらのいずれも見つからなかった場合に、DFHZSES がこのメッセージを出します。
3. 間違った要求が SESSIONC キューに入れられた。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除

## DFHZC2425E • DFHZC2429E

去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ノードとの通信は、VTAM CLSDST マクロが発行されて終了します。

ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。

TCTTE が変更されていない場合には、条件 2 または条件 3 について検査してください。

モジュール: DFHZSES

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSES, 2=DFHZSES}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2425E** *date time applid termid trandid ASYNC command request invalid. sense ((instance) Module name: {DFHZSDA})*

説明: データを非同期的に送信するための要求が不完全であったか、または無効でした。この条件は、TCTTE が変更されたことが原因で起きることがあります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ノードとの通信は、VTAM CLSDST マクロが発行されて終了します。

ユーザーの処置: TCTTE を検査してください。並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。

モジュール: DFHZSDA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSDA, 2=DFHZSDA}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2426E** *date time applid termid trandid Node Status Error. Node is out of service or receive only. sense ((instance) Module name: {DFHZATT})*

説明: 出力専用または永続的に使用されないものとして識別されているノードから、入力を受け取られました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: そのノードが出力専用装置ではないことを示すように、TCT 内の端末項目を変更してください。ノードが

使用できない状態にある場合には、マスター端末オペレーターはそれを再び使用できる状態にする必要があります。

モジュール: DFHZATT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZATT, 2=DFHZATT, 3=DFHZATT}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC2427I** *date time applid termid trandid NCP Restarted. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})*

説明: OPNDST に失敗した後で、ネットワーク制御プログラム/仮想記憶 (NCP/VS) が再始動されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: OPNDST 要求が再び出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC2428E** *date time applid termid trandid Send DFSYN request incomplete. sense ((instance) Module name: {DFHZSDS})*

説明: 同期送信要求が出されましたが、コマンドまたはデータの送信であることが示されていません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 明らかなエラーがあるかどうか VTAM RPL を検査してください。並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。TCTTE が変更されていない場合には、症状ストリングを使用し、必要ならさらにダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZSDS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSDS}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC2429E** *date time applid termid trandid RESETSR request invalid RTYPE. sense ((instance) Module name: {DFHZRST})*

説明: 無効な RESETSR 要求が、CICS によって出された VTAM マクロで行われました。その無効な要求は、RTYPE が指定されていないか、正しく指定されていないか、または TCTTE が変更されたために生じた可能性があります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。



システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。  
タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、  
トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ  
DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 明らかなエラーがあるかどうか VTAM RPL  
を検査してください。並行して実行されているアプリケーション  
・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してくださ  
い。TCTTE が変更されていない場合には、症状ストリングを  
使用し、必要ならさらにダンプも使用して、エラーの原因を判  
別してください。

モジュール: DFHZRST

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid,*  
*sense, instance, {1=DFHZRST, 2=DFHZRST, 3=DFHZRST}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC2430E** *date time applid termid trandid* **Send response**  
**command request invalid. sense ((instance)**  
**Module name: {DFHZSDR})**

説明: 送信応答要求が無効でした。要求に応答レベル (DR1  
または DR2) が指定されていなかったか、または TCTTE が要  
求されていませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの  
『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の送信要求はすべて除去されます。  
タスクが生成されると、タスクは異常終了し、トランザクシ  
ョン・ダンプが作成され、そのノードは使用できない状態にされ  
ます。

ユーザーの処置: 明らかなエラーがあるかどうか VTAM RPL  
を検査してください。並行して実行されているアプリケーシ  
ョン・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してくださ  
い。TCTTE が変更されていない場合は、ダンプを使用してエ  
ラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZSDR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid,*  
*sense, instance, {1=DFHZSDR}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC2431E** *date time applid termid trandid* **Request to a**  
**released node. sense ((instance) Module**  
**name: {DFHZSYX})**

説明: CICS は、現在 CICS が『所有している』ノードのため  
の宛先をクローズするように VTAM に要求しました。

センス・データの意味については、438 ページの  
『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: CICS ACB がオープンされたら、すべての  
未解決要求は除去されます。そして、タスクが生成されている  
場合は異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されま  
す。

ユーザーの処置: CICS ACB がオープンされている場合に  
は、ダンプを使用して、エラーの原因を判別してください。  
TCTTE が有効であるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid,*  
*sense, instance, {1=DFHZSYX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC2432E** *date time applid termid trandid* **Exception**  
**response received. sense ((instance) Module**  
**name: {DFHZRAC | DFHZRVX |**  
**DFHZSSX})**

説明: CICS が例外応答を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの  
『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: このメッセージとともに別の CICS メッセ  
ージが出されます。

ユーザーの処置: 関連した CICS メッセージについて示され  
た処置を実行してください。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRVX, DFHZSSX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid,*  
*sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRVX,*  
*3=DFHZRVX, 4=DFHZRVX, 5=DFHZRVX, 6=DFHZRVX,*  
*7=DFHZRVX, 8=DFHZSSX, 9=DFHZSSX, 10=DFHZSSX,*  
*11=DFHZSSX, 12=DFHZRAC, 13=DFHZRAC,*  
*14=DFHZRAC, 15=DFHZRAC, 16=DFHZRAC,*  
*17=DFHZRAC, 18=DFHZRAC, 19=DFHZRAC,*  
*20=DFHZRAC, 21=DFHZRAC, 22=DFHZRAC,*  
*23=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2433E** *date time applid termid trandid nodeid* **Logon**  
**has failed because autoinstall is disabled.**  
**sense ((instance) Module name: {DFHZLGX |**  
**DFHZSCX})**

説明: ノード *nodeid* が、CICS へのログオンを試みました。  
自動インストールが使用不可のため、ログオンが失敗しまし  
た。次の理由が考えられます。

- 自動インストール・システム初期設定パラメーターが正しく  
定義されていない。
- CICS 端末接続処理中にエラーが検出された。
- システムのストレージが不足している。いったん SOS 条  
件が終了するたびに自動インストールは使用可能にされま  
す。

システムの処置: ログオンは拒否されます。

ユーザーの処置: AIQMAX システム初期設定パラメーターの  
値がゼロより大きいことを確かめてください。システム初期設  
定パラメーター AIEXIT に自動インストール・ユーザー・プロ  
グラムが指定されている場合には、プログラム名が CICS に定  
義されていることを検査してください。自動インストール・パ  
ラメーターについての詳細は、「CICS Transaction Server for  
VSE/ESA システム定義の手引き」を参照してください。

システムのストレージが不足している場合、詳しい手引きにつ  
いては、関連したメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZLGX, DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid,*  
*nodeid, sense, instance, {1=DFHZLGX, 2=DFHZLGX,*  
*3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2434E** *date time applid termid trandid Invalid copy request - Copy not supported. sense*  
 ((instance) Module name: {DFHZARQ})

説明: DFHTC TYPE=COPY 要求が、3270 互換モードの論理装置に対して出されました。3270 COPY コマンドは、3270 互換モードの論理装置によってはサポートされないため、この要求は無効です。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: タスクは異常終了します。  
 ユーザーの処置: COPY 要求を出さないように、アプリケーション・プログラムを変更してください。  
 モジュール: DFHZARQ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZARQ}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2435E** *date time applid termid trandid RPL missing. sense* ((instance) Module name: {DFHZRVS})

説明: 要求パラメーター・リスト (RPL) を指定せずに、CICS によって特定受信要求が VTAM に対して出されました。この条件は、次のいずれかの結果であると考えられます。

- RPL が割り振られていない。
- RPL は割り振られたものの、その後解放された。
- TCTERPLA が変更された。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。CLSDST マクロが出され、ノードとの通信が終了します。  
 ユーザーの処置: ダンプを使用して、TCTTE がアプリケーション・プログラムによって変更されたのかどうかを調べてください。TCTTE が更新された場合には、エラーを訂正してください。TCTTE が変更されていない場合には、RPL に潜在的な問題がないか検査してください。  
 モジュール: DFHZRVS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVS}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2436E** *date time applid termid trandid TIOA missing. sense* ((instance) Module name: {DFHZRVS | DFHZRVX})

説明: 特定受信要求が処理されているときに、TIOA が欠落していました。この条件は、TIOA が解放されているか、または TCTTEDA が変更されている結果である可能性があります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。

タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: ダンプを使用して、TCTTE がアプリケーション・プログラムによって変更されたかどうかを判断してください。  
 モジュール: DFHZRVS, DFHZRVX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVS, 2=DFHZRVX, 3=DFHZRVS}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2437E** *date time applid termid trandid Invalid WRITE request to an input only device. sense*  
 ((instance) Module name: {DFHZSDS})

説明: 入力専用装置として定義されている VTAM 端末に対して出力要求が出されました。TCTTETS が変更されたか、または生成されたタスクが送信要求を出したことが原因と思われる。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。端末の状況はそのまま変わりません。  
 ユーザーの処置: ノードが TCTTE で正しく定義されていることを確認するか、またはタスクからノードへ出力要求を出さないようにしてください。  
 モジュール: DFHZSDS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSDS}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2438E** *date time applid termid trandid Invalid READ request to an output only device. sense*  
 ((instance) Module name: {DFHZRVS | DFHZSDS})

説明: 出力専用装置として識別されている VTAM 端末に対して入力要求が出されました。TCTTETS が変更されたか、または生成されたタスクが読み取り要求を出したことが原因と思われます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。端末の状況はそのまま変わりません。  
 ユーザーの処置: TCTTE の端末の定義を変更するか、またはタスクからノードへ入力要求を出させないようにしてください。  
 モジュール: DFHZRVS, DFHZSDS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVS, 2=DFHZSDS}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2439E** *date time applid termid trandid Invalid*  
**RESUME request. sense ((instance) Module name: {DFHZACT})**

説明: 無効な再開要求が受け取られました。CICS スキャン活動化機能が TCTTE の中に再開要求を検出したものの、その TCTTE はどのトランザクションの一部にもなっていませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: TCTTE が印刷され、デバッグの目的で CSNE 宛先に記録されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 症状ストリングを使用して、問題の原因を判別してください。印刷され、CSNE 宛先に記録された TCTTE データを調べて、明らかな変更およびエラーがないか確認してください。

モジュール: DFHZACT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZACT}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2440I** *date time applid termid trandid CICS quiesced by node. sense ((instance) Module name: {DFHZASX})*

説明: VTAM 論理装置は、そのノードとのすべての入出力活動を静止するように CICS に要求しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: そのノードへのすべてのデータ伝送は、CICS が解放静止標識を受け取るまで停止されます。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHZASX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZASX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2441I** *date time applid termid trandid CICS released by node. sense ((instance) Module name: {DFHZASX})*

説明: CICS は、前に CICS を静止させた VTAM 論理装置から解放静止標識を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: そのノードへのデータ伝送が CICS によって再開されます。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHZASX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZASX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2442E** *date time applid termid trandid Exception response received to a definite response send. sense ((instance) Module name: {DFHZRVX})*

説明: 確定応答プロトコルが要求されたときに、例外応答が受け取られました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、このメッセージとともに、例外応答の理由を説明する別のメッセージを出してきます。  
 ユーザーの処置: 受け取った 2 番目の CICS メッセージについて示された処置を実行してください。  
 モジュール: DFHZRVX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRVX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2443E** *date time applid termid trandid Request outstanding when node released. sense ((instance) Module name: {DFHZRVL | DFHZRVS | DFHZSDL | DFHZSDS | DFHZSHU})*

説明: CICS は、そのノードがセッションの中になかったり、または CLSDST が行われるのを待っているときに、アプリケーション・プログラムから要求を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の要求はすべて無視されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール:

DFHZSDS, DFHZRVL, DFHZRVS, DFHZSDL, DFHZSHU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVS, 2=DFHZSDL, 3=DFHZSDS, 4=DFHZSDS, 5=DFHZSDS, 6=DFHZSHU, 7=DFHZSHU, 8=DFHZRVL, 9=DFHZSHU}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2444E** *date time applid termid trandid CICS bracket state error. sense ((instance) Module name: {DFHZRVS | DFHZSDS})*

説明: CICS アプリケーション・プログラムがブラケット・プロトコルに違反しました。おそらく、そのアプリケーション・プログラムは、書き込み (最終) 要求の後に入出力要求を出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

## DFHZC2445E • DFHZC2448E

モジュール: DFHZRVS、DFHZSDS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVS, 2=DFHZSDS}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2445E** *date time applid termid trandid* **Output area exceeded. sense ((instance) Module name: {DFHZSDS})**

説明: TIOA が、すべての出力データを十分に保持できる大きさではありませんでした。アプリケーション・プログラムが TIOA の設定を誤ったか、または TIOA をオーバーランしたかのいずれかです。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の送信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: より大きい TIOA が得られるように、アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZSDS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSDS, 2=DFHZSDS}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2446E** *date time applid termid trandid* **Invalid response to a bid. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRVX | DFHZSSX})**

説明: 送信権要求に対して、無効な応答が受け取られました。トランザクションがブラケット状態にあるときに、送信権要求標識に対して通常応答が受け取られました。そのコントローラーのアプリケーション・プログラムにエラーがあります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードは使用できない状態にされます。  
ユーザーの処置: コントローラーのアプリケーション・プログラムを訂正し、ブラケット状態のときには送信権要求標識に対して例外応答を返し、続いてその送信権要求が受け入れ可能になったときに RTR (受信準備済み) 標識が出されるようにしてください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX、DFHZSSX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZSSX, 3=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2447E** *date time applid termid trandid* **A severe error has occurred as a result of a previous failure. sense ((instance) Module name: {DFHZACT | DFHZFRE | DFHZGET | DFHZOPN | DFHZRAC | DFHZRLP | DFHZRVS | DFHZSDA})**

説明: ドメイン呼び出しが失敗し、前に起きた障害のためにモジュール *modname* によって応答を処理することができませんでした。関係しているドメインは、その障害についての詳しい情報を示すメッセージをコンソールに出したはずですが。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 端末 *termid* に対する未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。端末 *termid* は使用できない状態にされ、TCTTE は CSNE 宛先に記録されます。  
ユーザーの処置: エラーになっているドメインが出したメッセージを参照してください。このメッセージは、元のエラーの原因を示しています。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVS、DFHZSDA、DFHZOPN、DFHZFRE、DFHZRLP、DFHZACT、DFHZGET

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZOPN, 2=DFHZRVS, 3=DFHZSDA, 4=DFHZRAC, 5=DFHZRAC, 6=DFHZOPN, 7=DFHZOPN, 8=DFHZFRE, 9=DFHZRLP, 10=DFHZACT, 11=DFHZGET, 12=DFHZGET, 13=DFHZOPN}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2448E** *date time applid termid trandid* **Invalid response requested. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRVX})**

説明: 無効な応答が要求されました。アプリケーション・プログラムは、CICS からの応答を要求せずに、CICS にデータを伝送しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードは使用できない状態にされます。  
ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRAC, 3=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2449E** *date time applid termid tranid* **Bracket Error.**  
*sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRVX})*

説明: トランザクションがブラケット状態にあるにもかかわらず、アプリケーション・プログラムが、ブラケット開始標識またはブラケット終了標識を送信しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードはサービス休止状態になります。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRVX, 3=DFHZRAC, 4=DFHZRAC}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2450E** *date time applid termid tranid* **Bid issued but ATI cancelled.** *sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRVX | DFHZSSX})*

説明: 自動タスク開始 (ATI) 要求が出されましたが、その端末について保留中の ATI はありません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、独立型の BB-EB を出して、この BB 保留条件を満たすこととなります。  
 ユーザーの処置: ATI が設定時間にもとづいて開始される場合には、タイマー値を大きくしてください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX、DFHZSSX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRVX, 3=DFHZRVX, 4=DFHZSSX, 5=DFHZSSX, 6=DFHZSSX, 7=DFHZRAC, 8=DFHZRAC, 9=DFHZRAC}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2451E** *date time applid termid tranid* **Outstanding request when clear was issued.** *sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})*

説明: クリア命令が出されたとき、未解決の要求が残っていました。クリア標識が出されたときに、特定受信要求が保留中でした。消去標識は、次のいずれかの条件が生じた場合に送信されます。

- 論理装置が失われている (LOSTERM)。
- CICS が VTAM CLSDST マクロを出す。
- メッセージ再同期の間に、CICS がクリアを出す。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の要求はすべて除去されます。タス

クが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSYX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2452E** *date time applid termid tranid* **Invalid command received.** *sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: CICS が無効なコマンド (VTAM 標識) を受け取りました。CICS セッション制御入力出力ルーチン (SCIP) がリカバリ要求以外の標識を検出しました。このルーチンは、コントローラー・アプリケーション・プログラムからリカバリ要求標識を受信した場合に限り、スケジューリングされるべきです。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 セッションは終了し、ノードはサービス休止状態になります。  
 ユーザーの処置: 明らかなエラーがあるかどうか VTAM RPL を検査してください。ダンプを問題の原因の判別に役立ててください。

モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2453E** *date time applid termid tranid* **Request recovery received.** *sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: リカバリ要求が受け取られました。2 次論理装置からリカバリ要求標識が送られ、メッセージ再同期を要求していますが、メッセージの順序番号が、3601 アプリケーション・プログラムで維持されている順序番号と一致しません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。その後で、CICS によってメッセージ再同期が開始されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
 宛先: CSNE

**DFHZC2454E** *date time applid termid trandid* **Exception in chain. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})**

説明: POST=RESP チェーン・データ送信で例外応答が戻されました。CICS は、通常、連鎖されたデータを POST=RESP を使用して送信することはありません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: 症状ストリングを使用し、必要な場合はさらにトランザクション・ダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。  
モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX}*  
宛先: CSNE

**DFHZC2455E** *date time applid termid trandid* **In CA mode - Task attached. sense ((instance) Module name: {DFHZATT})**

説明: 継続不特定 (CA) モードであるにもかかわらず、論理装置 (LU) に対してタスクを生成しようとした。しかし、端末 *termid* にすでにタスクが生成されていました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 端末 *termid* にすでに生成されているタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。ノードとの通信は、VTAM CLSDST マクロが発行されて終了します。その後、CICS は、SIMLOGON マクロを出して、ノードとの通信を再確立します。  
ユーザーの処置: 症状ストリングを使用し、必要な場合はさらにダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。端末 *termid* にすでにタスクが生成されていたにもかかわらず、さらにタスクを生成しようとした理由を判別してください。  
モジュール: DFHZATT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZATT}*  
宛先: CSNE

**DFHZC2456E** *date time applid termid trandid* **Exception response received to a command. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZSYX})**

説明: CICS は、論理装置に送信したコマンド (VTAM 標識) に対する例外応答を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: CICS は、このメッセージとともに、例外応答の理由を説明する別のメッセージを出します。  
ユーザーの処置: 受け取った 2 番目の CICS メッセージに示された処置を実行してください。  
モジュール: DFHZSYX、DFHZSSX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX, 2=DFHZSYX, 3=DFHZSYX, 4=DFHZRAC}*  
宛先: CSNE

**DFHZC2457E** *date time applid termid trandid* **Multiple Errors Encountered. sense ((instance) Module name: {DFHZEMW | DFHZRAC | DFHZSYX})**

説明: あるノードで連続したエラーが検出されました。つまり、ノード異常条件プログラム (NACP) で、最初のエラーを処理しているときに 2 番目のエラーが起きました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了します。最初のエラーには、エラー・メッセージが伴います。  
ユーザーの処置: ダンプを使用して、エラーの原因を判別してください。最初の問題で出されたエラー・メッセージ、ならびにこれまでに目撃された VTAM メッセージがあれば、それを参照してください。  
モジュール: DFHZRAC、DFHZSYX、DFHZEMW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZEMW, 2=DFHZSYX, 3=DFHZSYX, 4=DFHZRAC, 5=DFHZRAC}*  
宛先: CSNE

**DFHZC2458E** *date time applid termid trandid* **Exception response received to an exception response send. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRVX})**

説明: CICS は、例外応答が要求された送信に対する例外応答を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: CICS は、このメッセージとともに、例外応答の理由を説明する別のメッセージを出します。  
ユーザーの処置: 受け取った 2 番目の CICS メッセージに示された処置を実行してください。  
モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRVX, 3=DFHZRVX, 4=DFHZRVX, 5=DFHZRAC, 6=DFHZRAC, 7=DFHZRAC, 8=DFHZRAC, 9=DFHZRAC, 10=DFHZRAC, 11=DFHZRAC, 12=DFHZRAC}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC2459E** *date time applid termid trandid No TIOA available for send. sense ((instance) Module name: {DFHZSDS})*

説明: TCTTEDA が、DFHTC TYPE=WRITE が出される前にロードされていなかったか、または間違っで消去されていました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。その送信は除去されます。

ユーザーの処置: 書き込み命令を出す前に、TCTTEDA に TIOA アドレスがロードされているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHZSDS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSDS, 2=DFHZSDS}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2460E** *date time applid termid trandid Sense receive not supported. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: CICS によってサポートされていないセンス・コードが、論理装置から受け取られました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードは使用できない状態にされます。

ユーザーの処置: ユーザーのノード・エラー・プログラム (DFHZNEP) でセンス・コードを処理することができます。  
モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2461E** *date time applid termid trandid Intervention required. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 要求が完了する前に、端末 *termid* の物理コンポーネントについてオペレーターの処置が要求されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: その装置が、介入の要求された後で論理装置状況メッセージを送信する装置でなければ、要求が再試行されます。そのような装置であれば、適切なシステム処置がとられます。

ユーザーの処置: その装置の問題を訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2462E** *date time applid termid trandid Bracket Error. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 2 次論理装置と CICS の双方が同時に開始ブラケット標識を送りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ノードとの通信は、VTAM CLSDST マクロが発行されて終了します。

ユーザーの処置: コントローラーのアプリケーション・プログラムを訂正し、そのプログラムが開始ブラケット標識を送信できないようにしてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2463E** *date time applid termid trandid Node nodeid resource pending deletion, connection request rejected. sense ((instance) Module name: {DFHZLGX | DFHZSCX})*

説明: ノード *nodeid* から CICS への接続が試みられました。CICS は、*termid* の端末定義を削除していたために、その要求を拒否しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: CICS はリソースの変更を継続するか、メッセージのインスタンス 3 については、自動インストール削除トランザクション CATD が再始動されます。

ユーザーの処置: リソースの変更が完了した時点で、接続またはログオン要求を再試行してください。

モジュール: DFHZSCX、DFHZLGX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, nodeid, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX, 3=DFHZLGX, 4=DFHZLGX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2464E** *date time applid termid trandid Terminate chain. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 2 次論理装置は、現在のチェーン内のこれ以上のデータの伝送を終了するように CICS に要求しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。論理

## DFHZC2465E • DFHZC2468E

装置に対して取り消し標識が出され、現在のチェーン内にあるデータを取り除くことが許されます。

ユーザーの処置: 出されたダンプを使用して、論理装置がチェーンの廃棄を要求した理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2465E** *date time applid termid tranid* **Insufficient resources. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: サブシステム・コントローラーのアプリケーション・プログラムには、要求を処理できるだけの十分なリソースがありません。例えば、3601 の場合、3601 ディスケットがいっぱいになっているか、または 3601 のデータ・セグメントが小さすぎてデータ・セットを処理するには不十分であることが考えられます。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: サブシステムは一時的に中断されます。

ユーザーの処置: そのコントローラーのアプリケーション・プログラムでこの条件が起こった理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2466E** *date time applid termid tranid* **Function not executable. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: コントローラーのアプリケーション・プログラムが、端末 *termid* へメッセージを送ることができません。データ・チェックが起きたか、またはノードが使用できません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。端末の状況はそのまま変わりません。

ユーザーの処置: 出されたダンプを使用して、アプリケーション・プログラムが要求を実行できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2467E** *date time applid termid tranid* **Invalid communications ID (CID) detected. sense ((instance) Module name: {DFHZLEX})**

説明: CICS は、VTAM が認識しない通信 ID (CID) が入っている VTAM 要求を出しました。これは、TCTECID フィー

ルドが変更されたことが原因である可能性があります。あるいは、セッションは、VTAM によってクローズされる最中であり、その処理が完了する前に、CICS がそのセッションを使用しようとしたことが考えられます。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。失敗した要求が CLSDST ではない場合は、ノードは使用できない状態にされます。losterm 出口が、戻りコード X'0C'、X'10'、または X'14' によって駆動された場合、CICS は CLSDST を VTAM に出して、処置フラグ 23「ノードを使用できない状態にする」をリセットします。

ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが、TCTTE の TCTECID フィールドを変更しないようにしてください。セッションはまだ活動状態であること(つまり、通信する対象となっているシステムがまだ機能している状態のこと)も確認してください。

モジュール: DFHZLEX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZLEX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2468E** *date time applid termid tranid* **Name netname unknown or vary activate required. sense ((instance) Module name: {DFHZLEX})**

説明: ノードが VARY ACTIVATE によって活動化されなかったか、または、CICS が、次のような無効な記号ノード名を含む VTAM 要求を出したかのいずれかです。ここで、

- その名前は、ノード初期設定ブロック (NIB) の中で変更された可能性があります。
- その名前は、VTAM 定義時に指定されたが、それが TCT 中の名前と一致していません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ノードはサービス休止状態に置かれます。

ユーザーの処置: そのノードに対して VARY ACTIVATE を出すか、または、並行して実行されているアプリケーション・プログラムが NIB 名を変更しないようにしてください。

VTAM 定義時に指定した名前は、TCT 内の名前と一致していなければなりません

モジュール: DFHZLEX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZLEX}*

宛先: CSNE



---

**DFHZC2469E** *date time applid termid trandid* **Exception response received. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})**

説明: 2 次論理装置が例外応答 (否定応答) を送信しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 3270 以外の装置の場合、例外応答は、インバウンド・メッセージ用に VTAM によって要求パラメーター・リスト (RPL) の中に用意されるセンス・コードとともにノードに戻されます。3270 装置の場合、例外要求には、3270 センス/状況が含まれます。

ユーザーの処置: DFHZNEP にあるセンス・コードを分析してください。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX, 2=DFHZSYX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2470E** *date time applid termid trandid* **Task active at Shutdown. sense ((instance) Module name: {DFHZASX})**

説明: 以下のいずれかが起こりました。

- タスクがまだ生成されていたときに、シャットダウン要求標識が、ノードではなくそのコントローラーのアプリケーション・プログラムから受け取られた。
- VTAM シャットダウン時に、タスクがまだ生成されているにもかかわらず、シャットダウン完了標識が、ノードではなくそのコントローラーのアプリケーション・プログラムから受け取られた。
- VTAM シャットダウン時に、まだ VTAM 3270 に対してタスクが生成されていた (VTAM 3270 は、シャットダウン要求またはシャットダウン完了標識を送ることができません)。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 最初の 2 つの場合には、CICS はコマンドを受け入れます。上記のすべての場合において、未解決の送信要求および受信要求は除去されます。そして、タスクが生成されている場合には、タスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZASX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZASX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2471E** *date time applid termid trandid* **FMH length error. sense ((instance) Module name: {DFHZATT | DFHZRAC})**

説明: 機能管理ヘッダー (FMH) の長さが、論理装置から受信したデータの長さを超えています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 受け取られたデータはすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: 論理装置内のアプリケーション・プログラムを訂正してください。

注: エラー状態の入出力域の最初の 16 バイトは、エラーの判別に役立つために、CSNE ログ・データ・セットに入れられます。

モジュール: DFHZRAC、DFHZATT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZATT, 2=DFHZATT, 3=DFHZATT, 4=DFHZATT, 5=DFHZATT, 6=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2472E** *date time applid termid trandid* **Unable to retrieve overlength data. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC})**

説明: 無条件受信モジュールの入力域の容量を超えた分のデータについての受信要求を、VTAM が受け入れませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: すべての関連データが除去されます。ユーザーの処置: 要求が失敗した理由を示すメッセージが、ログ内に続けて出されます。詳しい情報および手引きについては、このメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRAC, 2=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2473E** *date time applid termid trandid* **Outbound chaining not supported. sense ((instance) Module name: {DFHZSDS})**

説明: アプリケーション・プログラムが、生成された最大許容長より多くのデータを送信しようとした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: すべての送信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: 端末が (パイプライン・セッションのように) アウトバウンド・データ・チェーニングをサポートしていない場合には、アプリケーション・プログラムを訂正して、端末に送信できるデータの最大許容長を (例えば、装置タイプのチェックなどにより) そのプログラムが把握した上で送信できるようにしてください。

注: 生成された最大許容長は、TCTTE に指定されます。

モジュール: DFHZSDS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSDS, 2=DFHZSDS}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2475E** *date time applid termid tranid* **Function cancelled by LU device. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置 (LU) は、そのコンポーネントのうちの 1 つと接続されたすべての処理を終了しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: LU コンポーネントの問題点を訂正し、そのコンポーネントをオンラインに戻してください。この問題の原因としては、次のものが考えられます。

- 装置の電源が入っていない。
- 回線の故障
- ハードウェア問題
- LU6 リンクの場合には、接続されたトランザクション (例えば、CSMI) が異常終了した。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2476E** *date time applid termid tranid* **Resource unavailable. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置 (LU) の、あるコンポーネントが使用不能になりました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: LU コンポーネントの問題点を訂正し、そのコンポーネントをオンラインに戻してください。この問題の原因としては、次のものが考えられます。

- 装置の電源が入っていない。
- 回線の故障
- ハードウェア問題

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2477E** *date time applid termid tranid* **Chaining not supported. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置 (LU) がホストからのデータのチェーニングをサポートしません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: LU に伝送されているデータの最大量が、DFHTCT マクロ命令のバッファ・パラメーターに指定された長さを超えないようにしてください。

注: バッファ・パラメーター値は、LU の最大許容限度までしか増やすことができません。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2478E** *date time applid termid tranid* **Invalid FMH. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置 (LU) に伝送された機能管理ヘッダー (FMH) に対応するものが変換テーブルにありませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。バッチ・データ交換プログラムが使用されていない場合には、そのトランザクションは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。FMH を含む TIOA の最初の部分は、CSNE ログに書き込まれます。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正して、対応するものを LU が変換テーブル上に持つようにしてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2479E** *date time applid termid tranid* **Function not supported. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置 (LU) が受信した応答単位 (RU) に、この装置がサポートしない要求が含まれています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: その装置に関する端末管理テーブル (TCT) 生成指定が有効であって、アプリケーション要求を収容できるようにしてください。(例えば、読み取り専用装置をトランシーバーとして定義しながら送信権要求を装置に送ります。)

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2480E** *date time applid termid trandid* **Retry requested.**  
*sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 論理装置 (LU) が、例外応答または LU 状況メッセージに含まれたセンス・コードを介して、データの再伝送を要求していることを示しています。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: データの再送は、保護タスク (メッセージ保全) の場合に限り試みられます。チェーン処理を行っているときに、無保護タスクについて、再試行センス・コードを含む例外応答が受け取られた場合には、その LU に取り消しコマンドが送られて、タスクが再開されます。CICS がチェーン処理中でなかった場合には、トランザクションが再開されます。

ユーザーの処置: その LU にとってメッセージの再送が必要であった場合には、例外応答に再試行センス・コードが組み入れられるようにしてください。さらに、ホスト・トランザクションが保護タスク (メッセージの保全性) として定義されるようにしてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2481E** *date time applid termid trandid* **RU Error.** *sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 論理装置 (LU) が受け取った応答単位 (RU) は、変換不能であったか、または長さが無効でした。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この要求は、ノード・エラー・プログラム (NEP) のメカニズムを使って何度か再試行する必要があるかもしれませんが、これは、このタイプのエラーが不良通信回線から生ずることがあるためです。この再試行が失敗に終わった場合には、端末管理テーブル (TCT) の生成時に、無効または不適切な端末指定が与えられていないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2482E** *date time applid termid trandid* **Pipeline session bracket error.** *sense ((instance) Module name: {DFHZATT})*

説明: 端末 *termid* は、パイプライン・セッション・モードで実行されるものとして端末管理テーブル (TCT) に定義されていました。しかし、その定義で BRACKET オペランドが省略されたか、または BRACKET=YES が指定されていました。パイプライン・セッション端末では、ブラケット・プロトコルは実行されません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去され、セッションは終了します。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: BRACKET=NO オペランドを挿入することにより、TCT 項目を訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZATT}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2483E** *date time applid termid trandid* **Receiver in transmit mode.** *sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 通常のデータ・フローが中断されました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: WRITE を再試行してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2484E** *date time applid termid trandid* **Component not available.** *sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 必要なコンポーネントを使用できなかったため、アプリケーション要求を満たすことができませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: その端末の環境を調べるか、または症状ストリングを使用し、さらに必要ならダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2485E** *date time applid termid trandid* **Cancel received in 'CS'-mode.** *sense ((instance) Module name: {DFHZRVX})*

説明: タスクがアクティブである間に、CANCEL 標識が受信されました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

## DFHZC2486E • DFHZC2490E

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZRVX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRVX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2486E** *date time applid termid tranid* **Cancel received in 'CA'-mode. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC})**

説明: アクティブ・タスクがないときに CANCEL 標識を受信しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2487E** *date time applid termid tranid nodeid* **Session connection failed. Node unavailability return code returncode. sense ((instance) Module name: {DFHZLGX | DFHZSCX})**

説明: 接続要求が拒否されました。CICS は、一時的に接続要求を実行することができません。ノード *nodeid* の TCTTE は、セッションを確立できないことを示しました。returncode は、以下のような理由を表します。

1. CLSDST マクロがこのノードにスケジュールされている。
2. ノードが異常条件にある。
3. ノードに対してエラー状態が起きている。
4. ノードがすでに使用されている。
5. CICS が終了中である。
6. VTAM が終了中である。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 接続要求が拒否されます。

ユーザーの処置: ノードが使用可能になったら、接続要求を再試行してください。ノードの異常条件についての詳細は、

「CICS Transaction Server for VSE/ESA カスタマイズの手引き」を参照してください。

モジュール: DFHZLGX, DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, nodeid, returncode, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX, 3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX, 7=DFHZSCX, 8=DFHZSCX, 9=DFHZLGX, 10=DFHZLGX, 11=DFHZLGX, 12=DFHZLGX, 13=DFHZLGX, 14=DFHZLGX, 15=DFHZLGX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2488E** *date time applid termid tranid nodeid* **logon request rejected as terminal recovery is in progress. sense ((instance) Module name: {DFHZLGX | DFHZSCX})**

説明: CICS 端末リカバリー・プログラムがまだ実行中だったために、接続要求が拒否されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 接続要求が拒否されます。

ユーザーの処置: 接続要求を再試行してください。リカバリー・プログラムが処理を完了すると、メッセージ DFHRU2800 が出力されます。

モジュール: DFHZLGX, DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, nodeid, sense, instance, {1=DFHZLGX, 2=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2489E** *date time applid termid tranid* **3270 - Invalid copy request. sense ((instance) Module name: {DFHZARQ})**

説明: コピーされる情報が含まれている装置 (『コピー元の』装置) の端末管理テーブル端末項目 (TCTTE) に COPY 機能が指定されていませんでした。または、『コピー元の』装置が以下のいずれかになっていました。

- TCT に定義されていなかった。
- その装置が 3270 でなかった。
- その装置が VTAM を介して CICS に接続されていなかった。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムが装置構成を正しく認識していることを確認してください。さらに、『コピー元の』装置が、3270 装置として TCT に定義され、CICS に接続されていることを確かめてください。

モジュール: DFHZARQ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZARQ, 2=DFHZARQ, 3=DFHZARQ}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2490E** *date time applid termid tranid* **Request for TOLTEP. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})**

説明: TOLTEP の要求時に、受信要求がエラーで終わりました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 現在、トランザクションがタスク生成されている場合、そのトランザクションは異常終了します。端末は、VTAM CLSDST マクロによって CICS から切断され、

TOLTEP が終了すると、CICS にログオンするためにキューイングされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX}*

宛先: CSNE

**DFHZC2492E** *date time applid termid trandid Intervention required on 3270 printer. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: INTERVENTION REQUIRED 条件が 3270 印刷装置上で検出されたときに、このメッセージが CSNE メッセージ・ログに送られます。この条件は、以下に記されたいずれかの理由により発生します。

- トランザクションが、存在しない印刷装置の使用を要求した。
- 印刷装置アダプター機構がない。
- 印刷装置が用紙切れである。
- 印刷装置のカバーが開いたままである。
- 印刷装置がオフラインになっている。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: RPL と TCTTE が印刷されるだけで、他の処置は行われません。

ユーザーの処置: 端末管理テーブル (TCT) が正しく定義されていることと、トランザクションが正しい印刷装置操作を要求していることを確認してください。これらが正しく行われている場合には、印刷装置自体が正しい順序で作動しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC2493E** *date time applid termid trandid Intervention required on 3270 device. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: このメッセージは、3270 情報表示システムで介入必要条件が発生したときに送られます。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 何の処置も行われません。

ユーザーの処置: 介入条件を訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC2494E** *date time applid termid trandid Error status sense received from 3270. ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: エラー状況メッセージ *sense* は、3270 情報表示システムから受け取られました。INTERVENTION REQUIRED 条件により、このメッセージの代わりに「介入要求」メッセージが出されます。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。基本マッピング・サポート (BMS) によって送られた不良データが操作チェックの原因となっている場合には、その不良データが除去されます。

ユーザーの処置: エラー状況コードを分析して、装置エラーまたはプログラム・エラーを訂正するために必要な適切な処置を判別してください。

非 SNA 3270 コントロール・ユニットの場合には、センス・コードは、0000 xxxx になります。ここで、xxxx は、3270 装置が接続された制御装置によって戻されたセンス・データです。データ・ストリーム・エラーは、操作チェックで拒否され、コマンドは、コマンド拒否で拒否されました。エラー状況コードについての詳細は、「IBM 3270 Information Display System 3274 Control Unit Description and Programmer's Guide」で説明されています。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC2495E** *date time applid termid trandid Printer Outserv/int reqd/ineligible. Req queued. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: DFHZNAC は、DFHZC2497 の「印刷装置使用不能」条件のため、3270 印刷装置に対してインターバル制御機能 PUT を実行しました。印刷装置は以下のような状態になっています。

- 使用できない状態にある。
- 介入状況にある。
- RECEIVE 状況でも TRANSCEIVE 状況でもない。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 印刷装置を使用できない理由を判別してください。その端末が使用できない状態であれば、使用できる状態に戻してください。その端末が介入状態になっている場合には、この状態がどのようなものかを判別し、それを訂正してください。端末が RECEIVE または TRANSCEIVE 状況でないときは、RECEIVE または TRANSCEIVE 状況にしてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC2496E** *date time applid termid trandid IC put to printer failed { | IOERROR | TRNIDER | TRMIDER | INVREQ}. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: DFHZNAC は、DFHZC2497「印刷装置使用不能」条件が起きたために、DFHIC TYPE=PUT マクロを実行しようとしたが、失敗しました。このメッセージは、CSNE ログに書き込まれます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: DFHZNAC は、さらに処理を続けることができるように DFHZNEP をもう一度呼び出します。  
 ユーザーの処置: 次のことを確認してください。

- インターバル制御機能プログラム (ICP) は、DFHZNAC が IOERROR エラーおよび INVREQ エラーの場合に出している要求を処理できる。
- CSPP が TRNIDER エラーに対してインストール済みトランザクション定義になっている。
- DFHZNEP が、TRMIDER エラーの有効な端末アドレスとして DFHZNAC を渡している。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, {1=, 2= IOERROR, 3= TRNIDER, 4=TRMIDER, 5= INVREQ}, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2497E** *date time applid termid trandid Unavailable printer. sense ((instance) Module name: {DFHZARQ})*

説明: 3270 表示装置で印刷機能が要求されました。PRINTTO と ALTPRT のいずれの印刷装置もその情報を受け取るために使用することができませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: NEP アクションの指定がなければ、その印刷要求は停止されます。  
 ユーザーの処置: 解決策としてとることができるのは、端末項目の TCTTEDA で使用可能なデータを一時データ・キューに入れ、後でそのキューから印刷装置に対して自動タスク開始が行われるようにすることです。この処置は、DFHZNEP で行われます。詳細については、CICS Transaction Server for VSE/ESA カストマイズの手引きを参照してください。  
 モジュール: DFHZARQ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZARQ}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2498E** *date time applid termid trandid IC put to printer failed. sense ((instance) Module name: {DFHZARQ})*

説明: トランザクション CSPP を開始することができなかったために、3270 の印刷要求が失敗しました。トランザクション CSPP がインストール済みトランザクション定義でないか、ま

たは印刷するメッセージを一時ストレージに書き込めないかのいずれかです。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: トランザクション CSPP がインストール済みトランザクション定義であることと、印刷するデータを十分に収容できるだけの一時ストレージがあるかどうかを検査してください。  
 モジュール: DFHZARQ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZARQ}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC2499** *date time applid The following message was destined for a read only terminal. The text is 'msgtext'*

説明: ユーザーが無効な項目を入力し、その入力は拒否されました。この要求は、バックアウトされます。  
 システムの処置: 端末管理はこの要求をバックアウトして、*msgtext* に含まれているエラー情報とともにこのメッセージを出します。  
 ユーザーの処置: *msgtext* に含まれているエラー情報を読んだから、要求を再入力してください。

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, msgtext*

---

**DFHZC3202E** *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The value codepage in the codepage parameter is not supported.*

説明: CCIN トランザクションが、CICS クライアントから実行されました。CICS クライアントにより要求されたコード・ページはサポートされていません。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: CICS は、要求された文字セットおよびコード・ページで CICS クライアントをサポートするのに必要な変換を実行できません。CICS は処理を続けますが、指定されたコード・ページではなくデフォルトのコード・ページを使用します。デフォルト・コード・ページについての詳細は、「CICS TS Intercommunication Guide」を参照してください。

CICS クライアントをインストールする要求は継続しますが、デフォルトのコード・ページを使用します。EXCEPTION の応答コードと INVALIDCODEPAGE の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: サポートされているクライアント・コード・ページの値のリストについては、「CICS ファミリー システム/390 CICS からの通信」を参照してください。クライアント・ロケールを再構成することが必要になる場合があります。  
 モジュール: DFHZCN2

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, codepage*  
 宛先: CSCC

---

---

**DFHZC3203E** *date time applid* Transaction CCIN - VTAM  
**netname netname. The capabilities parameter is not valid.**

説明: CCIN トランザクションが、CICS クライアントから実行されました。受け取った機能は無効です。CICS クライアントは、CICS クライアントがサポートしないはずの機能をサポートすることを指定しました。CICS クライアントは、CICS クライアント通信アーキテクチャーに違反しています。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 例外トレース・ポイント AP301A が書き込まれます。

CICS クライアントをインストールする要求は拒否されます。  
 応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。

モジュール: DFHZCN2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

---

**DFHZC3204E** *date time applid* Transaction CCIN - VTAM  
**netname netname. The codepage parameter has not been specified.**

説明: CCIN トランザクションが、CICS クライアントから実行されました。指定しなければならないパラメーターの 1 つとして、CICS クライアントが使用する予定のコード・ページがあります。このパラメーターが欠落しています。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 例外トレース・ポイント AP301B が書き込まれます。

CICS クライアントをインストールする要求は拒否されます。  
 応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

---

**DFHZC3205E** *date time applid* Transaction CTIN - virtual  
 terminal *termid* VTAM *netname netname*.  
**CICS cannot support the {combination of client and virtual terminal codepage. | client codepage. | virtual terminal codepage.}**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。

CICS は、CICS クライアントが指定したコード・ページと仮想端末で指定されたコード・ページを検査していました。しか

し、次のいずれかが起こりました。

**CICS** クライアントと仮想端末のコード・ページの組み合わせはサポートされない

2 つのコード・ページは既知であるが、CICS は CICS クライアント・コード・ページと仮想端末コード・ページとの間のデータの変換をサポートしないことを示します。

**CICS** クライアント・コード・ページはサポートされない

CICS が、CCIN または CTIN トランザクションでは CICS クライアントによって提供されたコード・ページをサポートできないことを示します。

仮想端末コード・ページはサポートされない

仮想端末コード・ページを定義する CGCSGID パラメーターは、CICS データ変換ではサポートされないことを示します。仮想端末が自動インストールされた場合、CGCSGID は、CICS クライアントによって要求された自動インストール・モデルで指定されています。仮想端末が定義された場合には、CGCSGID は、仮想端末定義によって指定された TYPETERM に定義されました。

CICS は、要求されたコード・ページで CICS クライアントをサポートするのに必要な変換を実行できません。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3035 が書き込まれます。

**CICS** クライアントと仮想端末のコード・ページの組み合わせはサポートされない

応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。仮想端末はインストールされません。

**CICS** クライアント・コード・ページはサポートされない

仮想端末インストールの要求は継続し、無効なコード・ページは、「CICS TS Intercommunication Guide」に示されているデフォルトに置き換えられます。

EXCEPTION の応答コードと INVALIDCODEPAGE の理由コードがクライアントに送信されます。

仮想端末コード・ページはサポートされない

応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。仮想端末はインストールされません。

ユーザーの処置: 「CICS ファミリー システム/390 CICS からの通信」を参照し、クライアント・コード・ページ値のリストを調べてください。そのあと、ワークステーション・ロケールを再構成するか、仮想端末 TYPETERM 定義を訂正してください。

例外トレース・ポイント AP3035 には、CICS クライアント・コード・ページおよび仮想端末 CGCSGID の値が入っています。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname, {4=combination of client and virtual terminal codepage., 5=client codepage., 6=virtual terminal codepage.}*

宛先: CSCC

---

**DFHZC3206E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*  
**The client's terminal install limit has been exceeded.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、*netname* の VTAM ネット名をもつ CICS クライアントは、すでに 512 の仮想端末をもっています。

*termid* は、新しい仮想端末に与えられたはずの名前です。CICS クライアントが名前を指定しなかった場合は、ブランクになります。

システムの処置: 仮想端末をインストールする要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CICS クライアントがこれほど多くの CTIN インストールを送信した理由を検査してください。

問題を訂正するためには、CICS クライアントは、削除する必要のあるそれぞれの仮想端末ごとに CTIN アンインストールを送信しなければなりません。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
宛先: CSCC

---

**DFHZC3207E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The request has failed because CCIN has not been run.*

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、VTAM ネット名が *netname* の CICS クライアントについては、CCIN インストール要求は前に出されていません。CCIN は常に CTIN より前に実行されなければなりません。

これは、CICS 再始動が原因で起こった可能性があります。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントは、次の CTIN インストールの前に、CCIN アンインストール/インストールを実行しなければなりません。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*  
宛先: CSCC

---

**DFHZC3208E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*  
**Model modelid cannot be found.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、CICS は、

CICS\_EpiAddTerminal DEVTYPE パラメーターまたは端末エミュレーター Modelid パラメーターに指定されたモデル *modelid* を見つけることができませんでした。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末をインストールする要求は拒否されます。ERROR の応答コードと UNKNOWNMODEL の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CICS\_EpiAddTerminal 関数の DEVTYPE または端末エミュレーター・パラメーターを訂正するか、または RDO を使用してこの名前のモデルをインストールし、RDO TERMINAL および TYPETERM 定義をもつ自動インストール・モデルを定義してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname, modelid*  
宛先: CSCC

---

**DFHZC3209E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. CICS cannot supply a terminal name because all available names are in use.*

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。パラメーター・リストに、CICS が名前を提供するはずであることを示すネット名が指定されていません。ただし、使用可能な名前は 46,656 種類しかなく、しかもすべて使用中です。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末をインストールする要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 自動インストールされた仮想端末については、CICS クライアントが CTIN アンインストールを出すので、これらの端末 ID は解放されます。

一部の CICS クライアントはスイッチが切られて、自動インストールされた仮想端末がそのままにされた可能性があります。これらのクライアントは、再びオンにされると、CCIN インストールを出し、これによって、使用中でない仮想端末が解放されます。

SIT VTPREFIX が、自動インストール URM (デフォルト DFHZATDX) により通常の自動インストール端末に割り当てられた端末 ID の先頭文字と一致する場合、一部の名前が予約されている場合があります。これは、CTIN インストールで同じ名前を用いようとしたとき、自動インストール端末が存在したためです。可能なら、こうしたことは避けてください。これらの名前を解放する方法は、CICS を再始動 (COLD または AUTO) するしかないからです。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*  
宛先: CSCC

---



---

**DFHZC3210E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**CICS cannot attach the CITS transaction.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。インストール・プロセスの一部として、仮想端末 *termid* を作成するために CITS トランザクションが呼び出されます。しかし、CICS は CITS トランザクションを生成できませんでした。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3025 が書き込まれます。

仮想端末をインストールする要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CITS トランザクションおよび DFHZATS プログラムが、IBM 提供グループ DFHSP1 で指定されたとおりに正しく定義され、インストールされているかを確認してください。

モジュール: DFHZCT1

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
宛先: CISC

---

**DFHZC3211E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**The NetName parameter starts with an invalid character.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。NetName パラメーター *termid* が CICS 標準と矛盾する文字で始まっているか、または終わっています。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 仮想端末をインストールする要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 別の文字で始まるか終わるように、NetName を変更してください。これは、\*、-、<、>、+、{} または空白で始めることはできません。- で終わらせることはできません。ネット名が正しく指定されていた場合は、CTIN トランザクションへの入力をチェックしてください。

モジュール: DFHZCT1

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
宛先: CISC

---

**DFHZC3212E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**The transaction has timed out waiting for CITS to run.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。インストール・プロセスの一部として、仮想端末 *termid* を作成するために CITS トランザクシ

ョンが呼び出されます。しかし、CTIN トランザクションが 1 分間待っても、CITS トランザクションが実行されません。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3027 が書き込まれます。

仮想端末をインストールする要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CITS トランザクションを開始できない理由、またはハング状態になっている理由を調べてください。

MAXTASK または CITS TRANCLASS 割り振りを増やす必要があるかもしれません。

モジュール: DFHZCT1

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
宛先: CISC

---

**DFHZC3213E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**CICS cannot attach the CDTS transaction.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。削除プロセスの一部として、仮想端末 *termid* を削除するために CDTS トランザクションが呼び出されます。しかし、CICS が CDTS トランザクションをタスク生成できません。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3028 が書き込まれます。仮想端末を削除する試みは拒否されます。

ユーザーの処置: CDTS トランザクションおよび DFHZATS プログラムが IBM 提供のグループ DFHSP1 で指定したとおりに正しく定義され、インストールされているかを確認してください。

モジュール: DFHZCT1

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
宛先: CISC

---

**DFHZC3214E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**The CTIN transaction has timed out waiting for CDTS to run.**

説明: CICS\_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。インストール・プロセスの一部として、仮想端末 *termid* を削除するために、CDTS トランザクションが呼び出されました。しかし、CTIN トランザクションは、CDTS トランザクションを 1 分間待ってから、このメッセージを出して終了しました。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3029 が書き込まれます。CDTS による仮想端末削除の試みが続行され、CDTS トランザクションが開始または「中断解除」されたとき、処理が行われます。

ユーザーの処置: CDTS トランザクションを開始できない理由、またはハング状態になっている理由を調べてください。

MAXTASK または CDTS TRANCLASS の割り振りを増やす必要があるかもしれません。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*termid*、*netname*  
宛先: CSCC

**DFHZC3215E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*  
**The terminal is in use by another transaction.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、仮想端末 *termid* は使用中です。すなわち、この端末に対してトランザクションがまだ実行中であることを、代理 TCTTE が示しています。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 例外トレース・ポイント AP302E が書き込まれます。

仮想端末をインストールする要求は拒否されます。ERROR の応答コードと ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 仮想端末に対してトランザクションがまだ実行されている理由を調べてください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*termid*、*netname*  
宛先: CSCC

**DFHZC3216E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*  
**CICS cannot find the terminal.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。TIN は、事前定義した仮想端末 *termid* を使用することを指定しましたが、CICS はこれを見つけることができず、ModelId (DevType) が提供されなかったため、自動インストールが実行されませんでした。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 仮想端末をインストールする要求は拒否されます。ERROR の応答コードと UNKNOWNTERMINAL の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: *termid* には、事前定義されたインストール済み端末があることを確認してください。この端末は、この CICS クライアント接続の名前を指定したりリモート・システム・パラメーター (REMOTESYSTEM) を持っているものです。また、VTAM NETNAME が一致していることも確認してください。そのあと、正しいパラメーターを指定して定義をインストールしてください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*termid*、*netname*  
宛先: CSCC

**DFHZC3217E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname.*  
**The specified function is not valid.**

説明: CTIN 要求が、VTAM ネット名 *netname* を持つ CICS クライアントから受け取られました。ただし、指定された機能は、INSTALL でも UNINSTALL でもありません。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3034 が書き込まれます。CTIN トランザクションは、異常終了コード

AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: 要求の発信元を判別してください。入力が破壊されていないことを確認してください。IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*netname*  
宛先: CSCC

**DFHZC3218E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*  
**A resource with the same name as the terminal is already installed.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CTIN では、仮想端末 *termid* の自動インストールを指定していました。しかし、その名前が解放されたことを CTIN トランザクションが確認したあとで、別のリソースが同じ名前でもインストールされました。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3026 が書き込まれます。

仮想端末をインストールする要求は拒否されます。ERROR の応答コードと ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 重複するリソースがどこから送られてきたかを調べてください。端末 /APPC 自動インストール URM が名前を動的に作成した可能性があります。NetName が CTIN パラメーターで指定されている場合は、CICS クライアント名が既存の CICS 端末名または接続名と競合しないようにしてください。NetName が指定されていない場合は、SIT VTPREFIX の指定変更を調べて、VTPREFIX 文字で始まる名前を URM が作成しないことを確認してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date*、*time*、*applid*、*termid*、*netname*  
宛先: CSCC

**DFHZC3219E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*  
**The terminal is already in use.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CTIN から NetName *termid* が指定されましたが、CICS は、同じ名前を持つリソース (このクライアントの既存の仮想端末、別のクライアントまたは別の

CICS 端末または接続リソースの既存の仮想端末のいずれかを検出しました。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 仮想端末をインストールする要求は拒否されます。ERROR の応答コードと ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。  
 ユーザーの処置: 重複するリソースがどこから送られてきたかを調べてください。端末 /APPC 自動インストール URM が動的に名前を作成した可能性があり、また CICS クライアントが URM と一致しない名前を使用した可能性があります。

また、クライアントが仮想端末を作成し、そのあと、CCIN または CTIN によるアンインストールを介在させずに、それを再使用しようとした可能性もあります。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
 宛先: CSCC

---

**DFHZC3220E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**The terminal has already been installed.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CTIN では、仮想端末 *termid* の自動インストールを指定していました。しかし、この仮想端末はすでにインストールされていました。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 仮想端末をインストールする要求は拒否されます。ERROR の応答コードと ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CICS クライアントは、同一の NetName で別の CTIN インストールを出す前に、CTIN アンインストールを出す必要があります。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
 宛先: CSCC

---

**DFHZC3221E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**The name specified is already in use by another CICS resource.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CTIN では、仮想端末 *termid* の自動インストールを指定していました。しかし、指定された名前は、別の CICS リソースですすでに使用中です。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 仮想端末をインストールする要求は拒否されます。ERROR の応答コードと ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。  
 ユーザーの処置: 重複するリソースがどこから送られてきたかを調べてください。端末 /APPC 自動インストール URM が名前を動的に作成した可能性があります。

NetName が CTIN インストールで指定されている場合、NetName が他の CICS リソースと競合していないことを確認してください。

NetName が指定されていない場合は、SIT VTPREFIX の指定変更を調べて、VTPREFIX 文字で始まる名前を URM が作成しないことを確認してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
 宛先: CSCC

---

**DFHZC3222E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**The CITS task has terminated abnormally.**

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CICS は、仮想端末 *termid* を自動インストールしようとしていました。しかし、仮想端末をインストールするためにタスク生成された CITS タスクが、異常終了しました。

この異常終了が AZVE であった場合、同じ名前のリソースがすでに存在しているために起こったことを示します。ただし、これが起こるのは、この CTIN トランザクションが開始され、重複の有無をチェックしたあとに、重複リソースが追加された場合だけです。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3030 が書き込まれます。

仮想端末をインストールする要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 重複するリソースがどこから送られてきたかを調べてください。端末 /APPC 自動インストール URM が名前を動的に作成した可能性があります。

ネット名を CTIN インストールに指定していた場合は、名前が矛盾しないようにしてください。

NetName が指定されていない場合は、SIT VTPREFIX の指定変更を調べて、VTPREFIX 文字で始まる名前を URM が作成しないことを確認してください。

その他の異常終了コードについては、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』にある異常終了コードの説明を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
 宛先: CSCC

---

**DFHZC3223E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*

**The surrogate TCTTE is in use and cannot be deleted.**

説明: CICS\_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター

操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。しかし、仮想端末に接続された代理 TCTTE がまだ使用中であり、削除できません。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 例外トレース・ポイント AP302F が書き込まれます。仮想端末を削除する試みは拒否されます。  
 ユーザーの処置: トランザクションの終了を待つか、トランザクションを PURGE してください。トランザクションが終了すれば、クライアントが CCIN インストールまたはアンインストールを出した時点で、仮想端末は削除されます。  
 モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
 宛先: CSCC

---

**DFHZC3224E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*  
**The terminal specified for deletion cannot be found.**

説明: CICS\_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。しかし、仮想端末 *termid* は、この CICS クライアントのリモート端末として存在していません。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 仮想端末を削除する試みは拒否されます。  
 ユーザーの処置: 存在しない仮想端末の削除を CICS クライアントが要求した理由を判別してください。

CTIN アンインストールが正しく要求され、かつ仮想端末が存在しているはずである場合には、CICS ログを調べて、この端末を参照しているメッセージ DFHZC5966 および DFHZC32xx を見つけてください。  
 モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
 宛先: CSCC

---

**DFHZC3225E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The terminal cannot be deleted because the NetName parameter is missing.*

説明: CICS\_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。しかし、どの仮想端末を削除するかを定義する NETNAME パラメーターが欠落しています。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3037 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れます。仮想端末を削除する試みは拒否されます。  
 ユーザーの処置: CTIN への入力を調べてください。IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

---

**DFHZC3226E** *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.*  
**CICS cannot access the builder parameter set.**

説明: CICS\_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CICS は、作成したばかりの仮想端末から詳細を取り出し、それらを CICS クライアントに戻そうとしています。しかし、ビルダー・パラメーター・セット (BPS) 形式で詳細を取り出す試みが失敗しました。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
 システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3031 が書き込まれます。

仮想端末をインストールする要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
 宛先: CSCC

---

**DFHZC3227E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The client data is longer than expected.*

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、予期されたより多くのデータが受信されました。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP302D が書き込まれ、データ 2 には受信した長さが入れます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。  
 ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*  
 宛先: CSCC

---

**DFHZC3228E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid group.*

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、ヘッダーに無効なグループが含まれています。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3024 が書き込

まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3229E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. CICS has received invalid data from the client.*

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CICS はこのデータを解析しようとしたが、パラメーターの数、パラメーターの長さ、および受け取ったデータの長さの間に矛盾があることを検出しました。netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3033 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3230E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. CICS has received a client request on an unsupported sync level.*

説明: CTIN 要求は、同期レベル 0 でも 1 でもない会話で受け取られました。netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP302B が書き込まれます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントが同期レベル 0 または 1 で会話するようにしてください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3231E** *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid version number.*

説明: CICS\_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、ヘッダーに無効なバージョン番号が存在します。netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3036 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントで使用するバージョンは、サーバーで使用されるバージョンと一致しなければならないため、どちらかが間違ったレベルである場合、変更しなければなりません。IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3240E** *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. CICS has received a client request on an unsupported sync level.*

説明: CCIN 要求は、同期レベル 0 でも 1 でもない会話で受け取られました。netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3003 が書き込まれます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントが同期レベル 0 または 1 で会話するようにしてください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3241E** *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The client data is longer than expected.*

説明: CCIN インストール要求が CICS クライアントから受け取られました。しかし、予期されたより多くのデータが受信されました。netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3004 が書き込まれ、データ 2 には受信した長さが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3242E** *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid group.*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。しかし、ヘッダー内に無効なグループが含まれています。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3002 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3243E** *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid version number.*

説明: CCIN インストール要求が CICS クライアントから受け取られました。しかし、ヘッダーに無効なバージョンの値が含まれています。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

CICS クライアントが CCIN ヘッダーの設定を誤ったか、CICS Transaction Server でサポートされていない CICS クライアント・ソフトウェアの新規バージョンが使用されているかのいずれかです。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP300B が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントで使用するバージョンは、サーバーで使用されるバージョンと一致しなければならないため、どちらかが間違ったレベルである場合、変更しなければなりません。IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3244E** *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid function.*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。しかし、ヘッダーに無効な関数が含まれています。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3002 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントが不明の関数呼び出しを CCIN に送信した理由を調べてください。IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3245E** *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The capabilities parameter has not been specified.*

説明: CCIN トランザクションが、CICS クライアントから実行されました。必要なパラメーターの 1 つに CAPABILITIES パラメーターがあり、これは、CICS クライアントがサポートできる機能を指定します。このパラメーターが欠落しています。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。システムの処置: CICS クライアントをインストールする要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3246** *date time applid Transaction CCIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. CICS cannot attach the CDTS transaction.*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。処理の一部として、仮想端末 *termid* を削除するために CDTS トランザクションが呼び出されました。しかし、CICS が CDTS トランザクションをタスク生成できません。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。システムの処置: 仮想端末の削除の試みは失敗します。これが CCIN インストール要求である場合は、インストールが続行されます。

ユーザーの処置: CDTS トランザクションおよび DFHZATS プログラムが、IBM 提供グループ DFHSP1 で指定されたとおりに正しく定義され、かつインストールされているかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHZCN2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*

宛先: CSCC

**DFHZC3247** *date time applid Transaction CCIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. The CCIN transaction has timed out waiting for CDTS to run.*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。処理の一部として、仮想端末 *termid* を削除するために CDTS トランザクションが呼び出されます。しかし、CCIN ト

ランザクションは、CDTS トランザクションを 1 分間待ってから、タイムアウトになりました。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: CDTS による仮想端末削除の試みが続行され、CDTS トランザクションが開始または「中断解除」されたとき、処理が行われます。

これが CCIN インストール要求である場合は、インストールが続行されます。

ユーザーの処置: CDTS トランザクションを開始できない理由、またはハング状態になっている理由を調べてください。

MXT システム初期設定パラメーターに指定された値、または CITS TRANCLASS 割り振りを増やさなければならない場合があります。

モジュール: DFHZCN2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
宛先: CSCC

**DFHZC3248E** *date time applid* **Transaction CCIN - virtual terminal termid VTAM netname netname.**  
**The surrogate TCTTE is in use and cannot be deleted.**

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。インストールされた仮想端末があつてはなりません、1 つまたは複数の端末が見つかりました。しかし、仮想端末に結び付けられた代理 TCTTE はまだ使用中であり、削除できません。これが、クライアントの即時シャットダウンによって引き起こされた場合は、CICS がクライアントの削除を試みる前に、トランザクション異常終了が完了していない可能性があります。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。  
システムの処置: 例外トレース・ポイント AP301C が書き込まれます。仮想端末を削除する試みは拒否されます。

これが CCIN インストール要求である場合は、インストールが続行されます。

ユーザーの処置: CCIN の実行時に仮想端末がインストールされていた理由を判別してください。

トランザクションの終了を待つか、トランザクションを PURGE してください。トランザクションが完了すると、仮想端末は次の CCIN インストール/アンインストールの際に削除されます。

モジュール: DFHZCN2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*  
宛先: CSCC

**DFHZC3249E** *date time applid* **Transaction CCIN - VTAM netname netname. CICS has received invalid data from the client.**

説明: CCIN インストール要求が CICS クライアントから受け取られました。CICS はこのデータを解析しようとしたのですが、パラメーターの数、パラメーターの長さ、および受け取ったデータの長さの間に矛盾があることを検出しました。

*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP300E が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname*  
宛先: CSCC

**DFHZC3400E** *date time applid termid tranid* **Chain exceeds max chain size. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRVS | DFHZRVX})**

説明: チェーン・アセンブリー (BUILDCHAIN) が TCTTE に指定されている場合に、アセンブルされるチェーンが最大チェーン (IOAREALEN 値 2) のための IOAREALEN に収まりません。最大チェーンのための IOAREALEN 内の残りのスペースが、最大 RECEIVESIZE よりも小さくなっています。

チェーン・アセンブリー (BUILDCHAIN) が TCTTE に指定されたものの、最大チェーン値がゼロに等しい場合には、作成時にチェーン値が正しく設定されていないか、または値が上書きされたかのいずれかです。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: IOAREALEN (値 2) キーワードを指定した RDO TYPETERM によって生成される最大チェーン・サイズが、予期される最大チェーンに対して十分な大きさになるようにしてください。

モジュール: DFHZRVS, DFHZRVX, DFHZRAC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRVS, 2=DFHZRVS, 3=DFHZRVS, 4=DFHZRVS, 5=DFHZRVS, 6=DFHZRVX, 7=DFHZRAC, 8=DFHZRAC}*  
宛先: CSNE

**DFHZC3401I** *date time applid termid tranid* **Resource now available. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置 (LU) のリソースが、使用可能になりました。このリソースは、前に一時的に使用不能になっていたか、介入を要求していました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の読み取りまたは書き込み操作が再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3402E** *date time applid termid trandid* **Invalid READ with outbound chain control. sense**  
**((instance) Module name: {DFHZRVS})**

説明: 前に出された DFHTC TYPE=WRITE 要求がチェーンを完了していないにもかかわらず、DFHTC TYPE=READ 要求が処理されています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZRVS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVS}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3405E** *date time applid termid trandid* **Catastrophic bracket error. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置は、ブラケット規則を実施する際に CICS の障害を検出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。セッションは終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
 ユーザーの処置: 症状ストリングおよび VTAM トレースを使用し、さらに必要ならダンプも使用して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3406E** *date time applid termid trandid* **Parameter error. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置 (LU) が受信した要求応答単位 (RU) に、無効なパラメーターを持つ制御機能が含まれています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。TIOA の一部は、CSNE ログに書き込まれます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3407E** *date time applid termid trandid* **READ command does not carry change direction indicator. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置 (LU) タイプ 2 (3270 互換モード論理装置) へ送られる入力要求 (例えば、READBUF コマンド) は、SNA 方向転換標識を持っていない必要があります。LU は、そうした要求を受け取りましたが、その標識が設定されていません。

方向転換標識の設定は、端末管理によって完全に制御されているため、このようなメッセージは、内部論理エラーが起こっている可能性があることを示しています。このエラーは、必ずしも端末管理にあるのではなく、論理装置その他のネットワーク構成エレメントにある場合もあります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: タスクおよびその論理装置の VTAM セッションは、異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: エラーを起こした要求を識別し、その原因となったネットワーク構成エレメントを突き止めてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3408E** *date time applid termid trandid* **Presentation space integrity lost. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置による画面表示用のデータの内容が変更されました。これは、通常、オペレーターの処置によって起こります。例えば、TEST/NORMAL キーを使用したか、または 3270 SYS REQ キーが押された可能性があります。

例えば 3270 の再生成バッファの障害のような、オペレーターの処置以外の要素が原因となっていることもあります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の要求はすべて取り消されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート端末で障害の原因を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3409E** *date time applid termid trandid* **Unexpected negative response received. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC})**

説明: CICS は、通常は否定応答が予測されないコマンドに対して、否定応答を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除



去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。そのノードは使用できない状態にされ、TCTTE、RPL、および処置フラグが CSNE にログ記録されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。そのセッションの SNA フローが有効であるかどうか、また論理装置がプロトコルに違反していないかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3410E** *date time applid termid tranid Invalid input when LU status expected. sense ((instance) Module name: {DFHZRVX})*

説明: 端末ノードでの (おそらく) 修正可能なエラー条件 (例えば、介入要求) を示すシステム・センス・コードで、要求が拒否された後に、(論理装置状況メッセージ以外の) 入力を受け取られました。エラー状態が訂正されたのか、または要求が永続的に実行不能であるのかは、この後に出される LU 状況メッセージに示されます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: 次に伝送されるのがリソース使用可能 (0001) または機能実行不可 (081C) のいずれかのシステム・センス・コードを伴う LU メッセージであることを確認し、SNA プロトコルに合わせてください。

モジュール: DFHZRVX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRVX, 3=DFHZRVX}*

宛先: CSNE

**DFHZC3411E** *date time applid termid tranid Resource temporarily unavailable. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 要求を完了させるために必要とされるリソースが、一時的に使用不能になっています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 装置が、「リソース一時使用不能」通知を受け取った後に LUSTATUS メッセージを送ってくる装置でなければ、その要求は再試行されます。

「リソース一時使用不能」通知を受け取った場合には、関連 VTAM メッセージが通常は出されます。ユーザーの処置: 関連 VTAM メッセージを参照して、適用可能な場合には、それに示された手引きに従ってください。モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3412E** *date time applid termid tranid Intervention required on secondary resource. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 論理装置 (LU) の 2 次リソースに関してオペレーターの処置が要求されています。しかし、そのようなリソースはすぐには使用できません。3270 互換 LU の場合、このメッセージは、おそらく PRINT 要求に備えて使用できるようにしなければならない印刷装置が要介入状況にあることを意味しています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: システムは論理装置状況メッセージを待ち、そのメッセージを受信すると、適切な処置をとります。ユーザーの処置: その装置に関する問題を訂正してください。モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3413E** *date time applid termid tranid Logical Unit busy. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 論理装置は、リソースが使用中 (例えば、システム・サービス制御点 (SSCP) と通信中) のため要求を処理できないので、その要求を拒否しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: システムは、論理装置状況メッセージを待つから、適切な処置をとります。ユーザーの処置: なし。モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3414E** *date time applid termid tranid Request not executable. Secondary resource unavailable. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 論理装置の 2 次リソースが永続的に使用不能になっているため、要求を完了させることができません。3270 互換 LU の場合、このメッセージは、PRINT 要求に使用できる印刷装置がないことを意味しています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: そのリソースがリモート端末では使用できない理由を判別してください。モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3415E** *date time applid termid tranid No data available. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 次のいずれかの理由で、送信すべきデータがないために、論理装置によって受信要求が拒否されました。

- その装置からは入力を行えない。(例えば印刷装置)
- 論理装置がその時点でデータを送信することができない。  
例えば、要求された 3790 データ・セットをその時点で使用することができません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 受信要求は停止されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 要求が正しい装置に出されたかどうか、また、その装置はデータを伝送することができるのかどうかを確かめてください。  
モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3416E** *date time applid termid tranid Session failure. A connection request for an invalid node nodeid could not be terminated. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: 要求されたログオンは拒否すべきものであったため、否定応答を送ろうとしましたが、VTAM に拒否されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 無効のノードとの通信を取り止めます。  
ユーザーの処置: VTAM のストレージの問題またはエラー・メッセージが示されていないかどうかを、CSNE、CSMT および CSTL の各ログで調べてください。ノードが無効であるかどうかを判別してください。ノードが有効であった場合には、そのノードの CICS TCT を更新してください。  
モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, nodeid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3417E** *date time applid termid tranid Session processing error. A request for synchronization has been ignored. sense ((instance) Module name: {DFHZSDR})*

説明: 同期点設定のための要求が無視されました。COMMIT または ABORT が出されていませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 問題の原因を判別するためには、詳しい診断情報を CSNE、CSMT、および CSTL の各ログで調べてください

い。トランザクション *tranid* も調べてください。  
モジュール: DFHZSDR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSDR}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3418E** *date time applid termid tranid System generation error. The netname logon request was rejected. sense ((instance) Module name: {DFHZLGX | DFHZSCX})*

説明: ISC セッションのための TCTTE が互換性のない SESSIONTYPE を指定して生成されていたために、ログオン要求は拒否されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 要求は拒否されます。  
ユーザーの処置: TCTTE 生成を変更して、接続の一端で 2 次論理装置を、別の一端で 1 次論理装置を指定してください。

1 次論理装置には、SESSIONTYPE=SEND または SESSIONTYPE=FASTSEND を指定し、2 次論理装置には SESSIONTYPE=RECEIVE または SESSIONTYPE=FASTRECV を指定する必要があります。  
モジュール: DFHZSCX、DFHZLGX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX, 3=DFHZLGX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3419E** *date time applid termid tranid Session failure. The bind parameter for node netname is unacceptable. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: 接続システムについて指定された特性は受け入れ不能であったために、接続要求が拒否されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 要求は拒否されます。バインド・パラメーターは、CSNE ログに印刷されます。  
ユーザーの処置: 接続元のシステムの特性が正しく指定されているかどうかを判別してください。正しくなければ要求システムを訂正してください。  
モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX, 3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX, 7=DFHZSCX, 8=DFHZSCX, 9=DFHZSCX, 10=DFHZSCX, 11=DFHZSCX, 12=DFHZSCX, 13=DFHZSCX, 14=DFHZSCX, 15=DFHZSCX, 16=DFHZSCX, 17=DFHZSCX, 18=DFHZSCX, 19=DFHZSCX, 20=DFHZSCX, 21=DFHZSCX, 22=DFHZSCX, 23=DFHZSCX, 24=DFHZSCX, 25=DFHZSCX, 26=DFHZSCX, 27=DFHZSCX, 28=DFHZSCX, 29=DFHZSCX, 30=DFHZSCX, 31=DFHZSCX}*

32=DFHZSCX、33=DFHZSCX、34=DFHZSCX、  
35=DFHZSCX、36=DFHZSCX、37=DFHZSCX、  
38=DFHZSCX)  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3420E** *date time applid termid trandid* **Session connection error. Node netname is out of service. sense ((instance) Module name: {DFHZOPN | DFHZSCX})**

説明: TCTTE がサービス休止状態であるため、ログオン要求は拒否されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 要求は拒否されます。

ユーザーの処置: マスター端末プログラムで再び接続要求を出し、端末をサービス可能状態にしてください。

モジュール: DFHZSCX、DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, netname, sense, instance, {1=DFHZOPN, 2=DFHZSCX, 3=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3421E** *date time applid termid trandid* **Session shutdown request received. Node netname is receiving orderly shutdown. sense ((instance) Module name: {DFHZASX})**

説明: システムに対するシャットダウン要求を受け取りました。正常な終了プロシージャが開始されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: セッションの正常終了が開始されます。リモート・システムへのアクセスは、現行トランザクションが終了した後に停止されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZASX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, netname, sense, instance, {1=DFHZASX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3422E** *date time applid termid trandid* **Connection failure. Request rejected before a session could be started. sense ((instance) Module name: {DFHZNSP})**

説明: 2つのシステムを接続しようとしているときにエラーが起きました。セッションを確立する前に、要求が終了しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 要求を打ち切ります。

ユーザーの処置: VTAM ログを調べて、問題の原因を判別してください。ストレージ不足または別の一時的エラーが原因であった場合は、システムの負荷が小さくなったときに再び要求を出してください。

モジュール: DFHZNSP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNSP, 2=DFHZNSP}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3423I** *date time applid termid trandid* **FM function not supported. A function requested in an FMD RU is not supported by the receiver. sense ((instance) Module Name: {DFHZNAC})**

説明: CICS は、否定応答 (VTAM センス・コード 0826) を受け取りました。受信側は、送信側によって要求された機能をサポートしません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の SEND および RECEIVE はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 受信側がサポートしない機能を求める要求が出された理由を調べてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3424E** *date time applid termid trandid* **Session failure. Session terminated immediately. sense ((instance) Module name: {DFHZNSP})**

説明: セッション停止が検出されたため、または VTAM VARY INACT コマンドが出されたため、セッション中にノードとの通信が中断しました。

このメッセージの後に同じセッションについて出されたエラー・メッセージは、セッション障害が原因である場合があり、その理由ではない可能性があります。この場合には、これらのメッセージは無視することができます。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: そのセッションは取り消されます。セッションは、後で VTAM によりリカバリーできることがあります。メッセージ DFHZC2409 および DFHZC2410 も参照してください。

ユーザーの処置: 障害の原因が、オペレーターの出した VTAM VARY INACT にあるのかどうかを検査してください。そうでない場合には、センス・データおよび関連したメッセージを使用して、障害の理由を調査してください。

モジュール: DFHZNSP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNSP, 2=DFHZNSP, 3=DFHZNSP}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3425E** *date time applid termid trandid Session recovery. Resynchronization failed. Possibly logging error or one side cold started. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: システム間のリンクの一方の側が順序番号をリカバリーしなかったか、または必ずしもセッション・エラーだけが原因ではないような順序番号の不一致があります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: 他方のシステムで緊急再始動が行われているときに、コールド・スタートが使用されていないことを確認してください。また、システム・ログのバージョンが正しいかどうかを調べてください。  
 モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3426E** *date time applid termid trandid Resource unknown. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: システム間接続のとき、一致する TCTTE が見つかりませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 要求を打ち切ります。  
 ユーザーの処置: 要求された TCTTE の名前が、要求システムで正しく指定されていることを確かめてください。  
 モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3427E** *date time applid termid trandid Invalid parameter in bind area. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: システム間接続を行っているときに、要求のバインド域に含まれている 1 つまたは複数のパラメーターが無効であったか、またはサポートされていませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 要求を打ち切ります。  
 ユーザーの処置: バインド域内のどのパラメーターが誤っているのかを判別し、それを訂正してください。  
 モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3428E** *date time applid termid trandid Resynch error - Other logical unit did not resynchronize. sense ((instance) Module name: {DFHZRSY | DFHZSCX})*

説明: CICS は、システム開始時に、再同期処理が行われることを予期しましたが、論理装置 (LU) は再同期を行いませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: この再同期の不一致が許容できるものであるかどうかを調べてください。  
 モジュール: DFHZRSY、DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY, 3=DFHZSCX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3429E** *date time applid termid trandid Resynch error - CICS did not resynchronize, other logical unit was expecting resynch. sense ((instance) Module name: {DFHZRSY | DFHZSYX})*

説明: 他の LU では再同期処理を予期していましたが、CICS はそれを実行しませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: この再同期の不一致が許容できるものであるかどうかを調べてください。  
 モジュール: DFHZRSY、DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY, 3=DFHZRSY, 4=DFHZRSY, 5=DFHZSYX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3430E** *date time applid termid trandid Resynch error - Outbound flow sequence numbers do not agree. sense ((instance) Module name: {DFHZRSY})*

説明: CICS アウトバウンド・フロー順序番号が、他の LU で保守されているものと一致していません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: この再同期の不一致が許容できるものであるかどうかを調べてください。  
 モジュール: DFHZRSY

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRSY}*  
 宛先: CSNE

---

---

**DFHZC3431E** *date time applid termid trandid Resynch error - inbound flow sequence numbers do not agree. sense ((instance) Module name: {DFHZRSY})*

説明: 順序番号設定およびテスト (STSN) 要求または応答で CICS が使用した CICS インバウンド・フローの論理順序番号が、他の LU で保守されている同じフローの順序番号と一致していません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この再同期の不一致が許容できるものであるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZRSY

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRSY}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3432E** *date time applid termid trandid Resynch error - unexpected code received in response to STSN. sense ((instance) Module name: {DFHZRSY})*

説明: 「肯定のテスト」、「否定のテスト」、または「無効のテスト」が、STSN に対する応答の中のコードのうちのいずれでもありませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この再同期の不一致が許容できるものであるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZRSY

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRSY, 2=DFHZRSY}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3433E** *date time applid termid trandid FMH7 was received on ISC session. Sense code is : xxxxxxxx {Error log data is : No error log data received. | No error log data available. } sense ((instance) Module name: {DFHZERH | DFHZRAC | DFHZRVX})*

説明: このトランザクションは、論理装置 (LU) タイプ LU6.1 または LU6.2 と通信しています。

論理装置は、エラー・ログ・データを伝える可能性がある FMH7 を送りました。エラー・ログ・データが含まれている場合には、そのテキストがこのメッセージ内に挿入されます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: とられる処置は、センス・コードによって異なります。

ユーザーの処置: 受信側のトランザクションがこの状況を取り扱うように設計されている場合には、処置は必要ありません。

しかし、そのように設計されていない場合には、センス・コードおよびエラー・ログ・データを使用して、接続された論理装置が FMH7 を送った理由を判別してください。

接続された LU が別の CICS システムである場合には、エラー・ログ・データは CICS メッセージになります。

接続された LU が CICS システムでない場合には、エラー・ログ・データの詳細についてそのプロダクトの資料を参照してください。一部のプロダクトでは、ユーザーがエラー・ログ・データの内容を定義することができます。

モジュール: DFHZRVX, DFHZRAC, DFHZERH

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, xxxxxxxx, {1= Error log data is :, 2=No error log data received., 3=No error log data available. }, xxxxxxxx, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRAC, 3=DFHZRAC, 4=DFHZERH}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3434E** *date time applid termid trandid Unbind received while session still active. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: システム間リンクの片側 (2 次) が、通常の終了プロトコルに従わずにアンバインド・コマンドを受け取りました。これは、セッションの異常終了が行われたことを意味します。おそらく、システム間リンクの他方の側が異常終了したことに起因すると考えられます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: CICS トレースおよび CSNE ログにある診断情報を使用して、終了の原因を判別してください。セッションを確立し直してみてください。

モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX, 3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZSCX, 7=DFHZSCX, 8=DFHZSCX, 9=DFHZSCX, 10=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3435E** *date time applid termid trandid Path error detected. Device cannot be contacted. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: VTAM は、ある装置へのアクセス・パスがないため、その装置への伝送をもちや行えなません。これは通常、装置または 3270 の電源が切れている場合に起きます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンブが作成されます。

VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードは使用できない状態にされます。セッションは終了します。

ユーザーの処置: 終了の原因を判別してください。セッション

ンを確立し直してみてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3436E** *date time applid termid tranid End user not authorized. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 許可されていない要求がりモート・ノードに対して出されたことを示すセンス・コードが受け取られました。要求は拒否されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: そのエンド・ユーザーがこの要求を出す許可を受けていない理由を判断してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3437I** *date time applid termid tranid Node netname action taken: action ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: DFHZNAC によってエラーが処理された後で、エラーを訂正するための特定の処置がとられる場合があります。このメッセージは、決められた処置を示しています。エラー発生時のノードのタイプおよび状態によっては、取られる処置が処置セットと異なることがあります。

システムの処置:

アクション

作用

**ABRECV**

受信を取り消します。

**ABSEND**

送信を取り消します。

**ABTASK**

タスクを異常終了させます。

**CLSDST**

セッションをクローズします。

**GMM** 日常業務開始メッセージを送信します。

**OUTSRV**

セッションを使用できない状態にします。

**CREATE**

必要に応じて、ATI がセッションを獲得できるようにします。

**NOCREATE**

ATI がセッションを獲得できないようにします。

**NEG RESP**

例外応答を送信します。

**SIMLOGON**

セッションに対する SIMLOGON 要求を生成します。

**CNTASK**

タスクを取り消します。

**SYSDUMP**

システム・ダンプをとります。

**PURGEBMS**

BMS ページを除去します。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、システムでとられた処置によって異なります。これは、メッセージ・テキストで *action* によって示されています。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, action, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3438E** *date time applid termid tranid Device powered off. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 関連する装置の電源が入っていなかったために、要求は論理装置によって拒否されました。このメッセージは、オペレーターによる処置が原因で出される場合があります。例えば、TEST/NORMAL キーが使用された場合です。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: システムは論理装置状況メッセージを待ち、それを受信したとき、適切な処置をとります。

ユーザーの処置: その装置に関する問題を訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3439E** *date time applid termid tranid Negative response received to SDT. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: START DATA TRAFFIC(SDT) コマンドに対する否定応答が受け取られました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

**DFHZC3440E** *date time applid termid tranid Unable to send error message - session in free status. sense ((instance) Module name: {DFHZEMW})*

説明: DFHZEMW は別のノードへメッセージを書き込もうとしましたが、セッションが「ブラケット間」状況であったために、それを行うことができませんでした。

この状態では、メッセージを通常の方法で送ることはできません。

ん。セッションは解放状況にありましたが、それはアプリケーション・プログラムが LAST オプションを指定した SEND コマンドを出していたためと思われます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 他のノードがその要求を EXCEPTION 応答モードで送信した理由を調べてください。エラー・メッセージを送信したい場合は、応答モードを DEFINITE に変更してください。

モジュール: DFHZEMW

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZEMW, 2=DFHZEMW}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3441I** *date time applid* **Orderly termination of VTAM sessions requested. sense ((instance) Module name: {DFHZSHU})**

説明: VTAM セッションを正常にクローズし、続いて CICS VTAM ACB をクローズするための要求が受け取られました。この要求は、CICS マスター端末コマンドにより、または VTAM ネットワークのクローズによって開始されている場合があります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: すべてのノードが静止し、各セッションは、非活動状態になるとクローズされます。すべてのセッションがクローズされたとき、ACB がクローズされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSHU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sense, instance, {1=DFHZSHU}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3442I** *date time applid* **Immediate termination of VTAM sessions requested. sense ((instance) Module name: {DFHZSHU | DFHZTPX})**

説明: すべての VTAM セッションを即時にクローズして、続いて CICS VTAM ACB をクローズするよう求める要求が受け取られました。この要求は、CICS マスター端末コマンドにより、または VTAM ネットワークのクローズによって開始されている場合があります。

このメッセージは、VTAM オペレーターが V NET,ID=...,INACT を出す際にも出されます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: VTAM セッションでのすべての要求は異常終了し、セッションがクローズされます。その後、VTAM ACB がクローズされます。

VTAM オペレーターが V NET,ID=...,INACT を出した場合、VTAM はすべてのセッションがクローズするのを待ってから CICS に知らせます。この場合、セッションの異常終了はあり

ません。このメッセージは、DFHZTPX で 1 回、DFHZSHU で 1 回出され、合計 2 回出される場合があります。これらのメッセージはそれぞれ異なるインスタンス番号を持ちます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSHU、DFHZTPX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sense, instance, {1=DFHZSHU, 4=DFHZTPX, 5=DFHZSHU}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3443I** *date time applid* **VTAM has been cancelled or the ACB has been forcedclosed. VTAM sessions terminated.sense ((instance) Module name: {DFHZSHU | DFHZSYX | DFHZTPX})**

説明: VTAM は、CICS/VTAM オペレーターによって取り消されたか、または強制的にクローズされました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: CICS は、その ACB をクローズします。VTAM セッションで実行されているすべてのトランザクションが異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSHU、DFHZTPX、DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sense, instance, {1=DFHZSHU, 3=DFHZSYX, 4=DFHZTPX, 5=DFHZSHU}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3444E** *date time applid termid trandid* **Unexpected condition detected during RECEIVE processing. sense ((instance) Module name: {DFHZRVS})**

説明: 端末 *termid* からデータを受け取っているときに、CICS はデータ・ランナウェイ条件を検出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: CICS はセッションを終了して、端末を使用できない状態にします。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このエラーの原因を判別するには、以下のとおりに行ってください。

- 端末の誤動作がないか調べてください。例えば、装置が同じデータを繰り返し送信している可能性があります。または、
- ネットワークに問題がないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZRVS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVS}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3445E** *date time applid termid trandid State error.*  
*sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: CICS は、状態エラー否定応答 (VTAM センス・コード 20yy) を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置:

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードは使用できない状態にされます。

ユーザーの処置: エラーの理由を判別してから、セッションを再始動してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3446E** *date time applid termid trandid Request error.*  
*sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: CICS は、要求エラー否定応答 (VTAM センス・コード 10yy) を受け取りましたが、そのマイナー・コード yy を認識できません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードは使用できない状態にされます。

ユーザーの処置: エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3447E** *date time applid termid trandid Request reject error. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: CICS は、要求拒否否定応答 (VTAM センス・コード 08yy) を受け取りましたが、そのマイナー・コード yy を認識できません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードは使用できない状態にされます。

ユーザーの処置: エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

---

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3448E** *date time applid termid trandid Security identification error. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: CICS は、リソースにアクセスするための要求に対する否定応答を受け取りました。そのアクセスが許可されていなかったためです。その要求が OPNDST (BIND) 要求であった場合には、論理装置で予期されている許可手順を CICS は送信していません。CICS は、バインド時のセキュリティー機能をサポートしません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: 論理装置は、サービス休止状態に置かれ、セッションはクローズされます。

ユーザーの処置: CICS は、バインド時のセキュリティー機能をサポートしません。セッションの開始に許可が不要になるように、リモート論理装置の許可パラメーターを変更してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3449I** *date time applid termid trandid Leaving unattended mode. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: CICS は、端末が在席操作になったことを示す状況メッセージを論理装置から受け取りました。

在席操作は、デフォルトの操作モードであることに注意してください。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: TCTTE 内の操作モード・ビット

TCTEMOPU がリセットされます。

ユーザーの処置: 不在モードで操作できる論理装置の場合、アプリケーション・プログラマーは、端末オペレーターとの会話順序を開始する前に、操作のモードをテストする必要があります。ビットがオンの場合は、オペレーターによる処置は不要です。

コマンド・レベルの場合には、EXEC CICS ASSIGN

UNATTEND (データ域) コマンドを使用して、TCTEMOPU

の値を入手してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---



---

**DFHZC3450I** *date time applid termid trandid* **Entering unattended mode. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: CICS は、端末はもはや在席操作ではないことを示す状況メッセージを論理装置から受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: TCTTE 内の操作モード・ビット TCTEMOPU が設定されます。

ユーザーの処置: 不在モードで操作できる論理装置の場合、アプリケーション・プログラマーは、端末オペレーターとの会話順序を開始する前に、操作のモードをテストする必要があります。ビットがオンの場合は、オペレーターによる処置は不要です。

コマンド・レベルの場合には、EXEC CICS ASSIGN UNATTEND (データ域) コマンドを使用して、TCTEMOPU の値を入手してください。  
モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3451I** *date time applid termid trandid* **Currently no data to send. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 論理装置に対して READ コマンドを出した後、またはその論理装置と関連したトランザクションの完了後に、CICS は、現在送信すべきデータがないことを示す論理装置からの状況メッセージを受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: データ交換 (DFHDI) 受信要求が未解決である場合には、その要求は DSSTAT 条件および X'15' の応答コードで完了することになります。

端末に関しては、活動タスクがなく、未解決の作業がない場合には、ソフト CLSDEST 処置フラグが設定されて、DFHZNEP が呼び出されます。DFHZNEP によってリセットされない限り、そのセッションは終了することになります。  
ユーザーの処置: 端末にこれ以上受信要求が出されていないことを確かめてください。  
モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3452E** *date time applid termid trandid* **Signal received - Code xxxx. sense ((instance) Module name: {DFHZASX})**

説明: CICS は、論理装置から SIGNAL コマンドを受け取りました。SIGNAL コマンドとともに受け取られた SIGNAL コードは、DFHZNEP ユーザー・プログラムが使用できるようにされます。

タスクが活動状態である場合には、アプリケーション・プログラムへ戻るときに SIGNAL 条件が生じます。このメッセージは、SIGNAL コードがノード異常条件プログラム (DFHZNAC) に渡された場合にだけ出されます。CICS がこの処理を行うのは、タイプ 4 論理装置の場合に限られます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: SIGNAL コードが 0001 0000 (方向転換要求) の場合に、さらに出力要求が行われると IGREQCD 条件が生じることになります。SIGNAL コードはすべて SIGNAL 条件を生じさせます。

ユーザーの処置: CICS が SIGNAL 要求方向転換を強制する論理装置の場合、コードが 0001 0000 であれば、受信要求を受け取るか、トランザクション *trandid* を終了させてください。

そのコードが 0001 0000 でない場合には、トランザクション *trandid* を終了させてください。詳しい手引きについては、「VTAM プログラミング」を参照してください。

モジュール: DFHZASX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, xxxx, sense, instance, {1=DFHZASX, 2=DFHZASX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3453E** *date time applid termid trandid* **RH usage error. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: CICS は、要求ヘッダー (RH) 用途エラー否定応答を受け取りましたが、そのマイナー・コード *yy* を認識できません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードは使用できない状態にされます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3454E** *date time applid termid trandid* **Session initiation failure. Bind response from node netname is unacceptable. sense ((instance) Module name: {DFHZOPX})**

説明: 交渉可能バインドに対するリモート 2 次側の応答に、受け入れることのできないパラメーターが含まれています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: セッションの初期設定は失敗します。送受信されたバインド・パラメーターは、CSNE ログに印刷されます。  
ユーザーの処置: CSNE ログに印刷されたパラメーターを調べてください。リモート・システムでその特性が正しく指定され

## DFHZC3455E • DFHZC3459E

ていることを確かめてください。無効な形式があれば、LEN PSQ LEN SSQ に変更してください。

モジュール: DFHZOPX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZOPX, 2=DFHZOPX, 3=DFHZOPX, 4=DFHZOPX, 5=DFHZOPX, 6=DFHZOPX, 7=DFHZOPX, 8=DFHZOPX, 9=DFHZOPX, 10=DFHZOPX, 11=DFHZOPX, 12=DFHZOPX, 13=DFHZOPX, 14=DFHZOPX, 15=DFHZOPX, 16=DFHZOPX, 17=DFHZOPX, 18=DFHZOPX, 19=DFHZOPX, 20=DFHZOPX, 21=DFHZOPX, 22=DFHZOPX, 23=DFHZOPX, 24=DFHZOPX, 25=DFHZOPX, 26=DFHZOPX, 27=DFHZOPX, 28=DFHZOPX, 29=DFHZOPX, 30=DFHZOPX, 31=DFHZOPX, 32=DFHZOPX, 33=DFHZOPX, 34=DFHZOPX, 35=DFHZOPX, 36=DFHZOPX, 37=DFHZOPX, 38=DFHZOPX, 39=DFHZOPX, 40=DFHZOPX, 41=DFHZOPX, 42=DFHZOPX, 43=DFHZOPX, 44=DFHZOPX, 45=DFHZOPX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3455E** *date time applid termid tranid* **Session initiation failure. Bind response from node netname contains an invalid session qualifier pair. sense ((instance) Module name: {DFHZOPX})**

説明: 交渉可能バインドに対するリモート 2 次側の応答で、ユーザー・データ・フィールドに無効なセッション修飾子の対が含まれていました。それが無効な形式であったか、または 1 次 SQ が変更されていたかのいずれかです。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: セッションの初期設定は失敗します。送信されたバインド・イメージが CSNE ログに印刷されます。ユーザーの処置: リモート・システムのエラーを訂正してください。無効な形式があれば、LEN PSQ LEN SSQ に変更してください。

モジュール: DFHZOPX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZOPX, 2=DFHZOPX, 3=DFHZOPX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3456E** *date time applid termid tranid* **No outboard formats loaded. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 外部形式が参照されましたが、この論理装置には外部形式がロードされていません。

システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 必要な外部形式をロードしてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

**500** z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 卷

宛先: CSNE

---

**DFHZC3457E** *date time applid termid tranid* **Requested outboard format not loaded. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 外部形式が参照されましたが、要求された形式はこの論理装置にロードされていません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 要求された外部形式をロードしてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3458E** *date time applid termid tranid* **Requested format group not loaded. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: アウトバウンド形式グループが参照されましたが、その形式グループはこの論理装置にロードされていません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 必要な形式グループをロードしてください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3459E** *date time applid termid tranid* **Unsupported data stream. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 装置へ送られたデータ・ストリームに、その装置ではサポートされない機能についての制御データが含まれています。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* が端末に対して実行されないようにするか、または、そのデータ・ストリームをサポートするような端末に変更してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3460E** *date time applid termid tranid Requested character set not present. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 代替文字セット定義に指定されている参照論理文字セット ID (LCID) は、未知のものです。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: LCID によって参照される文字セットがロードされていることを確かめてください。  
 モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3461I** *date time applid termid tranid Node netname session started. sense ((instance) Module name: {DFHZE1 | DFHZE2 | DFHZOPX})*

説明: CICS は、ノード *netname* に対してバインドを正常に出したか、もしくは受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHZOPX、DFHZE1、DFHZE2

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZOPX, 2=DFHZOPX, 3=DFHZE1, 4=DFHZE2}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3462I** *date time applid termid tranid Node netname session terminated. sense ((instance) Module name: {DFHZCLS})*

説明: ノード *netname* とのセッションがクローズされました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHZCLS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZCLS, 2=DFHZCLS}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3463I** *date time applid VTAM ACB opened. VTAM Return Code = X'rc'. Time = time sense ((instance) Module name: {DFHZOPA})*

説明: マスター端末オペレーターが、VTAM ACB をオープンするために CEMT または CSMT コマンドを出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 処理を続行します。  
 ユーザーの処置: 戻りコードがゼロの場合は、VTAM セッションを使用可能にすることができます。

戻りコード X'rc' がゼロではない場合には、「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を参照して、VTAM ACB がオープンされなかった理由を判別してください。  
 モジュール: DFHZOPA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, X'rc', time, sense, instance, {1=DFHZOPA}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3464I** *date time applid termid tranid Node netname released by MT Operator/LU Services Manager. sense ((instance) Module name: {DFHZSTU})*

説明: マスター端末オペレーターは、論理装置 (LU) を解放するために CEMT コマンドを出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: LU はクローズされます。その論理装置と関連したすべてのタスクは、異常終了するか (マスター端末オペレーターがそれを要求した場合)、または正常に終了します。  
 ユーザーの処置: なし。  
 モジュール: DFHZSTU

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, netname, sense, instance, {1=DFHZSTU}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC3465E** *date time applid termid tranid Unexpected response received. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRLP | DFHZRVX})*

説明: CICS は、次のいずれかの状態で肯定応答を受け取りました。

- 応答は、例外応答とともに送られたデータに対するものであった。
- 応答は、例外応答とともに送られたコマンドに対するものであった。
- 応答は、応答がすでに送られた送信に対するものであった。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。そのノードは使用できない状態にされ、TCTTE、RPL、および処置フラグが CSNE にログ記録されます。  
 ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。そのセッションの SNA フローが有効であるかどうか、また論

## DFHZC3466E • DFHZC3470E

理装置がプロトコルに違反していないかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZRVX、DFHZRAC、DFHZRLP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRLP, 2=DFHZRVX, 3=DFHZRVX, 4=DFHZRVX, 5=DFHZRVX, 6=DFHZRAC, 7=DFHZRAC, 8=DFHZRAC, 9=DFHZRAC, 10=DFHZRAC, 11=DFHZRAC, 12=DFHZRAC}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3466E** *date time applid termid tranid Out of session during session start up .sense ((instance) Module name: {DFHZSEX | DFHZSKR})*

説明: セッションのスタートアップが行われているときに、CICS マスター端末コマンドが使用され、端末 *termid* が使用できない状態にされました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: そのセッションは終了し、端末 *termid* のための TCTTE は使用できない状態のままにされます。  
ユーザーの処置: セッションを使用できるように確立するためには、マスター端末オペレーターが、コマンド CEMT SET TER (XXXX) INS ACQ を出さなければなりません。これにより、端末が再び使用できる状態になり、使用できるようセッションもスタートアップされます。  
モジュール: DFHZSEX、DFHZSKR

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSEX, 2=DFHZSKR}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3467E** *date time applid termid tranid Permanent insufficient resource. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: PS のロードに必要な PS バッファ・リソースが使用可能ではありません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: CSNE ログを調べてください。センス受信コード 084C を伴う 2 番目のメッセージが出されているはずですが。詳細については、このメッセージを参照してください。  
モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3468E** *date time applid termid tranid CLEAR command received. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: ノードが SNA の CLEAR コマンドを受け取りました。セッションのもう一方の側が、何らかの理由で現在の要求

を処理することができず、セッション上の未処理のメッセージを除去しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: そのセッションは直ちに取り消され、セッションで実行されているトランザクションもすべて異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: セッションのもう一方の側を調べ、CLEAR コマンドが送られた理由を判別してください。他のセッションに接続されている VTAM 領域のバッファが不足しているという理由も考えられます。  
モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3469E** *date time applid termid tranid Session re-establishment being awaited. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: 2 次 LU が、CLSDST(PASS) を介して新しいアプリケーション・プログラムに渡されています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3470E** *date time applid termid tranid LU session failure caused by: {restart/takeover. LU does not support ACTLU(ERP). | route extension to cluster failed. | LU abend, discontact, DACTPU or ANS. }sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: LU セッションは、UNBIND コマンドが受け取られたために、失敗しました。

次の理由が考えられます。

- 再始動または引き継ぎ。LU が ACTLU(ERP) をサポートしていません。
- クラスタへの経路拡張の失敗。
- LU 異常終了、切断、DACTPU、または ANS に起因するセッションの失敗。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 使用可能ならば、症状ストリング、VTAM トレース、およびダンプを使用して UNBIND のソースを判別してから、セッションの再確立を試みてください。

モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, {1=restart/takeover. LU does not support ACTLU(ERP)., 2=route extension to cluster failed., 3=LUabend, discontact, DACTPU or ANS. }, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX, 3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3471E** *date time applid termid trandid Virtual route inoperative. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: セッションは、それが使用していた仮想経路に障害があったため、切断されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。APPC セッションの場合、CICS は、障害のあったセッションの再確立を試みます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3472E** *date time applid termid trandid Device end received. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})*

説明: 非 SNA VTAM サポートの 3270 から装置終了を受信しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 端末がアクティブ・タスクに関連していない場合、「グッド・モーニング」メッセージが表示されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSYX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3474E** *date time applid termid trandid Virtual route deactivated. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: 使用中の仮想経路の強制非活動化が発生したため、セッションを非活動化しなければなりませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。その後、CICS は、そのセッションの再確立を試みます。  
ユーザーの処置: セッションが失敗した理由を判別し、セッションの再確立を試みてください。

モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3475E** *date time applid termid trandid Unrecoverable LU failure. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: LU が異常終了したため、セッションを非活動化しなければなりませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。セッションの再開は試みられません。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3476E** *date time applid termid trandid Recoverable LU failure. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: LU が異常終了したため、セッションを非活動化しなければなりませんでした。セッションのリカバリーが可能な場合もあります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。CICS は、そのセッションの再開を試みます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3477E** *date time applid termid trandid Cleanup received. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: 送信側の LU が、CICS から応答を受け取る前にハーフ・セッションをリセットしました。セッションのリカバリーが可能な場合もあります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。CICS は、そのセッションの再開を試みます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZSCX

## DFHZC3479E • DFHZC3485E

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3479E** *date time applid termid trandid Unbind received after session failure detected. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: CICS とセッション中の論理装置がセッション障害を検出し、CICS とのセッションをアンバインドしました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: セッションは終了します。そして、そのセッションを使用していたトランザクションは異常終了するか、トランザクションに戻りコードで通知されます。  
ユーザーの処置: トレースを使用して、セッション障害の理由を判別してください。CSNE ログを調べて、DFHZC3479E に関連した別のエラー・メッセージを見つけてください。このメッセージは、DFHZC3479E の直後に置かれているはずですが。

関連するメッセージに示されているセンス・コードを参照してください。

モジュール: DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3480E** *date time applid termid trandid Session could not be started due to insufficient CICS nucleus function - ISC not loaded. sense ((instance) Module name: {DFHZLGX | DFHZSCX | DFHZSIM})*

説明: APPC のシステムまたは端末に対してセッション開始が試みられました。CICS ISC 中核モジュールが必要とされたために、セッションを確立することができません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: セッション開始要求は拒否されます。  
ユーザーの処置: APPC の接続関係を使用する必要がある場合には、CICS 初期設定に ISC=NO が使用されないようにしてください。

モジュール: DFHZSCX, DFHZLGX, DFHZSIM

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZSIM, 2=DFHZSCX, 3=DFHZLGX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3481E** *date time applid termid trandid 3270 Data Stream protocol error. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRVX})*

説明: CICS は、3270 端末として TCT 内で定義されている装置からの長さゼロのデータを受け取りました。これは、3270 装置についてのプロトコル違反です。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのセッションと、その端末に生成されたすべてのトランザクションを取り消します。

ユーザーの処置: 3270 端末として定義されている装置から長さゼロのデータを受信した理由を調べて、エラーを訂正してください。

理由としては、端末のための TCT 定義が正しくないこと、または 3270 プロトコルをシミュレートしている端末のプログラミングが正しくないことなどが考えられます。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRVX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVX, 2=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3482E** *date time applid trandid Logon from node nodeid rejected. Insufficient storage for autoinstall request. sense ((instance) Module name: {DFHZLZX | DFHZSCX})*

説明: CICS には認識されていないノード *nodeid* でログオンが試みられました。CICS は、自動インストール処理を完了させるための十分なストレージを入手することができませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: CICS は、そのログオン要求を拒否します。  
ユーザーの処置: ログオンを再実行してください。

モジュール: DFHZLZX, DFHZSCX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, trandid, nodeid, sense, instance, {1=DFHZLZX, 2=DFHZLZX, 3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3484I** *date time applid netname is now connected to applid. sense ((instance) Module name: {DFHZNSP})*

説明: ISSUE PASS コマンドが正常に実行されたので、VTAM アプリケーション ID (ネット名) *applid* を持つ VTAM アプリケーションにネットワーク名 *netname* の VTAM 論理装置が渡されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZNSP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, applid, sense, instance, {1=DFHZNSP}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3485E** *date time applid netname A CLSDST Pass Procedure error occurred at applid. Status byte xx Reason byte yy.sense ((instance) Module name: {DFHZNSP})*

説明: ISSUE PASS コマンドの実行時に、CICS は、ネットワ

ーク名 *netname* の VTAM 論理装置の制御を、VTAM アプリケーション ID *applid* のシステムに渡そうとしました。VTAM は、CICS に *applid* のエラーを伝えてきました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: CICS は、VTAM により通知要求単位で渡された状況バイト *xx* と理由バイト *yy* を保管します。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージに指定された状況バイト *xx* と理由バイト *yy* を調べれば、エラーの理由を判別することができます。これらのバイトについては、「VTAM プログラミング」の『NSEXIT ルーチン』で説明されています。

モジュール: DFHZNSP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, applid, xx, yy, sense, instance, {1=DFHZNSP}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3486E** *date time applid netname* **The named LU cannot be connected for sessions at *applid*.**  
*sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})*

説明: ISSUE PASS コマンドの実行時に、CICS は、ネットワーク名 *netname* の VTAM 論理装置の制御を、VTAM アプリケーション ID *applid* のシステムに渡そうとしました。VTAM は、*applid* が現在使用できないことを CICS に伝えてきました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 処理を続行します。ユーザーの処置: なし。モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, applid, sense, instance, {1=DFHZSYX, 2=DFHZSYX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3487E** *date time applid netname* **Unable to PASS to node *nodeid*. CLSDST PASS is not authorized.** *sense ((instance) Module name: {DFHZLEX})*

説明: ISSUE PASS コマンドの実行時に、CICS が、ネットワーク名 *netname* の VTAM 論理装置へ制御を渡すことを試みました。VTAM は、この機能の使用は CICS で許可されていないことを CICS に伝えてきました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: CICS を続行します。

CICS は、渡されていた *applid* を表示できる場合と表示できない場合があります。CICS がこの *applid* を表示できる場合には、このメッセージのテキスト内に表示されます。

ユーザーの処置: ISSUE PASS コマンドを使用するには、CICS APPL の VTAM 定義に AUTH=PASS をコーディングしてから、APPL を活性化し直す必要があります。モジュール: DFHZLEX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, nodeid, sense, instance, {1=DFHZLEX, 2=DFHZLEX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3488E** *date time applid netname* **ISC session connection failure.** *sense ((instance) Module name: {DFHZSIX})*

説明: *netname* が未知であったために、ISC システムに対する simlogon 要求が拒否されました。CICS は、*netname* がユーザー変数として定義されていたかどうかを調べるために、INQUIRE OPTCD=USERVAR コマンドを出しました。しかし、USERVAR テーブル内にはそのようなユーザー変数が存在していないために、この INQUIRE コマンドは拒否されました。おそらく、USERVAR が不明または無効であるか、あるいはユーザー変数を定義する MODIFY USERVAR コマンドが出されていないのが原因です。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: セッションをリセットするために CLSDST が出されます。

ユーザーの処置: *netname* が正しく CICS に定義されているかどうかを判別してください。*netname* をユーザー変数として使用する場合は、ユーザー変数を設定するときに MODIFY USERVAR コマンドが出されなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZSIX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, sense, instance, {1=DFHZSIX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3489E** *date time applid netname* **The LU is inhibited for sessions.** *sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})*

説明: CICS が論理装置 (LU) に対してセッションを獲得しようとしたが、その LU ではセッションが禁止されているため、VTAM がその要求を拒否しました。

パートナー LU が VTAM マクロ SETLOGON OPTCD=QUIESCE を出したために、そのパートナー LU が使用禁止にされた可能性があります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: この要求は拒否され、これ以上要求が出されないようにするためにこのセッションは NOINTLOG 状態に設定されます。

ユーザーの処置: パートナー LU がそれ自体を使用可能にした後で、CICS に対してセッション要求を開始することができます。あるいは、CICS マスター端末オペレーターは、NOINTLOG 状態をリセットして、CICS がセッション要求を開始できるようにすることもできます。

モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, sense, instance, {1=DFHZSYX}*  
宛先: CSNE

---

**DFHZC3490E** *date time applid netname* **Unable to pass to node nodeid. sense ((instance) Module name: {DFHZCLX | DFHZLEX | DFHZSYX})**

説明: ISSUE PASS コマンドの実行時に、CICS が、指名された VTAM 論理装置の制御を、ノード *nodeid* として識別されたシステムに渡すことを試みました。VTAM は、この要求が失敗したことを CICS に通知しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: VTAM CLSDST マクロが出され、ノードとの通信が停止します。  
ユーザーの処置: ノード *nodeid* が定義され、VTAM に対して活動状態になるようにしてください。

モジュール: DFHZSYX, DFHZLEX, DFHZCLX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, nodeid, sense, instance, {1=DFHZLEX, 2=DFHZSYX, 3=DFHZCLX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3492E** *date time applid tranid* **Logon for node nodeid contained invalid NIBUSER token. sense ((instance) Module name: {DFHZLGX})**

説明: 有効な TCTTE アドレスでなくなっているトークンで、DFHZLGX が SIMLOGON に対して駆動されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: SIMLOGON 時に予期しない条件が発生しました。CICS は正常に処理を続行します。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZLGX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, tranid, nodeid, sense, instance, {1=DFHZLGX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3493E** *date time applid termid tranid* **Invalid device type for a print request. sense ((instance) Module name: {DFHZARQ})**

説明: 3270 情報表示システム上で印刷機能が要求されました。しかし、その印刷機能は適切な印刷装置を見つけることができませんでした。理由は、その機能がその装置タイプをサポートしていないためです。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: ネットワーク・エラー・プログラム (NEP) で他の処置が指定されていない場合には、この印刷要求は停止されます。CICS 処理は続行されます。  
ユーザーの処置: 情報表示システム用に指定された印刷装置が有効であるかどうかを検査してください。有効な装置は 3270P、LUTYPE3、SCSPRINT、および 3790 です。  
モジュール: DFHZARQ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZARQ}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3494E** *date time applid termid tranid* **Request error sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 2 次論理装置 (LU) が受け取った要求単位 (RU) に、端末 *termid* が処理できない要求が入っています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: すべての送信要求と受信要求が除去され、トランザクション *tranid* は異常終了し、ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 端末 *termid* の TYPETERM 指定が有効であるかどうかを検査してください。このエラーは、例えば、QUERY=COLD|ALL が指定されて定義された照会不能 3270 に QUERY が送られた場合に起こる可能性があります。  
モジュール: DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3495E** *date time applid* **Logon occurred for terminal with netname netname before Notify received sense ((instance) Module name: {DFHZLGX})**

説明: CLSDST=NOTIFY を指定した未解決の CLSDST PASS について NOTIFY 要求を受け取る前に、ネット名 *netname* の端末がログオンしました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: CICS 処理は続行されます。識別された端末に対する後続の NOTIFY 要求はすべて無視されます。  
ユーザーの処置: CLSDST PASS メッセージに関するすべてのユーザー処理でこのメッセージを処理することをお勧めします。  
モジュール: DFHZLGX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, sense, instance, {1=DFHZLGX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3496E** *date time applid* **System dump has been taken for terminal termid ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: 端末管理によって、端末 *termid* がエラーになっていることが見つけられました。

エラーの発生時に端末 *termid* にタスクが生成されていなかったために、DFHZNAC は、トランザクションの異常終了を行ってトランザクション・ダンプを作成することができませんでした。

DFHZNAC-DFHZNNEP 連絡域内の TWAODNTA フラグが ON に設定されており、DFHZNAC が代わりに端末 *termid* のシステム・ダンプを作成します。  
システムの処置: トレース・ポイント FC73 でトレース・テ



ープル内に例外トレース項目が作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプがとられる要因となった問題の性質を判別するには、CSNE ログを参照してください。その中には、詳しい情報を提供する関連 CICS メッセージが存在するはずです。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3497E** *date time applid* Link to module DFHZNEP from DFHZNAC failed because {module DFHZNEP is not AMODE 31. | module DFHZNEP could not be loaded. | module DFHZNEP could not be autoinstalled. | of an unexpected error.} ((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: VTAM 端末のエラーを処理しているときに、CICS がユーザー置き換え可能モジュール DFHZNEP への接続を試みました。接続は失敗しました。

デフォルト処置またはとるべき処置については、メッセージ DFHZC3437 を参照してください。

システムの処置: デフォルト処置または DFHZNAC によって設定された処置がとられます。

ユーザーの処置: 障害の理由は、このメッセージに示されています。以下の解決策が考えられます。

- DFHZNEP が AMODE 31 で接続されているようにする。
- DFHZNEP が正しい名前を持っており、それが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つに含まれているようにする。
- PPT 内に DFHZNEP の有効な項目があり、DFHZNEP を正常に自動インストールできるようにする。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=module DFHZNEP is not AMODE 31., 2=module DFHZNEP could not be loaded., 3=module DFHZNEP could not be autoinstalled., 4=of an unexpected error.}, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3498E** *date time applid* Abend *abcode* has occurred in module DFHZNEP. ((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: VTAM 端末のエラーを処理しているときに、ユーザー置き換え可能モジュール DFHZNEP が接続され、そのプログラムが異常終了コード *abcode* で異常終了しました。とるべきデフォルト処置については、メッセージ DFHZC3437 を参照してください。

システムの処置: 制御が呼び出しモジュール DFHZNAC に戻されます。DFHZNEP が呼び出される前に、DFHZNAC がデフォルト処置の設定を復元します。それから処置がとられます。

ユーザーの処置: オリジナル・エラーについての詳細は、557 ページの『第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)』で異常終了コード *abcode* を参照してください。異常終了コードに示されている「ユーザーの処置」に従って、問題を解決してください。

モジュール: DFHZNAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, abcode, instance, {1=DFHZNAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC3499E** *date time applid* Getmain failure in module DFHmodname with return code X'*return\_code*' while attempting to process message DFHZCmessage\_number, sense ((instance) Module name: {DFHZATA | DFHZLEX | DFHZLGX | DFHZRAC | DFHZSCX | DFHZSHU | DFHZSYX | DFHZTPX})

説明: モジュール *modname* によって、エラーが検出されました。このモジュールによる OS/390 GETMAIN 要求は失敗して、戻りコード X'*return\_code*' が出されました。その結果、元のエラーに関連する診断情報が保管されておらず、DFHZNAC によって処理することができません。

このエラーの診断に使用できる唯一の情報は、*message\_number* です。これは、OS/390 GETMAIN 要求が失敗しなかった場合に出されるはずのメッセージの番号です。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。システムの処置: 通常の処理を続行します。ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ *message\_number* を参照してください。

OS/390 GETMAIN 戻りコードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHZATA, DFHZLGX, DFHZRAC, DFHZSCX, DFHZSHU, DFHZTPX, DFHZLEX, DFHZSYX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, modname, X'return\_code', message\_number, sense, instance, {1=DFHZLEX, 2=DFHZSHU, 3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSYX, 6=DFHZSYX, 7=DFHZTPX, 8=DFHZRAC, 9=DFHZRAC, 10=DFHZATA, 11=DFHZLGX, 12=DFHZLGX}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4900I** *date time applid termid tranid* CNOS (*sent to | received from*) Node *netname* System *sysid* Modename *modename*, Max = *n1*, Win=*n2*, {*race detected | successful | values amended | modename not recognized | modename closed | CNOS failed*}. ((instance) Module name: {DFHZGCN})

説明: セッション番号変更コマンドが送信または受信されました。

## DFHZC4901I • DFHZC4904E

た。挿入部は、次のものを示しています。

- *sysid* はシステム識別名です。
- *modename* はモードネームです。
- *n1* は最大セッション・カウントです。
- *n2* は最大ソース・コンテンション勝者セッション数です。

「values amended」(値を修正しました) というオプションが表示された場合には、*n1* (最大セッション・カウント) の値と *n2* (最大ソース・コンテンション勝者セッション) の値がターゲット・システムによって再折衝されました。

「race detected」(競争が見つかりました) というオプションが表示される場合、CNOS コマンドを実装することはできませんでした。モードネーム *modename* がすでに他のシステムからの CNOS コマンドのためにロックされていたからです。

「CNOS failed」(CNOS は失敗しました) というオプションが表示された場合は、CNOS コマンドは実装することはできませんでした。直前の CNOS 競争条件に続けて、CNOS 競争の勝者として、この CICS によって 2 番目の CNOS コマンドが、送られたときに、モードネーム・ロックが依然としてリモート・システム上で保留されていたためです。

ALL のモードネームが生成されると、これは CICS によって内部的に送られ、この接続に関するモードグループはすべて、CNOS コマンドによって影響を受けます。

システムの処置: 折衝された値が適用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGCN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, {1=sent to, 2=received from}, netname, sysid, modename, n1, n2, {1=race detected, 2=successful, 3=values amended, 4=modename not recognized, 5=modename closed, 6=CNOS failed}, instance, {1=DFHZGCN}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4901I** *date time applid termid trandid Node netname System sysid Modename modename, Negotiated values: Max=n1, Win=n2. ((instance) Module name: {DFHZGCN})*

説明:

- *modename* はモードネームです。
- *n1* は最大セッション・カウントです。
- *n2* は最大ソース・コンテンション勝者セッション数です。

このメッセージは、最大セッション・カウント (*n1*) と最大ソース・コンテンション勝者セッション数 (*n2*) が再折衝されたとき、メッセージ DFHZC4900 に続いて出されます。

ALL のモードネームが生成されると、これは CICS によって内部的に送られ、この接続に関するモードグループはすべて、CNOS コマンドによって影響を受けます。

システムの処置: 折衝された値が適用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGCN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, netname, sysid, modename, n1, n2, instance, {1=DFHZGCN}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4902E** *date time applid termid trandid Attach FMH or subfield length error. sense ((instance) Module name: {DFHZATT})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、機能管理ヘッダー (FMH) の長さまたはサブフィールドのうちの 1 つの長さにエラーがあります。そのため、CICS は、生成すべきタスクを判別することができません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送信しています。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFHZATT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZATT, 2=DFHZATT, 3=DFHZATT, 4=DFHZATT, 5=DFHZATT, 6=DFHZATT, 7=DFHZATT}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4903E** *date time applid termid trandid Attach FMH not found. sense ((instance) Module name: {DFHZATT})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。入力データ・ストリームの始めに APPC タスク生成ヘッダーが見つかりませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、有効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) の送信に失敗しました。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFHZATT

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZATT, 2=DFHZATT}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4904E** *date time applid termid trandid Bracket FSM error. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRLP | DFHZSDL | DFHZSLX})*

説明: ブラケット有限状態マシン (FSM) が、APPC ブラケット・プロトコルの使用におけるエラーを報告しました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージが持続セッションの再始動後に発生する場合には、詳しい手引きについては、関連するメッセージを参照してください。この問題は一時的なものである可能性があります。

このメッセージが通常の実行時に発生した場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZRAC、DFHZRLP、DFHZSDL、DFHZSLX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance*, {1=DFHZRLP, 2=DFHZRLP, 3=DFHZRLP, 4=DFHZRLP, 5=DFHZSDL, 6=DFHZSDL, 7=DFHZSLX, 8=DFHZSLX, 9=DFHZSLX, 10=DFHZSLX, 11=DFHZSLX, 12=DFHZSLX, 13=DFHZRAC, 14=DFHZRAC, 15=DFHZRAC}  
宛先: CSNE

---

**DFHZC4905E** *date time applid termid tranid Chain FSM error. sense ((instance) Module name: {DFHZDET | DFHZERH | DFHZRAC | DFHZRLP | DFHZSDL | DFHZSLX})*

説明: チェーン有限状態マシン (FSM) が、APPC チェーニング・プロトコルの使用におけるエラーを報告しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: このメッセージが持続セッションの再始動後に発生する場合には、詳しい手引きについては、関連するメッセージを参照してください。この問題は一時的なものである可能性があります。

このメッセージが通常の実行時に発生する場合には、障害時にセッションで実行されていたトランザクションを調べてください。APPC DTP アプリケーションの中で、EXEC CICS SEND コマンドを用いて LAST オプションと WAIT オプションの両方を使用したことがエラーの原因と考えられるためです。この 2 つのパラメーターを組み合わせて使用することはお勧めできません。上記が問題の原因でない場合には、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRLP、DFHZSDL、DFHZSLX、DFHZERH、DFHZDET

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance*, {1=DFHZRLP, 2=DFHZRLP, 3=DFHZRLP, 4=DFHZRLP, 5=DFHZRLP, 6=DFHZRLP, 7=DFHZRLP, 8=DFHZDET, 9=DFHZERH, 10=DFHZSDL, 11=DFHZSDL, 12=DFHZSLX, 13=DFHZSLX, 14=DFHZSLX, 15=DFHZSLX, 16=DFHZSLX, 17=DFHZSLX, 18=DFHZSLX, 19=DFHZSLX, 20=DFHZSLX, 21=DFHZSLX, 22=DFHZRAC, 23=DFHZRAC,

24=DFHZRAC, 25=DFHZRAC, 26=DFHZRAC, 27=DFHZRAC, 28=DFHZRAC}  
宛先: CSNE

---

**DFHZC4906E** *date time applid termid tranid Contention FSM error. sense ((instance) Module name: {DFHZDET | DFHZRAC | DFHZRLP})*

説明: コンテンション有限状態マシン (FSM) が、APPC コンテンション・プロトコルの使用についてエラーを報告してきました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: このメッセージが持続セッションの再始動後に発生する場合には、詳しい手引きについては、関連するメッセージを参照してください。この問題は一時的なものである可能性があります。

このメッセージが通常の実行時に発生した場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZRAC、DFHZRLP、DFHZDET DFHZCC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance*, {1=DFHZDET, 2=DFHZRAC, 3=DFHZRAC, 4=DFHZRAC, 5=DFHZRAC, 6=DFHZRAC, 7=DFHZRAC, 8=DFHZRAC, 9=DFHZRAC, 10=DFHZRAC, 11=DFHZRLP, 12=DFHZRAC, 13=DFHZRAC, 14=DFHZRAC, 15=DFHZRAC, 16=DFHZRAC}  
宛先: CSNE

---

**DFHZC4907E** *date time applid termid tranid Invalid request to send data routine. sense ((instance) Module name: {DFHZSDL})*

説明: DFHZSDL に入りましたが、有効な要求が渡されませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZSDL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance*, {1=DFHZSDL, 2=DFHZSDL, 3=DFHZSDL, 4=DFHZSDL, 5=DFHZSDL}  
宛先: CSNE

---

**DFHZC4909E** *date time applid termid trandid* **Invalid request to receive data routine. sense ((instance))**

**Module name: {DFHZRVL}**

説明: DFHZRVL に入りましたが、有効な要求が渡されませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第4部を参照してください。  
モジュール: DFHZRVL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVL}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4910E** *date time applid termid trandid* **Receive buffer too small. sense ((instance))** **Module name: {DFHZRVL}**

説明: DFHZRVL に渡された受信バッファが小さすぎるために、最大サイズ要求単位を収容することができません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第4部を参照してください。  
モジュール: DFHZRVL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRVL, 2=DFHZRVL, 3=DFHZRVL, 4=DFHZRVL}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4911E** *date time applid termid trandid* **LU6.2 exception response received. sense ((instance))** **Module name: {DFHZRPL}**

説明: 非処理レベルの例外応答を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。  
ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。VTAM トレース TYPE=IO/BUF を実行して、そのエラーを再現することによって、その回線フローの完全な詳細を得るようにしてください。  
モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRPL}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4912E** *date time applid termid trandid* **BID received with invalid DFC indicators. sense ((instance))** **Module name: {DFHZRAC | DFHZRPL}**

説明: データを持つ BID が受信されましたが、OIC は受信されませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクは異常終了します。  
ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。  
モジュール: DFHZRAC、DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRPL, 2=DFHZRAC, 3=DFHZRAC}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4913E** *date time applid termid trandid* **BID with data received with invalid DFC indicators. sense ((instance))** **Module name: {DFHZRPL}**

説明: BID が無効状態でデータとともに受け取られましたが、拒否されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクは異常終了します。  
ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。  
モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRPL, 2=DFHZRPL, 3=DFHZRPL, 4=DFHZRPL}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4914E** *date time applid termid trandid* **Data length exceed max RU size. sense ((instance))** **Module name: {DFHZRPL}**

説明: 受信されたレコードの長さが、バッファの長さを超えています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクは異常終了します。  
ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることによ

り、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRPL}*

宛先: CSNE

**DFHZC4915E** *date time applid termid trandid EOC received with invalid DFC indicators. sense ((instance) Module name: {DFHZRPL})*

説明: 終了チェーンを無効な DFC 標識とともに受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRPL}*

宛先: CSNE

**DFHZC4916E** *date time applid termid trandid Send response failed. sense ((instance) Module name: {DFHZRPL})*

説明: データが正常に受信されたことを確認するために送られた応答が、VTAM によって拒否されました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRPL}*

宛先: CSNE

**DFHZC4917E** *date time applid termid trandid BIS received with invalid DFC indicators. sense ((instance) Module name: {DFHZRPL})*

説明: ブラケット開始停止 (BIS) を受け取りましたが、DFC フラグが無効です。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさら

に詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRPL, 2=DFHZRPL}*

宛先: CSNE

**DFHZC4918E** *date time applid termid trandid Unexpected response received. sense ((instance) Module name: {DFHZRPL})*

説明: 予期しない応答を受け取りました。これは、前のブラケットのデータに対する肯定応答であるか、または論理装置が「特定継続」モードであるときに受け入れることのできないコマンドに対する応答のいずれかでした。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRPL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRPL, 2=DFHZRPL, 3=DFHZRPL, 4=DFHZRPL, 5=DFHZRPL}*

宛先: CSNE

**DFHZC4919E** *date time applid termid trandid Invalid indicators received. sense ((instance) Module name: {DFHZARER | DFHZARL})*

説明: CD、CEB、RQD2、エラー応答のいずれでもない標識を受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARL、DFHZARER、DFHZARL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZARL, 2=DFHZARL, 3=DFHZARL, 4=DFHZARL, 5=DFHZARER}*

宛先: CSNE

**DFHZC4920E** *date time applid termid tranid Invalid data received. sense ((instance) Module name: {DFHZARER | DFHZARL | DFHZERH})*

説明: リモート・システムまたは端末から受け取られたデータが、正しい汎用データ・ストリーム (GDS) 形式になっていません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZARL、DFHZARER、DFHZERH

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZERH, 2=DFHZERH, 3=DFHZERH, 4=DFHZERH, 5=DFHZERH, 6=DFHZERH, 7=DFHZARL, 8=DFHZARL, 9=DFHZARL, 10=DFHZARER, 11=DFHZARER, 12=DFHZARER}*  
宛先: CSNE

**DFHZC4921E** *date time applid sysid LU services manager failure. R15 =X'xxxxx' R0 =X'yyyyy'*

説明: LU サービス管理トランザクション・プログラム (DFHLUP) の操作時にエラー状況が検出されました。

レジスター 15 と 0 は、そのエラーの性質を以下のように示すために設定されます。

レジスター 15 = X'0' タスクが無効な仕方では開始された ...  
レジスター 0 = X'3' ... perm transid によって  
レジスター 0 = X'4' ... TD トリガーによって  
レジスター 0 = X'5' ... データなしで  
レジスター 0 = >X'6' ... このサービスの有効開始コードの範囲外にある。

レジスター 15 = X'4' 呼び出しコードが、サポートされる機能 (1-5) と一致しなかった。  
レジスター 0 = 呼び出しコード

レジスター 15 = X'8' この機能には無効なパラメーターが渡された。  
レジスター 0 = キーワード #

レジスター 15 = X'0C' このキーワードについての機能固有の検査が失敗した。  
レジスター 0 = キーワード #

レジスター 15 = X'10' 入力データが指定が与えられなかった。  
レジスター 0 = -0 TS START データの IC\_GET が失敗した。  
レジスター 0 = X'0' LUTYPE6.2 RECEIVE がデータ長 = 0 を戻した。

レジスター 15 = X'14' GDS-ID が XLN 用ではない。  
レジスター 0 = GDS-ID  
システムの処置: タスクを完了させることはできるものの、必要な機能は実行されません。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 上記に記されたエラーのいずれかが発生した場合には、障害の理由を突き止めてください。理由を突き止められなかった場合は、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHLUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, X'xxxxx', X'yyyyy'*  
宛先: CSNE

**DFHZC4922E** *date time applid termid tranid Single session shutdown with DRAIN=CLOSE. sense ((instance) Module name: {DFHZERH | DFHZGDA | DFHZRAC})*

説明: 接続された論理装置がブラケット開始停止 (BIS) を送り、したがってそれ以上の処置を受け付けなくなりました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
システムの処置: 会話が活動状態であった場合、その会話は、完全同期点 (同期点レベル 2) の場合は、それについてロールバックが行われたかのように扱われ、また確認レベル同期点 (同期点レベル 1) の場合は、セッション障害として取り扱われます。

会話が非アクティブである場合は、BID 障害 (0813 センス・コードの場合と同じ) として扱われます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZRAC、DFHZGDA、DFHZERH

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZRAC, 2=DFHZGDA, 3=DFHZERH}*  
宛先: CSNE

**DFHZC4923I** *date time applid termid tranid Conversation abnormally terminated by transaction end in system sysid*

説明: CICS システムとの SNA セッションに関与していたトランザクション *tranid* が、会話内のそのトランザクションの現行の状態と矛盾するコマンドを出しました。

システムの処置: 会話は終了します。CICS はこのメッセージを、会話の障害の原因となっていない側に接続された論理装置に送ります。

システム *sysid* 内のアプリケーションは異常終了して、異常終了コードが出されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。エラーのあるコマンドを見つけるには、「CICS TS Intercommunication Guide」の状態遷移を使用してください。

モジュール: DFHZARL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sysid*  
宛先: CSMT

---

**DFHZC4924E** *date time applid termid trandid Bind security password missing or invalid. sense ((instance) Module name: {DFHZOPX | DFHZSCX})*

説明: パートナー LU によって CICS に送られるバインド時セキュリティ・データが欠落しているか、または無効となっています。パートナー LU システムに対する CICS のパスワードが、CICS に対するパートナーのパスワードと異なっています。これは、無許可のユーザーによる CICS へのサインオンの試みによって起こることが考えられます。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: バインドは拒否されます。  
 ユーザーの処置: 無許可のユーザーが CICS に対してログオンを試みていないかどうかを検査してください。正常に行われなかった接続が (RDO または DFHTCT マクロを使用して) CICS に対して正しく定義され、そのパートナー LU システムに対しても正しく定義されるようにしてください。セキュリティ要件が双方のパートナーにおいて同一であるか、つまり、どちらもセキュリティをオフにしているか、もしくはオンにしていることを確認してください。ここで双方が一致していないこともメッセージが出される理由の 1 つです。

モジュール: DFHZSCX, DFHZOPX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZOPX, 2=DFHZSCX, 3=DFHZSCX, 4=DFHZSCX, 5=DFHZSCX, 6=DFHZOPX, 7=DFHZOPX, 8=DFHZOPX, 9=DFHZOPX, 10=DFHZSCX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4925E** *date time applid termid trandid Inconsistent attach security required. sense ((instance) Module name: {DFHZOPN | DFHZOPX})*

説明: このメッセージは、以下のいずれかの理由により出されます。

1. CICS は、最初のバインドに指定されたものと異なる接続時セキュリティ要件を指定したバインド要求を受け取った。
2. CICS は、持続検査を求めるバインド要求を受け取った。
3. CICS は、SNA 機能管理ヘッダー (FMH12) が含まれていないバインド要求を受け取った。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。  
 ユーザーの処置: CICS では、最初のバインドとは異なるセキュリティ要件を指定した後続のバインドは許されません。また、入力に関する持続検査もサポートされません。

適切な場合には、これらの要件に合うようにアプリケーションを変更してください。

モジュール: DFHZOPX, DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZOPX, 2=DFHZOPN, 3=DFHZOPN, 4=DFHZOPX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4926E** *date time applid termid trandid Bind security encryption error. sense ((instance) Module name: {DFHZE1 | DFHZE2})*

説明: CICS は、暗号化されたバインド・セキュリティ・パスワードを検査しているときに、エラーを検出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。  
 ユーザーの処置: CSNE ログおよび CSMT ログを調べてください。

無許可のユーザーが CICS に対してログオンを試みたのか、または許可されたユーザーがそのパスワードを正しく入力しなかったのかを見つけてください。

モジュール: DFHZE1, DFHZE2

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZE1, 2=DFHZE2, 3=DFHZE1}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4927E** *date time applid termid trandid Bind FMH response error. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC})*

説明: CICS は、バインド・セキュリティ付きのバインド要求を FMH12 なしで受け取りました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内または SNA 内のエラーです。CSNE ログおよび CSMT ログを保存してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZRAC, 2=DFHZRAC, 3=DFHZRAC, 4=DFHZRAC}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4928E** *date time applid termid trandid Bind security GETMAIN of a TIOA failed. sense ((instance) Module name: {DFHZE1})*

説明: CICS は、バインド・セキュリティの妥当性検査のために、TIOA 作業域を必要としていましたが、十分なストレージを使用できなかったために GETMAIN は失敗しました。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。  
 ユーザーの処置: CICS 領域のサイズを大きくするか、あるいは並行 CICS タスクの数 (MXT システム初期設定パラメーター) を減らすことを考慮してください。

モジュール: DFHZE1

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZE1}*

宛先: CSNE

**DFHZC4929** *date time applid termid trandid* **Invalid or unsupported BIND for logmode logmode.**  
**Response X'response', Reason X'reason'**  
**((instance) Module: {DFHZOPN})**

説明: CICS は、LOGMODE=0 または LOGMODE=logmode を指定して定義された CICS typeterm 定義に関して VTAM が提供する BIND の妥当性検査中に、エラーを検出しました。

response コードは以下のとおりです。

- X'04' 提供された BIND が TCTTE と一致しない (DFHZBANS が検出)。
- X'08' 提供された BIND がサポートされていない (DFHZBANV が検出)。
- X'0C' 提供された BIND が無効 (DFHZBANV が検出)。

応答 X'04' の場合の reason コードは以下のとおりです。

- X'1B' サポートされない TCTTE タイプであるか、VTAM ではない。
- X'1C' NIB 記述子が TCTTE からチェーニングしていない。
- X'1D' BMS 拡張子が TCTTE からチェーニングしていない。
- X'1E' 理由コード X'1D' の場合と同じ。
- X'1F' LU6.2 BIND だが TCTTE と一致しない。

応答 X'08' または X'0C' の場合の reason コードは以下のとおりです。

理由	無効	説明
16 進数	バイト	
1	3	16 進の 02、03、04 または 07 でなければならない
2-8	4 5 6 7	この FM プロファイルには無効
9	2	16 進の 00、02、03、04、07、13 または 14 でなければならない
0A,0D,10	1	LUTYPE 1、2 または 3 には無効
0B	4 5 6 7	LUTYPE 1 には無効
0C	22	LUTYPE 1 には無効
0E	4 5 6 7	LUTYPE 2 には無効
0F	24	LUTYPE 2 には無効
11	4 5 6 7	16 進の 00、01、02、03、7E、または 7F でなければならない
12	24	LUTYPE 3 には無効
		16 進の 00、01、02、03、7E、または 7F でなければならない
13	16	LUTYPE 6.2 には無効
14	23	LUTYPE 6.2 には無効
15-18	24	LUTYPE 6.2 には無効
19	15	16 進の 00 または 02 でなければならない
1A	14	00、01、02、03、06 でなければならない
1B 以上	ユーザー・データ	理由コードは、BIND の中を検出されたエラーのバイト位置と一致するそれらは以下のとおり - サポートされないセッション ID 長 - 3 から 11 でなければならない - サポートされない PLU/SLU 名の長さ - 2 から 19 でなければならない

- PLU/SLU が 2 回定義されている
- 長さが無効
- セッション修飾子の対の長さが一致していない

システムの処置: CICS は、そのログオン要求を拒否します。妥当性検査される BIND がこのメッセージとともに印刷されます。

ユーザーの処置: 関係がある LOGMODE に対する BIND の VTAM 定義とともに、応答コード、理由コード、および印刷された BIND も使用して、拒否された理由を判別してください。

ログモードを変更するか、CICS 要件に合う別のログモードを使用してください。

モジュール: DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, logmode, X'response', X'reason', instance, {1=DFHZOPN}*  
 宛先: CSMT

**DFHZC4930E** *date time applid termid trandid* **Session unbound following read timeout. sense**  
**((instance) Module name: {DFHZARER | DFHZARL})**

説明: SNA リンク上で READ タイムアウトが起きました。SNA はセッションをアンバインドし、CICS は制御をアプリケーション・プログラムに戻します。これにより、プログラムでは、システム処置を指定変更できるようになります (例えば、プログラムは、APPC セッションを解放することができます)。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのタスクを異常終了させ、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ネットワーク通信量のレベルが高いことに起因する、ネットワーク問題とされます。この問題を避けるためには、ネットワーク通信量のレベルに合った値まで、十分に読み取りタイムアウト (RTIMOUT) を増やしてください。あるいは、この問題は、ただ単にプログラミング・エラーによってパートナー・アプリケーションが応答しなかったために発生したということも考えられます。これが原因である場合は、パートナー・アプリケーションを訂正してから要求を再試行してください。

モジュール: DFHZARL、DFHZARER。

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, sense, instance, {1=DFHZARL, 2=DFHZARL, 3=DFHZARER}*  
 宛先: CSNE

**DFHZC4931E** *date time applid termid trandid* **VTAM detected bad logmode name. sense ((instance) Module name: {DFHZLEX})**

説明: APPC セッションをバインドしようとしているときに、VTAM に渡された MODENAME が VTAM にとって未知であったか、または VTAM 3270 タイプの端末のログモード名が無効でした。

センス・データの意味については、438 ページの



『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、そのセッションを永続的に使用できない状態にし、APPC については、モード項目に使用不能のフラグが付けられます。  
 ユーザーの処置: VTAM に認識されている MODENAME を使ってセッションを再定義するか、または VTAM LOGMODE テーブルに MODENAME を追加してください。あるいは、VTAM 端末用に指定されたログモード名が無効な場合は、正しい名前を使って端末項目を再定義してください。  
 モジュール: DFHZLEX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZLEX}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4932E** *date time applid termid tranid Invalid conversation type requested. sense ((instance) Module name: {DFHZSUP})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、会話タイプ・フィールドにエラーがあります。それは、TYPE=MAPPED または TYPE=UNMAPPED でなければなりません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: タスクは異常終了し、ダンプが作成されます。セッションはアンバインドされます。  
 ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。  
 モジュール: DFHZSUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSUP}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4933E** *date time applid termid tranid Invalid DBA requested. sense ((instance) Module name: {DFHZSUP})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。DBA フィールドにエラーがあります。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。セッションはアンバインドされます。  
 ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。  
 モジュール: DFHZSUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSUP}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4934E** *date time applid termid tranid Invalid syncpoint level requested. sense ((instance) Module name: {DFHZSUP})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。要求された同期レベルが無効です。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

付加ヘッダー中の同期レベルを BIND 中のそれと比較検査してください。

モジュール: DFHZSUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSUP}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4935E** *date time applid termid tranid Invalid UOWID supplied. sense ((instance) Module name: {DFHZSUP})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、作業単位 ID が無効であるか、もしくは同期点レベルが作業単位 ID を要求したときに UOWID が受け取られませんでした。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。セッションはアンバインドされます。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFHZSUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSUP, 2=DFHZSUP, 3=DFHZSUP, 4=DFHZSUP, 5=DFHZSUP, 6=DFHZSUP}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4936E** *date time applid termid tranid Attach FMH or subfield length error. sense ((instance) Module name: {DFHZSUP})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、FMH の長さ、またはサブフィールドの 1 つの長さにエラーがあります。このため、CICS はどのタスクを生成すべきかを判別できません。

インスタンス *instance* は、以下のいずれかです。

- 1 FMH の長さは、固定長部分の長さ + サブフィールドの合計の長さと同しくありません。
- 2 FMH 内の会話相関子の長さが 8 より大きくなっています。

## DFHZC4937E • DFHZC4940E

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFHZSUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSUP, 2=DFHZSUP}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4937E** *date time applid* SAF request for LU6.2 bind has been rejected. Return Codes from the Security Manager are: RF= X'rf' and R0= X'r0' sense ((instance) Module name: {DFHZE1 | DFHZE2 | DFHZOPN})

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) から APPC バインド時セキュリティ情報を抽出しようとするセキュリティ許可機能 (SAF) の要求は、拒否されて、戻りコード RF=X'rf' および R0=X'r0' が戻されました。

これは、ESM が非活動状態になっているか、もしくは適切な APPC プロファイルが ESM に定義されていないためです。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

適切な APPC プロファイルが ESM に対して定義されていない場合には、CICS セキュリティ再作成を実行してから APPC 接続を確立し直してください。

モジュール: DFHZE1、DFHZE2、DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid,*

*X'rf', X'r0', sense, instance, {1=DFHZOPN, 2=DFHZOPN, 3=DFHZOPN, 4=DFHZOPN, 5=DFHZOPN, 6=DFHZOPN, 7=DFHZOPN, 8=DFHZOPN, 9=DFHZE1, 10=DFHZE1, 11=DFHZE1, 12=DFHZE1, 13=DFHZE2, 14=DFHZE2, 15=DFHZE2, 16=DFHZE2}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4938E** *date time applid* SAF request for LU6.2 bind has failed with ESM return code RF= X'rf' and reason code R0= X'r0' sense ((instance) Module name: {DFHZE1 | DFHZE2 | DFHZOPN})

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) がセキュリティ許可機能 (SAF) 要求の処理を試みていました。処理は失敗して、戻りコード RF=X'rf' および理由コード R0=X'r0' が戻されました。

センス・データの意味については、438 ページの

**516** z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 巻

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHZE1、DFHZE2、DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid,*

*X'rf', X'r0', sense, instance, {1=DFHZOPN, 2=DFHZOPN, 3=DFHZE1, 4=DFHZE2}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4939E** *date time applid* Extraction of LU6.2 security data has failed with ESM returncode RF= X'rf' and reason code R0= X'r0' sense ((instance) Module name: {DFHZE1 | DFHZE2 | DFHZOPN})

説明: APPC バインド時セキュリティ情報の抽出要求は失敗して、戻りコード RF=X'rf' および理由コード R0=X'r0' が戻されます。要求されたプロファイル情報は、あらかじめ外部セキュリティ・マネージャー (ESM) に対して定義されていません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: ESM に対して定義されたプロファイルを検査してください。欠落している APPC プロファイル項目を作成してください。

メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHZE1、DFHZE2、DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid,*

*X'rf', X'r0', sense, instance, {1=DFHZOPN, 2=DFHZOPN, 3=DFHZE1, 4=DFHZE2}*

宛先: CSNE

---

**DFHZC4940E** *date time applid* Bind time failure. No session key found in LU6.2 profile. sense ((instance) Module name: {DFHZE1 | DFHZE2 | DFHZOPN})

説明: APPC バインド時妥当性検査が失敗しました。要求された APPC プロファイル情報の中には、セッション・キーが見つかりませんでした。2 つの論理装置 (LU) 間でバインド時セキュリティが定義されている場合には、暗号化処理に関して有効なセッション・キーが定義されていなければなりません。ヌルのセッション・キー (つまり、キーが定義されていない) は、エラーとみなされます。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。  
 ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) に対して定義されているプロファイルを検査してください。適切な APPC プロファイル項目について有効なセッション・キーを作成してください。

メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『基本セキュリティ・マネージャー (BSM) 戻りコード』を参照してください。

モジュール: DFHZEV1、DFHZEV2、DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sense, instance, {1=DFHZOPN, 2=DFHZOPN, 3=DFHZEV1, 4=DFHZEV2}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4941E** *date time applid Bind time failure. LU6.2 profile locked. sense ((instance) Module name: {DFHZEV1 | DFHZEV2 | DFHZOPN})*

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) は、バインド時妥当性検査時にプロファイル情報を要求しましたが、要求したプロファイルがロックされていました。プロファイルがロックされていると、セッションを確立することができません。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。  
 ユーザーの処置: ESM に対して定義されたプロファイルを検査してください。システム管理者がプロファイルをロックした可能性があります。そのプロファイルのアンロックを要求してください。そのプロファイルがアンロックされたら、もう一度操作を試みてください。  
 モジュール: DFHZEV1、DFHZEV2、DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sense, instance, {1=DFHZOPN, 2=DFHZOPN, 3=DFHZEV1, 4=DFHZEV2}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4942E** *date time applid Bind time failure. Expired LU6.2 profile found. sense ((instance) Module name: {DFHZEV1 | DFHZEV2 | DFHZOPN})*

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) は、バインド時妥当性検査時にプロファイル情報を要求しましたが、要求されたプロファイルの有効期限が切れていました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。  
 ユーザーの処置: ESM に対して定義されたプロファイルを検査してください。システム管理者は、要求されたプロファイルの更新を行う必要があります。そのプロファイルの更新を要求してください。プロファイルが更新されたら、もう一度操作を試みてください。  
 モジュール: DFHZEV1、DFHZEV2、DFHZOPN

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sense, instance,*

*{1=DFHZOPN, 2=DFHZOPN, 3=DFHZEV1, 4=DFHZEV2}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4943E** *date time applid termid tranid RPL B FSM error. sense ((instance) Module name: {DFHZSDL})*

説明: APPC 代替 RPL (RPL 'B') 用の有限状態マシン (FSM) が、RPL の使用に関してエラーを検出しました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了して、異常終了コード ATNI が出力され、ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: VTAM の終了処理中にこのメッセージが発生した場合には、重大な問題ではないので、応答は通常必要ありません。

このメッセージが通常のシステム実行時に出力された場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHZSDL

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSDL}*  
 宛先: CSNE

---

**DFHZC4944** *date time applid termid tranid Protocol Violation detected within bind security indicators. sense ((instance) MODULE NAME: {DFHZOPX | DFHZSCX})*

説明: バインド・セキュリティ指定の妥当性検査を行っていると、CICS がエラーを検出しました。LOCAL セキュリティーが指定されましたが、そのバインドには、NON LOCAL セキュリティーを示すデータが入っています。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。  
 ユーザーの処置: 必要なセキュリティのタイプについての正しいデータがバインドで送られるようにしてください。  
 モジュール: DFHZSCX、DFHZOPX

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSCX, 2=DFHZSCX, 3=DFHZOPX, 4=DFHZOPX}*  
 宛先: CSMT

---

**DFHZC4945E** *date time applid termid tranid Session unbind request due to the forcepurge of a task. sense ((instance) Module name: {DFHZARER})*

説明: ISC 要求の完了待ちで中断されている間に、タスクが除去または強制除去されました。

センス・データの意味については、438 ページの『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。  
 システムの処置: ISC 要求が待ち状態で、タスクが異常終了しているセッションにアンバインドが要求されました。

FORCEPURGE コマンドを使用すると、セッションの状態に関係なく、タスクが異常終了します。他の VTAM エラー・メッセージは、この処置が原因で出されることがあります。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーが起きた結果であった可能性があるため、タスクが除去または強制除去された理由を調べてください。また、セッションのアンバインド後の次の ISC 要求で、接続された CICS システム内のパートナー・タスクには、セッション障害通知が戻されます。パートナー・タスクがその状態を処理したかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARER

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZARER}*

宛先: CSNE

**DFHZC4946E** *date time applid termid tranid Invalid attach parameter was received. sense ((instance) Module name: {DFHZSUP})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、FMH タスク生成パラメーターにエラーがあります。バインド・セキュリティ標識が許可していないタスク生成パラメーターが存在しています。

*instance* データがとる値は以下のとおりです。

インスタンス

意味

- 1 バインド・セキュリティ標識により、接続は ATTACHSEC(LOCAL) と定義されていることが示されている。この定義では、パートナー LU からの接続において、LU がセキュリティ・パラメーターを受け入れなくなっています。以下のセキュリティ・パラメーターの内の 1 つまたは複数が見つかりました: Userid, Password, Profile, AV、PV1、および PV2。
- 2 パートナー LU からの接続で、検査済み (AV) 標識を受け取った。しかし、バインド・セキュリティ標識によると、この LU は AV 標識の受信をサポートしていません。
- 3 パートナー LU からの接続で、持続検査サインオン (PV2) 標識、もしくは持続検査サインオン先 (PV1) 標識を受け取った。しかし、バインド・セキュリティ標識によると、この LU は PV 標識の受信をサポートしていません。

システムの処置: タスクが異常終了し、ダンプが作成され、セッションはアンバインドされます。コンポーネント TF の例外トレース・ポイント (番号 1737) が出力され、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) をトレースします。

ユーザーの処置: リモート・システムにあるエラーの原因を調べてください。例外トレース中の FMH5 を使用して、リモート・システムが無効なタスク生成要求を送信した理由を判別してください。

モジュール: DFHZSUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSUP, 2=DFHZSUP, 3=DFHZSUP, 4=DFHZSUP, 5=DFHZSUP}*

宛先: CSNE

**DFHZC4947E** *date time applid termid Attach time security check has failed. Security not valid. sense ((instance) Module name: {DFHZSUP})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、FMH5 付加パラメーターが APPC プロトコルと一致していません。

*instance* データがとる値は以下のとおりです。

インスタンス

意味

- 1 アクセス・セキュリティ・サブフィールドが認識できない。
- 2 ユーザー ID のアクセス・セキュリティ・サブフィールドが複数存在する。
- 3 プロファイルのアクセス・セキュリティ・サブフィールドが複数存在する。
- 4 パスワードのアクセス・セキュリティ・サブフィールドが複数存在する。
- 5 ユーザー ID が FMH で要求されたが、受信されなかった。
- 6 PV1 セキュリティ標識および PV2 セキュリティ標識が両方とも FMH5 に存在する。
- 7 AV 標識が設定されたときにパスワードを受信した。
- 8 PV1 標識が設定されたときにパスワードを受信した。
- 9 パスワードが PV2 に必要だが受信されなかった。

システムの処置: タスク生成要求が拒否され、セッションがアンバインドされます。コンポーネント TF の例外トレース・ポイント (番号 1737) が出力され、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) をトレースします。

ユーザーの処置: リモート・システムにあるエラーの原因を調べてください。例外トレース中の FMH5 を使用して、リモート・システムが無効なタスク生成要求を送信した理由を判別してください。

リモート・システムが以前のリリースの CICS であるか、あるいは別のプラットフォームの CICS であって、指定のセンス値が 5 の場合は、USEDFLTUSER を設定しなければならない可能性があります。

モジュール: DFHZSUP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid, sense, instance, {1=DFHZSUP, 2=DFHZSUP, 3=DFHZSUP, 4=DFHZSUP, 5=DFHZSUP, 6=DFHZSUP, 7=DFHZSUP, 8=DFHZSUP, 9=DFHZSUP, 10=DFHZSUP, 11=DFHZSUP, 12=DFHZSUP, 13=DFHZSUP, 14=DFHZSUP}*

宛先: CSNE

**DFHZC4948E** *date time applid* An error has been detected when processing an { unknown | inbound | outbound} { request. | Persistent Verify Signoff request. | Persistent Verify Timeout request.} Transaction *tranid* is { continuing. | terminating. | terminating abnormally.} Error code: X'xxxxx'

Connection: *yyyy*

説明: トランザクション CLS3 の実行時にエラーが検出されました。各エラー・コードは以下のようなエラーを表していません。

- X'01' トランザクション CLS3 が APPC セッションに出した通信要求が正常に行われなかった。
- X'02' トランザクション CLS3 がデータ付きの START コマンドで開始されたが、データの形式設定が誤っていた。
- X'04' トランザクション CLS3 がサインオフ要求をリモート・システムに送信しようとしたが、リモート・システムへの接続が APPC 接続ではない。
- X'06' トランザクション CLS3 が、端末での入力によっても、START コマンドによっても開始されなかった。
- X'09' トランザクション CLS3 がデータ付きの START コマンドで開始されたが、データが検索できなかった。
- X'0A' トランザクション CLS3 がサインオフ要求をリモート・システムに送信しようとしたが、リモート・システムと接続されていない。
- X'0B' トランザクション CLS3 が APPC セッションをリモート・システムに割り振ろうとしたが失敗した。

システムの処置: メッセージの原因となったイベントの性質によって、トランザクションは、実行の継続、正常な終了、または異常終了を行います。メッセージ・テキストにより、とるべき処置がわかります。

ユーザーの処置: これは、エラー・コードによって違ってきます。

- X'01' APPC セッションでの通信要求が失敗した理由を判別してください。次の理由が考えられます。
  - セッションの失敗が起きた。
  - 接続されたトランザクションが異常終了した。

このエラーによって作成される例外トレースは、問題が起きた原因を判別するのに役立ちます。

- X'02' トランザクション CLS3 が、アプリケーション・コードではなく、CICS 提供のコードで開始されたことを確認してください。CICS 提供のコードで開始されていてエラーが起きた場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。
- X'04' リモート・システムの接続定義を検査してください。APPC 接続が定義されている必要があります。
- X'06' トランザクション CLS3 が、アプリケーション・コードではなく、CICS 提供のコードで開始されたことを確認してください。CICS 提供のコードで開始されていてエラーが起きた場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。
- X'09' データを検索できなかった理由を判別してください。それが不可能である場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

X'0A' 接続が正しく定義されていることを確認してください。

X'0B' 接続が獲得され、使用できる状態になっていることを確認してください。

モジュール: DFHCLS3

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid*, {1= unknown, 2= inbound, 3= outbound}, {1= request., 2=Persistent Verify Signoff request., 3=Persistent Verify Timeout request.}, *tranid*, {1= continuing., 2= terminating., 3= terminating abnormally.}, X'xxxxx', *yyyy*

宛先: CSNE

**DFHZC4949E** *date time applid termid tranid netname* Receive Any stall - {data lost. | response lost. | command lost.} CLSDST return code X'rc'sense ((instance) Module name: (DFHZRAC))

説明: すべての CICS 受信不特定 RPL が追加されましたが、それぞれについての TCTTE は VTAM 端末またはセッションからの応答を待っています。すべての受信不特定 RPL は、TCP タスク (CSTP) の 10 のディスパッチについて停止されました。このメッセージは、この状態にあるそれぞれのセッションに対して出されます。VTAM セッションは、CICS が送った BID や SHUTD などのコマンドに応答しませんでした。これは、通常、プロトコル・エラーによって起こります。システムの処置: CICS が、システム初期設定パラメーター RAPOOL=(n,FORCE) を指定して実行されていると、CICS はセッションに対して VTAM CLSDST を出します。その結果、TCTTE の RPL が完了し、セッションはアンバインドされます。

デフォルトの NEP アクションは CLSDST です。この場合、保留コマンドが終了した後に CICS は TCTTE をクリーンアップします。

受信された受信不特定データは廃棄され、RA RPL が再び出されます。

ユーザーの処置: コマンドが完了しなかった理由を調査してください。TCTTE RPL がメッセージと共に印刷されます。

DFHZNAC には非同期の性質があるため、前に出された DFHZC4949E メッセージを調べることは重要です。CLSDST が完了していなければ、印刷された RPL はアクティブになり、完了できない RPL を表示します。DFHZNAC の実行時に CLSDST が完了した場合には、印刷された RPL の RTNCD/FDB2 は X'0C0B' となりますが、RPLREQ はどのコマンドが完了しないかをさらに示します。

CLSDST 戻りコード *rc* が 0 以外の値である場合、CLSDST マクロは DFHZRAC で失敗しました。そしてセッションは停止状態のままです。VTAM コマンド V NET,INACT,ID=*netname*,I を使用すれば、セッションを解放することができます。CLSDST に関する AP FC90 トレース・ポイントの中の RPL を調べれば、CLSDST 障害の原因を知ることができます。

モジュール: DFHZRAC

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, tranid*,

## DFHZC5900E • DFHZC5906E

*netname*, {1=*data lost.*, 2=*response lost.*, 3=*command lost.* },  
*X'rc'*, *sense*, *instance*, {1=*DFHZRAC*, 2=*DFHZRAC*,  
3=*DFHZRAC*}  
宛先: CSNE

---

### DFHZC5900E *date time applid* System *sysid* has shipped definitions but connection *cccc* is not known to this system.

説明: CICS は、リモート・システム *sysid* から定義を受け取ったものの、*cccc* という名前の接続を見つけることができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: これらの定義を受け入れたければ、CEDA を用いて必要な接続をインストールし、リモート・システムから定義を再送してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZ1、DFHBSZ2

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *sysid*, *cccc*

---

### DFHZC5901E *date time applid* Install for resource failed. *xxxx* could not obtain *yyyy* storage

説明: リソース *resource* をインストールしているときに、CICS モジュール *xxxx* は、*yyyy* の値によって指定されたエクステンツのためのストレージを得ることができませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 可能であれば、CICS アドレス・スペースのサイズを大きくしてください。それができなければ、1 回の CICS の実行で使用されるリソースの数を少なくすることを考慮してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMIR、DFHBSMPP、DFHBSM62、DFHBS5、DFHBS5ZM、DFHBS5TB、DFHBS5B3、DFHBS5TC、DFHBS5TZ、DFHBS5TZB、DFHBS5Z0、DFHBS5ZR、DFHBS5ZV、DFHBS5Z1、DFHBS5Z2、DFHBS5ZZS

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *resource*, *xxxx*, *yyyy*

---

### DFHZC5902E *date time applid* Deletion of terminal *termid* failed. BMS Paging session still active

説明: BMS ページング・セッションがその端末について活動中であったために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* にサインオンして、ページを除去してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBS5TB

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *termid*

---

### DFHZC5903E *date time applid* Deletion of terminal *termid* failed. CICS logic error

説明: CICS バッチ・データ生成機能 (DIP) がこの端末についてまだ活動中であったために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5903 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBS5TD

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *termid*

---

### DFHZC5904E *date time applid* Deletion of terminal *termid* failed. CEDF is still active

説明: EDF セッションがこの端末についてまだ活動中であるために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: この端末の EDF を非活動化し、そのグループを再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBS5TE

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *termid*

---

### DFHZC5905E *date time applid* Deletion of terminal *termid* failed. CICS logic error

説明: コマンド・レベル・インターフェースがこの端末についてまだ活動中であるために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5905 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBS5TH

XMEOUT パラメーター: *date*, *time*, *applid*, *termid*

---

### DFHZC5906E *date time applid* Install failed because '*xxxx*' is not a permitted value for a terminal or connection name

説明: 16 進数のゼロの名前が TERMINAL または CONNECTION の定義に使われています。

これは予約値です。CICS は、その端末または接続のインストールに失敗しました。

*xxxx* は、印刷可能な 16 進数に変換された予約値です。このエ

ラーは、おそらく自動インストーラを使用したときに生じたものです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 別の有効な名前を使用するように定義を訂正し、そのグループを再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSS, DFHBSTZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSPMP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xxxx*

**DFHZC5907E** *date time applid* **Deletion of remote shipped terminal failed for connection cccc.**

説明: 接続 *cccc* を削除しているときに、その接続が、シッパされたリモート端末を持っていることがわかりました。これらのシッパされたリモート端末のうちの 1 つ以上のリモート端末の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHZC5915 を参照してください。

CEMT を使用して接続を解放し、使用できない状態にしてから、その接続のインストールを再試行してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, cccc*

**DFHZC5908E** *date time applid* **Install for terminal termid failed. The security manager gave return code retcode**

説明: CICS は、端末 *termid* をインストールすることができません。DFHXSMN は、戻りコード *retcode* を出しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 「CICS Transaction Server for VSE/ESA カスタマイズの手引き」で、戻りコード *retcode* の値を調べてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, retcode*

**DFHZC5909E** *date time applid* **Install of resource resource failed. Call to DFHIRP irp\_function Return\_code did not succeed, See DFHIRSDS for return code.**

説明: リソース *resource* のインストール時に、CICS モジュール DFHBSSZR が、IR サービス *irp\_function* の呼び出しを行いました。メッセージに示された戻りコードのために失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。MRO 接続 *resource* はインストールされません。

ユーザーの処置: 戻りコードの説明については、「CICS Data Areas」の DFHIRSDS を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource, irp\_function, Return\_code*

**DFHZC5911E** *date time applid* **Install for resource resource failed. Connection cccc not found**

説明: CICS は、リソース *resource* と関連した接続 *cccc* を見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 接続 *cccc* をインストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMIR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource, cccc*

**DFHZC5912E** *date time applid* **Install for terminal termid failed. It is incompatible with connection cccc**

説明: 端末 *termid* と接続 *cccc* は互いに矛盾しています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: *termid* または *cccc* の定義を変更してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZ, DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, cccc*

**DFHZC5913E** *date time applid* **Deletion of node id failed. {A table entry is locked. | A table entry was not found. | There was a logic error.} Table=tabname Key(key) Module(modname) Instance=inst.**

説明: CICS は、ノード *id* を削除することができません。メッセージでこの障害の理由が説明されています。

1. この TMP テーブルの項目のうちの 1 つが他のタスクによってロックされています。
2. TMP テーブル項目が検出できなかったのは、おそらくこのノードが別のタスクによってすでに削除されたためです。
3. CICS 論理エラーがありました。DFHTM0002 エラー・メッセージも発行されている可能性があります。

TMP テーブル項目は、*tabname* によって識別されます。このテーブルで使用されるキーは、値 *key* を持ちます。メッセージを出したモジュールは、*modname* で識別され、このモジュール内のメッセージのインスタンスは、*inst* で識別されます。

システムの処置: リソースは削除されません。項目がロックされていた場合は、CICS は、1 つ以上の DFHZC5980 メッセージを出します。

ユーザーの処置: メッセージで示された原因に対応した適切な処置を以下のように選択してください。

1. 詳細や手引きについては、メッセージ DFHZC5980 を参照してください。DFHZC5980 で *trandid* として CRMD が識別されている場合、項目は大容量端末削除タスクによりロックされており、削除されることとなります。
2. ノードが削除されている場合は、処置は必要ありません。ノードが存在する場合は、この要求が実行されている間に置換されたかどうかを判断してください。項目が存在し、置換されていない場合は、IBM のサポートが必要になります。

す。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

- この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSS, DFHBSSZ, DFHBSTZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSTZV, DFHBSTZS, DFHBSTZZ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, id, {1=A table entry is locked., 2=A table entry was not found., 3=There was a logic error.}, tabname, key, modname, inst*

**DFHZC5914E** *date time applid* **Deletion of terminal termid found another deletion of it in progress**

説明: 削除を保留する旨のマークがすでに付けられているために、CICS は、端末 *termid* を削除する試みに失敗しました。

おそらく、CEDA ユーザーがその端末をインストールしています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEDA ユーザーがその端末をインストールしているかどうかを検査してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSPMP, DFHBSS, DFHBSTZ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid*

**DFHZC5915E** *date time applid* **Deletion of node id failed.**  
(*The node is still in service. | The system entry is still in service. | The node has a task attached.*) **Module(modname).**

説明: CICS は、ノード *id* を削除できませんでした。理由はメッセージに示されています。

- 端末またはセッションは、まだ使用できる状態である。
- このセッションのシステム項目は、まだ使用できる状態である。
- この端末またはセッションに、まだ生成されているタスクがある。

このメッセージを出しているモジュールは、*modname* で識別されています。

システムの処置: CICS は継続し、ノードを削除しません。

ユーザーの処置: 削除または置換を再試行する前に、メッセージに示された理由に対応する処置を行ってください。

- ノードを使用できない状態にする。
- システム項目を使用できない状態にする。
- このノードの活動が停止するのを待つ。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSTZ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, id, {1=The node is still in service., 2=The system entry is still in service., 3=The node has a task attached.}, modname*

**DFHZC5916E** *date time applid* **Deletion of terminal termid failed. It has pending DFHZCP activity**

説明: この端末に関する DFHZCP 活動が保留になっているために、CICS は、リソース *termid* を削除できません。このリソースは、接続に所属するセッション、または端末 TCTTE である場合があります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 例外トレース・ポイント AP FCDE を使用して、どの種の活動が保留になっているか判別してください。

これが VTAM CLSDST コマンドが実行中であることを示す場合、VTAM は、存在しないリソースあるいは利用不能なリソースに接続しようとしている可能性があります (そのリソースの CEDA 定義の NETNAME で示されます)。この場合は、数分待ってから再インストールするか、廃棄してください。

JOBLOG にアクセスできる場合は、問題のリソースに関するメッセージ DFHZC3462 によって CLSDST が終了したことが分かります。

このリソースが端末の場合は、CEMT トランザクションを実行して端末を一時的に使用できる状態にしてから、再び使用できない状態にしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid*

**DFHZC5917E** *date time applid* **Deletion of terminal termid failed. Error message writer still active**

説明: エラー・メッセージ書き込み機能が、この端末についてまだ活動中であるために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、その端末を短時間の間だけ使用できる状態にし、その後もう一度使用できない状態にしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZE

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid*

**DFHZC5918E** *date time applid* **Deletion of terminal termid Console consname failed. It has pending DFHZCP activity.**

説明: VSE コンソール *consname* に、削除できないようにしている未解決の活動があります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: このコンソールに要求された未解決の応答に応答した後で、CEMT トランザクションを使用して、そのコンソールを短時間の間だけ使用できる状態にし、その後もう一度使用できない状態にしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZO

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, consname*



---

**DFHZC5919E** *date time applid* **Deletion of terminal termid failed. CICS logic error**

説明: リモート端末の切断の際にエラーがあったために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。  
 システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5919 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

---

**DFHZC5920E** *date time applid* **Install of terminal termid failed. CICS logic error**

説明: この CICS システムが端末 *termid* のインストールに失敗しました。システムがローカル・システム項目を持っていないため、まだ端末を受け入れることができません。おそらく、CICS 初期設定時に障害が起っています。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5920 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZ, DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

---

**DFHZC5921E** *date time applid* **Install of terminal termid failed. VTAM support not loaded.**

説明: CICS が VTAM サポートなしで初期設定されたために、CICS は、端末 *termid* のインストールに失敗しました。  
 システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: VTAM を使用するには、CICS をシャットダウンして、システム初期設定パラメーター VTAM=YES を指定し、ACCESSMETHOD=VTAM でアセンブルされた TCT および該当する RDO 端末定義を指定して、再始動を行ってください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZZV

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

---

**DFHZC5923E** *date time applid* **Install for terminal termid failed. CICS logic error**

説明: バインド・イメージが無効だったために、CICS は、端末 *termid* のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5923 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に

関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZZV

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

---

**DFHZC5924E** *date time applid* **Install for terminal termid failed. CICS logic error**

説明: TCTTE にノード情報ブロック (NIB) 記述子が含まれていなかったために、CICS は、端末 *termid* のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5924 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZZV

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

---

**DFHZC5925E** *date time applid* **Deletion of connection cccc failed. Its AID-Chains are not empty**

説明: リモート・システム *cccc* のための AID 連鎖が空でなかったために、CICS は、接続 *cccc* を削除しませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、未解決の AID の処理が行えるように、その接続を使用できる状態にしてください。次に、接続をサービス休止状態にして、削除できるようにしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, cccc*

---

**DFHZC5926E** *date time applid* **Install for connection cccc failed. CICS logic error**

説明: DFHZCP が DATASTREAM オペランドを受け取らなかったために、CICS は、接続 *cccc* をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5926 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZ6

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, cccc*

---

**DFHZC5927E** *date time applid* **Install for connection cccc failed. CICS logic error**

説明: DFHZCP が RECORDFORMAT オペランドを受け取らなかったために、CICS は、接続 cccc をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5927 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZ6

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, cccc*

**DFHZC5929E** *date time applid* **Deletion of connection cccc failed. It is in use by n indirect connections**

説明: CICS は、接続 cccc が *n* 個の間接接続によってまだ使用中であるため、この接続を削除しませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 以下の手順によって間接接続を削除してください。

1. CEDA トランザクションを使用して、INDSYS パラメーターで示されているリモート・システムを変更します。
2. 間接接続を再インストールします。
3. 「メイン」接続を再インストールします。
4. 間接接続を変更して、INDSYS パラメーターで示されているリモート・システムをリセットし、「メイン」接続の名前に戻します。
5. 間接接続を再インストールします。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, cccc, n*

**DFHZC5931E** *date time applid* **Install for modename modename failed. Maximum number of APPC sessions would have been exceeded**

説明: 許されているセッションの最大数を超える可能性があったために、CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: システムの使用率が少なくなるのを待つか、または、一部の APPC セッションを削除してください。

システム・プログラマーは、CICS TOR の数を増やすことを検討してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM61

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename*

**DFHZC5932E** *date time applid* **Install for modename modename failed. Connection cccc not found**

説明: CONNECTION パラメーターの中に未知の名前 cccc があったために、CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 接続 cccc をインストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename, cccc*

**DFHZC5933E** *date time applid* **Install for modename modename failed. Connection cccc is not valid here**

説明: この文脈では CONNECTION が有効でないために、CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: リモート・システム cccc の定義を変更してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename, cccc*

**DFHZC5934E** *date time applid* **Install for modename modename failed. Single-session connection cccc is already in use.**

説明: 単一セッション CONNECTION *cccc* はすでに使用中であるために、CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: *cccc* の定義を変更してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM61、DFHBSM62

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename, cccc*

**DFHZC5936E** *date time applid* **Install for modename modename failed. Connection cccc has active modegroup xxxx**

説明: 接続 cccc はすでに活動 MODEGROUP *xxxx* が持っていたために、CICS は、MODENAME *modename* を指定した SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、その接続を短時間の間だけ使用できる状態にし、その後、もう一度使用できない状態にしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename, cccc, xxxx*

---

**DFHZC5937I** *date time applid* **Deletion of modename  
modename found another deletion of it in  
progress**

説明: その定義がすでに削除を保留にしていたために、CICS は、MODENAME *modename* を指定した SESSIONS 定義を削除しませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEDA ユーザーが SESSIONS 定義をインストールしようとしていなかったかどうかを調べてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename*

---

**DFHZC5938E** *date time applid* **Deletion of modename  
modename failed. Unable to delete session(s)**

説明: 前のメッセージで 1 つまたは複数のエラーが報告されているために、CICS は、MODENAME *modename* を指定した SESSIONS 定義を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。示されたエラーを訂正してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM61

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename*

---

**DFHZC5939E** *date time applid* **Install for name failed.  
Duplicate session- or modegroup-name for  
connection sysid**

説明: セッション名またはモードグループ名 *name* が重複しているため、CICS は、セッションまたはモードグループをインストールすることができません。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、セッションまたはモードグループはインストールされません。

ユーザーの処置: 重複しているセッション名またはモードグループ名を変更してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSM62

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, name, sysid*

---

**DFHZC5940E** *date time applid* **Install for terminal termid  
failed. Error console cannot be deleted**

説明: エラー・コンソール CERR の置き換えが試みられました。その置き換えは CICS では許されていません。

システムの処置: CICS は、元のエラー・コンソールを使用して処理を続行します。

ユーザーの処置: この制限に注意してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQDL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

---

**DFHZC5941E** *date time applid* **Install for terminal termid  
failed. Console consname has a conversation  
outstanding**

説明: コンソール *consname* が ECB を通知したため、CICS は、端末 *termid* をインストールすることができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、その端末を短時間の間だけ使用できる状態にし、その後もう一度使用できない状態にしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, consname*

---

**DFHZC5942E** *date time applid* **Node nodeid was not  
installed. The addition of key key to table  
tablename failed. RC=X'return'.**  
**Module(modname).**

説明: TMP テーブルへの追加に失敗したために、CICS はノード *nodeid* の定義をインストールすることができません。CICS は、テーブル *tablename* にキー *key* を追加しようとした。

TMP からの戻りコードは、*return* に示されています。戻りコードが 4 の場合は、項目が重複しています。この項目と同時に別の項目が追加されて、同一のキーを使用した可能性があります。そうでない場合は、CICS に論理エラーが発生しています。このメッセージを出したモジュールは、*modname* で示されています。

システムの処置: CICS は定義をインストールしません。

ユーザーの処置: 項目が、キーと対立している別の定義とオーバーラップしていなかった場合、あるいは戻りコードが 4 でない場合は、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール:

DFHBSS, DFHBSTZ, DFHBSTZZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, nodeid, key, tablename, X'return', modname*

---

**DFHZC5943E** *date time applid* **MRO connection connname  
could not be deleted because IRC is open.**

説明: 接続 *connname* が MRO 接続であり、領域間通信 (IRC) がオープン状態のため、CICS はその接続を削除できません。

システムの処置: 接続は削除されません。

ユーザーの処置: IRC 定義をクローズし、削除または置換を再試行してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, connname*

---

---

**DFHZC5945E** *date time applid* **Deletion of sessions ssss failed. Connection cccc is defined to IRC**

説明: CONNECTION がまだ IRC に対して定義されているために、CICS は、SESSIONS 定義 ssss を削除しませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT SET IRC CLOSED コマンドを出してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ssss, cccc*

---

**DFHZC5946E** *date time applid* **Install for sessions ssss failed. Connection cccc is defined to IRC**

説明: CONNECTION がすでに IRC に対して定義されているために、CICS は、SESSIONS 定義 ssss をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT SET IRC CLOSED コマンドを出してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ssss, cccc*

---

**DFHZC5947E** *date time applid* **Install for sessions ssss failed. CICS logic error**

説明: CONNECTION 名が指定されていないために、CICS は、SESSIONS 定義 ssss をインストールしませんでした。システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5947 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ssss*

---

**DFHZC5948E** *date time applid* **Install for sessions ssss failed. Connection cccc is not suitable for IRC**

説明: 示された CONNECTION が IRC にとって適切でないために、CICS は、SESSIONS 定義 ssss をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: cccc の定義を変更してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ssss, cccc*

---

**DFHZC5949E** *date time applid* **Install for sessions ssss failed. It is incompatible with connection cccc**

説明: 示された CONNECTION が必要なタイプのセッションをサポートするものでないために、CICS は、SESSIONS 定義 ssss をインストールしませんでした。同じ名前でも違うタイプの接続を置き換えているときに、何か他の理由でインストールが失敗した場合には、このメッセージが出される可能性があります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: cccc の定義を変更してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSTZS, DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ssss, cccc*

---

**DFHZC5950E** *date time applid* **Install for terminal termid failed. Console consname already exists**

説明: コンソール ID consname がすでに存在しているために、CICS は、CONSOLE 定義 termid をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS の処理は続行されますが、その端末はインストールされません。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを使用して、別のコンソール ID を定義し、その端末を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSS, DFHBSTZ, DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, consname*

---

**DFHZC5951E** *date time applid* **Deletion of connection ssss failed. Unable to delete sessions**

説明: 1 つまたは複数のセッションを削除することができないために、CICS は、CONNECTION 定義 ssss を削除しませんでした。前に出された 1 つまたは複数のメッセージにこの失敗の説明が示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZR, DFHBSSZ6

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ssss*

---

**DFHZC5952E** *date time applid* **Deletion of terminal termid failed. It needs to be SET RELEASED**

説明: 端末 termid の現在の状況では、CICS はその端末を削除することはできません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して端末 termid を解放し、サービス休止状態にしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZV

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

---

**DFHZC5953E** *date time applid* CICS logic error

説明: インストールされるオブジェクトがバインド・イメージを持っていませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5953 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

**DFHZC5954E** *date time applid* Install for resource *resource* failed. Unable to install sessions component

説明: CICS は、リソース *resource* のインストールに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMZC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource*

**DFHZC5957E** *date time applid Arch. User-Data ID X'xx* occurs in bind. CICS logic error

説明: バインド時に X'02' よりも大きな設計済みユーザー・データ ID があるために、インストールされている APPC SESSIONS オブジェクトが無効です。

システムの処置: CICS は、そのオブジェクトをインストールしません。ダンプ・コード ZC5957 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xx*

**DFHZC5958E** *date time applid* Install failed for *xxxx*. This is the name of the local system which must not be replaced.

説明: CICS の最後の実行時に、端末または接続がローカル・システム項目と同じ名前前で定義されました。ローカル・システム項目は置換できないので、これは許されません。

CICS の現在の実行のロード・スタート時に、無効な定義を含むグループを CICS がインストールしようとした。その時、CICS はこのメッセージを出しました。

システムの処置: CICS は継続しますが、この端末または接続はインストールされません。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを使用して端末の名前または接続の名前を訂正して、そのグループをインストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xxxx*

**DFHZC5961E** *date time applid* Deletion of surrogate *xxxx* failed. CICS logic error

説明: CICS は、代理 TCT 項目を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5961 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZT1、DFHBSZT2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xxxx*

**DFHZC5962E** *date time applid* Install for resource *resource* failed. Modename parameter not found

説明: MODENAME パラメーターが欠落しているために、CICS は、リソース *resource* のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 欠落しているパラメーターを与えてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZTS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource*

**DFHZC5963E** *date time applid operation* RUSIZE *xxxx* from

**terminal termid was greater than**

**TYPETERM RUSIZE *yyyy*.**

説明: 対応する TYPETERM RECEIVESIZE|SENDSIZE よりも大きな VTAM RECEIVESIZE を持つ端末 *termid* の自動インストールが試みられました。

システムの処置: CICS を続行します。この自動インストールは拒否されます。

ユーザーの処置: TYPETERM RECEIVESIZE または TYPETERM SENDSIZE を増やすか、あるいは VTAM LOGMODE テーブル内の RECEIVESIZE を減らしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZZV

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, operation, xxxx, termid, yyyy*

---

**DFHZC5964E** *date time applid* **Install for sessions ssss failed. CICS logic error.**

説明: BINDPASSWORD の長さが 8 文字の限界を超えているために、CICS は、SESSIONS ssss のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5964 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ssss*

---

**DFHZC5966I** *date time applid* {**INSTALL | DELETE | RESTORE**} **started for resource (termid) SYSID (sysid) (Module : modname).**

説明: CICS は、リソース *termid* のインストール、削除、またはリストアを開始しました。そのリソースは、端末、接続、モードグループ、セッションまたは *pool\_entry* のいずれかである可能性があります。接続の場合には、*sysid* は必ずブランクになります。ローカル端末または *pool\_entry* である場合は、*sysid* はローカル CICS システムのシステム識別名になります。リモート端末の場合は、*sysid* はその端末を所有しているリモート・システムのシステム識別名になります。モードグループまたはセッションの場合は、*sysid* は、そのモードグループまたはセッションに関連しているシステム識別名になります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CADL

モジュール:

DFHBSTZ, DFHBSPMP, DFHBSPM62, DFHBSS, DFHBSPMIR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, {1=INSTALL, 2=DELETE, 3=RESTORE}, resource, termid, sysid, modname*

---

**DFHZC5967E** *date time applid* **Install for modename modename failed. Unable to install sessions**

説明: CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義のインストールに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずですが。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSPM61

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename*

---

**DFHZC5968E** *date time applid* **Unable to install LU Services Manager for modename modename**

説明: CICS は、MODEGROUP *modename* のための CONNECTION 定義のインストールに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずですが。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename*

---

**DFHZC5969E** *date time applid* **Deletion of dependent modename(s) failed for connection modename**

説明: CICS は、MODEGROUP *modename* のための CONNECTION 定義の置き換えに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずですが。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename*

---

**DFHZC5971E** *date time applid* **Delete of resource resource failed. CICS logic error**

説明: 破棄操作時の予期しないサインオン状態のために、CICS は、リソース *resource* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード

ZC5971 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource*

---

**DFHZC5972E** *date time applid* **Delete of resource resource failed. It is still signed on**

説明: 端末またはセッションがまだサインオン状態であるために、CICS は、TERMINAL または SESSIONS リソース *resource* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: サインオフ・トランザクション CESF を実行して、再試行してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource*

---

---

**DFHZC5973E** *date time applid* **Install for sessions** *ssss*  
**failed. Max session-count reached for**  
**modename** *modename*

説明: MODENAME *modename* に関して最大セッション・カウントに達したために、CICS は、SESSIONS 定義 *ssss* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: *modename* 内のセッションのいくつかを削除するか、または大きな最大セッション・カウントで *modename* を再定義してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, ssss, modename*

---

**DFHZC5974E** *date time applid* **Deletion of pool** *pppp* **failed.**  
**Unable to delete pool entries**

説明: CICS は、POOL *pppp* の削除に失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずですが。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい手順および情報については、前に出されているメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppp*

---

**DFHZC5975E** *date time applid* **Install for resource** *pppp*  
**failed. CICS logic error**

説明: 必要な POOLID パラメーターが欠落していたために、CICS は、POOL 定義 *pppp* のインストールに失敗しました。これは、CICS の (おそらくは DFHTRZPP の) 論理エラーです。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5975 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMPP、DFHBSMZP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppp*

---

**DFHZC5976E** *date time applid* **CICS logic error**

説明: 必要な POOLCNT パラメーターが欠落していたために、CICS は、POOL 定義のインストールに失敗しました。これは、CICS の (おそらくは DFHTRZPP の) 論理エラーです。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5976 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要

です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC5977E** *date time applid* **Failure building pool entries**

説明: プール項目を作成しているときに障害があったために、CICS は、POOL 定義のインストールに失敗しました。この失敗の原因は、前に出されているメッセージで説明されているはずですが。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手順については、前に出されているメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC5978E** *date time applid* **Unable to replace pool** *pppp*

説明: CICS は、POOL 定義をインストールまたは削除する試みに失敗しました。この失敗の原因は、前に出されているメッセージで説明されているはずですが。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手順については、前に出されたメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppp*

---

**DFHZC5979E** *date time applid* **Deletion of pool** *pppp* **failed.**  
**It still has session termid**

説明: そのプールにはまだ端末 *termid* のアクティブ・セッションがあったために、CICS は、プール *pppp* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: (CEMT トランザクションを使用して) その端末を使用できない状態にし、再試行してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMZP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppp, termid*

---

**DFHZC5980E** *date time applid* **Resource** *resource* **is in use**  
**by task** *taskid* **Transaction** *tranid*

説明: リソース *resource* は使用中です。 *taskid* はタスク番号、 *tranid* はトランザクション ID です。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: タスク *taskid* の終了を待ってから、操作を再試行してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMPP, DFHBSMZP, DFHBSMZ, DFHBSMZ1, DFHBSMZ2, DFHBSMZ3

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource, taskid, trandid*

---

**DFHZC5981E** *date time applid* Pool pppp not found

説明: POOL pppp が存在していないために、CICS は、リソースのインストールに失敗しました。この失敗の原因は、前に出されているメッセージで説明されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されているメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZTP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppp*

---

**DFHZC5982E** *date time applid* Deletion of pool pppp failed.  
Pool entry is in use for termid

説明: そのプールにはまだ端末 termid の使用中の項目があったために、CICS は、POOL pppp の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: (CEMT トランザクションを使用して) その端末を使用できない状態にし、再試行してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pppp, termid*

---

**DFHZC5983E** *date time applid* Unable to replace resource

説明: リソース resource がすでに存在しているか、または前に出されているメッセージで説明された理由のいずれかにより、CICS は、このリソースのインストールに失敗しました。

考えられる理由は以下の通りです。

- 同じ名前前で定義されている非 VTAM 端末および VTAM 端末が存在する。非 VTAM 端末がインストールされている場合、CICS は、同じ名前の VTAM 端末は自動インストールしません。
- ユーザー自身の端末、または CEDA コマンドを出すのに使用されている端末と同じ名前の端末を置き換えようとした。
- 同じグループ内の以前の定義と同じ REMOTENAME および REMOTESYSTEM を持つ端末を置き換えようとした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

前にメッセージが出ていない場合は、端末 ID を調べてください。

宛先: CSMT

モジュール:

DFHBSS, DFHBSZ, DFHBSS2, DFHBSZ1, DFHBSZ2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource*

---

**DFHZC5985E** *date time applid* Install for resource resource failed. Unable to install connection component

説明: CICS は、リソース resource のインストールに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずです。システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZC

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource*

---

**DFHZC5986E** *date time applid* CICS logic error

説明: ウォーム・キーポイント・プログラム (DFHWKP) か照会トランザクション (DFHQRY) のいずれかが無効な要求を出し、それを実施することができませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5986 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQCH

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC5988E** *date time applid* Install for resource resource failed. VTAM support not generated

説明: CICS は、VTAM サポートなしに初期設定されていたために、リソース resource のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: VTAM リソースを直ちにインストールしようとする場合は、CICS をシャットダウンし、システム初期設定パラメーター ACCESSMETHOD=VTAM を指定し、適切な TCT または RDO 端末定義で再始動してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSSZS, DFHBSSZ6, DFHBSZV

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource*

---

**DFHZC5989E** *date time applid* Deletion of resource resource failed. Remote deletion in connection cccc failed

説明: システム cccc でのリモート削除が失敗に終わったために、CICS は、リソース resource の削除に失敗しました。

この失敗の原因は、前に出されているメッセージで説明されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されているメッセージを参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSZ1, DFHBSZ2



XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource, cccc*

---

**DFHZC5990E** *date time applid CICS logic error*

説明: CICS は、要求コードを認識しないため、INSTALL 要求または DELETE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5990 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQ00

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC5991E** *date time applid CICS logic error*

説明: BIND が与えられなかったために、CICS は、VALIDATE BIND 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5991 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQ00

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC5992E** *date time applid Resource Types Table does not support recovery record*

説明: DFHZCQ のリソース・タイプ・テーブル (DFHZCQRT) が、ログまたは CICS カタログからのリカバリー・レコードと互換性を持っていないために、CICS は、RESTORE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5992 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS はウォーム・スタートを正しく行うことができません。したがって、CICS をシャットダウンして、COLD スタートする必要があります。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC5993E** *date time applid CICS logic error*

説明: DFHZCQ のリソース・タイプ・テーブル (DFHZCQRT) が、ログまたは CICS カタログからのリカバリー・レコードと互換性を持っていないため、CICS は RESTORE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード

ZC5993 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC5994E** *date time applid CICS logic error*

説明: リカバリー・レコードが渡されなかったために、CICS は、RESTORE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5994 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQRS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC5995E** *date time applid CICS logic error. Resource Type Code xxxx Subtype yyyy not recognized with associated bind image*

説明: CICS は、リソース・タイプ・コード (RTC) xxxx とサブタイプ yyyy (作成機能パラメーター・セットからのもの) を持つリソースのインストールに失敗しました。それは、リソース・タイプ・コード xxxx、サブタイプ yyyy、および関連した BIND イメージを持つリソースは、作成機能のリソース・タイプでないためです。

これは、CICS の (おそらくは DFHTRzXP の) 論理エラーです。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5995 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQIS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xxxx, yyyy*

---

**DFHZC5996E** *date time applid CICS logic error*

説明: INSTALL 要求内のリソース・タイプ・コードがゼロであったために、CICS はその要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5996 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

## DFHZC5997E • DFHZC6203E

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQIS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

### DFHZC5997E *date time applid* CICS logic error

説明: TCT 項目が渡されなかったために、CICS は、INQUIRE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5997 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQIQ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

### DFHZC5998E *date time applid* Install specified a resource that cannot be replaced

説明: 渡された項目が削除できないタイプのもの (例えば、非 VTAM 端末) であったために、CICS は、DELETE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 失敗に終わった削除/置き換えは、INSTALL 要求によって必要とされるものでした。その要求内のリソース・タイプを訂正してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQCH、DFHZCQDL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

### DFHZC5999E *date time applid* CICS logic error.

説明: DFHZCQCH がこのメッセージを出した場合、必須項目パラメーターが渡されていないために、CICS は CATALOG 要求を拒否しました。

DFHZCQDL がこのメッセージを出した場合、必須項目パラメーターが渡されていないために、CICS は DELETE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5999 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: CICS TS パフォーマンスの手引き。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZCQCH、DFHZCQDL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

### DFHZC6200E *date time applid* Could not obtain DWE storage

説明: BUILD または DESTROY 要求の実行時に、CICS テーブル作成機能サービスは、据え置き作業エレメント (DWE) のストレージを取得できませんでした。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置: この障害は、動的ストレージ域 (DSA) が小さすぎる場合の症状であることがあります。その場合には、CICS 領域のサイズを大きくすることによって問題を解決することができます。DSA および CICS 領域のサイズの見積もりに関する注意事項は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム定義の手引き」および「CICS TS パフォーマンスの手引き」を参照してください。

この障害は、別のトランザクション (例えば、ループ内で EXEC CICS GETMAIN を指定したループ・プログラム) の中のエラーによって起こることも考えられます。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSB、DFHTBSD、DFHTBSL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

### DFHZC6202E *date time applid* Pattern pattern not valid for builder

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、パターン *pattern* が、DFHBSHDR(ENTRY) によって宣言されていない作成機能を挙げていることを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTPE マクロ内にコーディングされているパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。ダンプ・コード ZC6202 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSB、DFHTBSL、DFHTBSQ、DFHTBSR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pattern*

---

### DFHZC6203E *date time applid* Unable to obtain DWE action-list storage

説明: 要求の実行時に、CICS テーブル作成機能サービスは、DWE アクション・リスト用のエレメントを作成するためのストレージを取得できませんでした。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置: この障害は、動的ストレージ域 (DSA) が小さすぎる場合の症状であることがあります。その場合には、CICS 領域のサイズを大きくすることによって問題を解決することができます。DSA および CICS 領域のサイズの見積もりに関する注意事項は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム定義の手引き」および「CICS TS パフォーマンスの手引き」を参照してください。

この障害は、別のトランザクション (例えば、ループ内で EXEC CICS GETMAIN を指定したループ・プログラム) の中

のエラーによって起こることも考えられます。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSBP、DFHTBSDP、DFHTBSL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

**DFHZC6204E** *date time applid* **Illegal subpattern definition pattern**

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、サブパターン *pattern* が、DFHBSHDR(ENTRY) によって宣言されていない作成機能を挙げていることを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているサブパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。ダンプ・コード ZC6204 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ

DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSBP、DFHTBSDP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pattern*

**DFHZC6205E** *date time applid* **Illegal subpattern definition pattern**

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、サブパターン *pattern* の定義が無効であることを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているサブパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。ダンプ・コード ZC6205 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ

DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSBP、DFHTBSDP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pattern*

**DFHZC6206E** *date time applid* **Pattern pattern not valid for destroy**

説明: DESTROY 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、パターン *pattern* が DESTROY 要求には無効であることを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。ダンプ・コード ZC6206 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ

DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSD

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pattern*

**DFHZC6207E** *date time applid* **Catalog key too long or zero. Pattern pattern**

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、パターン *pattern* の中で挙げられている作成機能が無効な CC キーを MAKEKEY で戻したことを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。ダンプ・コード ZC6207 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ

DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSBP、DFHTBSDP、DFHTBSL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, pattern*

**DFHZC6209E** *date time applid* **Invalid ZC catalog request code xxxx**

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、カタログ要求のためのコード *xxxx* が無効であることを検出しました。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。ダンプ・コード ZC6209 のシステム・ダンプがとられます。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ

DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xxxx*

**DFHZC6212E** *date time applid* **Level mismatch with catalog record. DFHBS xxx**

説明: ウォーム・スタートまたは緊急始動時に要求を実行しているとき、CICS テーブル作成機能サービスは、CC レコードがそこで指定されているパターンと互換性を持っていないことを検出しました。 *xxx* は作成機能 ID です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置: CC レコードは、おそらく、以前の CICS のレベルで書き込まれています。つまり、その CC レコードが書き込まれた後、システムに 1 回またはそれ以上の PTF 保守修正が適用されています。この場合は、次のいずれかを行ってください。

- CICS をコールド・スタートする。または
- 適用した保守を除去し、ウォーム・スタートまたは緊急再始動ができるようにする。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSR、DFHTBSRP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xxx*

---

**DFHZC6213E** *date time applid* Recovery record abandoned.

**Key is key**

説明: RESTORE 要求を処理しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、前のメッセージで報告されたエラーを検出しました。key は、中止されたレコードのためのカタログ・キーです。また、そのキーが CICS にとって未知のものであった場合は、key は単一の文字 ? となります。

システムの処置: 問題の原因については、前に出されたメッセージを参照し、そこで勧められているユーザーの処置をとってください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSR

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, key*

---

**DFHZC6214E** *date time applid* Unable to obtain recovery record storage

説明: CATALOG 要求を処理しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、リカバリー・レコード・ストレージを取得することができませんでした。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置: この障害は、動的ストレージ域 (DSA) が小さすぎる場合の症状であることがあります。その場合には、CICS 領域のサイズを大きくすることによって問題を解決することができます。DSA および CICS 領域のサイズの見積もりに関する注意事項は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA システム定義の手引き」および「CICS TS パフォーマンスの手引き」を参照してください。

この障害は、別のトランザクション (例えば、ループ内で EXEC CICS GETMAIN を指定したループ・プログラム) の中のエラーによって起こることも考えられます。

宛先: CSMT

モジュール: DFHTBSLP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC6301E** *date time applid* Install for tttt failed.  
**Duplicate netname netname for resource rrrr found.**

説明: リソース tttt はインストール中でしたが、リソース rrrr と同じネットワーク名 netname であることが検出されました。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: これらの定義をインストールしたい場合には、CEDA を使用してネットワーク名を訂正して、定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZV

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttt, netname, rrrr*

---

**DFHZC6302E** *date time applid* Install for connection cccc failed. Duplicate netname netname for resource rrrr found.

説明: 接続 cccc はインストール中でしたが、リソース rrrr と同じネットワーク名 netname を持っているが検出されました。システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: 別の APPC 接続または LU6.1 接続と同じネットワーク名の APPC 接続を持つことはできません。つまり、2 つのシステム間に複数の APPC 接続を持つこと、また、LU6.1 接続と一緒に 2 つのシステム間に APPC 接続をインストールすることはできません。

APPC ネットワーク名も LU6.1 ネットワーク名も、端末のネットワーク名と同じにすることはできません。

また、他の IRC 接続と同じネットワーク名の IRC 接続を持つこともできません。ただし、IRC ネットワーク名は、VTAM ネットワーク名 (APPC または LU61 接続または端末) と同じにすることはできます。

この定義をインストールする場合は、CEDA を使用してネットワーク名を訂正してから、定義を再インストールしてください。

ある接続を別のネットワーク名に置き換える必要がある場合には、その接続の名前は、置き換えようとしているものと同じ接続名でなければなりません。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, cccc, netname, rrrr*

---

**DFHZC6303E** *date time applid* Install for tttt failed.  
**Duplicate netname netname found.**

説明: リソース tttt がインストール中でしたが、ネットワーク名 netname が重複していることが検出されました。

このメッセージは、次の場合に出されます。

- この定義と同じグループ内に重複した NETNAME があった場合。
- 2 つの CEDA トランザクションが同時に実行されて、別の CEDA トランザクションが、DFHBSTZV の BUILD ルーチンと CONNECT ルーチンの間に NETNAME を追加した場合。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: この定義をインストールする場合は、CEDA を使用してネットワーク名を訂正してから、定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZV

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttt, netname*

---

**DFHZC6304W** *date time applid* **Deletion of remote terminal termid failed because it is in use by another transaction.**

説明: CICS がリモート端末 *termid* にログオフ・トランザクションを出しましたが、別のトランザクションがこの端末を使用しているため、削除することができません。

システムの処置: リモート端末は再使用できます。CICS を続行します。

ユーザーの処置: この状態は、通常、リモート CICS がストレス状態にある場合に起こります。さらに多くのリソースを割り振ることを考慮してください。例えば、より多くのストレージを割り振る必要があるかもしれません。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

---

**DFHZC6305E** *date time applid* **Install for EXCI generic connection cccc failed. Duplicate EXCI generic connection rrrr found.**

説明: protocol(exci) および conntype(generic) を指定した接続 *cccc* がインストールされましたが、既存の総称接続 *rrrr* が検出されました。

システムの処置: リソースはインストールされません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: CICS システムにインストールできる EXCI 総称接続は 1 つだけです。どの EXCI 総称接続定義が必要かを判別し、重複している定義を除去してください。

EXCI 総称接続定義を置き換える必要がある場合には、その接続は、置き換えようとしているものと接続名が同じでなければなりません。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, cccc, rrrr*

---

**DFHZC6315E** *date time applid* **User userid is not authorized to install terminal tttt with preset security.**

説明: ユーザー *userid* が端末 *tttt* をインストールしようとしたのですが、ユーザー ID の権限が不足していました。これは、その端末が事前設定された権限を持っているためです。(端末 *tttt* の定義は、*userid* 値を指定しています。) 事前設定セキュリティを持つリソースをインストールするには、特殊な許可を必要とします。

システムの処置: リソース・セキュリティ違反メッセージが、CSCS 一時データ・キューならびにシステム・コンソールに記録されます。リソースはインストールされません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: このリソースをインストールするには、次のいずれかを行ってください。

- CESN トランザクションを使用して、事前設定セキュリティを持つ端末をインストールすることを許可されているユーザー ID でサインオンする。
- ユーザー ID *userid* に、事前設定セキュリティを持つ端末をインストールする許可を与えるようにセキュリティ管理

者に依頼する。手引きについては、「CICS TS セキュリティーの手引き」を参照してください。

- リソース定義から USERID 指定を除去して、事前設定セキュリティを持たないリソースをインストールする。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, userid, tttt*

---

**DFHZC6330E** *date time applid* **Install for tttt failed. LDCLIST parameter ldclist not found.**

説明: リソース *tttt* がインストール中でしたが、その LDCLIST *ldclist* が無効であることが検出されました。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: この定義をインストールしたい場合には、DFHTCT TYPE=LDCLIST マクロを使用してリスト名を定義してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTBL

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttt, ldclist*

---

**DFHZC6331E** *date time applid* **Install for connection tttt failed. Non-VTAM terminal with same name already exists.**

説明: 接続 *tttt* をインストールしようとしたのですが、同名の非 VTAM 端末がすでに存在しています。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: その接続の名前を変更して、再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttt*

---

**DFHZC6332E** *date time applid* **Install for terminal tttt failed. Non-VTAM terminal with same name already exists.**

説明: 端末 *tttt* をインストールしようとしたのですが、同名の非 VTAM 端末がすでに存在します。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: その端末の名前を変更して、再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, tttt*

---

**DFHZC6333E** *date time applid* **INSTALL for modename modename failed. Zero sessions specified**

説明: 指定されたセッションの最大数が 0 であったために、CICS は、モードグループ *modename* をインストールしませんでした。CEDA SESSION MAXIMUM パラメーターを 0 に設定することはできません。したがって、これは、おそらくスト

レージの上書きによって引き起こされたか、もしくは、CICS に無効な作成機能パラメーター・セットがシップされたためと思われる。

システムの処置: このインストールは失敗しますが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: 問題の作成機能パラメーター・セットを見つけて、ZC\_MAXSESS\_1 を最小値の 1 に設定してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSM2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, modename*

**DFHZC6340E** *date time applid* **CICS has detected an error in delete processing for termid. Module name: modname.**

説明: 端末の削除時に、CICS は、TCTTE に連鎖されている端末入出力域 (TIOA) を見つけました。これは、CICS 論理エラーです。

システムの処置: システム・ダンプがとられ、TCTTE が削除され、CICS は継続します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

システム・ダンプを使用して、TIOA がまだ TCTTE に連鎖されている理由を判別しておけば、IBM サポートの役に立ちます。TIOA は、通常、削除される前に FREEMAIN されます。

次の質問に対する答も役立つでしょう。

- これは、シップされた TCTTE か。
- TCTTE が削除される理由は何か。
- 正しい TCTTE を削除しようとしているか。

宛先: CADL

モジュール: DFHBSM2

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, modname*

**DFHZC6341E** *date time applid* **Loop or ABEND has been detected in inmodule by module bymodule.**

説明: CICS が、以前にループまたは異常終了を検出しました。モジュール *bymodule* が、ループまたは異常終了の起きたモジュール *inmodule* を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、異常終了が検出された場合はメッセージ DFHZC0001 を、ループが検出された場合にはメッセージ DFHZC0004 を出します。実行されているインストールまたは削除はバックアウトされます。CICS を続行します。通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、関連するメッセージを参照してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHBSM61、DFHBSMZS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, inmodule, bymodule*

**DFHZC6350I** *date time applid* **The type session name BITMAP was corrupt and has been rebuilt. Error code: AP FB05.**

説明: 接続がインストールされようとしたが、セッション名の作成に使用する APPC または MRO セッション名 BITMAP が破壊されました。破壊された BITMAP は、再作成されました。

APPC セッション名 BITMAP は常に APPC セッションに使用されますが、MRO セッション名 BITMAP は、セッション名の接頭部が「<」または「>」である場合にのみ使用されません。

システムの処置: ダンプ・コード ZC6350 のダンプがとられます。トレース・ポイント ID AP X'FB05' が作成されます。インストールは続行されます。CICS を続行します。

ユーザーの処置: とられたダンプを使用して、ストレージが上書きされた原因を判別してください。ストレージ問題の扱い方に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHZGBM

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, type*

**DFHZC6360W** *date time applid* **A GETMAIN failed to obtain storage for a message set.**

説明: ZCP のインストールに失敗しました。通常は、この後メッセージが出されます。しかし、メッセージ領域として使用するために CDSA からストレージを取得しようとする GETMAIN は失敗しました。このことは、CDSA 内に使用可能なフリー・ストレージがないことを意味します。

システムの処置: ZCP のインストールが失敗したことを報告するはずであったメッセージは出されません。CDSA 内に使用可能なフリー・ストレージがない場合は、後続のメッセージも出されません。ただし、後続の GETMAIN の試みにより、ストレージが使用できるようになった場合は、後続のメッセージが出されます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

ユーザーの処置: トレースを使用して、問題の原因を判別してください。トレース・ポイント AP FCDD (TBSM 項目) は、出されるはずであったメッセージ番号とメッセージ挿入データを示します。詳しい手引きについては、このメッセージの説明を参照してください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSMSG

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC6361E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname with userid userid failed because the preset userid is invalid.*

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* で端末をインストールできませんでした。ユーザー ID が、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) で認識されていないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー ID を訂正するか、あるいはセキュリティ管理者に連絡して、認識されていないユーザー ID を ESM に追加してください。それから、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*

---

**DFHZC6362E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname with userid userid failed because the preset userid has been revoked.*

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* で端末をインストールできませんでした。ユーザー ID が、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) で取り消されていたためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡してください。セキュリティ管理者は、ALTUSER RESUME 関数を出して、取り消されたユーザー ID を再許可することができます。それから、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*

---

**DFHZC6363E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname with userid userid failed because the preset userid's group access has been revoked.*

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* で端末をインストールすることができませんでした。このユーザー ID を含むグループへのアクセスが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) で取り消されていたためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡してください。セキュリティ管理者は CONNECT RESUME 関数を出して、事前設定されたユーザー ID のグループへのアクセスをリストアすることができます。それから、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*

---

**DFHZC6364E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname with userid userid failed because the ESM returned an unrecognized response.*

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* で端末をインストールできませんでした。外部セキュリティ・マネージャー (ESM) からの戻りコードが予期しないものであったためです。

システムの処置: CICS を続行します。メッセージ

DFHSN1401 または DFHSN1801 が出されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、一緒に出されるメッセージを参照してください。問題を訂正したら、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*

---

**DFHZC6365E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname with userid userid failed because the external security manager is inactive.*

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* で端末をインストールできませんでした。外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が活動状態でなくなっているためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡して ESM を再始動してください。ESM が再び活動状態になったら端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*

---

**DFHZC6366E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname with userid userid failed because the userid is not authorized to access this CICS system.*

説明: 事前設定されたユーザー ID で端末をインストールできませんでした。事前設定されたユーザー ID が、アプリケーション *applid* の使用を許可されていないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡してください。セキュリティ管理者は、事前設定されたユーザー ID にアプリケーション *applid* へのアクセス許可を与えることができます。それから、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*

---

---

**DFHZC6367E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } termid with userid userid failed because the SECLABEL check failed.*

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* で端末をインストールできませんでした。外部セキュリティ・マネージャー (ESM) 内のユーザー ID と関連するセキュリティ・ラベルに、必要な権限がないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、新しいセキュリティ・ラベルを事前設定されたユーザー ID に割り当ててもらってください。それから、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, termid, userid*

---

**DFHZC6368E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname with userid userid failed because the external security manager is quiesced.*

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* で端末をインストールできませんでした。外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が『tranquil』状態に置かれており、新しいユーザーがシステムに参加するのが認められていないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、ESM がまた完全に使用可能になる時期を確認してください。使用可能になったら、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*

---

**DFHZC6369E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname failed because national language langcode is invalid.*

説明: 端末をインストールできませんでした。端末定義で指定されている各国語 *langcode* が認識されていないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 端末定義の各国語を有効な値に変更し、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, portname, langcode*

---

**DFHZC6370E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname failed because national language langcode is unavailable.*

説明: 端末をインストールできませんでした。端末定義で指定

されている各国語 *langcode* が、今回の CICS の実行中はサポートされていないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 端末定義の各国語を、初期設定された言語に変更してください。それから、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal}, portname, langcode*

---

**DFHZC6371E** *date time applid Install for {netname | console | terminal } portname with userid userid failed because the userid is not authorized to use this portname.*

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* で端末をインストールできませんでした。指定されたユーザー ID が、その端末の使用を許可されていないためです。

システムの処置: CICS を続行します。メッセージ

DFHSN1401 または DFHSN1801 が出されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、一緒に出されるメッセージを参照してください。問題を訂正したら、端末定義を再インストールしてください。

宛先: CSMT

モジュール: DFHBSTS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, {1=netname, 2=console, 3=terminal }, portname, userid*

---

**DFHZC6598** *applid VTAM Shutdown in XRF Alternate system. CICS will abend. sense ((instance) Module name: {DFHZTPX})*

説明: VTAM がシャットダウンされたために TPEND 出口が駆動されました。これは XRF 代替システムであり、VTAM なしで続行することはできません。

センス・データの意味については、438 ページの

『DFHZCxxxx メッセージ』の説明を参照してください。

システムの処置: システムは異常終了します。

ユーザーの処置: VTAM がどのようにシャットダウンされたか、またはその原因を判別してください。

宛先: コンソール

モジュール: DFHZTPX

**XMEOUT** パラメーター: *applid, sense, instance, {1=DFHZTPX}*

---

**DFHZC6901W** *date time applid Autoinstall BIND for NETNAME netname is invalid. Internal RC:X'response'.*

説明: リソースの AUTOINSTALL のために渡されたバインドが、バインド・イメージ検査呼び出しでエラーを示しました。BIND の固定部分が印刷されます。(これは、妥当性検査コードが操作を行った部分です。BIND RU についての詳細は、「SNA Network Protocol Formats」を参照してください。)



内部戻りコード *X'code'* によって、BIND を無効にしたモジュール内の場所が識別できます。

システムの処置: CICS は継続しますが、セッションはインストールされません。要求は拒否され、メッセージ

DFHZC2411 が出されます。VTAM LOGOFF コマンドが出されるまでは端末を使用することができません。

ユーザーの処置: BIND データの固定部分を調べて、拒否された理由を判別してください。内部戻りコードには詳しい情報が示されます。その情報は IBM が使用して、問題の原因を判別する際にユーザーを援助することができます。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, X'response'*

---

**DFHZC6902E** *date time applid* **Autoinstall failed because no models are defined.**

説明: 端末を AUTOINSTALL しようとしたのですが、AUTOINSTALL モデルが定義されていません。

システムの処置: CICS 処理は継続しますが、AUTOINSTALL ログオンの試みは拒否されます。

ユーザーの処置: CEDA を使用して AUTOINSTALL モデルを定義してください。これについては、「CICS Transaction Server for VSE/ESA 資源定義の手引き」を参照してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

---

**DFHZC6903W** *date time applid* **Autoinstall for resource resid, NETNAME netname using model-name model failed.**

説明: TCTTE 作成処理が失敗しました。その理由は、同じ端末 ID を参照している、続いて出される DFHZC59xx または DFHZC62xx メッセージに示されています。このメッセージに続いて、メッセージ DFHZC6942 が出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、続いて出されるメッセージを参照してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource, resid, netname, model*

---

**DFHZC6904W** *date time applid* **Autoinstall for NETNAME netname failed. CATA task abended (abend abend).**

説明: トランザクション CATA (プログラム DFHZATA) が、NETNAME *netname* の端末を自動インストールしていたとき、タスクが異常終了して、異常終了コード *abend* が出されました。

システムの処置: CICS は継続しますが、端末はインストールされません。

ユーザーの処置: ログオンを再試行してください。この異常終了が TIMEOUT を示しており、しかも頻繁に起こる場合には、CATA トランザクションの RDO TRANSACTION 定義の DTIMOUT 値を増やしてください。CATA トランザクションがタイムアウトにならないようにするには、CATA の RDO TRANSACTION 定義に DTIMOUT(NO) を指定してください。ただし、これを行う場合に、このシステムのストレージが不足している場合、他のトランザクションを伴わずに多くの CATA トランザクションが同時に実行されていると、デッドロックを引き起こす場合があります。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, abend*

---

**DFHZC6905W** *date time applid* **Autoinstall delete for terminal termid, NETNAME netname failed. CATD task abended (abend abend).**

説明: トランザクション CATD (プログラム DFHZATD) が、自動インストールされた端末 *termid* を削除していましたが、そのときタスクは異常終了して、異常終了 *abend* が出されました。

システムの処置: CICS を続行します。TCTTE がまだ存在する場合、それは、次に同じ TERMID が使用されるときに再利用されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abend* の説明を参照してください。

この異常終了が TIMEOUT を示しており、しかも頻繁に起こる場合には、CATD の RDO TRANSACTION 定義の DTIMOUT 値を増やしてください。CATD トランザクションがタイムアウトにならないようにするには、CATD の RDO TRANSACTION 定義に DTIMOUT(NO) を指定してください。

ただし、このシステムのストレージが不足している場合、除去可能なタスクを伴わずに多くの CATD タスクが同時に実行されていると、デッドロックを引き起こす場合があります。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATD

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname, abend*

---

**DFHZC6906** *date time applid* **Install or delete of remote terminal termid failed. tranid task abended (abend abend).**

説明: DFHZATS の機能のいずれか (トランザクション CITS、CDTS、CMTS または CFTS) が、異常終了 *abend* を出して異常終了しました。

システムの処置: CICS を続行します。

CITS (リモート・インストール) の場合、リモート端末 (骨組み) が実際に作成された場合には、CICS がこれを使用することがあります。

CDTS (リモート削除) の場合、リモート端末 (骨組み) が削除されなかった場合には、これが再利用されることがあります。

CMTS (リモート大量削除) の場合、CMTS によって削除されなかった端末は、後の段階で削除されることがあります。

CFTS (リモート大量フラグ) の場合、削除のフラグが付けられた端末は、後の段階で削除されることがあります。フラグが付けられなかった端末の場合には、それらが再利用されることがあります。このことが、予想外の結果を招く可能性があります。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abend* の説明を参照してください。

このメッセージが出される理由としては、CITS または CDTS のタイムアウトが最初に考えられます。CITS の場合には、必要に応じてトランザクションを再発行してください。

TIMEOUT が頻繁に起こる場合には、CITS または CDTS RDO TRANSACTION 定義の DTIMOUT の値を増やすことを考慮してください。このトランザクションがタイムアウトにならないようにするには、CITS または CDTS RDO TRANSACTION 定義で DTIMOUT(NO) を指定してください。ただし、このシステムのストレージが不足している場合、除去可能なタスクを伴わずに多くの CITS タスクが同時に実行されていると、デッドロックを引き起こす場合があります。

CFTS および CMTS が、DTIMOUT パラメーターをもっておらず、またこのパラメーターを指定してはならないことに注意してください。これは、CFTS と CMTS がウォーム・リスタートまたは緊急再始動の後に一度だけしか実行されず、タイムアウトにすることができないためです。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, trandid, abend*

#### DFHZC6910W *date time applid Install for remote terminal termid failed.*

説明: リモート端末 *termid* の INSTALL が失敗しました。この障害が起きた理由は、関連する DFHZC59xx および DFHZC62xx メッセージに示されています。

システムの処置: DFHZATS は CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、関連メッセージを参照してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

#### DFHZC6911W *date time applid Delete for remote terminal termid failed.*

説明: リモート端末 *termid* の DELETE が失敗しました。原因としては、この端末がすでに削除されていたか、他のタスクがこの端末を使用していることが考えられます。

このメッセージが何度も繰り返される場合は、さらに重大な問題が起きていることが考えられます。

システムの処置: このメッセージが、メッセージ DFHZC6912 とともに出された場合には、CICS は正常に継続します。メッセージ DFHZC6912 が出されなかった場合には、DFHZATS が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージが、メッセージ DFHZC6912

とともに出された場合には、処置は必要ありません。メッセージ DFHZC6912 が出されなかった場合には、関連する DFHZC59xx および DFHZC62xx メッセージを参照して、DELETE 障害が起きた理由を調べてください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

#### DFHZC6912I *date time applid Unable to delete remote terminal.*

説明: このメッセージは、ウォーム・リスタートまたは緊急再始動に続く、リモート端末の大量削除の間に出されます。削除のフラグが付けられた端末を、削除することができませんでした。他のタスクがすでにこの端末を削除していたことが考えられます。

関連した DFHZC6911 メッセージにこの端末の ID が示されます。このメッセージが、障害の原因を示す 1 つまたは複数の DFHZC59xx および DFHZC62xx メッセージと一緒に出される場合があります。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、関連メッセージを参照してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid*

#### DFHZC6913I *date time applid Remote delete of terminal termid failed. Terminal not found.*

説明: リモート DELETE を、すでに別のタスクによって削除された端末に対して行おうとしました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid*

#### DFHZC6914E *date time applid Autoinstall for Terminal termid, Netname netname failed. Bad Return Code (RC = X'retcode' ) from internal function call.*

説明: 内部関数呼び出しに失敗したため、TCTTE 作成処理が失敗しました。

システムの処置: 端末自動インストール処理が失敗します。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: ログオンを再試行してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname, X'retcode'*

**DFHZC6915E** *date time applid* Unable to sign off remote terminal *termid*. Bad Return Code (RC = *X'snus\_response'* ) from signon domain call.

説明: CRTE のもとで実行されているリモート端末セッションのサインオフ処理の間に、DFHZATS による関数 SIGNOFF\_TERMINAL\_USER の呼び出しで、予期しない応答 (INVALID、DISASTER または EXCEPTION) が受け取られました。

システムの処置: 端末サインオフ処理は完了できず、端末ユーザーはサインオンしたままになります。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATS

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, termid, X'snus\_response'*

**DFHZC6920E** *date time applid* APPC autoinstall for NETNAME *netname* failed. RC *x*

説明: APPC NETNAME *netname* をインストールするための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。自動インストール制御プログラムに対する自動インストール・プログラム呼び出しが、戻りコード *x* で失敗しました。

戻りコードは、プログラム・マネージャー LINK\_URM の応答および理由からマップされます。障害についてのさらに正確な理由は、トレース・ポイント PG 0A02 から知ることができます。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: どのような応答が適切かは、以下のように戻りコードによって異なります。

- 1 ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で連絡する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に連絡されるようにしてください。
- 2 ユーザー出口プログラムに PPT 項目がありません。ユーザー出口プログラムの PPT 項目が存在し、しかも有効であるようにしてください。
- 3 ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが正しい名前を持っており、それが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つに含まれるようにしてください。
- 4 ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。
- 5 何か他の理由により、ユーザー出口プログラムのロードが失敗しました。DFHPGLU 出口トレース項目 (PG 0A02) を検査して、プログラム・マネージャーがプログラムをロードできなかった理由を調べてください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, x*

**DFHZC6921W** *date time applid* Autoinstall for NETNAME *netname* has been disallowed by the autoinstall control program. Code *X'code'*

説明: CICS に認識されていない APPC 接続で、CICS への接続を試みました。しかし、自動インストール制御プログラムによって、インストールを継続できないことを示す非ゼロ戻りコードが戻されました。

APPC 自動インストールがサポートされていない場合には、自動インストール制御プログラム (デフォルトの名前は DFHZATDX です) が自動的に非ゼロ戻りコードを戻して、この機能の使用を許可しません。

システムの処置: 例外トレース項目 *code* は、自動インストール制御プログラムのパラメーター・リストを示しています。セッションは終了します。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 障害コード *X'code'* は、以下のとおりです。**X'FA07'** APPC 自動インストールがサポートされていない場合は、*netname* を使用して、どの装置が自動インストールを試みているかを判別してください。

APPC 自動インストールがサポートされている場合は、自動インストール制御プログラムを調べて、インストールを許可する戻りコードが設定されなかった理由を判別してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZGAI

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, X'code'*

**DFHZC6922E** *date time applid* Parameter list error during autoinstall for NETNAME *netname*. Code *X'code'*

説明: CICS に認識されていない APPC 接続で、CICS への接続を試みました。しかし、自動インストール制御プログラムから、無効なパラメーターか、使用されている無効なテンプレートにつながったパラメーターが戻されました。

システムの処置: 例外トレース項目 *code* は、自動インストール制御プログラムのパラメーター・リストを示しています。セッションは終了します。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 障害コード *X'code'* は以下のいずれかです。

**X'FA08'** ネット名またはシステム識別名がテンプレートに提供されていません。自動インストール制御プログラムを変更して、ネット名かシステム識別名を提供してください。

**X'FA09'** 新しい接続のシステム識別名に無効文字があります。システム識別名には、A から Z、a から z、0 から 9 および \$ # @ (ここで、\$ は X'5B') だけしか使用できません。自動インストール制御プログラムの中で接続名を再定義してください。

**X'FA0A'**

新しい接続のシステム識別名がすでに存在しています。自動インストール制御プログラムを変更して、固有の名前を与えてください。

**X'FA0B'** CICS が、提供されたテンプレートのネット名を見つけることができません。自動インストール制御プロ

グラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレート接続をインストールしてください。

**X'FA0C'**

CICS が、提供されたテンプレートのシステム識別名を見つけないことがあります。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレートのシステム識別名を提供するか、CEDA を使用してテンプレート接続をインストールしてください。

**X'FA0D'**

テンプレートが APPC 接続ではありません。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレートを正しく再インストールしてください。

**X'FA0E'** 並列セッション接続が必要であることを、バインドが示しています。テンプレートは単一セッション接続です。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレートを正しく再インストールしてください。

**X'FA0F'** 単一セッション接続が必要であることを、バインドが示しています。テンプレートは並列セッション接続です。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレートを正しく再インストールしてください。

**X'FA10'** バインド内のモードネームが接続内のモードネームと一致していません。

並列セッションの場合は、SNASVCMG モードグループが欠落しています。テンプレートのインストールは失敗した可能性があります。テンプレート名に言及している CADL メッセージがないか調べてください。テンプレート接続は破壊された可能性があります。テンプレートの再インストールを試みてください。

単一セッションの場合は、ユーザーのモードグループ名が一致していません。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレートを正しく再インストールしてください。

**X'FA11'** テンプレートに INQUIRE を試みたプログラムが、テンプレート内でエラーを検出し、新しい接続のインストールに使用する BPS を作成することができません。この問題は、テンプレートの初期インストールの失敗が原因である可能性があります。コンソールと CADL ログを調べて、テンプレートが正しくインストールされているかどうかを判別してください。また、CEMT を使用して、CONNECTION が正しいことを確認してください。

**X'FA12'** 指定されたテンプレートのユーザー・モードグループに INQUIRE を試みたプログラムが、テンプレート内でエラーを検出し、ユーザー・モードグループのインストールに使用する BPS を作成することができません。この問題は、テンプレートの初期インストールの失敗が原因である可能性があります。コンソール

と CADL ログを調べて、テンプレートが正しくインストールされているかどうかを判別してください。また、CEMT を使用して、MODEGROUP が正しいことを確認してください。

**X'FA13'** テンプレート接続にユーザー・モードグループがありません。この問題は、テンプレートの初期インストールの失敗が原因である可能性があります。コンソールと CADL ログを調べて、テンプレートが正しくインストールされているかどうかを判別してください。また、CEMT を使用して、MODEGROUP が正しいことを確認してください。

**X'FA14'** テンプレート接続は使用できない状態であるため、このインストールは継続できません。インストールの継続が許可されていなければならない場合には、CEMT を使用して、関係のあるテンプレート接続を使用できる状態にしてください。

**X'FA15'** 着信バインド・ユーザー・データに、PLUNAME ネットワーク名サブフィールド (id 04) がありません。このサブフィールドは必要なもので、PLU がこれを提供している必要があります。

**X'FA16'** 着信バインド・ユーザー・データに、MODENAME ネットワーク名サブフィールド (id 02) がありません。このサブフィールドは必要なもので、PLU がこれを提供している必要があります。

宛先: CADL

モジュール: DFHZGAI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, X'code'*

---

**DFHZC6923E** *date time applid* **Unacceptable bind parameter during autoinstall for NETNAME netname. Code X'code'**

説明: CICS が、認識されていない APPC ノードから BIND を受け取りました。自動インストール処理は開始されましたが、無効なバインド・パラメーターが検出されました。エラーのあるパラメーターは、障害コード *X'code'* で示されます。それは以下のいずれかです。

**X'FA18'** バインド・ユーザー・データにセッション・インスタンス ID フィールドがありませんでした。

**X'FA19'** バインド・ユーザー・データに 1 次論理装置 (PLU) 名がありませんでした。

**X'FA1A'** バインド・ユーザー・データ内の PLU 名は、この CICS の LU 名と同一です。

**X'FA1B'** バインド・ユーザー・データ内でセキュリティ情報 (暗号化シード) が予期されましたが、同データ内に存在しません。

**X'FA1C'** セキュリティ情報 (暗号化シード) がバインド・ユーザー・データ内で検出されましたが、その長さが大きすぎて有効ではありません。

**X'FA1D'** 何も予期されていなかったのに、バインド・ユーザー・データ内でセキュリティ情報 (暗号化シード) が検出されました。

**X'FA1E'** 折衝可能ではなかったことを示すバインドを受け取りました。このバインドを、APPC 接続が受け入れることはできません。

**X'FA1F'** 1 次 RU サイズにゼロが指定されたバインドを受け取りました。

**X'FA20'** 2 次 RU サイズにゼロが指定されたバインドを受け取りました。

**X'FA21'** 矛盾したアクセス・セキュリティ標識を持つバインドを受け取りました。

**X'FA22'** 受け取った BIND 内で、予期されたのは 1 つだったにもかかわらず、2 つのセキュリティ情報フィールド (シード・フィールドおよび臨時フィールド) が検出されました。

**X'FA23'** 誤った長さの臨時フィールドを含んだ BIND を受け取りました。

**X'FA24'** 臨時フィールドを含まない BIND を受け取りました。

**X'FA25'** セキュリティ機構のフィールド長がアーキテクチャーで定義されている最短の長さよりも短い BIND を受け取りました。

**X'FA26'** セキュリティ機構フィールドに機構 ID フィールドには無効な長さが含まれている BIND を受け取りました。

システムの処置: トレース・ポイント ID 'AP xxxx' (ここで xxxx は X'code') を持つ例外トレース項目によって、受け取ったバインドが示されます。セッションは終了します。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 接続側の LU の定義を変更して、バインド・パラメーターを CICS が受け入れることができるようにしてください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZGAI

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, X'code'*

---

**DFHZC6935I** *date time applid* **Autoinstall for restype resid with NETNAME netname using model or template model successful.**

説明: CICS が、モデルまたはテンプレート *model* を使用して、NETNAME *netname* のリソース *restype resid* を正常にインストールしました。*restype* は、端末または APPC 接続のどちらが自動インストールされたかによって、TERMINAL または CONNECTION になります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, restype, resid, netname, model*

---

**DFHZC6936I** *date time applid* **Autoinstall for NETNAME netname, model\_name modelname in MTS control vector not known to CICS.**

説明: VTAM MTS 制御ベクトルが、CICS に対して定義されていないモデル名 *modelname* を含んでいました。

システムの処置: CICS を続行します。これは通知メッセージなので、

ユーザーの処置: この問題を訂正するには、4 つの方法が考えられます。

- CEDA トランザクションを使用して、自動インストール・モデルの定義およびインストールを行う。
- VTAM MTS MDLTAB MODEL= 項目を、既存の自動インストール・モデルの名前に変更する。
- 既存の自動インストール・モデルを定義する MODEL= パラメーターを使用して、CICS に対してログオンする。
- 自動インストール・ユーザー・プログラムをコーディングする。例は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA カスタマイズの手引き」にあります。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, modelname*

---

**DFHZC6937I** *date time applid* **Autoinstall for NETNAME netname, MTS model modelname and bind image mismatch.**

説明: 印刷されたモデル名を使用して自動インストールが試みられました。(CICS モデル定義からの) MODEL BIND は、CINIT 内の着信バインドと一致しませんでした。

MISMATCH\_BITS は、どのバインド・ビットが一致しなかったかを示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: この問題を訂正するには、4 つの方法が考えられます。

- CICS 自動インストール MODEL *modelname* を変更して、入力 CINIT と一致するバインドを作成する。
- MTS MDLTAB MODEL= 項目を、この端末用の LOGMODE に定義された CINIT に一致するバインドを持っている、CICS に対して定義されたモデル名に変更する。
- この端末用の VTAM LOGMODE を変更して、選択した CICS MODEL\_BIND に一致させる。
- 自動インストール・ユーザー・プログラムをコーディングする。例は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA カスタマイズの手引き」の「サンプル・プログラムとサンプル集」にあります。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, modelname*

---

**DFHZC6939W** *date time applid* **Autoinstall for NETNAME netname, Invalid length nn found in cinit control vector at offset offset**

説明: CINIT 内の制御ベクトルの形式に関する CICS の検査が失敗しました。

*offset* は、障害発生最初のポイントを示しています。これは、128 を超える長さフィールド、もしくは CICS が CINIT ベクトルまたはサブベクトルの終わりをオーバーランするような長さフィールドのいずれかを示しています。

これは、CINIT RU の形式が正しくない (したがって、おそらく VTAM 論理エラー) か、または DFHZATD による CINIT RU の解析が正しくない (これは、CICS 論理エラー) ことが原因です。

システムの処置: CICS を続行します。ログオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 拒否されたすべてのログオン要求について、自動インストール・プログラムが取り込んだ CINIT RU の形式を検査してください。CICS の検査が許されているので、障害発生の最初のポイントは、*offset* か、またはそれ以前である可能性があります。

この形式が正しくない場合には、無効な CINIT の発生元を追跡し、そこで問題を解決してください。

その形式が正しい場合には、これは CICS 論理エラーです。この場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, nn, offset*

#### DFHZC6942W *date time applid* Autoinstall for resource resid failed.

説明: 端末 *termid* をインストールするための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 失敗の原因については、同じ *termid* を含んでいる前のメッセージを探してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, resource, resid*

#### DFHZC6943W *date time applid* Autoinstall delete for terminal *termid*, NETNAME *netname* failed.

説明: 端末 *termid* を削除するための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 失敗の原因については、同じ *termid* を含んでいる前のメッセージを探してください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATD

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname*

#### DFHZC6944W *date time applid* Autoinstall for NETNAME *netname* failed with RC= *x*

説明: 端末 *termid* をインストールするための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。ユーザー出口プログラムに対する自動インストール・プログラム呼び出しが、戻りコード *x* で失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因およびその解決策の指

針については、以下の戻りコードの意味に関するリストに示してあります。

- 1 ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で関係する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に関係されるようにしてください。
- 2 ユーザー出口プログラムに PPT 項目がありません。ユーザー出口プログラムの PPT 項目が存在し、しかも有効であるようにしてください。
- 3 ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが正しい名前を持っており、それが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つに含まれるようにしてください。
- 4 ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, x*

#### DFHZC6945W *date time applid* Autoinstall delete for NETNAME *netname* failed with RC= *x*

説明: 端末 *termid* をインストールするための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。DFHZATA は DELETE するためにユーザー出口プログラムを呼び出しましたが、ユーザー出口は、戻りコード *x* に示された理由により失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因およびその解決策の指針については、以下の戻りコードの意味に関するリストに示してあります。

- 1 ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で関係する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に関係されるようにしてください。
- 2 ユーザー出口プログラムに PPT 項目がありません。ユーザー出口プログラムの PPT 項目が存在し、しかも有効であるようにしてください。
- 3 ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが正しい名前を持っており、それが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つに含まれるようにしてください。
- 4 ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, netname, x*

---

**DFHZC6946W** *date time applid Delete user exit for  
autoinstalled terminal termid, NETNAME  
netname failed with RC= x*

説明: CICS は、自動インストールされた端末 *termid* を削除しました。削除ユーザー出口プログラムの呼び出しが、戻りコード *x* に示された理由により失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因およびその解決策の指針については、以下の戻りコードの意味に関するリストに示してあります。

- 1 ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で連絡する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に連絡されるようにしてください。
- 2 ユーザー出口プログラムに PPT 項目がありません。ユーザー出口プログラムの PPT 項目が存在し、しかも有効であるようにしてください。
- 3 ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが正しい名前を持っており、それが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つに含まれるようにしてください。
- 4 ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATD

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, netname, x*

---

**DFHZC6950W** *date time applid Autoinstall for terminal  
termid failed with RC= x.*

説明: 端末 *termid* をインストールするための

AUTOINSTALL の試みが失敗しました。ユーザー出口プログラムに対する自動インストール・プログラム呼び出しが、戻りコード *x* で失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因とその解決方法は次のとおりです。

戻りコード

意味と解決策

- 1 ユーザー出口プログラムが AMODE(31) で連絡していません。ユーザー出口が正しい AMODE に連絡されるようにしてください。
- 2 ユーザー出口プログラムに PPT 項目がありません。ユーザー出口プログラムの PPT 項目が存在し、しかも有効であるようにしてください。
- 3 ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが正しい名前を持っており、それが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つに含まれるようにしてください。
- 4 ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, x*

---

**DFHZC6951W** *date time applid Autoinstall for terminal  
termid failed with RC= x.*

説明: 端末 *termid* をインストールするための

AUTOINSTALL の試みが失敗しました。ユーザー出口プログラムに対する自動インストール・プログラム呼び出しが、戻りコード *x* で失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因とその解決方法は次のとおりです。

戻りコード

意味と解決策

- 1 ユーザー出口プログラムが AMODE(31) で連絡していません。ユーザー出口が正しい AMODE に連絡されるようにしてください。
- 2 ユーザー出口プログラムに PPT 項目がありません。ユーザー出口プログラムの PPT 項目が存在し、しかも有効であるようにしてください。
- 3 ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが正しい名前を持っており、それが、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーの 1 つに含まれるようにしてください。
- 4 ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATMD

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, termid, x*

---

**DFHZC6958W** *date time applid Autoinstall for NETNAME  
netname, terminal X'termid' failed.  
{TERMINAL | PRINTER | ALTPRINTER}  
ID is invalid. RC=n.*

説明: AUTOINSTALL 出口プログラムによって提供された端末、印刷装置または代替印刷装置 ID が無効です。戻りコード *n* は次のいずれかです。

- 1 桁目に無効なブランク
- 2 無効な組み込みブランク
- 3 無効文字の使用

システムの処置: CICS は継続しますが、オブジェクトのインストールは行われません。

ユーザーの処置: 有効文字のみが含まれる ID が作成されるように AUTOINSTALL 出口プログラムを変更してください。

有効文字は、「CICS Transaction Server for VSE/ESA 資源定義の手引き」に示されています。

宛先: CADL

## DFHZC6966I • DFHZE2604

モジュール: DFHZATA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, X'termid', {1=TERMINAL, 2=PRINTER, 3=ALTPRINTER}, n*

---

**DFHZC6966I** *date time applid* **Autoinstall delete for restype resid with NETNAME netname successful.**

説明: CICS は、自動インストールされたリソース *restype resid* を正常に削除しました。リソース・タイプ *restype* は、端末である場合と APPC 接続である場合があります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATD

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, restype, resid, netname*

---

**DFHZC6987W** *date time applid* **Autoinstall best failure for NETNAME netname was model\_name model.**

説明: 完全な一致が見られなかったために自動インストールの試みが失敗しました。

*netname* は、ログオンに失敗した LU のネット名です。

*model* は、最も近いモデル名です (つまり、VTAM が提供した BIND イメージと異なるビットが最も少なかったモデル名です)。

次の関連情報も、CADL に書き込まれます。

*xxxxxxx...* は、16 進数字の文字列です。ここで、*xx* は 1 バイトを表し、各バイト位置は BIND イメージでの対応するバイト位置を表します。

CINIT BIND: *xxxxxxx* は、VTAM が提供したバインド・イメージです。

MODEL BIND: *xxxxxxx* は、最良モデルです。

MISMATCH BITS: *xxxxxxx* は、上記の関連ビットとの比較を表しています。「1」に設定されたビットは、VTAM

からの BIND イメージとそのモデルに関連した BIND イメージとの間におけるミスマッチを示しています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置:

1. モデル *model* が適切であるかどうかを判断してください。オプションを備えているモデルがいくつかある (TRANSECKEYS など) 場合には、そのようなモデルのうちの最初のモデルだけが上記のメッセージに示されます。ログモード・テーブル項目が訂正されたときには、どれを選択するかはユーザー・プログラムが決めることです。
2. 使用されている VTAM ログモード・テーブル内の項目を識別してください。
3. このログモード・テーブル項目が、他のアプリケーションで正常に使用されていないかどうかを調べてください。そうしないと、この項目を変更した場合に、他のアプリケーションがこの項目を使用した際に失敗する可能性があります。
4. 一致していない文字列内の「1」ビットに対応するビットを切り替えることにより、ログモード・テーブル項目を修正してください。つまり、*xxxxxxx...* 内で「1」に設定されたビット位置に対応する VTAM バインド・イメージ内のビットが「1」の場合には、それを「0」に設定してください。そのビット位置が「0」の場合には、「1」に設定してください。

詳細については、「CICS Transaction Server for VSE/ESA カストマイズの手引き」を参照してください。

バインド・イメージ内の種々のビットの意味の詳細は、「VTAM プログラミング」で説明されています。

VTAM ログモード・テーブル項目の準備に関する詳細は、「VTAM 資源定義解説書」で説明されています。

宛先: CADL

モジュール: DFHZATA

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, netname, model*

---

## DFHZExxxx メッセージ

---

**DFHZE2600** **Syst.sense** *sysysense,termid,taskid*, **Unidentified sense information**

説明: エラー・メッセージ書き込み機能 (DFHEMW) はエラー・メッセージを送信するようスケジュールされましたが、システム・センス・コードを識別できませんでした。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、この前に出されている関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZEMW

宛先: 端末エンド・ユーザー

---

**DFHZE2604** **Syst.sense** **0811**,*termid,taskid*, **Unprocessed data at detach**

説明: 切り離されるタスクは、インバウンド・データ・チェーンを完全には処理しませんでした。

システムの処置: チェーン終了 (EOC) または CANCEL を受け取るまで、データの削除が行われます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZDET

宛先: 端末エンド・ユーザー



## DFHZNxxxx メッセージ

**DFHZN2101** *date time applid Intersystem session failure.*  
**Data base changes may be out of sync.**  
**Time** *time*. **Remote system**=*sysid*.  
**Intersystem terminal**=*termid*.  
**Transaction**=*trandid*. **Task number**=*taskno*.  
**Operator terminal**=*termid*. **Operator**=*operid*.  
**Unit of work ID**=*uowid*. (**Module name**:*xxxx*)

説明: 同期点処理の重要な時点で、システム間セッションが失敗しました。片側で完了し、他方の側でバックアウトが行われたため、変更の同期がとれていない状態になった可能性があります。このことは、セッション・リカバリー時に検査され、次のメッセージのいずれか 1 つが出されます。

DFHZN2102

DFHZN2103

DFHZN2104

DFHIR2122 (MRO リンクの場合)

DFHIR2123 (MRO リンクの場合)

DFHIR2124 (MRO リンクの場合)

元の障害情報には、このメッセージとその後続メッセージとの相互関係が示されます。UOWID は、これらのメッセージと、同期がとれていない可能性のあるリソースを示しているジャーナル・レコードと関連付けるのに使用できます。UOWID は、LU6.1 接続では伝送されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: データの保全性を維持するためのユーザー定義の処置があれば、リモート・データとローカル・データの同期がとれるまで、その処置を実行してください。

モジュール: DFHSPP、DFHTCBP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, trandid, taskno, termid, operid, uowid, xxxx*  
宛先: CSMT

**DFHZN2102** *date time applid Intersystem session recovery.*  
**Data base changes found to be synchronized. Original failure details:** *time*.  
**Remote system**=*sysid*. **Intersystem terminal**=*termid*. **Transaction**=*trandid*. **Task number**=*taskno*. **Operator terminal**=*termid*. **Operator**=*operid*. **Unit of work ID**=*uowid*. (**Module name**:*xxxx*)

説明: システム間セッション・リカバリーが正常に行われました。システム間セッション・リカバリー時にエラーが発生しましたが、現在は正常にリカバリーされ、再同期も行われました。このメッセージは、通常、(同期点処理時の重大なときにセッションが失敗した場合に) 失敗の時点で出された可能性があるメッセージ DFHZN2101 の後に出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSPP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, trandid, taskno, termid, operid, uowid, xxxx*  
宛先: CSMT

**DFHZN2103** *date time applid Intersystem session recovery.*  
**Data base changes found to be out of sync. Original failure details:** *time*. **Remote system**=*sysid*. **Intersystem terminal**=*termid*. **Transaction**=*trandid*. **Task number**=*taskno*. **Operator terminal**=*termid*. **Operator**=*operid*. **Unit of work ID**=*uowid*. (**Module name**:*xxxx*)

説明: 再同期では、作業論理単位と関連したローカル・リソースが、リモート・リソースと同期のとれていない状態にあることが診断されました。

このメッセージは、メッセージ DFHZN2101 の後に出されることがあります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・データベースおよびリモート・データベースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHSPP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, trandid, taskno, termid, operid, uowid, xxxx*  
宛先: CSMT

**DFHZN2104** *date time applid Intersystem session recovery error. Data base changes may be out of sync. Original failure details:* *time*. **Remote system**=*sysid*. **Intersystem terminal**=*termid*. **Transaction**=*trandid*. **Task number**=*taskno*. **Operator terminal**=*termid*. **Operator**=*operid*. **Unit of work ID**=*uowid*. (**Module name**:*xxxx*)

説明: このエラーには以下の原因が考えられます。

- ローカル・システムおよびリモート・システムにおける LUW の無効な組み合わせ、または
- 接続を設定する (NOTPENDING) ことにより、ローカル・システムでの再同期活動を優先使用するという決定

セッション・リカバリー時にデータベース変更の同期がとれていないかどうかをシステムが見つめることができなかった場合、メッセージ DFHZN2101 の後にこのメッセージが出されることがあります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要なデータベース照会を行い、変更の同期がとれているかを調べてください。同期がとれていない場合は、適切なユーザー定義の処置を実行して、データベースを再同期化してください。

モジュール: DFHSPP

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, trandid, taskno, termid, operid, uowid, xxxx*  
宛先: CSMT

**DFHZN2105** *date time applid Intersystem session failure.*  
**Data base changes will not be committed or backed out until session recovery.**  
**Time=***time*. **Remote system=***sysid*.  
**Intersystem terminal=***termid*.  
**Transaction=***tranid*. **Task number=***taskno*.  
**Operator terminal=***termid*. **Operator=***operid*.  
**Unit of work ID=***uowid*. (Module name: *xxxx*)

説明: 同期点処理の重要な時点で、システム間セッションが失敗しました。ローカル・システムには、リモート・システムがコミットしたかバックアウトしたかに関する情報があります。したがって、セッション・リカバリーが行われるまで、ローカル変更はロックされたままになります。その後、ローカル変更は、他のシステムの処置に応じてコミットされるか、またはバックアウトされます。DFHZN2106、DFHZN2107 または DFHZN2108 のいずれかのメッセージが出されます。元の障害情報には、このメッセージとその後続メッセージとの相互関係が示されます。

システムの処置: リカバリー可能なローカル変更のロックを保持します。

ユーザーの処置: 可能なかぎり速やかにセッションを再確立してください。

モジュール: DFHTCBP、DFHSPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, xxxx*  
宛先: CSMT

**DFHZN2106** *date time applid Intersystem session recovery.*  
**Suspended changes now being committed.**  
**Original failure details: Time=** *time*. **Remote system=***sysid*. **Intersystem terminal=***termid*.  
**Transaction=***tranid*. **Task number=***taskno*.  
**Operator terminal=***termid*. **Operator=***operid*.  
**Unit of work ID=***uowid*. (Module name:*xxxx*)

説明: これは、システム間セッションのリカバリー時に、メッセージ DFHZN2105 に続いて出される通知メッセージです。このメッセージは、リモート・システムが同期点を完了し、それに従ってローカル変更をコミット中であることを示します。

システムの処置: システムは、ローカル変更をコミットし、アンロックを行います。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, xxxx*  
宛先: CSMT

**DFHZN2107** *date time applid Intersystem session recovery.*  
**Suspended changes now being backed out.**  
**Original failure details: Time=** *time*. **Remote system=***sysid*. **Intersystem terminal=***termid*.  
**Transaction=***tranid*. **Task number=***taskno*.  
**Operator terminal=***termid*. **Operator=***operid*.  
**Unit of work ID=***uowid*. (Module name: *xxxx*)

説明: このメッセージは、システム間セッション・リカバリー時に、メッセージ DFHZN2105 に続いて出されるメッセージ

です。これで、リモート・システム *sysid* が作業単位を完了しなかったことが確認されました。ローカル変更はそれに従ってバックアウトされています。

システムの処置: システムは、ローカル変更をバックアウトし、アンロックを行います。

ユーザーの処置: 必要であれば、割り込まれたトランザクション *tranid* を再始動してください。

モジュール: DFHSPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, xxxx*  
宛先: CSMT

**DFHZN2108** *date time applid Intersystem session recovery.*  
**Error while local recoverable changes are suspended. Original failure details: Time=** *time*. **Remote system=***sysid*. **Intersystem terminal=***termid*. **Transaction=***tranid*. **Task number=***taskno*. **Operator terminal=***termid*.  
**Operator=***operid*. **Unit of work ID=***uowid*. (Module name: *xxxx*)

説明: このメッセージは、システム間セッション・リカバリー時に、メッセージ DFHZN2105 に続いて出されるメッセージです。Resynchronization failed. したがって、リモート・システム *sysid* がコミットされたかバックアウトされたかはまだ確認できません。

システムの処置:

1. 延期されている変更に対するロックが解放されて、ユーザー・トランザクションがアクセスできるようになります。
2. 関連した延期されている開始コマンドがある場合、それは時期尚早な処置が行われないように取り消されます。

ユーザーの処置: 割り込まれたトランザクションによって行われたローカル変更およびリモート変更が有効になったかどうかを知るために、データを調べてください。整合性をリストアするために必要な変更を行ってください。

モジュール: DFHSPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, uowid, xxxx*  
宛先: CSMT

**DFHZN2110** *date time applid Abnormal reply to exchange log name command received from system: xxxxxx .*

説明: このメッセージは、ログ名交換コマンドの応答として異常応答があったときに送られます。ログ名交換コマンドは、セッション障害の後か、またはシステム再始動後の最初のセッション開始時に送信されます。異常応答の内容としては、相手方のシステムがウォーム/コールド・スタートの不一致またはログ名の不一致を見つけたことが考えられます。

システムの処置: 同期点レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

ユーザーの処置: どちらのシステムもコールド・スタート (緊急再始動またはそれに相当するものではなく) されなかったこと、また正しいログが使用されたことを確認してください。

この問題を解決するには 2 つの方法があります。

- どちらのシステムも、正しいシステム・ログを使用して緊急再始動する。
- 障害の起きた接続に関して CEMT SET CONN(yyyy) NOTPENDING コマンドを出すことで、エラー状態をオーバーライドする。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

モジュール: DFHSPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xxxxxx*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHZN2111** *date time applid Cold/Warm restart mismatch with system sysid.*

説明: ログ名交換コマンドに対する応答として、コールド・スタート指示を受け取りました。しかし、このシステムには、前回の実行からの再同期化を必要とする作業単位があります。ログ名交換コマンドは、セッション障害の後か、またはシステム再始動後の最初のセッション開始時に送信されます。システムの処置: 同期点レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには 2 つの方法があります。

- 正しいシステム・ログを使用してリモート・システムを緊急再始動する。
- 障害の起きた接続に関して CEMT SET CONN(yyyy) NOTPENDING コマンドを出すことで、エラー状態をオーバーライドする。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

モジュール: DFHSPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sysid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHZN2112** *date time applid Log name mismatch with system sysid Expected LUNAME.LOGNAME xxxx Received LUNAME.LOGNAME yyyy.*

説明: このシステムに記憶されている相手方システムのログが、再同期化のために使用中の相手方システムのログ名と一致しません。

システムの処置: 同期点レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには 2 つの方法があります。

- 正しいシステム・ログを使用してリモート・システムを緊急再始動する。

- 障害の起きた接続に関して CEMT SET CONN(yyyy) NOTPENDING コマンドを出すことで、エラー状態をオーバーライドする。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

モジュール: DFHSPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sysid, xxxx,*

*yyyy*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHZN2113** *date time applid Log name mismatch with system xxxx. Local LOGNAME yyyy . Received LOGNAME zzzz .*

説明: システム xxxx は、このシステムのログ名 (yyyy) に関するリモート・システムのメモリー (zzzz) を含んでいるログ名交換要求を送信しました。

このシステムは、ログ名のミスマッチを検出しました。これは、システム xxxx およびこのシステムは再同期用の正しいログを持たないことを示します。

システムの処置: ローカル・システムは、要求に対して異常ログ名交換応答を送信します。同期点レベル 2 のタスク生成は禁止されています。つまり、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられています。

ユーザーの処置: この問題を解決するには 2 つの方法があります。

- どちらのシステムも、正しいシステム・ログを使用して緊急再始動する。
- 障害の起きた接続に関して CEMT SET CONN(yyyy) NOTPENDING コマンドを出すことで、エラー状態をオーバーライドする。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

モジュール: DFHSPP

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, xxxx, yyyy,*

*zzzz*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHZN2131** *date time applid Intersystem session failure during CICS synclevel one commit. Data base changes may be out of sync. Time time. Remote system=sysid. Intersystem terminal=termid. Transaction=tranid. Task number=taskno. Operator terminal=termid. Operator=operid. (Module name:xxxx)*

説明: CICS アプリケーションが APPC 同期レベル 1 を使用して、リモート機能シブ・リソースを処理していました。このアプリケーションが (暗黙的または明示的に) 同期点をと

り、その結果、すべてのローカル・リソースおよび同期レベル 2 パートナーがコミットされました。しかし、同期レベル 1 コミット処理時の重要な時点で、セッション障害が起り、同期レベル 1 機能シブ・リソースは正常にコミットされたか、あるいはバックアウトされた可能性もあります。

システムの処置: CICS 同期レベル 1 のコミット処理は続行されます。この処理の続行は、できるだけ多くの同期レベル 1 のリソースをコミットすることを目的としています。APPC 同期レベル 1 の場合、CICS は、状況をそれ以上解決しようとはしません。

同期点が完了したら、CICS は、ユーザー・タスクを異常終了し、異常終了コード ASPK が出力されます。

ユーザーの処置: リモート機能シブ・リソースが同期のとれていない状態にないかどうか判別してください。とられる処置は、ローカル手順ならびにそのアプリケーション・プログラムの設計によって異なります。例えば、アプリケーションを再実行することは可能ですが、リモート・リソースに対して更新を行う場合だけです。分散環境での設計に関する考慮事項については、「CICS TS Intercommunication Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSPZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, xxxx*

宛先: CSMT

**DFHZN2132** *date time applid Rollback received in response to CICS synclevel one commit. Data base changes are out of sync. Time time. Remote system=sysid. Intersystem terminal=termid. Transaction=tranid. Task number=taskno. Operator terminal=termid. Operator=operid. (Module name:xxxx)*

説明: CICS アプリケーションが APPC 同期レベル 1 を使用して、リモート機能シブ・リソースを処理していました。このアプリケーションが (暗黙的または明示的に) 同期点をとると、その結果、すべてのローカル・リソースおよび同期レベル 2 パートナーがコミットされました。しかし、コミット・メッセージを同期レベル 1 の機能シブ・リソースに送ったときに、そのリソースはバックアウトされることになりました。システムの処置: 同期レベル 1 のコミット処理は、できるだけ多くの同期レベル 1 のリソースをコミットする目的で続行されます。APPC 同期レベル 1 の場合、CICS は、状況をそれ以上解決しようとはしません。

同期点が完了したら、CICS は、ユーザー・タスクを異常終了し、異常終了コード ASPK が出力されます。

ユーザーの処置: とられる処置は、ローカル手順ならびにそのアプリケーション・プログラムの設計によって異なります。例えば、アプリケーションを再実行することは可能ですが、リモート・リソースに対して更新を行う場合だけです。分散環境での設計に関する考慮事項については、「CICS TS Intercommunication Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSPZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, xxxx*

宛先: CSMT

**DFHZN2133** *date time applid Error detected during CICS synclevel one commit. Reason code rc. Data base changes may be out of sync. Time time. Remote system=sysid. Intersystem terminal=termid. Transaction=tranid. Task number=taskno. Operator terminal=termid. Operator=operid. (Module name:xxxx)*

説明: CICS アプリケーションが APPC 同期レベル 1 を使用して、リモート機能シブ・リソースを処理していました。このアプリケーションが (暗黙的または明示的に) 同期点をとると、その結果、すべてのローカル・リソースおよび同期レベル 2 パートナーがコミットされました。しかし、コミット・メッセージを同期レベル 1 の機能シブ・リソースに送ったときに、応答によりエラーが起こったことが示されました。理由コードは、エラーの詳細を示し、以下の値を取ります。

- 01 パートナー・システムによるプロトコル違反 - 予期しない FMH データ
- 02 パートナー・システムによるプロトコル違反 - 予期しない同期点メッセージ・データ
- 03 異常終了が受け取られた
- 04 デッドロックまたは読み取りタイムアウト

システムの処置: CICS 同期レベル 1 のコミット処理は続行されます。この処理の続行は、できるだけ多くの同期レベル 1 のリソースをコミットすることを目的としています。

理由コード 01 の場合、ダンプ・コード ASPI のトランザクション・ダンプがとられます。理由コード 02 の場合、ダンプ・コード ASPJ のトランザクション・ダンプがとられます。同期点が完了したら、CICS は、ユーザー・タスクを異常終了し、異常終了コード ASPK が出力されます。

ユーザーの処置: とられる処置は、ローカル手順によって異なります。

理由コード 01 および 02 の場合には、ダンプを調べて、パートナーから何のメッセージ・データが受け取られたかを判別してください。この情報は、端末入出力域のいずれかに保持されます。通信システムにおける障害が、データの破壊を引き起こした可能性があります。

理由コード 03 は、パートナー・システムが異常終了を送ったことを示しています。調べる必要があるエラーがパートナー・システムにあります。

理由コード 04 は、同期レベル 1 コミットに対するパートナー・システムの応答が長くかかりすぎたことを示しています。リモート・システムまたは通信システムに問題が生じた可能性があります。これが再発しないように、デッドロック・タイムアウト値または読み取りタイムアウト値を大きくしなければならぬ可能性があります。

モジュール: DFHSPZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, rc, time, sysid, termid, tranid, taskno, termid, operid, xxxx*

宛先: CSMT

---

**DFHZN2134** *date time applid* **An error has occurred while sending an Exchange Log Names request on session sessid to remote system sysid.**

説明: リモート・システムへのログ名交換要求の伝送時に、エラーが起きました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムは、ローカル・システムのログ名交換汎用データ・ストリーム (GDS) 変数にプロトコル違反があることを検出した。
- CICS APPC 処理に内部エラーがあった。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

多くの場合、CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。しかし、この障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、ローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられる結果になった可能性があります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(xxxx) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合には、障害を起こした接続に関して CEMT SET CONN(xxxx) NOTPENDING コマンドを出すことで、そのエラー状態をオーバーライドすることができます。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインと端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

このメッセージから、どの APPC セッションがこのログ名交換会話に使用されていたかを判別してください。

内部トレース・テーブルが使用可能な場合は、それを使用してセッションに対して出されたコマンドをトラックし、ユーザー状態マシンの状態遷移が正しいかどうかを調べてください。状態遷移が無効である場合は、CICS 論理エラーが起きた可能性があります。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。問題のセッションの送信/受信バッファを見つけ、バッファの内容が正しいかどうかを調べてください。バッファの内容は、エラーが検出される正確な

ポイントによって異なり、付加 FMH5 およびログ名交換 GDS 変数を含んでいる場合があります。それらの SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA Formats」で説明されています。

リモート・システムのログを調べてください。プロトコル違反がローカル・システムのログ名交換 GDS 変数で検出された場合には、リモート・システムが診断情報そのものを生成している可能性があります。この情報は、プロトコル違反の原因を診断するのに役立つことがあります。

モジュール: DFHSPZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sessid, sysid*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHZN2135** *date time applid* **An error has occurred while sending a Compare States request on session sessid to remote system sysid.**

説明: リモート・システムへの状態比較要求の伝送時に、エラーが起きました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムが、ローカル・システムのログ名交換 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。
- リモート・システムが、ローカル・システムの状態比較 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。
- CICS APPC 処理に内部エラーがあった。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを押ししない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

多くの場合、CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。しかし、この障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、ローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられる結果になった可能性があります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(xxxx) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合には、障害を起こした接続に関して CEMT SET CONN(xxxx) NOTPENDING コマンドを出すことで、そのエラー状態をオーバーライドすることができます。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインと端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

## DFHZN2136 • DFHZN2137

このメッセージから、どの APPC セッションがこの状態比較会話に使用されていたかを判別してください。

内部トレース・テーブルが使用可能な場合は、それを使用してセッションに対して出されたコマンドをトラックし、ユーザー状態マシンの状態遷移が正しいかどうかを調べてください。状態遷移が無効である場合は、CICS 論理エラーが起きた可能性があります。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。問題のセッションの APPC 送信/受信バッファを見つけ、バッファの内容が正しいかどうかを調べてください。バッファの内容は、エラーが検出される正確なポイントによって異なり、付加 FMH5、ログ名交換 GDS 変数、および状態比較 GDS 変数を含んでいる場合があります。それらの SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA Formats」で説明されています。

リモート・システムのログを調べてください。プロトコル違反がローカル・システムの再同期データで検出された場合には、リモート・システムが診断情報そのものを生成している可能性があります。この情報は、プロトコル違反の原因を診断するのに役立つことがあります。

モジュール: DFHSPZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sessid, sysid*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

### DFHZN2136 *date time applid* An error has occurred while receiving an Exchange Log Names reply on session *sessid* from remote system *sysid*.

説明: リモート・システムからのログ名交換応答を受信している間に、エラーが起きました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムが、ローカル・システムのログ名交換 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。
- リモート・システムが、ローカル・システムの状態比較 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。
- CICS APPC 処理に内部エラーがあった。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

多くの場合、CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。しかし、この障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、ローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられる結果になった可能性があります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(*xxxx*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合には、障害を起こした接続に関して CEMT SET CONN(*xxxx*) NOTPENDING コマンドを出すことで、そのエ

ラー状態をオーバーライドすることができます。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインと端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

このメッセージから、どの APPC セッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

内部トレース・テーブルが使用可能な場合は、それを使用してセッションに対して出されたコマンドをトラックし、ユーザー状態マシンの状態遷移が正しいかどうかを調べてください。状態遷移が無効である場合は、CICS 論理エラーが起きた可能性があります。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。問題のセッションの APPC 送信/受信バッファを見つけ、バッファの内容が正しいかどうかを調べてください。バッファの内容は、エラーが検出される正確なポイントによって異なり、付加 FMH5、ログ名交換 GDS 変数、および状態比較 GDS 変数を含んでいる場合があります。これらの SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA Formats」で説明されています。

リモート・システムのログを調べてください。プロトコル違反がローカル・システムの再同期データで検出された場合には、リモート・システムが診断情報そのものを生成している可能性があります。この情報は、プロトコル違反の原因を診断するのに役立つことがあります。

モジュール: DFHSPZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sessid, sysid*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

### DFHZN2137 *date time applid* An error has occurred while receiving a Compare States reply on session *sessid* from remote system *sysid*.

説明: リモート・システムからの状態比較応答の受信時に、エラーが起きました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムが、ローカル・システムのログ名交換 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。
- リモート・システムが、ローカル・システムの状態比較 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。

• CICS APPC 処理に内部エラーがあった。  
システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

多くの場合、CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。しかし、この障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、同期レベル 2 のタスク生成が妨げられる結果になった可能性があります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(yyyy) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合には、障害を起こした接続に関して CEMT SET CONN(yyyy) NOTPENDING コマンドを出すことで、そのエラー状態をオーバーライドすることができます。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインと端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

このメッセージから、どの APPC セッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

内部トレース・テーブルが使用可能な場合は、それを使用してセッションに対して出されたコマンドをトラックし、ユーザー状態マシンの状態遷移が正しいかどうかを調べてください。状態遷移が無効である場合は、CICS 論理エラーが起きた可能性があります。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。問題のセッションの APPC 送信/受信バッファを見つけ、バッファの内容が正しいかどうかを調べてください。バッファの内容は、エラーが検出される正確なポイントによって異なり、付加 FMH5、ログ名交換 GDS 変数、および状態比較 GDS 変数を含んでいる場合があります。それらの SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA Formats」で説明されています。

リモート・システムのログを調べてください。プロトコル違反がローカル・システムの再同期データで検出された場合には、リモート・システムが診断情報そのものを生成している可能性があります。この情報は、プロトコル違反の原因を診断するのに役立つことがあります。

モジュール: DFHSPZ

XMEOUT パラメーター: *date, time, applid, sessid, sysid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

DFHZN2138 *date time applid* An invalid Exchange Log  
Names reply has been received on session  
*sessid from remote system sysid.*

説明: ローカル・システムは、リモート・システムから無効なログ名交換応答を受け取りました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしていました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムでのエラー
- ストレージ・オーバーレイ
- CICS 論理エラー

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

多くの場合、CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。しかし、この障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、ローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられる結果になった可能性があります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(yyyy) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合には、障害を起こした接続に関して CEMT SET CONN(yyyy) NOTPENDING コマンドを出すことで、そのエラー状態をオーバーライドすることができます。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

このメッセージから、どの APPC セッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。問題のセッションの APPC 受信バッファを見つけ、その内容を調べてください。特に、ログ名交換 GDS 変数の形式を検査してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA Formats」で説明されています。

GDS 変数の形式が間違っているため、エラーの原因を突き止める必要があります。リモート・システムが有効なログ名交換

応答を送信しなかったことが原因として考えられます。その場合、リモート・システムから、さらに診断資料を取得しなければならないことがあります。

モジュール: DFHSPZ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sessid, sysid*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHZN2139** *date time applid* **An invalid Compare States reply has been received on session *sessid* from remote system *sysid*.**

説明: ローカル・システムは、リモート・システムから無効な状態比較応答を受け取りました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムでのエラー
- ストレージ・オーバーレイ
- CICS 論理エラー

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

多くの場合、CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。しかし、この障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、これにより、ローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられることになります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(*xxxx*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合には、障害を起こした接続に関して CEMT SET CONN(*xxxx*) NOTPENDING コマンドを出すことで、そのエラー状態をオーバーライドすることができます。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

このメッセージから、どの APPC セッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCITE の下に印刷されます。問題のセッションの APPC 受信バッファを見つけ、その内容を調べてください。特に、状態

比較 GDS 変数の形式を検査してください。(この SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA Formats」で説明されています。)

GDS 変数の形式が間違っているため、エラーの原因を突き止める必要があります。リモート・システムが有効な状態比較 GDS 変数を送信しなかったことが原因として考えられます。その場合、リモート・システムから、さらに診断資料を取得しなければならないことがあります。

モジュール: DFHSPZ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sessid, sysid*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

**DFHZN2140** *date time applid* **A protocol violation has occurred while resynchronizing with remote system *sysid* via session *sessid*. The resynchronization was initiated by the local system.**

説明: ローカル・システムが、リモート・システムとの再同期中にプロトコル違反を検出しました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。再同期は、ローカル・システムによって開始されました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムでのエラー
- ストレージ・オーバーレイ
- CICS 論理エラー

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

このメッセージから、どの APPC セッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCITE の下に印刷されます。問題のセッションのバッファを見つけ、内容が正しいか検査してください。

問題のセッションの APPC 受信バッファを見つけ、その内容を調べてください。特に、状態比較 GDS 変数の形式を検査してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA Formats」で説明されています。

この GDS 変数はおそらく正しくないため、エラーの原因を突



き止める必要があります。リモート・システムが有効な状態比較応答を送信しなかったことが原因として考えられます。その場合、リモート・システムから、さらに診断資料を取得しなければならないことがあります。

GDS 変数が正しい場合には、予期しないセッション・プロトコルによってエラーが引き起こされています。この点をチェックするには、再同期フローを「SNA LU6.2 Reference: Peer Protocols」で説明されているものと比較してください。  
モジュール: DFHSPZ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, sessid*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHZN2141** *date time applid* A protocol violation has occurred while resynchronizing with remote system *sysid* via session *sessid*. The resynchronization was initiated by the remote system.

説明: ローカル・システムが、リモート・システムとの再同期中にプロトコル違反を検出しました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。再同期は、リモート・システムによって開始されました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムでのエラー
- ストレージ・オーバーレイ
- CICS 論理エラー

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

このメッセージから、どの APPC セッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。問題のセッションの APPC 受信バッファを見つけ、その内容を調べてください。特に、状態比較 GDS 変数の形式を検査してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA Formats」で説明されています。

この GDS 変数は正しくないで、エラーの原因を突き止める必要があります。リモート・システムが有効な状態比較応答を送信しなかったことが原因として考えられます。その場合、リ

モート・システムから、さらに診断資料を取得しなければならないことがあります。

モジュール: DFHSPZ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sysid, sessid*  
宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHZN2142** *date time applid* An invalid Compare States request has been received on session *sessid* from remote system *sysid*.

説明: ローカル・システムは、リモート・システムから無効な状態比較要求を受け取りました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムでのエラー
- ストレージ・オーバーレイ
- CICS 論理エラー

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

通常、この問題に関する症状ストリングが入っているメッセージ DFHME0116 が作成されます。

多くの場合、CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。しかし、この障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、これにより、ローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられることになります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(xxxx) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合には、障害を起こした接続に関して CEMT SET CONN(xxxx) NOTPENDING コマンドを出すことで、そのエラー状態をオーバーライドすることができます。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を実行しません。

CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによって提供されたシステム・ダンプや以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「CICS TS 問題判別の手引き」を参照してください。)

このメッセージから、どの APPC セッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。

問題のセッションの APPC 受信バッファを見つけ、その内容を調べてください。特に、状態比較 GDS 変数の形式を検査

## DFHZN2701

してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、「SNA *Formats*」で説明されています。

GDS 変数の形式が間違っているため、エラーの原因を突き止める必要があります。リモート・システムが有効な状態比較変数を送信しなかったことが原因として考えられます。その場合、リモート・システムから、さらに診断資料を取得しなければならないことがあります。

モジュール: DFHSPZ

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, sessid, sysid*

宛先: コンソールおよび一時データ・キュー CSMT

---

**DFHZN2701** *date time applid* **Log data sent on ISC**

**session is xxxxxxxx**

説明: これは通知メッセージです。トランザクションは、論理装置タイプ APPC と通信しています。これは、ログ・データを持っている FMH (機能管理ヘッダー) を送りました。

システムの処置: このトランザクションは処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZERH

**XMEOUT** パラメーター: *date, time, applid, xxxxxxxx*

宛先: CSNE

---

## 第 2 章 トランザクション異常終了コード (CICS Transaction Server for z/VSE)

異常条件が発生した場合、CICS はトランザクション ID、プログラム名、および異常終了コードを含むメッセージを、CSMT 一時データ宛先に送信することができます。次に、例を示します。

---

```
DFHAC2236  date time applid Transaction tranid abend
           primary abcode in program program name
           term termid backout successful. {EXCI id= }
           exci_id.condmsg
```

---

### 異常終了コード

あるいは、アクティブな EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドを組み込むことによって、アプリケーションが異常終了を代行受信することができます。実際の異常終了コードは、ABCODE オプションを指定して EXEC CICS ASSIGN コマンドを出して判別することができます。

トランザクション識別コード *tranid* は、通常、CICS に対して定義された 4 文字から成ります。しかし、トランザクションがライト・ペン、オペレーター識別 (OPID) カード読取装置、あるいは 3270 の PA キーまたは PF キー (TASKREQ= オペランドで指定) を使用して開始された場合、CICS は 1 バイトの 3270 アテンション識別 (AID) コードとそれに続く 3 バイトの X'FF' 形式で、内部トランザクション識別コードを作成します。

内部作成されたトランザクション識別コードの代わりにメッセージに実際に表示されるコードは、\*xx\* になります。ただし、xx は、3270 AID コードを文字変換したものです。あいまいさを避けるため、ユーザーはこれらのコードをトランザクション ID として使用しないようにする必要があります。

次のリストは、キー、ライト・ペン (LPA)、および OPID に対応して表示される AID コードを示しています。

PF1	*F1*	PF13	*C1*	LPA	*7E*
PF2	*F2*	PF14	*C2*	OPID	*E6*
PF3	*F3*	PF15	*C3*	PA1	*6C*
PF4	*F4*	PF16	*C4*	PA2	*6E*
PF5	*F5*	PF17	*C5*	PA3	*6B*
PF6	*F6*	PF18	*C6*		
PF7	*F7*	PF19	*C7*		
PF8	*F8*	PF20	*C8*		
PF9	*F9*	PF21	*C9*		
PF10	*7A*	PF22	*4A*		
PF11	*7B*	PF23	*4B*		
PF12	*7C*	PF24	*4C*		

異常終了コードは、CICS またはユーザー・プログラムによって生じた可能性のあるエラーの原因を示します。この章で説明している異常終了コードの大部分について、異常終了時に CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

すべての CICS トランザクション異常終了コード *abcode* は、*Axy* のような 4 文字の英数字になります。ただし、

**Aack 'M'**

IBM が割り当てた CICS トランザクション異常終了の指定です。

*xx* エラーを検出したモジュールを識別するために、CICS が割り当てた 2 文字のコードです。

*y* CICS が割り当てた 1 文字の英数字コードです。

## 情報の形式

トランザクション異常終了コードごとに、次の情報が示されます。

- メッセージが出される原因となった、またはメッセージが出された後のイベントの説明
- CICS によってとられた、またはとられることになる処置 (システム処置)
- ユーザー (コンソールまたは端末のオペレーター) に対して推奨される処置
- メッセージを送信することを決定できる 1 つ以上のモジュール (これらは、メッセージを書き出すマクロを発行できるモジュールとは限りません。)

## トランザクション異常終了コード

### AACA

説明: 無効なエラー・コードが DFHACP プログラムに渡されました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHACP

なコンテンション勝者セッションがあることを確認してください。

モードグループで稼働している場合は、そのモードグループ内で ALLOCATE 要求を満たすのに十分なコンテンション勝者セッションがあることを確認してください。

この異常終了が再発しないようにするには、トランザクションのデッドロック・タイムアウト (DTIMOUT) 値を増やすことが必要な場合があります。

モジュール: DFHALP

### AAKP

説明: CICS が DFHAK5801 メッセージをマスター端末ログに書き込もうとしている間に入出力エラーが起きました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 入出力エラーに関連するメッセージと、必要な場合には作成されたダンプも調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHAKP

### AAL2

説明: 割り振られたタスクの延期から間違った応答 (PURGED 以外の) が返されたか、またはその再開から間違った応答が返されました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 再開または延期からの戻りコードを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHALP

### AAL1

説明: DFHALP が、デッドロックした要求を処理していました。この異常終了の理由として最も考えられるのは、コンテンション勝者のリンクがないため ALLOCATE QUEUE 要求が中断されたことです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了させます。その異常終了がタイムアウトに関連していない場合に限り、ダンプがとられます。停止除去およびデッドロック・タイムアウトの場合、ダンプはとられません。

ユーザーの処置: ALLOCATE QUEUE 要求を満たすのに十分

### AAL3

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、そのタスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターにより除去された

か、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHALP

---

#### AAL4

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHALP

---

#### AAL6

説明: CRTE を実行している代理端末セッションのサインオフ中に、DFHALP による SIGNOFF\_TERMINAL\_USER に対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHALP

---

#### AAL7

説明: CRTE を実行している代理端末セッションのサインオフ中に、DFHALP によるリモート端末削除のスケジュールのための呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHALP

---

#### AALN

説明: TD マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることで、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMTD

---

#### AAMA

説明: DFHAMP に内部論理エラーがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

#### AAMC

説明: ストレージ・マネージャー・ドメインに対する

GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHAMP

---

#### AAMD

説明: DFHDMP から予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

#### AAMF

説明: カーネル (KE) ドメインに対する呼び出しの後に、予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

#### AAMG

説明: DFHAFMT に対する呼び出しの後に、予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

## AAMH • AAMT

---

### AAMH

説明: DFHFCMT に対する呼び出しの後に、予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

### AAMI

説明: DFHFCRL に対する呼び出しの後に、予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHAMP

---

### AAMJ

説明: RDO を使用してファイルをインストールしているときに、そのファイルを使用可能にするために DFHFCFS が呼び出されました。DFHFCFS からリカバリー不能エラーが返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

エラーが検出された時点で、CICS はコンソールにメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録し、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMP

---

### AAMK

説明: RDO を使用してファイルをインストールしているときに、DFHFCDN が呼び出されました。DFHFCDN からリカバリー不能エラーが返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。エラーが検出された時点で、CICS はコンソールにメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録し、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡し、トレースおよびダンプを調べて、エラーの発生地点を識別してください。

モジュール: DFHAMP

---

### AAMN

説明: DFHPRPT に対する呼び出しから予期しない戻りコードが返されました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」

の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

### AAMO

説明: DFHTOR (CICS 端末オブジェクト解決プログラム) から無効な戻りコードが返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

### AAMP

説明: DFHPUP から予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

### AAMQ

説明: RDO を使用して、パートナーをインストールしようとした。しかし、CICS 初期設定時に初期設定できなかったため、パートナー・リソース・マネージャー (PRM) を使用することができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: PRM を使用する必要がある場合には、PRM の初期設定を妨げた問題を訂正してから、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHAMP

---

### AAMS

説明: ストレージ・マネージャーに対する GETMAIN 要求の後に、予期しない戻りコードが返されました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

### AAMT

説明: DFHTMP からの予期しない戻りコードのため、DFHAMP に内部論理エラーがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAMP

---

**AAMZ**

説明: DFHZCP から予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHAMP

**AAM1**

説明: トランザクション・クラスのインストール中に、DFHXMCL から予期しない応答が返されました。これは、インストール中に除去されたタスクが原因である可能性があります。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 エラーが発生した場合は、そのエラーが検出されたときに、CICS は DFHXMmmmm コンソール・メッセージを出し、例外トレース項目を記録してシステム・ダンプをとりまします。  
 ユーザーの処置: タスクが失敗した理由を判別してください。システム・ダンプがある場合は、システム・ダンプとトレース項目およびコンソール・メッセージを使用して、問題を解決してください。システム・ダンプがない場合は、タスクはマスター端末オペレーターによって除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されたかのどちらかです。  
 モジュール: DFHAMP

**AAM2**

説明: トランザクション定義のインストール中に、DFHXMxD から予期しない応答が返されました。これは、インストール中に除去されたタスクが原因である可能性があります。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 エラーが発生した場合は、そのエラーが検出されたときに、CICS は DFHXMmmmm コンソール・メッセージを出し、例外トレース項目を記録してシステム・ダンプをとりまします。  
 ユーザーの処置: タスクが失敗した理由を判別してください。システム・ダンプがある場合は、システム・ダンプとトレース項目およびコンソール・メッセージを使用して、問題を解決してください。システム・ダンプがない場合は、タスクはマスター端末オペレーターによって除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されたかのどちらかです。  
 モジュール: DFHAMP

**AAOA**

説明: アプリケーションが、CICS でサポートされていない CPI verb を出しました。アプリケーション・プログラムで参照された入り口点はリンク・エディット・スタブで解決されましたが、制御権が CICS に渡されたときに、要求された機能を解決することができませんでした。  
 これには、次の 2 つの異常が考えられます。  
 • この CICS リリースよりも多くの機能をサポートする CPI スタブを使用して、アプリケーション・プログラムをリンク・エディットした。  
 • リンク・エディット・スタブが破壊された。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。例外トレース項目も作成されます。

ユーザーの処置: エラー発生時に、汎用レジスター 0 は、出された CPI 呼び出しの名前と一致する 8 バイトの文字ストリングを指します。トレースまたはダンプを利用して、この文字ストリングが、サポートされている CPI 機能の名前であることを確認してください。

この文字ストリングが明瞭な文字ストリングでない場合には、スタブが破壊されている可能性があります。

モジュール: DFHCPI

**AAOB**

説明: アプリケーションが、9 個以上のパラメーターを指定する CPI verb を出しました。  
 システムの処置: このトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成され、例外トレース項目も作成されます。  
 ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを変更して、CPI 呼び出しで正しい数のパラメーターが指定されるようにします。  
 モジュール: DFHCPI

**AAOC**

説明: CPI 通信が、呼び出しに無効な数のパラメーターで呼び出されました。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: この異常終了で作成された例外トレース・ポイントには、間違っ出された CPI 通信 verb 名が入っています。この verb 名を使用して、そのアプリケーション・プログラムがどこでエラーになっているかを判別し、それに従って修正してください。

「SAA CPI コミュニケーション・インターフェース解説書」で、すべての CPI 通信 verb の詳細、およびそれら呼び出す方法が説明されています。  
 モジュール: DFHCPARH

**AAOD**

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。  
 モジュール: DFHCPCBI

---

### AAOE

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHPCBA

---

### AAOF

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHPCBS

---

### AAOG

説明: CMACCP (受諾会話) の処理時に、CPI 通信は、サポートされていない同期レベルでアプリケーションがタスク生成されていることを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この条件は、CM\_NONE(0) または CM\_CONFIRM(1) でない同期レベルでタスク生成されたバックエンドの CPI 通信トランザクションによって引き起こされます。

フロントエンド・トランザクション (つまり、他のシステムでの会話の開始プログラム) を変更して、同期レベルが正しく定義されるようにします。

モジュール: DFHPCBA

---

### AAOH

説明: CPI コミュニケーション・マップ式会話で送信されたデータのジャーナル処理に失敗しました。この条件は、ジャーナル管理からの間違った応答によって引き起こされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ジャーナルまたはログ・レコードを正しく書き込めない理由を突き止めてください。ジャーナル・レコード長のエラーが示された場合には、TIOATDL が壊されている可能性があります。

問題判別: レジスター 12 は、現行の TCA およびフィールド TCAJCAAD をアドレッシングし、レジスター 4 は JCA をアドレッシングします。ジャーナル管理要求は JCATR2 に入っ

ており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE  
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー  
X'02' - INVREQ - 無効な要求  
X'03' - STATERR - ステータス・エラー  
X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない  
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー  
X'07' - IOERROR - 入出力エラー

TIOA のアドレスはレジスター 8 に入っており、そのデータ長は TIOATDL に入っています。

分析:

レジスター ラベル 説明

R4=@JCA TCZARQPJ JCAJCRC は非ゼロです。

モジュール: DFHPCOJ

---

### AAOJ

説明: CPI 通信が、その内部ルーチンの 1 つから予期しない応答を検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています。例えば、呼び出されたモジュールおよびそのパラメーターです。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

---

### AAOK

説明: CPI 通信が、その内部ルーチンの 1 つに対する予期しない呼び出しを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

---



**AAOL**

説明: CPI 通信が、DFHLUC に対して無効な呼び出しを行いました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCCLR

**AAOM**

説明: CPI 通信および DFHZUSR 状態マシンの同期がとれていません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています。例えば、呼び出されたモジュールおよびそのパラメーターです。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCCLR, DFHCPSRH

**AAON**

説明: CPI 通信が、DFHLUC からの予期しない応答を検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています。例えば、呼び出されたモジュールおよびそのパラメーターです。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCCLR, DFHCPCLC

**AAOO**

説明: CPI 通信が、無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPARH

**AAOP**

説明: CPI 通信状態マシンは、「不可能な」状態とみなされる状態遷移要求の実行を要求されました。(「SAA CPI コミュニケーション・インターフェース解説書」で、これらのすべての状態が説明されています。)

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

- CPC (会話制御ブロック) が上書きされ、会話状態が変更された。または、

- CPI 通信状態マシンにエラーがある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

トランザクション・ダンプは、CPC を示します。この問題を完全に解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCPFS

**AAOQ**

説明: CPI 通信によって生成された戻りコードには、現行の CPI 通信 verb に対する状態テーブル内の項目がありません。

このエラーは、CPI 通信状態マシンによって検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCPFS

**AAOR**

説明: CPI 通信は、CPC (会話制御ブロック) 内に無効な値を検出しました。

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

- CPC (会話制御ブロック) が上書きされた。または、
- CPI 通信に有効な値を拒否させるエラーが CPI 通信にある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出し

## AAOS • AAOX

れたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

モジュール: DFHCPIC

---

### AAOS

説明: CPI 通信は、RESET が起こってはならない状況で会話状態が RESET されたことを検出しました。つまり、会話制御ブロック (CPC) が削除されようとしています。

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

- CPC (会話制御ブロック) が上書きされた。または、
- CPI 通信にエラーがある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。この問題を完全に解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

---

### AAOT

説明: 特定の会話に対して CPC (会話制御ブロック) を介してチェーニングしているときに、そのチェーンが壊れたことを CPI 通信が検出しました。

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

1. CPC チェーンが上書きされた。または、
2. CPI 通信チェーニング機構にエラーがある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 上記のどちらの原因によりエラーが発生したかを判別してください。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を完全に解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

---

### AAOU

説明: 初期設定会話要求を処理しているときに、CPI 通信は、TP\_name または partner\_LU\_name にエラーを検出しました。TP\_name または partner\_LU\_name は、パートナー・リソース・テーブル (PRT) 内の sym\_dest\_name を調べることで入手できます。

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

1. PRT 内の項目に無効なデータが入っている。または、
2. PRT からのデータを戻し、それを解釈する機構にエラーがある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCBI

---

### AAOV

説明: CPI 通信が、その内部状態テーブルが破壊されていることを検出しました。

このエラーは、CPI 通信状態マシンによって検出されました。システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCFCS

---

### AAOW

説明: CPI 通信が、DFHCPCLC の内部論理エラーを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPCLC

---

### AAOX

説明: CPI 通信は、同期レベル 0 または 1 の会話に設定されている誤った同期点戻りコードを検出しました。誤った戻りコードは、同期レベル 2 の会話でのみ予期されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

#### AAOY

説明: CPI 通信が、マップ式会話上で受け取っていた GDS レコード内に無効な LL フィールドを検出しました。

リモート・システムが無効なレコードを送っていたことも考えられますが、受信論理におけるエラーである可能性の方が大きいと思われます。DFHZARRC (低い方のレベルの受信モジュール) もこれらの LL を CPI 通信に渡す前に調べるからです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS トレース、およびできれば VTAM トレースを使用して、両方のシステム相互間で送られたデータを判別してください。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 の CICS トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています (例えば、呼び出されたモジュールおよびこれらのパラメーター)。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を完全に解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCBR

#### AAOZ

説明: CPI 通信は、マップ式会話上で受け取っていた GDS レコード内に無効な ID フィールドを検出しました。この異常終了を伴う例外トレース・ポイントは、データ 3 に ID フィールドを与えます。これらの有効な ID は、アプリケーション・データの場合には '12FF'X で、空のデータの場合には '12F1'X です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS トレース、およびできれば VTAM トレースを使用して、両方のシステム相互間で送られたデータを判別してください。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 の CICS トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています (例えば、呼び出されたモジュールおよびこれらのパラメーター)。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を完全に解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCBR

#### AAO2

説明: CPI 通信が、DFHLUC からの予期しない応答を検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 の CICS トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています (例えば、呼び出されたモジュールおよびこれらのパラメーター)。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPCBA

#### AAO3

説明: CPI インターフェースは、CPI 通信が初期設定されなまま CPI 通信機能に対して呼び出しが行われたことを検出しました。これは、CICS 初期設定時に、CPI 通信初期設定が失敗したことを意味しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。このイベントが発生するときには、例外トレース項目も作成されます。

ユーザーの処置: コンソール・リストを調べ、CICS 初期設定時に CPI 通信が初期設定に失敗した理由を判別してください。問題を訂正して、CICS を再始動してください。

CPI 通信が正常に初期設定されたことがコンソール・リストに示されている場合は、問題を解決するために支援が必要です。コンソール・リスト、トレース、およびトランザクション・ダンプを収集してください。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPI

#### AAO4

説明: DFHZARL、または DFHZARL によって呼び出されたモジュールが、論理エラーを検出しました。このエラーの原因は、モジュールが VTAM から無効なデータまたは標識を受け取ったことによるものと考えられます。

システムの処置: CPI 通信層に戻る前に DFHZARL が DFHZNAC を呼び出して、このセッションを消去し、メッセージを CSNE ログに書き込みます。CPI 通信はトランザクションを異常終了し、CICS トランザクション・ダンプを作成し、さらに例外トレース項目を作成します。

ユーザーの処置: CSNE ログを調べて、エラーのタイプを判別してください。この問題を完全に解決するには、IBM の支援が必要な場合があります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPLR

#### AAO5

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHPCBA, DFHPCBI, DFHPCBS

**AAO7**

説明: CPI 通信同期点要求ハンドラーに、無効な DFHLUC パラメーター・リストが渡されました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPDRH

**AAO8**

説明: CPI 通信同期点要求ハンドラーに、無効な会話制御ブロック (CPC) が渡されました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPDRH

**AAO9**

説明: CEMT トランザクションによってマスター端末オペレーターからタスクが除去されたか、あるいは、トランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後でタスクがタイムアウトになったことにより、タスクが除去されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。

マスター端末オペレーターがタスクを除去した場合には、何らかの理由でデッドロックになっていると思われるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起らないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHCPCLR

**ABLA**

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。

このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

マスター端末オペレーターがタスクを除去した場合には、何らかの理由でデッドロックになっていると思われるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起らないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHMCP、DFHMCPE、DFHM32、DFHBPB、DFHRLR

**ABLB**

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初にエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMCP、DFHMCPE、DFHM32、DFHBPB、DFHRLR

**ABMA**

説明: ユーザーが用意した端末入出力域 (TIOA) のデータの長さが無効になっています。つまり、それがゼロに等しいか、ストレージ・アカウントの長さから 12 を引いた値よりも大きくなっています。

または、アプリケーション・プログラムによって与えられたヘッダーまたはトレーラー域の長さフィールドが無効となっています (それが正の値になっていません)。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: エラーのあるデータ長を与えたプログラムを訂正してください。

TIOA を調べます。上記のいずれかの条件がある場合には、アプリケーション・プログラムを調べてください。コマンド・レベル・インターフェースを使用しているプログラムの場合、CICS は EXEC CICS SEND MAP コマンドまたは EXEC CICS SEND TEXT コマンドの FROM オプション、あるいは EXEC CICS SEND TEXT コマンドまたは EXEC CICS SEND PAGE コマンドの TRAILER または HEADER オプションで渡されたデータ項目の長さを使用して、TIOA を入手します。データ項目の長さがゼロであるかどうかを調べてください。

ヘッダーおよびトレーラー・レコードは、特殊な形式を持っています (「CICS Application Programming Reference」を参照)。最初のハーフワード (長さ) が正の値になっていない場合には、ABMA 異常終了が起ります。長さを調べる場合には、ヘッダー/トレーラー・レコードの残りの部分の妥当性について調べてください。

問題判別: 出力サービス作業域 (OSPWA) は、ユーザー・ストレージの中にあり、トランザクション・ダンプに印刷されます。そのアドレスは、異常終了が起こった時点のレジスター 2 によって示されます。関係のあるフィールドは、次のとおりです。

- OSPTR7
- OSPHDRA
- OSPTRLA

レジスター 4 または OSPTIOA は、TIOA を指し示しています。TIOA の中で関係のあるフィールドは、次のとおりです。

TIOATDL                      TIOASAL

分析:

レジスター	ラベル	説明
R4=@TIOA	PBCKTDL	TIOATDL はゼロに等しいか TIOASAL-12 の値より大きいです。
R2=@OSPWA R0=トレーラーの長さ R8=@trailer	PBD20080	R0 (トレーラーの最初のハーフワード) はゼロです。R8=OSPTRLA。OSPTR7 は X'20' ビット・セットです。
R2=@OSPWA R8=@header R0=ヘッダーの長さ	PBDTXHDR	R0 (トレーラーの最初のハーフワード) はゼロです。R8=OSPHDRA。OSPTR7 は X'40' ビット・セットです。

モジュール: DFHPBP、DFHMCP

### ABMB

説明: カーソル位置が BMS 出力要求に指定されていますが、出力が作成されている 3270 の現行画面サイズを超えています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 正しくないカーソル位置を指定したプログラムを訂正してください。

トレースを使用して、要求を出しているステートメントを識別します。カーソル位置が正しく設定されているかどうかを調べてください。プログラムは代替表示画面サイズ・モードで実行するように設定されているときに、それがデフォルトの表示画面サイズ・モードで実行されている場合もあります。または、使用中の型式と異なる 3270 で実行するように設計されていることも考えられます。プログラムがメッセージ経路指定を行っている場合には、経路リストを調べる必要があります。プログラムが各種の型式の 3270 で実行されるようになっている場合、カーソル位置はその最小の表示画面の範囲内になければなりません。

問題判別: DFHPBP で異常終了が起こった場合:

異常終了が起こった時点のレジスター 2 は OSPWA を示し、レジスター 1 は TTP を指し示します。関係のあるフィールドは、次のとおりです。

- OSPTR3 には X'10' ビットが設定され、ユーザー指定のカーソル位置を示す。
- OSPCP には、ユーザーによって指定されたハーフワード・カーソル位置が入っている。
- TTPSCSZ には、比較対象となる表示画面サイズのハーフワード値が入っている。

DFHMCP または DFHMCX で異常終了が起こった場合:

- レジスター 6 は、OSPWA (LIFO ストレージの中の) を指し示している。
- OSPCP には、ユーザーによって指定されたハーフワード・カーソル位置が入っている。
- OSPTR3 には X'10' ビットが設定され、ユーザー指定のカーソル位置を示す。
- OSPSCSZ には、比較対象となる表示画面サイズのハーフワード値が入っている。

分析:

レジスター ラベル 説明

DFHPBP: において

R2=@OSPWA	PBDBADC	OSPTR3 X'10' ビットが設定され、ユーザー指定のカーソル位置を示します。
R1=@TTP		TTPSCSZ ハーフワード表示画面サイズです。OSPCP ハーフワード・カーソル位置です。

DFHKCP または DFHMCX: において

R6=@OSPWA	MCENEAU2	OSPTR3 X'10' ビットが設定され、ユーザー指定のカーソル位置を示します。
		OSPSCSZ ハーフワード画面サイズです。OSPCP ハーフワード・カーソル位置です。

モジュール: DFHPBP、DFHMCP (最小機能 BMS の場合)、DFHMCX

### ABMC

説明: CMSG トランザクションが、送信可能な数を上回る端末に、メッセージを送信しようとした。この値は、経路指定コマンドに指定したその他のオペランドによって決まるため、固定の最大数はありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 経路リストを再定義します。

モジュール: DFHMCP

### ABMD

説明: DFHTPR または DFHTPP は DFHDI TYPE=SEND を出し、「FUNCERR-REQUEST FOR CHANGE DIRECTION SIGNALLED」または「NORESP」以外の戻りコードを受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーにお問い合わせください。

モジュール: DFHTPP、DFHTPR

**ABME**

説明: DFHTPR または DFHTPP が、基本マッピング・サポート (BMS) 要求の処理中に、無効なデータ・ストリームを検出しました。

システムの処置: トランザクションが異常終了し、レジスター 7 が異常終了の検出位置を示している CICS トランザクション・ダンプが作成されます。トランザクションが異常終了しました。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプで、TIOA に無効なデータがないかどうかを調べてください。無効なデータがアプリケーション・プログラムにある場合は、そのプログラムを訂正してください。

モジュール: DFHTPP, DFHTPR

**ABMF**

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) 送信マップの長さオプションに指定した値が、「from」域の長さを超えています。システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 長さオプションの値を再定義してください。

モジュール: DFHPBP

**ABMG**

説明: ユーザーによって基本マッピング・サポート (BMS) サービスが要求されましたが、それがシステム生成時または初期設定時に指定されていませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: BMS のシステム生成で指定したオプションに対して要求されたサービスを関連させます。

次の手順に従ってください。

1. 異常終了コードを出したトランザクション ID があるかどうかトレース・テーブルをスキャンします。これが、CSPQ (ページ終結処置) であった場合には、ゼロのメッセージ除去遅延が指定されており、CSPQ へは端末を介して入ったために、モジュール DFHTPP が異常終了しています。メッセージ除去遅延は、DFHSIT マクロの PRGDLAY に指定され、その値は SITPRGD の中で見つけることができます。
2. 最後の BMS 要求 (コード「FA」) について、トレース・テーブルをスキャンします。失敗に終わったモジュールの先頭にあるオプション・バイトを使用して、要求された機能が生成されているかどうかを調べます。例えば、ページングが要求されたが、標準または最小の BMS が SIT に指定されていた場合があります。
3. BMS 要求が CICS システム生成内の BMS オプションと互換性を持っている場合には、BMS モジュール間の接尾部の指定で何らかの互換性のない処置をとっていることが考えられます。この状況は、DFHSIT マクロで各 BMS モジュールについて個別的な接尾部を指定した場合に起こる可能性があります。

以下のモジュールは、標準機能 BMS と全機能 BMS とでは異なります。

DFHMCP    DFHRLR    DFHPBP    DFHTPP

モジュール: DFHMCP, DFHTPPQ

**ABMI**

説明: BMS 入力マッピング要求に対して指定されたマップが、入力マップではありませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 別の入力マップを定義するか、または既存のマップを定義し直します。

モジュール: DFHMCP, DFHMCX, DFHMCY

**ABML**

説明: 端末管理位置指定ルーチンは、DFHRLR からの無効なデータを受け取ったため、エラー戻りコードを戻しています。

DFHRLR は、LIST=ALL、オペレーター・クラス、またはオペレーター ID を指定した BMS ROUTE 要求が経路リストにあるかどうか、TCT スキャンを試みています。端末管理テーブルが破壊されてしまっている場合もあります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

端末管理テーブルは、多くの場合実行中に破壊されてしまっています。ダンプ内の TCT 全体をスキャンしてください。(システム・ダンプでは、同じ技法を使用してすべての TCTTE を印刷するので、同じポイントで失敗に終わることになります。)

どの項目が正しくないのかを判別してください。TCTTE に対して、ダンプの中で認識可能なユーザー・データによる上書きが行われている場合もあります。

アプリケーション・プログラムが TCTTE ポインターを参照しているかどうかを調べます。また、同じポインターからアドレスリングされているユーザー・データがあるかどうかを調べてください。

アセンブラー・プログラムでは、TCTTE 基底レジスターに対して複数の等価値があることも考えられます。

先に実行された何らかのトランザクションによって TCT に上書きが行われていることもあります。その場合に、TCT はその TCTTE に対して上書きの行われた端末に関連した TCT となる可能性があります。

問題判別: レジスター 11 は、探索されている現在の TCTTE を指し示しています。

TCT 接頭部 (DFHTCTFX) は、CSATCTBA から突き止めることができます。

TCT の中の最初の端末項目 (TCTTE) のアドレスは、TCTVTEBA によって示されています。

TCTTETEL は、現在の TCTTE から次の TCTTE までのハーフワード・オフセット長です。

分析: 現行 TCTTE アドレスが、フルワード境界上にないか、TCT の範囲内にないか、あるいは次の TCTTE アドレス (現行アドレスに TCTTETEL を加算すると得られる) が無効です。

この検査は、DFHZCX の中の位置指定コード (DFHZLOC) によって行われます。

レジスター ラベル 説明  
R11=@TCTTE RLRL0CN Issue DFHTC CTYPE=LOCATE  
モジュール: DFHRLR (全機能 BMS の場合)

#### ABMM

説明: 無効なマップが指定されています。  
システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 用意されたダンプを使用して、問題を診断します。レジスター 6 には、エラーが認識された時点で実行されていた BMS 命令のアドレスが入っています。  
モジュール: DFHPBP

#### ABMO

説明: BMS 出力マッピング要求に対して指定されたマップが、出力マップではありませんでした。  
システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 別の出力マップを定義するか、または、既存のマップを定義し直します。  
モジュール: DFHMCP、DFHMCX、DFHMCY

#### ABMQ

説明: 照会トランザクション (CQRY) が開始されましたが、タスクが端末向けではないか、関連する端末が 3270 または SCSPRINT 装置として CICS に定義されていません。こうした異常終了は、CQRY がコンソールで入力された場合に起こります。また、コンソールが 3270 装置である場合にも、コンソールの外観がキーボードまたは印刷装置の CICS に似ているため、このような異常終了が起こります。CQRY トランザクションにはオペレーター・インターフェースがないため、正常な条件の下では、オペレーターが CQRY を呼び出したり、ユーザー・トランザクションが CQRY トランザクションを START する必要はありません。3270 または SCSPRINT 装置が接続されると、CICS は自動的に CQRY を稼働します。関連する端末の TCTTE のアドレスが、トランザクション・ダンプ内のレジスター 8 に含まれています。レジスター 8 にゼロが含まれている場合は、タスクが端末向けではないことを示しています。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: CQRY に関連した端末が、3270 ファミリーまたは SCSPRINT ファミリーの装置であることを確認してください。  
モジュール: DFHQRY

#### ABMR

説明: ページ検索トランザクション (CSPG) が開始されましたが、このタスクは端末向けではありません。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 端末が CSPG トランザクションと関連していることを確認してください。  
モジュール: DFHTPR

#### ABMT

説明: 最小機能 BMS が 3270 以外の端末タイプに対して使用されています。  
システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHTPS

#### ABMU

説明: アプリケーション・プログラムで、領域の境界内にならないアドレスが与えられました。トランザクション・ダンプの汎用レジスター 1 の下位 3 バイトには、誤りのあったアドレスが示されています。レジスター 1 の高位バイトは、アドレス・タイプを次のように示しています。

16 進値	アドレス・タイプ
01	表題アドレス (TCAMSTA)
02	代替入出力域アドレス (TCAMSIOA)
03	マップ・アドレス (TCABMSMA)
04	ヘッダー・アドレス (TCAMSHDR)
05	経路リスト・アドレス (TCAMSRLA)
06	トレーラー・アドレス (TCAMSTRL)
07	マップ・セット・アドレス (TCAMSMSA)
08	TIOA アドレス (TCTTEDA)

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 誤ったアドレスを与えているアプリケーション・プログラムを訂正します。  
モジュール: DFHMCP、DFHEMS

#### ABMV

説明: DFHRLR が無効な経路リスト項目を検出しました。  
システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 経路リストが、ブランクを含む項目内の予約フィールドを持ち、リストを終了させるためのハーフワード X'FFFF' の停止フィールドを備えるように正しく作成されているかどうかを調べます。  
モジュール: DFHRLR

#### ABMX

説明: BMS に渡されたテキスト・ストリングに属性設定オーダーが含まれていましたが、その列は次のいずれかの理由で無効となっていました。

- 属性設定オーダーが 3 文字未満であった。
- 属性タイプが無効であった。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。  
モジュール: DFHPBP

**ABMZ**

説明: TCTTEDA 内の端末入出力域 (TIOA) のアドレスがゼロでした。

EXEC CICS RECEIVE MAP の結果、BMS 高速パスを使用すると、DFHEMS は必ず TIOA のアドレスで TCTTEDA を初期設定します。その後で、TCTTEDA がゼロであると DFHMCX が判別した場合は、上書きが行われたこととなります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: TCTTEDA がゼロになっている原因を調べてください。

最後の BMS 要求のトレース・テーブル (コード FA) で障害タスクをスキャンし、BMS 要求が出されて以来、制御権を持っているユーザー・プログラムを判別してください。

モジュール: DFHMCP、DFHMCX、DFHMCY

**ABM0**

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) 要求のために指定されたマップを突き止めることができませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: マップが定義されているかどうかを調べます。定義されている場合には、それが正しく指定されているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHMCP、DFHMCX、DFHMCY

**ABM1**

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) サービスが、BMS によってサポートされていない端末と関連したタスクによって要求されました。この要求は、経路指定要求ではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: BMS サービスを使用しているアプリケーションについては、BMS がサポートしない端末を使用しないでください。

端末のタイプと型式番号を調べます。その端末が、BMS サポート端末でないことを確認してください。BMS サポート端末のリストは、「CICS Application Programming Guide」にあります。その端末の TCT マクロが物理端末を正確に記述しているかどうかを調べてください。

問題判別: 異常終了が起きた時点で、レジスター 11 は TCTTE を指し、TCTTETE およびレジスター 6 は、TCTTE 拡張の TCTTETTE を指しています。

関係のあるフィールドは、次のとおりです。

TCTTEDDS 装置依存接尾部  
TCTTEMSS マップ・セット接尾部

分析: DFHRLR は、TCTTE 拡張部分にある装置依存接尾部とマップ・セット接尾部をテストします。この両方がゼロであった場合には、その端末は BMS によってサポートされておらず、DFHRLR はそのタスクを異常終了コード ABM1 で異常終了させます。

レジスター ラベル 説明

R4= RLRFXCK TCTEDDS=X'00' および  
@TCTTETE TCTEMSS=X'00' です。

装置依存接尾部および  
マップ・セット接尾部は、  
サブルーチン RLRUFXS に  
よってレジスター 3 の最後の  
2 バイトにロードされます。

モジュール: DFHRLR

**ABM2**

説明: ユーザー・データが、この BMS 要求に提供されていません。つまり、ユーザー・データ域のアドレスが、TCTTEDA でも TCAMSIOA でも見つかりませんでした。

BMS マクロ・レベル出力要求が出される場合、ユーザーは、そのマクロを出す前に、BMS に渡すデータのアドレスを TCTTEDA または TCAMSIOA の中に入れておかなければなりません。どちらに入れるかは、次の基準によって決まります。

- データが端末向けのタスクによって TIOA 内に渡される場合、この TIOA のアドレスは TCTTEDA に入れるか、また、TCAMSIOA に入れると同時に TCTTEDA に 2 進ゼロを設定することができる。
- データが端末向けのタスクによって渡されているが、TIOA 内に渡されない場合、このデータの TIOA に似た区域のアドレスは、TCAMSIOA に入れて、TCTTEDA に 2 進ゼロを設定する必要がある。
- データが端末向けでないタスクによって渡されている場合、このデータの TIOA に似た区域のアドレスは TCAMSIOA に入れる必要がある。このタスクに関連付けられている TCTTE がないため、TCTTEDA を参照することはできません。

タスクが TCTTEDA と TCAMSIOA の両方からアドレスを渡そうとしている場合には、TCTTEDA 内のアドレスが選択されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: プログラマーは、データのアドレスを TCTTEDA または TCAMSIOA のいずれか該当する方に入れる必要があります。

まず、アプリケーション・リストと、TCTTEDA または TCAMSIOA、あるいはその両方の内容を調べ、ユーザー・データのアドレスがユーザーによって TCTTEDA または TCAMSIOA に実際にロードされているかどうかを調べます。

次に、OSPWA 要求バイト (OSPTR1 から 8) を参照するか、またはトレース・テーブル内の最後の BMS 項目をデコードすることにより、BMS 要求が CICS によって正しくデコードされているかどうかを調べます。OSPIND01 を見て、PAGEBLD または TEXTBLD が正しくデコードされているかどうか調べ、また、TCAFCI ビット 7 を見て、端末向けのタスクであるか端末向けでないタスクであるかを識別します。

異常終了が起きた時点で、レジスター 1 に最後にロードされたユーザー・データ・アドレスが入れられ、レジスター 4 に OSPTIOA のアドレスがヌル・データのアドレスとして入れられます。

CICS エラーの疑いがあった場合には、最初にサブルーチン MCPFTIOA に注意を向けます。これは、データ取り出し論理



を示すコードの単純な部分だからです。 ABM2 条件は、DFHBMS 要求の CICS によるデコードの初期段階でトラップされるため、モジュール DFHMCP だけが組み入れられます。

から複写)を指します。 OSPIA (TCAMSIOA) もゼロであり、異常終了の原因となります。

ケース/ レジスター	ラベル	説明
R9=@OSPWA	MCPMAP	OSPTR4 は TYPE=MAP で OSPTRM (X'04') ビット・セットです。
R9=@OSPWA	MCPGGBLD	OSPTR5 は OSPTRB (X'80') ビット・セットを持ち、BMS は TYPE=PAGEBLD 用に、OSPIND01 内にビット OSPLMPB (X'08') を設定します。 OSPTR4 は DATA=NO、ONLY、または YES のそれぞれに対応して X'40'、X'80'、または X'C0' を設定します。そのため、X'80' または X'C0' でなければなりません。
R9=@OSPWA	MCPTXBLD	OSPTR7 は OSPTRX (X'80') ビット・セットを持ち、BMS は TYPE=PAGEBLD 用に、OSPIND01 内にビット OSPLMTB (X'04') を設定します。 OSPTR4 は DATA=NO、ONLY、または YES のそれぞれに対応して X'40'、X'80'、または X'C0' を設定します。そのため、X'80' または X'C0' でなければなりません。
R9=@OSPWA	MCPMAPNG	OSPTR3 は OSPTS (X'01')、OSPTS (X'02')、または OSPTMN (X'04') ビット・セットで、OSPTR4 はマッピング用の OSPTMA (X'10') ビット・セットです。 OSPTR4 は DATA=NO、ONLY、または YES それぞれに対応して X'40'、X'80'、または X'C0' ですので X'80' または X'C0' であることが必須です。
A11 R12=@TCA	MCPFTIOA	TCAFCI はタスクが端末指向の場合、TCAFCITRM (X'01') ビット・セットです。
A11 R11=@TCTTE	MCPFTIOA	TCTTEDA は、ユーザー・データ域 TIOA を指すことができませんが TIOA を使用しませんので異常終了の原因となります。
A11 R12=@TCA	MCPFTIOA	TCAMSIOA はユーザー・データ域 (TIOA またはその他)を指すことができませんが異常終了の原因となります。
A11 R9=@OSPWA	MCPNTOTM	OSPTIOA には、すでに見つけられたユーザー域のアドレスがあるため、ゼロです。 OSPSIOA は BMS によってデータをさがされているセカンド・ドライ・データ域として OSPIOA (TCAMSIOA

問題判別: 出力サービス作業域 (OSPWA) は、レジスター 9 によってアドレッシングされます。TCTTE は、レジスター 11 によってアドレッシングされます。TCA は、レジスター 12 によってアドレッシングされます。

これに関係のあるフィールドは、次のとおりです。

フィールド	説明
<b>OSPIND01</b>	OSPWA 標識バイト 1
<b>OSPIOA</b>	代替入出力域アドレス
<b>OSPSIOA</b>	データ・アドレス (TCTTEDA/TCAMSIOA) のアドレス
<b>OSPTIOA</b>	BMS により検出されたユーザー・データのアドレス
<b>OSPTR1-8</b>	TCA から保管された BMS 要求データ
<b>TCTTEDA</b>	端末データ域アドレス
<b>TCAFCI</b>	機能管理標識
<b>TCAMSIOA</b>	代替入出力域アドレス

分析: DFHMCP の中の 1 つのポイント、ラベル MCPABEND で、ABM2 異常終了が呼び出されます。DFHMCP には、次の 5 つの領域があり、その中でユーザーのデータが求められます。

	ラベル
TYPE=MAP	MCPMAP
TYPE=PAGEBLD,DATA=YES/ONLY	MCPGGBLD
	MCPGTIOA
TYPE=TEXTBLD,DATA=YES/ONLY	MCPGGBLD
	MCPGTIOA
	MCPMAPNG
	MCPDFALT

「Mapping」(マッピング)とは、マップを指定する BMS 要求(つまり、OSPTR3 のビット 5 か 6 か 7、または OSPTR4 のビット 3 がオンに設定されている)を指しています。

これらの機能領域のそれぞれは、サブルーチン MCPFTIOA に対して BAL を実行し、ユーザー・データ域を探します。有効な区域(それがなければ異常終了コード ABMU)が見つかったら、そのアドレスは OSPTIOA に入れられ、データ・アドレス (TCAMSIOA または TCTTEDA) のアドレスは OSPSIOA に設定されます。データ域が見つからなかった場合には、OSPTIOA の内容は消去され、OSPSIOA には、OSPTIOA のアドレスがヌル・データ域としてロードされます。

BAL から戻ったときに、OSPTIOA がゼロ以外の値であるかどうかテストされます。それがゼロであった場合には、MCPABEND へのブランチが行われます。

## ABM3 • ABM4

モジュール: DFHMCP

### ABM3

説明: BMS の入力または出力要求が、端末向けでないタスクから出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: BMS 入力または出力要求を出すタスクは、端末に対して生成されていなければなりません。

モジュール: DFHMCP

### ABM4

説明: BMS が出した一時ストレージ PUT または PUTQ 要求に対して、無効な要求応答が受け取られました。一時ストレージ・プログラムへ渡されたデータが無効な長さになっています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

異常終了が DFHMCP か DFHTPP のいずれで起こったのかを、トレース・テーブルから判断します。

該当する区域の長さを調べます。

MCR の長さが無効であった場合には、次の理由が考えられます。

- BMS ROUTE 要求の TITLE オプションに指定されている表題レコードの形式が無効。つまり、そのレコードがハーフワードの長さフィールドで始まっていないか、または 64 文字を超えています。
- メッセージが、予定されたよりも多くの端末へ経路指定されている。OSPPTCNT が非常に大きく、例えば、ROUTE 要求に LIST=ALL が指定され、TCT に多数の端末があった場合です。

ページ・バッファの長さが大きすぎる場合、予定よりも多くのデータがページに組み入れられていることが考えられます。ページ・バッファの長さが、その前のストレージ・アカウントに示されるストレージの長さよりも大きい場合には、ページまたはテキストの作成中にエラーが起きており、ページ・バッファは、割り振られた区域を超えて拡張していることにもなります (つまり、記憶保護違反です)。

問題判別: DFHMCP における異常終了 (分析を参照)

OSPWA (出力サービス作業域) はユーザー・ストレージにあって、トランザクション・ダンプに印刷されます。そのアドレスは、異常終了が起きた時点のレジスター 9 によって示されます。関係のあるフィールドは、次のとおりです。

OSPPTITLE  
OSPPTCNT  
OSPPLTI  
OSPOTPG

メッセージ制御レコード (MCR) は、BMS によって入手されたユーザー・ストレージの中の 1 区域です。そのアドレスは、異常終了が起こった時点のレジスター 8 によって示されま

す。最初の 8 バイトには、ストレージ・アカウント情報が入っています。MCRLBには、DFHTPP 内の MCR (ハーフワード) 異常終了の長さが入っています。

ページ・バッファのアドレスは、異常終了が起こった時点のレジスター 7 によって示されます。このページ・バッファの最初の 8 バイトには、ストレージ・アカウント・フィールドが入っており、オフセット 8 (TSIOAVRL) には、ハーフワードの長さが入っています。

いずれの場合にも、一時ストレージ使用マップ (DFHTSMAP) は、CSATSATA からアドレッシングされます。TSMAPCOM には、一時ストレージ・データ・セット上の制御インターバルで使用するこのできるバイト数が入っています。

分析: 異常終了の前に出されていた一時ストレージ要求が DFHTS PUT であった場合には、DFHMCP で異常終了が起きています。異常終了の前に出されていた一時ストレージ要求が DFHTS PUTQ であった場合には、DFHTPP で異常終了が起きている。DFHMCP で異常終了が起こった場合、DFHMCP は、メッセージ制御レコードを一時ストレージに入れようと試みています。MCR (MCRLB) の長さを調べてください。その長さが負の値になっていることがあります。

MCR の長さは、ラベル MCPNODDS に続くコードを使用して、次のように計算されます。

$28 + 21 * OSPPTCNT + (\text{表題レコードの長さ})$   
+ (ページ /LDC テーブル用のスペース、  
(該当する場合))

表題レコードのアドレスは OSPPTITLE にあり、その長さは最初のハーフワードに入っています。OSPPLTI がゼロ以外であった場合には、ページ /LDC テーブル用のスペースが必要です。ゼロ以外の値は、メッセージが LDC 装置 (3600、3650、3767、3770、3790) へ経路指定された場合に限り生じます。項目の数は OSPOTPG に入っており、項目ごとに 2 バイトが必要で

DFHTPP で異常終了が起こった場合、BMS は、一時ストレージ・キューへのページの追加を試みており、ページ・バッファが制御インターバルに適合しないことになります。

TSIOAVRL には、ページ・バッファの長さが入っています。

3270 装置へ送られるメッセージの場合、ページ・バッファは、3270 データ・ストリームとそれに続く 4 バイトのページ制御域から構成されます (3270 データ・ストリームは、特に拡張 3270 属性が使用されている場合に、表示画面で使用することができる文字数よりも大きくなる場合があります)。その他の装置へ送られるメッセージの場合、ページ・バッファは、NL 文字形式に設定されたメッセージとそれに続く 4 バイトのページ制御域から構成されます。TSIOAVRL の長さは、その前にあるストレージ・アカウントの長さよりも短くなければなりません。短くない場合には、おそらくは前の BMS 要求で、ページを構成しているときにエラーが起きている。

上記のいずれの場合であっても、出力されている区域の長さが有効と思われる場合には、一時ストレージ・データ・セットのための制御インターバルのサイズを大きくすることが必要となります。

レジスター	ラベル	説明
DFHMCP R8=@MCR	MCPMCRS	MCR が長すぎるか長さ (\$4) が間違っています。
DFHTPP R7=@pgbuf	TPNOPGL または TPNODDS	ページ・バッファアが 大きすぎます

モジュール: DFHMCP、DFHTPP

### ABM5

説明: DFHTS TYPE=PURGE 要求が出されましたが、その REQID が無効でした。この正しくない要求は、基本マッピング・サポート (BMS) によって出されました。

DFHTPR は、メッセージ制御レコード (MCR) 内の端末リストに現行端末のための端末識別名を見つけることができませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース・テーブルを調べて、前に出されている PUT/PUTQ TS 要求を見つけます。PUT/PUTQ の識別名が PURGE の識別名と同じであるかどうかを調べてください。同じでなかった場合には、それがどのように異なっているのかを突き止めてください。また、OSPWA が破壊されていないかどうかを調べます。

このエラーは、そのラベル (TPRSNH - 『Should Not Happen』) が示すように、起こることは非常にまれです。

DFHTPS は、このメッセージの宛先となる端末を識別するために MCR をスキャンし、それらの各端末で CSPG(DFHTPR) を開始するための AID を作成しています。ただし、DFHTPR が MCR を検索したものの、現在の端末識別名を端末のリストの中に見つけることができません。AID の作成と端末での CSPG のタスク指名の間に、MCR が破壊されたことが考えられます。トレース・テーブル全体を前にたどり、この端末のための AID を作成した DFHTPS (トランザクション CSPS) のインスタンスを調べてください。DFHTPS は、端末識別名が有効であることを確認するための TC LOCATE 要求を出すことになり、この識別名をトレース項目内で検出することができません。

問題判別: TS 識別名は、TS 除去要求が出される前に TCATSDI において作成されますが、おそらく、これはダンプがとられる前に上書きされています。TS 識別名は、DFHTS TYPE=PURGE のトレース・テーブル項目の最後の 8 バイトに入っています。

OSPWA は、レジスター 9 によってアドレッシングされません。

OPSTSID 一時ストレージ識別名 (8 バイト)

レジスター 8 は、MCR を指し示しています。

レジスター 5 は、現在の項目を指し示しています。

レジスター 0 は、テーブルの終わりを指し示しています。

レジスター 9 は、TCTTE を指し示しています。

端末リストは MCRIDLST で始まり、端末識別名は端末項目の先頭にあります。各端末項目は、X'15' バイトの長さです。

分析: DFHMCP は、OSPTSID にある一時ストレージ識別名を使用します。

この端末のための端末識別名を、MCR 内の端末で見つけることができません。

レジスター	ラベル	説明
R9=@(OSPWA)	MCPCKPGS	コードは一時ストレージ コードを TCATSDI に ビルドし、異常終了が 発生する MCPSTIDE の IDERROR 出口を指定 して DFHTS TYPE=PURGE マクロを発行します
R8=@(MCR)	TPRCKID	現在の端末の ID がある 端末項目をコードが 端末リストよりさがし 見つからない場合 TPRSNH にリンクして、 異常終了を発生させます。

モジュール: DFHMCP、DFHTPR

### ABM6

説明: BMS によって内部的にスケジュールされたトランザクション CSPS が、インストールされませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション CSPS (グループ DFHBMS) をインストールしてください。

モジュール: DFHMCP

### ABM7

説明: テキスト・データのページを作成するときに使用されるように指定されたトレーラーが、そのページよりも長くなっています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 長すぎるトレーラーの要求を出しているアプリケーション・プログラムを訂正します。

モジュール: DFHPBP

### ABM8

説明: BMS テキスト要求が、ゼロまたは作成されているページに対して大きすぎる値を JUSTIFY オプションに指定しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: JUSTIFY オプションに大きすぎる値またはゼロを指定したアプリケーション・プログラムを訂正します。

モジュール: DFHPBP

### ABM9

説明: テキスト・オーバーフローの処理中に、テキスト・データ・オーバーフロー・ルーチンが再入されました。この条件は、テキストのヘッダーまたはトレーラー、あるいはその両方のための行の要件が、形式設定されているデータのためのページの容量を超えた場合に起こります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ヘッダーまたはトレーラー、あるいはその両方のための必要な行数を少なくするか、または端末のページ・サイズを大きくします。

モジュール: DFHPBP

### ABNA

説明: リモート・システムから受信された経路指定要求に経路リストが指定されていませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTPS

### ABNB

説明: タスクの主要機能が正しいタイプの TCTTE になっていないか、タスクに主要機能がありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHTPS が、CSPS 以外のトランザクションの初期プログラムとして指定されていないことを確認してください。オペレーターが CSPS を端末から入力していないかどうかを調べます。

モジュール: DFHTPS

### ABNC

説明: 一時ストレージ・キューへのアクセスの試みが失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージが正しく生成されるようにしてください。

モジュール: DFHTPS

### ABNE

説明: BMS TYPE=ROUTE または TYPE=STORE 要求の呼び出しから、エラー応答が受け取られました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: BMS が正しく生成されているかどうかを調べます。

モジュール: DFHTPS

### ABNF

説明: トランザクションは、リモート・システムヘデータを送ったときに送信モードになっていませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTPS

### ABNG

説明: リモート・システムからタスク生成要求が受け取られましたが、その要求の理由を示すデータがありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTPS

### ABNH

説明: データをリモート・システムへ送り出す試みが失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTPS

### ABNI

説明: CICS は、LU6.2 トランザクション経路指定要求のためのプロファイルを検出することができませんでした。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了させます。

ユーザーの処置: EXEC CICS ALLOCATE コマンドの PROFILE パラメーターに正しく名前が指定されていないか、またはプロファイルをインストールしていないかのいずれかです。エラーを訂正してから、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTPS

### ABNJ

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターにより除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHTPS

### ABNK

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTPS

---

#### ABP1

説明: 名前付き CICS モジュールの 1 つが再始動データ・セット内のリカバリー・ファイルを読み取ろうとしていたときに、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 次の CICS モジュールの 1 つがこの異常終了をトラップし、メッセージを出して CICS 再始動を異常終了します。

- DFHDLRP (DL/I リカバリー・プログラム) トラップ (DFHDLBP の場合)
- DFHTCRP (端末管理リカバリー・プログラム) トラップ (DFHTCBP の場合)
- DFHRCRP (リカバリー管理再始動プログラム) トラップ (DFHUSBP の場合)

この異常終了コードがトランザクション・ダンプのヘッド部分に現れることはありませんが、CICS 再始動障害後にダンプの本体部分で見つけることができます。

ユーザーの処置: 関連したメッセージを使用して、再始動データ・セットの入出力エラーの原因を判別してください。CICS を再始動する前に、このデータ・セットをリストアしてください。

モジュール: DFHDLBP, DFHTCBP, DFHUSBP

---

#### ABP2

説明: 名前付き CICS モジュールの 1 つの実行中にバックアウト障害が起きました。例えば、バックアウト中の資源で入出力エラーが起きました。

システムの処置: 次の CICS モジュールの 1 つがこの異常終了をトラップし、メッセージを出して CICS 再始動を異常終了します。

- DFHDLRP (DL/I リカバリー・プログラム) トラップ (DFHDLBP の場合)
- DFHTSRP (一時ストレージ再始動プログラム) トラップ (DFHTSBP の場合)

この異常終了コードがトランザクション・ダンプのヘッド部分に現れることはありませんが、CICS 再始動障害後にダンプの本体部分で見つけることができます。

ユーザーの処置: 関連したメッセージを使用して、バックアウト障害の原因を判別してください。CICS を再始動する前に、このデータ・セットをリストアしてください。

モジュール: DFHDLBP, DFHTSBP

---

#### ABP3

説明: CICS 緊急再始動中に、名前付き CICS モジュールの 1 つが CICS の内部論理エラーを検出しました。

システムの処置: 次の CICS モジュールの 1 つがこの異常終了をトラップし、メッセージを出して CICS 再始動を異常終了します。

- DFHTCRP (端末管理リカバリー・プログラム) トラップ (DFHTCBP の場合)
- DFHTSRP (一時ストレージ再始動プログラム) トラップ (DFHTSBP の場合)

この異常終了コードがトランザクション・ダンプのヘッド部分に現れることはありませんが、CICS 再始動障害後にダンプの本体部分で見つけることができます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTCBP, DFHTSBP

---

#### ABP4

説明: CICS 緊急再始動中に、ストレージ管理が使用不能であることが検出されました。

システムの処置: CICS モジュールの DFHDLRP (DL/I 再始動プログラム) は、この異常終了をトラップし、メッセージを出して CICS 再始動を異常終了します。この異常終了コードがトランザクション・ダンプのヘッド部分に現れることはありませんが、CICS 再始動障害後にダンプの本体部分で見つけることができます。

ユーザーの処置: 関連したメッセージを使用して、再始動データ・セットの入出力エラーの原因を判別してください。CICS を再始動する前に、このデータ・セットをリストアしてください。

モジュール: DFHDLBP

---

#### ABRC

説明: ブリッジ出口が定義されておらず、自動インストールできませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: RDO を使用してプログラムを定義するか、または自動インストールが可能になるようにプログラム自動インストール出口を変更してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

---

#### ABRD

説明: ブリッジ出口は使用不可になっています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: ブリッジ出口が使用不可である原因を判別してください。ブリッジ出口を使用可能にして、アクションを再試行してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

---

#### ABRE

説明: ブリッジ出口をロードできませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: ブリッジ出口をロードできない原因を調べてください。ブリッジ出口が LIBDEF 検索チェーン連結に定義されていない可能性があります。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

## ABRF • ABRR

---

### ABRF

説明: ブリッジ出口がリモートとして定義されています。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: ブリッジ出口をローカル・プログラムとして定義してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

---

### ABRG

説明: 無効なブリッジ機能トークンが指定されています。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: このエラーは、クライアント・アプリケーションからブリッジ出口に送信された不正なデータが原因である可能性があります。

クライアント・アプリケーションから送信されたデータをトレースしてデータ・セットを調べてください。

アプリケーションによって伝送されたデータ内のブリッジ機能トークンが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHBRXM

---

### ABRH

説明: 指定されたブリッジ機能トークンは、CICS では認識できません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: 多くの場合これは、クライアント・アプリケーションがブリッジ機能に対して少なすぎる保持時間を指定したことによるエラーです。クライアントがブリッジ機能トークンを拒否する前に、CICS がすでにこのトークンを破棄しました。アウトバウンド・メッセージでブリッジ機能の保持時間を確認してください。CICS は、トランザクションによって使用された最後のメッセージに指定された保持時間値を使用します。または、トレースか CEDX を使用して、ブリッジ出口の終了呼び出しで渡された BRXA 内の保持時間を確認してください。

これ以外のエラーとしては、クライアント・アプリケーションが元の要求が送信された CICS システムとは別の CICS システムに要求を渡したことが考えられます。ブリッジ機能は 1 つの CICS システムでのみ有効です。

モジュール: DFHBRXM

---

### ABRI

説明: 使用可能な空きブリッジ機能トークンがありません。これは、ブリッジ出口終了呼び出しで指定された保持時間値が大きすぎることが原因だと考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションが使用する保持時間値を確認してください。大きすぎる値を返しているクライアント・アプリケーションがある場合、値の限度を指定するようブリッジ出口を変更してください。

モジュール: DFHBRXM

---

### ABRJ

説明: 無効な FACILITYLIKE 値が指定されています。

FACILITYLIKE 値はブリッジ出口初期設定呼び出しで指定できます。デフォルト値 (ブランク) が返された場合、ユーザー・トランザクション・プロファイル定義内の値が使用されます。プロファイル定義に FACILITYLIKE 値が指定されていない場合は、CBRF の値が使用されます。

名前はインストール済み VTAM 3270 端末の名前でなければなりません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: FACILITYLIKE によって指定される端末の定義、プロファイル定義の値の変更、クライアント・アプリケーションによって指定される値の変更、または CBRF の端末定義のインストールを行ってください。

モジュール: DFHBRXM

---

### ABRK

説明: ブリッジ出口の呼び出しに続く USERID の検査が失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを入力してください。パスワードが正しい場合、またはパスワードが提供されていない場合、外部セキュリティー・マネージャー定義を確認してください。

モジュール: DFHBRXM

---

### ABRN

説明: コマンドで呼び出されたブリッジ出口が、コマンドに対して無効な、BRXA\_RESP の値を返しました。

システムの処置: トランザクションはバックアウトされます。ユーザーの処置: 有効な応答設定値のみを返すようブリッジ出口を変更してください。

モジュール: DFHBRIC, DFHBRMS, DFHBRSP, DFHBRTC

---

### ABRQ

説明: ブリッジ出口が異常終了を出しました。

システムの処置: トランザクションはバックアウトされます。ユーザーの処置: ブリッジ出口が異常終了した原因を判別してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

---

### ABRR

説明: ユーザー・トランザクションのプロファイルが見つかりませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: ユーザー・トランザクション定義内のプロファイル名が正しいこと、およびこのプロファイルが定義済みであることを確認してください。

モジュール: DFHBRXM

**ABRS**

説明: CICS は、ブリッジ機能を作成するためのストレージを取得できませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: CICS のストレージが不足している原因を判別してください。

モジュール: DFHBRXM

**ABRY**

説明: ブリッジ出口の実行中に CICS は予期しないエラーを返しました。これは CICS の内部エラーです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRCT

**ABRZ**

説明: ブリッジ出口が BRXA で無効データを返しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ユーザー提供のブリッジ出口が使用された場合、出口によって返されたデータの形式を確認してください。

CICS 提供の出口が使用された場合、これは CICS エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHBRIC, DFHBRMS, DFHBRSP, DFHBRCT, DFHXMBR

**ABR3**

説明: ブリッジ出口が、サポートされない BMS 要求を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ブリッジは、最小機能の BMS と SEND TEXT のみをサポートします。このトランザクションはブリッジ環境では使用できません。

モジュール: DFHEMS

**ABSA**

説明: DFHBSMSG に渡されたメッセージが長すぎます。これは CICS の内部エラーです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTBS

**ACAA**

説明: この説明は、2 つのトランザクション異常終了コード ACAA と ACAD に適用されます。パラメーターとして指定されたリソース定義に認識されていないリソース・タイプ・コードが含まれているため、CICS は、言語定義テーブル内に機能コードで一致するものを見つけることができません。出される異常終了コードは、エラーが起こる前に呼び出された DFHCAP 操作によって異なります。

異常終了 DFHCAP 操作

ACAA ANALYZE

ACAD DEFAULTS

異常終了の原因は、次のいずれかです。

- ライブラリー内の言語定義テーブル DFHEITCU が、実行している CICS のリリースに対して無効である。または
- CICS 論理エラーが発生した。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHEITCU モジュールがライブラリーにあり、このリリースの CICS に有効であることを確認してください。

DFHEITCU の有効なバージョンがすでにライブラリーにある場合は、CICS 論理エラーが起こっています。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCAP

**ACAD**

説明: ACAA を参照してください。

**ACAI**

説明: モジュール DFHCAP が呼び出されたときに内部エラーが起こりました。DFHCAP に対するドメイン呼び出しに無効な機能コードがありました。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCAP

**ACAJ**

説明: EXEC CICS CREATE の処理中にモジュール DFHCAP が呼び出されたときに、内部エラーが起こりました。事前割り振りの動的ストレージ域が小さすぎました。

システムの処置: EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているトランザクションは、CICS トランザクション・ダンプを作成して異常終了します。

## ACEx • ACHE

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCAP

---

### ACEx

説明: 最初の 3 文字が「ACE」である異常終了コードが Language Environment® によって出されます。このコードの詳細については、「*IBM Language Environment for z/VSE, Debugging Guide and Run-Time Messages*」に説明があります。

---

### ACHA

説明: リモート・サーバー・トランザクション CEHS が、CICS/CMS システムとともに作動する互換レベルにありません。これは、通常、CICS/CMS およびリモート・サーバーのサービス・レベルが異なることを示します。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

問題判別: リモート・サーバーで問題を診断する場合には、通常は、障害が発生した時点までのリモート・サーバーの活動のトレース情報を獲得すると有効です。

リモート・サーバーのトレース情報は、TRACE オプションを指定して、リモート・サーバーを呼び出すと獲得されます (CEHS TRACE と入力します)。リモート・サーバーは通常どおり作動しますが、トレース項目は一時ストレージにあるトレース・ログに書き込まれます。このキューには、補助ストレージではなく、主ストレージが使用されるため、このトレースを長時間にわたって行うと、大量のストレージを使ってしまうことに注意してください。

トレース情報は、「CEHSxxxx」という名前のキューにあります。「xxxx」は 4 文字の端末 ID です。このキューは、CEBR を使用して、テキスト形式または 16 進形式でスキャンすることができます。端末 ID を見つけるには、キュー名を指定せずに、CEHS を実行した端末で CEBR を呼び出します。キュー名のデフォルトの名前は「CEBRxxxx」であり、「xxxx」は端末 ID です。

注意: CEBR の場合、キュー名は大文字でなければなりません。

リモート・サーバーとそのトレース項目および異常終了コードについては、「*CICS/VS Remote Server Diagnosis*」(LC33-0438)を参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHB

説明: リモート・サーバーが、CICS/CMS から順序外のデータ・フレームを受け取りました。伝送中に脱落したフレームがある可能性があります。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間

の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHC

説明: リモート・サーバーが、CICS/CMS から予期していた肯定応答タイプのデータ・フレームを受け取りませんでした。システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHD

説明: リモート・サーバーが、CICS/CMS から予期していた応答タイプのデータ・フレームを受け取りませんでした。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHE

説明: リモート・サーバーが、CICS/CMS から予期しないデータ・フレームを受け取りました。このことは、リモート・サーバーに論理エラーがあることを示しています。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS



**ACHF**

説明: リモート・サーバーが、単一フレームしか送信できないときに、一連のデータ・フレームを CICS/CMS に送信しようとした。このことは、リモート・サーバーに論理エラーがあることを示しています。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

**ACHG**

説明: リモート・サーバーが、CICS/CMS にデータを送信しようとした。しかし、リモート・サーバーがデータを送信するための正しいモードに設定されていませんでした。このことは、リモート・サーバーに論理エラーがあることを示しています。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

**ACHH**

説明: TIOA が、リモート・サーバーが CICS/CMS から受け取ったデータから作成されていません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

**ACHI**

説明: リモート・サーバーが、変換プログラム 2 から予期しない戻りコードを受け取りました。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 詳細については、異常終了コード ACHA の

『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

**ACHJ**

説明: 「無回答」オプションを持つ、CICS/CMS からの要求を処理しているときに、エラーが起きました。したがって、リモート・サーバーは、CICS/CMS にエラー条件を戻すことができません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: リモート・サーバーを再確立して、NOCHECK オプションを指定せずに、CICS/CMS 下で CECI から同じコマンドを実行することによって、問題を診断します。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

**ACHK**

説明: 変形プログラムは、EIP にも DLI にも、CICS/CMS から受け取られた要求を実行する要求を出していません。この要求は EIP または DLI のいずれかが宛先に指定されていなければならないため、このことは論理エラーが起きていることを示します。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

**ACHL**

説明: CICS/CMS がリモート・サーバーに提供しているバッファの大きさが、リモート・サーバーが戻さなければならない応答を保持するのに十分ではありません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

**ACHM**

説明: リモート・サーバーが、再試行回数の限界を超えるまで CICS/CMS から応答を受け取ろうとして、失敗を繰り返しました。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

## ACHN • ACNC

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHN

説明: リモート・サーバーが、再試行回数の限界を超えるまで CICS/CMS から要求を受け取ろうとして、失敗を繰り返しました。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHO

説明: リモート・サーバーが、再試行回数の限界を超えるまで CICS/CMS から応答を受け取ろうとして、失敗を繰り返しました。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、問題を解決するために IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHP

説明: CICS/CMS はリモート・サーバーに要求を出しましたが、それに対する応答が許可されている最大ストレージ (32660 バイト) を超えるストレージが必要でした。このことは、論理エラーが起きたことを示しています。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHQ

説明: リモート・サーバーに CICS/CMS からの DL/I 資源の要求がありますが、DL/I は CICS システムに存在しません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: DL/I を CICS システムにインストールするか、DL/I 呼び出しを除去します。詳細については、異常終了

コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHR

説明: CICS/CMS リモート・サーバー・トランザクション (CEHS) が開始されましたが、タスクが端末向けではないか、関連する端末がコンソールではありません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: このトランザクションが関連する端末で開始されており、その端末がコンソールとして定義されていないことを確認してください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACHS

説明: CICS/OS2 リモート・サーバー・トランザクション (CEHP) が開始されましたが、タスクが端末向けではないか、関連する端末がコンソールではありません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: このトランザクションが関連する端末で開始されており、その端末がコンソールとして定義されていないことを確認してください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

---

### ACNA

説明: テーブル DFHCNV をロードすることができません。

これは汎用の異常終了コードです。変換テーブル DFHCNV の LOAD 要求が失敗したことを示します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、LOAD 要求から戻された実際の状態を判別してください。

モジュール: DFHCCNV

---

### ACNB

説明: プログラム DFHUCNV をリンクできませんでした。これは汎用の異常終了コードです。変換プログラム DFHUCNV の LINK 要求が失敗したことを示します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、LINK 要求から戻された実際の状態を判別してください。

モジュール: DFHCCNV

---

### ACNC

説明: クライアントによって要求されたクライアント・コード・ページは CICS がサポート可能なページではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページが有効であることを確認してください。

モジュール: DFHCCNV

#### ACND

説明: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページ間の変換が、CICS でサポートされていません。Japanese コード・ページ 932 と Latin-1 コード・ページ 500 間の変換などが要求されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページのデフォルトと指定変更値の両方が、サーバー・コード・ページと同じグループに入っていることを確認してください。例えば、Latin-2 グループからのクライアント・コード・ページ 852 は、サーバー・コード・ページ 870 に対してのみサポートされています。

モジュール: DFHCCNV

#### ACNE

説明: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページの間の変換が、CICS ではサポートされません。コード・ページは同じグループにありますが、指定されたクライアント・コード・ページに対して要求されたサーバー・コード・ページを一致させる変換テーブルが CICS にありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページが正しいことを確認してください。これらが意図したとおりであれば、CICS は要求された変換をサポートできません。

モジュール: DFHCCNV

#### ACN1

説明: テーブル DFHCCNV をロードすることができません。これは、おそらく、テーブルが事前に生成されていなかったことが原因と考えられます。さらに、この状況は、テーブル DFHCCNV が 16 MB 境界より上でリンクされているときに、DFHCCNV が 16 MB 境界より下でリンクされている場合にも起こる可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHCCNV モジュールがライブラリーにあり、CICS のこのリリースに有効であるかどうかを調べてください。DFHCCNV のリンクを調べて、必要であればそれを正しい AMODE にリンクし直してください。

モジュール: DFHCCNV

#### ACN2

説明: テーブル DFHCCNV はロードされましたが、最初のレコードの形式が間違っています。これはおそらく、アセンブリまたはリンク・エディット時に起こったエラーによるものですが、ストレージが重ね書きされた結果起こった可能性もあります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザク

ション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: テーブルを再アセンブルして、リンク・エディットしなければなりません。アセンブル出力およびリンク・エディット出力を調べてください。ストレージの上書きが行われたことを示すメッセージが、CICS から出されているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHCCNV

#### ACN3

説明: プログラム DFHUCNV をリンクすることができません。ユーザー変換プログラムが、使用可能でなければなりません (そのプログラムが戻るだけである場合にも)。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHUCNV モジュールがライブラリーにあり、CICS のこのリリースに有効であるかどうかを調べてください。DFHUCNV のリンクを調べて、必要であればそれを正しい AMODE にリンクし直してください。

モジュール: DFHCCNV

#### ACN4

説明: 認識されない形式設定の DFHCCNV テーブルが検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHCCNV マクロを再調整して、再度リンク・エディットしてください。

モジュール: DFHCCNV

#### ACN5

説明: デフォルトのクライアント・コード・ページの指定変更が受け取られましたが、その値は認識されませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・システムが、CICS/390 でサポートされているクライアント・コード・ページを使用していることを確認してください。

モジュール: DFHCCNV

#### ACN6

説明: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページ間の変換が、CICS/390 でサポートされていません。

Japanese コード・ページ 932 と Latin-1 コード・ページ 500 間の変換などが要求されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページのデフォルトと指定変更値の両方が、サーバー・コード・ページと同じグループに入っていることを確認してください。例えば、Latin-2 グループからのクライアント・コード・ページ 852 は、サーバー・コード・ページ 870 に対してのみサポートされています。

モジュール: DFHCCNV

### ACN7

説明: デフォルトの 2 進数形式の指定変更が受け取られましたが、その値は認識されませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: データ形式は S/370 または INTEL のどちらかにしてください。それ以外は CICS/390 ではサポートされていません。

モジュール: DFHCCNV

### ACN8

説明: CICS のデータ変換が、GRAPHIC 文字 (DBCS のみ) が入るように定義されている FIELD を処理しています。すなわち、次のようになっています。DFHCCNV

TYPE=FIELD,DATATYP=GRAPHIC,... しかし、クライアント・コード・ページ (CLINTCP オペランドで定義) とサーバー・コード・ページ (SRVERCP オペランドで定義) が、FIELD に SBCS 文字だけが入ることを次のように暗黙指定しています。DFHCCNV

TYPE=ENTRY,CLINTCP=437,SRVERCP=037

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: FIELD 定義を訂正してください。

モジュール: DFHCCNV

### ACN9

説明: テーブル DFHCCNV をロードすることができません。この異常終了コードは、DFHCCNV テーブルのロード時に発生した NOTAUTH 条件に従って出されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リソース・セキュリティ定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHCCNV

### ACP1

説明: DFHIC TYPE=GET 応答コードが、印刷キーの処理時の通常応答以外のものです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。印刷キーが押された端末のキーボードは、操作が失敗したことを示すために、ロックされたままです。

ユーザーの処置: ダンプを分析してください。応答コードは、レジスター 0 の下位バイトにあります。

モジュール: DFHCPY

### ACP2

説明: DFHIC TYPE=INITIATE 応答コードが、印刷キーの処理時の通常応答以外のものです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。印刷キーが押された端末のキーボードは、操作が失敗したことを示すために、ロックされたままです。

ユーザーの処置: ダンプを分析してください。応答コード

は、レジスター 0 の下位バイトにあります。

モジュール: DFHCPY

### ACRA

説明: 中継プログラムは呼び出されましたが、その主要な機能としての端末がありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHAPRT が端末に関連しないタスクの初期プログラムとして指定されていないことを確認してください。

モジュール: DFHAPRT

### ACRB

説明: 中継プログラムが、リモート・トランザクションとして定義されていないトランザクションによって呼び出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 中継プログラムが正しく定義されているかどうかを調べてください。トランザクションがリモート・トランザクションではない場合に DFHAPRT が呼び出された理由を判別します。

モジュール: DFHAPRT

### ACRC

説明: 中継プログラムが、DFHZCX から無効な応答を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAPRT

### ACRD

説明: 経路指定されるシステムのシステム項目が見つかりませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: インストール済みトランザクション定義を調べて、システムが正しく指定されているかどうかを確認してください。システム項目が TCT に定義されているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHAPRT

### ACRE

説明: APPC 端末から呼び出され、インストール済みトランザクション定義にリモート・トランザクションとして指定されたトランザクションが、リンクが使用できなかったため異常終了しました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: リンクが使用可能になるまで待機します。

CICS 提供のトランザクション CEMT INQUIRE

CONNECTION を使用して、リンクの状態を検査することができます。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRF

説明: 中継プログラムが、最初の呼び出しの後で、動的ルーターからゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、渡された COMMAREA DFHDYE の内容が正しいかどうかを調べ、動的経路指定プログラムが失敗に終わった理由を判別してください。

COMMAREA アドレスは、そのタスクのシステム TCA のフィールド TCACOMM から見つかる可能性があります。

COMMAREA フィールドは、DFHDYPDS DSECT によってマップされます。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRG

説明: AID チェーン内に一致する項目がないために、DYNAMIC(YES) を指定して定義された ATI 開始リモート・トランザクションが失敗しました。

チェーン内の各 AID は調べられ、次のいずれの状況も見つかりませんでした。

- TCTTE のそれに一致する AID 端末装置 ID
- インストール済みトランザクション定義と一致する AID トランザクション ID
- リモート・トランザクションの AID
- 取り消されていない AID

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用すると、不一致を確認するのに役立ちます。システム・ダンプの TCTTE および PCT フィールドにリストされたトランザクションを、AID チェーンと対照してください。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRH

説明: トランザクションの経路指定時に、システム間の流れを運ぶセッションのためのプロファイルを見つけることができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: インストール済みトランザクション定義を調べて、TRPROF が正しく指定されているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRI

説明: 動的トランザクション経路指定プログラムにリンクしようとしているときに、エラーが発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

DFHRT4417 から DFHRT4420 のメッセージが、CSMT ログに書き出されます。

ユーザーの処置: CSMT ログに送られたメッセージを参照してください。そのリンクの失敗の原因を識別し、詳しいユーザー引きを得ることができます。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRJ

説明: DFHAPRT からのリンクが実行された後で、動的トランザクション経路指定プログラムに異常終了が発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。メッセージ

DFHRT4416 が、CSMT ログに書き込まれます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRT4416 を参照してください。そのメッセージから動的トランザクション経路指定プログラムでの異常終了を識別し、詳しいユーザー引きを得ることができます。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRK

説明: 中継プログラムは呼び出されましたが、その主要な機能のアドレスがありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRL

説明: タスクがその機能を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRM

説明: 動的ルーターからの要求への応答中に、動的ルーターの呼び出し先トランザクションの開始プログラムではないプログラムへの INITIAL\_LINK を、DFHAPRT が試みました。その試みは失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 以下のことが起きた可能性を調べてください。

- 自動導入ユーザー置き換え可能モジュール (URM) が呼び出されたが、自動導入を行うことができない。
- 自動導入 URM が呼び出されたが、このモジュールが提供したデータが無効である。
- 自動導入 URM が呼び出されたが、処理プログラム・テーブル (PPT) に、自動導入モデルの項目がない。
- 自動導入 URM に問題がある。

## ACRO • ACSG

- プログラムの項目が PPT になく、さらに、自動導入が活動状態でないか、そのプログラムを示す自動導入 URM を自動導入すべきではない。
- プログラムは使用禁止になっている。
- プログラムをロードできない。
- プログラムがリモートで定義されている。

モジュール: DFHAPRT

---

### ACRO

説明: 端末から CRSQ トランザクションを呼び出す試みが行われました。CRSQ は内部 CICS トランザクションであり、このような方法で呼び出すことはできません。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ありません。CEMT コマンドおよび EXEC CICS コマンドを使用して AID を取り消すことはできません。

モジュール: DFHCRQ

---

### ACSA

説明: リモート・スケジューラー・タスク (CRSR) は、その主要な機能としてのシステム間リンク TCTTE を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHCRS が CRSR 以外のタスクの初期プログラムとして指定されていないことを確認してください。端末オペレーターが CRSR を入力していないかどうかを調べます。

モジュール: DFHCRS

---

### ACSB

説明: リモート・システム上でタスクをスケジュールするための要求に対する応答として、そのリモート・システムから予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRS

---

### ACSC

説明: タスクをスケジュールするための要求を予定しているときに、リモート・システムから予期しない要求を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRS

---

### ACSD

説明: 内部論理エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRS

---

### ACSE

説明: サポートされない方法でモジュール DFHCRS がタスク生成されました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: モジュール DFHCRS は、トランザクション CRSR によってのみ実行されます。このトランザクションは、その基本機能として、MRO セッション、LU6.1 セッションまたは LU タイプ 6.2 会話を使用して実行します。このトランザクションが、接続システム内でユーザー・トランザクションによってではなく、CRSR トランザクションによってタスク生成されていることを確認してください。

トランザクションが、CRSR トランザクションによってタスク生成されている場合には、問題を解決するために IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS

Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRS

---

### ACSF

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターにより除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHCRS

---

### ACSG

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された、関連するエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHCRS

**ACSH**

説明: APPC マップ・データの処理は、デフォルト値による LU6.2 付加 FMH の生成を必要とします。具体的には、要求された同期レベルはデフォルトの 2 になります。一方、使用される予定のセッションは同期レベル 1 でバインドされています。システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 次の点について調べてください。

- リモート・システムの TCT 項目が、並行セッションで定義されているかどうか。
- リモート・システムが、同期レベル 2 をサポートできるかどうか。
- 正しい同期レベルが要求されたかどうか。

モジュール: DFHCRS

**ACSI**

説明: CICS システム間のタスク生成が出されたときに、APPC 会話障害が発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート CICS システムへの接続を調べて、その接続を確立し直してみてください。

モジュール: DFHCRS

**ACSL**

説明: CICS が、大量フラグ (CFTS) 要求または大量リモート削除 (CDTS) 要求を実行するためのトランザクションを接続することができませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRS

**ACSM**

説明: トランザクション CFTS が異常終了しました。削除のための端末の大量フラグ付けが失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRS

**ACSN**

説明: トランザクション CFTS が停止しました。削除のための端末の大量フラグ付けが予期された時間を超えたため、失敗に終わったものとみなされます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CFTS が失敗したと想定したことを、メインライン・トランザクションが指定するために、リモート作業エレメント (RWE) にフラグが設定されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要

です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRS

**ACTA**

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、アプリケーション所有領域からの予期しない要求を受け取りました。受け取られた要求が、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反しています。

この要求は、DFHZTSP の LIFO の DFHLUCDS DSECT、すなわちフィールド LUCOPN0 に入られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

**ACTB**

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、端末管理 WRITE、LAST 要求をアプリケーション所有システムに出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

これは、TCATPAPR の端末管理からの通常の戻りコードです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZTSP

**ACTC**

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、アプリケーション所有システムに対してそのプログラムのセッションを解放するための端末管理要求を出し、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

これは、TCATPAPR の端末管理からの通常の戻りコードです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZTSP

**ACTD**

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、端末管理 WRITE、WAIT、READ 要求をアプリケーション所有システムに出し、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

これは、TCATPAPR の端末管理からの通常の戻りコードです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

## ACTE • ACTL

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### ACTE

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、APPC 端末とのそのセッションを解放しようとして端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、DFHZTSP の LIFO フィールドの DFHLUCDS DSECT、すなわち LUCRCODE に入れられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。その端末セッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZTSP

---

### ACTF

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、アプリケーション所有システムに対してそのプログラムのセッションを解放するための端末管理要求を出し、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、TCA フィールド、TCATPAPR で見つけることができます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。アプリケーション所有領域上のトランザクションが異常終了したか、またはセッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZTSP

---

### ACTG

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、アプリケーション所有領域内のトランザクションを生成するための要求を出しましたが、その領域から受け取った応答は無効でした。

TCA (フィールド TCATPAPR) 内の戻りコードはゼロ以外となり、TIOA がなくなるか (TCTTE 内のフィールド TCTTEDA がゼロ)、もしくは TIOA の開始点に FMH7 がなくなるかのいずれかです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。アプリケーション所有領域上のトランザクションが異常終了したか、またはセッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZTSP

---

### ACTH

説明: リモート LU 6.2 システムに対して優先割り振りが出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZISP

---

### ACTI

説明: 中継トランザクションが、その基本機能として ISC または MRO セッションを備えています。しかし、そのセッションのための TCTTE をこのタスクは所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRT

---

### ACTJ

説明: 中継トランザクションの基本機能は TCTTE ではありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスク CXRT は、リモート APPC 装置に対するアプリケーション所有領域内に出された ALLOCATE 要求によって、端末専有領域内でのみ開始しなければなりません。タスクの基本機能は、ISC または MRO リンクでなければなりません。CICS システムを常に上記のようになるように定義してあるかどうかを調べてください。また、プログラム DFHCRT がタスク CXRT によってのみ開始されていることを確認してください。

モジュール: DFHCRT

---

### ACTK

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果除去されました。

モジュール: DFHZISP

---

### ACTL

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および



び、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZISP

---

#### ACUA

説明: DFHZXRL が、トランザクション経路指定についてサポートされていない要求で呼び出されました。

この要求は、例外トレースに印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。DFHZXRL が DFHZARL から呼び出され、この DFHZXRL が要求の詳細をそのトレース項目に入れます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUB

説明: ALLOCATE 要求のために DFHZXRL に渡されたパラメーター・リストに、リモート APPC 端末の TCTSE アドレスが入っていません。

TCTSE アドレスは、例外トレースに印刷された DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。DFHZXRL が DFHZARL から呼び出され、この DFHZXRL が要求の詳細をそのトレース項目に入れます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUC

説明: DFHZXRL に渡された TCTSE アドレスが、リモート LU 6.2 端末のものではありませんでした。

TCTSE アドレスは、例外トレースに印刷された DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。DFHZXRL が DFHZARL から呼び出され、この DFHZXRL が要求の詳細をそのトレース項目に入れます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUD

説明: プロファイル DFHCICSR を、インストール済みプロファイル定義として見つけることができませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: IBM 提供のプロファイル DFHCICSR が正しく定義されていて、しかも CICS に正しくインストールされているかどうか調べてください。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUE

説明: 代理 TCTTE を作成するための DFHZTSP に対する要求が満たされませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUF

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間のセッションが、要求を正しく指定しなかったために割り振られませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUG

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間にセッションを割り振る要求が失敗しました。ALLOCATE 要求からの戻りコードは、以前はそのプロファイルをインストール済みトランザクション定義として見つけることができたものの、今回はそれができなかったことを示しています。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUH

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間にセッションを割り振る要求が失敗しました。ALLOCATE 要求からの戻りコードは、要求されたセッションを TCA がすでに所有していることを示しています。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

## ACUI • ACUO

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRLL

---

### ACUI

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間の ISC セッションが、プロファイル内で指名された MODENAME が見つからなかったために割り振られませんでした。IBM 提供プロファイルの DFHCICSR は MODENAME を指定していません。したがって、このエラーは、MODENAME が IBM 提供のプロファイルに追加されたときに、その MODENAME が端末専有領域について SESSIONS 定義に定義されていない場合に発生します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 端末専有領域に対して SESSIONS を定義しているときに、プロファイル DFHCICSR に指定した MODENAME も指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHZXRLL

---

### ACUI

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間のセッションが、プロファイル DFHCICSR に指定されたモード・グループの最大セッション・カウントがゼロであるために割り振られませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、セッションを使用可能に必要なモード・グループに設定します。

モジュール: DFHZXRLL

---

### ACUK

説明: リモート端末用の TCTSE 内に指定された端末専有領域について、TCT 項目が見つかりませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システム項目に定義してある端末専有領域が、TCT 内のシステム項目にも定義してあることを確認してください。

モジュール: DFHZXRLL

---

### ACUL

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域に対して端末管理 WRITE、WAIT、READ 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末

管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRLL

注記: この異常終了に関する説明は、ACUX および ACUZ にも適用されます。

---

### ACUM

説明: 代理 TCTTE を解放するための DFHZTSP に対する要求が満たされませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRLL

---

### ACUN

説明: 端末管理 FREE 要求が失敗しました。アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域とのセッションを解放しようとして、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRLL

---

### ACUO

説明: 端末管理 READ 要求が失敗しました。アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域からデータを受け取ろうとして、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

注記: この異常終了に関する説明は、ACUQ、ACUS、および ACU1 にも適用されます。

---

#### ACUP

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域からロールバックを受け取りませんでした。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反します。

端末専有領域からのトレースが、アプリケーション所有領域に対する応答を示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

注記: この異常終了に関する説明は、ACUR にも適用されます。

---

#### ACUQ

説明: 異常終了 ACUO の「説明」を参照してください。

---

#### ACUR

説明: 異常終了 ACUP の「説明」を参照してください。

---

#### ACUS

説明: 異常終了 ACUO の「説明」を参照してください。

---

#### ACUT

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域から同期点またはロールバックのいずれも受け取りませんでした。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反します。

端末専有領域からのトレースが、アプリケーション所有領域に対する応答を示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUV

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上で端末専有領域に対して端末管理 ISSUE ABEND 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZIS1 から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUW

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上で端末専有領域に対して端末管理 ISSUE ERROR 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZIS1 から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUX

説明: 異常終了 ACUL の「説明」を参照してください。

---

#### ACUY

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域に対して端末管理 WRITE、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

---

#### ACUZ

説明: 異常終了 ACUL の「説明」を参照してください。

### ACU0

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域に対して端末管理 WRITE、LAST、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

### ACU1

説明: 異常終了 ACU0 の「説明」を参照してください。

### ACU2

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域から応答を受け取りましたが、それは CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反するものでした。

端末専有領域からのトレースが、アプリケーション所有領域に対する応答を示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

### ACU3

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路プログラムが、会話状態マシンを CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反する状態に設定しようとした。

その状態が含まれるレジスターは、アセンブラー・リストから判断することができます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

### ACU4

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、会話状態マシンに対して SET 要求を出して、ゼロ以外の戻りコードを受け取りました。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反します。

このトレース項目は、DFHZUSR から返される時点で、要求タイプおよび現行状態を示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

### ACU5

説明: アプリケーション所有領域内で実行されているプログラムが、端末専有領域に接続されている APPC 装置に対して ALLOCATE 要求を出しましたが、2 つのシステム相互間の接続がインストールされていませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 2 つの領域相互間の接続をインストールしてください。

モジュール: DFHZXRL

### ACVA

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域に対して端末管理 WRITE、WAIT、READ 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

### ACVB

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上でアプリケーション所有領域に対して端末管理 ISSUE SIGNAL 要求を出そうとしました。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRT

---

### ACVC

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 リンク上のアプリケーション所有領域に対して ISSUE SIGNAL 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

---

### ACVD

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域に対して READ、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

---

### ACVE

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域に対して WRITE 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

---

### ACVF

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域に対して WRITE、LAST、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

---

### ACVG

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 端末とのセッションを解放するための FREE 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

その端末セッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZXRT

---

### ACVH

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域とのセッションを解放するための FREE 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

### ACVK

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 リンク上に ISSUE ABEND 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 接続された領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

### ACVL

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上でアプリケーション所有領域に対して ISSUE ABEND 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZIS1 から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

### ACVM

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 リンク上に ISSUE ERROR 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 接続された領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

### ACVN

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上でアプリケーション所有領域に対して ISSUE ERROR 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZIS1 から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

### ACVO

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが ISSUE PREPARE 要求を出して、ゼロ以外の戻りコードまたは CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反するとの応答のいずれかを受け取りました。

その戻りコードは TCASPRC 内にあり、その応答は TCASPSN1 内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、その問題が、戻りコードまたは応答のいずれが原因で起こったのかを判別してください。端末管理がこの要求を処理できない場合には、次の場合に異常終了が発生する可能性があります。

- 接続された領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

上記以外の場合には、分散アプリケーション・プログラムが APPC 会話プロトコルに違反している可能性があります。

モジュール: DFHZXRT

### ACVP

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域からの FMH43 を受け取りませんでした。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反します。

アプリケーション所有領域からのトレースは、その応答を端末専有領域に対して示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZXRT

**ACVQ**

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、APPC 端末に対して要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

要求および戻りコードは両方とも、例外トレース内に印刷された DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。その端末セッションは失敗したか、間違った状態にあります。例えば、端末とアプリケーションの両方が同時に SYNCPOINT ROLLBACK を出した結果そのような状態になった場合です。

モジュール: DFHZXRT

**ACVR**

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 端末に対して SEND、LAST、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。その端末セッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZXRT

**ACWA**

説明: タスクにその基本機能としての独自の端末 (TCTTE) がいないため、CICS CWTO トランザクションは失敗に終わりました。これは、CWTO が、端末 ID を持たない EXEC CICS START トランザクション ID として開始されたために起こった可能性があります。

システムの処置: トランザクションが異常終了します。トランザクション・ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: 端末 ID 値を指定して再試行するか、端末から CWTO を入力してください。

モジュール: DFHCWTO

**ACXA**

説明: キャッチアップ・トランザクション CXCU が失敗しました。CXCU は、エンド・ユーザーからのトランザクション要求に応答して実行されるか、または代替 CICS システムの出現に回答して活動 CICS システムにより自動的に実行されます。その目的は、端末に関する活動システムの状態を代替システムに通知することです。

システムの処置: キャッチアップ・トランザクション CXCU は異常終了して、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。活動 CICS システムおよび代替 CICS システムの両方が続行されますが、代替 CICS システムについては引き継ぎの際にその性能が低下します。例えば、端末バックアップ・セッションを確立できない場合があります。

ユーザーの処置: 端末から「CXCU」を入力して再試行してください。エラーが解消されない場合には、ダンプから問題を診断してください。

モジュール: DFHCXCU

**ADBA**

説明: CICS が動的ログを読み取ろうとしている間に、障害が起こりました。

システムの処置: バックアウト処理は異常終了します。データ保全性が維持されない可能性があるため、CICS は異常終了されます。

ユーザーの処置: データ保全性を確実に維持するために、CICS を緊急再始動させる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。モジュール: DFHDBP

**ADBB**

説明: DWE 処理中に、TCA からの据え置き作業エレメント (DWE) チェーンが破壊されました。

システムの処置: バックアウト処理は異常終了します。データ保全性が維持されない可能性があるため、CICS は異常終了されます。

ユーザーの処置: データ保全性を確実に維持するために、CICS を緊急再始動させる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。モジュール: DFHDBP

**ADBC**

説明: DL/I ログ・レコードが DL/I インターフェースに対して大きすぎます。

システムの処置: バックアウト処理は異常終了します。データ保全性が維持されない可能性があるため、CICS は異常終了されます。

ユーザーの処置: データ保全性を確実に維持するために、CICS を緊急再始動させる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。モジュール: DFHDBP

**ADBE**

説明: 無効なファイル名 (DBRFID) が動的ログで検出されました。

システムの処置: バックアウト処理は異常終了します。データ保全性が維持されない可能性があるため、CICS は異常終了されます。

ユーザーの処置: データ保全性を確実に維持するために、CICS を緊急再始動させる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。モジュール: DFHDBP

### ADBF

説明: DL/I バックアウト・レコード内の PSB 名が、現行タスクに対してスケジュールされた名前と異なっています。  
システムの処置: バックアウト処理は異常終了します。データ保全性が維持されない可能性があるため、CICS は異常終了されます。  
ユーザーの処置: データ保全性を確実に維持するために、CICS を緊急再始動させる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHDBP

### ADBH

説明: 無効なサービス・モジュール ID が、動的ログ (DBRSVMID) で検出されました。  
システムの処置: バックアウト処理は異常終了します。データ保全性が維持されない可能性があるため、CICS は異常終了されます。  
ユーザーの処置: データ保全性を確実に維持するために、CICS を緊急再始動させる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHDBP

### ADBK

説明: CICS が動的ログからファイル・バックアウトを試行中に、無効な関数 ID が検出されました (DBRMODFN)。  
システムの処置: バックアウト処理は異常終了します。データ保全性が維持されない可能性があるため、CICS は異常終了されます。  
ユーザーの処置: データ保全性を確実に維持するために、CICS を緊急再始動させる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHDBP

### ADBL

説明: CICS がファイル・バックアウトを再試行中に、無効なエラー・コードが検出されました (DBRERRCD)。  
システムの処置: バックアウト処理は異常終了します。データ保全性が維持されない可能性があるため、CICS は異常終了されます。  
ユーザーの処置: データ保全性を確実に維持するために、CICS を緊急再始動させる必要があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHDBP

### ADEF

説明: トランザクション CLS3 の実行中に、重大エラーが起きました。  
システムの処置: CLS3 は異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。CICS は、メッセージ DFHZC4948 を出します。  
ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHZC4948 を参照してください。  
モジュール: DFHCLS3

### ADIR

説明: この異常終了コードは次のいずれかの理由によって出されます。  
• DFHDIP プログラムがダミーとして生成されたときに、DFHDI または DFHBMS 要求が出された。  
• DFHDI TYPE=RECEIVE または TYPE=NOTE が試行されたが、トランザクション識別で INBFMH=DIP または INBFMH=ALL のいずれも指定されていない。  
システムの処置: 問題判別に役立つように CICS トランザクション・ダンプが提供されます。  
ユーザーの処置: DFHDIP プログラムをシステムに生成するか、または INBFMH をプロファイル定義に正しく指定してください。  
モジュール: DFHDIP

### ADLH

説明: 必要なステップが失敗したため、CICS DL/I 再始動タスクは完了できませんでした。そのタスクでは重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体は異常終了コード ADLH で異常終了しました。  
システムの処置: CICS は、DL/I 再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを書き込みます。

CICS は、2 つのメッセージをコンソールに送ります。1 つは DL/I 再始動タスクが検出したエラーを識別するものであり、もう 1 つは DFHDL3928 であり、タスクが失敗したことを知らせるものです。2 つのメッセージの後には、CICS が異常終了してダンプが作成されたことを知らせるか、GO または CANCEL と応答するように促す、3 つ目のメッセージが続きます。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。  
ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。「GO」で応答すると CICS の処理は続行されますが、DL/I はサポートされません。

「CANCEL」と応答した場合には、CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHDLRP

### ADPL

説明: サーバー・プログラムが、分散プログラム・リンク (DPL) 環境に限定されているコマンドを出しました。ある種の API および CPI-RR 要求は、DPL 環境で使用することができません。これらの制限付きコマンドのリストは、「CICS *Application Programming Guide*」を参照してください。

サーバー・プログラムは、リモートでリンクされたプログラム、または DPL サブセットで実行するよう定義されているプログラムです。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: サーバー・プログラムから制限付きコマンド



を除去するか、サーバー・プログラムをローカルで実行してください。

モジュール: DFHEIP、DFHCPIR

---

### AEC1

説明: コマンド・レベル解釈プログラム (CECI)、拡張マスター端末 (CEMT)、または RDO (CEDA、CEDB、CEDC) トランザクションをサポート対象外の端末で使用しようとした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: コマンド・レベル解釈プログラム、拡張マスター端末、または RDO トランザクションがサポートされている端末を使用します。

モジュール:

DFHECIP、DFHECSP、DFHEMTP、DFHESTP、DFHEOTP、DFHEDAP

---

### AEC2

説明: コマンド・レベル解釈プログラム (CECI)、拡張マスター端末 (CEMT)、または RDO (CEDA、CEDB、CEDC) トランザクションを、サイズが 24 X 80 よりも小さなディスプレイ端末で使用しようとした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: コマンド・レベル解釈プログラム、拡張マスター端末、または RDO トランザクションがサポートされているディスプレイ端末を使用します。

モジュール:

DFHECIP、DFHECSP、DFHEMTP、DFHESTP、DFHEOTP、DFHEDAP

---

### AEC7

説明: LE for z/VSE 使用可能プログラムを実行しようとしているときに、THREAD INITIALIZATION フェーズ中に、LE for z/VSE が予期しないエラーを検出しました。LE for z/VSE から受け取った戻りコードは、フィールド EIBRESP2 に入れます。

システムの処置: メッセージ DFHAP1200 が出され、トランザクションが異常終了します。プログラムは使用禁止になっている。

ユーザーの処置: LE for z/VSE が出したエラー・メッセージまたはメッセージを参照して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### AEC8

説明: LE for z/VSE 使用可能プログラムを実行しようとしているときに、RUNUNIT INITIALIZATION フェーズ中に、LE for z/VSE が予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: LE for z/VSE から受け取った戻りコードは、フィールド EIBRESP2 に入れます。メッセージ DFHAP1200 が出され、トランザクションが異常終了します。プログラムは使用禁止になっている。

ユーザーの処置: LE for z/VSE が出したエラー・メッセージまたはメッセージを参照して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### AEC9

説明: LE for z/VSE 使用可能プログラムを実行しようとしているときに、RUNUNIT BEGIN INVOCATION フェーズ中に、LE for z/VSE が予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: LE for z/VSE から受け取った戻りコードは、フィールド EIBRESP2 に入れます。メッセージ DFHAP1200 が出され、トランザクションが異常終了します。プログラムは使用禁止になっている。

ユーザーの処置: LE for z/VSE が出したエラー・メッセージまたはメッセージを参照して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### AEDA

説明: CEDF トランザクションが、無効な開始コードで開始されました。実行診断機能 (EDF) を EXEC CICS START(CEDF) で開始しようとした結果、このようなエラーが起きることがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、開始が失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

---

### AEDB

説明: DFHEDFP が無効な EDFXA を渡されました。これは、内部 CICS エラーです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEDFX

---

### AEDC

説明: ストレージ・マネージャーへの GETMAIN 要求が失敗したために、プログラム EDF が終了しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、要求が失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

---

### AEDD

説明: CICS が EDF タスクを生成してユーザー要求を表示しようとしたが、タスク生成が失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、タスク生成が失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

---

### AEDE

説明: CICS が EDF タスクを完了させるためユーザー・タスクを延期していましたが、延期の実行中にエラーが起きました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザク

## AEDH • AED9

ション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、延期が失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

---

### AEDH

説明: EDF を呼び出したユーザー・プログラムの詳細を調べるために、CICS がプログラム・マネージャーを呼び出したときにエラーが起きました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、呼び出しが失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

---

### AED1

説明: この異常終了は、次のいずれかの結果として作成されます。

- サポートされない端末で実行診断機能 (EDF) を使用しようとした。
- 非端末基本機能を使用して、一時ストレージ・ブラウズ・トランザクション (CEBR) を開始しようとした。
- サポートされていない装置上で一時ストレージ・ブラウズ・トランザクション (CEBR) を使用した。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 正しくサポートされている端末または装置を使用してください。

モジュール: DFHEDFP, DFHEDFBR

---

### AED2

説明: プログラム EDF はタスクを終了させ、そのタスクの TCA にこの異常終了コードを入れました。これは、EDF の実行が異常終了されようとしているためです。EDF が終了するのは、回線、コントロール・ユニット、または端末がサービス不能状態に置かれたことが理由と思われる。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EDF がディスプレイ端末としてサポートしている端末を使用してください。この異常終了コードとともに終了したタスクの CICS トランザクション・ダンプを使用して、検討することができます。

モジュール: DFHEDFX

---

### AED3

説明: プログラム EDF はタスクを終了させ、そのタスクの TCA にこの異常終了コードを入れました。この終了は、EDF が異常終了されようとしているために起こります。

EDF の異常終了の理由の 1 つに、正しくないデータがユーザー・タスクにより端末に送信されたことが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 終了したタスクの CICS トランザクション・ダンプ (その終了が異常終了であった場合には、EDF に関する類似のダンプも) を使用して、検討することができます。

モジュール: DFHEDFX

---

### AED4

説明: EDF モジュール DFHEDFP で内部論理エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 論理エラーを示しています。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEDFP

---

### AED5

説明: 内部論理エラーが EDF で検出されました。事前に割り振られた動的ストレージが不足しています。

システムの処置: EDF は異常終了し、ダンプ・コード CXSP, RMIN, PAGE, LDIN のダンプが作成されます。ユーザー・タスクは続行されます。

ユーザーの処置: この問題は、EDF とのユーザーの対話を簡素化することによって避けることができます。問題が解決しない場合は、支援が必要になることがあります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEDFD

---

### AED6

説明: 内部論理エラーが EDF で検出されました。

システムの処置: EDF は異常終了し、ダンプ・コード CXSP, RMIN, PAGE, LDIN のダンプが作成されます。ユーザー・タスクは続行されます。

ユーザーの処置: この問題は、EDF とのユーザーの対話を簡素化することによって避けることができます。問題が解決しない場合は、支援が必要になることがあります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEDFU

---

### AED8

説明: 端末管理エラーが DFHEDFX に発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEDFX

---

### AED9

説明: EDF で一時ストレージ・エラーが起こりました。これは、一時ストレージで入出力エラーが起きたか、または一時ストレージ・データがいっぱいになったことが原因で起こります。

システムの処置: EDF が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージ要求障害が起きた理由を調べてください。一時ストレージ・データ・セットの定義が正しいか確認してください。

一時ストレージの問題の処理についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHEDFD

**AEIA**

説明:

注: この異常終了の説明は、AEID から AEI9、AEXC から AEXF、AEXI から AEXL、AEXS、AEXU、AEXW、AEXX、AEX0 から AEX3、AEX5、AEX6、AEX7、AEYA から AEYC、AEYE から AEY3、AEY7、AEZI から AEZJ、AEZL、AEZV から AEZW、および AEZY にも適用されます。

例外条件が発生したときに、コマンドに RESP オプション (または NOHANDLE オプション) が指定されていないか、またはアプリケーション・プログラムがその条件に対して EXEC CICS HANDLE CONDITION コマンドを実行しなかった場合、EXEC インターフェース・プログラムがこれらの異常終了コードを出します。これにより、DFHEIP が問題の条件に対してシステムの処置をとることになります。その処置は、ほとんどの場合、トランザクションを異常終了させることです。

特性が似ているため、EXEC インターフェース・プログラムの異常終了コードは 1 つのグループとして記述されます。これらのコードとそれに対応する例外条件は、次のとおりです。

コード	条件
AEIA	ERROR
AEID	EOF
AEIE	EODS
AEIG	INBFMH
AEIH	ENDINPT
AEII	NONVAL
AEIJ	NOSTART
AEIK	TERMIDERR
AEIL	FILENOTFOUND
AEIM	NOTFND
AEIN	DUPREC
AEIO	DUPKEY
AEIP	INVREQ
AEIQ	IOERR
AEIR	NOSPACE
AEIS	NOTOPEN
AEIT	ENDFILE
AEIU	ILLOGIC
AEIV	LENGERR
AEIW	QZERO
AEIZ	ITEMERR
AEI0	PGMIDERR
AEI1	TRANSIDERR
AEI2	ENDDATA
AEI3	INVTREQ
AEI4	EXPIRED
AEI8	TSIOERR
AEI9	MAPFAIL
AEXC	RESIDERR
AEXD	CCERROR

コード	条件
AEXE	MAPERROR
AEXF	ESCERROR
AEXI	TERMERR
AEXJ	ROLLEDBACK
AEXK	END
AEXL	DISABLED
AEXS	OUTDESCRERR
AEXU	NOTPOSS
AEXW	SUPPRESSED
AEXX	TASKIDERR
AEX0	TCIDERR
AEX1	DSNNOTFOUND
AEX2	LOADING
AEX3	MODELIDERR
AEX5	PARTNERIDERR
AEX6	PROFILEIDERR
AEX7	NETNAMEIDERR
AEYA	INVERRTERM
AEYB	INVMPSTZ
AEYC	IGREQID
AEYE	INVLDC
AEYG	JIDERR
AEYH	QIDERR
AEYJ	DSSTAT
AEYK	SELNERR
AEYL	FUNCERR
AEYM	UNEXPIN
AEYN	NOPASSBKRD
AEYO	NOPASSBKWR
AEYP	SEGIDERR
AEYQ	SYSIDERR
AEYR	ISCINVREQ
AEYT	ENVDEFERR
AEYU	IGREQCD
AEYV	SESSIONERR
AEYX	USERIDERR
AEYY	NOTALLOC
AEYZ	CBIDERR
AEY0	INVEXITREQ
AEY1	INVPARTNSET
AEY2	INVPARTN
AEY3	PARTNFAIL
AEY7	NOTAUTH
AEZI	ACTIVITYERR
AEZJ	CONTAINERERR
AEZL	TOKENERR
AEZV	CHANNELERR
AEZW	CCSIDERR
AEZY	CODEPAGEERR

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを変更して、この条件を再発させないようにするか、RESP オプションを使

## AEID • AEIL

用してこの条件を検査するか、またはこの条件が起こった場合に条件を処理するように (EXEC CICS HANDLE CONDITION コマンドを使用) します。必要であれば、EIB の EIBRESP2 フィールドまたは EIBRCODE フィールドの内容を使用して、例外条件の原因の判別に役立ててください。

問題判別: 例外応答と応答コードを作り出したコマンドの機能コードは、EXEC インターフェース・ブロック (EIB) の中にあります。EIB は、DFHEIP によって使用されるより大きな制御ブロックの一部です。この制御ブロックは、EXEC インターフェース・ストレージ・ブロック (EIB) として知られています。EIS は TCAEISA (TCA + X'90' のシステム部分) によってアドレッシングされます。EIB は EIS + X'8' から指し示されます。

機能コードは、EIB のオフセット X'1B' にあり、応答コードは、次の特定のオフセットのいずれかにあります。

**EIBRCODE**  
X'1D'

**EIBRESP**  
X'4C'

**EIBRESP2**  
X'50'

「CICS Application Programming Reference」に、エンコードされた機能とその応答の変換表があります。

分析: これらの異常終了コードは、HANDLE CONDITION コマンドに指定することのできる例外条件と直接関係しているため、アプリケーション・プログラマーは、その条件がアプリケーションによって処理すべき条件であるかどうか (例えば、ENDFILE)、あるいはアプリケーションまたは CICS テーブルに対する修正変更が必要であるかどうかを判断する必要があります。

モジュール: DFHEIP

---

### AEID

説明: EOF 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEIE

説明: EODS 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEIG

説明: INBFMH 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEIH

説明: ENDINPT 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEII

説明: NONVAL 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEIJ

説明: NOSTART 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEIK

説明: TERMIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEIL

説明: FILENOTFOUND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIM**

説明: NOTFND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIN**

説明: DUPREC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIO**

説明: DUPKEY 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIP**

説明: INVREQ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIQ**

説明: IOERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIR**

説明: NOSPAC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIS**

説明: NOTOPEN 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIT**

説明: ENDFILE 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIU**

説明: ILLOGIC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIV**

説明: LENGERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIW**

説明: QZERO 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEIZ**

説明: ITEMERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

---

### AEIO

説明: PGMIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEI1

説明: TRANSIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEI2

説明: ENDDATA 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEI3

説明: INVTSREQ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEI4

説明: EXPIRED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEI8

説明: TSIOERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEI9

説明: MAPFAIL 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AELA

説明: 実行中の機能は、制御が戻る前に除去されました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AELA を出して異常終了するようマーク付けされます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。そのタスクは、マスター端末オペレーターによって、またはデッドロック・タイムアウトの結果、除去されました。

マスター端末オペレーターがタスクを除去した場合には、何らかの理由でデッドロックになっていると思われるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起らないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHETL

---

### AELB

説明: 実行中の機能は、制御が戻る前に除去されました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AELB を出して異常終了するようマーク付けされます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。そのタスクは、マスター端末オペレーターによって、またはデッドロック・タイムアウトの結果、除去されました。

マスター端末オペレーターがタスクを除去した場合には、何らかの理由でデッドロックになっていると思われるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起らないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHEGL

---

### AEMA

説明: ユーザー出口を活動状態にする要求が使用できないときに、アプリケーション (AP) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID または DISASTER 応答) が起こりました。システムの処置: このタスクは異常終了します。最初のエラーを検出したドメインは、コンソール・メッセージを出し、例

外トレースやシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供する場合があります。

ユーザーの処置: 詳細については、関連するコンソール・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHUEM

#### AEMB

説明: エラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が、ローダー (LD) ドメインに対する呼び出し時に発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずで

システムの処置: そのタスクは異常終了して、(ダンプ・テーブル内のオプションによっては) CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHUEM

#### AEMP

説明: アプリケーション (AP) ドメインに対する活動化要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHUEM

#### AEMQ

説明: ローダー (LD) ドメインに対する

IDENTIFY\_PROGRAM 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、(ダンプ・テーブル内のオプションによっては) CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに

指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHUEM

#### AETA

説明: CICS トランザクションは、アプリケーション「スタブ」(DFHRMCAL マクロの拡張) を介して非 CICS コマンドを出しました。プログラム DFHERM は、前の DFHRMCAL 要求がそのトランザクションから出されたときからその出口は使用禁止になっていると判断しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHERM

#### AETC

説明: CICS トランザクションは、アプリケーション「スタブ」(DFHRMCAL マクロの拡張) を介して非 CICS コマンドを出しました。しかし、タスク関連のユーザー出口 (TRUE) がプログラム・マネージャーに認識されていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TRUE が、DFHRMCAL マクロに識別されているとおりに、CICS に正しく定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHERM

#### AETF

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供し

ます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

## AETG • AEXJ

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHERM

---

### AETG

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHERM

---

### AETH

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHERM

---

### AETI

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザク

ション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHERM

---

### AEXC

説明: RESIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEXD

説明: CCERROR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEXE

説明: MAPERROR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEXF

説明: ESCERROR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEXI

説明: TERMERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEXJ

説明: ROLLEDBACK 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。



**AEXK**

説明: END 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEXL**

説明: DISABLED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEXS**

説明: OUTDESCRERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEXU**

説明: EXEC CICS コマンドの実行時に、無効なパラメーターが検出され、NOTPOSS 条件が起きました。これは、おそらく、以前のストレージ・オーバーレイによって引き起こされました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了を引き起こした CICS コマンドの機能コードを判別する方法については、異常終了 AEIA を参照してください。

NOTPOSS に EXEC CICS HANDLE CONDITION を設定することはできません。

システム・プログラマーは、ストレージ・オーバーレイの原因を調べる必要があります。

モジュール: DFHEIDTI、DFHEIQDS、DFHEIQSA、DFHEIQSC、DFHEIQSM、DFHEIQSP、DFHEIQST、DFHEIQSX

**AEXW**

説明: SUPPRESSED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEXX**

説明: TASKIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEXY**

説明: 制御が返される前に、実行トランザクションが除去されました。

これは、次の場合にトランザクションが除去されると起こる可能性があります。

- CICS が処理されていた。
  - トランザクションがディスパッチされるのを待っていた。
- システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、トランザクションが除去された理由を突き止めてください。

モジュール: DFHACP、DFHEDCP、DFHEEI、DFHEIPRT、DFHEIPSE、DFHEIPSH、DFHEIQBA、DFHEIQDN、DFHEIQDS、DFHEIQDU、DFHEIQIR、DFHEIQMS、DFHEIQMT、DFHEIQSA、DFHEIQSC、DFHEIQSJ、DFHEIQSK、DFHEIQSM、DFHEIQSP、DFHEIQSQ、DFHEIQST、DFHEIQSX、DFHEIQTR、DFHEIQUE、DFHEIQVT、DFHEOP、DFHESC、DFHESE、DFHESN、DFHTIEM、DFHETRX、DFHXTP、DFHZTSP

**AEXZ**

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AEXZ で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHACP、DFHEDCP、DFHEEI、DFHEIACQ、DFHEIPRT、DFHEIPSE、DFHEIPSH、DFHEIQBA、DFHEIQDN、DFHEIQDS、DFHEIQDU、DFHEIQIR、DFHEIQMS、DFHEIQMT、DFHEIQSA、DFHEIQSC、DFHEIQSJ、DFHEIQSK、DFHEIQSM、DFHEIQSP、DFHEIQSQ、DFHEIQST、DFHEIQSX、DFHEIQTR、DFHEIQUE、DFHEIQVT、DFHEOP、DFHESC、DFHESE、DFHESN、DFHTIEM、DFHETRX、DFHXTP、DFHZTSP

---

### AEX0

説明: TCIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEX1

説明: DSNNOTFOUND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEX2

説明: LOADING 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEX3

説明: MODELIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEX5

説明: PARTNERIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEX6

説明: PROFILEIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEX7

説明: NETNAMEIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYA

説明: INVERRTERM 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYB

説明: INVMPSTZ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYC

説明: IGREQID 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYD

説明: トランザクション自体がアクセスできなかったストレージに CICS がアクセスするように、トランザクションが要求を出しました。無効なストレージが、EXEC CICS コマンドでの出力パラメーターとして CICS に渡された場合に、このようなエラーが起きます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、DFHEISR により作成された例外トレース項目を見つけ出し、エラー内のパラメーターを識別してください。異常終了が処理される場合は、EXEC CICS ASSIGN ASRASTG、ASRAKEY、および ASRAREGS が異常終了に関する追加情報を提供します。異常終了が起った時点のレジスター 2 は、障害が起きたストレージを示しています。

以下の項目の 1 つまたは複数を変更してください。

- EXEC CICS コマンドを出したトランザクション内のエラーのコードを訂正し、有効なストレージを提供してください。
- 記憶保護が活動状態である場合は、USER から CICS に EXEC CICS コマンドを出したプログラムの CEDA 定義上で、EXECKEY を変更してください。

- 記憶保護が活動状態である場合は、CICS から USER へのトランザクション定義上で、TASKDATAKEY 属性を変更してください。

モジュール: DFHSRP

---

#### AEYE

説明: INVLDC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

#### AEYF

説明: トランザクション自体がアクセスできなかったストレージに CICS がアクセスするように、トランザクションが要求を出しました。無効なストレージ域が PUT CONTAINER または GET CONTAINER コマンドで CICS に渡された場合、これが発生します。このエラーは、以下の場合に発生する可能性があります。

- FROM または INTO アドレスが誤って指定された。
- FLENGTH 値が指定する値が大きすぎて、トランザクションがアクセスできないストレージが領域に含まれる。

このエラーの一般的な原因は、フルワード領域を期待している FLENGTH パラメーター内にハーフワード領域のアドレスを指定したことです。このエラーは、ハーフワードの長さを持つ、COMMAREA を以前使用していたプログラムが、フルワードの長さを持つコンテナを使用するように変更された場合に生じます。

GET CONTAINER コマンドの無効な INTO アドレスも、異常終了 AEYD になることがあります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、DFHEISR により作成された例外トレース項目を見つけ出し、エラー内のパラメーターを識別してください。異常終了が処理される場合は、EXEC CICS ASSIGN ASRASTG、ASRAKEY、および ASRAREGS が異常終了に関する追加情報を提供します。異常終了が起きた時点のレジスター 2 は、障害が起きたストレージを示しています。

多くの場合、以下のステップを実行する必要があります。

- EXEC CICS PUT CONTAINER または EXEC CICS GET CONTAINER コマンドを発行したエラーのプログラムを修正してください。これが有効なストレージ域のアドレスを指定することと、これが FLENGTH を指定することで、トランザクションにアクセスできないストレージ域の部分がなくなりにします。FLENGTH がフルワードの長さを参照するようにします。

以下の 1 つ以上を変更することを考慮することが必要な場合もあります。

- 記憶保護が活動状態である場合は、USER から CICS に EXEC CICS コマンドを出したプログラムの CEDA 定義上で、EXECKEY を変更してください。

- 記憶保護が活動状態である場合は、CICS から USER へのトランザクション定義上で、TASKDATAKEY 属性を変更してください。

モジュール: DFHSRP

---

#### AEYG

説明: JIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

#### AEYH

説明: QIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

#### AEYJ

説明: DSSTAT 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

#### AEYK

説明: SELNERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

#### AEYL

説明: FUNCERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

### AEYM

説明: UNEXPIN 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYN

説明: NOPASSBKRD 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYO

説明: NOPASSBKWR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYP

説明: SEGIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYQ

説明: SYSIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYR

説明: ISCINVREQ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYT

説明: ENVDEFERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYU

説明: IGREQCD 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYV

説明: SESSIONERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYX

説明: USERIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYY

説明: NOTALLOC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

### AEYZ

説明: CBIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

---

**AEY0**

説明: INVEXITREQ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEY1**

説明: INVPARTNSET 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEY2**

説明: INVPARTN 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEY3**

説明: PARTNFAIL 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEY6**

説明: DFHUEM における内部論理エラーです。これは、EXITALL を使用して、出口プログラムが使用可能になっているすべての出口点からの出口プログラムを DISABLE にしたときに発生します。このユーザー出口テーブル全体のスキャンが行われ、プログラムのすべての関連が発見されました。その出口プログラム・ブロック内のプログラム用の活動化カウントは、関連がさらに存在するはずであることを示しています (例えば、活動化カウントがゼロに減少していません)。ユーザー出口テーブルおよび関連制御ブロック (EPB および EPL) がステップ外になっており、おそらく破壊されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHUEM

**AEY7**

説明: NOTAUTH 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード AEIA の「説明」を参照してください。

**AEY8**

説明: EXEC CICS コマンドを使用して、アセンブラー言語プログラムに動的ストレージを解放しようとしたときに、チェン上に DSA が見つかりませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHEIENT、DFHEISTG、および DFHEIEND マクロ呼び出しが、正しく位置指定されているかどうかを確認して、再試行してください。エラーが解決しない場合は、支援が必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEIP

**AEY9**

説明: 次のいずれかです。

- EXEC インターフェース・プログラム DFHEIP によってサポートされていない EXEC CICS コマンドが出された。
- トランザクションが、EXEC インターフェース・プログラム DFHEIP によって原則としてサポートされている EXEC CICS コマンドを出したが、前提条件の機能が現行の CICS スタートアップ時に含まれていない。
- アプリケーション「スタブ」(DFHRMCAL マクロの拡張部分) を介して非 CICS コマンドが出されたが、プログラム DFHERM は、必要な非 CICS サポートが使用できないことを検出した。
- リモート資源の使用を試みたが、EXEC CICS コマンド内にローカル SYSID が指定されていたか、あるいはリモート SYSID が指定されているのにローカル資源を使おうとした。
- リモート資源の使用を試みたが、ISC はサポートされていない。
- EXEC CICS コマンドに無効な AID ID または CONDITION ID が入っている。これは、EXEC CICS コマンドが破壊されていることを示します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム識別名が指定されていて、しかも資源名が正しいかどうかを調べてください。そうでない場合には、システム・プログラマーに知らせてください。コマンド (またはアプリケーション・スタブ) が破壊されているか、使用できない機能を生成すること (CICS コマンド) または ENABLE (使用可能) にすること (非 CICS コマンド) が必要であるか、または例外的に非 CICS サポートが損傷を受けて自ら CICS システムから取り消しを試みているかのいずれかです。

モジュール: DFHEIP、DFHEEI

**AEZA**

説明: トランザクションが TASKDATALOC(ANY) で定義されましたが、トランザクション内のプログラムが AMODE 24 を実行していました。したがって、EXEC インターフェース・プログラムは、そのアプリケーションの TCA ヘアアクセスすることができません。さらに、EIB に対して行われた参照は、トランザクションが記憶保護例外により失敗する原因となります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。  
 ユーザーの処置: TASKDATALOC(BELOW) を指定したトランザクションに対して、新しい定義を再定義してインストールするか、またはこのプログラムを AMODE 31 としてリンクし直します。

モジュール: DFHEIP

**AEZB**

説明: トランザクションが TASKDATALOC(ANY) で定義され、そのアプリケーションがタスク関連ユーザー出口の呼び出しを試みています。しかし、タスク関連ユーザー出口が AMODE 24 でリンク・エディットされていて、LINKEDITMODE オプションにより使用可能になっています。このことは、CICS が AMODE 24 でそのユーザー出口を呼び出すように指示しています。AMODE 24 のタスク関連ユーザー出口は、呼び出しアプリケーションが TASKDATALOC(ANY) で実行されているときには、実行することができません。これにより、記憶保護例外またはストレージの上書きを引き起こすからです。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。  
 ユーザーの処置: TASKDATALOC(BELOW) を指定したトランザクションに対して新しい定義を再定義してインストールするか、またはタスク関連ユーザー出口を修正して、それが AMODE 31 で呼び出されるようにします。

モジュール: DFHERM

**AEZC**

説明: トランザクションが TASKDATALOC(ANY) で定義されましたが、そのトランザクション内のプログラムは AMODE 24 を実行するように定義されています。トランザクションが TASKDATALOC(ANY) で実行されているときには、CICS は AMODE 24 プログラムを呼び出すことはできません。これにより、記憶保護例外またはストレージの上書きを引き起こすからです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: TASKDATALOC(BELOW) を指定したトランザクションに対して新しい定義を再定義してインストールするか、またはこのプログラムを AMODE 31 としてリンクし直してください。

モジュール: DFHAPLI

**AEZD**

説明: TASKDATAKEY(CICS) と定義したトランザクションの一部として、EXECKEY(USER) と定義したプログラムを実行しようとした。これらの属性には互換性がないため、トランザクションは異常終了します。この非互換性は、プログラム定義が自動導入されている結果、起こる場合があります。プログラムの自動インストールについての詳細は、「CICS

Customization Guide」および「CICS Resource Definition Guide」を参照してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TASKDATAKEY(USER) を指定したトランザクション、または EXECKEY(CICS) を指定したプログラムのいずれかに、新しい定義を再定義し、インストールしてください。

この異常終了は、CICS トランザクションの実行時に起こりません。これは、そのプログラムに対して CICS 提供の定義を使用していないことが原因と考えられます。ユーザー独自の CICS 提供プログラム定義のコピーを使用している場合には、そのコピーが EXECKEY(CICS) として定義されていなければなりません。

モジュール: DFHAPLI

**AEZI**

説明: ACTIVITYERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード 597 ページの『AEIA』の「説明」を参照してください。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEIP

**AEZJ**

説明: CONTAINERERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード 597 ページの『AEIA』の「説明」を参照してください。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEIP

**AEZL**

説明: TOKENERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード 597 ページの『AEIA』の「説明」を参照してください。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEIP

**AEZV**

説明: CHANNELERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード 597 ページの『AEIA』の「説明」を参照してください。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEIP

#### AEZW

説明: CCSIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェイス・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード 597 ページの『AEIA』の「説明」を参照してください。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEIP

#### AEZY

説明: CODEPAGEERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェイス・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳細については、異常終了コード 597 ページの『AEIA』の「説明」を参照してください。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEIP

#### AFCB

説明: モジュール DFHFCEI が、モジュール DFHXSRC に対してリソース・レベル・セキュリティ検査 (RSLC) 要求を出し、OK または EXCEPTION 以外の応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、エラー発生時に

DFHXSRC により作成された例外トレース項目を見つけ出してください。このトレース項目を使用して、DFHXSRC からの戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHFCEI

#### AFCC

説明: ファイル制御要求処理モジュール DFHF CFR を呼び出すときに、内部論理エラーが検出されました。その呼び出し側のパラメーター・リストにエラーがあることを示す INVALID 応答を、DFHF CFR がその呼び出し側に返したか、または、その呼び出し側によって認識されない戻りコードを、DFHF CFR が返したかのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS TS 問題判別の手引き」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCEI、DFHDMPCA、DFHDBP

#### AFCD

説明: AFCT 項目を見つけようとしているときに、テーブル・マネージャ DFHTMP が、その呼び出し側によって処理できない「破滅的なエラー」応答を返しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCEI

#### AFCE

説明: FFLE ストレージに対する GETMAIN が失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 失敗したトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHFCEI

#### AFCF

説明: ファイル制御要求を出している複数のタスク間でデッドロックが検出されました。

システムの処置: デッドロックに入ったタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: このトランザクションおよび同じファイルを更新するシステム内の他のトランザクションを調べて、デッドロックの原因を突き止めてから、そのエラーを訂正してください。

トランザクションが同じ作業単位内のいくつかのファイルを更新するときには、すべてのトランザクションがこれらのファイルと同じ順序で更新する必要があります。AFCF を異常終了するトランザクションは、トランザクション定義内で RESTART(YES) を指定し、適切な DFHREST プログラムをコーディングすることによって再試行できます。

モジュール: DFHFCEI

#### AFCG

説明: ファイルが、ファイル自体をデッドロックする原因となる一連のファイル制御要求を出しました。

システムの処置: デッドロックに入ったタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: このトランザクションがこのファイルに対して行った以前の要求を調べて、デッドロックの原因を識別してから、そのエラーを訂正してください。

READ UPDATE 要求または WRITE MASSINSERT 要求の対象であるレコードと同じ CI 内にあるレコードを読み取ろうとすると、VSAM LSR ファイルに同じ原因の自己デッドロックが起こります。

モジュール: DFHFCEI

#### AFCH

説明: トランザクションが、そのトランザクション用の活動ブラウザを持つリモート共用データ・テーブルに要求を出しましたが、そのテーブルは所有 CICS システムによって使用不能にされているか、クローズされているか、あるいは所有 CICS システムに障害が起こりました。

## AFCJ • AFCQ

システムの処置: 要求を出したトランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション所有領域において、CICS システムを所有しているファイルでの FORCE 要求または CICS システムを所有しているファイルの障害の後に通常行う処置をとってください。

詳しい手引きについては、「CICS Shared Data Tables Guide」を参照してください。

モジュール: DFHFCEI

---

### AFCJ

説明: DFHFCEI は、DFHFCEI に対してファイルを開くための呼び出しをしました。そのタスクが CSFU トランザクションに対して指定された DTIMEOUT 間隔よりも長く資源を待っていたため、除去されたエラーが DFHFCEI から返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、エラーの原因を突き止めてください。システム・ダンプは、CEMT SET TRDUMPCODE コマンドを使用して、該当するダンプ・テーブル項目を追加することによって作成できます。

モジュール: DFHFCEI

---

### AFCM

説明: CSSY トランザクションによるデータ・テーブルのロード時に、異常終了が検出されたか、または通常の処理を続行できなくなった後でドメイン呼び出しが応答 (DISASTER など) を返しました。

システムの処置: メッセージが出されます。(DFHFCEI0945、DFHFCEI0946、DFHFCEI0947、または DFHFCEI0948 の 1 つ)。データ・テーブルのロードが終了し、CSSY が異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了が、ロード時の異常終了の結果として作成された場合には、メッセージ DFHFCEI0945 が出されます。この異常終了が、ドメイン呼び出しを失敗した結果起こった場合には、どのドメインにより失敗が返されたかによって、メッセージ DFHFCEI0946、DFHFCEI0947、または DFHFCEI0948 のいずれかが出されます。詳細については、メッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHDTLDX

---

### AFCN

説明: トランザクションがファイル要求を出し、それが原因でファイル管理がジャーナル・レコードを作成しようとしたが、レコードが長すぎます。これは、このファイルのファイル管理テーブル (FCT) 項目で参照されるジャーナルのブロック・サイズが、ジャーナル・レコードを書き込むには小さすぎことを示します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: FCT とジャーナル管理テーブル (JCT) の間の矛盾を訂正してください。ジャーナル番号が FCT 項目で誤りであるか、大きなブロック・サイズでジャーナルを再定義する必要があるかのいずれかです。

エラーのあったジャーナルは、システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル処理用のジャーナルです。

エラーの時点で行われた例外トレースを調べてください。これは、ジャーナル管理域 (JCA) を形式設定します。JCA は、エラーのあったジャーナルの番号を識別します。

エラーを検出したモジュールが DFHDMPCA の場合、エラーは、CSD (DFHCSD) の定義で参照されるジャーナルに関連付けられます。

モジュール: DFHDMPCA、DFHFCEI

---

### AFCQ

説明: トランザクションがファイル要求を出し、それが原因でファイル管理がジャーナル・レコードを作成しようとしたが、ジャーナル管理が IDERROR 応答を出しました。これは、このファイルのファイル管理テーブル (FCT) 項目で参照されるジャーナルがジャーナル管理テーブル (JCT) に定義されていないことを示します。

システムの処置: これは、順方向リカバリーまたはバックアウトを実行する機能に影響を与える可能性がある重大エラーであるため、ジャーナル管理から IDERROR を受け取った直後に、CICS はコンソールにメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録し、システム・ダンプを取ります。その後で、そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: FCT と JCT の間の矛盾を訂正してください。ジャーナル番号が FCT 項目で誤りであるか、JCT 項目が欠落しています。

エラーのあったジャーナルは、システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル処理用のジャーナルです。エラーの時点で行われた例外トレースを調べてください。これは、JCA を形式設定します。JCA は、エラーのあったジャーナルの番号を識別します。

エラーを検出したモジュールが DFHDMPCA の場合、エラーは、CSD (DFHCSD) の定義にあります。

モジュール: DFHDMPCA、DFHFCEI

---

### AFCQ

説明: トランザクションがファイル要求を出し、それが原因でファイル管理がジャーナル・レコードを作成しようとしたが、ジャーナル管理が LERROR 応答を出しました。これは、このファイルのファイル管理テーブル (FCT) 項目で参照されるジャーナルのブロック・サイズが、ジャーナル・レコードを書き込むには小さすぎことを示します。このファイルが順方向リカバリー用に定義されていた場合、システムは異常終了の直前に行われたすべての変更をバックアウトして、これをバックアウト・ログに記録しようとしています。この結果、システム異常終了を引き起こす 2 番目の LERROR が起こる可能性があります。

システムの処置: これは、順方向リカバリーまたはバックアウトを実行する機能に影響を与える可能性がある重大エラーであるため、ジャーナル管理から IDERROR を受け取った直後に、CICS はコンソールにメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録し、システム・ダンプを取ります。その後で、そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: FCT と JCT の間の矛盾を訂正してください。ジャーナル番号が FCT 項目で誤りであるか、大きなブロック・サイズでジャーナルを再定義する必要があるかのいずれかです。



エラーのあったジャーナルは、システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル処理用のジャーナルです。エラーの時点で行われた例外トレースを調べてください。これは、JCA を形式設定します。JCA は、エラーのあったジャーナルの番号を識別します。

エラーを検出したモジュールが DFHDMPCA の場合、エラーは、CSD (DFHCSD) の定義で参照されるジャーナルに関連付けられます。

モジュール: DFHDMPCA、DFHFCEI

---

#### AFCY

説明: このトランザクションは、主ファイル制御プログラム (DFHFCFR) に対する呼び出しが行われることになるファイル要求を出しました。要求の処理時に、このトランザクションが除去されました (つまり、そのトランザクションが明示的 CANCEL 要求の対象であったか、タイムアウトになったか、または CICS が SOS 条件を緩和しようとして終了のため選択しました)。「除去された」応答が、DFHFCFR からその呼び出し側に返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

例外トレース項目が、除去が検出された時点と異常終了の出された時点の間で作成されました。

ユーザーの処置: 場合によっては、例えばトランザクションが明示的に除去された場合、これ以上処置を行う必要はありません。

そうでない場合には、例外トレースとトランザクション・ダンプを調べて、除去が発生した時点を識別してください。

モジュール: DFHDBP、DFHDMPCA、DFHFCEI

---

#### AFCZ

説明: このトランザクションは、主ファイル制御プログラム (DFHFCFR) に対する呼び出しが行われることになるファイル要求を出しました。「破滅的なエラー」応答が、DFHFCFR からその呼び出し側に対して返されました。

システムの処置: 破滅的なエラーが検出された時点で、CICS はコンソールに対してメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録して、システム・ダンプを取ります。トレースおよびダンプの検査により、エラーの発生時点が識別されます。

その後で、そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーはトレースとトランザクション・ダンプを使用して、エラーが何であるか、またそれが発生した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHDBP、DFHDMPCA、DFHFCEI

---

#### AFC0

説明: ファイル制御の再始動が失敗した後で、ファイルを更新しようとした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ファイル制御の再始動での失敗の原因を突き止めてください。CICS を再始動してください。

モジュール: DFHFCEI、DFHDMPCA

---

#### AFC2

説明: DFHFCEI は、DFHFCFS に対してファイルを開くための呼び出しを出しました。DFHFCFS から破滅的なエラーが返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

破滅的なエラーが検出された時点で、CICS はコンソールに対してメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録して、システム・ダンプを取ります。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーは、トレース、システム・ダンプ、およびすべての関連 CICS メッセージを調べて、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHFCEI

---

#### AFC4

説明: トランザクションがレコードについてファイル要求を出しましたが、そのレコードの長さがリカバリー可能固定長ファイルの定義済みレコード長と一致しません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: レコードの長さを、ファイルの固定長の長さになるように調整してください。

モジュール: DFHFCEI

---

#### AFC7

説明: CICS 定義ファイル (CSD) マネージャー

(DFHDMPCA) は、DFHCSD ファイルを使用可能にするか、オープンもしくはクローズを行うために、DFHFCFS に対して要求を出しました。DFHFCFS から DFHDMPCA に、「破滅的なエラー」応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

破滅的なエラーが検出された時点で、CICS はコンソールに対してメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録して、システム・ダンプを取ります。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーは、トレース、システム・ダンプ、およびすべての関連 CICS メッセージを調べて、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHDMPCA

---

#### AFC9

説明: タスクが、バックアウトを失敗したデータ・セットに関連付けられたファイルを更新しようとした。データ・セットが破壊状態であるため、これ以上更新はできず、バックアウト障害処理の一部として、破壊データ・セットを参照するすべてのファイルがクローズされます。ファイルの既存のユーザーは、その要求がファイルを変更しない場合、要求を完了することを許可されます (例えば、ブラウズは完了することができます)。

システムの処置: 主ファイル制御プログラム DFHFCVS は、バックアウトを失敗したデータ・セットを参照するファイルに対して更新が試みられていることを検出します。CICS はメッセージ DFHFC0306 をコンソールに書き出し、例外トレース項目を記録します。

## CICS TS 異常終了コード

その後、DFHFCVS は BACKOUT\_FAILED 応答を呼び出し側プログラムへ返し、異常終了コード AFC9 でトランザクションを終了します。

ユーザーの処置: データ・セットに更新を行う前に、データ・セットをリカバリーすることが必要です。詳細については、その前のバックアウト障害のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHFCEI、DFHDMPCA

---

### AGMA

説明: 日常業務開始メッセージ・トランザクションの開始が、表示する端末識別名を指定せずに試行されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、トランザクションを開始する試みがどのように行われたかを突き止めてください。端末識別名が指定されていない日常業務開始メッセージ・トランザクションに対して、EXEC CICS START が行われないようにしてください。

モジュール: DFHGMM

---

### AICA

説明: あるタスクが、制御権を渡さずに、ランナウェイ時間間隔 (ICVR システム初期設定パラメーターによって定義される) よりも長い間実行されていました。ランナウェイ・タスク条件は、アプリケーション内でループが存在する可能性のあることを示しています。

システムの処置: そのタスクは終了し、AICA トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ループの取り扱いについては、「CICS *Problem Determination Guide*」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

---

### AICB

説明: システム・シャットダウン時に RETRIEVE WAIT 要求が再び出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHICP

---

### AICC

説明: タイマー (TI) ドメイン要求から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTAJP、DFHICP

---

### AICD

説明: カーネル (KE) ドメイン要求から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHICP

---

### AICE

説明: ディスパッチャー (DS) ドメイン要求 (AICG 以外) から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHICP

---

### AICF

説明: トランザクション・マネージャー (TM) ドメイン要求から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHICP

---

### AICG

説明: PURGED 応答が、理由コード TASK\_CANCEL とともにディスパッチャー・ドメイン (DS) 要求から返されました。そのタスクは明示的に取り消されたため、TASK\_CANCEL が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール: DFHICP

---

### AICH

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHICP、DFHEIC

**AICJ**

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHICP

**AICK**

説明: モジュール DFHEIIC が、モジュール DFHXSRC に対してリソース・レベル・セキュリティ検査 (RSLC) 要求を発行し、OK でも EXCEPTION でもない応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、エラー発生時に DFHXSRC により作成された例外トレース項目を見つけ出してください。このトレース項目を使用して、DFHXSRC からの戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEIIC

**AICL**

説明: DFHEIIC が、コマンド・レベル・パラメーター・リスト内で無効な機能コードを検出しました。その原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、IC コンポーネントおよび EI コンポーネントのレベル 1 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプのプログラム・ストレージ・セクションを調べ、処理しようとしているコマンドの引数 0 (EXEC インターフェース記述子 (EID)) と、同じコマンドに対して変換プログラムが作成した引数 0 を比較してください。両者の違いの中に、アプリケーション・プログラムの上書きを示すものがある可能性があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEIIC

**AICN**

説明: ユーザー・ドメイン (US) 要求から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHICP

**AICO**

説明: ユーザー (US) ドメインへの呼び出しから、予期しない EXCEPTION 応答を受け取りました。

この呼び出しは、端末なしで開始されたトランザクションの初期設定中に、トランザクションとその特定のユーザーとを関連付ける処理の一部として出されました。しかし、特定のユーザーとトランザクションを関連付ける試みは失敗しました。

トランザクションの特定のユーザーのユーザー ID が、正しく定義されていない可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの特定のユーザーが正しく定義されていない理由を突き止めてください。

外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が CICS ジョブに対して出したメッセージを調べてください。セキュリティ管理者の支援が必要になる場合があります。

トランザクション・ダンプを調べて、外部セキュリティ・マネージャーが、ユーザーが正しく定義されていないことを CICS に知らせた理由を判別する必要がある場合もあります。

ユーザーが正しく定義されている場合は、トランザクションのやり直しを考慮してください。

モジュール: DFHICXM

**AICR**

説明: DFHTC 書き込み要求が、IRC に対して失敗しました。TCATPAPR および TCTEIRET 内の戻りコードを調べて、その理由を判別する必要があります。

システムの処置: CSNC トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRR

**AISA**

説明: ミラー・トランザクション (CSMI) が、端末以外の機構からタスク生成されました。これは許可されていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用してフィールド TCAFCAAA を調べ、無効なタスク生成を識別してください。

モジュール: DFHMIRS

**AISB**

説明: ミラー・トランザクション (CSMI) が、それを生成したトランザクションから渡されたデータの中にエラーを検出しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 無効な入力は、トランザクション・ダンプで見つけることができます。このエラーは、2 つのシステム間に何らかの不一致があったときに起こると考えられます。その典型的な例としては、DL/I なしで生成されたシステムで受け取られた DL/I 要求があります。

モジュール: DFHMIRS

---

### AISC

説明: ミラー・トランザクション (CSMI) は、端末から TIOA を受け取りませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプの中のトレース内容およびダンプされた TCTTE を使用して、問題をさらに分析する必要があります。

モジュール: DFHMIRS

---

### AISD

説明: ミラー・プログラムは、要求を実行し、その結果としてゼロ以外の戻りコードを受け取りました。使用されているシステム間リンクのデータ流れ制御状態では、通常、このような情報が戻されることは考えられません。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 提供されたトランザクション・ダンプに、ゼロ以外の戻りコードが出された原因を分析するために必要な情報が示されています。

モジュール: DFHMIRS

---

### AISE

説明: ミラー・プログラムは DL/I 要求を出しましたが、DL/I サポートは生成されていません。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプは必要な情報を提供します。

モジュール: DFHMIRS

---

### AISF

説明: CICS ミラー・プログラム DFHMIRS は、サポートされていない方法でタスク生成されました。ミラー・トランザクションのための基本機能が APPC として定義されていますが、会話のマッピングが行われていません。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ミラー・トランザクションをタスク生成させる原因となったシステムに問題があります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

---

### AISG

説明: ミラー・プログラムが要求を実行し、応答を作成しました。しかし、システム間リンクのデータ流れ制御状態がそれを送信できる状況になかったために、応答は送られませんでした。

システムの処置: そのタスク (CSMI) は、異常終了して、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 提供されたトランザクション・ダンプを使用して、問題を分析してください。

モジュール: DFHMIRS

---

### AISH

説明: 新しい接続タスク CSNC が、誤った方法で (例えば端末から、あるいは EXEC CICS START 要求を経由して) 呼び出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCRNP

---

### AISI

説明: 機能シッパ要求が DFHEIP から DFHISP へ渡されましたが、変換プログラム DFHXFP によって、これは無効であることが検出されました。

システムの処置: 機能シッパ要求を出したトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプに、問題をさらに分析するために必要な情報が示されています。

モジュール: DFHISP

---

### AISJ

説明: DFHCRR へのリンクが失敗したために、IRC 管理タスク CSNC が異常終了しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクも、すべて異常終了します。

ユーザーの処置: プログラム DFHCRR が使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHCRNP

---

### AISK

説明: APPC セッションでの機能シッパ要求の実行時に、ユーザー・トランザクションが異常終了させられました。これは、リモート・システムでミラー・トランザクションが異常終了したため、このセッションを通じて同期点ロールバックに対する要求が送られたことから起こっています。CICS は、このような状況にあるユーザー・トランザクションを異常終了させ、機能シッパがトランザクションに対し透過的な状態を保つようにします。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ミラー・システムに関するログを調べて、ミラー・タスクの元の異常終了の理由を判別してください。

モジュール: DFHISP

---

### AISL

説明: LU サービス管理トランザクションが、ユーザー端末から直接開始されました。これは許可されていません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: なし。LU サービス管理トランザクションは、CICS によって内部的に開始されなければなりません。

モジュール: DFHLUP、DFHCLS3、DFHCLS4、DFHZLS1

---

**AIMS**

説明: トランザクションが、TYPE=REMOTE のテーブル項目に対して、マクロ・レベル要求を出しました。リモート・システムでの操作の要求は、コマンド・レベルで出された場合のみ有効です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションを、コマンド・レベルまたは CALL レベルを使用して書き直すか、最初に設計されたテーブルを使用して実行してください。

モジュール: DFHTDP

---

**AISP**

説明: ミラー・トランザクション (トランザクション ID CSM1、CSM2、CSM3、CSM5、または CSMI) が、無効な基本機能により呼び出されました。そのミラー・トランザクションは、その基本機能として MRO セッション、LU6.1 セッション、または APPC セッションを使用して実行されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション ID を端末で入力してミラー・トランザクションを呼び出すことは避けてください。

モジュール: DFHMIRS

---

**AISQ**

説明: EXEC CICS コマンドが、CPI 通信セッションに対して出されました。CPI 通信セッションとは、関連する CPI 通信制御ブロック (CPC) を備えているセッションです。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 会話の同じ側で EXEC コマンドを CPI 通信呼び出しと混在させないでください。

モジュール: DFHMIRS

---

**AISS**

説明: CICS がリモート APPC システムとの会話を開始しようとしているときに、セキュリティ違反が起きました。要求プログラムのセキュリティ・アクセス・レベルが、接続された APPC システム上のトランザクションにアクセスするには不十分でした。要求の性質およびセキュリティが設定されている方法によって異なりますが、不十分なアクセス・レベルを持つ要求プログラムとしては、ローカル CICS システム、要求トランザクション、または端末ユーザーがあります。

注: リモート領域でのセキュリティ障害の後で DTP プログラムが異常終了する場合には、コード AISS は出されません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: まず、アクセスが正しく拒否されたかどうかを確認してください。次に必要があれば、アクセス・レベルを変更します。

モジュール: DFHZARM

---

**AIST**

説明: DFHTC TYPE=LOCATE コマンドの後で、予期しない戻りコードが返されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: システム・ダンプ内のトレース内容を使用して、さらに詳しく問題を分析してください。

モジュール: DFHCRNP

---

**AISU**

説明: FCENT 制御ブロックを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しで、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、そしておそらくシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMIRS

---

**AISV**

説明: FCENT 制御ブロックを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しで、PURGED 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、そしておそらくシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHMIRS

---

**AISW**

説明: CRB 制御ブロックを GETMAIN または FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しの際に、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、そしておそらくシステム・ダンプを提供しません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHCRSP

**AISX**

説明: CRB 制御ブロックを GETMAIN または FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しの際に、PURGED 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、そしておそらくシステム・ダンプを提供しません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHCRSP

**AISY**

説明: LU サービス管理トランザクションが開始されましたが、無効なパラメーターが検出されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHZC4921 を参照してください。

モジュール: DFHLUP

**AISZ**

説明: LUTYPE6.2 同期点 1 の会話で送られた START PROTECT NOCHECK 要求をコミットしているときに、DFHMXP が予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: パートナー・システムでトランザクション CVMI に何が起こったのかを突き止めてください。START PROTECT NOCHECK 要求がコミットされた場合には、さらに処置をとる必要はありません。それらの要求がコミットされていない場合には、エラーからリカバリーするためにユーザー定義の処置を必要とします。

モジュール: DFHMXP

**AIS1**

説明: DFHMROQM FUNC=ENQ コマンドが出された後で、予期しない戻りコードが返されました。

このコマンドは、IRC 初期設定時に IRC 制御タスク (CSNC) の作業をエンキューするときに出されました。

システムの処置: IRC が CICS 初期設定時に初期設定されている場合 (IRCSTRT を DFHSIT 内に指定したか、または指定変更パラメーターとして指定した結果)、CICS は異常終了します。

IRC が CEMT SET IRC OPEN コマンドの実行時に初期設定された場合には、CEMT トランザクションが異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRSP

**AIS2**

説明: DFHMROQM FUNC=WAIT\_Q コマンドが出された後で、予期しない戻りコードが返されました。

このコマンドは、IRC 作業がさらに処理されるのを待っているときに出されます。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。

このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

**AIS3**

説明: STCK (Store Clock) 命令を出そうとする試みが失敗しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。

他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。

このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: システム刻時機構を修理または使用可能にしてください。

モジュール: DFHCRNP

#### AIS4

説明: DFHMROQM FUNC=ENQUEUE コマンドが出された後で、予期しない戻りコードが返されました。このコマンドは、IRC「遅延作業」キューに対して作業をエンキューするときに出されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。

このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

#### AIS5

説明: DFHMROQM FUNC=ENQUEUE コマンドが出された後で、予期しない戻りコードが返されました。

このコマンドは、IRC「即時作業」キューに対してエンキューするときに出されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。

このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

#### AIS6

説明: ファイル制御読み取り設定バッファを GETMAIN または FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しで、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、そしておそらくシステム・ダンプを提供しません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMIRS

#### AIS7

説明: ファイル制御読み取り設定バッファを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しの際に、PURGED 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、そしておそらくシステム・ダンプを提供しません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。そのタスクは、マスター端末オペレーターによって、またはデッドロック・タイムアウトの結果、除去されました。

モジュール: DFHMIRS

#### AIS8

説明: DFHMIRS モジュール内で内部論理エラーが検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

#### AIS9

説明: ミラー・プログラムが、LINK コマンドの完了後に DPL サーバー・プログラムが無効な状態で戻ったことを検出しました。サーバー・プログラムまたはそれがリンクしていたプログラムは、次に同期点を出した別のプログラムと同期レベル 2 の会話を開始しました。ミラー・プログラムに制御権が戻った時点で、サーバー・プログラムは未解決の同期点要求に回答していませんでした。

ミラー・プログラムがこの異常終了コードを出すのは、LINK 要求が SYNCONRETURN を指定しなかった場合だけです。システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: DTP アプリケーションまたはサーバー・プログラムが開始したアプリケーションの設計を訂正してください。LINK 要求に SYNCONRETURN オプションが指定されていない場合は、同期点を開始する必要があるのは、クライアント・プログラムだけです。DTP アプリケーションから同期点要求を出す必要がある場合には、LINK 要求に SYNCONRETURN オプションを指定することを考慮してください。LINK コマンドとそのオプションについての詳細は、「*CICS TS Intercommunication Guide*」を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

#### AITI

説明: START CHANNEL または LINK CHANNEL 要求を処理するミラー・トランザクションが、接続された CICS システムとの間でデータを送信または受信するときに失敗しました。チャンネルにかなりのデータ量が含まれている場合があるため、チャンネル・データを送信するには端末管理への多くの呼び

## AJCA • AJCC

出しが必要になることがあります。DFHMIRS はプログラム DFHAPCR を呼び出して、チャンネル・データのすべてのシステム間送信を実行します。端末管理はこれらのいずれかの呼び出しでエラーを検出しました。このエラーは読み取りのタイムアウトか、または CICS がデータを正しく処理するのを妨げる、フローでのさらに重大なエラーである可能性があります。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: エラーがタイムアウトの場合、もう一方の側が会話を継続しない理由を判別します。他のエラーの場合、問題判別を支援するための端末管理メッセージが関連付けられています。DFHAPCR からのトレース項目を検査して、端末管理エラーおよびセンス情報を判別してください。

モジュール: DFHMIRS

---

### AJCA

説明: ジャーナル・データ・セットへの出力で、リカバリー不能入出力エラーが発生しました。ジャーナルのジャーナル処理トランザクションは、異常終了コード AJCA で異常終了し、メッセージ DFHJC4513 と DFHJC4517 がコンソールおよび一時データ宛先 CSMT へ送られます。

システムの処置: メッセージ DFHJC4513、DFHJC4517、および DFHJC4518 を参照してください。

ユーザーの処置: 有効なジャーナルが CRUCIAL の場合、データ保全性の理由から CICS の遮断が必要な場合があります (メッセージ DFHJC4518 を参照)。

ジャーナル・データ・セットの保全性の担当者に知らせてください。エラーが続く場合、代替の装置またはエクステントを割り当てなければならないことがあります。

トランザクション・ダンプには、入出力エラーの原因を判別するために必要な情報が完全には含まれていない可能性があります。トランザクション・ダンプ・コード・テーブルに AJCA の項目を入れ、システム・ダンプ・オプションを使用して、エラーを再作成することにより、システム・ダンプをとってください。

問題判別: 入出力エラーは、次のジャーナル処理モジュールのいずれかによって検出されます。

有効なジャーナルの JCTIE は、JCTJS フィールドのビット JCTJSIOE (X'01') がオンになります。

分析: JCT に CRUCIAL が指定されているジャーナルで入出力エラーが検出されると、メッセージ DFHJC4518 が出力され、システム・ダンプを取って CICS を終了するよう指示されます。ジャーナルが NONCRUCIAL と指定されていた場合、ジャーナル処理は異常終了コード AJCA で異常終了します。各ジャーナルごとに 1 つのジャーナル処理タスクがあり、各タスクはタスク ID Jnm を持っています。

モジュール: DFHJCIOE

---

### AJCB

説明: NONCRUCIAL ジャーナル上のデータ・セットの切り替え中に、エラーが発生しました。ジャーナルのジャーナル処理トランザクションは、異常終了コード AJCB で異常終了し、メッセージ DFHJC4512 がコンソールおよび一時データ宛先 CSMT へ送られます。

JCT に CRUCIAL が指定 (JCTJT でビット JCTJTC を X'02' に設定) されているジャーナルでエラーが検出されると、CICS は終了してシステム・ダンプが作成されます。

システムの処置: CRUCIAL オプションを使用して、ジャーナルがそのジャーナル管理テーブル (JCT) 項目に指定されている場合、CICS 実行は終了し、システム・ダンプが作成されます。指定されていない場合は、実行は続けられ、実行中はジャーナルは使用できません。つまり、ジャーナル処理トランザクションは異常終了し、異常終了コード AJCB と CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了している場合、再始動します。このタイプのシステム・エラーのデバッグ担当者に知らせてください。この条件は、オペレーティング・システムまたは装置のオープン/クローズ障害によるか、CICS エラーが原因の可能性にあります。

トランザクション・ダンプには、エラーの原因を判別するために必要な情報が完全には含まれていない可能性があります。すべての情報が含まれていない場合には、メッセージ DFHJC4512 を受け取った後でシステム・ダンプを取る必要があります。

AJCB トランザクション・ダンプには、JCT 項目のアドレスが入っています。これはレジスター 11 によって指し示されています。

問題判別: 各ジャーナルごとに 1 つのジャーナル処理タスクがあり、各タスクはタスク ID Jnm を持っています。

ジャーナル・ステータスは、フィールド JCTJS にあります。ビット JCTJSNO (X'20') は、ジャーナルがオープンされていないことを意味します。

フィールド JCOCAECB の最初のバイトで POST ビットが設定されていない場合、ジャーナル処理サブタスクは有効です。

JCOCAECB フィールドは、ジャーナル管理オープン/クローズ・リスト DFHJCOCL の最初のワードです。このストレージは、CSA フィールド CSAJCOCL によってアドレッシングされます。

分析: AJCB 異常終了コードは、2 つの理由から DFHJCEOV によって出されます。すなわち、プログラムが現行データ・セットのクローズを失敗したか、次のデータ・セットのオープンに失敗した可能性があります。トレース・テーブルは、どちらの状態が起こったかを示します。

DFHJCC または DFHJCO は、サブタスクが早期に終了していた場合に DFHJCOCP が稼働しなくなっていることを検出することがあります。

DFHJCOCP が呼び出された後、DFHJCOCP が出した OPEN または CLOSE マクロが失敗したためにエラーが発生します。モジュール: DFHJCEOV

---

### AJCC

説明: トランザクション ID CSJC (CICS で使用するため予約済み) が、端末で入力されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。



ユーザーの処置: なし。トランザクション ID CSJC を端末で入力しないでください。

モジュール: DFHJCBSF

### AJCD

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHJCKOJ、DFHJCP、DFHJCPDY

### AJCE

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHJCP、DFHJCPDY

### AJCF

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ディスパッチャー (DS) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHJCBSF、DFHJCC、DFHJCEOV、DFHJCI、DFHJCKOJ、DFHJCO、DFHJCP、DFHJCSJ

### AJCG

説明: ディスパッチャー (DS) ドメインに対する WAIT 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 強制的な取り消し (CEMT SET TASK、CEMT SET TERMINAL、CEMT SET CONNECTION の FORCEPURGE) の結果、タスクは除去されたはずですが、除去された理由を判別してください。

モジュール: DFHJCC、DFHJCEOV、DFHJCI、DFHJCKOJ、DFHJCO、DFHJCP、DFHJCSJ

### AJCH

説明: ジャーナル出口の DFHPC リンクが失敗しました。メッセージ DFHJC4587 または DFHJC4589 のいずれかが、この障害の検出に対する応答で作成されます。

システムの処置: 要求を出したタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用し、メッセージ DFHJC4587 または DFHJC4589 の指示に従って問題を解決してください。

モジュール: DFHJCC、DFHJCO

### AJCI

説明: 初期設定中に、順方向リカバリーで使用するシステム全体のサブプールを作成する要求が、関数 ADD\_SUBPOOL を使用して SMAD ドメインに対して行われました。この結果、INSUFFICIENT STORAGE の応答が返されました。

システムの処置: 重大なストレージ問題のため、初期設定は完了しないと考えられます。その他のストレージ関連徴候も発生する可能性があります。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DSA または EDSA の全体のサイズ制限を増やしてください。CICS ストレージについての詳細は、「CICS System Definition Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHJCRP

### AJCJ

説明: 初期設定中に、順方向リカバリーで使用するシステム全体のサブプールを作成する要求が、関数 ADD\_SUBPOOL を使用して SMAD ドメインに対して行われました。この結果、予期しない応答が返されました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずですが、

システムの処置: ストレージ・マネージャーに関する内部エラーのため、初期設定は完了しないと考えられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHJCRP

### AJCK

説明: 新しいジャーナル・スレッド制御ブロックを作成するために、DFHJCP が GETMAIN 要求を SMGF ドメインに対して出しましたが、要求から予期しない応答を受け取りました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初に出されたエラーを検出したドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHJCP

### AJCL

説明: 内部使用のための新しいジャーナル最小リスト項目を作成するために、DFHAKP が GETMAIN 要求を SMGF ドメインに対して出しました。しかし、要求から予期しない応答を受け取りました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。その後、CICS は異常終了し、ダンプおよび VSE ユーザー異常終了コード 0161 が作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAKP

### AJCM

説明: ジャーナル最小リスト項目の処理の開始時に、DFHAKP はジャーナル管理テーブル内の最初の JCT 項目を見つけようとして失敗しました。これは、内部論理エラーが原因と考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。その後、CICS は異常終了し、ダンプおよび VSE ユーザー異常終了コード 0161 が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAKP

### AJCN

説明: 新しいキーポイント・ディレクトリー項目を作成するために、DFHAKP が GETMAIN 要求を SMGF ドメインに対して出しました。しかし、この結果、ドメインから予期しない応答が戻されました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。その後、CICS は異常終了し、ダンプおよび VSE ユーザー異常終了コード 0161 が作成されます。

ユーザーの処置: 最初に出されたエラーを検出したドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAKP

### AJCO

説明: 既存のキーポイント・ディレクトリー項目の処理中に、DFHAKP が SMGF ドメインに対して、KPDE の主ストレージを解放する要求 (FREEMAIN) を出しました。しかし、この結果、ドメイン呼び出しから予期しない応答が戻されました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。その後、CICS は異常終了し、ダンプおよび VSE ユーザー異常終了コード 0161 が作成されます。

ユーザーの処置: 最初に出されたエラーを検出したドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAKP

### AJCP

説明: DFHJCO からリンクが実行された後で、ジャーナル出口プログラム DFHXJCO で異常終了が発生しました。

システムの処置: 要求を出したタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。メッセージ DFHJC4588 が、この異常終了の検出に対する応答で作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用し、メッセージ DFHJC4588 の指示に従って問題を解決してください。

モジュール: DFHJCO

### AJCC

説明: DFHJCC からリンクが実行された後で、ジャーナル出口プログラム DFHXJCC で異常終了が発生しました。

システムの処置: 要求を出したタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。メッセージ DFHJC4588 が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用し、メッセージ DFHJC4588 の指示に従って問題を解決してください。

モジュール: DFHJCC

### AJCR

説明: 利用不能の CRUCIAL ジャーナルへのアクセスを試みた場合、タスクはこのコードで異常終了します。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: トランザクション異常終了コード AJCA

と、メッセージ DFHJC4513、DFHJC4517、および DFHJC4518 を参照してください。

モジュール: DFHJCP

### AKCA

説明: CICS トランザクション・マネージャー (DFHKCP) のコンポーネントが、無効要求コードを受け取りました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、障害の理由を判別してください。無効要求コードは、障害のあったタスクのタスク制御域 (TCA) のフィールド TCATCTR にあります。多くの場合、DFHXCPC の呼び出し側にエラーがあります。

モジュール: DFHXCPC

**AKCB**

説明: 必要なステップに失敗したために、CICS トランザクション・マネージャー再始動タスクを完了させることができません。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体がコード AKCB で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、そのトランザクション・マネージャー再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを書き出します。

CICS は、3 つのメッセージをコンソールに送ります。1 つはトランザクション・マネージャー再始動タスクによって検出されたエラーを識別し、1 つはそのタスクが失敗したことを示し、もう 1 つは CICS を取り消すかその処理を続行させるかのオプションを示すものです。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHKCRP

**AKCC**

説明: トランザクションの TRANCLASS が除去しきい値に達したため、CICS トランザクション・マネージャーがトランザクションを異常終了させました。これは、CEDA DEFINE TRANCLASS に、PURGETHRESH パラメーターで指定されています。このパラメーターについての詳細は、「CICS Resource Definition Guide」を参照してください。

システムの処置: トランザクションが異常終了し、メッセージ DFHAC2036 および DFHAC2004 が出力されます。この異常終了コードが出力された場合は、トランザクション・ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: トランザクションを再度サブミットしてください。異常終了の原因は、システム内の一時的なストレス条件である可能性があります。

問題が解決しない場合は、TRANCLASS が除去しきい値に達した理由を突き止めます。PURGETHRESH が正しく指定されているか確認してください。また、TRANCLASS の MAXACTIVE 値の設定が低すぎないかどうか確認してください。MAXACTIVE 限界に達した後に生成されたトランザクションは、すぐに PURGETHRESH 限界の待機対象となります。

PURGETHRESH および MAXACTIVE が正しく設定されている場合は、TRANCLASS でトランザクションを実行するためのシステムの容量が減少する原因となった、より一般的な問題を探してください。例えば、TRANCLASS でのトランザクションの要求を処理する接続済み CICS 領域の処理速度が遅くなった場合、容量の減少はこの接続済み領域が原因で起きた可能性があります。

除去しきい値に達している TRANCLASS 内のトランザクションにより使用されたすべての資源 (ファイル、リンク、ストレージなど) を調べ、システムの容量が減少した理由を判別してください。

モジュール: DFHXMAT, DFHXMCL

**AKCE**

説明: CICS トランザクション・マネージャーがトランザクションまたはプロファイル定義に対する変更を記録しているときに、システム・ログへの書き出しに失敗しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ログへの書き出しに失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHKCQ

**AKCF**

説明: CICS トランザクション・マネージャーがプロファイル定義に対する変更を記録しているときに、カタログへの書き出しに失敗しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、カタログへの書き出しに失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHKCQ

**AKCR**

説明: トランザクション・マネージャーが無効な要求コードを受け取りました。プログラム・マネージャー (PCP) の ABEND TRACE 項目 (TRACE ID 「F2」、要求コード X'6000') の前の最後の AP F000 トレース項目には、そのトレースの最初のセクションの 5 番目のバイトに、無効なトランザクション・マネージャー要求コードが入っています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 無効な要求コードの原因を突き止めて、問題を訂正してください。

モジュール: DFHXCP, DFHXPC

**AKCS**

説明: デッドロック・タイムアウト条件が検出されました。この条件は、そのインストール済みトランザクション定義に DTIMOUT がゼロ以外となるように指定されたトランザクションの中で起こることがあります。デッドロック・タイムアウトは、DTIMOUT に指定された時間よりも長くトランザクションが延期された場合に起こります。

異常終了は、次のような各種の内部 CICS イベントによってもたらされると考えられます。

- ストレージ不足状態
- 一時ストレージの不足
- ENQUEUE
- ALLOCATE 要求
- RETRIEVE WAIT 要求

その異常終了は、CICS がしばらく実行を停止した場合にも起こります。例えば、システム・ダンプが取られている場合です。これは、デッドロック・タイムアウトが、CICS が実行されている時間だけではなく、全体の経過時間に基づいているためです。

分析: AKCS 異常終了を受け取っているトランザクションは、何らかの理由で延期されているか、待機しているはずですが、その理由としては、ストレージの不足、ロックに関するエンキュー、一時ストレージの不足、RETRIEVE WAIT の後の延期、

## AKCT • AKC6

ALLOCATE の後の延期、あるいは機能シブまたは端末共用サポート内の暗黙の ALLOCATE が考えられます。上記の理由のいずれも当てはまらない場合には、しばらく CICS が実行を停止する原因となったイベントは、トレースによって明らかになる場合があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。トランザクション・ダンプ・コード AKCS のダンプ・テーブル・エントリ項目がダンプを取ることを指示していない限り、ダンプは提供されません。

ユーザーの処置: そのトランザクションを実行し直す必要があります。SUSPEND の原因となっている状況は、このトランザクション自体で十分に解消することができます。

AKCS 異常終了は、DTIMOUT がゼロに設定されていなければ、場合によっては予期されるものです。特別な処置は必要ありません。

モジュール: DFHXCP、DFHXPC

---

### AKCT

説明: 端末読み取りタイムアウト条件が検出されました。トランザクションは、そのトランザクションの RTIMOUT 値に指定された間隔よりも長い間、端末入力メッセージを待っていました。

このタスクに対して EXEC CICS HANDLE ABEND が出されている場合には、タイムアウトとなった読み取りは未解決です。この読み取りを取り消す必要があった場合には、CICS が端末の TCTTE を終結処理できるようにユーザー出口ルーチンの終わりで EXEC CICS ABEND を出さなければなりません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。トランザクション・ダンプは生成されません。

ユーザーの処置: この異常終了は通常のもので、その端末が指定した時間内に入力を送らない場合には、PROFILE 項目内で RTIMOUT をコーディングして、タスクを異常終了してください。

モジュール: DFHXCP

---

### AKCV

説明: ICP により延期されたタスクを再開した結果、間違っただりコードが渡されました。

システムの処置: このトランザクションは終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース内の再開からの応答を調べて、エラーの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHALP

---

### AKC0

説明: CICS 内部タスク CSSY をユーザー・トランザクションとして稼働する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CSSY をユーザー・トランザクションとして稼働する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHAPATT

---

### AKC1

説明: ECB がすでに待機中としてマーク付けされているときに、DFHXC WAIT 要求が出されました。

システムの処置: ユーザー・エラーの可能性がありますが、トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: その要求を出したプログラムを訂正してください。

モジュール: DFHXCP

---

### AKC2

説明: ディスパッチャー (DS) ドメイン呼び出しから間違っただり応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションが異常終了し、トランザクション・ダンプおよびトレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 詳細については、トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHXCP、DFHXPC

---

### AKC3

説明: タスクが除去されました。おそらく CEMT TASK PURGE コマンドのようなオペレーターの処置が原因です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、タスクが除去された原因を突き止めてください。特に、オペレーターが除去を開始した場合、このタスクを明示的に除去する必要がある理由を突き止めるのに、トランザクション・ダンプが役立ちます。

モジュール: DFHXCP、DFHXPC、DFHXMAT、DFHXMCL、DFHMIQ、DFHMTA

---

### AKC4

説明: 接続中のトランザクション用のストレージを獲得し初期設定する試みが失敗しました。

システムの処置: ストレージ不足以外のストレージ GETMAIN 障害が、トランザクション接続で発生しました。

そのトランザクションは、異常終了コード AKC4 で異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHXPC

---

### AKC5

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメイン呼び出しから、無効な応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、トレース項目を調べてください。CICS 立ち上げの EDSA ストレージ限界を増加させるとよい場合があります。

モジュール: DFHXPC

---

### AKC6

説明: DFHXC RESUME の前には、必ず DFHXC SUSPEND を出す必要があります。このプロトコルが侵害された場合には、このトランザクションは異常終了コード AKC6 で異常終了します。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AKC6 で異常終了しました。  
 ユーザーの処置: 詳細については、トレース項目を調べてください。  
 モジュール: DFHXCP

**AKC7**

説明: トランザクションの ATTACH 中に、XMSU 呼び出しから誤った応答を受け取りました。  
 システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AKC7 で異常終了します。  
 ユーザーの処置: 詳細については、トレース項目を調べてください。  
 モジュール: DFHXCP

**AKC8**

説明: タスク除去要求の処理時に、カーネル (KE) ドメインに対する呼び出しから誤った応答を受け取りました。  
 システムの処置: そのトランザクションは、異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: 詳しい情報については、ダンプおよびすべての例外トレース項目を調べてください。  
 モジュール: DFHXCP

**AKEA**

説明: プログラム・チェックがカーネル (KE) ドメインによって検出されました。  
 システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、ASRA 異常終了がアプリケーションに対して示されず、制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。  
 ユーザーの処置: システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、どこでプログラム・チェックが起こったのかを判別してください。  
 モジュール: DFHKESTX

**AKEB**

説明: オペレーティング・システム異常終了が、カーネル (KE) ドメインによって検出されました。  
 システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、ASRB 異常終了がアプリケーションに対して示されず、制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。  
 ユーザーの処置: コンソールを調べて、この異常終了を起こした可能性のある VSE メッセージがあるかどうかを確認してください。

システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、どこで異常終了が起こったのかを判別してください。  
 モジュール: DFHKESTX

**AKEC**

説明: カーネル (KE) ドメインがランナウェイを検出しました。  
 システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、AICA 異常終了がアプリケーションに対して示されず、制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。  
 ユーザーの処置: システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、どこでランナウェイが起こったのかを判別してください。  
 モジュール: DFHKESTX, DFHKERRU

**AKED**

説明: 据え置き異常終了要求の結果、カーネル (KE) ドメインは異常終了処理を開始するよう要求されました。  
 システムの処置: 据え置き異常終了要求の対象であるタスクの異常終了処理が開始されます。  
 ユーザーの処置: タスクは AKED では異常終了せず、据え置き異常終了の要求者が指定した異常終了コードで異常終了します。詳細については、この異常終了の説明を参照してください。  
 モジュール: DFHKEEDA

**AKEF**

説明: ドメイン呼び出しを処理しているときに、カーネル (KE) ドメインがエラーを検出しました。そのエラーは、初期設定時にまだ活動状態になっていなかったドメイン・ゲートによって引き起こされた可能性があります。  
 システムの処置: アプリケーションに制御権がある場合には、そのトランザクションは異常終了し、システム・ダンプが作成されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。  
 ユーザーの処置: カーネル・ドメインからの関連メッセージを参照してください。

システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、エラーが起きた場所を判別してください。まだ活動状態になっていないドメイン・ゲートに対して呼び出しが行われていないかどうかを調べてください。呼び出し側が KERNERROR(YES) を指定していないかどうかを確認してください。  
 モジュール: DFHKERKE

**AKEG**

説明: カーネル (KE) ドメインがカーネル・スタック・ストレージに対して VSE GETMAIN を出しましたが、GETMAIN 要求が失敗しました。  
 システムの処置: アプリケーションに制御権がある場合には、そのトランザクションは異常終了し、システム・ダンプが作成されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。  
 ユーザーの処置: システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セ

## AKEZ • AMNB

クシオンを見て、十分なストレージを使用できない理由を判別してください。

CICS 区分の ALLOC ステートメントで十分なサイズが指定されているか調べてください。ALLOC ステートメントの詳細については、「z/VSE System Control Statements」を参照してください。

モジュール: DFHKESGM

---

### AKEZ

説明: 使用可能なカーネル・タスクが不足しているため、ユーザー接続が失敗しました。これは、内部論理エラーを示しています。

システムの処置: メッセージ DFHKE0001 が出力され、システム・ダンプがとられます。ユーザー・トランザクションの接続は失敗します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHKETA

---

### ALIA

説明: CICS は、DOS/VS COBOL アプリケーション・プログラムの初期設定段階で、タスク・グローバル・テーブルおよび作業ストレージのランタイム・ストレージを得るために、GETMAIN 要求を出しました。しかし、使用可能になっているストレージがこの要求を満たすのに不十分です。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーが検出されたストレージ・マネージャーのドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### ALIC

説明: CICS は、LE for z/VSE アプリケーション・プログラムの初期設定段階で、31 ビット行より上にランタイム・ストレージを得るために、GETMAIN 要求を出しました。しかし、使用可能になっているストレージがこの要求を満たすのに不十分です。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーが検出されたストレージ・マネージャーのドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### ALID

説明: CICS は、LE for z/VSE アプリケーション・プログラムの初期設定段階で、31 ビット行より下にランタイム・ストレージを得るために、GETMAIN 要求を出しました。しかし、使用可能になっているストレージがこの要求を満たすのに不十分です。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーが検出されたストレージ・マネージャーのドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### ALIF

説明: CICS は、LE for z/VSE アプリケーション・プログラムの初期設定段階で、スレッド・ストレージを得るために、GETMAIN 要求を出しました。しかし、使用可能になっているストレージがこの要求を満たすのに不十分です。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。

CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーが検出されたストレージ・マネージャーのドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### ALIG

説明: CICS は、実行されようとしているユーザー・アプリケーション・プログラムの言語を判別することができませんでした。CICS がサポートしなくなった古いレベルのコンパイラーを使用してプログラムがコンパイルされたか、プログラムの言語が CICS でサポートされていないかのどちらかです。

システムの処置: CICS はタスクを異常終了し、プログラムを使用不能にします。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 実行されるプログラムが、CICS がサポートしている言語で書かれているか、また、CICS がサポートしているレベルのコンパイラーを使用してコンパイルされているかを確認してください。現在サポートされている言語およびコンパイラーについての詳細は、「CICS Application Programming Guide」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### AMNA

説明: ユーザー・イベント・モニター点 (EMP) 要求を処理しているときに、例外応答がモニター (MN) ドメインから受け取られました。ユーザー・パラメーター内の 4 バイト DATA1 フィールドに無効なアドレスが入っているときに、例外応答が作成されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、モニター (MN) ドメインに渡された DATA1 値が無効であった理由を判別してください。

モジュール: DFHCMP

---

### AMNB

説明: ユーザー・イベント・モニター点 (EMP) 要求を処理しているときに、例外応答がモニター (MN) ドメインから受け取られました。ユーザー・パラメーター内の 4 バイト DATA2 フィールドに無効なデータが入っているときに、例外応答が作成されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、モニター (MN) ドメインに渡された DATA2 値が無効であった理由を判別してください。

モジュール: DFHCMP

**AMNZ**

説明: ユーザー・イベント・モニター点 (EMP) 要求を処理しているときに、予期しないエラー応答がモニター (MN) ドメインから受け取られました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性あることを示しています。モニター・ドメインから以前に CICS メッセージが出されています。そのメッセージの処置に従ってください。

モジュール: DFHCMP

**AMSA**

説明: 3270 から受け取られた入力データ・ストリームは、バッファ・アドレス設定 (SBA) オーダーで始まっていますが、その後には 2 つの 1 バイト・アドレス・フィールドが続いていません。この原因としてハードウェア・エラーが考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: データを入力する前に 2 桁のスペースを入れれば、この問題を回避できる可能性があります。

問題が解決しない場合は、支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHMSP

**AMSB**

説明: 内部論理エラーがモジュール DFHMSP で検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異なる配列のオペランドを指定して、CMSG トランザクションを再試行します。これが失敗した場合には、ダンプを保存して、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHMSP

**AMSC**

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減ら

して、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHMSP

**AMSD**

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連するエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMSP

**APCF**

説明: CICS タスクが PL/I として定義されたプログラムを呼び出しましたが、そのプログラムは、次のいずれかでした。

- サポートされている PL/I for VSE/ESA コンパイラーを使用してコンパイルされていない。
- プログラムが、サポートされなくなった DOS PL/I コンパイラーを使用してコンパイルされた。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了させ、プログラムを使用不能にします。

ユーザーの処置: そのプログラムが PL/I であるかどうかを調べてください。そのプログラムが DOS PL/I コンパイラーでコンパイルされている場合、PL/I for VSE/ESA コンパイラーを使用して再コンパイルします。つまり、ソース・プログラムを変更することが必要な場合があります。そのプログラムが PL/I でない場合には、プログラムを正しく再定義します。

モジュール: DFHAPLI

**APCG**

説明: そのトランザクションは、使用可能なプログラムのコピーを行うためのローダーに対する要求の一部として、マスター端末処置によって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトが原因で除去されました。デッドロック・タイムアウトは、DSA または EDSA の中の使用可能なスペースを超えるサイズのプログラムによって引き起こされる場合もあります。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、そのトランザクションが除去された理由を調べてください。これは、ローダー資源またはプログラム・ストレージを待っていることが原因である可能性があります。プログラム・サイズを調べてください。DSA または EDSA のサイズ限界全体を増やすことが必要な場合があります。

モジュール: DFHACP、DFHCRNP、DFHCRSP、DFHDLRP、DFHEDFP、DFHEIP、DFHEIPSH、DFHEIQIR、DFHEIQSJ、DFHFCBP、DFHFEP、DFHICP、DFHJCBSP、DFHJCC、DFHJCEOV、DFHJCO、DFHKCQ、DFHMCP、DFHMCPE、DFHMCY、DFHMSP、DFHPCPG、DFHPHP、DFHPSIP、DFHPUP、DFHRCRCP、DFHRCRP、

## APCH • APCW

DFHRDCAL, DFHRTC, DFHSII1, DFHSIJ1, DFHSPP,  
DFHSTP, DFHTACP, DFHTBSGB, DFHTCBP,  
DFHTCRP, DFHTDX, DFHTSPA, DFHTSRP,  
DFHUSBP, DFHXRCP, DFHXRE, DFHXRSP,  
DFHZATA, DFHZATD, DFHZCPLN, DFHZGAI,  
DFHZQ00, DFHZGAI, DFHZNCA, DFHZOPA,  
DFHZXCU

---

### APCH

説明: LE for z/VSE のシステム初期設定時に問題が起こったため、VS COBOL II プログラムに対する要求を実行することができませんでした。これは、LE for z/VSE が存在しないことが原因と考えられます。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: プログラムを再定義するか、正しい LE for z/VSE がサポートされているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### APCL

説明: LE for z/VSE が言語を判別できないため、プログラムを実行する試みが失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: そのプログラムが CICS に正しく定義されているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHAPLI

---

### APCN

説明: プログラム、マップ・セット、または区分セットがロードされていないか、すでに削除されていたため、内部 CICS プログラム、マップ・セット、または区分セットを解放する試みが行われました。これは、おそらく内部 CICS エラーです。システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。RELEASE が試行されたプログラムの名前は、異常終了ダンプの TCAPCP1 で見つけることができます。

ユーザーの処置: これは内部 CICS エラーか、CICS 内部制御ブロックの上書きによるものです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール:

DFHAMPEN, DFHFEP, DFHMCP, DFHMCPE,  
DFHMCY, DFHPHP, DFHRCRP, DFHTBSSP, DFHZCPLN

---

### APCS

説明: CICS が LE for z/VSE との正常な接続を行ってプログラムのランタイム特性を判別することができなかったため、そのプログラムを実行する試みが失敗しました。この異常終了に対しては、メッセージ DFHAP1200 が出力されます。このメッセージには LE for z/VSE によって設定された理由コードがあり、エラーの性質を示しています。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: 理由コードの意味については LE for z/VSE の「Debugging Guide and Runtime Messages」を参照して、エラーを訂正するために必要な処置をとってください。

モジュール: DFHAPLI

---

### APCT

説明: 以下のいずれかが起こりました。

1. 異常終了が起きたときに、EXEC CICS HANDLE ABEND プログラム内のプログラム名が使用できなかった。以下の理由が考えられます。
  - プログラムが CICS ジョブの LIBDEF SEARCH チェーンのサブライブラリーにない。
  - プログラムは使用禁止になっている。
  - プログラムをロードできない。
2. プログラムが CICS に定義されているのに、マップ・セットまたは区分セットをロードする試みが失敗した。
  - プログラムが CICS ジョブの LIBDEF SEARCH チェーンのサブライブラリーにない。
  - マップ・セットまたは区分セットが使用禁止になっている。
  - マップ・セットまたは区分セットが自動導入できない。
3. 内部 CICS プログラムへのリンク、同プログラムのロード、または解放の試行が失敗した。以下の理由が考えられます。
  - プログラムが CICS ジョブの LIBDEF SEARCH チェーンのサブライブラリーにない。
  - プログラムは使用禁止になっている。
  - プログラムをロードできない。

システムの処置: このプログラムを要求しているトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ケース 1 および 2 の場合は、プログラム、マップ・セット、または区分セットを、CEDA を使用して CICS に定義し、これらが使用可能であることを確認してください。

ケース 3 の場合は、CICS が提供するモジュールの定義が間違っています。CICS のスタートアップ時に出された関連メッセージを調べてください。

問題判別: 異常終了の前のトレースによって、ロード、リンク、解放を行うことができなかったプログラム、マップ・セット、または区分セットが分かります。その名前も TCAPCEPI にあります。

モジュール: DFHACP, DFHAMPEN, DFHCRSP,  
DFHEDFP, DFHEIP, DFHEIPSH, DFHEIQS, DFHFEP,  
DFHICP, DFHJCEOV, DFHJCO, DFHMCP, DFHMCPE,  
DFHMCY, DFHMELDE, DFHPCPG, DFHPHP, DFHPUP,  
DFHRCRP, DFHRDCAL, DFHSII1, DFHTBSGB,  
DFHTSRP, DFHZCPLN, DFHZQ00, DFHZXCU

---

### APCW

説明: プログラム言語は COBOL と定義されていますが、プログラム言語が最初にコンパイルされたコンパイラーのレベルを判別することができません。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: DOS/VS COBOL または LE for z/VSE がシステムでサポートされており、LE for z/VSE に必要なインターフェイス・モジュール (CEECCICS) がシステム・スタートアップ時に正しくロードされているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHAPLI



**APCY**

説明: z/VSE 環境では、CICS マクロ要求は PL/I または COBOL アプリケーションから出されています。代りに、アプリケーション・プログラムが、CICS 高水準言語プログラミン  
グ・インターフェースにより使用される EXEC インターフェ  
ース・モジュール (DFHECI や DFHELII など) を使用しないで  
リンク・エディットされている可能性もあります。このモジ  
ュールを組み込むために必要なことについては、「CICS  
*System Definition Guide*」を参照してください。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプ  
ログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: そのアプリケーション・プログラムからマク  
ロ要求を除去してください。

モジュール: DFHAPLI

**APCZ**

説明: 「旧式」のアプリケーション・プログラム (すなわち、  
リリース 1.6 以前のプログラムや DFHE プログラム・スタブ)  
または DOS/VS COBOL プログラムを、SVA 属性でリンク・  
エディットして実行しようとした。これらのタイプのプロ  
グラムは再入可能ではないため、読み取り専用ストレージにロ  
ードできません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: RENT および REFR 属性を設定しないでプ  
ログラムを再リンクしてください。

モジュール: DFHAPLI

**APC0**

説明: システム・プログラムのリンクを試行中に、プログラ  
ム・マネージャー・ドメインへの呼び出しで重大エラーが起き  
ました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクシ  
ョン・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、エラーが起きた理由を調  
べます。PGLK ドメイン呼び出しの処理における異常条件に  
ついては、エラーの前のトレース記録を調べてください。ディ  
レクトリー管理機能、ローダー、もしくはストレージ・マネ  
ージャーに問題があると考えられます。プログラム・サイズを調  
べてください。DSA または EDSA のサイズ限界全体を増や  
すことが必要な場合があります。

モジュール: DFHPCP, DFHMCY

**APC1**

説明: 64 KB を超える TGT に対する要求が検出されまし  
た。

システムの処置: CICS はトランザクションを異常終了し、イ  
ンストール済みプログラム定義の使用を禁止します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを変更して、  
作業用ストレージ要件を減らしてください。プログラムが訂正  
されたら、そのプログラムに対して CEMT NEWCOPY およ  
び ENABLE を実行してください。

モジュール: DFHAPLI

**APC2**

説明: 異常終了条件に引き続き、活動取扱ラベル異常終了とと  
もに、違法なブランチが LE for z/VSE ユーザー・プログラム  
によって試みられました。通常はブロック外 GOTO が発生す  
るはずですが、これは、プログラムが例えば非活動ブロックに対  
してブランチを試みていることを意味しています。この異常終  
了に対しては、メッセージ DFHAP1200 が出されます。この  
メッセージには LE for z/VSE によって設定された理由コード  
があり、エラーの性質を示しています。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプ  
ログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: 理由コードの意味について「*IBM Language  
Environment for z/VSE, Debugging Guide and Run-Time  
Messages*」を参照し、エラーのある GOTO を回避するよう  
にプログラムを修正してください。

モジュール:

モジュール: DFHAPLI

**APC3**

説明: プログラムは LE 準拠コンパイラーを使用してコンパ  
イルされているように見えますが、そのシステムでは LE for  
z/VSE はサポートされておらず、他の言語環境もこのプログ  
ラムを実行できなかったため、プログラムを実行することができ  
ませんでした。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプ  
ログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: プログラムが LE 準拠コンパイラーでコンパ  
イルされている場合は、LE for z/VSE サポートがシステムに  
インストールされているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHAPLI

**APDA**

説明: 31 ビット・アドレッシング・モードでプログラムを実  
行しようとした。しかし、プログラムのコンパイルに使用  
されたコンパイラーのレベルは、24 ビット・アドレッシング・  
モードでのみ実行可能な出力を生成します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS ト  
ランザクション・ダンプが作成され、PPT 項目は使用不可にな  
ります。

ユーザーの処置: プログラムが AMODE(24) オプションを使  
用してリンク・エディットされているかどうかを確認してくだ  
さい。

モジュール: DFHAPLI

**APDB**

説明: CICS タスクが C として定義されたプログラムを呼び  
出しましたが、そのプログラムは、サポートされていないコン  
パイラーを使用してコンパイルされていました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了させ、プログラム  
を使用不能にします。

ユーザーの処置: そのプログラムが C であるかどうかを調べ  
てください。そのプログラムが C である場合には、C for  
VSE/ESA コンパイラーによってプログラムを再コンパイルし  
ます。ソース・プログラムの変更が必要な場合もあります。プ  
ログラムが C でない場合には、プログラムを正しく再定義し  
てください。

モジュール: DFHAPLI

---

### APDC

説明: CICS タスクがプログラムを呼び出しましたが、そのプログラムは、サポートされていない C/370™ コンパイラーを使用してコンパイルされていました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了させ、プログラムを使用不能にします。

ユーザーの処置: C for VSE/ESA コンパイラーを使用して、プログラムを再コンパイルしてください。ソース・プログラムの変更が必要な場合もあります。

モジュール: DFHAPLI

---

### APDD

説明: サポートされない PL/I コンパイラーを使用してコンパイルされた PL/I プログラムから、EXEC CICS コマンドを実行しようとした。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了させ、プログラムを使用不能にします。

ユーザーの処置: PL/I for VSE/ESA コンパイラーを使用して、プログラムを再コンパイルしてください。ソース・プログラムの変更が必要な場合もあります。

モジュール: DFHEIP

---

### APDE

説明: サポートされない PL/I コンパイラーを使用してコンパイルされた PSW プログラムから、EXEC CICS コマンドを実行しようとした。CICS では、CICS キー (区分キー) または USER キー (キー 9) のいずれかにおける EXEC CICS コマンドの実行だけがサポートされています。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了させ、プログラムを使用不能にします。

ユーザーの処置: アプリケーションを変更して、すべての EXEC CICS コマンドが CICS キーまたは USER キーだけで実行されるようにしてください。

モジュール: DFHEIP、DFHEIPA

---

### APP1

説明: DFHIC TYPE=GET 応答コードが、通常応答ではありませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを分析してください。応答コードは、レジスター 0 の下位バイトにあります。

モジュール: DFHP3270

---

### APP2

説明: 一時ストレージを介して DFHP3270 へ渡されたデータの長さが 5 以下でした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ユーザーの DFHTEP を調べてください。それが間違っていない場合、APAR を提出してください。

この異常終了が起きた場合には、DFHP3270 が一時ストレージから獲得したデータは、間違った長さで一時ストレージに入れている可能性があります。印刷のためのアプリケーション要求 (例えば、ISSUE PRINT) を使用するか、Print Request (印刷要求) キーを押して、このデータを一時ストレージに入れ

るようにユーザーが間接的に要求している場合があります。ただし、この要求の場合のデータの長さは CICS が管理する必要があります。通常の場合では、データを一時ストレージに入れるようにユーザーが直接要求できるのは、ユーザーの TEP 内だけです。印刷要求を処理する場合、特に「印刷装置使用不能または使用中」条件を処理する場合には、DFHIC TYPE=PUT のすべての呼び出しをユーザーの側で調べて、長さフィールドが正しく設定されるようにする必要があります。

問題判別: レジスター 6 は、DFHIC TYPE=GET マクロ呼び出しによって、一時ストレージから取り出されたデータを指しています。このデータのレイアウトは、次のとおりです。

- 端末データ域の長さ (2 バイト)
- 書き込み制御標識 (1 バイト)
- 書き込み制御または紙送り制御文字 (1 バイト)
- データ (可変長)

分析: 3270 情報表示システム端末からの印刷要求を処理するために、DFHP3270 が呼び出されました。このプログラムは、DFHIC TYPE=GET 呼び出しによって、印刷するデータを一時ストレージから獲得します。また、このプログラムによって、印刷する何らかのデータがかならずあるようになります。一時ストレージから戻された区域には、上記の 4 バイトに続いて、印刷するデータが入っています。DFHP3270 は、渡されたデータの長さが 5 以下であったことから、印刷するデータがないことを認識しました。

モジュール: DFHP3270

---

### APP3

説明: 次のいずれかにより、データを要求する試みが非印刷装置またはサポートされていない装置へ送られました。

- 端末オペレーターがトランザクション・コードとして CSPP を入力した。または
- トランザクションが DFHTEP 要求を出した。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS トランザクション・ダンプは提供されません。

ユーザーの処置:

1. 端末オペレーターがトランザクション・コードとして CSPP を使用しないようにしてください。または、
2. ユーザー DFHTEP プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHP3270

---

### APR1

説明: 印刷キーの処理時に、異常な DFHIC TYPE=PUT の応答コードが受け取られました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。印刷キーが押された端末のキーボードは、操作が失敗したことを示すために、ロックされたままです。

ユーザーの処置: ダンプを分析してください。応答コードは、レジスター 0 の下位バイトにあります。

モジュール: DFHPRK

---

**APSA**

説明: POWER インターフェース上のリカバリー不能エラー。レジスター 0 に、応答バッファの最初のワード、レジスター 1 に現行戻りコード、レジスター 15 に次のように定義されたコードの 1 つが入っているとき、特定の論理エラーに対して APSA が作成されます。

- X'01' 要求タイプが無効
- X'02' コマンドを開始する順序応答が失敗
- X'03' 予期しない順序応答
- X'04' 予期しないセットアップ処理応答
- X'05' レポートをオープン不可能

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSPIO

**APSB**

説明: DFHEMS00 によりフラグが付けられたエラー。サポートされない端末で CEOS または CEMS を使用しようとした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CEOS または CEMS によってサポートされているディスプレイ端末を使用してください。

モジュール: DFHEMS00

**APSC**

説明: DFHEMS00 によりフラグが付けられたエラー。サイズが 24x80 未満のディスプレイ端末で、CEMS または CEOS を使用しようとした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CEOS または CEMS によってサポートされているディスプレイ端末を使用してください。

モジュール: DFHEMS00

**APSD**

説明: DFHEMSR1 によってフラグが付けられたエラー。

CEMS を使用してリストを作成しているときに、ブラウザ開始が失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 次のいずれかを行ってください。

1. トランザクションを再試行する。
2. システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHEMSR1

**APSE**

説明: DFHEMSP1 によってフラグが付けられたエラー。

CEMS を使用してリストを作成しているときに、start-browse コマンドが失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 次のいずれかを行ってください。

1. トランザクションを再試行する。
2. システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHEMSP1

**APSF**

説明: DFHEMSJ1 によってフラグが付けられたエラー。

CEMS を使用してリストを作成しているときに、ブラウザ開始が失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 次のいずれかを行ってください。

1. トランザクションを再試行する。
2. システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHEMSJ1

**APSG**

説明: DFHPSPFEX によってフラグが付けられたエラー。3270 データ・ストリームを変換時に、許可されている最大値を超える印刷装置バッファ・アドレスが検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSPFEX

**APSH**

説明: バックアウト処理中にレポートをクローズすることができません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSBP

**APSI**

説明: スプーラーを初期設定することができません。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCXPA

---

### APSK

説明: DFHPS TYPE=TRANSFER マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

### APSL

説明: DFHPS TYPE=PRINTER,PRACTN=CONFIRM マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

### APSM

説明: 端末エラーの後、DFHPSOP が NACP または TACP からの指示に従って異常終了中で、端末がサービスから除外されて設定されています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

### APSN

説明: 端末エラーの後、DFHPSOP が NACP または TACP からの指示に従って異常終了中です。 端末はサービス状態のままにされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

### APSO

説明: DFHPS TYPE=OPEN,OPTION=GENIN マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

### APSP

説明: TCTTE (TCTTEQAP でアドレッシングされた) から DFHPSWPS を見つけることができなかつたため、DFHPSOP が開始時に失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

### APSQ

説明: CEPW を開始した装置は、DFHPSOP によってサポートされていません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CEPW を開始した装置は、以下の特性のいずれかを持っています。 修正してから再試行してください。

- 端末ではない。
- 端末ではあるが、書式送り機能を持っていない。
- 端末ではあるが、3288 テキスト印刷機構を持っていない。

モジュール: DFHPSOP

---

### APSR

説明: DFHPS TYPE=PRINTER,PRACTN=SETUP マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

### APSS

説明: DFHPS TYPE=PRINTER,PRACTN=SETUPCOM マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

### APST

説明: あるタスクが、必須オペランド NOHANDLE のない SPOOL コマンドを出しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: NOHANDLE を指定して、コマンド構文を訂正します。

モジュール: DFHEPS

---

### APSO

説明: TCTTE に定義済みの印刷装置バッファ・サイズがトランザクションを実行するには小さすぎるため、DFHPSOP が異常終了しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHPSOP

---

**APS1**

説明: PRINTER SETUP 要求からの認識不能応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。  
 モジュール: DFHPSOP

**APS2**

説明: DFHPSOMH が不明メッセージの送信を要求された後、書き込み機能タスクが異常終了しています。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。  
 モジュール: DFHPSOMH

**APS3**

説明: DFHPS TYPE=CLOSE,OPTION=GENIN マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。  
 モジュール: DFHPSOP

**APS4**

説明: DFHPS TYPE=READ マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。  
 モジュール: DFHPSOP

**APS5**

説明: 前に DFHPSOP の INPUT バッファを大きくしてあった場合、レコードの読み取り不能にした後、DFHPSOP が異常終了しています。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。DFHPSOP

**APS6**

説明: DFHPS TYPE=PRINTER,PRACTN=DISCON マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。  
 モジュール: DFHPSOP

**APS7**

説明: 監査証跡 (CSPA または CSPW) への書き込み時に、エラー (NOSPACE や QIDERR 以外) の後で DFHPSOP が異常終了しています。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: 監査証跡への書き込みが失敗した理由を判別し、修正してください。  
 モジュール: DFHPSOMH

**APS8**

説明: DFHEMS00 によりフラグが付けられたエラー。 XCTL または DFHEMSP への LINK を使用しようとした (すなわち、EIBTRNID は CEOS または CEMS ではありません)。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: XCTL または DFHEMSP への LINK を使用するプログラムを訂正し、代わりに EXEC CICS START コマンドを使用するようにします。  
 モジュール: DFHEMS00

**APS9**

説明: DFHPSOP は、自動ストレージとして使用するため、その従属モジュール用のスタックを予約します。従属モジュールがこのストレージのサイズを超えた場合、DFHPSOP はこの異常終了コードで異常終了します。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。  
 モジュール: DFHPSOP

**APTA**

説明: DFHEMSR4 によってフラグが付けられたエラー。NOSPACE および QIDERR 以外の理由で失敗した CSPA 監査証跡へ、書き込みを行おうとしました。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: 監査証跡への書き込みが失敗した理由を判別し、訂正してください。  
 モジュール: DFHEMSR4

**APTB**

説明: DFHEMSP4 によってフラグが付けられたエラー。NOSPACE および QIDERR 以外の理由で失敗した CSPA 監査証跡へ、書き込みを行おうとしました。  
 システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: 監査証跡への書き込みが失敗した理由を判別し、訂正してください。  
 モジュール: DFHEMSP4

## APTC • APTM

---

### APTC

説明: DFHEMSJ4 によってフラグが付けられたエラー。  
NOSPACE および QIDERR 以外の理由で失敗した CSPA 監査証跡へ、書き込みを行おうとしました。  
システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 監査証跡への書き込みが失敗した理由を判別し、訂正してください。  
モジュール: DFHEMSJ4

---

### APTD

説明: DFHPS TYPE=READ マクロを再試行中に、エラー応答の後で DFHPSOP が異常終了しています。  
システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。  
モジュール: DFHPSOP

---

### APTE

説明: CICS が、DFHPSOPR に存在しないサブルーチンへの呼び出しを試みました。  
システムの処置: トランザクション CEPW は異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHPSOP、DFHPSOPR

---

### APTF

説明: RCF 印刷装置共用機能が使用可能時に、DFHPS TYPE=ORDWAIT マクロからのエラー応答の後で、DFHPSOP が異常終了しています。  
システムの処置: トランザクション CEPW は異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHPSOP

---

### APTG

説明: CICS が、基本機能 (印刷装置) 内の印刷関連サブルーチンへの呼び出しを出そうとしました。  
システムの処置: トランザクション CEPW は異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHPSOP、DFHPSOPR

---

### APTH

説明: RCF 印刷装置共用機能が使用可能時に、DFHPS TYPE=START マクロからのエラー応答の後、DFHPSOP が異常終了しています。  
システムの処置: トランザクション CEPW は異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHPSOP

---

### APTK

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHPSBP、DFHPSCMD、DFHPSP、DFHSPPCB、DFHSPPFX、DFHSPPIO、DFHPSPO、DFHPSPW

---

### APTL

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。  
モジュール: DFHPSBP、DFHPSCMD、DFHPSP、DFHSPPCB、DFHSPPFX、DFHSPPIO、DFHPSPO、DFHPSPW

---

### APTM

説明: FREEMAIN するためストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しの前に、ストレージ・クラスを判別しようとしているとき、DFHSPPCB がスプーラー制御ブロックで認識不能な制御ブロック ID を検出しました。その原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。この問題が再現可能な場合、RC コンポーネントのレベル

1 のトレースが問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHSPCB

---

#### APTN

説明: 初期設定中に、レポート・コントローラーが使用するためのシステム全体のサブプールを作成する要求が、関数 ADD\_SUBPOOL を使用して SMAD ドメインに対して行われました。この結果、INSUFFICIENT STORAGE の応答が返されました。

システムの処置: 重大なストレージ問題のため、初期設定は完了しないと考えられます。その他のストレージ関連微候も発生する可能性があります。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム初期設定パラメーター EDSALIM に指定した値を増加してください。詳細については、「CICS System Definition Guide」または「CICS Performance Guide」を参照してください。

モジュール: DFHPSP

---

#### APTO

説明: 初期設定中に、レポート・コントローラーが使用するためのシステム全体のサブプールを作成する要求が、関数 ADD\_SUBPOOL を使用して SMAD ドメインに対して行われました。この結果、予期しない応答が返されました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずで

す。システムの処置: ストレージ・マネージャーに関する内部エラーのため、初期設定は完了しないと考えられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHPSP

---

#### APTP

説明: DFHPS TYPE=OPEN,ANY からの戻り時に、4 より大きい戻りコードが受け取られました。これは、プログラム DFHCXPB (トランザクション CXPB) よりエラーとみなされます。戻された戻りコードは、XPCC マクロからのレジスター 15 の中の値です。

システムの処置: トランザクション CXPB は終了し、ダンプが作成されます。このことは、CXPB トランザクションが CICS インターフェース (VSE/POWER が PSTART 要求を渡す) であるため、レポート・コントローラー印刷装置を開始できなくなっていることを意味します。

ユーザーの処置: エラーの性質によって、EXEC CICS START TRANSID(CXPB) コマンドを出して (ユーザー・プログラム内または CECI を直接使用して)、CICS と VSE/POWER の間の接続を再確立できる場合があります。ただし、これも失敗した場合には、レポート・コントローラー印刷装置を使用できるようにするために CICS を再生しなければなりません。

モジュール: DFHCXPB

---

#### APTQ

説明: プログラム DFHCXPB (トランザクション CXPB) が、異常終了コードが出されたことを検出しました。

システムの処置: トランザクション CXPB は終了し、ダンプが作成されます。このことは、CXPB トランザクションが CICS インターフェース (VSE/POWER が PSTART 要求を渡す) であるため、レポート・コントローラー印刷装置を開始できなくなっていることを意味します。

ユーザーの処置: エラーの性質によって、EXEC CICS START TRANSID(CXPB) コマンドを出して (ユーザー・プログラム内または CECI を直接使用して)、CICS と VSE/POWER の間の接続を再確立できる場合があります。ただし、これも失敗した場合には、レポート・コントローラー印刷装置を使用できるようにするために CICS を再生しなければなりません。

モジュール: DFHCXPB

---

#### APUA

説明: モジュール DFHPUP が呼び出されたときに、内部エラーが検出されました。DFHPUP に対する呼び出し (PUPF) で GETSTG パラメーターが欠落しています。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

#### APUB

説明: モジュール DFHPUP が呼び出されたときに、内部エラーが検出されました。DFHPUP に対する呼び出し (PUPU) で GETSTG パラメーターが欠落しています。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

#### APUC

説明: モジュール DFHPUP が呼び出されたときに、内部エラーが検出されました。DFHPUP に対するドメイン呼び出しに対して無効な機能コードが与えられました。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

## APUD • APUK

モジュール: DFHPUP

---

### APUD

説明: RDO 言語定義テーブル (DFHEITSP) がライブラリー内に見つかりませんでした。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。

モジュール: DFHPUP

---

### APUE

説明: 使用できるストレージがないために、RDO 言語定義テーブル (DFHEITSP) をロードすることができません。

システムの処置: 処理は異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: より多くのストレージを割り振って、失敗に終わったオフラインの COPY または APPEND コマンドを再度サブミットします。

モジュール: DFHPUP (バッチ環境)

---

### APUF

説明: RDO 言語定義テーブルが無効であるか、またはライブラリーから欠落しています。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。

モジュール: DFHPUP

---

### APUG

説明: モジュール DFHPUP で内部エラーが検出されました。CSD レコード・バッファーのためのストレージを獲得することができませんでした。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

### APUH

説明: モジュール DFHPUP で内部エラーが検出されました。引数リストのためのストレージを獲得できませんでした。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

### APUI

説明: モジュール DFHPUP で内部エラーが検出されました。引数リストのためのストレージを解放することができません。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

### APUJ

説明: モジュール DFHPUP で内部エラーが検出されました。CSD レコード・バッファーのためのストレージを解放することができません。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

### APUK

説明:

- CICS 環境では、CEDA トランザクション内のログに記録された RDO コマンドを収容するためのバッファー用のストレージを獲得することができません。
- バッチ環境では、CSD から変換して戻されたリソース定義を収容するためのバッファー用のストレージを獲得することができません。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要



です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

#### APUL

説明: パラメーターとして指定されたリソース定義に認識されていないリソース・タイプ・コードが含まれているため、CICS は言語定義テーブル内に機能コードで一致するものを見つけることができません。

出される異常終了コードは、エラーが起こる前に呼び出された DFHPUP 操作によって異なります。

異常終了	DFHPUP 操作
APUL	FLATTEN
APUM	TRANCASE
APUN	COMPARE
APUO	BACKTRANS

異常終了の原因は、次のいずれかです。

1. ライブラリー内の言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、実行している CICS のリリースに対して無効である。または
2. CICS 論理エラーが発生した。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 上記の 2 つの理由のどちらに当てはまるのかによって、次のいずれかの処置をとります。

1. ライブラリーにある DFHEITSP モジュールおよび DFHEITCU モジュールが CICS のこのリリースに対して有効であるかどうかを確認します。
2. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

注記: この異常終了に関する記述は、APUM、APUN、および APUO にも適用されます。

---

#### APUM

説明: 異常終了 APUL の「説明」を参照してください。

---

#### APUN

説明: 異常終了 APUL の「説明」を参照してください。

---

#### APUO

説明: 異常終了 APUL の「説明」を参照してください。

---

#### APUP

説明: RDO の言語定義テーブルの DFHPUP 処理時に内部エラーが起きました。構文ツリー用のキーワード・リスト作成中にスタック・エラーが起きました。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

#### APUQ

説明: RDO の言語定義テーブルの DFHPUP 処理時に内部エラーが起きました。構文展開時に見つかったキーワードが多すぎます。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

#### APUR

説明: 引数リストまたは CSD レコード・バッファの DFHPUP 処理時に、内部エラーが起きました。キーワード・フィールドのデータ型が、言語定義テーブルに指定されたデータ型と矛盾しています。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。

モジュール: DFHPUP

---

#### APUS

説明: CSD レコード・バッファの DFHPUP 処理時に内部エラーが起きました。キーワード・フィールドの整数データの長さが無効です。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあ

## APUT • ARHB

り、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。

モジュール: DFHPUP

---

### APUT

説明: 引数リストまたは CSD レコード・バッファの DFHPUP 処理時に、内部エラーが起きました。言語定義テーブル DFHEITSP の KEP(1) 値であるキーワード存在ビット番号が無効です。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。

モジュール: DFHPUP

---

### APUZ

説明: CICS が、認識されていないリソース・タイプ・コードを CSD レコード内で検出しました。認識されていないコードは、言語定義テーブルの中のいずれの機能コードとも一致していません。この異常終了は、次のいずれかの理由によって起こると考えられます。

1. 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2. 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3. CSD マネージャー (DFHDMP) が、無効な CSD レコード・バッファを DFHPUP に渡した。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

1. 実行中の CICS のリリースによってサポートされていない定義タイプを含むグループに関する操作を回避します。
2. 実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。
3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPUP

---

### ARCA

説明: 必要なステップが失敗したために、CICS リカバリー管理再始動タスクを完了させることができませんでした。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体がコード ARCA で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、リカバリー管理再始動タスクのトランザクション・ダンプを書き込みます。その後、CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

CICS は、2 つのメッセージをコンソールへ送ります。1 つはリカバリー管理再始動タスクによって検出されたエラーを識別するものであり、もう 1 つはタスクが失敗に終わったことを示すものです。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHRCRP

---

### ARCB

説明: 初期設定時に CICS が、タスク関連ユーザー出口またはグローバル・ユーザー出口を使用できるようにしようとしたが、出口プログラムが見つからなかったために失敗しました。

緊急再始動では、CICS は、TBEXITS システム初期設定パラメーターで指定されているように、トランザクション・バックアウト出口プログラムを使用できるようにします。

システムの処置: CICS は、組み込まれている出口プログラムを示すメッセージをコンソールへ送ります。その後で、CICS 初期設定が異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 指定したプログラムが、CICS に対して定義されており、CICS ジョブの LIBDEF 検索チェーンのサブライブラリーにあることを確認してください。

必要な場合、ダンプを使用して、出口プログラムが使用できなかった理由を突き止めてください。

モジュール: DFHRCEX

---

### ARHA

説明: SAA リソース・リカバリー・インターフェースが無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPIR

---

### ARHB

説明: SAA リソース・リカバリー・インターフェースが、その呼び出しについて無効なパラメーター数で呼び出されました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了とともに作成された例外トレース・ポイントには、誤って出された SAA リソース・リカバリー verb 名が入っています。これを使用して、アプリケーション・プログラムのどこがエラーになっているのかを判断し、適宜アプリケーション・プログラムを修正してください。SAA リソース・リカバリー verb およびその呼び出し方法についての詳細は、「SAA Resource Recovery Reference」を参照してください。

モジュール: DFHCPDR

---

#### ARHC

説明: SAA リソース・リカバリー・インターフェースが、同期プログラムからの予期しない戻りコードを検出しました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCPDR

---

#### ARL1

説明: トランザクション CSLG が CICS へ入力されましたが、タスク生成によって内部的に開始されませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CSLG トランザクション ID を再入力しないでください。

モジュール: DFHZRLG

---

#### ARMO

説明: 制御が与えられるプログラムとして DFHAKP を指定するトランザクションの接続が試行されましたが、トランザクションの内部的な接続は CICS によって行われませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CSKP が端末から実行されないことを確認してください。そうでない場合、この問題を解決するには IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHAKP

---

#### ARPA

説明: CANCEL 要求の処理時に、目標システム内の CRTE トランザクションのユーザーをサインオフしようとしているときに、DFHSUSN から予期しない応答が出されました。

この異常終了は、VTAM VARY INACT コマンドを誤って使用したために起きた可能性があります。あるいは、CICS 内のエラーであることが考えられます。

システムの処置: CSSF トランザクション (CRTE 取り消しプロセス・トランザクション) が、ARPA で異常終了します。

ユーザーの処置: VTAM VARY INACT コマンドが正しく使用されていることを確認してください。これが異常終了の原因でない場合、この問題を解決するには IBM のサポートが必要

です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHRTC

---

#### ARTA

説明: タスクが、その主要な機能としての端末を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHRTE が CRTE 以外のタスクのためのプログラムとして指定されないようにします。CRTE が端末入力以外の手段によって開始されないようにします。

モジュール: DFHRTE

---

#### ARTB

説明: 入力 TIOA がいないか、またはデータの長さがゼロです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHRTE が CRTE 以外のタスクのためのプログラムとして指定されないようにします。CRTE が端末入力以外の手段によって開始されないようにします。

モジュール: DFHRTE

---

#### ARTC

説明: 必要なシステムへのリンクを使用することができず、その理由は不明です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHRTE

---

#### ARTD

説明: 内部論理エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHRTE

---

#### ARTE

説明: 一時ストレージからの読み取りまたはそこへの書き出しを試みているときに、エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージの問題の原因を突き止めて、それを訂正してください。

モジュール: DFHRTE

---

#### ARTF

説明: 永続トランザクション・コード・セットを備えた端末から、ルーティング・トランザクション (CRTE) を使用する試みが行われました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザク

## ARTG • ASFB

ション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRTE

---

### ARTG

説明: CICS は、経路指定されているトランザクションのために指定されたプロファイルを発見できませんでした。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ユーザーのトランザクションおよびプロファイルの定義を調べてください。

モジュール: DFHRTE

---

### ARTH

説明: CRTE を実行している代理端末セッションのサインオフ中に、DFHRTE によるリモート端末削除のスケジュールのための呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRTE

---

### ASCA

説明: DFHSC TYPE=GETMAIN 要求を行いました。結果は、INVALID または DISASTER 応答を戻したストレージ・マネージャー (SM) ドメインを呼び出すことになりました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 以前に起こった障害があり、それがストレージ・マネージャー・ドメインからの応答を引き起こしました。これ以前に起こった障害 (コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプを伴っていた) を調べてください。

モジュール: DFHSMSCP

---

### ASCB

説明: DFHSC TYPE=FREEMAIN 要求を行いました。その結果、INVALID または DISASTER 応答を戻したストレージ・マネージャー (SM) ドメインを呼び出すことになりました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 以前に起こった障害があり、それがストレージ・マネージャー・ドメインからの応答を引き起こしました。これ以前に起こった障害 (コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプを伴っていた) を調べてください。

モジュール: DFHSMSCP

---

### ASCP

説明: 隣接する十分な主ストレージが解放されるのを待っているときに、無条件の DFHSC TYPE=GETMAIN 要求を出したタスクが除去されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターからタスクが除去された場合、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値よりも長い間待ってからタスクがタイムアウトになる場合に起こります。

タスクがマスター端末オペレーターによって除去された場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことに原因があると思われます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎるため使用可能な主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起こらないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHSMSCP

---

### ASCR

説明: DFHSC マクロ要求が、無効な要求タイプを指定して出されました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

DFHSMSCP により無効な要求が発見されると、コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプが生成されることとなります。

ユーザーの処置: 関連コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプを使用して、問題を調査してください。

モジュール: DFHSMSCP

---

### ASFA

説明: EXEC CICS からの予期しない応答のため、DFHSFP で内部論理エラーが発生しました。この異常終了コードには、通常、メッセージ DFHCE3598 が伴います。これには関連する戻りコードが含まれています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSFP

---

### ASFB

説明: 関連した端末を使用しないで CICS サインオフ・プログラムを実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。この異常終了コードは、通常、DFHCE3598 を伴います。

ユーザーの処置: 関連した端末がある場合に限り、サインオフ・プログラムを使用してください。

モジュール: DFHSFP

**ASFC**

説明: APPC セッションに対して CICS サインオフ・プログラムを実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。この異常終了コードは、通常、DFHCE3598 を伴います。

ユーザーの処置: 関連した端末がある場合に限り、サインオフ・プログラムを使用してください。

モジュール: DFHSFP

**ASIA**

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出し時に、エラーが発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。そして、CICS が異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHSII1

**ASIB**

説明: CICS 内部タスク CPLT をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: このような試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHSIPLT

**ASNA**

説明: EXEC CICS からの予期しない応答のため、DFHSNP で内部論理エラーが発生しました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。この異常終了コードは、通常、DFHCE3548 を伴います。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSNP

**ASNB**

説明: 関連した端末を使用しないで CICS サインオン・プログラムを実行する試みが行われました。この異常終了コードは、通常、DFHCE3548 を伴います。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 関連した端末がある場合に限り、サインオン・プログラムを使用してください。

モジュール: DFHSNP

**ASNC**

説明: サインオン・プログラムがユーザーに対して要求を送ろうと試みましたが、失敗しました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。この異常終了コードは、通常、DFHCE3548 を伴います。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSNP

**ASOA**

説明: TCP/IP listener タスク CSOL が端末から不正に開始されました。これは、CICS システム初期設定でソケット・ドメインを使用するか、あるいは CEMT SET TCPIP OPEN または同等の SPI 機能を使用することによってのみ使用可能にできます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSOL

**ASOD**

説明: 新しいタスクのトランザクション接続処理のバインド・ステージ中に TCP/IP トランザクション接続モジュール DFHSOXM にエラーが発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了以前の例外トレースに、この異常終了が発行された理由についての詳しい情報があります。

モジュール: DFHSOXM

**ASPA**

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。処理がデータの健全性が維持されない時点にある場合には、CICS は異常終了されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

CICS が異常終了した場合には、データの健全性を確実に維持するために CICS を緊急再始動させる必要があります。

## ASPB • ASPJ

モジュール: DFHSPP、DFHSPZ

### ASPB

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。処理がデータの保全性が維持されない時点にある場合には、CICS は異常終了されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。CICS が異常終了した場合には、データの保全性を確実に維持するために CICS を緊急再始動させる必要があります。

モジュール: DFHSPP、DFHSPZ

### ASPD

説明: 動的ログを要求している間にエラーが発生しました。同期点は、ユーザー同期点、もしくは作業論理単位の終了時点からトランザクションの再始動中の同期点を表しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: エラーのことをシステム・プログラマーに知らせてください。このエラーは、おそらく一時ストレージから動的ログを読み取り中に発生したものです。ダンプを使用すると、ログを読み取ることができなかった理由を突き止めることができます。

モジュール: DFHSPP

### ASPE

説明: 同期点コマンド・コマンドが出されましたが、CICS は同期点プログラムから DFHDBP (動的バックアウト・プログラム) をリンクすることができません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: DFHDBP が使用可能であり、システム初期設定パラメーターとして正しく指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHSPP

### ASPF

説明: ROLLEDBACK を同期点プログラムへ戻したシステム間セッションによって、同期点が試みられました。その結果、同期点が取られた作業単位がバックアウトされたために、そのトランザクションが異常終了しました。

この原因としては、IRC の遮断または接続済み CICS 領域の障害が考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システム間セッションが ROLLEDBACK 応答を同期点要求に戻した理由を突き止めてください。これを訂正したら、そのトランザクションを再試行してください。

これから ASPF 異常終了が起きるのを避けるには、IRC を遮断する前に、作動中の作業単位がないことを確認してください。

モジュール: DFHSPP

### ASPG

説明: ローカル・トランザクション・プログラムが、APPC 同期レベル 2 経由で接続されたパートナー・トランザクション・プログラムとの同期点に関与しようとしていました。パートナーの URD 制御ブロックの初期設定中に、ローカル・システムがパートナーの完全修飾 LU 名で無効な形式を検出しました。その結果、整合性のある同期点操作を完了することができませんでした。

このエラーは、パートナーの EXCHANGE LOG NAMES コマンドの中の無効の LU 名によって引き起こされます。

システムの処置: このトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成され、CICS はリカバリー可能な変更内容をすべてバックアウトします。

ユーザーの処置: パートナーのオペレーターに相談して問題を解決し、同期レベル 2 活動を行う前に EXCHANGE LOG NAMES が正常に完了するようにしてください。

モジュール: DFHSPZ

### ASPH

説明: ローカル・トランザクション・プログラムが、APPC 同期レベル 2 経由で接続されたパートナー・トランザクション・プログラムとの同期点に関与しようとしていました。同期点処理の開始時に、パートナー LU のログ名が見つかりませんでした。これは、EXCHANGE LOG NAMES が正常に完了しなかったことを示します。その結果、整合性のある同期点操作を完了することができません。

このエラーは、正常に完了しなかった EXCHANGE LOG NAMES 処理によって引き起こされます。

システムの処置: このトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成され、CICS はリカバリー可能な変更内容をすべてバックアウトします。

EXCHANGE LOG NAMES が失敗した場合、メッセージ DFHZN2111、DFHZN2112、または DFHZN2113 が出されていることがあります。

ユーザーの処置: 詳細については、関連メッセージを参照してください。

パートナーのオペレーターに相談して問題を解決し、同期レベル 2 活動を行う前に EXCHANGE LOG NAMES が正常に完了するようにしてください。

モジュール: DFHSPZ

### ASPJ

説明: CICS 同期レベル 1 のコミット時に、パートナー・システムから予期しない同期点メッセージ・データが受け取られました。ローカル資源および同期レベル 2 パートナーがコミットされましたが、同期レベル 1 の機能シブ資源更新がバックアウトされた可能性があります。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了しません。

CICS 同期レベル 1 のコミット処理は続行されます。その際、できるだけ多くの同期レベル 1 の資源をコミットすることを目標とします。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、メッセ

ージ・データが無効である理由を判別してください。このエラーはリモート・システムにあることが考えられます。

モジュール: DFHSPZ

---

### ASPK

説明: CICS アプリケーションが APPC 同期レベル 1 を使用して、リモート機能シップ・リソースを処理していました。このアプリケーションが (暗黙的または明示的に) 同期点をとり、その結果、すべてのローカル・リソースおよび同期レベル 2 パートナーがコミットされました。しかし、コミット・メッセージを同期レベル 1 の機能シップ資源に送ったときに、エラーが検出されました。

システムの処置: CICS トランザクション・ダンプが取られ、可能なだけ多くの同期レベル 1 のパートナーをコミットした後、ローカル・トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CSMT メッセージ・キューを調べ、メッセージ DFHZN2131、DFHZN2132、または DFHZN2133 を探してください。これらのメッセージは、エラーに関する詳細な情報を提供します。

モジュール: DFHSPZ

---

### ASPL

説明: CICS が同期点情報をシステム・ログに書き込んでいる間に、エラーが発生しました。同期点は、ユーザー同期点またはトランザクションの終了のいずれかを表します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ログ・レコードを正しく書き込むことができなかった理由を突き止めます。

問題判別: 異常終了時には、ジャーナル・エラー戻りコードは、JCA (フィールド JCA)CRC) にあります。JCA は TCAJCAAD によってアドレッシングされます。

分析: DFHSPZ は、同期点処理中に、ログ操作に続くジャーナル管理プログラムからの戻りコードをテストします。エラーが発生していた場合、DFHSPZ はコード ASPL を出して異常終了します。

モジュール: DFHSPZ

---

### ASPM

説明: リソース・マネージャーからの予期しない応答のため、内部論理エラーが DFHSPZ で発生しました。この異常終了コードは、通常、DFHRM0101 を伴います。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、システム・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを保持してください。詳細については、メッセージ DFHRM0101 を参照してください。

モジュール: DFHSPZ

---

### ASPN

説明: トランザクションが、バックアウト必須プログラム状態で EXEC CICS RETURN を出しました。このバックアウト必須プログラム状態は、アプリケーションが異常終了を受け取ったかまたは出したとき、あるいは保護会話上でバックアウト要求を受け取ったときに設定されます。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: アプリケーションでは、EXEC CICS

RETURN の前に明示的同期点コマンドをコーディングしておく必要があります。「バックアウト要求」のプログラム状態で出された同期点は、結果的にバックアウトを実行します。後続の EXEC CICS RETURN は正常に完了します。

モジュール: DFHSPZ

---

### ASP1

説明: 同期点が取られているときにシステム間セッションが失敗に終わりました。その結果、リモート・データベースを更新した作業論理単位を正常に完了できなかったため、トランザクションは異常終了します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: この異常終了の結果としては、何もありません。ただし、DFHZN2101 も生成される場合があります。これ自体は何らかの処置を必要とすることがあります。

モジュール: DFHSPZ

---

### ASP2

説明: 無効状態のシステム間リンクによって、同期点が試みられました。これは、同期点が受け取られていなかったすべてのセッションについて送信モードにすることに失敗したことによる、トランザクションの同期点プロトコル違反が原因である可能性があります。

システムの処置: タスクは異常終了し、端末管理情報が入っている CICS トランザクション・ダンプが作成されます。特にこのダンプには、このトランザクションで使用したリンクの状態情報が入っています。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: 同期点を出す前に、すべてのアプリケーションがすべての会話上で正しい状態であることを確認してください。正しい状態にできなかった場合、問題解決にはさらにサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSPZ

---

### ASP3

説明: 異常終了は、作業単位が依存するリモート・システムで同期点を取るのに失敗すると起こります。機能が伝送されたすべての結合システムもコミットするまで、トランザクションはその変更をコミットすることができません。これは、同期点が受け取られていなかったすべてのセッションについて送信モードにすることに失敗したことによる、トランザクションの同期点プロトコル違反が原因である可能性があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: 照会を実行し、リモート・データベース変更が正常にバックアウトされたかどうかを調べてください。バックアウトされた場合、トランザクションを再実行します。正常にバックアウトされていない場合、ユーザー定義の処置をとり、ローカル・データベースとリモート・データベースを同期化し直してください。

リモート・システムが要求に対して応答を失敗した原因を調べ

## CICS TS 異常終了コード

てください。リモート・システムでデータベース変更が正常にバックアウトされた場合、トランザクションを再試行することができます。失敗した場合、アプリケーション従属プロシージャにより、両方のシステム上でデータベースの再同期を確実にする必要があります。

問題判別: レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しています。レジスター 3 はリモート・システム TCTTE のアドレスを示します。端末管理操作要求バイトの TCATPOS1 は、リモート・システムに対して行われている要求の性質を示します。値は以下のとおりです。

TCATPPRP (X'01') - 準備要求  
TCATPSPR (X'02') - SPR 要求

要求応答コード・バイト TCATPAPR は、リモート・システムからの応答を与えます。

X'00' - 操作成功  
X'0C' - セッション障害  
その他 - リモート・システム・エラー

分析:

レジスター ラベル 説明

R3=@TCTTE SPIS340 準備要求の応答において  
R12=@TCA リモート・システム・エラーが  
発生したか、又は SPR が  
受信されませんでした。

R3=@TCTTE SPIS453 SPR 要求が送信されましたが、  
R12=@TCA リモート・システム・エラーが  
起きました。

モジュール: DFHSPP, DFHSPZ

### ASP4

説明: 同期点プロトコルに組み込まれているリソース・マネージャーが、単一フェーズ・コミット要求に対して「バックアウト」で応答しました。ユーザー出口と関連したタスクを介して通信している非 CICS リソース・マネージャーが、この異常終了を引き起こす可能性があります。

この異常終了は、以前の問題、すなわち、この作業論理単位 (LUW) で行われた更新のバックアウトを強制されているリソース・マネージャーによって引き起こされます。一例として、同期点の時点で CICS とリソース・マネージャー間で通信が正しく行われない場合があります。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: リソース・マネージャー・スレッドを異常終了しバックアウトした原因を判別してください。

モジュール: DFHSPP

### ASP5

説明: タスクが、その基本機能としての端末を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination

Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSPZ

### ASP6

説明: このタスクの基本機能である端末を所有するシステムに対して、シップするため待機中であったデータをフラッシュアウトする試みが失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSPZ

### ASP7

説明: 同期点プロトコルに組み込まれているリソース・マネージャーが、「準備」するための要求に対して、「No」で応答しました。ユーザー出口と関連したタスクを介して通信している非 CICS リソース・マネージャーが、この異常終了を引き起こす可能性があります。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: 前に起こっている問題、例えば、リソース・マネージャーが、入出力エラーのためにそのバッファをそのままフラッシュできないか、または TP の障害のために CICS との通信を行うことができないといったことによって、この異常終了は引き起こされます。前に起こっている問題を訂正する必要があります。

モジュール: DFHSPP

### ASP8

説明: トランザクションが同期点ロールバックを要求しましたが、そのトランザクションは、同期点ロールバックがサポートされないタイプの処理を使用していました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: これは、アプリケーション・エラーまたは構成エラーです。通信セッションには (例えば、LU6.1)、同期点ロールバックをサポートしないものがあります。また、CICS がロールバック処理時にそのようなセッションを検出した場合、タスクは異常終了します。この制約事項については、「CICS Intercommunication Guide」で説明されています。問題を解決するためには、以下のいずれかを行ってください。

- アプリケーションを変更して、サポートしないセッションが割り振られたときに、アプリケーションが同期点ロールバック・コマンドを出さないようにする。
- 構成を変更して、APPC または MRO セッションのいずれかを通信用に使用する。同期点ロールバックをサポートするセッションは、2 つしかありません。

モジュール: DFHSPZ



**ASP9**

説明: このタスクが所有する TCTTE を解放する試みが失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSPP、DFHSPZ

**ASRA**

説明: プログラム・チェックのためにタスクが異常終了しました。

システムの処置: タスクは異常終了して、CICS はメッセージ DFHAP0001 または DFHSR0001 を出します。メッセージ DFHSR0622 も出されることがあります。

ユーザーの処置: メッセージの説明を参照して、プログラム・チェックについての原因を突き止め、それを訂正してください。

モジュール: DFHSRP

**ASRB**

説明: オペレーティング・システム異常終了が起り、CICS は現行トランザクションを異常終了させることができませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS はメッセージ DFHAP0001 または DFHSR0001 を出します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージの説明を参照して、最初オペレーティング・システム異常終了の原因を判別し、必要な訂正処置をとってください。

モジュール: DFHSRP

**ASRD**

説明: 以下のいずれかの理由でタスクが異常終了しました。

- プログラムに CICS が現在サポートしていないアセンブラー・マクロ呼び出しが入っている。
- CSA または TCA に対して無効なアクセスの試みが行われた。DOS/VS COBOL BLL セルから CSA をアドレッシングを試みると、この異常終了を引き起こす可能性があります。以下に例を示します。

DOS/VS COBOL プログラムが CICS によって呼び出されるときに、CICS はフェッチ保護されたダミーの CSA を、アプリケーション管理 BLL セルの最初のセルに挿入します。アプリケーションが BLL セルを初期設定をし直す前にこのストレージへアクセスしようとする、異常終了 ASRD が起ります。

- アセンブラー以外のプログラムが、アセンブラー・プログラムとして間違っ CICS に定義された。

このエラーは、プログラム・チェックとして表示されます。

システムの処置: タスクを異常終了してから、CICS がメッセージ DFHSR0618 を出し、その後に DFHAP0001 または DFHSR0001 が出されます。

ユーザーの処置: 関連するメッセージの説明を参照して、エラーの原因を突き止めて、それを訂正してください。

通常、TCA をアドレッシングする R12、または CSA をアド

レッシングする R13 のいずれかが、アクセスが許可されていないストレージを指し示します。

DOS/VS COBOL BLL セルと関連する問題についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

**ASRK**

説明: プログラム・チェック、オペレーティング・システムの異常終了、もしくはトランザクション環境内のその他のエラーを処理するために、AP ドメイン・リカバリー・スタブ DFHSR1 が呼び出されました。しかし、DFHSR1 はシステム・リカバリー・プログラム DFHSRP を呼び出すことができませんでした。タスク制御域 (TCA) を指し示しているレジスター 12 が空であるためです。これは、DFHSR1 の呼び出し側が TCA のアドレスを設定していないことを示しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHSR1

モジュール: DFHSR1

**ATCA**

説明: CICS アプリケーション・プログラムが DFHTC マクロを出したときに、システムが最終静止モードになっていました。

システムの処置: 入出力を要求しているタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZARQ

**ATCB**

説明: CICS アプリケーション・プログラムは、2 つの連続した DFHTC 書き込み要求または 2 つの連続した DFHTC 読み取り要求を出しましたが、どちらの場合も間に待機要求が入れられていませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 実行されているプログラムの中で訂正処置をとります。

これは、ほぼ確実にアプリケーション・プログラムのエラーです。アプリケーション全体の制御の流れを判別し、待機要求が途中で出されなかった理由を判別してください。アプリケーションの中で読み取りおよび書き込み要求が出されている場所を見つけるには、トレース・テーブルが役に立ちます。必要であれば、マスター端末コマンドを使用してトレースまたは補助トレースを開始して、トレース結果を入手するためのトランザクションを実行し直します。補助トレースの出力は、トレース・ユーティリティー・プログラム DFHTU430 を使用して印刷することができます。

問題判別: この異常終了はトランザクション・ダンプを作成します。そのダンプ内のレジスター 12 は、現在の TCA のアドレスを示し、レジスター 10 とフィールド TCAFCAAA は、このタスクに関連した TCTTE のアドレスを示します。TCATPOS2 のビット TCATPOWR (X'01') は、書き込みが

## ATCC • ATCG

DFHTC マクロによって要求されたことを示し、ビット TCATPORR (X'10') は、読み取りが要求されたことを示します。TCTTEOS のビット TCTTEOWR (X'01') は、書き込みが進行中であることを示し、ビット TCTTEORR (X'10') は、読み取りが進行中であることを示します。

分析：

レジスター ラベル 説明

R10=@TCTTE TCZARQ05 ビット TCATPOWR はバイト TCTTEOWR  
R12=@TCA (TCZAQ1W) にあり、ビット TCATPOS2 は  
バイト TCTTEOS にあります。

R10=@TCTTE TCZARQ05 ビット TCATPOWR はバイト TCTTEOWR  
R12=@TCA (TCZAQ2W) にあり、ビット TCATPOS2 は  
バイト TCTTEOS にあります。

R10=@TCTTE TCZARQ12 ビット TCATPOWR はバイト TCTTEOWR  
R12=@TCA にあり、ビット TCATPOS2 は  
バイト TCTTEOS にあります。

モジュール： DFHZARQ

### ATCC

説明： パイプライン・セッションを使用しているアプリケーション・プログラムが、2 つ以上の書き込み要求を出したか、または読み取り要求を出しました。

システムの処置： トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置： パイプライン・セッション端末に対して 2 つ以上の連続した WRITE を出さないように、アプリケーション・プログラムを訂正します。

モジュール： DFHZARQ

### ATCD

説明： この異常終了コードは、CTYPE 要求または QUEUE 要求が出されて、VTAM または ZCP 機能がシステムに組み込まれていなかった場合に必ず使用されます。

このコードは、CICS システムが APPC をサポートするレベルになかった場合に、APPC コマンドを出すタスクを異常終了させるためにも使用されます。

システムの処置： トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置： VTAM がシステム内に生成されていなかった場合には、CTYPE マクロ命令が出されないようにそのトランザクションを訂正するか、あるいは CTYPE 要求または QUEUE 要求が出された対象となっている ZCP 機能を組み込みます。

モジュール： DFHZDSP、DFHZERH

### ATCE

説明： CICS アプリケーション・プログラムは、TIOA のアドレスを指定せずに DFHTC 要求を出しましたが、その要求は、3270 データ・ストリーム端末に対する ERASE ALL UNPROTECTED 要求または READBUF 要求ではありませんでした。

システムの処置： トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置： 書き込み時に端末入出力域 (TIOA) が用意されていることを確認して、ユーザー・プログラムのエラーを訂正します。

これは、ほぼ確実にアプリケーション・プログラムのエラーです。アプリケーション全体の制御の流れを判別し、TIOA が指定されなかった理由を判別してください。

問題判別： この異常終了はトランザクション・ダンプを作成します。そのダンプ内のレジスター 12 は、現在の TCA のアドレスを示し、レジスター 10 とフィールド TCAFCAAA は、このタスクに関連した TCTTE のアドレスを示します。レジスター 8 と TCTTEDA には、入出力要求で使用する TIOA のアドレスが入っていないかもしれませんが、実際にはゼロが入っています。3270 データ・ストリーム端末の場合は、バイト TCTETDST にはビット TCTETTSI (X'01') が設定されています。全無保護域消去要求は、バイト TCTTEUB のビット TCTTEEUI (X'40') の設定内容によって示され、バッファ読み取り要求は、バイト TCTTERBB のビット TCTTERBI (X'80') の設定内容によって示されます。

分析：

レジスター ラベル 説明

R10=@TCTTE TCZARQ41 NIOABAR (レジスター 8)  
はゼロです。

R8=0 レジスター 8 はこのタスクと関連  
した TCTTE の TCTTEDA フィールド  
によりロードされます。

モジュール： DFHZARQ

### ATCF

説明： DFHTC CTYPE マクロが非 VTAM 端末管理テーブル 端末項目 (TCTTE) に対して出されたか、あるいは DFHTC CTYPE=COMMAND マクロまたは RESPONSE マクロが VTAM 3270 TCTTE に対して出されました。

システムの処置： トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置： そのプログラムが CTYPE マクロを VTAM 端末に対してのみ出し、VTAM 3270 に対しては CTYPE=COMMAND または RESPONSE を出さないようにしてください。

モジュール： DFHZCRQ

### ATCG

説明： CICS アプリケーション・プログラムは、所有していない端末に対して DFHTC 要求を出しました。この所有権の問題は、そのタスクが前に WRITE, LAST 要求 (そのタスクから端末を切り離す) を出していたこと、または要求の宛先となる端末がそのタスクで正しく指定されていないことに起因している場合があります。

システムの処置： トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置： これは、ほぼ確実にアプリケーション・エラーと考えられます (ただし、ストレージが完全に重ね書きされている場合を除く)。トレース・テーブルからの流れを判別し、DFHZCP タスク消去ルーチン DFHZDET への要求または DFHTC WRITE, LAST が出された時期を判別してください。

問題判別： レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しており、レジスター 10 には TCTTE のアドレスが入っています。TCTTE のアドレスは、非 ISC トランザクションの場合には TCAFCAAA から、バイト TCATPOC3 のビット TCATPTTA (X'40') がオンの場合 (DFHTC 要求に

TERM=YES が指定されたことと、このトランザクションが ISC トランザクションであることを示す) には、TCATPTA から得られます。このようにして突き止められた TCTTE では、フィールド TCTTECA には TCA のアドレスが入っておらず、この TCA がこのタスクによって所有されていないことを示しています。

分析：フィールド TCTTECA に TCA のアドレスが入っていないような TCTTE を指定して DFHTC 要求が出されました。

#### レジスター ラベル 説明

R10=@TCTTE TCZARQ05 TCTTECA はレジスター 12 と等しくありません。

モジュール：DFHZARQ

### ATCH

説明：このタスクは、ドメイン呼び出しが正常に完了される前に除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置：そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置：タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール：DFHBSM62、DFHBSS、DFHBSSZ、DFHBSSTZ、DFHBSSTZV、DFHBSSTZ1、DFHBSSTZ2、DFHTBSB、DFHTBSBP、DFHTBSD、DFHTBSDP、DFHTBSL、DFHTBSLP、DFHTBSQ、DFHTBSR、DFHTBSRP、DFHTBSSP、DFHTCRP、DFHTOASE、DFHTOATM、DFHTOLCR、DFHTOLUI、DFHTRZCP、DFHTRZIP、DFHTRZPP、DFHTRZXP、DFHTRZYP、DFHTRZZP、DFHZCQCH、DFHZCQDL、DFHZCQIQ、DFHZCQIS、DFHZCQRS、DFHZCQ00、DFHTCBP、DFHDLBP、DFHFCBP、DFHUSBP

### ATCJ

説明：この異常終了は、次の状況で DFHZATA により出されます。

- 端末からトランザクション CATA が出された。
- AWE(TCAFCAAAA) のアドレスがゼロである。
- AWE が無効である (TCTWETYP は TCTTEAWE でなければなりません)。
- 異常終了は、DFHZATA で早期に出されている。

この異常終了は、次の状況で DFHZATD により出されます。

- 端末からトランザクション CATD が出された。
- AWE(TCAFCAAAA) のアドレスがゼロである。
- TCAFCAAAA は AWE であって、端末ではない。
- 異常終了は、DFHZATD で早期に出されている。

この異常終了は、次の状況で DFHZATR により出されます。

- 端末からトランザクション CATR が出された。
- 異常終了は、DFHZATD で早期に出されている。

システムの処置：CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置：メッセージを出したプログラム、および異常終了の理由を判別して、次のように適切な処置をとってください。

端末から CATA、CATD または CATR を呼び出さないでください。

TCAFCAAAA 内のアドレスが正しくない場合には、呼び出しのメカニズムに障害があります。これは、CICS 論理エラーです。

異常終了が出された場合には、トランザクション・ダンプを使用して、どこで異常終了が起こったのかを判別してください。

これは、CICS 論理エラーです。

モジュール：DFHZATA、DFHZATD、DFHZATR

### ATCK

説明：アプリケーション・プログラムが VTAM 端末に対して WRITE を出しましたが、その WRITE には、許可されていない CCOMPL=NO の指定がありました。

システムの処置：トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置：そのトランザクション・プロファイルの中に CHAINCONTROL を指定してください。

モジュール：DFHZARQ

### ATCL

説明：このトランザクションと端末メッセージの自動ジャーナル処理または自動ロギングを行っているときに、エラーが起きました。ログに記録されているメッセージは、アプリケーション・プログラムの中の明示的な READ または WRITE と関連するものです。

システムの処置：トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置：ダンプを使用して、ジャーナルまたはログ・レコードを正しく書き込めない理由を突き止めてください。ジャーナル・レコード長のエラーが示された場合には、TIOATDL が壊されている可能性があります。

問題判別：レジスター 12 は、現行の TCA およびフィールド TCAJCAAD をアドレッシングし、レジスター 4 は JCA をアドレッシングします。ジャーナル管理要求は JCATR2 に入っており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE  
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー  
X'02' - INVREQ - 無効な要求  
X'03' - STATERR - ステータス・エラー

## ATCM • ATCO

X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない  
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー  
X'07' - IOERROR - 入出力エラー

TIOA のアドレスはレジスター 8 に入っており、そのデータ長は TIOATDL に入っています。

分析：

レジスター ラベル 説明

R4=@JCA TCZARQPJ JCAJCRC は非ゼロです。  
モジュール： DFHETL、DFHTPCPM、DFHZARQ

### ATCM

説明： このトランザクションに関連付けられた端末の同期点情報を CICS システム・ログに書き込み中に、エラーが発生しました。同期点は、ユーザー同期点またはトランザクションの終了のいずれかを表します。

システムの処置： トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置： ダンプを使用して、ログ・レコードを正しく書き込むことができなかった理由を突き止めます。これは、

CICS システム問題である可能性があります。

問題判別： レジスター 12 は、現行の TCA およびフィールド TCAJCAAD をアドレッシングし、レジスター 4 は JCA をアドレッシングします。ジャーナル管理要求は JCATR2 に入っており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE  
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー  
X'02' - INVREQ - 無効な要求  
X'03' - STATERR - ステータス・エラー  
X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない  
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー  
X'07' - IOERROR - 入出力エラー

分析：

レジスター ラベル 説明

DFHZSYN の場合：  
R4=@JCA TCZSYNS4 JCAJCRC は非ゼロで、  
ジャーナル・エラーが  
起きたことを意味しています。

DFHZDWE の場合：  
R2=@JCA TCZDWE03 同上  
モジュール： DFHZDWE、DFHZSYN

### ATCN

説明： このトランザクションの最初の入力メッセージの自動ジャーナル化または自動ロギングを行っているときに、エラーが起きました。この入力メッセージは、トランザクションが実際に呼び出される原因となったメッセージです。

システムの処置： トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置： ダンプを使用して、ログ・レコードを正しく書き込むことができなかった理由を突き止めます。ダンプを分

析する手引きについては、異常終了コード ATCM を参照してください。

ジャーナル・レコード長のエラーが示された場合には、TIOATDL (X'08') が壊されている可能性があります。問題判別： レジスター 12 は、現行の TCA およびフィールド TCAJCAAD をアドレッシングし、レジスター 4 は JCA をアドレッシングします。ジャーナル管理要求は JCATR2 に入っており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE  
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー  
X'02' - INVREQ - 無効な要求  
X'03' - STATERR - ステータス・エラー  
X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない  
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー  
X'07' - IOERROR - 入出力エラー

分析：

レジスター ラベル 説明

R4=@JCA TCZARQPJ JCAJCRC は非ゼロです。  
TCZSUPJW ジャーナル・エラー。  
モジュール： DFHZSUP

### ATCO

説明： アプリケーション・プログラムは、端末またはシステムによってサポートされていない機能の実行を試みました。

次のようなエラーが起こると考えられます。

1. **SIGNAL** がサポートされていない。

WAIT=YES オプションを指定した DFHTC  
TYPE=SIGNAL 要求が VTAM 論理装置に対して出されましたが、CICS は、SIGNAL 標識を受け取るためのサポートを備えていません。

2. **WRITE STRUCTURED FIELD** がサポートされていない。

この書き込み要求は、この機能をサポートしない装置に対する STRFIELD キーワードを備えた SEND コマンドの結果として試みられたものと考えられます。

3. **APPC** マップ式会話がサポートされていない。

アプリケーションでは、APPC 非マップ式会話のために使用されているセッションでの通常の端末管理コマンドの実行が試みられました。(EXEC CICS GDS コマンドだけが許されています。)

システムの処置： トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置： アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール： DFHZARQ

**ATCP**

説明: 保護メッセージへの応答の受信時に PUT 要求を試みている間に、DFHJCP がエラーを検出しました。この PUT 要求は、肯定応答が受け取られたことを記録します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。トランザクションは引き続きタスク生成され、可能であればログが書き込まれます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ログ・レコードを正しく書き込むことができなかった理由を突き止めます。

問題判別: ジャーナル管理要求は JCATR2 に入っており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE  
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー  
X'02' - INVREQ - 無効な要求  
X'03' - STATERR - ステータス・エラー  
X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない  
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー  
X'07' - IOERROR - 入出力エラー

分析:

レジスター ラベル 説明

R2=@JCA TCZRLG30 JCAJCRC は非ゼロで、ジャーナル  
・エラーが起きたことを  
示します。

モジュール: DFHZRLG

**ATCQ**

説明: アプリケーション・プログラムが、送信状況にある端末に対して書き込み操作を出しました。この書き込みを進めることができるように、単一のコマンドが送られ、DFHZCP は方向変換標識を待っている端末からのデータの読み取りを開始しました。データ・レコードは、受け取られるたびに一時ストレージに入れられ、これらの操作のうちの 1 つについて一時ストレージ・エラーが起きました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージがシステムに含まれているかどうか、およびそこに十分なスペースがあるかどうかを調べます。

無効な要求が示されている場合には、一時ストレージへ書き出されているデータの長さが、VSAM 制御インターバル・サイズから 84 を差し引いた値よりも大きくないかどうかを調べます。データの長さは TIOATDL にあります (これは、DFHZCP によって読み込まれたデータの長さよりも 8 だけ大きくなっています)。

問題判別: レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しています。TCACCSV1 には、一時ストレージ応答コードを含む TCASTR の保管されたコピーが入っています。一時ストレージ応答コードには、次のものがあります。

X'04' - IOERROR - 入出力エラー  
X'08' - NOSPACE - 一時ストレージ・スペースがない  
X'20' - INVREQ - 無効な要求

一時ストレージ識別名は、文字ストリング『DFHQ』と、TCTTETI からの端末識別名を連結して構成されます。一時ストレージ識別名は、TCATSDI に入れられます。

レジスター 8 とフィールド TCTTEDA は、一時ストレージへ書き出されている TIOA アドレスを示しています。一時ストレージに渡されるアドレスは、TIOATDL のアドレスです。

分析: DFHTS TYPE=PUTQ の後に、一時ストレージ応答コードがゼロになっていませんでした。

レジスター ラベル 説明

R12=@TCA ZRAQ60 TCATSTR は非ゼロです。

モジュール: DFHZRAQ

**ATCR**

説明: 前の書き込み操作により、DFHZCP がロックアウトを避けるために端末からデータの先行読み取り操作を出した後で、アプリケーション・プログラムが読み取り操作を出しました。DFHZCP は、一時ストレージから保管されたデータを取り出すための DFHTS GETQ を出したところですが、そこでエラーが起きました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・エラーの原因を判別して、それを訂正してください。

一時ストレージ識別エラーが示されている場合には、TCTTETI に有効な端末識別名が入っているかどうかを調べます。

問題判別: レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しています。TCACCSV1 には、一時ストレージ応答コードを含む TCASTR の保管されたコピーが入っています。一時ストレージ応答コードには、次のものがあります。

X'01' - ENERROR - 入力エラー  
X'02' - IDERROR - 識別エラー  
X'04' - IOERROR - 入出力エラー  
X'20' - INVREQ - 無効な要求

一時ストレージ識別名は、文字ストリング『DFHQ』と、TCTTETI からの端末識別名を連結して構成されます。一時ストレージ識別名は、TCATSDI に入れられます。

分析: DFHTS TYPE=GETQ の後に、一時ストレージ応答コードがゼロになっていませんでした。

レジスター ラベル 説明

R12=@TCA ZRAR90 TCATSTR は非ゼロです。

モジュール: DFHZRAR

**ATCS**

説明: アプリケーション・プログラムが、RCD (宛先変更要求) を伴う SIGNAL データ・フロー・コマンドを受け取った後で、論理装置へのデータの送信を試みました。この条件は、アプリケーションが IGREQCQD 例外条件を誤って取り扱ったときに引き起こされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

## ATCT • ATCV

ユーザーの処置: IGREQCD 例外条件を正しく取り扱ってください。

モジュール: DFHZARQ

---

### ATCT

説明: リモート所有されている端末を表すための代理 TCTTE を作成する試みが失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSUP

---

### ATCU

説明: アプリケーション・プログラムは論理装置へのデータの送信を試みましたが、このアプリケーション・プログラムは受信モードになっており (EIBRECV が設定されている)、先行読み取りキューイングがインストール済みプロファイル定義に指定されていません (RAQ=NO)。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EIBRECV が設定されなくなるまで受信要求を出すようにアプリケーション・プログラムを変更するか、または RAQ=YES をインストール済みプロファイル定義に指定します (RAQ=YES を指定した場合には、トランザクションの終了前にすべての入力メッセージが読み取られることを確認します)。

モジュール: DFHZARQ

---

### ATCV

説明: アプリケーションで論理装置に対する操作が試みられましたが、それが次のいずれかの理由により正しいモードになっていませんでした。

- DFHZARQ によって出されている場合は、未解決の別の要求があるため (EIBSYNC が設定されている)、CICS はその要求を実行できない。これは、APPC または非 APPC システムにあてはまります。
- DFHETL によって出されている場合は、アプリケーションは APPC システムと通信中であり、試みられた操作を実行するための正しい状態になっていない。これは、APPC システムだけにあてはまります。
- DFHZISP によって出されている場合は、TCTTE 解放が要求されており、未解決の同期点要求が存在している。これは、非 APPC システムだけにあてはまります。
- DFHZISP によって出されている場合は、TCTTE 解放が要求されており、TCTTE は受信モードになっていて、インストール済みプロファイル定義内に RAQ=NO が指定されている。これは、非 APPC システムだけにあてはまります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 応答はエラーの理由によって、以下のように異なります。

- 同期点を出してから要求を出してください。

- 解放要求を出してからセッション割り振りをし直してください。
- アプリケーションを変更して、EIBRECV の設定を解除するまで受信要求を出すか、またはインストール済みプロファイル定義に RAQ=YES を指定してください。(インストール済みプロファイル定義に RAQ=YES を指定する場合には、トランザクションが終了する前にすべての入力メッセージが読み取られるようにしてください。)
- 「CICS Distributed Transaction Programming Guide」を参照してください。ここでは、コマンドの正しい使用方法に関する規則が示されています。その後でアプリケーションを訂正してください。

アプリケーション・プログラムは、論理装置上で操作を試みましたが、その操作は無効でした。その論理装置とのセッションにおけるプログラムの現在の状況では、そのような操作は許されていないためです。TCTTE (つまり、セッション)、状況バイト、および要求バイトの TCA タイプを調べれば、そのいずれに上記の問題が関係しているのかがわかります。

問題の原因が突き止められた場合には、次の要求がそのセッションを通じて送られてくる前に、セッション本位の情報に基づいた処置が確実にとられるように、アプリケーション・プログラムを変更しておかなければなりません。EXEC インターフェース・ブロック (EIB) にあるアプリケーション・プログラムでは、そのセッションを通じての RECEIVE、CONVERSE、または RETRIEVE 要求の実行に続いて、直ちにセッション状況情報が使用できるようになります。これ以降の操作がセッション上で試みられる前に、関連するバイトを示されている順に厳密にテストし、機能させるようにしなければなりません。さらに、状況情報バイトそれ自体は、必ずしも持続性のあるものではなく、EXEC CICS ステートメントの実行のたびに、それに先立ってリセットされます。したがって、後のテストに備えて、RECEIVE、CONVERSE、または RETRIEVE の実行後に、それらの情報をアプリケーション・ユーザー・ストレージに保管しておくことが適切なプログラミング手法といえます。状態としては、次のものがあります。

#### 1. EIBSYNC

アプリケーションでは、同期点を取らなければなりません。

#### 2. EIBFREE

アプリケーションでは、セッションを解放しなければなりません (または、終了しなければなりません。その場合にセッションが自動的に解放されます)。

#### 3. EIBRECV

アプリケーションでは、さらに RECEIVE コマンドを出すことによってデータの受信を続けなければなりません。この状態にある間は、当然、データを送信することはできません。

場合によっては、これらの状況テストのいくつかを省略することができます (例えば、リモート・システムのアプリケーション・プログラム自体は同期点要求を決して出すことがないとかかっている場合には、EIBSYNC 状況のテストは必須ではありません)。ただし、特にリモート・アプリケーションが後日修正されると思われる場合には、常にテストを実行する必要があります。このような修正により、セッション処理論理も同様に

変更されることが考えられるからです。また、リモート・トランザクション自体が、セッションに関する予期しない流れを引き起こしている場合もあります。例えば、リモート・プログラムがセッションを通じて EXEC CICS SEND..... LAST を出し、続いて RETURN を出した場合には、伝送されるデータ上に同期点要求 (RQD2) が追加されることとなります。(アプリケーション・プログラマーは、この点についての詳細は、「CICS Distributed Transaction Programming Guide」を参照してください。) このような追加の結果、ローカル・アプリケーションでは、予期しない同期点要求が受け取られます。同期点要求を受け付けずにセッションが解放された場合には、このローカル・アプリケーションが異常終了することとなります。

注: APPC マップ式アプリケーションを処理しているときに状態エラーが起こった場合 (つまり、誤った状態にあるときに、プログラムがある操作の実行を試みた場合) には、モジュール DFHETL によっても ATCV 異常終了が引き起こされます。APPC マップ式アプリケーションの処理については、「CICS Diagnosis Reference」で説明されています。前述のように、一部のコマンドは DFHZARQ によって処理され、その他のコマンドは、DFHETL によって呼び出される他の各種のモジュールによって処理されます。APPC のコマンド使用に関する規則は、「CICS Distributed Transaction Programming Guide」で説明されています。プログラミング・エラーについての詳細は、この資料を参照してください。

問題判別: レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しています。レジスター 10 とフィールド TCAFCAAAA は、TCTTE のアドレスを示しています。同期点が必要である場合は、端末バイト TCTTECRE にビット TCTEUCOM (X'02') が設定され、空きセッションが必要である場合には、TCTEUFRT (X'04') が設定されます。アプリケーションが SEND モードであれば、TCTESMDI に TCTEUSMD (X'02') が設定されます。アプリケーションが RECEIVE モードである場合には、TCTERCVI に TCTEURCV (X'01') が設定されます。バイト TCTEIRAQ のビット TCTESRAQ (X'80') は、このトランザクションのためのインストール済みプロファイル定義に読み取り先行キューイングがコーディングされていることを示しています。

TCA の要求タイプ・ビットは、次のように設定されます。

- TCATPOS1 TCATPIS (X'01') 信号要求
  - TCATPFRE (X'03') TCTTE 解放
- TCATPOS2 TCATPORR (X'10') 受信要求
  - TCATPOWER (X'01') 送信要求

分析:

番号	ラベル	説明
DFHZARQ		
1.	TCZAQW8	同期点又は、空きセッション未解決の場合受信が試みられました。
2.	TCZAQ2W	受信モードで送信が試みられました。
3.	ZARQNOPG	送信モードで SIGNAL が発行されました。

DFHZISP

4. ZISPVTCK 同期点要求が未解決のままセッションを空けようと試みられました。

モジュール: DFHETL, DFHZARQ, DFHZISP

---

#### ATCW

説明: システムが、LU6.1 または APPC セッションのためのインストール済みプロファイル定義なしで生成されています。システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: システム・プログラマーにエラーを知らせてください。

モジュール: DFHZSUP

---

#### ATCX

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

ATCX 異常終了後に端末制御要求を出すアプリケーション・プログラムに、さらに問題があると考えられます。システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSMPP, DFHBSM62, DFHBSS, DFHBSTB, DFHBSTB3, DFHBSTC, DFHBSTZ, DFHBSTZB, DFHBSTZO, DFHBSTZR, DFHBSTZV, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSZZS, DFHAPRT, DFHCRP, DFHQRY, DFHTCBP, DFHDLBP, DFHFCBP, DFHUSBP, DFHZARL, DFHZARQ, DFHZERH, DFHZGET, DFHZFRE, DFHZNAC, DFHZRVS, DFHZSUP, DFHZTSP, DFHZXST

---

#### ATCY

説明: インバウンド機能管理ヘッダー (FMH) の処理時にエラーが起こりました。長さエラーが検出された (例えば、不完全な FMH が受け取られた) か、FMH の中で無効なフィールドが検出されたかのいずれかです。システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。ユーザーの処置: システム・プログラマーにエラーを知らせてください。問題は、おそらく、無効な FMH を送ってきたリモート・システムにあります。

インバウンド FMH が旧リリースの CICS を使用したシステムからのものである場合は、USEDFTUSER を設定してください。詳細については、「CICS RACF Security Guide」の『Attach Time Security and the USEDFTUSER option』を参照してください。

モジュール: DFHZARQ, DFHZSUP

---

**ATCZ**

説明: CICS VTAM ACB のオープン (例えば EXEC CICS SET VTAM OPEN または CEMT SET VTAM OPEN) の一環として、セキュリティ・ドメインに対して

SET\_NETWORK\_IDENTIFIER 呼び出しを行ったところ、エラー (INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答) が起きました。最初のエラーが検出されたドメインには、例外トレース、コンソール・メッセージ、またダンプ・テーブルで指定したオプションによっては、システム・ダンプがあります。システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM ACB はクローズされます。

ユーザーの処置: ダンプ、トレース、およびコンソール・メッセージを使用して、最初のエラーを診断し、訂正してください。以前に起きたエラーが解決されたら、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHZSLS

**ATC1**

説明: 必要なステップが失敗したため、CICS 端末管理再始動タスクを完了させることができませんでした。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体はコード ATC1 で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、端末制御再始動タスクのトランザクション・ダンプを作成します。

CICS は、2 つのメッセージをコンソールへ送ります。1 つは、端末管理再始動タスクによって検出されたエラーを識別するものであり、もう 1 つは、タスクが失敗に終わったことを示す DFHTC1001 です。2 つのメッセージの後には、CICS が異常終了してダンプが作成されたことを知らせるか、GO または CANCEL と応答するように促す、3 つ目のメッセージが続きます。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。'GO' と応答した場合には、CICS の処理は続行されますが、端末管理は行われません。「CANCEL」で応答すると、CICS が異常終了し、ダンプが作成されます。

メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHTCRP

**ATC2**

説明: VTAM が CICS 要求を拒否したために、CICS SET VTAM OPEN コマンドが失敗しました。

システムの処置: メッセージ DFH2302、DFH2304、または DFH2307 がコンソールに送られ、CICS はトランザクションを異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: RPL (VTAM 要求コードとともに) および戻りコードは、TCTVRVRA からアドレッシングされた RA ブール内で見つけることができます。「z/VSE メッセージおよびコード 第 2 巻」のセクション『VTAM コード』を使用して、エラーの原因およびそれを訂正するのに必要な処置を判断してください。エラーを訂正した後で、要求を再試行するか、または CICS を終了させた後に都合のよいときにネットワークを再始動させるようにするかのいずれかを行うことができます。

650 z/VSE V6R2 メッセージおよびコード 第 3 巻

モジュール: DFHZSLS

**ATC4**

説明: 重大な CAVM エラーが起きました。XRF TCB は異常終了しました。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプおよび他のシステム・コンポーネントによって出されたメッセージの指示を使用して、根本的なエラーを診断し、訂正してください。

システム・ダンプの使用についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

**ATC5**

説明: APPC マップ式処理時に内部論理エラーが検出されました。DFHZARL によって維持されている会話の状態が、DFHETL と DFHZARM によって共同維持されている状態と一致していません。

この問題は、CICS がアプリケーション・データを受け取っているときにも生じる可能性があります。CICS は、予想されたすべてのデータを受け取る前に、チェーンの終わりの通知を受け取る場合があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理は続行されます。ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHETL

**ATC6**

説明: DFHETL が 65 528 バイトを超えるデータ長の SEND DATA 要求を持っています。65 528 バイトは DFHETL が処理できる最大バイト数です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHETL

**ATC7**

説明: DFHZSUP が、INITIAL-CALL 要求から DFHZARL への誤った応答を検出しました。この応答は、DFHLUC パラメーター・リスト内の DFHZSUP に戻されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHLUC パラメーター・リストの中のフィールド LUCCDRCD を調べてください。これは、DFHZARL の ENTRY/EXIT トレース・ポイントに現れます。トレースがオフになった場合には、トランザクション・ダンプ内の DFHZSUP の LIFO 項目でこのフィールドを見つけることができます。

- LUCCDRCD = 'A0000100' - セッション障害
- LUCCDRCD = 'A0010100' - 読み取りタイムアウト
- LUCCDRCD = 'A0010000' - デッドロック・タイムアウト



(LUCCDRCD のオフセットは、「CICS TS Data Areas」にあります。)

LUCCDRCD が X'00000000' である場合には、このエラーは接続障害によるものです。この場合、詳細な診断情報については、CSMT ログを調べてください。

モジュール: DFHZSUP

### ATC8

説明: インバウンド機能管理ヘッダー (FMH) の処理時にエラーが起きました。長さエラーが検出された (例えば、不完全な FMH が受け取られた) か、FMH の中で無効なフィールドが検出されたかのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーにエラーを知らせてください。問題は、おそらく、無効な FMH を送ってきたリモート・システムにあります。

モジュール: DFHETL

### ATC9

説明: 最初に DFHHC SUSPEND を出さなかったタスクに、DFHHC RESUME マクロ呼び出しが出されました。DFHHC RESUME マクロは、DFHHC SUSPEND マクロを出した後に出力されなければなりません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース項目を調べて、エラーを突きとめてください。

モジュール: DFHZNCE

### ATDD

説明: トランザクションが、使用不可の一時データ宛先にアクセスしようとした。(マスター端末オペレーターは宛先のステータスを制御することができます。)

このリリースの CICS では、この異常終了を出すことはできません。この異常終了は、接続された CICS システムだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 宛先が使用不可になっている理由を、マスター端末オペレーターに確認してください。

モジュール: DFHTDP

### ATDI

説明: DFHTDP は、要求された宛先の DCT 項目によって示される宛先のタイプをサポートしていません。この宛先タイプのサポートなしで DFHTDP がアセンブルされているか、あるいは DCT 項目が上書きされています。有効なタイプは X'10' (リモート)、X'20' (間接)、X'40' (区画外)、および X'80' (区画内) です。

注: このリリースの CICS では、この異常終了を出すことはできません。この異常終了は、接続された CICS システムだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DCT アセンブリー・リストを調べて、宛先タイプを判別します。タイプが間接の場合、非間接宛先が検出されるまで、指し示される宛先に従ってください。その宛先タイプをサポートするように、DFHTDP が生成されているかどうかを検査します。

DCT アセンブリー・リストを調べて、宛先タイプを判別します。タイプが間接の場合、非間接宛先が検出されるまで、間接宛先のチェーンに従ってください。その宛先タイプをサポートするように、DFHTDP が生成されているかどうかを検査します。

DCT 項目が上書きされている可能性がある場合、トレース・テーブルを調べて、DCT 項目を上書きした可能性のあるトランザクションの最近の実行を検出します。必要であれば、CICS を再始動し、トレースまたは補助トレースを使用して、十分な大きさのトレース・テーブルを獲得してください。補助トレース・データ・セットは、DFHTU430 トレース・ユーティリティー・プログラムを使用して印刷することができます。

エラーを再度生成し、発信端末コマンドを使用してスナップ・ダンプをとってください (CEMT PERFORM SNAP)。ダンプ内の DCT を調べ、DCT 項目を上書きしたデータからエラーのコードを識別します。

問題判別: この異常終了は、DFHTDP 内の 1 個所だけで (ラベル TDEATR に続く) 出されます。トランザクション・ダンプが取られます。ダンプでは、レジスター 12 は TCA のアドレスを示し、レジスター 13 は CSA のアドレスを示します。レジスター 3 は DCT 項目のアドレスを示します (これはトランザクション・ダンプには印刷されません)。宛先 ID は TCATDDI にあります。

#### R3=@DCT 項目

TDDCTDT 以下の宛先タイプがあります。  
 TDEXTRBM (X'40') - 区画外  
 TDINDTBM (X'80') - 区画内  
 TDINDBM (X'20') - 間接  
 TDRMTBM (X'10') - リモート

TDDCTIDI ビット TDINDBM がフィールド TDDCTDT に設定される場合 TDDCTIDI には間接アドレスの DCT 項目が含まれます。

分析: 宛先タイプは常にリモートについてテストされます。リモート要求はコマンド・レベルでのみ許可されており、これは DFHTDP をローカルで呼び出さないため、タイプがリモートの場合には異常終了コード AISM が出されます。

宛先タイプは、DFHTDP が区画内宛先をサポートする場合のみ区画内についてテストされ、DFHTDP が区画外宛先をサポートする場合のみ区画外についてテストされます。間接宛先については、TDDCTIDI のアドレスが続けられ、最終目標宛先で適切なテストが実行されます。宛先タイプがテストが行われる上記のいずれでもない場合、ATDI 異常終了コードが出されません。

#### レジスター ラベル 説明

R3=@DCT TDIDER TDDCTDT はビット

## ATDL • ATDT

項目 TDEXTRBM (区画外タイプ)、  
TDINDTBM (区画内タイプ)  
TDRMTBM (リモート・タイプ)  
あるいは TDINDBM (間接タイプ)  
のいずれでもなく、DFHTDP の  
このバージョンをテストします。

モジュール: DFHTDP

### ATDL

説明: ジャーナル処理によってエラーが検出されました。ジャーナル処理は DFHTDP によって呼び出され、物理リカバリーにより区画内キューのリカバリーをサポートするため、DCT 項目イメージをログに記録します (DFHDCT マクロの DESTRCV=PH)。この異常終了は DFHTDP が区画内サポートとリカバリー・サポートを行うときに、DFHTD 要求の宛先に物理リカバリーが指定された場合のみ起こります。

このリリースの CICS では、この異常終了を出すことはできません。この異常終了は、接続された CICS システムだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ログ・レコードを正しく書き込むことができなかつた理由を突き止めます。

JCA 内の異常応答コードが JCT のエラーを示している場合 (例えば、IDERROR または LERROR)、システム・ログの JCT 項目が存在しかつ正しいかどうか調べてください。

NOTOPEN が示されている場合、いくつかの理由が考えられますが、多くの場合、(1) OPEN=DEFERRED がシステム・ログの JCT 項目に指定されており、しかも実行中にユーザーが、DFHJC TYPE=OPEN マクロを出してデータ・セットをオープンしていなかったか、(2) OPEN=INITIAL は有効であったが、ジャーナルに対して DFHJC TYPE=CLOSE マクロが続けて出されていたことが考えられます。トレース・テーブルは、ジャーナル・ファイルが使用不可になった理由を明確にするのに役立ちます。

INVREQ または LERROR が示され、ジャーナルの JCT 項目が正しい場合は、ストレージ上書きか、DFHTDP または DFHJCP に問題がないか検討してください。IOERROR が示されている場合は、ジャーナル・データ・セットへの出力でリカバリー不能な入出力エラーが発生しています。これはオペレーターのコンソールに送られるメッセージ DFHJC4513 で示されます。

問題判別: この異常終了が出されたときに、CSA はレジスター 13 によりアドレッシングされ、異常終了トランザクションの TCA はレジスター 12 によりアドレッシングされます。

異常終了は、DFHJC TYPE=PUT 要求に対して DFHJCP からの異常な応答を検出時に、モジュール DFHTDP で起こります。この条件は DFHTDP 内の 1 箇所 (TDPRLR ルーチン内) で検出され、ジャーナル要求を出し、NORESP が戻されない場合は異常終了します。

JCA 内の関連フィールドは次のとおりです。

JCATR1 要求タイプ・バイト 1 X'03' PUT  
JCAJCRC 要求バイト (『異常応答コードの分析』の内容を参照してください)。

JCAJRTID ジャーナル・レコード・タイプ ID (2 バイト)  
(コピーブック DFHFMIDS がこの  
コードを定義します)。

ラベル バイト 値の 値の機能  
に近い シンボル  
設定

TDGLRAF 1 FIDTDPRL X'83' 取得中 QZERO 探索

TDPIEI 1 FIDTDPGT X'82' GET  
TDWDBL 1 FIDTDPPL X'81' 最初の PUT  
TDPGRAE 1 FIDTDPPLG X'84' PURGE  
TDPRLR 2 MODIDTD X'12' TDP 識別

JCAJFID ジャーナル・ファイル ID バイト  
(システム・ログ = X'01')

JCAECN イベント制御番号 (4 バイト)

JCALDATA DCT の長さ項目 = X'0054'  
(2 バイト)

JCAADATA DCT 項目のアドレス

DFHTDP 内のログ・ルーチン TDPRLR は、DFHTDP 内の 4 箇所から呼び出されています。レジスター 9 は、このルーチンへのリンク・レジスターです。

元の一時データ要求に関する情報は、トレース・テーブル内にあります。異常終了が起こった時点のレジスター 3 は、関連するキューの DCT 項目をアドレッシングします。ただし、DCT 項目はトランザクション・ダンプには印刷されません。

分析: トランザクション・ダンプの JCA を調べて、ジャーナル管理要求からの異常応答コードを判別します。

レジスター ラベル 説明

R8=@JCA JCAJCRC = X'01' IDERROR JCT にジャーナル  
ID 無し  
X'02' INVREQ 要求タイプが  
正しくない。  
X'05' NOTOPEN ジャーナル不可  
X'06' LERROR Record length  
error  
X'07' IOERROR Output I/O  
error

モジュール: DFHTDP

### ATDT

説明: 一時データ・プログラム DFHTDP が、フィールド TCATDTR に無効要求コードを検出しました。

注: このリリースの CICS では、この異常終了を出すことはできません。この異常終了は、接続された CICS システムだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 要求時点の有効一時データ要求について、アプリケーション・プログラムを検査します。DFHTDP が、要求されたサービスをサポートするために必要なオプションを指定して生成されたかどうか調べてください。

モジュール: DFHTDP

**ATDY**

**説明:** 一時データ初期設定が失敗しました。この失敗の理由は、コンソール・メッセージ DFH12xx に示されています。

**システムの処置:** 一時データの初期設定は異常終了します。この異常終了に続いて、失敗に終わった機能について ATDZ の異常終了が必ず起こり、メッセージ DFH511521 (CICS が無条件に異常終了した場合) またはメッセージ DFH511522 (GO または CANCEL の応答を必要とする) が出されます。

**ユーザーの処置:** 失敗の原因については、コンソール・メッセージを参照してください。メッセージ DFH511522 が出された場合には、それに応答します。

**モジュール:** DFHTDRP

**ATDZ**

**説明:** 一時データの初期設定で呼び出された CICS 機能が失敗に終わりました。失敗に終わった機能が一時データ・ルーチンであった場合には、この異常終了の前に、コンソール・メッセージ ATDY 異常終了コードが出されています。

**システムの処置:** 一時データの初期設定は異常終了します。この異常終了に続いて、メッセージ DFH511521 (CICS が無条件に異常終了した場合) またはメッセージ DFH511522 (GO または CANCEL の応答を必要とする) が必ず出されます。

**ユーザーの処置:** 失敗の原因に関する詳細については、関連するコンソール・メッセージを参照してください。メッセージ DFH511522 が出された場合には、それに応答します。

**モジュール:** DFHTDP、DFHTDRP

**ATD3**

**説明:** ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

**システムの処置:** そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

**ユーザーの処置:** タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

**モジュール:** DFHTDP

**ATD4**

**説明:** ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、およ

び、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルで指定されているオプションによって異なる) を提供します。

**システムの処置:** そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

**ユーザーの処置:** 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

**モジュール:** DFHTDP

**ATFE**

**説明:** CICS が CEDA CHECK または CEDA INSTALL コマンドを実行していたときに、ストレージ・マネージャーへの FREEMAIN 要求が失敗しました。

**システムの処置:** CICS はそのタスクを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

**ユーザーの処置:** ダンプおよびストレージ・マネージャーによって出された関連メッセージを使用して、FREEMAIN 障害を調査してください。

**モジュール:** DFHTOUT1

**ATGE**

**説明:** CICS が CEDA CHECK または CEDA INSTALL コマンドを実行していたときに、ストレージ・マネージャーへの GETMAIN 要求が失敗しました。

**システムの処置:** CICS はそのタスクを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

**ユーザーの処置:** ダンプおよびストレージ・マネージャーによって出された関連メッセージを使用して、GETMAIN 障害を調査してください。

**モジュール:** DFHTOUT1

**ATMA**

**説明:** ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

**システムの処置:** そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

**ユーザーの処置:** タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

**モジュール:** DFHTMP

---

### ATMB

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTMP

---

### ATNA

説明: 端末オペレーターが NACP のためのトランザクション識別名を入力しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: その NACP トランザクション識別名 (CSNE) を再入力しないでください。

モジュール: DFHZNAC

---

### ATNC

説明: タスクが除去されたため、以前の要求が異常終了 ATCH で中断された端末について、アプリケーション・プログラムは端末管理要求を発行しました。端末制御ブロックは、新しい要求を処理するのに適した状態ではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了 ATCH を処理するときに異常終了を発行するようにアプリケーション・プログラムを変更します。

モジュール: DFHZARQ

---

### ATND

説明: ノード・エラー・プログラム (NEP) または NACP が、タスクを異常終了させなければならないと判断しましたが、そのタスクは処理の重要な地点にあり、直ちに終了させるとシステムの健全性に危険をもたらす恐れがあります。

システムの処置: タスクが端末に対して次の何らかの処理を要求するか、またはその端末に関係する同期点要求を出した時点で、そのタスクを異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: その他の詳細な情報が得られるのかどうか宛先 CSMT を調べます。ダンプを使用して、そのタスクが NEP によって異常終了させられた理由を判断します。

モジュール: DFHZARQ、DFHZARL、DFHZSUP

---

### ATNI

説明: この異常終了には、2 つの形式があります。

#### VTAM 形式

ノード・エラー・プログラム (NEP) または NACP が、タスクを異常終了させなければならないかどうかを判断します。DFHZNAC が要求したモジュールに知らせ、そのモジュールが TC 単位の完了後にこのトランザクションを異常終了させます。

#### 非 VTAM 形式

端末エラー・プログラム (TEP) または端末異常条件プログラム (TACP) が、タスクを異常終了させなければならないかどうかを判断します。DFHTACP は、TC 単位の完了後にトランザクションを異常終了させるように DFHZARQ に通知します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、通常、ネットワーク装置が送られてきたデータ・ストリームを拒否するといったハードウェアの障害によって起こります。装置それ自体が、拒否した具体的な理由を表すエラー・コードを示している場合もあります。詳細については、CSMT ログを調べてください。

この異常終了コードは、ミラー・トランザクションが異常終了したなどの、接続されたシステムにおけるエラーから出されることもあります。

異常終了 ATNI は、ユーザー・アプリケーションが、外部リソース・マネージャー (Db2 など) からのエラー戻りコードを正しく処理しなかった場合に起こることがあります。

NEP(VTAM) 形式の場合には、論理装置に対して VTAM トレース・タイプ =BUF を実行して、そのエラーを再現します。

TEP (非 VTAM) 形式の場合には、その装置の回線またはローカル・チャンネル・アドレスについてリンク・トレースを実行します。

データ・ストリームとエラー応答を調べて、エラーの原因を判別します。

この種のエラーは、TCT 中の定義が実際の装置の属性と一致しない場合に起こります。

モジュール: DFHZARL、DFHZARM、DFHZARQ、DFHZRAQ、DFHZSUP

---

### ATOA

説明: ユーザーが、基本的な機能として端末から CESC トランザクションを呼び出そうとしました。これは許可されていません。

システムの処置: CICS は、CESC トランザクションを終了します。ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: CESC トランザクションが端末に対して実行されていないことを確認してください。

モジュール: DFHCESC

---

### ATOB

説明: CICS が、EXEC CICS START TRANSACTION(CESC) 要求から異常な応答を受け取りました。これは内部エラーが原因です。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCESC

**ATOC**

説明: CICS は、DFHZCUT に対するローカル・ユーザー ID テーブル (LUIT) のタイムアウト要求から異常な応答を受け取りました。これは DFHZCUT 内の内部エラーが原因です。  
システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCESC

**ATOD**

説明: CICS が、EXEC CICS CANCEL TRANSACTION (CESC) 要求から異常な応答を受け取りました。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCESC

**ATOE**

説明: CICS が、XRF の引き継ぎがいつ始まったかを判別できません。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCESC

**ATOF**

説明: CICS が、EXEC CICS DELAY TRANSACTION (CESC) 要求から異常な応答を受け取りました。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCESC

**ATOG**

説明: CICS が、EXEC CICS START TRANSACTION (CEGN) から異常な応答を受け取りました。これは内部エラーが原因です。

システムの処置: CICS は CEGN トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCESC

**ATOH**

説明: 無効な機能コードで CESC トランザクションを呼び出す試みが行われました。CESC トランザクションは、必ず CICS で呼び出してください。有効なコードは

TERM\_TIMEOUT、XRF\_TIMEOUT、および ENABLE\_TIMEOUT です。

このエラーが起きる主な理由としては、ユーザーが CESC を呼び出す試みが無効であることが考えられます。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CESC がどのようにして呼び出されたかを突き止めてください。CICS で呼び出されたのであれば、問題解決には IBM のサポートが必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCESC

**ATOT**

説明: CEGN トランザクションの呼び出し中にエラーが起きました。CEGN は EXEC CICS RETRIEVE コマンドを出し、CEGN パラメーター・リストを検索します。EXEC CICS RETRIEVE コマンドが失敗したか、失敗していない場合は検索されたデータが無効です。

このエラーが起きる主な理由としては、ユーザーが CEGN を呼び出す (例えば端末から、あるいは EXEC CICS START 要求を通じて) 試みが無効であることが考えられます。

システムの処置: CICS は CEGN トランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CEGN がどのようにして呼び出されたかを突き止めてください。CICS で呼び出されたのであれば、問題解決には IBM のサポートが必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCEGN

**ATOU**

説明: CEGN トランザクションが EXEC CICS RETURN を出そうとしましたが、このコマンドが失敗しました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCEGN

**ATOV**

説明: CEGN トランザクションが EXEC CICS GETMAIN、ASSIGN、または SEND を出そうとしましたが、このコマンドが失敗しました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCEGN

**ATPA**

説明: メッセージ・ドメインが所有する CICS メッセージの長さを予測しているときに、エラーが起きました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。

## ATPB • ATSA

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTPR

---

### ATPB

説明: メッセージ・ドメインから CICS メッセージを検索しようとしているときにエラーが起きました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTPR

---

### ATPC

説明: メッセージ・ドメインが所有する CICS メッセージの長さを予測しているときに、エラーが起きました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTPQ

---

### ATPD

説明: メッセージ・ドメインから CICS メッセージを検索しようとしているときにエラーが起きました。

システムの処置: CICS はトランザクションを終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTPQ

---

### ATPE

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。

そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHTPQ、DFHTPR

---

### ATPF

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTPQ、DFHTPR

---

### ATRA

説明: フィールド開発グローバル・トラップ出口プログラム DFHTRAP が、タスクの異常終了を要求しました。しかし、現在のアクティブ・タスクはシステム・タスクではなく (例えば、ジャーナル制御、もしくはタスク・ディスパッチャー)、しかも異常終了しようとしていませんでした。

システムの処置: CICS は、トラップ出口に再び入ることがないようにその使用を禁止して、現在のアクティブ・タスクを異常終了させます。

ユーザーの処置: これは、ユーザーが要求したタスクの異常終了です。

トラップを再び使用するのであれば、次のようにしてそれを活性化し直さなければなりません。

CSFE DEBUG,TRAP=ON

グローバル・トラップ出口は、必ず IBM サポート担当員と相談して使用してください。

モジュール: DFHTRP

---

### ATSA

説明: 必要なステップに失敗したため、CICS 一時ストレージ再始動タスクを完了させることができません。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体はコード ATSA で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、一時ストレージ再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを作成します。

CICS は、2 つのメッセージをコンソールへ送ります。1 つは一時ストレージ再始動タスクによって検出されたエラーを識別するものであり、もう 1 つはタスクが失敗に終わったことを示す DFHTS1313 です。2 つのメッセージの後には、CICS が異常終了してダンプが作成されたことを知らせるか、GO または CANCEL と応答するように促す、3 つ目のメッセージが続きます。最初に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、VSE) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。「GO」と応答すると、CICS は処理を続行しますが、一時ストレージのサポートはありません。「CANCEL」と応答した場合には、CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHTSRP

**ATSB**

説明: 一時ストレージ再始動タスクが失敗に終わったため、一時ストレージを使用する試みが失敗しました。

システムの処置: 一時ストレージを使用しようとしていたトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージ再始動は、異常終了 ATSA で失敗し、DFH メッセージが出されます。一時ストレージ問題を解決するには、そのコードの説明を参照してください。

モジュール: DFHTSP

**ATSC**

説明: 一時ストレージ・コマンドの実行時に、タスクが取り消されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが取り消された理由を調べてください。そのタスクは、マスター端末オペレーターによって取り消されたか、またはデッドロック・タイムアウト (DTIMEOUT) 機構あるいは読み取りタイムアウト (RTIMEOUT) 機構によって自動的に取り消された可能性があります。

モジュール: DFHTSP

**ATSD**

説明: ディスパッチャー (DS) ドメインに対する要求から、INVALID 応答または DISASTER 応答が受け取られました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DS からの上記の応答を引き起こす原因となった以前の障害がありました。これ以前に起こった障害 (コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプを伴っていた) を調べてください。

モジュール: DFHTSP

**ATSL**

説明: ジャーナル処理によってエラーが検出されました。ジャーナル処理は DFHTSP によって呼び出され、DFHTST

TYPE=RECOVERY マクロでリカバリー可能として TST 内に定義された ID を持つ一時ストレージ・データのリカバリーをサポートするため変更前イメージをログに記録します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーにエラーを知らせてください。ダンプを使用して、ログ・レコードを正しく書き込むことができなかった理由を突き止めます。

JCA 内の異常応答コードが JCT のエラーを示している場合 (例えば、IDERROR または LERROR)、システム・ログの JCT 項目が存在しかつ正しいかどうか調べてください。

NOTOPEN が示されている場合、いくつかの理由が考えられますが、多くの場合、(1) OPEN=DEFERRED がジャーナル・ファイルの JCT 項目に指定されており、しかも実行中にユーザーが、DFHJC TYPE=OPEN マクロを出してデータ・セットをオープンしていなかったか、(2) OPEN=INITIAL は有効であったが、ジャーナルに対して DFHJC TYPE=CLOSE マクロが

続けて出されていたことが考えられます。トレース・テーブルは、ジャーナル・ファイルが使用不可になった理由を明確にするのに役立ちます。

INVREQ または LERROR が示され、ジャーナルの JCT 項目が正しい場合は、DFHTSP もしくは DFHJCP に問題がないか検討してください。IOERROR が示されている場合は、ジャーナル・データ・セットへの出力でリカバリー不能な入出力エラーが発生しています。これはメッセージ DFHJC4513 で示されます。

問題判別: この異常終了が出されたときに、CSA はレジスター 13 によりアドレッシングされ、異常終了トランザクションの TCA はレジスター 12 によりアドレッシングされます。

異常終了は、DFHJC TYPE=PUT 要求に対して DFHJCP からの異常な応答を検出時に、モジュール DFHTSP で起こります。この条件は DFHTSP 内の 1 個所で検出され、ジャーナル要求を出し、NORESP が戻されない場合は異常終了します。

JCA 内の関連フィールドは次のとおりです。

JCATR1	要求タイプ・バイト 1 X'03' PUT
JCAJCRC	要求バイト (『異常応答コードの分析』の内容を参照してください)
JCAJRTID	ジャーナル・レコード・タイプ ID (2 バイト) コピーブック DFHMIDS はコードを定義します。 例外値は X'C013' です。 (TSP 更新ログ)
JCAJFID	ジャーナル・ファイル ID バイト (システム・ログに X'01')
JCAECN	イベント制御番号 (4 バイト)
JCALDATA	データ長 (2 バイト)
JCAADATA	データのアドレス

DFHTSP からのジャーナル管理の呼び出し点を検出する簡単な方法として、CICS トレース・テーブルで、現行トランザクションからの最新のジャーナル管理要求に対応するトレース項目をスキャンする方法があります。

元の一時ストレージ要求に関する情報は、TCA の TCATSTR および TCACCSV1 の位置、あるいはトレース・テーブルから得ることができます。

分析: トランザクション・ダンプの JCA を調べて、ジャーナル管理要求からの異常応答コードを判別します。

レジスター ラベル 説明

RI=@JCA	TSP178	JCAJCRC=X'01'	IDERROR (JCT にジャーナル ID はありません。)
		JCAJCRC=X'02'	INVREQ (要求タイプが不正)
		JCAJCRC=X'05'	NOTOPEN (ジャーナルが不可能)
		JCAJCRC=X'06'	LERROR (レコード長エラー)
		JCAJCRC=X'07'	IOERROR (出力 I/O エラー)

モジュール: DFHTSP

### ATSP

説明: タスクが、リカバリー可能一時ストレージ ID (DATAID) に対して PUT または PUTQ 要求を出しました。また、次のいずれかの原因があります。

1. DATAID は、一時ストレージ・データの単一単位へのシンボルによる参照として使用中である。または
2. タスクは、この DATAID により参照されるデータの PURGE を出しており、同期を取っていない。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了の原因に従って (「説明」を参照)、次のいずれかを行ってください。

1. 同じリカバリー可能 DATAID に対して複数の PUT 要求を出さないように、アプリケーションを訂正する。または
2. すでにキューが削除されている作業論理単位内のリカバリー可能 DATAID に対して PUT(Q) 要求を出さないように、アプリケーションを訂正する。

モジュール: DFHTSP

### ATSQ

説明: 一時ストレージへの (または一時ストレージからの) データの移動に失敗しました。理由としては、CICS に渡された区域のサイズと、使用されるデータ長の長さが矛盾しているということが考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。DFHTSP で異常終了が起こると、CICS システム・ダンプが取られ、メッセージ DFHTS1379 が CICS コンソールへ出されます。

ユーザーの処置: アプリケーション内の障害が起きた一時ストレージ要求を識別して、要求に指定された長さとデータ域のサイズが一致するかどうかを調べてください。必要に応じてアプリケーションを訂正してください。

注: DFHETS ではなく DFHTSP でエラーが起きた場合は、一時ストレージで内部論理エラーが起きた可能性があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTSP、DFHETS

### ATST

説明: DFHTSUT サブルーチン呼び出しから、予期しないエラーが戻されました。DFHTSUT サブルーチンは、システムの一時ストレージ・キューのディレクトリーを保守するため使用します。ディレクトリー内の項目の追加、削除、検索中にエラーが検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHTSP

### ATSU

説明: 同期点処理中にタスクが一時ストレージ・データ・セットに書き込みを行おうとしていて、入出力エラーが起こりました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。メッセージ DFHTS1301 および DFHME0116 もコンソールに書き出されることがあります。

ユーザーの処置: これはハードウェア・エラーであるか、一時ストレージ・データ・セットに割り当てられたボリュームがオフライン中であることが考えられます。ハードウェア・エラーを訂正するか、ボリュームをオンラインにします。

モジュール: DFHTSP

### AUEP

説明: UERCPURG の戻りコードがユーザー出口プログラムによりユーザー出口ハンドラーに送られたために、そのタスクは異常終了しました。UERCPURG の値は、マクロ DFHUEXIT TYPE=EP,ID=xxxxxxx により定義されています。ここで、xxxxxxx は、出口プログラムを使用可能にする出口点です。このコードは、ドメイン内の出口点には適用されません。この出口プログラムがその値を返すのは、このプログラムが出口プログラミング・インターフェース (XPI) を使用して CICS サービスに対して要求を行ったとき、ならびに XPI 呼び出しに PURGED という RESPONSE コードがあったときです。出口プログラムでは、いかなる状況の下でも UERCPURG 戻りコードを設定してはなりません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この戻りコードの使用方法については、「CICS Customization Guide」を参照してください。

モジュール: DFHUEH

### AWBA

説明: CICS Web 受信プロセスが、Web 送信受信機能 DFHWBSR から例外応答を受け取りました。これは以下のエラーのいずれかである可能性があります。

- 分析プログラムでのエラー
- 分析プログラムが指定されていない
- 分析プログラムにリンクできない
- 分析プログラム・データ長エラー
- 分析プログラム・ヘッダー長エラー
- コード・ページ変換エラー
- ストレージ・エラーが発生した
- エラーで接続がクローズされた
- ソケットがエラーを受信する

システムの処置: クライアントと CWBO 一時データ・キューにエラー・メッセージが送られます。

ユーザーの処置: 異常終了が発生した原因を判別するには、この異常終了に伴うエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBXN

### AWBB

説明: CICS Web ビジネス論理インターフェース・プログラムへの着信パラメーター・リストが予期しない形式になっています。現在、構造が固定されていると思われ、1 つのバージョン・レベルしか認識されません。



システムの処置: CICS Web ビジネス論理インターフェース・プログラムは実行されません。  
 ユーザーの処置: 正しい形式のパラメーター・リストをプログラムが受信することを確認してください。  
 モジュール: DFHWBBLI

---

#### AWBC

説明: COMMAREA が CICS Web インターフェース・ユーティリティ・プログラムに渡されませんでした。CICS Web インターフェースで提供されたユーティリティ・プログラムのいずれかが実行されましたが、渡された COMMAREA が不在であったか、または短すぎて有効な情報を含むことができませんでした。  
 システムの処置: CICS Web インターフェース・ユーティリティは実行されません。  
 ユーザーの処置: 起動するユーティリティに必要なパラメーターを含むことができる長さを持つ COMMAREA を、プログラムが渡すことを確認してください。  
 モジュール: DFHWBENV, DFHWBTL

---

#### AWBE

説明: コンバーター・プログラムが応答バッファのアドレスの変更を許可されていないときにこれを行おうとしたことを、CICS Web インターフェースが検出しました。  
 システムの処置: 新しい応答バッファ内のデータは Web ブラウザーに返されません。CICS トランザクション・ダンプが取られます。  
 ユーザーの処置: 変換パラメーター・リストの `converter_volatile` フラグが '1' に設定されている場合にのみ、変換プログラムは応答バッファを置換できます。このフラグが '0' に設定されているときは、コンバーター・プログラムが新しい応答バッファを返そうとしていないことを確認してください。  
 モジュール: DFHWBBLI

---

#### AWBF

説明: CICS Web インターフェース別名がその初期設定内のエラーを検出しました。別名が EXEC CICS START によって開始されなかったか、または開始データ用の EXEC CICS RETRIEVE コマンドにエラーがありました。  
 システムの処置: EXEC CICS RETRIEVE にエラーがある場合、CWBO 宛先にメッセージ DFHWB0103 が書き込まれます。CICS トランザクション・ダンプが取られます。  
 ユーザーの処置: 別名が EXEC CICS START によって開始されなかった場合、これが端末から開始されているかどうかを調べてください。これは許可されていません。端末から開始されていない場合、手引きについては関連メッセージを参照してください。  
 モジュール: DFHWBA

---

#### AWBH

説明: CICS Web インターフェース別名が論理エラーを検出しました。  
 システムの処置: 例外トレース項目 454F が作成されます。メッセージ DFHWB0106 が CWBO 宛先に書き込まれます。  
 CICS トランザクション・ダンプが取られます。  
 ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。  
 モジュール: DFHWBA

---

#### AWBI

説明: CICS Web インターフェース別名が EXEC CICS ASSIGN STARTCODE から予期しない応答を受け取りました。  
 システムの処置: メッセージ DFHWB0102 が CWBO 宛先に書き込まれます。  
 ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。  
 モジュール: DFHWBA

---

#### AWBK

説明: CICS Web インターフェース別名が、要求を処理していたコンバーターまたは CICS プログラムの異常終了を検出しました。  
 システムの処置: 例外トレース項目 4550 が作成されます。メッセージ DFHWB0108 が CWBO 宛先に書き込まれます。  
 ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。  
 モジュール: DFHWBA

---

#### AWBL

説明: CICS Web インターフェース別名が、プログラム DFHWBBLI で EXEC CICS LINK コマンドのエラーを検出しました。  
 システムの処置: 例外トレース項目 4543 が作成されます。メッセージ DFHWB0100 が CWBO 宛先に書き込まれます。トランザクション・ダンプが取られます。  
 ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。  
 モジュール: DFHWBA

---

#### AWBM

説明: CICS Web インターフェース別名が、ビジネス論理インターフェース・プログラム DFHWBBLI からのエラー応答を検出しました。  
 システムの処置: メッセージ DFHWB0101 が CWBO 宛先に書き込まれます。トランザクション・ダンプが取られます。  
 ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。  
 モジュール: DFHWBA

---

### AWBN

説明: CICS Web インターフェース別名が、プログラム DFHWBEP で EXEC CICS LINK コマンドのエラーを検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0101 が CWBO 宛先に書き込まれます。トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA

---

### AWBO

説明: CICS Web インターフェース別名プログラムが HTTP サービスに対する非 HTTP 要求を受け取ったか、SSL 要求が非 SSL TCPIPSERVICE に送信されました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0114 が CWBO 一時データ宛先に書き込まれ、トランザクション・ダンプが作成されます。例外トレース項目 4567 も書き込まれます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA

---

### AWBP

説明: アプリケーションがチャンク化された応答の送信をソケット経由で開始したが、長さがゼロのチャンクで Web 送信チャンク・コマンドのシーケンスを終了しなかったことが、CICS Web インターフェース別名によって検出されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: アプリケーションを調べて、終了チャンクが送信されなかった理由を確認してください。

モジュール: DFHWBA

---

### AWBQ

説明: CICS Web ビジネス論理インターフェース・プログラムがパラメーター・リスト内のエラーを検出しました。

システムの処置: ビジネス論理インターフェース・プログラム DFHWBBLI から異常終了が出された場合、例外トレース項目 '4581' が作成され、メッセージ DFHWB0119 が CWBO 一時データ宛先に書き込まれます。Web インターフェース・プログラム DFHWBA1 から異常終了が出された場合、例外トレース項目 '4560' が作成され、メッセージ DFHWB0124 が CWBO 宛先に送信されます。トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA1, DFHWBBLI

---

### AWBR

説明: CICS Web ビジネス論理インターフェース・プログラムが論理エラーを検出しました。

システムの処置: ビジネス論理インターフェース・プログラム DFHWBBLI から異常終了が出された場合、例外トレース項目 '4583' が作成され、メッセージ DFHWB0118 が CWBO 一時データ宛先に書き込まれます。Web インターフェース・プログラム DFHWBA1 から異常終了が出された場合、例外トレ

---

ス項目 '4558' が作成され、メッセージ DFHWB0123 が CWBO 宛先に送信されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBA1, DFHWBBLI

---

### AWB2

説明: 別名タスクのトランザクション生成呼び出しを実行中に、CICS Web インターフェースがエラーを検出しました。

システムの処置: エラーを説明するメッセージ DFHWB0727 が CWBO 一時データ宛先に書き込まれ、トレース項目コード '451C' が作成されます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBXN

---

### AWB3

説明: CICS Web トランザクションが、データまたは端末のユーザーによって間違った開始コードで不正に開始されました。

システムの処置: CICS Web インターフェースは開始されません。

ユーザーの処置: CICS Web トランザクション実行は、DFHXMAT ATTACH を使用してソケット・ドメインによってのみ開始してください。ユーザーが端末から開始したりデータを使用して開始したりしないでください。

モジュール: DFHWBXN

---

### AWB4

説明: CICS Web トランザクション実行が、CWXXN トランザクションの開始コードを判別するための

INQUIRE\_TRANSACTION 呼び出しから不正な応答を受け取りました。

システムの処置: CICS Web インターフェースは開始されません。

ユーザーの処置: CICS Web トランザクション実行は、DFHXMAT ATTACH を使用してソケット・ドメインによってのみ開始してください。ユーザーが端末から開始したりデータを使用して開始したりしないでください。

モジュール: DFHWBXN

---

### AWB7

説明: CICS Web インターフェース環境変数プログラムが起動されましたが、起動トランザクションが有効な Web 環境で実行されていないと考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: 環境変数プログラムがどのようにして呼び出されたかを突き止めてください。CICS Web インターフェースまたはビジネス論理インターフェースを介して、Web から開始されたトランザクションからプログラムを実行する場合にのみ意味をなします。

モジュール: DFHWBENV

---

**AWB8**

説明: CICS Web インターフェース環境ガーベッジ・コレクション・タスク CWBG が、端末から直接開始されました。これは許可されていません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBGB

**AWC1**

説明: CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT が、異常終了したトランザクションを開始した Web 端末トランザクション・タスクとのパートナー関係を確立できませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目 4106 が作成され、メッセージ DFHWB0131 が出力されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBLT

**AWC2**

説明: 接続処理で、無効な状態のトークンが CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT に渡されました。

システムの処置: 例外トレース項目 410C が作成され、メッセージ DFHWB0130 が出力されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。使用中の CICS 領域上では、多くの場合、Web 3270 ガーベッジ・コレクション・プロセスが状態データを廃棄した後にブリッジ・トランザクションが開始されたことが原因です。

モジュール: DFHWBLT

**AWC3**

説明: CICS Web 3270 機能を使用するアプリケーションが、BMS と端末管理コマンドの、サポートされない組み合わせを出しました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBLT

**AWC4**

説明: CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT が、前のエラーを返した後に再起動されました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBLT

**AWC5**

説明: CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT が、brxa ユーザー域の getmain を行うことができなかつたため接続処理中に異常終了しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0132 が出力され、例外トレース項目 410D が作成されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。この異常終了の原因としては、CICS にストレージの問題があることが考えられます。

モジュール: DFHWBLT

**AWC6**

説明: CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT が、その要求パラメーターまたは状態データ内に不整合があることを検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0133 が出力され、例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。この異常終了の原因としては、ストレージが上書きされたことが考えられます。

モジュール: DFHWBLT

**AWC7**

説明: CICS Web 別名トランザクションのトランザクション初期設定中に、CICS がエラーを検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0360 が出力されます。この異常終了では、トランザクション・ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。この異常終了の原因としては、CICS Web インターフェース分析プログラムのユーザー置き換え可能モジュールによって CICS に無効なユーザー ID が渡されたことが考えられます。以下の場合に、ユーザー ID が無効になります。

- ユーザー ID が外部セキュリティ・マネージャーに定義されていない。
- ユーザー ID が取り消されている。
- ユーザー ID がこの CICS 領域へのアクセスを許可されていない。

モジュール: DFHWBXM

**AWC8**

説明: CICS Web 別名トランザクションのトランザクション初期設定中に、CICS がエラーを検出しました。

システムの処置: この異常終了では、トランザクション・ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBXM

**AWKY**

説明: ウォーム・キーポイント処理中に、グローバル・カタログを使用してレコードの GET、PURGE、または WRITE を行うよう要求されましたが、失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザク

## AWKZ • AXFH

ション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: グローバル・カタログまたはローカル・カタログを使用して、問題を調べてください。詳細については、CICS カタログ・ドメインが出した DFHCCnnnn メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWKP

---

### AWKZ

説明: 自動 AID チェーンについてキーポイントを取る要求が失敗しました。これは、カタログ書き込むエラーが原因で起こりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: グローバル・カタログまたはローカル・カタログを使用して、問題を調べてください。詳細については、CICS カタログ・ドメインが出した DFHCCnnnn メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWKP

---

### AXFA

説明: リモート・システムへ送るファイル管理要求のキーの長さはファイル管理テーブルから入手しなければなりません、その長さがゼロであることが分かりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: そのキーの長さが、使用されているリモート・ファイル定義の中に定義されるか、または使用しているアプリケーション・プログラムからの長さオプションとして定義されるようにしてください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFB

説明: 受け入れることのできないタイプの機能管理ヘッダー (FMH) が検出されました。これは、タイプ 05、タイプ 06、またはタイプ 43 でなければなりません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFC

説明: データ形式変更プログラムに渡された要求は、CICS にとって不明のものです。ユーザーのノード・エラー・プログラム (DFHZNEP) から無効な EXEC CICS START 要求が出されたために、このような異常終了が MRO/IRC システムで起こる可能性もあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: NEP 内から EXEC CICS コマンドを使用する際の制約事項については、「CICS Customization Guide」を参照してください。コマンドの使用が異常終了の原因でない場合は、IBM のサポートが必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFD

説明: データ形式変更プログラムに渡された要求 (ストレージ管理要求など) をリモート・システムへ送ることができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFE

説明: 要求された変換が存在していません。例えば、DL/I スケジュール応答は、データ変更プログラム内のアウトバウンド要求処理プログラムでは認識されません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFF

説明: 受け入れることのできないキュー編成が、キュー・モデル機能管理ヘッダー (FMH) の中で検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFG

説明: 受け入れることのできない引数の数が、タイプ 43 の機能管理ヘッダー (FMH) の後のデータで検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFH

説明: タイプ 43 の機能管理ヘッダー (FMH) に続くデータの中にある引数番号は、受け入れることができますが、引数自体が予期されていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFI**

説明: 宛先管理テーブルから判別された WRITEQ TD または READQ TD のためのデータの長さが、ゼロになっています。この異常終了は、ファイル管理要求のための長さをファイル管理テーブルから判別している場合にも起こる可能性があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFJ**

説明: UIBFCTR および UIBDLTR に保持されているエラー・コードを、相当する SNA エラー・コードに変換することができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFL**

説明: 変更プログラム 2 および 4 は、機能管理ヘッダー (FMH) と、おそらくそれに続くユーザー・データを受け取ることを予期しています。しかし、ヌルのデータ・チェーンが受け取られました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFM**

説明: ISCVREQ 条件が生じました。これは、資源がまだ別のリモート・システム上にあることがわかった場合、つまり、環状チェーニングが活動中であった場合に起こることが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 要求の環状チェーニングが意図されたものであるかどうか、また関連したすべてのシステム間リンクが使用できるかどうかを調べます。

モジュール: DFHXFP

**AXFO**

説明: タスク生成機能管理ヘッダー (FMH) の DS パラメーターおよび DBA パラメーターに関する検査が失敗に終わりました。この異常終了は、システム間リンクの両端に関するシステム定義に不一致があることに起因したユーザー・エラーを表しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFP**

説明: CICS には、機能管理ヘッダー (FMH) に続く 2 番目の FMH が必要ですが、その 2 番目の FMH は受け取られませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFQ**

説明: 受け入れられたばかりの機能管理ヘッダー (FMH) は、有効な FMH であるには短すぎるか、または長すぎます。あるいは、予期した FMH が存在しません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・プロファイル・パラメーター INBFMH が ALL に設定されているかどうか調べてください。分散プログラム・リンクで通信を行っている場合は、要求された機能がパートナーのシステムでサポートされていることを確認してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFR**

説明: CICS コマンド・レベル・インターフェースでは、データの最大長は 32 767 に限られています。受け取られたばかりのデータの長さが、この限界を超えています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFS**

説明: PSB が正常にスケジュールされました。しかし、最大入出力域の長さが 65 535 を超えていました。この異常終了は、大きなセグメントを検索するために経路呼び出しを使用した場合、または FLS によって過大なセグメントの展開を引き起こした場合 (あるいはその両方) に起こることが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

**AXFT**

説明: 出力の入出力域サイズの見積もりが行われましたが、そのサイズは可能な最大サイズである 65 535 を超えています。

注: 見積もられたサイズが実際のサイズを超えているとしても、その差は数バイトに過ぎません。

この異常終了は、複数のセグメントの呼び出し、挿入、または置換がデータベースで行われ、多くの修飾セグメント探索指数が指定された場合に起こる可能性があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

## AXFU • AXF4

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFU

説明: 線形 (一時ストレージ・) キューに関係した機能管理ヘッダー (FMH) に、2 レベル・カーソルがあります。しかし、これらのカーソルは、階層キューの場合にだけ有効なものであって、CICS によってはサポートされていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFW

説明: いずれかのデータ変数に対応する CICS コマンド・レベル要求に、無効な長さが指定されました。

CICS が構成した FMH には、指定された各パラメーターごとにゼロまたはそれ以上の自己記述データ変数が続いています。システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS コマンド・レベルに無効な長さまたはゼロの長さが指定されているかどうか、またはユーザー作成のノード・エラー・プログラム (NEP) にデータの切り捨てが指定されているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFX

説明: APPC リンクによる機能シップ要求が失敗しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了させます。

ユーザーの処置: 要求が正しいリモート・システムに送られているかどうか、またそのリモート・システムが正しく設定されているかどうか調べます。

モジュール: DFHXFP

---

### AXFY

説明: CICS システム間のタスク生成が出されたときに、APPC 会話障害が発生しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: リモート CICS システムへの接続を調べて、その接続を確立し直してみてください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXF0

説明: 動的ストレージ域 (DSA) 内のストレージが不足しているため、ストレージ・マネージャー・モジュール DFHSMGF から除去されたという応答が出されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: しばらくしてからそのトランザクションを再試行してください。

ストレージ不足条件が続く場合には、CICS DSA のサイズ限界を大きくしてください。CEMT SET DSAS 発信端末コマンドに DSALIM および EDSALIM パラメーターを使用して、動的に DSA を変更することができます。

モジュール: DFHXFP

---

### AXF1

説明: ストレージ・マネージャー・モジュール DFHSMGF は、DFHXFP が予期しない条件を戻しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 関連 CICS メッセージおよび異常終了を探して、CICS ストレージに障害が発生したことがあるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXF2

説明: 動的ストレージ域 (DSA) 内のストレージが不足しているため、ストレージ・マネージャー・モジュール DFHSMGC から除去されたという応答が出されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: しばらくしてからそのトランザクションを再試行してください。

ストレージ不足条件が続く場合には、CICS DSA のサイズ限界を大きくしてください。CEMT SET DSAS 発信端末コマンドに DSALIM および EDSALIM パラメーターを使用して、動的に DSA を変更することができます。

モジュール: DFHXFP

---

### AXF3

説明: ストレージ・マネージャー・モジュール DFHSMGC は、DFHXFP が予期しない条件を戻しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 関連 CICS メッセージおよび異常終了を探して、CICS ストレージに障害が発生したことがあるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHXFP

---

### AXF4

説明: EXEC インターフェース・サービス・ルーチン・モジュール (DFHEISR) への GET\_BUFFER 要求が正しく完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、

これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHXFX

#### AXF5

説明: EXEC インターフェース・サービス・ルーチン・モジュール (DFHEISR) への呼び出し時にエラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHXFX

#### AXF9

説明: チャネルをサポートしないシステムにチャネルをシッブしようとした。START CHANNEL または LINK CHANNEL コマンドが、チャネルをサポートしない CICS システムに機能シッブされました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: START または LINK コマンドを実行する CICS が正しいレベルであることを確認してください。

モジュール: DFHXFP

#### AXGA

説明: プログラム DFHAPCR は予期しない応答を返しました。DFHAPCR は以下の機能を実行します。

- チャネルを構成するすべてのコンテナのコンテンツを抽出し、これらをリモート・システムに送信します。
- リモート・システムから受け取ったインバウンド・データからチャネルおよびコンテナを再作成します。

DFHAPCR は、インバウンド・データ内にエラーを検出したか、チャネル・データの抽出または再作成中に予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連 CICS メッセージおよび異常終了を探して、コンテナを管理するプログラム・マネージャーに障害が発生したことがあるかどうかを調べてください。プログラム・マネージャーまたは DFHAPCR からの例外トレース項目を調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHXFX,DFHXFP

#### AXMA

説明: トランザクション・マネージャー・ドメイン内でロックを獲得中に、エラーが起きました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHXM0002 を出し、システム・ダンプを作成します。

DFHXM0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHXM0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMBD、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMFD、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMST、DFHXMTA、DFHXMxD、DFHXMxE

#### AXMB

説明: トランザクション・マネージャー・ドメイン内でロックを解放中に、エラーが起きました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このルーチンはメッセージ DFHXM0002 を出し、システム・ダンプを作成します。

DFHXM0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHXM0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMBD、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMFD、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMST、DFHXMTA、DFHXMxD、DFHXMxE

#### AXMC

説明: 固有のトランザクション番号を新しいトランザクションに割り振っているときに、重大エラーが起きました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このルーチンはメッセージ DFHXM0002 を出し、システム・ダンプを作成します。

DFHXM0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHXM0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMxE

#### AXMD

説明: CICS 内部タスク CSXM をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CSXM をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHXMAB

#### AXMY

説明: トランザクションのタスク生成中、トランザクション・クラス・メンバーシップの獲得を行っている際に、予期しないエラーが起きました。

システムの処置: このトランザクションはクラス・メンバーシップとはみなされず、その後異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、トランザクションがトラ

## AXMZ • AXTD

ンザクション・クラスのメンバーシップを獲得できなかった理由を調べてください。

モジュール: DFHXMAT

---

### AXMZ

説明: 他のコンポーネントで起きた重大エラーが、トランザクション・マネージャー・ドメインによって検出されました。

システムの処置: 制御下にあるタスクが異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。障害が起きたコンポーネントによって、さらに詳しい診断が得られているはずですが、

ユーザーの処置: 以前に出されたメッセージを探して、問題の原因を突き止めてください。詳細については、以前に出されたメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHXMTA

---

### AXSA

説明: 必要なステップに失敗したために、CICS セキュリティー管理タスクを完了させることができませんでした。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体がコード AXSA で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、セキュリティ管理再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを書き出します。

CICS はメッセージをコンソールに送ります。1 つは、セキュリティ管理タスクによって検出されたエラーを識別するものです。初期設定時にエラーが起こった場合には、他のメッセージが、セキュリティの初期設定または CEMT PERFORM SECURITY REBUILD が失敗したことを示します。2 つのメッセージの後には、CICS が異常終了してダンプが作成されたことを知らせるか、GO または CANCEL と応答するように促す、3 つ目のメッセージが続きます。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。'GO' で応答した場合には、CICS の処理は続行されますが、外部セキュリティ・マネージャーのためのサポートは含まれません。CICS セキュリティーは、依然として作動しています。「CANCEL」で応答すると、CICS が異常終了し、ダンプが作成されます。

メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHXSMN

---

### AXSC

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシス

テムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHXSMN

---

### AXSD

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTCRP

---

### AXTA

説明: 送り出すデータの長さの計算に失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXTP

---

### AXTB

説明: データを送り出すための TIOA を入手する試みに失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXTP

---

### AXTC

説明: データを送り出せるようにするための変換の試みに失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHXTP

---

### AXTD

説明: TIOA に受信したメッセージは、リモート・システムから受け取られたものではありませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。



ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHXTP

---

#### AXTE

説明: 正しくないデータがリモート・システムから受け取られました。そのデータの長さは十分ではありません。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHXTP

---

#### AXTF

説明: 中継処理機能管理ヘッダー (FMH) がリモート・システムから受け取られませんでした。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHXTP

---

#### AXTG

説明: リモート・システムから受け取られたデータの変形に失敗しました。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 変形処理の失敗が、リモート端末の誤った定義が理由ではなかったかどうかを調べます。特に、その端末に指定されたユーザー域の長さがローカル・システムとリモート・システムの両方で同じ長さになっているかどうかを調べます。端末の定義が正しい場合は、この問題を解決するためにサポートが必要です。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHXTP

---

#### AXTH

説明: 端末識別名を突き止める試みに失敗しました。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHXTP

---

#### AXTI

説明: トランザクション・ルーティング変換プログラムに対して指定された DFHLUC パラメーター・リストの主要要求バイト LUCOPN0 が無効であるか、またはリモート・システムにシッパされていない要求に対応しています。パラメーター・リストは、XTP の呼び出し側の動的ストレージ内で見つけることができ、補助トレースからの出力を利用して突き止めることができます。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHXTP

---

#### AXTJ

説明: トランザクション・ルーティング変換プログラムのパラメーター・リスト内のフィールド XTSTAT とフィールド XTSTCOPC の中で、予期しない組み合わせのビットの設定が行われました。  
システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHXTP

---

#### AXTK

説明: CICS システム間のタスク生成が出されたときに、APPC 会話障害が発生しました。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: リモート CICS システムへの接続を調べて、その接続を確立し直してみてください。  
モジュール: DFHXTP

---

#### AXTL

説明: APPC マップ・データの処理は、デフォルト値による APPC 付加 FMH の生成を必要とします。具体的には、要求された同期レベルはデフォルトの 2 になります。一方、使用される予定のセッションは同期レベル 1 でバインドされています。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 次の点について調べてください。

- リモート・システムの TCT 項目が、並行セッションで定義されているかどうか。
- リモート・システムが同期レベル 2 をサポートできるかどうか。
- ログ名の交換が接続に備えて完了しているかどうか。

CEMT INQUIRE CONNECTION コマンドを使用してこれを行うことができます。ログ名交換処理についての詳細は、「*CICS Intercommunication Guide*」を参照してください。

- 正しい同期レベルが要求されたかどうか。

モジュール: DFHXTP

---

#### AXTM

説明: 同期レベル 1 でバインドされている APPC リンクを介して、メッセージを保護されたトランザクションを経路指定する試みが行われましたが失敗しました。こうしたトランザクションは、同期レベル 2 でバインドされた APPC リンクを介してのみ経路指定されるためです。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: そのトランザクションを CICS OS/2 に経路

## AXTN • AXTS

指定する場合 (同期レベル 1 でバインドされる) には、メッセージ保護オプションを除去してください。そのトランザクションを別のホスト・システムに経路指定する場合で、しかもメッセージ保護が必要な場合には、そのリンクを再定義して、同期レベル 2 でバインドできるようにしてください。

モジュール: DFHXTP

---

### AXTN

説明: モジュール DFHXTP が、オフセット TCTERCSA で TCTTE の連鎖が切れたアプリケーション・バッファに無効なヘッダーがあることを検出しました。これは CICS 論理エラーまたはストレージの上書きのいずれかによるものです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHETL

---

### AXTO

説明: CICS セキュリティー・マネージャーから、DFHXTP モジュールに例外応答が戻されました。CICS セキュリティー・マネージャーへの呼び出しが行われる前に、出荷時の端末定義ではあらかじめセキュリティについて設定されていることを DFHXTP モジュールが検出しました。それから、DFHXTP は、出荷時の端末情報とともに送信されたユーザー ID の事前設定されたセキュリティ・サインオンを実行するために、CICS セキュリティー・マネージャーを呼び出しました。つまり、この事前設定されているセキュリティにサインオンしようとして失敗したということです。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専用領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。CICS セキュリティー・マネージャーは、一時データ・キュー CISC に DFHSNxxxx メッセージを出します。

ユーザーの処置: この異常終了が起こった原因として最も考えられるものとしては、アプリケーション所有領域 (AOR) に送られる端末に、AOR には無効なユーザー ID の事前設定されたセキュリティがあるということです。このことを確認するためには、AOR の CISC 一時データ・キューについての関連 DFHSNxxxx メッセージを検査してください。そのメッセージには、事前設定されたセキュリティ・サインオン要求の障害についての正確な理由が示されています。この障害は、未許可のトランザクション・ルーティング要求を行ったために起こります。

モジュール: DFHXTP

---

### AXTP

説明: DFHCCNV FUNCTION

(CONVERT\_DS3270\_FOR\_SBCS) から DFHXTP モジュールに、例外応答が戻されました。モジュールは、クライアントからのデータ受信に ASCII から EBCDIC への変換を要求した CICS クライアント仮想端末に対して呼び出されました。しかし、この変換は失敗しました。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専用領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。CICS セキュリティー・マネージャーは、一時データ・キュー CISC に DFHSNxxxx メッセージを出します。

ユーザーの処置: DFHCCNV の COMMAREA の DFHC32 に戻された応答と理由を調べてください。クライアントおよびサーバーのコード・ページは妥当性検査が実行されているため、これは CICS エラーと考えられます。IBM に連絡してください。

モジュール: DFHXTP

---

### AXTQ

説明: DFHCCNV FUNCTION

(CONVERT\_DS3270\_FOR\_SBCS) から DFHXTP モジュールに、例外応答が戻されました。モジュールは、クライアントへのデータ送信に EBCDIC から ASCII への変換を要求した CICS クライアント仮想端末に対して呼び出されました。しかし、この変換は失敗しました。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専用領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。CICS セキュリティー・マネージャーは、一時データ・キュー CISC に DFHSNxxxx メッセージを出します。

ユーザーの処置: DFHCCNV の COMMAREA の DFHC32 に戻された応答と理由を調べてください。クライアントおよびサーバーのコード・ページは妥当性検査が実行されているため、これは CICS エラーと考えられます。IBM に連絡してください。

モジュール: DFHXTP

---

### AXTR

説明: EXEC プログラムの DFHCCNV をロードしようとしたとき、例外応答が、DFHPGLE FUNCTION (LOAD\_EXEC) からの DFHXTP モジュールに対して戻されました。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専用領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。CICS セキュリティー・マネージャーは、一時データ・キュー CISC に DFHSNxxxx メッセージを出します。

ユーザーの処置: DFHPGLE から戻された応答と理由を調べ、CICS が DFHCCNV を呼び出すことができなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHXTP

---

### AXTS

説明: 以下のいずれかの条件が発生しました。

- AOR 内で実行中のトランザクションがチャネルを作成しました。トランザクションは EXEC CICS RETURN TRANSID CHANNEL を発行することによって終了され、疑似会話内で次のトランザクションを指定し、チャネルを次のトランザクションに渡します。ただし、TOR はチャネルをサポートできるほどの十分な高さの CICS レベルではありません。

- AOR 内で実行中のトランザクションがチャンネルを作成しました。トランザクションは EXEC CICS RETURN TRANSID CHANNEL を発行することによって終了され、疑似会話内で次のトランザクションを指定し、チャンネルを次のトランザクションに渡します。チャンネルは TOR に送信され、疑似会話内の次のトランザクションが開始するまでそこに保持されます。ただし、次のトランザクションが開始されたとき、チャンネルをサポートできるほどの十分な高さの CICS レベルでない AOR 内に存在することが見つかりました。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専有領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。

ユーザーの処置: 疑似会話内のトランザクション間でチャンネルが渡される場合、チャンネルを渡すことに関与するすべての TOR および AOR システムは、チャンネルをサポートできるほどの十分な高さの CICS レベルであることを確認する必要があります。

モジュール: DFHXTP

#### AXTT

説明: チャンネルをサポートしないシステムにチャンネルを渡そうとしました。

疑似会話内の連続するトランザクション間でチャンネルが渡されています。TOR がチャンネルをサポートする CICS レベルでないか、次のトランザクションを実行する必要がある AOR が、チャンネルをサポートする CICS レベルではありません。異常終了を出すシステムは、チャンネルをサポートしないシステムです。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専有領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。

ユーザーの処置: 疑似会話に参加してチャンネルを受け取る必要があるすべての CICS システムが、チャンネルをサポートする CICS リリース・レベルであることを確認してください。

モジュール: DFHXTP

#### AXTU

説明: プログラム DFHAPCR は予期しない応答を返しました。DFHAPCR は以下の機能を実行します。

- チャンネルを構成するすべてのコンテナのコンテンツを抽出し、これらをリモート・システムに送信します。
- リモート・システムから受け取ったインバウンド・データからチャンネルおよびコンテナを再作成します。

DFHAPCR は、インバウンド・データ内にエラーを検出したか、チャンネル・データの抽出または再作成中に予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連 CICS メッセージおよび異常終了を探して、コンテナを管理するプログラム・マネージャーに障害が発生したことがあるかどうかを調べてください。プログラム・マネージャーまたは DFHAPCR からの例外トレース項目を調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHXTP

#### AZAA

説明: CICS が APPC マップ式会話でアプリケーション据え置きデータをフラッシュしようとしていたときに、CICS 論理エラーが起きました。アプリケーション据え置きデータは、APPC マップ式会話では起きません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARM

#### AZAB

説明: DFHZARM が 65 528 バイトを超えるデータ長の SEND DATA 要求を持っています。65 528 バイトは DFHZARM が処理できる最大バイト数です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS の内部論理エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARM

#### AZAD

説明: DFHZCN1 が予期しないシステムから開始されました。CCIN トランザクションは、クライアントだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。例外トレース・ポイント AP3008 が書き込まれます。データ 1 に XMIQ 開始タイプが入っています。

ユーザーの処置: CCIN トランザクションは必ずクライアントから出してください。

モジュール: DFHZCN1

#### AZAE

説明: DFHZCN1 が端末から開始されましたが、LU6.2 セッションではありませんでした。CCIN トランザクションは、クライアントでしか出すことができません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CCIN トランザクションは必ずクライアントから出してください。

モジュール: DFHZCN1

#### AZAF

説明: DFHZCN1 がトランザクション CCIN に対して開始されました。しかし、環境が正しくないか、クライアント体系に誤りがあります。この異常終了は、通常、問題を詳述する DFHZC32xx メッセージと一緒に出されます。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP30xx が書き込まれます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: コンソールまたは CSNE の DFHZC32xx メ

## AZAG • AZCB

ッセージ、および例外トレース・ポイント AP30xx を検索してください。これらを使用して問題を診断してください。

モジュール: DFHZCN1

---

### AZAG

説明: DFHZCT1 が予期しないシステムから開始されました。CTIN トランザクションは、クライアントだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。例外トレース・ポイント AP302A が書き込まれます。データ 1 に XMIQ 開始タイプが入っています。

ユーザーの処置: CTIN トランザクションは必ずクライアントから出してください。

モジュール: DFHZCT1

---

### AZAH

説明: DFHZCT1 が端末から開始されましたが、LU6.2 セッションではありませんでした。CTIN トランザクションは、クライアントだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。例外トレース・ポイント AP3032 が書き込まれます。データ 1 に主要機能アドレスが入っています。

ユーザーの処置: CTIN トランザクションは必ずクライアントから出してください。

モジュール: DFHZCT1

---

### AZAI

説明: DFHZCT1 がトランザクション CTIN に対して開始されました。しかし、環境が正しくないか、クライアント体系に誤りがあります。この異常終了は、通常、問題を詳述する DFHZC32xx メッセージと一緒に出されます。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP30xx が書き込まれます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: コンソールまたは CSNE の DFHZC32xx メッセージ、および例外トレース・ポイント AP30xx を検索してください。これらを使用して問題を診断してください。

モジュール: DFHZCT1

---

### AZAJ

説明: DFHZCN1 がトランザクション CCIN に対して開始されました。しかし、CCIN トランザクションはサロゲートで開始されています。これは、このトランザクションがリモート・トランザクションとして定義されていることを意味します。

CCIN は、ローカル・トランザクションで、直接クライアントに接続されている CICS 領域で実行しなければなりません。システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3041 が書き込まれます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CCIN にデフォルト定義を使用するか、ローカル・トランザクションとして定義してください。

モジュール: DFHZCN1

---

### AZAK

説明: DFHZCT1 がトランザクション CTIN に対して開始されました。しかし、CTIN トランザクションはサロゲートで開始されています。これは、このトランザクションがリモート・トランザクションとして定義されていることを意味します。

CTIN は、ローカル・トランザクションで、直接クライアントに接続されている CICS 領域で実行しなければなりません。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3039 が書き込まれます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CTIN にデフォルト定義を使用するか、ローカル・トランザクションとして定義してください。

モジュール: DFHZCT1

---

### AZCA

説明: APPC マップ式処理時に内部論理エラーが検出されました。DFHZARL によって維持されている会話の状態が、DFHETL と DFHZARM によって共同維持されている状態と一致していません。

この問題は、CICS がアプリケーション・データをアSEMBルして、予期したすべてのデータを受け取る前にチェーンの終わりを受け取るような場合にも生じることが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARM

---

### AZCB

説明: APPC マップ式処理時に、CICS はセンス・コード X'088901xx' を受け取りました。これに続いて、エラー・データ GDS (汎用データ・ストリーム) 変数が示されるはずですが、

CICS はエラー・データの受け取りを試みましたが、しかし、データが受け取られなかったか、または受け取られたデータが正しい長さの CICS ISSUE ERROR のためのものではありませんでした。

CICS は、他のシステムが GDS ID X'12F2' (機能管理データ) を認識しないことを示すため、このエラー・データを予期しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

エラーのあった GDS ID は、リモート・システムに戻され、そこで詳しく分析されます。

ユーザーの処置: 他のシステムのトランザクションによるセッションの失敗または異常終了がなかったかどうかを調べます。

この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARM

**AZCC**

説明: 失敗に終わったトランザクションが、アプリケーション機能管理データを、これをサポートしないシステムで実行されているトランザクションへ送っていました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システムでアプリケーション機能管理データをサポートできるかどうかを調べます。

モジュール: DFHZARM

**AZCD**

説明: APPC マップ式処理時にシステム間論理エラーが検出されました。受け取られるべきアプリケーション・データの長さ(LL フィールドおよび連結フラグから判別された長さ)が、実際に受け取られた長さと一致していません。CICS は、受け取るべきデータの長さを LL フィールドおよび連結フラグから判別します。しかし、CICS は、予期したデータをすべて受け取ったわけではありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHETL, DFHZARM

**AZCE**

説明: APPC マップ式処理時に、システム間論理エラーが検出されました。受け取られるべきアプリケーション・データの長さ(LL フィールドおよび連結フラグから判別された長さ)が、CICS の実施限度である 32 767 (受信コマンドおよび変換コマンドの場合)、または 65 000 (CICS トランザクション・ルーティングか機能シブ要求の場合)を超えています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システムのトランザクションが CICS へ伝送しているデータの量を少なくします。

モジュール: DFHETL, DFHZARM

**AZCF**

説明: APPC マップ式処理時に内部論理エラーが検出されました。無効な要求が DFHZARL に渡されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARM

**AZCG**

説明: APPC マップ式処理時に内部論理エラーが検出されました。DFHZARM は、渡される TCTTE が APPC として定義されていること、TCTEILUC (TCTELUC) がオンに設定されること、そして TCTECVT が TCTEMAPD に設定されること(マップ会話を示すために)を予期しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要

です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARM

**AZCH**

説明: APPC マップ式処理時に、予期しないセンス・コード X'0889xxxx' が受け取られました。

これはリモート・システムによる APPC アーキテクチャーの違反を表しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHETL, DFHZARM

**AZCI**

説明: APPC マップ式データの処理には、デフォルト値を持つ APPC 付加機能管理ヘッダー (FMH) の生成が必要です。特に、要求された同期レベルのデフォルトとしては 2 を取ります。しかし、使用される予定のセッションが同期レベル 1 でバインドされています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 次の点について調べてください。

- リモート・システムの TCT の項目が、並行セッションで定義されているかどうか。
- リモート・システムが同期レベル 2 をサポートできるかどうか。
- ログ名の交換が接続に備えて完了しているかどうか。

CEMT INQUIRE CONNECTION を使用してこれを行うことができます。ログ名交換処理についての詳細は、「CICS Intercommunication Guide」を参照してください。

モジュール: DFHETL, DFHZARM, DFHZARQ

**AZCJ**

説明: GDS ID X'12F1' (空データ) を持つ APPC 構造化フィールドがリモート・システムに送られましたが、そのリモート・システムはこれらのフィールドの受信をサポートしていません。リモート・システムは否定応答を出し、その会話を終了させました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 問題はリモート・システムにあります。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Intercommunication Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARM

**AZCK**

説明: APPC マップ式処理のエラー・リカバリー時に、内部論理エラーが検出されました。その会話は、内部 CICS SEND INVITE により RECEIVE 状態に切り替えられましたが、その会話はパートナーによってすでに解放されていました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要

## AZCL • AZCR

です。手順については、「CICS Intercommunication Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARM

---

### AZCL

説明: APPC マップ式処理時に、CICS はセンス・コード X'088901xx' を受け取りました。汎用データ・ストリーム (GDS) にはエラー・データの中の有効な GDS ID が入っているはずですが、CICS はその値を認識しませんでした。CICS によって認識されるこれらの値は次のとおりです。

X'12F1' null data  
X'12F2' function management data  
X'12FF' application data.

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 別のシステムのトランザクションによるセッション障害ならびに異常終了がないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARM

---

### AZCM

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZARM

---

### AZCN

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、そのタスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。

そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHZARM

---

### AZCO

説明: VTAM 持続セッション初期設定トランザクション CGRP が、端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZCGRP

---

### AZCP

説明: ZCP に論理エラーが検出されました。開始タスクのための割り振り要求を満足させることができませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Intercommunication Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSUP

---

### AZCR

説明: APPC SYNCPOINT ROLLBACK 要求の処理中に、論理エラーまたはプロトコル・エラーが検出されました。最後の作業単位が正しく完了した後に、会話状態を元の状態にリストアしようとする試みが行われました。この保管済みの状態が、パートナーから受け取った流れと一致しません。

この問題は、以下のいずれかの状況のロールバック時に起こります。

- 保管状態が受け取られ、パートナーは、指示変更 (CICS が送信状態にあることをパートナーが予測していることを示す) を最後の流れで送信した。
- 保管状態が送信されたが、パートナーは、最後の流れでは、指示変更標識 (CICS が受信状態にあるとパートナーが予測していること示す) を送らなかった。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS での障害またはパートナーでの障害が原因で、問題が生じています。どちらに障害があるかを判別するには、最後に正しく行われた同期点での流れを分析します。この同期点に 2 つの LU があつた状態を判別してみてください。異常終了が起こる前の、パートナーから CICS への同期点流れを参照します。この流れから、SPCMOD 修飾子バイトの指示変更標識がオンであったかどうかを計算してください。(SPCMOD 修飾子については、「SNA Formats」を参照してください。)保管済みの CICS 会話状態が受け取られたときにだけ、この標識がセットされる必要があります。最後の CICS 状態が送信され、さらに標識がオンの場合には、CICS は障害のある状態になります。同様に、最後の CICS 状態が受け取られ、さらに標識がオフの場合にも、CICS は障害のある状態になります。

最後の CICS 状態が送信され、標識がオフの場合、または最後の CICS 状態が受信され、標識がオンの場合には、CICS は、指示変更標識 (CICS がこの標識を予測していないときも) を受け取ります。この場合には、パートナーを検査して、論理エラーを見つけてください。

モジュール: DFHZARL

#### AZCT

説明: 端末読み取りタイムアウト条件が検出されました。トランザクションは、そのトランザクションの RTIMOUT 値に指定された間隔よりも長い間、端末入力メッセージを待っていました。

PROFILE 項目に RTIMOUT とコーディングすると、端末が指定された時間内に入力を送信しない場合には、タスクを異常終了させることになります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。トランザクション・ダンプ・コード AZCT のダンプ・テーブル項目がダンプをとることを指示していない限り、ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: このタスクに DFHPC TYPE=SETEXIT マクロが出されている場合には、タイムアウトだった読み取りはまだ未解決状態です。この読み取りを取り消すためには、ユーザー出口ルーチンの終わりで DFHPC TYPE=ABEND を出します。これにより、CICS は端末の TCTTE をクリーンアップします。

モジュール: DFHZARQ

#### AZCU

説明: COVR トランザクションが端末から直接開始されたか、START コマンドで開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。トランザクション・ダンプはとられません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZCOVER

#### AZCV

説明: VTAM への接続中に、COVR トランザクションで論理エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Intercommunication Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZCOVER

#### AZCW

説明: CICS 内部タスク CSTP をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CSTP をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHZCSTP

#### AZIA

説明: トランザクションが、MRO 処理時にストレージを獲得または開放しようとしたが、CICS ストレージ・マネージャー (SM) ドメインから、要求が無効であるという応答が返されました。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Intercommunication Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZIS2

#### AZIB

説明: ストレージが接続サブシステムから MRO データを受け取るのを待っている間に、そのトランザクションが除去されました。その除去は、オペレーターの処置 (CEMT SET TASK PURGE など) によるものか、あるいは、その待ち時間がそのトランザクションの DTIMOUT 値を超えたために引き起こされた可能性があります。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: この条件がタイムアウトにより引き起こされた場合には、失敗したトランザクションの DTIMOUT 値を調べて、その値が小さすぎる場合には大きくしてください。

モジュール: DFHZIS2

#### AZIC

説明: INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 条件が CRB 制御ブロックを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (DFHSMGFM) に対する呼び出しで発生しました。

最初のエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびにおそらくシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZIS2

#### AZID

説明: CRB 制御ブロックを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (DFHSMGFM) に対する呼び出しで PURGED 条件が発生しました。

最初に出されたエラーを検出したドメインは、例外トレースを提供するはずですが、

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。

このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

## AZIE • AZI4

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHZIS2

---

### AZIE

説明: 領域間通信 (IRC) の ISSUE-ERROR または ISSUE-ABEND 流れが、IRC プロトコルの違反を受け取りました。この原因として以下のことが考えられます。

- CICS 論理エラー IRC プロトコルは、MRO 分散トランザクション処理アプリケーションに対して使用することができません。これらは、CICS 内部使用に限られます。
- 接続済みシステムでのトランザクションの異常終了。この結果、LU6.2 の接続に FMH 7 流れが発生し、異常終了が出されます。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: マップ式会話と非マップ式会話を混在して使用したかどうかを調べてください。異常終了の原因となります。また、タスク生成済みシステムでトランザクションが異常終了する理由が他にないかどうかを調べてください。

CICS 論理エラーが含まれている場合は、IBM からのサポートが必要になります。手順については、「CICS *Intercommunication Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARQ

---

### AZI1

説明: IRC のデータ伝送要求が出されましたが、伝送プロトコルに違反したために、それを完了することができません。

そのセッションが分散トランザクション処理に使用されていない場合、つまり、そのセッションが機能シップまたはトランザクション・ルーティングに使用されている場合には、この問題は CICS 論理エラーによって引き起こされます。

そのセッションが分散トランザクション処理に使用されている場合には、異常終了の原因として次のものが考えられます。

- 無効な端末管理コマンド (ISSUE SIGNAL など) が出された。
- 送信要求が出されたがそのセッションは送信状態になかったか、または、読み取り要求が出されたがそのセッションが受信状態になかった。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了の原因を調べて、該当する場合にはアプリケーションを訂正してください。詳細については、「CICS *Intercommunication Guide*」の『EXEC インターフェース・ブロック (EIB)』を参照してください。EIB は、要求が出された後のセッションの状態を記述しています。

モジュール: DFHZARQ

---

### AZI2

説明: IRC データ伝送要求が出されましたが、それを完了することができません。問題の原因としては、次のものが考えられます。

- 接続システムで実行されているトランザクションが除去された。
- 接続システムで実行されているトランザクションがタイムアウトになった。
- 異常終了トランザクションが、RECEIVE 状態になっているときに SEND を試みた。
- 異常終了トランザクションが、SEND 状態になっているときに RECEIVE を試みた。

異常終了が DFHIRP による伝送要求の拒否に起因している場合には、ダンプ内に、失敗に終わった IRC セッションを表している TCTTE のフィールド TCTEIRET に、DFHIRP の戻りコードが含まれることとなります。この TCTTE のアドレスは、DFHTC データ伝送要求を表しているトレース項目のフィールド B にあります。

DFHIRP 戻りコードの意味は、サンプル集 DFHIRSDS に示されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: エラーの原因が除去またはタイムアウトであった場合には、処置はこれ以上必要ありません。

そのエラーが、例えば RECEIVE 状態での SEND の試みまたはその逆の状態により引き起こされた場合には、ダンプを分析して、プロトコル違反を訂正してください。

モジュール: DFHZARQ

---

### AZI3

説明: 他のシステムとの会話に失敗したために、アプリケーションがリモート所有されている端末に対して出した端末管理要求は失敗に終わります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS *Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARQ

---

### AZI4

説明: IRC データ伝送要求が出されましたが、他のシステムを領域間通信に使用することができなくなったために、それを完了させることができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: IRC を使用できるようになった時点で、そのトランザクションを実行し直します。

モジュール: DFHZARQ



**AZI5**

説明: IRC データ伝送要求が出されましたが、接続されたシステムがその要求に応答して送ってきたデータは、IRC プロトコルに違反しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARQ

**AZI6**

説明: トランザクションは、IRC リンクを介して、別の CICS システムのトランザクションに接続されていました。このもう一方のトランザクションが異常終了しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 接続先のトランザクションで発生した異常終了の原因を修正してください。

モジュール: DFHZARQ

**AZI7**

説明: トランザクションが、接続サブシステムからの応答の待機を含む MRO 要求を処理していました。この「待機」要求は、CICS ディスパッチャーによって拒否されました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZIS2

**AZI8**

説明: IRC 接続上で ISSUE-ABEND の流れで受け取ったエラー・ログ・データの形式が正しくありませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZIS1

**AZI9**

説明: トランザクションが、接続サブシステムからの応答の待機を含む MRO 要求を処理していました。その待機時に、失敗したトランザクションが除去されました。この除去は、間違いなく CEMT SET TASK PURGE などのオペレーターの処置に起因するものです。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: そのトランザクションが除去された理由を調べてください。

モジュール: DFHZIS2

**AZRA**

説明: DFHZARRC は、APPC 内の FMH のアドレスが受信バッファ内になかったことを検出しました。その原因は、ストレージの上書きか CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARRC

**AZRB**

説明: モジュール DFHZARR0 は、無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS 論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARR0

**AZRD**

説明: APPC の論理受信バッファと物理受信バッファが一致なくなりました。この問題の原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARR0

**AZRE**

説明: APPC の論理受信バッファ (TCTERBLA によりアドレスリング) が、物理受信バッファ (TCTERBLA によりアドレスリング) の前または後で始まりました。論理受信バッファは、これからまだ処理が行われる物理受信バッファの一部であるため、これは無効です。この問題の原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

## AZRF • AZRM

モジュール: DFHZARR0

---

### AZRF

説明: DFHZUSR 状態マシンが、無効な状態エラーを返すべきではない時点でそれを返しました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

---

### AZRG

説明: DFHZUSR 状態マシンが、無効な状態エラーを返すべきではない時点でそれを返しました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

---

### AZRH

説明: 受け取り処理を制御するために使用する DFHZARR 状態変数 RECEIVE\_TYPE が、無効な値に設定されています。この変数にアクセスのある他の唯一のモジュールは DFHZARRF です。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

---

### AZRI

説明: DFHZARR1 に渡されたパラメーターの 1 つが無効でした。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARR1

---

### AZRJ

説明: バッファ自体よりも長いレコードを APPC 受信バッファから除去するように、DFHZARR0 に対して要求されています。この問題の原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARR0

---

### AZRK

説明: DFHZERH から DFHZARRF に戻された DFHLUC パラメーター・リストには、無効な組み合わせ LUCCIERR、LUCCIFRE、および LUCCIRBK フィールドが入っています。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

---

### AZRL

説明: モジュール DFHZARRF は、無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

---

### AZRM

説明: モジュール DFHZARR は、誤った時点で自分の内部ルーチンの 1 つを呼び出しました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARR

**AZRN**

説明: DFHZERH から DFHZARRF に戻された DFHLUC パラメーター・リストでは、LUCCIERR がオンに設定されていませんでした。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

**AZRO**

説明: モジュール DFHZARER は、無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARER

**AZRP**

説明: モジュール DFHZARER が、DFHZNAC から無効な応答を検出しました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARER

**AZRQ**

説明: モジュール DFHZARRA が、無効なパラメーターで呼び出されました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRA

**AZRR**

説明: モジュール DFHZARRA が、オフセット TCTERCSA で TCTTE の連鎖が切れたアプリケーション・バッファーに無効なヘッダーがあることを検出しました。これは CICS 論理エラーまたはストレージの上書きのいずれかによるものです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、TCTTE アドレスを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARRA

**AZRS**

説明: モジュール DFHZARRA は、一部のデータをコピーすることになっている新規のアプリケーション・バッファーのためにメイン・メモリーを獲得することができません。これは、DFHLUC 受け取り要求が SUBTYPE=LLID、SET=YES になっていて、しかも DFHZARRA が GETMAIN で確保する長さを認識していないためです。DFHZARRA は現在受け取ろうとしているレコードの長さを必要としています、その長さがエラーで 0 に設定されています。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、TCTTE アドレスを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRA

**AZRT**

説明: モジュール DFHZARRA が、一部のデータをコピーすることになっているアプリケーション・バッファーが無効であることを検出しました。これは、バッファーのアドレスがゼロであるためか、またはその長さが、そこにコピーされるデータの長さよりも短いためです。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードに伴う例外トレース・ポイントが、バッファー・アドレスとバッファー長およびデータ・アドレスとデータ長を示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRA

---

### AZRU

説明: モジュール DFHZARRF が、DFHZARR0 から予期しない応答を検出しました。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、無効な応答コードを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

---

### AZRV

説明: モジュール DFHZARR1 が、DFHZARR0 から予期しない応答を検出しました。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、無効な応答コードを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARR1

---

### AZRW

説明: モジュール DFHZARRA が、TCTTE (フィールド TCTELLC) 内で負のレコード長を検出しました。これは CICS 論理エラーまたはストレージの上書きのいずれかによるものです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、TCTTE アドレスおよび TCTELLC の値を示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARRA

---

### AZRY

説明: モジュール DFHZARR が、DFHZARRC から予期しない応答を検出しました。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、無効な応答コードを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手

順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARR

---

### AZRZ

説明: モジュール DFHZARR が、内部サブルーチンから予期しない応答を検出しました。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、無効な応答コードを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARR

---

### AZR2

説明: ストレージ・マネージャーの GETMAIN が失敗したため、モジュール DFHZARRA は、新規のアプリケーション・バッファのためにメイン・メモリーを確保することができませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース内容を利用して、ストレージ・マネージャーからの戻りの失敗を識別し、障害の内容を分析してください。

モジュール: DFHZARRA

---

### AZR3

説明: GETMAIN 要求時に、ストレージ・ドメインはそのタスクが除去されたことを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース結果を利用して、そのタスクが除去された理由を調べてください。マスター端末オペレーターに責任があったかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARRA

---

### AZR4

説明: ディスパッチャー・ドメイン呼び出しから予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARER

---

**AZR5**

説明: ディスパッチャー・ドメイン呼び出しから予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZARR1

**AZS0**

説明: DFHZSTAM マクロを介して処理中の DFHZSTAP プログラムに無効な要求が出されました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

**AZS1**

説明: DFHZSTAM マクロを介して、処理中の DFHZSTAP プログラムに無効な要求が出されました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

**AZS2**

説明: 処理中の DFHZSTAP プログラムに DFHZSTAM マクロを介して渡された TCTTE が、MRO または APPC 会話に関連していません。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

**AZS3**

説明: APPC 会話に関して、DFHZSTAM マクロを介して、処理中の DFHZSTAP プログラムに TCTTE が渡されましたが、LUC 拡張制御ブロックが見つかりませんでした。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

**AZS4**

説明: DFHZSTAP で DFHZSTAM 要求を処理中に、DFHZUSRM LUC 状態マシンに無効な設定値が見つかりました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

**AZS5**

説明: DFHZSTAP で DFHZSTAM 要求を処理中に、内部状態番号に無効な設定値が見つかりました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

**AZS6**

説明: DFHZSTAP で DFHZSTAM 要求を処理中に、内部状態番号に無効な設定値が見つかりました。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

**AZTA**

説明: タスクが、その主要な機能としての端末を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTB**

説明: この CICS システム内のリモート端末をインストールまたは削除しようとして、失敗しました。この異常終了が起こるのは、CITS/CDTS/CMTS/CFTS トランザクションが使用可能でない（つまり、そのトランザクションがインストールされていない）場合です。

システムの処置: DFHZTSP が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リストされたトランザクションが存在しており、インストールされているかどうかを検査してください。トランザクションが導入されている場合、問題を解決するにはサ

## AZTC • AZTM

ポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZTC

説明: このシステム内のリモート端末をインストールまたは削除しようとして、失敗しました。原因は、ストレージ不足 (SOS) 条件が起きたため、CITS、CDTS、または CFTS の接続を行うための GETMAIN 要求が失敗したからです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: SOS 条件が起きた理由を調べてください。

SOS 条件の処理についての詳細は、「CICS Problem Determination Guide」を参照してください。

後でトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZTD

説明: チャンネルをサポートしないシステムにチャンネルを渡そうとしました。

疑似会話内の連続するトランザクション間でチャンネルが渡されています。次のトランザクションを実行する必要がある AOR が、チャンネルをサポートする CICS レベルではありません。異常終了を出すシステムは、チャンネルをサポートしないシステムです。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専有領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。

ユーザーの処置: 疑似会話に参加してチャンネルを受け取る必要があるすべての CICS システムが、チャンネルをサポートする CICS リリース・レベルであることを確認してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZTF

説明: DFHZTSP が、最大 TCTTE SUBPOOL よりも長さ (TCTTETEL) が長い TCTTE の GETMAIN または FREEMAIN を試みましたが、要求は無効となります。これは、記憶保護違反または CICS 内部論理エラーを意味します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、エラーになっている TCTTE を識別します。まず、これがストレージの上書きであるかどうかを調べてください。上書きである場合には、統計を調べて、同じトランザクションに起因するいくつかの記憶保護違反を受け取っているかどうかを調べてください。受け取っている場合には、ユーザーが提供したアプリケーションがおそらく問題を引き起こした原因です。

記憶保護違反の問題ではない場合、またはランダム記憶保護違反が存在する場合には、CICS 内のエラーの可能性がります。この場合、問題解決にはサポートが必要になります。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZTG

説明: リモート所有されている端末で、その基本機能としてシステム間 TCTTE を使用しないでタスク生成が試みられました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZTH

説明: リモート端末管理マクロからエラー応答が受け取られました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZTI

説明: リモート所有されている端末でのタスク生成が試みられましたが、その端末はこのシステムのリモート所有端末として定義されていませんでした。

代りに、別のタスクがこの端末にロックをかけます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関係するシステム内の端末管理テーブル定義を調べます。定義が正しければ、別のタスクが端末にロックをかけたかどうかを検査してください (例えば、CECI)。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZTL

説明: リモート所有されている端末に対してタスク生成が試みられましたが、その端末はこのトランザクションを実行するために使用することができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。関係するシステム内の端末管理テーブル定義を調べます。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZTM

説明: リモート・システムから受け取られたデータに、FMH (機能管理ヘッダー) が含まれていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTN**

説明: リモート・システムとの会話が、予期しないうちに終了されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTO**

説明: TCTTE の所有権チェーンにエラーがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTP**

説明: リモート・トランザクションのために出された BMS TYPE=STORE 要求が失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。必要な BMS サポートが生成されていることを確認してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTQ**

説明: 無効な BMS データが、リモート・システムから受け取られました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTR**

説明: リモート・システムのために出された BMS TYPE=PAGEOUT 要求が失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 必要な BMS サポートが生成されていることを確認してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTS**

説明: リモート・システムへデータを送り出す試みが失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システムとの会話が失敗に終わった理由を調べます。リモート・システムのトランザクションが、おそらく異常終了したか、またはセッションが失敗に終わっています。

モジュール: DFHZTSP

**AZTU**

説明: 同期点がとられた後に、タスクはリンク TCTTE を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTV**

説明: 無効な管理機能ヘッダー (FMH) がリモート・システムから受け取られました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTW**

説明: リモート所有されている端末で、すでにタスクが実行されていたときに、タスク生成が試みられました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関係するシステム内の端末管理テーブル定義を調べます。

モジュール: DFHZTSP

**AZTY**

説明: リモート所有されている APPC 端末または接続のためのセッション TCT 項目を作成することができません。この項目を作成すると、APPC セッションの最大許容数を超過してしまうためです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。システムの使用率が少なくなるのを待つか、または、一部の APPC セッションを削除してください。

モジュール: DFHZTSP

**AZTZ**

説明: CICS 中継プログラム DFHCRT が、サポートされていない方法でタスク生成されました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 中継トランザクションは、その基本機能として MRO セッションまたは LU タイプ 6.2 を使用して実行さ

## AZT1 • AZVF

れます。そのトランザクションが、ユーザー・トランザクションによって直接タスク生成されるのではなく、APPC 端末共用論理によってタスク生成されるようにしてください。

トランザクションが、APPC 端末共用論理によってタスク生成されている場合には、この問題を解決するためにサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZT1

説明: トランザクションのルーティングのときに、アプリケーション所有領域内でタスクが正しく生成されませんでした。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ルーティング・システムでの会話は、MRO セッションまたは LU タイプ 6.2 会話でなければなりません。そのトランザクションが、ユーザー・プログラムによってではなく、接続済みシステム内の CICS 中継プログラムによってタスク生成されるようにしてください。

トランザクションが、接続済みシステム内の CICS 中継プログラムによってタスク生成されている場合には、この問題を解決するためにサポートが必要になります。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZT3

説明: あるタスクが出された領域に、そのタスクが戻されません。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: トランザクション定義を訂正してください。

モジュール: DFHZTSP

---

### AZVA

説明: タスクをアプリケーション所有の領域内に生成しているときに、リモート端末の作成時にサービス・トランザクション CITS が完了するのを待っている間に、DFHZTSP がタイムアウトになりました。

多くの場合、アプリケーション所有の領域が頻繁に使用中であるため、DFHZTSP によって許可されているタイムアウト値より長時間、CITS トランザクションが待っていたことによります。ターゲット・システムのストレージの不足が、CITS がディスクパッチされなかった、もしくはディスクパッチされても完了しなかった理由の場合もあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システムの使用が少なくなったときに、そのトランザクションを再試行してください。ターゲット・システムのトランザクション・スループットを改善する際の詳細については、「*CICS Performance Guide*」を参照してください。

モジュール: DFHZATS

---

### AZVB

説明: DFHZCQ が、リモート端末定義の作成に失敗しました。前に出されたメッセージまたは複数のメッセージが、その障害の理由を示しているはずですが。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 詳細については、前に出されたメッセージまたは複数のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZATS

---

### AZVC

説明: DFHZATS に予期しないエラーが発生しました。おそらく、DFHZATS が CSA、EIB または TCA をアドレッシングすることができないためです。EXEC CICS START コマンドを使用して、DFHZATS がトランザクション CITS、CFTS、CMTS、または CDTS に対して呼び出された場合にも、このようなエラーが発生する可能性があります。上記のトランザクションは内部 CICS トランザクションなので、このような方法で呼び出さないでください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZATS

---

### AZVD

説明: 予期しないエラーが、DFHZATS のインストール手順で起こりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 論理エラーです。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHZATS

---

### AZVE

説明: DFHZATS が既存の TCT 項目と同じ端末識別名でリモート端末をインストールしようとしています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 端末名を変更して、同じシステム内で重複が起こらないようにしてください。

モジュール: DFHZATS

---

### AZVF

説明: DFHZATS (CITS、CFTS、CMTS、または、CDTS) のリモート・インストールまたは削除トランザクションのいずれかが、端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、CICS によって内部からに限り開始することができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。



ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZATS

---

#### AZVG

説明: リモート削除ルーチンでエラーが起きました。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZATS

---

#### AZVH

説明: リモート端末の大量削除時に、リモート削除ルーチンでエラーが起きました。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZATS

---

#### AZVI

説明: 単一のリモート端末を削除しようとしたときに、リモート削除ルーチンでエラーが起きました。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZATS

---

#### AZVJ

説明: リモート端末の大量削除時にエラーが起きました。これは CICS 論理エラーが原因です。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZATS

---

#### AZVK

説明: 単一のリモート端末の削除時に、リモート削除ルーチンから予期しない戻りコードを受け取りました。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: 一緒に出される DFHZC6911 メッセージを参照してください。このメッセージには、削除障害の理由が示されています。その後で適切な処置をとってください。  
モジュール: DFHZATS

---

#### AZVL

説明: リモート端末を大量削除用にフラグ付けしているときに、エラーが起きました。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZATS

---

#### AZVM

説明: DFHZATMF でエラーが起きました。おそらく、DFHZATMF が CSA、EIB または TCA をアドレッシングすることができないためです。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZATMF

---

#### AZVN

説明: DFHZATMF (CRMF) のリモート削除フラグのトランザクションが、端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。  
システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZATMF

---

#### AZVO

説明: DFHZATMD (CRMD) のリモート削除のトランザクションが、端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。  
システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: なし。  
モジュール: DFHZATMD

---

#### AZVP

説明: DFHZATMD でエラーが起きました。おそらく、DFHZATMD が CSA、EIB、または TCA をアドレッシングできないためです。  
システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。  
モジュール: DFHZATMD

**AZVQ**

説明: 発行された端末定義のインストール要求が、自動インストールのユーザー・プログラムに受け入れられませんでした。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: 処置は不要です。  
 モジュール: DFHZATS

**AZVR**

説明: 自動インストール・ユーザー・プログラムが無効の戻りコードを出したため、提供された端末定義をインストールしようとして失敗しました。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: 自動導入のユーザー・プログラムを調べて、この戻りコードが出された理由を判別してください。  
 モジュール: DFHZATS

**AZVS**

説明: 自動インストール・ユーザー・プログラムでエラーが起こったため、提供された端末定義のインストール要求が失敗しました。  
 システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。  
 ユーザーの処置: 自動導入のユーザー・プログラムを調べて、障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHZATS

**AZXA**

説明: 予期しないエラーが、理由コード 5 を伴ってキャッチアップ・プログラム DFHZXCU 内に検出されました。詳細については、メッセージ DFHXG6492 の説明を参照してください。  
 システムの処置: コンソール・メッセージ DFHXG6492 が作成され、トランザクションの異常終了後に CICS が続行されます。  
 ユーザーの処置: メッセージ DFHXG6492 を参照してください。  
 モジュール: DFHZXCU

**AZXB**

説明: 予期しないエラーが、理由コード 4 を伴ってキャッチアップ・プログラム DFHZXCU 内に検出されました。詳細については、メッセージ DFHXG6492 の説明を参照してください。  
 システムの処置: コンソール・メッセージ DFHXG6492 が作成され、トランザクションの異常終了後に CICS が続行されます。  
 ユーザーの処置: メッセージ DFHXG6492 を参照してください。  
 モジュール: DFHZXCU

## システム・ダンプ・コード

CICS システム・ダンプが要求されるたびに、CICS はダンプ要求が行われる原因となったイベントに対応するシステム・ダンプ・コードを参照します。これは、今後どのような処置がとられるのかを判断するために行われます。詳細については、「*CICS Problem Determination Guide*」を参照してください。

ほとんどの場合、システム・ダンプ・コードは、DFH のタグをとった状態の DFH メッセージに対応します。例えば、システム・ダンプ・コード DM0001 は、DFH タグが除去された状態のメッセージ DFHDM0001 に対応します。詳細については、該当する関連メッセージを参照してください。

ただし、この形式には以下のリストに示すような例外があります。

システム・ダンプ・コード

対応するメッセージまたは例外条件

**APUSER**

このシステム・ダンプ・コードは、システム・ダンプ・マクロ互換インターフェイス・モジュール (DFHFDP) を使用して出されます。

**APXRFTO**

このシステム・ダンプ・コードには、関連する DFH メッセージがありません。現在活動状態の CICS システムにエラーが起きました。現在代替 CICS システムが制御権を持っていて、活動 CICS システムがそれ自体のダンプを作成することを要求しています。

**MT0001**

このシステム・ダンプ・コードには、関連する DFH メッセージがありません

ん。ダンプが CEMT のユーザーによって要求され、PERFORM SNAP または PERFORM DUMP のいずれかを出していることを示します。

## DHxx (DL/I DOS/VS) 異常終了コード

異常終了が CICS 区分で実行中の DL/I タスクで起こった場合、トランザクションは異常終了しますが、制御はアプリケーション・プログラムに戻されません。CICS は、DL/I 異常終了コードを含むメッセージを出します。次のリストでは、DL/I 異常終了の主カテゴリーに関連するコードを説明しています。

コード 解説

**Dnnn** DL/I エラー・メッセージ DLZnnn を参照してください。

**DACT**

TERM 呼び出しが、ACT に定義されていないプログラムによって出されました。

**DBPC**

DLZBPC00 (MPS バッチ区画コントローラー・タスク) が異常終了しました。

**DHxx** HLPI を使用するアプリケーション・プログラムが異常終了しました。xx は、終了トランザクションに関連付けられた DL/I PCB 状況コードです。

EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドを使用して、状況コード異常終了を代行受信することができます。ABEND 出口ルーチンでは、エラーを訂正し制御をトランザクションに戻すよう試みることができます。

注: バッチ環境や MPS バッチ環境では、ABEND を代行受信することはできません。

**DLPV**

システム・スケジューリング呼び出しが、無効なパスワードを使用して出されました。

**DMPC**

DLZMPC00 (MPS マスター区画コントローラー・タスク) が異常終了しました。

**Ennn** 「*DL/I Messages and Codes*」の DL/I エラー・メッセージ DLZnnn を参照してください。(この場合、一時データ宛先 CSMT 上に終了を記録することはできません。)

## 01xx (変換プログラム) 異常終了コード

**0100** LISTING FILE CANNOT BE OPENED

説明: リスト・データ・セットが正しくオープンされていません。

システムの処置: CICS コマンド・レベル変換プログラムは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: JCL が正しいかどうかを確認します。または、オープン・エラーの原因を判別します。

モジュール: DFHEAP1\$ (アセンブラー言語の場合)、DFHECP1\$ (COBOL の場合)、DFHEDP1\$ (C の場合)、DFHEPP1\$ (PL/I の場合)

**0101** UNRECOVERABLE TRANSLATOR ERROR

説明: 変換プログラムは、リカバリーすることのできないプログラム・チェックを検出しました。

システムの処置: CICS コマンド・レベル変換プログラムは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHEAP1\$ (アセンブラー言語の場合)、

DFHECP1\$ (COBOL の場合)、DFHEDP1\$ (C の場合)、  
DFHEPP1\$ (PL/I の場合)

## 02xx (DFHPD430) 異常終了コード

### 0211 RECURSIVE PROGRAM CHECK

説明: システム・ダンプ形式設定プログラムが前に出されたプログラム・チェックを処理しているときに、プログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプ形式設定プログラムは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: 異常終了の前に出されるプログラム・チェックには、メッセージ DFHPD0123 が出されます。詳細については、このメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHPD430

説明: システム・ダンプ形式設定プログラムの実行時に 6 番目のプログラム・チェックが起きました。

システムの処置: システム・ダンプ形式設定プログラムは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この異常終了の前には、5 つの DFHPD0123 メッセージが出されています。これらのメッセージは、前に出された 5 つのプログラム・チェックに対して 1 つずつ出されます。詳細については、このメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHPD430

### 0212 TOO MANY PROGRAM CHECKS

## 03xx (DFHCSDUP) 異常終了コード

### 0300

説明: SYSIPT データ・セットが正しくオープンされていません。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: JCL が正しいことを確認し、さらに SYSIPT データ・セットが順次形式で存在していることを確認してください。必要な場合、SYSIPT DLBL ステートメントを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

ユーザーの処置: SYSIPT データ・セットに指定したレコード長が 80 以下であることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0303

説明: SYSLST データ・セットが正しくオープンされていません。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: SYSLST データ・セットが存在することを確認してください。必要な場合、SYSLST DLBL ステートメントを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0301

説明: SYSIPT データ・セットに指定した RECFM パラメーターが無効です。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: SYSIPT データ・セット内の RECFM パラメーターが、F または V のいずれかであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0304

説明: DFHCSDUP が、CSD レコード内で認識されていないリソース・タイプ・コードを見つけました。認識されていないコードは、言語定義テーブルの中のいずれの機能コードとも一致していません。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

1. 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2. 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3. CSD マネージャー (DFHDMP) が、無効な CSD レコード・バッファを DFHPUP に渡した。これは、CICS の内部論理エラーです。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクテ

イブな場合には、出力は SYSLST に送られます。  
 ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

1. メッセージを無視します。
2. 実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。
3. この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0305

説明: 代替の SYSIPT データ・セットと SYSLST データ・セットをクローズしようとしたとき (CLOSEDCB)、またはタスク・ローカル・ストレージを解放しようとしたとき (FREETS), 予期しない戻りコードを受け取りました。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0307

説明: 入力コマンドの印刷に失敗しました。メッセージを出すことはできないため、ユーティリティは必ず終了します。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0308

説明: TCT テーブルの移行中に、正しくないコマンド・シーケンスが見つかりました。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

- TYPETERM が TERMINAL で始まっていない。
- TERMINAL の後に TYPETERM がない。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: TCT テーブルを訂正して移行し、ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0309

説明: DFHCSDUP が、コマンド内で認識されていない機能コードを見つけました。これは、CICS の内部論理エラーです。  
 システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0321

説明: CSD ユーティリティ・コマンドによって呼び出されたときに、モジュール DFHCSDUP で内部エラーが起こりました。

システムの処置: メッセージ DFHCA5100 が出され、CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0322

説明: MIGRATE コマンドの処理中に、移行を指定されたテーブルをロードできませんでした。

システムの処置: メッセージ DFHCA5601 が出され、CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「*CICS Problem Determination Guide*」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0323

説明: コマンドの処理中に VSAM がエラーを検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHCA5179 が、エラーに従って DFHCA5177 または DFHCA5178 の後に出され、CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送ら

れます。NOSYSDDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: 出されたメッセージの説明を確認して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0325

説明: LIST コマンドが CSD ファイル上のオブジェクトをスキャンするために DFHDMP を呼び出したとき、DFHDMP 機能の実行時にエラーが起きました。

システムの処置: メッセージ DFHCA5180 が出され、CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0326

説明: DFHCSDUP ユーティリティー・プログラムに内部論理エラーがありました。逆変換された出力バッファ内のデータが無効です。長さコードが範囲外であったり、データ・フィールドの順序に誤りがあることも考えられます。データ・フィールドの 1 つまたは複数が無効になっている場合もあります。

システムの処置: メッセージ DFHCA5184 が出され、CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0327

説明: 言語テーブル DFHEITCU をロードできませんでした。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: 障害の理由を指定する、先に出されたメッセージを参照してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0328

説明: 言語テーブル DFHEITCU をアンロードできませんでした。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: 障害の理由を指定する、先に出されたメッセージを参照してください。この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

### 0330

説明: 移行されるテーブルの相互参照テーブルが小さすぎます。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティーは異常終了し、VSE DUMP が作成されます。ジョブ制御オプション SYSDUMP がアクティブな場合、ダンプの出力は区画のダンプ・サブライブラリーに送られます。NOSYSDDMP がアクティブな場合には、出力は SYSLST に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには IBM の支援が必要です。手順については、「CICS Problem Determination Guide」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

## 04xx (外部 CICS インターフェース) 異常終了コード

### 0401

説明: 外部 CICS インターフェース (EXCI) 要求が、CALL API または EXEC API を使用して出されましたが、アプリケーションでリンク・エディットされた EXCI スタブ DFHXCSTB によって、この要求が AMODE 24 で実行されていたことが検出されました。外部 CICS インターフェースは、AMODE 31 で作成された呼び出しをサポートするだけです。システムの処置: アプリケーションは異常終了します。ユーザーの処置: EXCI 呼び出しが AMODE 31 で作成されるようにアプリケーションを変更するか、アプリケーション AMODE 31 を再リンク・エディットしてください。モジュール: DFHXCSTB。

### 0402

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が OS/390 ESTAEX マクロを出して、リカバリー環境を確立しようとしたが、ゼロ以外の戻りコードが VSE から返されました。システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。ユーザーの処置: ダンプおよび VSE の関連メッセージを調べ、OS/390 ESTAEX 要求が失敗した理由を判別してください。

アプリケーションに代わって INITIALIZE\_USER 要求を処理中にエラーが起きた場合、CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使用してダンプを形式設定しようとしても、出力は形式設定されません。これは、制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定でエラーが起きるのが早すぎたためです。

モジュール: DFHXCPRH

### 0403

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が OS/390 GETMAIN 要求を出して、その XCGLOBAL ブロック用のストレージを獲得しようとしたが、ゼロ以外の戻りコードが VSE から返されました。システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAEX ルーチン呼び出す異常終了コード 0403 を出して VSE を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SDUMP がとられます。EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM\_ERROR) REASON(XCGLOBAL\_GETMAIN\_ERROR) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、GETMAIN が失敗した理由を示す、VSE からの R15 戻りコードが入っています。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(602) を受け取ります。ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの R15 戻りコードを使用して、GETMAIN 要求が失敗した理由を判別してください。VSE 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

不十分なストレージが理由である場合、バッチ・アプリケーションの区画サイズを大きくしてください。

CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使って、生成され

た SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

### 0404

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH は、以前報告された問題に関して VSE SDUMP を作成する必要がありました。しかし、EXCI ダンプ・サービスが使用できるように設定された EXCI 初期設定で、エラーが起きるのが早すぎました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH は VSE を異常終了させ、ESTAEX ルーチン呼び出す異常終了コード 0404 を出します。このルーチンから SDUMP がとられます。

ユーザーの処置: SDUMP を調べ、以前報告された問題の原因を判別してください。

CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

### 0406

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が CICS SVC を呼び出し、EXCI 環境を初期設定しようとした。しかし、CICS SVC 呼び出しは失敗しました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAEX ルーチン呼び出す異常終了コード 0406 を出して VSE を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SDUMP がとられます。EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM\_ERROR) REASON(CICS\_SVC\_CALL\_FAILURE) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、呼び出しが失敗した理由を示す、CICS SVC からの R15 戻りコードが入っています。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(607) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの R15 戻りコードを使用して、CICS SVC 呼び出しが失敗した理由を判別してください。

CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

### 0407

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が CICS SVC を呼び出し、SVC が正しいレベルで外部 CICS インターフェースに使用されているかどうかを検査しました。検査は失敗し、CICS SVC が誤ったレベルで使用されていることが示されます。

システムの処置: メッセージ DFHEX0100 が出力され、モジュール DFHXCPRH が VSE 異常終了コード 0407 を出し、異常終了します。このコードは ESTAEX ルーチン呼び出して環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、

SDUMP がとられます。EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM\_ERROR) REASON(INCORRECT\_SVC\_LEVEL) を受け取ります。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(627) を受け取ります。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHEX0100 の説明を参照してください。

CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

#### 0408

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が、作業ストレージの OS/390 GETMAIN 要求を出しましたが、ゼロ以外の戻りコードが VSE から返されました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAEX ルーチン呼び出す異常終了コード 0408 を出して VSE を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SDUMP がとられます。EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM\_ERROR) REASON(WS\_GETMAIN\_ERROR) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、OS/390 GETMAIN が失敗した理由を示す、VSE からの戻りコードが入っています。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(601) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの R15 戻りコードを使用して、GETMAIN 要求が失敗した理由を判別してください。VSE 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

理由がストレージの不足だった場合は、バッチ・アプリケーションの領域サイズを大きくしてください。

CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

#### 0410

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が、XCUSER ブロックの OS/390 GETMAIN 要求を出しましたが、ゼロ以外の戻りコードが VSE から返されました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAEX ルーチン呼び出す異常終了コード 0410 を出して VSE を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SDUMP がとられます。EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM\_ERROR) REASON(XCUSER\_GETMAIN\_ERROR) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、OS/390 GETMAIN が失敗した理由を示す、MVS™ からの R15 戻りコードが入っています。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(603) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの R15

戻りコードを使用して、OS/390 GETMAIN 要求が失敗した理由を判別してください。VSE 戻りコードの診断情報については、「z/VSE メッセージおよびコード 第 1 巻」のセクション『VSE/拡張機能コードおよび SVC エラー』にある『OS/390 API 戻りコード』を参照してください。

不十分なストレージが理由である場合、バッチ・アプリケーションの区画サイズを大きくしてください。

モジュール: DFHXCPRH

#### 0412

説明: 外部 CICS インターフェース・ダンプ・モジュール DFHXCEIP が EXCI EXEC API 要求を処理中に、外部 CICS インターフェースがサポートしていない機能が、渡された EXEC パラメーター・リストに含まれていることが検出されました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EXCI に渡されたパラメーター・リストを示すこのエラーは、CICS 変換プログラムによって生成されたものではありません。CICS 変換プログラムは常に使用してください。アプリケーションを訂正して、正しい EXCI EXEC API コマンドを指定してください。

今回の要求が、この TCB に対する最初の EXCI 要求だった場合、CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使用して、作成された SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。

モジュール: DFHXCEIP

#### 0413

説明: 外部 CICS インターフェース・ダンプ・モジュール DFHXCEIP が EXCI EXEC API 要求を処理中に、戻りコードをアプリケーションに返すために使用する必須 RETCODE パラメーターを、渡された EXEC パラメーター・リストが必要としていないことが検出されました。

今回の要求が、この TCB に対する最初の EXCI 要求だった場合、CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使用して、作成された SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EXCI に渡されたパラメーター・リストを示すこのエラーは、CICS 変換プログラムによって生成されたものではありません。CICS 変換プログラムは常に使用してください。RETCODE を指定するように、アプリケーションを訂正します。

モジュール: DFHXCEIP

#### 0414

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCEIP が、VSE ESTAEX マクロを出してリカバリー環境を確立しようとしたが、ゼロ以外の戻りコードが VSE から返されました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプおよび VSE の関連メッセージを調べ、VSE ESTAEX 要求が失敗した理由を判別してください。

今回の要求が、この TCB に対する最初の EXCI 要求だった場



合、CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使用して、作成された SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。

モジュール: DFHXCEIP

---

#### 0415

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCEIP が、EXCI ダンプ・サービスが使用可能になる前に、EXCI 初期設定の早期にエラーを検出しました。DFHXCEIP は異常終了 0415 を行い、ESTAEX ルーチンが呼び出され、エラーを獲得する代わりにそこから SDUMP がとられるようにします。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: SDUMP を調べ、以前報告された問題の原因を判別してください。

CICS INFOANA ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCEIP

#### 0416

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が、EXCI 環境の初期設定時に VSE SUBSID マクロを出しました。SUBSID マクロは失敗しました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAEX ルーチンを呼び出す異常終了コード 0416 を出して異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに戻す前に、SDUMP がとられます。EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM\_ERROR) REASON(CICS\_SUBSID\_FAILURE) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、失敗した理由を示す SUBSID マクロからの R15 戻りコードが入っています。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(630) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの SUBSID 戻りコードを使用して、マクロが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHXCPRH



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。本書は他の言語で IBM から提供されている場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing*  
*IBM Corporation*  
*North Castle Drive, MD-NC119*  
*Armonk, NY 10504-1785*  
*US*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するものにすぎません。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する人物や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

---

## プログラミング・インターフェース情報

本書には、プログラムを作成するユーザーが z/VSE のサービスを使用するためのプログラミング・インターフェースが記述されています。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

---

## 製品資料のご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

### 適用される条件

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

### 個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

### 商業的使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

## 権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入 関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

---

## アクセシビリティ

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーがソフトウェア製品を快適に使用できるようにサポートします。 z/VSE のアクセシビリティの主要機能により、ユーザーは以下のことができるようになります。

- 画面読み上げ機能および画面拡大機能などの支援機能の使用
- キーボードのみを使用して、特定の機能または画面を使用したのと同等の機能を実行
- 色、コントラスト、フォント・サイズなど表示属性のカスタマイズ

---

### 支援機能の使用

画面読み上げ機能などの支援機能は、z/VSE のユーザー・インターフェースを使用して機能します。 この支援機能を使用して z/VSE インターフェースにアクセスする場合、その特定情報については支援機能の資料を参照してください。

---

### 資料の形式

本製品の資料は、Adobe Portable Document Format (PDF) で提供され、アクセシビリティ標準に準拠しています。 PDF ファイルの使用に問題があり、Web ベース形式の資料を必要とする場合は、s390id@de.ibm.com 宛てに E メールを送信するか、または下記の宛先まで書面でご請求ください。

IBM Deutschland Research & Development GmbH  
Department 3282  
Schoenaicher Strasse 220  
D-71032 Boeblingen  
Federal Republic of Germany

この請求には必ず、資料番号および表題を付記してください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。









プログラム番号: 5686-VS6

Printed in Japan

SC43-2944-01



**日本アイ・ビー・エム株式会社**

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21